ニチジョウサハンジ16
～日常のあれこれを徒然なるままに～
くうき
出　版
４月１日
創刊！
今月のおすすめ
定価（本体０円＋税）

目次

順番／タイトル

1 目次
2 まえがき
3 制御工学関係参考図書・論文リスト
4 Googleが選ぶ世界の名著１２０冊（２０１２年版）
5 Googleが選ぶ世界の名著１２０冊（２０１３年版）
6 Googleが選ぶ思想書・哲学書ベスト１００
7 Googleが選ぶ２０世紀の名著１００選
8 Googleが選ぶ２０世紀の名著１００選
9 『Googleが選ぶ２０世紀の名著１００選』の英語版ＥＢＯＯＫ掲載書籍リスト
10 素粒子物理の本の掲載書籍リスト
11 ニューズウィークの「ベストブック１００」EBOOKSの掲載書籍リスト
12 インパクトファクターをつくったユージン・ガーフィールドが選ぶ世界の名著ベス ト５０
13 コンピュータの名著１００冊
14 『文庫・新書による「文化、言語、文学」』の掲載書籍リスト
15 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」北アメリカ地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
16 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」北西ヨーロッパ地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
17 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」ドイツ地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
18 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」ポーランド研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
19 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」チェコ研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
20 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」フランス地域研究のための文献リスト』の掲載書籍リスト
21 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」イタリア地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
22 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」スペイン地域研究の基本文献』の掲載書籍リスト
23 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」ポルトガル研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
24 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」ロシア地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

25 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」モンゴル地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
26 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」ラテンアメリカ地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
27 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」韓国・朝鮮地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
28 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」中央アジア地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
29 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」インドネシア地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
30 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」マレーシア地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
31 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」フィリピン地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
32 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」タイ地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
33 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」ラオス地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
34 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」ベトナム地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
35 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」カンボジア地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
36 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」　ビルマ地域研究の基本文献』の掲載書籍リスト
37 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」南アジア地域研究のための文献案内』の掲載書籍リスト
38 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」アラブ地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
39 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」トルコ地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
40 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」イラン地域研究のための基本文献案内』の掲載書籍リスト
41 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」アフリカ地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
42 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」オセアニア地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
43 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」環太平洋研究

のための基本文献』の掲載書籍リスト
44 『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」中国地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト
45 『使えるレファ本１５０選』日高隆(著)の掲載書籍リスト
46 『必読書１５０』柄谷行人ほか(編)の掲載書籍リスト
47 『必読書１５０』柄谷行人ほか(編)の巻末に掲載されている「参考テクスト７０」の掲載書籍リスト
48 『文化人類学の名著５０』綾部恒夫(編)の掲載書籍リスト～平凡社：名著５０シリーズ～
49 『ナショナリズム論の名著５０』大澤真幸(著)の掲載書籍リスト～平凡社：名著５０シリーズ～
50 『現代経済学の名著』佐和隆光(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～
51 『現代社会学の名著』杉山光信(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～
52 『現代歴史学の名著』樺山紘一(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～
53 『現代政治の名著』佐々木毅(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～
54 『近代哲学の名著　デカルトからマルクスまでの２４冊』熊野純彦(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～
55 『現代哲学の名著』熊野純彦(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～
56 『現代科学論の名著』村上陽一郎(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～
57 『現代アジア論の名著』長崎暢子・山内昌之(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～
58 『新・現代歴史学の名著』樺山紘一(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～
59 『戦略論の名著』野中郁次郎(著)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～
60 『外国人による日本論の名著』佐伯彰一・芳賀徹(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～
61 『精神分析の名著』立木康介(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～
62 『日本の名著』桑原武夫(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～
63 『世界の名著―マキアヴェリからサルトルまで』河野健二(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～
64 『６０冊の書物による現代社会論』奥井智之(著)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～
65 『武士道の名著』山本博文(著)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～
66 『歴史学の名著３０』山内昌之(著)の掲載書籍リスト～ちくま新書：名著３０シリーズ～
67 『社会学の名著３０』竹内洋(著)の掲載書籍リスト～ちくま新書：名著３０シリーズ～
68 『政治学の名著３０』佐々木毅(著)の掲載書籍リスト～ちくま新書：名著３０シリーズ～
69 『宗教学の名著３０』島薗進(著)の掲載書籍リスト～ちくま新書：名著３０シリーズ～
70 『経済学の名著３０』松原隆一郎(著)の掲載書籍リスト～ちくま新書：名著３０シリーズ～
71 『自己啓発の名著３０』三輪裕範(著)の掲載書籍リスト～ちくま新書：名著３０シリーズ～

72 『物理学の名著』（ちくま学芸文庫）の掲載書籍リスト
73 『数学書２５選』吉田武(編)の掲載書籍リスト
74 『物理学書２５選』吉田武(編)の掲載書籍リスト
75 『自然科学の名著（古典・啓蒙）～古典は時代を考えれば風化はしません～』の掲載書籍リスト
76 『自然科学の名著１００選』田中実(他編)の掲載書籍リスト
77 『現代科学論の名著』村上陽一郎氏(編著)の掲載書籍リスト
78 『文化人類学』松村圭一郎(著)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト
79 『政治哲学』伊藤恭彦(著)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト
80 『環境と社会』西城戸誠・舩戸修一(編)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト
81 『メディア論』難波功士(著)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト
82 『日本思想史』子安宣邦(著)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト
83 『グローバル政治理論』土佐弘之(著)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト
84 『科学哲学』中山康雄(著)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト
85 『倫理学』小泉義之(著)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト
86 『東アジア論』丸川哲史(著)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト
87 『文化人類学の名著５０』綾部恒雄(編)の掲載書籍リスト
88 『国体　十冊の名著』北影雄幸(著)の掲載書籍リスト
89 『幕末　十冊の名著』北影雄幸(著)の掲載書籍リスト
90 『戦国　十冊の名著』北影雄幸(著)の掲載書籍リスト
91 『武士道　十冊の名著』北影雄幸(著)の掲載書籍リスト
92 『尊王　十冊の名著』北影雄幸(著)の掲載書籍リスト
93 『世界の十大小説』(岩波文庫)サマセット・モーム(著)の掲載書籍リスト
94 『二十世紀の十大小説』(新潮文庫)篠田一士(著)の掲載書籍リスト
95 『日本の１０大小説』（ちくま学芸文庫）加賀乙彦(著)の掲載書籍リスト
96 『２１世紀の世界文学３０冊を読む』都甲幸治(著)の掲載書籍リスト
97 『千年の百冊　あらすじと現代語訳でよむ　日本の古典１００冊スーパーガイド』鈴木健一(編)の掲載書籍リスト
98 『本へのとびら一岩波少年文庫を語る』（岩波新書）宮崎駿(著)の掲載書籍リスト
99 『世界を変えた１０冊の本』池上彰(著)の掲載書籍リスト
100 『世界を変えた経済学の名著』（日経ビジネス人文庫）日本経済新聞社(編)の掲載書籍リスト
101 『世界がわかる理系の名著』（文春新書）鎌田浩毅(著)の掲載書籍リスト
102 『名著で学ぶインテリジェンス』（日経ビジネス人文庫）情報史研究会(編)の掲載書籍リスト
103 『名著に学ぶ国際関係論　第２版』（有斐閣コンパクト）花井等・石井貫太郎(編)の掲載書籍リスト
104 『たたかうお店のバイブル１３冊一売場の“思想”が客を集める』青田恵一(著)の掲載書籍リスト

105 『軍事小説５０冊:このミリタリーノベルスがおもしろい！』アリアドネ企画編集部(編)の掲載書籍リスト
106 『ユートピアを読み解く１０冊』（『論座』1998年10月号）稲葉振一郎(著)の掲載書籍リスト
107 『東北の魅力を感じる書籍３２冊』（CREA2013年9月号）の掲載書籍リスト
108 『初心者もＯＫ！心を鍛えるオススメ哲学本』（日経WOMAN ONLINE）の掲載書籍リスト
109 『知らないと後悔する仕事バイブル６３冊』（PRESIDENT Online）の掲載書籍リスト
110 『女を磨く読書案内　読書ガイドが選ぶ２０１０年の"マスト本"１０冊』（日経WOMAN ONLINE）の掲載書籍リスト
111 『旅に持っていきたい１００冊の本』(JTB)の掲載書籍リスト
112 『この夏読んでおきたい“きっかけが見つかる”課題図書７選(２０１３)』（CNET Japan）の掲載書籍リスト
113 『２０代のうちに読んでおきたい本ランキング２０１２』（キャリアコンパス　※全体ランキングのみ）の掲載書籍リスト
114 『社長の本棚　５人が選んだ５冊の推薦本』（GQ JAPAN）の掲載書籍リスト
115 『勝間和代さんがおすすめする珠玉の１０冊』（日経Woman）の掲載書籍リスト
116 『儲かる構想を次々生む２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【役員】』経営共創基盤（IGPI）CEO 冨山和彦氏選の掲載書籍リスト
117 『「ならでは」の成果を出す２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【女性キャリア】』ブリヂストン 環境担当執行役員 江藤尚美氏選の掲載書籍リスト
118 『不況でも利益を伸ばす２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【部長・幹部候補】』甲南大学 特別客員教授 加護野忠男氏選の掲載書籍リスト
119 『部下・チームの力を引き出す２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【課長・新任マネージャー編】』プライスウォーターハウス クーパース パートナー 山本紳也氏選の掲載書籍リスト
120 『企画・提案力に火がつく２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【若手・中堅編】』博報堂ケトル 代表 嶋 浩一郎氏選の掲載書籍リスト
121 『ビジネスの土台を磨く２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【新入社員編】 』ライフネット生命保険社長 出口治明氏選の掲載書籍リスト
122 『書店員が選ぶ　ハンディな新選組本１０冊』（ダ・ヴィンチ電子ナビ）の掲載書籍リスト
123 『高校生に読んでほしい５０冊』（新著文庫）の掲載書籍リスト
124 『中学生のための国語のおすすめ５０冊』（浜島書店）の掲載書籍リスト
125 『高校生のための世界史おすすめ５０冊』（浜島書店）の掲載書籍リスト
126 『生物多様性を知る　朝倉書店の５０冊』の掲載書籍リスト
127 『山形浩生が選ぶ経済がわかる３０冊』の掲載書籍リスト
128 『東浩紀の選ぶ２０冊』の掲載書籍リスト
129 『人事院「若手行政官への推薦図書」』の掲載書籍リスト
130 『震災・原発を知る本ー全国ＳＬＡ選定図書より』（※2012年3月30日現在）の掲載書籍リ

スト
131 『日本教師学会　推薦図書一覧』の掲載書籍リスト
132 『ＮＰＯ法人武士道教会　推薦図書一覧』の掲載書籍リスト
133 『国際スピリチュアリズム協会　推薦図書一覧』の掲載書籍リスト
134 『新入生に薦める５０冊の本』（京大生協）の掲載書籍リスト
135 『西洋文学この１００冊』（京都大学文学部西洋文化学系編）の掲載書籍リスト
136 『環境社会人類学分野　推薦図書リスト』（東北大学※2006年）の掲載書籍リスト
137 『東北大学文学部社会学研究室　教員推薦書籍ー社会学ことはじめー』の掲載書籍リスト
138 『信州大学中央図書館　教員推薦図書』の掲載書籍リスト
139 『東京外国語大学　イスラム関係推薦図書目録』の掲載書籍リスト
140 『同志社女子大学　現代こども学科　推薦図書一覧』の掲載書籍リスト
141 『関西外語大学　英語キャリア学部　夏休み推薦図書２０１３』の掲載書籍リスト
142 『広島大学　文学部　推薦図書一覧』の掲載書籍リスト
143 『敬和学園大学 「敬和１００冊の本」ブックリスト』（２０１２年度版）の掲載書籍リスト
144 『茨城大学図書館　教養教育のための１００冊』の掲載書籍リスト
145 とある医学生のための新書リスト（岩波新書篇）
146 とある医学生のための新書リスト（中公新書篇）
147 とある医学生のための新書リスト（講談社現代新書篇）
148 とある医学生のための新書リスト（ブルーバックス篇）
149 とある医学生のための新書リスト（岩波ジュニア新書篇）
150 読んでいると恥ずかしいゴミ本（改題前　１０代で読んでいないと恥ずかしい必読書）
151 モーティマー・アドラーのグレート・ブックス（Great Books）
152 アメリカのDiscovery Channel社の『～映像が開く名著への扉～GREAT BOOKS グレートブックス』シリーズ
153 ニューヨーク公共図書館選定　２０世紀を形づくり特徴づけた図書
154 ノルウェーのブッククラブが選んだ世界の文学１００
155 読者の人生に最も影響を与えた本（ブック・オブ・ザ・マンス・クラブと米国連邦議会図書館調査）
156 『ニューズウィーク』編集部が２００９年に選んだ１００冊
157 『テレグラフ』編集部が2008年に選んだ１１０冊
158 読書家の道しるべ　１００冊の本（岩波文庫より）
159 『考える人』海外の長編小説ベスト１００（新潮社　08/5/1発行　作品一覧）
160 算数と数学のブックリスト
161 創業百年記念フェア「読者が選ぶこの１冊」岩波文庫フェア
162 創業百年記念フェア「読者が選ぶこの１冊」岩波現代文庫フェア
163 プログラミングに関するお薦めの本
164 『有栖の乱読』(有栖川有栖著、リクルート、1998年4月刊)より

165 本屋のオヤジのおせっかい　中学生はこれを読め！中学生に読ませたい　これ読め５００冊リスト
166 本を愛する大人たちのおせっかい　高校生はこれを読め！高校生に読ませたい　これ読め５００冊リスト
167 日本ミステリ百選
168 海外ミステリ百選
169 日本ミステリ・ベスト３０
170 海外ミステリ・ベスト２０
171 『幻影の書庫』選「あっと驚く大ドンデン返し映画」２０傑
172 『幻影の書庫』選「結構イケてるドンデン返し映画」２０選
173 『幻影の書庫』選「かなりイッてるドンデン返し映画」悪魔の１ダース
174 マーティン・セイモア・スミスの『世界を変えた１００冊の本』
175 ２１世紀図書館　必読の教養書２００冊　PartⅠ（立花隆編）
176 ２１世紀図書館　必読の教養書２００冊　PartⅡ（佐藤優編）
177 『世界の自己啓発５０の名著　エッセンスを読む』Ｔ・バトラー=ボードン(著)野田恭子・森村里美(訳)の掲載書籍リスト
178 『世界のスピリチュアル５０の名著　エッセンスを知る』Ｔ・バトラー=ボードン(著)鈴木 尚子(訳)の掲載書籍リスト
179 『世界の成功哲学５０の名著　エッセンスを解く』Ｔ・バトラー=ボードン(著)宮原育子・牧野千賀子(訳)の掲載書籍リスト
180 『世界の心理学５０の名著　エッセンスを学ぶ』Ｔ・バトラー=ボードン(著)米谷敬一(訳)の掲載書籍リスト
181 『成功する人は読んでいる お金と富の哲学 世界の名著５０』Ｔ・バトラー=ボードン(著)鈴木尚子(訳)の掲載書籍リスト
182 『千年紀のベスト１００作品を選ぶ』におけるベスト１０
183 ２１世紀に伝えるあの一冊
184 学校が選ぶ１００冊
185 現代を知るための新・「世界の名著１００」@クーリエ ジャポンの掲載書籍リスト
186 人類の未来を考えるための５０冊の本（ランド研究所）
187 ＳＦ小説の名作
188 ミステリーの名作
189 冒険小説の名作
190 グレート・ブックス（５世紀まで）
191 グレート・ブックス（１３世紀まで）
192 グレート・ブックス（１７世紀まで）
193 グレート・ブックス（１８世紀）
194 グレート・ブックス（１９世紀）

195 グレート・ブックス（１９０１－４４年）
196 グレートブックス（１９４５年以後）
197 厳選世界の名著１００（改訂版）
198 『１０年後あなたの本棚に残るビジネス書１００』神田昌典＋勝間和の掲載書籍リスト
199 『私をつくった名著人生を変えた１冊　黄金のブックガイド』の掲載書籍リスト
200 『使える経済書１００冊』池田信夫(著)(NHK出版生活人新書)の掲載書籍リスト
201 『ハヤカワ文庫の１００冊』の掲載書籍リスト
202 『いまどきの新書　１２のキーワードで読む１３７冊』永江朗(著)の掲載書籍リスト
203 『齋藤孝のおすすめブックナビ絶対感動本５０』齋藤孝(著)の掲載書籍リスト
204 『功利主義者の読書術』佐藤優(著)の掲載書籍リスト
205 『松岡正剛の書棚』松岡正剛(著)の掲載書籍リスト
206 『立花隆の書棚』立花隆(著)の掲載書籍リスト
207 『読書脳　ぼくの深読み３００冊の記録』立花隆(著)の掲載書籍リスト
208 『福岡ハカセの本棚』福岡伸一(著)(メディアファクトリー新書)の掲載書籍リスト
209 『本よむ幸せ』福原義春(著)の掲載書籍リスト
210 『嵐の夜の読書』池澤夏樹(著)の掲載書籍リスト
211 『私が選ぶ国書刊行会の３冊』(国書刊行会４０周年記念小冊子)の掲載書籍リスト
212 『すべては今日から』児玉清(著)の掲載書籍リスト
213 『読みなおす一冊』朝日新聞学芸部(編)(朝日選書)の掲載書籍リスト
214 『使える読書』斎藤孝(著)(朝日新書)の掲載書籍リスト
215 『マンガで鍛える読書術』本山勝寛(著)の掲載書籍リスト
216 『鹿島茂の書評大全　和物篇』鹿島茂(著)の掲載書籍リスト
217 『鹿島茂の書評大全　洋物篇』鹿島茂(著)の掲載書籍リスト
218 『ちょっと本気な　千夜千冊　虎の巻　読書術免許皆伝』松岡正剛(著)の掲載書籍リスト（１)
219 『ちょっと本気な　千夜千冊　虎の巻　読書術免許皆伝』松岡正剛(著)の掲載書籍リスト（２)
220 『本を生きる』小林章夫(編)の掲載書籍リスト
221 『本屋大賞』の掲載書籍リスト
222 『このミステリーがすごい！』大賞の掲載書籍リスト
223 齋藤孝のおすすめブックリストの掲載書籍リスト
224 『山椒魚戦争』カレル・チャペック(著)の掲載書籍リスト
225 『賢人の読書術』成毛眞(他著)の掲載書籍リスト
226 『ダ・ヴィンチ　2013.4号』の掲載書籍リスト
227 『刑務所なう。』堀江貴文(著)の掲載書籍リスト
228 『私が愛する１０冊』月刊「本の窓」(2010年9・10月合併号)の掲載書籍リスト
229 『おかしな本棚』クラフト・エヴィング商會(著)の掲載書籍リスト

230 『忘れられない一冊』週刊朝日編集部(編)(朝日文庫)の掲載書籍リスト
231 『村上式シンプル仕事術』村上憲郎(著)の掲載書籍リスト
232 『探訪　名ノンフィクション』後藤正治(著)の掲載書籍リスト
233 『この古典が仕事に効く！』成毛眞(監修)(青春新書)の掲載書籍リスト
234 『私が目覚める、読書案内。』フィガロジャポン編集部(著)の掲載書籍リスト
235 『教養脳を磨く！　３０冊』林望／茂木健一郎(著)の掲載書籍リスト
236 『ビジネスに効く最強の「読書」　本当の教養が身につく１０８冊 』出口治明(著)の掲載書籍リスト
237 三省堂　中学生にすすめたい１００冊の本の掲載書籍リスト
238 光村図書が薦めるこの１００冊（中学校）の掲載書籍リスト
239 『今のうちに読んでおくべきだと思う本』(１４歳の世渡り術)の掲載書籍リスト
240 『１０代の本棚　こんな本に出会いたい』あさのあつこ(編著)(岩波ジュニア新書)の掲載書籍リスト
241 『飛ぶ読書室　この本がおもしろいよ』紀田順一郎(著)の掲載書籍リスト
242 『中学生のための読解力を伸ばす魔法の本棚』中島克治(著)の掲載書籍リスト
243 『１２歳からの読書案内』金原瑞人(監修)の掲載書籍リスト
244 『１４歳の世渡り術　勝てる読書』豊崎由美(著)の掲載書籍リスト
245 『短編小説を読もう』阿刀田高(著)(岩波ジュニア新書)の掲載書籍リスト
246 岩波ジュニア新書スタートライン１５ステップアップ１５の掲載書籍リスト
247 岩波ジュニア新書読書ガイドブックの掲載書籍リスト
248 『図書館で出会える１００冊』田中共子(著)(岩波ジュニア新書)の掲載書籍リスト
249 『世界史読書案内』津野田興一(著)(岩波ジュニア新書)の掲載書籍リスト
250 東京大学、京都大学、北海道大学、広島大学の教師が新入生にオススメするベスト１００の掲載書籍リスト
251 『大学新入生に薦める１０１冊の本』広島大学総合科学部１０１冊の本プロジェクト(編)の掲載書籍リスト
252 『大学新入生に薦める１０１冊の本　新版』広島大学101冊の本委員会(編)の掲載書籍リスト
253 『新版　大学新入生に薦める１０１冊の本　参考図書』広島大学101冊の本委員会(編)の掲載書籍リスト
254 京都大学新入生推薦本の掲載書籍リスト
255 千葉大学教員の選んだ１００冊の掲載書籍リスト
256 静岡県立大学１００冊の掲載書籍リスト
257 敬和学園大学「敬和１００冊の本」ブックリストの掲載書籍リスト
258 『日本語力をつける文章読本　知的探検の新書３０冊』ニ通信子ほか(編)の掲載書籍リスト
259 『東大式現代科学用語ナビ』の掲載書籍リスト
260 『大学生になったら洋書を読もう』水野邦太郎(監修)アルク企画開発部(編)の掲載書籍リスト
261 『社会学をつかむ』の掲載書籍リスト

262 『環境と倫理　自然と人間の共生を求めて』加藤尚武(編)の掲載書籍リスト
263 『ぼくらの頭脳の鍛え方』立花隆選・文庫＆新書百冊の掲載書籍リスト
264 『はじめての宗教論　右巻』佐藤優(著)の掲載書籍リスト
265 『空気を読むな、本を読め。』小飼弾(著)の掲載書籍リスト
266 『新書がベスト　１０冊で思考が、１００冊で生き方が変わる』小飼弾(著)(ベスト新書)の掲載書籍リスト
267 『実践！多読術　本は「組み合わせ」で読みこなせ』成毛眞(著)(角川oneテーマ21)の掲載書籍リスト
268 『ノンフィクションはこれを読め！』成毛眞(編著)の掲載書籍リスト
269 『ノンフィクションはこれを読め！　２０１３』成毛眞(編著)の掲載書籍リスト
270 『面白い本』成毛眞(著)(岩波新書)の掲載書籍リスト
271 『もっと面白い本』成毛眞(著)(岩波新書)の掲載書籍リスト
272 『Associe 読書ノート　「今、読むべき本」必読２７６冊ガイド』(日経ビジネスアソシエ２０１０年９月７日号　別冊付録)の掲載書籍リスト
273 『新書大賞ベスト５』の掲載書籍リスト
274 『頭をよくする「使える１００冊」』和田秀樹(著)(PHP新書)の掲載書籍リスト
275 『第２回教養新書合同フェア』(著)の掲載書籍リスト
276 『子どもの本の森へ』河合隼雄・長田弘(著)の掲載書籍リスト
277 『打ちのめされるようなすごい本』米原万里(著)の掲載書籍リスト
278 『心の扉を開く』河合隼雄(著)の掲載書籍リスト
279 『深層意識への道』河合隼雄(著)（グーテンベルグの森）の掲載書籍リスト
280 『子どもに読んでほしい８４冊』東京新聞出版局(著)の掲載書籍リスト
281 『子どもの本を読む』河合隼雄(著)の掲載書籍リスト
282 『弾言　成功する人生とバランスシートの使い方』小飼弾、山路達也(著)の掲載書籍リスト
283 『多読術』松岡正剛(著)(ちくまプリマー新書)の掲載書籍リスト
284 『読まずに死ねない厳選１００冊の本』日垣隆(著)の掲載書籍リスト
285 『経済学　名著と現代』日本経済新聞社(編)の掲載書籍リスト
286 北海道を知る１００冊の掲載書籍リスト
287 日本を知る１００冊の掲載書籍リスト
288 美術館を考える１００冊プラスの掲載書籍リスト
289 小飼弾選「最強の百冊＋１」の掲載書籍リスト
290 静岡県立こども病院の掲載書籍リスト
291 アマゾン編集者が投票で選んだ「世界の名著２０選」
292 思わずワクワク！旅に出たくなる１０冊のTABI LABOオススメ本！
293 『国際政治とは何か』中西寛(著)(中公新書)の掲載書籍リスト
294 『アメリカ外交』村田晃嗣(著)(講談社現代新書)の掲載書籍リスト
295 『ハイデガーの思想』木田元(著)(岩波新書)の掲載書籍リスト

296 『理性の限界　不可能性・不確実性・不確実性』高橋昌一郎(著)(講談社現代新書)の掲載書籍リスト
297 『知性の限界　不可測性・不確実性・不可知性』高橋昌一郎(著)(講談社現代新書)の掲載書籍リスト
298 『ラッセルのパラドクス』三浦俊彦(著)(岩波新書)の掲載書籍リスト
299 『科学の終焉』ジョン・ホーガン(著)の掲載書籍リスト
300 『「本の定番」ガイドブック』鷲田小彌太(著)の掲載書籍リスト
301 『いつも目標達成している人の読書術』丸山純孝(著)の掲載書籍リスト
302 『人生後半に読むべき本』 谷沢永一・渡部昇一(著)の掲載書籍リスト
303 『楽しい読書生活』渡部昇一(著)の掲載書籍リスト
304 『ぼくの血となり肉となった５００冊そして血にも肉にもならなかった１００冊』立花隆(著)の掲載書籍リスト
305 『書評のおしごと』橋爪大三郎(著)の掲載書籍リスト
306 【　関連書籍　】

まえがき

人生は短く、読むべき本は多い。

本の賢い取捨選択は、時間は少ないけれど、読むべき本が多い人のための悩みどころだったと思います。

できれば、より有意義でためになる本を取捨選択して、たくさん読みたいですよね。

また、スループットがものすごい勢いで、どんどん増えてるのが、現代の一番の特徴です。

だから、スループットがいやおうなしに増えてくる状況下、その中で、その人がどういう情報を拾い上げて、その人の自分自身の脳を作り上げていくのか？

言い換えると、今は、全ての人が本やネットなどを通して、アレキサンドリア図書館を自分なりに作ることができる、そういう時代だとも言えます。

さらに、特化されたジャーナルが多数ある中で、自分に「最適な」本を選ぶことは難しい課題です。

例えば、旅を始める前に「自分がどこに向かっているのか」を知っておくことが大切な様に、本を選ぶ際に考慮すべき主な２つの基準は、自分の好みと知的好奇心の度合いです。

また、普段の買い物と同じで、「あらかじめ何を買うか」を決めておいたほうが、良い買い物ができます。

ただ、思いつきで読書を続けられるほど読書って簡単な行為じゃないですよ！

それでも、どうしたらいいかわからない・・・

そんな方のために、ここだけの（！？）、王道的な選び方をご紹介。

どんな作業をやるにしても、まずは王道ありきです。

昔から使い古されている手段はそれなりに説得力があります。

そう、一番手っ取り早いのは人に勧めて貰うことです。

本を薦めてくれるような読書家や専門家のオススメ本や参考文献をご紹介したいと思います。

また、質の高い文章を作成する上で重要になってくるのが参考資料選びですが、参考資料を選ぶ際に考慮すべき２つの主な基準は、その読者層とインパクトファクターです。

質の高い文章を書くためには、やはり質の高い参考資料が求められます。

また、どのような参考資料を扱ったかが、その文章を評価するポイントのひとつにもなってきます。

では、参考資料はどのように選べばよいのでしょうか？

例えば、前述の通り、他者の意見を参考にすることも大事です。

世評の高い資料、あるいはその分野では定番とされているような有名な資料がまず候補に挙がります。

これは文章を書く上で土台になってくれるものですからとくに重要です。

それから出版社や雑誌、学会など。

有名な出版社や評価の高い雑誌、学会誌などに発表された論文などを参考にするのもひとつの選択肢です。

より高度な文章を手がけたいと思っている場合には、一次資料を直接当たってみるという方法もあります。

例えば、古典文学の場合は直接原典を当たってみることが大前提となります。

扱うテーマによっては、インタビューや自分の足で調査した資料も一次資料となります。

それからもうひとつ、思考力や文章能力を学ぶことができるような書籍も参考資料としてあげたいところです。

手がけるテーマにおける構成や展開を学ぶ上でも重要な意味を持ちます。

こういった参考資料をうまく選ぶことが、質の高い文章を作成の第一歩となるのです。

制御工学関係参考図書・論文リスト

＜参考図書リスト＞

１．自動制御のおはなし (おはなし科学・技術シリーズ) [単行本]松山 裕 (著)

２．シミュレーションで学ぶ自動制御技術入門ーPID制御/ディジタル制御技術を基礎から学ぶ (計測・制御シリーズ) [単行本]

３．基礎からの自動制御と実装テクニック (現場の即戦力) [単行本（ソフトカバー）]熊谷 英樹 編著　日野 満司　村上 俊之　桂 誠一郎 著 (著)

４．はじめての制御工学 (KS理工学専門書) [単行本（ソフトカバー）]佐藤 和也 (著)、 平元 和彦 (著)、 平田 研二 (著)

５．基礎制御工学 (情報・電子入門シリーズ) [単行本]小林 伸明 (著)

６．基礎制御工学 [単行本]則次 俊郎 (著)、 西本 澄 (著)、 堂田 周治郎 (著)

７．制御工学ー基礎と例題 [単行本]河合 素直 (著)

８．制御工学 (大学講義シリーズ) [単行本]森 泰親 (著)

９．制御工学の考え方ー産業革命は「制御」からはじまった (ブルーバックス) [新書]木村 英紀 (著)

１０．制御工学ー古典から現代まで (学生のための機械工学シリーズ) [単行本]奥山 佳史 (著)、 吉田 和信 (著)、 竹森 史暁 (著)、 川辺 尚志 (著)、 西村 行雄 (著)

１１．制御工学ー古典制御からロバスト制御へ (機械工学基礎課程) [単行本]佐伯 正美 (著)

１２．制御工学基礎理論ーアナログ制御とディジタル制御 [単行本]藤堂 勇雄 (著)

１３．演習で学ぶ基礎制御工学 [単行本]森 泰親 (著)

１４．MATLAB/Simulinkによるわかりやすい制御工学 [単行本]川田 昌克 (著)、 西岡 勝博 (著)、 井上 和夫 (監修)

１５．MATLABによる 制御工学 [単行本]足立 修一 (著)

１６．MATLABによるリアルタイム制御入門ーxPC Targetを使ったモデル・ベース開発 (計測・制御シリーズ) [単行本]大川 善邦 (著)

１７．PID制御の基礎と応用 [単行本]山本 重彦 (著)、 加藤 尚武 (著)

１８．PID制御 (システム制御情報ライブラリー) [単行本]システム制御情報学会 (編集)

１９．演習で学ぶPID制御 [単行本（ソフトカバー）]森 泰親 (著)

２０．セルフチューニングコントロール [単行本] 大松 繁 (著)、 山本 透 (著)、 計測自動制御学会 (編集)

２１．フィードバック制御の基礎 [単行本]片山 徹 (著)

２２．フィードバック制御の理論ーロバスト制御の基礎理論 [単行本]John C. Doyle (著)、 Allen R. Tannenbaum (著)、 Bruce A. Francis (著)

２３．フィードバック制御入門 (システム制御工学シリーズ) [単行本]杉江 俊治 (著)、 藤田 政之 (著)

２４．フィードバック制御 (計測・制御テクノロジーシリーズ) [単行本]荒木 光彦 (著)、 細江 繁幸 (著)、 計測自動制御学会 (編集)

２５．プロセス制御工学 [単行本]橋本 伊織 (著)、 長谷部 伸治 (著)、 加納 学 (著)

２６．プロセス制御システム (システム制御工学シリーズ) [単行本]大嶋 正裕 (著)

２７．プロセス制御の基礎と実践 [単行本]中西 英二 (著)、 花熊 克友 (著)

２８．プロセス制御 (計測・制御テクノロジーシリーズ (11)) [単行本]高津 春雄 (著、 編集)、 伊藤 利昭 (著)

２９．アドバンスト制御のためのシステム制御理論 (システム制御情報ライブラリー) [単行本]杉江 俊治 (著)、 前田 肇 (著)

３０．はじめての現代制御理論 (KS理工学専門書) [単行本（ソフトカバー）]佐藤 和也 (著)、 下本 陽一 (著)、 熊澤 典良 (著)

３１．演習で学ぶ現代制御理論 [単行本]森 泰親 (著)

３２．わかりやすい現代制御理論 [単行本（ソフトカバー）]森 泰親 (著)

３３．非線形制御 (現代非線形科学シリーズ) [単行本]平井 一正 (著)

３４．ロバスト制御 (現代制御シリーズ) [単行本]木村 英紀 (著)、 森 武宏 (著)、 藤井 隆雄 (著)

３５．ハイブリッドシステムの制御 (システム制御工学シリーズ) [単行本]井村 順一 (著)、 東 俊一 (著)、 増淵 泉 (著)

３６．リアルタイムシステムとその応用 (システム制御情報ライブラリー) [単行本]白川 洋充 (著)、 竹垣 盛一 (著)、 システム制御情報学会 (編集)

３７．Process Dynamics and Control [ハードカバー]Dale E. Seborg (著)、 Thomas F. Edgar (著)、 Duncan A. Mellichamp (著)

３８．Process Control: Designing Processes and Control Systems for Dynamic Performance [ハードカバー]Thomas Marlin (著)

３９．モデル予測制御ーPFC(Predictive Functional Control)の原理と応用 [単行本]ジャック リシャレ (著)、 江口 元 (著)、 小崎 恭寿男 (監修)、 Jacques Richalet (原著)

４０．モデル予測制御ー制約のもとでの最適制御 [単行本]ヤン・M. マチエヨフスキー (著)、 Jan M. Maciejowski (原著)、 足立 修一 (翻訳)、 管野 政明 (翻訳)

４１．システムと制御の数学 (システム制御情報ライブラリー) [単行本]山本 裕 (著)、 システム制御情報学会 (編集)

４２．制御システム設計ーコントローラの低次元化 (システム制御情報ライブラリー) [単行本]大日方 五郎 (著)、 ブライアン アンダーソン (著)、 システム制御情報学会 (編集)

４３．アドバンスト制御のためのシステム制御理論 (システム制御情報ライブラリー) [単行本]杉江 俊治 (著)、 前田 肇 (著)

４４．制御システム技術の理論と応用 [単行本]広井 和男 (編集)

４５．エネルギー産業における制御 (産業制御シリーズ) [単行本]松村 司郎 (著)、 平山 開一郎 (著)

４６．計測技術の基礎 (計測・制御テクノロジーシリーズ) [単行本]山崎 弘郎 (著)、 田中 充 (著)、 計測自動制御学会 (編集)

４７．計装システムの基礎と応用 [単行本]千本 資 (著)、 花渕 太 (著)

４８．計装工学入門 [単行本]青島 伸治 (著)

４９．ディジタル計装制御システム [単行本]上谷 達也 (著)、 富田 芳生 (著)、 渡辺 成一 (著)、 今井 溥 (著)、 的場 徹 (著)、 黒岩 重雄 (著)、 福井 康裕 (著)、 森下 巌 (編集)、 計測自動制御学会 (編集)

５０．現場技術者のための計測技術入門一正しい計測が品質をかえる [単行本]山口 徹 (著)、 新沢 陽介 (著)、 江口 忠登美 (著)、 磨田 光夫 (著)、 伊林 洋志 (著)

５１．工業計測と制御の基礎一メーカーの技術者が書いたやさしく計装がわかる (keiso books) [単行本]川村 貞夫 (著)、 石川 洋次郎 (著)

５２．工業プロセス用調節弁の実技ハンドブック [単行本]山武調節弁ハンドブック編纂委員会 (著)

５３．計装メーカが書いたフィールド機器・虎の巻一差圧・圧力伝送器/電磁流量計/渦流量計 [単行本]横河電機 (編集)、 横河北辰電機= (編集)

５４．絵とき「バルブ」基礎のきそ (Mechanical Engineering Series) [単行本]小岩井 隆 (著)

５５．機械工学便覧（デザイン編β1）　設計工学

５６．機械工学便覧（デザイン編β6）　制御システム

５７．機械工学便覧（デザイン編β5）　計測工学

＜参考論文リスト＞

１．原辰次. PID形制御系とI-PD形制御系の特性比較と設計指針.計測自動制御学会論文集、 Vol. 20、 No. 8、 pp. 691?697、 1984.

２．北森俊行・桑田龍一：PID 制御方式の原理・実用化と設計法　計測と制御、37-3、 201/208、1998

３．須田信英：PID 制御の高度化　システム/制御/情報、38-10、539/544、 1994

４．荒木光彦：2 自由度PID 制御装置　システム/制御/情報、42-1、 18/25、 1998

５．PID 制御の調整　第36 回自動制御連合講演会前刷　65/68、1993

６．山本、兼田、「一般化最小分散制御則に基づくセルフチューニングＰＩＤ制御器の一設計」、システム制御情報学会論文誌、１９９８年、第１１巻、第１号、ｐ．１?９

７．北森俊行：制御対象の部分的知識に基づく制御系の設計法、計則自動制御学会論文集、Vol15、No.4、549/555(1979)

８．行友、 重政：モデル駆動PID制御システムとその安定性、 第2回制御部門大会予稿集、 (2002)

９．行友、 重政、馬場：モデル駆動PID制御システムとそのチューニング方法、 第3回制御部門大会予稿集、 (2003)

１０．山本透： PID 制御系設計の高度化と知能化、システム／制御／情報、 Vol.44、No.9、483/491、2000

１１．北森俊行： PID 制御システムの設計論、計測と制御、 Vol.19、No.4、382/391、1980

１２．須田信英： PID 制御則について、システム／制御／情報、 Vol.42、No.1、2/6、1998

１３．北森俊行： I - PD 制御方式の原理と設計法、システム／制御／情報、Vol.42、No.1、7/17、1998

１４．荒木光彦ほか：２自由度 PID 制御装置 、 システム／制御／情報、 Vol.42、No.1、18/25、1998

１５．重政隆：セルフチューニング PID 制御の動向、システム／制御／情報、 Vol.42、No.1、

35/40、1998

１６．むだ時間を含む１次遅れ系に対する PID 制御器の部分モデルマッチング法に基づいた 設計法、システム制御情報学会論文誌、 Vol.13、No.1、46/52、2000

１７．田口秀文ほか：外乱入力点を考慮した２自由度 PID 調節計の調整法について、計測自 動制御学会論文集、 Vol.38、No.5、441/446、 2002

１８．衣川了ほか：化学プロセス制御における外乱応答指定による PI 制御調整法、システム 制御情報学会論文誌、 Vol.14、No.12、561/573、2001

１９．中村政俊ほか：非線形スタティクス補償型 PID 制御：化学重合反応プロセスの制御、 計測自動制御学会論文集、 Vol.35、No.3、363/369、1999

２０．熊本博光ほか：１次および２次遅れ系の PID 自動調整則、計測自動制御学会論文集、 Vol.33、No.5、344/351、1997

２１．荒木光彦ほか： PID 制御の歴史、 計測と制御、 Vo.36、No.9、643/647、1997
７８）　曽禰寛純： DCS によるアドバンスト制御、計測と制御、 Vo.37、No.2、129/138、1998

２２．北森俊行ほか： PID 制御方式の原理・実用化と設計法、計測と制御、 Vo.37、No.3、 201/208、1998

２３．藤原敏勝ほか： PID 制御のエンジニアリング、計測と制御、 Vo.37、No.5、362/368、 1998

２４．重政隆：セルフチューニング PID 制御方式：動向と事例、計測と制御、 Vo.37、No.6、 423/431、1998

２５．佐伯正美：現代制御理論と PID 制御のかかわり合い、計測と制御、 Vo.37、No.8、 578/585、1998

２６．佐藤和也ほか：適応的なパラメータ調整機構をもつ PI 制御法、計測自動制御学会論文 集、 Vol.34、No.11、1632/1638、1998

２７．太田有三ほか：複数のロバスト仕様をみたす PID 制御器の設計、システム制御情報学 会論文誌、 Vol.11、No.1、26/34、1998

２８．笠原雅人ほか：特性変動をともなう空調システムへの PID 制御の適用：計測自動制御 学会論文集、 Vol.36、No.5、431/437、2000

＜参考ＷＥＢサイト＞

１．広井和男. “PID制御のお話 第2回 PID制御の過去、現在そして将来 (pdf)”. エムエスツデー 2004年3月号. エム・システム技研. pp. 2-3. 2014年6月23日閲覧。

２．Web講座「ゼロから学ぶPID制御」（９コース）

Googleが選ぶ世界の名著１２０冊（２０１２年版）

順位／訳書名（邦訳が無い場合は英語書名）／著者

1 科学革命の構造　トーマス・クーン
2 想像の共同体　ベネディクト・アンダーソン
3 正義論　ジョン・ロールズ
4 行為と演技　アーヴィング・ゴッフマン
5 Social foundations of thought and action　アルバート・バンデューラ
6 監獄の誕生　ミシェル・フーコー
7 現実の社会的構成　ピーター・バーガー、トーマス・ルックマン
8 Mind in Society　エリ・エス・ヴィゴツキー
9 国富論　アダム・スミス
10 制度・制度変化・経済成果　ダグラス・C．ノース
11 人間性の心理学　アブラハム・H．マズロー
12 ディスタンクシオン　ピエール・ブルデュー
13 Judgement under Uncertainty　ダニエル・カーネマン
14 幼児期と社会　エリック・H．エリクソン
15 集合行為論　マンサー・オルソン
16 レトリックと人生　ジョージ・レイコフ、マーク・ジョンソン
17 The Constitution of Society　アンソニー・ギデンズ
18 哲学する民主主義　ロバート・D．パトナム
19 分離不安　ジョン・ボウルビィ
20 孤独なボウリング　ロバート・D．パトナム
21 付きあい方の科学　ロバート・アクセルロッド
22 資本論　カール・マルクス
23 資本主義・社会主義・民主主義　ヨーゼフ・A．シュンペーター
24 ジェンダー・トラブル　ジュディス・バトラー
25 種の起源　チャールズ・ダーウィン
26 言語と行為　ジョン・L．オースティン
27 Outline of a Theory of Practice　ピエール・ブルデュー
28 思考と言語　エリ・エス・ヴィゴツキー
29 精神・自我・社会　ジョージ．H．ミード
30 論理と会話　ポール・グライス
31 哲学探究　ルートヴィヒ・ウィトゲンシュタイン
32 文法理論の諸相　ノーム・チョムスキー
33 危険社会　ウルリッヒ・ベック

34 モダニティと自己アイデンティティ　アンソニー・ギデンズ
35 民主主義の経済理論　アンソニー・ダウンズ
36 社会理論と社会構造　ロバート・K．マートン
37 社会理論の基礎　ジェームズ・コールマン
38 人的資本　ゲーリー・S．ベッカー
39 ゲームの理論と経済行動　フォン・ノイマン、オスカー・モルゲンシュテルン
40 雇用・利子及び貨幣の一般理論　ジョン・M．ケインズ
41 性の歴史　ミシェル・フーコー
42 The Rise of the Network Society　マニュエル・カステル
43 知覚の現象学　M．メルロ＝ポンティ
44 Society and the Adolescent Self-Image　モリス・ローゼンバーグ
45 行動の機構　ドナルド・O．ヘッブ
46 オーガニゼーションズ　ハーバート・サイモン、ジェームズ・マーチ
47 ポストモダニティの条件　デヴィッド・ハーヴェイ
48 経営行動　ハーバート・サイモン
49 プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神　マックス・ウェーバー
50 言語行為　ジョン・R．サール
51 ポストモダンの条件　ジャン・F．リオタール
52 コミュニケイション的行為の理論　ユルゲン・ハーバーマス
53 暗黙知の次元　マイケル・ポランニー
54 グラムシ獄中ノート　アントニオ・グラムシ
55 自由と経済開発　アマルティア・セン
56 スティグマの社会学　アーヴィング・ゴッフマン
57 科学的発見の論理　カール・ポパー
58 知の考古学　ミシェル・フーコー
59 社会体系論　タルコット・パーソンズ
60 大転換　カール・ポランニー
61 認知意味論　ジョージ・レイコフ
62 対人関係の心理学　フリッツ・ハイダー
63 システムの科学　ハーバート・サイモン
64 統率・束縛理論　ノーム・チョムスキー
65 生態学的視覚論　ジェームズ・J．ギブソン
66 さまよえる近代　アルジュン・アパデュライ
67 経済と社会　マックス・ウェーバー
68 個人的知識　マイケル・ポランニー
69 文法の構造　ノーム・チョムスキー
70 精神の生態学　グレゴリー・ベイトソン

71 経験と教育　ジョン・デューイ
72 Bodies that Matter　ジュディス・バトラー
73 ミニマリスト・プログラム　ノーム・チョムスキー
74 Human Problem Solving　ハーバート・サイモン
75 社会的選択と個人的評価　ケネス・アロー
76 言葉と物　ミシェル・フーコー
77 脱工業社会の到来　ダニエル・ベル
78 A Treatise on the Family　ゲーリー・S．ベッカー
79 美徳なき時代　アラスデア・マッキンタイア
80 「信」無くば立たず　フランシス・フクヤマ
81 アナーキー・国家・ユートピア　ロバート・ノージック
82 トーテムとタブー　ジグムンド・フロイト
83 千のプラトー　ジル・ドゥルーズ、フェリックス・ガタリ
84 宗教生活の原初形態　エミール・デュルケム
85 社会分業論　エミール・デュルケム
86 存在と時間　マルティン・ハイデガー
87 Political Liberalism　ジョン・ロールズ
88 グラマトロジーについて　ジャック・デリダ
89 権威主義的パーソナリティ　テオドール・アドルノ
90 真理と方法　ハンス・G．ガダマー
91 心の概念　ギルバート・ライル
92 危険・不確実性および利潤　フランク・H．ナイト
93 資本主義と自由　ミルトン・フリードマン
94 公共性の構造転換　ユルゲン・ハーバーマス
95 意味の復権　ジェローム・S．ブルーナー
96 文明の衝突　サミュエル・P．ハンチントン
97 可能世界の心理　ジェローム・S．ブルーナー
98 人間悟性論　ジョン・ロック
99 地に呪われたる者　フランツ・ファノン
100 法の概念　ハーバート・ハート
101 民主主義と教育　ジョン・デューイ
102 科学と人間行動　バラス・F・スキナー
103 The Architecture of Cognition　ジョン・R・アンダーソン
104 哲学と自然の鏡　リチャード・ローティ
105 一般言語学講義　フェルディナン・ド・ソシュール
106 有閑階級の理論　ソースティン・ヴェブレン
107 リヴァイアサン　トマス・ホッブズ

108 精神のモジュール形式　ジェリー・フォーダー
109 人間知性研究　デイヴィッド・ヒューム
110 純粋理性批判　イマヌエル・カント
111 認識と関心　ユルゲン・ハバーマス
112 社会行動　ジョージ・ホマンズ
113 名指しと必然性　ソール・A．クリプキ
114 福利経済学　アーサー・C．ピグー
115 神話作用　ロラン・バルト
116 言語を生みだす本能　スティーブン・ピンカー
117 解明される意識　ダニエル・デネット
118 エクリ　ジャック・ラカン
119 ことばと対象　ウィラード・クワイン
120 The behavior of organisms　バラス・F・スキナー
121 自己の分析　ハインツ・コフート
122 経済分析の基礎　ポール・サミュエルソン
123 構造人類学　クロード・レヴィ=ストロース
124 新しい産業国家　ジョン・K・ガルブレイス
125 自己の修復　ハインツ・コフート
126 The Power of Identity　マニュエル・カステル
127 空間の詩学　ガストン・バシュラール

Googleが選ぶ世界の名著１２０冊（２０１３年版）

順位(2013)／順位(2012)／訳書名（邦訳が無い場合は英語書名）／著者

1　1　科学革命の構造　トーマス・クーン
2　圏外　データ対話型理論の発見　B.G.グレイザー, A.L.ストラウス
3　2　想像の共同体　ベネディクト・アンダーソン
4　8　Mind in Society　エリ・エス・ヴィゴツキー
5　3　正義論　ジョン・ロールズ
6　5　Social foundations of thought and action　アルバート・バンデューラ
7　6　監獄の誕生　ミシェル・フーコー
8　7　現実の社会的構成　ピーター・バーガー、トーマス・ルックマン
9　9　国富論 国の豊かさの本質と原因についての研究　アダム・スミス
10　4　行為と演技　アーヴィング・ゴッフマン
11　10　制度・制度変化・経済成果　ダグラス・C．ノース
12　12　ディスタンクシオン　ピエール・ブルデュー
13　11　人間性の心理学　アブラハム・H．マズロー
14　16　レトリックと人生　ジョージ・レイコフ、マーク・ジョンソン
15　19　分離不安　ジョン・ボウルビィ
16　18　哲学する民主主義　ロバート・D．パトナム
17　20　孤独なボウリング　ロバート・D．パトナム
18　17　The Constitution of Society　アンソニー・ギデンズ
19　15　集合行為論　マンサー・オルソン
20　14　幼児期と社会　エリック・H．エリクソン
21　31　哲学探究　ルートヴィヒ・ウィトゲンシュタイン
22　24　ジェンダー・トラブル　ジュディス・バトラー
23　23　資本主義・社会主義・民主主義　ヨーゼフ・A．シュンペーター
24　21　つきあい方の科学　ロバート・アクセルロッド
25　25　種の起源　チャールズ・ダーウィン
26　27　Outline of a Theory of Practice　ピエール・ブルデュー
27　22　資本論　カール・マルクス
28　26　言語と行為　ジョン・L．オースティン
29　41　性の歴史　ミシェル・フーコー
30　29　精神・自我・社会　ジョージ．H．ミード
31　34　モダニティと自己アイデンティティ　アンソニー・ギデンズ
32　32　文法理論の諸相　ノーム・チョムスキー
33　30　論理と会話　ポール・グライス

34　圏外　経済発展の理論　ヨーゼフ・A．シュンペーター
35　33　危険社会　ウルリッヒ・ベック
36　37　社会理論の基礎　ジェームズ・コールマン
37　40　雇用・利子及び貨幣の一般理論　ジョン・M．ケインズ
38　35　民主主義の経済理論　アンソニー・ダウンズ
39　38　人的資本　ゲーリー・S．ベッカー
40　36　社会理論と社会構造　ロバート・K．マートン
41　44　Society and the Adolescent Self-Image　モリス・ローゼンバーグ
42　42　The Rise of the Network Society　マニュエル・カステル
43　45　行動の機構　ドナルド・O．ヘッブ
44　65　生態学的視覚論　ジェームズ・J．ギブソン
45　57　科学的発見の論理　カール・ポパー
46　101　民主主義と教育　ジョン・デューイ
47　46　オーガニゼーションズ　ハーバート・サイモン、ジェームズ・マーチ
48　39　ゲームの理論と経済行動　フォン・ノイマン、オスカー・モルゲンシュテルン
49　47　ポストモダニティの条件　デヴィッド・ハーヴェイ
50　56　スティグマの社会学　アーヴィング・ゴッフマン
51　48　経営行動　ハーバート・サイモン
52　55　自由と経済開発　アマルティア・セン
53　53　暗黙知の次元　マイケル・ポランニー
54　51　ポストモダンの条件　ジャン・F．リオタール
55　58　知の考古学　ミシェル・フーコー
56　50　言語行為　ジョン・R．サール
57　59　社会体系論　タルコット・パーソンズ
58　61　認知意味論　ジョージ・レイコフ
59　70　精神の生態学　グレゴリー・ベイトソン
60　49　プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神　マックス・ウェーバー
61　54　グラムシ獄中ノート　アントニオ・グラムシ
62　63　システムの科学　ハーバート・サイモン
63　62　対人関係の心理学　フリッツ・ハイダー
64　60　大転換　カール・ポランニー
65　66　さまよえる近代　アルジュン・アパデュライ
66　64　統率・束縛理論　ノーム・チョムスキー
67　圏外　アメリカのデモクラシー　アレクシス・ド・トクヴィル
68　43　知覚の現象学　M．メルロ＝ポンティ
69　68　個人的知識　マイケル・ポランニー
70　79　美徳なき時代　アラスデア・マッキンタイア

71　69　文法の構造　ノーム・チョムスキー
72　71　経験と教育　ジョン・デューイ
73　72　Bodies that Matter　ジュディス・バトラー
74　52　コミュニケイション的行為の理論　ユルゲン・ハーバーマス
75　67　経済と社会　マックス・ウェーバー
76　73　ミニマリスト・プログラム　ノーム・チョムスキー
77　74　Human Problem Solving　ハーバート・サイモン
78　圏外　Frame analysis　アーヴィング・ゴッフマン
79　76　言葉と物　ミシェル・フーコー
80　75　社会的選択と個人的評価　ケネス・アロー
81　83　千のプラトー　ジル・ドゥルーズ、フェリックス・ガタリ
82　77　脱工業社会の到来　ダニエル・ベル
83　81　アナーキー・国家・ユートピア　ロバート・ノージック
84　78　A Treatise on the Family　ゲーリー・S．ベッカー
85　88　グラマトロジーについて　ジャック・デリダ
86　98　人間の進化と性淘汰　チャールズ・ダーウィン
87　94　公共性の構造転換　ユルゲン・ハーバーマス
88　圏外　夢解釈　ジークムント・フロイト
89　87　Political Liberalism　ジョン・ロールズ
90　圏外　権利論　ロナルド・ドゥウォーキン
91　92　危険・不確実性および利潤　フランク・H．ナイト
92　85　社会分業論　エミール・デュルケム
93　90　真理と方法　ハンス・G．ガダマー
94　96　文明の衝突　サミュエル・P．ハンチントン
95　93　資本主義と自由　ミルトン・フリードマン
96　91　心の概念　ギルバート・ライル
97　109　人間本性論　デイヴィッド・ヒューム
98　圏外　思考の方法　ジョン・デューイ
99　86　存在と時間　マルティン・ハイデガー
100　圏外　The logic of practice　ピエール・ブルデュー
101　95　意味の復権　ジェローム・S．ブルーナー
102　圏外　歴史の終わり　フランシス・フクヤマ
103　13　Judgement under Uncertainty　ダニエル・カーネマン
104　圏外　再生産 : 教育・社会・文化　ピエール・ブルデュー, ジャン=クロード　パスロン
105　圏外　文化と帝国主義　エドワード・W.サイード
106　89　権威主義的パーソナリティ　テオドール・アドルノ
107　圏外　人間行動の形成と自己制御　アルバート・バンデューラ

108　97　可能世界の心理　ジェローム・S．ブルーナー
109　圏外　生成音韻論概説　N.チョムスキー,M.ハレ
110　102　科学と人間行動　バラス・F・スキナー
111　107　リヴァイアサン　トマス・ホッブズ
112　100　法の概念　ハーバート・ハート
113　103　The Architecture of Cognition　ジョン・R・アンダーソン
114　圏外　精神分析入門　ジークムント・フロイト
115　104　哲学と自然の鏡　リチャード・ローティ
116　99　地に呪われたる者　フランツ・ファノン
117　圏外　社会理論の最前線　アンソニー・ギデンズ
118　圏外　自殺論　エミール・デュルケム
119　圏外　Langage et pouvoir symbolique　ピエール・ブルデュー
120　106　有閑階級の理論ー制度の進化に関する経済学的研究　ソースティン・ヴェブレン

Googleが選ぶ思想書・哲学書ベスト１００

順位／著者名（アルファベット表記）／訳書名（邦訳が無い場合は原著名）

1　John Rawls　正義論
2　Michel Foucault　監獄の誕生ー監視と処罰
3　J.L. Austin　言語と行為
4　Ludwig Wittgenstein　哲学探求
5　Judith Butler　ジェンダー・トラブルーフェミニズムとアイデンティティの攪乱
6　William James　The Principles of Psychology（短縮版：心理学）
7　George Herbert Mead　精神・自我・社会
8　Max Weber　プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神
9　Adam Smith　国富論 国の豊かさの本質と原因についての研究
10　Antonio Gramsci　獄中ノート
11　John Dewey　経験と教育
12　Karl Popper　推測と反駁-科学的知識の発展-
13　H.L.A. Hart　法の概念
14　Gilbert Ryle　心の概念
15　Robert Nozick　アナーキー・国家・ユートピア
16　Theodor Adorno　権威主義的パーソナリティ
17　Charles Darwin　種の起源
18　´Emile Durkheim　宗教生活の原初形態
19　Richard Rorty　哲学と自然の鏡　7400
20　Frantz Fanon　地に呪われたる者
21　Karl Marx　資本論
22　John Searle　言語行為ー言語哲学への試論
23　David Hume　人間知性研究
24　Martin Heidegger　存在と時間
25　Sigmund Freud　快感原則の彼岸
26　Jerry Fodor　精神のモジュール形式ー人工知能と心の哲学
27　Saul Kripke　名指しと必然性ー様相の形而上学と心身問題
28　John Locke　人間悟性論
29　Willard van Orman Quine　ことばと対象
30　Alasdair MacIntyre　美徳なき時代
31　Thorstein Veblen　有閑階級の理論ー制度の進化に関する経済学的研究
32　Gayatri Chakravorty Spivak　サバルタンは語ることができるか
33　Thomas Hobbes　リヴァイアサン

34　Jeremy Bentham　道徳の原理
35　Jacques Derrida　グラマトロジーについて
36　J. S. Mill　自由論
37　Friedrich Engels　ドイツ・イデオロギー
38　Herbert Marcuse　一次元的人間
39　Immanuel Kant　純粋理性批判
40　Alfred North Whitehead　科学と近代世界
41　E. Nagel　科学の構造
42　G.E. Moore　倫理学原理
43　Charles Sanders Peirce　パース著作集
44　Thomas Nagel　どこでもないところからの眺め
45　Jean-Jacques Rousseau　社会契約論
46　Martin Buber　我と汝
47　Gaston Bachelard　空間の詩学
48　David K. Lewis　反事実的条件法
49　Ferdinand de Saussure　Curso de lingu"i'stica geral
50　Carl Jung　タイプ論
51　Jean-Paul Sartre　存在と無　現象学的存在論の試み
52　Simone de Beauvoir　第二の性
53　Hilary Putnam　理性・真理・歴史一内在的実在論の展開
54　Donald Davidson　行為と出来事
55　Bertrand Russell　プリンキピア・マテマティカ
56　Edmund Burke　フランス革命の省察
57　G.W.F. Hegel　精神現象学
58　Henry Sidgwick　Methods of Ethics（倫理学の諸方法）
59　W.D. Ross　The Right and the Good（善いということの本質）
60　J. L. Mackie　倫理学一道徳を創造する
61　Rene' Descartes　方法序説
62　Ernst Cassirer　象徴形式の形而上学
63　Karl Jaspers　精神病理学原論
64　R. M. Hare　道徳の言語
65　Friedrich Nietzsche　道徳の系譜学
66　Edmund Husserl　ヨーロッパ諸学の危機と超越論的現象学
67　Mary Wollstonecraft　女性の権利の擁護一政治および道徳問題の批判をこめて
68　Henri Bergson　創造的進化
69　A.O. Lovejoy　存在の大いなる連鎖
70　Hans Kelsen　法と国家の一般理論

71　Thomas Aquinas　神学大全
72　John Austin　The Province of Jurisprudence Determined（法学の領域の確定）
73　Alfred Tarski　Logic, Semantics, Metamathematics（論理、意味論、メタ数学）
74　P. F. Strawson　Freedom and Resentment and Other Essays　1200
75　John Calvin　キリスト教綱要
76　Isaac Newton　プリンシピアー自然哲学の数学的原理
77　Vilfredo Pareto　Corso Di Economia Politica（政治経済学教程）
78　Thomas Jefferson　ヴァジニア覚え書
79　Franz Brentano　Psychologie vom empirischen Standpunkt（経験的立場からの心理学）
80　Pierre Duhem　物理理論の目的と構造
81　Jane Addams　ハル・ハウスの20年
82　Rosa Luxemburg　資本蓄積論ー帝国主義の経済的説明への一つの寄与
83　Rudolf Carnap　Logische Syntax Der Sprache（言語の論理的統語論）
84　Susanne Langer　シンボルの哲学
85　Baron de Montesquieu　法の精神
86　Herbert Spencer　The Principles of Sociology（社会学原理）
87　Arthur Schopenhauer　意志と表象としての世界
88　Jules-Henri Poincare'　科学と仮説
89　David Malet Armstrong　A World of States of Affairs
90　C. D. Broad　The Mind and its Place in Nature
91　Slavoj Z(iz(ek　イデオロギーの崇高な対象
92　Auguste Comte　実証哲学
93　A.J. Ayer　知識の哲学
94　Soren Aabye Kierkegaard　おそれとおののき
95 Friedrich Schiller　U"ber die a"sthetische Erziehung des Menschen（人間の美的教育についての書簡）
96 Ludwig Feuerbach　キリスト教の本質
97 P.S. de Laplace　ラプラス 確率論 -確率の解析的理論
98 Frank P. Ramsey　Foundations of Mathematics and other Logical Essays（数学の基礎）
99 Karl Barth　教会教義学
100 William Godwin　政治的正義(財産論)

Googleが選ぶ２０世紀の名著１００選

順位／前回の順位／訳書名（邦訳が無い場合は英語書名）／著者名（アルファベット表記）／出版年

1 1　科学革命の構造　T. Kuhn 1962
2 2　正義論 J. Rawls 1971
3 --　Social Foundations of Thought and Action A. Bandura 1986
4 20　想像の共同体 B. Anderson 1983
5 3　制度・制度変化・経済成果 D. C. North 1990
6 30　幼児期と社会 E. H. Erickson 1950
7 6　集合行為論 M. Olson 1965
8 10　行為と演技 E. Goffman 1959
9 5　つきあい方の科学 R. Axelrod 1984
10 7　Mind in Society L. S. Vygotsky 1978
11 15 人間性の心理学 A. Maslow 1954
12 21 監獄の誕生 M. Foucault 1975
13 18 言語と行為 J. Austin 1960
14 9　レトリックと人生 G. Lakoff, M. Johns 1980
15 8　孤独なボウリング R. D. Putnam 2000
16 48 精神・自我・社会 G. H. Mead 1934
17 11 哲学探究 L. Wittgenstein 1969
18 38 文法理論の諸相 N. Chomsky 1965
19 14 民主主義の経済理論 A. Downs 1957
20 27 思考と言語 L. S. Vygotsky 1934
21 39 Outline of a Theory of Practice P. Bourdieu 1972
22 4 哲学する民主主義 R. D. Putnam 1993
23 40 危険社会 U. Beck 1986
24 67 モダニティと自己アイデンティティ A. Giddens 1991
25 17 論理と会話 P. Grice 1989
26 13 社会理論の基礎 J. Coleman 1990
27 37 ディスタンクシオン P. Bourdieu 1979
28 22 資本主義・社会主義・民主主義 J. A. Schumpeter 1942
29 59 行動の機構 D. O. Hebb 1949
30 61 社会理論と社会構造 R. K. Merton 1957
31 34 雇用、利子および貨幣の一般理論 J. M. Keynes 1935
32 36 科学的発見の論理 K. Popper 1935

33 24 The Rise of The Network Society　M. Castells 1996
34 41 現実の社会的構成　P. L.. Berger 1966
35 50 ジェンダー・トラブル　J. Butler 1990
36 55 母子関係の理論　J. Bowlby 1969
37 47 オリエンタリズム　E. Said 1978
38 19 ゲームの理論と経済行動　J. von Neumann, O 1944
39 16 生態学的視覚論　J. J. Gibson 1979
40 31 オーガニゼーションズ　H. Simon, J. March 1958
41 25 Society and the Adolescent Self-image　M. Rosenberg 1965
42 87 文明の衝突　S. P. Huntington 1996
43 42 統率・束縛理論　N. Chomsky 1981
44 49 Judgment under Uncertainty　D. Kahneman, P. Sl 1982
45 69 民主主義と教育　J. Dewey 1916
46 28 暗黙知の次元　M. Polanyi 1967
47 54 対人関係の心理学　F. Heider 1958
48 72 社会体系論　T. Parsons 1951
49 66 文法の構造　N. Chomsky 1957
50 71 プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神　M. Weber 1904
51 26 ミニマリスト・プログラム　N. Chomsky 1995
52 44 Human Problem Solving　H. Simon 1972
53 46 自由と経済開発　A. Sen 1999
54 57 精神の生態学　G. Bateson 1972
55 23 システムの科学　H. Simon 1969
56 43 社会的選択と個人的評価　K. Arrow 1951
57 91 論理哲学論考　L. Wittgenstein 1921
58 35 A Treatise on the Family　G. S. Becker 1981
59 52 経営行動　H. Simon 1947
60 74 ポスト・モダンの条件　J. F. Lyotard 1979
61 51 The Constitution of Society　A. Giddens 1984
62 84 グラムシ獄中ノート　A. Gramsci 1975
63 86 性の歴史　M. Foucault 1984
64 73 脱工業社会の到来　D. Bell 1973
65 62 経験と教育　J. Dewey 1938
66 83 知覚の現象学　M. M. Ponty 1945
67 53 スティグマの社会学　E. Goffman 1963
68 60 Architecture of Cognition　J. R. Anderson 1983
69 --- 知の考古学　M. Foucault 1970

70 33 ポストモダニティの条件　D. Harvey 1989
71 --- 科学と人間行動　B.F. Skinner 1965
72 75 心の概念　G. Ryle 1949
73 92 Political Liberalism　J. Rawls 1993
74 78 アナーキー・国家・ユートピア　R. Nozick 1974
75 --- 宗教生活の原初形態　E. Durkheim 1912
76 45 「信」無くば立たず　F. Fukuyama 1995
77 68 可能世界の心理　J. S. Bruner 1986
78 56 人的資本　G. S. Becker 1964
79 88 資本主義と自由　M. Friedman 1962
80 64 意味の復権　J. S. Bruner 1990
81 77 危険・不確実性および利潤　F. H. Knight 1921
82 89 真理と方法　H. G. Gadamer 1965
83 --- コミュニケイション的行為の理論　J. Habermas 1981
84 96 さまよえる近代　A. Appadurai 1996
85 97 哲学と自然の鏡　R. Rorty 1979
86 63 Bodies That Matter　J. Butler 1993
87 76 認知意味論　G. Lakoff 1987
88 85 言語行為　J. R. Searle 1969
89 --- 社会行動　G. C. Homans 1961
90 100 認識と関心　J. Habermas 1968
91 90 存在と時間　M. Heidegger 1926
92 58 精神のモジュール形式　J. Fodor 1983
93 80 個人的知識　M. Polanyi 1964
94 70 解明される意識　D. Dennett 1991
95 93 自己の分析　H. Kohut 1971
96 95 福利経済学　A. Pigou 1920
97 98 名指しと必然性　S. Kripke 1980
98 65 ミシェル・フーコー思考集成　M. Foucault 1980
99 --- ことばと対象　W.V.O. Quine　1960
100 --- Behavior of Organisms　B.F. Skinner 1938

Googleが選ぶ２０世紀の名著１００選

Googleが選ぶ２０世紀の名著１００選

順位／訳書名（邦訳が無い場合は英語書名）／著者名（アルファベット表記）／著者（カタカナ表記）／出版年／被引用数

1 科学革命の構造 T. Kuhn トーマス・クーン 1962 14000
2 正義論 J. Rawls ジョン・ロールズ 1971 7900
3 制度・制度変化・経済成果 D. C. North ダグラス・C．ノース 1990 7800
4 哲学する民主主義 R. D. Putnam ロバート・D．パトナム 1993 7200
5 付きあい方の科学 R. Axelrod ロバート・アクセルロッド 1984 7000
6 集合行為論 M. Olson マンサー・オルソン 1965 6500
7 Mind in Society L. S. Vygotsky エリ・エス・ヴィゴツキー 1978 5600
8 孤独なボウリング R. D. Putnam ロバート・D．パトナム 2000 5400
9 レトリックと人生 G. Lakoff, M. Johnson ジョージ・レイコフ、マーク・ジョンソン 1980 5300
10 行為と演技 E. Goffman アーヴィング・ゴッフマン 1959 5200
11 青色本・茶色本 L. Wittgenstein ルートヴィヒ・ウィトゲンシュタイン 1969 5100
12 人間行動の形成と自己制御 A. Bandura アルバート・バンデューラ 1971 5100
13 社会理論の基礎 J. Coleman ジェームズ・コールマン 1990 5000
14 民主主義の経済理論 A. Downs アンソニー・ダウンズ 1957 4900
15 人間性の心理学 A. Maslow アブラハム・H．マズロー 1954 4700
16 生態学的視覚論 J. J. Gibson ジェームズ・J．ギブソン 1979 4700
17 論理と会話 P. Grice ポール・グライス 1989 4600
18 言語と行為 J. Austin ジョン・L．オースティン 1960 4600
19 ゲームの理論と経済行動 J. von Neumann, O. Morgenstern フォン・ノイマン、オスカー・モルゲンシュテルン 1944 4500
20 想像の共同体 B. Anderson ベネディクト・アンダーソン 1983 4500
21 監獄の誕生 M. Foucault ミシェル・フーコー 1975 4400
22 資本主義・社会主義・民主主義 J. A. Schumpeter ヨーゼフ・A．シュンペーター 1942 4400
23 システムの科学 H. Simon ハーバート・サイモン 1969 4400
24 The Rise of the Network Society M. Castelles マニュエル・カステル 1996 4300
25 Society and the Adolescent Self-Image M. Rosenberg モリス・ローゼンバーグ 1965 4300
26 ミニマリスト・プログラム N. Chomsky ノーム・チョムスキー 1995 4200
27 思考と言語 L. S. Vygotsky エリ・エス・ヴィゴツキー 1934 4200
28 暗黙知の次元 M. Polanyi マイケル・ポランニー 1967 4200
29 近代とはいかなる時代か？ A. Giddens アンソニー・ギデンズ 1990 4200

30 幼児期と社会 E. H. Erickson エリック・H．エリクソン 1950 4200
31 オーガニゼーションズ H. Simon, J. March ハーバート・サイモン、ジェームズ・マーチ 1958 4200
32 経済発展の理論 J. A. Schumpeter ヨーゼフ・A．シュンペーター 1912 4100
33 ポストモダニティの条件 D. Harvey デヴィッド・ハーヴェイ 1989 4100
34 雇用・利子及び貨幣の一般理論 J. M. Keynes ジョン・M．ケインズ 1935 4100
35 A Treatise on the Family G. S. Becker ゲーリー・S．ベッカー 1981 4100
36 科学的発見の理論 K. Popper カール・ポパー 1935 3800
37 ディスタンクシオン P. Bourdieu ピエール・ブルデュー 1979 3800
38 文法理論の諸相 N. Chomsky ノーム・チョムスキー 1965 3700
39 Outline of a Theory of Practice P. Bourdieu ピエール・ブルデュー 1972 3700
40 危険社会 U. Beck ウルリッヒ・ベック 1986 3700
41 現実の社会的構成 P. L.. Berger ピーター・バーガー、トーマス・ルックマン 1966 3700
42 統率・束縛理論 N. Chomsky ノーム・チョムスキー 1981 3600
43 社会的選択と個人的評価 K. Arrow ケネス・アロー 1951 3600
44 Human Problem Solving H. Simon ハーバート・サイモン 1972 3600
45 「信」無くば立たず F. Fukuyama フランシス・フクヤマ 1995 3400
46 自由と経済開発 A. Sen アマルティア・セン 1999 3400
47 オリエンタリズム E. Said エドワード・サイード 1978 3400
48 精神・自我・社会 G. H. Mead ジョージ．H．ミード 1934 3300
49 Judgement under Uncertainty D. Kahneman, P. Slovic, A. Tversky ダニエル・カーネマン 1982 3300
50 ジェンダー・トラブル J. Butler ジュディス・バトラー 1990 3200
51 The Constitution of Society A. Giddens アンソニー・ギデンズ 1984 3200
52 経営行動 H. Simon ハーバート・サイモン 1947 3200
53 スティグマの社会学 E. Goffman アーヴィング・ゴッフマン 1963 3200
54 対人関係の心理学 F. Heider フリッツ・ハイダー 1958 3200
55 母子関係の理論 J. Bowlby ジョン・ボウルビィ 1969 3200
56 人的資本 G. S. Becker ゲーリー・S．ベッカー 1964 3200
57 精神の生態学 G. Bateson グレゴリー・ベイトソン 1972 3000
58 精神のモジュール形式 J. Fodor ジェリー・フォーダー 1983 2900
59 行動の機構 D. O. Hebb ドナルド・O．ヘッブ 1949 2900
60 The Architecture of Cognition J. R. Anderson ジョン・R・アンダーソン 1983 2900
61 社会理論と社会構造 R. K. Merton ロバート・K．マートン 1957 2800
62 経験と教育 J. Dewey ジョン・デューイ 1938 2700
63 Bodies that Matter J. Butler ジュディス・バトラー 1993 2700
64 意味の復権 J. S. Bruner ジェローム・S．ブルーナー 1990 2700

65 ミシェル・フーコー思考集成 M. Foucault ミシェル・フーコー 1980 2600
66 文法の構造 N. Chomsky ノーム・チョムスキー 1957 2600
67 モダニティと自己アイデンティティ A. Giddens アンソニー・ギデンズ 1991 2600
68 可能世界の心理 J. S. Bruner ジェローム・S．ブルーナー 1986 2600
69 民主主義と教育 J. Dewey ジョン・デューイ 1916 2500
70 解明される意識 D. Dennett ダニエル・デネット 1991 2500
71 プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神 M. Weber マックス・ウェーバー 1904 2500
72 社会体系論 T. Parsons タルコット・パーソンズ 1951 2500
73 脱工業社会の到来 D. Bell ダニエル・ベル 1973 2400
74 ポストモダンの条件 J. F. Lyotard ジャン・F．リオタール 1979 2300
75 心の概念 G. Ryle ギルバート・ライル 1949 2300
76 認知言語学 G. Lakoff ジョージ・レイコフ 1987 2300
77 危険・不確実性および利潤 F. H. Knight フランク・H．ナイト 1921 2300
78 アナーキー・国家・ユートピア R. Nozick ロバート・ノージック 1974 2200
79 言語を生みだす本能 S. Pinker スティーブン・ピンカー 1994 2200
80 個人的知識 M. Polanyi マイケル・ポランニー 1964 2200
81 アサイラム E. Goffman アーヴィング・ゴッフマン 1961 2200
82 The Power of Identity M. Castelles マニュエル・カステル 1997 2200
83 知覚の現象学 M. M. Ponty M．メルロ＝ポンティ 1945 2100
84 グラムシ獄中ノート A. Gramsci アントニオ・グラムシ 1975 2100
85 言語行為 J. R. Searle ジョン・R．サール 1969 2100
86 性の歴史 M. Foucault ミシェル・フーコー 1984 2100
87 文明の衝突 S. P. Huntington サミュエル・P．ハンチントン 1996 2100
88 資本主義と自由 M. Friedman ミルトン・フリードマン 1962 2100
89 真理と方法 H. G. Gadamer ハンス・G．ガダマー 1965 2000
90 存在と時間 M. Heidegger マルティン・ハイデガー 1926 2000
91 論理哲学論考 L. Wittgenstein ルートヴィヒ・ウィトゲンシュタイン 1921 2000
92 Political Liberalism J. Rawls ジョン・ロールズ 1993 2000
93 自己の分析 H. Kohut ハインツ・コフート 1971 2000
94 大転換 K. Polanyi カール・ポランニー 1944 2000
95 福利経済学 A. Pigou アーサー・C．ピグー 1920 1900
96 さまよえる近代 A. Appadurai アルジュン・アパデュライ 1996 1900
97 哲学と自然の鏡 R. Rorty リチャード・ローティ 1979 1900
98 名指しと必然性 S. Kripke ソール・A．クリプキ 1980 1900
99 自己の修復 H. Kohut ハインツ・コフート 1977 1900
100 認識と関心 J. Habermas ユルゲン・ハバーマス 1968 1900

『**Google**が選ぶ２０世紀の名著１００選』の英語版ＥＢＯＯＫ掲載書籍リスト

Google Scholarは、膨大な学術資料を簡単に検索できて、学術論文や学術書の被引用数を表示することができる。

そこでこの仕組みを用いて、直近1世紀（1911年～2010年）に出版された書籍の中で、どの本が多く引用されているかを100位まで調べる事が出来る。

インターネットにその結果を基にした『Googleが選ぶ20世紀の名著100選』の、順位、英語書名、日本語訳書名、著者名、出版年の一覧が閲覧できる。

他の書籍と同じように以下のような英語（年代＋著者名＋書名）＋日本語（著者名＋書名）のフォルダーに整理して年代の流れに沿った書籍とその関連情報の整理をした。

==========

Googleが選ぶ２０世紀の名著１００選（年代順）

1912 Emile Durkheim - The Elementary Forms of Religious Life
エミール・デュルケーム『宗教生活の原初形態』

1916 John Dewey - Democracy and Education
ジョン・デューイ『民主主義と教育』

1920 Arthur Pigou - The Economics of Welfare
アーサー・ピグー『福利経済学』

1921 Frank Knight - Risk, Uncertainty and Profit
フランク・ナイト『危険・不確実性および利潤』

1922 Ludwig Wittgenstein - Philosophical Investigations
ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』

1927 Martin Heidegger - Sein Und Zeit
マルティン・ハイデガー『存在と時間』

1930 Max Weber - The Protestant Ethic and the Spirit of Capitalism

マックス・ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』

1934 George Mead - Mind, Self, and Society
ジョージ・ミード『精神・自我・社会』

1935 Karl Popper - The Logic of Scientific Discovery
カール・ポパー『科学的発見の論理』

1936 John Maynard Keynes - The General Theory of Employment, Interest and Money
ケインズ『雇用・利子および貨幣の一般理論』

1938 John Dewey - Experience and Education
ジョン・デューイ『経験と教育』

1942 Joseph Schumpeter - Capitalism, Socialism and Democracy
ヨゼフ・シュムペーター『資本主義・社会主義・民主主義』

1949 Donald Hebb - The Organization of Behaviour
ドナルド・ヘッブ『行動の機構』脳メカニズムから心理学へ

1949 Gilbert Ryle - The Concept of Mind
ギルバート・ライル『心の概念』

1949 Robert Merton - Social Theory and Social Structure
ロバート・マートン『社会理論と社会構造』

1950 Erik Erikson - Childhood and Society
エリク・エリクソン『幼児期と社会』

1951 Kenneth Arrow - Social Choice and Individual Values
ケネス・アロー『社会的選択と個人的評価』

1951 Talcott Parsons - The Social System
タルコット・パーソンズ『社会体系論』

1953 Burrhus Skinner - Science and Human Behavior
バラス・スキナー『科学と人間行動』

1954 Abraham Maslow - Motivation and Personality
アブラハム・マスロー『人間性の心理学』

1954 Michel Foucault - Dits et Ecrits
『ミシェル・フーコー思考集成』全10巻

1957 Anthony Downs - An Economic Theory of Democracy
アンソニー・ダウンズ『民主主義の経済理論』

1957 Noam Chomsky - Syntactic Structures
ノーム・チョムスキー『文法の構造』

1958 Fritz Heider - The psychology of interpersonal relations
フリッツ・ハイダー『対人関係の心理学』

1958 Michael Polanyi - Personal Knowledge
マイケル・ポランニー『個人的知識』

1959 Erving Goffman - Presentation of Self in Everyday Life
アーヴィング・ゴッフマン『行為と演技』

1960 Hans Gadamer - Truth and Method
ハンス・ガダマー『真理と方法』

1960 Willard Quine - Word and Object
ウィラード・クワイン『ことばと対象』

1961 George Homans - Social Behavior
ジョージ・ホーマンズ『社会行動』

1962 John Austin - How to Do Things with Words
ジョン・オースティン『言語と行為』

1962 Maurice Ponty - Phenomenology of Perception
モーリス・ポンティ『知覚の現象学』

1962 Milton Friedman - Capitalism and Freedom
ミルトン・フリードマン『資本主義と自由』

1962 Thomas Kuhn - The Structure of Scientific Revolutions
トーマス・クーン『科学革命の構造』

1963 Erving Goffman - Stigma
アーヴィング・ゴッフマン『スティグマの社会学』

1964 Gary Becker - Human Capital
ゲーリー・ベッカー『人的資本』

1965 Mancur Olson - The Logic of Collective Action
マンカー・オルソン『集合行為論』

1965 Morris Rosenberg - Society and the Adolescent Self-image
モリス・ローゼンバーグ ≪翻訳見つからず≫

1965 Noam Chomsky - Aspects of the Theory of Syntax
ノーム・チョムスキー『文法理論の諸相』

1966 Peter Berger, Thomas Luckmann - The Social Construction of Reality
ピーター・バーガー／トーマス・ルックマン『現実の社会的構成 』

1969 Herbert Simon - The Science of The Artificial
ハーバート・サイモン『システムの科学』

1969 John Bowlby - Attachment theory
ジョン・ボウルビィ『母子関係の理論(愛着理論)』

1969 John Searle - Speech Acts
ジョン・サール『言語行為』言語哲学への試論

1969 Ludwig Wittgenstein - Blue and Brown Books
ルートヴィヒ・ウィトゲンシュタイン『青色本・茶色本』

1969 Michel Foucault - The Archaeology of Knowledge

ミシェル・フーコー『知の考古学』

1971 Heinz Kohut - The Analysis of the Self
ハインツ・コフート『自己の分析』

1971 John Rawls - A Theory of Justice
ジョン・ロールズ『正義論』

1972 Gregory Bateson - Steps to An Ecology of Mind
グレゴリー・ベイトソン『精神の生態学』

1972 Herbert Simon - Human Problem Solving
ハーバート・サイモン ≪問題解決：翻訳見つからず≫

1972 Saul Kripke - Naming and Necessity
ソール・クリプキ『名指しと必然性』

1973 Daniel Bell - The Coming of Post-Industrial Society
ダニエル・ベル『脱工業社会の到来』

1974 Robert Nozick - Anarchy, State, and Utopia
ロバート・ノージック『アナーキー・国家・ユートピア』

1975 Michel Foucault - Discipline and Punish The Birth of the Prison
ミシェル・フーコー『監獄の誕生』

1977 Pierre Bourdieu - Outline of a Theory of Practice
ピエール・ブルデュー　≪翻訳見つからず≫

1978 Edward Said - Orientalism
エドワード・サイード『オリエンタリズム』

1978 James Gibson - The Ecological Approach to Visual Perception
ジェームズ・ギブソン『生態学的視覚論』

1978 Lev Vygotsky - Mind in Society
レフ・ヴィゴツキー　≪翻訳見つからず≫

1979 Pierre Bourdieu - Distinction
ピエール・プルデュー『差別化』社会的判断力批判

1979 Richard Rorty - Philosophy and the Mirror of Nature
リチャード ローティ『哲学と自然の鏡』

1981 Jurgen Habermas - The Theory of Communicative Action
ユルゲン・ハーバーマス『コミュニケイション的行為の理論』

1981 Noam Chomsky - Lectures on Government and Binding
ノーム・チョムスキー『統率・束縛理論』

1981 Robert Axelrod - The Evolution of Cooperation
ロバート・アクセルロッド『つきあい方の科学』

1982 Daniel Kahneman, Paul Slovic, Amos Tversky - Judgment under Uncertainty
ダニエル・カーネマン ≪プロスペクト理論の展開：翻訳見つからず≫

1983 Benedict Anderson - Imagined Communities
ベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』

1983 Jerry Fodor - The Modularity of Mind
ジェリー・フォーダー『精神のモジュール形式』

1983 John Anderson - The architecture of cognition
認知アーキテクチャ≪翻訳見つからず≫

1983 Micheal Polanyi - The Tacit Dimension
マイケル・ポランニー『暗黙知の次元』

1984 Anthony Giddens - The Constitution of Society
アンソニー・ギデンズ ≪見つからず：ブレア政権の「第三の道」路線を支えた≫

1984 Jean Lyotard - The Postmodern Condition
ジャン・リオタール『ポスト・モダンの条件』

1984 Michel Foucault - The History of Sexuality
ミシェル・フーコー『性の歴史』

1986 Albert Bandura - Social Foundations of Thought and Action
アルバート・バンデューラ『社会的学習理論』

1986 Lev Vygotsky - Thought and Language
レフ・ヴィゴツキー『思考と言語』

1986 Ulrich Beck - Risk Society
ウルリヒ・ベック『危険社会』

1987 George Lakoff - Women, Fire, and Dangerous Things
ジョージ・レイコフ『認知意味論』

1987 Jerome Bruner - Actual Minds, Possible Worlds
ジェローム・ブルーナー『可能世界の心理』

1989 Paul Grice - Studies in the Way of Words
ポール・グライス『論理と会話』

1990 David Harvey - The Condition of Postmodernity
デヴィッド・ハーヴェイ『ポストモダニティの条件』

1990 Douglass North - Institutions, Institutional Change and Economic Performance
ダグラス・ノース『制度・制度変化・経済成果』

1990 James Coleman - Foundations of Social Theory
ジェームズ・コールマン『社会理論の基礎』

1991 Anthony Giddens - Modernity and Self-identity
アンソニー・ギデンズ『モダニティと自己アイデンティティ』

1991 Gary Becker - A Treatise on the Family
ゲーリー・ベッカー≪翻訳見つからず≫

1992 Daniel Dennett - Consciousness Explained

ダニエル・デネット『解明される意識』

1992 Francis Fukuyama - The End of History and the Last Man
フランシス・フクヤマ『「信」無くば立たず』

1993 Herbert Simon, James March - Organizations
ハーバート・サイモン、ジェームス・マーチ『オーガニゼーションズ』

1993 Jerome Bruner - Acts of Meaning
ジェローム・ブルーナー『意味の復権』

1993 John Rawls - Political Liberalism
ジョン・ロールズ ≪見つからず：政治的リベラリズム≫

1993 Judith Butler - Bodies that Matter
ジュディス・バトラー ≪翻訳見つからず≫

1993 Robert Putnam - Making Democracy Work Civic Traditions in Modern Italy
ロバート・パットナム『哲学する民主主義』

1993 Samuel Huntington - The Clash Of Civilizations
サミュエル・ハンチントン『文明の衝突』

1995 Noam Chomsky - The Minimalist Program
ノーム・チョムスキー『ミニマリスト・プログラム』

1995 Robert Putnam - Bowling Alone
ロバート・パットナム『孤独なボウリング』

1996 Arjun Appadurai - Modernity At Large
アルジュン・アパデュライ『さまよえる近代』

1997 Herbert Simon - Administrative Behavior
ハーバート・サイモン『経営行動』

1999 Amartya Sen - Development as Freedom
アマルティア・セン『自由と経済開発』

2003 George Lakoff, Mark Johnson - Metaphors We Live By
ジョージ・レイコフ、マーク・ジョンソン『レトリックと人生』

2003 Manuel Castells - The Internet Galaxy
マニュエル・カステル『インターネットの銀河系』

2006 Burrhus Skinner - Behavior of Organisms
バラス・スキナー　≪翻訳見つからず≫

2006 Judith Butler - Gender Trouble
ジュディス・バトラー『ジェンダー・トラブル』フェミニズムとアイデンティティの攪乱

2007 Von Neumann, Oskar Morgenstern - Theory of Games and Economic Behavior
フォン・ノイマン、オスカー・モルゲンシュテルン『ゲームの理論と経済行動』

2010 Antonio Gramsci - Prison Notebooks
アントニオ・グラムシ『グラムシ獄中ノート』

脳卒中と付き合う生活から引用

素粒子物理の本の掲載書籍リスト

★は一般読者向け書籍、★★は物理の好きな優秀な高校生向け、★★★は大学生向け、★★★★は大学院生向けである。

①から(50)は読む順番を内容と難易度から順番付けしたものである。

①ブログ タウ氏とヒッグスの神さま ★だが理解出来るには★★★
②ブログ 広江克彦 EMANの物理学講座 ★★★
③ブログ 山本健二の楽しい物理ノート ★★★
④ブログ 鳥居の素粒子物理学入門講座 ★★★
⑤前野昌弘の物理学講義テキスト 琉球大学 ★★★
⑥倉澤治樹の物理学講義テキスト 千葉大学 ★★★
⑦長島順清 大阪大学 島根大学素粒子の物理集中講義 ★★★
⑧素粒子物理学 山形大学★★★
⑨前野昌弘の量子場の理論入門 ★★★★
⑩2005 Stephen Hawking - A Briefer History of Time スティーヴン・ホーキング『ホーキング、宇宙のすべてを語る』 ★だが理解出来るには★★
⑪2002 Stephen Hawking - The Universe in a Nutshell スティーヴン・ホーキング『ホーキング 未来を語る』 ★だが理解出来るには★★
⑫2002 Frank Close, Michael Marten, Christine Sutton - The Particle Odyssey A Journey to the Heart of Matter ★だが理解出来るには★★
⑬2007 Frank Close - The New Cosmic Onion フランク・クローズ『宇宙という名の玉ねぎ：クォーク達と宇宙の素性』 ★だが理解出来るには★★
⑭2003 Martinus Veltman - Facts and Mysteries in Elementary Particle Physics マルティヌス・ヴェルトマン『素粒子世界における事実と謎』 ★★
⑮1991 W. S. C. Williams - Nuclear and Particle Physics ★★
⑯2003 Das & Ferbel - Introduction to Nuclear and Particle Physics ダス & ファーベル『素粒子・原子核物理学の基礎 -実験から統一理論まで』 ★★★
⑰2012 Sylvie Braibant et al. - Particles and Fundamental Interactions; An Introduction to Particle Physics ★★★
⑱2012 Riccardo D’Auria, Mario Trigiante - From Special Relativity To Feynman Diagrams; A Course Of Theoretical Particle Physics For Beginners ★★★
⑲2008 Brian Martin, Graham Shaw - Particle Physics 3e ★★★
⑳2008 Bogdan Povh, Klaus Rith, Christoph Scholz - Particles and Nuclei An Introduction to the Physical Concepts 6e B. ポッフ 他『素粒子・原子核物理入門』 ★★★
(21)2008 David Griffiths - Introduction to Elementary Particles 2e ★★★

(22)2007 Ernest Henley, Alejandro Garcia - Subatomic Physics 3e ★★★
(23)1984 Francis Halzen, Alan Martin - Quarks and Leptons F. ハルツェン, A.マーチン『クォークとレプトン』 ★★★
(24)2000 Fayyazuddin, Riazuddin - A Modern Introduction To Particle Physics, 2e
(25)2006 Robert Oerter - The Theory of Almost Everything; The Standard Model, the Unsung Triumph of Modern Physics
(26)2008 M. Robinson, K. Bland, G. Cleaver, J. Dittmann - A Simple Introduction to Particle Physics
(27)2011 Riazuddin - An Overview of Particle Physics and Cosmology ★★★
(28)1986 Kurt Gottfried, Victor Weisskopf - Concepts of Particle Physics ★★★
(29)2008 Paul Tipler, Ralph Llewellyn - Modern Physics 5e ★★★
(30)2000 Donald Perkins - Introduction to High Energy Physics, 4e ★★★
(31)2010 Martin Beech - The Large Hadron Collider; Unraveling the Mysteries of the Universe ★★★
(32)2009 Brian Martin - Nuclear and Particle Physics An Introduction 2e ★★★
(33)2002 J.R. Aitchison, A.J.G. Hey - Gauge Theories in Particle Physics 3e ★★★
(34)1997 Chris Quigg - Gauge Theories of the Strong, Weak and Electromagnetic Interactions ★★★★
(35)2010 Franz Mandl, Graham Shaw - Quantum Field Theory 2e F. マンドル, G. ショー『場の量子論』 ★★★
(36)1980 Claude Itzykson, lean-Bernard Zuber - Quantum Field Theory ★★★★
(37)1995 Michael Peskin, Daniel Schroeder - An Introduction to Quantum Field Theory ★★★★
(38)1996 Lewis Ryder - Quantum Field Theory ★★★★
(39)2010 Harvey Newman - Physics at the Large Hadron Collider
(40)2012 Tilman Plehn - Lectures on LHC Physics
(41)2007 Cottingham and Greenwood - An Introduction to the Standard Model of Particle Physics ★★★
(42)2010 Anthony Zee - Quantum Field Theory in a Nutshell 2ed ★★★
(43)2007 Walter Greiner, et al. - Quantum Chromodynamics 3ed
(44)2009 Robert Cahn, Gerson Goldhaber - The Experimental Foundations of Particle Physics ★★★
(45)2007 Helmut Wiedemann - Particle Accelerator Physics, 3rd Edition
(46)2008 Bettini - Introduction to Elementary Particle Physics ★★★
(47)2005 Christopher Foot - Atomic Physics
(38)2008 Steven Weinberg - Cosmology ★★★
(49)2010 Yorikiyo Nagashima - Elementary Particle Physics ★★★
(50)2011 Frank Close - The Infinity Puzzle; Quantum Field Theory and the Hunt for an Orderly Universe ★★

(50)2011 John Marburger - Constructing Reality; Quantum Theory and Particle Physics ★★
(50)2012 Ulrich Ellwanger - From the Universe to the Elementary Particles; A First Introduction to Cosmology and the Fundamental Interactions ★★★
(50)1986 Richard Rhodes - The making of the atomic Bomb リチャード ローズ『原子爆弾の誕生ー科学と国際政治の世界史』 ★★ピューリツァー賞を受けた有名な書籍

②と③と⑤は解りやすい物理学講座であって、Amazonで好評の書籍も出版されている。

脳卒中と付き合う生活から引用

ニューズウィークの「ベストブック１００」**EBOOKS**の掲載書籍リスト

米国の時事週刊誌ニューズウィークは1月１日、米ニューヨーク公共図書館とセント・ジョーンズ大学など10の主要機関が選んだ推薦図書のリストをもとに「ベストブック100」（Newsweek's Top 100 Books）を発表した。

他の書籍と同じように以下のような英語（年代＋著者名＋書名）＋日本語（著者名＋書名）のフォルダーに整理して年代の流れに沿った書籍の整理をした。

==========

1000BC The Old Testament
『旧約聖書』

900BC Homer - The Iliad and The Odyssey
ホメロス『イリアス、オデュッセイア』

450BC Herodotus - History
ヘロドトス『歴史』

450BC Thucydides - History of the Peloponnesian War
ツキディデス『ペロポネソス戦争の記録』

100BC The New Testament
『新約聖書』

397 Augustine of Hippo - Confessions
アウグスティヌス『告白』

1307 Dante Alighieri - The Divine Comedy
ダンテ・アリギエーリ『神曲』

1400 Geoffrey Chaucer - Canterbury Tales
ジェフレイ・チョーサー『カンタベリー物語』

1513 Niccolo Machiavelli - The Prince
ニッコロ・マキアヴェリ『君主論』

1603 William Shakespeare - Hamlet
ウィリアム・シェイクスピア『ハムレット』

1608 William Shakespeare - King Lear
ウィリアム・シェイクスピア『リア王』

1609 William Shakespeare - Sonnets
ウィリアム・シェイクスピア『ソネット』

1622 William Shakespeare - Othello
ウィリアム・シェイクスピア『オセロー』

1651 Thomas Hobbes - Leviathan
トマス・ホッブズ『リヴァイアサン』

1667 John Milton - Paradise Lost
ジョン・ミルトン『失楽園』

1726 Jonathan Swift - Gulliver's Travels
ジョナサン・スウィフト『ガリバー旅行記』

1762 Jean-Jacques Rousseau - Social Contract
ルソー『社会契約論』

1813 Jane Austen - Pride and Prejudice
ジェーン・オースティン『自負と偏見』

1818 Mary Shelley - Frankenstein
メアリー・シェリー『フランケンシュタイン』

1835 Alexis de Tocqueville - Democracy in America
トクヴィル『アメリカの民主政治』

1855 Walt Whitman - Leaves of Grass
ウォルト・ホイットマン『草の葉』ホイットマン詩集

1857 Gustave Flaubert - Madame Bovary
ギュスターヴ・フローベール『ボヴァリー夫人』

1859 Charles Darwin - On the Origin of Species
チャールズ・ダーウィン『種の起源』

1865 Leo Tolstoy - War and Peace
レオ・トルストイ『戦争と平和』

1867 Karl Marx - Capital; A Critique of Political Economy
マルクス『資本論』貨幣と労働の神話を解く

1874 George Eliot - Middlemarch
ジョージ・エリオット『ミドルマーチ』

1877 Leo Tolstoy - Anna Karenina
レオ・トルストイ『アンナ・カレーニナ』

1885 Mark Twain - The Adventures of Huckleberry Finn
マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』

1900 Joseph Conrad - Lord Jim
ジョセフ・コンラッド『ロード・ジム』

1900 Sigmund Freud - The Interpretation of Dreams
ジークムント・フロイト『夢の解釈』

1901 Rudyard Kipling - Kim
ジョセフ・キップリング『少年キム』

1902 Joseph Conrad - Heart of Darkness
ジョセフ・コンラッド『闇の奥』

1902 William James - The Varieties of Religious Experience
ウイリアム・ジェイムズ『宗教的経験の諸相』

1903 William DuBois - The Souls of Black Folk

ウィリアム・デュボイス『黒人のたましい』

1908 Kenneth Grahame - The Wind in the Willows
ケネス・グレーアム『たのしい川べ』

1913 David Lawrence - Sons and Lovers
デーヴィッド・ローレンス『息子と恋人』

1913 Marcel Proust - Remembrance of Things Past
マルセル・プルースト『見出された時』

1918 Henry Adams - The Education of Henry Adams
ヘンリー・アダムズ『ヘンリー・アダムズの教育』

1918 Lytton Strachey - Eminent Victorians
リットン・ストレイチー『ヴィクトリア朝偉人伝』

1920 Edith Wharton - The Age of Innocence
イーディス・ウォートン『無垢の時代』

1922 James Joyce - Ulysses
ジェイムズ・ジョイス『ユリシーズ』

1924 Edward Forster - A Passage to India
エドワード・フォースター『インドへの道』

1925 Francis Fitzgerald - The Great Gatsby
フランシス・フィッツジェラルド『華麗なるギャツビー』

1925 Theodore Dreiser - An American Tragedy
シオドア・ドライサー『アメリカの悲劇』

1925 Virginia Woolf - Mrs. Dalloway
ヴァージニア・ウルフ『ダロウェイ夫人』

1926 Alan Milne - Winnie-the-Pooh
アラン・ミルン『クマのプーさん』

1926 Ernest Hemingway - The Sun Also Rises
アーネスト・ヘミングウェイ『日はまた昇る』

1927 Virginia Woolf - To the Lighthouse
ヴァージニア・ウルフ『燈台へ』

1927 Willa Cather - Death Comes for the Archbishop
ウィラ・キャザー≪翻訳書無し≫

1929 Robert Graves - Goodbye to All That
ロバート・グレーヴズ『さらば古きものよ』

1929 William Faulkner - The Sound and the Fury
ウィリアム・フォークナー『響きと怒り』

1930 Dashiell Hammett - The Maltese Falcon
ダシール・ハメット『マルタの鷹』

1930 William Faulkner - As I Lay Dying
ウィリアム・フォークナー『死の床に横たわりて』

1932 Aldous Huxley - Brave New World
オルダス・ハックスリー『すばらしい新世界』

1932 William Faulkner - Light in August
ウィリアム・フォークナー『八月の光』

1934 Henry Miller - Tropic of Cancer
ヘンリー・ミラー『北回帰線』

1934 Robert Graves - I, Claudius
ロバート・グレーヴズ『この私、クラウディウス 』

1936 John Maynard Keynes - The General Theory of Employment, Interest and Money
ジョン・メイナード・ケインズ『雇用、利子、お金の一般理論』

1936 Margaret Mitchell - Gone with the Wind
マーガレット・ミッチェル『風と共に去りぬ』

1939 John Steinbeck - The Grapes of Wrath
ジョン・スタインベック『怒りのぶどう』

1939 Nathanael West - The Day of the Locust
ナサニエル・ウェスト『イナゴの日』

1939 Raymond Chandler - The Big Sleep
レイモンド・チャンドラー『大いなる眠り』

1940 Carson McCullers - The Heart is a Lonely Hunter
カーソン・マッカラーズ『心は孤独な狩人』

1940 Ernest Hemingway - For Whom the Bell Tolls
アーネスト・ヘミングウェイ『誰がために鐘は鳴る』

1940 Richard Wright - Native Son
リチャード・ライト『アメリカの息子』

1945 Evelyn Waugh - Brideshead Revisited
イーヴリン・ウォー『回想のブライズヘッド』

1945 George Orwell - Animal Farm
ジョージ・オーウェル『動物農場』

1946 Robert Warren - All the King's Men
ロバート・ウォーレン『すべて王の臣』

1948 Winston Churchill - The Second World War
ウィンストン・チャーチル『第二次世界大戦』

1949 George Orwell - Nineteen Eighty-Four
ジョージ・オーウェル『一九八四年』

1950 Clive Lewis - The Lion, the Witch and the Wardrobe

クライブ・ルイス『ライオンと魔女-ナルニア国ものがたり』

1951 Jerome Salinger - The Catcher in the Rye
ジェローム・サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』

1952 Elwyn White - Charlotte's Web
エルウィン・ホワイト『シャーロットのおくりもの』

1952 Ralph Ellison - Invisible Man
ラルフ・エリスン『見えない人間』

1953 James Baldwin - Go Tell It on the Mountain
ジェイムズ・ボールドウィン『山にのぼりて告げよ』

1954 John Tolkien - The Lord of the Rings
ジョン・トールキン『ロード・オブ・ザ・リング』

1954 William Golding - Lord of the Flies
ウィリアム・ゴールディング『蝿の王』

1955 Vladimir Nabokov - Lolita
ウラジーミル・ナボコフ『ロリータ』

1957 Jack Kerouac - On the Road
ジャック・ケルアック『路上』

1958 Chinua Achebe - Things Fall Apart
チヌア・アチェベ『崩れゆく絆』アフリカの悲劇的叙事詩

1958 Elie Wiesel - Night
エリ・ヴィーゼル『夜』

1958 John Galbraith - Teh Affluent Society
ジョン・ガルブレイス『ゆたかな社会』

1960 Harper Lee - To Kill a Mockingbird
ハーパー・リー『アラバマ物語』

1960 John Updike - Rabbit, Run
ジョン・アップダイク『走れウサギ』

1961 Joseph Heller - Catch-22
ジョーゼフ・ヘラー『キャッチ=22』

1962 Anthony Burgess - A Clockwork Orange
アントニイ・バージェス『時計じかけのオレンジ』

1962 Doris Lessing - The Golden Notebook
ドリス・レッシング『黄金のノート』

1962 Ken Kesey - One Flew Over the Cuckoo's Nest
ケン・キージー 『カッコーの巣の上で』

1962 Rachel Carson - Silent Spring
レイチェル・カールソン『沈黙の春』

1964 Mao Zedong - Quotations from Chairman Mao Tse-tung
毛沢東『毛主席語録』

1965 Alex Haley and Malcolm X - The Autobiography of Malcolm X
マルコム・X、アレックス・ヘイリィ『マルコムX自伝』

1965 Truman Capote - In Cold Blood
トルーマン・カポーティ 『冷血』

1966 Jean Rhys - Wide Sargasso Sea
ジーン・リース『サルガッソーの広い海』

1967 Gabriel Marquez - One Hundred Years of Solitude
ガブリエル・マルケス『百年の孤独』

1969 Kurt Vonnegut - Slaughterhouse-Five
カート・ヴォネガット『屠殺場5号』

1969 Philip Roth - Portnoy's Complaint
フィリップ・ロス『ポートノイの不満』

1977 Toni Morrison - Song of Solomon
トニ・モリスン『ソロモンの歌』

1981 Salman Rushdie - Midnight's Children
サルマン・ラシュディ『真夜中の子供たち』

1982 Alice Walker - The Color Purple
アリス・ウォーカー『カラーパープル』

1987 Toni Morrison - Beloved
トニ・モリスン『ビラヴド』

1989 Roger Penrose - The Emperor's New Mind
ロジャー・ペンローズ『皇帝の新しい心』

1995 Philip Pullman - His Dark Materials
フィリップ・プルマン『ライラの冒険』

脳卒中と付き合う生活から引用

インパクトファクターをつくったユージン・ガーフィールドが選ぶ世界の名著ベスト５０

インパクトファクター（文献引用影響率）とは、特定のジャーナル（学術雑誌）に掲載された論文が特定の年または期間内にどれくらい頻繁に引用されたかを平均値で示す尺度です。

（Googleが選ぶ世界の名著１２０冊（２０１２年版）と重複する書には「＊」マークをつけた）

順位／被引用数／訳書名（邦訳が無い場合は原題）／発表年／著者

1　855　科学革命の構造＊　1962　トーマス・クーン
2　710　ユリシーズ　1922　ジェイムズ・ジョイス
3　699　批評の解剖　1957　ノースロップ・フライ
4　668　哲学探究＊　1953　ルートヴィヒ・ウィトゲンシュタイン
5　640　文法理論の諸相＊　1965　ノーム・チョムスキー
6　488　言葉と物＊　1966　ミシェル・フーコー
7　475　グラマトロジーについて＊　1967　ジャック・デリダ
8　454　S/Zーバルザック『サラジーヌ』の構造分析　1970　ロラン・バルト
9　450　存在と時間＊　1927　マルティン・ハイデッガー
10　434　ヨーロッパ文学とラテン中世　1948　エルンスト・R・クルティウス
11　426　真理と方法＊　1960　ハンス・ゲオルク・ガダマ
12　418　正義論＊　1971　ジョン・ロールズ
13　416　フィネガンズ・ウェイク　1939　ジェイムズ・ジョイス
14　415　言語行為＊　1969　ジョン・サール
15　411　Structuralist Poetics　1975　ジョナサン・カラー
16　400　フィギュール　1966　ジェラール・ジュネット
17　399　The Sound Pattern of English　1968　ノーム・チョムスキー、モリス・ハレ
18　378　荒地　1922　T・S・エリオット
19　378　言語と行為＊　1962　ジョン・L．オースティン
20　370　ことばと対象＊　1960　ウィラード・クワイン
21　366　失われた時を求めて　1914　マルセル・プルースト
22　346　論理哲学論考　1922　ルートヴィヒ・ウィトゲンシュタイン
23　345　若い芸術家の肖像　1916　ジェイムズ・ジョイス
24　336　フィクションの修辞学　1961　ウェイン・C.ブース
25　335　構造人類学＊　1958　クロード・レヴィ=ストロース
26　331　夢解釈　1900　ジークムント・フロイト
27　319　昔話の形態学　1928　ウラジーミル・プロップ

28　297　一般言語学講義＊　1915　フェルディナン・ド・ソシュール
29　293　存在と無　1943　ジャン＝ポール・サルトル
30　292　名指しと必然性＊　1972　ソール・A・クリプキ
31　290　一般言語学の諸問題　1966　エミール・バンヴェニスト
32　286　推測と反駁　1963　カール・ポパー
33　280　エクリ　1966　ジャック・ラカン
34　272　エクリチュールと差異　1967　ジャック・デリダ
35　272　文法の構造＊　1957　ノーム・チョムスキー
36　262　Closing Statements: Linguistics and Poetics　1960　ロマン・ヤコブソン
37　255　Validity in Interpretation　1967　エリック・ドナルド・ハーシュ
38　253　野生の思考　1962　クロード・レヴィ=ストロース
39　245　エズラ・パウンド長詩集成　1925　エズラ・パウンド
40　244　現実の社会的構成＊　1966　ピーター・バーガー、トーマス・ルックマン
41　244　フランソワ・ラブレーの作品と中世・ルネサンスの民衆文化　1965　ミハイル・バフチン
42　236　現象と知覚　1945　モーリス・メルロー＝ポンティ
43　236　行為としての読書　1976　ヴォルフガング・イーザー
44　235　記号論　1976　ウンベルト・エーコ
45　235　ミメーシス　1946　エーリヒ・アウエルバッハ
46　235　客観的知識　1972　カール・ポパー
47　234　芸術と幻影　1960　エルンスト・ゴンブリッチ
48　228　イングランド労働者階級の形成　1964　エドワード・P.トムスン
49　226　認識と関心＊　1968　ユルゲン・ハーバーマス
50　225　科学的発見の論理＊　1935　カール・ポパー

コンピュータの名著１００冊

■歴史

1 計算機の歴史 パスカルからノイマンまで（ゴールドスタイン）
2 誰がコンピュータを発明したか（アリス・R・バークス／アーサー・W・バークス）
3 ワークステーション原典（Association for Computing Machinery）
4 UNIXの1／4世紀（ピーター・H・サリュース）
5 インターネットの起源（ケイティ・ハフナー／マシュー・ライアン）
6 コンピュータ史（小田徹）
7 計算機屋かく戦えり（遠藤 諭）
8 パソコン創世記（富田倫生）
9 情報の歴史 象形文字から人工知能まで（松岡正剛／編集工学研究所）

■人物・企業

10 マイクロコンピュータの誕生 わが青春の4004（嶋 正利）
11 IBMの息子 トーマス・J・ワトソン・ジュニア自伝（トーマス・J・ワトソン・ジュニア）
12 未来をつくった人々 ゼロックス・パロアルト研究所とコンピュータエイジの黎明（マイケル・ヒルツィック）
13 ブルーマジック : IBMニューマシン開発チームの奇跡（ジェイムズ・クポスキー／テッド・レオンシス）
14 マッキントッシュ物語 僕らを変えたコンピュータ（スティーブン・レヴィー）
15 アラン・ケイ（アラン・C. ケイ）
16 実録！天才プログラマー（スーザン・メイヤーズ）
17 マイクロソフト ソフトウェア帝国誕生の奇跡（ダニエル・イクビア／スーザン・L・ネッパー）
18 インサイドインテル（ティム・ジャクソン）
19 スーパーコンピュータを創った男 世界最速のマシンに賭けたシーモア・クレイの生涯（チャールズ・J.マーレイ）
20 フリーソフトウェアと自由な社会（リチャード・S・ストールマン）
21 それがぼくには楽しかったから（リーナス・トーバルズ）

■ドキュメンタリー

22 コンピュータ犯罪（ドン・パーカー）
23 暗号化 プライバシーを救った反乱者たち（スティーブン・レヴィー）

24 メディアの興亡（杉山隆男）
25 ハッカーズ（スティーブン・レヴィー）
26 ハッカーズ大辞典（エリック・S・レイモンド）
27 カッコウはコンピュータに卵を産む（クリフォード・ストール）
28 欺術 史上最強のハッカーが明かす禁断の技法（ケビン・ミトニック／ウィリアム・サイモン）

■思想

29 ゲーデル、エッシャー、バッハ（ダグラス・R・ホフスタッター）
30 心の社会（マーヴィン・ミンスキー）
31 コンピュータには何ができないか 哲学的人工知能批判（ヒューバート・L.・ドレイファス）
32 思考する機械コンピュータ（ダニエル・ヒリス）
33 メディア論（マーシャル・マクルーハン）
34 ビーイング・デジタル（ニコラス・ネグロポンテ）
35 生きのびるためのデザイン（ヴィクター・パパネック）
36 誰のためのデザイン？（ドナルド・A・ノーマン）

■数学／アルゴリズム

37 コンピュータの数学（グラハム／クヌース／パタシュニック）
38 いかにして問題をとくか （G・ポリヤ）
39 アルゴリズムの設計と解析（A.V.エイホ）
40 アルゴリズムとデータ構造（ニクラウス・ヴィルト）
41 データ構造とアルゴリズム（大野義夫）

■コンピュータサイエンス

42 やさしいコンピュータ科学（アラン・W・バイアーマン）
43 サイバネティックス 動物と機械における制御と通信（ノーバート・ウィーナー）
44 自己増殖オートマトンの理論（J.フォン・ノイマン）
45 情報と符号の理論（宮川 洋／原島 博／今井 秀樹）
46 コンピュータと認知を理解する（テリー・ウィノグラード）
47 認識と学習（安西祐一郎）
48 自然言語処理（長尾　真編）
49 エージェントアプローチ（スチュワート・ラッセル／ピーター・ノーヴィグ）

■アーキテクチャ／OS

50 わが友 石頭計算機（安野光雅）
51 コンピュータ・アーキテクチャ 設計・実現・評価の定量的アプローチ（デイビッド・A. パターソン／ジョン・L. ヘネシー）
52 コンピュータの構成と設計 ハードウエアとソフトウエアのインタフェース（ジョン・L. ヘネシー／デイビッド・A.・パターソン）
53 コンピュータグラフィックス 理論と実践（ジェームス・D・フォーリーほか）
54 TRONを創る（坂村 健）
55 OSの基礎と応用 設計から実装ーDOSから分散OS Amoebaまで（アンドリュー・S・タネンバウム）
56 MINIXオペレーティング・システム（アンドリュー・S・タネンバウム）
57 UNIX原典 AT&Tベル研のUNIX開発者自身によるUNIX公式解説書（AT&T Bell研究所 編）
58 UNIX4.3BSDの設計と実装（サミュエル・J・リーファー／ジョン・S・クオーターマン／マイケル・J・カレルズ／マーシャル・K・マクシック）
59 Lions' Commentary on UNIX（ジョン・ライオンズ）

■コンパイラ／言語

60 コンパイラ・原理・技法・ツール（A・V・エイホ／R・セシィ／J・D・ウルマン）
61 コンパイラの構成と最適化（中田育男）
62 プログラミング言語C（ブライアン・W・カーニハン／デニス・M・リッチー）
63 COMMON LISP（ガイ・L・Jr・スティール）
64 はじめて読むマシン語（村瀬康治）
65 プログラミング言語Java （ケン・アーノルド／デビッド・ホームズ／ジェームズ・ゴスリン）
66 プログラミングPerl（ラリー・ウォール／ジョン・オーワント／トム・クリティアンセン）
67 プログラミング言語C++（B・ストラウストラップ）
68 Effective C++（スコット・メイヤーズ）
69 オブジェクト指向スクリプト言語Ruby（まつもとゆきひろ、石塚圭樹）

■プログラミング

70 計算機プログラムの構造と解釈（ジェラルド・J・サスマン／ジュリー・サスマン／ハロルド・アベルソン）
71 プログラミング作法（ブライアン・W・カーニハン／ロブ・パイク）
72 UNIXプログラミング環境（ブライアン・W・カーニハン／ロブ・パイク）
73 構造化プログラミング（エドガー・W・ダイクストラ／C・A・R・ホーア／O・J・ダール）
74 プログラミング原論 いかにしてプログラムをつくるか（エドガー・W・ダイクストラ）

75 文芸的プログラミング（ドナルド・E・クヌース）
76 準数値算法／算術演算(The Art of Programmingシリーズ）（ドナルド・E・クヌース）
77 TEXブック コンピュータによる組版システム（ドナルド・E・クヌース）
78 UNIXネットワークプログラミング （W・リチャード・スティーブンス）
79 珠玉のプログラミング（ジョン・ベントレー）
80 プログラミングWindows（チャールズ・ペゾルド）
81 デザインパターン改訂版（エリック・ガンマ／ラルフ・ジョンソン／リチャード・ヘルム／ジョン・ブリシディーズ）
82 詳説正規表現（ジェフリーE・F・フリードル）
83 CJKV日中韓越情報処理 （ケン・ランディ）
84 Java言語で学ぶデザインパターン入門（結城 浩）
85 憂鬱なプログラマのためのオブジェクト指向開発講座（Tucker!）
86 XMLとJavaによるWebアプリケーション開発（丸山 宏／浦本直彦／アンディ・クラーク／田村健人／村田 真）
87 C言語による最新アルゴリズム事典（奥村晴彦）

■ソフトウェア開発

88 スーパーエンジニアへの道（ジェラルド.M.ワインバーグ）
89 ピープルウェア（トム・デマルコ／ティモシー・リスター）
90 人月の神話（フレデリック・フィリップス-ジュニア・ブルックス）
91 ソフトウェア工学ー理論と実践（シャリ・ローレンス・プリーガー）
92 オブジェクト指向に強くなる（青山幹雄／中谷多哉子）
93 データベース・システムの原理（J・D・ウルマン）
94 データベース・システム概論（クリスチャン・デート）
95 トランザクション処理 概念と技法（ジム・グレイ／アンドレアス・ロイター）
96 コンピュータ・ネットワーク（アンドリュー・S・タネンバウム）
97 Webの創成 World Wide Webはいかにして生まれどこに向かうのか（ティム・バーナーズ＝リー）
98 TCP／IPによるネットワーク構築（ダグラス・E・コマー）
99 詳説イーサネット（チャールズ・E.・スパージェン）
100 PGP - 暗号メールと電子署名（シムソン・ガーフィンケル）

『文庫・新書による「文化、言語、文学」』の掲載書籍リスト

◆絵画史、絵画論

・高階秀爾『近代絵画史（上）（下）』中公新書1975年

同じ著者の本に『20 世紀美術』、『ピカソ剽窃の論理』、『世紀末芸術』（以上、ちくま学芸文庫）、『日本近代美術史論』（講談社学術文庫）等もある。

・本江邦夫『中・高校生のための現代美術入門●▲■の美しさって何？』平凡社ライブラリー2003年

・ケネス・クラーク『絵画の見かた』高階秀爾訳白水Uブックス2003年

・山梨俊夫『現代絵画入門』中公新書1999年

・谷川渥『鏡と皮膚ー芸術のミュトロギア』ちくま学芸文庫1994年

◆絵画について語る、絵画をみる

・ディドロ『絵画について』佐々木健一訳岩波文庫2005年

・喜安朗編『ドーミエ風刺画の世界』岩波文庫2002年

・ボードレール『ボードレール批評＜１＞美術批評（１）』阿部良雄訳ちくま学芸文庫1999年

・ヴァルター・ベンヤミン『図説写真小史』久保哲司編訳ちくま学芸文庫1998年

・ジョン・バージャー『見るということ』飯沢耕太郎監修笠原智子訳ちくま学芸文庫2005年

・赤瀬川原平『超芸術トマソン』ちくま文庫1987年

・港千尋『群衆論』ちくま学芸文庫2002年

・伊藤俊治『20世紀写真史』ちくま学芸文庫1992年

★ロラン・バルト『明るい部屋?写真についての覚書』花輪光訳みすず書房1985年

★スーザン・ソンタグ『写真論』近藤耕人訳晶文社1979年

演劇

★ピーター・ブルック『なにもない空間』高橋康也、喜志哲雄訳昌文選書1971年

舞踏

・ポール・ヴァレリー『エウパリノス・魂と舞踏、樹についての対話』岩波文庫2008年

★ゴーチエ、ヴァレリー、マラルメ『舞踊評論』井村実名子、松浦寿輝、渡邊守章訳新書館1994年

音楽

・芥川也寸志『音楽の基礎』岩波新書1971年

・小泉文夫『音楽の根源にあるもの』平凡社ライブラリー1994年

・戸口幸策『オペラの誕生』平凡社ライブラリー2006年

・岡田暁生『西洋音楽史ー「クラシック」の黄昏』中公新書2005年

『オペラの運命ー十九世紀を魅了した「一夜の夢」』（中公新書2001年）

・マルセルビッチ、ボンフィス『フーガ』余田安広訳文庫クセジュ1986年

・オリヴィエ・アラン『和声の歴史』永富正之、二宮正之訳文庫クセジュ1969年

・小沼純一編『武満徹エッセイ選ー言葉の海へ』ちくま学芸文庫2008年

『武満徹対談選ー仕事の夢夢の仕事』

・吉田進『ラ・マルセイエーズ物語ー国歌の成立と変容』中公新書1994年

・樋口隆一『バッハ』（カラー版作曲家の生涯）新潮文庫1985年

・平野昭『ベートーヴェン』（カラー版作曲家の生涯）新潮文庫1985年

・遠山一行『ショパン』（カラー版作曲家の生涯）新潮文庫1988年

・三宅幸夫『ブラームス』（カラー版作曲家の生涯）新潮文庫1986年

・磯山雅『J・S・バッハ』講談社現代新書1990年

・吉田秀和『モーツァルト』講談社学術文庫1990年

・『新編ベートーヴェンの手紙（上）（下）』小松雄一郎編訳岩波文庫1982年

・ロマン・ロラン『ベートーヴェンの生涯』岩波文庫1965年

・シューマン『音楽と音楽家』吉田秀和訳岩波文庫1958年

★若林忠宏『世界の民族音楽辞典』東京堂出版2005年

★水野信男他編『アラブの音文化』スタイルノート2010年

★水野信男『中東・北アフリカの音を聴く一民族音楽学者のフィールドノート』スタイルノート2008年

★ボボノフ『新版ロシア民族音楽物語』広瀬信雄訳新読書社2000年

映画

・中条省平『フランス映画史の誘惑』集英社新書2003年

・蓮實重彦『映像の詩学』ちくま学芸文庫2002年

★ドゥルーズ『シネマ１運動イメージ』財津理、齋藤範訳叢書・ウニベルシタス法政大学出版局2008年

★ドゥルーズ『シネマ２時間イメージ』宇野邦一他訳叢書・ウニベルシタス法政大学出版局2006年

★J. オーモン、M. マリー、A. ベルガラ、M. ヴェルネ『映画理論講義ー映像の理解と探究のために』武田潔訳勁草書房2000年

★ルイスジアネッティ『映画技法のリテラシー〈1〉映像の法則』、『映画技法のリテラシー〈2〉物語とクリティック』堤和子、堤龍一郎、増田珠子訳フィルムアート社2004年

★デヴィッドボードウェル、クリスティントンプソン『フィルム・アートー映画芸術入門』藤木秀朗、笹川慶子、飯岡詩朗、板倉史明、北野圭介、北村洋訳名古屋大学出版会2007年

★スティーブン・D. キャッツ『映画監督術SHOT BY SHOT』、『映画監督術〈2〉cinematic motion』津谷祐司訳フィルムアート社1996年

★ジェイムズ・モナコ『映画の教科書ーどのように映画を読むか』岩本憲児訳フィルムアート社1983年

★James Monaco, How to Read a Film: Movies, Media, and Beyond: Art, Technology, Language, History, Theory. Oxford Univ. Pr.; 4 Rev. Exp., 2009.

・四方田犬彦『日本映画史100 年』集英社新書

★熊倉洋介他『カラー版西洋建築様式史』美術出版社2010年

・藤森照信『日本の近代建築（上）（下）』岩波新書1993年

・酒井健『ゴシックとは何かー大聖堂の精神史』ちくま学芸文庫2006年

・レム・コールハース『錯乱のニューヨーク』鈴木圭介訳ちくま学芸文庫1999年

・原広司『空間ー機能から様相へ』岩波現代文庫2007年

★ル・コルビュジェ『建築をめざして』吉坂隆正訳SD選書鹿島出版会1992年

★R・ヴェンチューリ『建築の多様性と対立性』伊藤公文訳SD選書鹿島出版会1992年

料理・美食

・マーヴィン・ハリス『食と文化の謎』板橋作美訳岩波現代文庫1988年

・西川恵『エリゼ宮の食卓ーその饗宴と美食外交』新潮文庫1996年

・ブリア・サヴァラン『美味礼讃（上）（下）』関根秀雄、戸部松実訳岩波文庫1967年

★『世界の食文化全20 巻＋別巻』農山漁村文化協会2003／2009年

★北山晴一『美食の社会史』朝日選書朝日新聞社1991年

★レベッカ・L・スパング『レストランの誕生ーパリと現代グルメ文化』小林正己訳青土社2001年

★アントニー・ローリー『美食の歴史』富樫櫻子訳創元社1996年

★沼野恭子『ロシア文学の食卓』NHKブックス2009年

服飾・装飾

・鷲田清一『モードの迷宮』ちくま学芸文庫1996年

・鷲田清一『ちぐはぐな身体ーファッションって何？』ちくま文庫2005年

★北山晴一『おしゃれの社会史』朝日選書朝日新聞社1991年

★フィリップ・ペロー『衣服のアルケオロジー』大矢タカヤス訳文化出版局1985年

★パスカル・セッセ『服飾の歴史ーその神秘と科学』日向あき子訳美術選書美術出版社1964年

・オーギュスト・ラシネ『民族衣装』マールカラー文庫1994年

・オーギュスト・ラシネ『続民族衣装』マールカラー文庫2009年

『世界装飾図』（マールカラー文庫）

・H・ドイメッチュ『文様博物館』マールカラー文庫1995年

言語、ことば

・サピア『言語』安藤貞雄訳岩波文庫1998 年（Edward SAPIR: Language, 1921.）

・イェスペルセン『文法の原理（上）（中）（下）』安藤貞雄訳岩波文庫2006 年（Otto JESPERSEN: The Philosophy of Grammar, 1924.）

同著者の『言語』（Language, 1922）

・ウォーフ『言語・思考・現実』池上嘉彦訳講談社学術文庫1993 年（Benjamin Lee WHORF: Language, Thought and Reality: Selected Writings, 1956.）

・ヴィトゲンシュタイン『論理哲学論考』野矢茂樹訳岩波文庫2003 年（Ludwig WITTGENSTEIN: Tractatus logico-philosophicus, 1922, 1933.）

・カッシラー『シンボル形式の哲学第一巻言語』生松敬三、木田元訳岩波文庫1989年（Ernst CASSIRER: Die Philosophie der symbolischen Formen, Bd. I. Die Sprache, 1923.）

・ピアジェ『構造主義』滝沢武久、佐々木明訳文庫クセジュ1970 年（Jean PIAGET: Le Structuralisme, 1968.）

・山鳥重『ヒトはなぜことばを使えるか』講談社現代新書1998年

・正高信男『子どもはことばをからだで覚える』中公新書2001年

・川島隆太、安達忠夫『脳と音読』講談社現代新書2004年

・高津春繁・斎藤忍随『ギリシア・ローマ古典文学案内』岩波文庫1963年

・渡辺一夫・鈴木力衛『増補フランス文学案内』岩波文庫1990年

・手塚富雄・神品芳夫『増補ドイツ文学案内』岩波文庫1993年

・藤沼貴・小野理子・安岡治子『新版ロシア文学案内』岩波文庫2000年

・串田孫一『ギリシア神話』ちくま文庫1990年（編集部注：図書館の所蔵は単行本）

・ピエール・グリマル『ラテン文学史』藤井昇、松原秀一訳文庫クセジュ1966年

同じ著者がローマ時代の愛の諸相を同じく多方面から描いた『ローマの愛』も興味深い。

・ジャン・カン『スペイン文学史』会田由訳文庫クセジュ1956年

・ジャック・ジョゼ『ラテンアメリカ文学史』高見英一、鼓直訳文庫クセジュ1975年

・ルネ・ラルー『英文学史』吉田健一訳文庫クセジュ1952年

・白川静『中国の古代文学（一）（二）』中公文庫1976年

同じ著者に『中国の神話』（中公文庫）もある。

★宮本正興『文化の解放と対話ーアフリカ地域研究への言語文化論的アプローチ』第三書館2002年

★宮本正興『文学から見たアフリカ』第三書館1989年

・吉本隆明『読書の方法』光文社文庫2007年（知恵の森文庫版2006年）

吉本隆明『定本言語にとって美とは何か』（角川ソフィア文庫2001年)

・澁澤龍彦『偏愛的作家論』河出文庫1997年

・茨木のり子『詩のこころを読む』岩波ジュニア新書1979年

・瀬田貞二『幼い子の文学』中公新書1980年

★宮川健郎『現代児童文学の語るもの』NHKブックス1996年

・吉本隆明『詩の力』新潮文庫2009年

・廣野由美子『批評理論入門ー『フランケンシュタイン』解剖講義』中公新書2005年

・テリー・イーグルトン『新版現代批評理論への招待』大橋洋一訳岩波書店1997年

・ジョナサン・カラー『１冊でわかる文学理論』荒木映子、富山太佳夫訳岩波書店2003年

・前田愛『都市空間のなかの文学』ちくま学芸文庫1992年

『文学テクスト入門』（ちくま学芸文庫1993年）

参照している他の書物をひもときたい――ロラン・バルトの『エッフェル塔』『ラシーヌ論』、ベンヤミン『パリー19 世紀の首都』、ミッシェル・フーコー『監獄の誕生』、ジョルジュ・プーレ『円環の変貌』、ガストン・バシュラール『空間の詩学』、O・F・ボルノウの『人間と空間』など。

・アウエルバッハ『ミメーシス（上）（下）』篠田一士、川村二郎訳ちくま学芸文庫1994年

・ジョルジュ・ルカーチ『小説の理論』原田義人訳ちくま学芸文庫1994年

・M・バフチン『小説の言葉』伊東一郎訳平凡社ライブラリー1996年

・M・バフチン『ドストエフスキーの詩学』望月哲男、鈴木淳一訳ちくま学芸文庫1995年

・トドロフ『幻想文学論序説』三好郁朗訳創元ライブラリ東京創元社1999年

・ウラジーミル・プロップ『魔法昔話の研究―口承文芸学とは何か』齋藤君子訳講談社学芸文庫2009年

★ウラジーミル・プロップ『昔話の形態学』北岡誠司、福田美智代訳書肆風の薔薇1987年

★『フロイト全集〈17〉1919 - 1922年―不気味なもの、快原理の彼岸、集団心理学』須藤訓任、藤野寛訳岩波書店2006年

★ノースロップ・フライ『批評の解剖』海老根宏訳叢書・ウニベルシタス法政大学出版会1980年

★ロラン・バルト『S／Z―バルザック『サラジーヌ』の構造分析』沢崎浩平訳みすず書房1973年

★ウンベルト・エーコ『物語における読者』篠原資明訳青土社2003年

エーコ『開かれた作品』（1962 年著篠原資明、和田忠彦訳青土社新装版2002年

★ジェラール・ジュネット『パランプセスト一第二次の文学』和泉涼一訳水声社1995年

★ジェラルド・プリンス『物語論の位相一物語の形式と機能』遠藤健一訳松柏社叢書一言語科学の冒険松柏社1996年

★ショシャーナ・フェルマン『狂気と文学的事象』土田知則訳水声社1993年

★アントワーヌ・コンパニョン『文学をめぐる理論と常識』中地義和、吉川一義訳岩波書店2007年

・アンリ・ミットラン『ゾラと自然主義』佐藤正年訳文庫クセジュ1999年

・ベアトリス・ディディエ『フランス革命の文学』小西嘉幸訳文庫クセジュ1991年

・J-L.スタインメッツ『幻想文学』中島さおり訳文庫クセジュ1993年

・浦雅春『チェーホフ』岩波新書2004年

・水野忠夫『マヤコフスキイ・ノート』平凡社ライブラリー2006年

・亀山郁夫『甦るフレーブニコフ』平凡社ライブラリー2009年

・ハミルトン・A・R・ギブ『アラビア人文学』井筒豊子訳講談社学術文庫1991年

・井筒俊彦『イスラーム哲学の原像』岩波新書1980年

・井筒俊彦『ロシア的人間』中公文庫1988年

文学作品（詩・小説・戯曲・評論）

◆インド

・『リグ・ヴェーダ讃歌』辻直四郎訳岩波文庫1970年

・『アタルヴァ・ヴェーダ讃歌』辻直四郎訳岩波文庫1979年

・『サンスクリット原典全訳・マヌ法典』渡瀬信之訳中公文庫1991年

・『カウティリヤ実利論（上）（下）』上村勝彦訳岩波文庫1984年

・林隆夫『インドの数学ーゼロの発明』中公新書1993年

・『原典訳マハーバーラタ第１－８巻』上村勝彦訳ちくま学芸文庫2002／2005年

・上村勝彦『インド神話ーマハーバーラタの神々』ちくま学芸文庫2003年

・『バガヴァッド・ギーター』上村勝彦訳岩波文庫1992年

・上村勝彦『バガヴァッド・ギーターの世界』ちくま学芸文庫2007年

・『ナラ王物語ーダマヤンティー姫の数奇な生涯』鎧淳訳岩波文庫1989年

・『仏弟子の告白ーテーラガーター』中村元訳岩波文庫1982年

・『尼僧の告白ーテーリーガーター』中村元訳岩波文庫1982年

・『ジャータカ物語ーインドの古いおはなし』辻直四郎、渡辺照宏訳岩波少年文庫2006年

・カーリダーサ『シャクンタラー姫』辻直四郎訳岩波文庫1977年

・カーリダーサ『公女マーラヴィカーとアグニミトラ王他一篇』大地原豊訳岩波文庫1989年

・『カター・サリット・サーガラインド古典説話集１－４』岩本裕訳岩波文庫1954／1961年

・ナーラーヤナ『ヒトーパデーシャー処世の教え』金倉圓照、北川秀則訳岩波文庫1968年

・『タゴール詩集ギーターンジャリ』渡辺照宏訳岩波文庫1977年

・ジュンパ・ラヒリ『停電の夜に』小川高義訳新潮文庫2003年

・ジュンパ・ラヒリ『その名にちなんで』小川高義訳新潮文庫2007年

◆中国

・魯迅『阿Q正伝・狂人日記他十二篇』竹内好訳岩波文庫1981年

・老舎『駱駝祥子ーらくだのシアンツ』立間洋介訳岩波文庫1980年

★ダイ・シージエ『バルザックと小さな中国のお針子』新島進訳早川書房2002年

◆ロシア

・ゴーゴリ『死せる魂』平井肇、横田瑞穂訳岩波文庫1977年

・ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』亀山郁夫訳光文社古典新訳文庫2006／2007年

・アファナーシエフ『ロシア民話集（上・下）』中村喜和編訳岩波文庫1987年

・プーシキン『大尉の娘』神西清訳岩波文庫1939 / 1959年

・レールモントフ『現代の英雄』中村融訳岩波文庫1981年

・ゴーゴリ『鼻／外套／査察官』浦雅春訳光文社古典新訳文庫2006年

・ドストエフスキー『罪と罰』亀山郁夫訳光文社古典新訳文庫2008-2009年

・トルストイ『幼年時代』原卓也訳新潮文庫1973年

・トルストイ『アンナ・カレーニナ』中村融訳岩波文庫1989年

・トルストイ『イワン・イリイチの死／クロイツェル・ソナタ』望月哲男訳光文社古典新訳文庫2006年

・トゥルゲーネフ『初恋』沼野恭子訳光文社古典新訳文庫2006年

・チェーホフ『かもめ』浦雅春岩波文庫2010年

『桜の園』（湯浅芳子訳、小野理子訳）（岩波文庫）

・オシップ・マンデリシュターム『石／エッセイ対話者について』早川眞理訳群像社ライブラリー1998年

・ミハイル・ブルガーコフ『巨匠とマルガリータ（上）（下）』法木綾子訳群像社ライブラリー2000年

・ザミャーチン『われら』川端香男里訳岩波文庫1992年

・ヴィクトル・ペレーヴィン『虫の生活』吉原深和子訳群像社ライブラリー1997年

・リュドミラ・ウリツカヤ『それぞれの少女時代』沼野恭子訳群像社ライブラリー2006年

★ヨシフ・ブロツキイ『私人――ノーベル賞受賞講演――』沼野充義訳群像社1996年

【ロシア？】※アメリカ移住直前にパリで英語により執筆。出版はアメリカ。

・ナボコフ『セバスチャン・ナイトの真実の生涯』富士川義之訳講談社文芸文庫1999年

◆フランス領マルティニーク

★ラファエル・コンフィアン『コーヒーの水』塚本昌則訳紀伊国屋書店1999年

◆ナイジェリア

★『アフリカの日々／やし酒飲み』横山貞子、土屋哲訳池澤夏樹=個人編集世界文学全集河出書房新社2008年

◆イタリア

・ダンテ『神曲（全３冊）』平川祐弘訳河出文庫1992年

・ペトラルカ『わが秘密』近藤恒一訳岩波文庫1996年

・ペトラルカ『無知について』近藤恒一訳岩波文庫2010年

・ボッカッチョ『デカメロン』河島英昭訳講談社文芸文庫1999年

・エドモンド・デ・アミーチス『クオーレ』和田忠彦訳平凡社ライブラリー2007年

★タブッキ『インド夜想曲』須賀敦子訳白水社Uブックス1993年

・イタリア、人、書物などをめぐる須賀敦子の随筆『須賀敦子全集』（全８巻、別巻１、河出文庫）

・イタロ・カルヴィーノ『宿命の交わる城』河島英昭訳河出文庫2004年

イタロ・カルヴィーノ『冬の夜ひとりの旅人が』（脇巧訳、ちくま文庫）

イタロ・カルヴィーノ『むずかしい愛』（和田忠彦訳、岩波文庫）

・ガブリエーレ・ダヌンツィオ『死の勝利（上）（下）』野上素一訳岩波文庫1991年

・アルベルト・モラヴィア『倦怠』河盛好蔵、脇巧訳河出文庫2000年

・チェーザレ・パヴェーゼ『美しい夏』河島英昭訳岩波文庫2006年

・チェーザレ・パヴェーゼ『故郷』河島英昭訳岩波文庫2003年

・プリモ・レーヴィ『天使の蝶』関口英子訳光文社古典新訳文庫2008年

『アウシュヴィッツは終わらない―あるイタリア人生存者の考察』（朝日選書）

◆フランス

・ベディエ編『トリスタン・イズー物語』佐藤輝夫訳岩波文庫1985年

・マリー・ド・フランス『十二の恋の物語』月村辰雄訳岩波文庫1988年

・モンテーニュ『エセー（全６冊）』原二郎訳岩波文庫1965／1967年

・ラシーヌ『フェードル／アンドロマック』渡辺守章訳岩波文庫1993年

・ラシーヌ『ブリタニキュス／ベレニス』渡辺守章訳岩波文庫2008年

・コルネイユ『嘘つき男・舞台は夢』岩瀬孝訳岩波文庫2001年

・モリエール『人間ぎらい』（新潮文庫）『タルチュフ』『ドン・ジュアン』『守銭奴』『孤客』『病は気から』『いやいやながら医者にされ』『町人貴族』『スカパンの悪だくみ』（岩波文庫）

・ヴォルテール『カンディード他五篇』植田裕次訳岩波文庫2005年

・レチフ・ド・ラ・ブルトンヌ『パリの夜ー革命下の民衆』植田裕次訳岩波文庫1988年

・スタンダール『パルムの僧院（上）（下）』生島遼一訳岩波文庫1970年

・スタンダール『赤と黒（上）（下）』桑原武夫、生島遼一訳岩波文庫1958年

・バルザック『ゴリオ爺さん』高山鉄男訳岩波文庫1997年

『人間喜劇』

『ゴプセック・毬打つ猫の店』『知られざる傑作』（岩波文庫）

『シャベール大佐』（創元ライブラリー）

・ユゴー『レ・ミゼラブル（全4 冊）』豊島与志雄訳岩波文庫1987年

・デュマ・フィス『椿姫』西永良成訳光文社古典新訳文庫2008年

・テオフィール・ゴーチエ『死霊の恋・ポンペイ夜話』田辺貞之助訳岩波文庫2002年

・メリメ『カルメン』杉捷夫訳岩波文庫1960年改版

・フローベール『感情教育（上）（下）』生島遼一訳岩波文庫1971年

フローベール『ボヴァリー夫人』（新潮文庫）、『紋切型辞典』（岩波文庫）。

・ゾラ『ナナ』川口篤、古賀照一訳新潮文庫1956年

・ユイスマンス『さかしま』澁澤龍彦訳河出文庫2002年

・『ボードレール全詩集１、２』阿部良雄訳ちくま文庫1998年

・『ランボー全詩集』宇佐美斉訳ちくま文庫1996年

・エドモン・ロスタン『シラノ・ド・ベルジュラック』辰野隆・鈴木信太郎訳岩波文庫1983年

・ピエール・ロティ『ラムンチョ』新庄嘉章訳岩波文庫1955／1993年

『アフリカ騎兵』『お菊さん』（ともに岩波文庫）

・アラン・フルニエ『グラン・モーヌ』天沢退二郎訳岩波文庫1998年

・プルースト『失われた時を求めて』鈴木道彦訳（集英社文庫）、井上究一郎訳（ちくま文庫）
・アポリネール『アポリネール詩集』堀口大學訳新潮文庫1954年

・ジッド『贋金つかい』山内義雄訳新潮文庫1969年

・『ヴァレリー詩集』鈴木信太郎訳岩波文庫1968年

・『ヴァレリー・セレクション（上)（下）』平凡社ライブラリー2005年

・モーリアック『テレーズ・デスケルウ』遠藤周作訳講談社学芸文庫1997年

・サン・テグジュペリ『人間の土地』堀口大學訳新潮文庫1955年

『夜間飛行』（堀口訳、新潮文庫）

・カミュ『カリギュラ』岩切正一郎訳ハヤカワ演劇文庫2008年

・アンドレ・ブルトン『ナジャ』巖谷國士訳白水Uブックス2003年

・レーモン・クノー『地下鉄のザジ』生田耕作訳中公文庫1974年

・アゴタ・クリストフ『悪童日記』堀茂樹訳ハヤカワepi文庫

・クンデラ『存在の耐えられない軽さ』千野栄一訳集英社文庫1998年

・ル・クレジオ『海を見たことがなかった少年／モンドほか少年たちの物語』豊崎光一、佐藤領

時訳集英社文庫1988年

『砂漠』（河出書房新社)

『大洪水』（望月芳郎訳、河出文庫）

◆スペイン

・セルバンテス『ドン・キホーテ（全６冊）』牛島信明訳岩波文庫2001年

・ロペ・デ・ベガ『オルメードの騎士』長南実訳岩波文庫2007年

・『スペイン幻想小説傑作集』東谷穎人編白水Uブックス1992年

・『笑いの騎士団ースペイン・ユーモア文学傑作選』東谷穎人編白水Uブックス1996年

◆ポルトガル

・『ペソア詩集』澤田直訳海外詩文庫思潮社2008年

◆デンマーク

・イサク・ディーネセン『バベットの晩餐会』桝田啓介訳ちくま文庫1992年

同じ作者の『アフリカの日々』（映画『愛と悲しみの果て』原作）も、すばらしい。

・アンデルセン『完訳アンデルセン童話集全７冊』大畑末吉訳岩波文庫1984年改版

◆イギリス

・『シェイクスピア全集』小田島雄志訳白水Uブックス1983年

・『シェイクスピア全集』1巻～松岡和子訳ちくま文庫1996年

・ヴァージニア・ウルフ『灯台へ』御輿哲也訳岩波文庫2004年

『波』『ダロウェイ夫人』（角川文庫）、『オーランドー』『ヴァージニア・ウルフ短編集』（

ちくま文庫）、（角川文庫）

◆アイルランド

・ジョイス『ダブリンの人びと』米本義孝訳ちくま文庫2008年

・フランク・オコナー『フランク・オコナー短編集』阿部公彦訳岩波文庫2008年

◆カナダ

・ラファティ『九百人のお祖母さん』浅倉久志訳ハヤカワ文庫SF 1988年

★アリステア・マクラウド『冬の犬』中野恵津子訳新潮クレスト2004年

◆アメリカ合衆国

・フォークナー『響きと怒り』高橋正雄訳講談社文芸文庫1997年

・エドガー・アラン・ポー『黒猫・アッシャー家の崩壊』『モルグ街の殺人・黄金虫』巽孝之訳新潮文庫2009年

・ナボコフ『ロリータ』若島正訳新潮文庫2006年

◆中南米

・ガルシア＝マルケス『予告された殺人の記録』野谷文昭訳新潮文庫1997年

同作家の『幸福な無名時代』『エレンディラ』（ちくま文庫）、『族長の秋』（集英社文庫）。

・ボルヘス『伝奇集』鼓直訳岩波文庫1993年

『砂の本』（集英社文庫）、メタフィクションの傑作『不死の人』（白水Uブックス）。

・カルペンティエール『バロック協奏曲』鼓直訳サンリオSF 文庫1979年

★『春の祭典』柳原孝敦訳国書刊行会2001年

★ジコ・ブアルキ『ブダペスト』武田千香訳白水社2006年

★ロベルト・ボラーニョ『通話』松本健二訳（ExLibris）白水社2009年

◆チェコ

・カフカ『変身』高橋義孝訳新潮文庫1985年改版

◆ドイツ

・トーマス・マン『トニオ・クレーゲル／ヴェニスに死す』高橋義孝訳新潮文庫1962年

・ゲーテ『ファウスト（第１部）（第２部）』相良守峯訳岩波文庫1958年

・『黄金の壷／マドモワゼル・ド・スキュデリ』大島かおり訳光文社古典新訳文庫2009年
・ホフマン『牡猫ムルの人生観（上）（下）』秋山六郎兵衛訳岩波文庫1956／1957年石丸静雄訳角川文庫1989年

シューマンのピアノ曲『クライスレリアーナ』

・ヘルマン・ヘッセ『知と愛』高橋健二訳新潮文庫1959年

・『ベンヤミン・コレクション』ちくま学芸文庫

・『ブレヒト詩集』野村修訳世界現代詩文庫土曜美術社2000年

・シャミッソー『影をなくした男』池内紀訳岩波文庫1985年

・パトリス・ジュースキント『香水』池内紀訳文春文庫2003年

・『ニーベルンゲンの歌』（上・下）岩波文庫

・カント『啓蒙とは何か』岩波文庫

・ゲーテ『若きウェルテルの悩み』岩波文庫

・ゲーテ『親和力』岩波文庫

・クライスト『チリの地震ークライスト短篇集』河出文庫1996年

『ミヒャエル・コールハース』

・『ドイツ幻想小説傑作選ロマン派の森から』今泉文子編ちくま文庫2010年

・E.T.A.ホフマン『ホフマン短篇集』池内紀訳岩波文庫

・シャミッソー『影をなくした男』岩波文庫

★『ドイツ短篇24』集英社1971 年

ビュヒナー『レンツ』、シュニッツラー『死人に口なし』はとくに読むべき作品。

・ニーチェ『ツァラトゥストゥラはこう言った』岩波文庫

・フロイト『夢判断』新潮文庫

・フロイト『自我論集』竹田青嗣編、中山元訳ちくま学芸文庫1996年

・ホフマンスタール『チャンドス卿の手紙他十篇』桧山哲彦訳岩波文庫

★カール・クラウス『人類最期の日々』池内紀訳法政大学出版局

・カフカ『城』、『審判』、『変身』岩波文庫等

・『カフカ短篇集』池内紀編訳岩波文庫

・トーマス・マン『ブッデンブローク家の人々』

・『トーニオ・クレーガー他一篇』平野卿子訳河出文庫

・『ヴェニスに死す』岩波文庫

・『魔の山』

・ヘルマン・ヘッセ『デミアン』岩波文庫

★アルフレート・デープリーン『ベルリン・アレクサンダー広場』河出書房新社

・ベルトルト・ブレヒト『三文オペラ』岩波文庫

★エリアス・カネッティ『眩暈』(1935)

・ヴァルター・ベンヤミン『ベンヤミン・アンソロジー』山口裕之編訳河出文庫2011年

・ギュンター・グラス『ブリキの太鼓１～３』高本研一訳集英社文庫

★イルゼ・アイヒンガー『縛られた男』同学社

★ユーディット・ヘルマン『夏の家、その後』松永美穂訳河出書房新社

◆オーストリア

・ムージル『三人の女・黒つぐみ』川村二郎訳岩波文庫1991年

『寄宿生テルレスの混乱』（光文社古典新訳文庫）

・エルフリーデ・イェリネク『レストハウス、あるいは女はみんなこうしたもの』谷川道子訳（ドイツ現代戯曲選）論創社2007年

◆日本

・島田雅彦『彗星の住人』『美しい魂』『エトロフの恋』新潮文庫2007年

・永井荷風『?6東綺譚』岩波文庫1991年

・中原中也『中原中也詩集』新潮文庫2000年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」北アメリカ地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

(1) 事典、地図、統計、史料集など

斎藤真他監修『アメリカを知る事典（新訂増補版）』平凡社、２０００年

亀井俊介編『アメリカ文化事典』研究社出版、１９９９年

川島浩平編『地図でよむアメリカ――歴史と現在』雄山閣出版、１９９９年

ロバート・Ｈ・フェリル他（猿谷要監修）『図説アメリカ歴史地図』原書房、１９９４年
合衆国商務省編（斎藤真・鳥居康彦監訳）『アメリカ歴史統計（新装版）』全２巻・別巻１東洋書林、１９９９年

★図書館所蔵分は初版（原書房、１９８６年～１９８７年発行）

アメリカ学会訳編『原典アメリカ史』全７巻岩波書店、１９５０－１９８２年

大下尚一他編『史料が語るアメリカ――メイフラワーから包括通商法まで』有斐閣、１９８９年

(2) アメリカ研究入門、概説書、初学者でも読みやすい入門書など

古矢旬・遠藤泰生編『アメリカ学入門（新版）』南雲堂、２００４年

有賀夏紀・紀平英作・油井大三郎編『アメリカ史研究入門』山川出版社、２００９年

メアリー・ベス・ノートン他（本田創造監修）『アメリカの歴史』全６巻三省堂、１９９６年

デイヴィッド・Ｒ・ローディガー（竹中興慈他訳）『アメリカにおける白人意識の構築』明石書店、２００６年

ジョーン・Ｗ・スコット（荻野美穂訳）『ジェンダーと歴史学（増補新版）』平凡社、２００４年

ハリエット・ジェイコブズ（小林憲二編訳）『ハリエット・ジェイコブズ自伝――女・奴隷制・アメリカ』明石書店、２００１年

R・ショーン・ウィレンツ（安武秀岳監訳）『民衆支配の賛歌――ニューヨーク市とアメリカ労働者階級の形成』木鐸社、２００１年

ジャクリーン・ジョーンズ（風呂本淳子他訳）『愛と哀――アメリカ黒人女性労働史』学芸書林、１９９７年

アン・ムーディ（樋口映美訳）『貧困と怒りのアメリカ南部――公民権運動への２５年』彩流社、２００８年

本田創造『アメリカ黒人の歴史（新版）』岩波書店、１９９１年

有賀夏紀『アメリカの20 世紀（上下）』中央公論新社、２００２年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「**TUFS-**ビブリオ」北西ヨーロッパ地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

＜入門書＞

〇近藤和彦編『イギリス史研究入門』山川出版社、2010年

〇川北稔『イギリス近代史講義』講談社現代新書、2010 年

〇指昭博編『はじめて学ぶイギリスの歴史と文化』ミネルヴァ書房、2012年

〇井野瀬久美恵編『イギリス文化史』昭和堂、2010年

〇森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』岩波新書、1988年

〇吉田健一『英国に就て』ちくま文庫、1994年

＜事典＞

『スコットランド文化事典』原書房、2006年

『イギリス哲学・思想事典』研究者、2007年

『岩波西洋人名辞典』増補版、岩波書店、1991年

『英米法辞典』東京大学出版会、1991年

近藤和彦編『イギリス史研究入門』

＜通史・概説書＞

川北稔・木畑洋一編『イギリスの歴史』有斐閣、2000年

村岡健次・木畑洋一編『世界歴史大系イギリス史３』山川出版社、1991年

ポール・ラングフォード監修（鶴島博和監訳）『ブリテン諸島の歴史』（全11 巻）慶應義塾大学出版会、2009年ー

＜研究書＞

リンダ・コリー（川北稔監訳）『イギリス国民の誕生』（名古屋大学出版会、2000 年）

金澤周作編『海のイギリス史』（昭和道、2013年）

勝田俊輔『真夜中の立法者キャプテン・ロックー19 世紀アイルランド農村の反乱と支配』（山川出版社、2009年）

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」ドイツ地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

〈文献案内〉

〇木村靖二・千葉敏之・西山暁義編著『ドイツ史研究入門』山川出版社、2014年

〇踊共二・岩井隆夫編『スイス史研究の新地平ー都市・農村・国家』、昭和堂、2011年

〇大津留厚・河野淳・岩崎周一・水野博子編『ハプスブルク史研究入門ー歴史のラビリンスへの招待』、昭和堂、2013年

〇姫岡とし子・川越修編『ドイツ近現代ジェンダー史入門』、青木書店、2009年

〇日本ドイツ学会編『ドイツ研究』、成文堂/信山社、1985 年～

〈入門書・概説書〉

〇坂井榮八郎『ドイツ史10 講』（岩波新書）、岩波書店、2003年

〇石田勇治編『図説ドイツの歴史』、河出書房新社、2007年

〇増谷英樹・古田善文編『図説オーストリアの歴史』、河出書房新社、2011年

〇ピーター・Ｈ・ウィルスン（山本文彦訳）『神聖ローマ帝国1495-1806』、岩波書店、2005年

〇浜本隆志編『現代ドイツを知るための62 章』（第2 版）、明石書店、2013年

〇加藤雅彦・木村直司ほか編『事典現代のドイツ』、大修館書店、1998年

〈通史〉

〇木村靖二編『ドイツ史』（新版世界各国史13）、山川出版社、2001年

〇森田安一編『スイス・ベネルクス史』(新版世界各国史14)、山川出版社、1998年

〇南塚信吾編『ドナウ・ヨーロッパ史』（新版世界各国史19）、山川出版社、1999年

〇成瀬治・山田欣吾・木村靖二編『世界歴史体系ドイツ史１-３』、山川出版社、1996-1997年

〈専論・研究書〉

〇石田勇治『過去の克服ヒトラー後のドイツ』、白水社、2002年

〇古内博行『現代ドイツ経済の歴史』、東京大学出版会、2007年

〇Ｈ・ミッタイス、Ｈ・リーベリッヒ（世良晃志郎訳）『ドイツ法制史概説』（改訂版）創文社、1971年

〇フリッツ・ハルトゥンク（成瀬治、坂井栄八郎訳）『ドイツ国制史』、岩波書店、1980年

〇西川正雄編『ドイツ史研究入門』東京大学出版会、1984年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」ポーランド研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

<事典>

・伊東孝之、直野敦、萩原直、南塚信吾、柴宜弘（監修）『東欧を知る事典』（新訂増補版）平凡社、2001年

<入門書>

・渡辺克義（編著）『ポーランドを知るための60 章』明石書店、2001年

・渡辺克義（編）『ポーランド学を学ぶ人のために』世界思想社、2007年

<シリーズ>

・『ポロニカ』恒文社、1990 年 - 1994 年（全５冊）

・『フォーラム・ポーランド会議録』ふくろう出版、2005年

<通史>

・S.キェニェーヴィチ、加藤一夫、水島孝生(訳)『ポーランド史』恒文社、1996年

・伊東孝之、中井和夫、井内敏夫(編) 『ポーランド・ウクライナ・バルト史』新版（世界各国史20）山川出版社、1998年

・J.ルコフスキ、H.ザヴァツキ、河野肇（訳）『ポーランドの歴史』(ケンブリッジ版世界各国史5）創土社、2007年

・伊東孝之『ポーランド現代史』（世界現代史27）山川出版社、1988年

・A.ガルリツキ、渡辺克義、田口雅弘、吉岡潤（監訳）『ポーランドの高校歴史教科書：現代史』(世界の教科書シリーズ12）明石書店、2005年

<専門書・研究文献>

・S.キェニェーヴィチ、阪東宏（訳）『歴史家と民族意識：ポーランドの民族的伝統についての

省察』未来社、1989年

・阪東宏（編）『ポーランド史論集』三省堂、1997年

・中山昭吉、松川克彦（編）『ヨーロッパ史研究の新地平：ポーランドからのまなざし』昭和堂、2000年

・C.ミウォシュ（関口時正・西成彦・沼野充義・長谷見一雄・森安達也訳）『ポーランド文学史』未知谷、2006年

・田村進『ポーランド音楽史』雄山閣出版、増補改訂版、1991年

・M.ハルトフ、西野常夫、渡辺克義(訳) 『ポーランド映画史』凱風社、2006年

・E.パワシュ=ルトコフスカ、A.T.ロメル、柴理子(訳)『日本・ポーランド関係史』彩流社、2009年

・阪東宏『世界のなかの日本・ポーランド関係:1931-1945』大月書店、2004年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「**TUFS-**ビブリオ」チェコ研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

〈事典〉

1. 伊東孝之ほか編、『東欧を知る事典』、平凡社、1993年、2001年（新訂増補版）

2. ニーデルハウゼル・エミル、『総覧東欧ロシア史学史』、北海道大学出版会、2013年

3. Magocsi, Paul Robert, Historical Atlas of Central Europe, University of Washington Press, 2002 (revised and expanded edition)

〈専門雑誌〉

1. 『東欧史研究』、東欧史研究会発行

2. Central European History, Cambridge University

〈入門書・通史〉

1. 南塚信吾（編）、『ドナウ・ヨーロッパ史』、山川出版社、1999年

2. 大津留厚ほか（編）、『ハプスブルク史研究入門』、昭和堂、2013年

3. 大津留厚、『ハプスブルク帝国』、山川出版社、1996年

4. 大津留厚、『ハプスブルクの実験ー多文化共存を目指して』、中公新書、1995年（増補改訂版、春風社、2007 年）

5. コーン，ハンス、『ハプスブルク帝国史入門』、恒文社、1982年

6. テーラー，A.J.P.、『ハプスブルク帝国1809-1918』、筑摩書房、1987年

7. シュタットミュラー、『ハプスブルク帝国史ー中世から1918 年まで』、刀水書房、1989年

8. スケッド，アラン、『図説ハプスブルク帝国衰亡史ー千年王国の光と影』、原書房、1996年

9. ベラー，スティーヴン、『フランツ・ヨーゼフとハプスブルク帝国』、刀水書房、2001年
10. オーキー，ロビン、『ハプスブルク君主国1765-1918』、NTT出版、2010年

オーキー，ロビン、『東欧近代史』、勁草書房、1987年

11. シュガー，P.F.、レデラー，I.J.（編著）、『東欧のナショナリズム歴史と現在』、刀水書房、1981年

12. ロスチャイルド，ジョセフ、『大戦間期の東欧?民族国家の幻影』、刀水書房、1994年

13. ポロンスキ，アントン、『小独裁者たち?両大戦間期の東欧における民主主義体制の崩壊』、法政大学出版会、1993年

14. ロスチャイルド，ジョセフ、『現代東欧史?多様性への回帰』、共同通信社、1999年

15. フェイト，フランソワ、『スターリン以後の東欧』、岩波現代選書、1978 年

16. フェイト，フランソワ、『スターリン時代の東欧』、岩波現代選書、1979 年

17. 薩摩秀登（編著）、『チェコとスロヴァキアを知るための56 章』、明石書店、2003年、

18. 薩摩秀登、『物語チェコの歴史?森と高原と古城の国』、中公新書、2006年

19. 薩摩秀登、『図説チェコとスロヴァキア』、河出書房新社、2006年

〈テーマ別一般書・専門書〉

A. プラハ論

1. 『プラハ-ヤヌスの相貌』（ドイツの世紀末第二巻）、国書刊行会、1986年

2. 平野嘉彦、『プラハの世紀末カフカと言葉のアルチザンたち』、岩波書店、1993年

3. 三谷研爾、『世紀転換期のプラハ?モダン都市の空間と文学的表象』、三元社、2010年

4. 阿部賢一、『複数形のプラハ』、人文書院、2012年

5. フリンタ，E.、ルカス，J.、『プラハカフカの街』、成文社、2008年

6. クラール，ペトル、『プラハ』、成文社、2006年

7. 薩摩秀登、『プラハの異端者たち?中世チェコのフス派にみる宗教改革』、現代書館、1998年

8. 千野栄一、『プラハの古本屋』、大修館書店、1987年

9. 石川達夫、『黄金のプラハ』、平凡社、2000年

10. 田中充子、『プラハを歩く』、岩波新書、2001年

11. 田中長徳、『屋根裏プラハ』、新潮社、2012年

ショースキー，カール、『世紀末ウィーン』、岩波書店、1983
年
ルカーチ，ジョン、『ブダペストの世紀末都市と文化の歴史的肖像』、白水社、2010 年（新装版
）

B. 歴史

12. 石川達夫、『チェコ民族再生運動?多様性の擁護、あるいは小民族の存在論』、岩波書店、2010年

13. 石川達夫、『マサリクとチェコの精神?アイデンティティと自律性を求めて』、成文社、1995年

14. 福田宏、『身体の国民化?多極化するチェコ社会と体操運動』、北海道大学出版会、2006年

15. チャペック，カレル、『マサリクとの対話?哲人大統領の生涯と思想』、成文社、1993年

16. 林忠行、『中欧の分裂と統合マサリクとチェコスロヴァキア建国』、中公新書、1993年

17. 中田瑞穂、『農民と労働者の民主主義?戦間期チェコスロヴァキア政治史』、名古屋大学出版会、2012年

18. 林忠行、『粛清の嵐と「プラハの春」?チェコとスロヴァキアの40 年』、岩波ブックレット、1991年

19. ハヴェル，ヴァーツラフ、『反政治のすすめ』、恒文社、1991年

20. ハヴェル，ヴァーツラフ、『プラハ獄中記妻オルガへの手紙』、恒文社、1995年

21. ハヴェル，ヴァーツラフ、『ハヴェル自伝?抵抗の半生』、岩波書店、1991年

C. 文学・芸術

20. ニェムツォヴァー，ボジェナ、『おばあさん』、岩波文庫、1971年

21. ハシェク，ヤロスラフ、『兵士シュヴェイクの冒険』、全4 巻、岩波文庫、1972〜74年

22. カフカ，フランツ、『審判』、白水社、2001年

22. チャペック，カレル、『山椒魚戦争』、ハヤカワ文庫SF、1998年

23. クンデラ，ミラン、『冗談』、みすず書房、1992年

24. フラバル，ボフミル、『わたしは英国王に給仕した』、河出書房新社、2010年

25. ウルヴェル，スタニスラフ（編）、赤塚若樹（編訳）、『チェコ・アニメーションの世界』、人文書院、2013年

26. 内藤久子、『チェコ音楽の歴史?民族の音の表徴』、音楽の友社、2002年

内藤久子、『ドヴォルジャーク』（音楽の友社、2004 年）、『チェコ音楽の魅力』（東洋書店、2007 年）は、より一般向けのチェコ音楽史。

歴史的・文化的背景についての記述は、定型的な「民族復興史」なので、批判的な検討が必要。伊東信宏、『中東欧音楽の回路?ロマ・クレズマー・20 世紀の前衛』（岩波書店、2009 年）。

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」フランス地域研究のための文献リスト』の掲載書籍リスト

１事典

新倉俊一ほか編『事典現代のフランス』大修館書店、1977 年（増補版再版、1999年）

菅野昭正、木村尚三郎、高階秀爾、荻昌弘編『読む事典フランス』三省堂、1990年

草場安子『現代フランス情報辞典ーキーワードで読むフランス社会』大修館書店、1998年（改訂版、2003 年）

２通史

谷川稔/ 渡辺和行編著、『近代フランスの歴史ー国民国家形成の彼方に』ミネルヴァ書房、2006年

柴田三千雄、樺山紘一、福井憲彦編『世界歴史大系フランス史』１～３、山川出版社
①先史～１５世紀、1995 年
②１６世紀～１９世紀なかば、1996 年
③１９世紀なかば～現在、1995 年

福井憲彦編『フランス史』（新版世界各国史12）、山川出版社、2001年

中木康夫『フランス政治史』上・中・下、未来社、1975－76年

渡邊啓貴『フランス現代史』中公新書、1998年

柴田三千雄『フランス史10 講』岩波新書、2006年

佐藤彰一・中野隆生編『フランス史研究入門』山川出版社、2011年

３フランス概説

田辺保編『フランス学を学ぶ人のために』世界思想社、1998年

西永良成『変貌するフランスー個人・社会・国家』NHKブックス、1998年

三浦信孝編『普遍性か差異かー共和主義の臨界、フランス』藤原書店、2001 年

小田中直樹『フランス７つの謎』文春新書、2005年

４個別研究ーフランスの歴史と現在への新たな視点を得るためにーフィリップ・アリエス『〈子供〉の誕生ーアンシャン・レジーム期の子供と家族生活』みすず書房、1980年

長谷川まゆ帆『女と男と子どもの近代』山川出版社、2007年

ナタリー・Ｚ・デーヴィス『マルタン・ゲールの帰還』平凡社、1985年（『帰ってきたマルタン・ゲールー１６世紀フランスのにせ亭主騒動』平凡社ライブラリー、1993 年）

ロバート・ダーントン『猫の大虐殺』岩波書店、1986年

ロベール・ミュシャンブレッド『近代人の誕生ーフランス民衆社会と習俗の文明化』筑摩書房、1992年

ロベール・マンドルー『民衆本の世界』人文書院、1988年

長谷川まゆ帆『お産椅子への旅ーものと身体の歴史人類学』岩波書店、2004年

ジャン＝マリー・アポストリデス『機械としての王』みすず書房、1996年

イヴ＝マリー・ベルセ『真実のルイ14 世ー神話から歴史へ』昭和堂、2008年

アルレット・ファルジュ、ジャック・ルヴェル『パリ１７５０ー子供集団誘拐事件の謎』新曜社、1996年

柴田三千雄『パリのフランス革命』東京大学出版会、1988年

立川孝一『フランス革命ー祭典の図像学』中公新書、1989年

リン・ハント『フランス革命の政治文化』平凡社、1989年

松浦義弘『フランス革命の社会史』（世界史リブッレト３３）山川出版社、1997年

森山軍治郎『ヴァンデ戦争ーフランス革命を問い直す』筑摩書房、1996年

浜忠雄『ハイチ革命とフランス革命』北海道大学図書刊行会、1998年

モーリス・アギュロン『フランス共和国の肖像ー闘うマリアンヌ１７８９ー１８８０』ミネルヴァ書房、1989年

杉本淑彦『ナポレオン伝説とパリー記憶史への挑戦』山川出版社、2002年

長井伸仁『歴史がつくった偉人たちー近代フランスとパンテオン』山川出版社、2007年

オリヴィエ・ブラン『女の人権宣言ーフランス革命とオランプ・ドゥ・グージュの生涯』岩波書店、1995年

イヴォンヌ・ヴェルディエ『女のフィジオロジーー洗濯女・裁縫女・料理女』新評論、1985年

長谷川イザベル『共和国の女たちー自伝が語るフランス近代』山川出版社、2006年

ミシェル・ペローー『フランス現代史のなかの女たち』日本エディタースクール出版部、1989 年

喜安朗『パリの聖月曜日ー１９世紀都市騒乱の舞台裏』平凡社、1982年

山田登世子『メディア都市パリ』青土社、1991年

中野隆生『プラーグ街の住民たちーフランス近代の住宅・民衆・国家』山川出版社、1999年

地域研究の基本文献（フランス）

アラン・コルバン『においの歴史ー嗅覚と社会的想像力』藤原書店、1990年

ジョルジュ・ヴィガレロ『清潔になる〈私〉ー身体管理の文化誌』同文館、1994年

福井憲彦『時間と習俗の社会史ー生きられたフランス近代へ』新曜社、1986年(ちくま学芸文庫、1996 年)

谷川稔『十字架と三色旗ーもうひとつの近代フランス』山川出版社、1997年

杉本淑彦『文明の帝国ージュール・ヴェルヌとフランス帝国主義文化』山川出版社、1995年

平野千果子『フランス植民地主義の歴史ー奴隷制廃止から植民地帝国の崩壊まで』人文書院、2002年

渡辺和行『ホロコーストのフランスー歴史と記憶』人文書院、1998年

原聖『周縁的文化の変貌ーブルトン語の存続とフランス近代』三元社、1990年

原聖『〈民族起源〉の精神史ーブルターニュとフランス近代』岩波書店、2003年

ミュリエル・ジョリヴェ『移民と現代フランスーフランスは「住めば都」か』集英社新書、2003年

宮島喬『移民社会フランスの危機』岩波書店、2006年

渡辺和行『エトランジェのフランス史ー国民・移民・外国人』山川出版社、2007年

内藤正典『ヨーロッパとイスラームー共生は可能か』岩波新書、2004年

ルーブナ・メリアンヌ『自由に生きるーフランスを揺るがすムスリムの女たち』社会評論社、2005年

ファドゥラ・アマラ『売女でもなく、忍従の女でもなくー混血のフランス共和国を求めて』社会評論社、2006年

浅野素女『フランス家族事情ー男と女と子どもの風景』岩波新書、1995年

宮島喬『ヨーロッパ社会の試練ー統合のなかの民族・地域問題』東京大学出版会、1997年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」イタリア地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

〈事典類〉

イタリア文化事典編集委員会編『イタリア文化事典』丸善出版、2011年

馬場康雄・岡沢憲芙編『イタリアの政治』『イタリアの経済』『イタリアの社会』早稲田大学出版部、1999年

〈通史〉

北原敦編『イタリア史』（新篇世界各国史15）山川出版社、2008年

北村暁夫・伊藤武編『近代イタリアの歴史16 世紀から現代まで』ミネルヴァ書房、2012年

シモーナ・コラリーツィ（村上信一郎監訳、橋本勝雄訳）『イタリア20 世紀史熱狂と恐怖と希望の100 年』名古屋大学出版会、2010年
。
〈専門書・歴史〉

ピーター・バーク（森田義之・柴野均訳）『新版イタリア・ルネサンスの文化と社会』岩波書店、2000年

北村暁夫・小谷眞男編『イタリア国民国家の形成自由主義期の国家と社会』日本経済評論社、2010年

ノルベルト・ボッビオ（馬場康雄・押場靖志訳、上村忠男解説）『イタリア・イデオロギー』未來社、1993年

ファシズム研究会編『戦士の革命・生産者の国家』太陽出版、1985年

北原敦『イタリア現代史研究』岩波書店、2002年

岡田温司『アガンベン読解』平凡社、2011年

カルロ・フェルトリネッリ『フェルトリネッリイタリアの革命的出版社』、麻生九美訳、晶

文社、2011年

ジャン・ピエロ・ブルネッタ『イタリア映画史入門1905-2003 』、川本英明訳、鳥影社、2008年

田之倉稔『イタリアのアヴァンギャルド未来派からピランデルロへ』(新装復版)、白水社、2001年

〈専門書・文学・批評〉

イタロ・カルヴィーノ『なぜ古典を読むのか』、須賀敦子訳、みすず書房、1997年初版

イタロ・カルヴィーノ『水に流して』(カルヴィーノ文学・社会評論集)、和田忠彦、大辻康子、橋本勝雄共訳、朝日出版社、2000年

L’occhi della Medusa ?fotografia e letteratura-, Remo Ceserani, Bollati Boringhieri, 2011 (レーモ・チェゼラーニ『メドゥーサの眼ー写真と文学』)

Raccontare il postmoderno, Remo Ceserani, Bollati Boringhieri, 1997 (レーモ・チェゼラーニ『ポストモダンを語る』)

〈専門書・文学・作品〉

ルイジ・ピランデッロ『ピランデッロ短編集カオス・シチリア物語』白崎・尾河訳、白水社、2012年

デ・ロベルト他『短編で読むシチリア』武谷なおみ編訳、みすず書房、2011年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「**TUFS-**ビブリオ」スペイン地域研究の基本文献』の掲載書籍リスト

〈事典類〉

池上･牛島他監修『スペイン･ポルトガルを知る事典〔新訂増補〕』平凡社、2001年

川成洋, 坂東省次編『スペイン文化事典』丸善、2011年

野々山真輝帆『スペインを知るための60 章』明石書店、2002年

坂東･桑原･浅香編著『スペインのガリシアを知るための50 章』明石書店、2011年

坂東省次編著『現代スペインを知るための60 章』明石書店、2013年

〈ハンドブック〉

牛島信明、川成洋、坂東省次編『スペイン学を学ぶ人のために』世界思想社、1999年

坂東省次、戸門一衛、碇順治編『現代スペイン情報ハンドブック』三修社、2007年（改訂版）

碇順治編『ヨーロッパ読本スペイン』河出書房新社、2008年

川成洋、坂東省次編『現代スペイン読本知っておきたい文化・社会・民族』丸善、2008年

〈歴史〉

立石博高、関哲行、中川功、中塚次郎『スペインの歴史』昭和堂、1998年

立石博高編『スペイン･ポルトガル史』山川出版社、2000年

関哲行、立石博高、中塚次郎編『スペイン史1 古代-近世』山川出版社、2008年

関哲行、立石博高、中塚次郎編『スペイン史2 近現代・地域からの視座』山川出版社、2008年

ピエール・ヴィラール『スペイン史』藤田一成訳、白水社（文庫クセジュ）、2009年（初版1992

年）

立石･中塚編『スペインにおける国家と地域』国際書院、2002年

〈文化〉

『世界美術大全集西洋編』全28 巻＋別巻1 巻、小学館、1992-1997年

牛島信明『スペイン古典文学史』名古屋大学出版会、1997年

牛島信明編訳『スペイン黄金世紀演劇集』名古屋大学出版会、2003年

神吉敬三『プラドで見た夢：スペイン美術への誘い』中央公論新社（中公文庫）、2002年（初版1980年）

ラファエル・ラペサ『スペイン語の歴史』山田善郎監修、中岡省治・三好準之介訳、昭和堂、2004年

佐竹謙一『概説スペイン文学史』研究社、2009年

〈学術雑誌〉

『スペイン史研究』スペイン史学会

『HISPANICA』日本イスパニヤ学会

『スペイン語学研究』東京スペイン語学研究会

『スペイン・ラテンアメリカ美術史研究』スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「**TUFS-**ビブリオ」ポルトガル研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

＜事典・工具書＞

〇池上岑夫・神吉敬三・小林一宏・牛島信明・金七紀男（共編）『新訂増補版スペイン・ポルトガルを知る事典』平凡社、2001年

＜入門・概説書＞

〇村上義和・池俊介（共編）『ポルトガルを知るための55 章（第二版）』明石書店、2011年

＜通史＞

〇立石博高（編）『スペイン・ポルトガル史』山川出版社、2000 年

〇金七紀男『増補新版ポルトガル史』彩流社、2010 年

〇金七紀男『図説ポルトガルの歴史』河出書房新社、2011 年

＜専門・研究書＞

〇金七紀男『エンリケ航海王子ー大航海時代の先駆者とその時代』刀水書房、2004 年

〇合田昌史『マゼランー世界分割(デマルカシオン)を体現した航海者』京都大学学術出版会、2006年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「**TUFS-**ビブリオ」ロシア地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

＜事典・工具書＞

『新版ロシアを知る事典』平凡社、2004 年.

『ロシア史研究案内』彩流社、2012 年.

＜概説・通史＞

中村喜和、和田春樹『世界歴史の旅ロシア：モスクワ・サンクトペテルブルク・キエフ』山川出版社、2013 年.

『新版世界各国史ロシア史』山川出版社、2002年

『世界歴史大系ロシア史1－3』山川出版社、1994－1997年

『スラブの歴史（講座スラブの世界）』弘文堂、1995年

＜専論・研究書＞

〇ロシア人と宗教について

中村喜和『聖なるロシアを求めて：旧教徒のユートピア伝説』平凡社、1990年

濱本真実『共生のイスラーム：ロシアの正教徒とムスリム』山川出版社、2011年

〇ロシアの言語、文学、書物について

佐藤純一『ロシア語史入門』大学書林、2012 年

藤沼貴、小野理子、安岡治子『ロシア文学案内』岩波文庫、2000 年

ロナルド・ヒングリー『19 世紀ロシアの作家と社会』平凡社、1971 年

〇ロシアとヨーロッパについて

マルク・ラエフ『ロシア史を読む』名古屋大学出版会、2001 年

ユーリー・ロートマン『ロシア貴族』筑摩書房、1997 年

〇ロシアとアジアについて

原暉之『ウラジオストク物語ーロシアとアジアが交わる街』三省堂、1998 年

和田春樹『日露戦争：起源と開戦上・下』岩波書店、2009－2010 年

〇環境と風俗について
高倉浩樹『社会主義の民族誌：シベリア・トナカイ飼育の風景』東京都立大学出版会、2000 年

藤原潤子『呪われたナターシャ：現代ロシアにおける呪術の民族誌』人文書院、2010 年

〇ロシアの革命について

マックス・ウェーバー『ロシア革命論』名古屋大学出版会、1997－1998 年

エドワード・H・カー『ロシア革命：レーニンからスターリンへ、1917-1929 年』岩波書店、1979 年

〇ソビエト連邦と社会主義について

塩川伸明『多民族国家ソ連の興亡1－3』岩波書店、2004－2007 年

松戸清裕『ソ連史』ちくま新書、2011 年

和田春樹『歴史としての社会主義』岩波新書、1992 年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「**TUFS-**ビブリオ」モンゴル地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

〈概説書、入門書〉

〇小長谷有紀編『暮らしがわかるアジア読本モンゴル』河出書房新社、1997年

〇金岡秀郎『モンゴルを知るための65 章（第2 版）』明石書店、2012年

〈歴史、地理〉

〇宮脇淳子『モンゴルの歴史遊牧民の誕生からモンゴル国まで』刀水書房、2002年

〇松川節『図説モンゴル歴史紀行』河出書房新社、1998年

〇早稲田大学モンゴル研究所編『モンゴル史研究現状と展望』明石書店、2011年

〇岡洋樹、境田清隆、佐々木史郎編『東北アジア』（朝倉世界地理講座ー大地と人間の物語ー２）朝倉書店、2009年

〇岡田英弘『世界史の誕生』筑摩書房、1992年

〇杉山正明『大モンゴルの世界陸と海の巨大帝国』（角川選書）角川書店、1992年

〇ユ・ヒョヂョン、ボルジギン・ブレンサイン編著『境界に生きるモンゴル世界ー20 世紀における民族と国家』八月書館、2009年

〈文化、社会〉

〇小長谷有紀『モンゴル草原の生活世界』朝日新聞社、1996年

〇風戸真理『現代モンゴル遊牧民の民族誌ポスト社会主義を生きる』世界思想社、2009年

〇藤田昇、加藤聡史、草野栄一、寺田良介編著『モンゴル草原生態系ネットワークの崩壊と再生』京都大学学術出版会、2013年

〇芝山豊、岡田和行編『モンゴル文学への誘い』明石書店、2003年

〇ハイシッヒ著、田中克彦訳『モンゴルの歴史と文化』（岩波文庫）岩波書店、2000年

〇菅沼晃『モンゴル仏教紀行』春秋社、2004年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「**TUFS-**ビブリオ」ラテンアメリカ地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

＜事典＞

〇大貫良夫・落合一泰・国本伊代・恒川惠市・松下洋・福嶋正徳（監修）『新版ラテンアメリカを知る事典』平凡社、2013年

＜入門・概説書＞

〇増田義郎『物語ラテン・アメリカの歴史』中公新書、1998年

〇堀坂浩太郎『ブラジル：跳躍の軌跡』岩波新書、2012年

〇西島章次・小池洋一（編）『現代ラテンアメリカ経済論』ミネルヴァ書房、2011年

〇Patrice Franko, The Puzzle of Latin American Economic Development (Third Edition), Rowman & Littlefield Pub, 2007

〇Thomas E. Skidmore, Peter H. Smith, James N. Green, Modern Latin America (Seventh Edition), Oxford University Press, 2010

＜通史＞

〇高橋均・網野徹哉『世界の歴史18―ラテンアメリカ文明の興亡』中公文庫、2009年

〇ボリス・ファウスト（鈴木茂訳）『ブラジル史（世界歴史叢書）』明石書店、2008年

〇フェルナンド・エンリケ・カルドーゾ、エンソ・ファレット（鈴木茂ほか訳）『ラテンアメリカにおける従属と発展―グローバリゼーションの歴史社会学』東京外国語大学出版会、2012年

＜専論・研究書＞

〇恒川惠市『比較政治中南米』放送大学教育振興会、2008年

〇今福龍太『クレオール主義』ちくま学芸文庫、2003年

〇清水透『エル・チチョンの怒り―メキシコにおける近代とアイデンティティ』東京大学出版会、1988年

〇アルバート・ハーシュマン（矢野修一ほか訳）『連帯経済の可能性―ラテンアメリカにおける草の根の経験』法政大学出版局、2008年

〇Eric Wolf, Pathways of Power: Building an Anthropology of the Modern World, University of California Press, 2001

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「**TUFS-**ビブリオ」韓国・朝鮮地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

＜事典＞

〇伊藤亜人・大村益夫ほか（共編）『新版韓国朝鮮を知る事典』平凡社、2014年

＜入門・概説書＞

〇伊藤亜人編『もっと知りたい韓国（1）（2）』弘文堂、1997年

〇秋月望、丹羽泉共編『韓国百科第二版』大修館書店、2002年

〇伊豆見元、遠藤哲也、小此木政夫ほか著『北朝鮮・その実像と軌跡』高文研、1998年

〇平岩俊司『北朝鮮――変貌を続ける独裁国家』中央公論新社、2013年

〇宮嶋博史『両班(ヤンバン)―李朝社会の特権階層』中央公論社、1995年

＜専門・研究書＞

〇イザベラ・バード著、（時岡敬子訳）『朝鮮紀行～英国婦人の見た李朝末期』講談社、1998年

〇ロジャー・L. ジャネリ、任敦姫共著（金美栄ほか訳）『祖先祭祀と韓国社会(Academic Series NEW ASIA)』第一書房、1993年

〇ステファン・ハガード、マーカス・ノーランド共著（杉原ひろみ他訳）『北朝鮮飢餓の政治経済学』中央公論新社、2009年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」中央アジア地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

＜事典・工具書＞

〇小松久男・梅村坦・宇山智彦・帯谷知可・堀川徹（共編）『中央ユーラシアを知る事典』平凡社、2005年

〇小杉泰・林佳世子・東長靖編『イスラーム世界研究マニュアル』名古屋大学出版会、2008年

〇帯谷知可・北川誠一・相馬秀廣編『中央アジア』朝倉書店、2012年（朝倉世界地理講座５）

＜入門・概説書＞

〇宇山智彦編『中央アジアを知るための60 章』明石書店、2003年

〇宇山智彦『中央アジアの歴史と現在』東洋書店、2000年

〇坂井弘紀『中央アジアの英雄叙事詩：語り伝わる歴史』東洋書店、2002年

〇城田俊『ことばの道：もう一つのシルクロード』大修館書店、1987年

〇ティムール・ダダバエフ『社会主義後のウズベキスタン：変わる国と揺れる人々の心』アジア経済研究所、2008年

〇濱本真実『共生のイスラーム：ロシアの正教徒とムスリム』山川出版社、2011年（イスラームを知る５）

〇カトリーヌ・プジョル（宇山智彦・須田将訳）『カザフスタン』白水社、2006年

〇堀江則雄『ユーラシア胎動：ロシア・中国・中央アジア』岩波新書、2010年

〇間野英二『バーブル：ムガル帝国の創設者』山川出版社、2013年（世界史リブレット人46）

〇オリヴィエ・ロワ（斎藤かぐみ訳）『現代中央アジア：イスラム、ナショナリズム、石油資源』白水社、2007年

＜通史＞

〇小松久男編『中央ユーラシア史』（新版世界各国史４）山川出版社、2000年

〇V.V.バルトリド（小松久男監訳）『トルキスタン文化史1・2』平凡社、2011年

＜専論・研究書＞

〇岩崎一郎・宇山智彦・小松久男編『現代中央アジア論：変貌する政治・経済の深層』日本評論社、2004年

〇ティムール・ダダバエフ『記憶の中のソ連：中央アジアの人々の生きた社会主義時代』筑波大学出版会、2010年

〇小松久男『革命の中央アジア：あるジャディードの肖像』東京大学出版会、1996年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」インドネシア地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

〈事典・工具書〉

1. 石井米雄・高谷好一・立本成文・土屋健治・池端雪浦（監修）『新版東南アジアを知る事典』平凡社、2008年

2. 土屋健治・加藤剛・深見純生（編）『インドネシアの事典』同朋舎、1991年

〈入門・概説書〉

3. 村井吉敬・佐伯奈津子・間瀬朋子『現代インドネシアを知るための60 章』（エリア・スタディーズ113）明石書店、2013年

4. 宮崎恒二・山下晋司・伊藤眞（編）『アジア読本インドネシア』河出書房新社、1993年

〈通史〉

5. 池端雪浦（編）『東南アジア史II 島嶼部』（世界各国史6）山川出版社、1999年

池端雪浦（編）『東南アジア史I 大陸部』

6. 宮本謙介『概説インドネシア経済史』（有斐閣選書）有斐閣、2003年

7. 増原綾子・他（編著）『入門東南アジア現代政治史』福村出版、2010年

〈専論・研究書〉

8. 永積昭『インドネシア民族意識の形成』東京大学出版会、1980年

9. 後藤乾一・山崎功『スカルノーインドネシア「建国の父」と日本』（歴史文化ライブラリー117）吉川弘文館、2001年

10. 小林寧子『インドネシアー展開するイスラーム』名古屋大学出版会、2008年

11. 佐藤百合『経済大国インドネシアー21 世紀の成長条件』（中公新書）中央公論社、2011年

12. 倉沢愛子・他（編著）『消費するインドネシア』慶應義塾大学出版会、2013年

13. マルバングン・ハルジョウィロゴ（著）、染谷臣道・宮崎恒二（訳）『ジャワ人の思考様式』めこん、1992年

14. プラムディヤ・アナンタ・トゥール（著）、押川典昭（訳）『人間の大地』（上・下2 巻）めこん、1986年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」マレーシア地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

【事典・年鑑】

〇桃木至朗他編『新版東南アジアを知る事典』平凡社、2008年

〇アジア経済研究所編『アジア動向年報』アジア経済研究所、各年

【入門書・概説書】

〇綾部恒雄・石井米雄編『もっと知りたいマレーシア（第2 版）』弘文堂、1994 年

〇水島司編『アジア読本マレーシア』河出書房新社、1993 年

〇宇高雄志『住まいと暮らしからみる多民族社会マレーシア』南船北馬舎、2008 年

〇ラット（荻島早苗・末吉美栄子訳）『カンポンのガキ大将』晶文社、1985 年

【通史】

〇池端雪浦編『東南アジア史II 島嶼部』（新版世界各国史6）山川出版社、1999年

〇ザイナル・アビディン・ビン・アブドゥル・ワーヒド編（野村享訳）『マレーシアの歴史』山川出版社、1983年

【専門書】

＜社会と文化＞

〇立本成文『共生のシステムを求めて――ヌサンタラ世界からの提言』弘文堂、2001年

〇多和田裕司『マレー・イスラームの人類学』ナカニシヤ出版、2005年

〇石川登『境界の社会史――国家が所有を宣言するとき』京都大学学術出版会、2008年

〇信田敏宏『周縁を生きる人びと――オラン・アスリの開発とイスラーム化』京都大学学術出

版会、2004年

〇宇高雄志『マレーシアにおける多民族混住の構図ーー生活空間にみる民族共存のダイナミズム』明石書店、2009年

〇鴨川明子『マレーシア青年期女性の進路形成』東信堂、2008 年

＜歴史＞

〇木畑洋一『帝国のたそがれーー冷戦下のイギリスとアジア』東京大学出版会、1996年

〇原不二夫『マラヤ華僑と中国ーー帰属意識転換過程の研究』龍渓書舎、2001年

〇山本博之『脱植民地化とナショナリズムーー英領北ボルネオにおける民族形成』東京大学出版会、2006年

〇ポール・H・クラトスカ（今井敬子訳）『日本占領下のマラヤ』行人社、2005年

＜政治と経済＞

〇金子芳樹『マレーシアの政治とエスニシティーー華人政治と国民統合』晃洋書房、2001年

〇鈴木絢女『＜民主政治＞の自由と秩序ーーマレーシア政治体制論の再構築』京都大学学術出版会、2010年

〇吉村真子『マレーシアの経済発展と労働力構造ーーエスニシティ、ジェンダー、ナショナリティ』法政大学出版局、1998年

〇穴沢眞『発展途上国の工業化と多国籍企業ーーマレーシアにおけるリンケージの形成』文眞堂、2010 年

【学術雑誌】

〇『マレーシア研究』（日本マレーシア学会）

〇『東南アジア歴史と文化』（東南アジア学会）

○『東南アジア研究』（京都大学東南アジア研究所）

○『アジア研究』（アジア政経学会）

○『アジア経済』（アジア経済研究所）

○『アジア・アフリカ言語文化研究』（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」フィリピン地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

入門書

『東南アジアを知る事典（新版）』（桃木至朗編、2008年、平凡社）

『現代フィリピンを知るための61章（第２版）』（大野拓司・寺田勇文編、明石書店、2009年）

『もっと知りたいフィリピン（第２版）』（綾部恒雄・石井米雄編、弘文堂、1995年）

『暮らしがわかるアジア読本フィリピン』（宮本勝・寺田勇文編、河出書房新社、1994年）

『フィリピンの事典』（石井米雄監修、鈴木静夫・早瀬晋三編、同朋舎出版、1992年）

『フィリピンの歴史・文化・社会 - 単一にして多様な国家』（デイビッド・Ｊ・スタインバーグ著、堀芳枝・石井正子・辰巳頼子訳、明石書店、2000年）

歴史

『フィリピン諸島誌』（アントニオ・モルガ著、神吉敬三・箭内健次訳、大航海時代叢書７、岩波書店、1966年）

『東南アジア史２島嶼部（新版）』（池端雪浦編、新版世界各国史６、山川出版社、1999年）

『岩波講座東南アジア史』全９巻・別１巻（池端雪浦・石井米雄・石渾良昭・加納啓良・後藤乾一・斎藤照子・桜井由躬雄・末廣昭・山本達郎編、2001～03年）

『フィリピン史物語ー政治・社会・文化小史』（テオドロ・Ａ・アゴンシルリヨ著、岩崎玄訳、井村文化事業社（勁草書房発売）、1977年）

『フィリピン民衆の歴史（１－２巻、３－４巻）』（レナト・コンスタンティーノ、レティシア・Ｒ・コンスタンティーノ著、池端雪浦ほか訳、全４巻、井村文化事業社（勁草書房発売）、1978～80年）

『物語マニラの歴史』（ニック・ホアキン著、宮本靖介監訳、橋本信彦・深田公伸訳、明石書店、2005年）

『物語フィリピンの歴史ー「盗まれた楽園」と抵抗の500年』（鈴木静夫著、中公新書、1997年）

『暁よ紅にーフィリピン独立運動の悲運のヒーローホセ・リサールの生涯』（カルロス・キリノ著、駐文館訳、駐文館、1990年）

『フィリピン革命とカトリシズム』（池端雪浦著、勁草書房、1987年）

『キリスト受難詩と革命ー1840～1910年のフィリピン民衆運動』（レイナルド・ｃ・イレー著、清水展・永野善子監修、川田牧人・宮脇聡史・高野邦夫訳、法政大学出版局、2005年）

『フィリピン歴史研究と植民地言説』（レイナルド・イレート、ビセンテ・Ｌ・ラファエル、フロロ・ｃ・キブイェン著、永野善子編・監訳、めこん、2004年）

『歴史と英雄ーフィリピン革命百年とポストコロニアル』（永野善子著、神奈川大学評論ブックレット１１、御茶の水書房、2000年）

『未完のフィリピン革命と植民地化』（早瀬晋三著、山川出版社、2009年）

『フィリピン経済史研究ー糖業資本と地主制』（永野善子著、勁草書房、1986年）

『砂糖アシエンダと貧困ーフィリピン・ネグロス島小史』（永野善子著、勁草書房、1990年）

『フィリピン銀行史研究ー植民地体制と金融』（永野善子著、御茶の水書房、2003年）

『フィリピン独立問題史ー独立法問題をめぐる米比関係史の研究（1929ー46年）』（中野聡著、龍渓書舎、1997年）

『歴史経験としてのアメリカ帝国ー米比関係史の群像』（中野聡著、岩波書店、2007年）
『マッカーサーーフィリピン統治から日本占領へ』（増田弘著、中公新書、2009年）

『近現代日本・フィリピン関係史』（池端雪浦、リディア・Ｎ・ユーホセ編著、岩波書店、2004年）

『運命の歳月Ｉフィリピンにおける日本の冒険1941～45』（テオドロ・Ａ・アゴンシルリヨ著、二村健訳、井村文化事業社（勁草書房発売）、1991年）

『山中放浪ー私は比島戦線の浮浪人だった』(中公文庫、今日出海著、1978年)

『悲劇の将ー山下奉文・本間雅晴』(中公文庫、今日出海、1988年)

『スータンを縫いながらー日本占領記を生きたフィリピン女性の回想』（ペラジア・Ｖ・ソリヴェン著、後藤優訳、段々社、2007年）

『日本占領下のフィリピン』（池端雪浦編、岩波書店、1996年）

『日本のフィリピン占領ーインタビュー記録』（南方軍政関係史料15、日本のフィリピン占領期に関する史料調査フォーラム編、龍渓書舎、1994年）

『聞き書きフィリピン占領』（上田敏明著、勁草書房、1990年）

『ワラン・ヒヤー日本軍によるフィリピン住民虐殺の記録』（石田甚太郎著、現代書館、1990年）

『殺した殺されたー元日本兵とフィリピン人二〇〇人の証言』（石田甚太郎著、径書房、1992年）

『俘虜記』（大岡昇平著、新潮文庫、1967年）

『レイテ戦記（上･5中･5下）』（大岡昇平著、中公文庫、1974年）

『物語･5日本人の占領』（津野海太郎著、平凡社ライブラリー、1999年）

『南方特別留学生トウキョウ日記ーフィリピン人のみた戦時下の日本』（レオカディオ･5デアシス著、高橋彰編訳、秀英書房、1982年）

『ホセ・Ｐ・ラウレル博士戦争回顧録』（ホセ･5Ｐ･5ラウレル著、山崎重武訳、日本教育新聞社1987年）

『日比賠償外交交渉の研究ー194～1956』（吉川洋子著、勁草書房、1991年）

『海域イスラーム社会の歴史ーミンダナオ・エスノヒストリー』（早瀬晋三著、岩波書店、2003年）

『歴史研究と地域研究のはざまでーフィリピン史で論文を書くとき』（早瀬晋三著、法政大学出版局、2004年）

『南の探検』（蜂須賀正氏、平凡社ライブラリー、2006年）

『フィリピンの公教育と宗教ー成立と展開過程』（市川誠著、東信堂、1999年）

政治

『フィリピン・ナショナリズム論（上・下）』（鶴見良行監訳、井村文化事業社（勁草書房発売）、1977年）

『略奪の政治ーマルコス体制下のフィリピン』（ベリンダ・アキノ著、伊藤美名子訳、同文舘、1992年）

『現代フィリピンの政治と社会ーマルコス戒厳令体制を超えて』（ディビッド・ワーフェル著、大野拓司訳、明石書店、1997年）

『アキノ大統領誕生ーフィリピン革命はこうして成功した』（ルイス・サイモンズ著、鈴木康雄訳、筑摩書房、1989年）

『文化のなかの政治ーフィリピン「二月革命」の物語』（清水展著、弘文堂、1991年）

『フィリピンーマルコスからアキノへ』（浅野幸穂著、アジア経済研究所、1991年）

『アキノ家三代ーフィリピン民族主義の系譜』（ニック・ホアキン著、鈴木静夫訳、井村文化事業社（勁草書房発売）、1986年）。

『こうして米軍基地は撤去されたーフィリピンの選択』（松宮敏樹著、新日本出版社、1996年）

『ポスト・エドサ期のフィリピン』（川中豪編、アジア経済研究所、2005年）

『内発的民主主義への一考察ーフィリピンの農地改革における政府、ＮＧＯ、住民組織』（堀芳枝、国際書院、2005年）

『フィリピンの民主化と市民社会ー移行・定着・発展の政治力学』（五十嵐誠一著、成文堂、

2004年）

『フィリピン新人民軍従軍記ーナショナリズムとテロリズム』（野村進著、講談社十アルファ文庫、2003年）

『ジェンダーの政治経済学ーフィリピンにおける女性と性的分業』（エリザベス・ウイ・エヴィオータ著、佐竹直明・稲垣紀代訳、明石書店、2000年）

『フィリピン家族法【第二版】』（Ｊ・Ｎ・ノリエド著、奥田安弘・高畑幸訳、明石書店、2007年）

『アジアの大都市４マニラ』（大阪市立大学経済研究所監修、中西徹・小玉徹・新津晃一編、日本評論社、2001年）

経済

『フィリピンの農村ーその構造と変動』（梅原弘光著、古今書院、1992年）

『フィリピン農村開発の構造と改革ーフィリピン日本共同研究』（Ａ・Ｍ・バリサカン、野潭勝美編著、アジア経済研究所、1994年）

『現代フィリピン経済の構造』（森潭恵子著、勁草書房、1993年）

『岐路にたつフィリピン電機産業』（森潭恵子著、勁草書房、2004年）

『変動するフィリピンー経済開発と国土空間形成』（貝沼恵美・森島済・小田宏信著、二宮書店、2009年）

『トヨタ・イン・フィリピンーグローバル時代の国際連帯』（遠野はるひ・金子文夫著、社会評論社、2008年）

『フィリピンの地場産業ともう一つの発展論鍛冶屋と魚醤』（佐竹輿明著、明石書店、1998年）

『スラムの経済学ーフィリピンにおける都市インフォーマル部門』（中西徹著、東京大学出版会、1991年）

『フィリピンの児童労働と観光産業』（ILOフィリピン・プロジェクトチーム編、日本労働組合総連合会訳、明石書店、2001年）

『フィリピンを乗っ取った男ー政商ダンディン・コフアンコ』（アール・パレーニヨ著、堀田正彦・加地永都子訳、太田出版、2005年）。
文化

『フィリピンのこころ』（メアリー・Ｒ・ホルンスタイナー編、めこん、1977年）

『フィリピン大衆文化への招待』（シンシア・ルンペラ、テレシタ・マセダ編、福永敬編訳、井村文化事業社、1990年）

『フィリピンの大衆文化』（寺見元恵編・監訳、めこん、1992年）

『東南アジアのキリスト教』（寺田勇文編、めこん、2002年）

『たそがれの神父ーこころのふるさと、フィリピン物語』（西本至著、同文書院インターナショナル、2000年）

『バナナと日本人』（鶴見良行、岩波新書、1982年）

『マングローブの沼地でー東南アジア島嶼文化論への誘い』（鶴見良行、朝日新聞社、1984年）

『フィリピン国ボントク村ー村は「くに」である』（大崎正治著、農山漁村文化協会、1987年）

『首狩りと言霊ーフィリピン・ボントック族の社会構造と世界観』（合田濤著、弘文堂、1989年）

『ジェンダーの民族誌ーフィリピン・ボントックにおける女性と社会』（森谷裕美子著、九州大学出版会、2004年）

『出来事の民族誌ーフィリピン・ネグリート社会の変化と持続』（清水展著、九州大学出版会、1990年）

『噴火のこだまピナトゥボ・アエタの被災と新生をめぐる文化・開発・ＮＧＯ』（清水展著、九州大学出版会、2003年）

『ハヌノオ・マンヤン族ーフィリピン山地民の社会・宗教・法』（宮本勝著・第一書房、1986年）

『祈りと祀りの日常知ーフィリピン・ビサヤ地方バンタヤン島民族誌』（川田牧人著、九州大学出版会、2003年）

『海域世界の民族誌ーフィリピン島嶼部における移動・生業・アイデンティティ』（関恒樹著、世界思想社、2007年）

『女性が語るフィリピンのムスリム社会ー紛争・開発・社会的変容』（石井正子著、明石書店、2002年）

『熱帯雨林の知恵ーフィリピン・ミンダナオ島の平和愛好部族』（スチュワート・Ａ・シュレーゲル著、仙名紀訳、アサヒビール、2003年）

『貧困の民族誌ーフィリピンダバオ市のサマの生活』（青山和佳著、東京大学出版会、2006年）

『フィリピン漂海民ー月とナマコと珊瑚礁』（門田修著、河出書房新社、1986年）

『海賊のこころースールー海賊訪問記』（門田修著、筑摩書房、1990年）

『越境ースールー海域世界から』（床呂郁哉著、岩波書店、1999年）

『漂海民バジャウの物語人類学者が暮らしたフィリピン・スールー諸島』（Ｈ・Ａ・ニモ著、西重人訳、現代書館、2001年）

『フィリピン・スールーの海洋民ーバジャウ社会の変化』（Ｈ・Ａ・ニモ著、西重人訳、現代書館、2005年）

『フィリピンの子どもたちはなぜ働くのかーアジアの子どもの社会学』（マリア・ロザリオ・ビケロ・バレスカス著、河口和也ほか訳、明石書店、1991年）

『スポーツで読むアジア』（平井肇編、世界思想社、2000年）

『ドローンとメロディー東南アジアの音楽思想』（ホセ・マセダ著、高橋悠治編訳、新宿書房、1989年）

国際協力

『フィリピンの環境とコミュニティー砂糖生産と伐採の現場から』（永野善子・葉山アツコ・関良基著、明石書店、2000年）

『複雑適応系における熱帯林の再生違法伐採から持続可能な林業へ』（関良基著、御茶の水書房、2005年）、

『グローカルネットワークー資源開発のディレンマと開発暴力からの脱却を目指して』（栗田英幸著、晃洋書房、2005年）

『フィリピンバナナのその後－－ー多国籍企業の操業現場と多国籍企業の規制（改訂版）』（中村洋子著、七つ森書館、2006年）

『改訂新版フィリピン援助と自力更生論ー構造的暴力の克服』（横山正樹著、明石書店、1994年）

『フィリピンー開発・国家・ＮＧＯ』（木村宏恒著、三一書房、1998年）

『開発援助の実像』（津田守・横山正樹編著、亜紀書房、1999年）

『火曜日はマーシーの日ーフィリピン母子保健の10年』（中原俊隆著、ぱる出版、2002年）

『自然災害と国際協力ーフィリピン・ピナトゥボ大噴火と日本』（津田守・田巻松雄編著、新評論、2001年）

『涙の島希望の島ーネグロスの人々とある神父の物語』（二アール・Ｃ・オブライエン著、大窄佐太郎・大河原晶子訳、朝日新聞社、1991年）

『ＮＧＯ主義でいこうインド・フィリピン・インドネシアで開発を考える』（小野行雄著、藤原書店、2002年）

『フィリピンの少女ピアー性虐待をのりこえた軌跡』（中島早苗・野川未央・フリ・ザ・チルドレン・ジャパン・プレダ基金編著、大月書店、2006年）

『ライフワークとしての国際ボランティア』（久保田賢一著、明石書店、2005年）

『ネグロス・マイラブ』（大橋成子著、めこん、2005年）

『人はなぜ「権利」を学ぶのかーフィリピンの人権教育』（阿久澤麻理子著、解放出版社、2002年）

『フィリピンの人権教育ーポスト冷戦期における国家・市民社会・国際人権レジームの役割と関係性の変化を軸として』（阿久津麻理子著、解放出版社、2006年）

移民

『フィリピンと日本 - 交流５００年の軌跡』（佐藤虎男著、サイマル出版会、1994年）

『「ベンゲット移民」の虚像と実像ー近代日本・東南アジア関係史の一考察』（早瀬晋三著、同文舘、1989年）

『ダバオ国の末裔たちーフィリピン日系棄民』（天野洋一著、風媒社、1990年）

『ハポンーフィリピン日系人の長い戦後』（大野俊著、第三書館、1991年）

『フィリピンの一日本人から』（大沢清著、新潮社、1978年）

『バギオの虹 - シスター海野とフィリピン日系人の一〇〇年』（鴨野守、アートヴィレッジ、2003年）

『マニラへ渡った瀬戸内漁民ー移民送出母村の変容』（武田尚子著、御茶の水書房、2002年）

『ぼくはいつも隠れていたーフィリピン人生不法就労記』（レイ・ベントウーラ著、松本剛史訳、草思社、1993年）

『横浜コトブキーフィリピーノ』（レイ・ベントゥーラ著、森本麻衣子訳、現代書館、2007年）
『折りたたみイスの共同体』（イバーラ・Ｃ・マテオ著、北村正之訳、星雲社、1999年）

『フィリピン女性エンターテイナーの世界』（マリア・ロザリオ・ピケロ・バレスカス著、津田守監訳、明石書店、1994年）

『フィリッピーナを愛した男たち』（久田恵著、文葡春秋、1989年）

『死んでもいいーマニラ行きの男たち』（浜なつ子著、太田出版、1999年）

『ザ・フィリピンパブー雇われ店長が覗いたニッポンの異空間』（福沢諭著、情報センター出版局、2001年）

『ザ・フィリピンパブー嘘誰も描けなかったピナたちの物語』（福沢諭著、情報センター出版局、2003年）

『ザ・フィリピン妻雇われ店長が溺れたディープすぎる世界』（福沢諭著、情報センター出版局、2004年）

『フィリピーナはどこへ行ったー日本から消えた彼女たちの「その後」』（白野慎也著、情報センター出版局、2007年）

『フィリピン女性エンターテイナーのライフストーリーエンパワーメントとその支援』（武田丈編著、関西学院大学出版会、2005年）

『フィリピン女性エンターテイナーの夢と現実マニラ、そして東京に生きる』（DAWN著、Dawn/Japan訳、明石書店、2005年）

『パパからの初めての手紙』（ＪＦＣを支えるネットワーク編、游学社、2005年）は、ＪＦＣ(Japanese Filipino Children)

『フィリピンー日本国際結婚ー移住と多文化共生』（佐竹直明・Ｍ・Ａ・ダアノイ著、めこん、2006年）

『どこへ行く介護難民ーフィリピン人介護士にケアを受けるということ』（稲葉敬子著、ベリかん社、2008年）

『国境を越えるフィリピン村人の民族誌ートランスナショナリズムの人類学』（長坂格著、明石書店、2009年）

『エスニック学生組織に見る「祖国」ーフィリピン系アメリカ人のナショナリズムと文化』（木下昭著、不二出版、2009年）

文学

『ノリ・メ・タンヘレーわが祖国に捧げる』（岩崎玄訳、井村文化事業社（勁草書房発売）、1976年）

『反逆・暴力・革命エル・フィリブステリスモ』（岩崎玄訳、井村文化事業社、1976年）

『我が心のアメリカーフィリピン人移民の話』（カルロス・ブロサン著、井田節子訳、井村文化事業社（勁草書房発売）、1984年）

『暁を見ずに』（ステヴァン・ハヴェリヤーナ著、阪谷芳直訳、井村文化事業社（勁草書房発売）、1976年）

『象がおどるとき（上・下）』（テス・ウリザホルス著、小島希里訳、太田出版、2005年）

『フィリピン短編小説珠玉選（１・２）』（寺見元恵、山下美知子編訳、井村文化事業社、1978～79年）

『仮面の群れ』（フランシスコ・ショニール・ホセ著、山本まつよ訳、めこん、1984年）

『民衆（上・下）』（フランシスコ・ショニール・ホセ著、山本まつよ訳、めこん、1991年）

『二つのヘソを持った女』（ニック・ホワキン著、山本まつよ訳、めこん、1988年）

『アンドロメダ星座まで』（グレゴリオ・Ｃ・ブリヤンテス著、宮本靖介・土井一宏訳、井村文化事業社（勁草書房発売）、1988年）

『マニラー光る爪』（エドガルド・Ｍ・レイエス著、寺見元恵訳、めこん、1981年）

『レイナ川の家』（リワイワイ・Ａ・アルセオ、寺見元恵訳、段々社、1990年）

『七〇年代』（ルアールハティ・バウティスタ、桝谷哲訳、めこん、1993年）

『あぎなるど比律賓独立戦話（前・後）』（山田美妙著、国文学研究資料館、2008年）

『海辺の怒り』（石田甚太郎著、新読書社、2001年）

『ロラたちの青春』（石田甚太郎著、新読書社、2002年）

『ＪＦＣの母と子の物語』（石田甚太郎著、新読書社、2004年）

『拳の漂流ー「神様」と呼ばれた男ベビー・ゴステロの生涯』（城島充著、講談社、2003年）

『フィリピン最底辺を生きる』（岩波フォト・ドキュメンタリー世界の戦場から、山本宗補著、岩波書店、2003年）

『アジア映画』（四方田犬彦編、作品社、2003年）

『アジア映画の大衆的想像力』（四方田犬彦著、青土社、2003年）

『私はなぜアジアの映画を見つづけるか』（佐藤忠男著、平凡社、2009年）

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」タイ地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

＜辞典・事典・年鑑＞

〇冨田竹二郎編『タイ日大辞典』めこん、1997年

〇日本タイ学会編『タイ事典』めこん、2009年

〇桃木他編『新版東南アジアを知る事典』平凡社、2008年

〇京都大学東南アジア研究センター編『事典東南アジア：風土・生態・環境』弘文堂、1997年

〇アジア経済研究所『アジア動向年報』日本貿易振興機構・アジア経済研究所、各年版

＜雑誌類＞

『東南アジア歴史と文化』（東南アジア学会）

『東南アジア研究』（京都大学東南アジア研究所）

『アジア経済』（日本貿易振興機構・アジア経済研究所）

『アジア研究』（アジア政経学会）

『タイ研究』（日本タイ学会）

月刊『ジェトロセンサー』（日本貿易振興機構・JETRO）

＜入門・概説書＞

〇綾部恒雄・林行夫『タイを知るための60 章』明石書店、2003年

〇綾部恒雄・石井米雄編『もっと知りたいタイ（第2 版）』弘文堂、1995年

〇石井米雄『道は、ひらける：タイ研究の五〇年』めこん、2003年

〇石井米雄『タイ仏教入門』めこん、1991年

＜研究書＞

〇石井米雄『タイ近世史研究序説』岩波書店、1999年

〇大泉啓一郎『老いてゆくアジア：繁栄の構図が変わるとき』中公新書、2007年

〇大阪市立大学経済研究所監修『アジアの大都市[1] バンコク』日本評論社、1998年

〇柿崎一郎『王国の鉄路ータイ鉄道の歴史』京都大学出版会、2010年

〇小泉順子『歴史叙述とナショナリズム：タイ近代史批判序説』東京大学出版会、2006年

〇末廣昭『タイー開発と民主主義』岩波書店（新書）、1993年

〇末廣昭『タイ：中進国の模索』岩波新書、2009年

〇末廣昭『キャッチアップ型工業化論：アジア経済の軌跡と展望』名古屋大学出版会、2000年

〇末廣昭『ファミリービジネス論：後発工業化の担い手』名古屋大学出版会、2006年

〇末廣昭・南原真『タイの財閥：ファミリービジネスと経営改革』同文館、1991年

〇タック・チャルームティアラナ『タイ：独裁的温情主義の政治』（玉田芳史・訳）勁草書房、1989年

〇玉田芳史『民主化の虚像と実像：タイ現代政治変動のメカニズム』京都大学学術出版会、2003年

〇玉田芳史・船津鶴代編『タイ政治行政の変革：1991-2006 年』アジア経済研究所、2008年

〇玉田芳史・星川圭介・船津鶴代編『タイ2011 年大洪水：その記録と教訓』アジア経済研究所、2013年

〇トンチャイ・ウィニッチャクン『地図がつくったタイ』（石井米雄・訳）明石書店、2003年

〇ヘンリー・ホームズ、スチャーダー『タイ人と働く：ヒエラルキー的社会と気配りの世界』（末廣昭・訳・解説）めこん、2000年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」ラオス地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

〈事典・工具書〉

・桃木至朗ら編『新版東南アジアを知る事典』平凡社2008年

・岩波書店辞典編集部編『岩波世界人名大辞典』岩波書店2013年

〈入門・概説書〉

・菊池陽子、鈴木玲子、阿部健一編『ラオスを知るための６０章』明石書店2010年

・ラオス文化研究所編『ラオス概説』めこん2003年

〈歴史〉

・マーチン・スチュアートーフォックス（菊池陽子訳）『ラオス史』めこん2010年

・竹内正右『ラオスは戦場だった』めこん2004年

〈政治・経済〉

・カム・ヴォーラペット（藤村和広・石川真唯子訳）『現代ラオスの政治と経済』めこん2010年

〈専論・研究書〉

・矢野順子『国民語の形成と国家建設ー内戦期ラオスの言語ナショナリズム』風響社2013年

・山田紀彦編『ラオスにおける国民国家建設』アジア経済研究所2011年

・プーミー・ヴォンヴィチット（平田豊訳）『激動のラオス現代史を生きてー回想のわが生涯』めこん2010年

・横山智、落合雪野編『ラオス農山村地域研究』めこん2008年

・西澤信善、古川久継、木内行雄編『ラオスの開発と国際協力』めこん2003年

・安井清子『空の民(チャオファー)の子どもたち』増補改訂版社会評論社2001年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「**TUFS-**ビブリオ」ベトナム地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

＜事典＞

〇石井米雄監修、桜井由躬雄・桃木至朗編『ベトナムの事典』同朋社、1999年

＜入門、概説書＞

〇今井昭夫・岩井美佐紀編著『現代ベトナムを知るための60 章』第2 版、明石書店、2012年

＜通史＞

〇松本信広『ベトナム民族小史』岩波新書、1969年

〇山本達郎編『ベトナム中国関係史ー曲氏の抬頭から清仏戦争まで』山川出版社、1975年

〇古田元夫『ベトナムの世界史中華世界から東南アジア世界へ』東京大学出版会、1995年

〇ファン・ゴク・リエン監修、今井昭夫監訳『ベトナムの歴史ーベトナム中学校歴史教科書』明石書店、2008年

＜近現代史＞

〇桜井由躬雄・石澤良昭『東南アジア現代史Ⅲヴェトナム・カンボジア・ラオス』山川出版社、1977年

〇バーナード・フォール『二つのベトナム』毎日新聞社、1966年

〇タイン・ティン（中川明子訳）『ベトナム革命の内幕』めこん、1997年

同じ著者・訳者の『ベトナム革命の素顔』（めこん、2002年）

＜人物史＞

〇潘佩珠（長岡新次郎、川本邦衛編）『ヴェトナム亡国史他』（東洋文庫73）平凡社、1966年

〇チャールズ・フェン（陸井三郎訳）『ホー・チ・ミン伝』上下、岩波新書、1974年

＜政治・経済＞

〇白石昌也編著『ベトナムの国家機構』明石書店、2000年

〇古田元夫『ドイモイの誕生ーベトナムにおける改革路線の形成過程』青木書店、2009年

〇トラン・ヴァン・トゥ『ベトナム経済発展論ー中所得国の罠と新たなドイモイ』勁草書房、2010年

〇伊藤正子『民族という政治ーベトナム民族分類の歴史と現在』三元社、2008年

＜ベトナム戦争＞

〇小倉貞男『ドキュメントヴェトナム戦争全史』岩波現代文庫、2005年

〇遠藤聡『ベトナム戦争を考えるー戦争と平和の関係』明石書店、2005年

〇今井昭夫・岩崎稔編『記憶の地層を掘るアジアの植民地支配と戦争の語り方』御茶の水書房、2010年

＜文学＞

〇阮攸（竹内与之助訳）『金雲翹』講談社、1975年

〇池澤夏樹編世界文学全集『暗夜、戦争の悲しみ』河出書房新社、2008年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「**TUFS-**ビブリオ」カンボジア地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

＜入門・概説書＞

〇上田広美、岡田知子編『カンボジアを知るための62章』明石書店2012年

＜専論・研究書：歴史、文化、政治経済、社会＞

〇坂本恭章訳『カンボジア王の年代記』明石書店2006年

〇J. デルヴェール『カンボジアの農民ー自然・社会・文化』風響社2002年

〇天川直子編『カンボジア新時代』日本貿易振興機構アジア経済研究所2004年

〇天川直子編『カンボジアの復興・開発』日本貿易振興会アジア経済研究所2001年

〇ベネディクト・アンダーソン『定本想像の共同体ーナショナリズムの起源と流行』書籍工房早山2007年

〇ヴァールミーキ(著), 中村了昭(翻訳) 『新訳ラーマーヤナ』平凡社東洋文庫2012年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「**TUFS-**ビブリオ」　ビルマ地域研究の基本文献』の掲載書籍リスト

入門・概説書

・田村克己・松田正彦2013『ミャンマーを知るための６０章』明石書店

・伊東利勝編2011『ミャンマー概説』めこん

・田辺寿夫、根本敬2012『アウンサンスーチー変化するビルマの現状と課題(oneテーマ21)』角川書店

専門書

【政治・経済】

・工藤年博編2012『ミャンマー政治の実像：一軍政23 年の功罪と新政権のゆくえ(アジ研選書)』アジア経済研究所

・中西嘉宏2009『軍政ビルマの権力構造ーネー・ウィン体制下の国家と軍隊1962-1988』京都大学出版会

・高橋昭雄2012『ミャンマーの国と民』明石書店

【歴史・文化】

・根本敬2010『抵抗と協力のはざまーー近代ビルマ史のなかのイギリスと日本(シリーズ戦争の経験を問う)』岩波書店

・高谷紀夫2008『ビルマの民族表象：一文化人類学の視座から』法蔵館

・生野善應1995『ビルマ佛教：その実態と修行』（新装版）大蔵出版

池田正隆1995『ビルマ仏教：その歴史と儀礼・信仰』法蔵館

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」南アジア地域研究のための文献案内』の掲載書籍リスト

【ウルドゥー語専攻】

文献に◎がついているものは、ヒンディー語地域、ベンガル語地域の地域研究と共通の文献です。

事典・工具類

◎辛島昇ほか（監修）2012. 新版南アジアを知る事典平凡社

◎大塚和夫著2002. 岩波イスラーム辞典岩波書店

佐藤次高（監修）2002. 新イスラム事典平凡社

平凡社編集部2000. 最新地図で知る東南・南アジア平凡社

概説書

◎広瀬崇子、山根聡、小田尚也編著2003.

パキスタンを知るための60 章明石書店

◎現代インドを知るための60 章(2007)

◎バングラデシュを知るための60 章（第２版）(2009)

◎現代南アジア全６巻2002. 東京大学出版会

黒崎卓、山根聡、子島進編2004. 現代パキスタン分析岩波書店

小西正捷編1987. もっと知りたいパキスタン弘文堂

歴史

◎山崎元一、小西正捷編2007．南アジア史（１）先史・古代（世界歴史大系）山川出版社

◎小谷汪之編2007. 南アジア史（２）中世・近世（世界歴史大系）山川出版社

◎辛島昇編2007．南アジア史（３）南インド（世界歴史大系）山川出版社

アーイシャ・ジャラール著井上あえか（訳）1999. パキスタン独立勁草書房

★図書館ではハードカバー版（1985 年刊）を所蔵

中村平治著1993（第２版。初版は1977）. 南アジア現代史Ｉインド山川出版社

加賀谷寛、濱口恒夫著1977．南アジア現代史Ⅱパキスタン・バングラデシュ山川出版社

ドミニク・ラピエール、ラリー・コリンズ著杉辺利英（訳）1981．今夜、自由を（上）（下）ハヤカワ文庫NF74

社会

◎（叢書）カースト制度と被差別民（全５巻）1994-95．明石書店

サーラ・スレーリ著大島かおり（訳）1992. 肉のない日：あるパキスタンの物語みすず書房

中村正HD 1990. 貧者の核爆弾文藝春秋

【ヒンディー語専攻】（＝【ウルドゥー語専攻】＋@）

●事典・工具類
辛島昇他編、2012.『新版南アジアを知る事典』、平凡社。

大塚和夫他編、2002.『岩波イスラーム辞典』、岩波書店。

小杉泰、林佳世子、東長靖編、2008.『イスラーム世界研究マニュアル』、名古屋大学出版会

佐藤次高監修、2002.『新イスラム事典』、平凡社。

平凡社編集部、2000.『最新地図で知る東南・南アジア』、平凡社。

松本脩作編、2006.『インド書誌：明治初期～2000 年刊行邦文単行書』、東京外国語大学21 世紀COE「史資料ハブ地域文化研究拠点」。

足立享祐編、2006.『明治・大正・昭和期南アジア研究雑誌記事索引：日印協會々報、印度甲谷陀日本商品館報、日印経済協會會報、新亜細亜、綜合インド月報』、東京外国語大学21 世紀COE「史資料ハブ地域文化研究拠点」。

●概説書

広瀬崇子、山根聡、小田尚也編著、2003.『パキスタンを知るための60 章』、明石書店。

広瀬崇子他編著、2007.『現代インドを知るための60 章』、明石書店。

大橋正明、村山真弓編著、2009.『バングラデシュを知るための60 章（第２版）』、明石書店。

長崎暢子他編、2002-3.『現代南アジア全６巻』、東京大学出版会。

山根聡著、2011.『４億の少数派：南アジアのイスラーム』、山川出版社。

黒崎卓、山根聡、子島進編、2004.『現代パキスタン分析』、岩波書店。

小西正捷編、1987.『もっと知りたいパキスタン』、弘文堂。

佐藤宏、内藤雅雄、柳澤悠編、1989.『もっと知りたいインド(Ⅰ,Ⅱ)』、弘文堂。

臼田雅之、佐藤宏、谷口晉吉編、1993.『もっと知りたいバングラデシュ』、弘文堂。

●歴史

山崎元一、小西正捷編、2007．『南アジア史（１）先史・古代（世界歴史大系）』、山川出版社。

小谷汪之編、2007.『南アジア史（２）中世・近世（世界歴史大系）』、山川出版社。

辛島昇編、2007．『南アジア史（３）南インド（世界歴史大系）』、山川出版社。

内藤雅雄、中村平治編、2006.『南アジアの歴史：複合的社会の歴史と文化』、有斐閣。

アーイシャ・ジャラール著、井上あえか訳、1999.『パキスタン独立』、勁草書房。

中村平治、1993（第２版。初版は1977）.『南アジア現代史Ⅰインド』、山川出版社。

加賀谷寛、濱口恒夫、1977. 『南アジア現代史Ⅱパキスタン・バングラデシュ』、山川出版社。

ドミニク・ラピエール、ラリー・コリンズ著、杉辺利英訳、1981. 『今夜、自由を（上）（下）』、ハヤカワ文庫NF74。

ウルワシー・ブターリア著、藤岡恵美子訳、2002.『沈黙の向こう側：インド・パキスタンの分離独立と引き裂かれた人々の声』、明石書店。

●社会

小谷汪之他編、1994-95. 『叢書・カースト制度と被差別民（全５巻）』、明石書店。

カースト制度に関する研究動向、歴史、現状を知るための研究書（論文集）。

小谷汪之、1996.『不可触民とカースト制度の歴史』、明石書店。

藤井毅、2008.『歴史のなかのカースト（第２版）』、岩波書店。

藤井毅、2007.『インド社会とカースト』、山川出版社

フォージア・サイード著、太田まさこ監訳、2010.『タブー：パキスタンの買春街で生きる女性たち』、コモンズ。

サーラ・スレーリ著、大島かおり訳、1992.『肉のない日：あるパキスタンの物語』、みすず書房。

【ベンガル語専攻】

＜はじめに＞

南アジアに関する共通基本文献（ウルドゥー語専攻の部分で◎が付けられたもの）は、ベンガル研究を志す者にとっても基本となることは言を俟たない。

＜ベンガルの通史＞

加賀谷寛・浜口恒夫共著『世界現代史10 南アジア現代史II』（山川出版社、1977）

臼田雅之・佐藤宏・谷口晋吉編著『もっと知りたいバングラデシュ』（弘文堂、1993）

佐藤宏編著『バングラデシュ：低開発の政治構造』（アジア経済研究所、研究双書393、1990）

＜ベンガルの社会・文化・宗教・文学＞

小西正捷著『ベンガル歴史風土記』（法政大学出版局、1986）

外川昌彦著『ヒンドゥー女神と村落社会インド・ベンガル地方の宗教民俗誌』（風響社、2003）、同『宗教に抗する聖者』（世界思想社、2009）

高田峰夫著『バングラデシュ民衆社会のムスリム意識の変動』（明石書店、2006）

臼田雅之著『近代ベンガルにおけるナショナリズムと聖性』（東海大学文学部叢書）（東海大学出版会､2013 年）

竹内啓二著『近代インド思想の源流ラムモホン・ライの宗教・社会改革』（新評論、1991）

丹羽京子著『タゴール』（清水書院、2011）

＜ベンガルの社会開発・経済開発＞

石上悦朗／佐藤隆広編著『現代インド・南アジア経済論』（ミネルヴァ書房、2011）

南谷猛、浅井宏、松尾範久共著『バングラデシュ経済がわかる本』（徳間書店、2011）

海田能宏編著『バングラデシュ農村開発実践研究』（コモンズ、2003）

藤田幸一著『バングラデシュ農村開発のなかの階層変動貧困削減のための基礎研究』（京都大学学術出版会2005）

向井史郎著『バングラデシュの発展と地域開発』（明石書店、2003）

ムハマド・ユヌス著猪熊弘子訳『ムハマド・ユヌス自伝』（早川書房、1998）

ムハマド・ユヌス著猪熊弘子訳『貧困のない世界を創る』（早川書房、2008）

坪井ひろみ『グラミン銀行を知っていますか』（東洋経済新報社、2006）

佐藤彰男、I.U.チョドリ、坂本真司、鳩貝耕一『ヴィレッジフォン』（御茶ノ水書房、2010）

西川麦子著『バングラデシュ/ 生存と関係のフィールドワーク』（平凡社、2001）

金基淑著『アザーンとホラ貝ーインド・ベンガル地方の絵語り師の宗教と生活戦略』（明石書店、2000）

三宅博之『開発途上国の都市環境バングラデシュ・ダカ持続可能な社会の希求』（明石書店、2008）

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」アラブ地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

【事典・工具類】

大塚和夫他編『イスラーム辞典』岩波書店、2002年

小杉泰・林佳世子・東長靖編『イスラーム世界研究マニュアル』名古屋大学出版会、2008年

【入門・概説書】

大塚和夫編『暮らしがわかるアジア読本アラブ』河出書房新社、1998年

松本弘編『現代アラブを知るための56 章』明石書店、2013年

私市正年編『モロッコを知るための65 章』明石書店、2007年

私市正年編『アルジェリアを知るための62 章』明石書店、2009年

黒木英充編『シリア・レバノンを知るための64 章』明石書店、2013年

酒井啓子、吉岡明子、山尾大編『現代イラクを知るための60 章』明石書店、2013年

鈴木恵美編『現代エジプトを知るための60 章』明石書店、2012年

鷹木恵子編『チュニジアを知るための60 章』明石書店、2010年

【アラブ地域通史】

フィリップ・K・ヒッティ著、岩永博訳『アラブの歴史（上・下）』講談社、1982～1983年

アルバート・ホーラーニー著、湯川武監訳『アラブの人々の歴史』第三書館、2003年

【専論・研究書】

青山弘之・末近浩太著『現代シリア・レバノンの政治構造』岩波書店2009年

臼杵陽著『世界史の中のパレスチナ問題』講談社、2013年

酒井啓子著『イラク戦争と占領』岩波書店、2004年

長沢栄治著『エジプトの自画像：ナイルの思想と地域研究』東京大学東洋文化研究所、2013年

西尾哲夫、堀内正樹、水野信男編、『アラブの音文化』スタイルノート、2010年

八木久美子著『グローバル化とイスラム：エジプトの「俗人」説教師たち』世界思想社、2011年

【イスラーム関連】

三田了一訳『聖クルアーン：日亜対訳注解（第二版）』日本ムスリム協会、1983年

小杉泰著『イスラームとは何か』講談社、1994年

井筒俊彦著『イスラーム哲学の原像』岩波書店、1980年

ライラ・アハメド著、林正雄他訳『イスラームにおける女性とジェンダー』法政大学出版会、2000年

【文学作品】

『現代アラブ小説全集』河出書房新社、1988～1989年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」トルコ地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

Ⅰ．事典、ハンドブック類

・『新イスラム事典』平凡社、2002年。

・『イスラーム辞典』岩波書店、2002年。

・『イスラーム世界事典』明石書店、2002年。

・小杉泰・林佳世子・東長靖（編）『イスラーム世界研究マニュアル』名古屋大学出版会、2008年。

・三浦徹・黒木英充・東長靖（編）『イスラーム研究ハンドブック』（講座イスラーム世界、別巻）栄光教育文化研究所、1995年。

・大村幸弘・永田雄三・内藤正典（編著）『トルコを知るための53 章』明石書店、2012年。

Ⅱ．歴史的背景を把握するために

・林佳世子『オスマン帝国500 年の平和』（興亡の世界史10）講談社、2008年。

・同『オスマン帝国の時代』（世界史リブレット19）山川出版社、1997年。

・鈴木董『オスマン帝国ーーイスラム世界の「柔らかい専制」』（現代新書1097）講談社、1992年。

・永田雄三・羽田正『成熟のイスラーム社会』（世界の歴史15）中央公論社、1998年。

・永田雄三（編）『西アジア史Ⅱ』（新版世界各国史９）山川出版社、2002年。

・新井政美『オスマンvs.ヨーロッパーー〈トルコの脅威〉とは何だったのかーー』（選書メチエ237）講談社、2002年。

Ⅲ．オスマン崩壊から共和国成立期について知るために

・鈴木董『オスマン帝国の解体――文化世界と国民国家――』（ちくま新書）筑摩書房、2000年。

・新井政美『トルコ近現代史ーーイスラム国家から国民国家へーー』みすず書房、2001年。

・同『オスマン帝国はなぜ崩壊したのか』青土社、2009年。

Ⅳ．現代トルコの様々な局面について知るために

・松原正毅『遊牧の世界――トルコ系遊牧民ユルックの民族誌から――』中央公論社、1983年（平凡社ライブラリー、2004 年）。

・同『トルコの人びと――語り継ぐ歴史のなかで――』（ＮＨＫブックス564）日本放送出版協会、1988年。

・M. マカル、尾高晋己・勝田茂訳『トルコの村から――マフムト先生のルポ――』社会思想社、1981年。

・中山紀子『イスラームの性と俗――トルコ農村女性の民族誌――』アカデミア出版、1999年。

・内藤正典『アッラーのヨーロッパ――移民とイスラム復興――』東京大学出版会、1996年。

・野中恵子『ゾーリンゲンの悲劇――トルコ人労働者移民放火殺人――』三一書房、1996年。

・内藤正典『ヨーロッパとイスラームーー共生は可能か』（岩波新書赤905）岩波書店、2004年。

・内藤正典・阪口正二郎（編著）『神の法vs.人の法』日本評論社、2007年。

・松谷浩尚『現代トルコの政治と外交』勁草書房、1987年。

・同『現代トルコの経済と産業――トルコ財閥の研究――』中東調査会、1989年。

・澤江史子『現代トルコの民主政治とイスラーム』ナカニシヤ出版、2005年。

・新井政美（編著）『イスラムと近代化ーー共和国トルコの苦闘ーー』（選書メチエ541）講談社、2013年。

・中川喜与志『クルド人とクルディスターン――拒絶される民族――』南方新社、2001年。

・小島剛一『トルコのもう一つの顔』（中公新書1009）中央公論社、1991年。

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」イラン地域研究のための基本文献案内』の掲載書籍リスト

イラン地域概観

①上岡弘二（編）、『暮らしがわかるアジア読本イラン』、河出書房新社、1999年

②岡田恵美子、北原圭一、鈴木朱里（編著）、『イランを知るための65 章』、明石書店、2004年

③森茂男（編）、『イランとイスラム―文化と伝統を知る―』、春風社、2010年

④津田元一郎、『アフガニスタンとイラン―人とこころ―』、アジア経済研究所（アジアを見る眼52）、1977年

⑤鈴木均（編著）、『ハンドブック現代アフガニスタン』、明石書店、2005年

イラン地域通史

⑥永田雄三（編）、『西アジアⅡイラン・トルコ』（新版世界各国史9）、山川出版社、2002年

⑦ヴィレム・フォーヘルサング（著）、前田耕作、山内和也（監訳）、『アフガニスタンの歴史と文化』、明石書店、2005年

イラン現代史とイスラーム革命

⑧八尾師誠（著）、『イラン近代の原像―英雄サッタール・ハーンの革命―』、東京大学出版会、1998年

⑨吉村慎太郎（著）、『イラン現代史 - 従属と抵抗の100 年 - 』、有志舎、2011年

⑩桜井啓子、『現代イラン―神の国の変貌―』、岩波書店（新書）、2001年

⑪富田健次（著）、『アーヤトッラーたちのイラン―イスラーム統治体制の矛盾と展開―』、第三書館、1993年

⑫鈴木均（著）、『現代イランの農村都市―革命・戦争と地方社会の変容―』、勁草書房、2011年

地域関係の個別テーマ

⑬原隆一（著）、『イランの水と社会』、古今書院、1997年

⑭八尾師誠（編著）、『銭湯へ行こう・イスラム編ーお風呂のルーツを求めてー』、TOTO出版、1993年

⑮岡崎正孝、『カナートーイランの地下水路ー』、論創社、1988年

その他

⑯佐々木徹、『アフガンの四季』、中央公論社（中公新書）、1981年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「**TUFS-**ビブリオ」アフリカ地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

＜事典＞

小田英郎他監修（2010）『新版アフリカを知る事典』平凡社772頁

加藤博・島田周平編（2012）『世界地名大事典：第3 巻中東・アフリカ』朝倉書店1174頁。

＜入門・概説書＞

宮本正興・松田素二編(1997) 『新書アフリカ史』講談社現代新書596頁

『世界現代史アフリカ現代史Ⅰ～Ⅴ』（1978～）山川出版社Ⅰ：総説・南部アフリカ，Ⅱ：東アフリカ，Ⅲ：中部アフリカ，Ⅳ：西アフリカ（2 版），Ⅴ：北アフリカ

勝俣誠（2013）『新・現代アフリカ入門ー人々が変える大陸』岩波新書250頁

＜専門書・研究書＞

峯陽一・武内進一・笹岡雄一編(2010)『アフリカから学ぶ』有斐閣430頁

小倉充夫（1989）『現代アフリカへの接近』三嶺書房228頁

小倉充夫（1982）『開発と発展の社会学』東京大学出版会226頁

高橋基樹（2010）『開発と国家：アフリカ政治経済論序説』勁草書房461頁

川端正久・落合雄彦編（2006）『アフリカ国家を再考する』（龍谷大学社会科学研究所叢書65 巻）晃洋書房389頁

島田周平（2007）『現代アフリカ農村-変化を読む地域研究の試み-』古今書院182頁

『京都大学アフリカ研究シリーズ』京都大学地域研究資料センター

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「TUFS-ビブリオ」オセアニア地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

＜オセアニア全般に関するもの＞

山本真鳥編、『オセアニア史』、山川出版社、２０００年

石川栄吉監修、大塚柳太郎、片山一道、印東道子編、『オセアニアⅠ 島嶼に生きるーはじめて海を渡った人々』東京大学出版会、１９９３年

石川栄吉監修、須藤健一、秋道智彌、崎山理編、『オセアニアⅡ伝統に生きるー海と島を舞台にした人々』東京大学出版会、１９９３年

石川栄吉監修、清水昭俊、吉岡政徳編、『オセアニアⅢ近代に生きるービッグマン制から「近代」国家へ』東京大学出版会、１９９３年

吉岡政徳監修、遠藤央、印東道子、梅崎昌裕、中澤港、窪田幸子、風間計博編、『オセアニア学』京都大学出版会、２００９年

加藤めぐみ、石川栄吉、小林泉監修、『新版オセアニアを知る事典』平凡社、２０１０年

丹羽典生、石森大知編、『現代オセアニアの＜紛争＞』昭和堂、２０１３年

＜地域、トピック別＞

藤川隆男編、『オーストラリアの歴史』有斐閣、２００４年

松山利夫、『ブラックフェラウェイ』御茶の水書房、２００６年

青柳まちこ編、『もっと知りたいニュージーランド』弘文堂、１９９７年

伊藤泰信『先住民の知識人類学ーニュージーランド＝マオリの知と社会に関するエスノグラフィ』世界思想社、２００７年

吉岡政徳、石森大知編著、『南太平洋を知るための５８章ーメラネシア・ポリネシア』明石書店、２０１０年

中嶋弓子、『ハワイ・さまよえる楽園－民族と国家の衝突』東京書籍、１９９３年

マーシャル・サーリンズ、山本真鳥訳、『歴史の島々』法政大学出版局、１９９３年

秋道智彌、関根久雄、田井竜一編、『ソロモン諸島の生活誌－文化・歴史・社会』明石書店、１９９６年

ピーター・ワースレイ、吉田正紀訳、『千年王国と未開社会－メラネシアのカーゴ・カルト運動』紀伊国屋書店、１９８１年

松島泰勝、『ミクロネシア小さな島々の自立への挑戦』早稲田大学出版部、２００７年

豊崎博光、『マーシャル諸島核の世紀』日本図書センター、２００５年

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「**TUFS-**ビブリオ」環太平洋研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

＜事典＞

〇加藤めぐみ・石川栄吉・小林泉監修『新版オセアニアを知る事典』2010年、平凡社。

〇太平洋学会編『太平洋諸島百科事典』原書房、1989年

＜入門・概説書＞

〇増田義郎『太平洋―開かれた海の歴史』集英社新書、2007年

＜専論・研究書＞

〇佐藤幸男編『太平洋世界叢書１世界史のなかの太平洋』国際書院、1998年

〇春日直樹編『太平洋世界叢書3 オセアニア・ポストコロニアル』国際書院、2002年

〇小柏葉子編『太平洋世界叢書４太平洋島嶼と環境・資源』国際書院、1999年

〇佐藤幸男編『太平洋世界叢書5 太平洋アイデンティティ』国際書院、2003年

〇原田勝弘・下田平裕身・渡辺秀樹編著『環太平洋先住民族の挑戦自治と文化再生をめざす人びと』明石書店、1999年。

『東京外国語大学附属図書館　学生のための基本文献ガイド「**TUFS-**ビブリオ」中国地域研究のための基本文献』の掲載書籍リスト

[現代中国編]

＜資料・統計＞

〇21 世紀中国総研編『中国情報ハンドブック』各年版、蒼蒼社（最新刊は2013 年）。

『中国情報源[2013-2014 年]』（21 世紀中国総研編）

〇中国国家統計局編『中国統計年鑑』各年版、中国統計出版社。

＜一般・総合＞

〇梶谷懐『「壁と卵」の現代中国論』人文書院、2011年。

〇天児慧『中華人民共和国史新版』岩波新書、2013年。

〇叢書『中国的問題群』全12 冊（2009 年～）、岩波書店。

＜政治・外交＞
〇浅野亮、川井悟編『近現代中国政治史』ミネルヴァ書房、2012年。

〇毛里和子『現代中国政治-グローバル・パワーの肖像第3 版』名古屋大学出版会、201年。

〇遠藤誉『チャイナ・ナイン中国を動かす9 人の男たち』朝日新聞出版、2012年。

＜経済＞

〇林毅夫（劉徳強訳）『北京大学中国経済講義』東洋経済新報社、2012年。

〇加藤弘之、上原一慶編『現代中国経済論』ミネルヴァ書房、2011年。

近著『21 世紀の中国経済国家資本主義の光と影』朝日新聞社出版、2013 年（渡邊真理子、大橋英雄との共著）

〇ロナルド・コース、王寧（栗原百代訳）『中国共産党と資本主義』日経BP社、2013年。

〇中兼和津次『開発経済学と現代中国』名古屋大学出版会、2012年。

＜社会＞

〇若林敬子『中国の人口問題と社会的現実』ミネルヴァ書房、2005年。

同じ著者編の『中国人口問題のいま』（ミネルヴァ書房、2006年）

〇阿古智子『貧者を喰らう国』、新潮社、2009年。

王文亮の『格差大国中国』（旬報社、2009年）

園田茂人『不平等国家中国---自己否定した社会主義のゆくえ』（中公新書、2008年）

〇李妍q1『中国の市民社会ー動き出す草の根NGO』岩波新書、2012年。

[歴史・文化編]

＜事典・工具＞

〇『東洋歴史大辭典』（全9 巻）、平凡社、1937-39年。

〇『アジア歴史事典』（全10 巻）、平凡社、1959-1962年。

〇諸橋轍次著『大漢和辞典』大修館書店、1960 年初版。

〇松田寿男、森鹿三編『アジア歴史地図』（『アジア歴史事典』新装復刊版別巻）、平凡社、1984年。

〇京大東洋史辞典編纂会編『新編東洋史辞典』東京創元社、1980年。

〇『中国歴史大辞典』（全13 巻）、上海：上海辞書出版社、1983-2000年。

〇潘樹広編著；松岡栄志編訳『中国学レファレンス事典』、凱風社、1988年。

〇溝口雄三、丸山松幸、池田知久編『中国思想文化事典』東京大学出版会、2001年。

＜入門・概説書＞

〇溝口雄三著『方法としての中国』東京大学出版会、1989年。

〇島田虔次ほか編『アジア歴史研究入門』（全6 巻）、同朋舎、1983-87年。

〇中国史学の基本問題シリーズ(各編集委員会編、汲古書院)。
(1)『殷周秦漢時代史の基本問題』2001年
(2)『魏晋南北朝隋唐時代史の基本問題』1997年
(3)『宋元時代史の基本問題』1996年
(4)『明清時代史の基本問題』1997年

〇礪波護、岸本美緒、杉山正明編『中国歴史研究入門』名古屋大学出版会、2006年。

〇日外アソシエーツ株式会社編集『中国を知る本』（全3巻）、日外アソシエーツ、2008年。

〇並木頼壽、杉山文彦編著『中国の歴史を知るための60章』（エリア・スタディーズ87）、明石書店、2011年。

＜通史＞

〇礪波護、森正夫、加藤祐三著『中国』（上下巻、地域からの世界史2-3）、朝日新聞社、1992年。

〇J・K・フェアバンク著；大谷敏夫、太田秀夫訳『中国の歴史：古代から現代まで』（Minerva21世紀ライブラリー2S）、ミネルヴァ書房、1996年。

〇尾形勇、岸本美緒編『中国史新版』（新版世界各国史3）、山川出版社、1998年。

〇日比野丈夫、礪波護監修『中国文明の歴史』（全12巻、中公文庫1-12）、中央公論新社、2001年。

〇松丸道雄ほか編『中国史』（全5巻、世界歴史体系）、山川出版社、2002年。

〇礪波護ほか編『中国の歴史』（全12巻）、講談社、2004-05 年。

〇課程教材研究所、綜合文科課程教材研究開発中心編著；並木頼寿監訳、大澤肇ほか訳『中国の歴史と社会：中国中学校新設歴史教科書』（世界の教科書シリーズ26）、明石書店、2009年。

2001 年に出版された教科書の邦訳版『入門中国の歴史：中国中学校歴史教科書』（大里浩秋ほか訳；小島晋治、並木頼寿監訳、明石書店、2001 年）

＜専論・研究書＞

〇宮崎市定『科挙』中公新書、中央公論社、1963年。

〇滋賀秀三著『中国家族法の原理』創文社、1967年。

〇田中正俊著『中国近代経済史研究序説』東京大学出版会、1973年。

〇坂野正高著『近代中国政治外交史』東京大学出版会、1973年。

〇滋賀秀三著『清代中国の法と裁判』創文社、1984年。

続編として『続・清代中国の法と裁判』(創文社、2009年)

〇余英時著・森紀子訳『中国近世の宗教倫理と商人精神』平凡社、1991年。

『使えるレファ本１５０選』日高隆(著)の掲載書籍リスト

其の一　先達の智恵袋

1「人生儀礼事典」小学館（単行本）
2「ことわざ辞典ーポケット版」成美堂出版（単行本（ソフトカバー））
3「みなさんこれが敬語ですよ一図でよくわかる敬語のしくみ」萩野 貞樹（単行本）
4「食べ方のマナーとコツ 暮らしの絵本」伊藤 美樹（単行本）
5「生活図鑑一『生きる力』を楽しくみがく」おち とよこ（単行本（ソフトカバー））済
6「語源を楽しむ一知って驚く日常日本語のルーツ (ベスト新書)」増井 金典（新書）
7「暮らしのことば 語源辞典」講談社（単行本（ソフトカバー））
8「数え方の辞典」飯田 朝子（単行本）
9「知っておきたい日本の名言・格言事典」山本 博文（単行本）

其の二　あれこれ比較する

「値段の明治大正昭和風俗史〈上〉」朝日新聞社（文庫）
「値段の明治大正昭和風俗史〈下〉」朝日新聞社（文庫）
「新・値段の明治大正昭和風俗史」朝日新聞社
「戦後値段史年表 (朝日文庫)」週刊朝日（文庫）
「地球の歩き方」シリーズ
「世界の女性〈2000〉一動向と統計」（大型本）
「よその国ではどーやってるの?」有楽出版社（単行本）
「日本方言辞典一標準語引き」小学館辞典編集部（単行本）
「江戸を知る事典」東京堂出版（単行本）
「幕末都市社会の研究」南 和男（単行本）
「現代日本人の意識構造 (NHKブックス)」日本放送出版協会（単行本）
「国のうた」弓狩 匡純（単行本）
「都道府県ランキング くらしデータブック」朝日新聞社（単行本）
「データブック NHK日本人の性行動・性意識」日本放送出版協会（単行本）

其の三　仕組みを知る

「核兵器のしくみ」山田 克哉（新書）
「よくわかる石油業界 (最新 業界の常識)」渡辺 昇（単行本）
「病気のメカニズムがわかる事典一身近な病気から難病まで、病気の原因と正体を解き明かす」横山 泉（単行本（ソフトカバー））

「日本統計年鑑（第55回（平成18年））」
「図説 日本のマスメディア (NHKブックス)」藤竹 暁（単行本）
「NHKデータブック世界の放送 2007 (2007)」日本放送出版協会（単行本）
「学問のしくみ事典ーあらゆる「学」の系譜と相関がわかる」VALIS DEUX（単行本（ソフトカバー））
「学制百二十年史」文部省
「imidas〈2007〉」集英社（ムック）
「現代用語の基礎知識2007」自由国民社（単行本（ソフトカバー））
「朝日現代用語 知恵蔵 2007」朝日新聞社（単行本）
「スーパー・ニッポニカ2002 DVD-ROM版 日本大百科全書+国語大辞典 Windows版」小学館（DVD-ROM）
「SONY BBEB-D008S 日本大百科全書」ソニー（エレクトロニクス）

其の四　ニュースに惑わされない

「民族世界地図 最新版 (新潮文庫)」浅井 信雄（文庫）
「宗教世界地図 最新版 (新潮文庫)」立山 良司（文庫）
「イラスト図解ニュースの地図帳ーなぜ「そこで」おきるのか」池上 彰（単行本）
「DSM-IV-TR精神疾患の分類と診断の手引」染矢 俊幸（単行本）
「実際の設計ー機械設計の考え方と方法」畑村 洋太郎（単行本）
「実際の設計選書」実際の設計研究会（単行本）
「続々・実際の設計ー失敗に学ぶ (実際の設計選書)」実際の設計研究会（単行本）
「自殺死亡統計 (第5回)」厚生労働省大臣官房統計情報部
「日本の大量殺人総覧」村野 薫（新書）
「共同通信ニュース予定 2007」共同通信社（単行本（ソフトカバー））

其の五　流行にも反応しておく

「オトナ語の謎。 (新潮文庫)」ほぼ日刊イトイ新聞（文庫）
「カタカナ・外来語/略語辞典 改訂版 (現代用語の基礎知識シリーズ)」自由国民社（単行本）
「アメリカ俗語辞典」研究社出版（単行本）
「昭和流行語辞典 (三一新書 989)」グループ・昭和史探検（新書）
「昭和語ー60年世相史」榊原 昭二（文庫）
「一世風靡語事典ー時代の表情を読む100のアイテム」神津 陽
「消えた日本語辞典」奥山 益朗
「消えた日本語辞典 (続)」奥山 益朗
「現代若者コトバ辞典ーこの一冊でワカモノの思想がわかる」日本経済評論社（ー）

「日本俗語大辞典」東京堂出版（単行本）
「角川 新字源」角川書店
「新ファッションビジネス基礎用語辞典」チャネラー（単行本）

其の六　言葉を豊かに

「問題な日本語ーどこがおかしい?何がおかしい?」大修館書店（単行本）
「カシオ計算機 電子辞書 Ex-word XD-SW6500BK XD-SW6500BK」カシオ（エレクトロニクス）
「日本国語大辞典 〔精選版〕 1」小学館（大型本）
「日本国語大辞典 (2)」小学館国語辞典編集部（大型本）
「日本国語大辞典 (3)」小学館国語辞典編集部（大型本）
「記者ハンドブック -新聞用字用語集 第10版-」共同通信社（単行本）
「’05-’06年版 朝日新聞の用語の手引」朝日新聞社（単行本）
「毎日新聞用語集 改訂新版」毎日新聞社（単行本）
「日本語の正しい表記と用語の辞典」講談社（単行本）
「現代文章作法ー考える、書く、表現する現代文の常識大百科」講談社（単行本）
「新編 差別用語の基礎知識ー何が差別語・差別表現か?」高木 正幸（単行本）
「実例・差別表現ー糾弾理由から後始末まで、情報発信者のためのケーススタディ」堀田 貢得（単行本）
「例解 誤字辞典」土屋 道雄（単行本）
「早引き類語連想辞典」野元 菊雄（単行本）
「類語国語辞典」浜西 正人（単行本）
「類語大辞典」講談社（単行本）

其の七　歴史を振り返る

「近代日本総合年表ー1853(嘉永6) - 2000(平成12)」岩波書店（単行本）
「読める年表・日本史」小西 四郎（単行本）
「詳説　世界史」山川出版社（単行本）
「詳説 日本史研究」山川出版社（単行本）
「事典近代日本の先駆者」（楽天ブックス）
「来日西洋人名事典」武内 博
「戦後50年 新版」毎日新聞社（大型本）
「戦後史大事典1945 - 2004」三省堂（単行本）
「クロニック世界全史」樺山 紘一（大型本）
「日本全史ージャパン・クロニック」講談社（大型本）
「事典 昭和戦前期の日本ー制度と実態」百瀬 孝

「事典 昭和戦後期の日本一占領と改革」百瀬 孝
「しらべる戦争遺跡の事典」柏書房（単行本）
「世界戦争犯罪事典」常石 敬一（単行本）
「戦後日本病人史」川上 武（単行本）
「20世紀にっぽん殺人事典」福田 洋（単行本）

其の八　テレビに役立つ

「韓流ドラマ館　～ペ・ヨンジュン伝説の幕明け～」青春出版社（単行本）
「テレビ・タレント人名事典」日外アソシエーツ（単行本）
「全記録 テレビ視聴率50年戦争ーそのとき一億人が感動した」引田 惣弥（単行本）
「プロ野球選手写真名鑑 2007年 (2007) (NIKKAN SPORTS GRAPH)」日刊スポーツ出版社（ムック）
「TVドラマオールファイル 90’s民放版」宮崎 千恵子（単行本（ソフトカバー））
「完璧版 テレビバラエティ大笑辞典」笑芸人編集部（単行本）
「テレビ史ハンドブック」煤孫 勇夫（単行本（ソフトカバー））
「テレビドラマ全史」東京ニュース通信社
「コンサイス外国地名事典」谷岡 武雄（単行本（ソフトカバー））
「世界を制した20のメディアーブランディング・マーケティング戦略」氷上 春奈（単行本）

其の九　文学に人生を見る

「日本ミステリー事典 (新潮選書)」新保 博久（単行本（ソフトカバー））
「海外ミステリー事典」権田 万治（単行本（ソフトカバー））
「日本近代文学大事典〈第1巻〉人名 あ-け (1977年)」講談社
「日本近代文学大事典〈第2巻〉人名 こ-な (1977年)」講談社
「日本近代文学大事典〈第3巻〉人名 に-わ (1977年)」講談社
「日本近代文学大事典〈第4巻〉事項 (1977年)」講談社
「日本近代文学大事典〈第5巻〉新聞・雑誌 (1977年)」講談社
「日本近代文学大事典〈第6巻〉索引その他 (1978年)」講談社
「世界の古典名著・総解説」自由國民社（単行本）
「要約世界文学全集1 (新潮文庫)」木原 武一（文庫）
「要約世界文学全集2 (新潮文庫)」木原 武一（文庫）
「逆境の人々」田原 久八郎（単行本）
「シネマクラブ日本映画編2006-2007」ぴあ（ムック）
「シネマクラブ外国映画編2006-2007 (ぴあMOOK)」ぴあ（ムック）

其の一〇　理系の知を身近に

「動物の感染症」近代出版
「理科年表 平成19年」丸善（文庫）
「南極・北極大百科図鑑ービジュアル版」森脇 喜一（大型本）
「発がん物質事典」泉 邦彦（単行本）
「治療薬マニュアル 2007 (2007)」医学書院（単行本））
「現代医療のスペクトル」塚本 泰司
「廃棄物ハンドブック」オーム社（単行本（ソフトカバー））
「食品添加物公定書解説書」谷村 顕雄（単行本）

其の一一　見るだけでわかる

「犬の写真図鑑DOGS〔完璧版〕ーオールカラー世界の犬300 (地球自然ハンドブック)」デビッド オルダートン（単行本（ソフトカバー））
「完璧版 猫の写真図鑑CATSーオールカラー世界の猫350 (地球自然ハンドブック)」デビッド オルダートン（単行本）
「鳥の写真図鑑 完璧版ーオールカラー世界の鳥800 (地球自然ハンドブック)」アラン グリーンスミス（単行本）
「植物 (学研の図鑑)」山田 卓三（単行本）
「昆虫の擬態 (平凡社ライブラリーoffシリーズ)」海野 和男（単行本）
「新編中学校社会科地図」帝国書院編集部
「新・天気予報の手引」安斎 政雄（単行本）
「天気100のひみつ (学研まんが ひみつシリーズ)」シュガー佐藤（単行本）
「完璧版 宝石の写真図鑑ーオールカラー世界の宝石130 (地球自然ハンドブック)」キャリー ホール（単行本（ソフトカバー））

其の一二　法治国家ゆえに

「似たもの法律用語のちがい (1976年)」法曹会
「刑事事実認定ー裁判例の総合的研究 (上)」香城 敏麿（ー）
「刑事事実認定ー裁判例の総合的研究 (下)」香城 敏麿（単行本）
「死刑の理由 (新潮文庫)」井上 薫（文庫）
「犯罪白書〈平成18年版〉刑事政策の新たな潮流」国立印刷局（大型本）
「ペット六法 第2版 法令篇」誠文堂新光社（単行本）
「学校事件ーそのアカウンタビリティ」下村 哲夫（単行本）
refa「文部科学統計要覧〈平成17年版〉」文科省（単行本）

其の一三　政治を引き寄せる

「国会入門ーあるべき議会政治を求めて」信山社出版（単行本）
「大失言ー戦後の失言・暴言・放言「厳選77」」失言王認定委員会（単行本（ソフトカバー））
「選挙・政治資金制度 (地方自治総合講座)」高田 寛文（単行本）
「国会便覧〈平成18年8月新版〉」日本政経新聞社（単行本）
「日本の世論」弘文堂（単行本）
「最新・北朝鮮データブックー先軍政治、工作から核開発、ポスト金正日まで」重村 智計（新書）
「図説国民衛生の動向 (2006)」厚生統計協会
「日本の論点2007 変質する社会」文芸春秋（ムック）
「世界年鑑 2007 (2007)」共同通信社（大型本）

その一四　経済オンチと言わせない

「日経 市場占有率〈2007年版〉」日経産業新聞（単行本）
「会社四季報 2007年 4集秋号 [雑誌]」東洋経済新報社（雑誌）
「株式用語辞典 第10版」日本経済新聞出版社（新書）
「図説日本の財政 平成19年度版 (2007)」東洋経済新報社（単行本）
「図説 地方財政データブック〈平成18年度版〉」学陽書房（単行本）
「図解 あの新“勝ち組”IT企業はなぜ儲かるのか?」三浦 優子（単行本）
「数字でみる日本の100年」矢野恒太記念会（単行本）
「世界で一番おもしろい日本人のデータ」青春出版社（単行本）
「数字で読む日本人 (2004)」溝江 昌吾（ムック）

使えるレファ本150選(ちくま新書)日垣隆 ・著から引用

『必読書１５０』柄谷行人ほか(編)の掲載書籍リスト

目的：基本的に大学生向けブックガイド

備考：「これを読まなければサルである」(帯より)　だそうです。

・人文社会科学

1. プラトン　『饗宴』
2. アリストテレス　『詩学』
3. アウグスティヌス　『告白』
4. レオナルド・ダ・ヴィンチ　『レオナルド・ダ・ヴィンチの手記』
5. マキァベッリ　『君主論』
6. モア　『ユートピア』
7. デカルト　『方法序説』
8. ホッブズ　『リヴァイアサン』
9. パスカル　『パンセ』
10. スピノザ　『エチカ』
11. ルソー　『社会契約論』
12. カント　『純粋理性批判』
13. ヘーゲル　『精神現象学』
14. キルケゴール　『死に至る病』
15. マルクス　『資本論』
16. ニーチェ　『道徳の系譜』
17. ウェーバー　『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
18. ソシュール　『一般言語学講義』
19. ヴァレリー　『精神の危機』
20. フロイト　『快感原則の彼岸』
21. シュミット　『政治神学』
22. ブルトン　『シュルレアリスム宣言』
23. ハイデッガー　『存在と時間』
24. ガンジー　『ガンジー自伝』
25. ベンヤミン　『複製技術時代における芸術作品』
26. ポランニー　『大転換　市場社会の形成と崩壊』
27. アドルノ＆ホルクハイマー　『啓蒙の弁証法』
28. アレント　『全体主義の起源』
29. ウィトゲンシュタイン　『哲学探求』

30. レヴィ＝ストロース　『野生の思考』
31. マクルーハン　『グーテンベルグの銀河系』
32. フーコー　『言葉と物』
33. デリダ　『グラマトロジーについて』
34. ドゥルーズ＆ガタリ　『アンチ・オイディプス』
35. ラカン　『精神分析の四つの基本概念』
36. ウォーラーステイン　『近代世界システム』
37. ケージ　『ジョン・ケージ』
38. サイード　『オリエンタリズム』
39. ベイトソン　『精神と自然』
40. アンダーソン　『想像の共同体』
41. 本居宣長　『玉勝間』
42. 上田秋成　『胆大小心録』
43. 内村鑑三　『余は如何にして基督信徒となりし乎』
44. 岡倉天心　『東洋の理想』
45. 西田幾多郎　『西田幾多郎哲学論集Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ』
46. 九鬼周造　『「いき」の構造』
47. 和辻哲郎　『風土』
48. 柳田國男　『木綿以前の事』
49. 時枝誠記　『国語学原論』
50. 宇野弘蔵　『経済学方法論』

・海外文学

1. ホメロス　『オデュッセイア』
2. 旧約聖書　『創世記』
3. ソポクレス　『オイディプス王』
4.　『唐詩選』
5. ハイヤーム　『ルバイヤート』
6. ダンテ　『神曲』
7. ラブレー　『ガルガンテュアとパンタグリュエルの物語』
8. シェイクスピア　『ハムレット』
9. セルバンテス　『ドン・キホーテ』
10. スウィフト　『ガリヴァー旅行記』
11. スターン　『トリストラム・シャンディ』
12. サド　『悪徳の栄え』
13. ゲーテ　『ファウスト』

14. スタンダール　『パルムの僧院』
15. ゴーゴリ　『外套』
16. ポー　『盗まれた手紙』
17. エミリー・ブロンテ　『嵐が丘』
18. メルヴィル　『白鯨』
19. フローベール　『ボヴァリー夫人』
20. キャロル　『不思議の国のアリス』
21. ドストエフスキー　『悪霊』
22. チェーホフ　『桜の園』
23. チェスタトン　『ブラウン神父の童心』
24. プルースト　『失われた時を求めて』
25. カフカ　『審判』
26. 魯迅　『阿Ｑ正伝』
27. ジョイス　『ユリシーズ』
28. トーマス・マン　『魔の山』
29. ザミャーミン　『われら』
30. ムージル　『特性のない男』
31. セリーヌ　『夜の果ての旅』
32. フォークナー　『アブサロム、アブサロム！』
33. ゴンブローヴィッチ　『フェルディドゥルケ』
34. サルトル　『嘔吐』
35. ジュネ　『泥棒日記』
36. ベケット　『ゴドーを待ちながら』
37. ロブ＝グリエ　『嫉妬』
38. デュラス　『モデラート・カンタービレ』
39. レム　『ソラリスの陽のもとに』
40. ガルシア＝マルケス　『百年の孤独』
41. ラシュディ　『真夜中の子どもたち』
42. ブレイク　『ブレイク詩集』
43. ベルダーリン　『ヘルダーリン詩集』
44. ボードレール　『悪の華』
45. ランボー　『ランボー詩集』
46. エリオット　『荒地』
47. マヤコフスキー　『マヤコフスキー詩集』
48. ツェラン　『ツェラン詩集』
49. バフチン　『ドストエフスキーの詩学』
50. ブランショ　『文学空間』

・日本文学

1. 二葉亭四迷　『浮雲』
2. 森鴎外　『舞姫』
3. 樋口一葉　『にごりえ』
4. 泉鏡花　『高野聖』
5. 国木田独歩　『武蔵野』
6. 夏目漱石　『我輩は猫である』
7. 島崎藤村　『破戒』
8. 田山花袋　『蒲団』
9. 徳田秋声　『あらくれ』
10. 有島武郎　『或る女』
11. 志賀直哉　『小僧の神様』
12. 内田百?　『冥途・旅順入城式』
13. 宮澤賢治　『銀河鉄道の夜』
14. 江戸川乱歩　『押絵と旅する男』
15. 横光利一　『機械』
16. 谷崎潤一郎　『春琴抄』
17. 夢野久作　『ドグラ・マグラ』
18. 中野重治　『村の家』
19. 川端康成　『雪国』
20. 折口信夫　『死者の書』
21. 太宰治　『斜陽』
22. 大岡昇平　『俘虜記』
23. 埴谷雄高　『死霊』
24. 三島由紀夫　『仮面の告白』
25. 武田泰淳　『ひかりごけ』
26. 深沢七郎　『楢山節考』
27. 安部公房　『砂の女』
28. 野坂昭如　『エロ事師たち』
29. 島尾敏雄　『死の棘』
30. 大西巨人　『神聖喜劇』
31. 大江健三郎　『万延元年のフットボール』
32. 古井由吉　『円陣を組む女たち』
33. 後藤明生　『挟み撃ち』
34. 円地文子　『食卓のない家』

35. 中上健次　『枯木灘』
36. 斎藤茂吉　『赤光』
37. 萩原朔太郎　『月に吠える』
38. 田村隆一　『田村隆一詩集』
39. 吉岡実　『吉岡実詩集』
40. 坪内逍遥　『小説神髄』
41. 北村透谷　『人生に相渉るとは何の謂ぞ』
42. 福沢諭吉　『福翁自伝』
43. 正岡子規　『歌よみに与ふる書』
44. 石川啄木　『時代閉塞の現状』
45. 小林秀雄　『様々なる意匠』
46. 保田與重郎　『日本の橋』
47. 坂口安吾　『堕落論』
48. 花田清輝　『復興期の精神』
49. 吉本隆明　『転向論』
50. 江藤淳　『成熟と喪失』

『必読書１５０』柄谷行人ほか(編)から引用

『必読書１５０』柄谷行人ほか(編)の巻末に掲載されている「参考テクスト７０」の掲載書籍リスト

・人文社会科学

1.ルイ・アルチュセール　『マルクスのために』
2.レイモンド・ウィリアムズ　『キイワード辞典』
3.ロジェ・カイヨワ　『聖なるものの社会学』
4.アントニオ・グラムシ　『新編　一現代の君主』
5.スラヴォイ・ジジェク　『イデオロギーの崇高な対象』
6.ディドロ＆ダランベール編　『百科全書』
7.フランツ・ファノン　『黒い皮膚・白い仮面』
8.ヤーコブ・ブルクハルト　『ブルクハルト文化史講演集』
9.フェルナン・ブローデル　『歴史入門』
10.ダニエル・ベル　『資本主義の文化的矛盾』
11.ダグラス・R・ホフスタッター　『ゲーデル、エッシャー、バッハ　一あるいは不思議の環』
12.メルロ＝ポンティ　『メルロ＝ポンティ・コレクション』
13.ユング　『変容の象徴　一精神分裂病の前駆症状』
14.ジャン＝フランソワ・リオタール　『ポスト・モダンの条件　一知・社会・言語ゲーム』
15.G・ルカーチ　『歴史と階級意識』
16.浅田彰　『構造と力　一記号論を超えて』
17.網野善彦　『日本社会の歴史』
18.岩田弘　『現代社会主義と世界資本主義』
19.上野千鶴子　『ナショナリズムとジェンダー』
20.大塚久雄　『欧州経済史』
21.木村敏　『時間と自己』
22.遠山啓　『無限と連続　一現代数学の展望』
23.中井久夫　『分裂病と人類』
24.林達夫　『林達夫セレクション2　一文芸復興』
25.廣松渉　『マルクス主義の地平』
26.丸山真男　『日本の思想』
27.山口昌男　『道化の民俗学』
28.湯川秀樹　『物理講義』

・文学

1.エーリッヒ・アウエルバッハ　『ミメーシス　一ヨーロッパ文学における現実描写』

2.フレデリック・ジェイムソン　『言語の牢獄』
3.ヴィクトル・シクロフスキー他　『ロシア・フォルマリズム論集』
4.スーザン・ソンタグ　『反解釈』
5.ブルーノ・タウト　『日本文化私観』
6.ウラジーミル・ナボコフ　『ヨーロッパ文学講義』
7.ジョルジュ・バタイユ　『エロティシズム』
8.ノースロップ・フライ　『批評の解剖』
9.リイス・フロイス　「日欧文化比較」『大航海時代叢書　＜第1期11巻＞』　収録
10.稲垣足穂　『少年愛の美学　ー稲垣足穂コレクション』
11.加藤周一　『日本文学史序説』
12.柄谷行人　『日本近代文学の起源』
13.寺山修司　『戦後詩　ーユリシーズの不在』
14.中村光夫　『明治文学史』
15.橋川文三　『日本浪漫派批判序説』
16.蓮實重彦　『反＝日本語論』
17.平野謙　『昭和文学史』
18.前田愛　『近代読者の成立』

・芸術

1.アントナン・アルトー　『演劇とその分身』
2.グラウト＆パリスカ　『新西洋音楽史』
3.ケネス・クラーク　『芸術と文明』
4.レム・コールハース　『錯乱のニューヨーク』
5.E・H・ゴンブリッチ　『芸術と幻影』
6.ギー・ドゥボール　『スペクタクルの社会』
7.ジョン・バージャー　『イメージ　ー視覚とメディア』
8.ベーラ・バラージュ　『視覚的人間　ー映画のドラマツルギー』
9.ロラン・バルト　『明るい部屋　ー写真についての覚書』
10.バンハム　『第一機械時代の理論とデザイン』
11.アンリ・フォション　『形の生命』
12.フラー　『宇宙船地球号　ー操縦マニュアル』
13.ケネス・フランプトン　『モダン・アーキテクチュア』
14.ニコラス・ペヴスナー　『モダン・デザインの展開』
15.ウィリアム・モリス　『ユートピアだより』
16.阿部良雄　『群集の中の芸術家』
17.磯崎新　『建築の解体　ー1968年の建築情況』

18.井上充夫　『日本建築の空間』
19.岡崎乾二郎　『ルネサンス　一経験の条件』
20.岡本太郎　『日本の伝統』
21.小泉文夫　『日本の音　一世界のなかの日本音楽』
22.高階秀爾　『日本近代美術史論』
23.柳宗悦　『南無阿弥陀仏　一付心偈』
24.小川環樹、木田章義注解　『千字文』

『必読書１５０』柄谷行人ほか(編)の巻末に掲載されている「参考テクスト７０」から引用

『文化人類学の名著５０』綾部恒夫(編)の掲載書籍リスト～平凡社：名著５０シリーズ～

目的：文化人類学の名著50冊を選んで解説する。

１　草創期文化人類学の古典
タイラー 『原始文化』
モーガン 『古代社会』
フレーザー 『金枝篇』
ウェブスター 『未開の秘密結社』
ファン・ヘネップ 『通過儀礼』
エルツ 『右手の優越』
レヴィ＝ブリュール 『未開社会の思惟』
デュルケーム 『宗教生活の原初形態』

２　近代人類学の系譜
サピア 『言語』
マリノフスキー 『西太平洋の遠洋航海者』
モース 『贈与論』
シュミット 『民族と文化』
ホカート 『王権』
デ・ヨセリン・デ・ヨング 『トリックスターの起源』
岡正雄 『異人その他』
ベネディクト 『文化の諸型』
ベネディクト 『菊と刀』
エヴァンズ＝プリチャード 『ヌアー族』
石田英一郎 『河童駒引考』
ラドクリフ＝ブラウン 『未開社会における構造と機能』

３　啓蒙的名著
ミード 『男性と女性』
ピット＝リヴァーズ 『シエラの人びと』
マードック 『社会構造』
クラックホーン 『人間のための鏡』
リーチ 『高地ビルマの政治体系』
レッドフィールド 『農民社会と文化文明への人類学的アプローチ』
ホール 『沈黙のことば』

フォーテス 『西アフリカの宗教における「エディプス」と「ヨブ」』

４　構造主義・象徴論・生態学的思考
レヴィ＝ストロース 『野生の思考』
レヴィ＝ストロース 『親族の基本構造』
ニーダム 『構造と感情』
梅棹忠夫 『文明の生態史観』
ダグラス 『汚穢と禁忌』
コーエン 『二次元的人間』
ファン・バール 『互酬性と女性の地位』

５　現代の視点
フリードマン 『中国の宗族と社会』
中根千枝 『タテ社会の人間関係』
山口昌男 『文化と両義性』
ターナー 『儀礼の過程』
シュー 『クラン・カースト・クラブ』
デュモン 『社会人類学の二つの理論』
サーリンズ 『石器時代の経済学』
サウスホール 『都市人類学』
ゴドリエ 『人類学の地平と針路』
川田順造 『無文字社会の歴史』
グレイザー／モイニハン 『人種のるつぼを越えて』
ギアツ 『ヌガラ　ー19世紀バリの劇場国家』
ポランニー 『人間の経済』
ホブズボウム 『創られた伝統』
アンダーソン 『想像の共同体』

『文化人類学の名著５０』綾部恒夫(編)から引用

『ナショナリズム論の名著５０』大澤真幸(著)の掲載書籍リスト～平凡社：名著５０シリーズ～

---

1. Ｊ・Ｇ・フィヒテ　『ドイツ国民に告ぐ』
2. Ｊ・Ｅ・ルナン　『国民とは何か』
3. Ｉ・Ｖ・スターリン　『マルクス主義と民族問題』
4. 田辺元　『「種の論理」論文集』
5. 西田幾多郎　『日本文化の問題』
6. Ｆ・ハーツ　　ハーツ『歴史と政治における国民性』
7. Ｈ・コーン　『ナショナリズムの思想』
8. Ｅ・Ｈ・カー　『ナショナリズムとそれ以後』
9. 丸山真男　『現代政治の思想と行動』
10. Ｈ・アーレント　『全体主義の起源』
11. Ｆ・ファノン　『黒い皮膚・白い仮面』
12. Ｅ・ケドゥーリ　『ナショナリズム』
13. Ｎ・グレイザー、Ｄ・Ｐ・モイニハン　『人種のるつぼを越えて』
14. Ａ・ケミライネン　『ナショナリズム』
15. 竹内好　『方法としてのアジア』
16. 橋川文三　『昭和ナショナリズムの諸相』
17. 吉本隆明　『共同幻想論』
18. Ｆ・バルト編　『エスニック集団と境界』
19. Ｇ・Ｌ・モッセ　『大衆の国民化』
20. Ｔ・ネアン　『英国の解体』
21. Ｈ・シートン＝ワトソン　『国民と国家』
22. Ｅ・Ｗ・サイード　『オリエンタリズム』
23. Ｂ・アンダーソン　『想像の共同体』
24. Ｅ・ゲルナー　『ネーションとナショナリズム』
25. 竹田青嗣　『〈在日〉という根拠』
26. Ｐ・チャタジー　『ナショナリストの思想と植民地世界』
27. Ａ・Ｄ・スミス　『ネーションのエスニックな諸起源』
28. 山内昌之　『スルタンガリエフの夢』
29. Ｅ・バリバール、Ｉ・ウォーラーステイン　『人種・国民・階級』
30. 梶田孝道　『エスニシティと社会変動』
31. 多木浩二　『天皇の肖像』
32. Ｈ・Ｋ・バーバ編　『ネーションの語り』
33. Ｅ・Ｊ・ホブズボーム　『ネーションとナショナリズム　一七八〇年以降』
34. Ｒ・ライシュ　『ザ・ワーク・オブ・ネーションズ』

35. 土屋健治　『カルティニの風景』
36. Ｌ・グリーンフェルド　『ナショナリズム』
37. 安丸良夫　『近代天皇像の形成』
38. Ｐ・ギルロイ　『ブラック・アトランティック』
39. Ｙ・タミール　『リベラル・ナショナリズム』
40. Ｗ・コンナー　『エスノナショナリズム』
41. Ｄ・ミラー　『ナショナリティについて』
42. 山之内靖、Ｖ・コシュマン、成田竜一編　『総力戦と現代化』
43. Ｒ・ブルベイカー　『ナショナリズムの再構成』
44. Ｔ・フジタニ　『壮麗なる君主制』
45. Ｓ・Ｐ・ハンチントン　『文明の衝突と世界秩序の再構築』
46. イ・ヨンスク　『「国語」という思想』
47. 酒井直樹　『死産される日本語・日本人』
48. 加藤典洋　『敗戦後論』
49. 吉野耕作　『文化ナショナリズムの社会学』
50. Ｇ・Ｃ・スピヴァク　『ポストコロニアル理性批判』

『ナショナリズム論の名著５０』大澤真幸(著)から引用

『現代経済学の名著』佐和隆光(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～

ヴェブレン　『企業の理論』
シュムペーター　『経済発展の理論』
ロビンズ　『経済学の本質と意義』
ケインズ　『雇用・利子および貨幣の一般理論』
ハイエク　『市場・知識・自由』
ヒックス　『価値と資本』
レオンティエフ　『アメリカ経済の構造』
ハロッド　『動態経済学序説』
サイモン　『経営行動』
サミュエルソン　『経済学』
アロー　『社会的選択と個人的評価』
ミュルダール　『経済理論と低開発地域』
ベッカー　『人的資本』
ガルブレイス　『新しい産業国家』
フリードマン　『選択の自由』
サロー　『ゼロ・サム社会』

『現代経済学の名著』佐和隆光(編)から引用

『現代社会学の名著』杉山光信(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～

ウィリス　『ハマータウンの野郎ども』
フーコー　『監獄の誕生』
ベル　『資本主義の文化的矛盾』
ボードリヤール　『消費社会の神話と構造』
リースマン　『孤独な群衆』
ハーバーマス　『公共性の構造転換』
栗原彬　『管理社会と民衆理性』
ホワイト　『ストリート・コーナー・ソサイエティ』
モラン　『オルレアンのうわさ』
ルイス　『貧困の文化』
柳田国男　『明治大正史　世相篇』
南方熊楠　『南方二書』「神社合祀反対意見」
ゴッフマン　『行為と演技』
エリクソン　『玩具と理性』
真木悠介　『時間の比較社会学』
バルト　『神話作用』

『現代社会学の名著』杉山光信(編)から引用

『現代歴史学の名著』樺山紘一(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～

津田左右吉　『文学に現はれたる我が国民思想の研究』　改訂版『文学に現はれたる国民思想の研究』
ホイジンガ　『中世の秋』
パウア　『中世に生きる人々』
ヒンツェ　『身分制議会の起源と発展』
チャイルド　『文明の起源』
ピレンヌ　『ヨーロッパ世界の誕生』
ブロック　『封建社会』
ルフェーヴル　『一七八九年　――フランス革命序論』
ブルンナー　『ラントとヘルシャフト』
大塚久雄　『近代欧州経済史序説』
高橋幸八郎　『市民革命の構造』
石母田正　『中世的世界の形成』
コリングウッド　『歴史の観念』
ブローデル　『フェリペ二世時代の地中海と地中海世界』
カー　『ボリシェヴィキ革命』『一国社会主義』
エリクソン　『青年ルター』
ホブズボーム　『反抗の原初形態』
テイラー　『第二次世界大戦の起源』
フーコー　『言葉と物』
ヴェントゥーリ　『啓蒙のユートピアと改革』
ウィリアムズ　『コロンブスからカストロまで』

『現代歴史学の名著』樺山紘一(編)から引用

『現代政治の名著』佐々木毅(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～

ウォーラス　『政治における人間性』
ウェーバー　『職業としての政治』
ミヘルス　『政党の社会学』
リップマン　『世論』
メリアム　『政治権力：その構造と技術』
ラスウェル　『権力と人間』
ハイエク　『隷従への道』
アーレント　『人間の条件』
モーゲンソー　『国際政治：権力と平和』
ダール　『ポリアーキー』
ローウィ　『自由主義の終焉』
ロールズ　『正義論』
ハーバーマス　『後期資本主義における正統化の諸問題』
丸山真男　『現代政治の思想と行動』
辻清明　『日本官僚制の研究』

『現代政治の名著』佐々木毅(編)から引用

『近代哲学の名著　デカルトからマルクスまでの２４冊』熊野純彦(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～

I　「私」への問い
デカルト『方法序説』（柿本佳美）
バークリ『人知原理論』（古田徹也）
カント『純粋理性批判』I（城戸淳）
フィヒテ『全知識学の基礎』（宮村悠介）
シュティルナー『唯一者とその所有』（馬渕浩二）

II　知識の生成論へ
ロック『人間知性論』（勢力尚雅）
ライプニッツ『人間知性新論』（佐々木雄大）
コンディヤック『人間認識起源論』（鈴木康則）
マイモン『超越論的哲学についての試論』（三重野清顕）
ヘーゲル『精神現象学』（小林亜津子）

III　多様性の存在論
クザーヌス『知ある無知』（島田由紀）
ライプニッツ『形而上学叙説』（木元麻里）
ヒューム『人性論』（荒谷大輔）
カント『判断力批判』（宮崎裕助）
ヘーゲル『論理学』（麻生博之）

IV　近代と形而上学
デカルト『省察』（柿本佳美）
スピノザ『エチカ』（柏葉武秀）
バウムガルテン『形而上学』（大熊洋行）
カント『純粋理性批判』II（宮村悠介）
シェリング『人間的自由の本質』（山蔦真之）

V　共同性の倫理学
ルソー『言語起源論』（神山紗良）
スミス『道徳感情論』（矢島壮平）
カント『実践理性批判』（中野裕考）
フォイエルバッハ『将来の哲学の根本命題』（田島卓）
マルクス『経済学批判要綱』（馬渕浩二）

＜参考＞

『近代哲学の名著　デカルトからマルクスまでの２４冊』の英語版のE-BOOK(PDFやEPUB)は、以下の通り。

1637 Rene Descartes - Discourse on the Method
デカルト『方法序説』

1710 George Berkeley - A Treatise Concerning Principles of Human Knowledge
バークリ『人知原理論』

1781 Immanuel Kant - Critique of Pure Reason (1st ed.)
カント『純粋理性批判』第一版

1794 Johann Fichte - Foundations of the Entire Science of Knowledge
フィヒテ『全知識学の基礎』

1844 Max Stirner - The Ego and Its Own
シュテルナー『唯一者とその所有』

1689 John Locke - An Essay concerning Human Understanding
ロック『人間悟性論』

1704 Gottfried Leibniz - New Essays on Human Understanding
ライプニッツ『人間知性新論』

1746 Etienne Condillac - An Essay on the Origin of Human Knowledge
コンディヤック『人間知識起源論』

1790 Salomon Maimon - Essay on transcendental philosophy
マイモン『超越論的哲学についての試論』

1807 Georg Hegel - Phenomenology of Spirit
ヘーゲル『精神現象学』

1440 Nicolaus Cusanus - Of Learned Ignorance

クザーヌス『知ある無知』

1686 Gottfried Leibniz - Discourse on Metaphysics
ライプニッツ『形而上学叙説』

1739 David Hume - A Treatise of Human Nature
ヒューム『人間本性論』

1790 Immanuel Kant - Critique of Judgement
カント『判断力批判』

1812 Georg Hegel - Science of Logic
ヘーゲル『論理学』

1641 Rene Descartes - Meditations on First Philosophy
デカルト『省察』

1677 Baruch de Spinoza - Ethics
スピノザ『エチカ』

1739 Alexander Baumgarten - Metaphysica
バウムガルテン『形而上学』

1809 Immanuel Kant - Critique of Pure Reason (2nd ed.)
カント『純粋理性批判』第二版

Friedrich Schelling - Philosophical Inquiries into the Nature of Human Freedom
シェリング『人間的自由の本質』

1781 Jean-Jacques Rousseau - Essay on the Origin of Languages
ルソー『言語起源論』

1759 Adam Smith - The Theory of Moral Sentiments
スミス『道徳感情論』

1788 Immanuel Kant - Critique of Practical Reason
カント『実践理性批判』

1843 Ludwig Feuerbach - Vorlaufige Thesen Zur Reform Der Philosophie
フォイエルバッハ『将来の哲学の根本命題』

1867 Karl Marx - Capital; A Critique of Political Economy
マルクス『経済学批判要綱』

『近代哲学の名著　デカルトからマルクスまでの２４冊』熊野純彦(編)から引用

『現代哲学の名著』熊野純彦(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～

Ⅰ　数理・論理・言語
フレーゲ　『算術の基礎』
ウィトゲンシュタイン　『論理哲学論考』
オースティン　『言語と行為』
大森荘蔵　『言語・知覚・世界』

Ⅱ　現象・存在・身体
フッサール　『イデーンⅠ』
ハイデガー　『存在と時間』
メルロ=ポンティ　『知覚の現象学』
西田幾多郎　『西田幾多郎哲学論集』

Ⅲ　時間・反復・差異
ベルクソン　『時間と自由』
ドゥルーズ　『差異と反復』
ルーマン　『社会システム』
坂部恵　『仮面の解釈学』

Ⅳ　世界・超越・他者
レーヴィット　『共同存在の現象学』
バタイユ　『宗教の理論』
レヴィナス　『全体性と無限』
和辻哲郎　『倫理学』

Ⅴ　神話・暴力・社会
ベンヤミン　『ドイツ悲劇の根源』
アドルノ　『否定弁証法』
デリダ　『法の力』
廣松渉　『世界の共同主観的存在構造』

＜参考＞

『現代哲学の名著』の英語版のE-BOOK(PDFやEPUB)は、以下の通り。

1884 Gottlob Frege - The Foundations of Arithmetic

フレーゲ『算術の基礎』

1922 Ludwig Wittgenstein - Philosophical Investigations
ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』

1962John Austin - How to Do Things with Words
ジョン・オースティン『言語と行為』

1913 Edmund Husserl - Ideas: General Introduction to Pure Phenomenology
エトムント・フッサール『純粋現象学および現象学的哲学のためのイデーン（諸考案)』

1923 Martin Heidegger - Being and Time
マルティン・ハイデッガー『存在と時間』

1945 Merleau Ponty - Phenomenology of Perception
メルロ・ポンティ『知覚の現象学』

1889 Henri Bergson - Time and Free Will: An Essay on the Immediate Data of Consciousness
ベルグソン『時間と自由』意識に直接与えられたものについての試論

1968 Gilles Deleuze - Difference and Repetition
ドゥルーズ『差異と反復』

1984 Niklas Luhmann - Social Systems
ルーマン『社会システム理論』

1960 Karl Lowith
カール・レーヴィット『共同存在の現象学』

1973 Georges Bataille - Theory of Religion
ジョルジュ・バタイユ『宗教の理論』

1961 Emmanuel Levinas - Totality and Infinity
エマニュエル・レヴィナス『全体性と無限』

1928 Walter Benjamin - Origin of German Tragic Drama,
ヴァルター・ベンヤミン『ドイツ悲劇の根源』

1966 Theodor Adorno - Negative Dialectics
テオドール・アドルノ『否定弁証法』

1994 Jacques Derrida - Force of law
ジャック・デリダ『法の力』

『現代哲学の名著』熊野純彦(編)から引用

『現代科学論の名著』村上陽一郎(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～

ホワイトヘッド　『科学と近代世界』
バシュラール　『否定の哲学』
シュレーディンガー　『生命とは何か』
マンハイム　『イデオロギーとユートピア』
ウィトゲンシュタイン　『論理哲学論考』
ポパー　『推測と反駁』
ハンソン　『科学的発見のパターン』
クーン　『科学革命の構造』
ファイヤアーベント　『方法への挑戦』
サックレー　『原子と諸力』
大森荘蔵　『物と心』
広重徹　『科学の社会史』

『現代科学論の名著』村上陽一郎(編)から引用

『現代アジア論の名著』長崎暢子・山内昌之(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～

余秀時　『中国近世の宗教倫理と商人精神』
シュウォルツ　『中国の近代化と知識人』
コーエン『知の帝国主義』
孫文　『三民主義』
天野元之助　『中国農業経済論』
川口慧海　『チベット旅行記』
池明観　『チョゴリと鎧』
矢内原忠雄　『帝国主義化の台湾』
斎藤修　『プロト工業化の時代』
ギアツ　『ヌガラ　―１９世紀バリの劇場国家』
アンダーソン　『想像の共同体』
鶴見良行　『ナマコの眼』
石井米雄編　『タイ国　―ひとつの稲作社会』
ガンディー　『ヒンドゥ・スワラージ』
前嶋信次　『東西文化交流の諸相』
中村廣治郎　『イスラム　思想と歴史』
佐口透　『ロシアとアジア草原』

『現代アジア論の名著』長崎暢子・山内昌之(編)から引用

『新・現代歴史学の名著』樺山紘一(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～

ニーダム　『中国の科学と文明』
梅棹忠夫　『文明の生態史観』
ゲイ　『ワイマール文化』
ウォーラースティン　『近代世界システム』
ル・ロワ・ラデュリ　『モンタイユー』
ギンズブルグ　『チーズとうじ虫』
ル・ゴフ　『もうひとつの中世のために』
サイード　『オリエンタリズム』
網野善彦　『無縁・公界・楽』
　『日本中世の非農業民と天皇』
アンダーソン　『定本　想像の共同体』
ブリッグズ　『イングランド社会史』
ノラ(編)　『記憶の場』
クールズ　『ファロスの王国』
オブライエン　『帝国主義と工業化　1415～1974』
コッカ　『歴史と啓蒙』
メドヴェージェフ　『1917年のロシア革命』
ダワー　『敗北を抱きしめて』
速水融(編)　『近代移行期の人口と歴史』『近代移行期の家族と歴史』

『新・現代歴史学の名著』樺山紘一(編)から引用

『戦略論の名著』野中郁次郎(著)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～

孫武『孫子』
マキアヴェリ『君主論』
クラウゼヴィッツ『戦争論』
マハン『海上権力史論』
毛沢東『遊撃戦論』
石原莞爾『戦争史大観』
リデルハート『戦略論』
ルトワック『戦略』
クレフェルト『戦争の変遷』
グレイ『現代の戦略』
ノックス&マーレー編著『軍事革命とRMAの戦略史』
ドールマン『アストロポリティーク』

『戦略論の名著』野中郁次郎(著)から引用

『外国人による日本論の名著』佐伯彰一・芳賀徹(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～

Ｉ・Ａ・ゴンチャロフ『日本渡航記』
Ｒ・オールコック『大君の都』
Ｅ・サトウ『一外交官の見た明治維新』
Ｗ・Ｅ・グリフィス『皇国』
Ｅ・Ｅ・ギメ『東京日光散策』
Ｆ・レガメ『日本素描紀行』
黄遵憲『日本雑事詩』
Ｉ・バード『日本奥地紀行』
Ｐ・ローエル『極東の魂』
Ｐ・ロチ『秋の日本』
Ｂ・Ｈ・チェンバレン『日本事物誌』
Ｌ・ハーン『知られぬ日本の面影』
フレイザー夫人『日本における外交官の妻』
Ｌ・リース『日本雑記』
Ｅ・ベルツ『日記』
Ｍ・カーミル『昇る太陽』
Ｅ・Ｆ・フェノロサ『東亜美術史綱』
Ｅ・Ｓ・モース『日本その日その日』
Ｒ・タゴール『ナショナリズム』120
Ｗ・モラエス『おヨネとコハル』
Ｐ・クローデル『朝日の中の黒い鳥』
戴季陶『日本論』
周作人「日本管窺」（一ー四）
サンソム夫人『東京に暮す』
Ｅ・ヘリゲル『弓と禅』
Ｂ・タウト『日本の家屋と生活』
Ｊ・Ｃ・グルー『日記』
Ｒ・ベネディクト『菊と刀』
Ｌ・デアシス『南方特別留学生　トウキョウ日記』
Ｒ・Ｈ・ブライス『俳句』
Ｇ・Ｂ・サンソム『西欧世界と日本』
Ｒ・Ｐ・ドーア『都市の日本人』
Ｄ・キーン『日本人の西洋発見』
Ｅ・マイナー『西洋文学の日本発見』

Ｍ・Ｂ・ジャンセン『坂本龍馬と明治維新』
Ｒ・バルト『表徴の帝国』
Ｃ・ブラッカー『あずさ弓』
Ｅ・Ｏ・ライシャワー『ザ・ジャパニーズ』
金素雲『天の涯に生くるとも』
李御寧『「縮み」志向の日本人』
Ｅ・サイデンステッカー『東京下町山の手1867－1923』
Ｍ・パンゲ『自死の日本史』

『外国人による日本論の名著』佐伯彰一・芳賀徹(編)から引用

『精神分析の名著』立木康介(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～

１．起源
S.フロイト『夢解釈』
S.フロイト『快原理の彼岸』
S.フロイト『文化の中の居心地悪さ』

２．イギリス篇
クライン『児童の精神分析』
クライン『羨望と感謝』
A.フロイト『自我と防衛機制』
ビオン『再考』
ビオン『セヴン・サーヴァンツ』
バリント『基底欠損』
ウィルニコット『遊ぶことと現実』
メルツァー他『自閉症世界の探求』

３．アメリカ篇
ハルトマン『自我心理学と適応の問題』
エリクソン『幼児期と社会』
マーラー、パイン、バーグマン『乳幼児の心理的誕生』
カーンバーグ『境界諸状態と病的自己愛』
コフート『自己の修復』

４．フランス篇
ラカン『エクリ』
ラカン『サントーム』
ラプランシュ『精神分析における生と死』
ドルト『症例ドミニク』

５．日本篇
土居健郎『「甘え」の構造』

『精神分析の名著』立木康介(編)から引用

『日本の名著』桑原武夫(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～

福沢諭吉　『学問のすゝめ』
田口卯吉　『日本開化小史』
中江兆民　『三酔人経綸問答』
北村透谷　『徳川氏時代の平民的理想』
山路愛山　『明治文学誌』
内村鑑三　『余はいかにしてキリスト信徒となりしか』
志賀重昂　『日本風景論』
陸奥宗光　『蹇蹇録』
竹越与三郎　『二千五百年史』
幸徳秋水　『廿世紀之怪物帝国主義』
宮崎滔天　『三十三年之夢』
岡倉天心　『東洋の理想』
川口慧海　『西蔵旅行記』
福田英子　『妾の半生涯』
北一輝　『国体論及び純正社会主義』
夏目漱石　『文学論』
石川啄木　『時代閉塞の現状』
西田幾多郎　『善の研究』
南方熊楠　『十二支考』
津田左右吉　『文学に現はれたる国民思想の研究』
原勝郎　『東山時代に於ける一縉紳の生活』
河上肇　『貧乏物語』
長谷川如是閑　『現代国家批判』
左右田喜一郎　『文化価値と極限概念』
美濃部達吉　『憲法撮要』
大杉栄　『自叙伝』
内藤虎次郎　『日本文化史研究』
狩野亨吉　『狩野亨吉遺文集』
中野重治　『芸術に関する走り書的覚え書』
折口信夫　『古代研究』
九鬼周造　『「いき」の構造』
中井正一　『美と集団の論理』
野呂栄太郎　『日本資本主義発達史』
羽仁五郎　『東洋における資本主義の形成』
戸坂潤　『日本イデオロギー論』

山田盛太郎　『日本資本主義分析』
小林秀雄　『私小説論』
和辻哲郎　『風土』
タカクラ=テル　『新文学入門』
尾高朝雄　『国家構造論』
矢内原忠雄　『帝国主義化の台湾』
大塚久雄　『近代欧洲経済史序説』
波多野精一　『時と永遠』
小倉金之助　『日本の数学』
今西錦司　『生物の世界』
坂口安吾　『日本文化私観』
湯川秀樹　『目に見えないもの』
鈴木大拙　『日本的霊性』
柳田国男　『先祖の話』
丸山真男　『日本政治思想史研究』

『日本の名著』桑原武夫(編)から引用

『世界の名著ーマキアヴェリからサルトルまで』河野健二(編)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～

マキアヴェリ　『君主論』
トマス・モア　『ユートピア』
カルヴァン　『キリスト教綱要』
デカルト　『方法叙説』
ホッブズ　『リヴァイアサン』
黄宗羲　『明夷待訪録』
ニュートン　『プリンキピア』
ロック　『人間悟性論』
モンテスキュー　『法の精神』
ルソー　『人間不平等起源論』
アダム・スミス　『諸国民の富』
カント　『純粋理性批判』
エドマンド・バーク　『フランス革命の省察』
マルサス　『人口論』
ヘーゲル　『法の哲学』
サン=シモン　『産業者のカテキスム』
トクヴィル　『アメリカのデモクラシー』
キルケゴール　『死にいたる病』
ダーウィン　『種の起源』
ジョン・S・ミル　『自由について』
マルクス　『資本論』
イェーリンク　『権利のための闘争』
ランケ　『世界史』
ニーチェ　『ツァラトゥストラはかく語りき』
トルストイ　『人生論』
シドニー・ビアトリス・ウェッブ　『産業民主主義』
デュルケーム　『自殺論』
マックス・ウェーバー　『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
レーニン　『民主主義革命における社会民主党の二つの戦術』
ラッセル　『哲学の諸問題』
フロイト　『精神分析入門』
デューイ　『民主主義と教育』
ルカーチ　『歴史と階級意識』
孫文　『三民主義』

ハイデッガー　『存在と時間』
マンハイム　『イデオロギーとユートピア』
ラスキ　『近代国家における自由』
トロツキー　『ロシア革命史』
アインシュタイン　『晩年に想う』
グラムシ　『新君主論』
ケインズ　『雇用・利子および貨幣の一般理論』
毛沢東　『新民主主義論』
フロム　『自由からの逃走』
バルト　『福音主義神学入門』
サルトル　『存在と無』

『世界の名著ーマキアヴェリからサルトルまで』河野健二(編)から引用

『６０冊の書物による現代社会論』奥井智之(著)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～

第一章　帝国主義論
コンラッド　『闇の奥』
レーニン　『帝国主義論』(一)
ホブソン　『帝国主義論』
幸徳秋水　『廿世紀之怪物帝国主義』
カウツキー　『キリスト教の起源』
ヒルファディング　『金融資本論』
レーニン　『帝国主義論』(二)
矢内原忠雄　『帝国主義化の台湾』
ファノン　『地に呪われたる者』
レヴィ=ストロース　『野生の思考』
フランク　『ラテンアメリカにおける資本主義と低開発』
ウォーラーステイン　『近代世界システム』

第二章　大衆社会論
モーム　『月と六ペンス』
オルテガ　『大衆の反逆』
フロム　『自由からの逃走』
戸坂潤　『日本イデオロギー論』
プラトン　『国家』
バーク　『フランス革命についての省察』
トックヴィル　『アメリカのデモクラシー』
ミシュレ　『民衆』
リースマン　『孤独な群衆』
アレント　『人間の条件』
松下圭一　『現代政治の条件』
西部邁　『大衆への反逆』

第三章　産業社会論
デフォー　『ロビンソン・クルーソー』
ウェーバー　『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
ロストウ　『経済成長の諸段階』
ベラー　『徳川時代の宗教』
シュムペーター　『資本主義・社会主義・民主主義』

ガルブレイス　『豊かな社会』
ベル　『イデオロギーの終焉』
清水幾太郎　『現代思想』
トフラー　『未来の衝撃』
ベル　『資本主義の文化的矛盾』
ハーバーマス　『後期資本主義における正統化の諸問題』
村上泰亮　『産業社会の病理』

第四章　管理社会論
ソロー　『森の生活』
マルクス　『経済学・哲学草稿』
ラスキン　『この最後の者にも』
安藤昌益　『自然真営道』
ハックスリー　『すばらしい新世界』
オーウェル　『一九八四年』
ハイエク　『隷従への道』
マルクーゼ　『一次元的人間』
イリイチ　『脱学校の社会』
シューマッハー　『スモール・イズ・ビューティフル』
ポランニー　『人間の経済』
真木悠介　『気流の鳴る音』

第五章　消費社会論
モリエール　『ドン・ジュアン』
デュルケーム　『社会分業論』
ヴェブレン　『有閑階級の理論』
柳田國男　『明治大正史　世相篇』
プラトン　『饗宴』
ホイジンガ　『ホモ・ルーデンス』
カイヨワ　『遊びと人間』
九鬼周造　『「いき」の構造』
バタイユ　『呪われた部分』
リースマン　『何のための豊かさ』
ボードリヤール　『消費社会の神話と構造』
山崎正和　『柔らかい個人主義の誕生』

『６０冊の書物による現代社会論』奥井智之(著)から引用

『武士道の名著』山本博文(著)の掲載書籍リスト～中公新書：名著シリーズ～

1. 小幡景憲　『甲陽軍鑑 』　江戸時代初期　軍学第一の書
2. 柳生宗矩　『兵法家伝書 』　寛永九年(1632)　柳生新陰流の奥義
3. 宮本武蔵　『五輪書 』　寛永二十年(1643)　必勝の思想
4. 山鹿素行　『山鹿語類 』　寛文五年(1665)　武士の職分とは何か
5. 堀部武庸　『堀部武庸筆記』　元禄十五年(1702)　武士の一分を貫く
6. 山本常朝　『葉隠 』　宝永七年～享保元年(1710～16)　「死狂い」の美学
7. 新井白石　『折りたく柴の記 』　享保元年(1716)　古武士の風格
8. 恩田木工　『日暮硯 』　宝暦十一年(1761)　為政者の理想の姿
9. 佐藤一斎　『言志四録 』　文政七年～嘉永六年(1824～53)　朱子学と陽明学の合体
10. 吉田松陰　『留魂録 』　安政六年(1859)　至誠にして動かざる者なし
11. 西郷隆盛　『西郷南洲遺訓 』　明治二十三年(1890)　義に生きる
12. 新渡戸稲造　『武士道 』　明治三十三年(1900)　理想の日本人論

『武士道の名著』山本博文(著)から引用

『歴史学の名著３０』山内昌之(著)の掲載書籍リスト～ちくま新書：名著３０シリーズ～

1. 歴史への問いかけ
ヘロドトス『歴史』
トゥキディデス『戦史』
司馬遷『史記』
班固『漢書』
原勝郎『日本中世史』

2. 叙述の魅力
ギボン『ローマ帝国衰亡史』
頼山陽『日本外史』
ブルクハルト『イタリア・ルネサンスの文化』
ホイジンガ『中世の秋』
ブローデル『地中海』

付録1　ロレンス『知恵の七柱』

3. 歴史を見る眼
慈円『愚管抄』
北畠親房『神皇正統記』
新井白石『読史余論』
伊達千広『大勢三転考』
ランケ『世界史の流れ』
内藤湖南『東洋文化史』

4. 歴史家の使命感
『春秋左氏伝』
劉知幾『史通』
イブン・アッティクタカー『アルファフリー』
イブン・ハルドゥーン『歴史序説』
トインビー『歴史の研究』

5. 大変動のなかで
カエサル『ガリア戦記』
潘佩珠（ファンボイチャウ）『ヴェトナム亡国史 他』

トロツキー『ロシア革命史』
チャーチル『第二次世界大戦』

付録2　石原莞爾『最終戦争論』

6. 現代への視座
ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
宮崎市定『科挙』
バーリン『父と子』
フーコー『監獄の誕生』
網野善彦『無縁・公界・楽』

『歴史学の名著３０』山内昌之(著)から引用

『社会学の名著３０』竹内洋(著)の掲載書籍リスト～ちくま新書：名著３０シリーズ～

Ⅰ　社会学は面白い…？
ピーター・バーガー　『社会学への招待』
ランドル・コリンズ　『脱常識の社会学』
エミール・デュルケーム　『自殺論』
ゲオルク・ジンメル　『社会学』

Ⅱ　近代への道筋
カール・マルクス/フリードリッヒ・エンゲルス　『共産党宣言』
マックス・ヴェーバー　『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
ノルベルト・エリアス　『文明化の過程』
ユルゲン・ハーバーマス　『公共性の構造転換』
ミシェル・フーコー　『監獄の誕生』

Ⅲ　大衆社会・消費社会・メディア社会
オルテガ・イ・ガゼット　『大衆の反逆』
ディヴィッド・リースマン　『孤独な群衆』
マーシャル・マクルーハン　『メディア論』
ジャン・ボードリヤール　『消費社会の神話と構造』

Ⅳ　イデオロギー・文化・社会意識
カール・マンハイム　『保守主義的思考』
ベネディクト・アンダーソン　『想像の共同体』
ピエール・ブルデュー　『ディスタンクシオン』
作田啓一　『価値の社会学』
姫岡勤　『家族社会学論集』

Ⅴ　行為と意味
アーヴィング・ゴッフマン　『行為と演技』
ハロルド・ガーフィンケルほか　『エスノメソドロジー』
ピーター・バーガー/トーマス・ルックマン　『日常世界の構造』
ポール・ウィリス　『ハマータウンの野郎ども』

Ⅵ　現代社会との格闘
イヴァン・イリッチ　『脱学校の社会』
上野千鶴子　『家父長制と資本制』

アンソニー・ギデンズ　『近代とはいかなる時代か？』
アーリー・ホックシールド　『管理される心』
ロバート・D・バットナム　『孤独なボウリング』
ウルリヒ・ベック　『危険社会』

Ⅶ　学問の社会学
中山茂　『歴史としての学問』
ピエール・ブルデュー/ロイック・ヴァカン　『リフレクシヴ・ソシオロジーへの招待』

＜参考＞

『社会学の名著３０』の英語版のE-BOOK(PDFやEPUB)は、以下の通り。

1963 Peter Berger - Invitation to Sociology
ピーター・バーガー『社会学への招待』

1982 Randall Collins - Sociological Insight―An Introduction to Nonobvious Socioligy
ランドル・コリンズ『脱常識の社会学ー社会の読み方入門』

1897 E'mile Durkheim - Suicide
エミール・デュルケーム『自殺論』

1908 Georg Simmel - Sociology: Investigations on the Forms of Sociation
ゲオルク・ジンメル『社会学』

1848 The Manifesto of the Communist Party - Karl Marx and Friedrich Engels
カール・マルクス／フリードリッヒ・エンゲルス『共産党宣言』

1930 Max Weber - The Protestant Ethic and the Spirit of Capitalism
マックス・ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』

1939 Norbert Elias - The Civilizing Process
ノルベルト・エリアス『文明化の過程』

1962 Ju"rgen Habermas - The Structural Transformation of the Public Sphere
ユルゲン・ハーバーマス『公共性の構造転換』

1975 Michel Foucault - Discipline and Punish: The Birth of the Prison
ミシェル・フーコー『監獄の誕生』

1930 Ortega Gasset - The Revolt of the Masses
オルテガ・イ・ガセット『大衆の反逆』

1950 David Riesman - The Lonely Crowd: A Study of the Changing American Character
ディヴィッド・リースマン『孤独な群集』

1964 Marshall McLuhan - Understanding Media; the Extensions of Man
マーシャル・マクルーハン『メディア論』

1970 Jean Baudrilard - The Consumer Society: Myths and Structures
ジャン・ボードリヤール『消費社会の神話と構造』

1925 Karl Mannheim - Conservatism. A Contribution to the Sociology of Knowledge
カール・マンハイム『保守主義的思考』

1983 Benedict Anderson - Imagined Communities
ベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』

1979 Pierre Bourdieu - Distinction: a Social Critique of the Judgment of Taste
ピエール・プルデュー『ディスタンクシオン（差別化)』 社会的判断力批判

1959 Erving Goffman - The Presentation of Self in Everyday Life
アーヴィング・ゴッフマン『行為と演技』

2000 Harold Garfinkel - Ethnomethodology's Program
ハロルド・ガーフィンケルほか『エスノメソドロジー』

1966 Peter Berger, Thomas Luckmann - The Social Construction of Reality
ピーター・バーガー／トーマス・ルックマン『日常世界の構成』

1978 Paul Willis - Profane Culture
ポール・ウィリス『ハマータウンの野郎ども』

1971 Ivan Illich - Deschooling Society
イヴァン・イリッチ『脱学校の社会』

1990 Anthony Giddens - The Consequences of Modernity
アンソニー・ギデンズ『近代とはいかなる時代か？』

1983 Arlie Hochschild - The Managed Heart
アーリー・ホックシールド『管理される心』

2000 Robert Putnam - Bowling Alone: The Collapse and Revival of American Community
ロバート・パットナム『孤独なボウリング』

1998 Ulrich Beck - World Risk Society
ウルリヒ・ベック『危険社会』

1992 Pierre Bourdieu, Loic Wacquant - An Invitation to Reflexive Sociology
ピエール・プルデュー／ロイック・ヴァカン『リフレクシヴ・ソシオロジーへの招待』

『社会学の名著３０』竹内洋(著)から引用

『政治学の名著３０』佐々木毅(著)の掲載書籍リスト～ちくま新書：名著３０シリーズ～

Ⅰ　政治の意味
プラトン　『ゴルギアス』
マキャヴェッリ　『君主論』
ヴェーバー　『職業としての政治』

Ⅱ　政治権力
アリストテレス　『政治学』
ホッブズ　『リヴァイアサン』
ロック　『政府論』
モンテスキュー　『法の精神』
バーク　『フランス革命についての考察』

Ⅲ　政治と徳
プラトン　『国家(ポリテイア)』
孔子　『論語』

Ⅳ　政治と宗教
アウグスティヌス　『神の国』
カルヴァン　『キリスト教綱要』
ロック　『寛容書簡』

Ⅴ　政治と戦争・平和
トゥーキュディデース　『戦史』
孫武　『孫子』
カント　『永遠平和のために』
クラウゼヴィッツ　『戦争論』

Ⅵ　政治と経済
アダム・スミス　『国富論』
ヘーゲル　『法の哲学』
マルクス/エンゲルス　『共産党宣言』
ロールズ　『正義論』

Ⅶ　民主制論

ルソー　『社会契約論』
ジェイ/ハミルトン/マディソン　『ザ・フェデラリスト』
トクヴィル　『アメリカにおけるデモクラシー』
J・S・ミル　『代議政体論』

Ⅷ　歴史の衝撃の中で
福沢諭吉　『文明論之概略』
孫文　『三民主義』
ハイエク　『隷従への道』
アレント　『全体主義の起源』
丸山真男　『（増補版）現代政治の思想と行動』

＜参考＞

『経済学の名著３０』の英語版のE-BOOK(PDFやEPUB)は、以下の通り。

400BC Plato - Gorgias
プラトン『ゴルギアス』

1513 The Prince - Niccolo Machiavelli
マキアヴェッリ『君主論』

1919 Max Weber - Politics as a Vocation
ヴェーバー『職業としての政治』

350BC Aristotle - Politics
アリストテレス『政治学』

1651 Thomas Hobbes - Leviathan
ホッブズ『リヴァイアサン』

1689 John Locke - Two Treatises of Government
ロック『統治論』

1748 Charles-Louis de Montesquieu - The Spirit of the Laws
モンテスキュー『法の精神』

1790 Edmund Burke - Reflections on the Revolution in France
バーク『フランス革命についての考察』

400BC Plato - The Republic
プラトン『国家：ポリテイア』

500BC Confucius - Analects
孔子『論語』

426 Aurelius Augustinus - City of God
アウグスティヌス『神の国』

1536 John Calvin - Institutes of the Christian Religion
カルヴァン『キリスト教綱要』

1689 John Locke - A letter concerning toleration
ロック『寛容書簡』

450BC Thucydides - History of the Peloponnesian War
トゥーキューディデース『戦史』

500BC Sun Tzu - The art of war
孫武『孫子』

1795 Immanuel Kant - Perpetual peace
カント『永遠平和のために』

1832 Carl Clausewitz - On War
クラウゼヴィッツ『戦争論』

1776 Adam Smith - An Enquiry Into the Nature and Causes of the Wealth of Nations
アダム・スミス『国富論』

1821 G. W. F. Hegel - Elements of the Philosophy of Right
ヘーゲル『法の哲学』

1848 Karl Marx and Friedrich Engels - The Manifesto of the Communist Party

マルクス、エンゲルス『共産党宣言』

1999 John Rawls - A Theory Of Justice, revised ed. of 1971
ロールズ『正義論』

1762 Jean-Jacques Rousseau - Social Contract
ルソー『社会契約論』

1788 Alexander Hamilton, James Madison, John Jay - The Federalist Papers
ジェイ、ハミルトン、マディソン『ザ・フェデラリスト』

1835 Alexis de Tocqueville - Democracy In America ⇒≪Audiobook≫
アレクシス・トクヴィル『アメリカの民主政治』

1861 John Stuart Mill - Representative Government
ジョン・スチュアート・ミル『代議政体論』

1875 福沢諭吉『文明論之概略』
⇒これは英訳でなく日本語現代文訳を得た

1906 Sun Yat-sen - The Three Principles of the People
⇒孫文『三民主義』これも英文の訳・解説有り

1944 Friedrich von Hayek - The Road to Serfdom
ハイエク『隷従への道』

1951 Hannah Arendt - The Origins of Totalitarianism
アレント『全体主義の起源』

『政治学の名著３０』佐々木毅(著)から引用

『宗教学の名著３０』島薗進(著)の掲載書籍リスト～ちくま新書：名著３０シリーズ～

Ⅰ　宗教学の先駆け
空海　『三教指帰』
イブン=ハルドゥーン　『歴史序説』
富永仲基　『翁の文』
ヒューム　『宗教の自然史』

Ⅱ　彼岸の知から此岸の知へ
ラヴジョイ　『存在の大いなる連鎖』
カント　『たんなる理性の限界内の宗教』
シュライエルマッハー　『宗教論』
ニーチェ　『道徳の系譜』

Ⅲ　近代の危機と道徳の源泉
フレイザー　『金枝篇』
ウェーバー　『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
フロイト　『トーテムとタブー』
デュルケム　『宗教生活の原初形態』

Ⅳ　宗教経験と自己の再定位
ジェイムズ　『宗教的経験の諸相』
姉崎正治　『法華経の行者　日蓮』
ブーバー　『我と汝』
フィンガレット　『論語は問いかける』

Ⅴ　宗教的なものの広がり
柳田国男　『桃太郎の誕生』
ホイジンガ　『ホモ・ルーデンス』
エリアーデ　『宗教学概論』
五来重　『高野聖』

Ⅵ　生の形としての宗教
ニーバー　『アメリカ型キリスト教の社会的起源』
レーナルト　『ド・カモ』
エリクソン　『幼児期と社会』
ショーレム　『ユダヤ神秘主義』

井筒俊彦　『コーランを読む』

Ⅶ　ニヒリズムを超えて
ヤスパース　『哲学入門』
バタイユ　『呪われた部分』
ジラール　『暴力と聖なるもの』
湯浅泰雄　『身体論』
バフチン　『ドストエフスキーの詩学の諸問題』

＜参考＞

『宗教学の名著３０』の英語版のE-BOOK(PDFやEPUB)は、以下の通り。

1377 Ibn Khaldun - al-muqaddimah
イブン＝ハンドゥーン 『歴史序説』

1757 David Hume - The Natural History of Religion
ヒューム『宗教の自然史』

1936 Arthur Lovejoy - The Great Chain of Being
アーサー・ラヴジョイ『存在の大いなる連鎖』

1793 Immanuel Kant - Religion within the Limits of Reason Alone
イマヌエル・カント『たんなる理性の限界内の宗教』

1799 Schleiermacher - On Religion
シュライエルマッハー『宗教論』

1887 Friedrich Nietzsche - On the Genealogy of Morality
ニーチェ『道徳の系譜』

1890 James Frazer - The Golden Bough
フレイザー『金枝篇』

1930 The Protestant Ethic and the Spirit of Capitalism - Max Weber
マックス・ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』

1913 Sigmund Freud - Totem and Taboo
フロイト『トーテムとタブー』

1912 E'mile Durkheim - The Elementary Forms of Religious Life
デュルケム『宗教生活の原初形態』

1902 William James - The Varieties of Religious Experience: A Study in Human Nature
ジェイムズ『宗教的経験の諸相』

1923 Martin Buber - I and Thou
ブーバー『我と汝』

Herbert Fingarette - Confucius: the Secular as Sacred
フィンガレット『論語は問いかける』

1938 Johan Huizinga - Homo Ludens
ホイジンガ『ホモ・ルーデンス』

1974 Mircea Eliade - Histoire des croyances et des idees religieuses
エリアーデ『宗教学概論』 1『太陽と天空神』 2『豊饒と再生』 3『聖なる空間と時間』

1953 Reinhold Niebuhr - The Moral Implications of Loyalty to the United Nations
ニーバー『アメリカ型キリスト教の社会学的起源』

1947 Maurice Leenhardt - Do Kamo
モーリス・レーナルト『ド･カモ』 メラネシア世界の人格と神話

1950 Erik Erikson - Childhood and Society
エリク・エリクソン『幼児期と社会』

1974 Gershom Scholem - Kabbala
ゲルショム・ショーレム『ユダヤ神秘主義：カバラ（Kabbala)』

1969 Karl Jaspers - Philosophy is for Everyman
カール・ヤスパース『哲学入門』

1949 Georges Bataille - The Accursed Share
バタイユ『呪われた部分』

1972 Rene Girard - Violence and the Sacred
ジラール『暴力と聖なるもの』

1984 Mikhail Bakhtin - Problems of Dostoevsky's Poetics
ミハイル・バフチン『ドストエフスキーの詩学の諸問題』

『宗教学の名著３０』島薗進(著)から引用

『経済学の名著３０』松原隆一郎(著)の掲載書籍リスト～ちくま新書：名著３０シリーズ～

Ⅰ
ロック『統治論』
ヒューム『経済論集』
スミス『道徳感情論』
スチュアート『経済の原理』
スミス『国富論』
リカード『経済学および課税の原理』
リスト『経済学の国民的体系』
J・S・ミル『経済学原理』

Ⅱ
マルクス『資本論』
ワルラス『純粋経済学要論』
ヴェブレン『有閑階級の理論』
ゾンバルト『ユダヤ人と経済生活』
シュンペーター『経済発展の理論』
マーシャル『産業と商業』
ナイト『リスク・不確実性および利潤』
メンガー『一般理論経済学』
ロビンズ『経済学の本質と意義』

Ⅲ
バーリー、ミーンズ『近代株式会社と私有財産』
ケインズ『雇用・利子および貨幣の一般理論』
ポラニー『大転換』
サムエルソン『経済分析の基礎』
ケインズ『若き日の信条』
ハイエク『科学による反革命』
ガルブレイス『ゆたかな社会』
ハイエク『自由の条件』
フリードマン『資本主義と自由』
ドラッカー『断絶の時代』
ボードリヤール『消費社会の神話と構造』
ロールズ『正義論』

セン『不平等の再検討』

＜参考＞

『経済学の名著３０』の英語版のE-BOOK(PDFやEPUB)は、以下の通り。

1690 John Locke - Two Treatises of Government
ロック『統治論：私的所有権がもたらす自由とその限界』

1752 David Hume - Political Discourses
ヒューム『経済論集』奢侈と技術が文明社会を築く

1759 Adam Smith - The Theory of Moral Sentiments
スミス『道徳感情論』共和主義と商業主義をつなぐ

1767 Sir James Steuart -An Inquiry into the Principles of Political Oeconomy
ステュアート『経済の原理』バブルと不況の原因としての社会心理に注目する

1776 Adam Smith - An Inquiry into the Nature and Causes of the Wealth of Nations
スミス『国富論』自然な市場活動がもたらす豊かさ

1817 David Ricardo - On the Principles of Political Economy and Taxation
リカード『経済学および課税の原理』自由貿易と階級社会の桎梏

1970 Friedrich List - Das nationale System der politischen Okonomie
リスト『経済学の国民的体系』生産力と国民文化の型

1848 John Stuart Mill - Principles of Political Economy, with some of their Applications to Social Philosophy
J・S・ミル『経済学原理』経済停滞と環境制約を超え精神的成熟をめざす

1867 Karl Marx - Das Kapital
マルクス『資本論』貨幣と労働の神話を解く

1874 Leon Walras - Elements d'economie politique pure ou Theorie de la richesse sociale
ワルラス『純粋経済学要諦』一般均衡理論が実現する社会主義

1899 Thorstein Bunde Veblen - The Theory of the Leisure Class; An Economic Study in the Evolution of Institutions
ウェブレン『有閑階級の理論』大企業と見せびらかしが生み出す野蛮な文明

1911 Werner Sombart - Die Juden und das Wirtshaftsleben
ゾンバルト『ユダヤ人と経済生活』資本主義の隆興を支える精神とは

1912 Joseph Alois Schumpeter - Theorie der wirtshaftlichen Entwicklung
シュンペーター『経済発展の理論』技術革新と銀行は資本主義のエンジン

1919 Alfred Marshall - Industry and trade
マーシャル『産業と商業』収益逓増と経済的国民主義のゆくえ

1921 Frank Hyneman Knight - Risk, Uncertainty and Profit
ナイト『リスク・不確実性及び利潤』不確実性に覆われた資本主義はグッド・ゲームか

1923 Carl Menger - Grundsatze der Volkswirtshcaftslehre
メンガー『一般理論経済学』「販売可能性」と「人間の経済」の謎

1932 Lionel Charles Robbins - An Essay on the Nature and Signigicance of Economic Science
ロビンズ『経済学の本質と意義』形式化と価値自由は科学の条件か

1932 Adolf Augustus Berle, Coit Means - The Modern Corporation and Private Property
バーリ、ミーンズ『近代株式会社と私有財産』株式会社はだれのものか

1936 John Maynard Keynes - The General Theory of Employment, Interest and Money
ケインズ『雇用・利子および貨幣の一般理論』貨幣経済を動かす確信と不安

1944 Karl Polanyi - The Great Transformation
ポラニー『大転換』経済自由化は「悪魔のひ挽き臼」だ

1947 Paul A. Samuelson - Foundations of Economic Analysis
サムエルソン『経済分析の基礎』比較静学と集計量による経済分析

1949 John Meynard Keynes - My Early Beliefs
ケインズ『若き日の信条』不道徳は正当化できるか

1952 Friedrich August von Hayek - The Country-Revolution of Science: Studies on the Abuse of Reason
ハイエク『科学による反革命』主観的知識と自生的秩序

1958 John Keneth Galbraith - Teh Affluent Society
ガルブレイス『ゆたかな社会』大量生産・大量消費社会の到来

1960 Friedrich August von Hayek - The Constitution of Liberty
ハイエク『自由の条件』「自由の条件」としての「法の支配」

1962 Milton Friedman - Capitalism and Freedom
フリードマン『資本主義と自由』新自由主義の聖典

1969 Peter Ferdinand Drucker - The Age of Discontinuity
ドラッカー『断絶の時代』ポストモダン経済の幕開け

1971 John Rawls - A Theory of Justice
ロールズ『正義論』福祉主義の論理的根拠を求めて

1992 Amartya Sen - Inequality Reexamined
セン『不平等の再検討』「潜在能力」アプローチによる「公」の再発見

1944 Karl Polanyi - The Great Transformation
カール・ポラニー『大転換』

1907 Robert Bruner - The panic of 1907
ロバート・ブルナー『ザ・パニック』

1942 Joseph Schumpeter - Capitalism, Socialism and Democracy
シュムペーター『資本主義・社会主義・民主主義』

2005 Benjamin Friedman - The Moral Consequences of Economic Growth
ベンジャミン・フリードマン『経済成長とモラル』

2007 Richard Smethurst - Takahashi Korekiyo, Japan's Keynes
リチャード・スメサースト『高橋是清・日本のケインズ』

1999 Susan Strasser - Waste and Want
スーザン・ストラッサー『欲望を生み出す社会』

2010 Derek Bok - The Politics of Happiness
デレック・ボック『幸福の研究』

『経済学の名著３０』松原隆一郎(著)から引用

『自己啓発の名著３０』三輪裕範(著)の掲載書籍リスト～ちくま新書：名著３０シリーズ～

第1章　自伝
ベンジャミン・フランクリン　『フランクリン自伝』
エドワード・ギボン　『ギボン自伝』
福沢諭吉　『福翁自伝』
勝海舟　『氷川清話』
石光真人（編著）　『ある明治人の記録』
アンドリュー・カーネギー　『カーネギー自伝』
高橋是清　『高橋是清自伝』

第2章　人間論
ニッコロ・マキアヴェッリ　『君主論』
ラ・ロシュフコー　『ラ・ロシュフコー箴言集』
フランシス・ベーコン　『ベーコン随想集』
ヴィクトール・Ｅ・フランクル　『夜と霧』
渡辺一夫　『人間模索』

第３章　生き方論
セネカ　『人生の短さについて』
マルクス･アウレーリウス　『自省録』
洪自誠　『菜根譚』
林語堂　『人生をいかに生きるか』
トマス・ア・ケンピス　『キリストにならいて』
サミュエル・スマイルズ　『自助論』
新渡戸稲造　『自警録』
幸田露伴　『努力論』
アンドレ・モーロワ　『人生をよりよく生きる技術』
デール・カーネギー　『人を動かす』
森信三　『修身教授録』

第４章　知的生活論
ジェームズ・ボズウェル　『サミュエル・ジョンソン伝』
ショウペンハウエル　『読書について』
小泉信三　『読書論』
三木清　『読書と人生』

梅棹忠夫　『知的生産の技術』
Ｐ・Ｇ・ハマトン　『知的生活』
ジョージ・ギッシング　『ヘンリ・ライクロフトの私記』

『自己啓発の名著３０』三輪裕範(著)から引用

『物理学の名著』（ちくま学芸文庫）の掲載書籍リスト

1975 Paul Dirac - General Theory of Relativity
ポール・ディラック「一般相対性理論」

1930 David Hilbert - The Foundations of Geometry
デイビッド・ヒルベルト「幾何学基礎論」

1966 Paul Dirac - Lectures on Quantum Mechanics
P.A.M.ディラック「ディラック現代物理学講義」

1989 Salam, Bethe, Dirac, Heisenberg, Wigner, Klein, Lifshitz - From a life of physics
ディラック [ほか] 著「物理学に生きて　巨人たちの思索の軌跡」

1960-76 Landau, Lifshitz - Mechanics, The Classical Theory of Fields (Course of Theoretical Physics)
ランダウ, リフシッツ「力学・場の理論ーランダウ=リフシッツ物理学小教程」

1958-71 Landau, Lifshitz - Quantum Mechanics Non-Relativistic Theory, Quantum Electrodynamics (Course of Theoretical Physics)
ランダウ, リフシッツ「量子力学ーランダウ=リフシッツ物理学小教程」

1938 Albert Einstein - The Evolution of Physics
アインシュタイン, 「物理学はいかに創られたかー初期の観念から相対性理論及び量子論への思想の発展」

1860 Michael Faraday - The Chemical History of a Candle
マイケル・ファラデー『ロウソクの科学』

1958 Physics and Philosophy: The Revolution in Modern Science
ヴェルナー・ハイゼンベルク「現代物理学の思想」

1944 Erwin Schrodinger - What is life
シュレーディンガー『生命とは何か・物理的にみた生細胞』

『物理学の名著』三輪裕範(著)から引用

『数学書２５選』吉田武(編)の掲載書籍リスト

300BC Euclid - Elements
ユークリッド『原論』

1801 Carolus Gauss - Number Research
カール・ガウス『ガウス整数論』

1979 Felix Klein - Development of mathematics in the 19th century
フェリックス・クライン『19世紀の数学』

1941 Richard Robbins - What is Mathematics?
リチャード・ ロビンズ『数学とは何か』

1968 Serge Lang - Analysis
サージ・ラング『ラング解析入門』

1997 Donald Knuth - Seminumerical Algorithms
ドナルド・クヌース『準数値算法』

1978 Vladimir Arnold - Ordinary Differential Equations
ウラジーミル・アーノルド『常微分方程式』

1988 Thomas Ko"rner - Fourier Analysis
ケルナー『フーリエ解析大全』

1995 George Arfken - Mathematical Methods for Physicists
ジョージ・アルフケン『基礎物理数学』

1991 Stan Wagon - Mathematica in Action
スタン・ワゴン『Mathematicaで見える現代数学』

『数学書２５選』吉田武(編)から引用

『物理学書２５選』吉田武(編)の掲載書籍リスト

1970 Richard Feynman - The Feynman Lectures on Physics
リチャード・ファインマン『ファインマン物理学』

1994 Vernon Barger、Martin Olsson - Classical Mechanics: A Modern Perspective
ヴァ-ノン・バ-ガ-、マ-ティン・オルソン『力学ーー新しい視点にたって』

1995 Subrahmanyan Chandrasekhar - Newton's Principia for the Common Reader
チャンドラセカール『「プリンキピア」講義』

1992 Edwin Taylor, John Wheeler - Spacetime Physics: Introduction to Special Relativity
エドウィン・テイラー、ジョン・ホイーラー『時空の物理学』

1980 Charles Kittel - Thermal Physics
チャーレス・キッテル『熱物理学』

1999 Max Born and Emil Wolf - Principles of Optics
マックス・ボルン、エミル・ウォルフ『光学の原理・ＩＩＩＩ』

1983 Steven Weinberg - The Discovery of Subatomic Particles
スティーヴン・ワインバーグ『電子と原子核の発見』

1982 Paul Dirac - The Principles of Quantum Mechanics
ディラック『量子力学』

1965 Richard Feynman, Albert Hibbs - Quantum Mechanics and Path Integrals
ファインマン, ヒッブス『量子力学と経路積分』

1999 Robert Zimmerman - Mathematica for Physics
ロバート・ジンマーマン『物理学のためのMathematica』

『物理学書２５選』吉田武(編)から引用

『自然科学の名著（古典・啓蒙）～古典は時代を考えれば風化はしません～』の掲載書籍リスト

1916 Albert Einstein - The Special and General Theory
アルバート・アインシュタイン『特殊および一般相対性理論について』

1944 Erwin Schrodinger - What is life
シュレーディンガー『生命とは何か・物理的にみた生細胞』

1890 William James - The Principles of Psychology
ウイリム・ジェームス『心理学』

1915 Elie Metchnikoff
メチニコフ『近代医学の建設者』

1936 Edwin Hubble - The Realm of the Nebulae
ハッブル『銀河の世界』

1704 Isaac Newton - Opticks
ニュートン『光学』

1927 Ivan Pavlov - Conditioned Reflexes
パブロフ『条件反射についての講義』

1861 Louis Pasteur - Work on Spontaneous Generation
パストゥール『自然発生説の検討』

1932 L.D. Landau, E.M. Lifshitz - Course of Theoretical Physics
ランダウ『理論物理学教程』

1808 John Dalton - A new system of chemical philosophy
ドールトン『化学の新体系』

1628 William Harvey - Theory of the Circulation of the Blood
ハーヴェイ『血液循環の原理』

1860 Michael Faraday - The Chemical History of a Candle

マイケル・ファラデー『ロウソクの科学』

1687 Isaac Newton - The Principia, Mathematical Principles of Natural Philosophy
ニュートン『プリンキピア・自然哲学の数学的諸原理』

1963 Konrad Lorenz - On Aggression
ローレンツ『攻撃ー悪の自然誌』

1871 James Clerk Maxwell - Theory of Heat
マクスウェル『熱理論』

1933 Niels Bohr - Causality and Complementarity
ボーア『因果性と相補性』

1619 Johannes Kepler - The Harmony of the World
ケプラー『宇宙の調和』

1930 David Hilbert - The Foundations of Geometry
ヒルベルト『幾何学基礎論』

1661 Robert Boyle - The Sceptical Chymist
ボイル『懐疑な化学者』

1632 Galileo Galilei - Dialogue Concerning Two New Chief World Systems
ガリレオ『星界の報告』

1865 Gregor Mendel - Experiments with Plant Hybrids
メンデル『雑種植物の研究』

1775 Antoine Lavoisier - Elements of Chemistry
ラヴォアジエ『化学要論』

1543 Nicolaus Copernicus - On the Revolution of the Celestial Orbs
コペルニクス『天球の回転について』

161 Claudius Ptolemaeus - Ptolemaeus - Almagest
プトレマイオス『アルマゲスト（数学全書）』

1869 Dmitriy Mendeleev - The Principles of Chemistry
メンデレーエフ『化学の原理』

1859 Charles Darwin - On the Origin of Species
チャールズ・ダーウィン『種の起源』

1938 Louis de Broglie - Matter and Light
ドゥ・ブロイ『物質と光』

1902 Henri Poincare - Science and method
ポアンカレ『科学と仮説』

『自然科学の名著（古典・啓蒙）～古典は時代を考えれば風化はしません～』から引用

『自然科学の名著１００選』田中実(他編)の掲載書籍リスト

#01 440BC Hippocrates - Works
ヒポクラテス『ヒポクラテス全集』

#02 360BC Aristotle - The History of Animals
アリストテレス『動物発生論』

#03 360BC Aristotle - Physics
アリストテレス『自然学』

#04 300BC Euclid - Elements
ユークリッド『原論』

#05 260BC Archimedes - On the Equilibrium of Planes
アルキメデス『平面のつりあいについて』

#06 60BC Lucretius On the Nature of Things
ルクレティウス『物の本質について』

#07 60BC Vitruvius - De Architectura
ヴィトルヴィウス『建築について』

161 Ptolemaeus - Almagest
プトレマイオス『アルマゲスト』

800 Geber - Kitab al-Kimya
ゲーベル(ジャービル・イブン＝ハイヤーン)『金属貴化秘法大全』

1500 Leonardo da Vinci - The Notebooks of Leonardo Da Vinci
レオナルド・ダ・ヴィンチ『レオナルド・ダ・ヴィンチの手記』

1543 Nicolaus Copernicus - On the Revolution of the Celestial Orbs
コペルニクス『天球の回転について』

1543 Andreas Vesalius - De humani corporis fabrica
ヴェサリウス『人体の構造についての七つの本』

1556 Georg Agricola - De Re Metallica
アグリコラ『デ・レ・メタリカ：鉱山書』

1780 Johann Beckmann - A History of Technologie
ベックマン『テヒノロギーの歴史』

1775 Antoine Lavoisier - Elements of Chemistry
ラヴォアジエ『化学要論』

1795 James Hutton - Theory of the Earth
ハットン『地球の理論』

1808 John Dalton - A new system of chemical philosophy -
ドールトン『化学の新体系』

1830 Charles Lyell - Principles of Geology
ライエル『地質学原理』

1897 Charles Steinmetz - Theory and calculation of alternating current phenomena
スタインメッツ『交流現象の理論の計算』

1878 Jean Fabre - Fabre's Book of Insects
ジャン・ファーブル『ファーブル昆虫記』

1884 Arrhenius - Recherches sur la conductivite' galvanique des e'lectrolytes
アレニウス『水溶液中における諸物質の解離』

1888 What are numbers and what should they be - Dedekind
デデキント『数とは何か、何であるべきか』

1883 Ernst Mach - The Science of Mechanics A critical and Historical Account of its Development
マッハ『力学の発展一歴史的・批判的考察』

1877 Ludwig Boltzmann - Remarks on ....
ボルツマン『気体運動論議義』

1897 Joseph Thomson - Cathode rays
ジョゼフ・トムソン『気体中の電気伝導』

1898 Maria Curie - Science of Radioactivity
マリー・キュリー『放射性物質の研究』

1905 Albert Einstein - On the Electrodynamics of Moving Bodies
アインシュタイン『運動物体の電気力学』

1901 Max Planck - On the Law of Distribution of Energy in the Normal Spectrum
プランク『熱輻射論講義』

1927 I.P.Pavlov - Conditioned Reflexes
パブロフ『条件反射についての講義』

1909 Vladimir Lenin - Materialism and Empirio-criticism
レーニン『唯物論と経験批判』

1910 Sigmund Freud - The Origin and Development of Psychoanalysis
フロイト『 精神分析』

1910 Frederick Taylor - The Principles of Scientific Management
テーラー『科学的管理法の原理』

1913 Jean Perrin - Atoms
ジャン・ペラン『原子』

『自然科学の名著１００選』田中実(他編)から引用

『現代科学論の名著』村上陽一郎氏(編著)の掲載書籍リスト

1925 Alfred Whitehead - Science and the Modern World
ホワイトヘッド『科学と近代世界』

1940 Gaston Bachelard - La Philosophie du non
ガストン・バシュラール『否定の科学』

1944 Erwin Schrodinger - What is life
シュレーディンガー『生命とは何か・物理的にみた生細胞』

1936 Karl Mannheim - Ideology and Utopia
カール・マンハイム『イデオロギーとユートピア』

1922 Ludwig Wittgenstein - Philosophical Investigations
ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』

1956 Karl Popper - The Logic of Scientific Discovery
カール・ポパー『科学的発見の論理（推測と反証）』

1958 Norwood Hanson - Patterns of Discovery
ノースウッド・ハンソン『科学発見のパターン』

1962 Thomas Kuhn - The Structure of Scientific Revolutions
トーマス・クーン『科学革命の構造』

1975 Paul Feyerabend - Against Method
ポール・ファイヤアーベント『方法への挑戦』

『現代科学論の名著』村上陽一郎氏(編著)から引用

『文化人類学』松村圭一郎(著)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト

第1部　人類学の確立
モーガン『古代社会』(岩波文庫)
フレイザー『初版　金枝篇』(ちくま学芸文庫)
マリノフスキー『西太平洋の遠洋航海者』(講談社学術文庫)
モース『贈与論』(ちくま学芸文庫)
ベネディクト『文化の型』(講談社学術文庫)
ミード『サモアの思春期』

第2部　人類学理論の深化
ファース『価値と組織化ー社会人類学序説』
レヴィ=ストロース『野生の思考』
ダグラス『汚穢と禁忌』(ちくま学芸文庫)
サーリンズ『石器時代の経済学』(叢書・ウニベルシタス)
ベイトソン『精神の生態学』
ブルデュ『実践感覚』
ゴドリエ『観念と物質ー思考・経済・社会』(叢書・ウニベルシタス)

第3部　民族誌の名作
エヴァンズ=プリチャード『アザンデ人の世界』
リーチ『高地ビルマの政治体系』(人類学ゼミナール)
ルイス『貧困の文化ーメキシコの“五つの家族”』(ちくま学芸文庫)
ターンブル『ブリンジ・ヌガグー食うものをくれ』
ギアツ『ヌガラーー19世紀バリの劇場国家』
スミス、ウィスウェル『須恵村の女たちー暮しの民俗誌』

第4部　批判と実験の時代
クラパンザーノ『精霊と結婚した男ーモロッコ人トゥハーミの肖像』(文化人類学叢書)
フェルド『鳥になった少年ーカルリ社会における音・神話・象徴』(テオリア叢書)
マーカス、フィッシャー『文化批判としての人類学ー人間科学における実験的試み』(文化人類学叢書)
クリフォード、マーカス編『文化を書く』(文化人類学叢書)
ロサルド『文化と真実ー社会分析の再構築』

第5部　新世紀の人類学へ
ラトゥール『虚構の「近代」ー科学人類学は警告する』

レイヴ、ウェンガー『状況に埋め込まれた学習ー正統的周辺参加』
ラビノー『PCRの誕生ーバイオテクノロジーのエスノグラフィー』
アパデュライ『さまよえる近代ーグローバル化の文化研究』
アサド『世俗の形成ーキリスト教、イスラム、近代』
グレーバー『価値の人類学理論に向けて』

『文化人類学』松村圭一郎(著)から引用

『政治哲学』伊藤恭彦(著)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト

第1部　政治とは何か――政治・権力・自由
丸山眞男『政治の世界』
マキアヴェッリ『君主論』
ウェーバー『職業としての政治』
フーコー『監獄の誕生』
ミル『自由論』
フロム『自由からの逃走』

第2部　政治と規範――正義・善・法
アリストテレス『ニコマコス倫理学』
ロールズ『正義論』
サンデル『リベラリズムと正義の限界』
イェーリング『権利のための闘争』
ヌスバウム『感情と法』
デリダ『法の力』

第3部　デモクラシーと政治の場
ルソー『社会契約論』
シュムペーター『資本主義・社会主義・民主主義』
フィシュキン『人々の声が響き合うとき』
ムフ『政治的なるものの再興』
ミラー『ナショナリティについて』
ハーヴェイ『都市と社会的不平等』

第4部　現代の政治争点――財・アイデンティティ・戦争・環境
ノジック『アナーキー･国家･ユートピア』
マーフィー、ネーゲル『税と正義』
キムリッカ『多文化時代の市民権』
バトラー『ジェンダー・トラブル』
ウォルツァー『正しい戦争と不正な戦争』
カント『永遠平和のために』
シンガー『動物の解放』
キャリコット『地球の洞察』

第5部　国境を越える政治――グローバリゼーションと地球政治の可能性

キケロー『義務について』
マルクス『共産党宣言』
ベイツ『国際秩序と正義』
尾崎行雄『わが遺言』

『政治哲学』伊藤恭彦(著)から引用

『環境と社会』西城戸誠・舩戸修一(編)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト

第1部　リスクから考える
ベック『危険社会』
舩橋晴俊、長谷川公一、飯島伸子編『巨大地域開発の構想と帰結』
ホフマン、オリヴァー＝スミス編『災害の人類学』
佐久間充『ああダンプ街道』
大熊孝『増補 洪水と治水の河川史』

第2部　失われた環境
栗原彬編『証言 水俣病』
飯島伸子『環境問題と被害者運動』
舩橋晴俊ほか『新幹線公害』
松原治郎、似田貝香門編『住民運動の論理』
木原啓吉『歴史的環境』
鳥越皓之、嘉田由紀子編『水と人の環境史』

第3部　環境を守る
桑子敏雄『環境の哲学』
レオポルド『野生のうたが聞こえる』
ブラムウェル『エコロジー』
レヴィン『持続不可能性』
玉野井芳郎『エコノミーとエコロジー』
丸山康司『サルと人間の環境問題』

第4部　当事者性から考える
高木仁三郎『市民の科学をめざして』
平川秀幸『科学は誰のものか』
鬼頭秀一『自然保護を問いなおす』
松村和則、青木辰司編『有機農業運動の地域的展開』
古川彰、松田素二編『観光と環境の社会学』

第5部　公正と正義
村井吉敬『エビと日本人』
戒能通孝『小繋事件』
佐藤仁『稀少資源のポリティクス』

宇沢弘文『自動車の社会的費用』
ジンマーマン著、ハンカー編『資源サイエンス』
石山徳子『米国先住民族と核廃棄物』
三浦耕吉郎編『屠場』
ハイデン『場所の力』

『環境と社会』西城戸誠・舩戸修一(編)から引用

『メディア論』難波功士(著)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト

第１部　メディアの生成
ベンヤミン『複製技術時代の芸術』
オング『声の文化と文字の文化』
リップマン『世論』
マーヴィン『古いメディアが新しかった時』
水越伸『メディアの生成』
フィッシャー『電話するアメリカ』
フルッサー『写真の哲学のために』
前田愛『近代読者の成立』
北田暁大『広告の誕生』
加藤秀俊『テレビ時代』

第２部　マスメディアの世紀
有山輝雄『近代日本のメディアと地域社会』
佐藤健二『読書空間の近代』
キャントリル『火星からの侵入』
ヴィリリオ『戦争と映画』
ブーアスティン『幻影の時代』
ホガート『読み書き能力の効用』
モラン『プロデメの変貌』
萩元晴彦、村木良彦、今野勉『お前はただの現在にすぎない』
パットナム『孤独なボウリング』
メイロウィッツ『場所感の喪失』

第３部　メディアの現在進行形
アンダーソン『想像の共同体』
佐藤卓己『現代メディア史』
キットラー『グラモフォン・フィルム・タイプライター』
原崎惠三『海賊放送の遺産』
ペンリー『NASA／トレック』
とりみき『愛のさかあがり』
吉見俊哉、若林幹夫、水越伸『メディアとしての電話』
井手口彰典『ネットワーク・ミュージッキング』
ライアン『膨張する監視社会』
マクルーハン『メディア論』

『メディア論』難波功士(著)から引用

『日本思想史』子安宣邦(著)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト

第１部　日本／古代
網野善彦『日本論の視座』
山尾幸久『日本国家の形成』
津田左右吉『神代史の新しい研究』
和辻哲郎『日本古代文化』
三品彰英『日本神話論』
西郷信綱『古事記の世界』

第２部　中世
高取正男『神道の成立』
黒田俊雄『寺社勢力』
網野善彦『無縁・公界・楽』
大隅和雄『信心の世界、遁世者の心』

第３部　近世①
阿部吉雄『日本朱子学と朝鮮』
野口武彦『江戸の歴史家』
子安宣邦『江戸思想史講義』
ヘルマン・オームス『徳川イデオロギー』
丸山眞男『日本政治思想史研究』
尾藤正英『江戸時代とは何か』

第４部　近世②
村岡典嗣『本居宣長』
小林秀雄『本居宣長』
Ｅ・Ｈ・ノーマン『忘れられた思想家　安藤昌益のこと』
テツオ・ナジタ『懐徳堂』）
伊東多三郎『草莽の国学』

第５部　近代／現代
大川周明『日本精神研究』
相良亨『日本人の伝統的倫理観』
湯浅泰雄『近代日本の哲学と実存思想』
色川大吉『新編　明治精神史』
安丸良夫『近代天皇像の形成』

村上重良『国家神道』
戸坂潤『日本イデオロギー論』
竹内好『日本とアジア』
子安宣邦『近代知のアルケオロジー』

『日本思想史』子安宣邦(著)から引用

『グローバル政治理論』土佐弘之(著)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト

第１部　「現実」をめぐって
カー『危機の20年 1919-1939』
モーゲンソー『国際政治　権力と平和』
ニーバー『道徳的人間と非道徳的社会』
ウォルツ『国際政治の理論』

第２部　法・規範と自由をめぐって
ブル『国際社会論』
フォーク『顕れてきた地球村の法』
バーリン『自由論』
ハイエク『自由の条件』
ハーバーマス『事実性と妥当性』

第３部　資本と配分的正義
ウォーラーステイン『史的システムとしての資本主義』
ポランニー『大転換』
ローゼンバーグ『市民社会の帝国』
ポッゲ『なぜ遠くの貧しいひとへの義務があるのか』
ランシエール『不和あるいは了解なき了解』

第４部　主権と権力
シュミット『政治的なものの概念』
ハート、ネグリ『〈帝国〉』
ルークス『現代権力論批判』
フーコー『生政治の誕生』
アガンベン『ホモ・サケル』

第５部　ヘゲモニーと複数性
コックス『世界秩序へのアプローチ』
ラクラウ、ムフ『ポスト・マルクス主義と政治』
バリバール『ヨーロッパ市民とは誰か』
コノリー『プルーラリズム』

第６部　「周辺」からの声と政治

ファノン『地に呪われたる者』
サイード『オリエンタリズム』
ギルロイ『ブラック・アトランティック』
エンロー『バナナ、ビーチと基地』
スピヴァク『サバルタンは語ることができるか』
バトラー『触発する言葉』
シヴァ『アース・デモクラシー』

『グローバル政治理論』土佐弘之(著)から引用

『科学哲学』中山康雄(著)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト

第１部　科学哲学前史
アリストテレス『自然学』
ガリレイ『天文対話』
カント『プロレゴメナ』
マッハ『時間と空間』

第２部　論理実証主義の運動とその限界
カルナップ『論理的構文論』
ライヘンバッハ『科学哲学の形成』
ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』
ゲーデル『不完全性定理』
ポパー『推測と反駁』
大森荘蔵『流れとよどみ』

第３部　「新科学哲学」という反乱ーーパラダイム論の登場
ハンソン『科学的発見のパターン』
クーン『科学革命の構造』
クワイン『論理的観点から』
村上陽一郎『科学史の逆遠近法』

第４部　パラダイム論以降の科学哲学
ラカトシュ『方法の擁護』
ローダン『科学は合理的に進歩する』
ハッキング『表現と介入』

第５部　科学論への展開
ブルア『数学の社会学』
ソーカル、ブリクモン『「知」の欺瞞』
ラトゥール『科学論の実在』
フラー『科学が問われている』

第６部　科学哲学基礎論の諸説
ヘンペル『科学的説明の諸問題』
フラーセン『科学的世界像』
パトナム『理性・真理・歴史』

第７部　個別科学の哲学
アインシュタイン『相対性理論』
レッドヘッド『不完全性・非局所性・実在主義』
ソーバー『進化論の射程』
ゲルマン『クォークとジャガー』
チャーチランド『心の可塑性と実在論』
ドゥ・メイ『認知科学とパラダイム論』

『科学哲学』中山康雄(著)から引用

『倫理学』小泉義之(著)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト

第１部　生と死
セネカ『倫理書簡集』
ギュイヨー『義務も制裁もなき道徳』
パーフィット『理由と人格』

第２部　徳と力
キケロー『善と悪の究極について』
モンテーニュ『随想録（エセー）』
ルソー『人間不平等起原論』
フーコー『思考集成Ｘ 1984-88　倫理／道徳／啓蒙』

第３部　快楽と欲望
ベンサム『自己にそむく違反、男色』
ラカン『精神分析の倫理』
ドゥルーズ、ガタリ『アンチ・オイディプス』
イリガライ『ひとつではない女の性』
バトラー『欲望の主体』

第４部　資本主義の精神、市民の道徳
マルクス『経済学・哲学草稿』
ラスキン『この最後の者にも』
ミル『功利主義論』
ニーチェ『道徳の価値』
ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
シェーラー『価値の転倒』

第５部　幸福と福祉
カント『実践理性批判』
ベヴァリッジ『社会保障および関連サービス（ベヴァリッジ報告）』
田中美知太郎『善と必然との間に』

第６部　近代倫理の臨界
和辻哲郎『倫理学』
坂部恵『仮面の解釈学』
ウォルツァー『正義の領分』

ゴティエ『合意による道徳』
キムリッカ『多文化時代の市民権』

第７部　倫理の超越
ルター『奴隷的意志』
ライプニッツ『弁神論』
キルケゴール『おそれとおののき』
ジジェク『厄介なる主体』

『倫理学』小泉義之(著)から引用

『東アジア論』丸川哲史(著)(ブックガイドシリーズ基本の３０冊)の掲載書籍リスト

第１部　中国モダニティの問題
野村浩一『近代中国の政治文化』
汪暉『思想空間としての現代中国』
木山英雄『周作人「対日協力」の顛末』
孫歌『アジアを語ることのジレンマ』
溥儀『わが半生』
毛沢東『毛沢東選集』
竹内好『魯迅』

第２部　東アジアにおける植民地問題
松永正義『台湾を考えるむずかしさ』
若林正丈『台湾抗日運動史研究 増補版』
杉原達『越境する民』
駒込武『植民地帝国日本の文化統合』
マーク・ピーティー『植民地　帝国50年の光芒』
ニム・ウェールズ、キム・サン『アリランの歌』
森崎和江『慶州は母の呼び声』
呉濁流『アジアの孤児』

第３部　東アジア冷戦／ポスト植民地問題
藍博洲『幌馬車の歌』
黄皙暎『客人（ソンニム）』
韓洪九『韓国現代史ⅠⅡ』
金時鐘『「在日」のはざまで』
黄春明『さよなら再見』
金石範『ことばの呪縛』
キム・ジハ『長い暗闇の彼方に』
安部公房『けものたちは故郷をめざす』

第４部　アジア主義の問題
尾崎秀実『尾崎秀実時評集』
林房雄『「大東亜戦争」肯定論』
夢野久作『近世快人伝』
山室信一『キメラ　満洲国の肖像』
尾崎秀樹『近代文学の傷痕』

渡辺京二『北一輝』
竹内好編『アジア主義』

『東アジア論』丸川哲史(著)から引用

『文化人類学の名著５０』綾部恒雄(編)の掲載書籍リスト

１　草創期文化人類学の古典
タイラー 『原始文化』
モーガン 『古代社会』
フレーザー 『金枝篇』
ウェブスター 『未開の秘密結社』
ファン・ヘネップ 『通過儀礼』
エルツ 『右手の優越』
レヴィ＝ブリュール 『未開社会の思惟』
デュルケーム 『宗教生活の原初形態』

２　近代人類学の系譜
サピア 『言語』
マリノフスキー 『西太平洋の遠洋航海者』
モース 『贈与論』
シュミット 『民族と文化』
ホカート 『王権』
デ・ヨセリン・デ・ヨング 『トリックスターの起源』
岡正雄 『異人その他』
ベネディクト 『文化の諸型』
ベネディクト 『菊と刀』
エヴァンズ＝プリチャード 『ヌアー族』
石田英一郎 『河童駒引考』
ラドクリフ＝ブラウン 『未開社会における構造と機能』

３　啓蒙的名著
ミード 『男性と女性』
ピット＝リヴァーズ 『シエラの人びと』
マードック 『社会構造』
クラックホーン 『人間のための鏡』
リーチ 『高地ビルマの政治体系』
レッドフィールド 『農民社会と文化文明への人類学的アプローチ』
ホール 『沈黙のことば』
フォーテス 『西アフリカの宗教における「エディプス」と「ヨブ」』

４　構造主義・象徴論・生態学的思考

レヴィ＝ストロース 『野生の思考』
レヴィ＝ストロース 『親族の基本構造』
ニーダム 『構造と感情』
梅棹忠夫 『文明の生態史観』
ダグラス 『汚穢と禁忌』
コーエン 『二次元的人間』
ファン・バール 『互酬性と女性の地位』

５　現代の視点
フリードマン 『中国の宗族と社会』
中根千枝 『タテ社会の人間関係』
山口昌男 『文化と両義性』
ターナー 『儀礼の過程』
シュー 『クラン・カースト・クラブ』
デュモン 『社会人類学の二つの理論』
サーリンズ 『石器時代の経済学』
サウスホール 『都市人類学』
ゴドリエ 『人類学の地平と針路』
川田順造 『無文字社会の歴史』
グレイザー／モイニハン 『人種のるつぼを越えて』
ギアツ 『ヌガラ　ー19世紀バリの劇場国家』
ポランニー 『人間の経済』
ホブズボウム 『創られた伝統』
アンダーソン 『想像の共同体』

『文化人類学の名著５０』綾部恒雄(編)から引用

『国体　十冊の名著』北影雄幸(著)の掲載書籍リスト

第一部　官制の国体論

『軍人勅諭』
『教育勅語』
『武人の徳操』
『国体の本義』
『戦陣訓』

第二部　民間の国体論

『国民道徳要領』
里見 岸雄『国体に対する疑惑』
『宣戦の大詔』
伊東多三郎『国体観念の史的研究』
大川 周明『大東亜秩序建設』

『国体　十冊の名著』北影雄幸(著)から引用

『幕末　十冊の名著』北影雄幸(著)の掲載書籍リスト

頼山陽『日本外史』
大塩平八郎『洗心洞箚記』
会沢正志斎『新論』
藤田東湖『正気歌』
橋本左内『啓発録』
吉田松陰『留魂録』
佐久間象山『省[ケン]録』
横井小楠『国是三論』
坂本龍馬『海援隊約規』
西郷隆盛『西郷南洲遺訓』

『幕末　十冊の名著』北影雄幸(著)から引用

『戦国　十冊の名著』北影雄幸(著)の掲載書籍リスト

第一章　戦国の名著
高坂昌信『甲陽軍鑑』
太田牛一『信長公記』
小瀬甫庵『太閤記』
大久保彦左衛門『三河物語』
松平信興『雑兵物語』
『おあむ物語』と『おきく物語』

第二章　戦国武将の実像
頼山陽『日本外史』
熊沢正興『武将感状記』
湯浅常山『常山紀談』
岡谷繁実『名将言行録』

第三章　戦国武将の家訓
「武田家家法九十九箇条」
「上杉謙信触書・家訓」
「山本道鬼入道百目録」
「武将諸家家訓」

『戦国　十冊の名著』北影雄幸(著)から引用

『武士道　十冊の名著』北影雄幸(著)の掲載書籍リスト

中江藤樹『文武問答』
宮本武蔵『五輪書』
山鹿素行『士道』
熊沢蕃山『集義和書』
井沢蟠龍『武士訓』
貝原益軒『武訓』
山本常朝『葉隠』
大道寺友山『武道初心集』
津軽政方『武治提要』
斎藤拙堂『士道要論』

『武士道　十冊の名著』北影雄幸(著)から引用

『尊王　十冊の名著』北影雄幸(著)の掲載書籍リスト

小島法師『太平記』
北畠親房『神皇正統記』
山鹿素行『中朝事実』
浅見絅斎『靖献遺言』
山県大弐『柳子新論』
本居宣長『直毘霊』
平田篤胤『古道大意』
頼山陽『日本外史』
藤田東湖『弘道館記術義』
吉田松陰『講孟余話』

『尊王　十冊の名著』北影雄幸(著)から引用

『世界の十大小説』(岩波文庫)サマセット・モーム(著)の掲載書籍リスト

ヘンリー・フィールディング 『トム・ジョーンズ』
ジェイン・オースティン 『高慢と偏見』
スタンダール 『赤と黒』
オノレ・ド・バルザック 『ゴリオ爺さん』
チャールズ・ディッケンズ 『デイヴィッド・コパフィールド』
ギュスターヴ・フロベール 『ボヴァリー夫人』
ハーマン・メルヴィル 『白鯨』
エミリー・ブロンテ 『嵐が丘』
フョードル・ドストエフスキー 『カラマーゾフの兄弟』
レフ・トルストイ 『戦争と平和』

『世界の十大小説』(岩波文庫)サマセット・モーム(著)から引用

『二十世紀の十大小説』(新潮文庫)篠田一士(著)の掲載書籍リスト

マルセル・プルースト 『失われた時を求めて』
ホルヘ・ルイス・ボルヘス 『伝奇集』
フランツ・カフカ 『城』
茅盾 『子夜』
ジョン・ドス・パソス 『U・S・A』
ウィリアム・フォークナー 『アブサロム、アブサロム!』
ガブリエル・ガルシア・マルケス 『百年の孤独』
ジェイムズ・ジョイス 『ユリシーズ』
ロベルト・ムジール 『特性のない男』
島崎藤村 『夜明け前』

『二十世紀の十大小説』(新潮文庫)篠田一士(著)から引用

『日本の１０大小説』（ちくま学芸文庫）加賀乙彦(著)の掲載書籍リスト

夏目漱石『明暗』
有島武郎『或る女』
島崎藤村『夜明け前』
志賀直哉『暗夜行路』
谷崎潤一郎『細雪』
野上弥生子『迷路』
武田泰淳『富士』
福永武彦『死の島』
大岡昇平『レイテ戦記』
大江健三郎『燃えあがる緑の木』

『日本の１０大小説』（ちくま学芸文庫）加賀乙彦(著)から引用

『２１世紀の世界文学３０冊を読む』都甲幸治(著)の掲載書籍リスト

I

1　ジュノ・ディアス　『オスカー・ワオの短く凄まじい人生』
2　ミランダ・ジュライ　『いちばんここに似合う人』
3　タオ・リン　『アメリカンアパレルで万引』
4　ダニエル・アラルコン　『蝋燭に照らされた戦争』
5　ジュディ・バドニッツ　『素敵で大きいアメリカの赤ちゃん』
6　イーユン・リー　『黄金の少年、エメラルドの少女』
7　マイリー・メロイ　『どちらかを選ぶことはできない』
8　ピーター・ロック　『捨て去ること』

II

9　トマス・ピンチョン　『ＬＡヴァイス』
10 ポール・オースター　『写字室の中の旅』
11 ドン・デリーロ　『墜ちてゆく男』
12 ドン・デリーロ　『ポイント・オメガ』
13 フィリップ・ロス　『憤慨』
14 スティーヴ・エリクソン　『ゼロヴィル』

III

15 アレクサンダル・ヘモン　『愛と困難』
16 アレクサンダル・ヘモン　『ラザルス計画』
17 チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ　『なにかが首のまわりに』
18 ハ・ジン　『すばらしい墜落』
19 カレン・テイ・ヤマシタ　『サークルＫサイクルズ』
20 Ｊ・Ｍ・クッツェー　『悪い年の日記』
21 ロベルト・ボラーニョ　『南北アメリカのナチ文学』

IV

22 ジョージ・ソーンダーズ　『説得の国で』
23 デニス・ジョンソン　『煙の樹』
24 リン・ディン　『偽の家』
25 リディア・デイヴィス　『嫌なこといろいろ』
26 ブライアン・エヴンソン　『遁走状態』
27 ジム・シェパード　『わかっていただけますよね』
28 マイケル・シェイボン　『ユダヤ警官同盟』

29 ジョナサン・リーセム　『あなたはまだ私を愛していない』
30 ダン・ファンテ　『安酒の小瓶　ロサンゼルスを走るタクシードライバーの話』

『２１世紀の世界文学３０冊を読む』都甲幸治(著)から引用

『千年の百冊　あらすじと現代語訳でよむ　日本の古典１００冊スーパーガイド』鈴木健一(編)の掲載書籍リスト

1　『古事記』
2　『日本書紀』
3　『風土記』
4　『万葉集』
5　『日本霊異記』
6　『竹取物語』
7　『古今和歌集』
8　『伊勢物語』
9　『大和物語』
10　『落窪物語』
11　『うつほ物語』
12　『枕草子』
13　『源氏物語』
14　『狭衣物語』
15　『堤中納言物語』
16　『とりかへばや物語』
17　『浜松中納言物語』
18　『夜の寝覚』
19　『土佐日記』
20　『蜻蛉日記』
21　『紫式部日記』
22　『更級日記』
23　『讃岐典侍日記』
24　『本朝文粋』
25　『菅家文草と菅家後集』
26　『和漢朗詠集』
27　『往生要集』
28　『今昔物語集』
29　『将門記』
30　『大鏡』
31　『栄花物語』
32　『御堂関白記』
33　『後拾遺和歌集』
34　『俊頼髄脳』

35　『梁塵秘抄と閑吟集』
36　『新古今和歌集』
37　『古来風体抄』
38　『山家集』
39　『金槐集』
40　『小倉百人一首』
41　『明月記』
42　『保元物語と平治物語』
43　『平家物語』
44　『建礼門院右京大夫集』
45　『曾我物語』
46　『義経記』
47　『無名草子』
48　『方丈記』
49　『夢記』
50　『歎異抄』
51　『正保眼藏随聞記』
52　『宇治拾遺物語』
53　『十訓抄』
54　『沙石集』
55　『十六夜日記』
56　『玉葉和歌集』
57　『とはずがたり』
58　『徒然草』
59　『太平記』
60　『狂雲集』
61　『蕉堅藁』
62　『鉢かづき』
63　『菟玖波集』
64　『風姿花伝』
65　『隅田川』
66　『山椒大夫』
67　『山上宗二記』
68　『日本史』
69　『好色一代男』
70　『好色五人女』
71　『世間胸算用』

72　『醒睡笑』
73　『おくのほそ道』
74　『野ざらし紀行』
75　『猿蓑』
76　『曽根崎心中』
77　『冥途の飛脚』
78　『 国姓爺合戦』
79　『菅原伝授手習鑑』
80　『義経千本桜』
81　『仮名手本忠臣蔵』
82　『東海道四谷怪談』
83　『勧進帳』
84　『五輪書』
85　『養生訓』
86　『葉隠』
87　『うひ山ぶみ』
88　『御伽婢子』
89　『雨月物語』
90　『浮世風呂』
91　『御誂染長寿小紋』
92　『東海道中膝栗毛』
93　『春色梅児誉美』
94　『骨董集』
95　『新花摘』
96　『おらが春』
97　『誹風柳多留』
98　『山陽詩鈔』
99　『南総里見八犬伝』
100　『良寛と橘曙覧の歌』

『千年の百冊　あらすじと現代語訳でよむ　日本の古典１００冊スーパーガイド』鈴木健一(編)から引用

『本へのとびら―岩波少年文庫を語る』（岩波新書）宮崎駿(著)の掲載書籍リスト

サン=テグジュペリ　『星の王子さま』
サッカレイ　『バラとゆびわ』
アレクサンドル デュマ　『三銃士』
『ニーベルンゲンの宝』
コナン・ドイル　『シャーロック・ホウムズの冒険』
エルショーフ　『せむしの小馬』
『日本霊異記』
ローズマリ・サトクリフ　『第九軍団のワシ』
ボードウイ　『風の王子たち』
ローラ・インガルス・ワイルダー　『長い冬』
ヒルダ・ルイス　『とぶ船』
フィリパ・ピアス　『真夜中のパーティー』
宮沢 賢治　『注文の多い料理店』
ジュール・ベルヌ　『海底二万里』
ジャンニ・ロダーリ　『チポリーノの冒険』
エリナー・ファージョン　『ムギと王様』
フランシス・ホジソン・バーネット　『秘密の花園』
ルイス・キャロル　『ふしぎの国のアリス』
マリー・ハムズン　『小さい牛追い』
ファーブル　『ファーブルの昆虫記』
レフ・ニコラーエヴィッチ・トルストイ　『イワンのばか』
A.A.ミルン　『クマのプーさん』
ジョーン・ロビンソン　『思い出のマーニー』
ケネス・グレーアム　『たのしい川べ』
K.M. ペイトン　『フランバーズ屋敷の人びと』
マーク・トウェイン　『トム・ソーヤーの冒険』
ヨハンナ・シュピリ　『ハイジ』
メアリー・ノートン　『床下の小人たち』
カレル・チャペック　『長い長いお医者さんの話』
エーリヒ・ケストナー　『飛ぶ教室』
R．L．スティーヴンスン　『宝島』
モーリス・ドリュオン　『みどりのゆび』
蒲 松齢　『聊斎志異』
呉 承恩　『西遊記』
E.L.カニグズバーグ　『クローディアの秘密』

J.R.R.トールキン　『ホビットの冒険』
エリザベス・グージ　『まぼろしの白馬』
ジャッドソン　『ジェーン・アダムスの生涯』
セシル・デイ・ルイス　『オタバリの少年探偵たち』
アーサー・ランサム　『ツバメ号とアマゾン号』
ダニエル・デフォー　『ロビンソン・クルーソー』
サムイル・マルシャーク　『森は生きている』
『ネギをうえた人』
ヒュー・ロフティング　『ドリトル先生航海記』
フランシス・ホジソン・バーネット　『小公子』
アストリッド・リンドグレーン　『やかまし村の子どもたち』
アーシュラ・K. ル=グウィン　『影との戦い　ゲド戦記１』
カレル・ポラーチェク　『ぼくらはわんぱく5人組』
エリナー・ドーリイ　『キュリー夫人』
メアリー・メイプス・ドッジ　『ハンス・ブリンカー』

『本へのとびら―岩波少年文庫を語る』（岩波新書）宮崎駿(著)から引用

『世界を変えた１０冊の本』池上彰(著)の掲載書籍リスト

アンネ・フランク　『アンネの日記』
『聖書』
『コーラン』
ウェーバー　『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
マルクス　『資本論』
サイイド クトゥブ　『イスラーム原理主義の「道しるべ」』
カーソン　『沈黙の春』
ダーウィン　『種の起源』
ケインズ　『雇用、利子および貨幣の一般理論』
フリードマン　『資本主義と自由』

『世界を変えた１０冊の本』池上彰(著)から引用

『世界を変えた経済学の名著』（日経ビジネス人文庫）日本経済新聞社(編)の掲載書籍リスト

福沢諭吉　『文明論之概略』
Ｆ・ブローデル　『地中海』
Ｊ・Ｒ・ヒックス　『経済史の理論』
Ｊ・Ｋ・ガルブレイス　『ゆたかな社会』
Ｆ・ハイエク　『自由の条件』
Ａ・トクヴィル　『アメリカのデモクラシー』
Ｍ・ウェーバー　『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
Ｄ・ヒューム　『人性論』
Ｔ・Ｒ・マルサス　『人口論』
Ｊ・Ｓ・ミル　『自由論』
アダム・スミス　『国富論』『道徳感情論』
Ａ・マーシャル　『経済学原理』
Ｊ・Ｍ・ケインズ　『雇用・利子および貨幣の一般理論』
Ｊ・Ａ・シュンペーター　『経済発展の理論』
ブキャナン、タロック　『公共選択の理論』
ゲイリー・ベッカー　『人的資本』
ピーター・ドラッカー　『断絶の時代』
Ｈ・サイモン　『経営行動』

『世界を変えた経済学の名著』（日経ビジネス人文庫）日本経済新聞社(編)から引用

『世界がわかる理系の名著』（文春新書）鎌田浩毅(著)の掲載書籍リスト

第一章　生命の世界

ダーウィン『種の起源』

ファーブル『昆虫記』

メンデル『雑種植物の研究』

ワトソン『二重らせん』

第二章　環境と人間の世界

ユクスキュル『生物から見た世界』

バヴロフ『大脳半球の働きについて』

カーソン『沈黙の春』

第三章　物理の世界

ガリレイ『星界の報告』

ニュートン『プリンキピア』

アインシュタイン『相対性理論』

ハッブル『銀河の世界』

第四章　地球の世界

プリニウス『博物誌』

ライエル『地質学原理』

ウェゲナー『大陸と海洋の起源』

『世界がわかる理系の名著』（文春新書）鎌田浩毅(著)から引用

『名著で学ぶインテリジェンス』（日経ビジネス人文庫）情報史研究会(編)の掲載書籍リスト

第Ⅰ部　インテリジェンス研究の古典
Ｓ・ケント『アメリカの世界政策のための戦略インテリジェンス』
Ｈ・ヒンズリー他『第二次世界大戦におけるイギリスのインテリジェンス』
Ｄ・カーン『暗号戦争　日本暗号はいかに解読されたか』

第Ⅱ部　インテリジェンスを学ぶためのテキスト
Ｍ・ローウェンソル『インテリジェンス　秘密から政策へ』
Ｍ．ハーマン『平和と戦争におけるインテリジェンス・パワー』

第Ⅲ部　戦争とインテリジェンス
Ｍ・ハンデル『戦争、戦略とインテリジェンス』
Ｒ・Ｊ・オルドリッチ『日・米・英「諜報機関」の太平洋戦争』
谷寿夫『機密日露戦史』
Ｒ・ウールステッター『パールハーバー　トップは情報洪水の中でいかに決断すべきか』
杉田一次『情報なき戦争指導　大本営情報参謀の回想』

第Ⅳ部　冷戦ー東西対立とインテリジェンス
Ｌ・フリードマン『アメリカのインテリジェンスとソ連の戦略的脅威』
Ｐ・クラドック『汝の敵を知れ　合同情報委員会は世界をどう見たか』
Ｊ・Ｅ・ヘインズ＆Ｈ・クレア『ヴェノナ　アメリカにおけるソ連スパイ工作の解読』

第Ⅴ部　秘密情報部の足跡
Ｐ・ベルネール『フランス秘密情報機関　ファンビル部長の華麗な冒険』
Ｊ・Ｔ・リチェルソン『トップシークレット　20世紀を動かしたスパイ100年正史』
Ｃ・アンドリュー『シークレット・サーヴィス イギリス情報コミュニティの形成』
中野校友会編『陸軍中野学校』
Ｎ・ウェスト『MI5　イギリス保安部の活動１９０９-１９４５年』
Ｃ・アンドリュー＆Ｖ・ミトローヒン『ミトローヒン文書』
Ｒ・ゲーレン『諜報・工作　ラインハルト・ゲーレン回顧録』

『名著で学ぶインテリジェンス』（日経ビジネス人文庫）情報史研究会(編)から引用

『名著に学ぶ国際関係論　第２版』（有斐閣コンパクト）花井等・石井貫太郎(編)の掲載書籍リスト

第１部　先駆的業績

クラウゼヴィッツ『戦争論』
カー『危機の二十年』
モーゲンソー『国際政治』

第２部　歴史・文明

トインビー『歴史の研究』
ハレー『歴史としての冷戦』
高坂正堯『古典外交の成熟と崩壊』
スチーブンスン『デタントの成立と変容』
ホフマン『国境を超える義務』
ケネディ『大国の興亡』
ハンチントン『文明の衝突』

第３部　政策・外交

ケナン『アメリカ外交50年』
ニコルソン『外交』
アリソン『決定の本質』
ホルスティ『国際政治の理論』
コヘイン『覇権後の国際政治経済学』
キッシンジャー『外交』
ナイ『国際紛争』

第４部　政治・経済

ウォーラースティン『資本主義世界経済』
スペロ『国際経済関係論』
ローズクランス『新貿易国家論』
モデルスキー『世界システムの動態』
ギルピン『世界システムの政治経済学』
ストレンジ『国際政治経済学入門』

『名著に学ぶ国際関係論　第２版』（有斐閣コンパクト）花井等・石井貫太郎(編)から引用

『たたかうお店のバイブル１３冊ー売場の“思想”が客を集める』青田恵一(著)の掲載書籍リスト

白石 昌則　『生協の白石さん』
高橋 晋　『なんとかしてよ、店長さん！』
伊藤 元重　『伊藤元重のマーケティング・エコノミクス』
緒方 知行　『商売の原点』
緒方 知行　『商売の創造』
安土敏　『日本スーパーマーケット創論』
おおや かずこ　『「食」繁盛店からトレンドをよむ』
武永 昭光　『伊勢丹だけがなぜ売れるのか』
鹿島 茂　『デパートを発明した夫婦』
山本 徳次　『商いはたねやに訊け』
山本 徳次　『たねやのあんこ』
末永 国紀　『近江商人学入門』
上田 隆穂　『日本一わかりやすい価格決定戦略』

『たたかうお店のバイブル１３冊ー売場の“思想”が客を集める』青田恵一(著)から引用

『軍事小説５０冊:このミリタリーノベルスがおもしろい！』アリアドネ企画編集部(編)の掲載書籍リスト

1　筒井康隆『アフリカの爆弾』
2　辻真先『暗殺列車』
3　菊村到『硫黄島』
4　城山三郎『硫黄島に死す』
5　田中光二『異界戦艦「大和」』
6　H.G.ウェルズ『宇宙戦争』
7　S.L.トンプスン『A-10奪還チーム出動せよ』
8　柘植久慶『英雄対戦』
9　大石英司『沖ノ鳥島爆破指令』
10　今野敏『ガイア戦記』
11　C.S.フォレスター『海軍士官候補生』
12　D.A.レイナー『眼下の敵』
13　山田正紀『機神兵団1』
14　荒巻義雄『旭日の艦隊1』
15　阿川弘之『雲の墓標』
16　A.マクリーン『軍用列車』
17　横山信義『激浪の太平洋』
18　小林久三『皇帝のいない八月』
19　川又千秋『真珠湾艦隊出撃』
20　半村良『戦国自衛隊』
21　羽山信樹『戦国魔火矢』
22　谷甲州『蒼穹の軌道爆撃隊』
23　志茂田景樹『大逆説！PKO軍、幕末騒乱に突入す１』
24　檜山良昭『第三次世界大戦1』
25　P.ブリックヒル『大脱走』
26　北杜夫『大日本帝国スーパーマン』
27　鳴海章『第四の射手』
28　J.セイヤー『地上50mmの迎撃』
29　平井和正『超革命的中学生集団』
30　谷恒生『超連合艦隊1』
31　伊吹秀明『帝国大海戦1』
32　荒俣宏『帝都物語1』
33　福井晴敏『Twelve Y.O.』
34　松浪和夫『導火線』

35　落合信彦『虎を鎖でつなげ』
36　T.クラン氏一/S/ピチェニック『ノドン強奪』
37　D.マレル『一人だけの軍隊』
38　椎名誠『武装島田倉庫』
39　M.A.コリンズ『プライベートライアン』
40　T.ハリス『ブラック サンデー』
41　佐々木譲『ベルリン飛行指令』
42　安正孝『ホワイト・バッジ』
43　R.フッカー『マッシュ』
44　笹本稜平『マングースの尻尾』
45　森詠『黙示録2010 ユーラシア大戦Ｉ』
46　和久峻三『幽界戦士』
47　佐伯泰英『ユダの季節』
48　吉村昭『零式戦闘機』
49　桑原譲太郎『我が標的は日本』
50　J.ヒギンズ『鷲は舞い降りた』

『軍事小説５０冊:このミリタリーノベルスがおもしろい！』アリアドネ企画編集部(編)から引用

『ユートピアを読み解く１０冊』（『論座』**1998**年**10**月号）稲葉振一郎**(**著**)**の掲載書籍リスト

トマス・モア『ユートピア』
ジョナサン・スウィフト『ガリヴァー旅行記』
ジョージ・オーウェル『一九八四年』
網野善彦『無縁・公界・楽』
安部公房『第四間氷期』
宮崎駿『風の谷のナウシカ』
隆慶一郎『影武者徳川家康』
ヴァルター・ベンヤミン『パサージュ論』
中里介山『大菩薩峠』
ロバート・ノージック『アナーキー・国家・ユートピア』

『ユートピアを読み解く１０冊』（『論座』1998年10月号）稲葉振一郎(著)から引用

『東北の魅力を感じる書籍３２冊』（**CREA2013**年**9**月号）の掲載書籍リスト

ジャンル1　自然
太宰治　『津軽』
横浜聡子　『ウルトラミラクルラブストーリー』
飯沢耕太郎監修　『岡本太郎の東北』
嵐山光三郎　『奥の細道　温泉紀行』
宮沢賢治　『新編　風の又三郎』
井上荒野ほか　『Story Box Japan青森へ』
とりのなん子　『とりばん』
木村紅美　『イギリス海岸　ーーイーハトーヴ短篇集』

ジャンル2　文化
『ブサかわ秋田犬　わさお』
柳田国男　『遠野物語』
高橋竹山　『津軽三味線ひとり旅』
ボックス・ストーリー　『新幹線でめぐる　東北のお祭り』
矢口史靖　『スウィングガールズ』
白石まみほか　『フラガール』
深谷かほる　『エデンの東北　高校編』
伊坂幸太郎　『アヒルと鴨のコインロッカー』

ジャンル3　こころ
高村光太郎　『智恵子抄』
古川日出男　『聖家族』
川上健一　『四月になれば彼女は』
森沢明夫　『津軽百年食堂』
石川啄木　『一握の砂・悲しき玩具』
寺山修二　『寺山修二　青春歌集』
棟方志功　『板極道』
井上ひさし　『吉里吉里人』

ジャンル4　食
畠山重篤　『森は海の恋人』
読売新聞東京本社地方部(編)　『郷土食とうほく読本』
藤沢周平　『三屋清左衛門残日録』
うえやまとちほか　『鉄本ーーテツモト』

内田百閒　『第一阿房列車』
藤田志穂　『ギャル農業』
ジェイクアウト　『東北「道の駅」パーフェクトガイド』
浅田次郎　『壬生義士伝』

『東北の魅力を感じる書籍３２冊』（CREA2013年9月号）から引用

『初心者もＯＫ！心を鍛えるオススメ哲学本』（日経**WOMAN ONLINE**）の掲載書籍リスト

カント『実践理性批判』岩波文庫
中島 義道『『純粋理性批判』を噛み砕く』講談社
仲正 昌樹『今こそルソーを読み直す』日本放送出版協会
ルソー『人間不平等起源論』岩波文庫
J.O. アームソン『アリストテレス倫理学入門』岩波現代文庫
アリストテレス『政治学』岩波文庫
妙木 浩之『フロイト入門』ちくま新書
フロイト『夢判断』新潮文庫
竹田 青嗣『プラトン入門』ちくま新書
プラトン『国家』岩波書店
ニーチェ『ツァラトゥストラはこう言った』岩波文庫
ニーチェ『善悪の彼岸』光文社古典新訳文庫
小林 正弥『サンデルの政治哲学』平凡社新書
マイケル・サンデル『公共哲学』筑摩書房
大河内 一男編集『世界の名著　ベンサム』中央公論新社
一ノ瀬 正樹『功利主義と分析哲学』放送大学教育振興会
ヘーゲル『精神現象学』作品社
福吉 勝男『使えるヘーゲル』平凡社新書
サルトル『嘔吐』人文書院
ドナルド・D. パルマー『サルトル』筑摩書房

『初心者もＯＫ！心を鍛えるオススメ哲学本』（日経WOMAN ONLINE）から引用

『知らないと後悔する仕事バイブル６３冊』（**PRESIDENT Online**）の掲載書籍リスト

1に時代の変化を知る、2に理論の使い方を学ぶ　～マーケティングバイブル9冊
三品和広『どうする？ 日本企業』
岩村暢子『家族の勝手でしょ！』
エリック・フォン・ヒッペル『民主化するイノベーションの時代』
ジェフ・ハウ『クラウドソーシング』
C.K.プラハラード『ネクスト・マーケット』
中沢康彦『星野リゾートの教科書』
三枝 匡『戦略プロフェッショナル』
楠木 建『ストーリーとしての競争戦略』
フィリップ・コトラー、ケビン・レーン・ケラー『コトラー＆ケラーのマーケティング・マネジメント 第12版』

「ボケとツッコミ」のバランスを養う　～経営戦略9冊
秋元 康『企画脳』
ジェームス W.ヤング『アイデアのつくり方』
ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタイン『反哲学的断章』
エッカーマン『ゲーテとの対話』
C.N.パーキンソン『パーキンソンの法則』
A.O.ハーシュマン『Exit,Voice,and Loyalty』
ジョン・ロバーツ『現代企業の組織デザイン』
原田 勉『実践力を鍛える戦略ノート［戦略立案編］』
小倉昌男『小倉昌男 経営学』

相手や状況に応じて変化させていく「終わりなき旅」　～リーダーシップ9冊
ジェームズ・M・クーゼスほか『リーダーシップ・チャレンジ』
ヘンリー・ミンツバーグ『マネジャーの仕事』
ヘンリー・ミンツバーグ『反哲学的断章』
ジョン・P・コッター『企業変革力』
ジョン・P・コッターほか『カモメになったペンギン』
稲泉 連『仕事漂流』
野中郁次郎、竹内弘高ほか『知識創造企業』
キース・ソーヤー『凡才の集団は孤高の天才に勝る』

中原 淳、金井壽宏『リフレクティブ・マネジャー』

本で基礎を押さえ、開示情報で実践力をつける　～ファイナンス9冊
岩瀬大輔『132億円集めたビジネスプラン』
磯崎哲也『起業のファイナンス』
宍戸善一『ベンチャー企業の法務・財務戦略』
池尾和人『現代の金融入門［新版］』
服部正也『ルワンダ中央銀行総裁日記 増補版』
岩谷誠治『借金を返すと儲かるのか？』
マッキンゼー・アンド・カンパニーほか『企業価値評価〔第4版〕上・下』
東京リスクマネジャー懇談会『金融リスクマネジメントバイブル』
山田有人『永久差異』

商品開発、契約、雇用……すべてに法律が関わる　～法律9冊
白川敬裕『ビジネスの法律を学べ!!』
藤田 裕『消費者契約法・特定商取引法・割賦販売法の法律知識』
小泉直樹『知的財産法入門』
飯沼総合法律事務所『デジタル著作権の知識とQ＆A』
萩原京二『マジマネ4 職場の法律知識を学ぶ！』
中経出版編集部 会社法プロジェクト『法務省令対応版 新会社法の重要55ポイント』
荘司雅彦『六法で身につける 荘司雅彦の法律力養成講座』
木山泰嗣『憲法がしゃべった。～世界一やさしい憲法の授業～』
伊藤 真『伊藤真の民法入門 講義再現版 第4版』

人間と社会を知れば知るほど、世界が広がる　～教養9冊
ベネディクト・アンダーソン『定本 想像の共同体』
半藤一利『昭和史 1926-1945』
小若桑みどり『クアトロ・ラガッツィ 上・下』
池谷裕二『単純な脳、複雑な「私」』
近松門左衛門『曾根崎心中・冥途の飛脚 他五篇』
ウィリアム・シェイクスピア『ヘンリー六世』
中村 愿、安野光雅『三國志逍遙』
永川玲二『アンダルシーア風土記』
フェルドウスィー『王書』

発想のヒントはビジネスから遠い分野にある　～サイエンス9冊
野崎昭弘『詭弁論理論』
池谷裕二『記憶力を強くする』
藤井直敬『ソーシャルブレインズ入門』
岡田尊司『アスペルガー症候群』
生天目 章『うそつきは得をするのか』
高安秀樹『経済物理学の発見』
マーク・ブキャナン『複雑な世界、単純な法則』
西成活裕『とんでもなく役に立つ数学』
西成活裕『東大人気教授が教える 思考体力を鍛える』

『知らないと後悔する仕事バイブル６３冊』（PRESIDENT Online）から引用

『女を磨く読書案内　読書ガイドが選ぶ２０１０年の"マスト本"１０冊』（日経**WOMAN ONLINE**）の掲載書籍リスト

奥泉光『シューマンの指』講談社
中島京子『小さいおうち』文芸春秋
朝倉かすみ『夏目家順路』文芸春秋
柴崎友香『寝ても覚めても』河出書房新社
阿部和重『ピストルズ』講談社
津原泰水『琉璃玉の耳輪』河出書房新社
ミランダ・ジュライ、岸本佐知子(訳)『いちばんここに似合う人』新潮社
キャロル・オコンネル　務台夏子(訳)『愛おしい骨』創元推理文庫
ボストン・テラン、田口俊樹(訳)『音もなく少女は』文春文庫
エリザベス・ストラウト、小川高義(訳)『オリーヴ・キタリッジの生活』早川書房

『女を磨く読書案内　読書ガイドが選ぶ２０１０年の"マスト本"１０冊』（日経WOMAN ONLINE）から引用

『旅に持っていきたい１００冊の本』(JTB)の掲載書籍リスト

複数エリア
1 足立 倫行『1970年の漂泊』
2 水谷 さるころ『30日間世界一周! 1巻』
3 小林 紀晴『ASIAN JAPANESE―アジアン・ジャパニーズ〈1〉 』
4 ロバート・ハリス『エグザイルス 』
5 菅野 美穂『カンタビ』
6 青野 聡『愚者の夜 』
7 関野 吉晴『グレートジャーニー 人類5万キロの旅 １～５ 』
8 ジョシュア・ペイビン／デビッド・ボーゲニクト『この方法で生きのびろ!―旅先サバイバル篇 』
9 木内　麗子『ジャパニーズ・イングリッシュでいこう！』
10 北 杜夫『どくとるマンボウ航海記』
11 小澤 征爾『ボクの音楽武者修行』
12 坂本 達『やった。―4年3ヶ月の有給休暇で「自転車世界一周」をした男』
13 宮田 珠己『わたしの旅に何をする。』
14 小田 実『何でも見てやろう』
15 酒井 ひかり『海外とほほ旅行』
16 沢木 耕太郎『深夜特急１～６』
18 ナオト・インティライミ『世界よ踊れ―歌って蹴って!28ヶ国珍遊日記 アジア・中東・欧州・南米篇』
19 アンソニー・ボーデイン『世界を食いつくせ！　キッチン・コンフィデンシャル・ワールド・エディション』
20 五木 寛之『青年は荒野をめざす 』
21 一条 ゆかり『猫でもできる海外旅行 (ぶーけコミックスワイド版)』
22 村上 春樹『辺境・近境』
23 小泉 武夫『冒険する舌 怪食紀行秘蔵写真集』
24 リンドバーグ『翼よ、あれがパリの灯だ』
25 グレゴリ青山『旅で会いましょう。 (大人の週末バックパック)』
26 高倉 健『旅の途中で』
27 宮脇 檀『旅は俗悪がいい』

アジア
28 山田 和『インド ミニアチュール幻想』
29 中谷 美紀『インド旅行記１～４』
30 たかの てるこ『ガンジス河でバタフライ』

31 辻 仁成『サヨナライツカ』
32 たがみ ようこ『ソウルで新婚生活。ー新妻ヨーコちゃんの韓国暮らし』
33 前川 健一『バンコクの好奇心ーバンコクを読む・嘗める・齧る・触る』
34 グレゴリ青山『ふたたびの旅。ー大人の週末バックパック』
35 吉本 ばなな『マリカのソファー/バリ夢日記』
36 若竹 七海ほか『マレー半島すちゃらか紀行』
37 群 ようこ『亜細亜ふむふむ紀行』
38 藤原 新也『印度放浪』
39 崎山 克彦『何もなくて豊かな島ー南海の小島カオハガンに暮らす』
40 妹尾 河童『河童が覗いたインド』
41 門田 修『海が見えるアジア』
42 山口 文憲『香港 旅の雑学ノート』
43 蔵前 仁一『新ゴーゴー・インド』
44 関川 夏央『新装版ソウルの練習問題』

中国
45 宮城谷 昌光『重耳（上）(中)（下）』
46 いしもと あやこ『猫とピアノの楽園　コロンス島散歩』
47 浅田 次郎『蒼穹の昴(1)〜(4)』

西欧
48 角田 光代『あしたはアルプスを歩こう』
49 群 ようこ『かもめ食堂』
50 林 望『イギリスはおいしい』
51 塩野 七生『イタリアからの手紙』
52 加藤 和彦『エレガンスの流儀』
53 玉村 豊男『パリ・旅の雑学ノートーカフェ/舗道/メトロ』
54 ジュウドゥポゥム『パリのかわいいおみやげガイド』
55 香椎由宇『パリ本』
56 伊丹 十三『ヨーロッパ退屈日記』
57 ヘミングウェイ『移動祝祭日』
58 村上 春樹『遠い太鼓』
59 池内 紀『町角ものがたり』
60 ル・コルビュジエ『東方への旅 (SD選書 148)』
61 江國 まゆ『歩いてまわる小さなロンドン』
62 森百合子『北欧のおいしい話』
63 おさだ ゆかり『北欧雑貨をめぐる旅』

64 伊集院 静『旅行鞄にはなびら』

東欧／ロシア／中央アジア
65 井岡 美保『カナカナのかわいい東欧に出会う旅』
66 河野 純一『ハプスブルク三都物語 - ウィーン、プラハ、ブダペスト』
67 スラヴォミール・ラウイッツ『脱出記ーシベリアからインドまで歩いた男たち 』

アメリカ／カナダ／メキシコ
68 ビル・モーガン『アレン・ギンズバーグと旅するサンフランシスコ』
69 ケルアック『オン・ザ・ロード』
70 ポール・オースター『シティ・オヴ・グラス』
71 カポーティ『ティファニーで朝食を 』
72 ジョン・クラカワー『荒野へ』
73 藤原 正彦『若き数学者のアメリカ』
74 ソロー『森の生活 <上> ＜下＞　ウォールデン』
75 星野 道夫『旅をする木』

ハワイ
76 池澤 夏樹『ハワイイ紀行 完全版』
77 山下 マヌー『ハワイで聞いた心にひびくALOHAな話15』

グアム／サイパン
78 本谷 有希子『グ、ア、ム』
79 池澤 夏樹『マリコ/マリキータ』

オセアニア
80 ウィティ イヒマエラ『クジラの島の少女』
81 トール・ハイエルダール『コンチキ号漂流記』
82 モーム『月と六ペンス』
83 伊藤 伸平『旅大陸 オーストラリア』
84 上橋 菜穂子『隣のアボリジニ 小さな町に暮らす先住民』

中南米
85 『ジャマイカ&レゲエ A to Z 2010年増補改訂版』
86 開高 健『オーパ! 』
87 楠田 枝里子『ナスカ・砂の王国ー地上絵の謎を追ったマリア・ライへの生涯 』
88 チャトウィン／フエンテス『パタゴニア/老いぼれグリンゴ (池澤夏樹=個人編集 世界文学全集

2-8)』
89 椎名 誠『パタゴニア あるいは風とタンポポの物語り 』
90 エルネスト・チェ ゲバラ『モーターサイクル・ダイアリーズ 』

中近東／トルコ
91 塩野 七生『コンスタンティノープルの陥落 』
92 高橋 由佳利『トルコで私も考えた (1)～(4) (ヤングユーコミックスワイド版) 』
93 小島 剛一『トルコのもう一つの顔 (新書)』
94 梨木 香歩『村田エフェンディ滞土録 』

アフリカ
95 松本 仁一『アフリカを食べる 』
96 早川 千晶『アフリカ日和』
97 パウロ・コエーリョ『アルケミスト一夢を旅した少年 』
98 藤原 章生『絵はがきにされた少年 』
99 川上 弘美『此処彼処 』
100 サン・テグジュペリ『人間の土地 』

『旅に持っていきたい１００冊の本』(JTB)から引用

『この夏読んでおきたい“きっかけが見つかる”課題図書７選(２０１３)』（**CNET Japan**）の掲載書籍リスト

佐々木 正悟、大橋 悦夫『スマホ時代のタスク管理「超」入門』東洋経済新報社

トム・ラス、バリー・コンチー『ストレングス・リーダーシップ ーさあ、リーダーの才能に目覚めようー』日本経済新聞出版社

ロイ・バウマイスター、ジョン・ティアニー『WILLPOWER 意志力の科学』インターシフト

井庭崇『プレゼンテーション・パターン 創造を誘発する表現のヒント』慶應義塾大学出版会

杉山 美奈子『ビジネスメールの作法と新常識 会社では教えてくれない気くばりメール術』アスキー・メディアワークス

矢嶋美由希『描くだけで毎日がハッピーになる ふだん使いのマインドマップ』阪急コミュニケーションズ

クリス・ アンダーソン『MAKERS21世紀の産業革命が始まる』NHK出版

『この夏読んでおきたい“きっかけが見つかる”課題図書７選(２０１３)』（CNET Japan）から引用

『２０代のうちに読んでおきたい本ランキング２０１２』（キャリアコンパス　※全体ランキングのみ）の掲載書籍リスト

第1位　ピーター・F・ドラッカー『マネジメントー基本と原則』
第2位　ロバート・キヨサキ『金持ち父さん貧乏父さん』
第3位　川北義則『「20代」でやっておきたいこと』
第4位　スティーブン・R・コヴィー『7つの習慣ー成功には原則があった！』
第5位　ウォルター・アイザックソン『スティーブ・ジョブズ』
第6位　岩崎夏海　『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』
第7位　松下幸之助『道をひらく』
第8位　水野敬也『夢をかなえるゾウ』
第9位　デール・カーネギー『人を動かす』
第10位　本田健『20代にしておきたい17のこと』

『２０代のうちに読んでおきたい本ランキング２０１２』（キャリアコンパス　※全体ランキングのみ）から引用

『社長の本棚　５人が選んだ５冊の推薦本』（**GQ JAPAN**）の掲載書籍リスト

・吉田和正（インテル代表取締役社長）

門田隆将『この命、義に捧ぐ』集英社
東照二『歴代首相の 言語力を診断する』研究社
ブライアン・デイビッド・ジョンソン『インテルの製品開発を支える SFプロトタイピング』亜紀書房
帯津良一、大須賀克己『ホリスティック・カウンセリング』春秋社
斎藤茂太『いい出会いが、豊かな 人生を運んでくる』青春文庫

・楠本修二郎（カフェ・カンパニー代表取締役社長）

Stewart Brand編『The (updated) Last Whole Earth Catalog』Point Foundation
エティエンヌ・ウェンガー、リチャード・マクダーモット『コミュニティ・オブ・プラクティス』翔泳社
岡倉天心『英文収録 茶の本』講談社学術文庫
渋沢栄一『現代語訳 論語と算盤』ちくま新書
トム・ピーターズ『トム・ピーターズの 経営破壊』阪急コミュニケーションズ
『トム・ピーターズのマニフェスト（1）～（4）』ランダムハウス講談社

・柳澤大輔（面白法人カヤック代表取締役CEO）

トッド・スキナー『頂上の彼方へ』NHK出版
中山憲治『馬券偽造師』幻冬舎アウトロー文庫
水村美苗『日本語が亡びるとき』筑摩書房
野口晴哉『風邪の効用』ちくま文庫
エリザベス・キューブラー・ロス『死ぬ瞬間』読売新聞社

・川井拓也（ヒマナイヌ代表取締役）

越澤明『東京都市計画物語』ちくま学芸文庫
内藤高『明治の音』中公新書
遠山純生『映画監督のお気に入り&ベスト映画』エスクァイア マガジン ジャパン
遠山純生『映画監督の未映像化プロジェクト』エスクァイア マガジン ジャパン
松本徳彦『写真家のコンタクト探検』平凡社

・猪子寿之（チームラボ代表）

シリーズ『日本の図像』ピエブックス
網野善彦『無縁・公界・楽』平凡社ライブラリー
レベッカ・コスタ『文明はなぜ崩壊するのか』原書房
伊藤大輔『金刀比羅宮の美術』小学館
Paul Schimmel他編『@MURAKAMI』Rizzoli

『社長の本棚　５人が選んだ５冊の推薦本』（GQ JAPAN）から引用

『勝間和代さんがおすすめする珠玉の１０冊』（日経**Woman**）の掲載書籍リスト

山本和夫『キュリー夫人』ポプラ社文庫
スティーブン・R・コヴィー『７つの習慣』キングベアー出版
神田昌典『非常識な成功法則―お金と自由をもたらす８つの習慣』フォレスト出版
フィリップ・マグロー『史上最強の人生戦略マニュアル』きこ書房
マーカス・バッキンガム、ドナルド・O・クリフトン『さあ、才能（じぶん）に目覚めよう』日本経済新聞出版社
マルコム・グラッドウェル『急に売れ始めるにはワケがある』ソフトバンク文庫
ジョージ・エインズリー『誘惑される意志―人はなぜ自滅的行動をするのか』NTT出版
ロバート・B・ライシュ『勝者の代償―ニューエコノミーの深淵と未来』東洋経済新報社
ベティ・L・ハラガン『ビジネス・ゲーム―あなただけに必勝法教えます』WAVE出版
志賀一雅『集中力を高めるアルファ脳波術』ごま書房

『勝間和代さんがおすすめする珠玉の１０冊』（日経Woman）から引用

『儲かる構想を次々生む２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【役員】』経営共創基盤（**IGPI**）**CEO** 冨山和彦氏選の掲載書籍リスト

1 矢野健太郎『数学物語』角川ソフィア文庫
2 夏目漱石『三四郎』岩波文庫
3 カエサル『ガリア戦記』岩波文庫
4 サリンジャー『ナイン・ストーリーズ』新潮文庫
5 司馬遼太郎『国盗り物語』新潮文庫
6 樋口陽一『比較憲法』青林書院
7 マックス・ウェーバー『経済と社会』創文社
8 デカルト『方法序説』岩波文庫
9 三ヶ月章『法学入門』弘文堂
10 リチャード・ブリーリーほか『コーポレートファイナンス』日経BP社
11 ジェームズ・C・コリンズほか『ビジョナリーカンパニー』日経BP出版センター
12 マキアヴェッリ『君主論』岩波文庫
13 池波正太郎『鬼平犯科帳』文春文庫
14 デービッド・パッカード『HPウェイ』　と月社
15 塩野七生『ローマ人の物語』新潮文庫
16 内村鑑三『後世への最大遺物』岩波文庫
17 青木昌彦、奥野正寛『経済システムの比較制度分析』東京大学出版会
18 山本七平『「空気」の研究』文春文庫
19 シェイクスピア『オセロー』新潮文庫
20 リチャード・S・テドロー『アンディ・グローブ』ダイヤモンド社

『儲かる構想を次々生む２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【役員】』経営共創基盤（IGPI）CEO 冨山和彦氏選から引用

『「ならでは」の成果を出す２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【女性キャリア】』ブリヂストン環境担当執行役員 江藤尚美氏選の掲載書籍リスト

1 橘・フクシマ・咲江『人財革命』祥伝社
2 鈴木義幸『リーダーが身につけたい25のこと』ディスカヴァー21
3 司馬遼太郎『坂の上の雲』文春文庫
4 T・フリードマン『フラット化する世界』日本経済新聞社
5 三品和広『戦略不全の因果』東洋経済新報社
6 ジャック・ウェルチほか『わが経営』日本経済新聞社
7 増田弥生、金井壽宏『リーダーは自然体』光文社新書
8 伊藤守『もしもウサギにコーチがいたら』だいわ文庫
9 中島茂『その「記者会見」間違ってます！』日本経済新聞出版社
10 ジェームズ・C・コリンズほか『ビジョナリーカンパニー』日経BP出版センター
11 D・A・アーカー『ブランド・エクイティ戦略』ダイヤモンド社
12 中西元男『コーポレート・アイデンティティ戦略』誠文堂新光社
13 足立直樹『生物多様性経営』日本経済新聞出版社
14 ピーター・センゲほか『持続可能な未来へ』日本経済新聞出版社
15 植田和弘ほか『環境経営イノベーションの理論と実践』中央経済社
16 兵藤智佳ほか『世界をちょっとでもよくしたい』早稲田大学出版部
17 浅田次郎『蒼穹の昴』講談社文庫
18 日本古典文学全集『近松門左衛門集』小学館
19 弓岡勝美・編『着物と日本の色（帯の配色篇）』ヒエ・ブックス

『「ならでは」の成果を出す２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【女性キャリア】』ブリヂストン環境担当執行役員 江藤尚美氏選から引用

『不況でも利益を伸ばす２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【部長・幹部候補】』甲南大学 特別客員教授 加護野忠男氏選の掲載書籍リスト

1 和辻哲郎『葉隠』岩波文庫
2 ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』岩波文庫
3 アンドルー・ゴードン『日本の200年』みすず書房
4 半藤一利『昭和史 1926－1945』平凡社
5 舩橋晴雄『荻生徂徠の経営学』日経BP出版センター
6 三品和広『戦略不全の論理』東洋経済新報社
7 稲盛和夫『稲盛和夫の経営塾』日経ビジネス人文庫
8 泉谷裕『「利益」が見えれば会社が見える』日本経済新聞社
9 新渡戸稲造『武士道』岩波文庫
10 渋沢栄一『論語と算盤』ちくま新書
11 柳宗悦『手仕事の日本』岩波文庫
12 R・N・ベラー『徳川時代の宗教』岩波文庫
13 平田雅彦『ドラッカーに先駆けた 江戸商人の思想』日経BP社
14 加護野忠男『経営の精神』生産性出版
15 延岡健太郎『価値づくり経営の論理』日本経済新聞出版社
16 與那覇潤『中国化する日本』文藝春秋
17 大森信『トイレ掃除の経営学』白桃書房
18 上野恭裕『戦略本社のマネジメント』白桃書房
19 三矢裕『アメーバ経営論』東洋経済新報社
20 宮本武蔵『宮本武蔵 五輪書 』徳間書店

『不況でも利益を伸ばす２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【部長・幹部候補】』甲南大学 特別客員教授 加護野忠男氏選から引用

『部下・チームの力を引き出す２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【課長・新任マネージャー編】』プライスウォーターハウス クーパース パートナー 山本紳也氏選の掲載書籍リスト

---

1 小倉昌男『小倉昌男 経営学』日経BP社
2 松下幸之助『リーダーになる人に知っておいてほしいこと』PHP研究所
3 中村邦夫『これからのリーダーに知っておいてほしいこと』PHP研究所
4 伊丹敬之『場のマネジメント』NTT出版
5 池田守男、金井壽宏『サーバントリーダーシップ入門』かんき出版
6 金井壽宏『ハッピー社員』プレジデント社
7 中原淳、長岡健『ダイアローグ 対話する組織』ダイヤモンド社
8 竹田恒泰『日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか』PHP新書
9 姜尚中『リーダーは半歩前を歩け』集英社新書
10 内田和成『論点思考』東洋経済新報社
11 山本紳也、鳥谷陽一『新任マネジャーの行動学』日本経団連出版
12 ダナ・ジェネット『そんな仕事は部下にまかせろ！』ランダムハウス講談社
13 山田雄一『人の活かし方・組織の動かし方』日本経団連出版
14 中沢康彦『星野リゾートの教科書』日経BP社
15 井上久男『トヨタ 愚直なる人づくり』ダイヤモンド社
16 古市憲寿『絶望の国の幸福な若者たち』講談社
17 守島基博『人材の複雑方程式』日本経済新聞出版社
18 西堀栄三郎『石橋を叩けば渡れない。』生産性出版
19 高杉良『ザ エクセレントカンパニー』毎日新聞社
20 高坂正堯『世界史の中から考える』新潮選書

『部下・チームの力を引き出す２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【課長・新任マネージャー編】』プライスウォーターハウス クーパース パートナー 山本紳也氏選から引用

『企画・提案力に火がつく２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【若手・中堅編】』博報堂ケトル代表 嶋 浩一郎氏選の掲載書籍リスト

1 ショーン・B・キャロル『シマウマの縞、蝶の模様』光文社
2 谷山雅計『広告コピーってこう書くんだ！読本』宣伝会議
3 ヘンリー・ペトロスキー『フォークの歯はなぜ四本になったか』平凡社
4 スティーブン・レヴィ『グーグル ネット覇者の真実』阪急コミュニケーションズ
5 マルク・レビンソン『コンテナ物語』日経BP社
6 津田大介『情報の呼吸法』朝日出版社
7 東浩紀『一般意志2.0』講談社
8 中川淳一郎『ウェブはバカと暇人のもの』光文社
9 ボフミル・フラバル『わたしは英国王に給仕した』河出書房新社
10 原研哉『マカロニの穴のなぞ』朝日新聞社
11 D・M・スコット、B・ハリガン『グレートフルデッドにマーケティングを学ぶ』日経BP社
12 宇野常寛『ゼロ年代の想像力』ハヤカワ文庫
13 平川克美『小商いのすすめ』ミシマ社
14 橋爪大三郎『世界がわかる宗教社会学入門』ちくま文庫
15 D・サダヴァほか『大学生物学の教科書』講談社
16 砂川重信『物理学対話』河出書房新社
17 E・H・ゴンブリッチ『美術の物語』ファイドン
18 鷲田清一『京都の平熱』講談社
19 古今亭志ん生『なめくじ艦隊』ちくま文庫
20 R・P・ファインマン『ご冗談でしょう、ファインマンさん』岩波現代文庫

『企画・提案力に火がつく２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【若手・中堅編】』博報堂ケトル代表 嶋 浩一郎氏選から引用

『ビジネスの土台を磨く２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【新入社員編】 』ライフネット生命保険社長 出口治明氏選の掲載書籍リスト

1 ちきりん『自分のアタマで考えよう』ダイヤモンド社
2 岩瀬大輔『入社1年目の教科書』ダイヤモンド社
3 出口治明『「思考軸」をつくれ』英治出版
4 慎泰俊『働きながら、社会を変える。』英治出版
5 柳川範之『元気と勇気が湧いてくる経済の考え方』日本経済新聞出版社
6 藤沢数希『日本人がグローバル資本主義を生き抜くための経済学入門』ダイヤモンド社
7 池尾和人『現代の金融入門［新版］』ちくま新書
8 藻谷浩介『デフレの正体』角川oneテーマ21
9 滝田洋一『通貨を読む〈第3版〉』日経文庫
10 半藤一利『昭和史 1926-1945』平凡社
11 若桑みどり『クアトロ・ラガッツィ』集英社文庫
12 村山斉『宇宙は本当にひとつなのか』講談社ブルーバックス
13 池谷裕二『単純な脳、複雑な「私」』朝日出版社
14 本川達雄『生物学的文明論』新潮新書
15 野口悠紀雄『1940年体制』東洋経済新報社
16 田島英一『上海』PHP新書
17 アレクシス・トクヴィル『アメリカのデモクラシー』岩波文庫
18 ベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』NTT出版
19 韓非『韓非子』岩波文庫
20 アリストテレス『ニコマコス倫理学』岩波文庫

『ビジネスの土台を磨く２０冊ー役職別 鉄則本ガイド【新入社員編】 』ライフネット生命保険社長 出口治明氏選から引用

『書店員が選ぶ　ハンディな新選組本１０冊』（ダ・ヴィンチ電子ナビ）の掲載書籍リスト

司馬遼太郎『燃えよ剣』(上下)新潮文庫
子母澤 寛『新選組始末記』中公文庫
子母澤 寛『新選組遺聞』中公文庫
菊地 明『土方歳三日記』(上下)ちくま学芸文庫
木村幸比古(編訳著)『新選組日記』PHP新書
松浦 玲『新選組』岩波新書
永倉新八『新撰組顛末記』新人物往来社 新人物文庫
前田政記『新選組全隊士徹底ガイド』河出文庫
菊地 明『新選組の新常識』集英社新書
黒鉄ヒロシ『新選組』PHP文庫

『書店員が選ぶ　ハンディな新選組本１０冊』（ダ・ヴィンチ電子ナビ）から引用

『高校生に読んでほしい５０冊』（新著文庫）の掲載書籍リスト

1 芥川龍之介『羅生門・鼻』
2 赤川次郎『ふたり』
3 有川浩『レインツリーの国』
4 井伏鱒二『黒い雨』
5 伊坂幸太郎『重力ピエロ』
6 いしいしんじ『トリツカレ男』
7 上橋菜穂子『精霊の守り人』
8 江國香織『すいかの匂い』
9 小澤征爾『ボクの音楽武者修行』
10 小川洋子『博士の愛した数式』
11 恩田陸『夜のピクニック』
12 川上弘美『センセイの鞄』
13 角田光代『さがしもの』
14 金城一紀『対話篇』
15 神永学『タイム・ラッシュ一天命探偵 真田省吾一』
16 近藤史恵『サクリファイス』
17 佐野洋子『がんばりません』
18 さくらももこ『そういうふうにできている』
19 司馬遼太郎『人斬り以蔵』
20 司馬遼太郎『燃えよ剣〔上下〕』
21 重松清『きみの友だち』
22 太宰治『人間失格』
23 夏目漱石『坊っちゃん』
24 梨木香歩『西の魔女が死んだ』
25 中沢けい『楽隊のうさぎ』
26 中村計『甲子園が割れた日一松井秀喜5連続敬遠の真実一』
27 畠中恵『しゃばけ』
28 橋本紡『流れ星が消えないうちに』
29 藤原正彦『若き数学者のアメリカ』
30 星新一『ボッコちゃん』
31 舞城王太郎『阿修羅ガール』
32 宮沢賢治『新編 銀河鉄道の夜』
33 三島由紀夫『金閣寺』
34 三浦綾子『塩狩峠』
35 宮部みゆき『レベル7（セブン）』

36 三浦しをん『風が強く吹いている』
37 養老孟司、宮崎駿『虫眼とアニ眼』
38 道尾秀介『向日葵の咲かない夏』
39 村上春樹『海辺のカフカ〔上下〕』
40 山田詠美『ぼくは勉強ができない』
41 湯本香樹実『夏の庭ーThe Friendsー』
42 吉本ばなな『キッチン』
43 米澤穂信『ボトルネック』
44 リリー・フランキー『東京タワーーオカンとボクと、時々、オトンー』
45 ジュール・ヴェルヌ『十五少年漂流記』波多野完治(訳)
46 フランツ・カフカ『変身』高橋義孝(訳)
47 サン=テグジュペリ『星の王子さま』河野万里子(訳)
48 コナン・ドイル『シャーロック・ホームズの冒険』延原謙(訳)
49 ヘルマン・ヘッセ『車輪の下』高橋健二(訳)
50 ヘミングウェイ『老人と海』福田恆存(訳)

『高校生に読んでほしい５０冊』（新著文庫）から引用

『中学生のための国語のおすすめ５０冊』（浜島書店）の掲載書籍リスト

・小説

1 ケイト・ディカミロ『愛をみつけたうさぎ　エドワード・テュレインの奇跡の旅』
2 アレックス・シアラー『青空のむこう』
3 あさのあつこ『あかね色の風／ラブレター』
4 八束澄子『明日につづくリズム』
5 キャサリン・パターソン『海は知っていた』
6 野中ともそ『カチューシャ』
7 伊集院静『機関車先生』
8 伊藤たかみ『ぎぶそん』
9 碧野圭『銀盤のトレース』
10 中田永一『くちびるに歌を』
11 田中芳樹『月蝕島の魔物』
12 上橋菜穂子『狐笛のかなた』
13 奥田英朗『サウスバウンド』
14 キース・グレイ『ジェイミーが消えた庭』
15 重松清『小学五年生』
16 森絵都『DIVE!!』
17 瀬尾まいこ『卵の緒』
18 鈴木ゆき江『夏の花たちーヒロシマの献水者 宇根利枝物語』
19 梨木香歩『西の魔女が死んだ』
20 あさのあつこ『バッテリー』
21 風野潮『ビート・キッズ』
22 恩田陸『夜のピクニック』
23 川上弘美『神様』
24 重松清『きみの友だち』
25 開高健『直筆原稿版 オーパ！』
26 畠中恵『しゃばけ』
27 ジェリー・スピネッリ『スター☆ガール』
28 関口尚『空をつかむまで』
29 村上春樹『沈黙』
30 辻仁成『ピアニシモ』
31 深沢美潮『フォーチュン・クエスト 世にも幸せな冒険者たち』

・記録

32 長谷部誠『心を整える。』
33 新井淑則『全盲先生，泣いて笑っていっぱい生きる』
34 金田一秀穂『ふしぎ日本語ゼミナール』
35 新潮文庫『みんなのなやみ』
36 栗林慧『虫の目で狙う奇跡の一枚 昆虫写真家の挑戦』
37 マーティー・ジェザー『運命の海に出会って レイチェル・カーソン』
38 岡田節子『ありがとう，貴嗣 わが子がくれた１２年間の幸せ』
39 森達也『いのちの食べかた よりみちパン！セ』
40 齋藤孝『原稿用紙１０枚を書く力』
41 池上彰『世界を救う７人の日本人』
42 小林茂『ぼくたちは生きているのだ』
43 小川洋子『みんなの図書室』

・随筆

44 池田晶子『１４歳からの哲学 考えるための教科書』
45 関千枝子『広島第二県女二年西組』
46 向田邦子『霊長類ヒト科動物図鑑』

・詩歌

47 矢崎節夫選『金子みすず豆文庫』
48 工藤直子『でんせつ』
49 茨木のり子『詩のこころを読む』
50 吉野弘『詩の楽しみ 作詩教室』

・古典

51 杉浦民平『今昔ものがたり』

『中学生のための国語のおすすめ５０冊』（浜島書店）から引用

『高校生のための世界史おすすめ５０冊』（浜島書店）の掲載書籍リスト

・一番おすすめ★★★

1 宮崎正勝他『世界史を動かした「モノ」事典』日本実業出版社
2 本村凌二『馬の世界史』講談社現代新書
3 杉山正明『大モンゴルの世界』角川選書
4 村上陽一郎『ペスト大流行』岩波新書
5 阿部謹也『自分のなかに歴史をよむ』筑摩書房
6 池上俊一『動物裁判ー西欧中世・正義のコスモスー』講談社現代新書
7 角山栄『時計の社会史』中公新書
8 シルヴィア・ジョンソン『世界を変えた野菜読本』晶文社
9 角山栄『茶の世界史』中公新書
10 川北稔『砂糖の世界史』岩波ジュニア新書
11 葛野浩昭『サンタクロースの大旅行』岩波新書
12 臼井隆一郎『コーヒーが廻り世界史が廻るー近代市民社会の黒い血液ー』中公新書
13 綿引弘『物が語る世界の歴史』聖文社

・次に読みたい★★

14 木村和男『カヌーとビーヴァーの帝国』山川出版社
15 白井春男『国家の誕生』授業を創る社
16 赤司道雄『聖書』中公新書
17 土井正興『スパルタクスの蜂起』青木書店
18 宮崎市定『科挙』中公新書
19 宮崎正勝『イスラム・ネットワーク』講談社選書メチエ
20 陳舜臣『実録 アヘン戦争』中公新書
21 本田創造『私は黒人奴隷だったーフレデリック・ダグラスの物語ー』岩波ジュニア新書
22 長島伸一『ナイチンゲール』岩波ジュニア新書
23 谷川稔『国民国家とナショナリズム』山川出版社
24 インゲ・ショル『白バラは散らずードイツの良心ショル兄妹ー』未来社
25 辻内鏡人・中條献『キング牧師ー人種の平等と人間愛を求めてー』岩波ジュニア新書
26 加藤九祚『シルクロードの大旅行家たち』岩波ジュニア新書
27 ソフィー・Ｄ・コウ／マイケル・Ｄ・コウ『チョコレートの歴史』河出書房新社
28 比嘉政夫『沖縄からアジアが見える』岩波ジュニア新書
29 鄭大聲『食文化の中の日本と朝鮮』講談社現代新書
30 猿谷要『物語アメリカの歴史』中公新書

31 野村達朗『「民族」で読むアメリカ』講談社現代新書
32 増田義郎『物語ラテン・アメリカの歴史ー未来の大陸ー』中公新書
33 安田喜憲『森を守る文明　支配する文明』　ＰＨＰ新書

・さらに読みたい★

34 上田信『トラが語る中国史』山川出版社
35 吉村作治『ピラミッドは語るー王の墓・黄金・盗掘ー』岩波ジュニア新書
36 中村元・田辺和子『ブッダ物語』岩波ジュニア新書
37 塩野七生『ローマ人への20の質問』文春新書
38 ヴェルナー・ゾンバルト『戦争と資本主義』論創社
39 ヘンリー・ホブハウス『歴史を変えた種ー人間の歴史を創った５つの植物ー』パーソナルメディア
40 遅塚忠躬『フランス革命　歴史における劇薬ー歴史における劇薬ー 』岩波ジュニア新書
41 川勝平太『文明の海洋史観』中央公論新社
42 マウロ・タロッチ『世界の国旗ー国旗と紋章のデザインに見る民族の意志ー』小学館
43 横井勝彦『大英帝国の＜死の商人＞』講談社選書メチエ
44 下川浩一『世界自動車産業の興亡』講談社現代新書
45 入江昭『太平洋戦争の起源』東京大学出版会
46 ヘレン・ミアーズ『アメリカの鏡・日本』メディアファクトリー
47 宇佐美久美子『アフリカ史の意味』山川出版社
48 織田武雄『地図の歴史ー世界篇ー』講談社現代新書
49 クライブ・ポンティング『緑の世界史』朝日選書
50 高桑末秀『広告の世界史』日本経済新聞社
51 星野芳郎『技術と文明の歴史』岩波ジュニア新書

『高校生のための世界史おすすめ５０冊』（浜島書店）から引用

『生物多様性を知る　朝倉書店の５０冊』の掲載書籍リスト

・環境を評価する

1 環境情報科学センター編『自然環境アセスメント指針』
2 日本環境毒性学会編『生態影響試験ハンドブック―化学物質の環境リスク評価―』
3 中西準子ほか編『環境リスクマネジメントハンドブック』
4 田中章『ＨＥＰ入門（新装版）―〈ハビタット評価手続き〉マニュアル―』

・自然環境の保全と復元

5 杉山恵一・進士五十八編『自然環境復元の技術』
6 江崎保男・田中哲夫編『水辺環境の保全―生物群集の視点から―』
7 沼田眞 編『自然保護ハンドブック （新装版）』
8 木平勇吉 編『流域環境の保全』
9 武内和彦『ランドスケープエコロジー』
10 M.L.モリソン／梶光一他監訳『生息地復元のための野生動物学』
11 野生生物保護学会編『野生動物保護の事典』
12 本間保男ほか編『植物保護の事典（普及版)』
13 農村環境整備センター編『農村環境整備の科学』
14 森本幸裕・小林達明編著『最新　環境緑化工学』
15 木平勇吉編『森林環境保全マニュアル』
16 鈴木和夫編著『森林保護学』

・生態系を知る・学ぶ

17 太田次郎監訳『環境と生態』
18 大原隆・西田孝編『地球環境の変容 （普及版）』
19 大原隆ほか編『地球環境の復元 （普及版）―南関東のジオ・サイエンス―』
20 新藤静夫・大原隆編『地球環境科学概説 （普及版）』
21 楠田哲也・巖佐庸編『生態系とシミュレーション』
22 大澤雅彦ほか編『世界遺産　屋久島 ―亜熱帯の自然と生態系―』
23 小倉紀雄ほか編『図説　日本の河川』
24 大澤雅彦　監訳『亜熱帯・暖温帯多雨林』
25 大澤雅彦・奥富清　監訳『温帯落葉樹林』
26 岡崎正規ほか『図説　日本の土壌』
27 東京大学農学部 編『土壌圏の科学』

28 鈴木和夫ほか編『森林の百科』
29 森林総合研究所 編『森林大百科事典』

・地球環境と生物

30 大澤雅彦・大原隆編『生物-地球環境の科学 （普及版） ー南関東の自然誌ー』
31 駒嶺穆 監訳『オックスフォード　植物学辞典』
32 福嶋司・岩瀬徹編著『図説　日本の植生』
33 石井龍一ほか編『植物の百科事典』
34 石塚和雄編『群落の分布と環境』
35 伊藤秀三編『群落の組成と構造』
36 岩城英夫編『群落の機能と生産』
37 沼田眞 編『群落の遷移とその機構』
38 小川房人『個体群の構造と機能』
39 木村一郎ほか訳『オックスフォード　動物学辞典』
40 東京大学農学部 編『生物の多様性と進化』

『生物多様性を知る　朝倉書店の５０冊』から引用

『山形浩生が選ぶ経済がわかる３０冊』の掲載書籍リスト

1 ポール・クルーグマン『クルーグマン教授の経済入門』ちくま学芸文庫
2 ロバート・L. ハイルブローナー『入門経済思想史　世俗の思想家たち』ちくま学芸文庫
3 ルイズ・アームストロング『新装版　レモンをお金にかえる法』河出書房新社
4 ルイズ・アームストロング『新装版　続・レモンをお金にかえる法』河出書房新社
5 スティーヴン・D・レヴィット、スティーヴン・J・ダブナー『ヤバイ経済学　増補改訂版』東洋経済新報社
6 ローレンス・レッシグ『REMIX　ハイブリッド経済で栄える文化と商業のあり方』翔泳社
7 岡田斗司夫『評価経済社会　ぼくらは世界の変わり目に立ち会っている』ダイヤモンド社
8 ジェイン・ジェイコブズ『市場の倫理　統治の倫理』日経ビジネス人文庫
9 アラン・B・クルーガー『テロの経済学』東洋経済新報社
10 ジョン・マクミラン『市場を創る　バザールからネット取引まで』NTT出版
11 ピーター・T・リーソン『海賊の経済学　見えざるフックの秘密』NTT出版
12 ウォルター・ブロック『不道徳な経済学　擁護できないものを擁護する』講談社プラスアルファ文庫
13 ポール・コリアー『民主主義がアフリカ経済を殺す　最底辺の10億人の国で起きている真実』日経BP社
14 ウィリアム・イースタリー『傲慢な援助』東洋経済新報社
15 服部正也『ルワンダ中央銀行総裁日記　増補版』中公新書
16 ムハマド・ユヌス、アラン・ジョリ『ムハマド・ユヌス自伝　貧困なき世界をめざす銀行家』早川書房
17 梶谷 懐『「壁と卵」の現代中国論　リスク社会化する超大国とどう向き合うか』人文書院
18 ピエトラ・リボリ『あなたのTシャツはどこから来たのか?　誰も書かなかったグローバリゼーションの真実』東洋経済新報社
19 ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス『クルーグマン　ミクロ経済学』東洋経済新報社
20 ポール・クルーグマン、ロビン・ウェルス『クルーグマン　マクロ経済学』東洋経済新報社
21 菅原晃『高校生からのマクロ・ミクロ経済学入門II』ブイツーソリューション
22 飯田泰之、中里 透『コンパクトマクロ経済学』新世社
23 飯田泰之『ゼロから学ぶ経済政策　日本を幸福にする経済政策のつくり方』角川oneテーマ21
24 高橋洋一『日本経済のウソ』ちくま新書
25 田中秀臣『デフレ不況　日本銀行の大罪』朝日新聞出版
26 岩田規久男『経済復興　大震災から立ち上がる』筑摩書房
27 原田 泰『日本はなぜ貧しい人が多いのか　「意外な事実」の経済学』新潮選書
28 ビョルン・ロンボルグ『環境危機をあおってはいけない　地球環境のホントの実態』文藝春秋
29 マイケル・ルイス『世紀の空売り』文藝春秋
30 C.N.パーキンソン『パーキンソンの法則』至誠堂

『山形浩生が選ぶ経済がわかる３０冊』から引用

『東浩紀の選ぶ２０冊』の掲載書籍リスト

フリードリヒ・A・ハイエク『隷従への道ー全体主義と自由』東京創元社
ミシェル・フーコー『言葉と物』新潮社
ジル・ドゥルーズ；フェリックス・ガタリ『アンチ・オイディプス』河出書房新社
ロバート・ノージック『アナーキー・国家・ユートピア』木鐸社
ハーバート・A・サイモン『システムの科学』パーソナルメディア
ピーター・シンガー『実践の倫理』昭和堂
ウルリヒ・ベック『危険社会ー新しい近代への道』法政大学出版局
フリードリヒ·A·キットラー『グラモフォン・フィルム・タイプライター』筑摩書房
リチャード・ローティ『偶然性・アイロニー・連帯ーリベラル・ユートピアの可能性』岩波書店
アントニオ・ネグリ；マイケル・ハート『＜帝国＞ーグローバル化の世界秩序とマルチチュードの可能性』以文社
ローレンス・レッシグ『CODEーインターネットの合法・違法・プライバシー』翔泳社
アラン・C・ケイ『アラン・ケイ』アスキー
グレッグ・イーガン『順列都市<上><下>』早川書房
柄谷行人『内省と遡行』講談社
浅田彰『構造と力』勁草書房
大塚英志『定本　物語消費論』角川書店
宮台真司『制服少女たちの選択』講談社
大澤真幸『戦後の思想空間』筑摩書房
東浩紀『動物化するポストモダンーオタクから見た日本社会』講談社
北田暁大『嗤う日本の「ナショナリズム」』日本放送出版協会

『東浩紀の選ぶ２０冊』から引用

『人事院「若手行政官への推薦図書」』の掲載書籍リスト

＜哲学＞

新渡戸稲造　『武士道』
福澤諭吉　『文明論之概略』
福澤諭吉　『明治十年丁丑公論・瘠我慢の説』
プラトン　『国家(上・下)』
ジョン・ステュアート・ミル　『自由論』
吉本隆明・梅原猛・中沢新一(鼎談)　『日本人は思想したか』

＜歴史・伝記＞

網野善彦　『日本社会の歴史（上・中・下）』岩波新書
内村鑑三　『代表的日本人』
大谷藤郎　『ひかりの足跡ーハンセン病・精神障害とわが師わが友』
オルテガ・イ・ガセット　『大衆の反逆』
北岡伸一　『政党から軍部へ＜日本の近代第五巻＞』
ポール・ケネディ　『大国の興亡』
高坂正堯　『文明が衰亡するとき』
塩野七生　『ローマ人の物語』
Ｗ・Ｓ・チャーチル　『第二次世界大戦(１～４)』
デイヴィッド・ハルバースタム『ベスト・アンド・ブライテスト』
半藤一利　『昭和史（1926ー1945）』『昭和史　戦後篇（1945ー1989）』
ベンジャミン・フランクリン　『フランクリン自伝』
山田済斎（編）『西郷南洲遺訓』
山本七平　『帝王学ー「貞観政要」の読み方』
渡辺京二　『逝きし世の面影』
『日暮硯』

＜政治・行政＞

マックス・ウェーバー　『官僚制』
マックス・ウェーバー　『職業としての政治』
マックス・ウェーバー　『政治論集(上・下)』
カレル・ヴァン・ウォルフレン　『日本権力構造の謎』
マイケル･サンデル　『これからの「正義」の話をしよう』
塩野七生　『マキアヴェッリ語録』
戸部良一ほか　『失敗の本質』
ジョセフ・ナイ　『リーダー・パワー』

ジョージ・パッカード　『ライシャワーの昭和史』
クリストファー・フッド　『行政活動の理論』
マキャベリ　『君主論』
安岡正篤　『政治家と実践哲学』
ジョン･ロールズ　『正義論』

＜経済＞
ケネス・Ｊ・アロー　『社会的選択と個人的評価』
マックス・ウェーバー　『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
ジョン・メイナード・ケインズ　『平和の経済的帰結』
ハーバート・Ａ・サイモン　『経営行動』
Ｐ・Ｆ・ドラッカー　『ネクスト・ソサエティー歴史が見たことのない未来がはじまる』
原丈人　『21世紀の国富論』
ケビン＆ジャッキー・フライバーグ　『破天荒！ーサウスウエスト航空驚愕の経営』
マイケル・Ｅ・ポーター　『国の競争優位(上・下)』

＜社会・教育＞
阿部志郎、河幹夫　『人と社会ー福祉の心と哲学の丘ー』
李御寧（イー・オリョン）　『「縮み」志向の日本人』
梅棹忠夫　『情報の文明学』
梅田望夫、飯吉透　『ウェブで学ぶ：オープンエデュケーションと知の革命』
大河内一男、松尾洋　『日本労働組合物語(全5冊)』
ガンサー・S・ステント　『進歩の終焉ー来るべき黄金時代』
福澤諭吉　『学問のすすめ』
トーマス・フリードマン　『フラット化する世界(上・下)』
ロバート・Ｋ・マートン　『社会理論と社会構造』
デニス メドウズ　『成長の限界ーローマ・クラブ「人類の危機」レポート』
山崎正和　『近代の擁護』
山本七平　『「空気」の研究』

＜自然科学＞
今西錦司　『生物の世界』
レイチェル・カーソン　『沈黙の春』
チャールズ・ダーウィン　『種の起源』
森銑三　『おらんだ正月ー江戸時代の科学者達ー』
養老孟司　『唯脳論』

＜文学・言語＞

サムエル・ウルマン　『青春とは、心の若さである。』

サン＝テグジュペリ　『星の王子さま』

Ｗ・シェクスピア　『ジュリアス・シーザー』

ジャン・ジオノ　『木を植えた人』

司馬遼太郎　『項羽と劉邦』

司馬遼太郎　『坂の上の雲』

城山三郎　『官僚たちの夏』

ロジェ・マルタン・デュ・ガール　『チボー家の人々』

夏目漱石　『文明論集』

ＢＢＣ　『英語物語』

ヴィクトール・Ｅ・フランクル　『夜と霧　新版』

ラ・ブルュイエール　『カラクテール一当世風俗誌』

山本周五郎　『ながい坂』

『人事院「若手行政官への推薦図書」』から引用

『震災・原発を知る本ー全国ＳＬＡ選定図書より』（※2012年3月30日現在）の掲載書籍リスト

坂井修一『ＩＴが守る、ＩＴを守る：天災・人災と情報技術』ＮＨＫ出版
メディア総合研究所編『メディアは原子力をどう伝えたか』花伝社
河北新報社『河北新報のいちばん長い日：震災下の地元紙』文藝春秋
山内明美『こども東北学』イースト・プレス
池上彰監修『ニュース年鑑　２０１２』ポプラ社
今井一『「原発」国民投票』集英社
和田長久，原水爆禁止日本国民会議編『原子力・核問題ハンドブック』七つ森書館
木本書店・編集部編集『世界統計白書：データで見える世界の動き ２０１１年版』木本書店
関谷直也『風評被害：そのメカニズムを考える(光文社新書)』光文社
早川和男『災害に負けない「居住福祉」』藤原書店
阿部彩『弱者の居場所がない社会：貧困・格差と社会的包摂』講談社
柳田邦男『「想定外」の罠：大震災と原発　核と災害１９４５・８・６－２０１１・３・１１』文藝春秋
安全・安心な社会創造研究所監修　『58の用語でわかる！防災なるほど解説　上巻』フレーベル館
広瀬弘忠『巨大災害の世紀を生き抜く』集英社
藤田嘉美『災害からみる防災・減災Ｑ＆Ａ』オーム社
村井雅清『災害ボランティアの心構え』ソフトバンククリエイティブ
徳田雄博『震災と情報：あのとき何が伝わったか』岩波書店
二宮洸三『防災・災害対応の本質がわかる本』オーム社
高橋邦典・写真・文『「あの日」のこと：東日本大震災　2011・3・11』ポプラ社
森健『「つなみ」の子どもたち：作文に書かれなかった物語』文藝春秋
川勝平太，東郷和彦，増田寛也『「東北」共同体からの再生：東日本大震災と日本の未来』藤原書店
柴山知也『3.11津波で何が起きたか：被害調査と減災戦略』早稲田大学出版部
小森陽一編『３．１１を生きのびる：憲法が息づく日本へ』かもがわ出版
石巻日日新聞社編『６枚の壁新聞：石巻日日新聞・東日本大震災7日間の記録』角川マガジンズ
篠山紀信『ＡＴＯＫＡＴＡ』日経ＢＰ社
豊田直巳編『ＴＳＵＮＡＭＩ3.11：東日本大震災記録写真集』第三書館
須藤元気『ＷＥ　ＡＲＥ　ＡＬＬ　ＯＮＥ：須藤元気のボランティア記録』講談社
高成田享『さかな記者が見た大震災石巻賛歌』講談社
大沼英樹『それでも咲いていた千年桜：大沼英樹写真集』窓社
遠藤薫編『大震災後の社会学』講談社
長倉洋海と東北の子どもたち『だけど、くじけない：子どもたちからの元気便』ＮＨＫ出版

小林麻理編『地方自治体は重い負担に耐えられるか：「民」の力を結集する方法』早稲田大学出版部
北原耕也『津波の町に生きる　釜石の悲劇と挑戦：ルポルタージュ3.11大津波』本の泉社
糸井重里，ほぼ日刊イトイ新聞『できることをしよう。：ぼくらが震災後に考えたこと』新潮社
Ｊレスキュー編集部編『ドキュメント東日本大震災：救助の最前線で』イカロス出版
シュープレス編・『ともしび：被災者から見た被災地の記録』小学館
関満博『東日本大震災と地域産業復興：1　2011.3.11～10.1人びとの「現場」から』新評論
小田原きよし『ヒトのチカラ。：東日本大震災被災地、災害ボランティアセンターで起こったいくつものドラマ。ボランティアって何するの？』マーブルトロン
安田菜津紀，佐藤慧，渋谷敦志『ファインダー越しの３．１１』原書房
頓所直人取材・文　名越啓介写真『笑う、避難所：石巻・明友館136人の記録』集英社
岩井雪乃編『学生のパワーを被災地へ！：「早稲田型ボランティア」の舞台裏』早稲田大学出版部
読売新聞社『記者は何を見たのか：３・１１東日本大震災』中央公論新社
諏訪清二『高校生、災害と向き合う：舞子高等学校環境防災科の１０年』岩波書店
萩尾信也『三陸物語：被災地で生きる人びとの記録』毎日新聞社
毎日新聞社『写真記録東日本大震災：３・１１から１００日』毎日新聞社
のぶみ作『上を向いて歩こう！』講談社
今西乃子 浜田一男写真『心のおくりびと　東日本大震災復元納棺師：思い出が動きだす日』金の星社
地震イツモプロジェクト編 寄藤文平絵『親子のための地震イツモノート：キモチの防災マニュアル』ポプラ社
朝日新聞社，朝日新聞出版『震災１年全記録：大津波、原発事故、復興への歩み』朝日新聞出版
創風社編集部編『震災の石巻ーそこから：市民たちの記録』創風社
水島朝穂『東日本大震災と憲法：この国への直言』早稲田大学出版部
アサヒカメラ編集部編集『東日本大震災ー写真家１７人の視点』朝日新聞出版
南三陸消防署，亘理消防署，神戸市消防局，川井龍介編『東日本大震災消防隊員死闘の記：津波と瓦礫のなかで』旬報社
塩崎賢明，西川榮一，出口俊一，兵庫県震災復興研究センター編『東日本大震災復興への道：神戸からの提言』クリエイツかもがわ
『読売新聞記者が見つめた東日本大震災３００日の記録』読売新聞東京本社
佐藤信一『南三陸から：２０１１．３．１１～２０１１．９．１１』ＡＤＫ南三陸町復興支援プロジェクト
戸羽太『被災地の本当の話をしよう：陸前高田市長が綴るあの日とこれから』ワニブックス
五十嵐太郎『被災地を歩きながら考えたこと』みすず書房
玄侑宗久『福島に生きる』双葉社
笠井信輔『僕はしゃべるためにここへ来た』産経新聞出版

ＮＨＫ東日本大震災プロジェクト『明日へ：東日本大震災命の記録』ＮＨＫ出版
黒沢和義絵と文『面影画：私はここにいます』同時代社
高田昌幸編『@Fukushima：私たちの望むものは』産学社
マリアン・デレオ 〔中村英雄訳〕『チェルノブイリ・ハート：原発事故がもたらす被害の実態』合同出版
会田法行文　山口明夏写真『春を待つ里山：原発事故にゆれるフクシマで』ポプラ社
直野章子『被ばくと補償：広島、長崎、そして福島』平凡社
根津進司『フクシマ・ゴーストタウン：全町・全村避難で誰もいなくなった放射能汚染地帯』社会批評社
八木澤高明『フクシマ２０１１、沈黙の春』新日本出版社
郡山総一郎『原発と村：Ｖａｎｉｓｈｉｎｇ　Ｖｉｌｌａｇｅ』新日本出版社
福島県九条の会編『福島は訴える：「くらし」「子育て」「なりわい」を原発に破壊された私たちの願いと闘い』かもがわ出版
大森直樹『大震災でわかった学校の大問題：被災地の教室からの提言』小学館
日本学校教育学会「東日本大震災と学校教育」調査研究プロジェクト編『東日本大震災と学校教育：震災は学校をどのように変えるのか』かもがわ出版
みやぎ教育文化研究センター，日本臨床教育学会震災調査準備チーム編『３・１１あの日のこと、あの日からのこと：震災体験から宮城の子ども・学校を語る』かもがわ出版
河村茂雄編『災害時にこそ問われる学級経営力　岩手・三陸編』早稲田大学出版部
『学校保健の動向 平成２３年度版』日本学校保健会出版部
数見隆生編『子供の命は守られたのか：東日本大震災と学校防災の教訓』かもがわ出版
高橋みかわ編『大震災自閉っこ家族のサバイバル』ぶどう社
畑中章宏『柳田国男と今和次郎：災害に向き合う民俗学』平凡社
谷川勝至『みんなが知りたい放射線の話』少年写真新聞社
藤高和信『基本を知る放射能と放射線』誠文堂新光社
堀込光子，堀込智之『海に沈んだ故郷（ふるさと）：北上川河口を襲った巨大津波－避難者の心・科学者の目』連合出版
原口強，岩松暉『東日本大震災津波詳細地図 下巻 福島・茨城・千葉』古今書院
原口強，岩松暉『東日本大震災津波詳細地図 上巻 青森・岩手・宮城』古今書院
大木聖子『地球の声に耳をすませて：地震の正体を知り、命を守る』くもん出版
島村英紀『新・地震をさぐる』さ・え・ら書房
寒川旭『地震の日本史：大地は何を語るのか　増補版』中央公論社
岡田義光『日本の地震地図　東日本大震災後版』東京書籍
寒川旭『日本人はどんな大地震を経験してきたのか：地震考古学入門』平凡社
木村政昭『地震の予知はできますか？（シリーズ人と仕事）』論創社
神沼克伊『次の超巨大地震はどこか？：過去に起こった巨大地震の記録から、可能性の高い地域を推測する！！』ソフトバンククリエイティブ

伊藤和明『日本の津波災害』岩波書店
巽好幸『いちばんやさしい地球変動の話』河出書房新社
碓井静照『放射能と子ども達：ヒロシマ、チェルノブイリ、セミパラチンスク、そしてフクシマ』ガリバープロダクツ
児玉龍彦『内部被曝の真実』幻冬舎
那須正夫，岡本晃典，石井伸昌『放射能から家族を守る：安全・安心の知識』朝日新聞出版
浦島充佳『放射能汚染ほんとうの影響を考える：フクシマとチェルノブイリから何を学ぶか』化学同人
安田節子『わが子からはじまる食べものと放射能のはなし』クレヨンハウス
石巻赤十字病院，由井りょう子『石巻赤十字病院の１００日間：東日本大震災　医師・看護師・病院職員たちの苦闘の記録』小学館
石井正『東日本大震災石巻災害医療の全記録：「最大被災地」を医療崩壊から救った医師の７カ月』講談社
太田圭祐『南相馬１０日間の救命医療：津波・原発災害と闘った医師の記録』時事通信出版局
飯田哲也『エネルギー進化論：「第４の革命」が日本を変える』筑摩書房
伊藤千尋『地球を活かす：市民が創る自然エネルギー』シネ・フロント社
小林義行『どうなる？日本のエネルギー問題。：再生可能エネルギーと分散型ネットワークが鍵！』マガジンハウス
久保田宏『科学技術の視点から原発に依存しないエネルギー政策を創る：石炭火力発電を当面利用すれば、経済的な負担のない原発代替は可能だ』日刊工業新聞社
井熊均『次世代エネルギーの最終戦略：使う側から変える未来』東洋経済新報社
ＮＨＫスペシャル「日本新生」取材班『総力取材！エネルギーを選ぶ時代は来るのか』ＮＨＫ出版
フェリス女学院大学エコキャンパス研究会編『大学生がえがく脱原発の未来マニュアル：検証！自然エネルギーのチカラ』東京新聞
「現代」の授業を考える会編『エネルギーと放射線の授業』太郎次郎社エディタス
畑村洋太郎『「想定外」を想定せよ！：失敗学からの提言』ＮＨＫ出版
橋本淳司『「放射能汚染水」「水不足」「水道停止」安全な水はどう確保する？』主婦の友社
京都大学防災研究所監修　寶馨〔ほか〕編『自然災害と防災の事典』丸善出版
畑村洋太郎『未曾有と想定外：東日本大震災に学ぶ』講談社
日経アーキテクチュア編『東日本大震災の教訓　都市・建築編：覆る建築の常識』日経ＢＰ社
三浦展，藤村龍至編『３・１１後の建築と社会デザイン：平凡社新書６１２）』平凡社
日置雅晴『拡大する放射能汚染と法規制：穴だらけの制度の現状』早稲田大学出版部
吉羽和夫『原子力問題の歴史』河出書房新社
川村湊『原発と原爆 「核」の戦後精神史』河出書房新社
安斎育郎『安斎育郎のやさしい放射能教室』合同出版
木村真三監修　坂内智之，大塚玲子文　柚木ミサト絵『放射線になんか、まけないぞ！』太郎次

郎社エディタス
中川恵一『放射線のひみつ：正しく理解し、この時代を生き延びるための30の解説』朝日出版社
岡野眞治『放射線とのつきあい：老科学者からのメッセージ』かまくら春秋社
名越智恵子，仲澤和馬，河合聡共『放射線とは何か：正しく向き合うための原点』丸善出版
安斎育郎『これでわかる　からだのなかの放射能：正しく知ろう！放射能汚染と健康被害』合同出版
マイケル・マドセン 西尾漠，澤井正子解説『１００，０００年後の安全：Ａ　ＦＩＬＭ　ＦＯＲ　ＴＨＥ　ＦＵＴＵＲＥ　ＩＮＴＯ　ＥＴＥＲＮＩＴＹ』かんき出版
斉藤永幸『図解いま考えるニッポンの電力問題』自由国民社
橘川武郎『電力改革 エネルギー政策の歴史的大転換』講談社
今泉大輔『電力供給が一番わかる：発電送電のしくみを通して未来のエネルギーを考える』技術評論社
戸田清『〈核発電（ゲンパツ）〉を問う：3.11後の平和学』法律文化社
小林圭二編『「熊取」からの提言：怒れる六人の原子力研究者たち』世界書院
飯田哲也，佐藤栄佐久，河野太郎『「原子力ムラ」を超えて：ポスト福島のエネルギー政策』ＮＨＫ出版
松山正佳『「原発」敗戦国・日本 １０人の重要証言から暴くフクシマの真実』主婦の友社
平田周『「想定外」の世界：福島原発事故で語られなかったこと』技報堂出版
雨宮処凛『１４歳からの原発問題（１４歳の世渡り術）』河出書房新社
原子力安全・廃絶研究会編『Ｑ＆Ａで一気にわかる脱原発の教科書：原発を止めても大丈夫なこれだけの理由』洋泉社
田坂広志『官邸から見た原発事故の真実：これから始まる真の危機』光文社
高橋哲哉『犠牲のシステム福島・沖縄』集英社
安冨歩『原発危機と「東大話法」：傍観者の論理・欺瞞の言語』明石書店
大島堅一『原発のコスト：エネルギー転換への視点』岩波書店
藤永のぶよ，西谷文和『原発はイヤ！だから自然エネルギー：デンマークが教えてくれる日本のこれから』日本機関紙出版センター
野口邦和監修　新美景子文『ストップ原発：カラー図解　１大震災と原発事故』大月書店
野口邦和監修　新美景子文『ストップ原発：カラー図解　２放射能汚染と人体』大月書店
河田昌東『チェルノブイリと福島』緑風出版
朝日新聞東京本社報道局編『ニュースがわからん！放射能と原発・大地震』新講社
武藤類子　森住卓写真『福島からあなたへ』大月書店
森住卓写真・文『福島第一原発風下の村：森住卓写真集』扶桑社
武田邦彦『放射能と原発のこれから：武田先生、どうしたらいいの？』ベストセラーズ
武田邦彦『放射能列島日本でこれから起きること：誰も気づかない環境被害の真実』朝日新聞出版
ＮＨＫ　ＥＴＶ特集取材班『ホットスポット ネットワークでつくる放射能汚染地図』講談社

田辺文也『まやかしの安全の国：原子力村からの告発』角川マガジンズ
たかはしよしこ文　かとうはやと絵『みえないばくだん』小学館
藤田祐幸『もう原発にはだまされない：放射能汚染国家・日本　絶望から希望へ』青志社
小出裕章，後藤政志，石橋克彦，孫正義『意見陳述：２０１１年５月２３日参議院行政監視委員会会議録』亜紀書房
原子力資料情報室編『原子力市民年鑑　２０１１－１２』七つ森書館
野口邦和監修 プロジェクトＦ文『原発・放射能図解データ』大月書店
長谷川健一『原発に「ふるさと」を奪われて：福島県飯舘村・酪農家の叫び』宝島社
小出裕章，土井淑平『原発のないふるさとを』批評社
石橋克彦編『原発を終わらせる』岩波書店
北村俊郎『原発推進者の無念：避難所生活で考え直したこと』平凡社
海渡雄一『原発訴訟』岩波書店
原子力行政を問い直す宗教者の会編集『原発総被曝の危機 いのちを守りたい』游学社
樋口健二『原発崩壊：樋口健二写真集』合同出版
小出裕章『子どもたちに伝えたい原発が許されない理由』東邦出版
田原牧『新聞記者が本音で答える「原発事故とメディアへの疑問」』クレヨンハウス
大沼安史『世界が見た福島原発災害 ２死の灰の下で』緑風出版
別冊宝島編集部編『世界で広がる脱原発：フクシマは世界にどう影響を与えたのか』宝島社
広瀬隆『第二のフクシマ、日本滅亡』朝日新聞出版
長谷川公一『脱原子力社会へ：電子力をグリーン化する』岩波書店
北村行孝，三島勇『日本の原子力施設全データ：「しくみ」と「リスク」を再確認する』講談社
【スガ】秀実『反原発の思想史：冷戦からフクシマへ』筑摩書房
郷地秀夫『被爆者医療から見た原発事故：被爆者２０００人を診察した医師の警鐘』かもがわ出版
入江吉正『漂流する国ニッポン：３・１１大震災・福島原発事故で見えた“誰も責任を取らない国”の実相』フォレスト出版
ＫＩＤＳ　ＶＯＩＣＥ編『福島の子どもたちからの手紙：ほうしゃのうっていつなくなるの？』朝日新聞出版
広河隆一『福島原発と人びと』岩波書店
村田厚生『福島第一原発事故・検証と提言：ヒューマン・エラーの視点から』新曜社
アーニー・ガンダーセン 岡崎玲子訳『福島第一原発－真相と展望』集英社
毎日小学生新聞編 森達也『僕のお父さんは東電の社員です：小中学生たちの白熱議論！３・１１と働くことの意味』現代書館
池内了　『娘と話す原発ってなに？』現代企画室
たくきよしみつ『裸のフクシマ：原発３０ｋｍ圏内で暮らす』講談社
星広志　『見捨てられた命を救え： ３・１１アニマルレスキューの記録』社会批評社
吉川順一写真『甦れ！気仙沼港：日本一の漁港を瞼の奥に　写真集』アートダイジェスト

勝川俊雄『日本の魚は大丈夫か：漁業は三陸から生まれ変わる』ＮＨＫ出版
畠山重篤　スギヤマカナヨ絵『鉄は魔法つかい：命と地球をはぐくむ「鉄」物語』小学館
川邉信雄『東日本大震災とコンビニ：便利さ〈コンビニエンス〉を問い直す』早稲田大学出版部
原武史『震災と鉄道』朝日新聞出版
松本春野文・絵『地震の夜にできること。』角川書店
戸塚啓『不動の絆：ベガルタ仙台と手倉森監督の思い』角川書店　角川グループパブリッシング（発売）
エリック・ジョンストン『Ｔｈｅ　Ｊａｐａｎ　Ｔｉｍｅｓニュースダイジェスト 臨時増刊号（２０１１．８）』ジャパンタイムズ
若松丈太郎詩　アーサー・ビナード英訳『ひとのあかし』清流出版
石上智康『生きていく救われていく』徳間書店
水内喜久雄編『続一編の詩があなたを強く抱きしめる時がある』ＰＨＰエディターズ・グループ
天野雀句『５つの原発童話３．１１』鶴書院
中澤晶子作 小林ゆき子絵　『あしたは晴れた空の下で：ぼくたちのチェルノブイリ』汐文社
馬場国敏作 江頭路子絵　『さくら：原発被災地にのこされた犬たち』金の星社
大宮理『もしベクレルさんが放射能を発見していなければ。』ＰＨＰ研究所
鎌田實，佐藤真紀『希望：命のメッセージ』東京書籍
池澤夏樹 鷲尾和彦写真『春を恨んだりはしない：震災をめぐって考えたこと』　中央公論新社
高田昌幸編『希望』旬報社
森哲志『あの人にあの歌を：三陸大津波物語』朝日新聞出版
あの日のわたし編集委員会編『あの日のわたし：東日本大震災９９人の声』創栄出版
椎根和　荒井良二絵　『フクシマの王子さま』芸術新聞社
ファイト新聞社　『宮城県気仙沼発！ファイト新聞』河出書房新社
石井光太　『遺体：震災、津波の果てに』新潮社
花輪莞爾 山浦玄嗣特別寄稿『海が呑む：３．１１東日本大震災までの日本の津波の記憶』晶文社
リチャード・ハルバーシュタット『前を向いて、歩こう。「石巻のイギリス人」からのメッセージ』サンマーク出版
鈴子陽一『東日本大震災を生き抜く：岩手県釜石発／被災者の日記』つり人社
秋山豊寛『来世は野の花に（鍬と宇宙船２）』六耀社
エリザベス・オリバー 三村美智子訳『動物と分かちあう人生』河出書房新社

『震災・原発を知る本ー全国ＳＬＡ選定図書より』（※2012年3月30日現在）から引用

『日本教師学会　推薦図書一覧』の掲載書籍リスト

生田久美子、北村勝朗(編著)『わざ言語ー感覚の共有を通しての「学び」へ』慶應義塾大学出版会
浅田　匡『日本の教育文化を考えるー倫敦の鍵穴から教育を見てみればー』日本教育新聞社
ブラッケン(編)『自己概念研究ハンドブック　金子書房
発達心理学、社会心理学、臨床心理学からのアプローチ』
生田久美子『「わざ」から知る　』東京大学出版会
藤岡完治『関わることへの意志ー教育の根源』国土社
浅田　匡、生田孝至、藤岡完治『成長する教師ー教師学への誘い』金子書房

『日本教師学会　推薦図書一覧』から引用

『ＮＰＯ法人武士道教会　推薦図書一覧』の掲載書籍リスト

山谷えり子『日本よ、永遠なれ』扶桑社新書
村上和雄『人生の暗号』サンマーク出版
奈良毅監修『マンガ古事記』サンマーク出版
松平 容頌『武士道の教科書』ＰＨＰ研究所
李登輝『武士道解題』小学館
蔡焜燦『台湾人と日本精神』日本教文社
内村鑑三『代表的日本人』ＰＨＰ研究所
竹村光太郎『幸運な文明』ＰＨＰ研究所
加藤諦三『格差病社会』大和書房
生江 有二『タスキを繋げ！大八木弘明 駒大駅伝を作り上げた男』
エリザベス・キューブラロス『死ぬ瞬間』読売新聞社

『ＮＰＯ法人武士道教会　推薦図書一覧』から引用

『国際スピリチュアリズム協会　推薦図書一覧』の掲載書籍リスト

開堂慈寛（金城）　『スピリチュアルアウェアネス』
オグ・マンディーノ　『この世で一番の奇跡』
パラマハンサ・ヨガナンダ　『あるヨギの自叙伝』
アン・ドゥーリー 他　『シルバーバーチの霊訓〈1〉～〈12〉』
近藤 千雄　『古代霊は語る』
浅野 和三郎　『小桜姫物語』
ポール・フェリーニ　『無条件の愛』
アイリーン・キャディ　『心の扉を開く』
アイリーン・キャディ　『フィンドホーン愛の言葉』
アイリーン・キャディ　『神は私にこう語った』
シルビア・ブラウン　『スピリチュアル・ノート』
山村 幸夫　『神からのギフト』
ブライアン・L・ワイス　『前世療法』
G・V・オーエン　『ベールの彼方の生活〈1〉～〈4〉』
W・S・モーゼス　『霊訓』
モーリス・バーバネル　『これが心霊の世界だ』
G・カミンズ　『永遠の大道 』
J・S・M・ワード　『死後の世界 』
グレース・クック　『ホワイト・イーグル霊言集』
グレース・クック　『天使と妖精』
江原 啓之　『心霊バイブル』
バーバラ・アン・ブレナン　『光の手〈上・下〉』
青山 圭秀　『理性のゆらぎ』
キリアコス・C・マルキデス　『メッセンジャー』
紀野 一義　『いのちの風光』
紀野 一義　『佛との出会い』
紀野 一義　『大悲 風の如く』
紀野 一義　『名僧列伝〈1〉～〈4〉』

『国際スピリチュアリズム協会　推薦図書一覧』から引用

『新入生に薦める５０冊の本』（京大生協）の掲載書籍リスト

1 ジャレッド・ダイアモンド『銃・病原菌・鉄(上下)』草思社
2 杉山幸丸『進化しすぎた日本人』中公新書ラクレ
3 片山一道『古人骨は生きている』角川選書
4 E.シュレーディンガー『生命とは何か』岩波新書
5 小田 実『何でも見てやろう』講談社文庫
6 朝永 振一郎『量子力学(1)』みすず書房
7 サイモン・シン『フェルマーの最終定理』新潮社
8 デカルト『方法序説』岩波書店
9 林春男『いのちを守る地震防災学』岩波書店
10 土岐憲三ほか(監修)『12歳からの被災者学』日本放送出版協会
11 林春男(監修)『災害のあと始末』株式会社エクスナレッジ
12 伊谷純一郎『原野と森の思考』岩波書店
13 ジェーン・グドール『心の窓』どうぶつ社
14 山極寿一『ヒトはどのようにしてつくられたか』岩波書店
15 田村喜子『京都インクライン物語』山海堂
16 土木学会編『人は何を築いてきたか』山海堂
17 『日経サイエンス』日経サイエンス社
18 池田　巧『中国語のしくみ』白水社
19 青木薫他『この数学書がおもしろい』数学書房
20 数学セミナー編集部(編)『数学ガイダンス hyper』日本評論社
21 志賀浩二『無限のなかの数学』岩波書店
22 ダーウィン　『ビーグル航海記(上中下)』岩波文庫
23 マックス・ヴェーバー『職業としての学問』岩波書店
24 李登輝『「武士道」解題 ノーブレス・オブリージュとは』小学館
25 鈴木大拙『禅』筑摩書房
26 James Allen『「原因」と「結果」の法則』サンマーク出版
27 中山茂『大学生になるきみへー知的空間入門』岩波書店
28 ジョン=ロールズ『正義論』紀伊國屋書店
29 宇沢弘文『社会的共通資本』岩波新書
30 広井良典『定常型社会』岩波新書、2001年
31 米澤貞次郎、永田親義『ノーベル賞の周辺』化学同人
32 逢沢明『ゲーム理論トレーニング』かんき出版
33 武谷三男『弁証法の諸問題』勁草書房
34 カール・マルクス『資本論』新日本出版社
35 竹内淳『高校数学でわかるマクスウェル方程式』講談社

36 長沼 伸一郎『物理数学の直観的方法　第2版』通商産業研究社
37 Anthony J.G Hey&Patrick Walters『目で楽しむ量子力学の本』丸善
38 中尾　佐助『栽培植物と農耕の起源』岩波新書
39 城 繁幸『若者はなぜ3年で辞めるのか?』光文社新書
40 マーク・ピーターセン『日本人の英語』岩波新書
41 『日本語の作文技術』朝日文庫
42 本多勝一『実戦・日本語の作文技術』朝日文庫
43 二井一禎『“マツ枯れ”は森の感染症』二井一禎文一総合出版
44 F．ダイソン『宇宙をかき乱すべきか、ダイソン自伝』ちくま学芸文庫
45 笠原晧司『対話微分積分学』現代数学社
46 米沢富美子『人物で語る物理学入門　上・下』岩波新書
47 嶺重慎・小久保英一郎(編)『宇宙と生命の起源　ビッグバンから人類誕生まで』岩波ジュニア新書
48 湯川秀樹『旅人』角川文庫
49 岡潔『春宵十話』光文社文庫
50 鎌田浩毅『成功術 時間の戦略』文春新書
51 中江兆民『三酔人経論問答』岩波書店
52 古関彰一『憲法九条はなぜ制定されたか』岩波書店
53 今中忠行『微生物と共生しよう』化学同人
54 内田樹『先生はえらい』筑摩書房
55 西村三郎『リンネとその使徒たち』朝日新聞社
56 井上章一『パンツが見える』朝日新聞社

『新入生に薦める５０冊の本』（京大生協）から引用

『西洋文学この１００冊』（京都大学文学部西洋文化学系編）の掲載書籍リスト

1 『聖書』日本聖書協会
2 呉茂一著『ギリシア神話』新潮文庫（上・下）
3 ホメロス『イリアス』岩波文庫（上・下）
4 呉茂一訳『ギリシア・ローマ抒情詩選 : 花冠』岩波文庫
5 ソポクレース『オイディプース王』ギリシア悲劇全集3岩波書店
6 ヘロドトス『歴史』岩波文庫（全3冊）
7 プラトン『饗宴』(プラトン全集5)岩波書店
8 クセノポン『アナバシス : 敵中横断6000キロ』岩波文庫
9 ロンゴス『ダフニスとクロエー』岩波文庫
10 プラウトゥス『ほら吹き兵士 他』(ローマ喜劇集3)京都大学学術出版会西洋古典叢書
11 キケロー『国家について』(キケロー選集8)岩波書店
12 ウェルギリウス『アエネーイス』京都大学学術出版会西洋古典叢書
13 アリストテレース、ホラーティウス『詩学・詩論』岩波文庫
14 オウィディウス『変身物語』岩波文庫（上・下）
15 ペトローニウス『サテュリコン』岩波文庫
16 著者不詳『ロシア原初年代記』名古屋大学出版会
17 アレクサンドル・プーシキン『オネーギン』岩波文庫
18 ドストエフスキー『白痴』新潮文庫（上・下）
19 レフ・トルストイ『戦争と平和』新潮文庫（全4冊）
20 アントン・チェーホフ『桜の園』岩波文庫
21 ソルジェニーツィン『イワン・デニーソヴィチの一日』新潮文庫
22 セルゲイ・ドヴラートフ『わが家の人びと : ドヴラートフ家年代記』成文社
23 アダム・ミツキエヴィチ『パン・タデウシュ』講談社文芸文庫（上・下）
24 イヴァシュキェヴィッチ『尼僧ヨアンナ』岩波文庫
25 カレル・チャペック『外典』(チャペック小説選集6)成文社
26 イヴォ・アンドリッチ『ドリナの橋』恒文社
27 ミロラド・パヴィチ『風の裏側』東京創元社
28 イェジー・フィツォフスキ他『文学の贈り物 : 東中欧文学アンソロジー』未知谷
29 生野幸吉・檜山哲彦編『ドイツ名詩選』岩波文庫
30 ゲーテ『ファウスト』中公文庫（全三冊）
31 ノヴァーリス『青い花』岩波文庫
32 今泉文子編訳『ドイツ幻想小説傑作選 : ロマン派の森から』ちくま文庫
33 フリードリヒ・ニーチェ『悲劇の誕生』岩波文庫
34 シュニッツラー『夢小説・闇への逃走　他1篇』岩波文庫
35 ホフマンスタール『チャンドス卿の手紙　他10篇』岩波文庫

36 リルケ『マルテの手記』新潮文庫
37 トーマス・マン『トニオ・クレーゲル : ヴェニスに死す』新潮文庫
38 フランツ・カフカ『カフカ短篇集』岩波文庫
39 ヴァルター・ベンヤミン『記憶への旅』(ベンヤミン・コレクション3)ちくま学芸文庫
40 ミヒャエル・エンデ『モモ』岩波書店
41 ベルンハルト・シュリンク『朗読者』新潮社クレスト・ブックス
42 ジェフリー・チョーサー『カンタベリー物語』岩波文庫（全3冊）
43 シェイクスピア『ヴェニスの商人』白水Uブックス
44 シェイクスピア『ハムレット』ちくま文庫
45 シェイクスピア『ソネット集』岩波文庫
46 ジョナサン・スウィフト『ガリヴァー旅行記』岩波文庫
47 シェリダン『悪口学校』岩波文庫
48 ウィリアム・ワーズワス『対訳ワーズワス詩集』岩波文庫
49 エミリー・ブロンテ『嵐が丘』光文社古典新訳文庫
50 ディケンズ『大いなる遺産』河出文庫
51 R．L．スティーヴンスン『バラントレーの若殿』岩波文庫
52 ジェイムズ・ジョイス『若い芸術家の肖像』新潮文庫
53 T．S．エリオット『エリオット』筑摩叢書
54 サミュエル・ベケット『ゴドーを待ちながら』白水社
55 エミリー・ディキンソン『対訳ディキンソン詩集』岩波文庫
56 エドガー・アラン・ポオ『ポオ小説全集』創元推理文庫（全4冊）
57 ハーマン・メルヴィル『白鯨』岩波文庫（全3冊）
58 マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』岩波文庫（上・下）
59 ヘンリー・ジェイムズ『金色の盃』講談社文芸文庫
60 イーディス・ウォートン『エイジ・オブ・イノセンス』新潮文庫
61 フィッツジェラルド『偉大なるギャツビー』新潮文庫
62 ウィリアム・フォークナー『響きと怒り』講談社文芸文庫
63 リチャード・ライト『アメリカの息子』ハヤカワ文庫
64 J・D・サリンジャー『ナイン・ストーリーズ』新潮文庫
65 トルーマン・カポーティ『遠い声遠い部屋』新潮文庫
66 ジョゼフ・ヘラー『キャッチ＝22』ハヤカワ文庫
67 ウラジーミル・ナボコフ『セバスチャン・ナイトの真実の生涯』講談社文芸文庫
68 フランソワ・ラブレー『ガルガンチュア物語 : パンタグリュエル物語』岩波文庫（全5冊）
69 モンテーニュ『エセー』岩波文庫（全6冊）
70 ラファイエット夫人『クレーヴの奥方』岩波文庫
71 ジャン・ラシーヌ『フェードル　アンドロマック』岩波文庫
72 ジャン=ジャック・ルソー『人間不平等起源論』中公文庫

73 ドニ・ディドロ『ダランベールの夢』岩波文庫
74 スタンダール『赤と黒』岩波文庫（上・下）
75 オノレ・ド・バルザック『ペール・ゴリオ : パリ物語』藤原書店
76 ヴィクトル・ユーゴー『レ・ミゼラブル』岩波文庫（全4冊）
77 ボードレール『悪の華』集英社文庫
78 フローベール『ボヴァリー夫人』岩波文庫（上・下）
79 ランボー『アルチュール・ランボー詩集』ちくま文庫
80 ジャン・コクトー『恐るべき子どもたち』岩波文庫
81 アンドレ・ブルトン『ナジャ』白水Ｕブックス
82 アルベール・カミュ『異邦人』新潮文庫
83 ユルスナール『東方綺譚』白水Ｕブックス
84 ダンテ『神曲』河出書房新社
85 ペトラルカ『わが秘密』岩波文庫
86 ボッカッチョ『デカメロン』ちくま文庫（全3冊）
87 ルドヴィーコ・アリオスト『狂えるオルランド』名古屋大学出版会
88 ニコロ・マキアヴェリ『君主論』中公文庫
89 トルクァート・タッソ『愛神の戯れ : 牧歌劇アミンタ』岩波文庫
90 カルロ・ゴルドーニ『抜け目のない未亡人』岩波文庫
91 マンゾーニ『いいなづけ』河出書房新社
92 ジョヴァンニ・ヴェルガ『カヴァレリーア・ルスティカーナ他11編』岩波文庫
93 ルイージ・ピランデッロ『ピランデッロ戯曲集』新水社（全2冊）
94 ナタリーア・ギンズブルク『ある家族の会話』白水Ｕブックス
95 アルベルト・モラーヴィア『無関心な人々』岩波文庫（上・下）
96 ウンベルト・エーコ『薔薇の名前』東京創元社（全2冊）
97 ヘンリック・イプセン『人形の家』岩波文庫
98 ミゲル・デ・セルバンテス『ドン・キホーテ』岩波文庫（全6冊）
99 ホルヘ・ルイス・ボルヘス『伝奇集』岩波文庫
100 ガルシア＝マルケス『族長の秋』集英社文庫

『西洋文学この１００冊』（京都大学文学部西洋文化学系編）から引用

『環境社会人類学分野　推薦図書リスト』（東北大学※2006年）の掲載書籍リスト

（１）人類学の古典的民族誌

エヴァンズ・プリチャード『ヌアー族』岩波／平凡社ﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ
川田順三『無文字社会の歴史』岩波現代文庫
エヴァンズ・プリチャード『ヌアー族の宗教』岩波／平凡社ﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ
ヴィクター・ターナー『儀礼の過程』新思索社
Ｅ・リーチ『高地ビルマの政治体系』弘文堂

（２）研究史と基本概念

クリフォード・ギアツ『文化の解釈学』岩波現代選書
Ａ・クーパー『人類学の歴史』明石書店
エドマンド・リーチ『社会人類学案内』岩波書店
中根千枝『社会人類学ーアジア諸社会の考察』東大出版／講談社学術新書
レヴィ＝ストロース『レヴィ＝ストロース講義　現代世界と人類学』サイマル／平凡社ライブラリー
小田亮『レヴィ＝ストロース入門』ちくま新書
太田好信・浜本満編『メイキング文化人類学』世界思想社

（３）現代人類学を理解するために

Ｅ・ホブズボウム他『創られた伝統』紀伊國屋書店
ジョージ・マーカス他『文化批評としての人類学』紀伊國屋書店
C.ギアツ『文化の読み方・書き方』岩波書店
J.クリフォード『文化の窮状』人文書院
大塚和夫『異文化としてのイスラーム』同文舘出版
山下晋司編『現代人類学のプラクシスー科学技術をみる視座』有斐閣
前川啓治『グローカリゼーションの人類学ー国際文化・開発・移民』新曜社
杉島敬編『人類学的実践の再構築』世界思想社
清水昭俊編『周辺民族の現在』世界思想社
森明子編『歴史叙述の現在―歴史学と人類学の対話』人文書院
栗本英世ほか編『植民地経験』人文書院
吉田憲司『文化の「発見」』岩波書店
山下晋司編『観光人類学』新曜社
瀬川昌久編『文化のディスプレイ』風響社

（４）フィールドワークと調査法

須藤健一編『フィールドワークを歩く一文科系研究者の知識と経験』嵯峨野書院
鶴見良行『辺境学ノート』めこん
佐藤郁哉『フィールドワーク―書を持って街へ出よう』新曜社

（５）中国社会研究のために

毛里和子『周縁からの中国・民族問題と国家』東京大学出版会
瀬川昌久『中国社会の人類学』世界思想社
橋本萬太郎編『漢民族と中国社会』山川出版社・民族の世界史５
末成道男編『中国文化人類学文献解題』東京大学出版

（６）シベリア研究のために

田中克彦『言語からみた民族と国家』岩波現代文庫
塩川伸明『多民族国家ソ連の興亡Ⅰ　民族と言語』岩波書店
J・フォーシス『シベリア先住民の歴史』彩流社
高倉浩樹『社会主義の民族誌』東京都立大学出版会

『環境社会人類学分野　推薦図書リスト』（東北大学※2006年）から引用

『東北大学文学部社会学研究室　教員推薦書籍ー社会学ことはじめー』の掲載書籍リスト

エミール・デュルケム『自殺論』中公文庫
アーヴィング・ゴッフマン『行為と演技ー日常生活における自己呈示』誠信書房
アレクシス・トクヴィル『アメリカの民主政治』講談社学術文庫
塩野七生『ローマ人の物語』全15巻新潮社
大塚信一『理想の出版を求めてーーー編集者の回想1963-2003』トランスビュー
マックス・ヴェーバー『職業としての学問』岩波文庫
マックス・ヴェーバー『社会科学と社会政策にかかわる認識の「客観性」』岩波文庫
ニクラス・ルーマン『情熱としての愛』木鐸社
ユルゲン・ハーバーマス『他者の受容』法政大学出版局
フィリップ・アリエス『「子供」の誕生ーアンシァン・レジーム期の子供と家族生活』みすず書房
村上泰亮ほか『文明としてのイエ社会』中央公論社
ベネディクト・アンダーソン『〈増補〉想像の共同体ーナショナリズムの起源と流行』NTT出版
デヴィッド・ハーヴェイ『ポストモダニティの条件』青木書店
斎藤日出治・岩永真治『都市の美学』平凡社

『東北大学文学部社会学研究室　教員推薦書籍ー社会学ことはじめー』から引用

『信州大学中央図書館　教員推薦図書』の掲載書籍リスト

佐久間 一浩『トポロジー集中講義:オイラー標数をめぐって』培風館
内山節『哲学の冒険:生きることの意味を探して』平凡社
アンドレ・コント＝スポンヴィル『ささやかながら、徳について』紀伊国屋書店
プリーモ レーヴィ『溺れるものと救われるもの』朝日新聞社
Ｅ．Ｗ．サイード『知識人とは何か』平凡社
日本戦没者学生記念会編『きけわだつみのこえ(新版)』光文社
北條民雄『いのちの初夜』角川文庫
原口統三『定本二十歳のエチュード』筑摩書房
フランクル『死と愛』みすず書房
三島由紀夫『春の雪(豊饒の海)』新潮文庫
『奔馬(豊饒の海)』
『暁の寺(豊饒の海)』
『天人五衰(豊饒の海)』
渡辺公三『司法的同一性の誕生』言叢社
東京国立近代美術館,三重県立美術館,宮城県美術館『日本彫刻の近代』淡交社
阿部謹也『ヨーロッパを見る視角』岩波現代文庫
サイモン シン『フェルマーの最終定理』新潮社
モナ・アハメド『インド 第三の性を生きる 素顔のモナ・アハメド』青土社
ロイ・ポーター『狂気』岩波書店
K.クラーク ・C.ペドレッティ『レオナルド・ダ・ヴィンチ素描集』朝倉書店
スラヴォイ・ジジェク『斜めから見る:大衆文化を通してラカン理論へ』『快楽の転移』青土社
梶井厚志『戦略的思考の技術:ゲーム理論を実践する』中央公論新社
Amin Maalouf『アラブが見た十字軍』筑摩書房
ダニエル キイス『アルジャーノンに花束を』早川書房
北杜夫『どくとるマンボウ青春記』新潮社
杉浦明平訳『レオナルド・ダ・ヴィンチの手記』(上下)岩波書店
古賀弘人訳『チェッリーニ自伝』(上下)岩波書店
クリストファー・ヒッバート『メディチ家:その勃興と没落』リブロポート
Raymond De Roover『The Rise and Decline of the Medici Bank:1397-1494』Beardbooks
ジョン・サール『心・脳・科学』岩波書店
澤口 俊之『「私」は脳のどこにいるのか』筑摩書房
ロバート・オーンスタインほか『脳ってすごい!』草思社
茂木 健一郎『脳とクオリア：なぜ脳に心が生まれるのか』日経サイエンス社
スーザン グリーンフィールド『脳の探究一感情・記憶・思考・欲望のしくみ』無名舎
オルテガ『大衆の反逆』中央公論新社ほか

クラウゼヴィッツ『戦争論』中央公論新社ほか
カール・R.ポパー『歴史主義の貧困:社会科学の方法と実践』中央公論社
カール・ポランニー『経済の文明史』筑摩書房
鷲田清一『「待つ」ということ』角川学芸出版
ヨハン・ホインジンガ『明日の蔭の中で』河出書房新社ほか
F・A・ハイエク『隷属への道』春秋社

『信州大学中央図書館　教員推薦図書』から引用

『東京外国語大学　イスラム関係推薦図書目録』の掲載書籍リスト

目録 堀込静香編『アフガニスタン文献目録稿』日本・アフガニスタン協会
宗教 ジル・ケペル『宗教の復讐』晶文社
宗教 中村廣治郎『イスラームと近代』岩波書店
宗教 井上順孝,大塚和夫編『ファンダメンタリズムとは何か:世俗主義への挑戦』新曜社
宗教 ホセ・カサノヴァ『近代世界の公共宗教』玉川大学出版部
宗教 中村廣治郎『イスラム:思想と歴史』東京大宅出版会
宗教 平凡社[編]『イスラム事典』平凡社
宗教 黒田寿郎編『イスラ-ム辞典』東京堂出版
宗教 片倉もとこ『イスラームの日常世界』岩波書店
宗教 東長靖『イスラームのとらえ方』山川出版社
宗教 ブハーリー『ハディース:イスラーム伝承集成』中央公論社
宗教 小杉泰『イスラームとは何か:その宗教・社会・文化』講談社
宗教 井筒俊彦訳『コーラン』岩波書店
宗教 中村廣治郎『イスラム教入門』岩波書店
歴史 山内昌之『イスラームと世界史』筑摩書房
歴史 藤田進『蘇るパレスチナ:語りはじめた難民たちの証言』東京大学出版会
歴史 ウィルフレッド・キャントウェル・スミス『現代におけるイスラム』紀伊国屋書店
歴史 加賀谷寛,浜口恒夫『パキスタン・バングラデシュ』山川出版社
歴史 永田雄三ほか]『トルコ・イラン・アフガニスタン』山川出版社
歴史 屋形禎亮,佐藤次高『西アジア』朝日新聞社
歴史 フランシス・ロビンスン『イスラム世界』朝倉書店
歴史 間野英二責任編集『中央アジア史』同朋舎
歴史 間野英二責任編集『西アジア史』同朋舎
歴史 蝋山芳郎『インド・パキスタン現代史』岩波書店
歴史 東亜研究所[編]『印度・アフガニスタン國境:その紛争と民族（資料』東亜研究所
歴史 近藤治『現代南アジア史研究:インド・パキスタン関係の原形と展開』世界思想社
歴史 アーイシャ・ジャラール『パキスタン独立』勁草書房
歴史 エドワ-ド・W.サイ-ド『イスラム報道:ニュ-スはいかにつくられるか』みすず書房
歴史 アハメド・ラシッド『タリバン:イスラム原理主義の戦士たち』講談社
歴史 デビッド・イスビー『アフガニスタン戦争:はるかな地の戦い』大日本絵画
歴史 山上徹二郎編『アフガンアフガニスタン:写真集1978-1988』記録社
歴史 三野正洋『わかりやすいアフガニスタン戦争:「赤い帝国」最強ソ連軍,最初の敗退』光人社
歴史 余部福三『イスラーム全史』勁草書房
歴史 アミン・マアルーフ『アラブが見た十字軍』リブロポート
歴史 三浦徹『イスラームの都市世界』山川出版社

歴史 加藤博『イスラーム世界の危機と改革』山川出版社
歴史 冨岡倍雄『パレスチナ問題の歴史と国民国家:パレスチナ人と現代世界』明石書店
歴史 バーナード・ルイス『イスラーム世界の二千年:文明の十字路中東全史』草思社
歴史 トマス・ジョゼフ・アサド『アラブに憑かれた男たち:バートン,ブラント,ダウティ』法政大学出版局
歴史 ハナン・アシュラウィ『パレスチナ報道官わが大地への愛』朝日新聞社
歴史 佐藤次高,鈴木董編『都市の文明イスラーム』講談社
歴史 鈴木董編『パクス・イスラミカの世紀』講談社
歴史 坂本勉,鈴木董編『イスラーム復興はなるか』講談社
歴史 岡倉徹志『サウジアラビア現代史』文藝春秋
歴史 広河隆一『パレスチナ:瓦礫の中のこどもたち』徳間書店
歴史 広河隆一『パレスチナ難民キャンプの瓦礫の中で:フォト・ジャーナリストが見た三十年』草思社
歴史 奈良本英佑『君はパレスチナを知っているか:パレスチナの一〇〇年』ほるぷ出版
歴史 広河隆一『パレスチナ』岩波書店
歴史 アブドゥル・ハミード,アブドゥル・ガフール・チョウハダ『パキスタン』ほるぷ出版
地理 モタメディ遥子『シルクロードの十字路で』実業之日本社
地理 金子民雄『アフガンの光と影』北宋社
地理 アンネマリー・シンメル『アンネマリー・シンメルのパキスタン・インド歴史紀行』大学教育出版
地理 斎藤由美子『不思議の国パキスタン』東洋出版
社会 山中一郎,深町宏樹編『パキスタン:その国土と市場』科学新聞社出版局
社会 津田元一郎『アフガニスタンとイラン:人とこころ』アジア経済研究所
社会 佐々木徹『アフガンの四季』中央公論社
社会 辛島昇[ほか]監修『南アジアを知る事典』平凡社
社会 片倉もとこ編『イスラーム教徒の社会と生活』悠思社
社会 後藤明編『文明としてのイスラーム』悠思社
社会 堀川徹編『世界に広がるイスラーム』悠思社
社会 竹下政孝編『イスラームの思考回路』悠思社
社会 湯川武編『イスラーム国家の理念と現実』悠思社
社会 三浦徹,東長靖,黒木英充編『イスラーム研究ハンドブック』悠思社
社会 高橋和夫『燃えあがる海:湾岸現代史』東京大学出版会
社会 小杉泰編『イスラームに何がおきているか:現代世界とイスラーム復興』平凡社
社会 山岸智子,飯塚正人編『イスラーム世界がよくわかる人々の暮らし・経済・社会』亜紀書房
社会 栗田禎子編『中東:多元的中東世界への序章』大月書店
社会 加藤博『イスラム世界の常識と非常識』淡交社
社会 宮田律『現代イスラムの潮流』集英社

社会 小林豊『なぜ戦争はおわらないのか:ぼくがアフガニスタンでみたこと』ポプラ社
社会 中村哲『アフガニスタンの診療所から』筑摩書房
社会 山本芳幸『戦争しか知らない子どもたち:カブール・ノート』幻冬舎
社会 田中宇『タリバン』光文社
社会 小西正捷編『もっと知りたいパキスタン』弘文堂
社会 宮田律『イスラムでニュースを読む:イスラム紛争の火種をさぐる』自由国民社
社会 宮田律『イスラム・パワー:21世紀を支配する世界最大勢力の謎』講談社
社会 松浪健四郎『アフガニスタン褐色の日々』講談社
政治 M.K.ユルゲンスマイヤー『ナショナリズムの世俗性と宗教性』玉川大学出版部
政治 山中一郎編(研究双書)『パキスタンにおける政治と権力:統治エリートについての考察』アジア経済研究所
政治 山内昌之編『「イスラム原理主義」とは何か』岩波書店
政治 ファーティマ・メルニーシー『イスラームと民主主義:近代性への怖れ』平凡社
政治 内川秀二編『[緊急リポート]パキスタン-軍事クーデターの背景』日本貿易振興会アジア済研究所
政治 松原正毅編集代表,NIRA編集『lang=ZH-TWstyle=mso-fareast-language:ZH-TW>世界民族問題事典』平凡社
政治 飯塚正人監『よくわかるイスラム原理主義のしくみ:テロと新しい戦争の深みを読み解く』中経出版
政治 角間隆『ビンラディン対アメリカ報復の連鎖:ドキュメント・ノベル+用語解説』小学館
政治 小杉泰『イスラーム世界』筑摩書房
政治 山内昌之『イスラームと日本政治』中央公論新社
政治 西脇文昭『インド対パキスタン:核戦略で読む国際関係』講談社
政治 山内昌之『イスラームと国際政治:歴史から読む』岩波書店
政治 臼杵陽『原理主義』岩波書店
政治 山中一郎編『パキスタンにおける政治と権力:統治エリートについての考察』アジア経済研究所
民族 綾部恒雄監修『世界民族事典』弘文堂
医学 提箸延幸『平和な国の医者だけど:アフガン戦傷者病院診療日誌』講談社出版サービスセンター
医学 中村哲『ペシャワールにて:癩そしてアフガン難民』石風社
医学 中村哲『医者井戸を掘る:アフガン旱魃との闘い』石風社
産業 佐藤拓『パキスタン・ビジネス最前線:駐在員が見た実力と将来』ジェトロ
農業 大野盛雄『アフガニスタンの農村から:比較文化の視点と方法』岩波書店
美術 谷岡清『アフガニスタンの美』小学館
文学 サーラ・スレーリ『肉のない日:あるパキスタンの物語』みすず書房
文学 ドミニク・ラピエ-ル,ラリ-・コリンズ『今夜、自由を:インド・パキスタンの独立』早川書房

『東京外国語大学　イスラム関係推薦図書目録』から引用

『同志社女子大学　現代こども学科　推薦図書一覧』の掲載書籍リスト

【1】こどもをとりまく諸問題にはどんなものがあるのだろうか

・自分を考えるために―女性・働くこと

榎本博明『「ほんとうの自分」のつくり方：自己物語の心理学』講談社
上野千鶴子『生き延びるための思想：ジェンダー平等の罠』岩波書店
松岡悦子編『産む・産まない・産めない：女性のからだと生きかた読本』講談社
遠藤智子『デートDV：愛か暴力か、見抜く力があなたを救う』KKベストセラーズ
柏木惠子監修『夫をうとましく思う妻の心がわかる本：不思議な「心」のメカニズムが一目でわかる』講談社
本田和子『それでも子どもは減っていく』筑摩書房
上野千鶴子,信田さよ子『結婚帝国』河出書房新社
汐見稔幸編『子どもにかかわる仕事』岩波書店

・社会や他者をかんがえるために

梁石日『闇の子供たち』幻冬舎
朴一『「在日コリアン」ってなんでんねん？』講談社
工藤律子『ストリートチルドレン：メキシコシティの路上に生きる』岩波書店
サフィア・ミニー『おしゃれなエコが世界を救う：女社長のフェアトレード奮闘記』日経BP出版センター
湯浅誠『反貧困：「すべり台社会」からの脱出』岩波書店
堤未果『ルポ貧困大国アメリカ』岩波書店
西日本新聞社「食くらし」取材班『価格の向こう側』西日本新聞社
吉川徹『学歴分断社会』筑摩書房

・こどもをとりまく諸問題

広田照幸『日本人のしつけは衰退したか：「教育する家族」のゆくえ』講談社
尾木直樹『いじめ問題とどう向き合うか』岩波書店
阿部彩『子どもの貧困：日本の不公平を考える』岩波書店
佐藤淑子『日本の子どもと自尊心：自己主張をどう育むか』中央公論新社
西澤哲『子ども虐待』講談社
東洋『日本人のしつけと教育：発達の日米比較にもとづいて』東京大学出版会
梶田正巳,松本一子,加賀澤泰明編『外国人児童・生徒と共に学ぶ学校づくり』ナカニシヤ出版

山脇啓造,横浜市立いちょう小学校編『多文化共生の学校づくり：横浜市立いちょう小学校の挑戦』明石書店
塘利枝子ほか編『発達家族心理学を拓く：家族と社会と個人をつなぐ視座』ナカニシヤ出版
福田誠治『フィンランドは教師の育て方がすごい』亜紀書房
柏木惠子『親と子の愛情と戦略』講談社
柏木惠子『父親になる,父親をする：家族心理学の視点から』岩波書店

・発達障害、不登校など

小西行郎『発達障害の子どもを理解する』集英社
山本おさむ『どんぐりの家』小学館
戸部けいこ『光とともに・・・：自閉症児を抱えて』秋田書店
国立教育政策研究所生徒指導研究センター[編]『不登校への対応と学校の取組について』ぎょうせい
齊藤万比古編『発達障害が引き起こす不登校へのケアとサポート』学研教育出版
児玉良一編『子どもが使える教材・ツール・ワークシート』学事出版
浜井浩一,村井敏邦編『発達障害と司法：非行少年の処遇を中心に』現代人文社
小野次朗,上野一彦,藤田継道編『よくわかる発達障害：LD・ADHD・高機能自閉症・アスペルガー症候群』ミネルヴァ書房
佐々木正美,梅永雄二監修『大学生の発達障害：不思議な「心」のメカニズムが一目でわかる』講談社
松本恵美子,薮内道子,高畑芳美『乳・幼児期の気づきから始まる安心支援ガイド：発達障害CHECK&DO』明治図書出版
秦野悦子,山崎晃編『保育のなかでの臨床発達支援』　ミネルヴァ書房
長崎勤,古澤頼雄,藤田継道編『臨床発達心理学概論：発達支援の理論と実際』ミネルヴァ書房
藤崎眞知代ほか編『育児・保育現場での発達とその支援』ミネルヴァ書房
学力問題・教育改革
志水宏吉『学力を育てる』岩波書店
藤田英典『教育改革のゆくえ：格差社会か共生社会か』岩波書店
苅谷剛彦,山口二郎『格差社会と教育改革』　岩波書店
内田樹『下流志向：学ばない子どもたち働かない若者たち』講談社

【２】こどもをとりまく諸問題を解決し、こどもをケアしていくためにはどうしたらいいか

・あかちゃんからこどもへの発達

小西行郎『赤ちゃんと脳科学』集英社

岡本夏木『幼児期：子どもは世界をどうつかむか』岩波書店
山口真美『赤ちゃんは世界をどう見ているのか』平凡社
柏木惠子『子どもが育つ条件：家族心理学から考える』岩波書店
開一夫『赤ちゃんの不思議』岩波書店

・こどもとあそび

仙田満『子どもとあそび：環境建築家の眼』岩波書店
橋爪紳也『日本の遊園地』講談社
岩井俊雄『いわいさんちへようこそ！』紀伊國屋書店

・学びをかんがえるために

海保博之『心理学ってどんなもの』岩波書店
美馬のゆり,山内祐平『「未来の学び」をデザインする：空間・活動・共同体』東京大学出版会
苅谷剛彦『学校って何だろう：教育の社会学入門』筑摩書房
藤田英典『義務教育を問いなおす』筑摩書房
小松太郎『教育で平和をつくる：国際教育協力のしごと』岩波書店
小山静子ほか『「育つ・学ぶ」の社会史：「自叙伝」から』藤原書店

・こどもと自然

今西錦司『自然学の展開』講談社
河合雅雄『子どもと自然』岩波書店
幸田文『木』新潮社
レイチェル・カーソン;上遠恵子訳;森本二太郎写真『センス・オブ・ワンダー』新潮社
丸山茂徳,磯崎行雄『生命と地球の歴史』岩波書店
河合雅雄編『ふしぎの博物誌：動物・植物・地学の32話』中央公論新社
鷲谷いづみ『自然再生：持続可能な生態系のために』中央公論新社
西岡常一,小川三夫,塩野米松『木のいのち木のこころ：「天・地・人」』新潮社
有川浩『植物図鑑』角川書店

・こどもと算数・数学

広瀬智子『子どもと遊ぶ算数教室』岩波書店
吉田洋一『零の発見：数学の生い立ち』岩波書店
中山理『算数再入門：わかる、たのしい、おもしろい』中央公論新社

前川公一編『365日の算数学習指導案：活用力・思考力・表現力を育てる！』明治図書出版
田中博史編『「板書見ながら」算数作文：話すだけの授業からの脱却』明治図書出版
石田淳一,神田恵子『話し合う力がぐんぐん育つ！算数シナリオ&授業記録活用法』明治図書出版
杉山吉茂『確かな算数・数学教育をもとめて：杉山吉茂算数・数学教育論選集』東洋館出版社
細水保宏『算数のプロが教える教材づくりのコツ』東洋館出版社
尾崎正彦『「書くっておもしろい！」表現力を鍛える算数授業のススメ』東洋館出版社
小西豊文,芥川智子編『イラスト解説今日からできる！算数的活動の実践モデル』明治図書出版

・こどもと言葉

安田敏朗『「国語」の近代史：帝国日本と国語学者たち』中央公論新社
田中克彦『漢字が日本語をほろぼす』角川マーケティング
阿辻哲次『漢字の相談室』文藝春秋
松岡正剛『白川静：漢字の世界観』平凡社

・こどもと文学

灰谷健次郎『兎の眼』角川書店
灰谷健次郎『わたしの出会った子どもたち』角川書店
谷川俊太郎『谷川俊太郎詩集』角川春樹事務所
金子みすゞ『金子みすゞ童謡集』角川春樹事務所
まどみちお『まど・みちお詩集』角川春樹事務所
工藤直子『工藤直子詩集』角川春樹事務所
阪田寛夫『阪田寛夫詩集』角川春樹事務所
松居直『絵本・物語るよろこび』福武書店

・こどもとメディア

菅谷明子『メディア・リテラシー：世界の現場から』岩波書店
キャロル・S・ドゥエック;今西康子訳『「やればできる！」の研究：能力を開花させるマインドセットの力』草思社
ハワード・ガードナー;中瀬英樹訳『知的な未来をつくる「五つの心」』ランダムハウス講談社
ジャンニ・ロダーリ;窪田富男訳『ファンタジーの文法：物語創作法入門』筑摩書房
梅田望夫,飯吉透『ウェブで学ぶ：オープンエデュケーションと知の革命』筑摩書房
小林由利子ほか『ドラマ教育入門』図書文化社
こどもと社会
網野善彦『日本社会の歴史（上）』岩波書店

網野善彦『日本社会の歴史（中）』岩波書店
網野善彦『日本社会の歴史（下）』岩波書店
赤坂憲雄『東西/南北考：いくつもの日本へ』岩波書店
水野直樹,藤永壯,駒込武編『日本の植民地支配：肯定・賛美論を検証する』岩波書店
出雲公三作・画『バナナとエビと私たち：カラー版』岩波書店
大隅清治『クジラと日本人』岩波書店
森英樹『国際協力と平和を考える50話』岩波書店
早瀬昇,松原明『NPOがわかるQ&A』　岩波書店
村田武『コーヒーとフェアトレード』筑波書房
新井明ほか編『経済の考え方がわかる本』岩波書店
内藤陽介『これが戦争だ！：切手で読みとく』筑摩書房
橘木俊詔『格差社会：何が問題なのか』岩波書店
清水正『世界に広がるフェアトレード：このチョコレートが安心な理由(わけ)』創成社
こどもと芸術
東山明,東山直美『子どもの絵は何を語るか：発達科学の視点から』日本放送出版協会
岩城宏之『岩城音楽教室：美を味わえる子どもに育てる』光文社
田中敬三『粘土でにゃにゅにょ：土が命のかたまりになった！』岩波書店

・こどもとスポーツ

藤田紘一郎『原始人健康学：家畜化した日本人への提言』新潮社
斎藤孝『身体感覚を取り戻す：腰・ハラ文化の再生』日本放送出版協会
乙武洋匡『五体不満足』講談社
重松清『スポーツを「読む」』集英社
永井洋一『スポーツは「良い子」を育てるか』日本放送出版協会
中山和義『スポーツから気づく大切なこと。』実業之日本社
高山修『体験教育が日本を救う』日刊スポーツ出版社
佐保豊『日本のスポーツはあぶない』小学館
宮下充正『子どものときの運動が一生の身体(からだ)をつくる』明和出版

【３】こども学を実践し、発信していくために

中野民夫『ファシリテーション革命：参加型の場づくりの技法』岩波書店
岩波書店編集部編『フィールドワークは楽しい』岩波書店
宮内泰介『自分で調べる技術：市民のための調査入門』岩波書店
中野民夫『ワークショップ：新しい学びと創造の場』岩波書店
栗山さやか『なんにもないけどやってみた：プラ子のアフリカボランティア日記』岩波書店

【４】こどもと教師

大村はま『新編教えるということ』筑摩書房
NHK「こども」プロジェクト『4年1組命の授業：金森学級の35人』日本放送出版協会
金森俊朗『いのちの教科書：生きる希望を育てる』角川書店
小野田正利編『イチャモンどんとこい！：保護者といい関係をつくるためのワークショップ：DVD付』学事出版
乾美紀,中村安秀編『子どもにやさしい学校：インクルーシブ教育をめざして』ミネルヴァ書房

『同志社女子大学　現代こども学科　推薦図書一覧』から引用

『関西外語大学　英語キャリア学部　夏休み推薦図書２０１３』の掲載書籍リスト

1. 英語学・社会科学関係図書

1 『言語を生みだす本能(上)(下)』NHKブックス
2 『遺伝子の川』草思社
3 『Twelve Angry Men』英宝社
4 『Guns, Germs, and Steel: the Fates of Human Societies』W.W. Norton
5 『よくわかる日本経済入門』朝日新書
6 『デフレーション』日本経済新聞出版社
7 『モダリティ』開拓社
8 『認知文法論序説』研究社
9 『Conflict After the Cold War : Arguments on Causes of War and Peace』Pearson
10 『最底辺の10億人 : 最も貧しい国々のために本当になすべきことは何か?』日経BP社
11 『そうだったのか！アメリカ』集英社文庫
12 『そうだったのか！現代史』集英社文庫
13 『英語達人塾 : 極めるための独習法指南』中公新書
14 『英語で話す「日本の謎」Q&A一外国人が聞きたがる１００のWHY』講談社インターナショナル
15 『英語力を鍛えたいなら、あえて訳す』日本経済新聞出版社
16 『わかったつもり : 読解力がつかない本当の原因』光文社新書
17 『新・日本の外交』中央公論社
18 『The Japanese Question: Power and Purpose in a New Era』AEI Press
19 『新戦争論：グローバル時代の組織的暴力』岩波書店
20 『Embracing Defeat : Japan in the Wake of World War II』W.W. Norton

2. LgD・エクステンション科目（ネイティブ教員）担当者推薦図書

1 『Straw Dogs: Thoughts on Humans and Other Animals』Granta Books
2 『The Essential Marcus Aurelius』Tarcher
3 『The Republic of Wine』Arcade Pub
4 『The Secret Life of Bees』Penguin
5 『What Are You?』Henry Holt
6 『Lost Names』University of California Press
7 『The Joy Luck Club』Penguin
8 『The Kite Runner』Riverhead Books
9 『The Catcher in the Rye』Little Brown

10 『Botchan (English translation)』Charles E. Tuttle
11 『The Freedom Writers Diary』Broadway Books
12 『In the Beginning, Woman Was the Sun : The Autobiography of a Japanese Feminist』Columbia University Press
13 『Looking Like the Enemy : My story of imprisonment in Japanese-American internment camps』NewSage Press
14 『Lost Childhood : My life in a Japanese prison camp during World War II』National Geographic

『関西外語大学　英語キャリア学部　夏休み推薦図書２０１３』から引用

『広島大学　文学部　推薦図書一覧』の掲載書籍リスト

カント『永遠平和のために』岩波文庫
服部正明『古代インドの神秘思想初期ウパニシャッドの世界』講談社
デカルト『方法序説』岩波文庫
平凡社東洋文庫編集部編『東洋文庫ガイドブック２』平凡社
滝井一博『文明史のなかの明治憲法　この国のかたちと西洋体験』講談社メチエ
飯島渉・田中比呂志編『21世紀の中国近現代史研究を求めて』研文出版
福岡大学人文学部歴史学科編著『歴史はおもしろい　１２のテーマで読み解く高校生のための歴史学入門』西日本新聞社
ローレンス・ケッピー『碑文から見た古代ローマ生活誌』原書房
酒井聡樹『これから論文を書く若者のために』共立出版
貝塚爽平『東京の自然史 (増補第２版)』紀伊国屋書店
近藤義郎『発掘五〇年』
三浦正幸監修・文化財学大学院生『城造りのすべて』学習研究社
町田健　『【町田式】正しい文章の書き方』PHP研究所
斎藤美奈子『紅一点論ーアニメ・特撮・伝記のヒロイン像』ちくま文庫
岩佐美代子『宮廷文学のひそかな楽しみ』文春新書
吉川幸次郎・三好達治『新唐詩選』岩波新書
レイチェル・カーソン『沈黙の春』新潮文庫
阿部和重『シンセミア』(上下)朝日新聞社
サン＝テグジュペリ『星の王子さま』岩波書店
鈴木孝夫『ことばと文化』岩波新書

『広島大学　文学部　推薦図書一覧』から引用

『敬和学園大学 「敬和１００冊の本」ブックリスト』（２０１２年度版）の掲載書籍リスト

■大学で学ぶ

1 麻柄 啓一『じょうずな勉強法　ーこうすれば好きになる』北大路書房
2 岩波書店編集部 編『大学活用法』岩波ジュニア新書
3 市川 伸一『勉強法が変わる本　ー心理学からのアドバイス』岩波ジュニア新書
4 齋藤 孝『新聞で学力を伸ばす』朝日新書

■生きることと考えること

5 ロバート・ウェストール 著『弟の戦争』徳間書店
6 朴 美景 著『走れ、ヒョンジン！』講談社
7 夏目 漱石『私の個人主義』講談社
8 灰谷 健次郎『兎の眼』　角川文庫
9 水上 勉『ブンナよ、木からおりてこい』新潮文庫
10 小林 茂『ぼくたちは生きているのだ』岩波ジュニア新書
11 I. カント 著『永遠平和のために』岩波文庫
12 宮田 光雄『きみたちと現代』岩波ジュニア新書
13 大平 光代『だから、あなたも生きぬいて』講談社
14 水木 しげる『ねぼけ人生』ちくま文庫
15 内村 鑑三『後世への最大遺物』岩波文庫
16 大江 健三郎『「自分の木」の下で』朝日新聞社
17 デイヴ・ペルザー 著『"It"（それ）と呼ばれた子　幼年期』ヴィレッジブックス
18 ドルトン・トランボ 著『ジョニーは戦場へ行った』角川文庫
19 宮田 光雄『メルヘンの知恵　ーただの人として生きる』岩波新書
20 米原 万里『打ちのめされるようなすごい本』文春文庫
21 小堂 敏郎『「社会に役立つ」を仕事にする人々』洋泉社
22 井上 ひさし『父と暮せば』新潮文庫
23 姜 尚中『ニッポン・サバイバル』集英社新書
24 茂木 健一郎『生きて死ぬ私』ちくま文庫
25 養老 孟司『超バカの壁』新潮新書

■伝記・自伝・旅行記

26 遠藤 周作『イエスの生涯』新潮文庫

27 J. ミシュレ『ジャンヌ・ダルク』中公文庫
28 内村 鑑三『代表的日本人』岩波文庫
29 北 康利『白洲二郎 占領を背負った男（上下）』講談社文庫

■歴史と社会史

30 遅塚 忠躬『フランス革命　ー歴史における劇薬』岩波ジュニア新書
31 渡辺 正清『ヤマト魂ーアメリカ・日系二世自由への戦い』集英社
32 宮本 常一『忘れられた日本人』岩波文庫
33 入江 昭『歴史を学ぶということ』講談社（現代新書）
34 ヴィクトール・E・フランクル『夜と霧　新版 』みすず書房
35 橋爪 大三郎『世界がわかる宗教社会学入門』ちくま文庫
36 山折 哲雄『仏教とは何か』中公新書
37 山内 昌之『嫉妬の世界史』新潮新書

■現代社会の諸相

38 司馬 遼太郎『アメリカ素描』新潮文庫
39 樋口 陽一『個人と国家』集英社
40 辺見 庸『もの食う人びと』角川文庫
41 つか こうへい『娘に語る祖国』光文社文庫
42 大平 健『やさしさの精神病理』岩波新書
43 原 康『国際機関ってどんなところ』岩波ジュニア新書
44 梅田 望夫『ウェブ進化論』筑摩新書
45 大向 一輝『ウェブがわかる本』岩波ジュニア新書
46 若桑 みどり『お姫様とジェンダー』ちくま新書
47 東野 真『緒方貞子』集英社新書
48 日本ビジュアル・ジャーナリスト協会 編『「戦地」に生きる人々』集英社新書
49 佐々木 俊尚『2011年新聞・テレビ消滅』文春新書
50 津田 大介『Twitter社会論』洋泉社
51 中村 哲『アフガニスタンの診療所から』ちくま文庫
52 菅 正広『マイクロファイナンス』中公新書
53 柳田 邦男『壊れる日本人』新潮文庫
54 大野 晋・上野 健爾『学力があぶない』岩波新書
55 佐藤 学『学力を問い直す』岩波ブックレット
56 福田 誠治『競争やめたら学力世界一』朝日選書
57 B.クリック『現代政治学入門』講談社学術文庫

58 むの たけじ、黒岩 比佐子『戦争絶滅へ、人間復活へ』岩波新書
59 池上 彰『知らないと恥をかく世界の大問題』角川SSC新書
60 星野 博美『転がる香港に苔は生えない』文春文庫
61 佐々木 俊尚『電子書籍の衝撃』ディスカヴァー携書
62 池上 彰『池上彰の宗教がわかれば世界が見える』文春文庫
63 橋爪 大三郎・大澤 真幸『ふしぎなキリスト教：日本人の神様とGODは何が違うか？』講談社現代新書
64 佐藤 学『「学び」から逃走する子どもたち』岩波ブックレット

■福祉・共生

65 広井 良典『ケアを問いなおす　ー「深層の時間」と高齢化社会』ちくま新書
66 中西 正司、上野 千鶴子『当事者主権』岩波新書
67 山下 英三郎『シリーズ福祉のこころ　ーきみの心のサポーター』旬報社
68 アルフォンス・デーケン『死とどう向き合うか』日本放送協会出版
69 一番ヶ瀬 康子『シリーズ福祉のこころー福祉のこころ』旬報社
70 柳田 邦男『犠牲　わが息子・脳死11日』文春文庫

■環境・生命・地球

71 池田 清彦『環境問題のウソ』ちくまプリマー新書

■言葉・文章・論理

72 三浦 つとむ『日本語はどういう言語か』講談社（学術文庫）
73 井上 ひさし『私家版　日本語文法』新潮文庫
74 田中 克彦『ことばと国家』岩波新書
75 白井 恭弘『外国語学習の科学』岩波新書
76 田中 克彦『言語学とは何か』岩波新書
77 鈴木 孝夫『日本語と外国語』岩波新書
78 瀬戸 賢一『日本語のレトリック　ー文章表現の技法』岩波ジュニア新書
79 ロバート・キャンベル 編『読むことの力』講談社

■演劇・口承・文学

80 阿刀田 高『ギリシア神話を知っていますか』新潮文庫
81 平野 敬一『マザー・グースの唄　ーイギリスの伝承童謡』中公新書

82 シャーロット・ブロンテ『ジェーン・エア（上下）』新潮文庫
83 ルナアル『にんじん』岩波文庫
84 カミュ『異邦人』新潮文庫
85 サン・テグジュペリ『夜間飛行』新潮文庫
86 ミシェル・トゥルニエ『聖女ジャンヌと悪魔ジル』白水Uブックス
87 ジャン・ジオノ『木を植えた人』こぐま社
88 ヨーハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ『若きウェルテルの悩み』新潮文庫
89 三浦 綾子『塩狩峠』新潮文庫
90 宮田 光雄『大切なものは目に見えないー『星の王子さま』を読むー』岩波ブックレット
91 スコット・フィッツジェラルド『グレート・ギャッツビー』中央公論新社
92 ミヒャエル・エンデ『はてしない物語（上下）』岩波少年文庫
93 ミヒャエル・エンデ『モモ』岩波少年文庫
94 H.G. ウェルズ『モロー博士の島』創元SF文庫
95 J.D. サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』白水Uブックス
96 アーネスト・ヘミングウェイ『日はまた昇る』新潮文庫
97 ヨハンナ・スピリ『アルプスの少女ハイジ（第1・2部）』偕成社文庫
98 マーク・トウェイン『トム・ソーヤーの冒険』角川文庫
99 アーシュラ・K. ル＝グゥイン『影との戦いーゲド戦記<1>』岩波少年文庫
100 宮澤 賢治『注文の多い料理店』新潮文庫

『敬和学園大学 「敬和１００冊の本」ブックリスト』（２０１２年度版）から引用

『茨城大学図書館　教養教育のための１００冊』の掲載書籍リスト

1 ジェームス・W・ヤング『アイデアのつくり方』
2 Ｊ．ラベル、Ｊ．クルーガー『アポロ１３』
3 システム農学会編『新たな時代の食料生産システム』
4 マイケル・ポラニー『暗黙知の次元』
5 田中喜美子『いじめられっ子も親のせい！？』
6 ピーター・バーク『イタリア・ルネサンスの文化と社会』
7 広井良典『医療の経済学』
8 加藤幹郎『映画ジャンル論』
9 尾藤正英『江戸時代とはなにか』
10 クリストファー・フレイビン、コラス・レンセン『エネルギー大潮流』
11 池井優『オリンピックの政治学』
12 Ｐ．ラックス『解析学概論上、下』
13 中山茂『科学技術の戦後史』
14 高橋淳『楽譜の話』
15 M．ラインズ『数ーその意外な表情』
16 正田陽一『家畜という名の動物たち』
17 野澤謙・西田隆雄『家畜と人間』
18 滝川一廣『家庭のなかの子ども、学校のなかの子ども』
19 嘉納治五郎『嘉納治五郎著作集　第一巻～第三巻』
20 松田隆輝『ガロア理論』
21 西岡常一『木のいのち木のこころ（天編）』/小川三夫『木のいのち木のこころ（地編）』
22 深川英雄『キャッチフレーズの戦後史』
23 張　競『近代中国と「恋愛」の発見』
24 女性体育史研究会編『近代日本女性体育史』
25 野村『グリム童話ー子どもに聞かせてよいか？』
26 ピーター・トラッドギル『言語と社会』
27 富永健一『現代の社会科学者』
28 中原佑介『現代芸術入門』
29 鹿取一男『工芸家のための金属ノート』
30 山田真『子育て』
31 西郷信綱『古代人と夢』
32 鬼頭清明『古代宮都の日々』
33 藤井貞和『古典を読む本』
34 竹内敏晴『ことばが劈かれるとき』
35 鈴木孝夫『ことばと文化』

36 河合隼雄『子どもと学校』
37 フィリップ・アリエス『<子供>の誕生』
38 ノバート・ウィナー『サイバネティックスはいかにして生まれたか』
39 小松美彦『死は共鳴する』
40 茂木俊彦『障害児と教育』
41 ポントリャーギン『常微分方程式』
42 沼田眞『植物たちの生』
43 デイヴィッド・スミス『知られざる声ー障害児の歴史に光を灯した女性たち』
44 茨城大学健康・スポーツ科学研究会編『身体活動の科学』
45 海老沢敏『新モーツアルト考』
46 香原志勢『人類生物学入門』
47 池上嘉彦『「する」と「なる」の言語学』
48 笠原嘉『青年期ー精神病理学から』
49 藤巻宏・鵜飼保雄『世界を変えた作物』
50 藤沢周平『蝉しぐれ』
51 ベアテ・シロタ・ゴードン『1945年のクリスマスー日本国憲法に「男女平等」を書いた女性の自伝』
52 プラトーン『ソークラテースの弁明・クリトーン・パイドーン』
53 古島敏雄『台所用具の近代史』
54 岩槻邦男『多様性の生物学』
55 山根一郎『地形と耕地の基礎知識』
56 深尾良夫『地震・プレート・陸と海』
57 若林幹夫『地図の想像力』
58 小林康夫・船曳健夫『知の技法』
59 立花隆『「知」のソフトウェア』
60 梅棹忠夫編『「知」のハンターたち』
61 柏木博『デザインの20世紀』
62 中村雄二郎『哲学の現在』
63 ジョン・フィスク、ジョン・ハートレー『テレビを<読む>』
64 吉村昭『天狗争乱』
65 宮原朗『ドイツ近代詩鑑賞』
66 高橋義人『ドイツ人のこころ』
67 澁澤龍彦『東西不思議物語』
68 黒田日出男『謎解き　洛中洛外図』
69 中津燎子『なんで英語やるの？』
70 吉村昭『虹の翼』
71 カレル・ヴァン・ウォルフレン『人間を幸福にしない日本というシステム』

72 白水晴雄『粘土のはなし』
73 フランツ・ルツィウス『灰色のバスがやってきた』
74 市川茂孝『背徳の生命操作』
75 芭蕉『芭蕉自筆　奥の細道』
76 和田重正『母の時代』
77 パール・バック『母よ嘆くなかれ』
78 赤瀬川原平『反芸術アンパン』
79 松原泰道『般若心経入門』
80 湯川泰秀・向山光昭訳『パイン有機化学　1、2』
81 加藤俊二・竹村富久男『日々に出会う化学のことば』
82 木下直之『美術という見世物』
83 太田次郎『ヒトの生物学』
84 宮島喬『ひとつのヨーロッパ　いくつものヨーロッパ』
85 日本社会臨床学会編『「開かれた病」への模索』
86 竹山道雄『ビルマの竪琴』
87 エーリッヒ・ケストナー『ファービアンーあるモラリストの物語』
88 中尾浩『文科系のパソコン技術』
89 分子科学研究振興会編『分子の世界』
90 河野豊広『変革の企業文化』
91 松山幸雄『「勉縮」のすすめ』
92 友松円諦『法句経講義』
93 金子郁容『ボランティアーもうひとつの情報社会』
94 藤田博之『マイクロマシンの世界』
95 武井邦夫編『水戸の近代100年』
96 中村方子『ミミズのいる地球』
97 浜野保樹『メディアの世紀ーアメリカ神話の創造者たち』
98 梅原猛『「森の思想」が人類を救う』
99 科学朝日編『モンゴロイドの道』
100 井上真『焼畑と熱帯林』
101 飽戸弘・松田義幸編『「ゆとり」時代のライフスタイル』
102 原ひろ子・田中和子・舘かおる・須田道子『読む辞典　女の世界史』
103 牧野賢治『理系のレトリック入門ー科学する人の文章作法』
104 リチャード・ドーキンス『利己的な遺伝子』
105 星仰『リモートセンシング工学の基礎』
106 平野勝己『輪廻する赤ちゃん』
107 福永光司『老子』
108 奥井智之『60冊の書物による現代社会論』

109 前間孝則『YS-11国産旅客機を創った男たち』

『茨城大学図書館　教養教育のための１００冊』から引用

とある医学生のための新書リスト（岩波新書篇）

岩波新書

日本の思想 (岩波新書) 丸山 真男
社会認識の歩み (岩波新書 青版 798) 内田 義彦
歴史とは何か (岩波新書) E.H. カー
知識人と政治ードイツ・1914~1933 (岩波新書 青版 848) 脇 圭平
学問と「世間」 (岩波新書) 阿部 謹也
科学の方法 (岩波新書 青版 (313)) 中谷 宇吉郎
火縄銃から黒船まで一江戸時代技術史 奥村 正二
小判・生糸・和鉄一続江戸時代技術史 (岩波新書 青版 863) 奥村 正二
漢字一生い立ちとその背景 (岩波新書) 白川 静
言語と社会 (岩波新書 青版 950) P.トラッドギル
自動車の社会的費用 (岩波新書 青版 890) 宇沢 弘文
知的生産の技術 (岩波新書) 梅棹 忠夫
現代社会の理論一情報化・消費化社会の現在と未来 (岩波新書) 見田 宗介
無限と連続一現代数学の展望 (岩波新書 青版 96) 遠山 啓
物理学はいかに創られたか一初期の観念から相対性理論及び量子論への思想の発展 (上下巻) (岩波新書 赤版) アインシュタイン、インフェルト、 石原 純
精神病 (岩波新書) 笠原 嘉
臨床の知とは何か (岩波新書) 中村 雄二郎
自殺予防 (岩波新書) 高橋 祥友
医療の値段一診療報酬と政治 (岩波新書) 結城 康博

「読書猿Classic: between / beyond readers」から引用

とある医学生のための新書リスト（中公新書篇）

中公新書

考えることの科学ー推論の認知心理学への招待 (中公新書) 市川 伸一
人はいかに学ぶかー日常的認知の世界 (中公新書) 稲垣 佳世子 波多野 誼余夫
問題解決の心理学ー人間の時代への発想 (中公新書 (757)) 安西 祐一郎
不況のメカニズムーケインズ「一般理論」から新たな「不況動学」へ (中公新書) 小野 善康
経済学的思考のセンスーお金がない人を助けるには (中公新書) 大竹 文雄
戦略的思考の技術ーゲーム理論を実践する (中公新書) 梶井 厚志
科学者という仕事ー独創性はどのように生まれるか (中公新書 (1843)) 酒井 邦嘉
理科系のための英文作法ー文章をなめらかにつなぐ四つの法則 (中公新書) 杉原 厚吉
大衆教育社会のゆくえー学歴主義と平等神話の戦後史 (中公新書) 苅谷 剛彦
美の構成学ーバウハウスからフラクタルまで (中公新書) 三井 秀樹
続・発想法 (210) 川喜田 二郎
教養主義の没落ー変わりゆくエリート学生文化 (中公新書) 竹内 洋
安心社会から信頼社会へー日本型システムの行方 (中公新書) 山岸 俊男
イギリスのいい子日本のいい子ー自己主張とがまんの教育学 (中公新書) 佐藤 淑子
身ぶりとしぐさの人類学ー身体がしめす社会の記憶 (中公新書) 野村 雅一
数学受験術指南 (中公新書 (607)) 森 毅
心の起源ー生物学からの挑戦 (中公新書) 木下 清一郎
時間と自己 (中公新書 (674)) 木村 敏

とある医学生のための新書リスト（講談社現代新書篇）

講談社現代新書

発達障害の子どもたち (講談社現代新書 1922) 杉山 登志郎
脳のなかの身体ー認知運動療法の挑戦 (講談社現代新書 1929) 宮本 省三
タテ社会の人間関係ー単ー社会の理論 中根 千枝
動物化するポストモダンーオタクから見た日本社会 (講談社現代新書) 東 浩紀
森田療法 (講談社現代新書) 岩井 寛
軽症うつ病ー「ゆううつ」の精神病理 (講談社現代新書) 笠原 嘉
入門! システム思考 (講談社現代新書 1895) 枝廣 淳子 内藤 耕
創造の方法学 (講談社現代新書 553) 高根 正昭
はじめてのラテン語 (講談社現代新書) 大西 英文
日本人のしつけは衰退したかー「教育する家族」のゆくえ (講談社現代新書 (1448)) 広田 照幸
メタファー思考ー意味と認識のしくみ (講談社現代新書) 瀬戸 賢一
心のメッセージを聴くー実感が語る心理学 (講談社現代新書)
「家族」と「幸福」の戦後史ー郊外の夢と現実 (講談社現代新書) 三浦 展
ロボットの心ー7つの哲学物語 (講談社現代新書) 柴田 正良
フロイト思想のキーワード (講談社現代新書) 小此木 啓吾
アイデンティティの心理学 (講談社現代新書) 鑪 幹八郎
異常の構造 (講談社現代新書 331) 木村 敏
生きていることの科学 (講談社現代新書) 郡司 ペギオ-幸夫
“ほんとうの自分”のつくり方ー自己物語の心理学 (講談社現代新書) 榎本 博明
シャーロック・ホームズの推理学 (講談社現代新書) 内井 惣七
ヘルピングの心理学 (講談社現代新書) ロバート・R. カーカフ
哲学入門ー歩前ーモノからコトへ (講談社現代新書) 廣松 渉

「読書猿Classic: between / beyond readers」から引用

とある医学生のための新書リスト（ブルーバックス篇）

ブルーバックス

理系のための研究生活ガイドーテーマの選び方から留学の手続きまで (ブルーバックス) 坪田 一男
理系の女の生き方ガイドー女性研究者に学ぶ自己実現法 (ブルーバックス) 宇野 賀津子 坂東 昌子
超常現象をなぜ信じるのかー思い込みを生む「体験」のあやうさ (ブルーバックス) 菊池 聡
統計でウソをつく法ー数式を使わない統計学入門 ダレル・ハフ
原因をさぐる統計学ー共分散構造分析入門 (ブルーバックス) 豊田 秀樹
違いを見ぬく統計学ー実験計画と分散分析入門 (ブルーバックス) 豊田 秀樹
統計グラフの賢い見方・作り方ー視覚化時代の図表のノウハウ 上田 尚一
統計グラフのウラ・オモテ (ブルーバックス) 上田 尚一
姿勢のふしぎーしなやかな体と心が健康をつくる (ブルーバックス) 成瀬 悟策
マンガ脳科学入門ー心はどこにある? (ブルーバックス) アングス ゲラトゥリ、オスカー サラーティ
新・脳の探検(上) (ブルーバックス) フロイド・E・ブルーム
新・脳の探検(下) (ブルーバックス) フロイド・E・ブルーム
記憶と情動の脳科学 (ブルーバックス) L.J. マッガウ、久保田 競、 大石 高生
心はどのように遺伝するかー双生児が語る新しい遺伝観 (ブルーバックス) 安藤 寿康
マンガ心理学入門ー現代心理学の全体像が見える (ブルーバックス) ナイジェル・C. ベンソン
薬は体にどう効くかー体から見たクスリ 樋口 亮一
暗記しないで化学入門ー電子を見れば化学はわかる (ブルーバックス) 平山 令明
分子レベルで見た薬の働き　第2版 (ブルーバックス) 平山 令明
完全版 分子レベルで見た体のはたらきーいのちを支えるタンパク質を視る (ブルーバックスCD-ROM)
新・細胞を読むー「超」顕微鏡で見る生命の姿 (ブルーバックス) 山科 正平
画像でわかる私のからだー医用画像技術がとらえた人体
ゲノムサイエンス (ブルーバックス 1554) 榊 佳之
役に立つ「からだの英語」ー英語で探検する人体と病気 菅原 勇
新しい発生生物学ー生命の神秘が集約された「発生」の驚異 (ブルーバックス) 木下 圭

「読書猿Classic: between / beyond readers」から引用

とある医学生のための新書リスト（岩波ジュニア新書篇）

岩波ジュニア新書

論理的に考えること (岩波ジュニア新書) 山下 正男
科学の考え方・学び方 (岩波ジュニア新書) 池内 了
ヨーロッパ思想入門 (岩波ジュニア新書) 岩田 靖夫
フランス革命一歴史における劇薬 (岩波ジュニア新書) 遅塚 忠躬
砂糖の世界史 (岩波ジュニア新書) 川北 稔
近代国家を構想した思想家たち (岩波ジュニア新書) 鹿野 政直
近代社会と格闘した思想家たち (岩波ジュニア新書) 鹿野 政直
世界はいまどう動いているか (岩波ジュニア新書) 毎日新聞外信部
経済のしくみ100話 (岩波ジュニア新書) 岸本 重陳
経済の考え方がわかる本 (岩波ジュニア新書) 新井 明
日本語のレトリック一文章表現の技法 (岩波ジュニア新書) 瀬戸 賢一
政治参加で未来をまもろう (岩波ジュニア新書) 首藤 信彦
アインシュタインが考えたこと (岩波ジュニア新書) 佐藤 文隆
元素の小事典 (岩波ジュニア新書 (316)) 高木 仁三郎
人類vs感染症 (岩波ジュニア新書) 岡田 晴恵

「読書猿Classic: between / beyond readers」から引用

読んでいると恥ずかしいゴミ本（改題前　１０代で読んでいないと恥ずかしい必読書）

プラトン『国家』

アリストテレス『形而上学』

ショーペンハウアー『意志と表象としての世界』

ヘーゲル『精神現象学』

デカルト『省察』

パスカル『パンセ』

ライプニッツ『単子論』

カント『純粋理性批判』

キルケゴール『不安の概念』

スピノザ『エチカ』

ルソー『社会契約論』

バーク『フランス革命の省察』

ジェイムズ『宗教経験の諸相』

ニーチェ『権力への意志』

フッサール『論理学研究』

ハイデガー『存在と時間』

サルトル『存在と無』

ベルグソン『時間と自由』

レヴィナス『全体性と無限』

フロイト『快感原則の彼岸』

ラカン『精神分析の四つの基本概念』

レヴィ＝ストロース『悲しき熱帯』

フーコー『言葉と物』

ソシュール『一般言語学講義』

チョムスキー『文法理論の諸相』

ヴェイユ『重力と恩寵』

アーレント『精神の生活』

ブーバー『我と汝・対話』

ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』

ミンスキー『心の社会』

ライル『心の概念』

アドルノ＆ホルクハイマー『啓蒙の弁証法』

ドゥルーズ＆ガタリ『アンチ・オイディプス』

ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』

デュルケム『自殺論』

バタイユ『エロティシズム』

モース『社会学と人類学』

キャンベル『千の顔をもつ英雄』

マクルーハン『メディア論』

ブローデル『地中海』

ウォーラステイン『近代世界システム』

アダム・スミス『国富論』

ゾンバルト『恋愛と贅沢と資本主義』

ベンタム『道徳と立法の原理序説』

ミル『自由論』　マルクス『資本論』

アルチュセール『資本論を読む』

シュンペーター『経済発展の理論』

ケインズ『雇用・利子および貨幣の一般理論』

ヴェブレン『有閑階級の理論』

ポランニー『大転換』

ボードリャール『消費社会の神話と構造』

オルテガ『大衆の反逆』

ミルズ『パワーエリート』

リースマン『孤独な群衆』

イリイチ『シャドウ・ワーク』

ベル『資本主義の文化的矛盾』

ネグリ『構成的権力』

ハバーマス『晩期資本主義における正統化の諸問題』

アンダーソン『想像の共同体』

バレーラ、マトゥラーナ『知恵の樹』

ルーマン『社会システム理論』

ロールズ『正義論』

ハイエク『法・立法・自由』

ブルデュー『資本主義のハビトゥス』

オング『声の文化と文字の文化』

M・ポランニー『暗黙知の次元』

クーン『科学革命の構造』

ポパー『推測と反駁』

サイード『オリエンタリズム』

メルロ=ポンティ『知覚の現象学』

フッサール『論理学研究』

ラッセル『西洋哲学史』

フロム『自由からの逃走』

ベイトソン『精神の生態学』

ベンヤミン『パサージュ論』

デリダ『グラマトロジーについて』

リクール『時間と物語』

ペンフィールド『脳と心の正体』

スローターダイク『シニカル理性批判』

フレイザー『金枝篇』

シュミット『政治神学』

クラウゼヴィッツ『戦争論』

ドラッカー『「経済人」の終わり』

リップマン『世論』

マンハイム『イデオロギーとユートピア』

ブルーム『アメリカン・マインドの終焉』

ヴァイツゼッカー『ゲシュタルトクライス』

パノフスキー『イコノロジー研究』

クーン『科学革命の構造』

ホワイトヘッド『科学と近代世界』

ソンタグ『反解釈』

ドーキンス　『利己的な遺伝子』

ギブソン『生態学的視覚論』

フランシス・フクヤマ『歴史の終わり』

ケストラー『機械の中の幽霊』

ラマチャンドラン『脳のなかの幽霊』

ホーキング『ホーキング宇宙を語る』

イーザー『行為としての読書』

イーグルトン『文学とは何か』

ホフスタッター『ゲーデル、エッシャー、バッハ』

ド・マン『ロマン主義のレトリック』

シオラン『歴史とユートピア』

ブランショ『文学空間』

ガダマー『真理と方法』

ローティ『哲学と自然の鏡』

セラーズ『経験論と心の哲学』

パーソンズ『社会的行為の構造』

ジジェク『イデオロギーの崇高な対象』

アガンベン『ホモ・サケル』

ダマシオ『生存する脳』

クワイン『ことばと対象』

マッキンタイア『美徳なき時代』

「人文的な、あまりに人文的な（笑）」：読書猿Classic: between / beyond readersコメント

プラトン『国家』：「国家」なんか選ぶのは、プラトンを読んだこともない（が読まなきゃならないとでも誰かに吹き込まれた）輩だろう。退屈。せめて修羅場のある「饗宴」か、ソクラテスの悪意とカルリクレスの腕力とが炸裂する「ゴルギアス」をお勧めする。

アリストテレス『形而上学』：単なる講義ノート。しかも出来の悪い。アリストテレス＆ヒズ・ブラザーズによる『問題集』に差し替え。

ショーペンハウアー『意志と表象としての世界』：くだらない。削除。

ヘーゲル『精神現象学』：「法の哲学」に差し替え

デカルト『省察』：必読書１５０とかの回し者か。「精神指導の規則」に差し替え。

パスカル『パンセ』：モンティーニュを読む方が先だ。

ライプニッツ『単子論』：せめて「モナドロジー」と呼べ

カント『純粋理性批判』：読めもしないくせに「批判」か出すな。「啓蒙について」に差しかえ。

キルケゴール『不安の概念』：ボツ。「現代の批判」に差し替え。

スピノザ『エチカ』：「神学政治論」に差し替え。

ルソー『社会契約論』：「エミール」に差し替えたのちに、クズ籠へ。

バーク『フランス革命の省察』：保守反動。読む価値なし。まだしもトクヴィル「旧体制と大革命」。ツヴァイク「ロシェ・フーシェ」でも可能。

ジェイムズ『宗教経験の諸相』：「宗教的経験の諸相」。だが読むならデュルケム「宗教生活の

原初形態」が先。

ニーチェ『権力への意志』：妹によるバッタモンの編集本。捨てろ。『善悪の彼岸』『道徳の系譜』

フッサール『論理学研究』：読めるわけがない。「幾何学の起源」（デリダの長い長い序文付き）か「内的時間意識の現象学」へ。

ハイデガー『存在と時間』：「ニーチェ」に差し替え

サルトル『存在と無』：小説に差し替え。

ベルグソン『時間と自由』：「物質と記憶」だろうが、ばかやろうが。

レヴィナス『全体性と無限』：岩波文庫じゃねえか。「観念に到来する神について」に差し替え

フロイト『快感原則の彼岸』：削除。

ラカン『精神分析の四つの基本概念』：削除。

レヴィ＝ストロース『悲しき熱帯』：「野生の思考」の方が恥ずかしいから読め。

フーコー『言葉と物』：「監獄の誕生」だろ、ふつう。

ソシュール『一般言語学講義』：削除。言語学を勘違いする。フロムキン（教科書）でも読んどけ。

チョムスキー『文法理論の諸相』：→ジャッケンドフ 『言語の基盤--脳・意味・文法・進化』に差し替え。ピンカーの話は忘れろ。

ヴェイユ『重力と恩寵』：削除。

アーレント『精神の生活』：「全体主義の起源」に差し替え。

ブーバー『我と汝・対話』：削除

ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』：こんご１００年間封印。かわりに『数学の基礎』（全

集第７巻）

ミンスキー『心の社会』：実はフロイト好き。

ライル『心の概念』：Philosophy of Mind: Contemporary Readings (Routledge Contemporary Readings in Philosophy) に差し替え。

アドルノ＆ホルクハイマー『啓蒙の弁証法』：お願いだから許してやれ。

ドゥルーズ＆ガタリ『アンチ・オイディプス』：「ミル・プラトー」

ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』：「宗教・社会論集」

デュルケム『自殺論』：抹消

バタイユ『エロティシズム』：某文庫では「眼球譚」が「目玉の話」になってました

モース『社会学と人類学』：元「贈与論」

キャンベル『千の顔をもつ英雄』：いらない。エリアーデは？

マクルーハン『メディア論』：子供にはテレビをみせなかった

ブローデル『地中海』：やたらと分冊された。『物質文明・経済・資本主義?15-18世紀』の方が・・・

ウォーラステイン『近代世界システム』：ブローデルがあるならいらない

アダム・スミス『国富論』（ちょっと休憩します、以下は後で）

ゾンバルト『恋愛と贅沢と資本主義』：ウェーバーを読めばゾンバルトがいかにバカかわかる

ベンタム『道徳と立法の原理序説』：つまらない。えらい人だけど。

ミル『自由論』：「自伝」に差し替え

マルクス『資本論』：悪口をまなぶためなら

アルチュセール『資本論を読む』：「科学者のための哲学講義」に差し替え

シュンペーター『経済発展の理論』：「資本主義・社会主義・民主主義」に差し替え

ケインズ『雇用・利子および貨幣の一般理論』：無理。ケインズ・サーカスの連中ですら読めなかった。

ヴェブレン『有閑階級の理論』：いまさらどうも

ポランニー『大転換』：実はドラッガーと仲良し

ボードリャール『消費社会の神話と構造』：カガクシャ　ノ　タメノ　テツガク　コウギ

オルテガ『大衆の反逆』：↓この並び、悪意があるとしか思えない。

ミルズ『パワーエリート』：「社会学的想像力」に変更

リースマン『孤独な群衆』：不要

イリイチ『シャドウ・ワーク』：不要

ベル『資本主義の文化的矛盾』：不要

ネグリ『構成的権力』：不要

ハバーマス『晩期資本主義における正統化の諸問題』：かわいそう

アンダーソン『想像の共同体』：ホブズボーム「ナショナリズムの歴史と現在」に差し替え

バレーラ、マトゥラーナ『知恵の樹』：この本はまだましだが↓この並べ方がバカにされる

ルーマン『社会システム理論』：「公式組織の機能とその派生的問題」でも読んでた方がまし

ロールズ『正義論』：「 公正としての正義 再説」 ふつう、こっちだろう

ハイエク『法・立法・自由』：ハイエクはいつも期待はずれ

ブルデュー『資本主義のハビトゥス』：もっとましなの選んでやれ

オング『声の文化と文字の文化』：マクルーハンのネタ本

M・ポランニー『暗黙知の次元』：「暗黙知」と口にするオヤジにだけはなりたくない

クーン『科学革命の構造』：↓順番が逆だろ

ポパー『推測と反駁』

サイード『オリエンタリズム』：「知識人について」

メルロ=ポンティ『知覚の現象学』：「見えるものと見えないもの」

フッサール『論理学研究』：２度も出しやがって

ラッセル『西洋哲学史』：マンガ。哲学史は九鬼周造の講義ノートを読め。

フロム『自由からの逃走』：さよなら

ベイトソン『精神の生態学』：さようなら

ベンヤミン『パサージュ論』：和田君、なにかいってやれ

デリダ『グラマトロジーについて』：これもかわいそうなセレクション

リクール『時間と物語』：まだいたのか？

ペンフィールド『脳と心の正体』：こんな人文書でごまかさず、カンデルの教科書（Principles of Neural Science）を読め

スローターダイク『シニカル理性批判』：焼却

フレイザー『金枝篇』

シュミット『政治神学』：「パルチザンについて」

クラウゼヴィッツ『戦争論』：リデル・ハート「戦略論：間接的アプローチ」

ドラッカー『「経済人」の終わり』：「現代の経営」に差し替え。

リップマン『世論』：チャルディーニ「影響力の武器」に差し替え

マンハイム『イデオロギーとユートピア』：ラトゥール「科学が作られているとき：人類学的考察」 に差し替え。

ブルーム『アメリカン・マインドの終焉』：勝手に終わってろ。ベラー「心の習慣」に差し替え

ヴァイツゼッカー『ゲシュタルトクライス』：シュナイダー「臨床精神病理学」にさしかえ

パノフスキー『イコノロジー研究』

クーン『科学革命の構造』：二度も出し上がって

ホワイトヘッド『科学と近代世界』：パス１

ソンタグ『反解釈』

ドーキンス　『利己的な遺伝子』：「ブラインド・ウォッチメイカー」

ギブソン『生態学的視覚論』よめるわけない

フランシス・フクヤマ『歴史の終わり』：焼却。コジェーブに差し替えしたのち焼却。

ケストラー『機械の中の幽霊』：焼却

ラマチャンドラン『脳のなかの幽霊』：こんな人文書でごまかさず、カンデルの教科書（Principles of Neural Science）を読め

ホーキング『ホーキング宇宙を語る』：ホイル「宇宙物理学の最前線」やワインバーグ「宇宙創世はじめの三分間」（名著だが３０年前の本だということを忘れずに）、がすんだら初等教科書（バーバラ・ライデン『宇宙論入門』とか）から標準教科書（たとえばDodelsonの”Modern Cosmology”とか）へ。

イーザー『行為としての読書』：消去

イーグルトン『文学とは何か』：筒井「なんとか教授」

ホフスタッター『ゲーデル、エッシャー、バッハ』：分厚いだけ。「マインズ・アイ」に差し替え。

ド・マン『ロマン主義のレトリック』：忘却。しかるのちＩ・Ａ・リチャーズを想起。

シオラン『歴史とユートピア』：もういい

ブランショ『文学空間』：もういい

ガダマー『真理と方法』：もういい

ローティ『哲学と自然の鏡』：パトナムは？デイヴィットソンは？

セラーズ『経験論と心の哲学』：よめるわけない

パーソンズ『社会的行為の構造』：せめて「行為理論と人間の条件」を読んでやってくれ。で、なんでマートン『 社会理論と社会構造』とか入ってないの？実用書だから（笑）？

ジジェク『イデオロギーの崇高な対象』：おなじネタのくりかえし

アガンベン『ホモ・サケル』：こんなのまで入ってる。

ダマシオ『生存する脳』：こんな人文書でごまかさず、カンデルの教科書（Principles of Neural Science）を読め

クワイン『ことばと対象』：「論理学的観点から」に納められた論文たちが先

マッキンタイア『美徳なき時代』：

「読書猿Classic: between / beyond readers」から引用

モーティマー・アドラーのグレート・ブックス（**Great Books**）

ソクラテスの弁明 (ソクラテス)
国家 (プラトン)
ニコマコス倫理学 (アリストテレス)
旧約聖書 (モーセ)
イエス・キリスト (新約聖書)
告白 (アウグスティヌス)
コーラン (マホメット)
君主論 (マキャベリ)
キリスト者の自由 (ルター)
エセー (モンテーニュ)
ノヴム・オルガヌム (フランシス・ベーコン)
リヴァイアサン (ホッブズ)
方法序説 (デカルト)
パンセ (ブレーズ・パスカル)
エチカ (スピノザ)
統治二論 (ロック)
法の精神 (モンテスキュー)
社会契約論 エミール (ルソー)
国富論 (アダム・スミス)
純粋理性批判 (カント)
精神現象学 法の哲学 (ヘーゲル)
道徳および立法の諸原理序説 功利主義論 (ベンサム ミル)
種の起源 (ダーウィン)
不安の概念 死に至る病 (キルケゴール)
資本論 (マルクス)
ツァラトゥストラ (ニーチェ)
精神分析入門 (フロイト)
国家と革命 帝国主義論 (レーニン)
存在と時間 (ハイデガー)

「モーティマー・アドラーのグレート・ブックス（Great Books）」から引用

アメリカの**Discovery Channel**社の『～映像が開く名著への扉～**GREAT BOOKS** グレートブックス』シリーズ

第1巻：オデュッセイア/The Odyssey（ホメロス）

「オデュッセイア」は、運命に翻弄され、冒険と苦痛に満ちた旅を意味するロマンチックな言葉となっています。

この古いギリシアの物語は、史上初の冒険活劇であると同時に、人生の旅を象徴する素晴らしい寓話です。

ユリシーズからインディー・ジョーンズまで、この流れを汲む主人公を次々と生んでいます。

第2巻：アーサー王の死/Le Morte D'Arthur—The Legend of the king（トマス・マロリー）

文学や絵画、更に現代では映画やミュージカルの主題にもなっているアーサー王伝説。

ジョージ・ルーカスはこの伝説を巧に利用して、映画『スター・ウォーズ』を成功させました。

この伝説は時空を越えて伝承され、様々な文学作品を生み出しました。

その代表作であり、英文学史上傑作とされるマロリーの作品を検証します。

第3巻：ドン・キホーテ/Don Quixote（セルバンテス）

この作品が今日まで欧米でベストセラーであり続ける秘密は何か。

このビデオでは、理想主義的精神に燃えて活動する現代の活動家たちが、奇想天外な理想家ドン・キホーテに対する熱い思いを語ります。

ここに、欧米での古典を現代に生かす読み方の典型的な例をみることができます。

第4巻：フランケンシュタイン / Frankenstein—The Making of the Monster（メアリー･シェリー）

映画やテレビの格好の題材となり、いつしか神秘的な力を持つようになってきたこの物語は、科学の力が破壊的な力を持つ時代を予見し、核戦争、環境破壊、遺伝子工学、DNA操作等の問題を考える上で極めて示唆に富むトピックを提供してくれる作品として再評価されています。

第5巻：緋文字 / The Scarlet Letter（ホーソーン）

感性豊かで官能的魅力にあふれているが、慎み深く自制心があり、一個の人間として自己主張のできる主人公ヘスター・プリンは、小説のヒロインになった最初のアメリカ女性です。

このビデオでは、個人が自己を確立しようとする時にいつでも起こりうる問題、自由とは何か、罪とは何かについて、考えていきます。

第6巻：白鯨 / Moby Dick（メルヴィル）

捕鯨船の艦長エイハブの片脚をもぎ取った神出鬼没の白鯨モビー・ディックは、旧約聖書の「ヨナ書」の怪獣レヴァイアザンを思い起こさせ、造物主たる神の底知れぬ意志の象徴として描かれています。

この作品は発表後70年もたってからアメリカ文学最大の古典として、その思想的深さが評価されるようになりました。

第7巻：ウォールデンー森の生活 / Walden（ソロー）

マサチューセッツ州ウォールデン池のほとりの小屋で2年間自然を友に暮らしたソローは、市民運動、自然保護運動の先駆者として、ガンジーやマーチン・ルーサー・キングにも大きな影響を与えました。

このビデオでは、彼が暮らしたウォールデンでの生活を通して作品を紹介します。

第8巻：ふしぎの国のアリス / Alice in Wonderland（ルイス・キャロル）

オックスフォード大学の数学講師が、小さなガールフレンド、アリスにせがまれてプレゼントした物語は、読者の想像力をかきたて、様々な芸術に霊感を与え続けています。

ビデオでは、作者ルイス・キャロルについての豊富な資料やエピソードを交え、続編『鏡の国のアリス』を含めたキャロル・ワールドを探ります。

第9巻：ハックルベリー・フィンの冒険 / Huckleberry Finn（マーク・トゥエイン）

1885年に発表されてから様々に評価され、検閲や禁書処分の対象になりながらも、現代までアメ

リカ人に深い感銘を与えている作品です。

このビデオでは、作者マーク・トゥエインの時代や生涯、気質を、数多くの証言、評価を通して、トゥエインの人となりや作品の現代的意義を明らかにします。

第10巻：宇宙戦争 / War of the Worlds（H.G.ウェルズ）

現代を代表する大小説家で、人間としても極めてユニークな生き方をしたウェルズは、この作品で、宇宙の問題や未来の科学に人々の目を向けさせ、起こり得るべき未来の悲劇を回避するにはどうしたらよいか、ということを考えさせます。

優れたエンタティナーであると同時に、予言者的思想家であったウェルズの実像を探ります。

第11巻：グレート･ギャッツビー / The Great Gatsby（F.S.フィッツジェラルド）

ギャッツビー同様、奔放なジャズ・エイジの象徴であったフィッツジェラルドの作品は、アメリカン・ドリームを実現しながら、産業社会の「文明」にぶつかって殺される男の物語です。

生前にはあまり評価されず、今ではギャッツビーの名前で溢れる様子は、まさにアメリカン・ドリームに捧げられたエレジーともいえるでしょう。

第12巻：国家 / Plato's Republic（プラトン）

“哲学の出発点には常に好奇心がある。――プラトン”

このビデオでは、難解とされるプラトンを、理想の国家とその問題という具体的・現代的な視点で紹介し、解明していきます。

更に、哲学そのものへの好奇心をかき立て、現代を古典の目を通して見直す機会を与えてくれます。

第13巻：孫子の兵法 / The Art of War（孫子）

中国最古の戦術書『孫子』は、戦術・戦略だけでなく人生全般の問題に関する深い洞察の書として、今アメリカの様々な分野で人気があります。

西洋にない独自なものを東洋に発見し、率直な驚きを感じているようです。

原著にある戦術を、歴史上の戦争や現代のビジネスに当てはめながら検証していきます。

第14巻：君主論 / The Prince（マキャベリ）

アメリカでは政策を批判したり擁護する時、『君主論』がよく引用されます。

倫理と政治の分離を説き、公益のために時には残酷な手段も嘘も必要であると説く『君主論』は、絶えず物議をかもす要素に満ちています。

このビデオでは、マキャベリの時代と現代を比較しながら、彼の思想の根本を探り、政治のありかたを考えていきます。

第15巻：種の起源 / Beyond Genesis—The Origin of Species（ダーウィン）

ダーウィンの進化論は生物学や医学の世界に革命をもたらしました。

その後、遺伝子操作や、ゆがんだ優生学的政策が生まれましたが、進化論の真の意味は、人類の存在理由を教えてくれたことです。

人間が地上に住む権利や長期に渡り生存できる保証は何もないのです。

このビデオでは、誤解され続けてきた名著の意味を探っていきます。

第16巻：夢判断 / Freud's Interpretation of Dreams（フロイト）

フロイトの精神分析論に対しては賛否両論がありますが、夢をきっかけとしてフロイトが発見した、人間の心の奥底に潜む無意識の巨大な力の存在を否定する人はいないでしょう。

20世紀の文化はフロイトの発見から大きな影響を受けました。

フロイトの仕事は彼のユニークな個性と、協力者や弟子との葛藤と深く結びついています。

第17巻：キャッチ22 / Catch 22（J.ヘラー）

『キャッチ22』は20世紀を代表する文学作品のひとつです。

「キャッチ 22」はある世代を表現する新しい英語の語彙になっています。

この本が主張する反戦思想は、作者ヘラー自らの第二次世界大戦の経験と、その後世界で起こった出来事を元にしています。

話の中で、主人公ヨッサリアンの上司は、負傷するまで戦闘命令の数を多くこなすよう命令しますが、ヨッサリアンは結果として自らの命を失う様な行動は、避けようと努力します。

第18巻：大いなる遺産 / Great Expectations（C.ディケンズ）

『大いなる遺産』は世界で最も愛された作家による最も愛された本のひとつです。

ディケンズが作り出した登場人物は、描かれてから百年を経た現在でもなお色あせることはありません。

ディケンズは、労働者階級の少年が「紳士」になろうとする話を描くことで、当時のビクトリア朝時代の社会を描き出し、問いかけます。

一体「紳士」とは何であるのか。

このビデオには、ディケンズの生涯も説明されています。

また、この本の背景となった当時のロンドンの混沌とした様子が描かれています。

第19巻：闇の奥 / Heart of Darkness（J.コンラッド）

『闇の奥』はジョセフ・コンラッドの代表的な作品で、アフリカにおけるヨーロッパ主義の終焉を扱っています。

ビデオでは、理想主義からモラル崩壊を経て原始未開への道のりをナレータが物語る合間に、コンラッド自身のコンゴでの体験が盛り込まれています。

映画監督フランシス・コッポラは、この作品からテーマを見いだし、よりドラマ化して、映画『地獄の黙示録』を作りました。

ビデオには、俳優マーチン・シーンや脚本家ジョン・ミリアスのインタビューが含まれています。

第20巻：ガリヴァー旅行記 / Gulliver's Travels（J.スウィフト）

人間の本質とは何でしょうか。

『ガリバー旅行記』は、当時最も謎めいて、論争の的となった作家スウィフトの代表的な作品です。

スウィフトは、この本ではじめの問いに答えようとします。

物語はシンプルであるほど、文化や世代を越え、作品としての寿命を延ばします。

このビデオは、風刺や歴史の専門家が、スウィフトが描いた4つの旅にあるシニカルさを、現代社会と関連させながら解説していきます。

第21巻：蠅の王 / Lord of the Flies（W.ゴールディング）

もし大人の指導がなければ、不毛の島に囚われたことを知った子供達は、自らの幸せを求めて戦い始めることになります。

ジャングルに取り残された子供達は、野獣であふれる混沌とした社会の中で生き延びるため、獣の様な行動を取り始めます。

恐怖と混乱。

この二つの条件によって、人間に内在する冷酷さが目覚めることを、作者ゴールディングは描き出します。

このビデオでは、この驚くべき小説の深層を読みとり、我々の生活や社会についての洞察を深めていきます。

第22巻：裸者と死者 / The Naked and the Dead（N.メイラー）

第二次世界大戦後に出版された『裸者と死者』は、戦争のイメージから、理想主義、ロマンティシズム、ヒロイズム、ポーズだけの愛国主義、美化賞賛等を全て捨て去り、残酷な現実のみを描き出しました。

この作品が描いたものは、実際に戦闘の経験がない読者に驚きを与えます。

けれども、実際に歩兵で戦ったものにとっては、驚くほど身近なものでした。

この作品は記録的な売上を記録し、瞬く間に戦争を扱った書籍の中でも代表する作品になりました。

第23巻：アメリカの息子 / Native Son（R.ライト）

20世紀の初めの39年間は、1,200万人のアフリカ系アメリカ人にとってはまさに迫害の時代でした。

ある人物が、この時代を正確に理解し、憎しみに満ちあふれた様子を見いだして、それをアメリカ人に示し、目覚めさせました。

その人物こそが、『アメリカの息子』の作者リチャード・ライトです。

ライトは、黒人も白人も含む読者に向けて、多くの損害を生み出すことになる人種差別と不平等が、ある黒人の女性とアメリカ社会に引き起こされる様子を描き出しました。

第24巻：赤色武勲章 / The Red Badge of Courage（S.クレイン）

一世紀前のこと、作家ステファン・クレインは南北戦争に参加した22歳の人物を描いた、偉大な小説『赤色武勲章』を書きました。

この本は、血みどろの戦闘中に若者が体験する典型的な物語を描き出し、読者は作者クレインの心の中を読みとることとなります。

作者クレインは若者が直面する恐怖を描き出します。

若者は、恐怖に顔を背けない勇気があるのか、内心は臆病者なのか。

第25巻：カッコーの巣の上で / One Flew Over the Cuckoo's Nest（K.キージー）

ケン・キージーは、『カッコーの巣の上で』において、ある精神病院を舞台に患者であるランドル・P・マクマーフィと、医学的に権力者側にいる看護婦ラチェッドと、「コンバイン」との戦いを描き出しています。

このビデオの中で作者キージーは、自らの本に描かれているハイライトシーンを朗読しています。

キージーの映像と写真から、1964年の"もっと遠くへ"号によるバス旅行が思い起こされます。

「アメリカのDiscovery Channel社の『～映像が開く名著への扉～GREAT BOOKS グレートブックス』シリーズ」から引用

ニューヨーク公共図書館選定　２０世紀を形づくり特徴づけた図書

・現代文学の道標　Landmarks of Modern Literature

書名／作者／発表年

3人姉妹 アントン・チェーホフ 1901
失われた時を求めて マルセル・プルースト 1913ー27
やさしい釦（ボタン） ガートルード・スタイン 1914
変身 フランツ・カフカ 1915
Renascence and Other Poems エドナ・セント・ヴィンセント・ミレイ（ミレー） 1917
クールの野生の白鳥 ウィリアム・バトラー・イェイツ 1917
作者を探す六人の登場人物 ルイジ・ピランデルロ（ピランデッロ） 1921
荒地 T.S.エリオット 1922
ユリシーズ ジェイムズ・ジョイス 1922
魔の山 トーマス・マン 1924
グレート・ギャツビー F.スコット・フィッツジェラルド 1925
燈台へ ヴァージニア・ウルフ 1927
ジプシー歌集 フェデリコ・ガルシーア・ロルカ 1928
アメリカの息子 リチャード・ライト 1940
ポータブル・フォークナー ウィリアム・フォークナー 1946
不安の時代ーーバロック風田園詩　W.H.オーデン 1947
ゴドーを待ちながら サミュエル・ベケット 1952
見えない人間 ラルフ・エリソン 1952
ロリータ ウラジミール・ナボコフ 1955
伝奇集 ホルヘ・ルイス・ボルヘス 1956
路上 ジャック・ケルアック 1957
百年の孤独 ガブリエル・ガルシア・マルケス 1967
ポートノイの不満 フィリップ・ロス 1969
ソロモンの歌 トニ・モリスン（モリソン） 1977

・自然界　Nature's Realm

書名／作者／発表年

蜜蜂の生活 モーリス・メーテルリンク 1901
放射線の研究 マリヤ・スクウォドフスカ・キュリー 1910

相対論の意味 アルベルト・アインシュタイン 1922
A Field Guide to the Birds ロジャー・トーリー・ピーターソン 1934
野生のうたが聞こえる アルド・レオポルド 1949
ソロモンの指環 コンラート・ローレンツ 1949
沈黙の春 レイチェル・カーソン 1962
喫煙と健康: 公衆衛生局長に対する諮問委員会の報告書 米国保健教育福祉省 1964
二重らせん ジェームズ・ワトソン 1968
生命の多様性 エドワード・O. ウィルソン 1992

・抗議と進歩　Protest and Progress

書名／作者／発表年

The Battle with the Slum ジェイコブ・リース 1902
黒人のたましい W.E.B.デュボイス 1903
ジャングル アプトン・シンクレア 1906
ハル・ハウスの20年 ジェーン・アダムス 1910
ヘンリー・ストリートの家 リリアン・ウォルド 1915
The Autobiography of Lincoln Steffens リンカーン・ステファンズ 1931
U.S.A. ジョン・ドス・パソス 1937
怒りの葡萄 ジョン・スタインベック 1939
Let Us Now Praise Famous Men ジェームズ・エイジー＆ウォーカー・エヴァンズ 1941
奇妙な果実　Strange Fruit リリアン・スミス 1944
不条理に育つ ポール・グッドマン 1960
次は火だ ジェームズ・ボールドウィン 1963
マルコムX自伝 マルコム・X 1965
そしてエイズは蔓延した ランディ･シルツ 1987
There Are No Children Here アレックス・コトロウィッツ 1991

・植民地主義とその後　Colonialism and Its Aftermath

書名／作者／発表年

ロード・ジム ジョゼフ・コンラッド 1900
少年キム ラドヤード・キプリング 1901
Satyagraha [Non-Violent Resistance]わたしの非暴力 マハトマ･ガンディー 1921－40
インドへの道 E.M. フォスター 1924

異邦人 カミュ 1942
国際連合憲章 1945
泣け！愛する祖国よ アラン・ペイトン 1948
人間家族 エドワード・スタイケン 1955
崩れゆく絆 チヌア・アチェベ 1958
地に呪われたる者 フランツ・ファノン 1961
サルガッソーの広い海 ジーン・リース 1966
北へ遷りゆく時 アッ=タイーブ・サーレフ 1969
Guerrillas V. S.ナイポール 1975
The Bride Price ブチ・エメチェタ 1976
Cesarz [The Emperor] リシャルト・カプシチンスキ 1978
私の名はリゴベルタ・メンチュウ リゴベルタ・メンチュウ 1983
愛人　ラマン マルグリット・デュラス 1984

・精神と霊　Mind and Spirit

書名／作者／発表年

自殺論 エミール・デュルケーム 1897
夢判断 ジグムント・フロイト 1900
性の心理 エヴロック・エリス 1901ー28
宗教的経験の諸相 ウィリアム・ジェイムズ 1902
預言者 ハリール（カリール）・ジブラーン 1923
宗教は必要か バートランド・ラッセル 1927
サモアの思春期 マーガレット・ミード 1928
存在と無 ジャン＝ポール・サルトル 1943
スポック博士の育児書 ベンジャミン・スポック 1946
改訂標準訳聖書 1952
生きる勇気 パウル・ティリッヒ 1952
カッコーの巣の上で ケン・キージー 1962
The Politics of Ecstasy ティモシー・リアリー 1968
死ぬ瞬間-死とその過程について エリザベス・キューブラー＝ロス 1969
昔話の魔力 ブルーノ・ベッテルハイム 1976

・大衆文化と大衆娯楽小説　Popular Culture and Mass Entertainment

書名／作者／発表年

ドラキュラ ブラム・ストーカー 1897
ねじの回転 ヘンリー・ジェームズ 1898
バスカヴィル家の犬 アーサー・コナン・ドイル 1902
類猿人ターザン エドガー・ライス・バローズ 1912
ユタの流れ者 ゼーン（ゼイン）・グレイ　1912
スタイルズ荘の怪事件 アガサ・クリスティー 1920
人を動かす デイル・カーネギー　1936
風と共に去りぬ マーガレット・ミッチェル 1936
大いなる眠り レイモンド・チャンドラー 1939
いなごの日 ナサニエル・ウェスト 1939
ペイトン・プレイス物語 グレース・メタリアス 1956
キャットインザハット ドクター・スース 1957
異星の客 ロバート・A.ハインライン 1961
キャッチ22 ジョゼフ・ヘラー 1961
冷血 トルーマン・カポーティ 1965
Ball Four: My Life and Hard Times Throwing the Knuckleball in the Big Leagues ジム・バウトン 1970
キャリー スティーヴン・キング 1974
虚栄の篝火 トム・ウルフ 1987

・女性の決起　Women Rise

書名／作者／発表年

エイジオブイノセンス イーディス・ウォートン 1920
Woman Suffrage and Politics キャリー・チャップマン・キャット＆ネッティー・ロジャーズ・シュラー 1923
My Fight for Birth Control マーガレット・サンガー 1931
路上の砂塵 ゾラ・ニール・ハーストン 1942
第二の性 シモーヌ・ド・ボーヴォワール 1949
黄金のノート ドリス・レッシング 1962
新しい女性の創造 ベティ・フリーダン 1963
歌え、飛べない鳥たちよ マヤ･アンジェロウ 1969
Sisterhood Is　Powerful: An Anthology of　Writings from the Women's Liberation Movement ロビン・モーガン 1970
レイプ・踏みにじられた意思 スーザン・ブラウンミラー 1975

カラーパープル アリス・ウォーカー 1982

・経済学と技術

書名／作者／発表年

有閑階級の理論 ソースティン・ヴェブレン 1899
プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神 マックス・ウェーバー 1904
ヘンリー・アダムズの教育 ヘンリー・アダムズ 1907
雇用・利子および貨幣の一般理論 ジョン・メイナード・ケインズ 1936
隷属への道 フリードリヒ・A. フォン・ハイエク 1944
消費の経済理論 ミルトン・フリードマン 1957
ゆたかな社会 ジョン･ケネス・ガルブレイス 1958
アメリカ大都市の死と生 ジェイン・ジェイコブズ 1961
Superhighway - Super Hoax ヘレン・レヴィット 1970
スモール・イズ・ビューティフル E.F.シューマッハー 1973
インターネットユーザズガイド エド・クロル 1992

・ユートピアとディストピア　Utopias and Dystopias

書名／作者／発表年

タイムマシン H.G.ウェルズ 1895
ユダヤ人国家 テオドール・ヘルツル 1896
オズの魔法使い L.フランク・バウム 1900
ピーターパン J.M.バリー 1906
フェミニジア シャーロット・パーキンズ・ギルマン 1915
すばらしい新世界 オルダス・ハックスレー 1932
失われた地平線 ジェームズ・ヒルトン 1933
ウォールデン・ツー B.F.スキナー 1948
一九八四年 ジョージ・オーウェル 1949
華氏四五一度 レイ・ブラッドベリ 1953
肩をすくめるアトラス アイン・ランド 1957
時計じかけのオレンジ アントニイ・バージェス 1962
侍女の物語 マーガレット・アトウッド 1985

・戦争、大虐殺、全体主義　War, Holocaust, Totalitarianism

書名／作者／発表年

Armenian Atrocities: the Murder of a Nation アーノルド・トインビー 1915
世界をゆるがした十日間 ジョン・リード　1919
The War Poems ジークフリート・サスーン　1919
兵士シュヴェイクの冒険 ヤロスラフ・ハシェク 1920－23
我が闘争 アドルフ・ヒトラー 1925－26
西部戦線異状なし エーリッヒ・マリア・レマルク 1928
レクイエム アンナ・アフマートワ（アフマートヴァ） 1935－40
誰がために鐘は鳴る アーネスト・ヘミングウェイ 1940
真昼の暗黒 アーサー・ケストラー 1941
ヒロシマ ジョン・ハーシー 1946
アンネの日記 アンネ・フランク 1947
第二次世界大戦 ウィンストン・チャーチル 1948
夜 エリ・ヴィーセル 1958
毛沢東語録 毛沢東 1966
わが魂を聖地に埋めよ ディー・アレクサンダー・ブラウン 1970
収容所群島 アレクサンドル・I..ソルジェニーツィン 1973－75
ディスパッチズ マイケル・ハー 1977
マウス　アート・スピーゲルマン 1986－91

・楽観主義、喜び、洗練　Optimism, Joy, Gentility

書名／作者／発表年

とんがり樫の木の国 サラ・オーン・ジュウェット 1896
ヘレン・ケラー自伝 ヘレン・ケラー 1903
ブラウン神父の童心 G.K.チェスタトン 1911
プラテーロとわたし フアン・ラモン・ヒメネス 1914
ピグマリオン ジョージ・バーナード・ショー 1914
エチケット エミリー・ポスト 1922
比類なきジーヴス P. G.ウッドハウス 1923
クマのプーさん A.A.ミルン 1926
Shadows on the Rock ウィラ・キャザー 1931
The Joy of Cooking アーマ・S.ロンバウアー 1931
ホビットの冒険 J.R.R.トールキン 1937

おやすみなさい　おつきさま マーガレット・ワイズ・ブラウン 1947
アラバマ物語 ハーパー・リー 1960
シンプル物語 ラングストン・ヒューズ 1961
エリザベス・ビショップ詩集 エリザベス・ビショップ 1983

・幼年期と青年期の愛読書　Favorites of Childhood and Youth

書名／作者／発表年

ピーターラビットのおはなし ビアトリクス・ポター 1901
ブルックリン横町 ベティ・スミス 1943
ライオンと魔女（『ナルニア国ものがたり』シリーズ） C. S.ルイス 1950
ライ麦畑でつかまえて J.D.サリンジャー 1951
シャーロットのおくりもの E・B・ホワイト 1952
ゆきのひ エズラ・ジャック・キーツ 1962
かいじゅうたちのいるところ モーリス・センダック 1963
のっぽのサラ パトリシア・マクラクラン 1985

「ニューヨーク公共図書館選定　２０世紀を形づくり特徴づけた図書」から引用

ノルウェーのブッククラブが選んだ世界の文学１００

The top 100 books of all time.

Take a look at a list of the top 100 books of all time, nominated by writers from around the world, from Things Fall Apart to Mrs Dalloway, and from Pride and Prejudice to Don Quixote.

The 100 greatest non-fiction books.

Looking for great book recommendations? Our critics and experts pick the best books, and give the definitive subject lists.

Don Quixote

The greatest book of all time?

Don Quixote and Sancho Panza as drawn by Honore' Daumier, c.1855. Photograph: Francis G. Mayer/Corbis.

＜英語版＞

1984 by George Orwell, England, (1903-1950)

A Doll's House by Henrik Ibsen, Norway (1828-1906)

A Sentimental Education by Gustave Flaubert, France, (1821-1880)

Absalom, Absalom! by William Faulkner, United States, (1897-1962)

The Adventures of Huckleberry Finn by Mark Twain, United States, (1835-1910)

The Aeneid by Virgil, Italy, (70-19 BC)

Anna Karenina by Leo Tolstoy, Russia, (1828-1910)

Beloved by Toni Morrison, United States, (b. 1931)

Berlin Alexanderplatz by Alfred Doblin, Germany, (1878-1957)

Blindness by Jose Saramago, Portugal, (1922-2010)

The Book of Disquiet by Fernando Pessoa, Portugal, (1888-1935)

The Book of Job, Israel. (600-400 BC)

The Brothers Karamazov by Fyodor M Dostoyevsky, Russia, (1821-1881)

Buddenbrooks by Thomas Mann, Germany, (1875-1955)

Canterbury Tales by Geoffrey Chaucer, England, (1340-1400)

The Castle by Franz Kafka, Bohemia, (1883-1924)

Children of Gebelawi by Naguib Mahfouz, Egypt, (b. 1911)

Collected Fictions by Jorge Luis Borges, Argentina, (1899-1986)

Complete Poems by Giacomo Leopardi, Italy, (1798-1837)

The Complete Stories by Franz Kafka, Bohemia, (1883-1924)

The Complete Tales by Edgar Allan Poe, United States, (1809-1849)

Confessions of Zeno by Italo Svevo, Italy, (1861-1928)

Crime and Punishment by Fyodor M Dostoyevsky, Russia, (1821-1881)

Dead Souls by Nikolai Gogol, Russia, (1809-1852)

The Death of Ivan Ilyich and Other Stories by Leo Tolstoy, Russia, (1828-1910)

Decameron by Giovanni Boccaccio, Italy, (1313-1375)

The Devil to Pay in the Backlands by Joao Guimaraes Rosa, Brazil, (1880-1967)

Diary of a Madman and Other Stories by Lu Xun, China, (1881-1936)

The Divine Comedy by Dante Alighieri, Italy, (1265-1321)

Don Quixote by Miguel de Cervantes Saavedra, Spain, (1547-1616)

Essays by Michel de Montaigne, France, (1533-1592)

Fairy Tales and Stories by Hans Christian Andersen, Denmark, (1805-1875)

Faust by Johann Wolfgang von Goethe, Germany, (1749-1832)

Gargantua and Pantagruel by Francois Rabelais, France, (1495-1553)

Gilgamesh Mesopotamia, (c 1800 BC)

The Golden Notebook by Doris Lessing, England, (b.1919)

Great Expectations by Charles Dickens, England, (1812-1870)

Gulliver's Travels by Jonathan Swift, Ireland, (1667-1745)

Gypsy Ballads by Federico Garcia Lorca, Spain, (1898-1936)

Hamlet by William Shakespeare, England, (1564-1616)

History by Elsa Morante, Italy, (1918-1985)

Hunger by Knut Hamsun, Norway, (1859-1952)

The Idiot by Fyodor M Dostoyevsky, Russia, (1821-1881)

The Iliad by Homer, Greece, (c 700 BC)

Independent People by Halldor K Laxness, Iceland, (1902-1998)

Invisible Man by Ralph Ellison, United States, (1914-1994)

Jacques the Fatalist and His Master by Denis Diderot, France, (1713-1784)

Journey to the End of the Night by Louis-Ferdinand Celine, France, (1894-1961)

King Lear by William Shakespeare, England, (1564-1616)

Leaves of Grass by Walt Whitman, United States, (1819-1892)

The Life and Opinions of Tristram Shandy by Laurence Sterne, Ireland, (1713-1768)

Lolita by Vladimir Nabokov, Russia/United States, (1899-1977)

Love in the Time of Cholera by Gabriel Garcia Marquez, Colombia, (b. 1928)

Madame Bovary by Gustave Flaubert, France, (1821-1880)

The Magic Mountain by Thomas Mann, Germany, (1875-1955)

Mahabharata, India, (c 500 BC)

The Man Without Qualities by Robert Musil, Austria, (1880-1942)

The Mathnawi by Jalal ad-din Rumi, Afghanistan, (1207-1273)

Medea by Euripides, Greece, (c 480-406 BC)

Memoirs of Hadrian by Marguerite Yourcenar, France, (1903-1987)

Metamorphoses by Ovid, Italy, (c 43 BC)

Middlemarch by George Eliot, England, (1819-1880)

Midnight's Children by Salman Rushdie, India/Britain, (b. 1947)

Moby-Dick by Herman Melville, United States, (1819-1891)

Mrs. Dalloway by Virginia Woolf, England, (1882-1941)

Njaals Saga, Iceland, (c 1300)

Nostromo by Joseph Conrad, England,(1857-1924)

The Odyssey by Homer, Greece, (c 700 BC)

Oedipus the King Sophocles, Greece, (496-406 BC)

Old Goriot by Honore de Balzac, France, (1799-1850)

The Old Man and the Sea by Ernest Hemingway, United States, (1899-1961)

One Hundred Years of Solitude by Gabriel Garcia Marquez, Colombia, (b. 1928)

The Orchard by Sheikh Musharrif ud-din Sadi, Iran, (c 1200-1292)

Othello by William Shakespeare, England, (1564-1616)

Pedro Paramo by Juan Rulfo Juan Rulfo, Mexico, (1918-1986)

Pippi Longstocking by Astrid Lindgren, Sweden, (1907-2002)

Poems by Paul Celan, Romania/France, (1920-1970)

The Possessed by Fyodor M Dostoyevsky, Russia, (1821-1881)

Pride and Prejudice by Jane Austen, England, (1775-1817)

The Ramayana by Valmiki, India, (c 300 BC)

The Recognition of Sakuntala by Kalidasa, India, (c. 400)

The Red and the Black by Stendhal, France, (1783-1842)

Remembrance of Things Past by Marcel Proust, France, (1871-1922)

Season of Migration to the North by Tayeb Salih, Sudan, (b. 1929)

Selected Stories by Anton P Chekhov, Russia, (1860-1904)

Sons and Lovers by DH Lawrence, England, (1885-1930)

The Sound and the Fury by William Faulkner, United States, (1897-1962)

The Sound of the Mountain by Yasunari Kawabata, Japan, (1899-1972)

The Stranger by Albert Camus, France, (1913-1960)

The Tale of Genji by Shikibu Murasaki, Japan, (c 1000)

Things Fall Apart by Chinua Achebe, Nigeria, (b. 1930)

Thousand and One Nights, India/Iran/Iraq/Egypt, (700-1500)

The Tin Drum by Gunter Grass, Germany, (b.1927)

To the Lighthouse by Virginia Woolf, England, (1882-1941)

The Trial by Franz Kafka, Bohemia, (1883-1924)

Trilogy: Molloy, Malone Dies, The Unnamable by Samuel Beckett, Ireland, (1906-1989)

Ulysses by James Joyce, Ireland, (1882-1941)

War and Peace by Leo Tolstoy, Russia, (1828-1910)

Wuthering Heights by Emily Bronte", England, (1818-1848)

Zorba the Greek by Nikos Kazantzakis, Greece, (1883-1957)

. This list of the 100 best books of all time was prepared by Norwegian Book Clubs. They asked 100

authors from 54 countries around the world to nominate the ten books which have had the most decisive impact on the cultural history of the world, and left a mark on the authors' own thinking. Don Quixote was named as the top book in history but otherwise no ranking was provided

. This article was amended on 14 March 2012. Jose' Saramago's entry was updated to include the year of his death.

＜日本語版＞

史上最高の本ベスト100一覧

ハドリアヌス帝の回想 マルグリット・ユルスナール
灯台へ ヴァージニア・ウルフ
ダロウェイ夫人 ヴァージニア・ウルフ
草の葉 ウォルト・ホイットマン
アイネーイス ウェルギリウス
ラーマーヤナ ヴァールミキ
ハックルベリー・フィンの冒険 マーク・トウェイン
千夜一夜物語 アラビア説話集
イワン・イリッチの死 レフ・トルストイ
アンナ・カレーニナ レフ・トルストイ
戦争と平和 レフ・トルストイ
ガリヴァー旅行記 ジョナサン・スウィフト
ゼーノの苦悶 イタロ・ズヴェーヴォ
トリストラム・シャンディ ローレンス・スターン
赤と黒 スタンダール
オイディプス王 ソポクレス
オセロ ウィリアム・シェイクスピア
リア王 ウィリアム・シェイクスピア
ハムレット ウィリアム・シェイクスピア
白の闇 ジョゼ・サラマーゴ
北へ還りゆく時 タイーブ・サーレフ
果樹園 サーディ
真夜中の子供たち サルマン・ラシュディ
マスナヴィー ジャラールッディーン・ムハンマド・ルーミー
ペドロ・パラモ ファン・ルルフォ
ガルガンチュワとパンタグリュエル フランソワ・ラブレー

失われた時を求めて マルセル・プルースト
作品集 エドガー・アラン・ポー
不穏の書 フェルナンド・ペソア
変身物語 オウィディウス
1984年 ジョージ・オーウェル
アイスランド・サガ アイスランド叙事詩
ロリータ ウラジーミル・ナボコフ
特性のない男 ロベルト・ムージル
源氏物語 紫式部
ビラヴド トニ・モリスン
歴史 エルサ・モランテ
エセー ミシェル・ド・モンテーニュ
白鯨 ハーマン・メルヴィル
魔の山 トーマス・マン
ブッデンブローク家の人々 トーマス・マン
ゲベラウィの子供たち ナギーブ・マフフーズ
マハーバーラタ ヒンドゥー教聖典
狂人日記 魯迅
長くつ下のピッピ アストリッド・リンドグレーン
黄金のノート ドリス・レッシング
詩集 ジャコモ・レオパルディ
独立の民 ハルドル・ラクスネス
息子たちと恋人たち D・H・ローレンス
その男ゾルバ ニコス・カザンザキス
山の音 川端康成
シャクンタラー カーリダーサ
城 フランツ・カフカ
審判 フランツ・カフカ
短篇集 フランツ・カフカ
ユリシーズ ジェイムズ・ジョイス
ヨブ記
人形の家 ヘンリック・イプセン
オデュッセイア ホメロス
イリアス ホメロス
老人と海 アーネスト・ヘミングウェイ
飢え クヌート・ハムスン
大いなる奥地：小径 ジョアン・ギマランエス・ローザ

ブリキの太鼓 ギュンター・グラス
死せる魂 ニコライ・ゴーゴリ
ファウスト ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ
ギルガメシュ叙事詩 古代メソポタミア
コレラの時代の愛 ガブリエル・ガルシア＝マルケス
百年の孤独 ガブリエル・ガルシア＝マルケス
ジプシー歌集 フェデリコ・ガルシーア・ロルカ
感情教育 ギュスターヴ・フローベール
ボヴァリー夫人 ギュスターヴ・フローベール
響きと怒り ウィリアム・フォークナー
アブサロム、アブサロム ウィリアム・フォークナー
メディア エウリピデス
見えない人間 ラルフ・エリソン
ミドルマーチ ジョージ・エリオット
カラマーゾフの兄弟 ドストエフスキー
悪霊 ドストエフスキー
白夜 ドストエフスキー
罪と罰 ドストエフスキー
ベルリン・アレクサンダー広場 アルフレート・デーブリーン
運命論者ジャックとその主人 ドゥニ・ディドロ
大いなる遺産 チャールズ・ディケンズ
神曲 ダンテ・アリギエーリ
ノストローモ ジョゼフ・コンラッド
短篇集 アントン・チェーホフ
カンタベリー物語 ジェフリー・チョーサー
ドン・キホーテ ミゲル・デ・セルバンテス
夜の果ての旅 ルイ＝フェルディナン・セリーヌ
詩集 パウル・ツェラン
異邦人 アルベール・カミュ
嵐が丘 エミリー・ブロンテ
伝奇集 ホルヘ・ルイス・ボルヘス
デカメロン ジョヴァンニ・ボッカッチョ
三部作：モロイ、マロウンは死ぬ、名付けえぬもの サミュエル・ベケット
ゴリオ爺さん オノレ・ド・バルザック
高慢と偏見 ジェーン・オースティン
アンデルセン童話集 ハンス・クリスチャン・アンデルセン
崩れゆく絆 チヌア・アチェベ

「ノルウェーのブッククラブが選んだ世界の文学１００」から引用

読者の人生に最も影響を与えた本（ブック・オブ・ザ・マンス・クラブと米国連邦議会図書館調査）

1 聖書
2 肩をすくめるアトラス アイン・ランド 1957
3 愛すること、生きること　全訳『愛と心理療法』 M.　スコット・ペック 1978
4 アラバマ物語 ハーパー・リー 1960
5 指輪物語 J・R・R・トールキン 1954－55
6 風と共に去りぬ マーガレット・ミッチェル 1936
7 人を動かす　新装版 デール・カーネギー 1937
8 モルモン書
9 新しい女性の創造 ベティ・フリーダン 1963
10 海からの贈物 アン・モロウ・リンドバーグ 1955
11 夜と霧 ヴィクトール・フランクル 1946
12 パッセージ ゲール・シーヒィ 1976
13 なぜ私だけが苦しむのか一現代のヨブ記 ハロルド・S・クシュナー 1978

「読者の人生に最も影響を与えた本（ブック・オブ・ザ・マンス・クラブと米国連邦議会図書館調査）」から引用

『ニューズウィーク』編集部が２００９年に選んだ１００冊

1 戦争と平和 トルストイ 1869
2 1984年 オーウェル 1949
3 ユリシーズ ジョイス 1922
4 ロリータ ナボコフ 1955
5 響きと怒り フォークナー 1929
6 見えない人間 エリソン 1952
7 灯台へ ウルフ 1927
8 イリアス オデュッセイア ホメロス 紀元前8世紀
9 高慢と偏見 オースティン 1813
10 神曲 ダンテ 1321
11 カンタベリー物語 チョーサー 15世紀
12 ガリヴァー旅行記 スウィフト 1726
13 ミドルマーチ エリオット 1874
14 崩れゆく絆 アチェベ 1958
15 ライ麦畑でつかまえて サリンジャー 1951
16 風と共に去りぬ ミッチェル 1936
17 百年の孤独 ガルシア＝マルケス 1967
18 グレート・ギャツビー (村上春樹翻訳ライブラリー) フィッツジェラルド 1925
19 キャッチ22 ヘラー 1961
20 ビラヴドーー愛されし者 モリスン 1987
21 怒りの葡萄 スタインベック 1939
22 真夜中の子どもたち ラシュディ 1981
23 すばらしい新世界 ハクスリー 1932
24 ダロウェイ夫人 ウルフ 1925
25 アメリカの息子 リチャード・ライト 1940
26 アメリカの民主政治 トックヴィル 1835
27 種の起原 ダーウィン 1859
28 歴史 ヘロドトス 紀元前440
29 社会契約論 ルソー 1762
30 資本論 マルクス 1867
31 君主論 マキアヴェリ 1532
32 告白 アウグスティヌス 4世紀
33 リヴァイアサン ホッブズ 1651
34 戦史 トゥーキュディデース（ツキジデス） 紀元前431
35 指輪物語 トールキン 1954

36 くまのプーさん ミルン 1926
37 ライオンと魔女 C・S・ルイス 1950
38 インドへの道 フォースター 1924
39 路上 ケルアック 1957
40 アラバマ物語 ー 1960
41 聖書
42 時計じかけのオレンジ バージェス 1962
43 八月の光 フォークナー 1932
44 黒人のたましい W・E・B・デュボイス 1903
45 サルガッソーの広い海 ジーン・リース 1966
46 ボヴァリー夫人 フローベール 1857
47 失楽園 ミルトン 1667
48 アンナ・カレーニナ トルストイ 1877
49 ハムレット シェイクスピア 1603
50 リア王 シェイクスピア 1608
51 オセロー シェイクスピア 1622
52 ソネット集 シェイクスピア 1609
53 草の葉 ホイットマン 1855
54 ハックルベリー・フィンの冒険 マーク・トウェイン 1885
55 キム キプリング 1901
56 フランケンシュタイン シェリー 1818
57 ソロモンの歌 トニ・モリスン 1977
58 カッコウの巣の上で ケン・キージー 1962
59 誰がために鐘は鳴る ヘミングウェイ 1940
60 スローターハウス5 ヴォネガット 1969
61 動物農場 オーウェル 1945
62 蝿の王 ウィリアム・ゴールディング 1954
63 冷血 カポーティ 1965
64 黄金のノート ドリス・レッシング 1962
65 失われた時を求めて プルースト 1913
66 大いなる眠り チャンドラー 1939
67 死の床に横たわりて フォークナー 1930
68 日はまた昇る ヘミングウェイ 1926
69 この私、クラウディウス ロバート・グレーヴス 1934
70 心は孤独な狩人 マッカラーズ 1940
71 息子と恋人 ローレンス 1913
72 すべて王の臣 ロバート・ペン・ウォーレン 1946

73 山にのぼりて告げよ ジェイムズ・ボールドウィン 1953
74 シャーロットのおくりものＥ・Ｂ・ホワイト 1952
75 闇の奥 コンラッド 1902
76 夜 エリ・ヴィーゼル 1958
77 走れウサギ ジョン・アップダイク 1960
78 汚れなき時代 ウォートン 1920
79 ポートノイの不満 フィリップ・ロス 1969
80 アメリカの悲劇 セオドア・ドライサー 1925
81 いなごの日 ナサニエル・ウェスト 1939
82 北回帰線 ミラー 1934
83 マルタの鷹 ハメット 1930
84 ライラの冒険 フィリップ・プルマン 1995
85 死を迎える大司教 ウィラ・キャザー 1927
86 夢判断 フロイト 1900
87 ヘンリー・アダムズの教育 ヘンリー・アダムズ 1918
88 毛沢東語録 毛沢東 1964
89 宗教的経験の諸相 ウィリアム・ジェームズ 1902
90 ブライヅヘッドふたたび イーヴリン・ウォー 1945
91 沈黙の春 レイチェル・カーソン 1962
92 雇用・利子および貨幣の一般理論 ケインズ 1936
93 ロード・ジム コンラッド 1900
94 さらば古きものよ ロバート・グレーヴス 1929
95 ゆたかな社会 ガルブレイス 1958
96 たのしい川べ ケネス・グレアム 1908
97 マルコムＸ自伝 アレックス・ヘイリー＆マルコム・Ｘ 1965
98 ヴィクトリア朝偉人伝 リットン・ストレイチー 1918
99 カラーパープル アリス・ウォーカー 1982
100 第二次世界大戦 チャーチル 1948

「『ニューズウィーク』編集部が２００９年に選んだ１００冊」から引用

『テレグラフ』編集部が2008年に選んだ１１０冊

・古　典

イリアス
オデュッセイア ホメロス
バーチェスター年代記 トロロープ
高慢と偏見 オースティン
ガリヴァー旅行記 スウィフト
ジェーン・エア ブロンテ
戦争と平和 トルストイ
デイヴィッド・コパフィールド ディケンズ
虚栄の市 サッカレー
ボヴァリー夫人 フローベール
ミドルマーチ エリオット

・詩

ソネット集 シェイクスピア
神曲 ダンテ
カンタベリー物語 チョーサー
序曲 ワーズワース
頌歌 キーツ
荒地 エリオット
失楽園 ミルトン
無心の歌　経験の歌 ブレイク
詩集 イエーツ
詩集 テッド・ヒューズ

・文芸小説

ある婦人の肖像 ヘンリー・ジェームズ
失われた時を求めて プルースト
ユリシーズ ジョイス
誰がために鐘は鳴る ヘミングウェイ
名誉の剣三部作 イーヴリン・ウォー
ペッカム・ライのバラード ミュリエル・スパーク

ウサギシリーズ アップダイク
百年の孤独 ガルシア＝マルケス
ビラヴド トニ・モリスン
ヒューマン・ステイン フィリップ・ロス

・ロマンチック小説

レベッカ デュ・モーリア
アーサー王の死 トマス・マロリー
危険な関係 ラクロ
この私、クラウディウス ロバート・グレーヴズ
アレクサンドロス三部作 メアリー・リノールト（ルノー）
新鋭艦長、戦乱の海へ パトリック・オブライアン
風と共に去りぬ ミッチェル
ドクトル・ジバゴ パステルナーク
テス トーマス・ハーディ
プランタジネット・サーガ ジーン・プレイディー

・こどもの本

ツバメ号とアマゾン号 アーサー・ランサム
ライオンと魔女 C.S.ルイス
指輪物語 トールキン
ライラの冒険 フィリップ・プルマン
ババール ジャン・ド・ブリュノフ
若草の祈り ネズビット
クマのプーさん ミルン
ハリー・ポッター J. K. ローリング
たのしい川べ ケネス・グレアム
宝島 スティーブンソン
サイエンス・フィクション
フランケンシュタイン シェリー
海底二万里 ジュール・ヴェルヌ
タイムマシン ウェルズ
すばらしい新世界 ハックスレー
1984年 オーウェル
トリフィドの日 ジョン・ウインダム

ファウンデーション アイザック・アシモフ
2001年宇宙の旅 アーサー・C.クラーク
アンドロイドは電気羊の夢をみるか？ フィリップ・K.ディック
ニューロマンサー ウィリアム・ギブスン

・犯罪

リプリー パトリシア・ハイスミス
マルタの鷹 ダシール・ハメット
シャーロック・ホームズ全集 コナン・ドイル
大いなる眠り レイモンド・チャンドラー
ティンカー、ティンカー、ソルジャー、スパイ ジョン・ル・カレ
レッド・ドラゴン トマス・ハリス
オリエント急行の殺人 アガサ・クリスティー
モルグ街の殺人 エドガー・アラン・ポー
白衣の女 ウィルキー・コリンズ
キルショット エルモア・レナード

・世界を変えた本

資本論 マルクス
人間の権利 トマス・ペイン
社会契約論 ルソー
アメリカの民主政治 トックヴィル
戦争論 クラウゼヴィッツ
君主論 マキアヴェリ
リヴァイアサン ホッブズ
夢判断 フロイト
種の起原 ダーウィン
百科全書 ディドロほか
個々の世界を変えた本
禅とオートバイ修理技術 ロバート・M.パーシグ
かもめのジョナサン リチャード・バック
銀河ヒッチハイク・ガイド ダグラス・アダムス
なぜあの商品は急に売れ出したのか マルコム・グラッドウェル
美の陰謀 ナオミ・ウルフ
How to Cook デリア・スミス

南仏プロヴァンスの12か月 ピーター・メイル
"It"（それ）と呼ばれた子 デイヴ・ペルザー
パンクなパンダのパンクチュエーション一無敵の英語句読法ガイドー リン・トラス
ベン・ショットの英国博覧記 ベン・ショット

・歴史

ローマ帝国衰亡史 ギボン
英語国民の歴史 チャーチル
十字軍史 スティーヴン・ランシマン
歴史 ヘロドトス
戦史 トゥーキュディデース
知恵の七柱 T. E. ローレンス
アングロサクソン年代記
国民悲劇――1891～1924年のロシア革命 オーランドー・ファイジズ
フランス革命の主役たち サイモン・シャーマ
第二次世界大戦の起源 A.J.P.テイラー

・伝記

告白 アウグスティヌス
皇帝伝 スエトニウス
画家・彫刻家・建築家列伝 ヴァザーリ
これが人間か（アウシュヴィッツは終わらないーーあるイタリア人生存者の考察） プリーモ・レーヴィ
狐を狩る男の回顧録 シーグフリード・サスーン
ヴィクトリア朝偉人伝 リットン・ストレイチー
シャーロット・ブロンテの生涯 エリザベス・ギャスケル
さらば古きものよ ロバート・グレーヴズ
サミュエル・ジョンソン伝 ボズウェル
日記 アラン・クラーク

「『テレグラフ』編集部が2008年に選んだ１１０冊」から引用

読書家の道しるべ　１００冊の本（岩波文庫より）

第1グループ：面白いもの、あるいは多くの青年が抱く心の問題を解決するために、なんらかの役に立つと思われるもの。

ヴェニスの商人
吾輩は猫である
啄木歌集
モンテ・クリスト伯
ハックルベリイ　フィンの冒険
水滸伝
銀河鉄道の夜
アルプス登攀記
デミアン
ビーグル号航海記
福翁自伝
レ・ミゼラブル
赤と黒
高村光太郎詩集
荒野の呼び声
世界をゆるがした十日間
友情
唐詩選
ファウスト
余は如何にして基督信徒となりし乎

第2グループ：小説の大作、あるいは人生について考えるために役立つと思われるもの。

ハムレット
フランクリン自伝
共産党宣言
ソクラテスの弁明・クリトン
罪と罰
富嶽百景・走れメロス
藤村詩抄
アンデルセン自伝
ジャン・クリストフ

トニオ・クレエゲル
空想より科学へ
貧乏物語
古代への情熱
クォ　ヴァディス
武器よさらば
真空地帯
若きウェルテルの悩み
羅生門・鼻・芋粥・偸盗
萩原朔太郎詩集
カラマーゾフの兄弟

以下は読みやすいものから、次第に思想内容の深いものへと並んでいる。

第3グループ

ベートーヴェンの生涯
田園交響楽
白秋詩抄
ロウソクの科学
寺田寅彦随筆集
ベルツの日記
茶の本
外套・鼻
創世記
饗宴
万葉集
昆虫記
ユートピア
斎藤茂吉歌集
どん底
賃労働と資本
論語
平家物語
戦争と平和
水と原生林のはざまで
帝国主義

折たく柴の記
桜の園
暗夜行路

第4グループ

父と子
リンカーン演説集
徒然草
こころ
破戒
懺悔録
蘭学事始
阿Ｑ正伝・狂人日記
にごりえ・たけくらべ
永遠平和の為に
実践論・矛盾論
人形の家
或る女
善の研究
歎異抄
タルチュフ

第5グループ

おくのほそ道
静かなドン
蟹工船、一九二八・三・一五
社会契約論
方法序説
阿部一族
方丈記
ボヴァリー夫人
嵐が丘
土
ミル自伝
息子たちと恋人たち

この人を見よ
女の一生
好色五人女
職業としての学問
人権宣言集
谷間のゆり
イーリアス
文明論之概略

「読書家の道しるべ　１００冊の本（岩波文庫より）」から引用

『考える人』海外の長編小説ベスト１００（新潮社　**08/5/1**発行　作品一覧）

1「百年の孤独」ガルシア・マルケス
2「失われた時を求めて」マルセル・プルースト
3「カラマーゾフの兄弟」フィードル・ドストエフスキー
4「ドン・キホーテ」ミゲル・デ・セルバンテス
5「城」フランツ・カフカ
6「罪と罰」フョードル・ドストエフスキー
7「白鯨」ハーマン・メルヴィル
8「アンナ・カレーニナ」レフ・トルストイ
9「審判」フランツ・カフカ
10「悪霊」フィードル・ドストエフスキー
11「嵐が丘」エミリー・ブロンテ
12「戦争と平和」レフ・トルストイ
13「ロリータ」ウラジーミル・ナブコフ
14「ユリシーズ」ジェイムズ・ジョイス
15「赤と黒」スタンダール
16「魔の山」トーマス・マン
17「異邦人」アルベール・カミュ
18「白痴」フィ-ﾄﾞﾙ・ドストエフスキー
19「レ・ミゼラブル」ヴィクトル・ユーゴー
20「ハックルベリー・フィンの冒険」マーク・トウェイン
21「冷血」トールマン・カポーティ
22「嘔吐」ジャン＝ポール・サルトル
23「ボヴァリー夫人」ギャスターヴ・フローベル
24「夜の果てへの旅」ルイ＝フェルディナン・セリーヌ
25「ガープの世界」ジョン・アーヴィング
26「グレート・ギャツビー」F・スコット・フィッツジェラルド
27「巨匠とマルガリータ」ミハイル・A・ブルガーコフ
28「パルムの僧院」スタンダール
29「千夜一夜物語」
30「高慢と偏見」ジェーン・オースティン
31「トリストラム・シャンディ」ロレンス・スターン
32「ライ麦畑でつかまえて」J・D・サリンジャー
33「ガリヴァー旅行記」ジョナサン・スウィフト
34「デイヴィッド・コパフィールド」チャールズ・ディケンズ
35「ブリキの太鼓」ギュンター・グラス

36「ジャン・クリストフ」ロマン・ロラン
37「響きと怒り」ウィリアム・フォークナー
38「紅楼夢」曹雪芹・高蘭墅
39「チボー家の人々」ロジェ・マルタン・デュ・ガール
40「アレクサンドリア四重奏」ロレンス・ダレル
41「ホテル・ニューハンプシャー」ジョン・アーヴィング
42「存在の耐えられない軽さ」ミラン・クンデラ
43「モンテ・クリスト伯」アレクサンドル・デュマ
44「変身」フランツ・カフカ
45「冬の夜ひとりの旅人が」イタロ・カルヴィーノ
46「ジェーン・エア」シャーロット・ブロンテ
47「八月の光」ウィリアム・フォークナー
48「マルテの手記」ライナー・マリーア・リルケ
49「木のぼり男爵」イタロ・カルヴィーノ
50「日はまた昇る」アーネスト・ヘミングウェイ
51「水滸伝」
52「人間喜劇」オレノ・ド・バルザック
53「路上」ジャック・ケルアック
54「危険な関係」ピエール・ショデルロ・ド・ラクロ
55「木曜の男」G・K・チェスタトン
56「ゴリオ爺さん」オノレ・ド・バルザック
57「源氏物語」紫式部
58「幻滅」オレノ・ド・バルザック
59「日々の泡」ボリス・ヴィアン
60「スローターハウス5」カート・ヴォネガット・Jr.
61「アブサロム、アブサロム！」ウィリアム・フォークナー
62「ハワーズ・エンド」E・M・フォースター
63「魔術師」ジョン・ファウルズ
64「ムーン・パレス」ポール・オースター
65「アウステルリッツ」W・G・ゼーバルト
66「日の名残り」カズオ・イシグロ
67「悪童日記」アゴタ・クリストフ
68「ガルガンチェアとパンタグリュエル」フランソワ・ラブレー
69「若草物語」ルイーザ・メイ・オールコット
70「ブライヅヘッドふたたび」イーブリン・ウォー
71「ある家族の会話」ナタリア・ギンズブルグ
72「トム・ジョウンズ」ヘンリー・フィールディング

73「大いなる遺産」チャールズ・ディケンズ
74「心は孤独な狩人」カーソン・マッカラーズ
75「緋文字」ナサニエル・ホーソーン
76「大地」パール・バック
77「狭き門」アンドレ・ジッド
78「不思議な国のアリス」ルイス・キャロル
79「オデュッセイア」ホメロス
80「感情教育」ギュスターヴ・フローベール
81「侍女の物語」マーガレット・アトウッド
82「二都物語」チャールズ・ディケンズ
83「予告された殺人の記録」ガブリエル・ガルシア＝マルケス
84「ペドロ・パラモ」フアン・ルルフォ
85「西遊記」
86「薔薇の名前」ウンベルト・エーコ
87「三国志」羅貫中
88「虚栄の市」ウィリアム・M・サッカレー
89「親和力」J・W・ゲーテ
90「若い芸術家の肖像」ジェイムス・ジェイス
91「死の家の記録」フィードル・M・ドストエフスキー
92「イリアス」ホメロス
93「風と共に去りぬ」マーガレット・ミッチェル
94「ナジャ」アンドレ・ブルトン
95「V.」トマス・ピンチョン
96「モロイ」サミュエル・ベケット
97「灯台へ」ヴァージニア・ウルフ
98「冗談」ミラン・クンデラ
99「オブローモフ」イワン・A・ゴンチャロフ
100「悪徳の栄え」マルキ・ド・サド

「『考える人』海外の長編小説ベスト１００（新潮社　08/5/1発行　作品一覧）」から引用

算数と数学のブックリスト

★数学勉強法一般
『子どもに教えたくなる算数』講談社現代新書　栗田哲也
『数学に感動する頭をつくる』Discover携書　栗田哲也
『虚数の情緒ー中学生からの全方位独学法』東海大学出版会　吉田武
『数学受験術指南』中公文庫　森毅
『数学の学び方』 小平 邦彦
『細野真宏の数学嫌いでも「数学的思考力」が飛躍的に身に付く本！』小学館　細野真宏
『オロカ者の定義ー元気が出る!受験生改造講座』学研　秋山仁
『秋山仁の遊びからつくる数学ー離散数学の魅力』 ブルーバックス　秋山仁
『和田式要領勉強術数学は暗記だ！受かる青チャートの使い方』ブックマン社　和田秀樹
『能力を開く「数学的発想」法』実業之日本社　小林道正
『つまずき克服！数学学習法』　高橋一雄
『高校数学とっておき勉強法ー学校では教えてくれないコツとポイント』
ブルーバックス　鍵本 聡

★僕が良く使う数学ブックガイド
『数学者が読んでいる本ってどんな本』東京図書　小谷元子編
『数学ガイダンス　hyper』日本評論社
『この数学書がおもしろい』
『数学ブックガイド100』監修　森毅・齋藤正彦・野崎昭弘
『ブックガイド〈数学〉を読む』岩波科学ライブラリー 113
『数学ガール』シリーズ　結城浩
その他に『数学セミナー』などの雑誌および増刊号、数学入門書にはブックガイドがついていることが多いです。
例えば『数学セミナー増刊 楽しもう!数学 2011年 09月号』

★数学研究
『中・高一貫の数学点ー中学図形編』『中・高一貫の数学ー中学数式編』東京出版
『大学への数学　数学ショートプログラム』東京出版
『ピーター・フランクルの中学生でも分かる大人が解けない問題集　代数編 幾何・図形編』　日本評論社　ピーター・フランクル
『難関大入試数学　解決へのアプローチ』東京出版　栗田哲也
『数学発想ゼミナール1、2、3』シュプリンガー・ジャパン　L.C.ラーソン
『志学数学ー研究の諸段階・発表の工夫』シュプリンガー数学クラブ　伊原 康隆
『これだけは知っておきたい数学ビギナーズマニュアル』佐藤文広

★問題の解き方
『数学発想ゼミナール1、2、3』シュプリンガー・ジャパン　L.C.ラーソン
『数学的思考の構造　発見的問題解決のストラテジー』現代数学社　塚原成夫
『数学の証明のしかた (発見的教授法による数学シリーズ1)』森北出版　秋山仁
同シリーズ『数学の技巧的な解きかた』『数学の発想のしかた』『数学の視覚的な解きかた』『1次変換のしくみ』『立体のとらえかた』
『東大数学で1点でも多く取る方法 文系編　理系編 増補版』東京出版　安田亨
『いかにして問題をとくか』　G.ポリア
『数学の問題の発見的解き方 1,2ー問題解決の理解・学習・教授』　G.ポリア
『多彩な発想　あざやかな解法　ヒラメキの数学』文理　中村良郎　《復刊希望》

★中学生向け
・何の本でもいいがとりあえず中２までの基礎は自分で目を通しておけ。
…といいたいところだが、それができれば苦労しないという人もいるかと思うのでちょっと算数の本を探しておきます。(しばしおまちを)
基礎というのは↓ぐらい。
とりあえずなんとなくでも先に全体像を理解してください。
『チャート式基礎からの中学1年／2年／3年　数学 (新学習指導要領準拠 チャート式基礎からの中学シリーズ)』

・必読
『暗算力を身につける』PHPサイエンス・ワールド新書　栗田哲也
『子どもに教えたくなる算数』講談社現代新書　栗田哲也
『中・高一貫の数学点ー中学図形編』『中・高一貫の数学ー中学数式編』東京出版

・初等整数論・初等幾何学・数え上げ数学の少なくとも1つどれかに熱中すること
『高校への数学　目で解く幾何　直線図形篇』東京出版
同シリーズ『円・三平方篇』『立体・座標篇』
『マスターオブ整数』東京出版
『マスターオブ場合の数』東京出版

・数学活用
『数に強くなる』岩波新書　畑村洋太郎
『授業で教えて欲しかった数学①　恥ずかしくて聞けない数学64の疑問』黎明書房　仲田紀夫
同シリーズ『②パズルで磨く数学センス　65の底力』『③思わず教えたくなる数学66の神秘』『④意外に役立つ数学67の発見』『⑤本当は学校で学びたかった数学68の発想』

・公文式のような計算ドリルおよび計算のコツ本
『数的センスを磨く超速算術』　涌井 良幸
『計算力を強くする―状況判断力と決断力を磨くために』ブルーバックス 鍵本 聡
『計算力を強くするpart2―思考の瞬発力を磨くために』 ブルーバックス 鍵本 聡 新書
『計算力を強くする 完全ドリル―先を読む力を磨くために』 ブルーバックス 鍵本 聡
『暗算の達人』 アーサー・ベンジャミン
『因数分解―入学から卒業まで―[増補新版]』内田老鶴圃　金田和正
『微分と積分の基礎　1　計算編』金田和正

★高校生向けの網羅した参考書
『青チャート　ⅠＡⅡＢⅢ』
『総合的研究 数学I+A　Ⅱ+B(高校総合的研究)』旺文社　長岡亮介

★数に強くなる―量をめぐる選書―
『数に強くなる』岩波新書　畑村洋太郎
削除6/12

統計資料やそれを読み解く良書は図書館で「統計」と検索するとたくさんでてきます。
『新編　地理資料』東京法令
『データ・ブック　オブ・ザ・ワールド』
『ジオゴロ　地理Ｂ　坂本のスーパー暗記帳』坂本勉
『日本国勢図絵』(国勢社刊)　ｐ115
『統計でみる日本』　財団法人日本統計協会

★数学と他分野および社会とのつながり
『高校生からのゲーム理論』ちくまプリマー新書　松井彰彦
『はじめてのゲーム理論』 ブルーバックス　川越敏司
『7つの習慣』キングベアー出版　スティーブン．Ｒ．コヴィー
『翔太と猫のインサイトの夏休み』ちくま学芸文庫　永井均
『知の編集術　　発想・思考を生みだす技法』講談社現代新書　松岡正剛
『新　13歳のハローワーク』幻冬舎　村上龍
『食える数学』神永正博
『数学から社会へ+社会から数学へ -数学者の目で世相を観る-』東京図書　足立恒雄
『社会を変える驚きの数学』
『数学者の哲学+哲学者の数学―歴史を通じ現代を生きる思索』
砂田利一　長岡亮介　野矢啓一

『就活の算数』芳沢光雄
『数学文章作法 基礎編』(ちくま学芸文庫)　結城浩
『[改訂第6版] LaTeX2ε美文書作成入門』　奥村 晴彦
『プログラマの数学』ソフトバンククリエイティブ　結城浩
『ゲームプログラミングのための数学と物理』
『物理と数学の不思議な関係』マルコム・E・ラインズ
『物理を学習する大学生・院生のガイドブック―言葉で表現された基礎物理学と教科書参考文献の紹介』　中島紀
『数学 その形式と機能』森北出版　ソーンダースマックレーン
『使える経済書100冊』NHK出版　池田信夫
『人生を変える「数学」そして「音楽」 教科書には載っていない絶妙な関係』中島さち子
『音楽と数学の交差』大月書店　桜井進、坂口博樹
『医学的根拠とは何か』岩波新書　津田敏秀
『アクチュアリー数学入門[第2版]』 (アクチュアリー数学シリーズ゛)
黒田耕嗣,斧田浩二,松山直樹　　同シリーズ『経済リスクと確率論』　『年金数理』

★大学入試と大学数学との関係・作問意図など
『入試数学伝説の良問100』講談社ブルーバックス　安田亨
『出題者心理から見た入試数学―初めて明かされる作問の背景と意図』
ブルーバックス　芳沢 光雄
『大学入試の[抜け道]数学　改訂版』学生社
『大学数学への道―受験だけの数学で終らせないために』現代数学社　米谷達也,斉藤浩
『Elite数学―高校生・予備校生・大学新入生の知的ライセンス』現代数学社　梶原壌二
『エレガントな入試問題解法集〈上〉〈下〉―ルーツに戻ればすぐ解ける』石谷茂
『ラマヌジャンの遺した関数 (本格数学練習帳 第1巻)』D.フックス,S.タバチニコフ
同シリーズ『メビウスの作った曲面 』『ヒルベルトの忘れられた問題』
『数学の微笑み―入試問題からの旅立ち』現代数学社　山下純一
雑誌「理系への数学」に連載されていた「４次元の数学(全70回)」
雑誌「大学への数学」に連載されている栗田哲也先生の記事(過去の連載の一部は『難関大入試数学　解決へのアプローチ』という本になっている)

★論理
『数学を決める論証力』東京出版
『∀と∃に泣く』石谷　茂
『ろんりと集合』日本評論社　中内伸光
『論理学をつくる』名古屋大学出版会　戸田山和久
『詭弁論理学』(中公新書 (448))　野崎昭弘

『無限のスーパーレッスン』　木村 俊一
『不完全性定理とはなにか』ブルーバックス　竹内薫
『数学ガール　ゲーデルの不完全性定理』ソフトバンククリエイティブ　結城浩

★幾何学
『高校への数学　目で解く幾何　直線図形篇』東京出版
同シリーズ『円・三平方篇』『立体・座標篇』
『モノグラフ　改訂版　幾何学ー発見的研究法ー』科学新興社　清宮俊雄
『なっとくの高校数学　図形編』日本評論社　安田亨　松本眞
『立体のとらえかた』秋山仁

・ユークリッドから現代へ
『ユークリッド原論　追補版』共立出版
『現代幾何学への道ーーユークリッドの蒔いた種 (数学、この大きな流れ)』砂田利一
『ユークリッド幾何から現代幾何へ』 (日評数学選書)小林 昭七
『双曲幾何』 (現代数学への入門)　深谷 賢治

・エッセイ
『幾何学再発見 (数学ひろば)』　日本評論社　瀬山士郎
『幾何への誘い』岩波書店　小平邦彦
『幾何学つれづれ草』秋山武太郎

・作図
『コンパスと定規の数学: 手で考える幾何学の世界』 (アルケミスト双書) アンドルー・サットン
『数学新書　定木による作図　コンパスによる作図』東京図書　スモゴルジェフスキー　コストフスキー

・デカルト座標・複素平面・解析幾何
『教科書Next 図形と方程式の集中講義』東京出版
『パラメータを視る　変数と図形表現』現代数学社　米谷達也
『数学新書　58　複素数とベクトル』東京図書　石谷茂
『三角形と円の幾何学ー数学オリンピック幾何問題完全攻略』海鳴社　安藤哲哉
『数学ワンポイント双書　36　幾何の有名な定理』共立出版　矢野健太郎
『解析幾何学入門: 直線と平面から2次曲面へ』　日本評論社　　関沢正躬

・射影幾何
『第3版　幾何の魔術　魔法陣から現代数学へ』日本評論社　佐藤肇　一樂重雄

『数学のかんどころ　19　射影幾何学の考え方』共立出版　西山享
『射影平面の幾何学』郡敏昭
『射影幾何学入門ー生物の形態と数学』丹羽敏雄
『よくわかる幾何学ー複素平面・初等幾何学・射影幾何学をめぐって』　西山享

・解析幾何
『高校生のためのハイレベル数学2巻新しい解析幾何・複素数とガウス平面』石谷茂
『平面解析幾何学 (基礎数学選書 (2))』裳華房　矢野健太郎
『立体解析幾何学 (基礎数学選書 (4))』裳華房　矢野健太郎

・その他　有名問題
『アルベロス 3つの半円がつくる幾何宇宙』岩波科学ライブラリー　奥村博,渡邉雅之
『数学のかんどころ3 知っておきたい幾何の定理』前原潤,桑田孝泰
『やさしい　幾何学問題ゼミナール』共立出版　ピーターフランクル
『なぜ初等幾何は美しいかー三角形幾何学』　東京出版　イヴォンヌ ソルテー
『エレガントな問題をつくるー初等幾何発見的方法』清宮 俊雄

・折り紙数学
『折紙の数学ーユークリッドの作図法を超えて』森北出版　ロベルト ゲレトシュレーガー
『折り紙算数・折り紙数学』 (「数学教室」別冊)　銀林浩
『はじめての多面体おりがみ 』(Heart Warming Life Series)　川村みゆき
『多面体の折紙ー正多面体・準正多面体およびその双対』　日本評論社　川村みゆき

・位相幾何
『異次元への扉ーはさみと紙から始めてトポロジーの達人に』　日本評論社　小笠英志
『トポロジーの絵本 新装版』 (シュプリンガー数学リーディングス)G.K.フランシス
『トポロジカル宇宙 完全版ーポアンカレ予想解決への道』　根上生也
『四次元が見えるようになる本』　根上生也
『曲面の不思議ー2次元宇宙のトポロジー (数学ひろば)』日本評論社　郡敏昭
『新しいトポロジー　基礎からカタストロフィー理論まで』ブルーバックス本間龍雄
『はじめてのトポロジー』(PHPサイエンス・ワールド新書)　瀬山士郎
『トポロジーの世界』ちくま学芸文庫　野口廣
『計算で身につく　トポロジー』共立出版　阿原一志
『数学のかんどころ 20絵ときトポロジー ー曲面のかたちー』前原潤,桑田孝泰
『トポロジー　ループと折れ線の幾何学』すうがくぶっくす朝倉書店　瀬山士郎
『トポロジー柔らかい幾何学[増補版]』瀬山士郎
・微分幾何、多様体

『ベクトル解析30講』岩波書店　志賀浩二
『曲線と曲面の微分幾何』　小林昭七
『じっくり学ぶ曲線と曲面一微分幾何学初歩』共立出版　中内 伸光
『要点講義 ベクトル解析と微分形式』東洋書店　井田 大輔
『多様体の基礎』東京大学出版会　松本幸夫
『輓近代数学の展望 』ちくま学芸文庫　秋月康夫
『解析力学と微分形式』 (現代数学への入門) 深谷 賢治
『現代微分幾何入門』 (基礎数学選書 25)野水 克己
『接続の微分幾何とゲージ理論』小林昭七

★場合の数、離散数学、組合せ数学、グラフ理論
『マスターオブ場合の数』
『入門 組合せ論』　共立出版　ラスロウ・ロバース
『組合せ数学入門 １、２』 (共立全書 (541))　C.L.リウ
『離散数学「数え上げ理論」一「おみやげの配り方」から「Nクイーン問題」まで』
(ブルーバックス)　野崎昭弘
『数え上げ組合わせ論入門　改訂版』日評数学選書　成嶋弘
『コンピュータの数学』共立出版　グラハム
『アウトオブコース１結び目のはなし』根上生也『２グラフ理論3段階』村上斉
『組合せ論プロムナード』　日本評論社　山田裕史
『これなら分かる最適化数学一基礎原理から計算手法まで』

★場合の数・確率・統計・確率解析
『マスターオブ場合の数』
『細野真宏の確率が本当によくわかる本』小学館　細野真宏
『ハッとめざめる確率』東京出版　安田亨
『解法の探求・確率』東京出版　福田邦彦
『場合の数・確率の解法研究一大学入試』聖文新社　河田 直樹
『高校数学でわかる統計学』講談社ブルーバックス　竹内淳
『統計の9割はウソ: 世界にはびこる「数字トリック」を見破る技術』竹内薫
『ウソを見破る統計学一退屈させない統計入門』 (ブルーバックス) 神永正博
『大道を行く高校数学 (統計数学編)』現代数学社　安藤洋美
『統計学入門』ダイヤモンド社　小島寛之
『確率・統計入門』岩波書店　小針アキ宏
『誰も教えてくれなかった因子分析一数式が絶対に出てこない因子分析入門』松尾 太加志
『多変量解析のはなし一複雑さから本質を探る』 (Best selected Business Books) 大村 平
『実験計画と分散分析のはなし一効率よい計画とデータ解析のコツ』大村 平

『統計解析のはなし―データに語らせるテクニック』 (Best selected Business Books)
『予測のはなし―未来を読むテクニック』 大村 平
『信頼性工学のはなし―信頼度99.9999…%をめざして』大村 平
『入門 信頼性工学 - 確率・統計の信頼性への適用』福井 泰好
『ファイナンスのための確率解析』S.E.シュリーヴ
『たまたま―日常に潜む「偶然」を科学する』 レナード・ムロディナウ
『偶然を飼いならす―統計学と第二次科学革命』木鐸社イアン・ハッキング
『確率の出現』慶應義塾大学出版会 イアン・ハッキング
『異端の統計学』 ベイズ シャロン・バーチュ マグレイン
『史上最強図解　これならわかる！ベイズ統計学』　涌井 良幸

★初等整数論
『マスターオブ整数』
『2週間で完成！　整数問題　』東京図書　安田亨
『細野真宏の数と式[整数問題]が本当によくわかる本』小学館　細野真宏
『整数問題の解法研究―大学入試』聖文新社　河田 直樹
『算数からはじめよう! 数論』岩波書店　R.F.C.ウォルターズ
『連分数のふしぎ』ブルーバックス　木村 俊一
『復刊　整数論入門』共立出版　ヴィノグラードフ
『初等整数論』日本評論社　遠山啓
『初等整数論講義　第２版』高木貞治
『格子からみえる数学』　日本評論社　枡田幹也,福川由貴子
『ひまわりの螺旋』 数学のかんどころ8　　来嶋大二

★数論
『大学入試問題で語る数論の世界』ブルーバックス　清水健一
『なるほど高校数学　数列の物語』ブルーバックス　宇野勝博
『素数の歌が聞こえる』 ぷねうま舎　加藤和也
『数論の3つの真珠』 (はじめよう数学) ア・ヤヒンチン
『フェルマーの最終定理』新潮文庫　サイモン・シン
『素数夜曲: 女王陛下のLISP』　吉田武
『素数入門―計算しながら理解できる』 ブルーバックス　芹沢 正三
『数論入門―証明を理解しながら学べる』 ブルーバックス 芹沢 正三
『ゼロから無限へ』ブルーバックス　コンスタンス・レイド
『数論への招待』 (シュプリンガー数学クラブ)加藤和也
『類体論へ至る道―初等数論からの代数入門』足立恒雄
『数論〈1〉Fermatの夢と類体論』 加藤和也,斎藤毅,黒川信重

『整数論1: 初等整数論からp進数へ』雪江明彦
『整数論2: 代数的整数論の基礎 』
『整数論3: 解析的整数論への誘い』
『11からはじまる数学ーk - パスカル三角形、k - フィボナッチ数列、超黄金数』
松田修,津山工業高等専門学校数学クラブ
『数論への出発』　日本評論社　藤崎源二郎,山本芳彦,森田康夫
『はじめての数論 原著第3版ー発見と証明の大航海 - ピタゴラスの定理から楕円曲線まで　』ピアソンエジュケーション　ジョセフ・H.シルヴァーマン
『ゼータの世界』日本評論社　梅田 亨、若山 正人、黒川 信重、 中島 さち子
『リーマンのゼータ関数』 (開かれた数学) 松本 耕二
『楕円曲線論入門』J.H.　丸善　シルヴァーマン
『楕円曲線入門』J．W．S．キャッセルズ
『フェルマー予想』　齋藤毅

★極限、微分・積分(リーマン積分)、微分方程式
『微分と積分の基礎1』金田数正
『直観でわかる微分積分』畑村洋太郎
『微積分の意味』日本評論社　森毅
『現代の古典解析』ちくま学芸文庫　森毅
『解析入門』シリーズ１～３　　松坂和夫
『数学が育っていく物語　極限の深みー数列と級数』岩波書店　志賀浩二
同シリーズ『積分の世界ー一様収束とフーリエ級数』岩波書店　志賀浩二
『数学者的思考トレーニング 解析編』岩波書店　上野健爾
『無限と連続の数学』瀬山士郎
『無限と連続ー現代数学の展望』 岩波新書 青版 96　遠山啓
『無限解析のはじまりーわたしのオイラー』 ちくま学芸文庫　高瀬正仁
『dxとdyの解析学ーオイラーに学ぶ』　高瀬正仁
『古典的難問に学ぶ微分積分』　高瀬正仁
『解析概論』高木貞治
『円の数学』　裳華房　小林昭七
『円周率を計算した男』 (新人物文庫)　鳴海　風
『円周率πをめぐって (はじめよう数学)』　日本評論社　上野健爾
『πの話』 (岩波現代文庫)野崎昭弘
『写像 (数学ワンポイント双書 7)』　栗田稔
『maxとminに泣くー数学の盲点とその解明』現代数学社　石谷茂
『じっくり微積分』　Non - Biri数学研究会
『独修微分積分学』　梶原壌二

『高校生のための逆引き微分積分ー関数から判る解法のテクニック』
ブルーバックス　山根英司
『実例で学ぶ微積分知恵袋ー計算名人を目指せ!』　日本評論社　山根英司
『工学系学生のための記号法ですぐに解ける微分方程式』 金田数正
『大学入試での微分方程式練習帳』吉田信夫
『道具としての微分方程式ー「みようみまね」で使ってみよう』ブルーバックス 斎藤恭一
『対話・微分積分学ー数学解析へのいざない』　笠原晧司
『なっとくする微分方程式』　小寺平治
『新微分方程式対話』 日評数学選書　笠原晧司
『微分方程式で数学モデルを作ろう』　デヴィッド・バージェス・モラグ・ボリー
『現象から微積分を学ぼう』 日本評論社　垣田 高夫
『大学演習　微分積分学』三村征雄
『大学演習　微分方程式』矢野健太郎
『eの数学』　小杉肇
『ガンマ関数入門』 (はじめよう数学)エミールアルティン

★ベクトル・行列・線型代数・ベクトル解析
『教科書Next ベクトルの集中講義』東京出版
『センター試験必勝マニュアル数ⅡB』東京出版
『解決へのアプローチ』東京出版　栗田哲也
『入試数学伝説の良問100』ブルーバックス　安田亨
『直線と平面』　関沢正躬
『モノグラフ　行列』
『2次行列のすべて』現代数学社　石谷茂
『行列と行列式で楽しむ』現代数学社　石谷茂
『代数学講義』岩波書店　高木貞治
『ゼロから学ぶ線形代数 (ゼロから学ぶシリーズ)』講談社　小島寛之
『考える線形代数』　阿原一志
『線形代数のコツ』　共立出版　梶原 健
『図で整理!例題で納得!線形空間入門』梶原 健
『プログラミングのための線形代数』
『ゼロから学ぶベクトル解析 (ゼロから学ぶシリーズ)』講談社　西野友年
『ベクトル解析　工学基礎演習シリーズ２』森北出版　H.Pスウ
『理系への数学』および『現代数学』に連載されていた「2次元で学ぶ　大学への線形代数入門」(16回)吉田信夫2012年
『DimとRankに泣く一数学の盲点とその解明』現代数学社　石谷茂
『直観でわかる数学』岩波書店　畑村洋太郎

『物理数学の直観的方法』ブルーバックス　長沼伸一郎
『線型代数ー生態と意味』森毅
『線形代数と群の表現〈1〉〈2〉』 (すうがくぶっくす) 朝倉書店　平井 武
『ベクトル解析』　ちくま学芸文庫　森毅
『固有値問題30講』岩波書店　志賀浩二
『マトリクスの固有値と対角化』 (工学のためのマトリクス (2))町田東一
『電磁場とベクトル解析』 (現代数学への入門) 深谷 賢治
『ベクトルの積はなぜ必要か』(物理数学One Point)　青野 修
『ベクトル解析から流体へ』　日本評論社　垣田 高夫
『よくわかる初等力学』前野昌弘
『よくわかる電磁気学』前野昌弘
『よくわかる量子力学』前野昌弘
『よくわかる解析力学』前野昌弘

★複素数・複素平面・複素関数
『虚数の情緒ー中学生からの全方位独学法』東海大学出版会　吉田武
『オイラーの贈物ー人類の至宝eiπ=-1を学ぶ』吉田武
『オイラーの公式がわかる』ブルーバックス　原岡 喜重
『モノグラフ　複素数』
『細野真宏の複素数・複素平面が本当によくわかる本』小学館　細野真宏
『パラメータを視る　変数と図形表現』現代数学社　米谷達也
『数学新書　58　複素数とベクトル』東京図書　石谷茂
『数学ワンポイント双書　36　幾何の有名な定理』共立出版　矢野健太郎
『数学が育っていく物語２解析性ー実数から複素数へ』岩波書店　志賀浩二
『複素解析の神秘性ー複素数で素数定理を証明しよう!』現代数学社　吉田信夫
『なっとくする　複素関数』講談社　小野寺嘉孝
『複素関数入門』岩波書店　神保道夫
『関数論入門ー複素変数の微分積分学』　梶原譲二
『複素関数 三幕劇』 (すうがくぶっくす)
『物理数学の直観的方法』ブルーバックス　長沼伸一郎
『複素数の世界』 (はじめよう数学)上野健爾
『xのx乗のはなし』 (はじめよう数学) 土基 善文
『多項式のラプソディー』 (はじめよう数学) 西山 享
『具体例で親しむ高校数学からの極限的数論入門』
「理系への数学」2010年5月号~2011年5月号での連載内容を再編。「数」について、極限、微分、積分や代数を絡めながら具体的に考察。「多角数と無限積」、「超越数、代表的数と集合の濃度」、「カタラン数について」、「複素数の必要性」の4章構成。

『ヴィジュアル複素解析』　T. ニーダム
『複素解析と流体力学』　日本評論社　今井功

★指数・対数
『細野真宏の2次関数・指数・対数関数が本当によくわかる本』小学館　細野真宏
『指数・対数のはなし一異世界数学への旅案内』東京図書　森毅
『直観でわかる数学』岩波書店　畑村洋太郎

★二次曲線・極座標
『円錐曲線　歴史とその数理』共立出版　中村滋
『いろいろな曲線』共立出版　栗田稔
『パラメータを視る　変数と図形表現』現代数学社　米谷達也

★不等式
『数学発想ゼミナール３』丸善　L.C.ラーソン
『不等式の証明と最大最小問題が面白いほどわかる本』中経出版　細野真宏
『不等式への招待』近代科学社　大関信雄,大関清太
『美しい不等式の世界: 数学オリンピックの問題を題材として』 Radmila Bulajich
『不等式: 21世紀の代数的不等式論』　安藤哲哉

★三角比・三角関数・フーリエ級数
『平面球面三角法』
『三角法の精選103問 (数学オリンピックへの道)』 T. アンドレースク
『高校数学でわかるフーリエ変換ーフーリエ級数からラプラス変換まで』竹内淳
『フーリエの冒険』言語交流研究所ヒッポファミリー
『これなら分かる応用数学教室ー最小二乗法からウェーブレットまで』

★代数・群・環・体・ガロア理論
『天才ガロアの発想力　~対称性と群が明かす方程式の秘密~』技術評論社　小島寛之
『数学ガール ガロア理論』結城浩
『なっとくする群・環・体 (なっとくシリーズ)』
『ガロア理論の頂を踏む』 (BERET SCIENCE)石井 俊全
『代数的構造』ちくま学芸文庫　遠山啓
『難問克服 解いてわかるガロア理論』藤田岳彦
『数III方式ガロアの理論ーアイデアの変遷を追って』　矢ケ部巌
『群と幾何学』　難波誠
『代数と数論の基礎』 中島 匠一

『代数方程式とガロア理論』 (共立叢書 現代数学の潮流) 中島 匠一
『加群十話ー代数学入門』 (すうがくぶっくす)　堀田 良之
『ガロアと方程式』(すうがくぶっくす)草場公邦
『ガロアの夢　群論と微分方程式』日本評論社　久賀道郎
『代数の世界　』(すうがくぶっくす)草場公邦、渡辺敬一
『代数学への誘い』遊星社　佐武一郎
『群・環・体入門』共立出版　新妻弘・木村哲三
『群と位相』横田一郎
『群と表現』横田一郎
『可換環と体』　堀田 良之
『代数学1 群論入門』 (代数学シリーズ) 雪江明彦　同シリーズ
『代数学2 環と体とガロア理論』『代数学3 代数学のひろがり』

★集合・位相・ε・δ論法・基礎数学
『新装版 集合とはなにかーはじめて学ぶ人のために』ブルーバックス　竹内 外史
『なっとくする　集合・位相』講談社　瀬山士郎
『集合への30講』岩波書店　志賀浩二
『位相への30講』岩波書店　志賀浩二
『集合・位相・測度　』朝倉書店　志賀浩二
『はじめよう　位相空間』日本評論社大田 春外
『解いてみよう　位相空間』日本評論社　大田 春外
『初めて学ぶトポロジーー天才・数学者読むべからず』現代数学社　石谷茂
『イプシロン-デルタ (数学ワンポイント双書 20)』共立出版　田島一郎
『ε・δに泣く』現代数学社　石谷茂
『位相のこころ』ちくま学芸文庫　森毅
『物理数学の直観的方法』ブルーバックス　長沼伸一郎
『論理と集合から始める数学の基礎』　日本評論社　嘉田勝
『層・圏・トポスー現代的集合像を求めて』竹内 外史

★ルベーグ積分
『一緒に楽しむための数学』の7章　日本評論社　鈴木 正彦
『数学が育っていく物語-積分の世界』岩波書店　志賀浩二
『現代工学のためのルベーグ積分と関数空間入門』　現代工学社
『はじめてのルベーグ積分』日本評論社　寺澤 順
「ルベーグ積分と関数空間入門」松浦著、
『ルベーグ積分入門ー使うための理論と演習』遊星社　吉田伸生
『実解析と測度論の基礎』培風館　盛田 健彦

『実解析入門』岩波書店　猪狩惺
『ルベーグ積分講義ールベーグ積分と面積0の不思議な図形たち』　新井 仁之

★経済数学
『初歩からの経済数学』　三土 修平
『現代経済学の数学基礎〈上〉〈下〉』A.C.チャン
『動学的最適化の基礎』　A.C.チャン
『経済学に最低限必要な数学 [増補改訂版]』 日本評論社　吉田和男,島義博

★関数解析
『新・フーリエ解析と関数解析学』　新井 仁之
『関数解析 共立数学講座 (15)』 黒田 成俊
『関数解析』 (岩波基礎数学選書)藤田 宏
『工学のための関数解析』 (工学のための数学)山田 功
『関数解析入門ーバナッハ空間とヒルベルト空間』　荷見 守助

★代数幾何
『14日間でわかる代数幾何学事始』日本評論社　海老原円
『デカルトの精神と代数幾何』　日本評論社　飯高茂,浪川幸彦,上野健爾
『代数幾何学123』シュプリンガージャパン R.ハーツホーン』
『平面代数曲線 (数学のかんどころ 12)』酒井 文雄
『代数曲線・代数曲面入門ー複素代数幾何の源流』　安藤哲哉
『代数曲線のはなしー現代数学への一つのアプローチ』山田 浩
『暗号理論と楕円曲線』辻井重男
『数論入門講義ー数と楕円曲線』J.S. Chahal
『代数曲線の幾何学』　難波誠

★競技数学・数学オリンピック
『広中杯 ハイレベル中学数学に挑戦ーこれが中学数学の最高峰』
(ブルーバックス) 算数オリンピック委員会
『算数オリンピックに挑戦 ’08~’12年度版』
(ブルーバックス) 算数オリンピック委員会
『数学オリンピック問題にみる現代数学ー難問の奥にある"ほんもの"の香り』 (ブルーバックス) 小島寛之
『数学オリンピックチャンピオンの美しい解き方』青土社 テレンス・タオ
『めざせ、数学オリンピック』現代数学社　J コフマン
『完全攻略 数学オリンピック』　日本評論社　秋山仁　ピーターフランクル

『獲得金メダル！ 国際数学オリンピック メダリストが教える解き方と技』 小林一章
『エレガントな問題解決 一柔軟な発想を引き出すセンスと技』　Paul Zeitz
『数学オリンピック事典一問題と解法』　野口 広
『三角法の精選103問 (数学オリンピックへの道)』 T. アンドレースク
同シリーズ『組合せ論の精選102問』 『数論の精選104問』
『三角形と円の幾何学一数学オリンピック幾何問題完全攻略』海鳴社　安藤哲哉
『美しい不等式の世界: 数学オリンピックの問題を題材として』 Radmila Bulajich Manfrino

★数学検定(12~1級　さらに段位もあるらしい)
『ためせ実力！めざせ1級！　数学検定1級実践演習』 中村力

★数学辞書
『数学英和小事典』KS理工学専門書
『ブルーバックス　現代数学小事典』寺阪英孝
『数学要綱　定理公式証明辞典』聖文社
『幾何学辞典一問題解法』聖文社
『岩波 数学入門辞典 』
『岩波　数学辞典』

★数学公式集
『モノグラフ　公式集』
『高校数学体系 定理・公式の例解事典一証明と応用例で完全理解』河田 直樹
『数学公式ハンドブック ポケット版　』共立出版　AlanJeffrey

★未解決問題集
『新装版 数学・まだこんなことがわからない一難問から見た現代数学入門』(ブルーバックス) 吉永良正
『まだ誰も解けていない 科学の未解決問題』竹内薫
『数学21世紀の7大難問一数学の未来をのぞいてみよう』 (ブルーバックス)中村 亨
『グラフ理論最前線 (入門 有限・離散の数学)』朝倉書店　秋山仁
『数論〈未解決問題〉の事典』朝倉書店　リチャードKガイ
『リーマン予想は解決するのか?_絶対数学の戦略』　黒川 信重　小島寛之
『21世紀の新しい数学 ~絶対数学、リーマン予想、そしてこれからの数学~』黒川信重
『ABC予想入門』 (PHPサイエンス・ワールド新書)黒川 信重　小山　信也
『素数からゼータへ、そしてカオスへ』　小山　信也
『数学七つの未解決問題一あなたも100万ドルにチャレンジしよう!』 一松 信
『数学セミナー増刊 ミレニアム賞問題 2010年 07月号 [雑誌]』

★中学受験　算数
部分削除6/12
雑誌『中学への数学』東京出版

★数学マンガ
『数学ガール 上下』 (MFコミックス フラッパーシリーズ) 日坂 水柯
『数学ガール　フェルマーの最終定理』　１２３(コミックフラッパー)　春日旬
『フェルマーの最終定理 萌えて愉しむ数学最大の難問』 三嶋くるみ
『数学ガール　ゲーデルの不完全性定理』　１２ (コミックアライブ) 茉崎 ミユキ
『数学女子』１～３巻　竹書房　安田まさえ
『和算に恋した少女１２』　中川真
『算法少女 1』 (SPコミックス)秋月めぐる
『天地明察1,2,3,4』 (アフタヌーンKC) 槇えびし
『マンガでわかる微分積分』　小島寛之
『マンガでわかる微分積分　微積ってなにをしているの？　どうして教科書はわかりにくいの？』 (サイエンス・アイ新書)石山たいら,大上丈彦
『マンガでわかる統計学　素朴な疑問からゆる~く解説』サイエンス・アイ新書 大上 丈彦
『マンガでわかる微分方程式』　佐藤実,あづま笙子,トレンドプロ
『マンガでわかるフーリエ解析』トレンドプロ
『マンガでわかる虚数・複素数』　相知政司
『マンガでわかる電気数学』　田中 賢一
『マンガでわかる線形代数』　高橋信
『マンガでわかる統計学』高橋信
『マンガでわかる統計学回帰分析編』高橋信
『マンガでわかる統計学 因子分析編』　高橋信
『マンガでわかるナースの統計学 -データの見方から説得力ある発表資料の作成まで-』
田久 浩志

★数学をからめた読み物
・『お任せ！数学屋さん』ポプラ社　　向井湘吾
・『浜村渚の計算ノート』講談社　青柳 碧人
・『数学ガール』同シリーズ『フェルマーの最終定理』『ゲーデルの不完全性定理』『乱択アルゴリズム』『ガロア理論』『数学ガールの秘密ノート　式とグラフ』『数学ガールの秘密ノート　整数で遊ぼう』『数学ガールの秘密ノート/丸い三角関数』
　　ソフトバンククリエイティブ　結城浩

★中高大一貫の数学教育(受験としては余分なものが入りすぎているかも)

・松坂和夫

『数学読本〈1〉数・式の計算/方程式/不等式』

『数学読本〈2〉簡単な関数/平面図形と式/指数関数・対数関数/三角関数』

『数学読本〈3〉平面上のベクトル/複素数と複素平面/空間図形/2次曲線/数列』

『数学読本〈4〉数列の極限，無限級数/順列・組合せ/確率/関数の極限と微分法』

『数学読本〈5〉微分法の応用/積分法/積分法の応用/行列と行列式』

『数学読本〈6〉線形写像・1次変換/数論へのプレリュード/集合論へのプレリュード など』

『解析入門〈1〉数／数列と級数／関数の極限と連続性／微分法／各種の初等関数』

『解析入門〈2〉関数の近似，テイラーの定理／積分法／積分の計算／関数列と関数級数／n次元空間』

『解析入門〈3〉集合論初歩／距離空間の位相／連続写像の空間／多変数の関数』

『解析入門〈4〉線形写像／行列式／逆写像定理と陰関数定理／固有値と2次形式／フーリエ展開』

『解析入門〈5〉複素数の関数／複素積分／複素解析の続き』

『解析入門〈6〉重積分／重積分の変数変換／微分形式とその積分／ルベーグ積分』

・『中高一貫教育をサポートする体系数学シリーズ』数研出版

体系数学１　代数編[中学1，2年生用]数と式の基本的な性質を知る

幾何編[中学1，2年生用] 図形の基本的な性質を知る

体系数学２　代数編[中学2，3年生用]　数と式の世界をひろげる

幾何編[中学2，3年生用]　図形のいろいろな性質をさぐる

体系数学３ 数式・関数編[高校1，2年生用]　数と式，関数，図形の性質

論理・確率編[高校1，2年生用]論理，確率と統計，整理の性質

体系数学４ [高校2年生用]　微積分の基礎と数列・ベクトル

体系数学５ [高校3年生用]　複素数平面と微積分の応用

・チャート式参考書　数研出版

『三訂版対応中高一貫教育をサポートする チャート式 体系数学１ 代数編 [中学1，2年生用]』同シリーズ『チャート式 体系数学１ 幾何編 [中学1，2年生用]』『チャート式 体系数学２ 代数編 [中学2，3年生用]』『チャート式 体系数学２ 幾何編 [中学2，3年生用]』

・準拠問題集　数研出版

三訂版対応　中高一貫教育をサポートする

体系問題集数学１代数編 [中学1，2年生用]１幾何編 [中学1，2年生用]

三訂版対応　中高一貫教育をサポートする

体系問題集数学２代数編 [中学2，3年生用]２幾何編 [中学2，3年生用]

・ブルーバックスの新体系教科書

『新体系・中学数学の教科書 上・下』(ブルーバックス)　芳沢 光雄
『新体系・高校数学の教科書 上・下』(ブルーバックス) 芳沢 光雄

・武藤徹
中学生向け
『新しい数学の教科書 1数量編、2図形編ー発想力をのばす中学数学』
文一総合出版　武藤徹
『武藤徹の高校数学読本』シリーズ　）高校生向け
『１、数と計算のはなし（代数篇）』
『２、図形のはなし(幾何篇)』
『３、多次元の世界をのぞく（ベクトル・行列篇）』
『４、運動と変化のはなし（関数篇）』
『５、ミクロとマクロをつむぐ（微分積分篇）』
『６、大量現象のはなし（確率・統計篇）』

・志賀浩二
学習指導要領にとらわれない新しい教科書　中高一貫数学コース(全１１巻)
『新しい数学教科書の構想』
『数学１』
『数学１をたのしむ』
『数学２』
『数学２をたのしむ』
『数学３』
『数学３をたのしむ』
『数学4』
『数学４をたのしむ』
『数学５』
『数学５をたのしむ』

『数学が生まれる物語　数の誕生』同シリーズ『２数の世界』『３式と方程式』
『４座標とグラフ』『５関数とグラフ』『６図形』

『数学が育っていく物語　極限の深み一数列と級数』同シリーズ『２解析性一実数から複素数へ』『積分の世界ー一様収束とフーリエ級数』『線形性一有限次元から無限次元へ』
『方程式一解ける鎖、解けない鎖』『曲面一硬い面、柔らかい面』

『大人のための数学 1数と量の出会い 数学入門』同シリーズ

『２変化する世界をとらえる 微分の考え、積分の見方』『３無限への飛翔 集合論の誕生』
『４広い世界へ向けて 解析学の展開』『５抽象への憧れー位相空間:20世紀数学のパラダイム』『６無限をつつみこむ量』『７線形という構造へ一次元を超えて』

数学30講シリーズ
『微分・積分30講』『線形代数30講』『集合への30講』『位相への30講』
『解析入門30講』『複素数30講』『ベクトル解析30講』
『群論への30講』『ルベーグ積分30講』『固有値問題30講』

・遠山啓
『さんすうだいすき』シリーズ
『１、どちらがおおきい？』『２、なかまあつめ』『３、かずってなんだ？①0から5まで』『４、わける　まとめる』『５、えあわせ　でんこうニュース』『６、かずってなんだ？6から99まで』『７、くりあがり　くりさがり』　『８、おおきなかず　100から1000まで』　『９、はかってみようセンチメートル・デシリットル』『１０、かけざんをやろう』
『算数の探検』シリーズ(全10巻)小学生向け
1 たす　ひく　かける　わる（加減乗除）
2 いろいろな単位1（外延量）
3 小数と分数（小数・分数）
4 いろいろな単位2（内包量）
5 形とあそぼう（図形）
6 変身箱の不思議（比例・関数）
7 ふく面の算数（代数）
8 集合だいすき（集合）
9 数は魔術師（数の性質）
10 数と形のクイズ（算数のクイズ）
『数学の広場』シリーズ　中高生向け
『１、数の生い立ち』『２、数のふしぎ』『３、2次元の世界』『４、3次元の世界』『５、ふく面の数学Ｉ』『６、魔法の箱』『７、ふく面の数学　II』『8、数楽サロン』『別巻　数学ハンドブック』

★数学全般
・直観(大まかな(本質的な？)理解を促進)
『直観でわかる数学』『続　直観でわかる数学』岩波書店　畑村洋太郎
『物理数学の直観的方法』ブルーバックス　長沼伸一郎

・関沢正躬

1　かけ算とわり算　（関沢　正躬／小野　かおる　絵）
2　小数の計算
3　分数の計算
4　やさしい文章題
5　すすんだ文章題
6　面積と体積
・『考え方の練習帳　計算のひみつ』さえら書房　瀬山士郎
同シリーズ『点と線のひみつ』『面積のひみつ』『形と曲面のひみつ』『数のひみつ』

・『はじめまして数学〈1〉自然数を追え、無限を掴まえろ!』(幻冬舎文庫)吉田武
同シリーズ『〈2〉ベクトルをまわせ、ドミノを倒せ! 』『〈3〉二階建ての数「分数」の世界 』

・『よしざわ先生の「なぜ？」に答える数の本　1 誕生日当てクイズっておもしろい　数と計算のしくみ』日本評論社　　文　芳沢光雄　絵　さとうゆり
同シリーズ『2 じゃんけんの算数　樹形図と確率の考え方』『3　つぎつぎと増えていく利息　数でとらえる量の変化』『4 立方体を切ってみよう　いろいろな図形』

・『数学ガール』同シリーズ『フェルマーの最終定理』『ゲーデルの不完全性定理』『乱択アルゴリズム』『ガロア理論』『数学ガールの秘密ノート　式とグラフ』『数学ガールの秘密ノート　整数で遊ぼう』『数学ガールの秘密ノート/丸い三角関数』
　　ソフトバンククリエイティブ　結城浩

・その他よみもの
『算数がメチャとくいになれる本ー秋山仁のおもしろ授業』 秋山仁
『生き抜くための数学入門』理論社　新井紀子
『算数の発想ー人間関係から宇宙の謎まで』(NHKブックス)小島寛之
『解法のスーパーテクニックー高校への数学』東京出版　小島寛之
『数学ワンダーランド　高校への数学』東京出版　小島寛之
『世界は2乗でできている 自然にひそむ平方数の不思議』小島寛之
『無限を読みとく数学入門 世界と「私」をつなぐ数の物語』角川ソフィア文庫小島 寛之
『世界を読みとく数学入門日常に隠された「数」をめぐる冒険』角川ソフィア文庫
『景気を読みとく数学入門』 角川ソフィア文庫 小島　寛之
『数学と算数の遠近法ー方眼紙を見れば線形代数がわかる』ハヤカワ文庫NFー数理を愉しむシリーズ　瀬山士郎
『読む数学 通読できる数学用語事典』 BERET SCIENCE　瀬山士郎
『はじめての現代数学 』(ハヤカワ文庫NFー数理を愉しむシリーズ)瀬山士郎
『算数・数学が得意になる本』 (講談社現代新書) 芳沢 光雄

『数学的思考法ー説明力を鍛えるヒント』 講談社現代新書 芳沢 光雄
『やりなおし算数道場ー小学校でこう教わりたかった!』ブルーバックス 歌丸 優一
『算数が好きになる本 算数を学ぶ意味と方法がわかる』 世の中への扉　芳沢 光雄
『へんな数式美術館 ~世界を表すミョーな数式の数々』技術評論社　竹内薫
『体感する数学』竹内薫
『ビジュアル式 数学嫌いが治る本』竹内薫
『数学I・II・III…∞ー高校からの数学入門』日本評論社　小針アキ紘
『数の悪魔　算数・数学が楽しくなる12夜』晶文社　エンツェンスベルガー
『算数おもしろ大事典IQ 増補改訂版 [大型本]』
『数と形の事典ー算数がもっとおもしろくなる 自分で考える力をつけよう!』新井紀子
『数学の幸せ物語〈前編〉〈後篇〉』現代数学社　　清史弘
『数学ひとり旅ー数学=不思議発見』現代数学社　石谷茂
『高校生のためのハイレベル数学』同シリーズ
『新しい解析幾何・複素数とガウス平面』『関数の代数的処理・古典整数論』石谷茂
『大道を行く高校数学 (代数・幾何編)』『解析編』『確率・統計編』
『無限大の魔術』現代数学社　石谷茂
『高校生に贈る数学 (1)(2)(3)』上野健爾,志賀浩二,森田茂之
『数学嫌いな人のための数学ー数学原論』小室直樹
『現代数学入門 (ちくま学芸文庫)』　遠山啓
『数学の学び方・教え方』 (岩波新書)遠山啓
『数学入門〈上〉〈下〉』 (岩波新書)　遠山啓
『親と子で学ぶ算数入門 数と計算のしくみから関数の初歩まで』遠山啓
『基礎からわかる数学入門 数の発展から微分積分まで』遠山啓
『数学への旅〈1〉方程式と対称性』現代数学社　山下純一
『数学への旅〈2〉数論とトポロジー』現代数学社　山下純一
『社会人と大学生のための中学数学精義』現代数学社　安藤洋美
『社会人と大学生のための高校数学精義』現代数学社　安藤洋美
『高校数学＋α：基礎と論理の物語』 宮腰 忠
『高校数学+α :なっとくの線形代数』 宮腰 忠
『算数再入門ーわかる、たのしい、おもしろい』 中公新書　中山理
『中学数学再入門 - できる、やさしい、役に立つ』中公新書　中山理
『現代数学の土壌ー数学をささえる基本概念』　日本評論社　上野 健爾
『長岡先生の授業が聞ける高校数学の教科書数学』(考える大人の学び直しシリーズ)
『数学再入門:心に染みこむ数学の考え方』　長岡亮介
『小学校6年間の算数が6時間でわかる本』 間地 秀三
『中学3年間の数学を8時間でやり直す本 』間地 秀三
『中学3年分の数学が14時間でマスターできる本』 間地 秀三

★和算

『算法少女』 (ちくま学芸文庫)遠藤 寛子

『和算書「算法少女」を読む』 (ちくま学芸文庫)　小寺 裕

『天地明察』冲方丁

『夢中になる!江戸の数学』 (集英社文庫 さ)　桜井進

『和算で遊ぼう!ー江戸時代の庶民の娯楽』　佐藤 健一

『平成版「塵劫記」ーおもしろ算術書のすすめ』佐藤 健一

『和算で数に強くなる!』 (ちくま新書)　高橋 誠

『中学数学で解ける和算百話』佐藤 健一

『高校数学で挑戦する和算難題』佐藤 健一

『中学校 和算でつくるおもしろ数学授業』上垣 渉

『日本の幾何ー何題解けますか? 上、ねずみ算・油分け問題から微積分まで』

『下、三角形・円・楕円などの幾何問題』 深川 英俊

『聖なる数学:算額-世界が注目する江戸文化としての和算』深川 英俊

『江戸の天才数学者: 世界を驚かせた和算家たち』 (新潮選書)鳴海　風

『和算小説のたのしみ (岩波科学ライブラリー)』　鳴海　風

★数学史

『数学をつくった人びと1,2,3 』(ハヤカワ文庫 NF285)　E.T．ベル

『偉大な数学者たち』 (ちくま学芸文庫)岩田 義一

『マンガ おはなし数学史ーこれなら読める!これならわかる!』ブルーバックス佐々木 ケン

『すばらしい数学者たち』 (新潮文庫 や 10-3) 矢野健太郎

『天才数学者はこう解いた、こう生きた』講談社選書メチエ　木村 俊一

『近世数学史談』高木貞治　岩波文庫

『確率論の黎明』　現代数学社　安藤洋美

『多変量解析の歴史』現代数学社　安藤洋美

『最小二乗法の歴史』現代数学社　安藤洋美

『無限からの光芒ーポーランド学派の数学者たち』志賀浩二

『不可能へのあこがれ ー数学の驚くべき真実ー』　John Stillwell

『数学のあゆみ〈上〉〈下　〉』 朝倉書店John Stillwell

『数の歴史』 (「知の再発見」双書)ドゥニ・ゲージ

『数の発明』 (岩波科学ライブラリー)　足立 恒雄

★認知科学と数学

『数学の認知科学』　G. レイコフ

『なぜ数学が「得意な人」と「苦手な人」がいるのか』 主婦の友社　ブライアンバターワース

『数覚とは何か?一心が数を創り、操る仕組み』　早川書房　スタニスラス・ドゥアンヌ

★数学教育史
『異説数学教育史』　現代数学社　安藤洋美
『高校数学史演習』現代数学社　安藤洋美
『日本数学教育史』　中谷太郎
『日本数学教育の形成』　伊達文治
『数学教育史 改訂版ー一つの文化形態に関する歴史的研究 』岩波書店　小倉金之助

★数学ソフトについて　Reduce,Derive,Mathcad,Maple,Mathematica,Matlab
『入門Mathematica 【決定版】 Ver.7対応』　東京電機大学出版局
『Mathematicaクックブック』オライリージャパン　　Sal Mangano
『Mathematica確率ー基礎から確率微分方程式まで 』小林道正
『Mathematicaで絵を描こう 』東京電機大学出版局 中村 健蔵
『Mathematicaによる金融工学』椎原 浩輔
『Mathematica? for Physics』 Addison Wesley Robert L. Zimmerman

★数学教育
『数学ランド・おもしろ探検』　森北出版　寺田文行
『数学の探究的学習ーセンター試験数学1A・2Bを通して創造力を育む』　培風館
『現代数学と数学教育』 基礎数学選書　森毅
『創造性と論理性を育む図形教材の開発とその指導』　坂井裕
『授業に役立つ算数教科書の数学的背景』　齋藤 昇
『確かな算数・数学教育をもとめて』杉山 吉茂"
『数学史の視点から分析する 中学校数学 重要教材研究事典 数と式編』上垣渉
『数学ハンドブック (数学の広場 (別巻))』遠山啓
『算数・数学科重要用語300の基礎知識』 中原 忠男
『算数・数学教育における構成的アプローチの研究』 中原 忠男
『公理的方法に基づく算数・数学の学習指導』 杉山 吉茂

★数学雑誌
『現代数学(旧　理系への数学)』現代数学社
『数学セミナー』日本評論社
『中学への数学』東京出版
『高校への数学』東京出版
『大学への数学』東京出版
『数学教室』

『数学教育』
『岩波　数学』
『数理科学』
『パリティ』
『数学のたのしみ』季刊誌(廃刊)
『The Mathematical Intelligencer』

月刊『大学への数学』栗田哲也著作目録（自己メモ）
２００１年　目覚まし講義
４月　互除法で遊ぶ
５月　階差をとるということ
６月
７月　展開の利用
８月　複素数の威力
９月
１０月
１１月
１２月
１月　積分の不等式
２月　２次曲線どうしの類似性質
３月

２００２年　数学一工夫教室
４月
５月
６月
７月　方程式が生んだ無理数
８月　反則連発
９月
１０月
１１月　ブレーンストーミング
１２月　矢印方式
１月　自分で工夫する例
２月　レーリーの定理（１）
３月　レーリーの定理（２）

２００３年　数学力向上のヒント

４月
５月　円に内・外接
する三角形
６月　（a＋b）^2－（a－b）^2＝4ab
７月　整数問題は単純な事実に利用価値
８月　昔常識今ハテナ
９月　合同式
１０月　答えだけなら
１１月
１２月　行列で遊ぶ（１）
１月　　行列で遊ぶ（２）
２月
３月　頻出する素材に要注意

２００４年　問題にどう取り組むか
４月　順序よく整理する
５月　特別な局面を考察する
６月　欲張り者の不等式
７月　“斜交”感覚
８月　合成すると
９月　方針の限界を弁える
１０月　凸な関数の不等式
１１月　いつか戻る（繰り返す）
１２月　不等式感覚の要る整数問題
１月　素朴な感覚が入試を制す
２月　初等幾何の面白さ
３月　中学入試と大学入試のコワイ関係

２００５年　手法あれこれ
４月　『代入』の面白さ
５月　なかなかできないあたりまえの解法
６月
７月　コーシー・シュワルツの不等式
８月　対象に親しむということ一包絡線を題材に
９月　格子点の問題
１０月　円柱曲線
１１月　式の意味を考える

１２月　背後にひそむ三角関数
１月　部分分数の威力
２月　√２に近づく工夫（１）
３月　√２に近づく工夫（２）

２００６年　差のつく１行題
４月
５月　ベクトルの内積
６月
７月　方針を見通す
８月　図形の急所
９月　三角形の五心
１０月
１１月　座標平面の急所
１２月　放物線の図形的性質
１月　座標平面上の円
２月　図形の変換
３月　立体の背景知識

２００７年　認識の源
４月　ものの見え方
５月　整理の方法
６月　分類から思考へ
７月　部屋割り論法
８月　注目するポイントは
９月
１０月　既知の事項に帰着する
１１月　認識は樹木のように育つ
１２月　操作と不変量
１月　変換で何が保存されるか
２月　決定と設定（１）
３月　決定と設定（２）

２００８年
４月　理解の枠組み
５月　わかるって何？
６月　パターン問題の勉強法

７月　解けるけれどもわからない？
８月
９月　興味の有無
１０月　興味の核となる“意外”な事項
１１月
１２月　ちょっとした能動性
１月　別解を工夫してわかること
２月　問題をつくる
３月

２００９年　不等式の骨組み
４月
５月　数学的帰納法で不等式を解く
６月
７月　Jensenの不等式
８月　相加平均・相乗平均の不等式
９月
１０月　並べかえの不等式
１１月　不等式照明のテクニック
１２月　不等式の拡張（１）
１月
２月
３月

２０１０年　行列の周辺
４月
５月
６月
７月　行列の基本変形など（４）
８月
９月
１０月
１１月　固有値が共通
１２月　固有ベクトルが共通
１月
２月
３月　大学入試の問題あれこれ（２）

２０１１年　方針の立て方
４月
５月
６月
７月　整式についての証明問題
８月　論理・発想の冴え
９月　一度は経験しておきたい方法
１０月
１１月
１２月
１月　体積を求める（３）
２月
３月　難問の学習方法

三角比・三角関数の話題
４月　三角比事始め一名付けるということ
５月　三角比の諸公式一遊んで慣れる三角比
６月
７月
８月　幾何の難問
９月
１０月
１１月
１２月
１月
２月
３月　直交する関数とフーリエ級数の入口

２０１３年　代数の周辺
４月　等式の面白さ
５月　式の見方・扱い方
６月
７月　ぐるぐるとまわる解
８月　係数を眺めるだけでわかること（１）
９月　係数を眺めるだけでわかること（２）
１０月　次数が３以下の多項式

１１月　多項式の基底
１２月　１尽くし

「４次元の数学」松平正義　月刊『理系への数学』現在『現代数学』　現代数学社
１　４次元ユークリッド空間　２００５年５月号
２　３次元球面と４次元球体
３　４次元の正多面体
４　正２４胞体
５　オイラー数
６　フェルマー予想とトポロジー
７　複素曲線
８　立体射影
９　４次元の円筒とその交わり
１０　４次元のハンドル
１１　楕円曲線　２００６年４月号
１２　ベルヌーイ数
１３　概複素構造
１４　ファイバー束
１５　球面の接束
１６　接束と接続
１７　曲率
１８　凸体
１９　ヘロンの公式
２０　２次正方行列　２００７年７月
２１　ボルスク・ウラムの定理
２２　４元数　２００７年９月
２３　カービー計算入門
２４　４次元のベクトルと計量
２５　コバノフホモロジー
２６　三重積分
２７　ハミルトン閉路とハイパーグラフ
２８　一次独立性と共面条件
２９　関数の空間・凸錘の座標
３０　漸化式と微分方程式
３１　オイラー数とゼータ関数
３２　トーリック多様体の特異点解消
３３　基本群

３４　ウエイトと因数分解
３５　斜回転体の体積
３６　旗多様体と球面
３７　４次元の一次変換
３８　平面から平面への写像
３９　パッフィアン
４０　共鳴定理
４１　グラフと実特異点解消
４２　ポワンカレ３球面
４３　スライス結び目と可縮な４次元多様体
４４　Spin C群
４５　コーシー・シュワルツの不等式
４６　定数係数線形常微分方程式
４７　選択公理と基底
４８　積分幾何学における平均値の手法
４９　ラグランジュの未定乗数法
５０　リーマン・ロッホの定理　２０１０年１１月号
５１　円周上の関数と円周への関数
５２　逆関数定理
５３　５胞体の外心
５４　行列の作る図形
５５　レムニスケート　２０１１年８月号
５６　アロベロスとデカルトの4円定理
５７　ナッシュ均衡と4次元空間内の曲面
５８　回転不変性とパッポス・ギュルダン　２０１２年３月
５９　共面条件と平面の式　２０１２年１月　（未読）
６０　４次元行列と多項式　２０１２年４月
６１　２次行列上の関数
６２　４次元空間内の直線
６３　４次元の楕円と接空間
６４　対称群と平方剰余
６５　行列の標準形
６６　４次元空間内の平面
６７　４次元キューブと行列式
６８　４次元の鏡映と回転
６９　中間値の定理と平均値の定理
７０　配位空間　２０１３年２月号

４次元の数学より抜粋
「今年も週刊誌に大学合格ランキングが載っています。４０年前は東大合格者数第１位の高校は都立日比谷高校で181人合格してました。今年は、30位までにに公立高校が、愛知県立岡崎高校の28人を筆頭に３校しか入っていません。お金もちのみが高い教育を受けられて、専門職が世襲されると、日本の国際競争力がどんどん落ちていきます。そこで、新しいタイプの指導者を育成しようとT大のM教官は高校に出張授業を行うことにしました。その授業のやりとりをここに紹介します。」（「３次元球面と４次元球体」より引用）

「日々感じていることですが、マスコミは、数学をしっかり勉強して論理的な思考ができるようになった理系の学生を５０％以上採用して欲しいものです」
（「４次元の正多面体」より引用）
「生徒諸君から「どの学校を選んだらよいか」という質問を頻繁に受けます。
（１） 校舎の扉の前に立ったとき、歓迎されている感覚があるか、拒絶されていると感じるか。この第一印象が、実は最も大切かも知れません。
（２） 教室は少人数か。黒板は見えるか。図書館に教科書から専門の洋書まで揃っているか
（３） 教官に研究実績があるか。博士号を持っているか。本当の意味での頭の良い教官は、できない学生の気持ちが忖度できるので、親身になって指導して下さいます。
（４） 入試科目に、理系なら国語、文系なら、基礎的な証明問題が出ているか。理工系で数ⅢCが無い所は論外。（引用者注、旧課程理系には数Cがありました）
（５） 前年度までの入学者の顔ぶれはどうか
（６） 就職や進学状況がよいか。国家試験や東大大学院などへの合格者がどれだけいるかを、国や大学院の公開情報から入手する
以上の点を注意して進学先を選ぶと良いと思います。」（「正２４胞体」より引用）

「大学入試で、数学に限らず化学でもオイラー数の問題が出題されているのでした」
（「オイラー数」より引用）

「いろいろ言いたいことがあるのですが、とりあえず感想は「計算と知識で強引に解いている」ですね。塾の先生は、医学部などの学生さんで、数学の専門教育を受けていない人ではないですか」（「立体射影」より引用）

「どんな問題が良い問題なのですか。一余計な条件がなく、すっきりしていて、数学的に自然な疑問に由来する。数学塾で教えるような受験技術が不要で、解き方に多様性がある。オリジナリティがあるか、または数学的背景がある。教科書の公式証明、概念説明などは望ましい。問題集に載っているものは×」
「S；（引用者注　行列の話題をうけて旧課程では行列を）数Cでやるので、文部科学省の教育課

程では３年になってからです。うちの高校では先取り学習していますが
M；1,997年入試より前は、高２で習ったので、文系も理系も全員勉強しました。今の文系の人は線形代数をやらないのですか
S；全く習いません。
M；しかし経済学や政治学では、意思決定や状況分析に必須の道具として行列を使います。大学では既知として授業が進むことが多いですけど大丈夫なんでしょうか
S；近所のお兄さんは、遊びまくっていたけど、大学を卒業できてました。卒業後も遊んでいますが
M；今の企業の人事は、即戦力になる人材を欲しがりますからね。大学４年間遊んでいたら一生、フリーターかも」（注、新課程では文系も理系も行列は入試にでません）
「（引用者注、京大文系2007年に行列の問題が出たことをうけ）他の大学の文系でも真似をして欲しいです。難しい問題を出す必要は全く無く、どの教科書にも載っているような基本公式、例えば逆行列の公式などの証明や計算ができれば十分なのですから。若い頃、寝ながらでも授業を聞いていたのと、いないのとでは、社会に出てから、天と地の差になります」
（「４元数」より引用）
「M；学校が勉強を教える所であることを忘れている委員がいると困りますね。
S：学校は集団生活の規則なども学ぶ場所だと思います。
M；それは地域社会の役割です。学力を20年前の水準以上に挙げていくことが、日本の技術立国を持続可能にするために必要です。
S；それでは、学校が予備校化しませんか。
M；高いお金を出して塾に行ける学生だけが、入試や、国試に合格できるというのは異常です。学校がもっとしっかり教えてくれないと困ります。」
「S；入試の背景にある大学数学を解説して、未来の出題を予想するような記事があると効率的な受験勉強ができて嬉しいのですが。
M；私の、この講義がまさにそのような役割を果たしてくれると思いますよ。」（「曲率」）

「東京の多くの大学の１年生に対して大規模な調査を行った結果を見ると
（１） 等比数列の和の公式を書き証明せよ
（２） 剰余の定理を書き、証明せよ。
（３） ２項定理を書き、証明せよ。
（４） 内積の定義を２つ書き、同値性を証明せよetc
のどの問題も悲惨な結果になっています。
S；全部高校の文部科学省検定済み教科書に載っていますが
M；塾の先生が「入試に出ない」などと嘘を言って教えてないのでは。数学の理論を教えられない塾講師が多いのだと推測します。」（「２次正方行列」より）

「M；解説の一言一句を詳細に分析しても、時間の無駄です。大切なのは、自力で問題が解けるこ

とです。そのためには問題の数学的背景を暴き出して、類題を練習し、未来の出題に備えることが、効率的な学習法になります。
S；自力で数学的背景を探るなんてできません。
M；そりゃそうです。だから、高校や塾に数学の先生が控えているのです。」
（「関数の空間・凸錘の座標」より）

「S；2,009年の東大合格者数は、筑波大学附属駒場と、愛知県立岡崎が10以内に入ってました。
M；国公立が２校しか入らないのは、格差社会の象徴ですね。私立高に行けるお金持ちの子供の割合が、他大学に比べて、東大合格者に多いというのは、階級の固定化を意味しており、日本経済低迷の病根になっている気がします。」
（「４次元の一次変換」より）

「微分の本質を理解していれば、嘘みたいに簡単に解けます。一略一絶対値の中は、写像Fのヤコビアンと呼ばれるもので、大学1年で習う積分の変数変換の所で出てきます。範囲に縛られて視野狭窄に陥るか、＋αの勉強を教わって１歩高みに登るかで、大きく未来の景色が変わるのです。」
（「平面から平面への写像」より引用）
「S；インターネットで2012年の東大前期の入試を見たら行列が２題も出ていました。
M；へー、そうですか。今年から高校で実施される新課程で、行列が削除されることを東大が快く思っていないのでしょう。」（「2次行列上の関数」より引用）

「私家版　カリキュラム研究所」から引用

創業百年記念フェア「読者が選ぶこの１冊」岩波文庫フェア

■ 新訂　福翁自伝　福沢　諭吉／富田　正文　校訂
■ 学問のすゝめ　福沢　諭吉
■ 中江 兆民　三酔人経綸問答　桑原　武夫，島田　虔次　訳・校注
■ 茶の本　岡倉　覚三／村岡　博　訳
■ 武士道　新渡戸　稲造／矢内原　忠雄　訳
■ 代表的日本人　内村　鑑三／鈴木　範久　訳
■ 後世への最大遺物・デンマルク国の話　内村　鑑三
■ 善の研究　西田　幾多郎
■ 遠野物語・山の人生　柳田　国男
■ 特命全権大使　米欧回覧実記（一）　久米　邦武　編／田中　彰　校注
■ 古寺巡礼　和辻　哲郎
■ 風土――人間学的考察　和辻　哲郎
■ 時と永遠　他八篇　波多野　精一
■ 「いき」の構造　他二篇　九鬼　周造
■ 新版　きけ　わだつみのこえ――日本戦没学生の手記　日本戦没学生記念会　編
■ 君たちはどう生きるか　吉野　源三郎
■ 忘れられた日本人　宮本　常一
■ 家郷の訓　宮本　常一
■ 手仕事の日本　柳　宗悦
■ 意識と本質――精神的東洋を索めて　井筒　俊彦
■ 論語　金谷　治　訳注
■ 老子　蜂屋　邦夫　訳注
■ 新訂　孫子　金谷　治　訳注
■ 歎異抄　金子　大栄　校注
■ 古代への情熱――シュリーマン自伝　シュリーマン／村田　数之亮　訳
■ 中世的世界の形成　石母田　正
■ ソクラテスの弁明・クリトン　プラトン／久保　勉　訳
■ 生の短さについて　他二篇　セネカ／大西　英文　訳
■ マルクス・アウレーリウス　自省録　神谷　美恵子　訳
■ エミール(上)　ルソー／今野　一雄　訳
■ アラン　幸福論　神谷　幹夫　訳
■ 啓蒙の弁証法　M．ホルクハイマー，T．W．アドルノ／徳永　恂　訳
■ ロウソクの科学　ファラデー／竹内　敬人　訳
■ アイン シュタイン　相対性理論　内山　龍雄　訳・解説
■ 古事記　倉野　憲司　校注

■ 新訂　徒然草　西尾　実，安良岡　康作　校注
■ 平家物語(一)　梶原　正昭，山下　宏明　校注
■ 北越雪譜　鈴木　牧之／岡田　武松　校訂
■ 吾輩は猫である　夏目　漱石
■ 坊っちゃん　夏目　漱石
■ 三四郎　夏目　漱石
■ こころ　夏目　漱石
■ 病牀六尺　正岡　子規
■ 仰臥漫録　正岡　子規
■ 破戒　島崎　藤村
■ 夜明け前　第一部　（上）　島崎　藤村
■ 寺田寅彦随筆集（一）　小宮　豊隆　編
■ 柿の種　寺田　寅彦
■ ＝（ボク）東綺譚　永井　荷風
■ 摘録　断腸亭日乗（全2冊）　永井　荷風／磯田　光一　編
■ 友情　武者小路　実篤
■ 銀の匙　中　勘助
■ 童話集　銀河鉄道の夜　他十四篇　宮沢　賢治／谷川　徹三　編
■ みそっかす　幸田　文
■ 共産党宣言　マルクス，エンゲルス／大内　兵衛，向坂　逸郎　訳
■ 雇用，利子および貨幣の一般理論　ケインズ／間宮　陽介　訳
■ プロテスタンティズムの 倫理と資本主義の精神　マックス・ヴェーバー／大塚　久雄　訳
■ 唐詩選(上)　前野　直彬　注解
■ アイヌ神謡集　知里　幸恵　編訳
■ イソップ寓話集　中務　哲郎　訳
■ ハムレット　シェイクスピア／野島　秀勝　訳
■ ヘンリ・ライクロフトの私記　ギッシング／平井　正穂　訳
■ パリ・ロンドン放浪記　ジョージ・オーウェル／小野寺　健　訳
■ 森の生活ーー（ウォールデン）（全2冊）　ソロー／飯田　実　訳
■ ハックルベリー・フィンの冒険（全2冊）　マーク・　トウェイン／西田　実　訳
■ オー・ヘンリー傑作選　大津　栄一郎　訳
■ 若きウェルテルの悩み　ゲーテ／竹山　道雄　訳
■ ドゥイノの悲歌　リルケ／手塚　富雄　訳
■ 魔の山（全2冊）　トーマス・マン／関　泰祐，望月　市恵　訳
■ ラブレー 第一之書　ガルガンチュワ物語　ラブレー／渡辺　一夫　訳
■ レ・ミゼラブル（一）　ユーゴー／豊島　与志雄　訳
■ モンテ・クリスト伯（一）　アレクサンドル・デュマ／山内　義雄　訳

■ ボオド レール　悪の華　鈴木　信太郎　訳
■ 地獄の季節　ランボオ／小林　秀雄　訳
■ 戦争と平和（一）　トルストイ／藤沼　貴　訳
■ ドン・キホーテ　前篇一　セルバンテス／牛島　信明　訳
■ クオ・ワディス（上）　シェンキェーヴィチ／木村　彰一　訳
■ コルタサル 短篇集　悪魔の涎・追い求める男　他八篇　木村　榮一　訳
■ 伝奇集　J. L.　ボルヘス／鼓　直　訳
■ 緑の家　M. バルガス＝リョサ／木村　榮一　訳

「創業百年記念フェア「読者が選ぶこの１冊」岩波文庫フェア」から引用

創業百年記念フェア「読者が選ぶこの１冊」岩波現代文庫フェア

■ 現代語訳　論語　宮崎　市定
■ ルソー　福田　歓一
■ 文学部唯野教授　筒井　康隆
■ 青年茂吉　「赤光」「あらたま」時代　北　杜夫
■ 宮沢賢治　―― 存在の祭りの中へ　見田　宗介
■ 人間の條件（上）　五味川　純平
■ 「赤毛のアン」の人生ノート　――あなたの夢が実現できる7つの鍵　熊井　明子
■ 詩とことば　荒川　洋治
■ 白い道　吉村　昭
■ 中勘助『銀の匙』を読む　十川　信介
■ ご冗談でしょう，ファインマンさん（上）　R．P．ファインマン／大貫　昌子　訳
■ ご冗談でしょう，ファインマンさん（下）　R．P．ファインマン／大貫　昌子　訳
■ 読書術　加藤　周一
■ イシ　――北米最後の野生インディアン　シオドーラ　クローバー／行方　昭夫　訳
■ 密約　――外務省機密漏洩事件　澤地　久枝
■ 私にとっての二〇世紀　―― 付　最後のメッセージ　加藤　周一
■ 獄中記　佐藤　優
■ なぜ日本は没落するか　森嶋　通夫
■ 秘境ブータン　中尾　佐助
■ 医療が病いをつくる　―― 免疫からの警鐘　安保　徹
■ 高木仁三郎セレクション　佐高　信，中里　英章　編

「創業百年記念フェア「読者が選ぶこの１冊」岩波現代文庫フェア」から引用

プログラミングに関するお薦めの本

本の紹介

大きく以下の4項目に分類して紹介します。

入門編：初めてプログラミングをされる方に向けた書籍の紹介

実用編：数値計算・シミュレーション・信号処理をする際に活用できる書籍の紹介

設計編：知っておくとプログラミング効率が上がることが期待される事項に関する書籍を紹介

番外編：プログラミングに関する副読本を紹介

・入門編

この章では、初めてプログラミングをされる方に向けて、環境開発、基礎文法に関して記述してある書籍を紹介します。

プログラミング言語としては需要が高いと想定されるC,Java,MATLABを選びました。

やさしいC (高橋麻奈 著)

プログラミングに関する事項を丁寧に記述しているC言語の入門書です。

プログラム開発環境の構築、ソースコード作成からプログラム実行までの過程、基本的な文法をわかりやすい例で解説しています。

パソコンの仕組みの部分からやさしく記述して説明されているので、初心者にとって最初の壁と言われているアドレス/ポインタの理解も容易でしょう。

明解 C言語 入門編 (柴田望洋 著)

サンプルコードが充実しているC言語の入門書です。

過不足ないコメント、豊富なソースコードの実例より基本的な文法を体得できる良書です。

開発環境の構築については読者に任せられているので、その部分は他の参考書・ホームページを参考にしてください。

明解 C言語によるアルゴリズムとデータ構造 (柴田望洋, 辻亮介 著)

プログラミングをする上で重要なデータ構造とアルゴリズムに関して初歩から学べる1冊です。

配列・探索・ソートなど基本的な事項が図を交えつつ説明されています。

やさしいJava (高橋麻奈 著)

プログラミングに関する事項を丁寧に記述しているJavaの入門書です。

「やさしいC」と同様、環境構築から基本的な文法をわかりやすく解説しています。

またJavaの特徴であるオブジェクト指向の概念についても、身近な例を挙げつつ説明されています。

明解 Java 入門編 (柴田望洋 著)

サンプルコードが充実しているJavaの入門書です。

「明解 C言語 入門編」同様、開発環境に関しては記述が乏しいので、プログラミングを行うまでに少し苦労するかもしれません。

しかし、それ以外の部分は実例も多くわかりやすい構成となっているため、入門書として有用でしょう。

MATLAB プログラミング入門 (上坂吉則 著)

MATLABで何ができるかを把握した後に、基本的文法を学ぶという構成になっているMATLAB入門書です。

基本から勉強したいという方は、第2章から読み進めてもらい、気分転換で第1章を読むと良いかもしれません。

最終章では時系列パターンの解析・循環セールスマン問題・ニューラルネットといった事項

をMATLABで具体的にどのように処理するかを記述してあるので、基礎文法から応用まで広くカバーした良書です。

だれでもわかるMATLAB ： 即戦力ツールブック (池原雅章, 奥田正浩, 長井隆行 著)

一日で基本文法をマスターしたい方にお薦めのMATLAB入門書です。

第1章が「1日で基本機能をマスターする」と銘打っているだけあり、53ページ内に基本的な事項が詰まっています。

これを一通り使いこなせれば、基本的な処理を自分で行うことが可能になるでしょう。

また応用編ではデータ構造・関数・ファイルの入出力・グラフィックと広く扱っているので、この一冊の内容を理解して使えるようになれば、MATLABを十分活用できるでしょう。
・実用編

数値計算・シミュレーション・信号処理を行う際に参考になる書籍を紹介します。

C言語と数値計算法 (杉江日出澄, 鈴木淳子 著)

C言語で数値計算をする方にお薦めの1冊です。

基本的な文法の解説が第1章にあり、数値計算に関する記述が第2章にあります。

文法に問題がない方は第1章を読まずに第2章から読み始めても構わない構成になっています。
数値計算の章では、丁寧に理論が解説され、サンプルプログラム内に過不足ないコメントがされています。

NUMERICAL RECIPES in C (William H. Press [ほか] 著 / 丹慶勝市 [ほか] 訳)

数値計算と言ったらこの本といっても過言ではない程、数値計算に特化した有名な本です。

連立一次方程式の解法・非線形方程式の解法・補間法・乱数など数値計算のほとんどをカバーしています。

理論の解説も丁寧で、サンプルプログラム用の本として使えるだけでなく、理論の勉強用にも使える良書です。

MATLABによる画像＆映像信号処理 (村松正吾 著)

MATLABで画像・映像信号処理をする方に適した1冊です。

基本的な1次元信号処理に関する事項を述べた後、画像信号のコンピュータ上での表現方法から映像の動き推定手法まで網羅しています。

図を多く利用しているため、直感的で理解しやすいです。

MATLAB マルチメディア信号処理(上) (池原雅章, 島村徹也 著)

周波数解析、デジタルフィルタをMATLABで行う方向けの1冊です。

第1章はMATLABに関する基礎事項のため、基礎知識のある方は第2章から読むことをお勧めします。

z変換、フーリエ変換、シミュレーションなど幅広い事項が理論とサンプルコードを用いて解説されています。

・設計編

プログラミングを効率よく行いたい、プログラム修正を簡単にしたいといった方に適した書籍を紹介します。

Java言語で学ぶデザインパターン入門 (結城浩 著)

the Gang of Fourと呼ばれる4人が、プログラムに頻出する同じ処理(パターン)を23個にまとめあげた1冊です。

プログラムの設計をする際は、この本の内容を参考にしつつ設計すると上手く開発できるときがあります。

しかしパターンの力を過信して無理矢理パターンに当てはめてしまうと失敗することがあるので、参考程度と留意しつつ活用してください。

Java言語で学ぶリファクタリング入門 (結城浩 著)

プログラムを作ることができるけれど、バグが多い方や修正に悩まされている方にお薦めの1冊です。

読みやすく、きれいなコードをどのように書いていくのかを実例を交えて、丁寧に解説しています。

Code Complete (Steve McConnell 著 / クイープ 訳)

プログラムを効率的に作ることを考える人にお薦めの1冊です。

ポインタの使い方・if文の書き方などプログラミングでは欠かせない事項を豊富な具体例を挙げつつ指南しているので、自分のソースコードと照らし合わせながらそこに書かれていることを理解することができます。

これを読んだ次の瞬間から実践できるTipsが多々載っているので、飽きませんし、プログラミング上非常に有用です。

・番外編

プログラミングに直接は関係ないですが、読むとプログラミングがより面白くなる本を紹介します。

ビューティフルコード (Andy Oram, Greg Wilson 編 / Brian Kernighan [ほか] 著 / 久野禎子, 久野靖 訳)

一流のプログラマ達が今まで出会ったコードの中で美しいと感じるものを紹介している1冊です。

様々なソースコードの美しさを知るには非常に適した1冊でしょう。

それぞれ紹介されているソースコードをより深く理解するには、それに関する基礎知識が必要です。

そのため、インターネットや書籍などを活用し、その事項に関して勉強することをお勧めします。

プログラマのための論理パズル (Dennis E. Shasha 著 / 吉平健治 訳)

プログラミングには論理思考能力が必要です。

そこで論理思考トレーニングに適しているのがこの1冊です。

難解な数学を使うわけではなく、簡単な数学で解くことができる難しい問題が33題用意されています。

ウォーミングアップの問題からはじまり、徐々に難しくなっていきます。

力試しをしたい方はウォーミングアップ問題を飛ばして問題を解くことをお勧めします。

コンピュータはなぜ動くのか (矢沢久雄 著)

書名の通り、コンピュータはなぜ動くのかを知りたい人にお薦めの1冊です。

ハードウェアの理解をするためにマイコンを仮想的に作るところからはじめます。

そしてアセンブリ言語・データ構造とアルゴリズム・オブジェクト指向プログラミング・データベース…と非常に幅広いテーマをこの1冊で網羅しています。

プログラムはなぜ動くのか (矢沢久雄 著)

書名の通り、プログラムはなぜ動くのかを知りたい人にお薦めの1冊です。

普段は意識することがないプログラムの挙動を、コンピュータでの数字の扱いや機械語に近いアセンブリの解説を通して説明しているため、コンピュータに対する理解が深まること必至です。

「プログラミングに関するお薦めの本」から引用

『有栖の乱読』(有栖川有栖著、リクルート、1998年4月刊)より

１．「シャーロック・ホームズ」シリーズ　コナン・ドイル
２．怪盗紳士リュパン　　モーリス・ルブラン
３．オランダ靴の謎　　エラリイ・クイーン
４．グリーン家殺人事件　　ヴァン・ダイン
５．江戸川乱歩文庫（全30巻）　　江戸川乱歩
６．孤島の鬼　　江戸川乱歩
７．Ｙの悲劇　　エラリイ・クイーン
８．オリエント急行の殺人　　アガサ・クリスティ
９．本陣殺人事件　　横溝正史
10．獄門島　　横溝正史
11．毒入りチョコレート事件　アントニイ・バークリー
12．殺意　　フランシス・アイルズ
13．ボッコちゃん　　星新一
14．ベトナム観光公社　　筒井康隆
15．樽　　Ｆ．Ｗ．クロフツ
16．赤毛のレドメイン家　　イーデン・フィルポッツ
17．りら荘事件　　鮎川哲也
18．針の誘い　　土屋隆夫
19．ポオ小説全集（１～４）　　エドガー・アラン・ポオ
20．ブラウン神父の童心　　Ｇ．Ｋ．チェスタトン
21．点と線　　松本清張
22．高層の死角　　森村誠一
23．世界短編傑作集（１～５）　　江戸川乱歩／編
24．怪奇小説傑作集（１～５）
25．果てしなき流れの果てに　　小松左京
26．虚無への供物　　中井英夫
27．幻の女　　ウイリアム・アイリッシュ
28．ジャッカルの日　　フレデリック・フォーサイス
29．動脈列島　　清水一行
30．爆発の臨界　　田中光二
31．まっ白な嘘　　フレドリック・ブラウン
32．10月はたそがれの国　　レイ・ブラッドベリ
33．人形はなぜ殺される　　高木彬光
34．猫は知っていた　　仁木悦子
35．三つの棺　　ジョン・ディクスン・カー

36. そして誰もいなくなった　　アガサ・クリスティ
37. 黒死館殺人事件　　小栗虫太郎
38. ドグラ・マグラ　　夢野久作
39. 地獄の家　　リチャード・マシスン
40. ラヴクラフト全集（１～５）　　Ｈ．Ｐ．ラヴクラフト
41. 猫の舌に釘をうて　　都筑道夫
42. 十二人の手紙　　井上ひさし
43. 笑う警官　マイ・シューヴァル＆ペール・ヴァールー
44. 悪魔の見張り　　ジェフリイ・コンヴィッツ
45. 大統領の晩餐　　小林信彦
46. 黒いトランク　　鮎川哲也
47. 火刑法廷　　ジョン・ディクスン・カー
48. 九尾の猫　　エラリイ・クイーン
49. 仮題・中学殺人事件　　辻真先
50. 百億の昼と千億の夜　　光瀬龍
51. あなたに似た人　　ロアルド・ダール
52. レベッカ　　ダフネ・デュ・モーリア
53. 暗い傾斜　　笹沢佐保
54. 大いなる幻影　　戸川昌子
55. ジェゼベルの死　　クリスチアナ・ブランド
56. スイート・ホーム殺人事件　　クレイグ・ライス
57. 滅びの笛　　西村寿行
58. 謀殺の弾丸特急　　山田正紀
59. 野獣死すべし　　ニコラス・ブレイク
60. お楽しみの埋葬　　エドマンド・クリスピン
61. 匣の中の失楽　　竹本健治
62. 亜愛一郎の狼狽　　泡坂妻夫
63. 鋼鉄都市　　アイザック・アシモフ
64. 星を継ぐもの　　ジェイムズ・Ｐ．ホーガン
65. 殺しの双曲線　　西村京太郎
66. 妖異金瓶梅　　山田風太郎
67. エニグマ奇襲指令　マイケル・バー＝ゾウハー
68. エヴァ・ライカーの記憶　ドナルド・Ａ．スタンウッド
69. 顎十郎捕物帳　　久生十蘭
70. とむらい機関車　　大阪圭吉
71. ウィチャーリー家の女　　ロス・マクドナルド
72. 九マイルは遠すぎる　　ハリイ・ケメルマン

73. 三毛猫ホームズの推理　　赤川次郎
74. 戻り川心中　　連城三紀彦
75. 暗い鏡の中に　　ヘレン・マクロイ
76. ホッグ連続殺人　　ウィリアム・Ｌ．デアンドリア
77. 占星術殺人事件　　島田荘司
78. サマー・アポカリプス　　笠井潔
79. キドリントンから消えた娘　　コリン・デクスター
80. 奇蹟への八日間　　アーヴィング・ウォーレス
81. 学生街の殺人　　東野圭吾
82. ９９％の誘拐　　岡嶋二人
83. 死者の書　　ジョナサン・キャロル
84. 血の本　　クライヴ・バーカー
85. だれもがポオを愛していた　　平石貴樹
86. 龍の議定書　　多島斗志之
87. 見えないグリーン　　ジョン・スラデック
88. マン・プラン　　フレデリック・ポール
89. 時計館の殺人　　綾辻行人
90. 誰彼　　法月綸太郎
91. 羊たちの沈黙　　トマス・ハリス
92. ミザリー　　スティーヴン・キング
93. 空飛ぶ馬　　北村薫
94. 生ける屍の死　　山口雅也
95. 薔薇の名前　　ウンベルト・エーコ
96. 策謀と欲望　　Ｐ．Ｄ．ジェイムズ
97. エッシャー宇宙の殺人　　荒巻義雄
98. ガダラの豚　　中島らも
99. 葦と百合　　奥泉光
100. 姑獲鳥の夏　　京極夏彦

「『有栖の乱読』(有栖川有栖著、リクルート、1998年4月刊)より」から引用

本屋のオヤジのおせっかい　中学生はこれを読め！中学生に読ませたい　これ読め５００冊リスト

1 アンジュールーある犬の物語 ガブリエル・バンサン ＢＬ出版
2 わたしと小鳥とすずとー金子みすゞ童謡集 金子みすゞ ＪＵＬＡ出版局
3 普及版　モリー先生との火曜日 ミッチ・アルボム NHK出版
4 オーロラの彼方へ 星野 道夫 ＰＨＰ文庫
5 どろぼうの神さま ユルネーリア・フンケ ＷＡＶＥ出版
6 魔法の声 ユルネーリア・フンケ ＷＡＶＥ出版
7 ジンゴ・ジャンゴの冒険旅行 Ｓ.フライシュマン あかね書房
8 愛しの座敷わらし 萩原 浩 朝日新聞出版
9 中学生からの作文技術 本多 勝一 朝日選書
10 天国までの百マイル 浅田 次郎 朝日文庫
11 ３４丁目の奇跡 ヴァレンタイン・ディヴィス あすなろ書房
12 木を植えた男 ジャン･ジオノ あすなろ書房
13 絵本アンネ・フランク ジョセフィーン・プール　文　アンジェラ・パレット　絵 あすなろ書房
14 種をまく人 ポール・フライシュマン あすなろ書房
15 ナゲキバト ラリー・バークダル あすなろ書房
16 黒い兄弟　上・下 リザ・テツナー あすなろ書房
17 モギーちいさな焼きもの師 リンダ・スー・パーク あすなろ書房
18 白いキリンを追って ローレン・セントジョン あすなろ書房
19 アレクセイと泉のはなし 本橋 成一 アリス館
20 強く生きる言葉 岡本 太郎・岡本 敏子 イースト・プレス
21 ロンド国物語　１ エミリーロッダ 岩崎書店
22 宇宙への秘密の鍵 ルーシー＆スティーヴン・ホーキング
23 オバマ　ＹｅｓＷｅＣａｎ！ ロバータ・エドワース 岩崎書店
24 詩のこころを読む 茨木 のり子 岩波ジュニア新書
25 プー横丁にたった家 Ａ・Ａ・ミルン 岩波少年文庫
26 ナルニア国ものがたり　１～７ C.S.ルイス 岩波少年文庫
27 クローディアの秘密 Ｅ.Ｌ.カニグズバーグ 岩波少年文庫
28 ホビットの冒険　上・下 Ｊ.Ｒ.Ｒ.トールキン 岩波少年文庫
29 時の旅人 アリソン・アトリー 岩波少年文庫
30 モンテ・クリスト伯　上・中・下 アレクサンドル・デュマ 岩波少年文庫
31 はてしない物語　上・下 エンデ 岩波少年文庫
32 西遊記　上・中・下 呉　承恩／訳・伊藤 貴麿 岩波少年文庫
33 星の王子さま サン＝テグジュペリ 岩波少年文庫

34 水滸伝　上・中・下 施　耐庵／訳・松枝 茂夫 岩波少年文庫
35 アラビアン・ナイト　上・下 ディクソン 岩波少年文庫
36 王への手紙　上下 トンケ・ドラフト 岩波少年文庫
37 ドリトル先生物語　全１３冊 ヒュー・ロフティング　 岩波少年文庫
38 トムは真夜中の庭で フィリパ・ピアス 岩波少年文庫
39 モモ ミヒャエル・エンデ 岩波少年文庫
40 風の又三郎 宮沢 賢治 岩波少年文庫
41 床下の小人たち メアリー・ノートン 岩波少年文庫
42 三国志　上・中・下 羅　貫中 岩波少年文庫
43 長い冬ーローラ物語１ ローラ・インガルス・ワイルダー 岩波少年文庫
44 大草原の小さな町ーローラ物語２ ローラ・インガルス・ワイルダー 岩波少年文庫
45 この楽しき日々ーローラ物語３ ローラ・インガルス・ワイルダー 岩波少年文庫
46 はじめの四年間ーローラ物語４ ローラ・インガルス・ワイルダー 岩波少年文庫
47 わが家への道ーローラ物語５ ローラ・インガルス・ワイルダー 岩波少年文庫
48 冒険者たちーガンバと１５ひきの仲間 斎藤 惇夫 岩波少年文庫
49 せいめいのれきし バージニア・リー・バートン 岩波書店
50 はなのすきなうし マンロー・リーフ 岩波書店
51 ブラッカムの爆撃機 ロバート・ウエストール 岩波書店
52 ゲド戦記　全６巻 ル＝グウィン 岩波書店少年文庫
53 職人 永　六輔 岩波新書
54 君たちはどう生きるか 吉野 源三郎 岩波文庫
55 ボーイ・ミーツ・ボーイ Ｄ・レヴィサン ヴィレッジブックス
56 トワイライト(１）上・下 ステファニー・メイヤー ヴィレッジブックス
57 この子達を救いたい 濱井 千恵 エフエー出版
58 茶色の朝 フランク・パブロフ 大月書店
59 マルベリーボーイズ Ｄ・Ｊ・ナポリ 偕成社
60 漂白の王の伝説 アウラ・ガジェゴ・ガルシア 偕成社
61 なぜ戦争はよくないか アリス・ウオーカー 偕成社
62 流れ行く者 上橋　菜穂子 偕成社
63 封神演義　上・中・下 許　仲琳 偕成社
64 不思議を売る男 ジェラルディン・マコークラン 偕成社
65 南総里見八犬伝　全４巻 滝沢馬琴／編著・浜たかや 偕成社
66 二分間の冒険 岡田　淳 偕成社文庫
67 クラバート　上・下 オトフリート・プロイスラー 偕成社文庫
68 あしながおじさん　正・続 ジーン・ウエブスター 偕成社文庫
69 北へ行く旅人たち 川村 たかし 偕成社文庫
70 コンチキ号漂流記 トール・ハイエルダール 偕成社文庫

71 聖書物語 山室　静 偕成社文庫
72 あなたが世界を変える日 セヴァン・カリス＝スズキ 学陽書房
73 イレギュラー 三羽 省吾 角川書店
74 ヴィヴァーチェ　紅色のエイ あさのあつこ 角川書店
75 ほしのはじまり　決定版　星新一ショートショート 新井 素子編 角川書店
76 ＲＤＧ　レッドデーターガールはじめての使い 荻原　規子 角川書店
77 あのとき始まったことのすべて 中村　航 角川書店
78 いけちゃんとぼく 西原 理恵子 角川書店
79 碧空の果てに 濱野　京子 角川書店
80 ジョーカーゲーム 柳　広司 角川書店
81 夢見る水の王国　上・下 寮　美千子 角川書店
82 羅生門・鼻・芋粥 芥川 龍之介 角川文庫
83 バッテリー　１～６ あさのあつこ 角川文庫
84 ラストイニング あさのあつこ 角川文庫
85 遠い海から来たＣｏｏ 景山 民夫 角川文庫
86 GO 金城 一紀 角川文庫
87 フライ,ダディ,フライ 金城 一紀 角川文庫
88 たったひとつの恋 北川　悦吏子 角川文庫
89 東京文芸散歩 坂崎　重盛 角川文庫
90 ぼくは悪党になりたい 笹生　陽子 角川文庫
91 かっぽん屋 重松　清 角川文庫
92 ぼくらの七日間戦争 宗田　理 角川文庫
93 斜陽 太宰　治 角川文庫
94 女生徒 太宰　治 角川文庫
95 時をかける少女 筒井　康隆 角川文庫
96 火の鳥　全13巻 手塚 治虫 角川文庫
97 ポケットに名言を 寺山 修司 角川文庫
98 兎の眼 灰谷 健次郎 角川文庫
99 せんせいけらいになれ 灰谷 健次郎 角川文庫
100 太陽の子 灰谷 健次郎 角川文庫
101 天の瞳　幼年編　Ⅰ・Ⅱ 灰谷 健次郎 角川文庫
102 アルケミストー夢を旅した少年 パウロ・コエーリョ 角川文庫
103 サッカーボーイズ はらだみずき 角川文庫
104 動物と向きあって生きる 坂東　元 角川文庫
105 もの食う人びと 辺見　庸 角川文庫
106 氷点　上・下 三浦 綾子 角川文庫
107 続氷点　上・下 三浦 綾子 角川文庫

108 水木サンの幸福論 水木　しげる 角川文庫
109 オール1の落ちこぼれ教師になる 宮本 延春 角川文庫
110 DIVE！！　上・下 森　絵都 角川文庫
111 ゴールド・フィッシュ 森　絵都 角川文庫
112 夜は短し歩けよ乙女 森見 登美彦 角川文庫
113 成りあがり 矢沢 永吉 角川文庫
114 １５メートルの通学路 山本 純士 角川文庫
115 スローカーブを、もう一球 山際　淳司 角川文庫
116 キッチン 吉本 ばなな 角川文庫
117 勝てる読書 豊崎　由美 河出書房新社
118 走ル 羽田 圭介 河出書房新社
119 ひとり日和 青山 七恵 河出文庫
120 四万十川ーあつよしの夏 笹山 久三 河出文庫
121 時刻表2万キロ 宮脇 俊三 河出文庫
122 蹴りたい背中 綿矢 りさ 河出文庫
123 青空のむこう アレックス・シアラー 求龍堂
124 十二番目の天使 オグ・マンディーノ 求龍堂
125 ほんのすこしの勇気から 日本国連ＨＣＲ協会ボランティア 求龍堂
126 手をつなげば 木村　裕一 金の星社
127 エドウィナからの手紙 スーザン・ボナーズ 金の星社
128 エア 名木田 恵子 金の星社
129 空色の地図 梨屋　アリエ 金の星社
130 ハッピーバースデー 青木 和雄・吉富 多美 金の星社フォア文庫
131 植村直己地球冒険６２万キロ 岡本文良 金の星社フォア文庫
132 ガラスのうさぎ 高木 敏子 金の星社フォア文庫
133 どうぶつ友情辞典 あべ　弘士 クレヨンハウス
134 リテイク・シックスティーン 豊島　ミホ 幻冬社
135 13歳のハローワーク 村上 龍 幻冬舎
136 ペンギンと暮らす 小川　糸 幻冬社文庫
137 調理場という戦場 斉須 政雄 幻冬舎文庫
138 かもめ食堂 群 ようこ 幻冬舎文庫
139 15歳の「お遍路」 岡田 光永 広済堂出版
140 ちいさなちいさな王様 アクセル・ハッケ 講談社
141 大きな木のような人 いせひでこ 講談社
142 魔笛 画・ミヒャエル・ゾーヴァー／文・那須田淳 講談社
143 妖怪アパートの幽雅な日常 ①～⑩ 香月 日輪 講談社
144 少しは恩返しできたかな 北原　美貴子 講談社

145 風の靴 朽木　祥 講談社
146 ぼくを探しに シェル・シルヴァスタイン 講談社
147 天山の巫女ソニン　１，２，３，４ 菅野 雪虫 講談社
148 心をそだてるはじめての落語１０１ 高田　文夫監修 講談社
149 黄色い本ージャック・チボーという名の友人 高野 文子 講談社
150 月神の統べる森で たつみや章 講談社
151 ヤクーバとライオン　１ ティエリー・デデュー 講談社
152 クローバー 中西　翠 講談社
153 シャボン玉同盟 梨屋　アリエ 講談社
154 青春 西川 つかさ 講談社
155 ひまわりのかっちゃん 西川 つかさ 講談社
156 アイスクリン強し 畠中　恵 講談社
157 都会のトム・ソーヤー①～⑤上下⑥ はやみねかおる 講談社
158 ぼくらの先生 はやみねかおる 講談社
159 未来のきみが待つ場所へ 宮本 延春 講談社
160 だから、あなたも生きぬいて 大平 光代 講談社青い鳥文庫
161 五体不満足 乙武 洋匡 講談社青い鳥文庫
162 トットちゃんとトットちゃんたち 黒柳 徹子 講談社青い鳥文庫
163 リズム 森 絵都 講談社青い鳥文庫
164 半パン・デイズ 重松 清 講談社文庫
165 小石川の家 青木　玉 講談社文庫
166 ＮＯ.６　＃１?５　＃６～７ あさのあつこ 講談社文庫
167 ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか アレン・ネルソン 講談社文庫
168 プラネタリウムのふたご いしいしんじ 講談社文庫
169 地雷を踏んだらサヨウナラ 一ノ瀬 泰造 講談社文庫
170 獣の奏者　Ⅰ　Ⅱ 上橋 菜穂子 講談社文庫
171 飛ぶ教室 エーリッヒ・ケストナー 講談社文庫
172 窓ぎわのトットちゃん 黒柳 徹子 講談社文庫
173 ぼくらのサイテーの夏 笹生 陽子 講談社文庫
174 一瞬の風になれ　1・2・3 佐藤 多佳子 講談社文庫
175 流星ワゴン 重松 清 講談社文庫
176 幸福な食卓 瀬尾 まいこ 講談社文庫
177 ぼくの稲荷山戦記 たつみや章 講談社文庫
178 水の伝説 たつみや章 講談社文庫
179 夜の神話 たつみや章 講談社文庫
180 放課後 東野 圭吾 講談社文庫
181 ステップファザー・ステップ 宮部 みゆき 講談社文庫

182 風の歌を聴け 村上 春樹 講談社文庫
183 探偵伯爵と僕 森　博嗣 講談社文庫
184 しずかな日々 椰月 美智子 講談社文庫
185 穴 ルイス・サッカー 講談社文庫
186 子どものための哲学対話 永井　均／絵・内田かずひろ 講談社文庫
187 ハチドリのひとしずく 辻　信一　監修 光文社
188 スコーレ　№４ 宮下　奈都 光文社文庫
189 うそつきの天才 ウルフ・スタルク 小峰書店
190 ガイコツになりたかったぼく ウルフ・スタルク 小峰書店
191 嵐の大地パタゴニアーグレートジャーニー人類５万キロの旅 関野 吉晴 小峰書店
192 巨匠に教わる絵画の見かた 視覚デザイン研究所編 視覚デザイン研究所
193 算数宇宙の冒険 川端　裕人 実業之日本社
194 よろこびの歌 宮下　奈都 実業之日本社
195 １２歳たちの伝説　１～５ 後藤 竜二 ジャイブ
196 船に乗れ　① 藤谷　治 ジャイブ
197 最後の冒険家 石川　直樹 集英社
198 永遠平和のために イマヌエル・カント 集英社
199 科学の扉をノックする 小川 洋子 集英社
200 雪とパイナップル 鎌田　實 集英社
201 赤い手袋の奇跡 カレン・キングズベリー 集英社
202 九つの、物語 橋本 紡 集英社
203 ひゃくはち 早見　和真 集英社
204 鉄道員（ぽっぽや） 浅田 次郎 集英社文庫
205 蒲公英草紙（たんぽぽそうし） 恩田 陸 集英社文庫
206 ネバーランド 恩田 陸 集英社文庫
207 光の帝国　常野物語 恩田 陸 集英社文庫
208 風の影　上・下 カルロス・ルイス・サフォン 集英社文庫
209 翼はいつまでも　 川上 健一 集英社文庫
210 シー・ラブズ・ユー 小路 幸也 集英社文庫
211 スタンド・バイ・ミー 小路 幸也 集英社文庫
212 東京バンドワゴン 小路 幸也 集英社文庫
213 まる子だった さくらももこ 集英社文庫
214 小僧の神様・清兵衛と瓢箪 志賀 直哉 集英社文庫
215 中島らもの特選明るい悩み相談室　１・２・３ 中島 らも 集英社文庫
216 となり町戦争 三崎 亜紀 集英社文庫
217 いちご同盟 三田　誠広 集英社文庫
218 永遠の出口 森　絵都 集英社文庫

219 ミアの選択 G・フォアマン 小学館
220 ぼく、ドラえもんでした。 大山 のぶ代 小学館
221 ダーティ・ドラゴン キャロル・ヒューズ 小学館
222 羆撃ち 久保　俊治 小学館
223 野性のティッピー動物と話す少女 シルヴィ・ロベール／アラン・ドゥグレ 小学館
224 神様のカルテ 夏川　草介 小学館
225 聖人と悪魔呪われた修道院 メアリ・ホフマン 小学館
226 この子を救えるのは、わたしかもしれない ワールドビジョンジャパン編 小学館
227 のぼうの城 和田 竜 小学館
228 いま、会いにゆきます 市川 拓司 小学館文庫
229 そのときは彼によろしく 市川 拓司 小学館文庫
230 さくら 西 加奈子 小学館文庫
231 アラスカ風のような物語 星野 道夫 小学館文庫
232 ぼくの出会ったアラスカ 星野 道夫 小学館文庫
233 天国の本屋　恋火 松久 淳＋田中 渉 小学館文庫
234 岳 石塚　真一 小学館ビッグコミックス
235 百瀬　こっちを向いて 中田　永一 祥伝社
236 新釈　走れメロス　他四編 森見 登美彦 祥伝社文庫
237 数の悪魔ー算数・数学が楽しくなる１２夜 エンツェンスベルガー 晶文社
238 バスラの図書館員　イラクで本当にあった話 ジャネット・ウィンター 晶文社
239 ビアトリクス・ポターのおはなし ジャネット・ウインター 晶文社
240 深呼吸の必要 長田 弘 晶文社
241 考える練習をしよう マリリン・バーンズ 晶文社
242 自分をまもる本 ローズマリー・ストーンズ 晶文社
243 サクリファイス 近藤 史恵 新潮社
244 青い鳥 重松 清 新潮社
245 タヌキのひとり(トンボの本） 竹田津　実 新潮社
246 赤毛のアン Ｌ.M.モンゴメリー 新潮文庫
247 蜘蛛の糸・杜子春 芥川 龍之介 新潮文庫
248 憑神 浅田 次郎 新潮文庫
249 ぶらんこ乗り いしいしんじ 新潮文庫
250 ポーの話 いしいしんじ 新潮文庫
251 麦ふみクーツェ いしいしんじ 新潮文庫
252 ４ＴＥＥＮ 石田 衣良 新潮文庫
253 野菊の墓 伊藤 左千夫 新潮文庫
254 ブンとフン 井上　ひさし 新潮文庫
255 札幌学 岩中　祥史 新潮文庫

256 精霊の守り人 上橋 菜穂子 新潮文庫
257 闇の守り人 上橋 菜穂子 新潮文庫
258 夢の守り人 上橋 菜穂子 新潮文庫
259 狐笛のかなた 上橋 菜穂子 新潮文庫
260 あしながおじさん ウエブスター 新潮文庫
261 あしながおじさん　続 ウエブスター 新潮文庫
262 神様のボート 江國 香織 新潮文庫
263 つめたいよるに 江國 香織 新潮文庫
264 ぼくの小鳥ちゃん 江國 香織 新潮文庫
265 江戸川乱歩傑作選 江戸川 乱歩 新潮文庫
266 モモ　ＭＹ　ＤＥＡＲ　ＤＯＧ おーなり由子 新潮文庫
267 小川未明童話集 小川 未明 新潮文庫
268 博士の愛した数式 小川 洋子 新潮文庫
269 ボクの音楽武者修行 小澤 征爾 新潮文庫
270 幸福な王子 オスカー・ワイルド 新潮文庫
271 こころの処方箋 河合 隼雄 新潮文庫
272 どくとるマンボウ青春記 北 杜夫 新潮文庫
273 船乗りクプクプの冒険 北　杜夫 新潮文庫
274 楡家の人びと　上・下 北 杜夫 新潮文庫
275 １４歳の本棚　家族兄弟編 北上 次郎編 新潮文庫
276 １４歳の本棚　初恋友情編 北上 次郎編 新潮文庫
277 １４歳の本棚　部活学園編 北上 次郎編 新潮文庫
278 月の砂漠をさばさばと 北村 薫 新潮文庫
279 黄色い目の魚 佐藤 多佳子 新潮文庫
280 しゃべれども　しゃべれども 佐藤 多佳子 新潮文庫
281 エイジ 重松 清 新潮文庫
282 きみの友だち 重松 清 新潮文庫
283 みんなのなやみ　 重松 清 新潮文庫
284 ジェーン・エア　上・下 シャーロット・ブロンテ 新潮文庫
285 百物語 杉浦 日向子 新潮文庫
286 スタンド・バイ・ミー スティーヴン・キング／訳・山田順子 新潮文庫
287 キッドナップ・ツァー 角田 光代 新潮文庫
288 卵の緒 瀬尾 まいこ 新潮文庫
289 マイマイ新子 高橋　のぶ子 新潮文庫
290 十一月の扉 高楼 方子 新潮文庫
291 自転車少年記 田口 ランディ 新潮文庫
292 ビルマの竪琴 竹山 道雄 新潮文庫

293 お伽草紙 太宰 治 新潮文庫
294 走れメロス 太宰 治 新潮文庫
295 海峡の光 辻 仁成 新潮文庫
296 そこに僕はいた 辻 仁成 新潮文庫
297 最後の喫煙者ー自選ドタバタ傑作集 筒井 康隆 新潮文庫
298 二十四の瞳 壷井 栄 新潮文庫
299 両手いっぱいの言葉 寺山 修司 新潮文庫
300 クリスマスカロル ディケンズ 新潮文庫
301 楽隊のうさぎ 中沢 けい 新潮文庫
302 裏庭 梨木 香歩 新潮文庫
303 家守綺譚 梨木 香歩 新潮文庫
304 からくりからくさ 梨木 香歩 新潮文庫
305 西の魔女が死んだ 梨木 香歩 新潮文庫
306 りかさん 梨木 香歩 新潮文庫
307 坊っちゃん 夏目 漱石 新潮文庫
308 吾輩は猫である 夏目 漱石 新潮文庫
309 アラスカ物語 新田 次郎 新潮文庫
310 おまけのこ 畠中 恵 新潮文庫
311 しゃばけ 畠中 恵 新潮文庫
312 ぬしさまへ 畠中 恵 新潮文庫
313 ねこのばば 畠中 恵 新潮文庫
314 少年 ビートたけし 新潮文庫
315 黄金の羅針盤　上・下 フィリップ・ブルマン 新潮文庫
316 ブランコのむこうで 星 新一 新潮文庫
317 ボッコちゃん 星 新一 新潮文庫
318 ノーザンライツ 星野　道夫 新潮文庫
319 トム・ソーヤーの冒険 マーク・トウェイン 新潮文庫
320 天国の本屋 松久 淳＋田中 渉 新潮文庫
321 風が強く吹いている 三浦 しをん 新潮文庫
322 星新一　１１００１話を作った人 最相 葉月 新潮文庫
323 ユタとふしぎな仲間たち 三浦 哲郎 新潮文庫
324 銀河鉄道の夜 宮沢 賢治 新潮文庫
325 新編　宮沢賢治詩集 宮沢 賢治 新潮文庫
326 山椒大夫・高瀬舟 森 鴎外 新潮文庫
327 ゴールド・ラッシュ 柳　美里 新潮文庫
328 路傍の石 山本　有三 新潮文庫
329 夏の庭 湯本 香樹実 新潮文庫

330 ポプラの秋 湯本 香樹実 新潮文庫
331 漂流 吉村　昭 新潮文庫
332 王国　１・２・３ よしもとばなな 新潮文庫
333 ウミガメと少年 野坂　昭如 スタジオジブリ
334 小熊秀雄童話集 小熊 秀雄 清流出版
335 21世紀に生きる君たちへ 司馬 遼太郎 世界文化社
336 グリーン・レクイエム／緑幻想 新井 素子 創元SF文庫
337 六の宮の姫君 北村 薫 創元推理文庫
338 首七つ ひろのみずえ 大日本図書
339 たった一人の大きな力 蓮見 太郎 宝島社
340 算法少女 遠藤 寛子 ちくま学芸文庫
341 僕の明日を照らして 瀬尾　まいこ 筑摩書店
342 とりつくしま 東 直子 筑摩書房
343 チューバはうたう 瀬川 深 筑摩書房
344 はだか 谷川 俊太郎 筑摩書房
345 本を読むわたし 華恵 筑摩書房
346 世にも美しい日本語入門 安野 光雄・藤原 正彦 ちくまプリマー新書
347 先生はえらい 内田 樹 ちくまプリマー新書
348 娘に語るお父さんの歴史 重松 清 ちくまプリマー新書
349 包帯クラブ 天童 荒太 ちくまプリマー新書
350 世にも美しい数学入門 藤原 正彦・小川 洋子 ちくまプリマー新書
351 かのこちゃんとマドレーヌ夫人 万城目　学 ちくまプリマー新書
352 江戸へようこそ 杉浦 日向子 ちくま文庫
353 図書館の神様 瀬尾 まいこ ちくま文庫
354 ねぼけ人生＜新装版＞ 水木 しげる ちくま文庫
355 つむじ風食堂の夜 吉田　篤弘 ちくま文庫
356 川の光 杉浦 寿輝 中央公論新社
357 カラー版　絵の教室 安野 光雄 中公新書
358 エンデュアランス号漂流記 アーネスト・シャクルトン 中公文庫
359 グレイがまってるから 伊勢 英子 中公文庫
360 経験を盗め　奥の深い生活・趣味編 糸井 重里 中公文庫
361 経験を盗め　文化を楽しむ編 糸井 重里 中公文庫
362 ノラや 内田 百閒 中公文庫
363 園芸家１２ヵ月 カレル・チャペック 中公文庫
364 神様 川上 弘美 中公文庫
365 プチ哲学 佐藤 雅彦 中公文庫
366 富士日記　上･中・下 武田 百合子 中公文庫

367 TUGUMI（つぐみ） 吉本 ばなな 中公文庫
368 先生シマリスがヘビの頭をかじってます 小林　朋道 築地書館
369 図解　古代ローマ アンドルー・ソルウエー 東京書籍
370 シカゴよりこわい町 リチャード・ベック 東京創元社
371 晴れた朝それとも雨の夜 泉　啓子 童心社
372 ホシコ 加藤 多一 童心社
373 孤島の冒険 ニコラーイ・ヴターコク 童心社
374 雨ふる本屋 日向　理恵子 童心社
375 馬を洗って… 文・加藤多一/版画・池田良二 童心社
376 のはらうた　１～４ 工藤 直子 童話屋
377 ポケット詩集　Ⅰ・Ⅱ 田中 和雄 童話屋
378 薄紅天女　最後の勾玉シリーズ３ 荻原 規子 徳間書店
379 白鳥異伝　上・下最後の勾玉シリーズ２ 荻原 規子 徳間書店
380 ファースト・ジャパニーズ 関口　知宏 徳間書店
381 魔法使いハウルと火の悪魔ーハウルの動く城１ ダイアナ・ウィン・ジョーンズ 徳間書店
382 フェリックスとお金の秘密 ニコラウス・ピーパー 徳間書店
383 川の上で ヘルマン・シュルツ 徳間書店
384 過去なあなあ日常 三浦　しをん 徳間書店
385 かかし ロバート・ウェストール 徳間書店
386 アミ小さな宇宙人 エンリケ・バリオス 徳間文庫
387 空色勾玉　最後の勾玉シリーズ１ 荻原 規子 徳間文庫
388 佐賀のがばいばあちゃん 島田 洋七 徳間文庫
389 シュナの旅 宮崎　駿 徳間文庫
390 １４歳からの哲学―考えるための教科書 池田 晶子 トランスビュー
391 草原の風の詩 佐和　みずえ 西村書店
392 秘密の花園 バーネット 西村書店
393 モーターボーイズ！ 箕田 大輔 日本実業出版社
394 あおぞらの星 水谷 修 日本評論社
395 いいんだよ 水谷 修 日本評論社
396 ギリシャ神話 石井　桃子文 のら書店
397 日本の神話 松谷　みよ子文 のら書店
398 のら犬、学校をかえる 遠藤 岳哉 ハギジン出版
399 変身ーカフカコレクション フランツ・カフカ 白水Ｕブックス
400 カモメに飛ぶことを教えた猫 ルイス・セプルペダ／絵・牧かほり、河野万里子 白水Ｕブックス
401 豚の死なない日 ロバート・Ｎ・ベック 白水Ｕブックス
402 生きる意味を教えてください 田口 ランディ パジリコ

403 たったひとつの冴えたやりかた ティプトリー・ジュニア 早川書房
404 そして誰もいなくなった アガサ・クリスティー ハヤカワ文庫
405 天才数学者たちが挑んだ最大の難問 アミール・Ｄ・アクゼル ハヤカワ文庫
406 アルジャーノンに花束を ダニエル・キイス ハヤカワ文庫
407 恐怖の存在　上下 マイクル・クライトン ハヤカワ文庫
408 ジュラシックパーク　上・下 マイケル・クライトン ハヤカワ文庫
409 レインマン リアノー・フライシャー ハヤカワ文庫
410 スローターハウス5 カート・ヴォネガット・ジュニア ハヤカワ文庫SF
411 賢治草紙 宮沢 賢治 パロル舎
412 夢をつかむイチロー２６２のメッセージ 「夢をつかむイチロー２６２のメッセージ」編集委員会 ぴあ
413 世界で一番の贈り物 マイケル・モーバーゴ 評論社
414 ウォーターシップ・ダウンのウサギたち　上下 リチャード・アダムス 評論社
415 チョコレート工場の秘密 ロアルド・ダール 評論社
416 どでかいワニの話 ロアルド・ダール 評論社
417 マチルダはちいさな大天才 ロアルド・ダール／訳・宮下嶺夫 評論社
418 指輪物語（新版）　全９巻 Ｊ.Ｒ.Ｒ.トールキン 評論社文庫
419 ａｍｉ〈アミ〉 平岡　あみ／詩　宇野亜喜良／絵 ビリケン出版
420 えんの松原 伊藤 遊 福音館書店
421 鬼の橋 伊藤 遊 福音館書店
422 レ・ミゼラブル　上・下 ヴィクトル・ユーゴー 福音館書店
423 二年間の休暇　上・下 ジュール・ベルヌ 福音館書店
424 リバウンド エリック・ウォルターズ 福音館書店
425 かはたれ 朽木　祥 福音館書店
426 たそかれ 朽木　祥 福音館書店
427 プラネット・キッドで待ってて ジェイン・レズリー・コンリー 福音館書店
428 緑の模様画 高桜 方子 福音館書店
429 オホーツクの十二か月 竹田津　実 福音館書店
430 冬の龍 藤江　じゅん 福音館書店
431 森へーたくさんのふしぎ傑作集 星野 道夫 福音館書店
432 ジロジロ見ないで 撮影・高橋聖人 /構成・茅島奈緒深 扶桑社
433 ヤンキー記者、南米を行く 吉永　拓哉 扶桑社
434 東京タワー　オカンとボクと、時々、オトン リリー・フランキー 扶桑社
435 Ｐresents 角田 光代／絵・松尾 たいこ 双葉文庫
436 夕凪の街　桜の国 こうの 史代 双葉文庫
437 はれた日は学校をやすんで 西原 理恵子 双葉文庫
438 MISSING 本多 孝好 双葉文庫

439 わたしたちの帽子 高楼 方子 フレーベル館
440 地球最北に生きる日本人 武田　剛 フレーベル館
441 自給自足の本 ジョン・シーモア 文化出版局
442 犬と私の１０の約束 川口 靖 文芸春秋
443 素数ゼミの謎 吉村 仁　 文芸春秋
444 プリンセス・トヨトミ 万城目　学 文藝春秋
445 三匹のおっさん 有川　浩 文藝春秋
446 アンネの日記 アンネ・フランク 文春文庫
447 盲導犬クイールの一生 石黒謙吾／写真・秋元良平
448 池袋ウエストゲートパーク 石田 衣良 文春文庫
449 天才の栄光と挫折ー数学者列伝 藤原 正彦 文春文庫
450 蒲生邸事件 宮部 みゆき 文春文庫
451 カラフル 森 絵都 文春文庫
452 父の詫び状 向田 邦子 文春文庫
453 希望の国のエクソダス 村上 龍 文春文庫
454 サカナはみんな左向き？カワウソから聞いたホントの話 坂本 勤 北海道新聞社
455 タマゴマンは中学生　①～③ 坂本 勤 北海道新聞社
456 拝啓　十五の君へ ＮＨＫコンクール制作班 ポプラ社
457 つくも神 伊藤　遊・岡本　順 ポプラ社
458 引き出しの中の家 朽木　祥 ポプラ社
459 星野道夫物語ーアラスカの呼び声 国松 俊英 ポプラ社
460 にいちゃん、ぼく反省しきれません 藤枝　リュウジ ポプラ社
461 コンビニたそがれ堂 村山　早紀 ポプラ社
462 明日につづくリズム 八束　澄子 ポプラ社
463 Ｔｈｅ　ＭＡＮＺＡＩ　１～５ あさのあつこ ポプラ社文庫
464 ほたる館物語　１～３ あさのあつこ ポプラ社文庫
465 火垂るの墓 野坂 昭如 ポプラポケット文庫
466 怪談 ラフカディオ・ハーン ポプラポケット文庫
467 アンジェロ デビット・マコーリ ほるぷ出版
468 チョコレートコスモス 恩田 陸 毎日新聞
469 古道具ほんなら堂 楠　章子 毎日新聞社
470 パラドックス１３ 東野　圭吾 毎日新聞社
471 英雄の書　上・下 宮部　みゆき 毎日新聞社
472 世界がもし１００人の村だったら　１～４ 再話・池田香代子／対訳・Ｃ．ダグラス・ラミス マガジンハウス
473 戦争のつくりかた りぼん・ぷろじぇくと マガジンハウス
474 リボーンの森 岩永　嘉弘・冨川　真 ﾒﾃﾞｨｱﾊﾟﾙ

475 間違う力 高野　秀行 メディアファクトリー
476 ブッタとシッタカブッタ　１ 小泉 吉宏 メディアファクトリー
477 空想科学読本 柳田 理科雄 メディアファクトリー文庫
478 図書館戦争 有川 浩 メディアワークス
479 まるまれアルマジロ 安東　みきえ 理論社
480 頭のうちどころが悪かった熊の話 安藤 みきえ 理論社
481 いま生きているという冒険 石川 直樹 理論社
482 ルリユールおじさん いせひでこ 理論社
483 あのころ、先生がいた。 伊藤 比呂美 理論社
484 扉のむこうの物語 岡田　淳 理論社
485 フォトジャーナリスト　吉田ルイ子 小河 修子 理論社
486 ブリガドーンの朝 小野　裕康 理論社
487 フラッシュ カール・ハイアセン 理論社
488 医学の卵 海堂尊 理論社
489 ニングル 倉本 聰 理論社
490 １４歳からの仕事道 玄田 有史 理論社
491 スターガール ジェリー・スピネッリ 理論社
492 ガールズ　イン　ラブ ジャクリーン・ウィルソン 理論社
493 戸村飯店青春１００連発 瀬尾 まいこ 理論社
494 ひかりのメリーゴーラウンド 田口 ランディ 理論社
495 この世でいちばん大事な「カネ」の話 西原　理恵子 理論社
496 世界のシェー！！ 平沼　正弘 理論社
497 正しい保健体育 みうらじゅん 理論社
498 ラン 森　絵都 理論社
499 いのちの食べかた 森 達也 理論社
500 バカなおとなにならない脳 養老孟司 理論社

「本屋のオヤジのおせっかい　中学生はこれを読め！中学生に読ませたい　これ読め５００冊リスト」から引用

本を愛する大人たちのおせっかい　高校生はこれを読め！高校生に読ませたい　これ読め５００冊リスト

リストの難易度について

1：高校生がおもしろく読める本
2：高校生に読んでもらいたい本
3：できればチャレンジして欲しい本

1 2 ガープの世界　上・下 アーヴィング,ジョン 筒井正明 新潮文庫
2 1 百万ドルをとり返せ！ アーチャー，ジェフリー 永井　淳 新潮文庫
3 1 ハッピーバースデー～命かがやく瞬間 青木和雄／絵：加藤美紀 フォア文庫
4 2 ドキュメント高校中退～いま、貧困がうまれる場所 青砥　恭 ちくま新書
5 1 アフリカにょろり旅 青山　潤 講談社文庫
6 2 ネイティヴ・アメリカン詩集 青山みゆき　編訳 土曜美術社出版販売
7 1 プロメテウスの乙女 赤川次郎 角川文庫
8 1 忘れ形見～漢方医・有安 秋山香乃 朝日文庫
9 1 丁稚のすすめ～夢を実現できる、日本伝統の働き方 秋山利輝 幻冬舎
10 1 羅生門・鼻・芋粥 芥川龍之介 角川文庫
11 1 桐島、部活やめるってよ 朝井リョウ 集英社
12 1 田村はまだか 朝倉かすみ 光文社
13 1 ともしびマーケット 朝倉かすみ 講談社
14 1 君の名残を　上・下 浅倉卓弥 宝島社文庫
15 1 四日間の奇蹟 浅倉卓弥 宝島社文庫
16 2 蒼穹の昴　1～4 浅田次郎 講談社文庫
17 1 浅田家 浅田政志 赤々舎
18 1 バッテリー　1～6 あさのあつこ 角川文庫
19 1 Ｆｉｅｌｄ，Ｗｉｎｄ あさのあつこ　他 ジャイブ
20 1 恋愛小説ふいんき語り 麻野一哉　他 ポプラ社
21 2 われはロボット　決定版 アシモフ，アイザック 小尾芙佐 ハヤカワ文庫ＳＦ
22 1 旧約聖書を知っていますか 阿刀田高 新潮文庫
23 2 自分のなかに歴史を読む 阿部謹也 ちくま文庫
24 3 ハーメルンの笛吹き男～伝説とその世界 阿部謹也 ちくま文庫
25 2 壁 安部公房 新潮文庫
26 3 日本の歴史をよみなおす　（全） 網野善彦 ちくま学芸文庫
27 2 「日本」をめぐって～網野善彦対談集 網野善彦　他 洋泉社ＭＣ新書
28 1 半ケツとゴミ拾い 荒川祐二 地湧社

29 3 文学の門 荒川洋治 みすず書房
30 1 ちょんまげぷりん 荒木　源 小学館文庫
31 1 キケン 有川　浩 新潮社
32 1 図書館戦争 有川　浩 アスキー・メディアワークス
33 1 阪急電車 有川　浩 幻冬舎
34 2 建築家　安藤忠雄 安藤忠雄 新潮社
35 1 頭のうちどころが悪かった熊の話 安東みきえ／絵：下和田サチヨ 理論社
36 1 アナン、上・下 飯田譲治・梓　河人 講談社文庫
37 2 ゆびさきの宇宙～福島智・盲ろうを生きて 生井久美子 岩波書店
38 2 擬似科学入門 池内　了 岩波新書
39 2 南の島のティオ 池澤夏樹 文春文庫
40 3 静かな大地 池澤夏樹 朝日文庫
41 2 14歳からの哲学～考えるための教科書 池田晶子 トランスビュー
42 2 14歳の君～どう考えどう生きるか 池田晶子 毎日新聞社
43 1 世界がもし100人の村だったら　1～4 再話：池田香代子／ 対話：Ｃ．ダグラス・ラミス マガジンハウス
44 2 あなたの夢はなんですか？　私の夢は大人になるまで生きることです。 池間哲郎 致知出版社
45 1 アヒルと鴨のコインロッカー 伊坂幸太郎 創元推理文庫
46 1 ゴールデンスランバー 伊坂幸太郎 新潮社
47 1 砂漠 伊坂幸太郎 実業之日本社
48 1 重力ピエロ 伊坂幸太郎 新潮文庫
49 1 陽気なギャングが地球を回す 伊坂幸太郎 祥伝社文庫
50 1 最後の冒険家 石川直樹 集英社
51 2 ＶＥＲＮＡＣＵＬＡＲ 石川直樹 赤々舎
52 2 私が見た戦争 石川文洋 新日本出版社
53 2 わたしを離さないで イシグロ，カズオ 土屋政雄 ハヤカワｅｐｉ文庫
54 3 日の名残り イシグロ，カズオ 土屋政雄 ハヤカワｅｐｉ文庫
55 1 犬がいたから 石黒謙吾 集英社
56 1 奇跡の学校～おといねっぷの森から 石塚耕一 光村図書出版
57 3 新装版　苦海浄土～わが水俣病 石牟礼道子 講談社文庫
58 2 彼らは戦場に行った～ルポ　新・戦争と平和 石山永一郎 共同通信社
59 1 いのちの約束～北大病院・澤村先生と子どもたち 板垣淑子 ポプラ社
60 1 親鸞　上・下 五木寛之 講談社
61 2 高校生からわかる　日本国憲法の論点 伊藤　真 トランスビュー
62 2 君たちの生きる社会 伊東光晴 ちくま文庫
63 1 ぼくもいくさに征くのだけれど～竹内浩三の詩と死 稲泉　連 中公文庫
64 1 フィンランド語は猫の言葉　（新装版） 稲垣美晴 猫の言葉社

65 3 夜は暗くてはいけないか～暗さの文化論 乾　正雄 朝日選書
66 1 メグル 乾　ルカ 東京創元社
67 1 夏光 乾　ルカ 文藝春秋
68 2 「退化」の進化学～ヒトにのこる進化の足跡 犬塚則久 講談社ブルーバックス
69 1 リアル　1～9 井上雄彦 ヤングジャンプコミックス
70 1 父と暮せば 井上ひさし 新潮文庫
71 1 モッキンポット師の後始末 井上ひさし 講談社文庫
72 2 四千万歩の男　1～5 井上ひさし 講談社文庫
73 2 吉里吉里人　上・中・下 井上ひさし 新潮文庫
74 2 加藤周一のこころを継ぐために 井上ひさし　他 岩波ブックレット
75 2 天平の甍 井上　靖 新潮文庫
76 1 自分の感受性くらい　新装版 茨木のり子 花神社
77 2 茨木のり子詩集 茨木のり子 思潮社
78 1 四十九日のレシピ 伊吹有喜 ポプラ社
79 2 黒い雨 井伏鱒二 新潮文庫
80 2 人形の家 イプセン 原千代海 岩波文庫
81 2 音に色が見える世界～「共感覚」とは何か 岩崎純一 ＰＨＰ新書
82 2 新版　荒れ野の40年～ヴァイツゼッカー大統領ドイツ終戦40周年記念演説 ヴァイツゼッカー，リヒャルト・フォン 永井清彦 岩波ブックレット
83 2 ドゥームズデイ・ブック　上・下 ウィリス，コニー 大森　望 ハヤカワ文庫ＳＦ
84 1 神の守り人　上・下 上橋菜穂子 新潮文庫
85 1 獣の奏者　1～4 上橋菜穂子 講談社
86 1 虚空の旅人 上橋菜穂子 新潮文庫
87 1 精霊の守り人 上橋菜穂子 新潮文庫
88 1 闇の守り人 上橋菜穂子 新潮文庫
89 1 夢の守り人 上橋菜穂子 新潮文庫
90 1 バルサの食卓 上橋菜穂子・チーム北海道 新潮文庫
91 2 友がみな我よりえらく見える日は 上原　隆 幻冬舎アウトロー文庫
92 1 あしながおじさん ウエブスター，ジーン 松本恵子 新潮文庫
93 1 ＮＡＳＡより宇宙に近い町工場～僕らのロケットが飛んだ 植松　努 ディスカヴァー・トゥエンティワン
94 1 青春を山に賭けて 植村直己 文春文庫
95 3 海の沈黙／星への歩み ヴェルコール 河野興一・加藤周一 岩波文庫
96 1 タイムマシン ウェルズ，ハーバート・ジョージ 石川　年 角川文庫
97 2 国のない男 ヴォネガット，カート 金原瑞人 日本放送出版協会
98 2 世界屠畜紀行 内澤旬子 解放出版社
99 2 日本辺境論 内田　樹 新潮新書

100 1 ノラや　内田百閒 中公文庫
101 2 冥途・旅順入城式 内田百閒 岩波文庫
102 2 ライカとモノクロの日々 内田ユキオ 枻文庫
103 1 今日は死ぬのにもってこいの日 ウッド，ナンシー／ 絵：ハウエル，フランク 金関寿夫 めるくまーる
104 1 天地明察 冲方　丁 角川書店
105 1 きらきらひかる 江國香織 新潮文庫
106 1 ホリー・ガーデン 江國香織 新潮文庫
107 2 後藤さんのこと 円城　塔 早川書房
108 3 烏有此譚 円城　塔 講談社
109 1 はてしない物語　上・下 エンデ，ミヒャエル 上田真而子・ 佐藤真理子 岩波少年文庫
110 2 沈黙 遠藤周作 新潮文庫
111 1 算法少女 遠藤寛子 ちくま学芸文庫
112 2 一九八四年　新訳版 オーウェル，ジョージ 高橋和久 ハヤカワｅｐｉ文庫
113 2 ヒロシマ・ノート 大江健三郎 岩波新書
114 1 魔女の笑窪 大沢在昌 文春文庫
115 2 孤独の発明 オースター，ポール 柴田元幸 新潮文庫
116 2 チンドン～聞き書きちんどん屋物語 大場ひろみ・矢田　等 バジリコ
117 2 音楽の聴き方～聴く型と趣味を語る言葉 岡田暁生 中公新書
118 2 私の仕事 緒方貞子 草思社
119 1 食堂かたつむり 小川　糸 ポプラ文庫
120 2 猫を抱いて象と泳ぐ 小川洋子 文藝春秋
121 1 マザーテレサ～あふれる愛 沖　守弘 講談社文庫
122 1 19歳の叫び 奥井　理 北海道新聞社
123 1 イン・ザ・プール 奥田英朗 文春文庫
124 1 サウスバウンド　上・下 奥田英朗 角川文庫
125 1 日本という国 小熊英二 理論社
126 2 尾崎放哉全句集 尾崎放哉／編：村上　護 ちくま文庫
127 2 尾崎翠集成　上・下 尾崎　翠／編：中野　翠 ちくま文庫
128 2 第七官界彷徨 尾崎　翠 河出文庫
129 1 深呼吸の必要 長田　弘 晶文社
130 2 あなたは私の手になれますか～心地よいケアを受けるために 小山内美智子 中央法規出版
131 1 ボクの音楽武者修行 小澤征爾 新潮文庫
132 1 苺田さんの話　1～6 小沢真理 講談社コミックスＫｉｓｓ
133 1 ＺＯＯ　1・2 乙一 集英社文庫
134 1 暗いところで待ち合わせ 乙一 幻冬舎文庫
135 1 五体不満足　完全版 乙武洋匡 講談社文庫

136 2 村のエトランジェ 小沼　丹 講談社文芸文庫
137 1 月の影　影の海　上・下（十二国記シリーズ） 小野不由美 講談社文庫
138 2 ニュークリア・エイジ オブライエン，ティム 村上春樹 文春文庫
139 1 麦の海に沈む果実 恩田　陸 講談社文庫
140 1 夜のピクニック 恩田　陸 新潮文庫
141 3 歴史とは何か カー，Ｅ．Ｈ． 清水幾太郎 岩波新書
142 1 センス・オブ・ワンダー カーソン，レイチェル 上遠恵子 新潮社
143 2 沈黙の春 カーソン，レイチェル 青樹築一 新潮文庫
144 2 普及版　リトル・トリー カーター,フォレスト 和田穹男 めるくまーる
145 2 パニック／裸の王様 開高　健 新潮文庫
146 3 サイエンス・インポッシブル～ＳＦ世界は実現可能か カク,ミチオ 斉藤隆央 日本放送出版協会
147 1 キッドナップ・ツアー 角田光代 新潮文庫
148 2 散るぞ悲しき～硫黄島総指揮官・栗林忠道 梯久美子 新潮文庫
149 1 檸檬 梶井基次郎 集英社文庫
150 1 クラシックの音楽祭がなぜ100万人を集めたのか～ラ・フォル・ジュルネの奇跡 片桐卓也 ぴあ
151 1 雪とケーキ 片山令子 村松書館
152 3 日本文学史序説　上・下 加藤周一 ちくま学芸文庫
153 3 敗戦後論 加藤典洋 ちくま文庫
154 2 それでも、日本人は「戦争」を選んだ 加藤陽子 朝日出版社
155 2 はじめての部落問題 角岡伸彦 文春新書
156 1 きらきら カドハタ，シンシア 代田亜香子 白水社
157 2 何が私をこうさせたか～獄中手記 金子ふみ子 春秋社
158 1 フライ，ダディ，フライ 金城一紀 角川文庫
159 2 審判 カフカ,フランツ 岩波文庫
160 2 生きがいについて 神谷美恵子 みすず書房
161 2 ペスト カミュ,アルベール 宮崎嶺雄 新潮文庫
162 1 酔いがさめたら、うちに帰ろう。 鴨志田穣 スターツ出版
163 2 アイヌの碑 萱野　茂 朝日文庫
164 3 百年の孤独 ガルシア=マルケス，ガブリエル 鼓　直 新潮社
165 2 エル・スール ガルシア=モラレス，アデライダ 野谷文昭・ 熊倉靖子 インスクリプト
166 1 古道具中野商店 川上弘美 新潮文庫
167 1 椰子・椰子 川上弘美／絵：山口マオ 新潮文庫
168 1 乳と卵 川上未映子 文藝春秋
169 1 ヘヴン 川上未映子 講談社
170 2 マリー・キュリーの挑戦～科学・ジェンダー・戦争 川島慶子　トランスビュー

171 2 掌の小説 川端康成 新潮文庫
172 2 もうひとつのスーダン～日本人医師　川原尚行の挑戦 文：川原尚行／ 写真・文：内藤順司 主婦の友社
173 2 林芙美子の昭和 川本三郎 新書館
174 2 悩む力 姜　尚中 集英社新書
175 2 青い野を歩く キーガン,クレア 岩本正恵 白水社
176 1 ソナチネの木　新装版 岸田衿子／ 絵：安野光雅 青土社
177 1 気になる部分 岸本佐知子 白水ｕブックス
178 1 裁判長！　ここは懲役４年でどうすか 北尾トロ 文春文庫
179 1 三国志　1-13 北方謙三 角川春樹事務所
180 1 スキップ 北村　薫 新潮文庫
181 1 夕暮れをすぎて キング，スティーヴン 白石　朗　他 文春文庫
182 1 「汚い」日本語講座 金田一秀穂 新潮新書
183 2 パンダの親指～進化論再考　上・下 グールド，スティーヴン・ジェイ　桜町翠軒 ハヤカワ文庫ＮＦ
184 1 新選　山のパンセ 串田孫一 岩波文庫
185 1 絵をみるヒント 窪島誠一郎 白水社
186 1 羆撃ち 久保俊治 小学館
187 2 幼年期の終わり クラーク，アーサー・Ｃ． 池田真紀子 光文社古典新訳文庫
188 1 荒野へ クラカワー，ジョン 佐宗鈴夫 集英社文庫
189 3 世界でもっとも美しい10の科学実験 クリース，ロバート・Ｐ 青木　薫 日経ＢＰ社
190 3 世界でもっとも美しい10の物理方程式 クリース，ロバート・Ｐ 吉田三知世 日経ＢＰ社
191 1 一歩を超える勇気 栗城史多 サンマーク出版
192 1 オリエント急行殺人事件 クリスティ，アガサ 神鳥統夫 ポプラポケット文庫
193 1 悪童日記 クリストフ，アゴタ 堀　茂樹 ハヤカワｅｐｉ文庫
194 1 第三の嘘 クリストフ，アゴタ 堀　茂樹 ハヤカワｅｐｉ文庫
195 1 ふたりの証拠 クリストフ，アゴタ 堀　茂樹 ハヤカワｅｐｉ文庫
196 3 アーミッシュの赦し　～なぜ彼らはすぐに犯人とその家族を赦したのか　クレイビル，ドナルド・Ｂ　他 青木　玲 亜紀書房
197 1 万寿子さんの庭 黒野伸一 小学館文庫
198 1 トットちゃんとトットちゃんたち 黒柳徹子／ 写真：田沼武能 講談社青い鳥文庫
199 2 北海道の歴史がわかる本 桑原真人・川上　淳 亜璃西社
200 2 水俣を見た７人の写真家たち 桑原史成　他 写真集「水俣を見た7人の写真家たち」編集委員会
201 3 存在の耐えられない軽さ クンデラ，ミラン 千野栄一 集英社文庫
202 1 若きウェルテルの悩み ゲーテ 高橋義孝 新潮文庫
203 1 生きのびろ、ことば 小池昌代　他 三省堂

204 1 考えない練習 小池龍之介 小学館
205 1 戦争で死んだ兵士のこと 小泉吉宏 メディアファクトリー
206 2 孤独と不安のレッスン～よりよい人生を送るために 鴻上尚史 大和書房
207 2 発声と身体のレッスン～魅力的な「こえ」と「からだ」を作るために 鴻上尚史 白水社
208 2 明治大正翻訳ワンダーランド 鴻巣友季子 新潮新書
209 1 夕凪の街　桜の国 こうの史代 双葉社Ａｃｔｉｏｎ　ｃｏｍｉｃｓ
210 2 「天才」の育て方 五嶋　節 講談社現代新書
211 1 ジャパニーズ・ロード 小林紀晴 集英社
212 2 蟹工船・党生活者 小林多喜二 角川文庫
213 3 モオツァルト・無情という事 小林秀雄 新潮文
214 1 大人問題 五味太郎 講談社文庫
215 1 じょうぶな頭とかしこい体になるために 五味太郎 ブロンズ新社
216 1 宇宙兄弟　1～9 小山宙哉 モーニングＫＣ
217 1 隠蔽捜査 今野　敏 新潮文庫
218 2 悩む力～べてるの家の人びと 斉藤道雄 みすず書房
219 1 この世でいちばん大事な「カネ」の話 西原理恵子 理論社　よりみちパン！セ
220 1 ア・ルース・ボーイ 佐伯一麦 新潮文庫
221 1 和菓子のアン 坂木　司 光文社
222 2 堕落論 坂口安吾 集英社文庫
223 2 牛を屠る 佐川光晴 解放出版社
224 1 私の話 鷺沢　萠 河出文庫
225 1 砂糖菓子の弾丸は撃ちぬけない～Ａ　Ｌｏｌｌｙｐｏｐ　ｏｒ　Ａ　Ｂｕｌｌｅｔ 桜庭一樹 角川文庫
226 1 少女七竈と七人の可愛そうな大人 桜庭一樹 角川文庫
227 1 北帰行 佐々木譲 角川書店
228 1 警官の血　上・下 佐々木譲 新潮文庫
229 1 穴　ＨＯＬＥＳ サッカー，ルイス 幸田敦子 講談社文庫
230 2 連合赤軍「あさま山荘」事件～実戦「危機管理」 佐々淳行 文春文庫
231 1 一瞬の風になれ　1～3 佐藤多佳子 講談社文庫
232 3 佐藤泰志作品集 佐藤泰志 クレイン
233 1 ビッグイシューの挑戦 佐野章二 講談社
234 1 シズコさん 佐野洋子 新潮社
235 1 友だちは無駄である 佐野洋子 ちくま文庫
236 2 ウンベルト・サバ詩集 サバ，ウンベルト 須賀敦子 みすず書房
237 1 ライ麦畑でつかまえて サリンジャー，Ｊ．Ｄ．野崎　孝 白水Ｕブックス
238 2 フラニーとゾーイー サリンジャー，Ｊ．Ｄ．野崎　孝 新潮文庫
239 2 人の砂漠 沢木耕太郎 新潮文庫

240 2 無名 沢木耕太郎 幻冬舎文庫
241 2 人間の土地 サン=テグジュペリ 堀口大學 新潮文庫
242 2 夜間飛行 サン=テグジュペリ 堀口大學 新潮文庫
243 3 暗夜／戦争の悲しみ 残雪／バオ・ニン 近藤直子・井川一久 河出書房新社
244 3 20歳のときに知っておきたかったこと～スタンフォード大学集中講義 シーリグ，ティナ 高遠裕子 阪急コミュニケーションズ
245 2 ヴェニスの商人 シェイクスピア,ウィリアム 福田恆存 新潮文庫
246 1 青い鳥 重松　清 新潮社
247 1 きみの友だち 重松　清 新潮文庫
248 1 きよしこ 重松　清 新潮文庫
249 1 ナイフ 重松　清 新潮文庫
250 1 みんなのなやみ 重松　清 新潮文庫
251 2 狭き門 ジッド,アンドレ 山内義雄新潮文庫
252 1 竜馬がゆく　1～8 司馬遼太郎 文春文庫
253 2 天下大乱を生きる 司馬遼太郎・小田　実 河出文庫
254 2 澁澤龍彦との日々 澁澤龍子 白水ｕブックス
255 1 エンデュアランス号漂流記 シャクルトン，アーネスト 木村義昌・谷口善也 中公文庫ＢＩＢＬＩＯ
256 1 笑う警官 シューヴァル，マイ／ヴァールー, ペール 高見　浩 角川文庫
257 3 古代への情熱～シュリーマン自伝 シュリーマン，ハインリヒ 関　楠生 新潮文庫
258 2 朗読者 シュリンク，ベルンハルト 松永美穂 新潮文庫
259 1 赤頭巾ちゃん気をつけて 庄司　薫 中公文庫
260 1 東京バンドワゴン 小路幸也 集英社文庫
261 2 トイレの話をしよう～世界65億人が抱える大問題 ジョージ，ローズ 大沢章子 日本放送出版協会
262 2 絶対帰還。～宇宙ステーションに取り残された3人、軌跡の救出作戦 ジョーンズ，クリス 河野純治 光文社
263 2 拳闘士の休息 ジョーンズ，トム 岸本佐知子 河出文庫
264 2 ボクは坊さん。 白川密成 ミシマ社
265 2 長距離走者の孤独 シリトー，アラン 丸谷才一・河野一郎 新潮文庫
266 1 ぼくを探しに シルヴァスタイン，シェル 倉橋由美子 講談社
267 2 暗号解読～ロゼッタストーンから量子暗号まで シン,サイモン 青木　薫 新潮社
268 3 フェルマーの最終定理 シン,サイモン 青木　薫 新潮文庫
269 2 学校では教えてくれない本当のアメリカの歴史　上・下 ジン，ハワード／ 編著：ステフォフ，レベッカ 鳥見真生 あすなろ書房
270 1 ちはやふる　1～9 末次由紀 講談社
271 2 新版　六千人の命のビザ 杉原幸子 大正出版

272 2 赤と黒　上・下 スタンダール 小林　正 新潮文庫
273 3 橋のない川　1～7 住井すゑ 新潮文庫
274 1 ずぶぬれて犬ころ 住宅顕信／版画：松林　誠 中央公論新社
275 1 温室ディズ 瀬尾まいこ 角川文庫
276 1 幸福な食卓 瀬尾まいこ 講談社文庫
277 1 図書館の神様 瀬尾まいこ ちくま文庫
278 2 新装版　ソウルの練習問題 関川夏央 集英社文庫
279 3 サイエンス・イマジネーション～科学とＳＦの最前線、そして未来へ 編著：瀬名秀明／監修：小松左京 ＮＴＴ出版
280 1 少年Ｈ　上・下 妹尾河童 新潮文庫
281 3 ドン・キホーテ　前篇1～3　後篇1～3 セルバンテス,ミゲル・デ 牛島信明 岩波文庫
282 1 ぼくは猟師になった 千松信也 リトルモア
283 2 ガウディの伝言 外尾悦郎 光文社新書
284 2 同じ時のなかで ソンタグ，スーザン 木幡和枝 ＮＴＴ出版
285 3 銃・病原菌・鉄～1万3000年にわたる人類史の謎　上・下 ダイアモンド，ジャレド 倉骨　彰 草思社
286 3 証言の心理学～記憶を信じる、記憶を疑う 高木光太郎 中公新書
287 1 二十歳の原点 高野悦子 新潮文庫
288 2 火怨～北の燿星アテルイ　上・下 高橋克彦 講談社文庫
289 1 智恵子抄 高村光太郎 新潮文庫
290 1 帰ってから、お腹がすいてもいいようにと思ったのだ。 高山なおみ 文春文庫
291 1 一葉のめがね 高山美香 猫の事務所
292 1 斜陽 太宰　治 新潮文庫
293 1 新樹の言葉 太宰　治 新潮文庫
294 1 人間失格 太宰　治 集英社文庫
295 2 日本共産党の研究　1～3 立花　隆 講談社文庫
296 1 赤めだか 立川談春 扶桑社
297 2 遠雷 立松和平 河出文庫
298 2 魂の置き場所 立松和平 柏艪舎
299 1 花衣ぬぐやまつわる～わが愛の杉田久女　上・下 田辺聖子 集英社文庫
300 1 かさをささないシランさん 谷川俊太郎・アムネスティ／ 絵：いせひでこ 理論社
301 1 十八歳 谷川俊太郎／ 絵：沢野ひとし 集英社文庫
302 3 陰翳礼讃／東京をおもう 谷崎潤一郎 中公クラシック
303 3 増補版　敗北を抱きしめて～第二次大戦後の日本人　上・下 ダワー，ジョン 三浦陽一　他 岩波書店
304 2 旅をする裸の眼 多和田葉子 講談社文庫
305 1 サラダ記念日 俵　万智 河出文庫

306 2 桜の園 チェーホフ,アントン 小野理子 岩波文庫
307 2 若き友人たちへ～筑紫哲也ラスト・メッセージ 筑紫哲也 集英社新書
308 1 文藝ガーリッシュ～素敵な本に選ばれたくて。 千野帽子 河出書房新社
309 2 山椒魚戦争 チャペック，カレル 栗栖　継 岩波文庫
310 2 ロング・グッドバイ　軽装版 チャンドラー，レイモンド 村上春樹 早川書房
311 2 アイヌ神謡集 知里幸恵 岩波文庫
312 1 凍りのくじら 辻村深月 講談社文庫
313 1 旅のラゴス 筒井康隆 新潮文庫
314 2 ＨＡＰＰＹ ＶＩＣＴＩＭＳ～着倒れ方丈記 都築響一 青幻舎
315 2 ルポ　貧困大国アメリカ 堤　未果 岩波新書
316 2 バベットの晩餐会 ディーネセン，イサク 桝田啓介 ちくま文庫
317 1 余命1ヶ月の花嫁 ＴＢＳテレビ報道局　編 マガジンハウス文庫
318 3 デイヴィッド・コパフィールド ディケンズ，チャールズ 中野好夫 新潮文庫
319 2 アンドロイドは電気羊の夢を見るか？ ディック,フィリップ・K 朝倉久志 ハヤカワ文庫
320 2 歌の翼に ディッシュ，トマス・M 友枝康子 国書刊行会
321 3 方法序説 デカルト,ルネ 谷川多佳子 岩波文庫
322 1 アドルフに告ぐ　1～5 手塚治虫 講談社
323 2 世界を知る力 寺島実郎 ＰＨＰ新書
324 1 大誘拐 天藤　真 創元推理文庫
325 1 ハックルベリイ・フィンの冒険 トウェイン，マーク 村岡花子 新潮文庫
326 2 不思議な少年 トウェイン，マーク 中野好夫 岩波文庫
327 1 15歳のワークルール～仕事につくとき、仕事をするとき、辞めるとき知っておきたい32のルール 道幸哲也 旬報社
328 1 檸檬のころ 豊島ミホ 幻冬舎文庫
329 3 カラマーゾフの兄弟 ドストエフスキー 亀山郁夫 光文社古典新訳文庫
330 3 罪と罰 ドストエフスキー 亀山郁夫 光文社古典新訳文庫
331 2 思考の整理学 外山滋比古 ちくま文庫
332 1 勝てる読書 豊崎由美 河出書房新社
333 3 アンナ・カレーニナ　上・中・下 トルストイ,レフ・ニコラエヴィチ 木村　浩 新潮文庫
334 3 ぼくを創るすべての要素のほんの一部 トルツ，スティーヴ 宇丹貴代実　ランダムハウス講談社
335 3 隣の病い 中井久夫 ちくま学芸文庫
336 1 歴史をさわがせた女たち　外国篇 永井路子 文春文庫
337 1 歴史をさわがせた女たち　庶民篇 永井路子 文春文庫
338 1 歴史をさわがせた女たち　日本篇 永井路子 文春文庫
339 1 インタビュー術! 永江　朗 講談社現代新書
340 1 地を駆ける 長倉洋海 平凡社

341 2 ＡＶ女優 永沢光雄 文春文庫
342 2 李陵／山月記 中島　敦 新潮文庫
343 1 イトウの恋 中島京子 講談社文庫
344 1 インドの時代～豊かさと苦悩の幕開け 中島岳志 新潮文庫
345 2 中村屋のボース～インド独立運動と近代日本のアジア主義 中島岳志 白水社
346 2 孤独について～生きるのが困難な人々へ 中島義道 文春文庫
347 1 ガダラの豚　1～3 中島らも 集英社文庫
348 1 怖い絵　1～3 中野京子 朝日出版社
349 2 中野重治詩集 中野重治 現代詩文庫
350 3 西遊記　1～10 中野美代子　訳 岩波文庫
351 1 汚れつちまつた悲しみに…?中原中也詩集 中原中也 集英社文庫
352 2 人は愛するに足り、真心は信ずるに足る～アフガンとの約束 中村　哲／ 聞き手：澤地久枝 岩波書店
353 1 からくりからくさ 梨木香歩 新潮文庫
354 1 西の魔女が死んだ 梨木香歩 新潮文庫
355 1 村田エフェンディ滞土録 梨木香歩 角川文庫
356 1 神様のカルテ 夏川草介 小学館
357 1 文鳥／夢十夜 夏目漱石 新潮文庫
358 2 こころ　 夏目漱石 集英社文庫
359 2 それから 夏目漱石 角川文庫
360 2 明暗 夏目漱石 岩波文庫
361 1 Ｉ　ＤＯＮ'Ｔ　ＭＩＮＤ，ＩＦ　ＹＯＵ　ＦＯＲＧＥＴ　ＭＥ． 奈良美智 淡交社
362 1 一箱古本市の歩きかた 南陀楼綾繁 光文社新書
363 1 じみへん倫理教室 南部ヤスヒロ 小学館
364 3 アデン アラビア ニザン，ポール 篠田浩一郎 晶文社
365 1 きりこについて 西加奈子 角川書店
366 1 しずく 西加奈子 光文社文庫
367 1 面白南極料理人 西村　淳 新潮文庫
368 2 未来をひらく歴史～日本・中国・韓国＝共同編集　東アジア3国の近現代史　第2版 日中韓3国共通歴史教材委員会　編著 高文研
369 3 武士道 新渡戸稲造 岬龍一郎 PHP文庫
370 1 「ネルソンさん、あなたは人を殺しましたか？」～ベトナム帰還兵が語る「ほんとうの戦争」 ネルソン，アレン 講談社文庫
371 1 新・放浪記 野田知佑 本の雑誌社
372 1 世界のはてのレゲエ・バー 野中ともそ 双葉文庫
373 3 イザベラ・バードの日本紀行　上・下 バード,イザベラ 時岡敬子 講談社学術文庫
374 1 夏への扉 ハインライン，ロバート・Ａ 福島正実 ハヤカワ文庫ＳＦ

375 1 茶色の朝 パヴロフ，フランク／ 絵：ギャロ・ヴィンセント 藤本一勇 大月書店
376 2 17歳 2001-2006 橋口譲二 岩波書店
377 2 桃尻語訳　枕草子　上・中・下 橋本　治 河出文庫
378 1 しゃばけ 畠中　恵 新潮文庫
379 2 炭鉱「労働」小説集～滅び行く炭鉱の記録 畑中康雄 彩流社
380 1 ちいさなちいさな王様 ハッケ，アクセル／ 絵：ゾーヴァ，ミヒャエル 那須田淳・大本　栄 講談社
381 2 狩猟サバイバル 服部文祥 みすず書房
382 2 アンデスの奇蹟～南米アンデスの高山に墜落した旅客機　生還者みずからが語る72日間の真実 パラード，ナンド・ラウス，ヴィンス 海津正彦 山と渓谷社
383 1 ピーター・パン バリー，Ｊ．Ｍ． 本多顕彰 新潮文庫
384 3 バレンボイム／サイード　音楽と社会 バレンボイム，ダニエル、サイード,エドワード・W　他 中野真紀子 みすず書房
385 2 昭和史　1926-1945 半藤一利 平凡社ライブラリー
386 2 昭和史　戦後篇　1945-1989 半藤一利 平凡社ライブラリー
387 2 チャリング・クロス街84番地～書物を愛する人のための本 ハンフ，ヘレーン　編 江藤　淳 中公文庫
388 2 日本人の英語 ピーターセン，マーク 岩波新書
389 1 新参者 東野圭吾 講談社
390 1 秘密 東野圭吾 文春文庫
391 1 ＫＡＴＳＵＨＩＫＯ　ＨＩＢＩＮＯ～日比野克彦作品集 日比野克彦・松浦弘明 小学館
392 1 ボックス！　上・下 百田尚樹 太田出版
393 2 晴着を質屋に～ラングストン・ヒューズ詩集 ヒューズ，ラングストン 斎藤忠利 国文社
394 2 決壊　上・下 平野啓一郎 新潮社
395 2 日蝕 平野啓一郎 新潮文庫
396 1 マイナス・ゼロ 広瀬　正 集英社文庫
397 2 聞かせてよ、ファインマンさん ファインマン，リチャード・Ｐ． 大貫昌子・江沢　洋 岩波現代文庫
398 3 小林多喜二～21世紀にどう読むか フィールド，ノーマ 岩波新書
399 2 生物と無生物のあいだ 福岡伸一 講談社現代新書
400 2 自然農法　わら一本の革命 福岡正信 春秋社
401 2 草の花 福永武彦 新潮文庫
402 1 まんが道　1～14 藤子不二雄Ａ 中公文庫
403 1 蝉しぐれ 藤沢周平 文春文庫
404 2 ツバキ城築城記 藤森照信 日経ＢＰ社
405 2 絵はがきにされた少年 藤原章生 集英社
406 2 メメント・モリ　藤原新也 三五館

407 1 適切な世界の適切ならざる私 文月悠光 思潮社
408 1 ダ・ヴィンチ・コード　上・中・下 ブラウン，ダン 越前敏弥 角川文庫
409 2 華氏451度 ブラッドベリ，レイ 宇野利泰 ハヤカワ文庫ＳＦ
410 3 ソクラテスの弁明／クリトン プラトン 久保　勉 岩波文庫
411 1 アンネの日記 フランク，アンネ 深町真理子 文春文庫
412 2 それでも人生にイエスと言う フランクル，Ｖ．Ｅ．　山田邦男・松田美佳　 春秋社
413 3 夜と霧　新版 フランクル，Ｖ．Ｅ．　池田香代子 みすず書房
414 2 グレート・ギャツビー フランシス・スコット・フィッツジェラルド 村上春樹 中央公論新社
415 3 三文オペラ ブレヒト 岩淵達治 岩波文庫
416 2 愛のゆくえ ブローティガン，リチャード 青木日出夫 ハヤカワｅｐｉ文庫
417 2 愛するということ フロム，エーリッヒ 鈴木　晶 紀伊国屋書店
418 2 嵐が丘　上・下 ブロンテ，エミリー 小野寺健 光文社古典新訳文庫
419 1 ジェイン・エア ブロンテ，シャーロット 吉田健一 集英社文庫
420 1 シーラという子〜虐待されたある少女の物語 ヘイデン，トリイ 入江真佐子 ハヤカワ文庫ＨＢ
421 1 車輪の下 ヘッセ，ヘルマン 高橋健二 新潮文庫
422 2 デミアン ヘッセ，ヘルマン 高橋健二 新潮文庫
423 1 老人と海 ヘミングウェイ，アーネスト 福田恒存 新潮文庫
424 1 ヘリオット先生奮戦記　上・下 ヘリオット，ジェームズ 大橋吉之輔 ハヤカワ文庫
425 1 Ｉｔと呼ばれた子　幼年期 ペルザー，デイヴ 田栗美奈子 ヴィレッジブックス
426 2 燃えるスカートの少女 ベンダー，エイミー 管啓次郎 角川文庫
427 2 ジャズ・カントリー ヘントフ，ナット 木島　始 晶文社
428 1 賢者の贈りもの ヘンリー，オー 西本かおる ポプラポケット文庫
429 1 黒猫／アッシャー家の崩壊 ポー，エドガー・アラン 巽　孝之 新潮文庫
430 1 ボッコちゃん 星　新一 新潮文庫
431 1 未来いそっぷ 星　新一 新潮文庫
432 1 カリブー〜極北の旅人 星野道夫 新潮社
433 1 旅をする木 星野道夫 文春文庫
434 2 通話 ボラーニョ，ロベルト 松本健二 白水社
435 1 落語の国からのぞいてみれば 堀井憲一郎 講談社現代新書
436 1 日本語の作文技術 本多勝一 朝日文庫
437 2 中国の旅 本多勝一 朝日文庫
438 1 武士道シックスティーン 誉田哲也 文春文庫
439 2 イルカと、海へ還る日 マイヨール，ジャック 関　邦博 講談社文庫
440 1 猫にかまけて 町田　康 講談社文庫
441 1 日々の100 松浦弥太郎 青山出版社
442 1 多読術 松岡正剛 ちくまプリマー新書

443 2 17歳のための世界と日本の見方～セイゴオ先生の人間文化講義 松岡正剛 春秋社
444 2 ザ・ロード マッカーシー，コーマック 黒原敏行 ハヤカワｅｐｉ文庫
445 1 砂の器　上・下 松本清張 新潮文庫
446 1 点と線 松本清張 新潮文庫
447 2 レンブラントの帽子 マラマッド，バーナード 小島信夫 夏葉社
448 2 文章読本 丸谷才一 中公文庫
449 3 丸山眞男セレクション 丸山眞男／ 編：杉田　敦 平凡社ライブラリー
450 1 塩狩峠 三浦綾子 新潮文庫
451 1 道ありき～青春編 三浦綾子 新潮文庫
452 1 郷土ＬＯＶＥ みうらじゅん スコラマガジン
453 1 自分なくしの旅 みうらじゅん 幻冬舎
454 1 風が強く吹いている 三浦しをん 新潮文庫
455 1 神去なあなあ日常 三浦しをん 徳間書店
456 1 仏果を得ず 三浦しをん 双葉社
457 1 コロヨシ！！ 三崎亜記 角川書店
458 2 春の雪 三島由紀夫 新潮文庫
459 1 こどもたちへ?夜回り先生からのメッセージ 水谷修 サンクチュアリ出版
460 1 夜回り先生 水谷　修 小学館文庫
461 2 日本語が亡びるとき～英語の世紀の中で 水村美苗
462 2 摂～美術、舞台そして明日 皆川博子 毎日新聞社
463 1 アマゾン、森の精霊からの声 南　研子 ほんの木
464 1 宮沢賢治詩集 宮沢賢治 ハルキ文庫
465 1 よろこびの歌 宮下奈都 実業之日本社
466 1 不肖・宮嶋 空爆されたらサヨウナラ～戦場コソボ、決死の撮影記 宮嶋茂樹 祥伝社黄金文庫
467 1 火車 宮部みゆき 新潮文庫
468 1 孤宿の人　上・下 宮部みゆき 新潮文庫
469 2 セールスマンの死 ミラー，アーサー 倉橋　健 ハヤカワ演劇文庫
470 2 フロム・ヘル　上・下 ムーア，アラン／ 絵：キャンベル，エディ 柳下毅一郎 みすず書房
471 1 向田邦子の青春～写真とエッセイで綴る姉の素顔 向田和子 文春文庫
472 1 父の詫び状 向田邦子 文春文庫
473 1 海辺のカフカ　上・下 村上春樹 新潮文庫
474 1 ねじまき鳥クロニクル　1～3 村上春樹 新潮文庫
475 1 世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド 村上春樹 新潮文庫
476 2 アンダーグラウンド 村上春樹 講談社文庫
477 1 希望の国のエクソダス 村上　龍 文春文庫
478 2 源氏物語　1～10 紫　式部/瀬戸内寂聴 講談社文庫
479 1 天使の卵～エンジェルス・エッグ 村山由佳 集英社文庫

480 1 星々の舟 村山由佳 文春文庫
481 1 柘榴のスープ メヘラーン，マーシャ 渡辺佐智江 白水社
482 1 ドラゴン桜公式副読本　16歳の教科書～なぜ学び、なにを学ぶのか 7人の特別講義プロジェクト・ モーニング編集部 講談社
483 1 ドラゴン桜公式副読本　16歳の教科書2～「勉強」と「仕事」はどこでつながるのか 6人の特別講義プロジェクト・ モーニング編集部 講談社
484 1 カラフル 森　絵都 文春文庫
485 1 つきのふね 森　絵都 角川文庫
486 1 風に舞いあがるビニールシート 森　絵都 文春文庫
487 1 日日是好日～「お茶」が教えてくれた15のしあわせ 森下典子 新潮文庫
488 1 誰が誰に何を言ってるの？ 森　達也 大和書房
489 2 死刑～人は人を殺せる。でも人は、人を救いたいとも思う 森　達也 朝日出版社
490 2 放送禁止歌 森　達也 知恵の森文庫
491 2 起業は山間から-石見銀山・群言堂・松場登美 森まゆみ バジリコ
492 1 贅沢貧乏 森　茉莉 講談社文芸文庫
493 1 森茉莉総特集 森　茉莉 河出書房新社
494 1 四畳半神話大系 森見登美彦 角川文庫
495 1 赤毛のアン モンゴメリ，ルーシー・モード 村岡花子 新潮文庫
496 2 先生が教えてくれた「倫理」 矢倉芳則 清水書院
497 2 柳宗理エッセイ 柳　宗理 平凡社
498 2 犠牲（サクリファイス）～わが息子・脳死の11日 柳田邦男 文春文庫
499 2 愛撫・人の心に触れる力 山口　創 ＮＨＫブックス
500 2 大地の子　1～4 山崎豊子 文春文庫
501 1 不思議な少年　1～8 山下和美 モーニングＫＣ
502 1 ぼくは勉強ができない 山田詠美 新潮文庫
503 2 異人たちとの夏 山田太一 新潮文庫
504 2 人間臨終図巻　1～3 山田風太郎 徳間文庫
505 2 まんが現代史～アメリカが戦争をやめない理由 山井教雄 講談社現代新書
506 2 山之口貘詩文集 山之口貘 講談社文芸文庫
507 2 利休にたずねよ 山本兼一 ＰＨＰ研究所
508 1 さぶ 山本周五郎 新潮文庫
509 3 ベーシック・インカム入門～無条件給付の基本所得を考える 山森　亮 光文社新書
510 2 反貧困～「すべり台社会」からの脱出 湯浅　誠 岩波新書
511 2 8月の果て　上・下 柳　美里 新潮文庫
512 2 旅人～ある物理学者の回想 湯川秀樹 角川ソフィア文庫
513 2 ドグラ・マグラ　上・下 夢野久作 角川文庫
514 1 夏の庭～Ｔｈｅ　Ｆｒｉｅｎｄｓ 湯本香樹実 新潮文庫

515 1 クライマーズ・ハイ 横山秀夫 文春文庫
516 1 小さな国の大きな奇跡～キューバ人が心豊かに暮らす理由 吉田沙由里 ＷＡＶＥ出版
517 1 吉野弘詩集 吉野　弘 ハルキ文庫
518 1 ＴＵＧＵＭＩ（つぐみ） 吉本ばなな 中公文庫
519 1 デッドエンドの思い出 吉本ばなな 文春文庫
520 1 さよなら妖精 米澤穂信 創元推理文庫
521 1 不実な美女か貞淑な醜女（ブス）か 米原万里 新潮文庫
522 2 オリガ・モリソヴナの反語法 米原万里 集英社文庫
523 1 赤ちゃんと僕　1～10 羅川真里茂 白泉社文庫
524 2 その名にちなんで ラヒリ，ジュンパ 小川高義 新潮文庫
525 2 千年の祈り リー，イーユン 篠森ゆりこ 新潮社
526 3 バーナード・リーチ　日本絵日記 リーチ，バーナード 柳　宗悦・水尾比呂志 講談社学術文庫
527 2 千々にくだけて リービ英雄 講談社文庫
528 3 英語で読む万葉集 リービ英雄 岩波新著
529 2 死の海を泳いで～スーザン・ソンタグ最期の日々 リーフ，デイヴィッド 上岡伸雄 岩波書店
530 2 伽?子のために 李　恢成 新潮文庫
531 2 マルテの手記 リルケ，ライナー・マリア 大山定一 新潮文庫
532 2 ファインマンさん最後の冒険 レイトン，ラルフ 大貫昌子 岩波現代文庫
533 2 西部戦線異状なし レマルク，Ｅ・Ｍ 秦　豊吉 新潮文庫
534 2 ベートーヴェンの生涯 ローラン，ロマン 片山敏彦 岩波文庫
535 2 ソロモンの指環～動物行動学入門 ローレンツ，コンラート 日高敏隆 早川書房
536 2 サロメ～魔性の王女 ワイルド，オスカー 牧美也子 双葉文庫
537 2 イメージを読む～美術史入門 若桑みどり ちくま文芸文庫
538 2 こんな夜更けにバナナかよ-筋ジス・鹿野靖明とボランティアたち 渡辺一史 北海道新聞社
539 1 忍びの国 和田　竜 新潮社
540 1 のぼうの城 和田　竜 小学館
541 3 睡蓮の教室 ワン，ルル 鴻巣友季子 新潮クレスト・ブックス

「本を愛する大人たちのおせっかい　高校生はこれを読め！高校生に読ませたい　これ読め５００冊リスト」から引用

日本ミステリ百選

[王道三十傑]

誰もが認めざるを得ないほどの、日本ミステリ史上に残る傑作達。

本格ミステリファンならば、これらを読まずに死んではいけない！

１．三毛猫ホームズの推理　赤川次郎

大衆小説作家も初期には正しくミステリ作家だった。

本作はお得意のユーモアミステリの中で、密室に対する斬新な解法を示して、忘れられない作品。

２．十角館の殺人　綾辻行人

新本格の幕開けを告げた名作。

クリスティの名作への新本格的解答。

心理のギミック、一行の衝撃。

驚愕の提示法として、本作を越える作品は少ない。

３．迷路館の殺人　綾辻行人

過去の手法の大胆なアレンジ。

幾多にも折り込まれたサブアイデア。

過去への回帰ではない。

これこそ新本格ムーブメントを象徴する綾辻の最高傑作。

４．りら荘事件　鮎川哲也

「本格とは何か？」という設問に対する具体的な回答。

「本格推理」の「本格の雄」による「本格の鬼」のための「本格ミステリ」　これが究極だ！！

５．月光ゲーム　有栖川有栖

日本における正統なクイーン継承者の登場。

クイーンばりのロジックの具現化に日本中がしびれた。

綾辻、法月と共に新本格三本柱となる氏の処女作。

６．孤島パズル　有栖川有栖

私的有栖のベスト。

クイーンばりのロジック。

絞り込まれたロジックに、よりスマートさが光る。

ある分野での新形式を示した『双頭の悪魔』も傑作。

７．十一枚のトランプ　泡坂妻夫

奇術の陰の記述の仕掛け。

奇術とミステリとの完全友好的融合。

自身が奇術師でなければ成し得ない奇蹟の傑作。

本格ファンならば、これを読むべし。

８．クラインの壷　岡嶋二人

ミステリとしての仕掛けと、ストーリーテリングの手腕が最高潮に達した。

現実と非現実の境目があやふやになる、岡嶋作品の最後にして最高の傑作。

９．そして扉が閉ざされた　岡嶋二人

完全閉塞状況。

最小限の容疑者。

ぎりぎりまでに刈り込まれた本格の場で、

新たな驚愕を用意してくれた傑作。

本格の極北。

岡嶋ミステリの最高傑作。

１０．黒死館殺人事件　小栗虫太郎

探偵小説の要素をことごとく詰め込み、荘厳重厚なペダントリーで全体を覆い尽くした、
孤高の輝きを放つ傑作。

欠点は致命的なほど理解不能なこと。

１１．バイバイエンジェル　　笠井潔

盛り込みの過剰さから云えば、『サマーアポカリプス』の方が上だろうが、「首斬り」に関して
斬新な解決を示した、本作を笠井の最高傑作としたい。

１２．魍魎の匣　京極夏彦

あやかしの夢が現実にすり替わる妖艶の美学。

不可思議の謎から何物をも引き剥がさず「あるがまま」に祓う。

妖しの世界を創造する京極の最高傑作。

１３．弁護側の証人　小泉喜美子

超絶の技巧が度肝を抜いた、カルト的傑作。

ミステリの企みとしては、史上最も秀でたものの一つだろう。

新本格の諸作品を軽く凌駕する奇想の名作。

１４．不連続殺人事件　坂口安吾

一風変わった登場人物達が、一風変わった状況の中で、繰り広げる殺人劇。

心理の論理という見過ごされがちな課題を再認識させた、玄人好みの絶品。

１５．占星術殺人事件　島田荘司

新本格以前に本格の渇を癒してくれた島田荘司。

持ち味である大技トリックが炸裂する代表作。

これを読まずして日本ミステリを語れない名作の一つ。

１６．斜め屋敷の犯罪　島田荘司

私的島荘ベスト作品。

「ここまでやるか！」と度肝を抜かれた驚愕の傑作。

舞台の創造から全てが本格に寄与する。

よりマニア的な、館物の最高傑作。

１７．人形はなぜ殺される　高木彬光

本格を一冊だけ翻訳して他国の本格ファンに上梓するなら、この作品を選びたい。

スマートな仕上がりの中に、探偵小説の鬼たる企みを併せ持つ傑作。

１８．能面殺人事件　高木彬光

氏の一作と云えば一般的には『刺青殺人事件』だが、探偵小説的企みの使い方としてはこちらが上。

個人的には刺青を落としても、こちらを取りたい。

１９．危険な童話　土屋隆夫

作者のトリッキーな作風と、重いトーンの叙情性とが、極めて密接に融合した傑作。

童話の叙情性の奥底に秘めた、残酷性をトリックに仕立てた名作。

２０．匣の中の失楽　竹本健治

現実と虚構とが反転を繰り返す超絶の構成。

ペダントリーに超論理の競演。

壮大な本格作品ではあるものの、私見では壮大な未完成作品と喝破したい。

２１．大誘拐　天藤真

読者の想像を凌駕する、徹底的にユニークな展開の誘拐ユーモアミステリ。

抱腹絶倒の展開に、ミステリ的アイデアが十二分に盛り込まれた、大傑作。

２２．虚無への供物　塔晶夫

全編を覆うペダントリーの中で、異世界の探偵遊戯を楽しみながら、壮大なアンチミステリたる結末に辿り着く。

日本本格ミステリ史上不動の最高峰。

２３．人狼城の恐怖　　二階堂黎人

「最長」のタイトルホルダーながら、たしかにこれだけの分量が必要だと納得させられる大雄編。大胆と繊細を備えた、日本ミステリ史上に残る傑作。

２４．誰もがポオを愛していた　平石貴樹

クイーンばりのロジックのもう一人の具現者。

ポオの論文を含めて、本格ミステリファンを唸らせて止まない。

きっちりとした純粋推理に酔える名作。

２５．翼ある闇　麻耶雄嵩

新本格随一の奇想の驍将、その類い希なる衝撃的デビュー作品。

奇想の極限的密室、稚気なる見立て、シニカルな展開。

バカと紙一重の本格の最先端。

２６．生ける屍の死　山口雅也

死者の蘇る世界で起こる殺人。

ねじれた設定の世界でこそ生き得る、ホワイを主軸に据えたパラドックスのロジックの妙。

９０年代の代表的本格傑作。

２７．花の棺　山村美沙

日本に於ける密室小説の最高峰。

機能的な和密室としての解法は見事。

日本的密室の舞台と解法として、この作品を越えるものはいまだに出ていない。

２８．ドグラ・マグラ　夢野久作

メビウスの輪の構造を持った悪夢のラビリンス。

夢の中で見る夢のように、確かな足許のない混沌の重層世界。

ミステリ史上最高の迷宮がここにある。

２９．獄門島　横溝正史

ミステリ史上最も有名な科白を始め、見立て、トリック、犯人の仕掛けと、最高の完成度を誇る名作。

日本ミステリ史上ベスト作品との呼び声も高い。

３０．本陣殺人事件　横溝正史

日本独特の家屋と小道具が、様式美と機能美の絶妙のバランスで配置された極めて美しいミステリ絵画。

美学にまで昇華された、和密室物の最高傑作。

[裏ベスト二十傑]

表から、裏から、横から、背中から、真下から、襲いかかる驚愕。

表舞台に立つよりも、幕裏でフフフと含み笑いを浮かべていたい。

３１．殺戮にいたる病　我孫子武丸

軽味のユーモアミステリで勝負してきた作者から、突然変異のように産まれた衝撃作。

サイコホラーでありながら本格ミステリの企みに驚愕する傑作。

３２．イニシエーション・ラブ　乾くるみ

最初から最後まで、極限なまでにミステリではない、完璧なる「単なる青春小説」　これが完璧なる本格ミステリになるのは、読み終わった瞬間から。

３３．葉桜の季節に君を想うということ　歌野晶午

幾つものパートが絡み合い、最後に全てが収束する際のとんでもない衝撃。

世界の様相ががらりと転回してしまう驚愕。

形式すらも意外性に寄与する。

３４．清里高原殺人別荘　梶龍雄

あるジャンル小説でありながら、巧妙に読者の目から隠されている。

若者の成長を描く青春本格ミステリの書き手が挑む、ミステリの企てを読めるか？

３５．姑獲鳥の夏　京極夏彦

ミステリの成立性をも脅かす、恐るべきアンチミステリたる企み。

それを成立させるための明確な意図を持った人物配置と、その類い希なる伏線の妙。

３６．星降り山荘の殺人　倉知淳

孤高の”ぶっとび日常の謎派”倉知淳が生み出した、微妙なフェアプレイによる絶妙のフーダニット（犯人当て）。

貴方は果たして犯人を見破れるか？

３７．ウェディング・ドレス　黒田研二

謎解きの果てに現れる爆笑のハウダニット。

人工型騙りと伏線の巧者にして

大型（オオバカ）トリックメーカー。

ミステリ界の色物作家のデビュー作。

３８．他殺岬　笹沢左保

誘拐物としてのユニーク極まる展開から、こんな着地点があり得るのかってほど、驚愕の結末に辿り着く。

ミステリとしてのプロットが突出した逸品。

３９．北の夕鶴２／３の殺人　島田荘司

島田大技作品として、占星術、斜め屋敷に唯一並び得るのが本作。

御手洗物じゃないからって見逃すな。

トリック小説愛好家絶対必読の力業爆裂作品。

４０．ロートレック荘事件　筒井康隆

前人未踏の言語トリック、謳い文句に偽り無し。

言語遊戯の達人が仕掛けた空前絶後の大トリック。

無から有を取り出してみせる、言葉の錬金術の罠。

４１．消失！　中西智明

日本ミステリ史上最高純度のバカミス。

バカミスと言えば本作を思い浮かべる人も多いはず。

惜しむらくは、本作のみで作者も消失してしまったこと。

４２．十和田湖殺人事件　中町信

プロローグ、エピローグに挟まったトリック。

同じ形式の中で、どれだけの秀作を産み出せるのか。

病気シリーズとも称し得る、湖シリーズの最高作。

４３．聯秋殺　西澤保彦

西澤版毒チョコ。

全編推理というミステリ読みのためのミステリ、その推理連鎖の果ての驚愕。

ミステリ読みを唸らす、構造の技巧を見せつけた秀作。

４４．見えない精霊　林泰広

なんというイリュージョンをこの人は実現させてしまったのか。

活字におけるマジック、高純度のトリック。

マジックは今”奇蹟の本格”に昇華する。

４５．六式金神殺人事件　藤岡真

バカ伝奇→バカ見立て→バカ殺人→バカ犯人→バカちゃぶ台ひっくり返し→バカ真犯人→バカラスト。

究極のバカ構造が連鎖する、超弩級のバカ本格。

４６．世界は密室でできている。　舞城王太郎

とんでもない話、とんでもないトリック。

出てきた途端に解かれていく謎。

とんでもなくミステリなのに、感動の青春小説。

全くとんでもない作者だ。

４７．そして二人だけになった　森博嗣

「超ど級の大傑作」に成り得るポテンシャルを持っていながら、自ら積み上げた積み木をわざと倒したような作品。

トリックの衝撃度で氏の最高傑作。

４８．死の命題　門前典之

密室の解明。

その密室すら凌駕するトンデモ・トリック。

最後に本作が意図していたバカ凄い趣向。

三度笑える衝撃奇想の、カルト的バカミスの傑作。

４９．トリック狂殺人事件　吉村達也

本格のガジェットを詰めるだけ詰め込んで、遊び倒した遊戯型本格の佳作。

本格性とエンタテインメント性の両立。

”愉しめる”要素重視の娯楽作品。

５０．歳時記　依井貴裕

凄い着想を地味～な作品に結実させてしまう、不器用な異才の大業。

トリックとロジック、どちらにも華麗なほどの地味さを誇る氏の最高の大業作品。

[連作/短編集二十傑]

短編ならではの切れ味。短編集としてまとまった統一感の美しさ。

連作としての企み。

長編だけでは描き得ない世界がここにはある。

５１．根津愛探偵事務所　愛川晶

ロジックの美しさとアクロバティックなパラドックスが、巧妙にシンクロした優れものの犯人当てなど、遊び心と本格センスに満ちあふれた名短編集。

５２．どんどん橋落ちた　綾辻行人

極めて生々しい”本格”の要素だけを煮詰めに煮詰めた、本格濃縮スープ。

本格の本質を剥き出しにした、刺激的な作品集。

稚気と技巧と愉悦の絶品。

５３．ヴィーナスの心臓　鮎川哲也

本格ミステリ短編オールタイムベスト級作品が、問題編・解答編に分かれた犯人当てとして出題される。

最高の技巧、最高の愉悦、史上最高の短編集。

５４．亜愛一郎の狼狽　泡坂妻夫

泡坂妻夫を代表する手法とも言える「奇妙な論理」で全編を貫いた、他に類を見ない傑作短編集。

パラドックスのロジックで本作を超えるのは不可能。

５５．ダック・コール　稲見一良

心の強い男とは真の優しさを備え持つ。

ハードボイルドとファンタジー、自然につながる美しさと切なさ。

男が少年を描くのか、少年が男を語るのか？

５６．アルファベット・パズラーズ　大山誠一郎

パズラーとしてド真ん中のド本格ながら、ロジックの帰結は驚愕のド奇想。

今世紀最高の新人にして、史上最高のミステリパズルの名手になるかも？！

５７．完全犯罪　加田伶太郎
これまた「本格とは何か？」という設問に対する具体的な回答の一つ。

忘れ去りがちなＷＨＹにも意を用いた、端麗で”美しい”本格ミステリ短編集。

５８．魔法飛行　加納朋子

謎という芯を包み込んで暖かい何かに膨らますアプローチ。

淡いクレパスの文体とほのかな温もりが、ファンタジーとミステリを軽やかに引き寄せる。

５９．空飛ぶ馬　北村薫

日常の謎派の代表選手。

淀みのない文章の流れ、きっと温かいペンの温度。

まさしく現代の語り部。「日常の謎派」の象徴でもある私シリーズ代表作。

６０．しゃべくり探偵　黒崎緑

ぼけホームズとつっこみワトソンの、しゃべくり漫才本格ミステリ短編集。

凝り凝りの構成、こてこての笑いの陰に、コツコツと仕込む本格ミステリ。

６１．ＯＺの迷宮　柄刀一

不可能犯罪物短編集としても屈指の出来であり、作者の仕掛けも興味深い。

トリックにロジック、ゲップが出そうなほどの濃厚料理を味わって欲しい。

６２．なめくじ長屋捕物さわぎ　都筑道夫

特定の砂絵ではなく、シリーズ総名称で表すのが定番なので、通例に従う。

著者のライフワーク。全編超トリッキーな本格を展開する希有なシリーズ。

６３．遠きに目ありて　天藤真

日本における安楽椅子探偵物の代表作。

本格性、人情味、硬軟両面の練達。

初心者からマニアまで、あらゆるミステリファンを惹き付ける連作短編集。

６４．被害者は誰？　貫井徳郎

マガーを踏襲した趣向を凝らした短編集。

全編に敷き詰められた叙述の罠。

仕掛け、ロジック、遊戯性、ユーモア、と本格者の魂を揺さぶり出す逸品。

６５．法月綸太郎の新冒険　法月綸太郎

悩める作者（名探偵）が本格のど真ん中に帰還した。

吹っ切れた爽快感。

シンプルで完成されたプロット『都市伝説パズル』を含む『功績』も良いぞ。

６６．メルカトルと美袋のための殺人　麻耶雄嵩

京極堂が「論理で祓う」のならメルは逆に「論理で呪う」。

ねじれた探偵、ねじれたアイデア、ねじれた奇想。

ねじれた本格ミステリの究極の短編集。

６７．キッドピストルズの妄想　山口雅也

パラレルワールドのパンク探偵。

特異な世界の正統な本格。

狂気をロジックに取り入れたこのシリーズ２作目が、氏の本格ミステリ短編集の最高傑作。

６８．明治断頭台 山田風太郎

奇想トリックのオンパレードに、奇怪なる形式の謎めいた謎解き。

歪んだ人間群像による、ミステリ絵巻の果ての陥穽。何という奇想、何という傑作！

６９．妖異金瓶梅　山田風太郎

中国の伝奇小説を元ネタに、恐るべきミステリ絵巻を繰り広げる怪作、大傑作連作集。

輪廻する奇想。

繰り返しの超技巧。

大天才異色作家の最高傑作。

７０．戻り河心中　連城三紀彦

短編集としての完成度はミステリ史上例を見ない美しさ。

詩情性と意外性をこれだけマッチングできる作家は他に存在しない。

最高に美しい名短編集。

[My favorite 十五選]

客観的な視点だけではなく、自分自身の嗜好も折り込んでみよう。

「好き」だけでは終わらない、個々の魅力が光る愛すべき作品達。

７１．殺人喜劇の十三人　芦辺拓

過剰すぎるほどにパンパンに膨らんだ”行き過ぎた技巧派”のデビュー作。

過剰なトリック、過剰なプロット。

過剰な知的作業から生まれた人工建築。

７２．探偵映画　我孫子武丸

持ち味である仕掛けの巧さが最大限に発揮された秀作。

作者の企みに喝采。

サイコホラー衝撃本格『殺戮にいたる病』と並び得る、もう一つの代表作。

７３．準急ながら　鮎川哲也

鮎川哲也を語るのに”アリバイ物”は外せない。

『黒いトランク』ではなく本作を選ぼう。

鉄道だけではないアリバイ、ロジックの愉悦。

隠れた名作。

７４．人それを情死と呼ぶ　鮎川哲也

プロットの妙味、逆転の驚愕、ラストの哀切。

ド本格というわけではない。

アリバイ物ではあるが鉄道物でもない。

だけど、鮎川哲也の代表作の一つ。

７５．妖女の眠り　泡坂妻夫

独自の世界を構築する氏のもう一つの作風。

世界に引きずり込まれる感覚とその世界がひっくり返る謎の解明のカタルシス、いずれも兼ね備えた傑作。

７６．八月は一夜限りの心霊探偵　霧舎巧

シリーズの集大成だけど単独では読めない（少なくとも７月は同時に必要）文章世界の外から仕掛ける作者の技巧。

こんなシリーズ、どこにもないぞ！

７７．邪馬台国はどこですか？　鯨統一郎

本格ミステリ界随一の珍妙奇天烈摩訶不思議なトリックスター。

「こじつけのプロ」の歴史は、このトンデモで痛快で胡散臭い、歴史推理から始まる。

７８．コミケ殺人事件　小森健太朗

オタクな本格ミステリで、作中に同人誌を挿入したオタクなメタミステリ。

虚実交錯の構成。

オタクな読者は当然として、非オタクだって満足させる。

７９．あきらめのよい相談者　剣持鷹士

大学時代に一緒にミステリ愛好会を立ち上げた同士。

縁故採用してみよう。

九州弁の語り口に何とも味がある、現役弁護士だからこそ描ける日常の謎。

８０．暗い傾斜　笹沢左保

『人喰い』『霧に溶ける』など新本格と同じ基盤の作品も良いが、着想を叙情的な世界で展開させた作品を選ぼう。

心理そのもので、人は殺せるのか？

８１．ＱＥＤ竹取伝説　高田崇史

現実側、歴史側双方のバランスが取れていて、テーマも王道。

シリーズ代表作。

最後に示されるビジュアルなイメージは、ミステリのケレンそのもの。

８２．タイムリープ～あしたはきのう～　高畑京一郎

時間跳躍の論理パズル。

タイムスリップＳＦに、論理性の要素を付加して、軽快なエンタテインメントに仕上げた痛快作品。

この論理性はミステリだ。

８３．卒業　東野圭吾

代表作のなかった器用貧乏作家も今は昔。

新本格系の作品にも好きなものは多いのだが、敢えてトリックのゲーム作が楽しい初期作品を選んでみよう。

８４．首無の如き祟るもの　三津田信三

今後首斬りをテーマに語る場合に、本作を落としては語れまいと思えるほどの”新しい古典”の登場。

構図の凄まじさは空前絶後。衝撃度抜群の奇想。

８５．龍は眠る　宮部みゆき

現代を代表するベストセラー作家に成長した彼女。

小説としての完成度が極まった『火車』よりも、ミステリとしての最高傑作ならば本作を選びたい。

[古典十五選]

子曰く、故きを温めて新しきを知る。

本格の魂が生きていた時代。

現代からの帰還に捧げられる供物。

以てミステリの師と為るべし。

８６．江戸川乱歩傑作選（新潮文庫） 江戸川乱歩

やはり作家としての乱歩は基本的に短編作家だろう。

「夜の夢こそまこと」という言葉にふさわしい作品達。

特に初期短編群は、まさに奇蹟の宝石だ。

８７．とむらい機関車（国書刊行会）　大阪圭吉

人と物、童話性とリアリズム、謎と論理、全てが渾然一体となる本格世界。

日本の本格、中でもトリッキーな作品を愛する人々にとっての必読作品集。

８８．天狗（国書刊行会）　大坪砂男

文学的な世界に展開される奇想。

日本短編ミステリ中でも、最も奇想が際立つ表題作を始め、香味高い文章で語られる奇想本格マニア向けの逸品揃い。

８９．薫大将と匂の宮　岡田鯱彦

源氏物語を舞台にした、清少納言と紫式部の推理合戦。

設定の着想が秀逸。

文学世界にミステリを構築した、小説としてのセンスがキラリと光る名品。

９０．股から覗く（国書刊行会）　葛山二郎

本格ミステリを逆手に取ることを得手とする作者の傑作選。

ミステリ初心者よりも本格ミステリ・プロパーこそを驚かす、奇妙な技巧の煙に巻かれろ。

９１．ぼくらの時代　栗本薫

乱歩賞に新しい風を起こした鮮烈な作品。

ミステリは不変だが、同時代性という要素もあったりする。

私にとっての「そのときの作品」かもしれない。

９２．錦絵殺人事件　島田一男

横溝正史より至る、日本固有の本格ミステリ色を強く継承した作品。

同系統の『古墳殺人事件』や、スマートで奇妙な『上を見るな』も挙げておこう。

９３．抹殺の意志　草野唯雄

トリッキーなミステリとサスペンスフルな展開を得意とする作者の代表作。

作者から読者への仕掛けやどんでん返しなど、意外性にこだわった作者だ。

９４．炎に絵を　陳舜臣

乱歩賞受賞作『枯草の根』も香味高く描かれた秀作だが、連続する意外性、題名のセンスの良さ、奥行きのある描写とプロットで描かれた本作を選ぶ。

９５．奇蹟のボレロ　角田喜久雄

短編や時代小説等ミステリ以外の分野にも秀作が多い作家。

一般的には『高木家の惨劇』が代表作に選ばれることが多いが、個人的にはこちらを買う。

９６．大いなる幻影　戸川昌子

乱歩賞中でも奇妙な味わいが印象に残る異色作。

海渡英祐『伯林一１８８８年』や大谷羊太郎『殺意の演奏』あたりも、古典系乱歩賞では好きな作品。

９７．猫は知っていた　仁木悦子

日本ミステリの原点の一つ。

小説としての乱歩賞初代受賞作品。

それなのに古さを感じさせない、スマートでトリッキーで爽やかでもある正統派本格。

９８．殺しの双曲線　西村京太郎

「この作品には双子トリックが使われている」と最初に宣言する。

氏本来の本格スピリットが明瞭に現れた、本格の稚気をたっぷりと詰め込んだ名作。

９９．離れた家　山沢晴雄

練りまくられた複雑系トリックの妙技。

本格を、トリックを、ここまで突き詰めた作品集なんてそうは出逢えないぞ。

山沢晴雄は一つの究極形なのだ。

１００．鷲尾三郎名作選（河出文庫）　鷲尾三郎

奇想トリックファンならば真っ先に名前を挙げるだろうトリックメーカー。

バカミスの代名詞にもなり得る『白魔』を始め、奇想満載の鷲尾ワールド。

「幻影の書庫」から引用

海外ミステリ百選

[ディクスン・カー篇]

ミステリ界三大巨匠の一人。

私が最も敬愛する本格ミステリ作家。

オカルト趣味。

ロマンス。

不可能犯罪。

世界最高の密室派の巨匠。

１．	火刑法廷	ディクスン・カー
２．	皇帝のかぎ煙草入れ	ディクスン・カー
３．	死者はよみがえる	ディクスン・カー
４．	ビロードの悪魔	ディクスン・カー
５．	三つの棺	ディクスン・カー
６．	貴婦人として死す	カーター・ディクスン
７．	白い僧院の殺人	カーター・ディクスン
８．	第三の銃弾	カーター・ディクスン
９．	ユダの窓	カーター・ディクスン

[アガサ・クリスティ篇]

最高のミステリ作家を選んで、誰をも納得させるなら彼女だろう。

彼女に騙されたことのないミステリ読者なんて、多分存在しない。

１０．ＡＢＣ殺人事件	アガサ・クリスティ
１１．アクロイド殺害事件	アガサ・クリスティ
１２．検察側の証人	アガサ・クリスティ
１３．葬儀を終えて	アガサ・クリスティ
１４．そして誰もいなくなった	アガサ・クリスティ

１５．チムニーズ荘の秘密　　アガサ・クリスティ
１６．ナイルに死す　　アガサ・クリスティ
１７．招かれざる客　　アガサ・クリスティ

[エラリー・クイーン篇]

些細な手がかりから、華麗な論理を紡ぎ出す、ロジック派の巨匠。

謎と論理と解決という本格の不可欠要素を、理想型に組み上げる。

１８．エジプト十字架の謎　　エラリー・クイーン
１９．ギリシャ棺の謎　　エラリー・クイーン
２０．シャム双子の謎　　エラリー・クイーン
２１．Ｘの悲劇　　バーナビー・ロス
２２．Ｙの悲劇　　バーナビー・ロス
２３．Ｚの悲劇　　バーナビー・ロス

[正当派古典本格篇]

ビバ、黄金期。

本格ミステリが素晴らしい輝きを放っていた時代。

王道から様々な趣向作まで、嗚呼、ミステリはこんなにも美しい。

２４．傾いたローソク　　Ｅ・Ｓ・ガードナー
２５．捕虜収容所の死　　マイケル・ギルバート
２６．死体をどうぞ　　ドロシー・Ｌ・セイヤーズ
２７．グリーン家殺人事件　　Ｓ・Ｓ・ヴァン・ダイン
２８．僧正殺人事件　　Ｓ・Ｓ・ヴァン・ダイン
２９．最上階の殺人　　アントニー・バークリー
３０．毒入りチョコレート事件　　アントニー・バークリー
３１．はなれわざ　　クリスチアナ・ブランド
３２．メリー・ウィドウの航海　　ニコラス・ブレイク
３３．被害者を捜せ！　　パトリシア・マガー

[正当派現代本格篇]

まろやかに醸造されたヴィンテージワインを、新しい器で愉しむ。

舞台や時代やモチーフが変われど、本格の愉悦は永遠に変わらず。

３４．薔薇の名前　ウンベルト・エーコ
３５．古い骨　アーロン・エルキンズ
３６．ウッドストック行最終バス　コリン・デクスター
３７．キドリントンから消えた娘　コリン・デクスター
３８．興奮　ディック・フランシス
３９．偽のデュー警部　ピーター・ラブゼイ

[不可能犯罪趣味篇]

不可能犯罪こそ、ミステリの最大の醍醐味だと、信じて疑わない。

不可能を可能にしてしまう、魔術師達のあの手この手をご覧あれ！

４０．四つの扉　ポール・アルテ
４１．衣装戸棚の女　ピーター・アントニイ
４２．二つの密室　Ｆ・Ｗ・クロフツ
４３．ビッグ・ボウの殺人　イスラエル・ザングヴィル
４４．悪魔を呼び起こせ　デレック・スミス
４５．見えないグリーン　ジョン・スラデック
４６．魔の淵　ヘイク・タルボット
４７．ジェゼベルの死　クリスチアナ・ブランド
４８．３人の名探偵のための事件　レオ・ブルース
４９．大密室　ボアロー＆ナルスジャック
５０．首のない女　クレイトン・ロースン

[裏本格篇]

王道からはズレていようが、それを逆に魅力にしてしまう強者達。

癖のある趣向作品ながら、それぞれにミステリを突き詰めた逸品。

５１．血のついたエッグ・コージイ　ジェームズ・アンダーソン

５２．ホッグ連続殺人　　ウィリアム・Ｍ・デアンドリア
５３．五番目のコード　　Ｄ・Ｍ・ディヴァイン
５４．誰がロビンズ一家を殺したか？　チャステイン＆アドラー
５５．赤い右手　　Ｊ・Ｔ・ロジャーズ

[ユーモアミステリ編]

ほのぼの、くすくす、にんまり、ゲラゲラ。笑いの蔭に本格あり。

笑いながらも良質の本格が楽しめる。

これって結構贅沢じゃない？

５６．くたばれ健康法！　　アラン・グリーン
５７．お楽しみの埋葬　　エドマンド・クリスピン
５８．スカイジャック　　トニー・ケンリック
５９．猿来たりなば　　エリザベス・フェラーズ
６０．ドーヴァー４／切断　　ジョイス・ポーター
６１．スイート・ホーム殺人事件　　クレイグ・ライス

[ＳＦミステリ篇]

未来世界にも、ファンタジーの世界にも、ミステリは生きている。

日常とは全く違う世界で展開される、ミステリを体験してみよう。

６２．鋼鉄都市　　アイザック・アシモフ
６３．魔術師が多すぎる　　ランドル・ギャレット
６４．死者の書　　ジョナサン・キャロル
６５．リプレイ　　ケン・グリムウッド
６６．星を継ぐもの　　ジェイムズ・Ｐ・ホーガン

[サスペンス・スリラー・倒叙篇]

陥穽は突然襲い来る。

そう、サスペンスにはサプライズが似合う。

雰囲気に酔い、展開に惑い、プロットに漂って、驚愕におののく。

６７．幻の女　ウィリアム・アイリッシュ
６８．切り札の男　ハドリー・チェイス
６９．心ひき裂かれて　リチャード・ニーリィ
７０．トライアル＆エラー　アントニー・バークリー
７１．死の接吻　アイラ・レヴィン

[冒険・スパイ・ハードボイルド篇]

通常のベスト表なら、多分このコーナーがもっと分厚くなるはず。

本格ファンをも愉しませる作品だけに、絞り込んだ結果がこれだ。

７２．パンドラ抹殺文書　マイケル・バー・ゾウハー
７３．シャドー８１　グラハム・ネイサン
７４．鷲は舞い降りた　ジャック・ヒギンズ
７５．別れを告げに来た男　ブライアン・フリーマントル
７６．さむけ　ロス・マクドナルド
７７．荒鷲の要塞　アリステア・マクリーン

[本格系短編集篇]

ミステリの基本形が、この素晴らしき短編集達に凝縮されている。

ミステリは本格に始まり、本格に終わりはない。

そう信じている。

７８．黒後家蜘蛛の会　アイザック・アシモフ
７９．隅の老人の事件簿　バロネス・オルツイ
８０．タラント氏の事件簿　Ｃ・デイリー・キング
８１．ブラウン神父の童心　Ｇ・Ｋ・チェスタトン
８２．シャーロック・ホームズの冒険　Ａ・コナン・ドイル
８３．思考機械の事件簿　ジャック・フットレル
８４．アデスタを吹く冷たい風　トマス・フラナガン

８５．招かれざる客たちのビュッフェ　クリスチアナ・ブランド
８６．サム・ホーソーンの事件簿　エドワード・Ｄ・ホック
８７．ママは何でも知っている　ジェイムズ・ヤッフェ
８８．八点鐘　モーリス・ルブラン

[非本格系短編集篇]

犯罪物、パロディ、コント、詐欺、ホラー。

本格が全てではない。

ミステリの楽しみは無数にあることがわかる、愛すべき短編集達。

８９．特別料理　スタンリイ・エリン
９０．炎のなかの絵　ジョン・コリア
９１．うまい犯罪、しゃれた犯罪　ヘンリイ・スレッサー
９２．あなたに似た人　ロアルド・ダール
９３．シュロック・ホームズの冒険　ロバート・Ｌ・フィッシュ
９４．真っ白な嘘　フレドリック・ブラウン
９５．巨匠を笑え　ジョン・Ｌ・ブリーン
９６．楽しい悪夢　ロバート・ブロック
９７．Ｏ・ヘンリー・ミステリー傑作選　Ｏ・ヘンリー
９８．悪党どものお楽しみ　パーシヴァル・ワイルド

[別格編その１]

わずか数編の作品で、ミステリの基本パターンを生み出した天才。

ミステリの始祖であるばかりではない。その凄さはこれでわかる。

９９．ポオ小説全集１～４　エドガー・アラン・ポー

[別格編その２]

アンソロジーを選ぶのは、反則だとわかっているが許して欲しい。

だってこれは日本が誇るべき、ミステリ者のバイブルなのだから。

１００．世界短編傑作集１～５　　江戸川乱歩編

「幻影の書庫」から引用

日本ミステリ・ベスト３０

第１位：	虚無への供物	塔晶夫
第２位：	本陣殺人事件	横溝正史
第３位：	斜め屋敷の犯罪	島田荘司
第４位：	人形はなぜ殺される	高木彬光
第５位：	ドグラ・マグラ	夢野久作
第６位：	心理試験	江戸川乱歩
第７位：	戻り河心中	連城三紀彦
第８位：	準急ながら	鮎川哲也
第９位：	妖女の眠り	泡坂妻夫
第１０位：	弁護側の証人	小泉喜美子
第１１位：	危険な童話	土屋隆夫
第１２位：	妖異金瓶梅	山田風太郎
第１３位：	そして扉が閉ざされた	岡嶋二人
第１４位：	大誘拐	天藤真
第１５位：	翼ある闇	麻耶雄嵩
第１６位：	暗い傾斜	笹沢左保
第１７位：	匣の中の失楽	竹本健治
第１８位：	不連続殺人事件	坂口安吾
第１９位：	黒死館殺人事件	小栗虫太郎
第２０位：	花の棺	山村美沙
第２１位：	姑獲鳥の夏	京極夏彦
第２２位：	迷路館の殺人	綾辻行人
第２３位：	空飛ぶ馬	北村薫
第２４位：	卒業	東野圭吾
第２５位：	誰もがポオを愛していた	平石貴樹
第２６位：	バイバイエンジェル	笠井潔
第２７位：	孤島パズル	有栖川有栖
第２８位：	殺しの双曲線	西村京太郎
第２９位：	パンドラケース	高橋克彦
第３０位：	探偵映画	我孫子武丸

「幻影の書庫」から引用

海外ミステリ・ベスト２０

第１位：アクロイド殺害事件	アガサ・クリスティー
第２位：三つの棺	ディクスン・カー
第３位：皇帝の嗅ぎ煙草入れ	ディクスン・カー
第４位：ギリシャ棺の謎	エラリー・クイーン
第５位：ＡＢＣ殺人事件	アガサ・クリスティー
第６位：死の接吻	アイラ・レヴィン
第７位：ジェゼベルの死	クリスチアナ・ブランド
第８位：毒入りチョコレート事件	アントニー・バークリー
第９位：スカイジャック	トニー・ケンリック
第１０位：別れを告げに来た男	フリーマントル
第１１位：そして誰もいなくなった	アガサ・クリスティー
第１２位：パンドラ抹殺文書	マイケル・バー・ゾウハー
第１３位：Ｚの悲劇	エラリー・クイーン
第１４位：ブラウン神父の童心	Ｇ・Ｋ・チェスタトン
第１５位：キドリントンから消えた娘	コリン・デクスター
第１６位：偽のデュー警部	ピーター・ラブゼイ
第１７位：切断	ジョイス・ポーター
第１８位：首のない女	クレイトン・ロースン
第１９位：シャドー８１	グラハム・ネイサン
第２０位：傾いたローソク	Ｅ・Ｓ・ガードナー
次点：興奮	ディック・フランシス

「幻影の書庫」から引用

『幻影の書庫』選「あっと驚く大ドンデン返し映画」２０傑

アイデンティティー
アザーズ
荒鷲の要塞
オールド・ボーイ
クライング・ゲーム
殺しのリハーサル
サイコ
サスペリア２
スケルトン・キー
ＳＡＷ
ＳＡＷ２
探偵～スルース～
デストラップ
テラー・トレイン
ドット・ジ・アイ
ファイト・クラブ
マッチスティック・メン
メメント
ユージュアル・サスペクツ
隣人は静かに笑う

「幻影の書庫」から引用

『幻影の書庫』選「結構イケてるドンデン返し映画」２０選

アフタースクール
unknown/アンノウン
インサイド・マン
ヴィレッジ
永遠のこどもたち
カオス
キサラギ
猿の惑星
シーラ号の謎
１２人の優しい日本人
スティング
ダウト
デスノート 後編
閉ざされた森
ナイル殺人事件
迷宮の女
夜ごとの殺人
リクルート
レッサー・エヴィル
ワイルド・シングス

「幻影の書庫」から引用

『幻影の書庫』選「かなりイッてるドンデン返し映画」悪魔の１ダース

アンブレイカブル
エンゼル・ハート
追いつめられて
クライング・ゲーム
シベリア超特急
スター・ウォーズ　エピソード5／帝国の逆襲
ストーミー・ナイト
ＳＡＷ
誕生日はもう来ない
ファイト・クラブ
ファム・ファタール
マルホランド・ドライブ
ミスト

「幻影の書庫」から引用

マーティン・セイモア・スミスの『世界を変えた１００冊の本』

01 The I Ching
易経：古代中国の占いの書、古代中国の哲学と宇宙観の集大成。

古代における占いは現代しばしば見られる軽さとは大いに趣きを異にし、共同体の存亡に関わるきわめて重要かつ真剣な課題の解決法であり、占師は政治の舞台で命がけの責任を背負わされることもあった。

相撲で「はっけよい のこった」のはっけ（八卦）もこの占いの名残である

02 The Old Testament 旧約聖書 1500BC-400BC
旧約聖書

03 The Iliad and The Odyssey by Homer 900BC
ホメロス著、イリアスとオデュッセイア

04 The Upanishads 800BC-200AD
ヒンドゥー教の奥義書、ウパニシャッド

05 The Way and Its Power - Lao-tzu 300BC?
老子著、老子道徳経

06 The Avesta 1500-1200BC
アヴェスター、ゾロアスター教の根本教典

07 Analects 論語 - Confucius 500BC
孔子著、論語

08 History of the Peloponnesian War - Thucydides 460-400BC
ツキディデス著、ペロポネソス戦争の記録

09 Works - Hippocrates 460-370BC
ヒポクラテス著、ヒポクラテス集典

10 Works - Aristotle 384-322BC
アリストテレス著、形而上学

11 History - Herodotus 485-420BC
ヘロドトス著、歴史

12 The Republic - Plato 427 - 347BC
プラトン著、国家

13 Elements - Euclid 323-283BC
ユークリッド著、原論

14 The Dhammapada
ダンマパダ（法句経・原始仏典の一つ）

15 Aeneid - Virgil 70-19BC
ウェルギリウス著、アエネーイス

16 On the Nature of Things - Lucretius 94-55BC
ルクレティウス著、物の本質について

17 Allegorical Expositions of the Holy Laws - Philo of Alexandria 20-40BC
アレクサンドリアのフィロン著、天地創造に関する比喩的解釈

18 The New Testament 100-200BC
新約聖書

19 Lives - Plutarch 46-120
プルタルコス著、英雄伝

20 Annals, from the Death of the Divine Augustus - Cornelius Tacitus 55-120
タキトゥス著、年代記

20+ Almagest - Ptolemaeus 16
プトレマイオス著、アルマゲスト

21 The Gospel of Truth 140-180
福音書

22 Meditations - Marcus Aurelius 121-180
マルクス・アウレリウス著、自省録

23 Outlines of Pyrrhonism - Sextus Empiricus 200-300
セクストス・エンペイリコス著、ピュロン主義哲学の概要

24 Enneads - Plotinus 253-270
プロティノス著、エンネアデス（Enneades：9つで一組のもの）

25 Confessions - Augustine of Hippo 397
アウグスティヌス著、告白

26 The Koran 610-
コーラン（イスラム教の聖典）

27 Guide for the Perplexed - Moses Maimonides 12th-century
モーシェ・マイモーン著、迷える人々の為の導き

28 The Kabbalah 11th-13th
カバラ（ユダヤ教の創造論、終末論、メシア論）

29 Summa Theologicae - Thomas Aquinas 1265-73
トマス・アクィナス著、神学大全

30 The Divine Comedy - Dante Alighieri 1307～1320
ダンテ・アリギエーリ著、神曲

31 In Praise of Folly - Desiderius Erasmus 1511
エラスムス著、痴愚神礼讃

32 The Prince - Niccolo Machiavelli 1513
ニッコロ・マキアヴェリ著、君主論

33 On the Babylonian Captivity of the Church - Martin Luther 1520
マルティン・ルター著、教会のバビロニア捕囚

34 Gargantua and Pantagruel - Francois Rabelais 1534

フランソア・ラブレー著、カーニバルの祝祭空間：ガルガンチュアとパンタグリュエル

35 Institutes of the Christian Religion - John Calvin 1536
ジャン・カルヴァン著、キリスト教綱要

36 On the Revolution of the Celestial Orbs - Nicolaus Copernicus 1543
ニコラウス・コペルニクス著、天球の回転について

37 Essays - Michel Eyquem de Montaigne 1580-88
ミシェル・ド・モンテーニュ著、エセー

38 Don Quixote - Miguel de Cervantes 1605-15
セルバンテス著、ドン・キホーテ

39 The Harmony of the World - Johannes Kepler 1619
ヨハネス・ケプラー著、宇宙の調和

40 Novum Organum - Francis Bacon 1620
ベーコン著、新機関

41 The First Folio [Works] - William Shakespeare 1623
ウィリアム・シェイクスピア著、ファースト・フォリオ（最初の全集）

41+ Theory of the Circulation of the Blood - William Harvey 1628
ウイリアム・ハーベー著、血液循環の原理

42 Dialogue Concerning Two New Chief World Systems - Galileo Galilei 1632
ガリレオ ガリレイ著、天文対話

43 Discourse on Method - Rene Descartes 1637
ルネ・デカルト著、方法序説

44 Leviathan - Thomas Hobbes 1651
トマス・ホッブズ著、リヴァイアサン

44+ The Sceptical Chymist - Robert Boyle 1661
ロバート・ボイル著、懐疑な化学者

45 Works - Gottfried Wilhelm Leibniz 1663
ゴットフリート・ヴィルヘルム・ライプニッツ著、ライプニッツ著作集

46 Pensees - Blaise Pascal 1670
ブレーズ・パスカル著、パンセ

47 Ethics - Baruch de Spinoza 1677
バルーフ・スピノザ著、エチカ

48 Pilgrim's Progress - John Bunyan 1678-84
ジョン・バニヤン著、天路歴程

49 Mathematical Principles of Natural Philosophy - Isaac Newton 1687
アイザック・ニュートン著、プリンキピア（自然哲学の数学的諸原理）

49+ Opticks - Isaac Newton 1704
アイザック・ニュートン著、光学

50 Essay Concerning Human Understanding - John Locke 1690
ジョン・ロック著、人間悟性論

51 The Principles of Human Knowledge - George Berkeley 1710
ジョージ・バークリー著、理想主義者的形而上学

52 The New Science - Giambattista Vico 1731
ジャンバッティスタ・ヴィーコ著、新しい学

53 A Treatise of Human Nature - David Hume 1739
デイヴィッド・ヒューム著、人間本性論

54 The Encyclopedia - Denis Diderot 1752
ドゥニ・ディドロ著、百科全書

55 A Dictionary of the English Language - Samuel Johnson 1755
サミュエル・ジョンソン著、英語辞典

56 Candide - Francois-Marie de Voltaire 1759
ヴォルテール著、カンディード（最善説）

56+ Elements of Chemistry - Antoine Lavoisier 1775
アントン・ラヴォアジェ、Elements of Chemistry

57 Common Sense - Thomas Paine 1776
トマス・ペイン著、コモン・センス（常識）

58 An Enquiry Into the Nature and Causes of the Wealth of Nations - Adam Smith 1776
アダム・スミス著、諸国民の富の性質と原因の研究（国富論）

59 The History of the Decline and Fall of the Roman Empire - Edward Gibbon 1782
エドワード・ギボン著、ローマ帝国衰亡史

60 Critique of Pure Reason - Immanuel Kant 1781
イマヌエル カント著、純粋理性批判

61 Confessions - Jean-Jacques Rousseau 1766
ジャン・ジャック・ルソー著、告白

62 Reflections on the Revolution in France - Edmund Burke 1790
エドマンド・バークフランス著、革命の省察

63 Vindication of the Rights of Women - Mary Wollstonecraft 1792
メアリ・ウルストンクラフト著、女性の権利の擁護

64 An Enquiry Concerning Political Justice - William Godwin 1793
ウィリアム・ゴドウィン著、政治的正義(財産論)

65 An Essay on the Principle of Population - Thomas Robert Malthus 1798
マルサス著、人口論

66 Phenomenology of Spirit - George Wilhelm Friedrich Hegel 1807
ヘーゲル著、精神現象学

66+ A new system of chemical philosophy - John Dalton 1808

ジョン・ドルトン著、化学の新体系

67 The World as Will and Idea - Arthur Schopenhauer 1819
アルトゥール・ショーペンハウアー著、意志と表象としての世界

68 Course in the Positivist Philosophy - Auguste Comte 1826
オーギュスト・コント著、実証哲学講義

69 On War - Carl Marie von Clausewitz 1832
カール・フォン クラウゼヴィッツ著、戦争論

70 Either-Or - Soren Kierkegaard 1843
セーレン・キェルケゴール著、あれか、これか

71 The Manifesto of the Communist Party - Karl Marx and Friedrich Engels 1848
カール・マルクス／フリードリッヒ・エンゲルス著、共産党宣言

72 Civil Disobedience - Henry David Thoreau 1849
ヘンリー・デイヴィッド ソロー著、一市民の反抗一良心の声に従う自由と権利

73 The Origin of Species by Means of Natural Selection - Charles Darwin 1859
チャールズ・ダーウィン著、自然選択によってなりたつ種の起源

74 On Liberty - John Stuart Mill 1859
ジョン・スチュアート・ミル著、自由について

74+ Work on Spontaneous Generation - Louis Pasteur 1861
ルイ・パスツール著、自然発生説の検討

75 First Principles - Herbert Spencer 1862
ハーバート・スペンサー著、第一原理

75+ The Chemical History of A Candle - Michael Faraday 1862
マイケル・ファラデー著、ロウソクの科学

76 Experiments with Plant Hybrids - Gregor Mendel 1865
メンデル著、雑種植物の研究

77 War and Peace - Leo Tolstoy 1865-9
トルストイ著、戦争と平和

77+ The principles of chemistry - Dmitriy Ivanovich Mendeleev 1869
ドミトリ・メンデレーエフ著、化学の原理

77+ Theory of Heat - James Clerk Maxwell 1871
ジェームズ・クラーク・マクスウェル著、熱理論

78 Treatise on Electricity and Magnetism - James Clerk Maxwell 1873
ジェームズ・クラーク・マクスウェル著、電気と磁気についての論考

79 Thus Spake Zarathustra - Friedrich Nietzsche 1883
ニーチェ著、ツァラトストラかく語りき

80 The Interpretation of Dreams - Sigmund Freud 1900
ジークムント・フロイト著、夢の解釈

80+ Science and method - Henri Poincare 1902
アンリ・ポアンカレ著、科学と方法

81 Pragmatism - William James 1907
ウィリアム ジェイムズ著、プラグマティズム

81+ Elie Metchnikoff 1915
エリ・メチニコフ著、近代医学の建設者

82 Relativity The Special and General Theory - Albert Einstein 1920
アルバート・アインシュタイン著、相対性理論

83 The Mind and Society - Vilfredo Pareto 1917
ヴィルフレド・パレート著、一般社会学大綱

84 Psychological Types - Carl Gustav Jung 1921
カール･グスタフ･ユング著、心理学的類型

84+ Causality and Complementarity - Niels Henrik David Bohr 1933
ニールス・ボーア著、因果性と相補性

84+ Conditioned Reflexes - Pavlov, I.P. 1927
イワン・パブロフ著、条件反射

84+ Course of Theoretical Physics - L.D. Landau, E.M. Lifshitz 1932-37
ランダウ、リフシッツ、等著、理論物理学教程

84+ The Foundations of Geometry - David Hilbert 1930
ダーヴィッド・ヒルベルト著、幾何学基礎論

84+The Protestant Ethic and the Spirit of Capitalism - Max Weber 1930
マックス・ヴェーバー著、プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神

85 I and Thou - Martin Buber 1923
マルティン・ブーバー著、我と汝・対話

86 The Trial - Franz Kafka 1927
フランツ・カフカ著、審判

87 The Logic of Scientific Discovery, Karl Popper 1935
カール・ライムント・ポパー著、科学的発見の論理

88 The General Theory of Employment, Interest and Money - John Maynard Keynes 1936
ジョン・メイナード・ケインズ著、雇用、利子、お金の一般理論

88+ Mati re et Lumi re - Louis de Broglie 1938
ルイ・ドゥ・ブロイ著、物質と光

89 Being and Nothingness - Jean-Paul Sartre 1943
ジャン=ポール サルトル著、存在と無（現象学的存在論の試み）

90 The Road to Serfdom - Friedrich von Hayek 1944
フリードリヒ・ハイエク著、隷属への道

90+ What is life - Erwin Schrodinger - 1944

エルヴィン・シュレディンガー著、生命とは何か

91 The Second Sex - Introduction - Simone de Beauvoir 1949
シモーヌ ド・ボーヴォワール著、第二の性

92 Cybernetics - Norbert Wiener 1948
ノーバート・ウィーナー著、サイバネティックス

93 Nineteen Eighty-Four 1984 - George Orwell 1949
ジョージ・オーウェル著、一九八四年

94 Beelzebub's Tales to His Grandson - George Ivanovitch Gurdjieff 1930-50
ゲオルギー・グルジェフ著、ベルゼバブの孫への話

95 Philosophical Investigations, Ludwig Wittgenstein 1922
ウィトゲンシュタイン著、論理哲学論考

95+ The Realm of the Nebulae - Edwin Hubble 1936
エドウィン・ハッブル著、銀河の世界

96 Syntactic Structures - Noam Chomsky 1958
ノーム・チョムスキー著、生成文法

97 The Structure of Scientific Revolutions - Thomas S. Kuhn 1962
トーマス・クーン著、科学革命の構造

97+ On Aggression - Konrad Lorenz 1963
コンラート・ローレンツ著、攻撃一悪の自然誌

98 The Feminine Mystique - Betty Friedan 1965
ベティ・フリーダン著、新しい女性の創造

99 Quotations from Chairman Mao Tse-tung - Mao Zedong 1966-68
毛沢東著、毛沢東語録

100 Beyond Freedom & Dignity - B. F. Skinner 1971
バラス・スキナー著、自由への挑戦

「マーティン・セイモア・スミスの『世界を変えた１００冊の本』」から引用

２１世紀図書館　必読の教養書２００冊　**Part** Ⅰ（立花隆編）

立花隆選の１００冊

【生命科学】
（1）ジェームス・D・ワトソン『二重らせん』講談社文庫
（2）ブルース・アルバーツ『細胞の分子生物学』ニュートンプレス
（3）R・フリント『数値でみる生物学』シュプリンガー・ジャパン
（4）P・モリソン『パワーズ　オブ　テン』日経サイエンス

【物質科学】
（5）ファインマン『ファインマン物理学』岩波書店
（6）桜井弘編『元素１１１の新知識』講談社ブルーバックス
（7）桜井弘編『生命元素事典』オーム社

【地球科学】
（8）F・ダイソン『宇宙をかき乱すべきか』ちくま学芸文庫
（9）熊澤峰夫、伊藤孝士、吉田茂生編『全地球史解読』東京大学出版会
（10）B・フェイガン『古代文明と気候大変動』河出文庫

【現代科学論】
（11）リチャード・ドーキンス『神は妄想である』早川書房
（12）トーマス・クーン『科学革命の構造』みすず書房
（13）マーヴィン・ミンスキー『心の社会』産業図書
（14）リー・M・シルヴァー『人類最後のタブー』NHK出版

【心理学】
（15）『ユング自伝』みすず書房
（16）ベヴァリー・ムーン編『元型と象徴の事典』

【生理学】
（17）ガイトン『ガイトン臨床生理学』医学書院
（18）ネッター『ネッター解剖学アトラス』南江堂

【死】
（19）山田風太郎『人間臨終図巻』徳間文庫
（20）キューブラー・ロス『死ぬ瞬間』中公文庫

【人類史・文化人類学】
（21）デビッド・ランバート『図説　人類の進化』平凡社
（22）J・ダイアモンド『人間はどこまでチンパンジーか？』新曜社
（23）ドナ・ハート、R・W・サスマン『人は食べられて進化した』化学同人
（24）T・W・ディーコン『人はいかにして人となったか』新曜社
（25）アルマン・マリー・ルロワ『ヒトの変異』みすず書房
（26）スティーヴン・ミズン『心の先史時代』青土社
（27）J・キャンベル『神の仮面』青土社
（28）フレイザー『金枝篇』ちくま学芸文庫

【20世紀の歴史】
（29）『20世紀全記録』講談社
（30）ヒトラー『わが闘争』角川文庫
（31）ランズマン『SHOAH（ショアー）』作品社
（32）ゴールデンソーン『ニュルンベルク・インタビュー』河出書房新社
（33）アンドルー・チェイキン『人類、月に立つ』NHK出版
（34）D・ハルバースタム『ベスト＆ブライテスト』朝日文庫

【日本近現代史】
（35）久米邦武『米欧回覧実記』岩波文庫
（36）原田熊雄『西園寺公と政局』岩波書店
（37）『原敬日記』福村出版
（38）吉田茂『回想十年』中公文庫
（39）読売新聞社編『昭和史の天皇』

【基礎的古典】
（40）『聖書』日本聖書協会
（41）『旧約聖書略解』日本基督教団出版局
（42）『原典　ユダの福音書』日経ナショナルジオグラフィック社
（43）湯田豊　訳『ウパニシャッド』大東出版社
（44）『ブッダ　悪魔との対話』岩波文庫
（45）諸橋轍次『中国古典名言事典』講談社
（46）柴山全慶『無門間講話』創元社
（47）アッタール編『イスラーム神秘主義聖者列伝』国書刊行会
（48）『ハディース　イスラーム伝承集成』中公文庫
（49）ヘロドトス『歴史』岩波文庫

【数学】
（50）吉田武『オイラーの贈物』ちくま学芸文庫
（51）ソーンダース・マックレーン『数学　ーその形式と機能』森北出版
（52）インフェルト『ガロアの生涯』日本評論社

【哲学】
（53）アリストテレス『形而上学』岩波文庫
（54）パスカル『パンセ』中公文庫
（55）デカルト『方法序説』岩波文庫
（56）ニーチェ『ツァラトゥストラ』中公文庫
（57）カント『永遠平和のために』岩波文庫
（58）ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』岩波文庫
（59）W・ジェイムズ『プラグマティズム』岩波文庫
（60）ヴィーコ『新しい学』法政大学出版局

【政治学・法学】
（61）プラトン『国家』岩波文庫
（62）佐々木毅『プラトンの呪縛』講談社学術文庫
（63）マキャベリ『君主論』岩波文庫
（64）ウェーバー『職業としての政治』角川文庫（西島芳二訳）
（65）ハイエク『自由の条件』春秋社
（66）ポパー『開かれた社会とその敵』未来社
（67）ミルトン『アレオパジティカ』岩波文庫
（68）宮澤俊義『コメンタール篇　日本国憲法』日本評論社
（69）ロールズ『正義論』紀伊国屋書店
（70）『エリック・ホッファー自伝』作品社

【共産主義思想】
（71）トマス・モア『ユートピア』岩波文庫
（72）レーニン『国家と革命』ちくま学芸文庫
（73）マルクス／エンゲルス『共産党宣言』岩波文庫
（74）ネチャーエフ『革命家の教理問答書』白水社
（75）永田洋子『十六の墓標』彩流社

【日本思想】
（76）佐藤一斎『言志四録』講談社学術文庫

（77）『西郷南洲遺訓』岩波文庫
（78）北一輝『日本改造法案大綱』みすず書房
（79）上杉慎吉『國〇精華乃登場』洛陽堂←タイトルの漢字が分からない

【世界文学】
（80）ソポクレス『オイディプス王』岩波文庫
（81）オウィディウス『変身物語』岩波文庫
（82）マロリー『アーサー王物語』筑摩書房
（83）ラブレー『ガルガンチュアとパンタグリュエル』ちくま文庫
（84）スタンダール『赤と黒』新潮文庫
（85）リルケ『マルテの手記』岩波文庫
（86）コンラッド『闇の奥』岩波文庫
（87）トーマス・マン『魔の山』新潮文庫
（88）カフカ『審判』新潮文庫
（89）ヘンリ・ミラー『北回帰線』新潮文庫
（90）T・S・エリオット『荒地』大修館書店　できれば原書を！！

【日本文学】
（91）近松門左衛門
（92）松尾芭蕉
（93）萩原朔太郎
（94）埴谷雄高『死霊』講談社文芸文庫

【ファンタジー・SF】
（95）ハックスリー『すばらしい新世界』講談社文庫
（96）アーサー・C・クラーク『2001年宇宙の旅』ハヤカワ文庫SF
（97）ミヒャエル・エンデ『はてしない物語』岩波少年文庫
（98）H・G・ウェルズ『タイムマシン』角川文庫
（99）佐野洋子『100万回生きたねこ』講談社
（100）宮崎駿『風の谷のナウシカ』徳間書店

「２１世紀図書館　必読の教養書２００冊　Part I （立花隆編）」から引用

【A.宗教・哲学についての知識で人間の本質を探究する】

（1）『聖書（新共同訳）』日本聖書協会
（2）『コーラン』岩波文庫
（3）ヘーゲル『精神現象学』平凡社ライブラリー
（4）廣松渉『唯物史観の原像』三一新書
（5）カント『純粋理性批判』岩波文庫
（6）シェリング『人間的自由の本質』岩波文庫
（7）ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』岩波文庫
（8）櫻部建／上山春平『存在の分析＜アビダルマ＞』角川ソフィア文庫
（9）多川俊映『はじめての唯識』春秋社
（10）田邊元『歴史的現実』こぶし書房
（11）高山岩男『世界史の哲学』こぶし書房
（12）ハーバーマス『認識と関心』未来社
（13）ハイデッガー『存在と時間』ちくま学芸文庫
（14）アリストテレス『問題集』岩波書店
（15）スピノザ『エチカ』岩波文庫
（16）ライプニッツ『単子論』岩波文庫
（17）魚木忠一『日本基督教の精神的伝統』大空社
（18）N・デ・ラーンジュ『ユダヤ教入門』岩波書店
（19）森孝一『宗教から読む「アメリカ」』講談社選書メチエ
（20）武市健人『歴史存在論の研究』桜井書店
（21）バーク『フランス革命についての省察』岩波文庫
（22）J・L・フロマートカ『なぜ私は生きているか』新教出版社
（23）酒井順子『負け犬の遠吠え』講談社文庫
（24）務台理作『現代のヒューマニズム』岩波新書
（25）シュライエルマッヘル『宗教論』岩波文庫
（26）リッケルト『認識の対象』岩波文庫
（27）エルンスト・トレルチ『歴史主義とその諸問題』ヨルダン社
（28）藤代泰三『キリスト教史』日本YMCA同盟出版部
（29）ヨゼフ・スモリック『第四の人間と福音』日本YMCA同盟出版部
（30）滝沢克己『「現代」への哲学的思惟　マルクス哲学と経済学』三一書房
（31）ロマノ・ヴルピッタ『ムッソリーニ』中公叢書
（32）カール・バルト『ローマ書講解』平凡社ライブラリー

【B．政治・国家についての知識で、世界の現実を知る】

（33）立花隆『中核VS革マル』講談社文庫
（34）柄谷行人『世界共和国へ』岩波新書
（35）ソロヴィヨフ『三つの会話』刀水書房
（36）スターリン『マルクス主義と民族問題』国民文庫（大月書店）
（37）ヴェーバー『職業としての政治』岩波文庫
（38）『國體の本義』文部省教学局
（39）ミハイル・ゴルバチョフ『ゴルバチョフ回想録』新潮社
（40）大川周明『復興亜細亜の諸問題』中公文庫
（41）池田徳眞『プロパガンダ戦史』中公新書
（42）会田雄次『アーロン収容所』中公新書
（43）東郷和彦『北方領土交渉秘録　失われた五度の機会』新潮社
（44）アントニオ・ネグリ／マイケル・ハート『＜帝国＞グローバル化と世界秩序のマルチチュードの可能性』以文社
（45）蓑田胸喜『国防哲学』慧文社
（46）大橋武夫『謀略』時事通信社
（47）オッペンハイマー『国家論』改造文庫
（48）高畠素之『幻滅者の社會観』大鐙閣
（49）アーネスト・ゲルナー『民族とナショナリズム』岩波書店
（50）ベネディクト・アンダーソン『定本　想像の共同体』書籍工房早山
（51）ウォルフガング・ロッツ『スパイのためのハンドブック』ハヤカワ文庫
（52）ロバート・グレーヴズ『アラビアのロレンス』平凡社ライブラリー
（53）ゲンナジー・シュガーノフ『ロシアと現代世界』自由国民社
（54）エリ・ゲゥーリー『ナショナリズム』学文社
（55）デヴィッド・ロックフェラー『ロックフェラー回顧録』新潮社

【C.社会・経済についての知識で、われわれが置かれた制約を知る】

（56）マルクス『資本論』岩波文庫
（57）レーニン『帝国主義』岩波文庫
（58）宇野弘蔵『経済原論』岩波書店
（59）ヒックス『価値と資本』岩波文庫
（60）ケインズ『雇用、利子および貨幣の一般理論』岩波文庫
（61）リカードゥ『経済学および課税の原理』岩波文庫
（62）「新潮45」編集部『凶悪』新潮社

（63）魚住昭『野中広務　差別と権力』講談社文庫
（64）宮崎学『突破者』幻冬社アウトロー文庫

【D.文学のついての知識で、想像力、構想力を豊かにする】

（65）夏目漱石『門』岩波文庫
（66）葉山嘉樹『セメント樽の中の手紙』角川文庫
（67）五味川純平『人間の條件』岩波現代文庫
（68）ソポクレス『オイディプス王』岩波文庫
（69）ミラン・クンデラ『存在の耐えられない軽さ』集英社文庫
（70）ショーロフ『人間の運命』角川文庫
（71）ゴールズワージー『林檎の木』角川文庫
（72）坂東眞砂子『死国』角川文庫
（73）泉鏡花『夜叉ケ池・天守物語』岩波文庫
（74）ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』光文社古典新訳文庫
（75）トルストイ『復活』岩波文庫
（76）団鬼六『花と蛇』太田出版
（77）チェーホフ『かわいい女・犬を連れた奥さん』新潮文庫
（78）米原万理『オリガ・モリソヴナの反語法』集英社文庫
（79）高柳芳夫『影を裁く日』講談社文庫
（80）高橋和巳『我が心は石にあらず』新潮文庫
（81）遠藤周作『沈黙』新潮文庫
（82）三浦綾子『塩狩峠』新潮文庫
（83）火野葦平『小説　陸軍』中公文庫
（84）三島由紀夫『花ざかりの森・憂国』新潮文庫

【E.歴史についての知識で、未来への指針を探る】

（85）北畠親房『神皇正統記』岩波文庫
（86）『新葉和歌集』岩波文庫
（87）『太平記』小学館
（88）マサリク『ロシアとヨーロッパ』成文社
（89）『ソ同盟共産党（ボリシェビキ）歴史小教程』モスクワ外国語図書出版所
（90）『おもろさうし』岩波文庫
（91）網野善彦『異形の王権』平凡社ライブラリー
（92）原武史『昭和天皇』岩波新書

（93）池上俊一『動物裁判　西欧中世・正義のコスモス』講談社現代新書
（94）ウォーラスティン『近代世界システム』岩波書店
（95）ポール・ジョンソン『ユダヤ人の歴史』徳間書店
（96）和田春樹『開国　日露国境交渉』NHKブックス
（97）マルコ・ポーロ『東方見聞録』平凡社ライブラリー
（98）竹内洋『大学という病』中公文庫
（99）塩野七生『ローマ人の物語』新潮文庫
（100）『古事記』小学館

「２１世紀図書館　必読の教養書２００冊　PartⅡ（佐藤優編）」から引用

『世界の自己啓発５０の名著　エッセンスを読む』T・バトラー=ボードン(著)野田恭子・森村里美(訳)の掲載書籍リスト

1　リチャード・カールソン『小さいことにくよくよするな』
2　ウエイン・ダイアー『自分の中に奇跡を起こす！』
3　ダニエル・ゴールマン『EQ-こころの知能指数』
4　リチャード・コッチ『人生を変える80対20の法則』
5　デール・カーネギー『人を動かす』
6　ヴィクトール・フランクル『夜と霧』
7　ヘンリー・デビッド・ソロー『森の生活ーウォールデン』
8　ジェームズ・アレン『「原因」と「結果」の法則』
9　パウロ・コエーリョ『アルケミスト』
10　マーティン・セリグマン『オプティミストはなぜ成功するか』
11　スティーブン・コヴィー『７つの習慣』
12　S.アンドレアス＆C.フォークナー『神経言語プログラミング』
13　アンソニー・ロビンズ『小さな自分で満足するな！』
14　マーサ・ベック『あなただけの北極星を探して』
15　アラン・ド・ボトン『プルーストによる人生改善法』
16　デビッド・D・バーンズ『いやな気分よ、さようなら』
17　マルクス・アウレーリウス『自省録』
18　ベンジャミン・フランクリン『フランクリン自伝』
19　『バガヴァッド・ギーター』
20　『聖書』
21　ダライ・ラマ十四世『ダライ・ラマ　こころの育て方』
22　ブッダの教え『ダンマパダ』
23　サミュエル・スマイルズ『自助論』
24　老子『道徳経』
25　ボエティウス『哲学の慰め』
26　ラルフ・ウォルドー・エマソン『自己信頼』
27　ジョーゼフ・キャンベル／ビル・モイヤーズ『神話の力』
28　ミハイ・チクセントミハイ『フロー体験　喜びの現象学』
29　ロバート・ブライ『鉄のハンス』
30　クラリッサ・ピンコラ・エステス『狼と駈ける女たち』
31　マリアン・ウイリアムソン『愛への帰還』
32　ジョン・グレイ『ベスト・パートナーになるために』
33　シャクティ・ガワイン『理想の自分になれる法』
34　キャロル・S・ピアソン『内なるヒーロー』

35　ルイーズ・ヘイ『ライフ・ヒーリング』
36　ジェイムズ・ヒルマン『魂のコード』
37　スーザン・ジェファーズ『とにかく、やってみよう！』
38　エレン・J・ランガー『心はマインド…』
39　マクスウェル・マルツ『自分を動かす』
40　トマス・ムーア『失われた心　生かされる心』
41　ジョセフ・マーフィー『眠りながら成功する』
42　ノーマン・ヴィンセント・ピール『積極的考え方の力』
43　ディーパック・チョプラ『人生に奇跡をもたらす７つの法則』
44　M・スコット・ペック『愛と心理療法』
45　フローレンス・スコヴェル・シン『人生を開く心の法則』
46　テイヤール・ド・シャルダン『現象としての人間』
47　アイン・ランド『肩をすくめるアトラス』
48　フィリップ・C・マグロー『ライフストラテジー』
49　アブラハム・マズロー『人間性の心理学』
50　ウィリアム・ブリッジズ『トランジション一人生の転機』

『世界の自己啓発５０の名著　エッセンスを読む』T・バトラー=ボードン(著)野田恭子・森村里美(訳)から引用

『世界のスピリチュアル５０の名著　エッセンスを知る』T・バトラー=ボードン(著)鈴木 尚子(訳)の掲載書籍リスト

1　ムハンマド・アサド『メッカへの道』
2　聖アウグスティヌス『告白』
3　リチャード・バック『かもめのジョナサン』
4　ブラック・エルク（ジョン・Ｇ・ナイハルト）『ブラック・エルクは語る』
5　リチャード・モーリス・バック『宇宙意識』
6　フリッチョフ・カプラ『タオ自然学』
7　カルロス・カスタネダ『呪師に成る―イクストランへの旅』
8　Ｇ・Ｋ・チェスタトン『アシジの聖フランチェスコ』
9　ペマ・チョドロン『チベットの生きる魔法』
10　荘子『荘子』
11　ラム・ダス『ビー・ヒア・ナウ』
12　エピクテトス『要録』
13　Ｍ・Ｋ・ガーンディー『ガーンディー自叙伝』
14　ガザーリー『幸福の錬金術』
15　カリール・ジブラン『預言者』
16　Ｇ・Ｉ・グルジェフ『注目すべき人々との出会い』
17　ダグ・ハマーショルド『道しるべ』
18　Ａ・Ｊ・ヘッシェル『シャバット』
19　ヘルマン・ヘッセ『シッダールタ』
20　オルダス・ハクスリー『知覚の扉』
21　ウィリアム・ジェイムズ『宗教的経験の諸相』
22　Ｃ・Ｇ・ユング『ユング自伝―思い出・夢・思想』
23　マージェリー・ケンプ『マージェリー・ケンプの書』
24　Ｊ・クリシュナムルティ『子供たちとの対話―考えてごらん』
25　Ｃ・Ｓ・ルイス『悪魔の手紙』
26　マルコムＸ『完訳　マルコムＸ自伝』
27　ダニエル・Ｃ・マット『カバラの真髄』
28　サマセット・モーム『かみそりの刃』
29　ダン・ミルマン『癒しの旅―ピースフル・ウォリアー』
30　マイケル・ニュートン『死後の世界が教える「人生はなんのためにあるのか」』
31　ティク・ナット・ハン『マインドフルの奇跡』
32　ジョン・オドノヒュウ『アナム・カラーケルトの知恵』
33　ロバート・Ｍ・パーシグ『禅とオートバイ修理技術』
34　ジェームズ・レッドフィールド『聖なる予言』

35　ドン・ミゲル・ルイス『四つの約束』
36　ヘレン・シュクマン／ウィリアム・セットフォード『奇跡のコース』
37　イドリース・シャー『スーフィーの道』
38　スターホーク『聖魔女術ースパイラル・ダンス』
39　鈴木俊隆『禅へのいざない』
40　イマヌエル・スエデンボルグ『天界と地獄』
41　アビラの聖女テレサ『霊魂の城』
42　マザー・テレサ（ルシンダ・ヴァーディ編）『マザー・テレサ語る』
43　エックハルト・トール『さとりをひらくと人生はシンプルで楽になる 』
44　チョギャム・トゥルンパ『タントラへの道一精神の物質主義を断ち切って 』
45　ニール・ドナルド・ウォルシュ『神との対話』
46　リック・ウォレン『人生を導く５つの目的』
47　シモーヌ・ヴェイユ『神を待ちのぞむ』
48　ケン・ウィルバー『万物の理論』
49　パラマハンサ・ヨガナンダ『あるヨギの自叙伝』
50　ゲーリー・ズーカフ『魂との対話』

『世界のスピリチュアル５０の名著　エッセンスを知る』Ｔ・バトラー=ボードン(著)野田恭子・森村里美(訳)から引用

『世界の成功哲学５０の名著　エッセンスを解く』T・バトラー=ボードン(著)宮原育子・牧野千賀子(訳)の掲載書籍リスト

新訂 孫子 孫子 紀元前4世紀

・成功の哲学

バルタザール・グラシアンの“すごい”頭のいい生き方一人は“したたかに考える”葦である! (知的生きかた文庫 さ 9-4) バルタザール・グラシアン 1647
富に至る道　フランクリン自伝所収 ベンジャミン.フランクリン 1758
ぼろ着のディック ホレイショ・アルジャー 1867
前進あるのみ オリソン・スウェット・マーデン 1894 未邦訳
金持ちになるための科学
確実に金持ちになる「引き寄せの法則」 (知的生きかた文庫 か 46-1) ウォレス・D.ワトルズ 1910
カーネギー自伝 (中公文庫BIBLIO) アンドリュー.カーネギー 1920

・ボック雑誌王となる

大成の彼方：エドワード.ボック伝 エドワード.ボック 1921
ダイヤモンドを探せ
あなたの宝はどこにある? ラッセル・コンウェル 1921
我が一生と事業　ヘンリー・フォード 1922
バビロンの大富豪
バビロンの大富豪 「繁栄と富と幸福」はいかにして築かれるのか
<新訳>バビロンの賢者に学ぶ錬金術
バビロンの大金持ち The Richest Man in Babylon ジョージ.S.クレイソン 1926

・可能性を開く

望むものをひきよせる 心と宇宙の法則 ロバート・コリアー 1926
思考は現実化する一アクション・マニュアル、索引つき
【携帯版】思考は現実化する ナポレオン・ヒル 1937
私はどうして販売外交に成功したか フランク・ベトガー 1947
信念の魔術 新装版 クロード・M.ブリストル 1948

・人の心をつかむ　成功を呼ぶ交際術

成功する人間関係 新版 (HD双書 9) レス・ギブリン 1956
大富豪の生き方　ジョン・ポール・ゲッティ 1961 未邦訳
豊かさをもたらす大いなる法則　キャサリン・ポンダー 1962 未邦訳
1分間マネジャー一何を示し、どう褒め、どう叱るか! K.ブランチャード＆S.ジョンソン 1981
リーダーになる[増補改訂版] ウォーレン・ベニス 1989
7つの習慣一成功には原則があった! スティーブン・R.コヴィー 1989

・悪の成功学ーーアジア流お金と人生の法則

Thick Face, Black Heart チン・ニン・チュ Ching-ning Chu 1992 未邦訳
デルの革命 - 「ダイレクト」戦略で産業を変える (日経ビジネス人文庫) マイケル・デル 1999
なぜ、この人たちは金持ちになったのか - 億万長者が教える成功の秘訣 トーマス・J.スタンリー 2000
ビジョナリー・カンパニー 2 - 飛躍の法則 ジェームズ・C・コリンズ 2001
運のいい人、悪い人一運を鍛える四つの法則 リチャード・ワイズマン 2003

『世界の成功哲学５０の名著　エッセンスを解く』T・バトラー=ボードン(著)宮原育子・牧野千賀子(訳)から引用

『世界の心理学５０の名著　エッセンスを学ぶ』T・バトラー=ボードン(著)米谷敬一(訳)の掲載書籍リスト

論理療法ー自己説得のサイコセラピイ アルバート・エリス／ロバート・A.ハーパー 1961
ロジャーズが語る自己実現の道 (ロジャーズ主要著作集) カール・ロジャーズ 1961
人生ゲーム入門ー人間関係の心理学 エリック・バーン 1964
臨床児童心理学〈第1〉児童の自己中心性 (1954年) ジャン・ピアジェ 1966
I’M OK - YOU’RE OK幸福になる関係、壊れてゆく関係ー最良の人間関係をつくる心理学 交流分析より (Mental Health Series) トーマス・A.ハリス 1967
自己評価の心理学 ナサニエル・ブランデン 1969 未邦訳
意味への意志 ヴィクトール・フランクル 1969
水平思考の学習ー創造性のためのテキスト・ブック (1971年) エドワード・デボノ 1970
人間性の最高価値 アブラハム・マズロー 1970 未邦訳
妻を帽子とまちがえた男 (サックス・コレクション) オリバー・サックス 1970
服従の心理ーアイヒマン実験 (河出・現代の名著) スタンレー・ミルグラム 1974
パッセージー人生の危機 (1978年) (プレジデントブックス)　ゲイル・シーヒィ 1974
羨望と感謝 (メラニー・クライン著作集) メラニー・クライン 1975
対人能力 ロバート・ボルトン 1979 未邦訳
人間のタイプと適性ー天賦の才 異なればこそ イザベル・ブリッグス・マイヤーズ 1980
〈増補改訂 第2版〉いやな気分よ、さようならー自分で学ぶ「抑うつ」克服法　デビッド・D.バーンズ 1980
影響力の武器[第二版] ロバート・B.チャルディーニ 1984
脳の性差 アン・モア／デビッド・ジェセル 1989 未邦訳
見える暗闇ー狂気についての回想 ウィリアム・スタイロン 1990
毎日を気分よく過ごすために ロバート・E.セイヤー 1996
暴力から逃れるための15章 ギャヴィン・ディー＝ベッカー 1997
創造性ーーフローと発見・発明の心理学 ミハイ・チクセントミハイ 1997 未邦訳
ブラックメールー他人に心をあやつられない方法 スーザン・フォワード 1997
ビジネスEQー感情コンピテンスを仕事に生かす ダニエル・ゴールマン 1998
脳のなかの幽霊 (角川21世紀叢書) V.S.ラマチャンドラン 1998
結婚生活を成功させる七つの原則 新装版 ジョン・M.ゴットマン 1999
言いにくいことをうまく伝える会話術 ダグラス・ストーン他 2000
人間の本性を考える ~心は「空白の石版」か (上) (NHKブックス) スティーブン・ピンカー 2002
人間の本性を考える ~心は「空白の石版」か (中) (NHKブックス) スティーブン・ピンカー 2002
人間の本性を考える ~心は「空白の石版」か (下) (NHKブックス) スティーブン・ピンカー 2002
世界でひとつだけの幸せーポジティブ心理学が教えてくれる満ち足りた人生 マーティン・セリグマン 2002

なぜ選ぶたびに後悔するのか―「選択の自由」の落とし穴 バリー・シュワルツ 2004
第1感 「最初の2秒」の「なんとなく」が正しい (翻訳) マルコム・グラッドウェル 2005
女性の脳 ルーアン・ブリゼンディン 2006 未邦訳
幸せはいつもちょっと先にある―期待と妄想の心理学 ダニエル・ギルバート 2006

『世界の心理学５０の名著　エッセンスを学ぶ』Ｔ・バトラー=ボードン(著)米谷敬一(訳)から引用

『成功する人は読んでいる お金と富の哲学 世界の名著５０』T・バトラー=ボードン(著)鈴木 尚子(訳)の掲載書籍リスト

1 ジェームズ・アレン『「原因」と「結果」の法則2』
2 ロバート・アレン『ロバート・アレンの実践！億万長者入門』
3 デヴィッド・バック『自動的に大金持ちになる方法』
4 P・T・バーナム『『稼ぐ技術』
5 ジュヌビエーブ・ベーレン『あなたにもある見えない力』
6 ジョン・C・ボーグル『マネーと常識』
7 リチャード・ブランソン『ヴァージン』
8 ローレンス・A・カニンガム『バフェットからの手紙』
9 ロンダ・バーン『ザ・シークレット』
10 アンドリュー・カーネギー『富の福音』
11 フェリックス・デニス『金持ちになる方法』
12 ジョー・ドミンゲス／ヴィッキー・ロビン『お金か、それとも人生か』
13 ピーター・ドラッカー『イノベーションと企業家精神』
14 ハーブ・エッカー『ミリオネア・マインド 大金持ちになれる人』
15 コナー・オクレリー『無一文の億万長者』
16 チャールズ・フィルモア『豊かさ』
17 ジョエル・T・フライシュマン『財団』
18 ミルトン・フリードマン『資本主義と自由』
19 トーマス・フリードマン『フラット化する世界』
20 ジェームズ・ウォレス／ジム・エリクソン『ビル・ゲイツ』
21 マイケル・E・ガーバー『はじめの一歩を踏み出そう』
22 ベンジャミン・グレアム『賢明なる投資家』
23 マーク・ヴィクター・ハンセン／ロバート・アレン『お金持ちになれる1分間の魔法』
24 ポール・ホーケン／エイモリ・B・ロビンス／L・ハンター・ロビンス『自然資本の経済』
25 エスター・ヒックス／ジェリー・ヒックス『運命が好転する実践スピリチュアル・トレーニング』
26 ナポレオン・ヒル『成功へのマスターキー』
27 コンラッド・ヒルトン『ビー・マイ・ゲスト』
28 ジョー・カルボ『怠け者が金持ちになる方法』
29 ガイ・カワサキ『完全網羅起業成功マニュアル』
30 ロバート・キヨサキ『金持ち父さんのキャッシュフロー・クワドラント』
31 ピーター・リンチ『ピーター・リンチの株で勝つ』
32 アンドリュー・マクリーン／ゲイリー・W・エルドレッド『不動産投資のすすめ』
33 ジェロルド・マンディス『借金から抜け出し、そのまま二度とお金を借りず、豊かに生きる

方法』
34 ウィリアム・ニッカーソン『空き時間の不動産投資で1000ドルを300万ドルにする方法』
35 スージー・オーマン『女性とお金』 36 ポール・ゼイン・ピルツァー『神はあなたが金持ちになることを望む』
37 キャサリン・ポンダー『心を開いて豊かになる』
38 ジョン・ランドルフ・プライス『豊かさの法則』
39 デイブ・ラムゼイ『金銭的平和［改訂版］』
40 アイン・ランド『資本主義』
41 アニータ・ロディック『ザ・ボディショップの、みんなが幸せになるビジネス。』
42 サネヤ・ロウマン／デュエン・パッカー『クリエイティング・マネー』
43 ハワード・シュルツ『スターバックス成功物語』
44 マーシャ・シネター『ワクワクする仕事をしていれば、自然とお金はやってくる』
45 アダム・スミス『国富論』
46 トマス・J・スタンリー／ウィリアム・D・ダンコ『となりの億万長者』
47 ドナルド・トランプ『トランプ自伝』
48 リン・ツイスト『ソウル・オブ・マネー』
49 マックス・ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』
50 ムハマド・ユヌス『ムハマド・ユヌス自伝』

『成功する人は読んでいる お金と富の哲学 世界の名著５０』T・バトラー=ボードン(著)夏目大(訳)から引用

『千年紀のベスト１００作品を選ぶ』におけるベスト１０

（以下引用）

01位：紫式部『源氏物語』
02位：ブルースト『失われた時を求めて』
03位：ジョイス『ユリシーズ』
04位：『平家物語』
05位：後鳥羽院ほか『新古今和歌集』
06位：フェルメール『手紙を読む女』
07位：モーツアルト『クラリネット五重奏曲』
08位：フロベール『ボヴァリー夫人』
09位：ボードレール『悪の華』
10位：『千一夜物語』
10位：スウィフト『ガリバー旅行記』
10位：竹田出雲ほか『仮名手本忠臣蔵』
10位：スタンダール『赤と黒』
10位：ドストエフスキー『悪霊』

『千年紀のベスト１００作品を選ぶ』から引用

２１世紀に伝えるあの一冊

読売新聞の2000年11月29日の朝刊に掲載。

20世紀最後の年、2000年10月9日朝刊掲載の参考リストをもとに、4645人の読者投票によって「日本の文学」「世界の文学」「日本の名著」「世界の名著」各ジャンルの21世紀の読み継ぐベスト10を選んだ。

男性のみの順位/女性のみの順位も公開。

ジャンル 順位(総合) 順位(男性) 順位(女性) 作品名 作家名

日本の名著 10 8 17 養生訓 貝原益軒
日本の名著 10 19 5 風姿花伝 世阿弥
世界の名著 10 6 13 日本人とユダヤ人 イザヤ・ベンダサン
日本の文学 10 7 10 平家物語
世界の文学 10 7 11 赤と黒 スタンダール
日本の名著 9 7 12 愛と認識との出発 倉田百三
世界の名著 9 14 6 ソフィーの世界 ヨースタイン・ゴルデル
日本の文学 9 7 9 万葉集
世界の文学 9 10 10 チボー家の人々 ロジェ・マルタン・デュ・ガール
日本の名著 8 8 7 十七条憲法 聖徳太子
世界の名著 8 18 5 野生のエルザ ジョイ・アダムソン
日本の文学 7 12 6 銀河鉄道の夜 宮沢賢治
世界の文学 8 7 9 ジャン・クリストフ ロマン・ロラン
日本の名著 6 11 3 「甘え」の構造 土居健郎
世界の名著 7 5 10 般若心経
日本の文学 7 4 17 竜馬がゆく 司馬遼太郎
世界の文学 6 5 8 ガリヴァー旅行記 ジョナサン・スウィフト
日本の名著 6 5 10 善の研究 西田幾多郎
世界の名著 5 7 8 新約聖書
日本の文学 6 10 5 橋のない川 住井すゑ
世界の文学 6 7 6 女の一生 モーパッサン
日本の名著 5 4 7 三太郎の日記 阿部次郎
世界の名著 5 8 7 旧約聖書
日本の文学 5 6 6 坊っちゃん 夏目漱石
世界の文学 5 21 3 嵐が丘 エミリー・ブロンテ

日本の名著４３５人生論ノート 三木清
世界の名著４11３キュリー夫人伝 イヴ・キュリー
日本の文学４５４二十四の瞳 壺井栄
世界の文学４４２大地 パール・Ｓ・バック
日本の名著３13２雪 中谷宇吉郎
世界の名著３３２夜と霧 ヴィクトール・フランクル
日本の文学３１３青春の門　筑豊篇 五木寛之
世界の文学２２４戦争と平和 レフ・トルストイ
日本の名著２２４立正安国論 日蓮
世界の名著２１４論語
日本の文学１３１蝉しぐれ 藤沢周平
世界の文学２１５罪と罰 ドストエフスキー
日本の名著１１１日本書紀
世界の名著１２１アンネの日記 アンネ・フランク
日本の文学１２２源氏物語 紫式部
世界の文学１３１レ・ミゼラブル ユゴー

「２１世紀に伝えるあの一冊」から引用

学校が選ぶ１００冊

サイト名

市川学園100冊の本 市川学園(中学校)
市川学園100冊の本 市川学園(高校)
敬和１００冊の本 敬和学園大学
寝屋川高校の１００冊 寝屋川高校
上野原高校１００冊の本 上野原高校
シリーズ私の一冊 静岡県立大学
椙中100冊の本 椙山女学園(中学校)
千葉大学教員の選んだ100冊 千葉大学付属図書館
呉高専おすすめ図書１００選 呉工業高等専門学校
京都文教大学の100冊 京都文教大学
西洋文学この百冊 京都大学
椙高100冊の本 椙山女学園高等学校
東中１００選 東海中学校
奈良高専図書100選 奈良高専
『生徒に薦める本』リスト 長崎県立長崎北高等学校
日本課程推薦図書リスト 東京外国語大学
北海道青少年のための２００冊
京の子ども１１０選
高校生に薦める本１００冊
高校３年間で読みたい本１００冊リスト 徳島県立城ノ内中学校・高等学校
中学３年間で読みたい本１００冊リスト 徳島県立城ノ内中学校・高等学校
橿原高等学校図書館選定図書１００冊 奈良県立橿原高等学校
すすめたい100冊の本 富山県教育委員会
おすすめの本100冊/先生おすすめの一冊 など 帝塚山学院中学校高等学校
北大の教員が北大生に読ませたい不朽の名著 北海道大学
北大の教員が北大生に読ませたい不朽の名著 北海道大学
あなたが選ぶ、図書館の本(2011年度学生選書) 東京学芸大学
推薦図書一覧 東京工業大学
金大生のための読書案内 ― 教員から学生へ 金沢大学
私の推薦するこの一冊 滋賀大学
学生選書 大阪大学
先生からのおすすめ本 神戸大学
学生に読んでほしい本 群馬県立県民健康科学大学

ベストリーダー 前橋工科大学
知　の　風　を　帆　に-読書への誘い- 富山県立大学
シリーズ私の一冊 静岡県立大学
先生からのおすすめ図書（所属別） 大阪市立大学
推薦図書 流通経済大学
お薦め本 新潟工科大学
イチオシの本 新潟青陵大学
先生のおすすめ本 同志社女子大学
先生のお薦め本　 立命館大学
大阪観光大学図書館お薦め本ブログ 大阪観光大学
学生に読んでほしい本 大阪産業大学
外大生の1冊 関西外国語大学
おすすめの一冊 阪南大学
学生選書 東大阪大学
推薦本・特集本 桃山学院大学
教員推薦図書コーナー 神戸女子大学
お勧め図書館の本 流通科学大学
学生推薦図書DB 九州女子大学
学長が新入生に薦める100冊の本 日本赤十字九州国際看護大学
週刊おすすめ本 九州ルーテル学院大学
さいたま市「心を潤すこの一冊」子ども100選事業

現代を知るための新・「世界の名著１００」@クーリエ ジャポンの掲載書籍リスト

＜世界・各国情勢＞

刻々と変化する世界情勢を把握するためには、目先のニュースばかりにとらわれていてはいけない。

時には100年先を見通すような雄大な視点で、世の中を見つめなおすことも必要だろう。

世界の動向を大づかみにとらえた著作から、各国の実情を知るための良書を厳選した。

「フラット化する世界」
経済の大転換と人間の未来（普及版）
トーマス・フリードマン著／伏見威蕃訳

グローバル化時代の必読書

本書を読まずに、現代を語ることはできない――そう言い切れるほど、グローバル化の本質をよくとらえた作品。

冷戦崩壊、インターネットの発達、新興国の隆盛が世界にもたらした大転換「フラット化」とはなにか？

現代において競争力、イノベーションはどのように生まれるのか？

徹底した取材・調査に裏打ちされた"21世紀最初の古典"。

「21世紀の歴史」
未来の人類から見た世界
ジャック・アタリ著／林昌宏訳

欧州の知性が見据える”未来”

著者はミッテランの大統領特別補佐官も務めたフランスの経済学者・思想家。人類誕生から未来予測までカバーする、人類誕生から未来予測までカバーする、“大風呂敷”の広げかたは圧倒的だ。

とはいえ、今世紀中に起こると予想されるパワーバランスの変化（中国やインド、韓国の台頭

）や、国という概念も超えた「超粉争」や「超民主主義」が到来するという未来図など、示唆に富む話も多い。

「100年予測」
世界最強のインテリジェンス企業が示す未来覇権地図
ジョージ・フリードマン著／櫻井祐子訳

来世紀のことは地政学に聞け

「陰のCIA」と呼ばれる情報機関を率いる政治アナリストが、100年先の世界動向を大胆予測。

いわく、第2の米ロ冷戦が始まり、メキシコが米国と覇権を争うようになり、日本では軍国主義が復活する――。

とんでもない未来予想図だが、地政学の手法を駆使した緻密な考証は、合理的で説得力がある。
昨年の全米ベストセラー。

「自爆する若者たち」
人口学が警告する驚愕の未来
グナル・ハインゾーン著／猪股和夫訳

暴動と人口の「隠れた法則」

過去50年の日本の人口増加率が、パレスチナのガザ地区並みであったなら？

そう仮定すると、日本の総人口は現在５億人強、平均年齢は15歳。

この状態が何を引き起こすのか。

ジェノサイド研究の第一人者である著者は、人口の爆発的な増加がテロや内戦といった「暴力」に結びついていると指摘する。

海外ニュースの見かたが一変しそうな、刺激的な一冊。

「倒壊する巨塔」
アルカイダと「9・11」への道
ローレンス・ライト著／平賀秀明訳

あの惨劇の実相をあぶり出す

米同時多発テロ事件からまもなく９年。

作家で「ニューヨーカー」誌のスタッフライターでもある著者は、取材に５年の歳月を費やし、膨大な資料とインタビューをもとにアルカイダ指導者の“等身大の姿”を描き出した。

丹念な調査報道で、2006年度「ニューヨーク・タイムズ」年間最優秀図書に選ばれ、2007年にピュリツァー賞を受賞している。

「CIA秘録」
その誕生から今日まで
ティム・ワイナー著／藤田博司、山田侑平、佐藤信行訳

実名証言による驚愕の内幕

「陰謀は面白い。失敗しても隠せばよい」。

5 万点の機密解除文書、10人の元長官を含む300人以上へのインタビューにより、諜報組織の全貌を明らかにした本。

すべて直接取材と一次資料に基づき、噂も伝聞もなしという徹底した調査報道で、「真実以外のことは書いていない」と断言する。

トルーマンからブッシュにいたる米政権60年の記録としても秀逸。

「ニッケル・アンド・ダイムド」
アメリカ下流社会の現実
バーバラ・エーレンライク著／曽田和子訳

米国の“闇”を浮き彫りに

著名な女性コラムニストが、ウェイトレスや掃除婦など低賃金労働者の世界に飛び込み、「格差社会で働くこと」の厳しさを身をもって体験する。

貧困や人種差別といった深刻な社会問題を扱っていながら、ジャーナリストの潜入ルポだけに読

みやすく、ユーモアもたっぷり。

堤未果の『ルポ　貧困大国アメリカ』（岩波新書）との併読をお勧めする。

「ザ・プーチン 戦慄の闇」
スパイと暗殺に導かれる新生ロシアの迷宮
スティーヴ・レヴィン著／中井川玲子、櫻井英里子、三宅敦子訳

ロシアで相次ぐ暗殺の謎

2002年のモスクワ劇場占拠事件、女性ジャーナリスト射殺事件、亡命した元KGB将校の毒殺事件・・・・・・。

特派員としてロシアを長年取材してきた著者は、現代ロシアは「死の文化」が拡がる危険な国だと語る。

犠牲となった人々の関係者へのインタビューを通し、“独裁者”プーチンを徹底的に糾弾する。

欧米がロシアという国をどう見ているかがよくわかる。

「北朝鮮はるかなり」
金正日官邸で暮らした20年
成蕙琅（ソン・ヘラン）著／萩原遼訳

目近で見た独裁者の生活

もともとソウルに住んでいたが、朝鮮戦争開戦時に北朝鮮に渡った家族を待ち受けていた運命とは？

著者の妹は金正日の最初の妻になり、著者自身、正日の長男・正男の家庭教師として20年間、北朝鮮の官邸で過ごした経験を持つ。

断片的だったり、偏向があったりする昨今の北朝鮮報道とは一線を画すリアルさで、独裁政権の真実が描かれる。

「アフリカ」
苦悩する大陸

ロバート・ゲスト著／伊藤真訳

「アフリカの現状」を知る

アフリカはなぜ、いつまでも貧困から抜け出せないのか。

その理由は無能な政府にある、と著者は主張する。

「あまりにも多くの政府が国民を食い物にしている」。

各国で汚職が蔓延し、人々は権力のために殺し合う。

英誌「エコノミスト」の元アフリカ特派員が、豊富な取材経験をもとに、ジンバブエやカメルーンなど多様な国家が抱える苦悩の本質に迫る。

「最底辺の10億人」
最も貧しい国々のために本当になすべきことは何か？
ポール・コリアー著／中谷和男訳

貧困問題を語るなら必読

「ボトム・ビリオン」（底辺の10億人）に対し、先進国は何をすべきなのか。

アフリカ経済の世界的権威である著者は、最貧国が成長できない理由として次の“4つの罠”をあげる。

すなわち、紛争の罠、天然資源の罠、内陸国であることの罠、劣悪なガバナンス（統治）の罠。

これまでにない視点で問題をとらえ、大胆な対処法を提案している。

＜世界経済＞

出航したいが、ナビゲーターがいない――。

世界経済という“海洋”をまえにして、途方に暮れることはないか。

ここに、金融の嵐や景気の荒波を凌いできた名船長たちがいる。

彼らの海図を借りて、知的航海に出よう。

「フリーフォール」
グローバル経済はどこまで落ちるのか
ジョセフ・E・スティグリッツ著／楡井浩一・峯村利哉訳

二度と“急降下”しないために

2008年9月のリーマンショックに端を発する金融危機の結果、グローバル経済は“ 急降下”を余儀なくされた。

ノーベル賞経済学者の著者は、危機が去ってもなお蔓延る市場原理主義に警鐘を鳴らし、行き過ぎた資本主義に秩序の回復を求めている。

後半では、危機における金融関係者やエコノミストの責任にも言及し、経済学の改革を訴えている。

「愚者の黄金」
大暴走を生んだ金融技術
ジリアン・テット著／平尾光司監訳・土方奈美訳

市場崩壊をもたらしたもの

経済危機の“主犯”とされている金融技術「クレジット･デフォルト・スワップ（CDS）」。

信用コストを引き下げ、信用リスクを移転させる目的で開発されたはずのCDSが、サブプライムローンの証券化と結びつくことで、皮肉にも金融システムを崩壊させてしまった。

本書はCDS開発の背景を丁寧に紐解き、臨場感溢れる描写で人間ドラマを再現している。

「クルーグマン教授の経済入門」
ポール・クルーグマン著／山形浩生訳

クルーグマン教授の辛口授業

「ニューヨーク・タイムズ」紙の辛口コラムが人気のノーベル賞経済学者による、マクロ経済学の入門書。

各国の経済政策のみならず、著名企業の企業戦略にまで触れている。

軽妙な筆致と切れ味鋭い皮肉に溢れた本書は、随所で日本の読者をドキッとさせる。

誰に媚びることなく、思うところを自信満々に、ときどき嫌味に語るクルーグマン節が全開。

「ウォール街のランダム・ウォーカー」
株式投資の不滅の真理［原著第9版］
バートン・マルキール著／井手正介訳

投資するまえに読みたい本

1973年に出版されて以来、“投資のバイブル”として読まれてきた名著の第9版。

株価形成の歴史から“サルにもできる”実践的な株式投資に至るまで、株の世界について遍（あまね）く紹介。

どの章も内容は充実しているが、あらゆる年齢層の読者を対象にした「投資家のライフサイクルと投資戦略」の章がとりわけ秀逸。

いまから投資を始めたい読者は必見だ。

「貧困の終焉」
2025年までに世界を変える
ジェフリー・サックス著／鈴木主税、野中邦子訳

“世界を救う”ための必読本

現在、地球上では10億人もの人々が「貧困の罠」にとらわれ、飢餓や疫病に悩まされている。

われわれが生きているあいだに、このような貧困を撲滅することはできるだろうか？

一見、夢物語のようにも思えるが、国際開発の第一人者である著者は、先進各国のGDPの１％を援助にまわすだけでそれが可能だと断言する。

国際援助を語るうえでの定番書だ。

「暴走する資本主義」
ロバート・B・ライシュ著／雨宮寛・今井章子訳

超資本主義からの回帰

資本主義が暴走した結果、「超資本主義」として経済市場を超えて政治や市民社会にまで侵入している。

その結果、資本主義に規制を掛ける役割を担う民主主義に歪みが生まれている――。

著者はたとえ超資本主義で獲得した利益を犠牲にしてでも、民主主義を強化していくべき、と警告する。

世界でも指折りの経営思想家による渾身の一冊。

＜社会＞

人は不合理な行動ばかり取る。

その結果、経済や社会に予測不可能な事態を引き起こしてしまう。

ここでご紹介する本は、逆転の発想や予想外の行動について取り上げたものばかり。

読後、世のなかの見えかたがまた少し変わるはずだ。

「ヤバい経済学［増補改訂版］」
スティーヴン・D・レヴィット、スティーヴン・J・ダブナー著／望月衛訳

悪ガキ教授のヤバい課外授業

「経済学」と聞くと身構えてしまいがちだが、本書を読めば印象が変わるだろう。

米シカゴ大学の経済学部教授のレヴィットとジャーナリストのダブナーが、相撲の八百長疑惑から出会い系サイトまで、世のなかの不思議に「経済学」の切り口から迫っている。

読み終えたあと、世界の見えかたが変わること間違いなしのかなり刺激的な教科書。

「アニマルスピリット」
ジョージ・A・アカロフ、ロバート・J・シラー著／山形浩生訳

経済の不確定要素とは？

人は自分の経済的利潤以外の動機でも動くもの――。

そのような“アニマルスピリット”を考慮していない経済理論を盲信していたために、金融危機が起きたと著者は語る。

既存のマクロ経済学理論では説明がつかない一部の現象を、改めてアニマルスピリットの観点から分析している。

本書に対して賛否はあるものの、経済を異なる角度から見るうえで効果的。

「予想どおりに不合理」
行動経済学が明かす「あなたがそれを選ぶわけ」
ダン・アリエリー著／熊谷淳子訳

人が理屈通りに動かない理由

行動経済学を20年以上にわたって研究してきた著者が、性的刺激が意思決定にもたらす影響や問題を先延ばしにする思考過程などを実験で検証している。

思わず笑ってしまうような実験に、うーんと納得させられる結論の数々。

企業や政策立案者は、不合理な行動のメカニズムを理解することで、消費者の購買行動や学校教育などに反映できると著者は説く。

「ブラック・スワン」
不確実性とリスクの本質
ナシーム・ニコラス・タレブ著／望月衛訳

予測できない未来ほど重要

表題は「白鳥は白いもの」と信じられていたが、“黒い白鳥”の発見で常識が覆されてしまった、という挿話に由来している。

辣腕トレーダーの著者は、人間が経験や観察から学べることは限られていると指摘。

歴史は繰り返されるものと考え、そこから未来を予測することばかりに囚われて、思考が硬直化している現代人に対して警鐘を鳴らしている。

「「みんなの意見」は案外正しい」
ジェームズ・スロウィッキー著／小髙尚子訳

バカにできない、みんなの声

“衆愚政治”としばしば言われるように、集合知への評価は概して低いものだ。

だが著者は、「適切な状況下では、集団の知恵（集合知）が専門家の意見に勝ることもある」と主張する。

本書では、賢い集団の条件として、多様な見解、集団内の独立性、情報の分散などをあげたうえで、それらが揃いやすいウェブ時代における集合知の新たな可能性を示している。
「マネー・ボール」
マイケル・ルイス著／中山宥訳

知性が宿る野球ドラマ

資金力の乏しいオークランド・アスレチックスはなぜ、並み居る富裕球団を押し退け、米メジャーリーグで優勝争いができたのか？

ゼネラルマネジャーのビリー・ビーンの卓越した経営手法に焦点を合わせつつ、選手と球団の成長を描いた感動の人間ドラマ。

ブラッド・ピット主演映画として、2011年の全米公開が決定している。

＜広告・マーケティンング＞

すべての業種に、広告とPR、マーケティングの発想が求められる時代が到来した。

発想法やブランドの定義・構築方法、そして“無料”からお金を生み出す戦略に至るまで、ここでご紹介する11冊には、応用できるヒントやルールが満載だ。

すべてを組み合わせ、あなただけの“勝利の法則”を作ってほしい。

「アイデアのつくり方」
ジェームス・W・ヤング著／今井茂雄訳

“発想法”の古典的教科書

「アイデアをどうやって手に入れるか」という問いに対して、著者が自らの経験を糧に答えを提示している。

アイデアとは「一つの新しい組み合わせ」であり、その「新しい組み合わせを作り出す才能は事物の関連性をみつけだす才能によって高められる」と導き出した著者が、それを元に具体的な方法論を紹介している。

広告の世界で愛されてきた名著。

「ある広告人の告白［新版］」
デイヴィッド・オグルヴィ著／山内あゆ子訳

“広告界の異端児”の教え

シェフ見習い、セールスマンを経て、世界屈指の広告代理店「オグルヴィ・アンド・メイザー」の共同創業者になった著者の自叙伝。

才能豊かなクリエイターである著者が、軽妙なユーモアを交え、成功の秘密や失敗を包み隠すことなく告白している。数々の業種を渡り歩いた著者が得た教訓は説得力に富み、広告業界に限らず、さまざまな業種に応用できる。

「ワンダーマンの「売る広告」」
レスター・ワンダーマン著／藤田浩二訳

顧客とつながる広告とは？

DMや電話、訪問販売などの手段で消費者に直接商品を売り込む「ダイレクトマーケティング」。

本書はその“生みの親”による回顧録だが、情報のディテールは企業の業務日誌さながらであり、自身が取った戦略を包み隠さず明かしている。

「成功するすべての会社が知っている十九のルール」には、ダイレクトマーケティングのエッセンスが凝縮されている。

「ブランドは広告でつくれない」
広告 vs PR
アル・ライズ、ローラ・ライズ著／共同PR株式会社翻訳監修

広告主に読ませたくない本

広告だけではブランドを構築できない！

本書では広告の具体例を挙げて、広告の性質上の限界を指摘。

著者は、広告に依存したブランド構築に警鐘を鳴らす一方で、「ブランドは、広告と宣伝・広報（PR）を正しく組み合わせることで初めて構築できる」と、過小評価されがちなPRの有効活用を説いている。

広告スポンサーには読ませたくない本だ。

「ポジショニング戦略［新版］」
アル・ライズ、ジャック・トラウト著／川上純子訳

マーケティング本の金字塔

消費者は頭のなかで製品やサービスを“位置づけている”。

だから、その消費者の頭のなかにある自社の製品やサービスに対するイメージを操作することで、ビジネスを有利に進められるというのが、「ポジショニング理論」の基本的な考えだ。

初版の発売から30年経ったいまも、色褪せることのないマーケティング本の白眉。業種を問わず、必読。

「ザグを探せ！」
最強のブランドをつくるために
マーティ・ニューマイヤー著／千葉敏生訳

「ブランド」を楽しく学ぶ

ブランドが氾濫するいま、企業はどうすれば生き残れるのか？

みんなが「ジグ」するなら、あなたは「ザグ」すればよい。

つまり、逆の方向へと進むことで、競合他社と徹底的に“差別化”を図ればよいと著者は説く。

本書ではワインバーを題材に、ブランド構築のノウハウを実践的に紹介している。

エンターテイメント性と実用性を兼ね備えた良書。

「フリー」
〈無料〉からお金を生み出す新戦略
クリス・アンダーソン著／高橋則明訳

次世代ビジネス戦略とは？

デジタル世代のマーケティング方法として話題になった本書。

大多数の消費者に基本製品を無料で提供し、需要を生み出し、プレミアム製品を有料で一部の消費者に販売することで利益を上げる「フリーミアム・モデル」など、“無料”を武器に自社製品やサービスを売り込む手法の数々を紹介している。

業種との相性もあるが、原理は一読に値する。

「グランズウェル」
シャーリーン・リー、ジョシュ・バーノフ著／伊東奈美子訳

企業と消費者の新しい関係

ブログやSNSなどのソーシャルテクノロジーを駆使して企業や商品を選択・評価するなど、消費

者が主体的に行動する社会現象が世界規模で拡がっている。

本書ではこの「グランズウェル（大きなうねり）」に対する各企業の試行錯誤をケース・スタディに、企業戦略へ組み込む方法を指南している。

新時代のコミュニケーションを学ぶうえでも有益な一冊。

「キャズム」
ハイテクをブレイクさせる「超」マーケティング理論
ジェフリー・ムーア著／川又政治訳

ハイテク企業、飛躍の秘訣

ITが“死語” に感じられるほど、ハイテクな技術やサービス、製品に囲まれる昨今。

そんなハイテク製品が我々のもとに辿り着くまでには、「キャズム（深い溝）」を超えなくてはならない。

初期市場から主流市場へ移行する際に直面する経営上の困難。

画期的なハイテク製品をいかにして主流市場へ浸透させるか。

本書は豊富な具体例でその方法を解説している。

「急に売れ始めるにはワケがある」
マルコム・グラッドウェル著／高橋啓訳

ヒットを生むメカニズムとは

ヒットを作るには、どうすればよいか？

そのメカニズムを解明した著者は、（1）ウィルスのように感染する、（2）小さな変化が大きな結果をもたらす、（3）劇的な変化が生じる、という3つの特徴を指摘する。

そして、劇的な変化が生じた瞬間（ティッピング・ポイント）を超えると、商品はベストセラーへと生まれ変わると言う。

さまざまな生活シーンに応用が利く理論。

「紫の牛」を売れ！
セス・ゴーディン著／門田美鈴訳

いつも心に「紫の牛」を！

草原の牛もしばらく見ていたら、飽きてくるもの。

でも、そこに「紫の牛」がいれば、興味を引かれるかもしれない。

著者は、“常識破りな”マーケティングをすることで、消費者を惹き付けるべきと主張する。

ユーモアのある筆致でテンポ良く読ませる本書に目新しさこそないが、マーケティングの手法にヒントを与えてくれるエピソードが満載である。

＜マネジメント＞

「マネジメントは経営者の領分」というのは過去のこと。

いまや、高校野球の女子マネージャーですら経営手法を日常の生活シーンに取り入れる時代だ。

あらゆるシチュエーションに使えるマネジメントだけが、新時代でも受け入れられる。

万人の批評に耐え抜いた名著と、視点がユニークな新鋭の書をご紹介しよう。

「マネジメント　基本と原則［エッセンシャル版］」
P・F・ドラッカー著／上田惇生編訳

『もしドラ』で話題の“あの本”

ベストセラー『もしドラ』で再び注目を集めている“マネジメントの父”ことドラッカー。

本書は、彼の代表作『マネジメント――課題・責任・実践』からポイントを抜粋したものである。

組織の役割を「個としての人間一人ひとりに対して、自己実現させるための手段」と定義し、そのリーダーとなる人間に求められる“正統性”と心得を提示している。

「エクセレント・カンパニー」
トム・ピーターズ、ロバート・ウォータマン著／大前研一訳

“超優良企業”の秘密を公開

さまざまな領域にまたがる、米国の“超優良企業”43社を例に、経営について考察を重ねた、“マネジメントの聖典”。

成功している企業の共通点を洗い出すことに成功している。

さすがに初版から20年以上経つだけに、ケース・スタディそのものは時代を感じさせるが、組織運営の本質を理解するうえで、これを凌ぐ本は今日でもなかなかお目にかかれない。

「ビジョナリー・カンパニー２」
飛躍の法則
ジェームズ・C・コリンズ著／山岡洋一訳

自社を“偉大”にするには？

前著『ビジョナリー・カンパニー』で検証できなかった「良い企業は偉大な企業になれるのか？　そして、どうすれば偉大な企業になれるのか？」という問いに対して、著者とそのリサーチ・チームが綿密な調査を重ね、具体的な答えを導き出した。

“凡庸な企業の飛躍”といったテーマへ至った経緯や調査基準を明示している点も本書の信頼性を高めている。

「デザイン思考が世界を変える」
イノベーションを導く新しい考え方
ティム・ブラウン著／千葉敏生訳

経営にも「デザイン」思考を

人間工学に基づくプロダクト・デザインで有名なデザインファーム「IDEO」。

その社長兼CEOの著者が、イノベーションを可能にするアプローチとして「デザイン思考」を提案している。

さまざまな制約のなかで発想を具体化していくデザイナーの思考過程を明かし、仕事のみならず、日常生活の問題解決、ひいては社会問題にも応用できると述べている。

「ゴールは偶然の産物ではない」
FCバルセロナ流世界最強マネジメント
フェラン・ソリアーノ著／グリーン裕美訳

世界最強チームの経営戦略

サッカーW杯優勝が記憶に新しいスペイン。

同国リーグの覇者にして世界屈指の強豪「FCバルセロナ」の元副会長が、自身の経営哲学を明かす。

著者は確かな論理とデータを武器に、感性や運任せの経営に疑問を呈している。

読後、サッカーチームの経営から学べることがいかに多いかに気付かされること請け合い。

衰えを知らない“バルサ”の強さにも納得。

＜自己啓発＞

ここでご紹介している本は、世間一般の自己啓発本とはやや異なるかもしれない。

だが、どの本も著者や登場人物の人間ドラマが詰まった良書ばかりだ。

巷に並ぶ“規則本”や“ガイドブック”などではなく、ちょっとしたヒントがほしいとき、少しだけ背中を押してほしいときに読みたい本を集めてみた。

「小さなチーム、大きな仕事」
37シグナルズ　成功の法則
ジェイソン・フリード、デイヴィッド・ハイネマイヤー・ハンソン著／黒沢健二ほか訳

自社をモデルに常識を喝破！

世界各地に散らばる十数人の社員からなる、米ソフトウェア開発企業「37シグナルズ」。

その創業者とカリスマ開発者が、自社をモデルに“ビジネス世界の常識”に挑戦している。

条件や制約を自然体で受け入れつつ、日々の無駄をなくすことで、驚くほどの成果があげられることをわかりやすく示している。

職場ですぐに使える“目から鱗”のヒントが満載だ。

「天才！」
成功する人々の法則
マルコム・グラッドウェル著／勝間和代訳

天才とはつくられるもの

並外れた知性や才能を持つ人々は一般的に“天才”と呼ばれ、その天賦の才に成功の主要因を求めがちだ。

著者はこれに対して、“個人を超えた視点”で天才の成功を分析すべきと指摘。

才能は教育や家庭環境などの外的要因により育まれ、成功はそれに基づくという仮説を立証していく。

ユーモア溢れる語りと心打たれる挿話に引き込まれること間違いなし。

「魂を売らずに成功する」
伝説のビジネス誌編集長が選んだ飛躍のルール52
アラン・M・ウェバー著／市川裕康訳

名編集長に学ぶ52のルール

「ハーバード・ビジネス・レビュー」編集長を経てビジネス誌「ファスト・カンパニー」を立ち上げた創刊編集長による自伝的ビジネス書。

著者の優れた洞察力と卓越した分析から導き出された仕事上のヒントは、他のビジネス書でもし

ばしば引用されている。

起業家や著名人へのインタビューを通じて得た経験則とそれに基づく“52のルール”とは？

「アイデアのちから」
チップ・ハース、ダン・ハース著／飯岡美紀訳

アイデアを育てるコツとは？

情報過多な現代社会でも“記憶に焼きつく”くらいおもしろいアイデアとは、“素質”で決まるのか、それとも“育てかた”があるのか？

著者たちが愉快なエピソードを交えながら、（1）単純明快である、（2）意外性がある、（3）具体的である、（4）信頼性がある、（5）感情に訴える、（6）物語性があるという「記憶に焼き付くアイデアの6原則」をテンポよく紹介している。

「ハーバードからの贈り物」
デイジー・ウェイドマン著／幾島幸子訳

恩師たちが伝えたいこと

米名門ハーバード・ビジネススクールで行われる学期最後の講義。

ふだんは質問や議論で賑やかな教室がすっかり静まり返るという。

そして、ハーバードの伝統になっている、教授陣によるはなむけの言葉に耳を傾けるのだ。

本書には、教授たちの珠玉のメッセージが15篇収録されている。

彼らは何を伝えたかったのか？

“傾聴” に値する魔法の一冊だ。

＜ビジネス評伝＞

世界的な企業には、その歴史のなかに必ずといっていいほど「天才的な経営者」が存在する。

ライバル企業とは異なる戦略や経営哲学のもと、企業を成功へと導いた彼らの人生は起伏に富み、エンターテイメントとしても楽しめるものだ。

ここに選んださまざまな業界の“天才”たちの生き様から、あなたはきっと何かを得るはずだ。

「成功はゴミ箱の中に」
レイ・クロック自伝
レイ・クロック、ロバート・アンダーソン著／野地秩嘉監修・構成／野崎稚恵訳

マクドナルドを育てた男

砂漠に囲まれた小さな町のハンバーガー屋を「世界のマクドナルド」にまで育て上げたレイ・クロックの自伝。

彼がマクドナルド兄弟からフランチャイズ権を獲得したのは52歳のとき。

それから、いかにしてマクドナルドが成長を遂げたかを書き綴っている。

解説を担当するのも柳井正と孫正義という豪華な顔ぶれで、2人の対談も巻末に掲載されている。

「創造の狂気」
ウォルト・ディズニー
ニール・ゲイブラー著／中谷和男訳

ディズニーの20世紀

若くしてアニメ・スタジオを立ち上げ、世界的なメディア帝国を築き上げたウォルト・ディズニーの生涯を描く。

7年間かけて取材、調査を行い、丹念に紡がれただけに読み応えは充分。

著者はディズニー社の全面協力を得て秘蔵資料にも目を通したというが、同社の検閲を受けておらず、中立な視点が保たれている。

米国の大衆文化史を知るうえでも貴重。

「スノーボール」
ウォーレン・バフェット伝
アリス・シュローダー著／伏見威蕃訳

「オマハの賢人」の生き様

自伝を書かないと公言してきた伝説の投資家、バフェットが唯一、シュローダーには伝記の執筆を許可し、300時間以上のインタビューに協力した。

1400ページを超える大作だが、彼の生い立ちから莫大な資産を築くまでの道のり、財産の85％を寄付した今日までが詳細に描き出されている。

投資哲学はもちろん、彼の私生活や思想についても触れることができる。

「ジャック・ウェルチ」
わが経営
ジャック・ウェルチ、ジョン・A・バーン著／宮本喜一訳

GEが世界最強の理由

ゼネラル・エレクトリック社を"世界最強"の企業に成長させ、「20世紀最高の経営者」と称されたジャック・ウェルチの自叙伝。

業界1位か2位になれる事業だけに集中する経営方針や、彼がもっとも重要視した人材育成などについて余すところなく記されている。

彼の冷酷な手法には否定的な意見も少なくないが、組織を考えるうえでのヒントを与えてくれる。

「マッキンゼーをつくった男」
マービン・バウワー
エリザベス・ハース・イーダスハイム著／村井章子訳

「真摯さ」を追求した男

マッキンゼー＆カンパニーが発展する基盤を築き、経営コンサルティングという職業を確立させたマービンの人生を、時系列にそって描き出す。

世界的に著名なこのコンサルティングファームからなぜ多くのリーダーが輩出されるのかも、この本を読めば納得できる。

業界を問わず、プロフェッショナルを目指す人が読んでおくべき一冊。

「スターバックス」
成功物語
ハワード・シュルツ、ドリー・ジョーンズ・ヤング著／小幡照雄、大川修二訳

スタバを見る目が変わる本

シアトルの小さなコーヒーショップだったスターバックスを世界的チェーンに拡大させたシュルツによる書。

夢を追う人に「勇気をもって自分の夢に挑戦しつづけてもらいたいから書いた」、と述べるように、貧しい家庭に生まれた彼の成功の軌跡は情熱に満ちており、読んでいて胸が熱くなる。

マネジメントやブランディングについても学ぶことが多い。

「ブランド帝国LVMHを創った男」
ベルナール・アルノー、語る
ベルナール・アルノー、イヴ・メサロヴィッチ著／杉美春訳

ブランド王のことば

ルイ・ヴィトン、クリスチャン・ディオール、フェンディなどを有するLVMHの社長兼CEOを務めるアルノーが経営思想を語り尽くす。

聞き手はフランスの経済ジャーナリスト、イヴ・メサロヴィッチ。

一問一答形式で書かれており、話題は企業戦略だけでなく、政治経済やプライベートな話にまで及ぶ。

ブランド帝国を率いる彼の言葉には独特の重みがある。

「巨象も踊る」

ルイス・ガースナー著／山岡洋一、高遠裕子訳

IBM再建の歩み

消滅の危機に陥っていたIBMを復活させたガースナーが、その舞台裏を明かした自叙伝。

マッキンゼー出身の著者らしく、組織の問題点を冷静に分析し、再建への道筋を社員に示した。

タイトルは「象が蟻より強いかどうかの問題ではない。

その象がうまく踊れるかどうかの問題である」という、組織の大きさが問題ではないと説くために用いた逸話からきている。

「ヴァージン」
僕は世界を変えていく
リチャード・ブランソン著／植山周一郎訳

伝説の起業家の半生

18歳で雑誌を創刊し、23歳でレコード会社ヴァージン・レコードを設立。

34歳で航空業界に進出し、最近は宇宙旅行産業にも目を向けているリチャード・ブランソンの自伝。

成功例や武勇伝だけでなく、失敗や反省も赤裸々に記されている。

起業家の情熱が凝縮されている本書は、起業を志す人だけでなく会社勤めの人にとっても刺激を与えてくれる。

「アリババ帝国」
ネットで世界を制するジャック・マーの挑戦
張剛著／永井麻生子、王蓉美、王彩麗訳

中国のウェブ業界の雄

B2Bのオンラインマーケットを運営し、世界中に会員を持つアリババの成長と成功の記録。

創業からの10年間で中国Eコマース界の雄となった同社の歴史とともに、馬雲（ジャック・マー）CEOの経営哲学にも触れられている。

中国のITビジネス界の今後を左右するキーパーソンだけに中国ビジネスに興味がある人はぜひ読んでおきたい。

スピーチも数本収録。

「ムハマド・ユヌス自伝」
貧困なき世界をめざす銀行家
ムハマド・ユヌス、アラン・ジョリ著／猪熊弘子訳

マイクロクレジットの父

大学で教えていた経済学と現実とのギャップに疑問を抱いたユヌスがグラミン銀行を興し、軌道に乗るまでの試行錯誤や彼の考える理想像を描く。

担保のない人たちに少額の資金を貸し付けることで、貧困に苦しむ人たちを自立させる―― 誰もが夢物語にすぎないと考えたアイディアを成功させ、「マイクロクレジット」の概念を世界中に広めた男の自伝。

＜ＩＴ＞

いまの時代、ITに関する知識の有無で、できることの幅は大きく変わる。

インターネットがなければありえなかった“つながり”が、個人の生活だけでなく企業の活動にまで影響をもたらすようになった。

今後、この流れはますます加速するだろう。

最新の動向を追いかける必要はなくとも、ここに挙げた書籍を読んで、時代の潮流ぐらいはつかんでおきたい。

「ロングテール」
「売れない商品」を宝の山に変える新戦略（アップデート版）

クリス・アンダーソン著／篠森ゆりこ訳

Eコマースの「新常識」

ヒット商品を中心に品物を陳列するリアル店舗とは異なり、インターネット上の店舗では「ニッチな商品」にも光が当たるようになったという現象を、さまざまな事例をあげて解説。

ウェブを利用したビジネスが拡大するなか、「ロングテール」の概念を理解しているかどうかで生まれる“格差”は大きい。

著者は米「ワイアード」誌の編集長。

「クラウド化する世界」
ビジネスモデル構築の大転換
ニコラス・G・カー著／村上彩訳

クラウドの本質を解説

ITインフラを20世紀初頭における「電力」に喩え、もはや企業が独自に設備を整えるのではなく、グーグルやマイクロソフトのような“発電所”を利用する時代になったと説く。

実際にクラウドを利用したサービスが浸透しつつあるいま、その本当の意義を知るのに有用な一冊。

あらゆる情報がネット上に集約される社会の危険性についても論じている。

「ウィキノミクス」
マスコラボレーションによる開発・生産の世紀へ
ドン・タプスコット、アンソニー・D・ウィリアムズ著／井口耕二訳

「集合知」のビジネス活用

インターネットの普及により、ウィキペディアのように不特定多数の人々が協力して、一つのプロジェクトを進めることが可能になった。

同様に、企業の活動においても情報を公開し、群衆の知恵やアイディアを借りることで成功するところが現れ始めている。

マスコラボレーションで成長した企業を例に、消費者との関係性を変えることの重要性を説く。

「デジタルネイティブが世界を変える」
ドン・タプスコット著／栗原潔訳

数年後の社会を予測する

物心がついたころにはコンピュータや携帯電話が身の回りにあった「デジタルネイティブ世代」の行動基準を紹介する。

彼らが成長し、社会に出てきたことによって企業や政治、家庭観などにどのような変化が生まれるのか？

日本や欧米諸国、BRICsなど12ヵ国で計1万人もの若者にインタビューを行って導きだされた結論には強い説得力がある。

「ツイッターノミクス」
タラ・ハント著／津田大介解説／村井章子訳

ツイッター時代の心得

いまや企業にとってもソーシャルメディアが不可欠なツールになりつつあるが、本書はそれを活用するうえで必要な心得が詰まった指南書といえる。

SNSでつながっている人たちからの信頼や尊敬、評価を「ウッフィー」という貨幣で表現し、ネット上で溜めたウッフィーが実社会での利益につながった著者自身の体験や、企業の実例を数多く紹介している。

「FREE CULTURE」
ローレンス・レッシグ著／山形浩生、守岡桜訳

過剰な著作権強化の実害

ネット社会化がもたらした知的財産権の強化が、社会にどのような悪影響をもたらすかを論じる。

“自由な文化”を損なうことによって、創作活動やイノベーションにも大きな損害が発生すると著者は主張する。

実例を紹介しつつ、論を展開しているため読みやすく、具体的な対策についても言及している。

これからの時代を考えるうえで読んでおきたい名著。

「インターネットが死ぬ日」
そして、それを避けるには
ジョナサン・ジットレイン著／井口耕 二訳

ネット社会の明日を読む

インターネットが現在の状態にまで成長したのは、有益なものと害のあるものの両者を生み出す土壌があったから。

だが、害のあるものが生まれない環境を作ろうとする昨今の動きは、ネット社会からモノを生み出す力そのものを奪い取ってしまうと著者は警鐘を鳴らす。

必要な規制とそうでないものを区別することが必要だとする世界的サイバー法学者の提言。

「みんな集まれ！」
ネットワークが世界を動かす
クレイ・シャーキー著／岩下慶一訳

“つながり”が生んだ変化

インターネットを介したネットワークが社会にどのような影響を与えるかをプラス、マイナスの両面から解説する。

個人が情報を発信できる時代においては、マスコミが記事を「選別してから発表する」のではなく、「発表してから（人々が）選別する」システムのほうがうまく機能するのでは、といったいまの時代に即した新しい視点も与えてくれる。

「スティーブ・ジョブズ」
偶像復活
ジェフリー・S・ヤング、ウィリアム・L・サイモン著／井口耕二訳

アップル復活の舞台裏

スティーブ・ジョブズの人物像だけでなく、瀕死状態だったアップルがどのようにして現在のポジションに舞い戻ったのかもよくわかる。

詳細に綴られたジョブズの波瀾万丈な人生は、すでに概要を知っている人でも充分に楽しめる。

コンピュータ、映画、音楽の分野で成功し、世界を本気で変えようとしているジョブズのビジョンを描き出した力作。

「グーグル秘録」
完全なる破壊
ケン・オーレッタ著／土方奈美訳

グーグルが目指す世界とは

グーグルが創ろうとしている理想の世界がよくわかる一冊。

米「ニューヨーカー」誌の記者であるオーレッタは、創業者のラリー・ペイジやサーゲイ・ブリンをはじめ、グーグル幹部に150回もの取材を敢行し、本書を書き上げた。

ガレージでの誕生からこれまでの軌跡だけでなく、既存メディアの行く末やグーグル自身の今後の展望についても言及している。

「facebook」
世界最大のSNSでビル・ゲイツに迫る男
ベン・メズリック著／夏目大訳

成功の裏に潜む人間ドラマ

ユーザー数が5億人を突破した世界最大のSNS「フェイスブック」の誕生秘話。

共同創設者の一人で現CEOのマーク・ザッカーバーグを中心に、サイトの開設から実際のビジネスにまで昇華させていく過程での人間ドラマを描く。

ザッカーバーグ本人への取材がない点は残念だが、世界中を虜にしているウェブサービスのサク

セスストーリーは読み応えがある。

＜科学＞

科学の進歩は目覚ましい。

学生時代に学んだ知識が、すでに時代遅れになってしまったものも少なくない。

また、仕事や生活に直接関係がないために、卒業して以降は科学に縁遠くなってしまった人もいるのではないだろうか。

一流の科学書は、教科書では味わえなかった知的興奮とともに、人生観を変えてしまうような衝撃を与えてくれる。

「もっとも美しい数学」
ゲーム理論
トム・ジーグフリード著／冨永星訳

ゲーム理論の未来が見える

もともとは経済学で使うために作られた「ゲーム理論」が、いまや現代科学のほぼすべての分野に浸透していることを指し示す。

「この本は、ゲーム理論の教科書ではない」と前書きで述べるように、理論そのものより、むしろ物理学や生物学などの分野での活用事例を詳細に説明している。

ゲーム理論の今後の発展に対しても期待を抱かせてくれる一冊。

「フェルマーの最終定理」
サイモン・シン著／青木薫訳

“数学嫌い”の人に

300年間、誰一人として証明することができなかった「フェルマーの最終定理」を、数学者アンドリュー・ワイルズが解明するまでを描く。

テーマは難解に思えるが、証明するまでのさまざまなシーンを追体験するような迫力ある描写に、思わず惹きこまれてしまう。

知的好奇心を刺激し、「数学の美しさ」に気づかせてくれる最高のノンフィクション。

「DNA」
ジェームス・D・ワトソン、アンドリュー・ベリー著／青木薫訳

DNA解明の現場を覗く

DNAの構造が「二重らせん」であることを発見したワトソン教授と科学ライターによる共著。

共同研究者のフランシス・クリックとともに二重らせん構造を突き止めるまでの緊迫した日々を振り返る。

後半では、その後の分子生物学の進歩にも焦点を当て、DNA研究やヒトゲノム解析を今後われわれがどう利用していくべきかについても考えさせられる。

「利己的な遺伝子（増補新装版）」
リチャード・ドーキンス著／日高敏隆、岸由二、羽田節子、垂水雄二訳

SFよりも刺激的な内容

自然淘汰は種や個体ではなく、遺伝子に対して働くものであり、個体レベルで見れば説明のできない利他行動も遺伝子レベルで考えれば「利己的」なものとして説明できると説く。

1976年に刊行されるや世界中で広く読まれ、大論争の火種にもなった"古典"だが、ほとんどの内容はいまだ色褪せておらず、一般教養として読んでおきたい。

「人類が知っていることすべての短い歴史」
ビル・ブライソン著／楡井浩一訳

“驚き”が詰まった名著

科学とは無縁だったベストセラー作家が、科学界の専門家たちに3年間取材して書き上げた「入門書」。

物理学、天文学、地学、生物学など、取り上げている内容は多岐にわたる。

本の分厚さに挫けそうになるが、著者の巧みな筆力により、あっという間に読破してしまう面白さがある。

科学者たちの奇人ぶりや人間くささが伝わってくるエピソードも満載。

「ホーキング、宇宙のすべてを語る」
スティーヴン・ホーキング、レナード・ムロディナウ著／佐藤勝彦訳

天才が贈るメッセージ

宇宙物理学の権威であるホーキング博士が、宇宙についてわかりやすい言葉で解説する。

古代ギリシャ時代の宇宙論から始まり、ニュートン、ガリレオ、アインシュタインらの研究の成果、最新の理論にいたるまで、人類の宇宙像の変遷を説明。

宇宙論の入門書でありつつ、世界をどう理解すべきかという哲学的視点をも読む者に与えてくれる。

「パラレルワールド」
11次元の宇宙から超空間へ
ミチオ・カク著／斉藤隆央訳

最新の宇宙論を徹底解説

「ここ数年のあいだに明らかになった宇宙論の革命的な進歩に焦点を当てる」と記すように、宇宙に関して現在わかっていることの大筋を読むことができる一冊。

「ひも理論」「M理論」などの説明もわかりやすく、巻末の用語集も充実。

SF小説の引用など読者を楽しませる工夫もなされている。

著者はニューヨーク市立大学理論物理学教授の日系米国人。

「最新脳科学で読み解く脳のしくみ」
サンドラ・アーモット、サム・ワン著／三橋智子訳

脳にまつわる神話を覆す

脳科学の基礎から感覚、感情、思考にかかわる最新の脳研究の成果までを広範囲にわたって紹介。

くだけた口調で綴られており、赤ちゃんにモーツァルトを聴かせると頭が良くなる？

一夜漬けって効果がある？

といった誰かに話したくなるコラムが満載。

2009年には、米国で優れた科学書に贈られる「サイエンスブック＆フィルムズ賞」を受賞している。

「プルーストとイカ」
読書は脳をどのように変えるのか?
メアリアン・ウルフ著／小松淳子訳

読書と脳の関係を再考する

いまこの文章を読んでいるあなたには変な話に聞こえるだろうが、もともと人間の脳は文字を読む能力を備えていないという。

では、われわれはどのようにして文字を読み、意味を理解できるようになったのだろうか？

その答えを、文字文化の歴史や子供の読字能力の発達過程、読字障害（ディスレクシア）に関する研究の3つの視点から解明する。

「ハチはなぜ大量死したのか」
ローワン・ジェイコブセン著／中里京子訳

現代版『沈黙の春』

北半球に生息していたミツバチのじつに4分の1が2007年の春までに"失踪"した。

この不思議な現象を起こした犯人は農薬か、携帯電話の電磁波か、あるいはウイルスか――。

著者は犯人探しを行いながら、人間がいかに自分勝手に環境を作り替えてきたかを指摘する。

ハチの生態だけに留まらず、動物と植物との共生について、改めて考えさせられる。

「アメリカ版　大学生物学の教科書　第１巻　細胞生物学」
デイヴィッド・サダヴァ他著／石崎泰樹、丸山敬監訳・訳

米国の教科書に学ぶ

マサチューセッツ工科大学（MIT）など米国の大学で用いられている生物学の教科書『LIFE』を翻訳したもの。

MITでは全学生がこれで学ぶだけに、入門書として非常にわかりやすく、難解な箇所も詳細なイラストが理解の一助となる。

細胞生物学、分子遺伝学、分子生物学の全3巻構成で、教科書らしく各章末にはチェックテストが用意されている。

＜世界が見たニッポン＞

日本人は「日本論」が好きだ。

いつまでたっても、外国から自分たちの国がどう見られているのか気になる性なのだ。

ここでは、幕末、明治期の日本旅行記の傑作から、戦後の日本人論、そしてオタク文化紹介本に、日仏の文化を融合したマンガまで、幅広い本を取り揃えた。

「シュリーマン旅行記」
清国・日本
ハインリッヒ・シュリーマン著／石井和子訳

江戸の息づかいが聞こえる

トロイア遺跡の発掘で知られるシュリーマン。

彼はその発掘に先立つ1865年、世界旅行の途中に幕末の日本を訪れている。

当時の食事や女性たちの服装、結婚式の様子など、実に生き生きとした描写に舌を巻くのはまだ早い。

彼はなんと遊郭にまで足を踏み入れようとしたのだから。

シュリーマンの底知れぬ探究心が生んだ、偏見なき旅行記。

「イザベラ・バードの日本紀行」
イザベラ・バード著／時岡敬子訳

超私的「北日本旅行記」

1878年、横浜に上陸した英国人女性イザベラ・バード。

日本での旅行の皮切りに、欧米人が未踏の内陸ルートによる東京ー函館間の旅を敢行する。

苦難に満ちた旅の折々に、故国の妹に書き送った手紙をまとめたものが本書。

自身の感情の起伏が素直に綴られており、一人の人間が未知なるものに出合う際の複雑な情感に触れることができる。

「神国日本」
解明への一試論
ラフカディオ・ハーン著／柏倉俊三訳

“不思議の国”の美しさ

小泉八雲の日本名で知られるハーン。

『知られざる日本の面影』『怪談』など、文学を通じて海外に日本文化を紹介してきた彼が晩年（1904年）にまとめ上げたのが本書。

日本人の家族像、神道や仏教などの宗教、武家社会や封建制度について丁寧に考察されている。

それにしても“不思議の国”に魅せられた男が描く明治期の日本のなんと美しいこと！

「菊と刀」
ルース・ベネディクト著／角田安正訳

いわくつきの日本文化論

1946年に発表された本書は日米戦争時、敵国研究のために集められた資料をもとに執筆された。

ちなみに、著者は日本を一度も訪れたことがない。

それだけに事実誤認も多いが、国内外を問わずこれほど広く読まれた日本人論も少ないだろう。

「日本文化は“恥”の文化」であるというテーマは有名だが、賛否両論の多い古典的“問題作”である。

「私と20世紀のクロニクル」
ドナルド・キーン著／角地幸男訳

日本研究者の偉大なる自叙伝

著者はニューヨーク生まれ、現在88歳の日本文学研究者で、浩瀚な『日本文学の歴史』も著した。

『源氏物語』に心を奪われた少年時代、海軍語学校で日本語を学んだこと、三島由紀夫、大江健三郎、安部公房らとの交流などを振り返りながら、日本研究に捧げた人生の記録を綴る。

同氏は2008年に、外国人として初めての文化勲章を受章している。

「敗北を抱きしめて［増補版］」
第二次大戦後の日本人
ジョン・ダワー著／三浦陽一、高杉忠明訳

米軍占領下の民衆の“声”

戦後の日本の占領期を扱ったノンフィクション。

日本に上陸した占領軍兵士たちの目に映った民衆たちの姿は、敗者の卑屈や憎悪といったものと

はまったく別のものだったという。

日本人が書くことができなかった、占領下の日本のありのままの姿を映し出した名著。

増補版は図版も増えていて読みやすい。

ピュリツァー賞、全米図書賞を受賞。

「人間を幸福にしない日本というシステム」
カレル・ヴァン・ウォルフレン著／篠原勝訳

やっぱりヘンだよ、日本人

「自分の人生はどこかおかしい」と多くの日本人が感じているのはなぜか。

彼らのモヤモヤとした不満はどこからやってくるのか――。

本書は94年に上梓されベストセラーとなった。

「こんなにうちひしがれた人々の国はない」と語るオランダ人ジャーナリストが、日本ならではの「シカタガナイ」文化、「調和」という幻想などにメスを入れる。

「変わる世界、立ち遅れる日本」
ビル・エモット著／烏賀陽正弘

元経済誌編集長の大胆提言

東京支局長として日本に滞在経験がある英「エコノミスト」元編集長が、グローバルな視点から日本の進むべき道を示唆する。

例えば「日本は製造業に重きを置くばかりでなく、もっとサービス業に重点を置くべきだ」という主張。

また、「輸出は日本のGDPに大きく貢献しない」という視点も新鮮。市場自由主義的視点から日本経済を考えるための一冊。

「築地」

テオドル・ベスター著／和波雅子、福岡伸一訳

誰よりも築地を愛す

アメリカ人類学界の権威、ベスターが17年以上に及ぶ関係者へのインタビューを敢行。

そこから浮かび上がる真の築地市場の姿を通して、経済や流通、消費といった、日本社会の仕組みに迫る。

全編を通じて築地への愛が溢れており、日本の魚食文化研究書としても読める。

「アメリカ人類学協会　経済人類学部門　2006年最優秀賞」受賞。

「オタク・イン・USA」
愛と誤解のAnime輸入史
パトリック・マシアス著／町山智浩編・訳

愛すべきオタクの世界

6歳のときに『スター・ウォーズ』と間違えて深作欣二監督『宇宙からのメッセージ』を観て以来、日本の特撮やアニメに取り憑かれたというカリフォルニア生まれの著者。

メイド・イン・ジャパンの「マンガ」が、さまざまな誤解を受けつつも世界の共通語になっていく過程をオタク魂全開で描く。

編・訳は、本誌連載でお馴染みの町山智浩。

「ゆき子のホウレン草」
フレデリック・ボワレ著／関澄かおる訳

ヌーベルマンガって？

日本人女性とフランス人男性の恋愛模様を、日本在住のフランス人漫画家が描く。

国境を越える漫画＝ヌーベルマンガを提唱する著者は、自身の作品のなかでもBD（フランス漫画）と、日本の漫画の融合を実験的に行っている。

セリフは日仏併記。

“ガイジン”が生きる日常を垣間見ることができる。

ボワレはフランスにおける日本のマンガの紹介者でもある。

＜歴史＞

昨今の龍馬ブームもいいけれど、世界にはスケールの大きな歴史書が無数にある。

生物学や遺伝子学的な視点から人類史をとらえなおした問題作、ピュリツァー賞受賞作家による傑作ノンフィクションなどをひも解けば、過去は未来の糧になるということがわかるだろう。

「文明崩壊」
滅亡と存続の命運を分けるもの
ジャレド・ダイアモンド著／楡井浩一訳

失われた文明の謎を解く

ベストセラー『銃・病原菌・鉄』の続編。

歴史学のみならず、生物学、地理学、鳥類学など広い知見を持つ著者が、まったく新しい視点から歴史の謎に挑む。

かつて繁栄を誇ったイースター島やマヤなどの高度な文明はなぜ終焉を迎えたのか？

環境、人口、戦争など複数の視点からの分析はダイナミックで、現代社会への警鐘ともなっている。

「10万年の世界経済史」
グレゴリー・クラーク著／久保恵美子訳

「豊かさ」はなぜ生まれたか？

著者によると西暦1800年時の平均生活水準は、紀元前10万年とさして変わらないものだった。

ところが産業革命を機に、一部の先進国は飛躍的に豊かになり、いっぽうで貧しいまま取り残された国も生まれた。

なぜ、このような格差は生まれたのか？

死亡率や出生率のデータを綿密に読み解き、人口学から複雑な歴史を分析する手際は見事。

「一万年の進化爆発」
文明が進化を加速した
グレゴリー・コクラン、ヘンリー・ハンペンディング著／古川奈々子訳

遺伝子で読む文明史

農耕が始まったことで、ヒトは生物学的にどのように進化したのか。

欧州系のユダヤ人に優れた学者や経済人が多いのはなぜか？

従来はタブーとされてきたようなテーマのかずかずに、「遺伝歴史学」という立場から挑んだ問題作。

学術的にはトンデモ本かもしれないが、進歩の目覚ましい遺伝子学と歴史学を融合させようという心意気は評価できる。

「マネーの進化史」
ニーアル・ファーガソン著／仙名紀

金融の歴史をおさらい

金融史の専門家として定評があり、英米経済紙への寄稿も多い著者が、金融一族メディチ家の興隆から昨今の金融状況までわかりやすく解説する。

信用の創造、銀行の発達、保険の発明、証券化の誕生などが、豊富なエピソードとともに語られ、人類を翻弄し続ける「マネー」の進化が見えてくる。

金融史という難解そうなテーマになじみのない読者にもお勧め。

「完訳　紫禁城の黄昏」

R.F.ジョンストン著／渡部昇一監修、中山理訳

満州とは何だったのか

映画『ラストエンペラー』の原作として名高いスコットランド人の回想録だが、これはその完全版。

日本では長らく、政治的・思想的に偏りのある視点から削除・改竄された岩波文庫版が読まれてきたが、完訳された本書はジョンストンの清朝への思い、戦前の満州の実態を生き生きと伝えている。

満州帝国とは何だったのか、本当の歴史を知るためには必読。

「「ニューヨーク・タイムズ」が見た」
第二次世界大戦
ダグラス・ブリンクリー編集／池上彰日本語版監修

リアルな大戦の日々

クーリエの読者諸賢は、海外紙の記事を読むオモシロさはよくご存知のはず。

本書は第二次世界大戦という出来事を、「ニューヨーク・タイムズ」というメディアを通して読み直すことのできる稀有な一冊だ。

過去の資料に直接触れることで戦時の様子がリアルによみがえる感覚は、教科書的な歴史とは無縁の愉しさ。

日本語版監修は人気のニュース解説者。

「毛沢東」
ある人生
フィリップ・ショート著／山形浩生、守岡桜訳

この人を知らずして･･･

国際社会においてますます存在感を増す中国の、20世紀における最重要人物は間違いなくこの人。

だが、その伝記は毛沢東礼賛か、あるいはその全否定かのどちらかに偏った視点のものが多かった。

元BBC記者による本書は、きわめてニュートラルな立場から書かれた初めての網羅的な評伝である。

現代中国史に関する知識を整理し直すのに最適の一冊。

「私の紅衛兵時代」
ある映画監督の青春
陳凱歌（チェン・カイコー）著／刈間文俊訳

映画のような回想録

著者は『さらば、わが愛／覇王別姫』で名高い中国映画界の巨匠。失われた胡同の情緒から文化革命の残酷さまで、時代に翻弄されながら生きた少年時代の回想録である。

60年代に紅衛兵として蜂起した若者たちも、現在では還暦を迎えているだろう。

中国が経験した激動の半世紀を知るために、もってこいの一冊である。

映画監督らしい繊細な描写も心に残る。

「ザ・コールデスト・ウィンター」
朝鮮戦争
デイヴィッド・ハルバースタム著／山田耕介、山田侑平訳

“近くて遠い”戦争史

日本で戦後の目覚ましい経済復興が始まろうとしていた頃、隣国では“冷たい戦争”が勃発しようとしていた‥‥‥。

いまなお38度線という禍根を残す朝鮮戦争を学び直すのに必読の一冊。

日本では長らく神格化されてきたマッカーサーが、実は戦略家として無能に近かったという視点も新鮮。

2007年に没した米国を代表するジャーナリストによる最後の作品。

「ジェノサイドの丘」
ルワンダ虐殺の隠された真実
フィリップ・ゴーレイヴィッチ著／柳下毅一郎訳

現代史上、最悪の惨劇を知る

1994年、750万人のルワンダ人のうち少なくとも80万人が、わずか100日のあいだに殺された。

「ニューヨーカー」のスタッフライターがアウシュビッツ・広島と並んで、史上最悪の虐殺といわれる民族紛争を描いた戦慄のルポルタージュ。

これほどの惨劇を、どうして国際社会は看過してしまったのか。

現代史の知られざる側面に迫った力作。

「ロスチャイルド家と最高のワイン」
名門金融一族の権力、富、歴史
ヨアヒム・クルツ著／瀬野文教訳

あのワインに歴史あり･･･

ロスチャイルド家はいわずと知れたユダヤ系一族。

18世紀、フランクフルトから発した金融の名門は、やがて時の国家権力と密接に結びつき強大な“帝国”を築き上げる。

同家のワインビジネスに焦点を合わせた本書を読めば、たとえラフィットやムートンといった1級のボルドーを飲まずとも、今宵の一杯に“歴史”が香ること請け合いだ。

「アルベール・カーン　コレクション」
よみがえる100年前の世界
デイヴィッド・オクエフナ著／別宮貞徳監訳

この100年で失われた景色

20世紀初頭、世界中にカメラマンを派遣して、“地球映像資料館”を作ろうとした男がいた。

その名はアルベール・カーン、フランスの大富豪である。

彼は私財をなげうち、自身も現地に赴く熱心さで多様な民族のすべてを記録しようとした。

この100年で失われてしまった風俗を、初期カラー写真の美しい発色とともに楽しめる贅沢な写真集である。

人類の未来を考えるための５０冊の本（ランド研究所）

米国の有名なシンクタンクの一つであり、インターネットの生みの親とも言えるランド研究所が人類の未来を考える上で重要だとする５０冊の本のリストを提示していた。

”50 Books for Thinking About the Future Human Condition”（参照）がそれである。

各書籍にはなぜそれが重要かという簡単な解説もある。

・過去

The New Penguin History of the World
図説 世界の歴史〈1〉歴史の始まり」と古代文明
図説 世界の歴史〈2〉古代ギリシアとアジアの文明
図説 世界の歴史〈3〉古代ローマとキリスト教
図説 世界の歴史〈4〉ビザンツ帝国とイスラム文明
図説 世界の歴史〈5〉東アジアと中世ヨーロッパ
図説 世界の歴史〈6〉近代ヨーロッパ文明の成立
図説 世界の歴史〈7〉革命の時代
図説 世界の歴史〈8〉帝国の時代
図説 世界の歴史〈9〉第二次世界大戦と戦後の世界
Guns, Germs, and Steel: The Fates of Human Societies
銃・病原菌・鉄〈上巻〉―1万3000年にわたる人類史の謎
銃・病原菌・鉄〈下巻〉―1万3000年にわたる人類史の謎
Collapse: How Societies Choose to Fail or Succeed
文明崩壊 滅亡と存続の命運を分けるもの (上)
文明崩壊 滅亡と存続の命運を分けるもの (下)

・過去から見た未来
The Economic Consequences of the Peace
ケインズ全集 第2巻 (2)ケインズ全集 2 平和の経済的帰結（早坂忠訳）
The year 2000: A framework for speculation on the next thirty-three years: Books: Herman Kahn
Next 200 Years
Coming of Post-industrial Society
脱工業社会の到来 上―社会予測の一つの試み
脱工業社会の到来 下―社会予測の一つの試み
Future Shock

未来の衝撃（中公文庫 M 178）

・人類の発展
The Evolution of International Human Rights: Visions Seen (Pennsylvania Studies in Human Rights)
代替：国家と人種偏見
Readings In Human Development: Concepts, Measures And Policies For A Development Paradigm
Oxford University Press: Human Development Report 2000: United Nations Development Programme
Oxford University Press: Human Development Report 2001: United Nations Development Programme
Oxford University Press: Human Development Report 2002: United Nations Development Programme
Oxford University Press: Human Development Report 2003: United Nations Development Programme
Oxford University Press: Human Development Report 2004: United Nations Development Programme
関連：Human Development Report 2000, 20001 And 2002 Cd-rom: 2000-2001-2002

・世界統治　未来
Global Public Goods: International Cooperation in the 21st Century

・国際紛争　未来
Understanding International Conflicts: An Introduction to Theory and History

・国際紛争　理論と歴史

・健康　未来

Genomics and World Health

・人口問題　未来
How Many People Can the Earth Support?
新人口論 生態学的アプローチ

・技術革新　未来

The Next Fifty Years: Science in the First Half of the Twenty-First Century
代替：「意識」の進化論ー脳 こころ AI
Genome: The Autobiography of a Species in 23 Chapters
ゲノムが語る23の物語
Nanotechnology: Basic Science and Emerging Technologies
代替：図解 ナノテクノロジーのすべて

・情報技術　未来

The Transparent Society: Will Technology Force Us to Choose Between Privacy and Freedom

・環境問題　未来

The Two-Mile Time Machine: Ice Cores, Abrupt Climate Change, and Our Future
氷に刻まれた地球11万年の記憶　温暖化は氷河期を招く
Natural Capitalism: Creating the Next Industrial Revolution
自然資本の経済ー成長の限界」を突破する新産業革命
Ecosystems And Human Well-Being: Synthesis (The Millennium Ecosystem Assessment Series)

・エネルギー問題　未来
Winning the Oil Endgame

・グルーバル化経済　未来
Globalization and Its Discontents
世界を不幸にしたグローバリズムの正体
In Defense of Globalization
グローバリゼーションを擁護する
The Lexus and the Olive Tree: Understanding Globalization
レクサスとオリーブの木ーグローバリゼーションの正体〈上〉
レクサスとオリーブの木ーグローバリゼーションの正体〈下〉
Economic Development (The Addison-Wesley Series in Economics)
M・トダロの開発経済学
The End of Poverty

・異文化問題　未来
No God but God: The Origins, Evolution, And Future of Islam

・地域問題　未来

Understanding The European Union: A Concise Introduction (The European Union)

The Rise of China (Main Page)

China's Second Revolution: Reform After Mao

India: Emerging Power

アメリカはなぜインドに注目するのか一台頭する大国インド

Modern Latin America

A Peace to End All Peace: The Fall of the Ottoman Empire and the Creation of the Modern Middle East

平和を破滅させた和平一中東問題の始まり(1914 - 1922)〈上〉

平和を破滅させた和平一中東問題の始まり(1914 - 1922)〈下〉

Russia in Search of Itself

African Politics and Society: A Mosaic in Transformation

State Legitimacy and Development in Africa

・未来

Futuring: The Exploration of Tomorrow

Macrohistory and Macrohistorians: Perspectives on Individual, Social, and Civilizational Change

代替：ガルトゥング平和学入門

Shaping the Next One Hundred Years: New Methods for Quantitative, Long-Term Policy Analysis

Who Will Pay?: Coping With Aging Societies, Climate Change, and Other Long-Term Fiscal Challenges

Global Crises, Global Solutions

代替：環境危機をあおってはいけない 地球環境のホントの実態

・全体

Biomimicry: Innovation Inspired by Nature

代替：バイオミメティック・エンジニアリング一生体模倣工学化学機械技術

Fantastic Voyage: Live Long Enough to Live Forever

代替：スピリチュアル・マシーン一コンピュータに魂が宿るとき

Amish Society

代替：アメリカ・アーミッシュの人びと一従順」と簡素」の文化

ＳＦ小説の名作

海外

タイム・マシン ウェルズ 1895
宇宙のスカイラーク スミス 1928
われはロボット〔決定版〕 アシモフのロボット傑作集 (ハヤカワ文庫 SF) アシモフ 1950
火星年代記 レイ・ブラッドベリ 1950
宇宙船ビーグル号 Ａ・Ｅ・ヴァン・ヴォクト 1950
銀河帝国興亡史 アシモフ 1951～
幼年期の終わり (光文社古典新訳文庫)
幼年期の終り (ハヤカワ文庫 SF (341)) アーサー・Ｃ・クラーク 1953
人間以上 スタージョン 1953
火星人ゴー・ホーム ブラウン 1955
虎よ、虎よ！　アルフレッド・ベスター 1956
夏への扉 (ハヤカワ文庫 SF (345)) ロバート・Ａ・ハインライン 1957
アルジャーノンに花束を キイス 1959
ソラリス (スタニスワフ・レム コレクション)
ソラリスの陽のもとに (ハヤカワ文庫 SF 237) スタニスラフ・レム 1961
地球の長い午後　ブライアン・W・オールディス　1962
ジョナサンと宇宙くじら ヤング 1962
猫のゆりかご　ヴォネガット・ジュニア 1963
デューン・シリーズ ハーバート 1965～
バベル-17 ディレイニー 1966
2001年宇宙の旅　アーサー・Ｃ・クラーク 1968
アンドロイドは電気羊の夢を見るか？ フィリップ・Ｋ・ディック 1968
世界の中心で愛を叫んだけもの エリスン 1969
闇の左手 ル・グイン 1969
リングワールド ニーヴン 1972
終わりなき戦い ホールドマン 1975
星を継ぐもの ホーガン 1977
ゲイトウエイ ポール 1977
竜の卵 フォワード 198
ソフトウェア ラッカー 1982
ニューロマンサー ギブスン 1984
エンダーのゲーム カード 1985
ブラッド・ミュージック ベア 1985

タフの方舟 マーティン 1986
ハイペリオン4部作 ダン・シモンズ 1989〜
銀河おさわがせ中隊 アスプリン 1990
ジュラシック・パーク クライトン 1993
ヴァーチャル・ガール トムスン 1993
さよならダイノサウルス ソウヤー 1994
万物理論 グレッグ・イーガン 1995
ターミナル・エクスペリメント ソウヤー 1995
ディアスポラ グレッグ・イーガン 1997
キリンヤガ レズニック 1998
あなたの人生の物語 テッド・チャン 2002
しあわせの理由 グレッグ・イーガン 2003

日本国内

復活の日 小松左京 1964
果しなき流れの果に (ハルキ文庫) 小松左京 1966
百億の昼と千億の夜 (ハヤカワ文庫 JA (6)) 光瀬龍 1966
幻想の未来 筒井康隆 1968
マイナス・ゼロ 広瀬正 1970
ボッコちゃん 星新一 1971
日本沈没 小松左京 1973
産霊山秘録 半村良 1973
完本 妖星伝〈1〉鬼道の巻・外道の巻 (ノン・ポシェット)
完本 妖星伝〈2〉神道の巻・黄道の巻 (ノン・ポシェット)
完本妖星伝〈3〉終巻 天道の巻・人道の巻・魔道の巻 (ノン・ポシェット) 半村良 1973〜95
神狩り 山田正紀 1975
宝石泥棒 山田正紀 1980
ハイブリッド・チャイルド 大原まり子 1990
戦闘妖精・雪風＜改＞ 神林長平 2002
アイの物語 山本弘 2006

「立徳の道」から引用

ミステリーの名作

参考：ミステリー・推理小説データベース

文藝春秋編『東西ミステリーベスト100』（2012年）

モルグ街の殺人　モルグ街の殺人事件 ポー 1841年
シャーロック・ホームズの冒険 (創元推理文庫)
シャーロック・ホームズの冒険 新訳シャーロックホームズ全集 コナン・ドイル 1892年
バスカヴィル家の犬 コナン・ドイル 1902年
怪盗紳士ルパン ルブラン 1907年
黄色い部屋の謎 ルルー 1907年
ブラウン神父の童心 チェスタトン 1911年
トレント最後の事件 (創元推理文庫)
トレント最後の事件 乱歩が選ぶ黄金時代ミステリーBEST10(5) (乱歩が選ぶ黄金時代ミステリーBEST10) (集英社文庫) ベントリー 1913
樽 クロフツ 1920年
赤い館の秘密 ミルン 1921年
赤毛のレドメイン家 フィルポッツ 1922年
D坂の殺人事件　江戸川乱歩 1925年
アクロイド殺し アガサ・クリスティー 1926年
シャーロック・ホームズの事件簿 コナン・ドイル 1927年
グリーン家殺人事件 ヴァン・ダイン 1928年
陰獣 江戸川乱歩 1928年
僧正殺人事件 ヴァン・ダイン 1929年
毒入りチョコレート事件 バークリー 1929年
血の収穫（赤い収穫） ハメット 1929年
江戸川乱歩全集 第4巻 孤島の鬼 江戸川乱歩 1930年
マルタの鷹 ハメット 1930年
エジプト十字架の謎 エラリー・クイーン 1932年
Ｘの悲劇 エラリー・クイーン 1932年
Ｙの悲劇 エラリー・クイーン 1932年
帽子収集狂殺人事件 カー 1933年
オリエント急行の殺人 アガサ・クリスティー 1934年
クロイドン発12時30分 クロフツ 1934年
郵便配達夫はいつも二度ベルを鳴らす ケイン 1934年
ナイン・テイラーズ セイヤーズ 1934年

白い僧院の殺人 ディクスン 1934年
黒死館殺人事件 小栗虫太郎 1935年
三つの棺 カー 1935年
ABC殺人事件 アガサ・クリスティー 1935年
ドグラ・マグラ 夢野久作 1935年
怪人二十面相 江戸川乱歩 1936年
火刑法廷 カー 1937年
ナイルに死す クリスティー 1937年
ユダの窓 カーター・ディクスン 1938年
そして誰もいなくなった クリスティー 1939年
さらば愛しき女よ チャンドラー 1940年
幻の女　アイリッシュ 1942年
皇帝のかぎ煙草入れ カー 1942年
本陣殺人事件 横溝正史 1947年
不連続殺人事件 坂口安吾 1948年
刺青殺人事件 高木彬光 1948年
獄門島 横溝正史 1949年
時の娘 テイ 1951年
失踪当時の服装は ウォー 1952年
あなたに似た人 ダール 1953年
長いお別れ チャンドラー 1953年
死の接吻 レヴィン 1953年
はなれわざ ブランド 1955年
黒いトランク 鮎川哲也 1956年
わらの女 アルレー 1956年
点と線　松本清張 1958年
虚無への供物〈上〉　虚無への供物〈下〉 中井英夫 1964年
さむけ ロス・マクドナルド 1964年
笑う警官 シューヴァル＆ヴァールー 1968年
女には向かない職業 ジェイムズ 1972年
キドリントンから消えた娘 デクスター 1976年
夢果つる街 トレヴェニアン 1976年
ホッグ連続殺人 デアンドリア 1979年
薔薇の名前 エーコ 1980年
初秋 パーカー 1981年
偽のデュー警部 ラヴゼイ 1982年
刑事の誇り リューイン 1982年

羊たちの沈黙 ハリス 1988年

「立徳の道」から引用

冒険小説の名作

海底二万里 ヴェルヌ 1869
奇巌城 ルブラン 1909
813 ルブラン 1910
女王陛下のユリシーズ号 アリステア・マクリーン 1955
ロシアから愛をこめて イアン・・フレミング 1957
ナヴァロンの要塞 (ハヤカワ文庫 NV 131) アリステア・マクリーン 1957
寒い国から帰ってきたスパイ ル・カレ 1963
高い砦 バグリイ 1965
興奮 フランシス 1965
深夜プラス1 ライアル 1965
ナヴァロンの嵐 (ハヤカワ文庫 NV 136) アリステア・マクリーン 1968
ジャッカルの日 フォーサイス 1971
シャドー81 ネイハム 1975
鷲は舞い降りた (ハヤカワ文庫NV) ジャック・ヒギンズ 1975
脱出航路 ヒギンズ 1976
大統領に知らせますか？ アーチャー 1977
消されかけた男 フリーマントル 1977
利腕 フランシス 1979
パンドラ抹殺文書 ゾウハー 1980
暗殺者 ラドラム 1980
レッドオクトーバーを追え クランシー 1984

「立徳の道」から引用

グレート・ブックス（５世紀まで）

ギルガメシュ叙事詩 紀元前2000年頃
シヌヘ物語 シヌヘ 紀元前2000年頃
易経 紀元前1500年頃
イリアス〈上〉〈下〉 ホメロス 紀元前800年頃
オデュッセイア〈上〉〈下〉 ホメロス 紀元前800年頃
ウパニシャッド　紀元前8から6世紀
ソクラテス以前哲学者断片集 紀元前7から6世紀
イソップ寓話集 アイソポス 紀元前600年頃
詩経　紀元前600年頃
書経　紀元前600年頃
論語　孔子 紀元前450年頃
墨子 墨子 紀元前5世紀
初期ギリシア自然哲学者断片集 紀元前5世紀
救いを求める女たち アイスキュロス 紀元前5世紀
ペルシア人 アイスキュロス 紀元前5世紀
テーバイ攻めの七将 アイスキュロス 紀元前5世紀
縛られたプロメテウス アイスキュロス 紀元前5世紀
アガメムノーン（オレステイア第1部）ギリシア悲劇 (1) アイスキュロス 紀元前5世紀
供養する女たち（オレステイア第2部）ギリシア悲劇 (1) アイスキュロス 紀元前5世紀
慈みの女神たち（オレステイア第3部）ギリシア悲劇 (1) アイスキュロス 紀元前5世紀
オイディプス王 ギリシア悲劇 (2) ソフォクレス 紀元前5世紀
コロノスのオイディプス ギリシア悲劇 (2) ソフォクレス 紀元前5世紀
アンティゴネ ギリシア悲劇 (2) ソフォクレス 紀元前5世紀
アイアス ソフォクレス 紀元前5世紀
エレクトラ ソフォクレス 紀元前5世紀
トラキスの女たち ソフォクレス 紀元前5世紀
ピロクテテス ソフォクレス 紀元前5世紀
レソス エウリピデス
アルケスティス ギリシア悲劇 (3) エウリピデス 紀元前438年
メデイア ギリシア悲劇 (3) エウリピデス 紀元前431年
ヒッポリュトス ギリシア悲劇 (3) エウリピデス 紀元前428年
ヘラクレスの子供たち エウリピデス
救いを求める女たち エウリピデス
トロイアの女たち ギリシア悲劇 (3) エウリピデス 紀元前415年
イオン エウリピデス

ヘレネ エウリピデス
アンドロマケ エウリピデ
エレクトラ ギリシア悲劇〈4〉/エウリピデス〈下〉 エウリピデス 紀元前413年頃
バッコスの信女 ギリシア悲劇〈4〉/エウリピデス〈下〉 エウリピデス 紀元前405年
ヘカベ エウリピデス
ヘラクレス エウリピデス
フェニキアの女たち エウリピデス
オレステス エウリピデス
タウリケのイピゲネイア エウリピデス
アウリスのイピゲネイア エウリピデス
キュクロプス エウリピデス
著作集 ヒッポクラテス（ヒポクラテス） 紀元前400年頃
歴史 上 中 下 ヘロドトス 紀元前5世紀
戦史 上 中 下 トゥーキュディデース（ツキジデス） 紀元前5世紀
アカルナイの人々 アリストパネス 紀元前425年
騎士 アリストパネス 紀元前424年
雲　ギリシア喜劇〈1〉アリストパネス〈上〉 アリストパネス 紀元前423年
蜂 アリストパネス 紀元前422年
平和 アリストパネス 紀元前421年
鳥　ギリシア喜劇〈2〉アリストパネス 下 アリストパネス 紀元前414年 ＧＷＦ
女の平和　ギリシア喜劇〈2〉アリストパネス 下 アリストパネス 紀元前411年
女だけの祭 アリストパネス 紀元前410年
蛙 アリストパネス 紀元前405年
女の議会 アリストパネス 紀元前392年
福の神 アリストパネス 紀元前388年
詩集　ピンダロス 紀元前5世紀
列子 列子 紀元前400年頃
カルミデス プラトン 紀元前4世紀
リュシス プラトン 紀元前4世紀
ラケス プラトン 紀元前4世紀
プロタゴラス プラトン 紀元前4世紀
エウテュデモス プラトン 紀元前4世紀
クラテュロス プラトン 紀元前4世紀
パイドロス プラトン 紀元前4世紀
イオン プラトン 紀元前4世紀
ソクラテスの弁明 プラトン 紀元前4世紀
クリトン プラトン 紀元前4世紀

ゴルギアス プラトン 紀元前4世紀
饗宴 プラトン 紀元前4世紀
メノン プラトン 紀元前4世紀
エウテュプロン プラトン 紀元前4世紀
パイドン―魂の不死について プラトン 紀元前4世紀
国家〈上〉〈下〉　プラトン 紀元前4世紀
ティマイオス プラトン 紀元前4世紀
クリティアス プラトン 紀元前4世紀
パルメニデス プラトン 紀元前4世紀
テアイテトス プラトン 紀元前4世紀
ソピステス プラトン 紀元前4世紀
政治家（ポリティコス） プラトン 紀元前4世紀
ピレボス プラトン 紀元前4世紀　Ｇ
法律（ノモイ） プラトン 紀元前4世紀
第七書簡 プラトン 紀元前4世紀
カテゴリー論 アリストテレス 紀元前4世紀
命題論 アリストテレス 紀元前4世紀
分析論前書 アリストテレス 紀元前4世紀
分析論後書 アリストテレス 紀元前4世紀 ＧＳ
トピカ アリストテレス 紀元前4世紀
詭弁論駁論 アリストテレス 紀元前4世紀
自然学 アリストテレス 紀元前4世紀
生成消滅論 アリストテレス 紀元前4世紀 ＧＳ
気象論 アリストテレス 紀元前4世紀
ペリ・プシューケース（霊魂論） アリストテレス 紀元前4世紀
動物誌 アリストテレス 紀元前4世紀
動物部分論 アリストテレス 紀元前4世紀
動物運動論 アリストテレス 紀元前4世紀
動物進行論 アリストテレス 紀元前4世紀
動物発生論 アリストテレス 紀元前4世紀
詩学 アリストテレス 紀元前4世紀
政治学 アリストテレス 紀元前4世紀
ニコマコス倫理学〈上〉〈下〉 アリストテレス 紀元前4世紀
アテナイ人の国制 アリストテレス 紀元前4世紀
弁論術 アリストテレス 紀元前4世紀
形而上学 アリストテレス 紀元前4世紀
問題集 アリストテレス 紀元前4世紀

フィリッポス論（第１～第３）　デモステネス 紀元前4世紀
オリュントス論 デモステネス 紀元前4世紀
使節論　デモステネス 紀元前4世紀
栄冠論　デモステネス 紀元前4世紀
キュロスの教育 クセノフォン　紀元前4世紀
春秋左氏伝〈上〉〈中〉〈下〉 左丘明 紀元前4世紀
老子 老子 紀元前4世紀
荘子 第1冊 内篇 (1)　荘子 第2冊 外篇 (2) 荘子 第3冊 外篇・雑篇 (3) 荘子 第4冊 雑篇 (4) 荘子 紀元前4世紀
新訂 孫子 孫子 紀元前4世紀
教説と手紙　エピクロス 紀元前4世紀から3世紀
人さまざま テオフラストス 紀元前4世紀から3世紀
孟子〈上〉〈下〉 孟子 紀元前4世紀から3世紀
荀子 紀元前3世紀
韓非子 (第1冊)(第2冊)(第3冊)(第4冊) 韓非 紀元前3世紀
喜劇集 プラウトゥス 紀元前3世紀
アルゴナウティカ （ロードスの）アポロニウス 紀元前3世紀
ブッダのことばースッタニパータ 紀元前3世紀
法句経（ダンマパダ） 紀元前3世紀
ブッダ悪魔との対話ーサンユッタ・ニカーヤ2 紀元前3世紀
ラーマーヤナーインド古典物語 (上)(下) ヴァールミーキ 紀元前3世紀
原論 エウクレイデス（ユークリッド） 紀元前280年頃
球と円柱について アルキメデス 紀元前225年頃
円周の測定 アルキメデス 紀元前3世紀
円錐と球体について アルキメデス 紀元前3世紀
螺旋について アルキメデス 紀元前225年
平面の釣合について アルキメデス 紀元前3世紀
砂の計算 アルキメデス 紀元前3世紀
放物線の求積 アルキメデス 紀元前3世紀
浮体の原理 アルキメデス 紀元前3世紀
補助定理集 アルキメデス 紀元前3世紀
方法 アルキメデス 紀元前3世紀
円錐曲線論 ペルガのアポロニウス 紀元前3世紀
旧約聖書　聖書ー新共同訳
マハーバーラターー原典訳 (1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8) 紀元前2世紀
ミリンダ王の問い 紀元前2世紀
喜劇 テレンティウス　紀元前2世紀

大学　紀元前2世紀頃
中庸 紀元前1世紀
史記〈1〉覇者の条件　史記〈2〉乱世の群像　史記〈3〉独裁の虚実　史記〈4〉逆転の力学　史記〈5〉権力の構造 (徳間文庫) 司馬遷 紀元前1世紀
史記〈6〉歴史の底流 (徳間文庫)　史記〈1〉本紀 史記〈2〉書・表　史記〈3〉一世家〈上〉 史記〈4〉一世家〈下〉　史記〈5〉一列伝〈1〉 史記〈6〉一列伝〈2〉　史記〈7〉一列伝〈3〉 史記〈8〉一列伝〈4〉 司馬遷 紀元前1世紀
楚辞 劉向 紀元前1世紀
選集　キケロー弁論集　友情について　老年について キケロ 紀元前1世紀
詩集 カトゥルス 紀元前1世紀
詩論 ホラティウス 紀元前1世紀
詩集 ホラティウス 紀元前1世紀
物の本質について　ルクレーティウス 紀元前1世紀
詩集　プロペルティウス 紀元前1世紀
牧歌 ウェルギリウス 紀元前39－38年頃
農耕詩 ウェルギリウス 紀元前38年頃
アエネイス　『アエネーイス』ローマ建国神話 ウェルギリウス 紀元前30年頃
同時代史 タキトゥス 1世紀
年代記 タキトゥス 1世紀
書簡集 小プリニウス 1世紀
恋の技法（アルス・アマトリア） オウィディウス 1世紀
オウィディウス 変身物語〈上〉〈下〉 オウィディウス 1世紀
プルターク英雄伝 プルタルコス 1世紀
書簡集 セネカ 1世紀
人生の短さについて セネカ　1世紀　W賢
新約聖書　聖書一新共同訳 1世紀以降
崇高について ロンギノス 1世紀
内乱（ファルサリア）　ルカヌス 1世紀
サチュリコン　ペトロニウス 1世紀
モーセの律法書の寓意的解釈 アレクサンドリアのフィロン
論衡　王充 100年頃
法華経〈上〉〈中〉〈下〉 1 世紀から2世紀
サトゥラェーー諷刺詩　ユウェナーリス 1 世紀から2世紀
箴言 エピクテトス 1 世紀から2世紀
語録 エピクテトス 1 世紀から2世紀
Kuruntokai　1世紀から3世紀
算術入門 ゲラサのニコマコス 2世紀

ローマ皇帝伝 スエトニウス 2世紀
黄金のろば アプレイウス 2世紀
アレキサンドロス大王東征記 アッリアノス 2世紀
ギリシャ案内記 パウサニアス 2世紀
神々の対話 ルキアノス 2世紀
本当の話 ルキアノス 2世紀
自省録　マルクス・アウレリウス「自省録」 マルクス・アウレリウス 2世紀
シラッパディハーラム イランゴー・アディハル 2世紀
自然の機能について ガレノス 2世紀
アルマゲスト プトレマイオス 150年頃
ピュロン哲学の概要 セクストゥス・エンペイリコス 150－210年頃
エンネアデス　プロティノス　3世紀
イサゴーゲー ポルピュリオス 3世紀
タルムード 3から6世紀
ヨーガ・スートラ　パタンジャリ　300年頃
夢のヴァーサヴァダッター バーサ 4世紀以前
神の詩ーバガヴァッド・ギーター (TAO LAB BOOKS) (TAO LAB BOOKS) 4世紀
ヒンドゥー教の最高の経典。信仰とは何かという点について知りたい場合には、まずこの本から読み始めることを薦める。
カーマ･スートラ ヴァーツヤーヤナ 4世紀
実利論（アルタ・シャーストラ） カウティリヤ 4世紀
真理の福音 4世紀頃
パンチャタントラ　4世紀以降
陶淵明詩集　陶淵明 4世紀から5世
シャクンタラー　シャクンタラー姫 カーリダーサ 4から5世紀
メーガドゥータ（雲の使者） カーリダーサ 4から5世紀
土の小車 シュードラカ王 4 から5世紀
ゼンドアヴェスター 4から6世紀
ラークシャサと印章 ヴィシャーカダッタ 5世紀
唯識二十論 ヴァスバンドゥ（世親） 5世紀
神学綱要 プロクロス 5世紀
告白(上) (下) アウグスティヌス 400年頃
神の国 アウグスティヌス 5世紀初頭
キリスト教の教えについて アウグスティヌス 5世紀

「立徳の道」から引用

グレート・ブックス（１３世紀まで）

戦史 プロコピウス 6世紀
秘史 プロコピウス 6世紀
ムアッラカート　6世紀
憲法十七条 聖徳太子 604年
コーラン 上 中 下 7世紀
詩集　バルトリハリ 7世紀
ベーオウルフ一中世イギリス英雄叙事詩 8世紀前半
六祖壇経 慧能 8世紀
ラーマ王後日物語 バヴァブーティ 8世紀
李白詩選　李白 8世紀 W賢
詩集 王維　8世紀
杜甫詩選　杜甫　8世紀
新版 古事記 現代語訳付き (角川ソフィア文庫)
口語訳 古事記一神代篇 口語訳 古事記一人代篇 太安万侶 8世紀初期
懐風藻 751年
萬葉集釋注〈1〉巻第一・巻第二〈2〉巻第三・巻第四〈3〉巻第五・巻第六〈4〉巻第七・巻第八〈5〉巻第九・巻第十〈6〉巻第十一・巻第十二〈7〉巻第十三・巻第十四〈8〉巻第十五・巻第十六〈9〉巻第十七・巻第十八〈10〉巻第十九・巻第二十 8世紀後期
詩集 アブー・アターヒヤ 8から9世紀
詩集 アブー・ヌワース 8から9世紀
白楽天100選　白居易　8から9世紀
日本霊異記 景戒 8から9世紀
三教指帰 空海 797年
弁顕密ニ教論 空海 815年
十住心論 空海 830年
秘蔵宝鑰 空海 830年
山家学生式 最澄 818年
李賀詩集　李賀 9世紀
ハディース　9世紀
詩集 アブー・タンマーム 9世紀
けちんぼども ジャーヒズ 9世紀
詩集　ムタナッビー 10世紀
伊勢物語 10世紀前半
古今和歌集 紀貫之ほか 905年
土佐日記 紀貫之 10世紀前半

蜻蛉日記 藤原道綱の母 974年以後
往生要集 源信 985年
枕草子ー付現代語訳 (上巻)(下巻) 清少納言 11世紀
源氏物語ー付現代語訳 (第1巻)(第2巻)(第3巻)(第4巻)(第5巻)(第6巻)(第7巻)(第8巻)(第9巻)(第10巻) 紫式部 11世紀
紫式部日記 紫式部 1010年頃
王書(シャー・ナーメ)ーペルシア英雄叙事詩　フィルドゥスィー 1010年
更級日記　菅原孝標女 11世紀半ば
蘇東坡詩選 蘇軾 11世紀
カター・サリット・サーガラ（説話の川の海） ソーマデーヴァ　11世紀
鳩の頸飾り イブン・ハズム 11世紀
政治の書 ニザーム・アル・ムルク 11世紀
マビノーギオン　11世紀
チャウリー・スラタ・パンチャーシカー（忍ぶ恋の歓び50頌）　ビルハナ 11世紀から12世紀
堤中納言物語 11世紀から12世紀
碧厳録　11世紀から12世紀
ミラレパの十万歌　ミラレパ 11世紀から12世紀
詩集　モーゼス・イブン・エズラ 11世紀から12世紀
詩集 ユダ（イェフダ）・ハレビ　12世紀　Wスペイン
ヤクザーの子ハイイの物語　イブン・トゥファイル　12世紀
ルバイヤート オマル・ハイヤーム 12世紀 F必
誤りから救うもの ガザーリー 12世紀 Wペルシア
Sirat 'Antar 12世紀
マカマート アル・ハリーリー 12世紀
ギータゴーヴィンダ（牛飼いの歌） ジャヤデーヴァ　12世紀
アベラールとエロイーズーー愛と修道の手紙 アベラール 12世紀
災厄の記 アベラール 12世紀
ローランの歌 12世紀
大鏡　12世紀初期
わがシードの歌　1140年頃
アレクシアス　アンナ・コムネナ 1148年
今昔物語集 12世紀中期
梁塵秘抄 後白河法皇 12世紀中期
近思録〈上〉〈中〉〈下〉　朱子　1176年
朱文公文集 朱子　12世紀
朱子語類 朱子　12世紀
詩集 陸游　12世紀

カバラ 12世紀
山家集 西行 12世紀後半
鳥の言葉 アッタール 1177年頃
神の書 アッタール 12世紀から13世紀
不決断者の手引（迷える者への導きの書）　マイモニデス 1190年頃
選択本願念仏集 法然 1198年
豹皮の勇士 ルスタヴェリ 12世紀から13世紀
宇治拾遺物語 12世紀末から13世紀初期
平家物語〈1〉〈2〉〈3〉〈4〉 13世紀初期
新訂 新古今和歌集 藤原定家ほか 1205年
トリスタンとイゾルデ　ゴットフリート・フォン･シュトラスブルク 1210年頃
方丈記　鴨長明 1212年
愚管抄 慈円 1220年
ヘイムスクリングラ スノッリ・ストゥルルソン　1230年頃
正法眼蔵〈1〉〈2〉〈3〉〈4〉〈5〉〈6〉〈7〉〈8〉 (講談社学術文庫) 道元 1231－53
薔薇物語　ギヨーム・ド・ロリス＆ジャン・ド・マン　1237－80年
果樹園 サアディー 1257年
薔薇園 サアディー 1258年
立正安国論 日蓮 1260年
神学大全 トマス・アクィナス 1266－73年
精神的マスナヴィー　ルーミー 13世紀
フィーヒ・マーフィーヒ（ルーミー語録） ルーミー 13世紀
ニャールのサガ　13世紀頃
黄金伝説　ヤコブス・デ・ウォラギネ 13世紀
歎異抄 親鸞＆唯円 1290年頃

「立徳の道」から引用

グレート・ブックス（１７世紀まで）

新生 ダンテ 1293年
神曲 上 中　下 ダンテ(1265-1321) 1304－21
東方見聞録　　マルコ･ポーロ 1298年
徒然草　兼好　1330－31
神皇正統記 北畠親房 1339年頃
よき愛の書 フアン・ルイス 1340年頃
わが秘密　ペトラルカ　1342年
カンツォニエーレ ペトラルカ　1342－74年
凱旋　ペトラルカ　ペトラルカ　1352－74年
書簡集 ペトラルカ　14世紀
デカメロン〈上〉〈下〉 ボッカッチオ 1348－53年
大旅行記（三大陸周遊記）　イブン・バットゥータ 1356年
歴史序説 (1) (2) (3) (4)　イブン・ハルドゥーン 1375年
詩集　ハーフィズ　14世紀
トゥローイラスとクリセイデ チョーサー 1380年代
完訳 カンタベリー物語〈上〉〈中〉〈下〉 チョーサー (1340頃-1400)
Chaucer 1393－1400
三国志演義〈1〉〈2〉〈3〉〈4〉〈5〉〈6〉〈7〉 羅貫中 14世紀
水滸伝 (1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)　施耐庵 1400年頃
花伝書一風姿花伝 世阿弥 1400－02
井筒 世阿弥 1430
詩集　ヴィドゥヤパティ・タークル 14世紀から15世紀
千夜一夜物語（アラビアン・ナイト）
アラビアン・ナイト (1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)(16)(17)(18)(別巻) 15世紀
ヴィヨン詩集 ヴィヨン 15世紀
隠れたる神 クザーヌス 15世紀
スリクリシュノキルトン（クリシュナ神賛歌） チョンディダシュ 15世紀
春の園 ジャーミー　1478年
セレスティーナ　　フェルナンド・デ・ロハス 1499年
レオナルド・ダ・ヴィンチの手記 上 下　レオナルド･ダ･ヴィンチ 15世紀後半から16世紀前半
詩集 ミケランジェロ 15世紀から16世紀
手紙　ミケランジェロ 15世紀から16世紀
詩集　カビール　15世紀から16世紀
西遊記〈1〉〈2〉〈3〉〈4〉〈5〉〈6〉〈7〉〈8〉〈9〉〈10〉呉承恩 16世紀
伝習録一「陽明学」の真髄　王陽明 16世紀

唐詩選〈上〉〈中〉〈下〉 16世紀
茶話指月集 千利休 16世紀
ライラーとマジュヌーン　フズーリー 16世紀
痴愚神礼讃 (中公クラシックス) エラスムス 1511年
痴愚礼讃一附 マルティヌス・ドルピウス宛書簡 エラスムス 1511年
対話集　エラスムス 1522年
ユートピア モア　1516年
狂えるオルランド アリオスト 1516年
地獄の船　ビセンテ 1517年
煉獄の船　ビセンテ 1518年
天国の船　ビセンテ 1519年
キリスト者の自由 ルター 1520年
教会のバビロン捕囚 ルター 1520年
宮廷人（廷臣論） カスティリオーネ 1528年
君主論 マキアヴェリ 1532年
ガルガンチュワとパンタグリュエル
ガルガンチュアとパンタグリュエル (1)ガルガンチュアとパンタグリュエル (2) ラブレー 1532－52
キリスト教綱要 カルヴァン 1536
イタリア史　グイッチァルディーニ 1537－40年
チェッリーニ自伝 チェッリーニ 1538－62
天球の回転について コペルニクス 1543
芸術家列伝 ヴァザーリ 1550年
金瓶梅 (1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10) 1567－1606年頃
ウス・ルジーアダス カモンイス 1572年
解放されたエルサレム タッソー 1575年
霊魂の城 アビラの聖女テレサ（テレサ・デ・ヘスス） 1577年
タンバレン大帝　マーロー　1587年
フォースタス博士　マーロー　1589年
マルタ島のユダヤ人　マーロー　1589年
エドワード2世　マーロー　1592年
エセー〈1〉人間とはなにか〈2〉思考と表現〈3〉社会と世界 モンテーニュ 1588年
ベーコン随想集 ベーコン 1597年
学問の進歩 ベーコン 1605年
ノヴム・オルガヌム一新機関 ベーコン 1620年
ニューアトランティス ベーコン 1627年
ヘンリー6世 シェイクスピア 1588～90頃
シェイクスピア全集 (7) リチャード三世 シェイクスピア 1593年頃

間違いの喜劇 シェイクスピア 1594年以前
タイタス・アンドロニカス シェイクスピア 1590年頃
じゃじゃ馬ならし シェイクスピア 1594年
ヴェローナの二紳士 シェイクスピア 1590年代
恋の骨折り損 シェイクスピア 1595－96
ロミオとジュリエット
シェイクスピア全集 (2) ロミオとジュリエット シェイクスピア 1595年頃
シェイクスピア全集 (4) 夏の夜の夢・間違いの喜劇 シェイクスピア 1595年頃
リチャード2世 シェイクスピア 1595年頃
ジョン王 シェイクスピア 1595または96
シェイクスピア全集 (10) ヴェニスの商人 シェイクスピア 1597年頃
ヘンリー四世　第一部 第二部 シェイクスピア全集 白水Uブックス シェイクスピア 1598年頃
空騒ぎ シェイクスピア 1598－99
ヘンリー5世 シェイクスピア 1599
ジュリアス・シーザー シェイクスピア全集 白水Uブックス シェイクスピア 1599年頃
ハムレット
シェイクスピア全集 (1) ハムレット シェイクスピア 1600年頃
お気に召すまま シェイクスピア全集 白水Uブックス シェイクスピア 1600年頃
シェイクスピア全集 (6) 十二夜 シェイクスピア 1601年頃
ウィンザーの陽気な女房たち シェイクスピア 1602
トロイラスとクレシダ シェイクスピア全集 白水Uブックス シェイクスピア 1602年頃
終わりよければ全てよし シェイクスピア 1603－04
オセロー シェイクスピア全集 白水Uブックス シェイクスピア 1604年頃
尺には尺を シェイクスピア全集 白水Uブックス シェイクスピア 1604年頃
シェイクスピア全集 (5) リア王 シェイクスピア 1605年頃
シェイクスピア全集 (3) マクベス シェイクスピア 1606年頃
アントニーとクレオパトラ シェイクスピア全集 白水Uブックス シェイクスピア 1607年頃
コリオレイナス シェイクスピア 1608年頃
アテネのタイモン シェイクスピア 1608年頃
ペリクリーズ シェイクスピア 1608
シンベリン シェイクスピア 1611年以前
冬物語　シェイクスピア 1610
あらし（テンペスト）ーシェイクスピア全集〈8〉 シェイクスピア 1611年頃
ヘンリー8世 シェイクスピア 1613年以前
対訳 シェイクスピア詩集ーイギリス詩人選〈1〉 シェイクスピア 17世紀
ソネット集 シェイクスピア 1609
磁石について ウィリアム・ギルバート 1600

旅行記 エヴリヤ・チェレビ 17世紀
詩集　クシュハール・カーン 17世紀
対訳 ジョン・ダン詩集ーイギリス詩人選〈2〉 ダン 17世紀前半
ドン・キホーテ〈前篇1〉〈前篇2〉〈前篇3〉〈後篇1〉〈後篇2〉〈後篇3〉 セルバンテス 1605ー15
ボルポーネ　ベン・ジョンソン 1606年
エピシーン（物言わぬ女）　ベン・ジョンソン　1609年
錬金術師　ベン・ジョンソン　1610年
バーソロミュー市　ベン・ジョンソン　1614年
フエンテ・オベフーナ ベガ 1612ー14
農場の犬　ベガ 1613ー15
ペリバーニェスとオカーニャの騎士団長 ベガ 1614ー16
オルメドの騎士 ベガ 1620ー25
復讐なき処罰 ベガ 1631年
コペルニクス天文学概要　ケプラー 1618-21
世界の調和 ケプラー 1619
天文対話 ガリレオ 1624年
新科学対話 ガリレオ 1634年
大悪党ドン・パブロスの生涯　ケベード　1626年
夢　ケベード　1627年
動物における血液と心臓の運動について ウイリアム・ハーベー（ハーヴェイ） 1628
血液の循環について ウイリアム・ハーベー
動物の発生について ウイリアム・ハーベー 1651
精神指導の規則 デカルト 1628
キリストの降誕の朝に　ミルトン 1629年
リシダス　ミルトン 1637年
アレオパジティカ　ミルトン 1644年
失楽園 上 下 ミルトン 1667年
闘士サムソン ミルトン 1671
セビーリャの色事師と石の招客 ティルソ・デ・モリーナ 1630年
人の世は夢 カルデロン・デ・ラ・バルカ 1635年
ル・シッド コルネイユ 1636ー37年
オラース コルネイユ 1640年
シンナ　コルネイユ 1640年
ポリュークト コルネイユ 1640年
方法序説 デカルト 1637年
幾何学（『方法序説』の付録） デカルト 1637

省察 デカルト 1641年
省察への批判に対する答弁（『省察』と合本） デカルト 1641
翁問答　中江藤樹 1640年
まぜかえす悪魔　ベレス・デ・ゲバーラ 1641年
リヴァイアサン
リヴァイアサン〈1〉〈2〉〈3〉〈4〉 ホッブズ 1651年
田舎の友への手紙　パスカル 1656－1657
パンセ　パンセ〈1〉〈2〉 パスカル 1670年
サミュエル･ピープス日記 ピープス 1660-70
女房学校（お嫁さんの学校）　女房学校 他2篇 モリエール 1662年
「女房学校」批判 モリエール 1663
タルチュフ モリエール 1664年
ドン・ジュアン モリエール 1665年
人間ぎらい　孤客ーミザントロオプ モリエール 1666年
いやいやながら医者にされ モリエール 1666年
守銭奴 モリエール全集〈7〉金銭と結婚 モリエール 1668年
町人貴族 モリエール 1670年
女学者　モリエール 1672年
気で病む男（病は気から） モリエール 1673年
著作集　ライプニッツ 1663-1716
山鹿語類 山鹿素行 1665年
箴言集　ラ･ロシュフコー　1665年
ラ・フォンテーヌの寓話 ラ・フォンテーヌ 1668～94年
ジンプリチシムスの冒険（阿呆物語）　グリンメルスハウゼン 1669年
ベレニス ラシーヌ 1670
集義和書 熊沢蕃山 1672年
フェードル ラシーヌ 1677
エチカ―倫理学　スピノザ 1677年
天路歴程 バニヤン 1678・84年
好色一代男 井原西鶴 1682年
好色五人女 新編日本古典文学全集 (66) 井原西鶴集 (1)　井原西鶴 1686年
好色一代女 井原西鶴 1686年
日本永代蔵　井原西鶴 1688年
世間胸算用　井原西鶴 1692年
自然哲学の数学的諸原理（プリンキピア） ニュートン 1687
長生殿　洪昇 1688年
詩華集　クルス 1689－1700

寛容に関する書簡 ロック 1689
人間知性論（人間悟性論） ロック 1689年
全訳 統治論 市民政府論 ロック 1689年
光についての論考 ホイヘンス 1690
聊斎志異〈上〉〈下〉 ザ・聊斎志異一聊斎志異全訳全一冊　蒲松齢 17世紀末

「立徳の道」から引用

グレート・ブックス（１８世紀）

詩集 袁枚 18世紀
Sasuntsi Davit (The Saga of Sassoun) 18世紀
芭蕉 おくのほそ道一付・曾良旅日記、奥細道菅菰抄　松尾芭蕉 1702年
芭蕉俳句集 松尾芭蕉
曽根崎心中・冥途の飛脚 他五篇 近松門左衛門 1703年
冥土の飛脚 近松門左衛門 1711年
国姓爺合戦 近松門左衛門 1715年
心中天網島一マンガ日本の古典〈27〉 近松門左衛門 1720年
童子問 伊藤仁斎 1704年
光学 ニュートン 1704
人知原理論 バークレー 1710
読史余論 新井白石 1712年
折たく柴の記 新井白石 1716年
養生訓　貝原益軒 1713年
モナドロジー（単子論） ライプニッツ 1714年
弁道 荻生徂徠 1717年
政談 荻生徂徠 1719年
ロビンソン・クルーソー デフォー 1719年
新しい学 ヴィーコ 1725年
ガリヴァー旅行記 スウィフト 1726年
経済録 太宰春台 1729年
マノン・レスコー　プレボー 1731年
成上がり百姓 マリヴォー 1735－36年
都鄙問答 石田梅岩 1739年
人間本性論　ヒューム 1739－40年
自然宗教をめぐる対話 ヒューム 1779年
哲学書簡　哲学書簡 哲学辞典 ヴォルテール 1733年
ザディーグ　カンディード 他五篇 ヴォルテール 1747年
ルイ14世の世紀 ヴォルテール 1751年
ミクロメガス ヴォルテール 1752年
カンディード　カンディード 他五篇 ヴォルテール 1759年
哲学辞典 ヴォルテール 1764年
自然児 ヴォルテール 1767年
出定後語 富永仲基 1745年
儒林外史　呉敬梓　1745－49頃

仮名手本忠臣蔵
橋本治・岡田嘉夫の歌舞伎絵巻〈1〉仮名手本忠臣蔵　武田出雲 1748年
法の精神〈上〉〈中〉〈下〉 モンテスキュー 1748年
トム・ジョウンズ (1)改版 (2)改版 (3)(4)　フィールディング 1749年
紅楼夢〈1〉〈2〉〈3〉〈4〉〈5〉〈6〉〈7〉〈8〉〈9〉〈10〉〈11〉〈12〉　曹雪芹 1749－63年頃
ファニー・ヒル クレランド 1750年
自然真営道 安藤昌益 1751－64年
百科全書 ディドロ 1751－72
宿屋の女主人 ゴルドーニ 1753年
田舎者 ゴルドーニ 1759年
扇 ゴルドーニ 1764年
英語辞典 サミュエル・ジョンソン 1755
人間不平等起源論 ルソー 1755
政治経済論 ルソー 1755
トリストラム・シャンディ氏の生活と意見 トリストラム・シャンディ 上 (1) 中 (2) 下　スターン 1760－67年
修道女　ディドロ 1760年
ラモーの甥 ディドロ 1761年
運命論者ジャック　ディドロ 1770－78年
社会契約論 ルソー 1762年
エミール ルソー 1762年
告白 上 (1)　中 (2)　下　ルソー 1765－70
孤独な散歩者の夢想 ルソー 1782
ウェークフィールドの牧師 ゴールドスミス 1766年
寒村行　ゴールドスミス 1770年
低く出て勝つ ゴールドスミス 1773年
太平洋探検　クック 1768－79年
エミリア・ガロッティ レッシング 1772年
若きウェルテルの悩み ゲーテ 1774
セヴィラの理髪師 ボーマルシェ 1775年
玄語 三浦梅園 1775年
国富論 アダム・スミス 1776年
アメリカ独立宣言　トマス・ジェファソン 1776年
コモンセンス トマス・ペイン 1776
雨月物語 上田秋成 1776年
胆大小心録 上田秋成 1808年

ローマ帝国衰亡史〈1〉五賢帝時代とローマ帝国衰亡の兆し〈2〉〈3〉コンスタンティヌスとユリアヌス〈4〉西ゴート族侵入とテオドシウス〈5〉第31 - 38章一アッティラと西ローマ帝国滅亡〈6〉ユスティニアヌスとビザンティン帝国〈7〉東ローマ帝国とシャルルマーニュ大帝〈8〉マホメットとサラセン帝国〈9〉十字軍と頽勢のビザンティン文明
ローマ帝国衰亡史〈10〉メフメット二世と東ローマ帝国滅亡 ギボン 1776－88年
悪口学校　シェリダン 1777年
アメリカ連合規約 1777
バーンズ詩選 バーンズ 18世紀末
対訳 ブレイク詩集一イギリス詩人選〈4〉 ブレイク 18世紀から19世紀
ヘルダーリン詩集　ヘルダーリン 18世紀末から19世紀
詩集　ワーズワース 18世紀末から19世紀
純粋理性批判 〈上〉〈中〉〈下〉 カント 1781年
プロレゴーメナ カント 1783年
道徳形而上学原論 カント 1785年
実践理性批判 カント 1788年
判断力批判 カント 1790
永遠平和のために カント 1795年
人倫の形而上学 カント 1797
危険な関係 ラクロ 1782
蕪村句集 与謝蕪村 1784年
アメリカ合衆国憲法 1787
ザ・フェデラリスト　ハミルトン／マディソン／ジェイ 1787年
エグモント ゲーテ 1788年
詩集 ゲーテ 18世紀末から19世紀前半
ドン・カルロス　シラー　1787年
マリーア・シュトゥアルト シラー 1800年
道徳と立法の諸原理序説 ベンサム 1789
化学原論 アントワーヌ・ラヴォアジエ 1789
フランス革命の省察 バーク 1790
人間の権利 ペイン 1791－92
サミュエル・ジョンソン伝
ジョンソン博士の言葉　ボズウェル 1791
回想録　カサノヴァ 1791
フランクリン自伝 フランクリン 1791
女性の権利の擁護 ウルストンクラフト 1792
政治的正義論 ゴドウィン 1793
全知識学の基礎 フィヒテ 1794

玉勝間 本居宣長 1795
源氏物語玉の小櫛 本居宣長 1799
悪徳の栄え サド 1797
人口論 マルサス 1798

「立徳の道」から引用

グレート・ブックス（１９世紀）

東海道中膝栗毛 上 (1) 下　岩波文庫　十返舎一九 1802－09年
こわれ甕 クライスト 1806年
ペンテジレーア クライスト 1808年
ミヒャエル・コールハース クライスト 1810年
精神現象学 (上) (下)　ヘーゲル 1807年
法の哲学〈1〉〈2〉 ヘーゲル 1821年
歴史哲学講義 (上)(下)　ヘーゲル 1837年
ファウスト〈第1部〉〈第2部〉 ゲーテ 1808－31
親和力 ゲーテ 1809
詩と真実 ゲーテ 1811－31
イタリア紀行 ゲーテ 1816
人間的自由の本質 シェリング 1809年
神話の哲学 シェリング 1842年
稽古談 海保青陵 1813年
高慢と偏見 上 下　オースティン 1813年
エマ オースティン 1815年
ウェーバリー　スコット 1814年
南総里見八犬伝　曲亭馬琴 1814－42年
夢の代 山片蟠桃 1820年
おらが春 小林一茶 1820年
メデア グリルパルツァー 1821年
ドン・ジュアン バイロン 1821年
詩集　ガーリブ 19世紀
コウルリッジ詩集ー対訳 コウルリッジ 19世紀前半
ポオ小説全集１２３４　ポオ（ポー） 19世紀前半
ポー詩集ー対訳 ポオ（ポー） 19世紀前半
レオパルディ詩集　レオパルディ カンティ レオパルディ 19世紀前半
ソネッティ・ロマネスキ　ベッリ　19世紀前半
対訳 キーツ詩集ーイギリス詩人選〈10〉 (岩波文庫) キーツ 19世紀前半
自殺について ショーペンハウアー 19世紀前半
知性について ショーペンハウアー 19世紀前半
読書について ショーペンハウアー 19世紀前半
意志と表象としての世界 ショーペンハウアー 1819年
詩集　ペテーフィ 19世紀前半
阿片常用者の告白 ディ・クインシー 1822年

熱の解析的理論 フーリエ 1822
オネーギン プーシキン　1823－31年
大尉の娘　プーシキン 1836年
エリアのエッセイ チャールズ・ラム 1823－33年
古道大意 平田篤胤 1824年
日本外史 上 改訳 (1)中 改訳 (2)下 改訳 頼山陽 1826年
のらくら者の日記　　アイヒェンドルフ 1826年
婚約者（いいなづけ） マンゾーニ 1827年
赤と黒〈上〉〈下〉　スタンダール 1830年
パルムの僧院 (上) (下)　スタンダール 1839年
エルナニ　ユゴー 1830年
ノートルダム・ド・パリ　　ユゴー 1831年
レ・ミゼラブル ユゴー 1862年
実証哲学講義 コント 1830－42年
人間喜劇 バルザック 1829－50頃
知られざる傑作　バルザック 1831年
ウジェニー・グランデ　バルザック全集 第5巻 (5) バルザック 1833年
ゴリオ爺さん (上) (下)　バルザック 1835年
幻滅 バルザック 1843年
従妹ベット バルザック 1846年
戦争論 クラウゼヴィッツ 1832
パン･タデウシュ　ミツキエヴィッチ 1834年
カレワラ　1834－49年
童話集 アンデルセン 1835年
アメリカの民主政治〈上〉〈中〉〈下〉 トックヴィル 1835－40年
ボズのスケッチ ディケンズ 1836年
ピクウィック・ペーパーズ一新訳 (上巻)(下巻) ディケンズ 1836～37年
オリバー・ツイスト ディケンズ 1838
骨董屋 ディケンズ 1840～41年
デーヴィッド・コパーフィールド ディケンズ 1849～50年
荒涼館 ディケンズ 1852～53
困難な時世（ハード・タイムズ） ディケンズ 1854年
リトル・ドリット ディケンズ 1855～57年
二都物語 ディケンズ 1859年
大いなる遺産 (上巻)(下巻) ディケンズ 1860～61年
共通の友 ディケンズ 1864～65年
自然について エマソン 1836年

アメリカの学者　自然について エマソン 1837年
エッセー集 エマソン 1841・44年
代表的人物 エマソン 1850年
処世論 エマソン 1860年
慎機論 渡辺崋山 1838年
ビーグル号航海記 ダーウィン 1839年
種の起原〈上〉〈下〉 ダーウィン 1859年
人間の進化と性淘汰 ダーウィン 1871年
鼻 ゴーゴリ 1832年
死せる魂　ゴーゴリ　1842年
外套 ゴーゴリ　1842年
あれか、これか キェルケゴール（キルケゴール） 1843年
おそれとおののき キェルケゴール（キルケゴール） 1843
哲学的断片 キェルケゴール（キルケゴール） 1844年
不安の概念 キェルケゴール（キルケゴール） 1844年
人生行路の諸段階 キェルケゴール（キルケゴール） 1845年
死に至る病 キェルケゴール（キルケゴール） 1849年
三銃士 (上巻) (下巻) (角川文庫) デュマ（父） 1844
モンテ・クリスト伯 デュマ（父） 1844
嵐が丘 エミリ・ブロンテ 1847年
ジェーン・エア (上)(下) シャーロット・ブロンテ 1847年
虚栄の市〈1〉〈2〉〈3〉〈4〉 サッカレー 1847－48年
ドイツ・イデオロギー マルクス／エンゲルス 1845～46年
共産党宣言 マルクス 1848年
資本論 (1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9) マルクス 1867年
家族・私有財産・国家の起源 エンゲルス 1884年
市民の抵抗 ソロー 1849年
森の生活〈上〉〈下〉ウォールデン　ソロー 1854年
緋文字 ホーソーン 1850年
墓の彼方の記　シャトーブリアン 1850年
白鯨 上　中　下　メルヴィル 1851年
バートルビー メルヴィル 1856年
ラベングロ　ボロー 1851年
The Romany Rye ボロー 1857年
講孟余話 吉田松陰 1854年
メディナおよびメッカ巡礼の個人的物語　バートン 1855－56
The Warden トロロープ 1855年

The Last Chronicle of Barset トロロープ 1867年
The Eustace Diamonds トロロープ 1873年
The Way We Live Now トロロープ 1875年
自叙伝 トロロープ 1883年
ボヴァリー夫人 フローベール 1856年
感情教育〈上〉〈下〉 (岩波文庫) フローベール 1869年
悪の華 ボードレール 1857年
雷雨 A.N.オストロフスキー 1859年
オブローモフ　ゴンチャロフ 1859年
電気の実験的研究 ファラデー 1859
自由論 J.S.ミル 1859年
代議制統治論 J.S.ミル 1861年
功利主義 J.S.ミル 1863年
女性の隷従　女性の解放 J.S.ミル 1869年
ミル自伝 J.S.ミル 1873年
フロス川の水車場 ジョージ・エリオット 1860年
ミドルマーチ〈1〉〈2〉〈3〉〈4〉 ジョージ・エリオット 1871－72年
父と子　ツルゲーネフ 1862年
レ・ミゼラブル ユゴー 1862
死の家の記録 ドストエフスキー 1862
第一原理 スペンサー 1862
アマゾン河の博物学者 ヘンリー・ウォルター・ベイツ　1863年
戦争と平和(1)(2)(3)(4)　トルストイ 1864－69年ニT
アンナ・カレーニナ〈上〉〈中〉〈下〉　トルストイ 1873－76年
イヴァン・イリッチの死 トルストイ 1886年
クロイツェル・ソナタ トルストイ 1890
復活 トルストイ 1899年
不思議の国のアリス キャロル 1865年
鏡の国のアリス キャロル 1872年
ムツェンスク郡のマクベス夫人　レスコーフ 1865年
僧院の人々　レスコーフ 1872年
魅せられた旅人　レスコーフ 1873年
地下室の手記 ドストエフスキー 1864年
罪と罰〈上〉〈中〉〈下〉ドストエフスキー 1866年
白痴 ドストエフスキー 1868年
悪悪霊 (上巻)(下巻) ドストエフスキー 1871－72年
カラマーゾフの兄弟 上〈中〉下　ドストエフスキー 1878年

ブラン　原典による イプセン戯曲全集〈第2巻〉　イプセン 1866年
ペール・ギュントーグリーク音楽物語　イプセン 1867年
社会の柱　原典によるイプセン戯曲全集〈第3巻〉 イプセン 1877年
人形の家 イプセン 1879年
幽霊 イプセン 1881年
民衆の敵 イプセン 1882年
野鴨 イプセン 1884年
ヘッダ・ガーブレル イプセン 1890年
棟梁ソルネス イプセン 1892年
われら死者のめざめる時 イプセン 1899年
テレーズ･ラカン ゾラ 1867年
居酒屋 ゾラ 1877年
ジェルミナール ゾラ 1885年
若草物語 オールコット 1868
海底二万里 (創元SF文庫) ヴェルヌ 1870
西郷南洲遺訓一附・手抄言志録及遺文 西郷隆盛 1870年
学問のすすめ 福沢諭吉 1872年
文明論之概略 福沢諭吉 1875年
福翁自伝　新訂 福翁自伝 福沢諭吉 1898－99年
八十日間世界一周 ヴェルヌ 1873
電気磁気論 マクスウェル 1873
百一新論 西周 1874年
神父アマーロの罪　ケイロース 1875年
マイア家の人々　ケイロース 1888年
トム・ソーヤの冒険 マーク・トウェイン 1876年
王子と乞食 マーク・トウェイン 1881
ハックルベリ・フィンの冒険ートウェイン完訳コレクション (角川文庫)　マーク・トウェイン 1884年
皇帝の密使ミハイル・ストロゴフ ヴェルヌ 1876
日本開化小史 田口卯吉 1877
家なき子 マロ 1878
ヴォイツェク ビューヒナー 1879
ゴロブリョフ家の人々　サルティコフ＝シチェドリン　1880年
ある婦人の肖像　ヘンリー・ジェームズ 1881年
マラボリア家の人々　ヴェルガ 1881年
田園小説集　ヴェルガ 1883年
マストロ・ドン・ジェズアルド　ヴェルガ 1889年

完訳 宝島 スティーヴンスン 1881-2年
人権新説 加藤弘之 1882年
悲劇の誕生 ニーチェ 1872年
ツァラトゥストラはこう言った 上 下 ニーチェ 1883－85
善悪の彼岸 ニーチェ 1886年
道徳の系譜 ニーチェ 1887年
偶像の黄昏 ニーチェ 1889年
ピノキオ コロディ 1883
二宮翁夜話 二宮尊徳 1884年
小説神髄 坪内逍遥 1885－86年
過去　ジョン･ラスキン 1885－89年
雑種植物の研究 メンデル 1886
将来之日本 徳富蘇峰 1886年
カスタブリッジの市長　ハーディー 1886年
日陰者ジュード ハーディ ー 1895年
フォルトゥナータとハシンタ　ペレス・ガルドス 1886－87年
ナサリン　ペレス・ガルドス 1895年
アルマ　ペレス・ガルドス 1895年
慈悲　ペレス・ガルドス 1897年
三酔人経綸問答 中江兆民 1897年
浮雲　二葉亭四迷 1887－88年
令嬢ジュリー　ストリンドベリ 1888年
ダマスカスへ ストリンドベリ 1898－1904
死の舞踏　ストリンドベリ 1901年
幸福な王子　ワイルド 1888年
ドリアン・グレイの肖像　ワイルド 1891年
サロメ　ワイルド 1893年
獄中記　ワイルド 1905年
ゴッホの手紙 ゴッホ 19世紀後半
ディキンソン詩集
対訳 ディキンソン詩集ーアメリカ詩人選〈3〉　ディキンソン 19世紀後半
シャーロック・ホームズ全集 コナン・ドイル 19世紀後半
ランボー全詩集　ランボー 19世紀後半
短編集　モーパッサン 19世紀後半
脂肪の塊 モーパッサン 1880年
女の一生 モーパッサン 1883年
ホプキンズ詩集 ホプキンズ 19世紀後半

ホイットマン詩集ー対訳　　ホイットマン 19世紀
草の葉 (上)　草の葉 (中)　草の葉 (下) ホイットマン 1855ー92年
論文集 パース 19世紀後半から20世紀前半
ホーフマンスタール選集　ホフマンスタール 19世紀末から20世紀前半
イエーツ詩集 イエーツ 19世紀末から20世紀前半
戯曲集 イエーツ 19世紀末から20世紀前半
自叙伝 イエーツ 1927年
ボートの三人男 ジェローム 1889
飢え ハムスン 1890年
金枝篇　フレイザー 1890
舞姫 ヰタ・セクスアリスー森鴎外全集〈1〉 ちくま文庫 森鴎外　1890年
かのように 森鴎外　1912年
渋江抽斎 森鴎外 1923
金枝篇 フレーザー 1890
社会的分化論 ジンメル 1890年
飢え　ハムスン　1890年
神秘　ハムスン　1892年
心理学原理　ウィリアム・ジェイムズ 1890年
真善美日本人 三宅雪嶺 1891年
織工　　ハウプトマン 1892年
ビーバーの外套　ハウプトマン 1893年
ハンネレの昇天　ハウプトマン 1893年
馭者ヘンシェル　ハウプトマン 1898年
ローゼ・ベルント　ハウプトマン 1903年
人生に相渉るとは何の謂ぞ 北村透谷 1893年
武器と人　バーナード・ショー 1894年
キャンディダ　バーナード・ショー 1895
にんじん ルナール 1894
ジャングル・ブック キプリング 1895
エフィ・ブリースト フォンターネ 1895年
タイム・マシン ウェルズ 1895年
余は如何にして基督信徒となりし乎 内村鑑三 1895年
にごりえ 樋口一葉 1895年
ヒステリー研究 フロイト 1895
かもめ　チェーホフ 1896年
ワーニャ伯父さん　ワーニャおじさん チェーホフ 1897年
三人姉妹　桜の園・三人姉妹 チェーホフ 1900年

桜の園　チェーホフ 1903年
シラノ・ド・ベルジュラック ロスタン 1897年
氷川清話 勝海舟 1897年
武蔵野　国木田独歩 1897年
ナーシサス号の黒人 コンラッド 1897
歌よみに与ふる書 正岡子規 1898年
有閑階級の理論 ヴェブレン 1899
ロード・ジム コンラッド 1900
高野聖 泉鏡花 1900年
富の福音 カーネギー 1900
夢判断 上下 フロイト 1900年
武士道 新渡戸稲造 1900
思出の記　徳富蘆花　1900－01年
小品集　セーデルベリィ　19世紀から20世紀
医師グラス　セーデルベリィ　1905年

「立徳の道」から引用

グレート・ブックス（１９０１－４４年）

キム キプリング 1901
みだれ髪 与謝野晶子 1901
二十世紀の怪物帝国主義 幸徳秋水 1901
精神主義 清沢満之 1901－02年
ブッデンブローク家の人びと 上 (1) 中 (2) 下　トーマス・マン 1901年
ヴェニスに死す トーマス・マン 1912年
魔の山〈上〉〈下〉 トーマス・マン 1924年
ヨゼフとその兄弟たち トーマス・マン 1933～43年
どん底 ゴーリキー 1902年
科学と仮説 ポアンカレ 1902
闇の奥 コンラッド 1902
宗教的経験の諸相 ウィリアム・ジェイムズ 1902
東洋の理想 岡倉天心 1902年
茶の本 岡倉天心 1906
何をなすべきか　レーニン 1902年
帝国主義 レーニン 1916年
国家と革命 レーニン 1917年
ヘルカの歌　レイノ　1903－16年
悪魔の弟子 バーナード・ショー 1901年
シーザーとクレオパトラ バーナード・ショー 1901年
人と超人 バーナード・ショー 1903年
バーバラ少佐 バーナード・ショー 1905年
アンドロクレスと獅子 バーナード・ショー 1913年
ピグマリオン バーナード・ショー 1913年
傷心の家 バーナード・ショー 1919年
メトセラに還れ バーナード・ショー 1921年
聖ジョーン バーナード・ショー 1923年
詩集　サン＝ジョン・ペルス 20世紀
選集 クローチェ 20世紀前半
ジャングルの猛獣 ヘンリー・ジェームズ 1903
使者たち ヘンリー・ジェームズ 1903
鳩の翼 ヘンリー・ジェームズ 1903
荒野の呼び声 ロンドン 1903
社会主義神髄 幸徳秋水 1903
神智学 シュタイナー 1904年

怪談 ハーン（小泉八雲） 1904
ノストローモ コンラッド 1904年
密偵 コンラッド 1907年
西欧人の眼に コンラッド 1911年
ジャン・クリストフ ロラン 1904〜11
故マッティア・パスカル氏 ピランデッロ 1904年
モン・サン・ミシェルとシャルトル ヘンリー・アダムズ 1904年
ヘンリー・アダムズの教育 ヘンリー・アダムズ 1906年
歓楽の家　イーディス・ウォートン 1905年
The Custom of the Country　イーディス・ウォートン 1913年
無邪気な時代　イーディス・ウォートン 1920年
吾輩は猫である 夏目漱石 1905年
坊っちゃん 夏目漱石 1906年
三四郎 夏目漱石 1908年
それから 夏目漱石 1909年
門 夏目漱石 1910年
こころ 夏目漱石 1914年
明暗 夏目漱石 1917年
性に関する３つの論文 フロイト 1905
児童の性教育について フロイト 1907
精神分析療法の今後の可能性 フロイト 1910
乱暴な分析について フロイト 1910
精神分析の起源と発展 フロイト 1910
ナルシシズム論 フロイト 1914
本能とその運命 フロイト 1915
抑圧 フロイト 1915
無意識について フロイト 1915
戦争と死に関する時評 フロイト 1915
精神分析入門 上下 フロイト 1916・32
快感原則の彼岸（快原理の彼岸） フロイト 1920
集団心理学と自我の分析 フロイト 1921
自我とエス フロイト 1923
制止、症状、不安 フロイト 1926
文明への不満（文化への不満） フロイト 1930
続・精神分析入門 フロイト 1933
プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神 ウェーバー 1905
特殊相対性理論 アインシュタイン 1905

現代日本教会史論 山路愛山 1906年
読書について プルースト 1906
車輪の下 ヘッセ 1906
破戒 島崎藤村 1906年
夜明け前 島崎藤村 1932年
蒲団 田山花袋 1907年
笑い ベルクソン 1900年
形而上学入門 ベルクソン 1903
創造的進化 ベルクソン 1907年
木曜の男 チェスタトン 1908
プラグマティズム ウィリアム・ジェイムズ 1908
草迷宮 泉鏡花 1908
歌行燈 泉鏡花 1910
日本の禍機 朝河貫一 1909年
狭き門 ジイド 1909
ブラウン神父シリーズ　ブラウン神父の童心　ブラウン神父の知恵　ブラウン神父の不信　ブラウン神父の秘密　ブラウン神父の醜聞
チェスタトン 20世紀前半
詩集　ニラーラー　 20世紀前半
詩集　ペソア 20世紀前半
造形思考　パウル・クレー 20世紀前半
クレーの日記 パウル・クレー 20世紀前半
詩集 マンデリシュターム 20世紀前半
詩集 ビアリク 20世紀前半
The Restlessness of Shanti Andia バローハ 20世紀前半
ヌサンタラの夜明け ハイリル・アンワル 20世紀前半
詩集 スティーブンズ 20世紀前半
詩集 ツヴェターエヴァ 20世紀前半
詩集 バリェホ　 20世紀前半
詩集 マヤコフスキー 20世紀前半
不穏の書 ペソア 20世紀前半 Nポルトガル
吉野作造評論集 吉野作造 20世紀前半
寺田寅彦随筆集 寺田寅彦 20世紀前半
石橋湛山評論集 石橋湛山 20世紀　 賢
詩集 グレーブズ　20世紀
詩集 フロスト 20世紀 F米国
短編集 ヘミングウェイ 20世紀

詩集 オーデン 20世紀
一握の砂 石川啄木 1910　文
時代閉塞の現状 石川啄木 1910年
ギータンジャリ タゴール 1910年
プリンキピア・マテマティカ ラッセル＆ホワイトヘッド 1910
ハワーズ・エンド フォースター 1910
マルテの手記　リルケ 1910年
ドゥイノの悲歌　リルケ 1923年
リルケ詩集　リルケ 19世紀末から20世紀前半
遠野物語 柳田國男 1910
青年と学問 柳田國男 1926
木綿以前の事 柳田國男 1939
海上の道 柳田國男 1961
ざくろ石の腕輪　クプリ-ン　1911年
数学入門 ホワイトヘッド 1911
善の研究 <全注釈> 西田幾多郎 1911年
西田幾多郎哲学論集 西田幾多郎 1935－46年
西田幾多郎随筆集 西田幾多郎 20世紀前半
芸術における精神的なもの カンディンスキー 1912
経済発展の理論 シュンペーター 1912
哲学入門 ラッセル 1912
赤光 斉藤茂吉 1913年
イデーン フッサール 1913年
息子と恋人 (上巻) (中巻) (下巻) (新潮文庫)　D.H. ロレンス 1913年
プロシア士官 D.H. ロレンス 1914
恋する女たち D.H. ロレンス 1920年
チャタレイ夫人の恋人 (新潮文庫) D.H. ロレンス 1928年
映画がある。1995年、イギリス。
生の悲劇的感情　ウナムノ 1913年
抄訳版 失われた時を求めて〈1〉〈2〉〈3〉
失われた時を求めて〈1 第1篇〉スワン家のほうへ〈2 第2篇〉花咲く乙女たちのかげに 1〈3 第2篇〉花咲く乙女たちのかげに 2〈4 第3篇〉ゲルマントのほう 1〈5 第3篇〉ゲルマントのほう 2〈6 第4篇〉ソドムとゴモラ 1〈7〉〈8 第5篇〉囚われの女〈9 第6篇〉逃げさる女〈10 第7篇〉見出された時 プルースト　1913－27年
生の闘争 大杉栄 1914年
十二支考 南方熊楠 1914－23年
あらくれ 徳田秋声 1915年

家と世界 タゴール 1915
人間の絆 モーム 1915
変身　変身 他一篇 カフカ　 1915年
審判　カフカ 1925年
城　 カフカ 1926年
羅生門　 芥川竜之介 1915年
芋粥　 芥川竜之介 1916年
奉教人の死　 芥川竜之介 1918年
袈裟と盛遠　 芥川竜之介 1918年
竜　 芥川竜之介 1919年
藪の中　 芥川竜之介 1922年
キャントーズ　 パウンド 1915－72年
虐げられし人々 アスエラ 1916年
ソシュール一般言語学講義ーコンスタンタンのノート ソシュール 1916年
民主主義と教育 デューイ 1916年
若い芸術家の肖像 ジョイス 1916
貧乏物語 河上肇 1916年
出家とその弟子 倉田百三 1916
憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず 吉野作造 1916
わが相対性理論 アインシュタイン 1916
一般社会学提要 パレート 1916
文学に現はれたる我が国民思想の研究 津田左右吉 1916～25
月に吠える 萩原朔太郎 1917年
半七捕物帳 岡本綺堂 1917～36
摘録 断腸亭日乗〈上〉〈下〉 永井荷風 1917～59
ぼく東綺譚 永井荷風 1937
西洋の没落 シュペングラー 1918～22
狂人日記 魯迅 1918年
故郷 魯迅 1921年
阿Q正伝 魯迅 1921－22年
故事新編 魯迅 1936年
大菩薩峠 中里介山 1918～51
近世日本国民史 徳富蘇峰 1918～52
中世の秋〈1〉〈2〉 ホイジンガ 1919年
ホモ・ルーデンス ホイジンガ 1938
精神の危機 ヴァレリー 1919年
或る女 有島武郎 1919年

古事記及び日本書紀の研究 津田左右吉 1919
日本改造法案大綱 北一輝 1919
古寺巡礼 和辻哲郎 1919
小僧の神様 志賀直哉 1920年
暗夜行路 志賀直哉 1937
職業としての学問 ウェーバー 1919年
経済と社会 ウェーバー 1921～22年
物欲の社会 トーニー 1920
チボー家の人々 デュ＝ガール 1920～40
作者を探す六人の登場人物 ピランデッロ 1921
心理学的タイプ ユング 1921
冥途 内田百閒 1921年
旅順入城式 内田百閒 1925年
無脊椎のスペイン　オルテガ・イ・ガセット 1921年
大衆の反逆 オルテガ・イ・ガセット 1930年
水と原生林のはざまで シュヴァイツァー　1921年
わが生活と思想より　シュヴァイツァー 1931年
兵士シュヴェイクの冒険　ハシェク 1921－22年
政治神学 シュミット 1922年
論理哲学論考　ヴィトゲンシュタイン 1922年
ダブリンの市民 ジョイス 1914年
ユリシーズ〈1〉〈2〉〈3〉〈4〉 ジョイス　1922年
フィネガンズウェイク ジョイス　1939年
荒地　荒地・ゲロンチョン 新装版 T.S.エリオット 1922年
エリオット詩集　T.S.エリオット 20世紀
キャッツ T.S.エリオット 1939年
４つの四重奏 T.S.エリオット 1943年
カクテル・パーティ T.S.エリオット 1949年
我と汝 ブーバー 1923年　賢Ｓ
ゼーノの苦悶 ズヴェーヴォ　1923年
迷える夫人 ウィラ・キャザー 1923
ガンマンの影　オケーシー　1923年
ジュノーと孔雀　オケーシー　1924年
鋤と星　オケーシー　1926年
三民主義 孫文 1924
シュルレアリスム宣言 ブルトン 1924年
インドへの道 フォースター 1924年

われら　ザミャーチン 1924年
神の言葉と神学 カール・バルト 1924
春と修羅 宮澤賢治 1924
銀河鉄道の夜 宮澤賢治 1927～33年
科学と近代世界　ホワイトヘッド 1925
マンハッタン乗換駅 ドス・パソス 1925
グレート・ギャツビー (村上春樹翻訳ライブラリー) フィッツジェラルド 1925
わが闘争 上下一完訳 ヒトラー 1925～28
ダロウェイ夫人　ウルフ 1925年
灯台へ (岩波文庫) ウルフ 1927年
オーランドー ウルフ 1928年
波 ウルフ 1931年
日はまた昇る ヘミングウェイ 1926
騎兵隊 バーベリ 1926年
オデッサ物語 バーベリ 1927年
藁のハンドル（フォード自伝） フォード 1926
黄金 トレイヴン 1927
存在と時間〈上〉〈下〉 ハイデッガー 1927年
ガンジー自伝 M.K.ガンディー　1927－29年
自我と無意識 ユング 1928年
ナジャ ブルトン 1928
押絵と旅する男 江戸川乱歩 1928年
卍 谷崎潤一郎 1928
ジプシー歌集 ガルシア・ロルカ 1928年
血の婚礼 ガルシア・ロルカ 1933年
イェルマ ガルシア・ロルカ 1934年
ベルナルダ・アルバの家 ガルシア・ロルカ 1936年
詩集 ガルシア・ロルカ 20世紀前半
三文オペラ ブレヒト 1928
形而上学とは何か ハイデッガー 1929
古代研究 折口信夫 1929
様々なる意匠 Xへの手紙・私小説論 小林秀雄 1929年
無常といふ事 無常といふ事・モオツァルト 小林秀雄 1942
モオツァルト 無常といふ事・モオツァルト 小林秀雄 1946年
ベルリン・アレクサンダー広場　デーブリン 1929年
大地のうた ビブティブション・ボンドパッダエ 1929年
武器よさらば ヘミングウェイ 1929

響きと怒り　フォークナー 1929年
死の床に横たわりて フォークナー 1930年
サンクチュアリ フォークナー 1931年
エミリーにバラを フォークナー 1931
八月の光 フォークナー 1932
アブサロム、アブサロム!〈上〉〈下〉 フォークナー 1936年
恐るべき子供たち コクトー 1929年
西部戦線異状なし レマルク 1929
「いき」の構造 久鬼周造 1930年
機械 横光利一 1930年
U.S.A. ドス＝パソス 1930〜38
永続革命論 トロツキー 1930
特性のない男 1 2 3 4 5 6 ムージル 1930－52年
量子力学の物理的基礎 ハイゼンベルク 1930
価格と生産 ハイエク 1931
プリンキピア・マテマティカおよび関連体系における形式的に決定不可能な命題について ゲーデル 1931
大地 バック 1931
喪服の似合うエレクトラ オニール 1931年
夜への長い旅路 オニール 1940年
氷人来たる オニール 1946年
見事な新世界
すばらしい新世界 ハクスリー 1932年
夜の果ての旅
夜の果てへの旅〈上〉〈下〉 セリーヌ 1932年
ラデツキー行進曲 ロート 1932
観念の冒険 ホワイトヘッド 1933年
アジアにおける一野蛮人 ミショー 1933
膨張する宇宙 エディントン 1933
The Masters and the Slaves　ジルベルト・フレイレ 1933年
大邸宅と奴隷小屋　ジルベルト・フレイレ 1936年
Order and Progress ジルベルト・フレイレ 1959年
吉野葛 谷崎潤一郎 1931
春琴抄 谷崎潤一郎 1933年
陰翳礼讃 谷崎潤一郎 1933
細雪 谷崎潤一郎 1943－48
鍵 谷崎潤一郎 1956年

日本資本主義分析 山田盛太郎 1934
科学的発見の論理 ポパー 1934
ビルマの日々 オーウェル 1934年
動物農場 オーウェル 1945年
1984年 オーウェル 1949年
歴史の研究 トインビー 1934～61　文
理性と実存 ヤスパース 1935年
風土ー人間学的考察 和辻哲郎 1935年
独立の民 ラクスネス 1934－35年
北回帰線 ヘンリー・ミラー 1934
南回帰線 ヘンリー・ミラー 1939
ドグラ・マグラ　夢野久作 1935年
村の家 中野重治 1935年
盲目の梟　ヘダーヤト 1935年
グリーン・チャイルド　ハーバート･リード 1935年
ハーバート･リード自伝 ハーバート･リード 1940年
雪国 川端康成　1935－48
日本の橋 保田與重郎 1936年
フランシス・マカンバーの短い幸福な生涯 ヘミングウェイ 1936
ヨーロッパ諸学の危機と超越論的現象学 フッサール 1936
雇用、利子および貨幣の一般理論 上 下 ケインズ 1936
Juan de Mairena マチャード 1936年
ベンヤミン「複製技術時代の芸術作品」精読 (岩波現代文庫) ベンヤミン 1936年
自叙伝 ネルー 1936年
短編集 プレームチャンド 20世紀前半
牛供養　　プレームチャンド 1936年
風と共に去りぬ (1)(2)(3)(4)(5) ミッチェル 1936
宮本武蔵 吉川英治 1936～39
人を動かす　新装版 デール・カーネギー 1936年
道は開ける　新装版 デール・カーネギー 1944年
人生をいかに生きるか 林語堂 1937年
フェルディドゥルケ ゴンブローウィッチ 1937年
遺伝学と種の起原 テオドシウス・ドブジャンスキー 1937
括弧に入れて　D・ジョーンズ 1937年
破門宣告 D・ジョーンズ 1952年
経験と教育 デューイ 1938
嘔吐 サルトル 1938

存在と無 サルトル 1943
自由への道 サルトル 1945〜49
禅と日本文化 鈴木大拙 1938
日本的霊性 鈴木大拙 1944
詩集　ヤフヤ・ケマル　20世紀前半
ヒクメット詩集 ヒクメット 20世紀半ば
怒りの葡萄 スタインベック 1939
肝っ玉お母とその子供たち ブレヒト 1939
チボー家の人々 マルタン・デュ・ガール 1940
心は孤独な狩人 マッカラーズ 1940
ある数学者の生涯と弁明 ハーディ 1940
セチュアンの善人　ブレヒト 1940年
コーカサスの白墨の輪　ブレヒト 1944ー45
生物の世界 今西錦司 1941
国語学原論 時枝誠記 1941年
自由からの逃走 フロム 1941年
資本主義・社会主義・民主主義 シュンペーター 1942
異邦人 カミュ 1942年
シーシュポスの神話 カミュ 1942
ペスト カミュ 1947年
転落 カミュ 1957年
荒野のおおかみ ヘッセ 1927年
ガラス玉演戯 ヘッセ　1943年
古代研究 折口信夫 1929〜30年
死者の書 折口信夫 1943年
李陵 中島敦 1943
ちいさな王子 (光文社古典新訳文庫) サン＝テグジュペリ 1943年
曠野の花　四部作 石光真清 1943〜58
隷従への道 ハイエク 1944
大転換 ポランニー 1944年
伝奇集 ボルヘス 1944年
生命とは何か シュレーディンガー 1944
科学的自伝と遺稿 マックス・プランク 20世紀

「立徳の道」から引用

グレートブックス（１９４５年以後）

知覚の現象学 (叢書・ウニベルシタス) メルロ・ポンティ 1945年
開かれた社会とその敵 ポパー 1945年
菊と刀 ベネディクト 1945
タタール人の砂漠 ブッツァーティ 1945年
ウェルギリウスの死　ブロッホ 1945年
西洋哲学史 ラッセル 1945年
長くつ下のピッピ リンドグレーン 1945年
ブライヅヘッドふたたび イーヴリン・ウォー 1945
動物農場 オーウェル 1945
生活の物語　パウストフスキー 1945－63年
英語教師 ナーラーヤン 1945年
菓子売り ナーラーヤン 1967年
アンネの日記 アンネ・フランク 1946
その男ゾルバ カザンザキス 1946年
サガラーナ　ローザ　1946年
大奥地 ローザ　1956年
The Devil to Pay in the Backlands ローザ 1956年
堕落論 坂口安吾 1946年
死霊〈1〉〈2〉〈3〉 埴谷雄高 1946～95
復興期の精神 花田清輝 1946年
斜陽 太宰治 1947年
人生論ノート 三木清 1947
啓蒙の弁証法一哲学的断想 (岩波文庫 青 692-1) アドルノ＆ホルクハイマー 1947年
夜と霧　夜と霧 新版 フランクル 1947
活火山の下で ラウリー 1947
日々の泡 ヴィアン 1947
ブレストの乱暴者 ジュネ 1947
泥棒日記 ジュネ 1949
人間失格 太宰治 1948
野火 大岡昇平 1948
俘虜記 大岡昇平 1948年
レイテ戦記 大岡昇平 1971
ヨーロッパ文学とラテン中世 クルツィウス 1948年
ラ･アルカリアへの旅 セラ 1948年
臆病者たち　シュクヴォレツキー 1948－49年

The Bass Saxophone　シュクヴォレツキー 1969年
第二次世界大戦回顧録 チャーチル 1948～54
サイバネティックス ウィーナー 1948
きけわだつみのこえ 日本戦没学生記念会 1949
1984年 (ハヤカワ文庫 NV 8) オーウェル 1949
地中海 ブローデル 1949
決定版 第二の性〈1〉事実と神話〈2〉体験(上)〈2〉体験(下) ボーヴォワール 1949
アレフ ボルヘス 1949
原子物理学における認識論的諸問題に関するアインシュタインとの討論 ボーア 1949
崩壊概論　シオラン 1949年
実存の誘惑　シオラン 1956年
時間への失墜　シオラン 1964年
The New Gods　シオラン 1969年
山の音 川端康成 1949年
千羽鶴　川端康成 1949－51年
眠れる美女 川端康成 1961
美しさと哀しみと 川端康成 1961－63
仮面の告白 三島由紀夫　1949年
金閣寺 三島由紀夫　1956年
豊饒の海　三島由紀夫　1965－70年
大いなる歌 ネルーダ 1950
モスカトの一族 シンガー　1950年
ベルゼバブの孫への話 グルジェフ 1950
孤独の迷宮 パス 1950年
オクタビオ･パス詩集　パス 20世紀後半
はかない人生 ホワン・カルロス・オネッティ 1950
孤独な群集 リースマン 1950
全体主義の起原 1 新装版 (1)2 新装版 (2)3 新装版 (3) アレント 1951年
ライ麦畑でつかまえて サリンジャー 1951
ハドリアヌス帝の回想 ユルスナール 1951年
モロイ　ベケット 1951年
マロウンは死ぬ ベケット 1951年
ゴドーを待ちながら ベケット 1952年
名づけえぬもの ベケット 1953年
勝負の終り ベケット 1957年
クラップの最後のテープ ベケット 1958年
見えない人間 エリソン 1952年 ＮＣＬニ

コンファブラリオ（寓話集） アレオラ 1952年
やし酒飲み チュツオーラ 1952年
老人と海 ヘミングウェイ 1952
まっ二つの子爵 カルヴィーノ 1952年
木のぼり男爵 カルヴィーノ 1957年
不在の騎士 カルヴィーノ 1959年
日本政治思想史研究 丸山眞男 1952
現代政治の思想と行動 丸山眞男 1956
黒い皮膚・白い仮面 ファノン 1952
デオキシリボ核酸の構造　ワトソン＆クリック 1953
論理的観点から クワイン 1953年
Evening Land（Aftonland） ラーゲルクヴィスト 1953年
失われた足跡 カルペンティエール 1953年
哲学探究 ウィトゲンシュタイン 1953
オギー・マーチの冒険　ベロー 1953年
ハーツォグ　ベロー 1964年
フンボルトの贈り物　ベロー 1976年
日本文壇史 伊藤整 1953〜73
ひかりごけ 武田泰淳 1954年
国民文学論 竹内好 1954
長いお別れ チャンドラー 1954
ぼくはシュティラーではない フリッシュ 1954年
アンドーラ フリッシュ 1961年
文学空間 ブランショ 1955年
ペドロ・パラモ ルルフォ 1955年
ロリータ ナボコフ 1955年
青白い火 ナボコフ 1962年
思い出よ、語れ ナボコフ
アーダ ナボコフ 1969年
神聖喜劇 大西巨人 1955年
横帆 ケッセル 1955
悲しき熱帯 レヴィ＝ストロース 1955年
野生の思考 レヴィ＝ストロース 1962年
楢山節考 深沢七郎 1956年
貴婦人故郷に帰る デュレンマット 1956年
物理学者たち デュレンマット 1961年
ドクトル・ジバゴ〈上巻〉〈下巻〉 (新潮文庫) パステルナーク 1956年

文明の生態史観 梅棹忠夫 1957年
エロティシズム バタイユ 1957
嫉妬 ロブ＝グリエ 1957年
路上 ケルアック 1957
文法の構造 チョムスキー 1957
肩をすくめるアトラス アイン・ランド 1957
部屋　ピンター 1957年
管理人　ピンター 1960年
料理昇降機　ピンター 1960年
モデラート・カンタービレ デュラス 1958年
樅ノ木は残った 山本周五郎 1958
転向論 吉本隆明 1958年
共同幻想論 吉本隆明 1966
山猫　トマージ･ディ･ランペドゥーサ 1958年
崩れゆく絆ーアフリカの悲劇的叙事詩 (1977年) (チヌア・アチェベの世界〈1〉) アチェベ 1958年
構造人類学 クロード・レヴィ＝ストロース 1958
ゲベラウィの子供たち マフフーズ 1959年
The Man with Seven Names アルヴェス・レドル　1959年
ブリキの太鼓 第1部 (1)(2)(3)　グラス 1959年
物理と哲学 ハイゼンベルク 1959
短編集The Ugupu Bird　ムロジェク 1959年
タンゴ　ムロジェク 1964年
われらの時代 大江健三郎 1959年　教
万延元年のフットボール 大江健三郎 1967年
死の棘 島尾敏雄 1960年
眠れる美女 川端康成 1960
真理と方法 ガダマー 1960年
フランドルへの道 シモン 1960年
アレクサンドリア四重奏 ダレル 1960
全体性と無限 レヴィナス 1961年
ソラリスの陽のもとに レム 1961年
わが秘められた生涯 ダリ 1961年
原子理論と自然記述 ボーア 1961
生命の本質 C.H.ウォディントン（ワディントン） 1961
サイレンス ケージ 1961
ジョン・ケージ　小鳥たちのために ケージ 1976
経済学方法論 宇野弘蔵 1962年

沈黙の春 (新潮文庫) カーソン 1962
科学革命の構造 クーン 1962年
都会と犬ども バルガス・リョサ 1962
黄金のノート レッシング 1962年
グーテンベルグの銀河系 マクルーハン 1962年
メディア論　人間拡張の原理 マクルーハン 1964
公共性の構造転換 ハーバーマス 1962年
コミュニケーション行為の理論 ハーバーマス 1981
イワン・デニソヴィッチの一日　ソルジェニーツィン 1962年
ガン病棟 ソルジェニーツィン 1968年
第一圏にて ソルジェニーツィン 1969年
収容所群島 ソルジェニーツィン 1973
砂の女　安部公房　1962年
竜馬がゆく 司馬遼太郎 1962～66年
坂の上の雲 司馬遼太郎 1969～72年
街道をゆく 司馬遼太郎 1971～96年
エロ事師たち 野坂昭如 1963年
攻撃 ローレンツ 1963
A God and His Gifts　コンプトン＝バーネット 1963年
ある家族の会話 ギンズブルグ 1963
V. ピンチョン 1963
新しい女性の創造 フリーダン 1963
ドストエフスキーの詩学 バフチン 1963年
フランソワ・ラブレーの作品と中世・ルネサンスの民衆文化 フチン 1965
ガーデン・パーティー ハヴェル 1963年
通達 ハヴェル 1965年
氷の城　ヴェースオース（ウェーソース）　1963年
The Boat in the Evening ヴェースオース（ウェーソース）　1968年
チャップリン自伝 チャップリン 1964
文法理論の諸相 チョムスキー 1965
詩作品 ボルヘス 1965
マルコムX自伝 マルコム・X 1965
毛沢東語録 (平凡社ライブラリー)　毛沢東 1966
言葉と物一人文科学の考古学 フーコー 1966年
The Love Department トレヴァー 1966年
黒い雨 井伏鱒二 1966
成熟と喪失 江藤淳 1966年

沈黙 遠藤周作 1966
北へ遷りゆく時 サーレフ 1966年
パラディソ ホセ・レザマ・リマ 1966
ルーベン・ダリオ読本 ルーベン・ダリオ 1966
冷血 カポーティ 1966
巨匠とマルガリータ ブルガーコフ 1966
魔術師 ファウルズ 1966
エクリ ラカン 1966年
精神分析の四つの基本概念 ラカン 1973年
モードの体系 バルト 1967
冗談 クンデラ 1967
火の鳥 手塚治虫 1967
百年の孤独 ガルシア・マルケス 1967年
コレラ時代の愛 ガルシア・マルケス 1985年
グラマトロジーについて 上下　デリダ 1967年
タテ社会の人間関係 中根千枝 1967
夜の軍隊 メイラー 1968
ゲバラ日記 ゲバラ 1968
良心のトランペット キング 1968
スローターハウス5 ヴォネガット 1969
苦海浄土 石牟礼道子 1969
円陣を組む女たち 古井由吉 1969年
偶然と必然 モノー 1970
性の政治学 ミレット 1970
「甘え」の構造 土居健郎 1971
正義論 ロールズ 1971
自由への挑戦　行動工学入門 スキナー 1971
アンチ・オイディプス ドゥルーズ＆ガタリ 1972年
名指しと必然性 クリプキ 1972
成長の限界 ローマクラブ 1972
挟み撃ち 後藤明生 1973年
近代世界システム ウォーラーステイン 1974年
詩的言語の革命 クリステヴァ 1974年
イーダの長い夜ーーラ・ストーリア モランテ 1974年
われらが大地　　フエンテス 1975年
私の中の日本軍 山本七平 1975
詩集 ライナー・クンツェ 20世紀後半

素晴らしい歳月 ライナー・クンツェ 1976年
利己的な遺伝子 ドーキンス 1976
パッセージ ゲイル・シーヒィ 1976
枯木灘 中上健次 1977年
ガープの世界 アーヴィング 1978
愛と心理療法 M.スコット・ペック 1978
オリエンタリズム〈上〉〈下〉 サイード 1978年
文化と帝国主義 サイード 1993年
混沌からの秩序 プリゴジン＆スタンジェール 1979
地球生命圏 ラヴロック 1979
精神と自然 ベイトソン 1979年
冬の夜ひとりの旅人が カルヴィーノ 1979
食卓のない家 円地文子 1979年
薔薇の名前 エーコ 1980
第三の波 トフラー 1980
流れとよどみ 大森荘蔵 1981年
ホテル・ニューハンプシャー アーヴィング 1981
予告された殺人の記録 ガルシア＝マルケス 1981
真夜中の子どもたち ラシュディ 1981年
悪魔の詩 ラシュディ 1988
ジェンダー イリイチ 1983
想像の共同体 アンダーソン 1983年
存在の耐えられない軽さ クンデラ 1984
侍女の物語 アトウッド 1985
ビラヴドーー愛されし者 トニ・モリスン 1987年
大国の興亡 ケネディ 1988
ホーキング、宇宙を語る ホーキング 1988
ムーン・パレス オースター 1989
日の名残り カズオ・イシグロ 1989
悪童日記 クリストフ 1992
ローマ人の物語 塩野七生 1992〜
ワイルド・スワン ユン・チアン 1993
白の闇 サラマーゴ 1995年
パウル・ツェラン全詩集〈1〉〈2〉〈3〉 ツェラーン 20世紀後半
詩集　エーケレーブ 20世紀
詩集 Lysohorsky 20世紀
美術の歩み ゴンブリッチ 20世紀

グレゲリーア ゴメス・デ・ラ・セルナ 20世紀
ファイズ詩集 ファイズ 20世紀
ベル・ジャー シルヴィア・プラス 20世紀後半
詩集 ロバート・ローウェル 20世紀後半
エンツェンスベルガー全詩集 エンツェンスベルガー 20世紀後半
詩集 田村隆一 20世紀後半
詩集 吉岡実 20世紀後半
アウステルリッツ ゼーバルト 2001

「立徳の道」から引用

厳選世界の名著１００（改訂版）

1 聖書 紀元前10世紀～1世紀以降
2 ギリシア神話
3 イリアス ホメロス 紀元前800年頃
4 オデュッセイア ホメロス 紀元前800年頃
5 論語 紀元前450年頃
6 ソクラテスの弁明 プラトン 紀元前4世紀
7 饗宴 プラトン 紀元前4世紀
8　国家 プラトン 紀元前4世紀
9 ニコマコス倫理学 アリストテレス 紀元前4世紀
10 孫子 紀元前500年頃
11 老子 紀元前4世紀
12 荘子 紀元前4世紀
13 孟子 紀元前4～3世紀
14 韓非子 紀元前3世紀
15 スッタニパータ 紀元前3世紀
16 法句経 紀元前3世紀
17 史記 司馬遷 紀元前1世紀
18 告白 アウグスティヌス 400年頃
19 マハーバーラタ 4世紀
20 ラーマーヤナ 4世紀
21 コーラン 7世紀
22 千夜一夜物語（アラビアン・ナイト） 8世紀～16世紀
23 古事記 太安万侶 8世紀初期
24 源氏物語 紫式部 11世紀
25 神曲 ダンテ 1304－21
26 水滸伝 施耐庵 14世紀
27 三国志演義 羅貫中 15世紀
28 ユートピア モア 1516
29 君主論 マキアヴェリ 1532
30 ガガンチュワとパンタグリュエル ラブレー 1532－52
31 西遊記 呉承恩 1570
32 エセー モンテーニュ 1588
33 ハムレット シェイクスピア 1600年頃
34 ドン・キホーテ セルバンテス 1605－15
35 ノヴム・オルガヌム フランシス・ベーコン 1620

36 方法序説 デカルト 1637
37 リヴァイアサン ホッブズ 1651
38 パンセ パスカル 1670
39 統治論 ロック 1690
40 奥の細道 松尾芭蕉 1702
41 ガリヴァー旅行記 スウィフト 1726
42 法の精神 モンテスキュー 1748
43 社会契約論 ルソー 1762
44 純粋理性批判 カント 1781
45 道徳および立法の諸原理序説 ベンサム 1789
46 精神現象学 ヘーゲル 1807
47 ファウスト ゲーテ 1808－31
48 法の哲学 ヘーゲル 1821
49 戦争論 クラウゼヴィッツ 1832
50 死に至る病 キルケゴール 1849
51 白鯨 メルヴィル 1851
52 自由論 ミル 1859
53 種の起原 ダーウィン 1859
54 功利主義 ミル 1863
55 戦争と平和 トルストイ 1864－69
56 資本論 マルクス 1867
57 悪霊 ドストエフスキー 1872
58 学問のすすめ 福沢諭吉 1872－76
59 ツァラトゥストラはこう語った ニーチェ 1883－85
60 夢判断 フロイト 1900
61 武士道 新渡戸稲造 1900
62 プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神 ウェーバー 1905
63 吾輩は猫である　夏目漱石 1905
64 茶の本 岡倉天心 1906
65 プラグマティズム ウィリアム・ジェイムズ 1908
66 善の研究 西田幾多郎 1911
67 失われた時を求めて プルースト 1913－27
68 一般言語学講義 ソシュール 1916
69 精神分析入門 フロイト 1916・32
70 狂人日記 魯迅 1918
71 快感原則の彼岸 フロイト 1920
72 阿Ｑ正伝 魯迅 1921－22

73 ユリシーズ ジョイス 1922
74 政治神学 カール・シュミット 1922
75 審判 カフカ 1925
76 存在と時間 ハイデッガー 1927
77 ガンディー自伝 ガンディー 1927－29
78 政治的なものの概念 カール・シュミット 1932
79 風土 和辻哲郎 1935
80 雇用・利子および貨幣の一般理論 ケインズ 1936
81 複製技術時代の芸術 ベンヤミン 1936
82 存在と無 サルトル 1943
83 日本的霊性 鈴木大拙 1944
84 大転換 ポランニー 1944
85 啓蒙の弁証法 アドルノ＆ホルクハイマー 1947
86 全体主義の起源 アレント 1951
87 7野生の思考 レヴィ＝ストロース 1962
88 グーテンベルクの銀河系 マクルーハン 1962
89 言葉と物 フーコー 1966
90 百年の孤独 ガルシア＝マルケス 1967
91 精神分析の四基本概念 ラカン 1973
92 近代世界システム ウォーラーステイン 1974
93 監獄の誕生 フーコー 1975
94 性の歴史 フーコー 1976－84
95 オリエンタリズム サイード 1978
96 精神と自然 ベイトソン 1979
97 ディスタンクシオン ブルデュー 1979
98 想像の共同体 アンダーソン 1983
99 帝国 ネグリ＆ハート 2004
100 中国名詩選 （岩波文庫）

「立徳の道」から引用

『１０年後あなたの本棚に残るビジネス書１００』神田昌典＋勝間和の掲載書籍リスト

この本だけは絶対読もう！究極の１０冊

・神田昌典

ナニワ金融道（全１０巻）　青木雄二　講談社　１９９９年
これからの１０年団塊ジュニア１４００万人がコア市場になる　三浦展　中経出版　２００２
小倉昌男経営学　日系ＢＰ社　１９９９
ユダヤ人大富豪の教え　本田健　大和書房　２００６
人の心を動かす文章術　樋口裕一　草思社　２００４
それでもなお、人を愛しなさい　ケント・Ｍ・キース　早川書房
探すのをやめたとき愛は見つかる　バイロン・ケイティ　創元社　２００７
企画書提案書大事典　高橋憲行　ダイヤモンド社　１９９９
凡人が最強営業マンに変わる魔法のセールストーク　佐藤昌弘　日本実業出版社　２００３
第８の習慣　スティーブン・Ｒ・コヴィー　キングベアー出版　２００５

・勝間和代

自助論　Ｓ．スマイルズ　三笠書房　２００２
『原因と結果の法則』　ジェームズ・アレン　サンマーク出版　２００３
７つの習慣　スティーブン・Ｒ・コヴィー　キングベアー出版　１９９６
急に売れ始めるにはワケがある　マルコム・グラッドウェル　ソフトバンククリエイティブ　２００７
ビジョナリーカンパニー２　ジェームズ・Ｃ・コリンズ　日経ＢＰ社　２００１
さあ、才能に目覚めよう　マーカス・バッキンガム　日本経済新聞社　２００１
人間この信じやすきもの　Ｔ・ギロビッチ　新曜社　１９９３
ブルー・オーシャン戦略　Ｗ・チャン・キム　ランダムハウス講談社　２００５
増補改訂版　『イノベーションのジレンマ』　クレイトン・クリステンセン　翔泳社
誘惑される意志　ジョージ・エインズリー　ＮＴＴ出版　２００６

１０年後あなたの本棚に残る４０冊

・神田昌典

ザ・コピーライティング　ジョン・ケーブルズ　ダイヤモンド社　２００８
シュガーマンのマーケティング３０の法則　ジョセフ・シュガーマン　フォレスト出版　２００

私はどうして販売外交に成功したか　フランク・ベドガー　ダイヤモンド社　１９６４
感情表現辞典　中村明　東京堂出版　１９９３
新版　一回のお客を一生の顧客にする法　カール・スウェル　ダイヤモンド社　２００４
山見式ＰＲ法　山見博康　翔泳社　２００６
全部無料で宣伝してもらう対マスコミＰＲ術　玉木剛　翔泳社　２００２
神話の法則　クリストファー・ボグラー　愛育社　２００２
ゲームシナリオ作法　川邊　一外　新紀元社　１９９９
会社のお金が残らない本当の理由　岡本史郎　フォレスト出版　２００３
借金バンザイ！　小堺桂悦郎　フォレスト出版　２００４
ヤバい！　怖い！　トラブルだッ！　野元泰秀　フォレスト出版　２００４
「仕事こころ」にスイッチを！　小坂祐司　フォレスト出版　２００２
船井流経営法の原点　船井　グラフ社　２００６
勝てば官軍　藤田田　ＫＫベストセラーズ　１９９６
ベルナール・アルノー、語る　ベルナール・アルノー　日経ＢＰ社　２００３
福祉を変える経営　小倉昌男　日経ＢＰ社　２００３
マネジメント革命　天外伺郎　講談社　２００６
品性資本の経営＜新装版＞　財団法人もら路地一研究所発行　２００６
Ｓカーブが不確実性を克服する　セオドア・モディス　東急エージェンシー出版部　２０００
運をつかむ法則！　高島亮　フォレスト出版　２００５
Managing Corporate Lifecycles Ichak Adizes Prentice Hall Press 1999
出現する未来　　ピーター・センゲ　講談社　２００６
バブル再来　ハリー・Ｓ・デント・ジュニア　ダイヤモンド社　２００６
３つの原則　ローレンス・トーブ　ダイヤモンド社　２００７
Generations William Strauss Perennial 1991
恐怖の存在　マイクル・クライトン　早川書房　２００７
現代日本経済史年表１８６８～２００６年　矢部洋三　日本経済評論社　２００８
『モモ』　ミヒャエル・エンデ　岩波書店　２００５
エンデの遺言　　日本放送出版協会　２０００
マーフィー眠りながら成功する　ジョセフ・マーフィー　三笠書房　２００１
効率が１０倍アップする新・知的生産術　勝間和代　ダイヤモンド社　２００７
アー・ユー・ハッピー？　矢沢永吉　角川書店　２００４
ラッキーマン　マイケル・Ｊ・フォックス　ソフトバンクパブリシング　２００５
未来事典　村松潔　角川書店　２００２
バジャールペーパーバック１～８　ダリル・アンカ　ヴォイス　２００２年、２００３年
Awakening the Heroes Within Carol S. Pearson HarperOne 1991
夢を実現する宝地図　望月俊孝　三笠書房　２００５　地域サービス

傷つくならば、それは愛ではない　チャック・スペザーノ　ヴォイス　１９９７
セルフ・セラピー・カード　チャック・スペザーノ　ヴォイス　２０００

・勝間和代

プロフェッショナルの条件　Ｐ・Ｆ・ドラッカー　ダイヤモンド社　２０００
非常識な成功法則　神田昌典　フォレスト出版　２００２
仕事は楽しいかね？　１・２　デイル・ドーテン　きこ書房　２００１、２００２
史上最強の人生戦略マニュアル　フィリップ・マグロー　きこ書房　２００８
勝者の法則　ハーバート・グリーンバーグ　ゾディアック　１９９９
困った人たちとのつきあい方　ロバート・Ｍ・ブラムソン　河内書房　２００１
人脈づくりの科学　安田雪　日本経済新聞社　２００４
あなたもいままでの１０倍速く本が読める　ポール・Ｒ・シーリィ　フォレスト出版　２００１
本を読む本　Ｍ．Ｊ．阿銅鑼一　講談社　１９９７
ザ・マインドマップ　トニー・ブザン　ダイヤモンド社　２００５
頭脳の果て　ウィン・ウェンガー　きこ書房　２００５
ＥＱ　ダニエル・ゴールマン　講談社　１９９８
経験知を伝える技術　ドロシー・レナード　ランダムハウス講談社　２００５
ホイラーの法則（新装版）　エルマー・ホイラー　ビジネス社　１９９３
売り込まなくても売れる！　ジャック・ワース　フォレスト出版　２００２
クチコミはこうしてつくられる　エマニュエル・ローゼン　日本経済新聞社　２００２
影響力の武器（第二版）　ロバート・Ｒ・チャルディーニ　誠信書房　２００７
キャズム　ジェフリー・ムーア　翔泳社　２００２
ザ・ゴール　エリヤフ・ゴールドラット　ダイヤモンド社　２００１
ザ・プロフィット　エイドリアン・スライワォツキー　ダイヤモンド社　２００２
ビジョナリーカンパニー　ジェームズ・Ｃ・コリンズ　日経ＢＰ社　１９９５
ネクスト・ソサエティ　Ｐ・Ｆ・ドラッカー　ダイヤモンド社　２００２
新訂　競争の戦略　Ｍ・Ｅ・ポーター　ダイヤモンド社　１９９５
組織の不条理　菊澤研宗　ダイヤモンド社　２０００
まず、ルールを破れ　マーカス・バッキンガム　日本経済新聞社　２０００
フロー体験　喜びの現象学　　Ｍ・チクセントミハイ　世界思想社　１９９６
ハイ・コンセプト　ダニエル・ピンク　三笠書房　２００６
フリーエージェント社会の到来　ダニエル・ピンク　ダイヤモンド社　２００２
勝者の代償　ロバート・Ｍ・ライシュ　東洋経済新報社　２００２
暴走する資本主義　ロバート・Ｍ・ライシュ　東洋経済新報社　２００８
『銃・病原菌・鉄』　ジャレド・ダイアモンド　草思社　２０００
フィンチの嘴　ジョナサン・ワイナー　早川書房　２００１

みんなの意見は案外正しい　ジェームズ・スロウィッキー　角川書店　２００６
リスク　上・下　ピーター・バーンスタイン　日本経済新聞社　２００１
まぐれ　ナシーコム・ニコラス・タレブ　ダイヤモンド社　２００８
『統計学を拓いた異才たち』　デイブィッド・サルツブルグ　日本経済新聞社　２００６
『ウォール街のランダム・ウォーカー』（原著第９版）バートン・マルキール　日本経済新聞社　２００７
ベッカー教授の経済学ではこう考える　ゲーリー・Ｓ・ベッカー　東洋経済新報社　１９９８
第１感　マルコム・グラッドウェル　光文社　２００６
ビジネス・ゲーム　wave出版

・全国カリスマ店員９名

道をひらく　松下幸之助　ＰＨＰ研究所　１９６８
謎の会社、世界を変える　須田将啓　ミシマ社　２００８
新版考える技術・書く技術　バーバラ・ミント　ダイヤモンド社　１９９９
戦略シナリオ　斎藤嘉則　東洋経済新報社　１９９８
一流の条件　山崎武也　ＰＨＰ研究所研究所　２００６
社長の仕事　原田繁男　すばる舎　２０００
戦略の原点　清水勝彦　日経ＢＰ社　２００７
部下を、暗闇の中で働かせていませんか？　柴田陽子　インデックス・コミュニケーションズ　２００８
新宿店最後の小さいなお店ベルク　井野朋也　ブルース・インターアクションズ　２００８

『１０年後あなたの本棚に残るビジネス書１００』神田昌典＋勝間和・著から引用

『私をつくった名著人生を変えた１冊　黄金のブックガイド』の掲載書籍リスト

１．勝間和代　「底流型」と「適用型」の本との組み合わせ読書

アレン　「原因」と「結果」の法則
コヴィー　７つの習慣
マグロー　史上最強の人生戦略マニュアル
ハラガン　ビジネスゲーム
バッキンガム　さあ、才能（じぶん）に目覚めよう
スロウィッキー　「みんなの意見」は案外正しい
ウィルソン　『知の挑戦』
ピンク　ハイ・コンセプト
コリアー　最底辺の１０億人（2008）
タレブ　まぐれ

２．神田昌典　「運命の本」と「偶然の出会い」を大切にする読書術

マーチン　経営の未来
ジャンヌネー　Googleとの闘い
Scharmer Theory U
川邊一外　ゲームシナリオのドラマ作法
ボヤツィス　EQリーダーシップ
ハーマン　ハーマンモデル
紳竜の研究
ザ・エージェント　トム・クルーズ主演
折り梅　松井久子監督
成功者の告白　人生の旋律
岸田秀　一神教vs.多神教
斎藤学　アダルト・チルドレンと家族
フランクル　『夜と霧』
ヘルマン・ヘッセ　シッダールタ　草思社
モルホ　ジョルジオ・アルマーニ
ブラウン　ストーリーテリングが経営を変える
セムラー　セムラーイズム
マクドナルド　One Red Paper Clip
半藤一利　『昭和史』　『昭和史（戦後編）』
鹿島茂　SとM

ミアーズ　［新版］アメリカの鏡・日本
浜田政彦　神々の軍隊
ホワイティング　『東京アンダーワールド』
美智子　橋をかける

３．小宮一慶　速読、通読、熟読、重読　読み方は４段階を使い分ける

桜井久勝　財務会計講座
桜井　財務会計・入門　有斐閣
國貞克則　決算書がスラスラわかる　財務３表一体理解法
山浦久司　監査論テキスト
『さおだけ屋はなぜ潰れないのか』
竹森俊平　経済論戦は甦る
野中郁次郎　戦略の本質
松下幸之助　道を開く
菜根譚
森信三　修身教授録
北方謙三　楊家将
カーネギー　人を動かす

４．酒井穣　ビジネス書よりビジネスに役立つ人文系の本の読み方

グラッドウェル　急に売れ始めるにはワケがある。
森時彦　ザ・ファシリテーター
青木昌彦　モジュール化
ピンク　フリーエージェント社会の到来
照屋華子　ロジカル・シンキング
グロービス　問題解決プロフェッショナル「思考と技術」
マーン　価格有意戦略
マクグラス　プロダクトストラテジー
スライウォツキー　ザ・プロフィット
ムーア　ライフサイクルイノベーション
カミュ　『シーシュポスの神話』
ホフスタッター　『ゲーデル、エッシャー、バッハ』
フランクル　『夜と霧』
別役実　電信柱のある宇宙
ローレンツ　ソロモンの指環

柳田邦男　「死の医学」への序章

５．高野登　リッツ・カールトン流感性を磨く読書術

これはと思った本は２冊買う。

１冊は解体して必要な箇所だけ

コヴィー　７つの習慣
大前研一　遊び心
The　Mind of Stragegist
松阪健　ホスピタリティ進化論
熊谷　一冊の手帳で夢は必ずかなう
佐藤富雄　若々しい人　老ける人
鬼平犯科帳
大前研一　ストラテジック・マインド
津神　フロンティアの英雄たち
野口　鏡の法則
奥谷　世界最高のホテル
大久保　二十一世紀　残る経営、消える経営
大久保　人と企業の真の価値を高めるヒント
塚越　いい会社をつくりましょう

６．掛川美奈子　個人投資家が資産形成のために読むべき本

木村剛　投資戦略の発想法　２００８
マルキール　『ウォール街のランダム・ウォーカー』
エリス　敗者のゲーム
ボーグル　マネーと常識
ボーグル　インデックス・ファンドの時代
藤沢　なぜ投資のプロはサルに負けるのか
山崎　お金を増やす本当の常識
内藤忍　［新板］内藤忍の資産設計塾
北村　大人の投資入門　貧乏人のデイトレ、金持ちのインベストメント
投資信託にだまされるな
朝倉　投資信託でいちばん知りたいこと
上地　あなたにも５０００万円貯まる

火車
凍える牙
白夜行
高野和明　１３階段
池波正太郎　食卓の情景
向田邦子　暮しの愉しみ
大前研一　旅の極意、人生の極意
日本を楽しむ暮らしの歳時記
チュンド　日本人が知らなかったETF投資
北村慶　ほぼ確実に世界の経済成長があなたの財産に変わる最も賢いETF海外投資法
勝間和代　お金は銀行に預けるな
キヨサキ　金持ち父さん
モッテルリーニ　経済は感情で動
よしもと　スタバではグランデを買え
タレブ　まぐれ
谷口　通貨燃ゆ
磯田　『武士の家計簿』

７．久恒啓一　読後のアウトプットに有効な図読のすすめ

黄色のマーカー。

２度目でキーワードを〇で囲む。

最終的にキーワードを並べる。

キーワード間を？や→でつなぐ。

久恒啓一　図で考える人は仕事ができる
コミュニケーションのための図解の技術
川喜田二郎　発想法　続・発想法
中山正和　発想の論理
加藤秀俊　企画の技法
生田　ビジネス・プランニング
松岡正剛　知の編集工学
久保田　新版・勝てる企画の技術
谷口正和　世界目線構想力

西岡文彦　図解発想法
出原栄一　図の体系
富士ゼロックス　チャート化とレイアウト
長澤　インタンジブル・イラ
久恒啓一　図で考える人は仕事ができる
図表・地図ハンドブック
井上富雄　サラリーマン２０年計画の実践
梅棹忠夫　『文明の生態史観』
坂の上の雲
福翁自伝
知的生産の技術
寺島実郎　脳力のレッスン
梅田　ウェブ時代をゆく
渡部昇一　知的生活の方法
諸橋轍次　中国古典名言辞典
本多静六　わが処世の秘訣
リソ　性格のタイプ
野中郁次郎　知識創造の経営
立花隆　『「知」のソフトウェア』
竹内均　私の知的鍛錬法
新渡戸稲造　新渡戸稲造一日一言
鈴木達ニ　３０代に男がしておかなければならないこと

８．山口一男　自分の強みや専門性を発見し、極める読書法

T字型読書法と読後のディスカッション（ノート）がおすすめ

キーワードで広げる（横）

「空気」と社会行動　現代政治の思想と行動
WLB　日本のワーク・ライフ・バランス　ワークライフバランス社会へ
格差　置き去り社会の孤独　日本の不平等

著者で深める

岩井克人　貨幣論
山岸俊男　信頼の構造

山口一男　ダイバーシティ
マートン　社会理論と社会構造
ブラウ　交換と権力
シェリング　Micromotives and Macrobehavior
ベッカー　A Treatise on the Family
岩井克人　会社はこれからどうなるのか
山岸俊男　信頼の構造
山口　日本のワーク・ライフ・バランス
池本美香　失われる子育ての時間
大津和夫　置き去り社会の孤独

９．山田昌弘　幅広い読書で、異分野の事柄を自分の分野に応用しよう

一流の社会学者の本を原書で読む

読むべき本は何回も精読、それ以外は最後まで読まない（ライシュの勝者の代償）

少女漫画（ガラスの仮面　あさきゆめみし）

真木悠介　気流の鳴る音　現代社会の存立構造
ライシュ　勝者の代償
バウマン　リキッド・モダニティ
ラッシュ　ナルシシズムの時代
セネット　公共性の喪失
ギデンズ　暴走する世界
ホックシールド　管理される心
ベック　危険社会
塩野七生　ローマ人の物語
レーダマン　神がつくった究極の素粒子
別役実　淋しいおさかな
アシモフ　ファウンデーション
池田理代子　ベルサイユのばら
川原泉　フロイト１／２

１０．和田裕美　顧客の心つかみ、部下を動かす勉強術

本からの疑似体験で経験を補足

気に入ったフレーズは手帳に書き出す

ブランチャード　１分間マネジャー
ジョンソン　１分間セールスマン
藤尾秀昭　小さな人生論
鍵山秀三郎　人間力を養う生き方
マウラー　脳が変える
加藤諦三　心の休ませ方
国産はじめて物語
塩沼　人生生涯小僧のこころ
渡部昇一　財産はこうしてつかめ
関裕二　神社仏閣に隠された古代史の謎

１１．小飼弾　カリスマBOOKブロガーの時速１０冊読書術

筒井康隆　家族八景
ハインライン　『異星の客』
ホールドマン　終りなき戦い　Forever Peace
カール・セーガン　コンタクト
『チーム・バチスタの栄光』
嘘つきみーくんと壊れたまち
The C Programming Language
Programming Perl
Godel, Escher, Bach
Structure and Interpretation of Computer Programs
The Emperor's New Mind
『ゾウの時間　ネズミの時間』
バウンドストーン　ライフゲイムの時間
星新一　『声の網』
村井純　『インターネット』
野口悠紀雄　「超」整理法

『私をつくった名著人生を変えた１冊　黄金のブックガイド』から引用

『使える経済書１００冊』池田信夫(著)(NHK出版生活人新書)の掲載書籍リスト

☆は特に一読を勧める本

1.世界経済危機をどう見るか
『ブラック・スワン』
『市場の変相』
☆『資本主義は嫌いですか』
『市場リスク』　暴落は必然か
『波乱の時代』　上・下
『大収縮　1929-1933』
『アニマルスピリット』
『すべての経済はバブルに通じる』
Too Big to Fail

2.市場というメカニズム
『市場を創る』
『オークションの人間行動学』
『ビューティフル・マインド』
☆『禁断の市場』
『現代企業の組織デザイン』
『レバレッジド・バイアウト』
☆『経済物理学の発見』
☆『行動経済学』
『実践　行動経済学』
『ケインズの闘い』
『現代の金融政策』

3.グローバル資本主義の運命
『セイヴィング　キャピタリズム』
『暴走する資本主義』
グローバリゼーションを擁護する
『世界を不幸にしたグローバリズムの正体』
『＜帝国＞』
『株式会社』
☆『１９９７年　世界を変えた金融危機』
秘密の国　オフショア市場

☆『チャイナ・アズ・ナンバーワン』
『傲慢な援助』
マルクスの亡霊たち
交換のはたらき（物質文明・経済・資本主義　15-18世紀　II）
『マックス・ヴェーバー入門』

4.イノベーションとは何か
『イノベーションのジレンマ』
『ビジネス・インサイト』　岩波新書
『フリー』
☆『技術力で勝る日本が、なぜ事業で負けるのか』
『知識デザイン企業』
『スティーブ・ジョブズの流儀』
クラウド化する世界
ソニーvsサムスン
『デザイン・ルール』
☆『現代の二都物語』
『ロングテール』
『超ガラパゴス戦略』
The Venturesome Economy

5.日本型資本主義の限界
『構造改革の真実　竹中平蔵大臣日誌』
『資本開国論』
『不思議の国のM&A』
『さらば財務省！』
ナビゲート！日本経済
『失われた１０年の真因は何か』
労働市場改革の経済学
『雇用の常識「本当に見えるウソ」』
『銀行はなぜ変われないのか』
高度経済成長は復活できる
日本経済グローバル競争力の再生
日本の競争戦略
☆『日本の「安心」はなぜ、消えたのか』
☆『だまされないための年金・医療・介護入門』

6.自由な社会の秩序
『哲学する民主主義』
著作権法
☆『ヘーゲルの「法」哲学』
トクヴィル平等と不平等の理論家
ハイエクの政治思想
法と立法と自由（ハイエク全集　８、９、１０）
☆『テロと救済の原理主義』
『セキュリティはなぜやぶられたのか』
生政治の誕生
The Idea of Justice

7.賢者は歴史に学ぶ
『コルナイ・ヤーノシュ自伝』
『比較歴史制度分析』
☆『マネーの進化史』
『文明の接近』
☆『共産主義が見た夢』
『１０万年の世界経済史』　上・下
『ヨーロッパ戦後史』　上・下
『文明史のなかの明治憲法』
『北一輝』　渡辺
『日本軍のインテリジェンス』
☆『敗北を抱きしめて（増補版）』　上・下
☆『戦後日本経済史』

8.教科書で理解する
マンキュー　入門経済学
ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ　八田達夫
MBAのためのミクロ経済学入門Ⅰ・Ⅱ
『戦略的思考の技術』　中公新書
経済成長理論入門
現代の金融入門　ちくま新書
『ウォール街のランダム・ウォーカー』
法と経済学　シャベル
Macroeconomics 7th edition

9.　古典に学ぶ

国富論

資本論

雇用、利子および貨幣の一般理論

資本主義・社会主義・民主主義

個人主義と経済秩序

資本主義と自由

Risk, Uncertainty and Profit

『使える経済書１００冊』池田信夫(著)(NHK出版生活人新書)から引用

『ハヤカワ文庫の１００冊』の掲載書籍リスト

アルファベットは、冊子のページ順を示す。

１　海外SF・ファンタジィ

J　アイザック・アシモフ　鋼鉄都市
M　グレッグ・イーガン　ひとりっ子
N　カート・ヴォネガット・ジュニア　スローターハウス５
L　アーサー・C・クラーク　２００１年宇宙の旅　決定版ラ
I　ナンシー・クレス　ベガーズ・イン・スペイン
D　ブランドン・サンダースン　ミストボーン
O　マイク・シェパード　新任少尉、出撃
N　ダン・シモンズ　『ハイペリオン』
I　テッド・チャン　あなたの人生の物語
E　フィリップ・K・ディック　流れよわが涙、と警官は言った
F　ジェイムズ・ティプトリー・ジュニア　愛はさだめ、さだめは死
L　ロバート・ハインライン　『夏への扉』
F　ジャック・フィニイ　ゲイルズバーグの春を愛す
I　アーシュラ・K・ル・グィン　闇の左手
G　ジョン・ル・カレ　ソラリスの陽のもとに

２　日本SF

D　新井素子　‥‥絶句
C　伊藤計劃　虐殺器官
I　◯方丁　微睡みのセフィロト
ゼロ年代SF傑作選
E　小川一水　時砂の王
A　神林長平　猶予の月
O　菅浩江　そばかすのフィギュア
H　飛浩隆　グラン・ヴァカンス　廃園の天使
H　円城塔　Self-Reference ENGINE
H　西村大介　凹村戦争

３　警察・ハードボイルド

J　東直己　探偵はひとりぼっち
L　ジェイムズ・エルロイ　秘密捜査
J　レイモンド・チャンドラー　ロング・グッドバイ
I　月村了衛　機能警察
K　ローリー・リン・ドラモンド　あなたに不利な証拠として
C　ロバート・B・パーカー　ゴッドウルフの行方
N　ダシール・ハメット　マルタの鷹
J　原寮　天使たちの探偵
I　イアン・ランキン　貧者の晩餐会
H　マイクル・Z・リューイン　夜勤刑事

４　冒険・スパイ

A　マイケル・クライトン　ジュラシックパーク
G　フランク・シェッツィング　深海のYrr（３巻）
G　ルシアン・ネイハム　シャドー81
O　マイケル・バー・ゾウハー　ベルリン・コンスピラシー
I　ジャック・ヒギンズ　鷲は飛び立った
O　ディック＆フェリックス・フランシス　祝宴
I　アリステア・マクリーン　女王陛下のユリシーズ号
I　ギャビン・ライアル　深海プラス１
J　クリス・ライアン　反撃のレスキュー・ミッション
G　ジョン・ル・カレ　寒い国から帰ってきたスパイ

５　サスペンス
K　岡井崇　ノーフォールト
B　レイモンド・クーリー　テンプル騎士団の古文書
N　ディーン・クーンツ　『オッド・トーマスの霊感』
J　佐々木譲　夜にその名を呼べば
L　ジェフリー・ディーヴァー　監禁
A　T・ジェファーソン・パーカー　カリフォルニア・ガール
L　ジョン・ハート　川は静かに流れ
O　リチャード・マシスン　アイ・アム・レジェンド
B　フランシー・リン　台北の夜
K　デニス・ルヘイン　シャッター・アイランド

６　本格ミステリ

B　アーロン・エルキンズ　『原始の骨』
O　エラリー・クイーン　Yの悲劇
G　ハリイ・ケメルマン　九マイルは遠すぎる
F　ジョン・スラデック　『見えないグリーン』
H　ドナルド・J・ソボル　２分間ミステリ
B　ジョン・ダニング　災いの古文書
A　コリン・デクスター　ウッドストック行最終バス
M　アーサー・コナン・ドイル　シャーロック・ホームズの冒険
M　ローレンス・ブロックほか　エドガー賞全集
E　クレイグ・ライス　スイート・ホーム殺人事件

７　恋愛・家族

F　ジョン・スラデック　林檎の庭の秘密
M　ダニエル・キイス　アルジャーノンに花束を
D　アガサ・クリスティー　春にして君を離れ
A　ジョン・ローガン　マーリー
N　ナリー・シン　青の瞳をもつ天使
E　ジョディ・ピコー　私の中のあなた
A　トリイ・ヘイデン　シーラという子
D　カーレド・ホッセイニ　君のためなら千回でも
M　ケイティ・マカリスター　パリは恋と魔法の誘惑
M　エリザベス・ムーン　くらやみの速さはどれくらい

８　文芸
D　カズオ・イシグロ　『日の名残り』
C　ジョージ・オーウェル　『一九八四年』
H　J・M・クッツェー　恥辱
E　アゴタ・クリストフ　悪童日記
F　ハリー・クレッシング　料理人
H　リチャード・ブローティガン　愛のゆくえ
H　コーマック・マッカーシー　すべての美しい馬
K　アーサー・ミラー　セールスマンの死
C　トニ・モリスン　ソロモンの歌
M　ジェフリー・ユージェニデス　ヘビトンボの季節に自殺した五人姉妹

９　ノンフィクション

A　アミール・アクゼル　天才数学者たちが挑んだ最大の難問

J　石原藤夫・金子隆一　軌道エレベーター

G　レイチェル・カースン　われらをめぐる海

E　スティーヴン・ジェイ・グールド　『ワンダフル・ライフ』

C　チャールズ・サイフェ　異端の数ゼロ

M　ジョージ・ジョンソン　量子コンピュータとは何か

L　瀬山士郎　『はじめての現代数学』　講談社現代新書

J　マーク・ブナキャン　歴史は「べき乗則」で動く

B　マルセル・ヘードリッヒ　ココ・シャネルの秘密

C　スティーブン・W・ホーキング　ホーキング、宇宙を語る

G　キャリー・マリス　『マリス博士の奇想天外な人生』

K　ロバート・K・レスラーほか　FBI心理分析官

B　コンラート・ローレンツ　『ソロモンの指環』

L　アラン・ワイズマン　人類が消えた世界

E　和田哲哉　文房具を楽しく使う　ノート・手帳篇

『ハヤカワ文庫の１００冊』から引用

『いまどきの新書　１２のキーワードで読む**1**３７冊』永江朗(著)の掲載書籍リスト

第１章 社会 現代が１時間でわかる本

１
藤竹暁　『ワイドショー政治は日本を救えるか』ベスト新書
山口二郎 『戦後政治の崩壊』岩波新書
菅谷明子 『メディア・リテラシー』岩波新書
小池振一郎　『ワイドショーに弁護士が出演する理由』平凡社新書

２
松谷明彦、藤正巖　『人口減少社会の設計』中公新書
鈴木りえこ　『超少子化』集英社新書
山田昌弘 『パラサイト・シングル社会の時代』ちくま新書
山岸俊男　『安心社会から信頼社会へ』中公新書

３
香山リカ 『若者の法則』岩波新書
宮本みち子 『若者が＜社会的弱者＞に転落する』新書y
春日武彦 『１７歳という病』文春新書
桜井哲夫 『不良少年』ちくま新書

４
江下雅之 『監視カメラ社会』講談社＋α新書

中西崇　『６０歳からの防犯手帳』集英社新書
斎藤貴男 『プライバシー・クライシス』文春新書
青木理　『日本の公安警察』講談社現代新書

５
五十嵐太郎 『過防備都市』　中公新書ラクレ

斎藤貴男 『安心のファシズム』岩波新書
藤竹暁 『都市は他人の秘密を消費する』集英社新書
金子勝　『セーフティネットの政治経済学』ちくま新書
中西崇 『完全防犯マニュアル』平凡社新書

６
佐々木信夫 『東京都政』岩波新書
青山＝　『石原都政副知事ノート』平凡社新書
樺嶋秀吉　『採点！　４７都道府県政』平凡社新書
上田篤 『都市と日本人』岩波新書

７
菊田幸一 『日本の刑務所』岩波新書
川邊克克朗 『日本の警察』集英社新書
大日方純夫 『警察の社会史』岩波新書
阿部謹也　『刑吏の社会史』中公新書

８
斎藤貴男 『教育改革と新自由主義』寺子屋新書
高橋哲哉 『教育と国家』講談社現代新書
米本ほか　『優生学と人間社会』講談社現代新書
門脇厚司 『子どもの社会学』岩波新書

９
杉山幸丸 『崖っぷち弱小大学物語』中公新書ラクレ
古沢由紀子 『大学サバイバル』集英社新書
中井浩一 『「勝ち組」大学ランキング』中公新書ラクレ
石弘光 『大学はどこへ行く』　講談社現代新書

10
大嶽秀夫　『日本型ポピュリズム』中公新書
石川真澄 『戦後政治史』岩波新書
星野透 『日本政治の決算』講談社現代新書
矢幡洋 『アイドル政治家症候群』中公新書ラクレ

第２章 ビジネス、経済　仕事のヒントと生活の自衛のために

１
東谷暁 『エコノミストは信用できるか』文春新書
宇沢弘文 『経済学の考え方』岩波新書
森嶋通夫 『思想としての近代経済学』岩波新書
金子勝　『セーフティネットの政治経済学』ちくま新書

２
日垣隆　『情報の「目利き」になる！』ちくま新書
谷岡一郎 『「社会調査」のウソ』文春新書
柴山哲也 『「情報人」のすすめ』集英社新書
立花隆　『「知」のソフトウェア』講談社現代新書

３
紀田順一郎 『インターネット書斎術』ちくま新書
二木、中山 『書くためのデジタル技法』ちくま新書
『わたしの整理法』岩波アクティブ新書
武田徹 『調べる、伝える、魅せる！』中公新書ラクレ

４
田中長徳 『デジカメだからできるビジネス写真入門』岩波アクティブ新書
森枝卓士　『デジカメ時代の写真術』生活人新書
大西みつぐ 『デジカメ時代のスナップショット写真術』平凡社新書

５
工藤順一 『論理に強い子どもを育てる』講談社現代新書
高杉尚孝 『論理的思考と交渉のスキル』光文社新書
山下正男　『論理的に考えること』岩波ジュニア新書
樋口裕一　『ホンモノの思考力』　集英社新書
野崎昭弘 『逆説論理学』中公新書

６
田中洋 『企業を高めるブランド戦略』講談社現代新書
内田東 『ブランド広告』光文社新書
石井淳蔵 『ブランド』岩波新書
佐々木健一 『タイトルの魔力』中公新書

７
戸矢理衣奈　『エルメス』新潮新書
落合正彦　『ダンディズム』光文社新書
南谷、井伊　『ファッション都市論』平凡社新書
中野香織　『スーツの神話』文春新書

８
宮崎学　『地下経済』青春出版社プレイブックス
岡崎　『債権回収の現場』角川oneテーマ21
冨久山、山口　『債権取り立ての法律学』新書y

９
田中淳夫　『日本の森はなぜ危機なのか』平凡社新書
加藤尚武　『環境倫理学のすすめ』丸善ライブラリー
宮崎良夫　『森林浴はなぜ身体にいいか』文春新書
鬼頭宏　『環境先進国江戸』PHP新書

10
足立紀尚　『牛丼を変えたコメ』新潮新書
酒井義昭　『コシヒカリ物語』中公新書
原剛　『日本の農業』岩波新書
兼坂祐　『わが農業革命』中公新書

11
バーロウほか　『「水」戦争の世紀』集英社新書
高橋裕　『地球の水が危ない』岩波新書
中村靖彦　『ウォーター・ビジネス』岩波新書
天野礼子　『ダムと日本』岩波新書

12
田中淳夫　『田舎で起業！』平凡社新書
晴山陽一　『独立して成功する！「超」仕事術』ちくま新書
大江建　『企業戦略』講談社現代新書
藤井孝一　『週末起業チュートリアル』ちくま新書

13
本多信一　『食べていくための自由業・自営業ガイド』岩波アクティブ新書
小杉、神山　『組織に頼らず生きる』平凡社新書
保坂和志　『世界を肯定する哲学』ちくま新書
関満博　『現場主義の知的生産法』ちくま新書

14
橋本治　『上司は思いつきでものを言う』集英社新書

由紀草一　『団塊の世代とは何だったのか』新書y
金原端人　『大人になれないまま成熟するために』新書y
江波戸哲夫　『成果主義を超える』文春新書

15
熊木徹夫　『精神科医になる』中公新書
笠原　『精神病』岩波新書
野村総一郎　『精神科にできること』講談社現代新書
安藤春彦　『精神科医は何をしてくれるか』ブルーバックス

16
長部日出雄　『仏教と資本主義』新潮新書
松尾剛次　『仏教入門』岩波ジュニア新書
立川武蔵　『日本仏教の思想』講談社現代新書
松尾剛次　『鎌倉新仏教の誕生』講談社現代新書

17
田村達也　『コーポレート・ガバナンス』中公新書
深尾光洋　『コーポレート・ガバナンス入門』ちくま新書
奥村宏　『会社本位主義は崩れるか』波新書
水谷雅一　『経営倫理学のすすめ』丸善ライブラリー

18
島本慈子　『ルポ解雇』岩波新書
森永卓郎　『リストラと能力主義』講談社現代新書
熊沢誠　『能力主義と企業社会』岩波新書
奥村宏　『倒産はこわくない』岩波アクティブ新書

19
小関智弘　『働くことは生きること』講談社現代新書
小関智弘　『仕事が人をつくる』岩波新書
小関智弘　『ものづくりに生きる』岩波ジュニア新書
斎藤貴男　『希望の仕事論』平凡社新書

第３章　生き方　成熟と停滞の時代を生き抜くために

1

阿古真里　『ルポ「まる子世代」』集英社新書
汐見稔幸　『親子ストレス』平凡社新書
山田昌弘　『結婚の社会学』丸善ライブラリー
豊田正義　『家庭という病巣』新潮新書

２
豊田正義　『DV』光文社新書
東京新聞特別報道部　『連鎖・児童虐待』角川oneテーマ21
岩月謙司　『女は男のどこを見ているか』ちくま新書
岡田尊司　『人格障害の時代』平凡社新書
山口宏　『離婚の作法』PHP新書

３
諸富祥彦　『さみしい男』ちくま新書
小谷野敦　『もてない男』ちくま新書
小浜、佐藤　『中年男に恋はできるか』新書y
デュシェ　『オナニズムの歴史』文庫クセジュ

４
伊田広行　『シングル化する日本』新書y
田中喜美子　『母子密着と育児障害』講談社＋α新書
木下栄造　『結婚の科学』文春新書
森永卓郎　『＜非婚＞のすすめ』講談社現代新書

５
黒井克行　『男の引き際』新潮新書
長◯安浩　『きょうも命日』中公新書ラクレ
勢古浩◯　『ぶさまな人生』新書y
梅田功　『悪戦苦闘ED日記』宝島社新書

６
春日武彦　『１７歳という病』文春新書
斎藤環　『社会的引きこもり』PHP新書
桜井哲夫　『ことばを失った若者たち』講談社現代新書
笠原　『青年期』中公新書

７

渋井哲也　『出会い系サイトと若者たち』新書y
鈴木淳史　『美しい日本の掲示板』新書y
岩谷宏　『インターネットの大錯誤』ちくま新書
糸井重里　『インターネット的』PHP新書

８
長山靖生　『若者はなぜ「決められない」か』ちくま新書
荷宮和子　『若者はなぜ怒らなくなったのか』中公新書ラクレ
宮本みち子　『若者が「社会的弱者」に転落する』新書y
鮎川潤　『少年犯罪』平凡社新書

９
高橋祥友　『中高年自殺』ちくま新書
川人博　『過労自殺』岩波新書
高橋祥友　『自殺の心理学』講談社現代新書
筒井末春　『うつと自殺』集英社新書

10
水田宗子　『女性学との出会い』集英社新書
大越愛子　『フェミニズム入門』ちくま新書
鹿野政直　『婦人・女性・おんな』岩波新書
高木　『三くだり半と縁切寺』講談社現代新書

11
中村、石井　『自分の顔が許せない！』平凡社新書
大平健　『豊かさの精神病理』岩波新書
香山リカ　『＜じぶん＞を愛するということ』講談社現代新書
鷲田清一　『じぶん・この不思議な存在』講談社現代新書

12
春日武彦　『幸福論』講談社現代新書
武田修志　『人生の価値を考える』講談社現代新書
勢古　『思想なんていらない生活』ちくま新書
中島義道　『ぐれる！』新潮新書

第４章　思考の道具　メディアと思想の使いかた

１

西研、佐藤幹夫　『哲学は何の役に立つのか』新書y

三木清　『哲学入門』岩波新書

廣松渉　『新哲学入門』岩波新書

内田樹　『寝ながら学べる構造主義』文春新書

２

鷲田清一　『教養としての「死」を考える』新書y

養老孟司　『死の壁』新潮新書

高橋繁行　『葬祭の日本史』講談社現代新書

阿部謹也　『「教養」とは何か』講談社現代新書

３

日垣隆　『現代日本の問題集』講談社現代新書

菅直人 『大臣』岩波新書

梅林宏道 『在日米軍』岩波新書

小此木潔 『財政構造改革』岩波新書

４

中島清福 『新聞は生き残れるか』岩波新書

徳山喜雄　『報道危機』集英社新書

柴田鉄治　『新聞記者という仕事』集英社新書

本郷美則　『新聞があぶない』文春新書

５

碓井広義　『テレビの教科書』PHP新書

桜井哲夫　『TV　魔法のメディア』ちくま新書

草野厚　『テレビ報道の正しい見方』PHP新書

６

赤木洋一　『平凡パンチ１９６４』平凡社新書

金原瑞人　『大人になれないままに成熟するために』新書y

仲井戸麗一　『ロックの感受性』平凡社新書

７

武田徹　『戦争報道』ちくま新書

中村好寿　『軍事革命（RMA）』中公新書

鍛冶俊樹　『エシュロンと情報戦争』文春新書
田中、大門　『ハーバードで語られる世界戦略』光文社新書

８
小林正弥　『非戦の哲学』ちくま新書
坂本 龍一/ｓｕｓｔａｉｎａｂｉｌｉｔｙ　ｆｏｒ　ｐｅａｃｅ監修　『非戦』幻冬舎
藤原帰一　『戦争を記憶する』講談社現代新書
長山靖生　『日露戦争』新潮新書
斎藤美奈子　『戦下のレシピ』岩波アクティブ新書

９
小川忠　『原理主義とは何か』講談社現代新書
広瀬隆　『アメリカの保守本流』集英社新書
岡崎勝世　『世界史とヨーロッパ』講談社現代新書
岩田靖夫　『ヨーロッパ思想入門』岩波ジュニア新書

10
大平健　『食の精神病理』光文社新書
伊藤漸　『胃は悩んでいる』岩波新書
根岸宏邦　『子どもの食事』中公新書
山登敬之　『拒食症と過食症』講談社現代新書

11
田辺繁治　『生き方の人類学』講談社現代新書
鬼界彰夫　『ウィトゲンシュタインはこう考えた』講談社現代新書
渡辺淳一　『二十世紀のフランス知識人』集英社新書

第５章　暮らし　日常を見直す

１
小泉和子　『和食の力』平凡社新書
廣野卓　『食の万葉集』中公新書
小泉武夫　『漬け物大全』平凡社新書
向笠千恵子　『日常の食材おいしい旅』集英社新書

２
清水義範　『行儀よくしろ』ちくま新書

苅谷剛彦　『なぜ教育論争は不毛なのか』中公新書ラクレ
市川伸一　『学力低下論争』ちくま新書
佐藤淑子　『イギリスのいい子日本のいい子』中公新書

３
永井洋一　『スポーツは「良い子」を育てるか』生活人新書
多木浩二　『スポーツを考える』ちくま新書
玉木正之　『スポーツとは何か』講談社現代新書
梶山寿子　『子どもをいじめるな』文春新書

４
小林寛道　『運動神経の科学』講談社現代新書
矢野ほか　『ナンバ走り』光文社新書
吉福康郎　『格闘技「奥義」の科学』ブルーバックス
宮下充正　『トレーニングの科学』ブルーバックス

５
広瀬弘忠　『人はなぜ逃げおくれるのか』集英社新書
片山恒雄　『東京大地震は必ず起きる』文春新書
廣井　『流言とデマの社会学』文春新書
吉井博明　『都市防災』講談社現代新書

６
青木　『人体常在菌のはなし』集英社新書
米山公啓　『「健康」という病』集英社新書
竹原和彦　『こうして治すアトピー』岩波アクティブ新書
林望　『古今黄金譚　古典の中の糞尿物語』平凡社新書

７
西川祐子　『住まいと家族をめぐる物語』集英社新書
吉田桂ニ　『民家に学ぶ家づくり』平凡社新書
小菊豊久　『マンションは大丈夫か』文春新書
福島瑞穂　『結婚と家族』岩波新書

８
奥平、宮台　『憲法対論』平凡社新書
杉原泰雄　『憲法読本』岩波ジュニア新書

長尾龍一　『憲法問題入門』ちくま新書
今井一　『「憲法九条」国民投票』集英社新書

９
長谷部恭男　『憲法対論』ちくま新書
奥平康弘　『いかそう日本国憲法』岩波ジュニア新書
浅井基文　『集団的自衛権と日本国憲法』集英社新書
橋爪大三郎　『人間にとって法とは何か』PHP新書

10
井崎正敏　『天皇と日本人の課題』新書y
多木浩二　『天皇の肖像』岩波新書
中村政則　『象徴天皇制への道』岩波新書
原武史　『皇居前広場』光文社新書

11
冨家孝　『医者と謝礼のいま』カッパ・ブックス
鈴木厚　『日本の医療を問いなおす』ちくま新書
星野一正　『医療の倫理』岩波新書
池上ほか　『日本の医療』中公新書

12
『医療事故がとまらない』集英社新書
小野寺時夫　『新治る医療、殺される医療』中公新書ラクレ
渥美和彦　『自分を守る患者学』PHP新書
高久史麿　『医の現在』岩波新書

13
永井明　『適応上手』角川oneテーマ21
神庭重信　『こころと体の対話』文春新書
岩井寛　『森田療法』講談社現代新書
山折哲雄　『こころの作法』中公新書

第６章　趣味　初心者からマニアまで

１
石原俊　『いい音が聴きたい』岩波アクティブ新書

橋本尚　『楽器の科学』ブルーバックス
日本音響学会　『音のなんでも小事典』ブルーバックス
許、鈴木　『クラシックCD名盤バドル』新書y

２
赤城耕一　『カメラ至上主義！』平凡社新書
石井正彦　『気づきの写真術』文春新書
荒木　『天才アラーキー写真ノ方法』集英社新書
馬渕勇　『クラシックカメラ便利帖』平凡社新書

３
米沢　『マンガで読む「涙」の構造』生活人新書
夏目房之介　『マンガと「戦争」』講談社現代新書
米沢　『戦後野球マンガ史』平凡社新書
吉弘幸介　『マンガの現代史』丸善ライブラリー

４
白鳥和也　『素晴らしき自転車の旅』平凡社新書
◯田智　『快適自転車ライフ』岩波アクティブ新書
花村萬月　『自由に至る旅』集英社新書

５
先崎学　『小博打のススメ』新潮選書
谷岡一郎　『ギャンブルフィーヴァー』中公新書ラクレ
小林章夫　『賭けとイギリス人』ちくま新書
山本一正　『競馬学への招待』ちくま新書

６
清水晶子　『ロンドンの小さな博物学』集英社新書
星野知子　『パリと七つの美術館』集英社新書
『文学館のある旅１０３』集英社新書

７
佐々木晶　『ラーメンを味わつくす』光文社新書
中村靖彦　『コンビニ　ファミレス　回転寿司』文春新書
◯野敏子　『そば学大全』平凡社新書
張競　『中華料理の文化史』ちくま新書

８
山田、古瀬　『ビール職人、美味いビールを語る』光文社新書
渡辺純　『ビール大全』文春新書
稲垣眞美　『新しい日本酒の話』文春新書
朽木ゆり子　『マティーニを探偵する』集英社新書

９
鈴木隆　『匂いのエロティシズム』集英社新書
山下　『五感生活術』文春新書
堀江珠喜　『男はなぜ悪女にひかれるのか』平凡社新書
石田かおり　『化粧せずには生きられない人間の歴史』講談社現代新書

第７章　国際　帝国、グローバリズム、ナショナリズムを考える

１
我部政明　『日米安保を考え直す』講談社現代新書
前田哲男　『自衛隊をどうするか』岩波新書
小池政行　『戦争と有事法制』講談社現代新書
広瀬隆　『アメリカの巨大軍需産業』集英社新書

２
朴三石　『海外コリアン』中公新書
野崎充彦　『コリアの不思議世界』平凡社新書
原尻英樹　『「在日」としてのコリアン』講談社現代新書
小倉紀蔵　『韓国人のしくみ』講談社現代新書

３
石丸次郎　『北朝鮮難民』講談社現代新書
高崎宗司　『植民地朝鮮の日本人』岩波新書
伊健次　『もっと知ろう朝鮮』岩波ジュニア新書
島田洋一　『アメリカ・北朝鮮抗争史』文春新書

４
藤原帰一　『デモクラシーの帝国』岩波新書
最上敏樹　『人道的介入』岩波新書
板垣雄三　『「対テロ戦争」とイスラム世界』岩波新書

桜井哲夫　『アメリカはなぜ嫌われるのか』ちくま新書

５
姜尚中、森巣博　『ナショナリズムの克服』集英社新書
浅羽通明　『ナショナリズム』ちくま新書
香山リカ　『ぷちナショナリズム症候群』中公新書ラクレ
米原謙　『徳富蘇峰』中公新書

６
関野吉晴　『グレートジャーニー』ちくま新書
小泉武栄　『登山の誕生』中公新書
林周二　『比較旅行学』中公新書
神崎宣武　『物見遊山と日本人』講談社現代新書

７
◯尚中　『日朝関係の克服』集英社新書
倉沢愛子　『「大東亜」戦争を知っていますか』講談社現代新書
高崎宗司　『植民地朝鮮の日本人』岩波新書
木村幹　『朝鮮半島をどう見るか』集英社新書

８
内海夏子　『ドキュメント　女子割礼』集英社新書
山内昌之　『イスラームと世界史』ちくま新書
宮本、松田　『新書アフリカ史』講談社現代新書
白須英子　『イスラーム世界の女性たち』文春新書

第８章　芸術　ポケットに入る極上鑑賞ガイド

１
大竹昭子　『個人美術館への旅』文春新書
瀬木慎一　『ピカソ』集英社新書
山梨俊夫　『現代絵画入門』中公新書
佐々木健二郎　『アメリカ絵画の本質』文春新書

２
飯島洋一　『キーワードで読む現代建築ガイド』平凡社新書
藤森照信　『天下無双の建築学入門』ちくま新書

藤森照信　『日本の近代建築』岩波新書
芦原義信　『東京の美学』岩波新書

３
田窪恭治　『表現の現場』講談社現代新書
榊原悟　『日本絵画のあそび』岩波新書
森村泰昌　『踏みはずす美術史』講談社現代新書
辰濃和夫　『四国遍路』岩波新書

４
伊藤俊治　『バリ島芸術をつくった男』平凡社新書
永渕康之　『バリ島』講談社現代新書
山中速人　『ハワイ』岩波新書
矢口祐人　『ハワイの歴史と文化』中公新書

５
金窪周作　『恋するオペラ』集英社新書
林光　『日本オペラの夢』岩波新書
武満徹、大江健三郎　『オペラをつくる』岩波新書
堀内修　『オペラ歳時記』　講談社現代新書

６
中野雄　『ウィーン・フィル』文春新書
宇野功芳　『名演奏のクラシック』講談社現代新書
鈴木淳司　『クラシック批評こてんぱん』新書y
本間ひろむ　『指揮者の名盤』平凡社新書

７
四谷シモン　『人形作家』講談社現代新書
瀬名秀明　『ロボット２１世紀』文春新書
三井秀樹　『形とデザインを考える６０章』平凡社新書
水木しげる　『妖怪画談』岩波新書

８
榊原悟　『江戸の絵を愉しむ』岩波新書
中井宗太郎　『浮世絵』岩波新書
諏訪春雄　『日本人と遠近法』ちくま新書

９
宮元健次　『月と日本建築』光文社新書
吉田桂ニ　『民家に学ぶ家づくり』平凡社新書
相川浩　『日本の名建築をあるく』ちくま新書
増田彰久　『近代化遺産を歩く』中公新書

10
越後島研一　『現代建築の冒険』中公新書
五十嵐太郎　『世界の名建築』光文社新書
山田由美　『帝国ホテル・ライト館の謎』集英社新書

第９章　科学　文系のためのサイエンス入門

１
佐倉統　『進化論という考えかた』講談社現代新書
長谷川眞理子　『進化とはなんだろうか』岩波ジュニア新書
三木成夫　　『胎児の世界』中公新書
岡田節人　『からだの設計図』岩波新書

２
鎌田浩毅　『火山はすごい』PHP新書
山下輝夫　『大地の躍動を見る』岩波ジュニア新書
小山真人　『ヨーロッパ火山紀行』ちくま新書
池谷浩　『火山災害』中公新書

３
青木宏一郎　『自然保護のガーデニング』中公新書ラクレ
遠山茂樹　『森と庭園の英国史』文春新書
江尻光一　『園芸の極意』生活人新書
吉村隆一　『名人庭師　剪定・整姿の知恵袋』講談社＋α新書

４
八杉、林　『お話・数学基礎論』ブルーバックス
遠山啓　『数学入門』岩波新書
林周二　『数学再入門』中公新書
岡田正彦　『「考える力」がつくやさしい数学』講談社＋α新書

５
酒井邦嘉　『言語の脳科学』中公新書
川島、安達『脳と音読』講談社現代新書
三上章◯『脳はどこまでわかったか』講談社現代新書
山元大輔『脳と記憶の謎』講談社現代新書

６
木下清一郎『心の起源』中公新書
茂木健一郎、田谷文彦『脳とコンピュータはどう違うか』ブルーバックス
小長谷正明『脳と神経内科』岩波新書
新井康◯『脳から見た男と女』ブルーバックス

７
アガシ　『科学の大発見はなぜ生まれたか』ブルーバックス
小山慶太　『科学史年表』中公新書
平田寛　『歴史を動かした発明』岩波ジュニア新書
中山茂　『科学技術の戦後史』岩波新書

８
茂木健一郎　『意識とはなにか』ちくま新書
木田元　『現象学』岩波新書
谷徹　『これが現象学だ』講談社現代新書
新宮一成　『ラカンの精神分析』講談社現代新書

９
粂和彦　『時間の分子生物学』講談社現代新書
本川達雄　『ゾウの時間　ネズミの時間』中公新書
千葉喜彦　『からだの中の夜と昼』中公新書
柳澤桂子　『いのちとリズム』中公新書

10
周達雄　『カエルを釣る、カエルを食べる』平凡社新書
川村俊一　『昆虫採集の魅惑』光文社新書
唐沢孝一　『スズメのお宿は街のなか』中公新書
日高敏隆　『水と生命の生態学』ブルーバックス

第１０章　歴史　歴史は細部に宿る

１

近藤二郎　『ヒエログリフを愉しむ』集英社新書

松本弥　『物語古代エジプト人』文春新書

高宮いづみ　『古代エジプトを発掘する』岩波新書

増田、吉村　『インカとエジプト』　岩波新書

２

佐藤賢一　『ダルタニャンの生涯』岩波新書

佐藤賢一　『英仏百年戦争』集英社新書

多木浩二　『絵で見るフランス革命』岩波新書

鹿島茂　『フランス歳時記』中公新書

３

八幡和郎　『江戸三〇〇藩最後の藩主』光文社新書

氏家幹人　『江戸藩邸物語』中公新書

白石良夫　『最後の江戸留守居役』ちくま新書

百瀬明治　『名君と賢臣』講談社現代新書

４

山本博文　『武士と世間』中公新書

氏家幹人　『武士道とエロス』講談社現代新書

吉村昭　『史実を歩く』文春新書

榊原悟　『江戸の絵を愉しむ』岩波新書

５

高橋敏　『博徒の幕末維新』ちくま新書

星亮一　『敗者の維新史』中公新書

野口武彦　『幕府歩兵隊』中公新書

一坂太郎　『長州奇兵隊』中公新書

６

家近良樹　『孝明天皇と「一会桑」』文春新書

星亮一　『よみなおし戊辰戦争』ちくま新書

佐藤誠朗　『幕末維新の民衆世界』岩波新書

辻ミチ子　『女たちの幕末京都』中公新書

７
佐藤卓己　『言論統制』中公新書
小林雅一　『隠すマスコミ、騙されるマスコミ』文春新書
保岡裕之　『メディアのからくり』ベスト新書
畠山武　『昭和史の怪物たち』文春新書

８
屋名池誠　『横書き登場』岩波新書
高島俊男　『漢字と日本人』文春新書
大島正二　『漢字と中国人』岩波新書
金田一春彦　『日本人の言語表現』講談社現代新書

９
阿部謹也　『日本人の歴史意識』岩波新書
網野善彦　『日本社会の歴史』岩波新書（３巻）
島田裕巳　『日本人の神はどこにいるか』ちくま新書
阿部謹也　『「世間」とは何か』講談社現代新書

10
道浦母都子　『女歌の百年』岩波新書
篠弘　『疾走する女性歌人』集英社新書
上野さち子　『女性俳句の世界』岩波新書
栗木京子　『短歌を楽しむ』岩波ジュニア新書

11
石井妙子　『囲碁の力』新書y
平本弥星　『囲碁の知・入門編』集英社新書
松田道弘　『将棋とチェスの話』岩波ジュニア新書
増川宏一　『将棋の駒はなぜ４０枚か』集英社新書

12
『「明星」５０年６０１枚の表紙』集英社新書
佐藤良明　『J・POP進化論』平凡社新書
四方田犬彦　『日本映画史１００年』集英社新書
今泉容子　『日本シネマの女たち』ちくま新書

13
船越健之輔　『黒枠広告物語』文春新書
佐野山寛太　『現代広告の読み方』文春新書
今野信雄　『広告世相史』中公新書
根本正二郎　『広告人物語』丸善ライブラリー

14
澁谷知美　『日本の童貞』文春新書
若桑みどり　『お姫様とジェンダー』ちくま新書
岸田秀　『性的唯幻論序説』文春新書
大平健　『純愛時代』岩波新書

第１１章　文化　目からウロコの文化の読みかた

１
吉田菊次郎　『洋菓子はじめて物語』平凡社新書
辻口、浅妻　『パティシエ世界一』光文社新書
村上なおこ　『ケーキの世界』集英社新書
岡部史　『古きよきアメリカン・スイーツ』平凡社新書

２
五十嵐太郎　『新宗教と巨大建築』講談社現代新書
西島建男　『新宗教の神々』講談社現代新書
島田裕巳　『創価学会』新潮新書
井上順孝　『若者と現代宗教』ちくま新書

３
『ことわざの知恵』岩波新書
金田一春彦　『いい日本語を忘れていませんか』講談社＋α新書
中村明　『日本語のコツ』中公新書
柴田武　『日本語はおもしろい』岩波新書

４
山口仲美　『犬は「ぴよ」と鳴いていた』光文社新書
瀬戸賢一　『日本語のレトリック』岩波ジュニア新書
野口恵子　『かなり気がかりな日本語』集英社新書
飯間浩明　『遊ぶ日本語不思議な日本語』岩波アクティブ新書

５
大島正二　『漢字と中国人』岩波新書
白川静　『漢字』岩波新書
白川静　『漢字百話』中公新書
阿辻哲次　『漢字の知恵』ちくま新書

６
井上史雄　『日本語は年速一キロで動く』講談社現代新書
大野晋　『日本語練習帳』岩波新書
金武伸弥　『新聞と現代日本語』文春新書
井上史雄　『日本語は生き残れるか』PHP新書

７
黒田龍之助　『はじめての言語学』講談社現代新書
田中克彦　『言語学徒は何か』岩波新書
鈴木孝夫　『教養としての言語学』岩波新書
風間喜代三　『言語学の誕生』岩波新書

８
柏木博　『「しきり」の文化論』講談社現代新書
柏木博　『日用品の文化誌』岩波新書
山田登世子　『ファッションの技法』講談社現代新書
臼田◯治　『装幀列伝』平凡社新書

９
大塚英志　『「おたく」の精神史』講談社現代新書
東浩紀　『動物化するポストモダン』講談社現代新書
大塚、ゴウ　『教養としての＜まんが・アニメ＞』講談社現代新書
東、笠井　『動物化する世界の中で』集英社新書

第１２章　読書　本がもっとおもしろくなる本

１
坪内祐三　『新書百冊』新潮新書
歌田明弘　『本の未来はどうなるか』中公新書
津野海太郎　『新・本とつきあう本』中公新書

山内昌之　『「反」読書法』講談社現代新書

２
宮田光雄　『メルヘンの知恵』岩波新書
大塚英志　『キャラクター小説の作り方』講談社現代新書
堀江珠喜　『団鬼六論』平凡社新書
宮田登　『神の民俗誌』岩波新書

３
川村湊　『日本の異端文学』集英社新書
谷川渥　『廃墟の美学』集英社新書
梁石日　『修羅を生きる』講談社現代新書
豊田健次　『それぞれの芥川賞　直木賞』文春新書

４
根本美作子　『眠りと文学』中公新書
池内紀　『となりのカフカ』光文社新書
井上昌次郎　『睡眠障害』講談社現代新書
アダン　『物語論』文庫クセジュ

５
川西政明　『鞍馬天狗』岩波新書
一坂太郎　『幕末歴史散歩』中公新書
武光誠　『藩から読む幕末維新』PHP新書
磯田道史　『武士の家計簿』新潮新書

６
中一弥　『挿絵画家・中一弥』集英社新書
『時代小説百番勝負』ちくま新書
小沢、多田、原　『時代小説の愉しみ』平凡社新書
高橋敏夫　『藤沢周平』集英社新書

７
佐藤　『「面白半分」の作家たち』集英社新書
奥野健男　『日本文学史』中公新書
川西政明　『「死霊」から「キッチン」へ』講談社現代新書
川村湊　『戦後文学を問う』岩波新書

８

松本哉　『寺田寅彦は忘れた頃にやって来る』集英社新書

菊池聡　『超常現象の心理学』平凡社新書

竹内洋　『教養主義の没落』中公新書

９

安宅夏夫　『「日本百名山」の背景』集英社新書

川西政明　『文士と姦通』集英社新書

大村彦次郎　『文士の生きかた』ちくま新書

安田◯栄　『追憶の作家たち』文春新書

10

村上征勝　『シェークスピアは誰ですか？』文春新書

小田島雄志　『シェイクスピア名言集』岩波ジュニア新書

大野栄一　『数学なんてこわくない』岩波ジュニア新書

11

田中共子　『図書館へ行こう』岩波ジュニア新書

辻由美　『図書館であそぼう』講談社現代新書

NDL入門編集委員会　『国立国会図書館入門』三一新書

アドアリネ　『調査のためのインターネット』ちくま新書

12

菅谷明子　『未来をつくる図書館』岩波新書

藤野幸雄　『アメリカ議会図書館』中公新書

林◯子　『理想の児童図書館を求めて』中公新書

アバディ　『古代アレクサンドリア図書館』中公新書

『齋藤孝のおすすめブックナビ絶対感動本５０』齋藤孝(著)の掲載書籍リスト

１．自伝・エッセイ
紫の履歴書　美輪明宏
『チャップリン自伝』　チャップリン
『若き数学者のアメリカ』　藤原正彦
生きて行く私　宇野千代
父・こんなこと　幸田文
自分の中に毒を持て　岡本太郎
色を奏でる　志村ふくめ

２．ノンフィクション
神の肉体　清水宏保　吉井妙子
『もの食う人びと』　辺見庸
聖の青春　大崎善生
ヨハン・クライフ　ミゲルアンヘル・サントス
素晴らしきラジオ体操　高橋秀実
嬉遊曲、鳴りやまず　中丸美絵
印度放浪　藤原新也
パリ左岸のピアノ工房　カーハート

３．身体・心理・哲学
『胎児の世界』　三木成夫
野口体操　からだに貞く　野口三千三
ことばが劈かれるとき　竹内敏晴
「いき」の構造　九鬼周造
開かれた小さな扉　アクスライン
ツァラトゥストラ　ニーチェ
ゲーテとの対話　エッカーマン

４．歴史
世に棲む日日　司馬遼太郎
氷川清話　勝海舟
『ある明治人の記録』　会津人柴五郎の遺書　石光真人編著
望郷と海　石原吉郎
腕白小僧がいた　土門拳

５．神話の世界
ギルガメッシュ王ものがたり　ゼーマ
『リトル・トリー』　カーター
神話の力　キャンベル
風の風物誌　ワトソン

６．絵本・漫画
クレーの絵本　クレー
絶対安全剃刀　高野文子
まんだら屋の良太　畑中純

７．文学・小説ほか
中国行きのスロウ・ボート　村上春樹
爆発道祖神　町田康
風と光と二十の私と／夜長姫と耳男　坂口安吾
両手いっぱいの言葉　寺山修司
謎とき『罪と罰』　江川卓
古典落語　志ん生集　古今亭志ん生
『ライ麦畑でつかまえて』　サリンジャー
トレインスポッティング　ウェルシュ
悪童日記　クリストフ
『停電の夜に』　ラヒリ
欲望という名の電車　ウィリアムズ
微笑を誘う愛の物語　クンデラ
百年の孤独　ガルシア＝マルケス
O・ヘンリ短編集　O・ヘンリ
小説作法　スティーブン・キング

『功利主義者の読書術』佐藤優(著)の掲載書籍リスト

１．資本主義の本質とは何か
○　マルクス　資本論第１巻　岩波文庫
○　伊藤潤二　うずまき１～３
○　宇野弘蔵　『経済原論』
○　錦矢りさ　夢を与える
○　宇野弘蔵　『資本論に学ぶ』

２．論戦に勝つテクニック
○　チャペック　『山椒魚戦争』
○　石原真理子　ふぞろいな秘密
○　酒井順子　負け犬の遠吠え

３．実践的恋愛術を伝授してくれる本
○　五味川純平　孤独の賭け　上・中・下
○　高橋和巳　我が心は石にあらず

４．「交渉の達人」になるための参考書
○　東郷和彦　北方領土交渉秘録
○　ドフトエフスキー　『カラマーゾフの兄弟』１～５　光文社
○　大城立裕　カクテル・パーティ

５．大不況時代を生き抜く智慧
○　宇野弘蔵　恐慌論
○　副島隆彦　『恐慌前夜』
○　リスト　経済学の国民的体系　岩波書店
○　小林多喜二　『蟹工船
○　葉山嘉樹　海に生くる人々

６．「世直しの罠」に嵌らないために
○　高橋和巳　邪宗門
○　坂口弘　歌集　常しへの道
○　山本直樹　レッド

７．人間の本性を見抜くテクニック
○　チャンドラー　長いお別れ

○　チャンドラー　ロング・グッドバイ
○　池田晶子ほか　死と生きる

８．「沖縄問題」の本質を知るための参考書
○　高良倉吉　琉球王国　岩波新書
（高倉　図説琉球王国
○　池上永一　テンペスト　上・下

９．再び超大国化を目論むロシアの行方
○　小室直樹　ソビエト帝国の最期
○　ソルジェニーツィン　イワン・デニーソヴィチの一日　新潮文庫
○　ハーバーマス　他者の受容
○　私のソルジェニーツィン　サイマル出版

１０．日本の閉塞状況を打破するための視点
○　多川俊映　はじめての唯識
○　ハーバーマス　公共性の構造転換
○　アルチュセール　資本論を読む
○　ホルクハイマー　啓蒙の弁証法
○　吉本隆明　共同幻想論
○　新約聖書　新共同訳
○　山内志朗　普遍論争　近代の源流としての　平凡社ライブラリー

『松岡正剛の書棚』松岡正剛(著)の掲載書籍リスト

◎はキーブック

本殿第１巻　遠くからとどく声

（１）少年少女の文学が解く昔日の記憶に秘められた矛盾

◎中勘助　銀の匙　銀の匙で遠い日が甦る
ラルボー　幼ごころ
デイヴィッド・コパフィールド
トム・ソーヤーの冒険
『十五少年漂流記』
◎カポーティ　『遠い声　遠い部屋』　瑞々しい感性
『秘密の花園』
小公女
ポーの一族
樋口一葉　『たけくらべ』　お薦め
尾崎翠　『第七官界彷徨』
ノヴァーリス　青い花　オトナ必読
メーテルリンク　青い鳥
石井桃子　ノンちゃん雲に乗る
バラード　時の声　『結晶世界』
レイ・ブラッドベリ　火星年代記
クラーク　幼年期の終わり
谷内六郎　昭和の想い出
立川談志　童謡咄
ギュンター・グラス　『ブリキの太鼓』
高野文子　絶対安全剃刀
大島弓子選集
吉本ばなな　『TUGUMI』
江國香織　『落下する夕方』
ドリトル先生アフリカゆき

（２）現実と夢想の回転木馬。文学の傑作はそこから生まれる

陶淵明　陶淵明全集

杜甫
李白
上田秋成　雨月物語
折口信夫　死者の書
中島敦　山月記
夢野久作　ドグラ・マグラ
ユゴー　『レ・ミゼラブル』
プーシキン　『スペードの女王』
江戸川乱歩　『押絵と旅する男』
夏目漱石　道草　夢十夜
荷風　断腸亭日乗
◎　寺田露伴　『連環記』
小林勇　『蝸牛庵訪問記』
イタロ・カルヴィーノ　『見えない都市』
ジャック・プレヴェール　金色の老人と喪服の時計
大佛次郎　『冬の紳士』

（３）無頼な男の行きずりの日々。短歌と俳句の読み方指南

◎プルースト　失われた時を求めて
ロレンス・ダレル　アレクサンドリア四重奏
チャールズ・ブコウスキー　『町でいちばんの美女』
レイモンド・チャンドラー　長いお別れ
北原白秋詩集　北原白秋歌集
山頭火　山頭火全句集
『銀河鉄道の夜』
◎上田三四二　短歌一生
堀口大學　月下の一群
石川桂郎　俳人風狂列伝
和辻哲郎　『古寺巡礼』

（４）　懐かしい町があった。夢の方舟には運ばれる快感

宇佐美承　『池袋モンパルナス』
上村一夫　菊坂ホテル
堀正三　『朝倉文夫の青春』
須賀敦子　『コルシア書店の仲間たち』

ボルヘス　『夢の本』
西行　山家集
星新一　『ボッコちゃん』
最相葉月　『星新一』
稲垣足穂　一千一秒物語
半村良　産霊山秘録
石川淳　『紫苑物語』
澁澤龍彦　うつろ舟
遠藤ケイ　『熊を殺すと雨が降る』『海の道山の道』
牧野信一　ゼーロン

本殿第２巻　猫と量子が見ている

（１）洒脱な科学エッセイの愉悦。情緒の数学とエレガントな宇宙

ファラデー　『ロウソクの科学』
寺田寅彦全集
平田森三　『キリンのまだら』
川上紳一　『縞々学』
今西錦司語録
ライプニッツ著作集
ヴィーコ　『新しい学』
ヘルマン・ワイル　数学と自然科学の哲学
ホワイトヘッド　過程と実在
岡潔　『春宵十話』
朝永振一郎　物理学とは何だろう
◎ハイゼンベルク　部分と全体
ピーター・アトキンス　『エントロピーと秩序』
佐藤文隆　『宇宙物理への道』　岩波ジュニア新書
佐藤勝彦　『宇宙１３７億年の歴史』
ホーキング、宇宙を語る
ブライアン・グリーン　『エレガントな宇宙』
エドワード・ホール　かくれた次元
ディラック　量子力学
朝永振一郎　量子力学

（２）塵から生まれた生命がフラジャイルな人間になるまでの道

◎クリスチャン・ド・デューブ　生命の塵
ダーウィン　種の起源
ローレンツ　『動物行動学』
ダンシャン　『ニワトリとタマゴ』
シャスティン・モベリ　『オキシトシン』
ルイス・トマス　『人間というこわれやすい種』
ロジェ・カイヨワ　『遊びと人間』
ジョセフ・ニーダム　中国の科学と文明
深田久弥　『日本百名山』
牧野富太郎　牧野日本植物図鑑
マイケル・ポランニー　『個人的知識』
エリッヒ・ヤンツ　自己組織化する宇宙
スチュアート・カウフマン　『自己組織化と進化の論理』

本殿第３巻　脳と心の編集学校

（１）漢字と「呪い」の不思議なかんけい。デジタル社会を活版印刷で大予測。

白川静　『漢字の世界』
宮城谷昌光　『沈黙の王』
岩波　哲学・思想事典
エスペラント語辞典
新・手話辞典
メルロー・ポンティ　シーニュ　意味の本質が関係性にある
ロラン・バルト　『神話作用』
マーシャル・マックルーハン　グーテンベルクの銀河系
俳句歳時記

（２）システムの内と外、狂気と正気。読書のための読書

パース著作集
ジェラルド・ワインバーグ　一般システム思考入門
ミンスキー　『心の社会』
◎ジェームス・ギブソン　『生態学的視覚論』
ユング　『元型論』
ラカン　『エクリ』

◎フーコー　『狂気の歴史』
グルジェフ伝　神秘思想家
『シュタイナー自伝』
ゴットフリート・ロスト　『司書』
レーシェブルク　『ヨーロッパの歴史的図書館』
アルベルト・マングェル　『読書の歴史』
ベイトソン　『精神の生態学』
岩井寛　『森田療法』
生と死の境界線

（３）デジタル社会の未来は、過去のデジタル社会で知る

アラン・ケイ　『アラン・ケイ』
エリック・レイモンド　伽藍とバザール
ポール・ヴィリリオ　『アクシデント　事故と文明』
ユルジス・バルトルシャイティス　『幻想の中世』
アベラシオン　アナモルフォーズ　イシス
マリオ・プラーツ　『官能の庭』
バーバラ・スタフォード　『ヴィジュアル・アナロジー』
ジャック・アタリ　情報とエネルギーの人間科学　『２１世紀の歴史』

本殿第４巻　神の戦争・仏法の鬼

（１）母性社会から見える神の隠された謎。ローカライズが生んだ悪人正機の逆説

ルネ・ジラール　『世の初めから隠されていること』
◎『モーセと一神教』
バハオーフェン　母権論　『母権制』
三枝充悳　『大乗とは何か』
『大乗起信論』
法華経
◎天台智顗　摩訶止観
道元　正法眼蔵
倉田百三　法然と親鸞の信仰
五木寛之　『親鸞』
ダンテ　神曲

（２）近代人がアフリカで見た「闇の奥」。そして狂気へ

『カラマーゾフの兄弟』
◎ジョセフ・コンラッド　『闇の奥』
アレクサンドル・デュマ　巌窟王
モンテ・クリスト伯
サルトル　マラルメ論
リシャール　『マラルメの想像的宇宙』
トロツキー　『わが生涯』
バクーニン　『神と国家』
ニーチェ　ツァラトストラかく語りき
ロレンス　知恵の七柱
エミール・シオラン　『涙と聖者』
ウィリアム・フォークナー　『サンクチュアリ』
ロバート・ノージック　『アナーキー・国家・ユートピア』
アントニオ・ネグリ　＜帝国＞

（３）西洋の知で世界を見るな。宇宙は健康あるいは病気？

レヴィ・ストロース　悲しき熱帯
シモーヌ・ヴェイユ　『根をもつこと』
『ルー・ザロメ　回想録』
アナイス・ニン　コレクション（３巻）
スーザン・ソンタグ　『反解釈』
ジャン・リュック・ナンシー　『共出現』
埴谷雄高　不合理ゆえに吾信ず　死霊

本殿第５巻　日本のイデオロギーの森

（１）アジアとは何か。桃太郎の母はどこへ行ったのか。日本の謎に迫る

宮崎市定　『東洋的古代』
内藤湖南　東洋文化史
大室幹雄　正名と狂言
沢史生　『鬼の日本史』
河合隼雄　『母性社会日本の病理』
鎌田東二　『超訳　古事記』

日本架空伝承人名事典（禁帯出）
故事拾遺　宇治拾遺？
日本王権論
墨子
佐藤弘夫　『神・仏・王権の中世』
川村湊　『牛頭天王と蘇民将来伝説』
赤坂憲雄　『境界の発生』

（２）日本の中世を作る王と民。危険な思想と明治維新

今谷明　『室町の王権』
井上鋭夫　『山の民・川の民』
村上知義　『忍びの者』
◎山本常朝　『葉隠』
五味康祐　『柳生武芸帳』
藤沢周平　『一茶』
長谷川三千子　『からごころ』
吉田松陰　『講孟余話
ヴィクター・コシュマン　『水戸イデオロギー』
大佛次郎　『天皇の世紀』
松本健一　『開国のかたち』
内村鑑三　代表的日本人
『ザ・大杉栄』
宮崎滔天　『三十三年の夢』
上村希美雄　宮崎兄弟伝
中里介山　大菩薩峠

（３）あの戦争を考える。あの敗戦を考える

井伏鱒二　『黒い雨』
梅崎春生　『幻化』
藤井康栄　『松本清張の残像』
松本清張　『昭和史発掘』
◎山口昌男　『「敗者」の精神史』
井上ひさし　『東京セブンローズ』
安彦良和　虹色のトロツキー
半藤一利　『昭和史　1926-1945』『昭和史　戦後篇』

坂井三郎　『大空のサムライ』『続』

本殿第６巻　茶碗とピアノと山水屏風

（１）絵画を語る書を語る建築を語るその言葉を探す

吉村貞司　中国絵画を読む
八大山人字典
歴代名画記
井上有一　日々の絶筆
芳賀徹　藝術の国日本
富岡鉄斎　太田垣蓮月
劉生日記
伊藤若沖大全
アルベルティ　建築論　絵画論、芸術論
エミール・マール　中世末期の図像学　ロマネスクの図像学　ゴシックの図像学
高階秀爾　『近代絵画史』
ブルーノ・タウト　『日本美の再発見』
村野藤吾　村野藤吾のデザイン・エッセンス
石元泰博　伊勢神宮
青山二郎　眼の哲学　利休伝ノート

（２）パンセに代わる日本の名著。引き算の美学と粗相の美

大森曹玄　『山岡鉄舟』
◎熊倉功夫校訂解説　『南方録』
柳宗悦　『民藝四十年』

（３）芸事の名人は、日本を知る方法も発見している

近松洋男　『口伝解禁近松門左衛門の真実』
渡辺保　『黙阿弥の明治維新』
九鬼周造　いきの構造
川瀬敏郎　『花会記』
重森三玲　『モダン枯山水』
風姿花伝　和漢朗詠集　方丈記　南方録
折口信夫　日本芸能史六講

平岡正明　『新内的』
木戸敏郎　『若き古代』
宮城道雄　『雨の念仏』
『パンソリ』
土方巽　病める舞姫　美貌の青空
完本　美空ひばり
グレン・グールド　発言集　『書簡集』
武満徹　エッセイ集　著作集
アーノンクール　『古楽とは何か』
クリス・ウェルチ　『ジミ・ヘンドリックスの伝説』
ジョン・スウェッド　『マイルス・デイヴィスの生涯』
ボリス・ヴィアンのジャズ入門
高橋透　DJバカ一代

（４）天才ピカソによる剽窃の真相。土門拳の鬼のような魂

『カリカチュアの歴史』
カイザー　グロテスクなもの
ペンローズ　ピカソ
エル・リシツキー
日本のタイポグラフィックデザイン
エルンスト　百頭女
『材料から建築へ』
絵画・写真・映画
フランク・ロイド・ライト　自伝
磯崎新　『空間へ』
内藤廣　建築的思考のゆくえ
白井晟一　『無窓』
ギーディオン　『空間・時間・建築』
土門拳　拳心　拳魂
荒木　センチメンタルな旅
藤原新也　印度放浪
都築響一　『珍日本紀行』
ユージン・スミス
十文字美信　わび
ジャコメッティ／エクリ
マルセル・デュシャン全著作

『ジョージア・オキーフ』
片岡球子全版画
ブニュエル、ロルカ、ダリ
ルドルフスキー　建築家なしの建築　キモノ・マインド
ボードリヤール　『物の体系』
エットーレ・ソットサス
内田繁　インテリアと日本人
ジョージ・ドーチ　『デザインの自然学』
川崎和男　『デザインは言語道断！』
仲條正義　花椿ト仲條
『デザインを知る世界の名著１００』
蓮實重彦　監督小津安二郎
佐藤忠男　溝口健二の世界
四方田犬彦　アジア映画の大衆的想像力
フェリーニ、映画を語る
『映画監督スタンリー・キューブリック』
中井正一　委員会の倫理
ハンス・アビング　金と芸術
村上隆　『芸術起業論』

（５）もっともセクシーなのは無。複合的知性はそこから爆発する

アンディ・ウォーホル　『ぼくの哲学』
『イリヤ・カバコフ自伝』
エッシャーの宇宙
『評伝イサム・ノグチ』
◎バイ・バイ・キップリング
森村泰昌　芸術家Mのできるまで
赤坂憲雄　『岡本太郎の見た日本』

本殿第７巻　男と女の資本主義

（１）切ない恋と暴走列車のような恋情けない男にあきれる女

とはずがたり
トルストイ　アンナ・カレーニナ
デュ・モーリア　レベッカ

斎藤茂太　女のはないき・男のためいき
平塚雷鳥　平塚らいてう著作集
瀬戸内寂聴　『青鞜』
中村喜春　江戸っこ芸者一代記
志村ふくみ　『一色一生』

（２）資本主義の源流と、共産主義の源流と

カール・ポランニー　人間の経済
フェルナン・ブローデル　地中海
フーリエ　『四運動の理論』
ジョン・ダワー　『敗北を抱きしめて』
頭山満　幕末三舟伝
花田清輝　復興期の精神
立花隆　『天皇と東大　大日本帝国の生と死』
今和次郎　考現学入門

（３）ゲイの中に見える聖性と幻想とそして真実

コクトー　大跨びらき
ゲイ・アイデンティティ
オスカー・ワイルド　ドリアン・グレイの肖像
ジョルジュ・バタイユ　エロティシズム　徹底した性
テネシー・ウィリアムズ回想録
ナボコフ　ロリータ
マヌエル・プイグ　『蜘蛛女のキス』
ジャン・ジュネ　『泥棒日記』

（４）哲学とともに読むサブカルとマンガとフェミニズム

町田康　『くっすん大黒』『テースト・オブ・苦虫』
ウィリアム・バロウズ　『裸のランチ』
大槻ケンヂ　グミ・チョコレート・パイン
美輪明宏　紫の履歴書　人生ノート
淀川長治　淀川長治自伝
ダナ・ハラウェイ　『猿と女とサイボーグ』
リーアン・アイスラー　『聖杯と剣』

鈴木いづみ　鈴木いづみコレクション
松浦理英子　親指Pの修業時代
つげ義春　ねじ式　紅い花
大友克洋　AKIRA　童夢
杉浦日向子　百物語
今関丈夫　お月さまいくつ　琉球民族誌
明治秘史疑獄難獄
全集　現代文学の発見
『イーディ』　筑摩書房　６０年代のヒロイン
ラスト・オブ・イングランド
エリック・ホッファー　『波止場日記』

（５）経済学は信用できるか。日本論は、脱皮できるか

金子勝　反経済学
ピエール・ブルデュー　『ディスタンクシオン』
加藤典洋　『日本人の自画像』
川勝平太　『文化力』
松岡正剛　『日本流』
猪野健治　『ヤクザと日本人』
鈴木邦男　『新右翼』
阿部昭　『江戸のアウトロー』
菅原幸助　『日本の華僑』
犬塚彰　『右翼の林檎』

本集０１　日本が変わる

（１）再編する市場と政治

ベネディクト・アンダーソン　『想像の共同体』
小熊英二　『民主と愛国』『単一民族神話の起源』
大澤真幸
佐藤優
ジャレド・ダイアモンド　『文明崩壊』『銃・病原菌・鉄』
ジャック・アタリ　２１世紀の歴史
エマニュエル・トッド　帝国以後
サミュエル・ハンチントン　文明の衝突

マイケル・クック　世界文明一万年の歴史
オルハン・パムク　『わたしの名は「紅」』
リチャード・ローティ　偶然性・アイロニー・連帯
ジグムント・バウマン　コミュニティ
デヴィッド・ハーヴェイ　ポストモダニティの条件　新自由主義
ミルトン・フリードマン　資本主義と自由

（２）たくらみの方法

『追跡！私の「ごみ」』
廃棄物ビジネス論
水とごみの環境問題
ごみとリサイクル
自動車リサイクル
消費生活とリサイクル
生ごみ・堆肥・リサイクル
『リサイクルは資源のムダ使い』
環境問題はなぜウソがまかり通るのか

（３）日本の、句読点。

田中角栄　日本列島改造論
小沢一郎　普通の日本
四方田犬彦　ハイスクール１９６８
村上春樹　１９７３年のピンボール
オーウェル　『一九八四年』
クラーク　２００１年宇宙の旅
丸山眞男講義録

（４）深層文化の目覚め

白川静　字訓
フーゾクの歩き方
エッチ産業の経済学
山口謡司　ん　新潮新書
赤瀬川原平　老人とカメラ
水村美苗　『日本語が亡びるとき』

レスター・ブラウン　プランB3.0
ファーガソン　『マネーの進化史』

本集０２　男本・女本・間本

対談　松岡正剛×佐藤優
国家の罠　日米開戦の真実　日本国家の真髄
不破哲三　「資本論」全三部を読む
ミハイル・ショーロホフ　人間の運命
中村うさぎ
山本七平　『日本人とユダヤ人』
東ドイツ文学小史　鳥影社

１９８１年に松岡正剛が選んだ必読書４５冊

ブラウン　宇宙をぼくの手の上に
稲垣足穂　一千一秒物語
ホイル　暗黒星雲
ガモフ　不思議の国のトムキンス
ワトソン　未知の贈りもの
ポオ　ユリイカ
谷川雁　戦闘への招待
クロポトキン　ある革命家の思い出
施耐庵　水滸伝
カイヨワ　戦争論
ブラッドベリ　何かが道をやってくる
大岡昇平　『野火』
折口信夫　死者の書
白川静　漢字の世界
モリス　人間動物園
マッハ　感覚の分析
松岡正剛　存在から存在学へ
富岡鉄斎　集英社
藤原新也　西蔵放浪
杉浦、松岡　ヴィジュアル・コミュニケーション
源豊宗　日本美術の流れ
岡倉天心　茶の本

司馬遼太郎　空海の風景
鈴木大拙　日本的感性
渡辺　生命と自由　岩波新書
湯川ほか　素粒子　岩波新書
ハイゼンベルク　部分と全体
ガードナー　自然界における左と右
小栗虫太郎　黒死館殺人事件
中野美代子　孫悟空の誕生
ダンセイニ　ダンセイニ幻想小説集
ヴィアン　うたかたの日々
荒俣宏　理科系の文学誌
ウェルズ　世界文化小史
白川静　中国古代の文化　中国古代の民俗
金達寿　朝鮮　岩波新書
クラーク　地球幼年期の終わり
ノヴァーリス　青い花
津島ほか　二十一世紀精神
岩田慶治　カミの人類学
カイヨワ　反対称
バラード　結晶世界
カプラ　タオ自然学
天台智顗　摩訶止観
荘子　中公文庫

対談　松岡正剛×東浩紀
デリダ　グラマトロジーについて

『立花隆の書棚』立花隆(著)の掲載書籍リスト

第１章　ネコビル１階

1　ロス　『死ぬ瞬間』
2　山田　人間臨終図巻
3　トカーフ他　死の儀礼
4　加藤尚武　バイオエシックスの基礎づけ
5　驚異の小宇宙　人体
6　吉村　光る壁画　内視鏡開発
7　生物学の革命　柴谷篤
8　おかあさんになったアイ　松沢
9　サルに学ぼう、自然な子育て　岡安
10　読む力・聴く力　河合隼雄ほか
11　Compact Oxford English Dictionary 一ページにオリジナル４ページ分。
12　ポパー　開かれた社会とその敵
13　テイヤール・ド・シャルダン　現象としての人間
14　神父と頭蓋骨　北京原人を発見した「異端者」（シャルダン）と進化論の発展
15　原発はほんとうに危険か？

第２章　ネコビル２階

1　黄金伝説　ヨーロッパの聖者たちの伝説
2　狩野　マヤとアステカ
3　エーゲ　永遠回帰の海
4　聖母マリア　バルネイ
5　マリア　シュライナー
6　神の道化師　聖ヨセフの肖像　石井美樹子
7　マリアの出現　バルネイ
8　イエズス会と日本１・２　大航海時代叢書
9　日本教会史　ロドリーゲス
10　映画　ミッション　：パラグアイの伝道所
11　『偽書「東日流外三郡誌」事件』
12　大和岩雄　遊女と天皇
13　関裕二　消された王権、抹殺された古代王権の秘密
14　謎の大王継体天皇　水谷千秋

第３章　ネコビル３階

1　田川建三　イエスという男
2　アーサー王の死　中世文学集１　マロリー
3　アーサー王物語（５巻）　マロリー　ビアズリーが挿絵
4　江藤淳　漱石とアーサー王傳説
5　『聖杯と剣』　アイスラー
6　アーサー王物語伝説　ディキンスン
7　アーサー王ロマンス
8　アーサー王物語の魅力　ケルトから漱石へ
9　弘法大師伝記集覧
10　ルバイヤート
11　宗教と反抗人　コリン・ウィルソン
12　エネアデス　プロティノス全集（元祖神秘主義）
13　神秘哲学　井筒俊彦
14　アラビア語入門　井筒俊彦
15　井筒俊彦著作集
16　ルーミー語録
17　コーラン　井筒俊彦訳
18　古神道の系譜　菅田正昭
19　『牛頭天王と蘇民将来伝説過』
20　美保神社の研究　和歌森太郎
21　沖縄の神社　おきなわ文庫
22　神道考古学論攷　大場磐雄
23　祭祀遺跡　小野真一
24　精霊の息吹く丘　モーリス・バレス
25　ヴィーナス以前　中公新書
26　メーヌ・ド・ビラン　アンリ・グイエ
27　ソクラテス以前哲学者断片集
28　宇宙をかき乱すべきか、科学の未来、ガイアの素顔、『多様化世界』　フリーマン・ダイソン
29　ファインマンさんベストエッセイ（チャレンジャー号事故の見解を含む）
30　ファインマンさんは超天才
31　光と物質のふしぎな理論
32　アインシュタイン　デニス・ブライアン
33　アインシュタインは語る　アリス・カラプリス
34　神は老獪にして　アブラハム・パイス

35　ガロアの生涯　日本評論社

第４章　ネコビル地下１階と地下２階

1　日本史籍協会叢書
3　超スパイ軍団モサド秘史　ドロジ
4　通史　日本の科学技術
5　中国の科学と文明　ニーダム
6　零戦の運命　坂井三郎
7　墜落　加藤寛一郎（１０巻）
8　航研機　世界記録樹立への軌跡
9　富嶽　米本土を爆撃せよ　前間孝則
10　YS-11　国産旅客機を創った男たち
11　弾丸列車　幻の東京発北京行き超特急
12　『新幹線をつくった男』　高橋団吉
13　零戦の秘術　加藤寛一郎
14　闇の男　野坂参三の百年　小林
15　悲しみの収穫　ウクライナ大飢饉
16　『毛沢東の大飢饉』
17　六・一五事件前後　銀杏並木から国会へ
18　日本共産党の戦後秘史　兵本達吉
19　新左翼運動４０年の光と影
20　或る革命家の回想　川合貞吉
21　スパイ・ゾルゲ　篠田正浩監督の映画
22　キャサリン・グラハム　わが人生
23　ニューヨーク金融市場概説
24　ニューヨーク読本Ⅰ
25　『ワルシャワ蜂起』
26　プーチンの帝国　江頭寛
27　国際社会主義運動史　フォスター
28　世界社会主義運動史　ダット
29　日本における「新左翼」の労働運動　戸塚秀夫
31　されどわれらが日々　柴田翔
32　暗号戦争　吉田一彦
33　プロフェッショナル・スパイ　英国諜報部員の手記
34　キャノン機関からの証言
35　昭和動乱私史

36　昭和史の謎
37　この自由党！

第５章ネコビル階段

1　ローマ帝国衰亡史
2　ブレア回顧録（上下）
3　フランス史　山川出版
4　フランス病　ペイルフィット
5　ルイ十六世紀　プティフィス
6　ブルゴーニュ公国の大公たち　カルメット
7　中世の秋　ホイジンガ
8　ホモ・ルーデンス
9　ハプスブルク家
10　ハプスブルクとハンガリー
11　戦うハプスブルク
12　過程と実在（ホワイトヘッド著作集）
13　ホワイトヘッドの対話
14　ホワイトヘッドへの招待
15　フレーゲ著作集
16　現代数学の世界　ブルーバックス（６巻）
17　数学　その形式と機能
18　ゲーデル再考　ハオ・ワン
19　東南アジア現代史
20　チャベス
21　わたしが見たポル・ポト
22　カンボジア、遠い夜明け
23　地獄の黙示録　コッポラ
24　『闇の奥』
25　解説　地獄の黙示録
26　ジョージ・F・ケナン回顧録
27　ニクソン回顧録、最後の日々、アメリカ黒人の歴史、フーヴァー長官のファイル、ソフト・パワー、アメリカン・ライフ、アメリカの若者たち
28　総合研究アメリカ
29　日本資本主義の没落　２
30　マキャヴェッリ全集
31　安息日の前に、エリック・ホッファー自伝、魂の錬金術、『波止場日記』

32　世界宗教の経済倫理、古代ユダヤ教、ヴェーバーの宗教理論
33　マックス・ヴェーバーと古代史研究　内田

第６章　ネコビル屋上

1　アウトサイダー　コリン・ウィルソン
2　宗教と反抗人　コリン・ウィルソン
3　哲学探求　ウィトゲンシュタイン
4　オカルト、世界超能力百科、現代殺人百科、純粋殺人者の世界、形而上学者の性日記、ジェラード・ソーム氏の性の日記など　コリン・ウィルソン
5　セクソロジスト　高橋鐵　斎藤
6　ある夢想家の手帖から　沼正三
7　毛沢東語録　宮川書房
8　内部　ある中国報告　船橋洋一
9　チャイナ・クライシス重要文献　蒼蒼蒼社

第７章　三丁目書庫＋立教大学研究室

1　ラファエル前派の美学　大原
2　ラファエル前派　カール
3　フランドルの祭壇画　岡部
4　ヤン・ファン・エイク　ヘントの祭壇画　シュナイダー
5　十五世紀プロヴァンス絵画研究　西野
6　逃　異端の画家・曹勇の中国大脱出　合田彩　曹勇の奥さん
7　浮世絵　師又兵　衛はなぜ消されたか　砂川幸雄
8　狂雲集
9　名僧列伝（一）
10　人間一休　村田太平
11　明治維新神仏分離史料
12　歴代官僚伝
13　神武天皇論　天智天皇論　明治天皇論　橘孝三郎
14　河合栄治郎全集　自由主義者
15　国史大辞典（禁帯出）
16　井上毅と明治国家　坂井
17　日本国憲法史　佐藤
18　日本右翼の研究　木下
19　日本のファシズム　早稲田大学

20　国家と大学　蓑田胸喜
21　クォーク狩り　リオーダン
22　ハイエク全集
23　正義論　ロールズ
24　自由社会の哲学とその論敵　ポパー
25　視覚性失認　ファラー
26　見る脳・描く脳　岩田誠
27　脳は絵をどのように理解するか　ソルソ
28　見る　眼の誕生はわたしたちをどう変えたか　イングズ
29　視覚と記憶の情報処理　平井
30　内臓感覚　福士
31　ラングマン人体発生学
32　男の子の脳、女の子の脳　サックス
33　女の脳・男の脳　田中
34　第三の脳　傳田
35　イスラエル・ロビーとアメリカの外交政策
36　マネー資本主義
37　アメリカのデモクラシー　トクヴィル
38　ヒロシマ　土門
39　ダダ大全　ヒュルゼンベック
40　英泉　福田和彦編　渓斎英泉
41　林美一　江戸艶本集成
42　浮世絵　リチャード・レイン
43　日本と世界の歴史　学研
44　錦絵　小西四郎
45　明治大正図誌　筑摩書房
46　現代の詩人　中央公論
47　医者見立て　老年期の性を愉しむ　田野辺
48　ヨーゼフ・ボイス　フィルムアート社
49　つげ義春コレクション
50　現代史資料　みすず書房
51　日本の師表田中智学
52　田中智学先生の思い出
53　保古飛呂比　東京大学
54　学術維新原理日本　蓑田胸喜
55　幕末明治新聞全集
56　中世思想原典集成

57　昭和　二万日の全記録　講談社
58　昭和日本史　第１４巻　昭和史の謎　暁教育図書
59　戦艦大和・武蔵戦闘記録
60　海軍航空母艦戦闘記録
61　二・二六事件　河野司
62　英霊の聲　三島由紀夫
63　北一輝著作集
64　盗聴　二・二六事件　中田整一
65　評伝北一輝　松本健一
66　トレイシー　日本兵捕虜秘密尋問所　田中整一
67　世界周航記
68　A History of the Councils of the Church
69　宗教改革著作集
70　図説　世界の歴史　創元社

『読書脳　ぼくの深読み３００冊の記録』立花隆(著)の掲載書籍リスト

１．反キリスト、黄禍論、大英帝国

1-1　ロシア革命と亡命思想家　御子柴道夫編　亡命思想家のアンソロジー
1-2　アンチキリスト　バーナード・マッキン　アンチキリストの歴史
1-3　パックス・モンゴリカ　ジャック・ウェザーフォード

２．検察対大蔵省、ネット社会、ウィーナー

2-1　特捜検察vs.金融権力
2-2　ウィニー　情報流出との闘い　湯浅〇人
2-3　低度情報化社会　コモエスタ坂本
2-4　情報時代の見えないヒーロー　フロー・コンウェイほか

３．九条と日本、二・二六事件、ダイアナ妃

3-1　南原繁の言葉　立花隆編　東京大学出版会
3-2　９条がつくる脱アメリカ型国家　財界リーダーの提言　品川正治
3-3　盗聴　二・二六事件　田中整一
3-4　二・二六事件とは何だったのか　藤原書店編集部
3-5　女王たちのセックス　エレノア・ハーマン

４．偽書、地図、外交機密、女性のパーツ

4-1　『偽書「東日流外三郡誌」事件』　斉藤光政
4-2　「世界地図」の誕生　応地利明　世界観の反映
4-3　「石油の呪縛」と人類　ソニア・シャー
4-4　外交激変　元外務省事務次官柳井俊二　五百旗頭真ほか
4-5　ウーマンウォッチング　デズモンド・モリス

５．フィクサー、グアンタナモ、人類の終わり

5-1　表舞台裏舞台　福本邦雄回顧録
5-2　炎立つとは　むかし女ありけり
5-3　グアンタナモ収容所で何が起きているのか　アムネスティ・インターナショナル日本編
5-4　CIA秘密飛行便　スティーヴン・グレイ

5-5　今世紀で人類は終わる？　マーティン・リース
5-6　北朝鮮へのエクソダス　テッサ・モーリス

６．宇宙飛行士、記者の執念、ドーキンス

6-1　ファーストマン（上下）　ジェイムズ・R・ハンセン
6-2　マングローブ　西岡研介
6-3　神は妄想である　リチャード・ドーキンス

７．マッカーサー、天皇陵、ルーシー事件

7-1　占領史録　江藤淳編
7-2　天皇がバイブルを読んだ日　レイ・ムーア編
7-3　天皇陵論　外池昇
7-4　ルーシー事件の真実　無罪の理由を理解
7-5　ルーシー事件　闇を食う人びと　松垣透

８．九・一一、黒いアテナ、人類の足跡
8-1　９・１１事件は謀略か　「２１世紀の真珠湾攻撃」とブッシュ政権　デヴィッド・レイ・グリフィン
8-2　９・１１事件の省察　木村朗編
8-3　ブラック・アテナ　マーティン・バナール
8-4　人類の足跡１０万年全史　スティーヴン・オッペンハイマー　アダムもアフリカ起原

９．暴力革命、IBS、高松塚への道

9-1　映画　「実録・連合赤軍」
9-2　悪霊　ドストエフスキー
9-3　アレクサンドルⅡ世暗殺（上下）　エドワード・ラジンスキー
9-4　内臓感覚　福士審
9-5　高松塚への道　網干善教

１０．超ひも理論、豊田商事、カメ、六道絵

10-1　ストリング理論は科学か
10-2　入門　超ひも理論　広瀬立成
10-2-2　超ひも理論とはなにか　竹内薫

10-3　豊田商事事件とは何だったか　破産管財人編
10-4　カメのきた道　平山廉
10-5　国宝六道絵　泉武夫ほか

１１．プリオン病、捕食されるヒト、日本の没落

11-1　『眠れない一族』　ダニエル・T・マックス
11-2　『ヒトは食べられて進化した』　ドナ・ハートほか
11-3　日本は没落する　榊原英資

１２．ヒラリーとオバマ、不倫、暗号解読

12-1　リビング・ヒストリー
12-1-2　大統領への道　ヒラリー・ロダム・クリントンの野望　ジェフ・ガースほか
12-2　合衆国再生　大いなる希望を抱いて　オバマ
12-2-2　マイ・ドリーム　バラク・オバマ自伝
12-3　不倫の惑星　世界各国、情事のマナー　パメラ・ドラッカーマン
12-4　エニグマ・コード　史上最大の暗号戦　ヒュー・S・モンティフィオーリ

１３．「北回帰線」のパリ、脳科学と精神分析学

13-1　インセスト　アナイス・ニンの愛の日（無削除版）
13-2　脳研究の最前線　上下　ブルーバックス
13-2-2　ワーキングメモリの脳内表現　〇阪直行
13-3　もうひとつの脳　微小脳の研究入門　山口恒夫ほか
13-4　アナログ・ブレイン　マイケル・モーガン
13-5　脳と心的世界　マーク・ソームズほか

１４．インテリジェンスと文化大革命

14-1　カーブボール　ボブ・ドローキン
14-2　目撃！　文化大革命　映画「夜明けの国」を読み解く　土屋昌明編著
14-3　鄧小平秘録（上下）　伊藤正
14-4　医学生とその時代　東大医学部創立１５０周年

１５．石油危機説、予防戦争、アクアポリン

15-1　地球最後のオイルショック　デイヴィッド・ストローン
15-2　すばらしきアメリカ帝国　ノーム・チョムスキー
15-3　世界エネルギー市場　ジャン＝マリー・シュヴァリエ
15-4　水とアクアポリンの生物学　佐々木成編

１６．死刑判決直後、悪魔憑き、見えない宇宙

16-1　なぜ君は絶望と闘えたのか　門田隆将
16-2　ルーダンの憑依　ミシェル・ド・セルトー　みすず書房
16-3　悪魔の歴史　ポール・ケーラス
16-4　見えない宇宙　ダン・フーパー

１７．気骨の判決、開戦神話、原爆で死んだ米兵

17-1　気骨の判決　清永聡
17-2　開戦神話　井口武夫
17-3　原爆で死んだ米兵秘史　森重昭

１８．超バブルの崩壊、読書と脳、大陸移動

18-1　ソロスは警告する　ジョージ・ソロス
18-2　サブプライムを売った男の告白　リチャード・ビトナー
18-3　『プルーストとイカ』　メアリアン・ウルフ
18-4　マインド・ウォーズ　操作される脳
18-5　超大陸　１００億年の地球史　テッド・ニールド

１９．ブラックマネー、地下文書、社説の内幕

19-1　ブラックマネー　須田慎一郎
19-2　啓蒙の地下文書Ｉ　反宗教的哲学文書
19-3　世界を変えた１００日　日本ナショナル・ジオグラフィック社
19-4　闘う社説　朝日新聞論説委員室　２０００日の記録　若宮啓文

２０．小林・益川理論、ミケランジェロ、黒死病

20-0　クォーク第２版、消えた反物質、現代の物質感とアインシュタインの夢、いま、もう一つの素粒子論入門

20-1　図解だれにでもわかる素粒子物理＜宇宙は非対称から始まった！＞　京極一樹
20-2　素粒子世界における事実と謎　ヴェルトマン
20-3　光の場、電子の海　量子場理論への道　吉田伸夫
20-4　小林・益川理論の証明　理論の検証実験について
20-5　ミケランジェロの暗号　システィーナ礼拝堂に隠された禁断のメッセージ　ベンジャミン・ブレックほか
20-6　新型インフルエンザH5N1　岡田晴恵ほか　岩波科学ライブラリー
20-6-2　グレート・インフルエンザ　ジョン・バリー
20-6-3　日本を襲ったスペイン・インフルエンザ　速水融
20-7　黒死病　ペストの中世史　ジョン・ケリー

２１．知られざるデータ、アメリカ人の宗教観、寿命論

21-1　ヴィジュアル・データ百科　現代の世界
21-2　神の国アメリカの論理　上坂昇
21-3　『アメリカは、キリスト教原理主義・新保守主義に、いかに乗っ取られたのか？』　スーザン・ジョージ
21-4　寿命論　高木由臣

２２．脳科学、日本のメメント・モリ

22-1　奇跡の脳　ジル・ボルト・テイラー
22-2　老後も進化する脳　リータ・レーヴィ・モンタルチーニ
22-3　脳と心はどこまで科学でわかるか　石浦章一ほか
22-4　九相図資料集成　死体の美術と文学　山本聡美ほか

２３．謎の古代機械、柳田国男と大嘗祭

23-1　『アンティキテラ』　古代ギリシアのコンピュータ
23-2　神樹と巫女と天皇　山下〇一郎
23-3　菊の御紋章と火炎ビン　佐々淳行

２４．Nintendo、プリウス、そして絶頂

24-1　任天堂　”驚き”を生む方程式　井上理
24-2　ハイブリッド　木野龍逸
24-3　絶頂美術館　西岡文彦

２５．オリンピック作戦、ID理論、発見と偏見

25-1　昭和史の大河を往く　第七集　本土決戦幻想　オリンピック作戦篇　保阪正康
25-2　特攻隊振武寮　証言・帰還兵は地獄を見た　大貫健一郎ほか
25-3　インテリジェント・デザイン　ID理論　宇佐和道
25-4　『自然界の秘められたデザイン』　雪の結晶はなぜ六角形なのか？　イアン・ステュアート
25-5　ブラックホールを見つけた男　アーサー・I・ミラー

２６．二十一世紀建築、神獣霊獣、江戸絵、世界の聖地

26-1　２１世紀建築魂　はじまりを予兆する、６の対話　藤森照信
26-2　日本の図像　神獣霊獣　狩野博幸ほか
26-3　平成版　江戸名所図会　永井新八郎
26-4　世界の聖地　マーティン・グレイ　聖地が好き
26-5　精霊の息吹く丘　モーリス・バレス

２７．勝者の歴史、推理の陥〇、伝説的スパイ・マスター

27-1　「東京裁判」を読む　保阪正康
27-2　幕末維新　消された歴史　安藤優一郎
27-3　占領下日本　半藤一利ほか
27-4　『アレン・ダレス』　有馬哲夫

２８．修正重力理論、伊藤博文、カーマスートラ

28-1　重力の再発見　ジョン・W・モファット
28-2　伊藤博文　近代日本を創った男　伊藤之雄
28-3　ビジュアル版　カーマスートラの世界

２９．金正日の出自、小沢本の仕分け、醜の歴史

29-1　金正日は日本人だった　佐藤守
29-2　朴正熙の時代　韓国の近代化と経済発展　趙利済ほか
29-3　検察vs.小沢一郎　「政治と金」の３０年戦争　産経新聞司法クラブ
29-4　小沢一郎　虚飾の支配者　松田賢弥

29-5　民主党政権１００日の真相
罰29-6　９０年代の証言小沢一郎　政権奪取論　五百旗頭真ほか
29-7　醜の歴史　ウンベルト・エーコ編著

３０．天安門事件、金融危機、日露戦争、天使の堕落

30-1　趙紫陽　極秘回想録
30-2　『愚者の黄金』
30-3　ソ連から見た日露戦争　ロストーノフ編
30-4　『天使はなぜ堕落するのか』　中世哲学の工房　八木雄二

３１．人工内耳、性的満足の歴史、世界の奇妙さとキリスト教論

31-1　どうして子供は勉強しないといけないの　森満保
31-2　１９７２　青春　軍艦島　大橋弘
31-3　ヴァイブレーターの文化史　レイチェル・P・メインズ
31-4　奇界遺産　佐藤健寿　奇妙奇天烈
31-5　写真で見る　ヒトラー政権下の人びとと日常　マシュー・セリグマンほか
31-6　ヤコブ・ベーメと神智学の展開　岡部雄三

３２．マラルメ、モスクワ攻防戦とゾルゲ、右翼と公安警察

32-1　世界は一冊の本　長田弘
32-2　マラルメ全集　筑摩書房
32-3　モスクワ攻防　２０世紀を決した史上最大の戦闘　アンドリュー・ナゴルスキ
32-4　右翼の掟　公安警察の真実　鈴木邦男ほか

３３．突飛なるもの、進化と文明、アクターズ・スタジオ・インタビュー

33-1　完全版　突飛なるものの歴史　ロミ
33-2　一万年の進化爆発　グレゴリー・コクランほか
33-3　旧石器時代の日本列島史　安蒜政雄
33-4　アクターズ・スタジオ・インタビュー　ジェイムズ・リプトン

３４．長崎にて

34-1　死の同心円　秋月医師

34-2　禁じられた原爆体験　堀場清子
34-2-2　原爆と検閲　繁沢敦子　中公新書
34-3　ナガサキ昭和２０年夏
34-4　原子雲の下に生きて
34-5　牧師の涙　川上郁子
34-6　証言記録　兵士たちの戦争４

３５．アウシュビッツ、大英帝国、脳とグリア細胞

35-1　私はガス室の「特殊任務」をしていた　シュロモ・ヴェネツィア
35-1-2　ショアー　クロード・ランズマン
35-1-3　人間の暗闇　ナチ絶滅収容所長との対話　ギッタ・セレニー
35-2　帝国の落日（上下）　ジャン・モリス
35-3　２０１１年ユーロ大炎上！　日本経済復活の始まり　松藤民輔
35-4　プシューケーの脳科学　浅野孝雄ほか

３６．９・１１、チェイニー、フェルメールとカメラ、特撮円谷組

36-1　９・１１の矛盾　デイヴィッド・レイ・グリフィン
36-2　『策謀家チェイニー』　バートン・ゲルマン
36-3　『フェルメールのカメラ』　フィリップ・ステッドマン
36-4　特撮円谷組　ゴジラと、東宝特撮にかけた青春

３７．いかに死ぬか、三島クーデター、奇想の美術館、「夢」の撮影秘話

37-1　文藝春秋special　この国で死ぬということ　渡辺敏恵
37-2　口から食べられなくなったらどうしますか　「平穏死」のすすめ　石飛幸三
37-3　日米秘密情報機関　平城弘通
37-4　奇想の美術館　アルベルト・マングェル
37-4-2　１秒２４コマの美　古賀重樹

３８．パウリとユング、元型と象徴、謎の赤い本、インド宇宙論

38-1　『１３７　物理学者パウリの錬金術・数秘術・ユング心理学をめぐる生涯』　アーサー・I・ミラー
38-2　元型と象徴の事典　アーキタイプ・シンボル研究文庫編
38-3　パウリ　物理学と哲学に関する随筆集　C・P・エンズほか

38-4　赤の書
38-5　インド宇宙大全　定方晃

３９．巻頭随筆、フリーメイスン、朝日の中国侵略

39-1　おもしろい複合材料のはなし　日本複合材料学会編
39-1-2　炭素　大谷杉郎
39-1-3　ナノファイバーテクノロジー　新産業発掘戦略と応用　本宮達也
39-1-3　ニッポンの素材力　泉谷渉
39-2　１９４５年日本占領　フリーメイスン機密文書が明かす対日戦略　徳本栄一郎
39-2-2　図説　フリーメイソン　吉村正和
39-2-3　検証　陰謀論はどこまで真実か　文芸社
39-3　朝日新聞の中国侵略　山本武利
39-4　新聞と戦争　朝日新聞取材班

４０．原発政策、オウムの精神史、移行化石と進化

40-1　原発と日本の未来　吉岡〇　必読の書　岩波ブックレット
40-2　『警察庁長官を撃った男』　鹿島圭介　８０代の老人が告白
40-3　オウム真理教の精神史　大田俊寛
40-4　『移行化石の発見』　ブライアン・スウィーテク

４１．大震災、旧石器考古学、宇宙の「悪の枢軸」

41-1　地震・津波と火山の事典　藤井敏〇ほか
41-2　原発安全革命　古川和男
41-3　列島の考古学　旧石器時代　堤隆
41-4　近現代日本を史料で読む　御厨貴編著　中公新書
41-5　宇宙誕生　マーカス・チャウン

４２．米軍基地観光、ドストエフスキー、中国共産党の秘密

42-1　本土の人間は知らないが、沖縄の人はみんな知っていること　矢部宏治
42-2　沖縄戦新聞　琉球新報社
42-3　平和への証言　体験者が語る戦争
42-4　沖縄戦　アメリカ陸軍省戦史局編
42-5　沖縄イニシアティブ　大城常夫ほか

42-6　本音で語る沖縄史　仲村清司
42-7　『カラマーゾフの兄弟』　亀山郁夫訳
42-8　ドストエフスキー　山城むつみ
42-9　ドストエフスキー　その対話的世界　木下豊房
42-10　中国共産党　リチャード・マグレガー
42-11　毛沢東　ある人生（上下）　フィリップ・ショート

４３．写真で見るヒロシマ・ナガサキ、原発と原爆

43-1　ヒロシマ・ナガサキ　集英社のコレクション戦争×文学の大１巻
43-2　なみだのファインダー　広島原爆被災カメラマン
43-3　写真が語る原爆投下　ヒロシマ・ナガサキをもたらした側の全記録　工藤洋三ほか
43-4　ナガサキから平和学する！　高橋眞司ほか
43-5　原爆の子（上下）　長田新編
43-6　フランスからの証言　原発はほんとうに危険か？　クロード・アレグレほか

４４．アウシュヴィッツの回想、記憶の減衰、春画

44-1　シモーヌ・ヴェーユ回想録
44-2　『未曾有と想定外』　畑村洋太郎　講談社現代新書
44-2-2　続々・実際の設計　失敗に学ぶ
44-3　葛飾北斎　林美一の再版　河出書房新社
44-3-2　江戸艶本への招待　林
44-3-3　ニッポン春画百科（上下）　オフェル・シャガン

４５．地下都市の秘密、地球外生命体の追求

45-1　『ベルリン　地下都市の歴史』　ディートマールほか
45-1-2　『ニューヨーク　地下都市の歴史』　ジュリア・ソリス
45-1-3　『パリ　地下都市の歴史』　ギュンター・リアーほか
45-2　宇宙は”地球”であふれている　井田茂ほか
45-3　『アストロバイオロジー』　小林憲正
45-4　地球外生命を求めて　マーク・カウフマン

４６．私たちの崩壊は確実に進んでいる

46-1　何処へ　高橋睦郎　心惹かれる詩

46-2　表裏井上ひさし協奏曲　西舘好子
46-2-2　修羅の棲む家　西舘好子
46-3　自由貿易という幻想　E・トッドはか
46-4　ヴィジュアル版　脳の歴史　脳はどのように視覚化されてきたか　カール・シューノーヴァー

４７．医学専門書店で買った本、不確実性原理の修正

47-1　次世代iPS医療　雑誌「医学のあゆみ」特集号
47-2　重度認知症治療の現場から　黒澤尚
47-3　幻聴妄想かるた　ハーモニー編著
47-4　ハイゼンベルクの顕微鏡　石井茂

４８．タックスヘイブン、天皇陵

48-1　タックスヘイブンの闇　ニコラス・シャクソン
48-2　天皇陵の謎　矢澤高太郎
48-3　列島の考古学　古墳時代　右島和夫ほか

４９．新装オープンの東京堂へ（神保町）

49-1　The Indifference Engine 伊藤計劃＋円城塔
49-1-2　虐殺器官　伊藤計劃
49-2　股間若衆　木下直之
49-3　レンズが撮らえた幕末明治の女たち　小沢健志監修
49-4　妖怪萬画vol.2　絵師たちの競演　和田京子編
49-5　ファウストとホムンクルス　マンフレート・オステン
49-6　「ファウスト」と嬰児殺し　大澤武男
49-7　ボヘミアの儀式殺人　平野〇彦

５０．連合赤軍、清武の乱、天孫降臨

50-1　証言　連合赤軍　９　四十周年　殉難者追悼の会
50-2　レッド　1969-1972　山本直樹
50-3　アフター・ザ・レッド　連合　兵士たちの４０年　朝山実
50-4　会長はなぜ自殺したか　金融腐敗＝呪縛の検証　読売社会部清武班
50-5　『ニギハヤヒ』　戸矢学

５１．木嶋佳苗、政治家のがんと回想、リーダーなき世界

51-1　木嶋佳苗劇場　神林広恵ほか
51-2　全身がん政治家　与謝野馨ほか
51-3　村山富市回顧録　薬師寺克行編
51-4　「Gゼロ」後の世界　イアン・ブレマー
51-5　プーチン最後の聖戦　北野幸伯

５２．借金人間、秀吉、人体実験

52-1　さっさと不況を終わらせろ　ポール・クルーグマン
52-2　借金人間製造工場　負債の政治経済学　マウリツィオ・ラッツァラート
52-3　『河原ノ者・非人・秀吉』　服部英雄
52-4　『世にも奇妙な人体実験の歴史』　トレヴァー・ノートン

５３．金融戦戦争がはらむ危機

53-1　通貨戦争　ジェームズ・リカーズ
53-2　とてつもない特権　君臨する基軸通貨ドルの不安　バリー・アイケングリーン
53-3　『群れはなぜ同じ方向を目指すのか？』　群知能と意思決定の科学　レン・フィッシャー

５４．昭和史の怪物たち、乱交とプラトニック

54-1　満川亀太郎書簡集　北一輝・大川周明・西田税らの書簡　長谷川雄一ほか
54-2　官邸の一〇〇時間　木村英昭
54-3　乱交の文化史　バーゴ・パートリッジ
54-4　殉愛　原節子と小津安二郎　西村雄一郎

５５．秘密基地、原発事故の証言、系統樹

55-1　『エリア５１』　アニー・ジェイコブセン
55-2　東電福島原発事故　総理大臣として考えたこと　菅直人
55-3　証言　班目春樹　原子力安全委員会は何を間違えたのか？
55-4　海江田ノート　海江田万里
55-5　『系統樹曼荼羅』　チェイン・ツリー・ネットワーク　三中信宏ほか

５６．宇宙のふしぎ、原発事故の良書、アベノミクス

56-1　オリオン座はすでに消えている？　縣秀彦
56-2　『死の淵を見た男』　門田隆将
56-3　カウントダウン・メルトダウン　船橋洋一
56-4　福島原発で何が起こったか　政府事故調技術解説　淵上正朗ほか
56-5　検証　東電テレビ会議　朝日新聞社
56-6　アメリカは日本経済の復活を知っている　浜田宏一

５７．ビン・ラディン殺害、夭折の画家、仲間殺し

57-1　三重スパイ　ジョビー・ウォリック
57-2　世界の特殊部隊作戦史　1970-2011　ナイジェル・カウソーン
57-3　『石田徹也遺作集』
57-3-2　石田徹也全作品集
57-4　若松孝二　実録・連合赤軍　あさま山荘への道程　朝日新聞社

『福岡ハカセの本棚』福岡伸一(著)(メディアファクトリー新書)の掲載書籍リスト

１．大人が読んでも楽しい絵本

1　宇宙　加古里子
2　かわ　加古里子
3　ボクは、なんにもならない　里見喜久夫
4　ボクも、川になって　里見喜久夫
5　バムとケロのおかいもの　島田ゆか
6　バムとケロのさむいあさ　島田ゆか
7　ちいさいおうち　バージニア・リー・バートン
8　日本の川　たまがわ　松村昭

２．ドリトル先生の世界を知る本

1　ゾウがすすり泣くとき　マッソン
2　ロンドンの見世物　オールティック
3　昆虫探偵ヨシダヨシミ　青空大地
4　大博物学時代　荒俣宏
5　メシアン　創造のクレド
6　うちのカメ　石川良輔
7　『解剖医ジョン・ハンターの数奇な生涯』　ムーア
8　サーカス　クズネツォフ
9　きみのいる生活　大竹昭子
10　歴史を＜読む＞　萩野昌利
11　花の国・虫の国　熊田千佳慕
12　図説　ヴィクトリア朝百貨事典　谷田博幸
13　針の上で天使は何人踊れるか　オルドリッジ
14　動物の権利　ドゥグラツィア
15　ドリトル先生の英国　南條竹則
16　実体への旅　スタフォード
17　大探検時代の博物学者たち　レイビー
18　ドリトル先生アフリカゆき　ロフティング
19　ドリトル先生航海記　ロフティング
20　ジュール・ヴェルヌの世紀　コタルディエール
21　世界探検全史（上下）　アルメスト
22　テアイテトス　プラトン　ちくま学芸文庫

23　航海の世界史　シュライバー
24　自然の占有　フィンドレン
25　ダンゴムシに心はあるのか　森山徹
26　博物学の黄金時代　バーバー
27　西洋博物学者列伝　ハクスリー
28　『考える人』2010年秋号「福岡伸一と歩く　ドリトル先生のイギリス」

３．センス・オブ・ワンダー

1　楽しき熱帯　奥本大三郎
2　「十五少年漂流記」への旅　椎名誠
3　海底二万里　ヴェルヌ　新潮文庫
4　『十五少年漂流記』　ヴェルヌ　新潮文庫
5　生きること学ぶこと　広中平祐
6　センス・オブ・ワンダーを探して　福岡伸一ほか
7　レイチェル・カーソン　ブルックス
8　海のおばけオーリー　エッソ
9　床下の小人たち　ノートン
10　レイチェル　リア
11　海辺　カーソン
12　『センス・オブ・ワンダー』　カーソン
13　『沈黙の春』　カーソン
14　われらをめぐる海　カーソン

４．いのちを旅する本

1　はるにれ　姉崎一馬
2　さよならトンボ　石亀泰郎
3　新編燈火節　片山廣子
4　生命を捉えなおす　清水博
5　地底旅行　ヴェルヌ　岩波文庫
6　生命とは何か　シュレーディンガー
7　『ゲーデル、エッシャー、バッハ』　ホフスタッター
8　ミトコンドリアが進化を決めた　レーン
9　せいめいのれきし　バートン
10　アンドロメダ病原体　クライトン
11　系統樹思考の世界　三中信宏

12　ペツェッティーノ　レオニ

５．光の粒たち　フェルメールの世界

1　フェルメール　ウィロック Jr.
2　フェルメールとその時代　ウィロックJr.
3　フェルメールの眼　赤瀬川原平
4　フェルメール　尾崎彰宏
5　ベルリン物語　川口マーン惠美
6　盗まれたフェルメール　朽木ゆり子
7　フェルメール全点踏破の旅　朽木ゆり子
8　深読みフェルメール　朽木ゆり子
9　レーベンフックの手紙　ドーベル
10　フェルメール　小林頼子
11　フェルメール論　小林頼子
12　謎解きフェルメール　小林頼子、朽木ゆり子
13　ケルト／装飾的思考　鶴岡真弓
14　『フェルメールのカメラ』　ステッドマン
15　シングル・レンズ　フォード
16　ガロアの生涯　インフェルト

６．建築もアートも「流れて」いるから生きている

1　M.C.エッシャー　ロッヘル
2　M.C.エッシャー　グラフィック　M.C.エッシャー
3　けんちく世界をめぐる１０の冒険　伊東豊雄
4　『20XXの建築原理へ』　伊東豊雄
5　この写真がすごい2008　大竹昭子
6　目をみはる伊藤若沖の「動物綵絵」　狩野博幸
7　自然な建築　隅研吾　岩波新書
8　負ける建築　隅研吾
9　境界　隅研吾監修
10　音楽は自由にする　坂本龍一
11　LIFE-TEXT　坂本龍一
12　クジラは潮を吹いていた。　佐藤卓
13　もっと知りたい伊藤若沖　佐藤康宏
14　Tokyo Space Diary　タカノ綾

15　伊東豊雄　日経アーキテクチャ
16　隅研吾　日経アーキテクチャ
17　デザインのデザイン　原研哉
18　エッシャーの宇宙　エルンスト
19　BAROCCO　骨の造形美　湯沢英治
20　GO WATANABE 5 WORKS　渡辺剛

７．生物の世界

1　自己デザインする生命　ターナー
2　生物学辞典　石川統　東京化学同人
3　生物社会の論理　今西錦司
4　私の進化論　今西錦司
5　生物の世界　今西錦司
6　昆虫顔面図鑑　日本編　海野和男
7　蝶の道　海野和男
8　むしのにんじゃたち　海野和男
9　クローズアップ　虫の肖像　ヴィルマン
10　ファーブル昆虫記の虫たち（５巻）　熊田千佳慕
11　私は虫である　熊田千佳慕
12　ソロモンの指環　ローレンツ
13　人イヌにあう　ローレンツ
14　『ペンギンもクジラも秒速２メートルで泳ぐ』　佐藤克文
15　完訳　ファーブル昆虫記　ファーブル　集英社
16　種の起源　ダーウィン　光文社古典新訳文庫
17　細胞の意思　団まりな
18　蝶　マレント
19　世界を、こんなふうに見てごらん　日高敏隆
20　『恐竜はなぜ鳥に進化したのか』　ウォード
21　『ゾウの時間ネズミの時間』　本川達雄
22　ダーウィンのジレンマを解く　カーシュナー
23　生物の進化大図鑑　ベントン
24　DNAと遺伝情報　三浦謹一郎
25　生物多様性１００問　盛山正仁
26　生物から見た世界　ユクスキュル
27　『ヒトとサルのあいだ』　吉田
28　『現代思想』　2008.7号

８．読み継がれるべき科学の本

1　ヘラクレイトスの火　シャルガフ
2　三人にひとり　生命の謎を解くがんと科学の未来　ウィシャート
3　人類が消えた世界　ワイズマン
4　UFOとポストモダン　木原善彦
5　実験医学序説　ベルナール
6　『ザ・リンク』　タッジ
7　暗号解読　シン
8　『フェルマーの最終定理』　シン
9　DNAでたどる日本人１０万年の旅　崎谷満
10　『偶然と必然』　モノー
11　現代医学に残された七つの謎　杉晴夫
12　栽培植物と農耕の起源　中尾佐助
13　タンパク質の一生　永田和宏　岩波新書
14　がん遺伝子に挑む　エインジャー
15　宇宙を織りなすもの　グリーン
16　最短経路の本　グリッツマン
17　ミドルワールド　動き続ける物質と生命の起原　ホウ
18　『完全なる証明』　ガッセン
19　『神は妄想である』　ドーキンス
20　『利己的な遺伝子』　ドーキンス
21　死の病原体プリオン　ローズ
22　遺伝子発見伝　デュボス
23　遺伝子には何ができないか　モス

９．文学の持つ力

1　こころ朗らなれ、誰もみな　ヘミングウェイ
2　悪童日記　クリストフ
3　モンテ・クリスト伯　７巻　デュマ
4　獣の奏者　上橋菜穂子
5　遠い山なみの光　カズオ・イシグロ
6　『日の名残り』　カズオ・イシグロ
7　『わたしを離さないで』　カズオ・イシグロ
8　『シーシュポスの神話』　カミュ

9　縄文聖地巡礼　坂本龍一
10　幻想の肖像　澁澤龍彦
11　『火を熾す』　ロンドン
12　『一九八四年』　オーウェル
13　高野公彦　高野公彦ほか
14　なんとなく、クリスタル　田中康夫
15　虚航船団　筒井康隆
16　大いなる助走　筒井康隆
17　馬は土曜に蒼ざめる　筒井康隆
18　孤高の人　新田次郎
19　カズオ・イシグロ　平井杏子
20　『日本百名山』　深田久弥
21　百名山ふたたび　深田久弥
22　ジュラシック・パーク　クライトン
23　トラヴェルズ　クライトン
24　華氏451度　ブラッドベリ
25　1Q84　村上春樹
26　神の子どもたちはみな踊る　村上春樹
27　国境の南、太陽の西　村上春樹
28　ランゲルハンス島の午後　村上春樹

１０．食べることは、生きること　食にまつわる本

1　ああ言えばこう食う　阿川佐和子ほか
2　おべんとうの時間　阿部了ほか
3　それでも遺伝子組み換え食品を食べますか？　キンブレル
4　狂牛病の黙示録　池田毅〇
5　ファストフードと狂牛病　シュローサー
6　築地を考える人　月刊ソトコト編集部
7　『辰巳芳子　スープの手ほどき　洋の部』
8　『辰巳芳子　スープの手ほどき　和の部』
9　庭の時間　辰巳芳子
10　食の世界にいま何がおきているか　中村靖彦
11　私の牛がハンバーガーになるまで　ローベンハイム
12　なぜ牛は狂ったのか　シュワルツ
13　究極の食　南漬貴
14　自殺する種子　安田節子

15　『ハチはなぜ大量死したのか』　ジェイコブセン
16　銀むつクライシス　ネクト

１１．福岡ハカセの好きな女性

1　うから　はらから　阿川佐和子
2　スープ・オペラ　阿川佐和子
3　須賀敦子のヴェネツィア　大竹昭子
4　須賀敦子のミラノ　大竹昭子
5　須賀敦子のローマ　大竹昭子
6　随時見学可　大竹昭子
7　食堂かたつむり　小川糸
8　つるかめ助産院　小川糸
9　どこから行っても遠い町　川上弘美
10　蛇を踏む　川上弘美
11　乳と卵　川上未映子
12　わたくし率　イン　歯一、または世界　川上未映子
13　原宿百景　小泉今日子
14　小雨日記　小泉今日子
15　青いバラ　最相葉月
16　あのころの未来　星新一の預言　最相葉月
17　『星新一　一〇〇一話をつくった人』　最相葉月
18　『コルシア書店の仲間たち』　須賀敦子
19　須賀敦子全集　８巻　須賀敦子
20　地図のない道　須賀敦子
21　須賀敦子が歩いた道　須賀敦子ほか
22　きのうの神さま　西川美和
23　ゆれる　西川美和
24　『風が強く吹いている』　三浦しをん
25　まほろ駅前多田便利軒　三浦しをん
26　まほろ駅前番外地　三浦しをん
27　掛けたくなる軸　山口智子
28　名も知らぬ遠き島より　山口智子
29　須賀敦子を読む　湯川豊
30　インストール　綿矢りさ
31　勝手にふるえてろ　綿矢りさ
32　蹴りたい背中　綿矢りさ

１２．福岡ハカセが対談した方々

1　阿川佐和子の会えばドキドキ
2　映画の構造分析　内田樹
3　日本辺境論　内田樹
4　街場の教育論　内田樹
5　六つの星星　川上未映子
6　東京島　桐野夏生
7　『女神記』　桐野夏生
8　属性　佐藤雅彦
9　毎月新聞　佐藤雅彦
10　『エッジ』　鈴木光司
11　ループ　鈴木光司
12　ババア・ウォーズ　新たなる美貌　中村うさぎ
13　生物が生物である理由　爆笑問題
14　まねぶ美術史　森村泰昌
15　対談集　なにものかへのレクイエム　森村泰昌
16　悪人　吉田修一
17　空の冒険　吉田修一
18　パーク・ライフ　吉田修一

１３．知の道標

1　構造と力　浅田彰
2　科学的方法とは何か　浅田彰
3　脳梗塞からの”再生”　上田真理子
4　隠された十字架　梅原猛
5　法然の哀しみ　梅原猛
6　水底の歌　梅原猛
7　冥誕　大江健三郎　加藤周一追悼
8　続　羊の歌　加藤周一
9　羊の歌　加藤周一
10　定本　柄谷行人集
11　トランスクリティーク　柄谷行人
12　『世界共和国へ』　柄谷行人
13　『世界史の構造』　柄谷行人

14　寡黙なる巨人　多田富雄
15　免疫の意味論　多田富雄
16　風土　和辻哲郎

１４．福岡ハカセの書評・推薦本

1　六本指のゴルトベルク　青柳いづみこ
2　『不都合な真実』　ゴア
3　世界貿易センタービル　ギレスピー
4　臓器は若返る　伊東裕
5　自由が丘物語　井上一馬
6　眠る秘訣　井上昌次郎
7　『文明の生態史観』　梅棹忠夫
8　逆襲するテクノロジー　テナー
9　分娩台よ、さようなら　大野明子
10　ウィキリークス　アサンジの戦争
11　帰らざる夏　加賀乙彦
12　悪女入門　鹿島茂
13　子どもという価値　柏木惠子
14　逝かない身体　川口有美子
15　きのふの東京、けふの東京　川本三郎
16　東京暮らし　川本三郎
17　飲食男女　久世光彦
18　非線形科学　蔵本由紀
19　孕むことば　鴻巣友季子
20　検疫官　小林照幸
21　成人病の真実　近藤誠
22　立花隆秘書日記　佐々木千賀子
23　『電子書籍の衝撃』　佐々木俊尚
24　子供をもつと夫婦に何が起こるか　ベルスキー
25　『銃・病原菌・鉄』　ダイアモンド
26　『文明崩壊』　ダイアモンド
27　数学者の無神論　パウロス
28　黒死病　ペストの中世史　ケリー
29　東京の編集　管付雅信
30　仕事道楽　鈴木敏夫　岩波新書
31　感染地図　ジョンソン

32　地球最後のオイルショック　ストローン
33　胎児の危機　化学物質汚染から救うために　シェトラー
34　文字はこうして生まれた　ベッセラ
35　京都の流儀　徳力龍之介
36　「外断熱」が危ない！　西方里見
37　ヨーロッパ人相学　浜本隆志
38　『滝山コミューン一九七四』　原武史
39　生命と非生命のあいだ　NASAの地球外生命研究　ウォード
40　通信崩壊　T革命と規制緩和の結末　藤井耕一郎
41　体の中の美術館　EYE,BRAIN,and BODY　布施英利
42　怠ける権利　ラファルグ
43　もう抗生物質では治らない　猛威をふるう薬剤耐性菌　シュナイアソン
44　折り返し点　宮崎駿
45　『論文捏造』　村松秀
46　『地球温暖化論への挑戦』　薬師丸仁志
47　患者の孤独　心の通う医師を求めて　柳澤桂子
48　ふたたびの生　柳澤桂子
49　インド不思議研究　発毛剤から性愛の奥義まで　山田和
50　男女の怪　養老孟司
51　盲目の時計職人　自然淘汰は偶然か？　ドーキンス
52　怪しい科学の見抜きかた　?か本当か気になって仕方ない8つの仮説　アーリック
53　『新書七十五番勝負』　渡邊十絲子

１５．福岡ハカセのインタビュー・寄稿・講演録掲載本

1　２５歳の補習授業　池上彰
2　短篇集　hi mi tsu ki chi ヒミツキチ　川上弘美
3　hi mi tsu ki chi　西宮大策
4　「知」の現場から　原武史
5　未来コンパス　宮台真司
6　『Coyote』 No.33　「冒険へのレッスン」

１６．本書で新たに取り上げた本

1　グレン・グールド　青柳いづみこ
2　ダ・ヴィンチの遺言　池上英洋
3　あの日からの建築　伊東豊雄

4　アイヌは原日本人か　梅原猛
5　ドーキンス vs. グールド　ステルレルニー
6　復刻版行動建築論　メタボリズムの美学　黒川紀章
7　縄文の思考　小林達雄
8　進化の運命　孤独な宇宙の必然としての人間　モリス
9　標準原色図鑑全集１　蝶・蛾　白水隆
10　二重らせん　ワトソン
11　パンダの親指　グールド
12　SYNC　なぜ自然はシンクロしたがるのか　ストロガッツ
13　ビーグル号航海記　ダーウィン
14　ミミズと土　ダーウィン
15　心狸学・社怪学　筒井康隆
16　原色図鑑　世界の蝶　中原和郎
17　『働かないアリに意義がある』　長谷川英祐
18　エスエフ世界の名作　２６巻　ガーンズバック
19　枝分かれ　自然が創り出す美しいパターン　フィリップ・ボール
20　『かたち』　自然が創り出す美しいパターン　フィリップ・ボール
21　流れ　自然が創り出す美しいパターン　フィリップ・ボール
22　熱き探求の日々　クリック
23　微生物の狩人　クライフ
24　きまぐれロボット　星新一
25　なりそこない王子　星新一
26　ゼロの焦点　松本清張
27　点と線　松本清張
28　Dの複合　松本清張
29　『ツノゼミ』　丸山宗利
30　グレン・グールド論　宮澤淳一
31　世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド　村上春樹
32　羊をめぐる冒険　村上春樹
33　二重らせん　第三の男　ウィルキンズ
34　ダーウィニズム論集　八杉龍一
35　メタボリズム・ネクサス　八束はじめ
36　動物哲学　ラマルク
37　エピジェネティクス　操られる遺伝子　フランシス
38　延長された表現型　自然淘汰の単位としての遺伝子　ドーキンス
39　エルマーのぼうけん　ガネット
40　エルマーとりゅう　ガネット

41　エルマーと１６ぴきのりゅう　ガネット

１７．福岡ハカセの著作・翻訳本

1　もう牛を食べても安心か　福岡伸一
2　プリオン説はほんとうか？　福岡伸一
3　ロハスの思考　福岡伸一
4　『生物と無生物のあいだ』　福岡伸一
5　生命と食　福岡伸一　岩波ブックレット
6　できそこないの男たち　福岡伸一
7　動的平衡　福岡伸一
8　世界は分けてもわからない　福岡伸一
9　エッジエフェクト（界面作用）　福岡伸一
10　安全と危険のメカニズム　重野純
11　フェルメール　光の王国　福岡伸一
12　動的平衡２　福岡伸一
13　遺伝子はダメなあなたを愛してる　福岡伸一
14　せいめいのはなし　福岡伸一
15　『ルリボシカミキリの青』　福岡伸一
16　生命と記憶のパラドクス　福岡伸一
17　七つの科学事件ファイル　コリンズ
18　虹の解体　ドーキンス
19　『マリス博士の奇想天外な人生』　マリス
20　モッタイナイで地球は緑になる　マータイ
21　ダークレディと呼ばれて　マドックス
22　築地　ベスター
23　エレファントム　ワトソン
24　思考する豚　ワトソン
25　マッキー生化学　第４版　マッキー
26　すばらしい人間部品産業　キンブレル

『本よむ幸せ』福原義春(著)の掲載書籍リスト

第１章　視点をすえる　始まりは小さな思考から

1　ファーブル植物記　ファーブル
2　花の知恵　メーテルリンク
3　線香花火（寺田寅彦随筆集第２巻）　寺田寅彦
4　オルフェ　コクトー
5　生命の国のトムキンス　ガモフ
6　文体練習　クノー
7　話術　徳川夢声
8　詩集　第三の神話　西脇順三郎
9　ピーターの法則　創造的無能のすすめ　ピーターほか
10　オルレアンのうわさ　女性誘拐のうわせとその神話作用　モラン
11　表徴の帝国　ロラン・バルト　宗左近訳
12　お楽しみはこれからだ　映画の名セリフ　和田誠
13　ぼくのニューヨーク地図ができるまで　植草甚一
14　だれがコロンブスを発見したか　バックウォルド
15　算私語録　安野光雅　変幻自在なレトリック
16　シャーロック・ホームズの記号論　ビオク
17　幕の内弁当の美学　栄久庵憲司
18　ちはやふる奥の細道　フラナガン
19　情報の歴史　松岡正剛監修
20　アニミズム時代　岩田慶治
21　世界の駄っ作機　岡部ださく
22　書を読んで羊を失う　鶴ケ谷真一
23　二重言語国家・日本　石川九揚
24　パレオマニア　大英博物館からの１３の旅　池澤夏樹

第２章　物語の醍醐味　文字の魔法に酔う

25　剪燈新話
26　聊斎志異
27　海底二万里　ヴェルヌ
28　奇巌城　ルブラン
29　冥府　内田百間
30　銭形平次捕物控　野村胡堂

31　黒死館殺人事件　小栗忠太郎
32　オリエント急行の殺人　クリスティ
33　さまよえる湖　ヘディン
34　東西ものがたり　吉田小五郎
35　幕末秘史　鞍馬天狗　大佛次郎
36　チャリング・クロス街８４番地　ハンフ編著
37　鷲は舞い降りた　完全版　ヒギンズ
38　薔薇の名前　エーコ　映画あり
39　世界の測量　ダニエル・ケールマン
40　どこかで楽隊が奏でている　ブラッドベリ
41　『生物と無生物のあいだ』　福岡伸一

第３章　英知を耕す　夢限の学びが眠っている

42　ロビンソン・クルーソー　デフォー
43　夜間飛行　サン＝テグジュペリ
44　パーティー学　人の創造性を開発する法　川喜田二郎
45　石橋を叩けば渡れない　西堀栄三郎
46　文明・西と東　カレルギー　池田大作
47　アメリカの心　全米を動かした７５のメッセージ
48　歴史と名将　山梨勝之進
49　文化の将来　日仏文化サミット　朝日新聞社
50　長征　語られざる真実　ソールズベリー
51　リーダーシップの真髄　デプリー　福原義春監修訳
52　挑戦の時　創生の時　往復書簡　ドラッカー
53　サーバント・リーダーシップ　ハンター
54　今道友信　わが哲学を語る
55　ガリア戦記　カエサル
56　史記　司馬遷

第４章　時の狭間をのぞく　人生は語り得ぬものか？

57　新訂　方丈記
58　ラ・ロシュフコオ箴言集　白水社　岩波文庫
59　東京景物詩及其他　北原白秋
60　大菩薩峠　中里大介
61　月と六ペンス　モーム

62　知恵の七柱　ロレンス
63　猫町　荻原朔太郎
64　嘔吐　サルトル　近代から現代
65　石光真清の手記
66　ハイ・ライフ　テオドラコプロス
67　悪童日記　クリストフ

第５章　負への探求　見ざる聞かざるでは拓けない

68　アメリカの民主政治　トクヴィル
69　第一次世界大戦（上下）　ハート
70　『山椒魚戦争』　チャペック
71　パーキンソンの法則
72　科学と政治　スノウ
73　私の「経済気象台」　千野〇時
74　『沈黙の春』　カーソン
75　公共性の喪失　セネット
76　ニュールール　ヤンケロビッチ
77　文明が衰亡するとき　高坂
78　指導者とは　ニクソン
79　「縮み」志向の日本人　李
80　非営利組織のマーケティング戦略　コトラー
81　資本主義対資本主義　アルベール
82　インタヴューズ　マルクスからヒトラーまで　シルヴェスター編
83　ダイムラー・クライスラー　ヴラシック
84　逝きし世の面影　渡辺京二
85　理想なき出版　シフレン

第６章　かけがえのないもの　まなざしが見いだす価値

86　プロタゴラス　プラトン
87　中国古典選　荘子　福永光司
88　『ロウソクの科学』　ファラデー
89　雑種植物の研究　メンデル
90　樋口一葉の手紙教室　森まゆみ
91　茶の本　岡倉覚三
92　おヨネとコハル　モラエス

93　人類の星の時間　ツヴァイク
94　口紅から機関車まで　ローウイ
95　『木を植えた人』　ジオノ
96　１１ぴきのねこ　馬場のぼる
97　『ご冗談でしょう、ファインマンさん』
98　現代の職人　石山修武
99　バリ島芸術をつくった男　伊藤俊治
100　ボローニャ紀行　井上ひさし
101　天皇の書　小松茂美
102　千佳慕の横浜ハイカラ青年記　熊田千佳慕
103　贈りもの物語　重延浩

『嵐の夜の読書』池澤夏樹(著)の掲載書籍リスト

１９９９

『ヴァインランド』 ピンチョン
『パラダイス』 モリスン
『宙返り（上・下）』 大江健三郎
『銀河の道 虹の架け橋』 大林太良
『アレクサンドリア』 ロンドー

２０００

『ドキュメント沖縄返還交渉』 三木健
『我々はなぜ戦争をしたのか 米国・ベトナム 敵との対話』 東大作
『舞踏会へ向かう三人の農夫』 パワーズ
『アフリカの世界 音楽学者のおもしろフィールドワーク』 塚田健一
『聞書アフリカン・アメリカン文化の誕生 カリブ海域黒人の生きるための闘い』 ミンツ
『アメリカ帝国への報復』 ジョンソン
『天使の記憶』 ヒューストン
『ザ・ビートルズ・アンソロジー』
『極北の迷宮 北極探検とヴィクトリア朝文化』 谷田博幸

２００１

『天皇の戦争責任』 加藤ほか
『鰹節』 宮下章
『遠い場所の記憶 自伝』
『立花隆、「旧石器発掘ねつ造」事件を追う』 立花隆ほか
『わたしたちが孤児だったころ』 イシグロ
『須賀敦子のミラノ』 大竹昭子
『スピティの谷へ』 謝孝浩ほか
『敗北を抱きしめて（上・下）』 ダワー
『ホワイト・ティース（上・下）』 スミス
『アンチゴネ』 ボーショー
『武揚伝（上・下）』 佐々木譲
『アイヌ近現代史読本』 小笠原信之
『人道的介入 正義の武力行使はあるか』 最上敏樹 岩波新書

『９・１１』 チョムスキー
『イヴの七人の娘たち』 サイクス

２００２

『香港の起源（１・２）』 モー
『わたし琵琶湖の漁師です』 戸田直弘
『語り伝えよ、子どもたちに ホロコーストを知る』 ブルッフフェルドほか
『偶然 帆船アザールの冒険』 クレジオ
『リチャード・ブローティガン』 藤本和子
『緑の資本論』 中沢新一
『晴子情歌（上・下）』 高村薫
『マーティン・ドレスラーの夢』 ミルハウザー
『レイチェル』 リア こうしてエコロジーは力を得た
『アンダーワールド（上・下）』 デリーロ
『あの夕陽・牧師館』『光』『Living Zero』 日野啓三
『極北の動物誌』 プルーイット
『なぜ戦争は終わらないか ユーゴ問題で民族・紛争・国際政治を考える』 千田善

２００３

『ヴァギナ・モノローグ』 エンスラー
『ケセン語訳 新約聖書（１） マタイによる福音書』
『金笠詩選』 チェ・ソギ
『輝く日の宮』 丸谷才一
『暴力に逆らって書く 大江健三郎往復書簡』 大江健三郎
『他者の苦痛へのまなざし』 ソンタグ
『沖縄おじぃおばぁの極楽音楽人生』 中江裕司
『ららら科學の子』 矢作俊彦
『蟻』『蟻の時代』『蟻の革命』 ウェルベル
『春画 秘めたる笑いの世界』 白倉ほか

２００４

『呪医の末裔 東アフリカ・オデニョー族の二十世紀』 松田素二
『家守綺譚』 梨木香歩
『ゴールデンアワー』 四元康祐

『カイエ・ソバージュ（全５巻）』 中沢新一
『「正しい戦争」は本当にあるのか』 藤原帰一
『戦争とテレビ』 カミングス
『ポル・ポト＜革命＞史 虐殺と破壊の四年間』 山田寛
『百年佳約』 村田喜代子
『トランス＝アトランティック』 ゴンブローヴィッチ
『与那国島サトウキビ刈り援農隊』 藤野雅之
『ヴァレリーの肖像』 清水徹

２００５

『イタリア・ユダヤ人の風景』 河島英昭
『永遠の子ども』 フォレスト
『日本の古代語を探る 詩学への道』 西郷信綱
『宮本常一写真・日記集成（全２巻・別巻１）』 宮本常一
『ペルセポリスⅠ・Ⅱ』 サトラピ
『素数の音楽』 ソートイ
『イヨマンテの花矢 続・アイヌの碑』 ○野茂
『新リア王（上・下）』 高村薫

２００６

『悲劇週間』 矢作俊彦
『人間の暗闇 ナチ絶滅収容所長との対話』 セレニー
『花はさくら木』 辻原登
『世界共和国へ 資本＝ネーション＝国家を超えて』 柄谷行人
『占領の記憶／記憶の占領 戦後沖縄・日本とアメリカ』 モラスキー
『風の影（上・下）』 サフォン
『思想としての＜共和国＞ 日本のデモクラシーのために』 ドゥブレほか
『制服捜査』 佐々木譲
『祖先の物語 ドーキンスの生命史』 ドーキンス
『わが悲しき娼婦たちの思い出』 ガルシア＝マルケス
『獄中記』 佐藤優

２００７

『オオカミを放つ 森・動物・人のよい関係を求めて』 丸山ほか

『アレクサンドリア四重奏１ ジュスティーヌ』 ダレル
『ブラッサイ パリの越境者』 今橋映子
『猫のゆりかご』『スローターハウス５』『ローズウォーターさん、あなたに神のお恵みを』 ヴォネガット
『ぼくの家には、むささびが棲んでいた 徳山村の記録』 大牧冨士夫
岩波文庫８０年特集：『ローマ帝国衰亡史』ギボン『万葉集』『定家八代抄』『朝鮮詩集』『玉台新詠集』『ギリシア恋愛小曲集』
『「成長の限界」からカブ・ヒル村へ ドネラ・H・メドウズと接続可能なコミュニティ』 メドウズ
『異郷の死 知里幸恵、そのまわり』 西成彦ほか
『ガラスの家 プラムディヤ選集７』 トゥール
『『カラマーゾフの兄弟』続編を空想する』 亀山郁夫

２００８

『臈たしアナベル・リイ 総毛立つつ身まかりつ』 大江健三郎
『詩の風景・詩人の肖像』 白石かずこ
『バートルビーと仲間たち』 ビラ＝マタス
『かもめの日』 黒川創
『チューバはうたう mit Tuba』 瀬川深
『鳥学大全』 秋篠宮文仁
『ザ・ロード』 マッカーシー
『海の沸点／沖縄ミルクプラントの最后／ピカドン・キジムナー』 坂手洋二
『沖縄 だれにも書かれたくなかった戦後史』 佐野眞一
『日本語が亡びるとき 英語の世紀の中で』 水村美苗
『女神記』 桐野夏生

１９９８－２００８（今年の３冊）

１９９８

『龍秘御天歌』 村田喜代子
『ノルウェーの汀の物語』 ヴァッスムー
『＜日本人＞の境界 沖縄・アイヌ・台湾・朝鮮 植民地支配から復帰運動まで』 小熊英二

１９９９

『パラダイス』 モリスン
『魂込め（まぶいぐみ）』 目取真俊
『宇宙の果てまで』 小平桂一

２０００

『日本人の魂の源郷 沖縄久高島』 比嘉康雄
『朗読者』 シュリンク
『天使の記憶』 ヒューストン

２００１

『敗北を抱きしめて』 ダワー
『水俣病の科学』 西村肇ほか
『唐シルクロード十話』 ウィットフィールド

２００２

『晴子情歌』 高村薫
『セーヌは左右を分かち、漢口は南北を隔てる』 ◯世和
『人類最古の哲学』 中沢新一

２００３

『そこから青い闇がささやき』 山崎佳代子
『クルディスタンを訪ねて トルコに暮らす国なき民』 松浦範子
『ケセン語訳 新約聖書（１） マタイによる福音書』

２００４

『ジャスミン』 辻原登
『ラディカル・オーラル・ヒストリー オーストラリア先住民アボリジニの歴史実践』 保苅実
『地図に仕える者たち』 バレット

２００５

『日本領サイパン島の一万日』 野村進

『素数の音楽』 ソートイ
『生きる意味「システム」「責任」「生命」への批判』 イリイチほか

２００６

『新リア王』 高村薫
『ロリータ』 ナボコフ
『クマムシ?!　小さな怪物』　　鈴木忠

２００７

『信頼』 リンギス
『ガラスの家』 トゥール
『『カラマゾーフの兄弟』続編を空想する』 亀山郁夫

２００８

『詩の風景・詩人の肖像』 白石かずこ
『かもめの日』 黒川創
『責任という虚構』 小坂井敏晶

『私が選ぶ国書刊行会の３冊』(国書刊行会４０周年記念小冊子)の掲載書籍リスト

1　朝吹真理子（小説家）

吉田健一　饗宴　日本幻想文学集成１６
稲生物怪録絵巻集成
『塩の像』　バベルの図書館１８

2　安藤礼二（評論家）

書物の宇宙誌　澁澤龍彦蔵書目録
松山俊太郎「綺想礼賛」
ディレイニー「ダールグレン」

3　池内紀（ドイツ文学者）

日本敵討ち異相　長谷川伸傑作選
幸田露伴　ウッチャリ拾ひ　日本幻想文学集成８
動物園の麒麟　クラテール叢書９

4　いしいしんじ（小説家）

バベルの図書館　全３０巻
セリーヌの作品　全１５巻
夜明け前のセレスティーノ

5　石堂蘭（幻想文学研究家）

世界幻想作家事典　荒俣宏
放浪者メルモス　世界幻想文学大系５
悪の誘惑　ゴシック叢書　メタフィクション

6　稲生平太郎（小説家）

悪の誘惑　ゴシック叢書
モスマンの黙示　超科学シリーズ２
『うしのよだれ』　坪井正五郎

7　宇月原晴明（小説家）

バルトルシャイティス著作集
日本古典文学幻想コレクション　全３巻
書物の王国　全２０巻

8　円城塔（小説家）

普遍の鍵　ロッシ　世界幻想文学大系４５
虚数　レム　文学の冒険
ウッドハウス・コレクション　全１４冊

9　大森望（書評家・評論家）

『山尾悠子作品集成』
高い城・文学エッセイ　レム
『ケルベロス第五の首』　ウルフ

10　恩田陸（小説家）

リタ・ヘイワースの背信　ラテンアメリカ文学叢書１５
カチアートを追跡して　オブライエン　文学の冒険
ラトクリフ街道の殺人　ジェイムズほか

11　風間賢二（翻訳家）

世界幻想文学大系　全４５巻
探偵クラブ
異貌の１９世紀　全６巻

12　金原瑞人（翻訳家）

マンク　ルイス　世界幻想文学大系２
放浪者メルモス　マチューリン　世界幻想文学大系５
『山尾悠子作品集成』

13　亀山郁夫（ロシア文学者）

ロシア・アヴァンギャルド　全８巻
ソラリス　レム・コレクション
ロマン　ソローキン　文学の冒険

14　川端賢子（文芸・演劇評論家）

世界幻想文学大系　全４５巻
復刻版（月刊）ひまわり　全６７冊
定本　久生十蘭全集

15　菊池秀行（小説家）

ドラキュラ叢書　全１０巻
モンスター・ショー　怪奇映画の文学史
ウィアード・テールズ　別巻

16　岸本佐知子（翻訳家）

愛　ソローキン　文学の冒険
輝く金字塔　マッケン　バベルの図書館２１
お日さま　お月さま　お星さま　ヴォネガットほか

17　紀田順一郎（小説家／翻訳家／評論家）

月下の幻視者　ドイツ・ロマン派短編集　ドイツ・ロマン派全集８
責苦の庭　ミルボー　フランス世紀末文学叢書５
　ジル（上・下）　ロシェル

18　北村薫（小説家）

アルゼンチン短篇集　バベルの図書館２０
世界ミステリ作家事典　本格派篇　＆　ハードボイルド・警察小説・サスペンス篇
　チャールズ・アダムスのマザー・グース

19　木村榮一（ラテンアメリカ文学者）

定本　久生十蘭全集
放浪者メルモス　世界幻想文学大系５
奇跡なす者たち　ヴァンス　未来の文学

20　倉阪鬼一郎（小説家）

トンネル　サバト　ラテンアメリカン文学叢書６
生埋め　ある狂人の手記より　ヘダーヤト　文学の冒険
悪の誘惑　ホッグ　ゴシック叢書

（翻訳したもの）
魔法の本棚　エイクマンとミドルトンが感涙もの
世界探偵小説全集
定本ラヴクラフト全集

21　COCO（漫画家）

新篇　真ク・リトル・リトル神話大系　全７巻
『山尾悠子作品集成』
リトル、ビッグ（Ⅰ・Ⅱ）　クロウリー

22　佐野史郎（俳優）

法の書　クロウリー
定本　ラヴクラフト全集　全１０巻
芳年妖怪百景

23　柴田元幸（英米文学者）

放浪者メルモス
創造者　ボルヘス　世界幻想文学大系１５
ミステリウム　マコーマック

24　須永朝彦（歌人／作家）

譚海　津村〇庵
１９００年のプリンス　伯爵ロベール・ド・モンテスキュー伝　ジュリアン
日影丈吉全集　全８巻別巻１

25　諏訪哲史（小説家）

巨人　パウル
淋しい場所　ダーレス　アーカムハウス叢書
幽霊の書　レイ

26　千街晶之（ミステリ評論家）

肉体と死と悪魔　プラーツ　クラテール叢書
幻想文学大事典
赤い右手　ロジャーズ

27　高田衛（国文学者）

鳥山石燕　画図百鬼夜行
叢書江戸文庫　全５０巻
白縫譚　全３巻

28　高原英理（小説家）

マンク　ルイス　世界幻想文学大系２
近世民間異聞怪談集成　江戸怪綺想文芸体系５
日本幻想作家事典

29　高山宏（英文学者）

普遍の鍵　ロッシ　世界幻想文学大系４５
アベラシオン　バルトルシャイティス
幻想文学大事典

30　滝本誠（評論家）

仮面物語集　ロラン　フランス世紀末文学叢書７

ブラック・マスクの英雄たち
アベラシオン　バルトルシャイティス

31　巧舟（ゲームクリエイター）

第二の銃声　バークリー　世界探偵小説全集２
四人の申し分なき重罪人　チェスタトン　ミステリーの本棚
怪盗ゴダールの冒険　アンダースン　ミステリーの本棚

32　嶽本野ばら（小説家）

アレイスター・クロウリー著作集
花物語　吉屋信子
それいぬ　正しい乙女になるために　嶽本野ばら

33　巽孝之（アメリカ文学者）

鯨とテキスト　メルヴィル全集別巻
ソラリス　レム
ダールグレン　ディレイニー

34　谷川渥（美学者）

バルトルシャイティス著作集
美術史　フォール　第４巻
肉体と死と悪魔　プラーツ　クラテール叢書

35　千野帽子（文筆家）

巨人　パウル
松永延造全集１　小説１
フォルマリズム　詩的言語論　ロシア・アヴァンギャルド６

36　津原泰水（小説家）

カシオペアのプサイ　世界幻想文学大系２０
詩人と狂人達　チェスタトン　世界幻想文学体系１２

完全な真空　レム　文学の冒険

37　坪内祐三（評論家）

綺想礼賛　松山俊太郎
僕の読書感想文　近田春夫
『トラック野郎風雲録』　鈴木則文

38　豊崎由美（書評家）

遊戯の終り　コルタサル　ラテンアメリカン文学叢書５
文学の冒険　全６０巻
バベルの図書館　全３０巻

39　長野まゆみ（小説家）

セラフィタ　バルザック　世界幻想幻想体系６
ラピスラズリ　山尾悠子
復讐奇談安積沼／桜姫全伝曙草紙　現代語訳　江戸の伝奇小説１

40　中野美代子（中国文学者）

『朝鮮の風水』　松山智順　朝鮮総督府編
バルトルシャイティス著作集
二つの死闘　オールティック　異貌の１９世紀

41　南條竹則（小説家）

黒魔団　ホイートリ　ドラキュラ叢書１
日本怪談大全　全５巻
日影丈吉全集

42　西崎憲（小説家）

『夢の本』　ボルヘス　世界幻想文学大系４３
黄金仮面の王　シュオブ　フランス世紀末文学叢書２
愉しいビーダーマイヤー　１９世紀ドイツ文学史研究　クラテール叢書１５

43　沼野充義（ロシア・ポーランド文学者）

サラゴサ手稿　ポトツキ　世界幻想文学大系１９
チェゲムのサンドロおじさん　イスカンデル　文学の冒険
アベラシオン　バルトルシャイティス著作集１

44　野崎歓（フランス文学者）

東方の旅　ネルヴァル　世界幻想文学大系３１
セリーヌの作品
選ばれた女　コーエン

45　野谷文昭（ラテンアメリカ文学者）

ラテンアメリカ文学叢書　全１５巻
ボルヘス・コレクション　全７冊
バベルの図書館　全３０巻　ボルヘス個人の編まれた叢書

46　法月倫太郎（小説家）

世界ミステリ作家事典　本格派篇
カチアートを追跡して　オブライエン　文学の冒険
完全な真空　レム

47　蜂飼耳（詩人）

僕の陽気な朝　クリーマ　文学の冒険
アイルランド・ストーリーズ　トレヴァー

48　東雅夫（アンソロジスト）

世界幻想作家事典
『山尾悠子作品集成』
近世民間異聞怪談集成

49　富士川義之（英文学者）

ルバイヤート集成　カイヤーム
トマス・ド・クインシー著作集
密林の獣／荒涼のベンチ　ジェイムズ

50　古川日出男（小説家）

行方不明のヘンテコな伯父さんからボクがもらった手紙　ピーク
遠い女　ラテンアメリカ短篇集
カチアートを追跡して　オブライエン

51　保坂和志（小説家）

V.　ピンチョン　ゴシック叢書
セリーヌの作品
『塩の像』　ルゴーネス

52　堀切直人（文芸評論家）

日影丈吉全集
定本　久生十蘭全集
日本幻想文学集成

53　松岡正剛（編集工学研究所所長）

イシス探求　バルトルシャイティス著作集３
山東京伝集　叢書江戸文庫１８
死都ブリュージュ／霧の紡車　ロデンバック　フランス世紀末文学叢書８

54　皆川博子（小説家）

『山尾悠子作品集成』
巴里幻想訳詩集
独逸怪奇小説集成

55　森英俊（翻訳家）

第二の銃声　バークリー
世界ミステリ作家事典
ウッドハウス・コレクション　全１４冊

56　柳下毅一郎（英米文学翻訳家）

V. ピンチョン
時との戦い　カルペンティエール　ラテンアメリカン文学叢書２
帰れ、カリガリ博士　ゴシック叢書

57　山尾悠子（小説家）

セラフィタ　バルザック　世界幻想文学大系６
黄金仮面の王　シュオブ短篇選集　フランス世紀末文学叢書２
架空の町　書物の王国１

58　山口雅也（小説家）

世界ミステリ作家事典　本格派篇
赤い右手　ロジャーズ　世界探偵小説全集２４
ジョン・ディクスン・カー＜奇蹟を解く男＞　グリーン

59　横尾忠則（美術家）

ロマンとの遭遇　小松崎茂の世界
妖艶粋美　甦る天才絵師・〇崎英朋の世界
怪談　ハーン（シュヴァンクマイエル画）

60　吉野朔実（漫画家）

国芳妖怪百景
不在の騎士　カルヴィーノ　文学の冒険
シュヴァンクマイエルの博物館　触覚芸術・オブジェ・コラージュ集

61　若島正（英米文学者）

世界幻想作家事典

幻想文学大事典

世界ミステリ作家事典　本格派篇

『すべては今日から』児玉清(著)の掲載書籍リスト

（書評集言及図書）

（洋書）

ディック・フランシス　LONGSHOT（標的）, Come to grief（敵手）, Twice Shy（配当）
エリック・シーガル　DOCTORS（ドクターズ）, THE CLASS（クラス）
ネルソン・デミル　THE GOLD COAST（ゴールド・コース）,チャーム・スクール,The Gate House
ケン・フォレット　THE PILLARS OF THE EARTH　大聖堂　オプラー・ウィンフリー女史（書評家）
ジャクリーン・ミチャード　THE DEEP END OF THE OCEAN
トニ・モリソン　SONG OF SOLOMON（ソロモンの歌）
ジェーン・ハミルトン　BOOK OF RUTH
マイケル・クライトン　興奮　緊急の場合は　アンドロメダ病原体　ターミナル・マン　ジュラシック・パーク
ロバート・パーカー　Split Image（暁に立つ）
グリシャム　Theodore Boone: Kid Lawyer
ファルコネス　海のカテドラル
ローシャ

（小学生）剣豪物

千葉周作　塚原卜伝
吉川英治　神州天馬侠　宮本武蔵
江戸川乱歩　一寸法師
林不忘　丹下左膳

（高校生）

レイモン・ラディゲ　肉体の悪魔
シュテファン・ツヴァイク　人類の星の時間　チェスの話
新書　零の発見　アラビアのロレンス　万葉秀歌　ミケルアンヂェロ　新唐詩選　哲学入門　歴史とは何か
野菊の墓

（大学生）
ラシーヌ　ブリタニキュス
富永　ピカソー現代絵画論
ヴィルヘルム・ハウフ　童話全集
シュテファン・ツヴァイク　最初の体験　燃える秘密
レヴィン　死の接吻
ブレイク　野獣死すべし

（俳優業）

フランシス　興奮
ブリタニカ版　グレート・ブックス　５４巻

（その後）

玉岡かおる　天涯の船
領家高子　墨堤
蓮見圭一　水曜の朝、午前三時
ジェフリー・ディーヴァー　青い虚空
ケン・フォレット　コード・トゥ・ゼロ
大沢在昌　砂の狩人
川端康成　掌の小説
横山秀夫　第三の時効
北原亞以子　妻恋坂
藤田　「女　ファム」
ラングレー　北壁の死闘
夢枕獏　神々の山嶺（上下）
谷甲州　遠き雪嶺
アリス・シーボルト　ラブリー・ボーン
アニータ・シュリーヴ　パイロットの妻
ラヒリ　『停電の夜に』
トゥロー　囮弁護士
パタースン　サイレント・ゲーム
グリシャム　陪審評決
山本一力　いっぽん桜
津村節子　流星雨
吉村昭　『生麦事件』

ロジャー・ブランズ　歴史にならなかった歴史
リプチンスキ　ねじとねじ回し
山藤章二　まあ、そこへお坐り
パタースン　１７番グリーンの奇跡
ダットソン　父が遺してくれた大切なこと
レッドベター　レッドベターの１００パーセント・ゴルフ
安野光雅　青春の文語体
山本夏彦　夏彦の影法師
福本一郎　青春俳句をよむ　岩波ジュニア新書
ダン・ブラウン　The Da Vinci Code, Angels & Demons
ジョン・ル・カレ　ナイロビの峰　Absolute Friends
デニス・ルヘイン　ミスティック・リバー、シャッター・アイランド
グリシャム　The Last Juror
パーカー　Bad Business　影に潜む
パタースン　黒十字の騎士
アイルズ　戦慄の眠り
マイケル・コナリー
アラフェア・バーク　女検事補サム・キンケイド
ランズデール　ボトムズ、サンセット・ヒート、囚人分析医
ヴィンス・フリン　Memorial Day
ストラウド　キューバ海峡、ブラックウォーター・トランジット
ロブ・ルーランド　哀しみの街の検事補
サラ・ウォーターズ　半身、荊の城
ミネット・ウォルターズ　Disordered Minds　蛇の形
マイケル・グルーバー　夜の回帰線
クラムリー　ファイナル・カントリー、明日なき二人
デイヴィッド・リス　紙の迷宮
ディーヴァー　ボーン・コレクター、青い虚空、Garden of Beasts
マシュー・パール　ダンテ・クラブ
ペレケーノス　曇りなき正義、終わりなき孤独
ジョン・クリード　シリウス・ファイル
リザ・スコットライン　Killer Smile　死刑判決
バッファ　弁護、追訴、審判、遺産
カミンスキー　消えた人妻
カール・ハイアセン　Skinny Dip
ジリアン・ホフマン　報復
スザンヌ・チェイズん　欺く炎

ディーヴァー　魔術師
シェルダン　Are You Afraid of the dark?
スーザン・ブロックマン　沈黙の女を追って
リサ・ガードナー　いまは誰も愛せない
クリントン・マッキンジー　コロラドの血戦
ネルソン・デミル　Night Fall
サンドラ・ブラウン　暗闇よ　こんにちは
デイヴィッド・リンジー　夜の色、悪魔が目をとじるまで
カーリン・アルヴテーゲン　喪失
マイケル・クライントン　State of Fear
ロバート・ラドラム　メービウスの環
ジェイムズ・カルロス・ブレイク　無頼の掟
ウォルシュ　死、ふたたび
マリオ・プーヅォ　ザ・シシリアン、ラスト・ドン、オルメター沈黙の掟
マーク・ワイン・ガードナー　The Godfather:The Lost Years
ケン・ブルーウン　酔いどれに悪人なし
パーカー　ダブルプレー
ヘンリー・ポーター　スパイズ・ライフ
篠沢秀夫　軽井沢、日比谷、パリ
秋元康　象の背中
コープランド編　友よ　弔辞という詩
ゴルファーを笑え！
グリシャム　法律事務所、ペリカン文書
トゥロー　推定無罪
森本哲郎　旅の半空（旅は人生　と改題）
森本哲郎　ぼくの日本十六景　空の名残り（日本十六景　と改題）
北原亞以子　深川〇通り燈ともし頃　慶次郎縁側日記シリーズ
マーク・トウェイン　王子と乞食
高野裕美子　マリン・スノー
城山三郎　総会屋錦城
江上剛　復讐総会（再起に改題）
市川拓司　世界中が雨だったら
丸山健二　貝の帆
手嶋龍一　ウルトラ・ダラー
シュリーヴ　パイロットの妻
真保裕一　最愛
ジョン・ヴァンヴィル　海に帰る日

城山三郎　そうか、もう君はいないのか
和田竜　忍びの国
立川談四楼　一回こっくり
犬飼六〇　叛旗は胸にありて
山本一力　八つ花ごよみ
藤田〇永　還暦探偵

（歌）
ナット・キング・コール　The Man I Love
Everlasting Songs of Love by the entertainers
藤沢周平　『蝉しぐれ』
セシル・スコット・フォレスター　砲艦ホットスパー
ケン・フォレット　大聖堂
ネルソン・デミル　スペンサーヴィル
和辻哲郎　古寺巡礼
スピレイン　大いなる殺人
ハメット　赤い収穫
アンブラー　ディミトリオスの棺
ライアル　ちがった空
ボール　航空救難隊
ディック・フランシス　本命、大穴、興奮
佐貫亦男　不安定からの発想
ギャビン・ライアル　もっとも危険なゲーム
アリステア・マクリーン　八点鐘が鳴る時
クライントン　恐怖の存在
ホワイティング　The meaning of Ichiro

『読みなおす一冊』朝日新聞学芸部(編)(朝日選書)の掲載書籍リスト

本書は、「名作　読む見る聴く」（全３巻）（朝日新聞,1986,87）から「読む」を抜粋したもの。

朝日新聞家庭面に連載（古今東西の名作を目利きの方々による手引きという企画）

1　『星の王子様』　サン＝テグジュペリ（北杜夫）
2　テレーズ・デスケルー　モーリヤック（遠藤周作）
3　古今集の桜　（馬場あき子）
4　ジーキル博士とハイド氏　スチーヴンスン（岡部伊都子）
5　トム・ソーヤーの冒険　トウェーン（鶴見俊輔）
6　『ソロモンの指環』　ローレンツ（三木卓）
7　お伽草紙　太宰治（長部日出雄）
8　桜の園　チェホフ（中村雄二郎）
9　にごりえ　樋口一葉（瀬戸内寂聴）
10　牛女　小川未明（水上勉）
12　反橋　川端康成（竹西寛子）
13　『黒い雨』　井伏鱒二（石牟田道子）
14　雨月物語　上田秋成（水木しげる）
15　美味礼讃　ブリア＝サヴァラン（篠田一士）
16　昆虫記　ファーブル（安野光雅）
17　思ひ出　北原白秋（山本太郎）
18　人形の家　イプセン（田中千禾夫）
19　不思議の国のアリス　キャロル（高橋康也）
20　赤と黒　スタンダール（黒井千次）
21　伊勢物語　在原業平（大庭みな子）
22　『嵐が丘』　ブロンテ（佐藤愛子）
23　風と共に去りぬ　ミッチェル（猿谷要）
24　牧師館の殺人　クリスティー（田村隆一）
25　リア王　シェークスピア（つかこうへい）
26　大尉の娘　プーシキン（三浦哲郎）
27　嘔吐　サルトル（開高健）
28　シッダールタ　ヘッセ（青野聰）
29　八木重吉詩集（三浦綾子）
30　ろうそくの科学　ファラデー（中山茂）
31　百人一首（杉本秀太郎）
32　雪　中谷宇吉郎（樋口敬二）

33　レベッカ　モーリア（夏樹静子）
34　貧しき人々　ドストエフスキー（後藤明生）
35　日和下駄　永井荷風（都筑道夫）
36　響きと怒り　フォークナー（津島佑子）
37　第二の性　ボーヴォワール（寿岳章子）
38　古代への情熱　シュリーマン（上原和）
39　遠野物語　柳田国男（前登志夫）
40　福翁自伝　福沢諭吉（永井道雄）
41　チップス先生さようなら　ヒルトン（今江〇智）
42　唐詩選（陳舜臣）
43　『赤毛のアン』　モンゴメリー（立原えりか）
44　ツァラトストラかく語りき　ニーチェ（梅原猛）
45　わたしが子どもだったころ　ケストナー（なだいなだ）
46　モンテ・クリスト伯　デュマ（中島梓）
47　『ライ麦畑でつかまえて』　サリンジャー（三田誠広）
48　わが名はアラム　サローヤン（五木寛之）
49　吶喊（とっかん）　魯迅（駒田信二）
50　クレーの日記（富士正晴）
51　『銀河鉄道の夜』　宮沢賢治（手塚治虫）
52　愛するということ　フロム（宮田光雄）
53　ゴッドファーザー　ブーゾ（常盤新平）
54　せみと蓮の花　坪田譲治（松谷みよ子）
55　戦艦大和ノ最後　吉田満（安田武）
56　『夜と霧』　フランクル（曽野綾子）
57　きけ　わだつみのこえ（結城昌治）
58　春琴抄　谷崎潤一郎（三木稔）
59　枕草子　清少納言（杉本苑子）
60　『老人と海』　ヘミングウェー（佐伯彰一）
61　『風立ちぬ』　堀辰雄（中村真一郎）
62　『たのしい川べ』　グレーアム（神宮輝夫）
63　シャーロック・ホームズの冒険　ドイル（別役実）
64　樅ノ木は残った　山本周五郎（山田宗睦）
65　小公女　バーネット（重兼芳子）
66　『チャップリン自伝』（若き日々）
67　東西遊記　橘南〇（大岡信）
68　さすらいのジェニー　ギャリコ（上野瞭）
69　生きがいについて　神谷美恵子（上田三四二）

70　グリム童話集（河合隼雄）
71　恐竜物語　ブラッドベリ（藤竹暁）
72　世間胸算用　井原西鶴（藤本義一）
73　山家集　西行（堀田善〇）
74　トリスタンとイゾルデ（佐藤忠男）
75　渋江抽斎　森鴎外（加藤周一）
76　今昔物語（もろさわようこ）
77　人魚姫　アンデルセン（森崎和江）
78　闇の絵巻　梶井基次郎（吉村昭）
79　死者の書　折口信夫（岡野弘彦）
80　白鯨　メルヴィル（阿部謹也）
81　測量船　三好達治（中野孝次）
82　聊斎志異　〇松齢（眉村卓）
83　山月記　中島敦（大岡昇平）
84　ヘンリ・ライクロフトの私記　ギッシング（阿部昭）
85　裸のサル　モリス（山下洋輔）
86　路上　ケルアック（長田弘）
87　欲望という名の電車　ウィリアムズ（江守徹）
88　大菩薩峠　中里大介（尾崎秀樹）
89　セールスマンの死　ミラー（三浦朱門）
90　紅楼夢　曹雪芹（杉浦明平）
91　ドリトル先生アフリカゆき　ロフティング（金井美恵子）
92　サンドリヨンまたは小さなガラスの靴　ペロー（〇谷国士）
93　博物誌　ルナール（奥本大三郎）
94　蕪村句集　与謝蕪村（芳賀徹）
95　おくのほそ道　松尾芭蕉（加藤〇〇）
96　ヘリオット先生奮戦記（畑正憲）
97　土　長塚節（山下惣一）
98　マレー蘭印紀行　金子光晴（立松和平）
99　アンネの日記（澤地久枝）
100　ドレフュス事件　大佛次郎（村上光彦）
101　孤島の鬼　江戸川乱歩（中井英夫）
102　夜明け前　島崎藤村（井出孫六）
103　銀の匙　中勘助（岸田〇子）
104　冥途　内田百閒（種村季弘）
105　鶏の卵ほどの穀物　トルストイ（米倉〇加年）
106　忍者武芸帳　白土三平（副田義也）

107　草迷宮　泉鏡花（前田愛）
108　ジェーン・エア　ブロンテ（落合恵子）
109　ガラスの鍵　ハメット（北方謙三）
110　『怪談』　小泉八雲（入沢康夫）
111　曾根崎心中　近松門左衛門（篠田正浩）
112　金閣寺　三島由紀夫（磯田光一）
113　あなたに似た人　ダール（森瑤子）
114　クリスマス・キャロル　ディケンズ（小池〇）
115　東海道中膝栗毛　十返舎一九（野口武彦）
116　歳時記（高橋睦郎）
117　風姿花伝　世阿弥（矢内原伊作）
118　奇巌城　ルブラン（紀田順一郎）
119　北越雪譜　鈴木牧之（目崎徳兵衛）
120　野菊の墓　伊藤左千夫（近藤芳美）
121　源氏物語　紫式部（伊藤俊太郎）
122　老妓抄　岡本かの子（大城立裕）
123　動物記　シートン（伊藤比呂美）
124　百年の孤独　マルケス（清水徹）
125　人類の星の時間　ツヴァイク（小塩節）
126　モオツアルト　小林秀雄（三浦雅士）
127　さまよえる湖　ヘディン（椎名誠）
128　アポリネール詩集（塚本邦雄）
129　異邦人　カミュ（池田満寿夫）
130　ブリタニキュス　ラシーヌ（田辺聖子）

『使える読書』斎藤孝(著)(朝日新書)の掲載書籍リスト

使える読書５０リスト

１　コエーリョ　１１分間
２　フレイ　最後のシュート
３　ブロー　黒衣の下の欲望
４　ブラウン　ダ・ヴィンチ・コード
５　塩野七生　ローマ人の物語（８～１３巻）
６　岸宣仁　ゲノム敗北　後出し禁止
７　フォーデン　ザ・ハウス・オブ・グッチ
８　茂木健一郎　脳と仮想
９　山折哲雄　涙と日本人
１０　白岩玄　野ブタ。をプロデュース
１１　山内昌之　『嫉妬の世界史』新潮新書
１２　畑村洋太郎　『直観でわかる数学』
１３　夏木マリ　カッコいい女！
１４　ギュギョン　おなかがすいたらごはんたべるんだ一韓国の賢者による「短いお話、長い考え」
１５　佐藤愛子　血脈
１６　山田昌弘　『希望格差社会』
１７　町山智浩　USAカニバケツ
１８　村上春樹　ふしぎな図書館
１９　夢をつかむ　イチロー２６２のメッセージ
２０　西原理恵子　上京ものがたり
２１　我妻ひでお　失踪日記
２２　藤原正彦／小川洋子　世にも美しい数学入門
２３　恩田陸　『夜のピクニック』
２４　本田透　電波男
２５　高橋秀美　『はい、泳げません』
２６　リリー・フランキー　『東京タワー　オカンとボクと、時々、オトン』
２７　金城一紀　フライ、ダディ、フライ
２８　浦沢直樹　手塚治虫　PLUTO　換骨奪胎力
２９　羽生善治　『決断力』
３０　新谷弘美　病気にならない生き方
３１　松崎欣一　語り手としての福澤諭吉
３２　テグジュペリ　倉橋由美子訳　新訳　星の王子さま

３３　古川日出男　LOVE
３４　セルバンテス　荻内勝之訳　新潮社　ドン・キホーテ
３５　白石昌典　生協の白石さん
３６　岡田尊司　脳内汚染
３７　一刀　バカ世界地図
３８　早川いくを　またまたへんないきもの
３９　山本文子　やっぱりボーイズラブが好き
４０　堀江瑠璃子　世界のスターデザイナー４３
４１　叶恭子　トリオリズム
４２　東野圭吾　容疑者Xの献身
４３　海堂尊　『チーム・バチスタの栄光』
４４　西村賢太　どうで死ぬ身の一踊り
４５　ヘッセ　シッダールタ　岡田朝雄訳　草思社
４６　梅田望夫　『ウェブ進化論』
４７　岩井志麻子　べっぴんぢごく
４８　松原隆一郎　武道を生きる
４９　伊坂幸太郎　陽気なギャングが地球を回す
５０　クロスニー　『ユダの福音書を追え』
５１　ル＝グウィン　『ゲド戦記』

『マンガで鍛える読書術』本山勝寛(著)の掲載書籍リスト

第１章　「歴史モノ」は本好きになる王道

第１節　お薦めの日本史マンガ１０選

信長　工藤かずや作　池上遼一画
お～い！　龍馬　武田鉄矢作　小山ゆう
日露戦争物語　江川達也作
国が燃える　本宮ひろ志作
虹色のトロツキー　安彦良和作
「ナムジー大國王」「神武」　安彦良和作
日出処の天子　山岸凉子作
天上の虹　持統天皇物語　田中満智子作
火の鳥（４）　鳳凰編　手塚治虫作
あさきゆめみし　源氏物語　大和和紀作
火の鳥（７）（８）　乱世編　手塚治虫作

第２節　日本史の読み方

（１）歴史の入りは戦国時代

＜マンガ＞「信長」がお薦め、高校生以下は学研まんが伝記シリーズや講談社学習コミックもよい

＜小説＞山岡荘八　織田信長（５巻）、山岡の徳川家康（２６巻）か、これを原作とした横山光輝「徳川家康」（８巻）
司馬遼太郎作品　国盗り物語、新史太閤記、「関ケ原」（３巻）天下分け目、他に小説としては、山本兼一『利休にたずねよ』

＜解説書＞井沢元彦　逆説の日本史＜９＞＜１０＞＜１１＞　信長、秀吉

＜つなぎ＞信長の戦争ー「信長公記」に見る戦国軍事学（藤本正行、講談社学術文庫）

＜深める＞完訳フロイス日本史＜２＞信長とフロイス　中公文庫

（２）最も熱い日本史　明治維新

＜マンガ＞お～い！龍馬（１４巻）

＜小説＞司馬遼太郎の竜馬がゆく（８巻）、世に棲む日日（４巻）では別の角度から。翔ぶが如く（１０巻）で西郷と大久保で幕末明治維新に精通できる。西郷の生涯は、まんが「せごどん」（道明作　講談社５巻）

＜次＞半藤一利　幕末史で、俯瞰。

＜原典＞勝海舟の氷川清話、「世に棲む日日」の後は、「吉田松陰・留魂録」
アーネスト・サトウ　一外交官の見た明治維新（岩波文庫）
天皇の世紀（大佛次郎、１０巻）で幕末明治維新の激動期が浮き彫りに

（３）日本が創られた　明治時代

＜マンガ＞日露戦争物語（２２巻）

＜小説＞司馬遼太郎　坂の上の雲
城山三郎の雄気堂々　渋沢栄一の生涯

＜解説＞岡崎久彦　陸奥宗光とその時代
ドナルド・キーン　明治天皇を語る（新潮新書）明治天皇（４巻）

（４）現在との接続点　昭和史

＜マンガ＞国が燃える（９巻）　虹色のトロツキー（８巻）、水木しげる「コミック昭和史」（８巻）

＜小説＞戸川猪佐武　党人の群れ（３巻）
城山三郎　男子の本懐　落日燃ゆ
阿川弘之の山本五十六　米内光政I　井上成美

＜原典、解説＞　石原莞爾　最終戦争論、「地ひらく　石原莞爾と昭和の夢」
司馬の「昭和」という国家
石橋湛山評論集（岩波文庫）も併読

（５）天下統一を初めて目指した　戦国時代「古代史」

＜マンガ＞ナムジー大國王（４巻）、続編の神武（４巻）

＜基礎＞日本の「神話」と「古代史」がよくわかる本（PHP文庫）：古事記、日本書紀の理解に役立つ
＜解釈本＞邪馬台国と大和朝廷（武光誠、平凡社新書）　井沢元彦　逆説の日本史＜１＞
梅原猛　神々の流竄
梅原猛の現代語訳　古事記（学研M文庫）　神々の流竄と併読すれば、理解が深まり、読む力も伸びる
日本書紀　全現代語訳（宇治谷孟　講談社学術文庫）

（６）聖徳太子の圧倒的存在感と天皇政治の始まり　飛鳥時代

＜マンガ＞日出処の天子（７巻）

＜小説＞聖徳太子（黒岩重吾、４巻）

＜解釈・解説本＞梅原猛　隠された十字架ー法隆寺論

＜マンガ＞天上の虹

＜小説＞天の川の太陽（黒岩重吾）

＜解釈＞偽りの大化改新（中村修也、講談社現代新書）
井沢元彦　逆説の日本史＜２＞

（７）仏教と日本文化が読める　奈良時代

＜マンガ＞火の鳥（４）

＜小説＞弓削道鏡（黒岩重吾）

＜解釈＞逆説の日本史＜３＞

＜原典＞万葉集（角川ソフィア文庫　ビギナーズ・クラシックス）、万葉集（中西進、講談社文庫、４巻）

（８）恋愛で楽しむ王朝文化　平安時代

＜マンガ＞あさきゆめみし（７巻）

＜小説＞瀬戸内寂聴の現代語訳　源氏物語（１０巻）
永井路子：この世をば、王朝序曲、望みしは何ぞ

＜小説＞司馬　空海の風景

＜解説＞梅原猛　最澄と空海
逆説の日本史＜４＞

（９）貴族から武家が主役に　鎌倉・室町時代

＜マンガ＞火の鳥＜７＞＜８＞

＜小説＞司馬の義経　山岡の源頼朝（３巻）　吉川の源頼朝（２巻）
吉川の「新・平家物語」（１６巻）

＜原典＞現代語訳を前面に出したダイジェスト版　平家物語（角川ソフィア文庫　ビギナーズ・クラシックス）
平家物語（岩波文庫、４巻）

＜小説＞北条政子（永井路子）
高橋克彦　時宗（４巻）、山岡の日蓮、吉川の親鸞

＜解説本＞逆説の日本史＜５＞＜６＞

＜学術的＞蒙古襲来ー転換する社会（網野善彦）、吉本隆明の最後の親鸞

＜マンガ＞「私本　太平記」（吉川作、岡村賢二画４巻）、太平記　さいとう・たかお

＜小説＞吉川の私本太平記（８巻）、武王の門、楠木正成
獅子の座ー足利義満伝（平岩弓枝）

＜解説＞逆説の日本史＜７＞＜８＞
世阿弥（白洲正子）

＜原典＞風姿花伝＜世阿弥、岩波文庫）

第２章　国際関係を読み解く土台　世界史

第１節　お薦めの世界史漫画１０選

アレクサンドロス　世界帝国への夢　安彦良和
イエス　安彦良和
我が名はネロ　安彦良和
ジャンヌ　安彦良和
ベルサイユのばら　池田理代子
栄光のナポレオン　エロイカ　池田理代子
女帝エカテリーナ　池田理代子
Ｔ・Ｅ・ロレンス　神坂智子
アドルフに告ぐ　手塚治虫
史記　横山光輝

第２節　世界史の読み方

（１）ヨーロッパの原点、ギリシャ・ローマ時代

＜マンガ＞入門編：アレクサンドロス
応用編：ヒストリエ（岩明均作）

＜小説＞阿刀田高の獅子王アレクサンドロス、『ギリシア神話を知っていますか』

＜マンガ＞マンガ・ギリシア神話（里中満智子、８巻）

＜解説＞ローマ人の物語（塩野七生、１５巻）

＜マンガ＞ヘウレーカ（岩明均）

＜マンガ＞イエス

＜小説＞遠藤周作の『イエスの生涯』

＜入門＞三浦綾子の「新約聖書入門　心の糧を求める人へ」

＜マンガ＞我が名はネロ

＜本＞ローマ人の物語の７巻でネロが、１４巻でローマのキリスト教国教化

＜解説＞エドワード・ギボン　ローマ帝国衰亡史（１０巻、中野好夫訳ちくま学芸文庫）

（２）「読書の最高峰」　近代西洋思想へのかけ橋、近世・近代ヨーロッパ

＜マンガ＞ジャンヌ：英仏百年戦争を背景

＜小説＞佐藤賢一の傭兵ピエール

＜マンガ＞傭兵ピエール（原作：佐藤賢一　野口賢画、４巻）

＜小説＞佐藤賢一の双頭の鷲

＜解説＞佐藤賢一の英仏百年戦争（集英社新書）

＜小説＞佐藤賢一の王妃の離婚

＜マンガ＞ベルサイユのばら

＜小説＞ベルばらのきっかけが、シュテファン・ツヴァイクの伝記小説、、マリー・アントワネット
佐藤賢一：小説フランス革命、革命のライオン、バスティーユの陥落、聖者の戦い

＜小説＞藤本ひとみ、ハプスブルクの宝剣
藤本：逆光のメディチ
藤本：ノストラダムスと王妃

＜解説＞塩野七生：わが友マキアヴェッリ

＜原典＞ニッコロ・マキアヴェリ　新約　君主論（池田訳、中公）

＜原典＞ジャン・ジャック・ルソー　人間不平等起源論（岩波）、社会契約論（岩波）

＜マンガ＞栄光のナポレオン

＜小説＞ジョゼフ・フーシェ（シュテファン・ツワイク、岩波）

＜マンガ＞女帝エカテリーナ

＜小説＞女帝エカテリーナ（アンリ・トロワイヤ　中公文庫）
アレクサンドルー世ーナポレオンを敗走させた男（アンリ・トロワイヤ　中公
トルストイの戦争と平和

＜原典＞戦争論（カール・フォン・クラウゼヴィッツ　中公）

（３）史上最大の２つの世界大戦

＜マンガ＞T・E・ロレンス

＜原典＞完全版　知恵の七柱（ロレンス、平凡社５巻）
砂漠の叛乱（中公）

＜小説＞ヘミングウェイの武器よさらば、エーリッヒ・マリア・レマルクの西部戦線異状なし

＜マンガ＞オルフェウスの窓（池田理代子、９巻）

＜解説＞怪僧ラスプーチン（マッシモ・グリッランディ、中公）
レーニン（レフ・トロツキー、光文社新訳）

＜専門書＞ロシア革命（E・H・カー、岩波現代）
カー：危機の二十年、歴史とは何か（岩波新書）

＜マンガ＞アドルフに告ぐ
水木しげるの劇画ヒットラー

＜小説＞皆川博子：総統の子ら、死の泉

＜原典＞アンネの日記

＜小説＞戦火の果て（デイヴィッド・L・ロビンズ）

＜ノンフィクション＞スターリングラード（アントニー・ビーヴァー　朝日）

＜原典＞第二次世界大戦（ウィンストン・S・チャーチル、河出）
ハル回顧録（中公）
アメリカ外交５０年（ケナン、岩波現代）

（４）日本史の源流、中国史

＜マンガ＞横山光輝：史記（１１巻）、三国志（３０巻）
蒼天航路（講談社１８巻）
横山：項羽と劉邦（１２巻）

＜小説＞司馬遼太郎：項羽と劉邦
吉川：三国志　８巻

＜解説＞史記を語る（宮崎市定、岩波現代）

＜小説＞井上靖：孔子

＜原典＞論語（金谷治訳、岩波）

＜小説＞海音寺潮五郎：孫子

＜原典＞新訂　孫子（岩波）

＜マンガ＞横山：水滸伝（中世）

＜小説＞水滸伝（北方謙三、１９巻）

＜マンガ＞横山：チンギスハーン

＜小説＞蒼き狼（井上靖）
チンギス・ハーンの一族（陳舜臣、４巻）
時宗（高橋克彦）
鄭成功一旋風に告げよ（陳舜臣）

阿片戦争（陳舜臣）
孫文（陳舜臣）
蒼穹の昴（浅田次郎）
中原の虹（浅田）

＜解説＞宋姉妹ー中国を支配した華麗なる一族（伊藤純ほか）中国革命期
紫禁城の黄昏　完訳（ジョンストン）
『ワイルド・スワン』（ユン・チアン）

第３章　「政治」は現代の歴史モノ

第１節　お薦め政治マンガ１０選

サンクチュアリ　史村翔作、池上遼一画
加治隆介の議　弘兼作
歴史劇画大宰相　戸川猪佐武作、さいとう・たかを画
票田のトラクター　ネニー鍋島作、前川つかさ画
現在官僚系もふ　鍋田吉郎作、並木洋美画
市長遠山三京香　赤石路代作
沈黙の艦隊　かわぐちかいじ作
日本国大統領桜坂満太郎　吉田健二作、日高義樹監修
ゴルゴ１３　さいとう・たかを作
勇午　the Negotiator　草刈信二作、赤名修画

第２節　政治本の読み方

（１）政治は現代の歴史モノ

＜マンガ＞サンクチュアリ（８巻）
市長遠山三京香（１１巻）
加治隆介の議（１０巻）

＜小説＞「小説　防衛省」（大下英治）

＜解説＞プロフェッショナル広報戦略（世耕弘成）

＜マンガ＞歴史劇画大宰相（１０巻）

＜小説＞小説吉田学校（戸川猪佐武８巻）

＜小説＞異形の将軍ー田中角栄の生涯（津本陽）

＜解説＞田中角栄研究ー全記録（立花隆）
岸信介ー昭和の革命家（岩見隆夫）

＜自著＞とてつもない日本（麻生太郎　新潮新書）
美しい国へ（安倍晋三　文春新書）
日本改造計画（小沢一郎）
堂々たる政治（与謝野馨　新潮新書）
官僚国家の崩壊（中川秀直）

（２）参謀秘書を通して選挙と政治の裏を読め

＜マンガ＞票田のトラクター　シリーズ（票田のトラクター４巻、新・票田のトラクター１３巻、票田のトラクター五輪見参６巻）

＜小説＞選挙参謀（関口哲平）

＜解説＞議員秘書ー日本の政治はこうして動いている（龍崎孝　PHP新書）

＜自著＞飯島勲：小泉官邸、代議士秘書ー永田町、笑っちゃうけどホントの話

（３）日本をつくってきた官僚の生態系を読め

＜マンガ＞現在官僚系もふ（８巻）

＜小説＞官僚たちの夏（城山三郎）
「小説　経済産業省」（木下英治）
三本の矢（榊東行）

＜自著＞『さらば財務省　官僚すべてを敵にした男の告白』（高橋洋一）
『国家の罠　外務省のラスプーチンと呼ばれて』（佐藤優）
さらば外務省ー私は小泉首相と売国官僚を許さない（天木直人）

＜評論＞猪瀬直樹：日本国の研究
ウォルフレン：日本／権力構造の謎、『人間を幸福にしない日本というシステム』

＜解説＞白書：経済財政白書、防衛白書、文部科学白書、厚生労働白書、情報通信白書。

（４）安全保障、世界情勢を読め

＜マンガ＞沈黙の艦隊（１６巻）
日本国大統領桜坂満太郎（１６巻）

＜解説＞日高義樹：アメリカの新国家戦略が日本を襲う

＜小説＞村上龍：半島を出よ（北朝鮮が福岡占領）
トム・クランシー：日米開戦

＜マンガ＞ゴルゴ１３、「ゴルゴ１３presetns:世界情勢裏ナビ」(副読本)

＜小説＞CIA関連　トム・クランシー：レッド・オクトーバーを追え、愛国者のゲーム、いま、そこにある危機、合衆国崩壊

＜解説＞CIA関連：CIA秘録ーその誕生から今日まで（ティム・ワイナー）
ドキュメント戦争広告代理店（高木徹）

＜解説＞メディア・コントロールー正義なき民主主義と国際社会（チョムスキー）

＜小説、エッセイ＞『嘘つきアーニャの真っ赤な真実』（米原万里）

＜小説＞『輝ける闇』（開高健）

＜ドキュメント＞サイゴンのいちばん長い日（近藤紘一）

＜小説＞黒木亮：アジアの隼（ベトナムでの巨大プロジェクト）、シルクロードの滑走路
深田祐介：革命商人（１９７０年代の南米チリ）
松村美香：ロロ・ジョングランの歌声（ODAによる開発援助）
真山仁：ベイジン（現代中国の姿）
千代田哲雄：チャイナゲーム（中国の崩壊）
ヤスミナ・カドラ：テロル、カブールの燕たち

＜解説＞『武装解除　紛争屋が見た世界』（伊勢崎賢治、講談社現代新書）
戦場の現在ー戦闘地域の最前線をゆく（加藤健二郎、集英社新書）

＜専門書＞文明の衝突（サミュエル・ハンチントン）
帝国以後ーアメリカ・システムの崩壊（エマニュエル・トッド）
『文明の接近　「イスラームvs西洋」の虚構』（トッド、クルバージュ）
アメリカ外交５０年、歴史の教訓ーアメリカ外交はどう作られたか（アーネスト・R・メイ）

第４章　「ビジネス・経済書」を仕事に生かせ

第１節　お薦めのビジネス・経済漫画１０選

マネーの拳　三田紀房作
島耕作　シリーズ　弘兼憲史
ナニワ金融道　青木雄二作
監査役野崎修平　頭取野崎修平　周良貨作、能田滋画
DAWNー陽はまた昇るー　倉科寮作、ナカタニD．画
株ーマーケットー　観月〇作、川島博幸画
「女子大生会計士の事件簿　公認会計士萌ちゃん」山崎真哉作、高野洋画
カバチタレ！　田島隆作、東風孝広画
極悪がんぼ　田島隆作、東風孝広画
マンガ日本経済入門（４巻）　石ノ森章太郎作

第２節　ビジネス書・経済書の読み方

（１）起業経営でビジネスの面白さを読め

＜マンガ＞マネーの拳：入門書

＜小説＞青年社長（高杉良）

＜自著＞「夢に日付を！　夢実現の手帳づくり」渡邉美樹
一勝九敗（柳井正）、「小倉昌男　経営学」、すべては一杯のコーヒーから（松田公太）、「本田宗一郎　夢を力にー私の履歴書」

＜解説＞ドラッカー：ドラッカー名著集シリーズ（ダイヤモンド社）、経営者の条件、現代の

経営、創造する経営者

＜マンガ＞島耕作シリーズ

＜小説＞シリウスの道（藤原伊織）
ロロ・ジョングランの歌声、ベイジン、チャイナゲーム

（２）金融を経済の動きで読め

＜マンガ＞監査役野崎修平　１２巻、頭取野崎修平　１０巻

＜小説＞高杉良：金融腐蝕列島、呪縛ー金融腐蝕列島Ⅱ、再生ー続・金融腐蝕列島、「混沌　新・金融腐蝕列島」、消失ー金融腐蝕列島・完結編
高杉良：銀行大統合（実名小説）

＜マンガ＞DAWN（８巻）

＜小説＞小説　ザ・外資（高杉良）
ハゲタカ（真山仁）、ハゲタカⅡ

＜マンガ＞株ーマーケット(５巻）

＜小説＞波のうえの魔術師（石田衣良）
マネー・ハッキング（幸田真音）
マネーロンダリング（橘玲）

＜解説＞マネーロンダリング入門ー国際金融詐欺からテロ資金まで（橘玲、幻冬舎新書）
＜マンガ＞ナニワ金融道（１０巻）

＜小説＞欲望産業　小説・巨大消費者金融（高杉良）

＜自著＞「借金の底なし沼で知ったお金の味　２５歳フリーター、借金１億２千万円、利息２４％からの生還記」金森重樹

＜解説＞下流喰いー消費者金融の実態（須田慎一郎、ちくま新書）

（３）会計、法律でルールと仕組みを理解せよ

＜マンガ＞女子大生会計士の事件簿（３巻）

＜小説＞女子大生会計士の事件簿（５巻）

＜解説＞山田真哉：『さおだけ屋はなぜ潰れないのか？』、『食い逃げされてもバイトは雇うな』
南の島のたったひとりの会計士（屋宮久光）

＜専門書＞決算書の暗合を解け！　ダメ株を見破る投資のルール（勝間和代）
「１秒！」で財務諸表を読む方法ー仕事に使える会計知識が身につく本（小宮一慶）
稲盛和夫の実学ー経営と会計

＜マンガ＞カバチタレ！（１０巻）
極悪がんぼ（１５巻）

＜小説＞行政書士の花道（澤田尚美）
株主総会（牛島信）：商法と企業弁護士
青い蜃気楼ー小説エンロン（黒木亮）

＜ノンフィクション＞ライブドア監査人の告白（田中慎一）
公認会計士vs特捜検察（細野祐二）

＜入門書＞「六法で身につける　荘司雅彦の法律養成講座」

（４）経済学で社会の潮流を読め

＜マンガ＞マンガ日本経済入門（４巻）

＜小説＞日本国債（幸田真音）
三本の矢

＜解説＞知識ゼロからの経済学入門（弘兼憲史ほか）
カリスマ受験講師細野真宏の経済のニュースがよくわかる本、日本経済編、世界経済編
霞が関埋蔵金男が明かす「お国の経済」（高橋洋一、文春新書）
亜玖夢博士の経済入門（橘玲）
経済は感情で動く（モッテルリーニ）

フラット化する世界（フリードマン）
良い経済学　悪い経済学（クルーグマン）
『世界を不幸にしたグローバリズムの正体』（スティグリッツ）
リスクー神々への反抗（バーンスタイン）
市場対国家 世界を作り変える歴史的攻防（ヤーギンほか）

＜専門書＞国富論（アダム・スミス４巻岩波）
資本主義と自由（フリードマン）
隷従への道ー全体主義と自由（ハイエク）
第三の道ー効率と公正の新たな同盟（ギデンズ）

『鹿島茂の書評大全　和物篇』鹿島茂(著)の掲載書籍リスト

１．人物を深く知る　伝記

坪内祐三　慶応三年生まれ　七人の旋毛曲がり　明治の青春を描く群像列伝
砂川幸雄　大倉喜八郎の豪快なる生涯　日本資本主義の父を再評価する
アレキサンダー・マッケイ　トーマス・グラバー伝　幕末冒険商人の実像に迫る（グラバーと同郷のスコットランド人研究者の手による）
内藤初穂　星の王子の影とかたちと　息子が語る名訳者の子ども心
大崎正二　遙かなる人間風景　かつて商社マンは侍だった（元大倉商事駐在員）
猪瀬直樹　『ピカレスク』　太宰治伝　太宰の暗部を解明する決定版評伝
出口裕弘　太宰治　変身譚　語り手としての太宰の本質（ロマネスク、お伽草子、女生徒など）
猪瀬直樹　マガジン青春譜　大宅壮一と川端康成の野心（雑誌投稿から）
岡本太郎　芸術と青春　批評家、岡本太郎が語る一平とかの子
井上荒野　ひどい感じ　父・井上光晴　人生も小説化した小説家の一生
佐野眞一　カリスマ　中内功とダイエーの戦後　戦後日本社会の欲望を描く

２．時代と文化を読む　歴史一般

菅野覚明　神道の逆襲　講談社現代新書　日本人にとって神とは何か（神さまはお客さま）
菅野覚明　よみがえる武士道　現代から武士道の本質を見る（秀作）
２１世紀研究会編　色彩の世界地図　文春新書　日本の喪服は白だった（手元にあると便利）
丹野康頼撰　医心方　巻二十八　房内篇　筑摩書房　男女の営みを説く古代中国健康法
氏家幹人　大江戸残酷物語　洋泉社新書　暗部から探る江戸の真実（小さな傑作）
西沢淳男　代官の日常生活　江戸の中間管理職　「お主も悪よのぉ」には訳がある
高橋敏　博徒の幕末維新　アウトローから見た幕末史　ちくま新書　（著作　清水次郎長と幕末維新）
小田部雄次　華族家の女性たち　女系歴史学から見る上層集団
頭山満　頭山満言志録　日本的英雄の必要条件とは（民間右翼の大物として維新から敗戦に至る時代に重きをなした。夢野久作「頭山満先生」）
奥武則　大衆新聞と国民国家　新聞の拡販競争がもたらしたもの

３．二十世紀を検証する　近・現代史

中田整一　盗聴　二・二六事件　二十枚の録音盤から浮かぶ謎（2.26の叛乱将校などの電話は盗聴・録音され、NHKに保存。）
西澤泰彦　満鉄　満州の巨人　都市計画から浮かぶ満鉄の実像（後藤新平の都市計画の再評価）

佐野眞一　阿片王　満州の夜と霧　深い闇に溶ける阿片と女（甘粕正彦が指名した満州の中央銀行総裁）
野村進　日本領サイパン島の一万日　南洋開拓にかけた家族のドラマ（サイパンを見ると、日本の現代史が見えてくる）
山本武利　日本兵捕虜は何をしゃべったか　文春新書　それは占領政策にも生かされた
清瀬一郎　秘録　東京裁判　ポツダム宣言全文を収録（東京裁判で東条英機の主任弁護士の回顧録。ポツダム宣言を読んでおくことが不可欠）
ロバート・D・エルドリッヂ　沖縄問題の起源　若きアメリカ人が解明する沖縄（ルーズベルト大統領の国務省無視が原因の一つ）
立花隆　『天皇と東大』　時代を変えた狂信的右翼の系譜
原武史　鉄道ひとつばなし　講談社現代新書　鉄道と天皇の不思議な関係
渡辺裕　宝塚歌劇の変容と日本近代　タカラヅカはこうして作られた（阪急の小林一三の考えていた宝塚歌劇団のイメージ）
中村喜和ほか編　異郷に生きるII　来日ロシア人の足跡　忘れてはいけない人たちの記録（「異郷に生きる　来日ロシア人の足跡」の続編）
宮本又郎　日本の近代１１　企業家たちの挑戦　待望久しい人間的経済史
ロバート・ホワイトティング　『東京アンダーワールド』　戦後日米関係の闇が浮き彫りに（六本木戦後盛り場成立史。ピカレスクの秀作）

４．日本の今を掘り下げる　社会・経済

武田徹　流行人類学クロニクル　この上なく貴重な時代の証言集（雑誌への連載 1988-1999）
中谷巌　痛快！　経済学　働くことへの勇気が湧く（待望久しい経済学入門書）
小倉昌男　福祉を変える経営　善意と奉仕にビジネス理念を
佐野眞一　だれが本を殺すのか　まず疑うべきは版元と編集者
黒田信一　インド人　大東京をゆく！　東京こそアジア究極の混沌だ（モンテスキュー「ペルシャ人の手紙」のような社会風刺）
猪瀬直樹　道路の権力　日本の暗部に横たわる構造（優れた民主主義教育教科書）
福本博文　ワンダーゾーン　自己啓発セミナー主催者の素顔
岡田尊司　脳内汚染　精神科医が説く現代の麻薬（コンピュータ・ゲームとインターネット（とりわけ、ネット・ゲーム））

５．物語世界に酔う　小説

曽野綾子　哀歌　極限の苦悩と悲しみを描く（渾身の力作。ルワンダ大量虐殺事件）
渡辺房男　ゲルマン紙幣一億円　通貨をめぐる官と民のだまし合い（歴史小説）
野坂昭如　文壇　文壇バーという名の地獄巡り（文学が青春や野心の同義語であった時代）

丸谷才一　輝く日の宮　再読をうながされる物語（ストーリーの次元の物語と、語りの次元での物語が別構造のため）

６．「知」のあり方を考える　思想・言葉・学問

工藤進　日本語はどこから生まれたか　ベスト新書　印欧語との類似説く画期的起源論（極東言語、印欧語同一起源仮説の検証）
宮崎市定　論語の新しい読み方　岩波現代文庫　論理的解釈で聖典を現代的に（宮崎の現代語訳論語が同じ文庫に。その斬新な解釈の根拠に答えるもの）
吉本隆明　「私の「戦争論」」「少年」「僕なら言うぞ！」ゆるがない個の思想
吉本隆明　真贋　思想の巨人にブレはなし
内田樹　街場の現代思想　凡人の悩みに答える人生知とは（フランス現代思想を批判的に摂取）
浅羽通明　「アナーキズム」「ナショナリズム」
板倉聖宣　科学と科学教育の源流　原点は好奇心と見世物的演出（仮説実験授業の提唱者）
浅羽通明　野望としての教養　知のイデオロギーの崩壊後に（教養教育に携わる大学人に一読勧める）
竹内洋　『教養主義の没落』　農村的エートス終焉とともに（刻苦勉励的エートスの崩壊）
小坂井敏晶　異邦人のまなざし　学問を志すすべての人に（主体の世界観や生き方を変える必要）

７．書物が愛でる　文芸評論・出版文化
向井敏　背たけにあわせて本を読む　絶妙の要約、書評という快楽
丸谷才一　いろんな色のインクで　至芸の語り口、珠玉の書評集（知的で楽しい読書を愛するひとに）
谷沢永一ほか　いま大人に読ませたい本　書評における損得感情（面白くて、ためになる）
林望　恋の歌、恋の物語　日本古典を読む楽しみ　岩波ジュニア新書　エロスは日本古典から学べ（中高生に読ませたい）
丸谷才一　闊歩する漱石　論述に隠れた巧みな仕掛け
荒俣宏　プロレタリア文学はものすごい　平凡社新書　掘り起こされるプロ文の本質（社会性の衣装をかぶせた出来損ないの志賀直哉にすぎない）
三浦雅士　青春の終焉　ラディカリズムを総括する（本年屈指の問題作）
丸谷才一ほか　女の小説　えも言われぬ快楽に満ちた批評集
谷沢永一　世界の十大小説プラスワン　面白さを批評する
鴻巣友季子　明治大正　翻訳ワンダーランド　新潮新書　名作を生み日本語を変えた創意工夫
宮田昇　戦後翻訳風雲録　縁の下の力持ちたちの人間喜劇
工藤幸雄　ぼくの翻訳人生　中公新書　翻訳というかくも因果な仕事
西野嘉章　装釘考　豊穣たる日本の装丁文化を読む

斎藤美奈子　男性誌探訪　個衆的日本男性が支持するもの
文藝春秋編　文藝春秋漫画賞の４７年　選ぶことは試されること
幸田弘子　朗読の楽しみ　声に出して初めてわかること

８．アートの裏側を見る　美術・映画

高階秀爾ほか　二枚の絵　あらゆる学問に通じる方法論（二枚の名画の隠された意味を読み解く）
増田彰久ほか　日本のステンドグラス　ニッポン近代が生んだ独自の美
矢島新ほか　日本美術の発見者たち　眼の革命家たちによる日本美術史
谷川〇編　イコノエロティシズム　澁澤龍彦美術論集　奇才による自分探しの美術論
田淵安一　西の眼　東の眼　ある日本人画家のマドレーヌ的記憶（世界的に評価の高い抽象画家）
荒俣宏　『ヨコオ論タダノリ』　畸人が綴る画霊の秘密
福富太郎　描かれた女の謎　アート・キャバレー〇集奇談　絵画探偵は女と謎が好き
糸井恵　消えた名画を探して　バブルはじけて倉庫会社喜ぶ
中村公彦　映画美術に賭けた男　えっ、これもセットなの？
松島利行　日活ロマンポルノ全史　活動屋魂が傑作群を生んだ
笠原和夫ほか　昭和の劇　映画脚本家　笠原和夫　脚本家の目を通して見える近代の実像
笠原和夫　映画はやくざなり　仁義なき戦い誕生の秘密（作劇マニュアル）

９．人生を楽しむ術　エッセイ

夏目漱石ほか　２１世紀の日本人へ　廉価を自慢すべき本もある（晶文社シリーズ）
内田百閒　池内紀編　百閒随筆　講談社文芸文庫　百鬼先生の怪随筆を文庫で読む
山本夏彦　「社交界」たいがい　辞書にない真実をついた定義
山本夏彦　「一寸さきはヤミがいい」「最後の波の音」最高のモラリスト（人間観察家）が遺した名随筆
丸谷才一　思考のレッスン　ものを考えることは最高の遊び（グッド・サイエンスの真髄）
堀江敏幸　おぱらばん　極上の葡萄酒のような味わい
四方田犬彦　星とともに走る　拡大を続ける永遠の高校生
四方田犬彦　ハイスクール1968　永遠の高校生の高校時代
斎藤忠徳　一瞬の光、一瞬の闇　東欧1970-1998　カメラと筆の二刀流から生まれた傑作（フォト・エッセイ）
荒俣宏　荒俣宏コレクションⅡ（１０巻）　集英社文庫　超弩級の知識とおもしろさの宝庫（５冊は文庫オリジナル）
みうらじゅん　マイブームの塔　おもろうて、やがて悲しき関西論

みうらじゅん　「LOVE」「PEACE」エロと愛と煩悩の奥深い考察（みうらじゅんの入門書。あえて自分の楽しみのために、書評に取り上げない本もある。みうらじゅんはこの典型）
近藤ようこ　後には脱兎の如し　エッセイのおもしろさ、かくありき（漫画家のエッセイ。いしかわじゅんの「漫画の時間」、夏目房之介「マンガの力」、つげ義春・忠男の本など）
水道橋博士　博士の異常な健康　レトリカルで科学的なお笑い
中村うさぎ　人生張ってます　赤裸々に語られる危険な女たち
中村うさぎ　穴があったら、落っこちたい！　女の自己実現を自ら体験

２００４年の時評文芸

５月
舞城王太郎　パッキャラ魔道（聴覚系。今月の一等賞）
松井雪子　日曜農園（視覚系）
絲山秋子　勤労感謝の日（新鋭創作）
吉田修一　ランドマーク

６月
十文字実香　狐寝入夢虜（フリーターの彷徨譚）
モブ・ノリオ　介護入門（文学界新人賞。フリーターが介護）
安達千夏　遠くからくる光（芥川賞にあと一歩
楠見朋彦　ラジオアクティブ・ラブ

７月
大道珠貴　旬（今月一番の収穫）
絲山秋子　小田切孝の言い分（舞城王太郎と並んで、芥川賞の最短距離）

８月
宮沢章夫　秋人の不在（今月は不作だが、唯一推奨）
辻原登　枯葉の中の青い炎（野球小説の小傑作）

９月
モブ・ノリオ　ダナウー大学
舞城王太郎　みんな元気。
浅尾大輔　胸いっぱいの、
井村恭一　不在の姉
司修　ピアフの歌のように

１０月
岩阪恵子　包丁とぎます
堂垣園江　亀を飼う
角田光代　雨をわたる
青木純悟　クレーターのほとりで（今月の秀作）

１１月
中島たい子　漢方小説　すばる文学賞
佐藤弘　真空が流れる　新潮新人賞
山崎ナオコーラ　人のセックスを笑うな　文藝賞
大城立裕　窓
南木佳子士　洗濯と歯磨き
朝倉祐弥　白の咆哮　すばる文学

１２月
石丸元章　地下生活者たち
篠原一　シュシュ
阿部和重　グランド・フィナーレ
西村賢太　けがれなき酒のへど
本谷有希子　腑抜けども、悲しみの愛を見せろ（傑作）

１月
大江健三郎　むしろ老人の愚行が聞きたい「さようなら、私の本よ」第一部（今月の第一の注目作）
星野智幸　在日ヲロシヤ人の悲劇
佐藤友哉　子どもたち怒る怒る怒る
矢作俊彦　悲劇週間

２月
絲山秋子　愛なんかいらねー（今月の推奨株）
玄月　美しいさなぎ

３月
宮内勝典　焼身
伊井直行　青猫家族輾転録
佐川光晴　永遠の誓い

４月

町田康　自分の群像

『鹿島茂の書評大全　洋物篇』鹿島茂(著)の掲載書籍リスト

１．文化の源流をたどる　ヨーロッパ文化史

梅田修　世界人名ものがたり　名前でみるヨーロッパ文化　講談社現代新書　「シェーン」はどこから来たのか
ミシェル・パストゥロー　王が殺した豚　王が愛した象　西欧のライオンが横を向く理由（著者の専門は中世の紋章学）
アンソニー・Ｆ・アヴェニ　ヨーロッパ祝祭日の謎を解く　バレンタインチョコの起源は媚薬？（著者は考古天文学の泰斗）
ベルナルド・コマン　パノラマの世紀　１９世紀表象論に貴重な一冊（パノラマは１９世紀全盛で、映画の誕生で消える）
山田登世子　リゾート世紀末　水の記憶の旅　世紀末文化に新しい光を当てる
松浦寿輝　エッフェル塔試論　世紀の臨界で成立したオブジェの意味
Ｃ・クラッセンほか　アローマ　匂いの文化史　文化の本質としての匂い
中野香織　スーツの神話　男のおしゃれと美学の歩み
古賀令子　コルセットの文化史　紀元前から続いた変身願望
ケン・オールダー　万物の尺度を求めて　メートル法を定めた子午線大計測　人はなぜデータを改竄するのか
片桐三郎　入門フリーメイスン全史　偏見と真実　石工と団体が異端とされるまで（著者は、日本におけるフリーメイスンの総本山「日本グランド・ロッジ」のパスト・グランド・マスター。
アンリエット・ヴェルテール　西欧言語の歴史　ペストと戦争が英語を世界語にした

２．情報のありかを探る　性愛

ファビエンヌ・カスタ＝ローザ　「恋」の世紀　男と女のタブーの変遷　「女の一生」から性解放まで
シャルル・フーリエ　愛の新世界　恋愛こそ情念の極み
荒俣宏　セクシー・ガールの起源　２０世紀が生んだ新しい女神像
ジャン・シャロン　高級娼婦　リアーヌ・ド・プージィ　数奇な人生を生きた伝説の美女
デズモンド・モリス　ウーマンウォッチング　女性の知られざる赤ちゃん戦略
ナタリー・アンジェ　Woman　女性のからだの不思議　女の一生を再検討する（おばあさん仮説の復活）
マルク・ボナールほか　ペ〇スの文化史　想像力と神話と宗教の源泉だった！

３．人生と仕事に学ぶ　伝記

フランソワ・バイルー　アンリ四世　自由を求めた王　善政と好色で人気の帝王の実像（フランス人に人気の王）著者は政治家
ジャック＝ルイ・メネトラ　わが人生の記　１８世紀ガラス職人の自伝　一職人の性的自叙伝
小川了　奴隷商人ソニエ　今も続く奴隷制を考えるヒント（存続するアフリカ社会固有の奴隷制）
ポール・ジョンソン　ナポレオン　ナポレオンという歴史現象の謎
ルネ・モーリ　ナポレオン暗殺　セント＝ヘレナのミステリー　砒素による毒殺に独自の新解釈（経済学者による謎解き）
ジョナサン・ビーチャー　シャルル・フーリエ伝　幻視者とその世界　超絶奇人の思想形成をたどる
石井晴一　バルザックの世界　名訳者が語る深遠なる人物像
アンリ・トロワイヤ　バルザック伝　人間喜劇の最高の主役を描く
アンリ・トロワイヤ　ヴェルレーヌ伝　呪われた詩人の逆説と栄光（ランボーと）
エドマント・ホワイト　マルセル・プルースト　ホモセクシュアリティーの観点で
ブラッサイ　プルースト／写真　カメラを持たざる写真家プルースト（言葉という心のカメラで写しとる試み）
田中純　アビ・ヴァールブルク　記憶の迷宮　知られざるイコノロジストの錯乱
リュセット・デトゥーシュほか　セリーヌ　私の愛した男　妻が語る呪われた大作家の実像（セリーヌ「なしくずしの死」）
トゥインカ・スィーボード　回想するヘンリー・ミラー　大作家にして話術の天才
デイヴィッド・ナソー　新聞王ウィリアム・ランドルフ・ハーストの生涯　ワイド・ショー時代の幕を開けた男（「市民ケーン」のモデル）
リチャード・ブース　本の国の王様　イギリス版神田神保町を作った男（ウェールズのヘイ・オン・ワイ）

４．社会の成り立ちを読む　歴史・社会

リン・ハント　フランス革命と家族ロマンス　戦後日本とも見紛う分析（フロイトの家族ロマンスとは、本当の親は別にいて、高貴な身分と夢想）
平野千果子　フランス植民地主義の歴史　奴隷制廃止から植民地帝国の崩壊まで　「自由・平等・友愛」の人道主義が植民地化を支えた
ハインリッヒ・ハイネ　ルテーチア　フランスの政治、芸術および国民生活についての報告　１９世紀フランス社会の忠実な鏡
アルフレッド・フランクラン編　１８世紀パリ市民の私生活　名高くも面白おかしい訴訟事件　思わず笑ってしまう生臭い記録（スキャンダル・ジャーナリズムを生んだ訴訟趣意書への需要）
ジャン＝ロベール・ピット編　パリ歴史地図　層状効果が生みだす魅力（先史時代から最新まで）

ロバート・O・パクストン　ヴィシー時代のフランス　対独協力と国民革命　ナチ利用の革命を浮き彫りに（従来のヴィシー評価を一変）
ルイ・シュヴァリエ　三面記事の栄光と悲惨　近代フランスの犯罪・文学・ジャーナリズム　三面記事は時代の空気を醸成する
吉國恒雄　グレートジンバブウェ　東南アフリカの歴史世界　知られざるアフリカ千年の歴史　講談社現代新書　（ハガード「ソロモン王の洞窟」にヒントを与えた遺跡に関する研究書）
ステヴァヌ・クルトワほか　共産主義黒書　犯罪・テロル・抑圧＜コミンテルン・アジア篇＞　善の顔で１億人が殺された
ヴェロニック・ヴァスール　パリ・サンテ刑務所　主任女医７年間の記録　驚くべき悪についての告白本（レ・ミゼラブル時代とさほど変わらないよう）
ジョージ・リッツァ　マクドナルド化する社会　合理性がもたらす脱人間化現象
ポール・ウォーレス　人口ピラミッドがひっくり返るとき　高齢化社会の経済新ルール　人口減少が導く驚くべき経済予想

５．文化の違いを知る　各国文化論・各国語

ポリー・プラット　フランス人　この奇妙な人たち　異国人のための滞仏サバイバル読本（著者は滞仏３０年のアメリカ人女性）
倉田保雄　なぜフランス人は自信満々なのか　生き方を変えるヒントに（フランス流生き方の見本集）
宇田川悟　フランスはやっぱりおいしい　改めて知る奥深い食文化（こだわりの食材づくり）
沼野充義ほか　世界の食文化　１９　ロシア　広大な大地の親密な食卓（サモワール、ダーチャ）
内田樹　私家版・ユダヤ文化論　非ユダヤ人が嫉妬した超絶思考法
ジョン・エルスナーほか　〇（くさかんむり＋鬼）集　世界を変えうるか
レズリー・A・ゼブロウィッツ　顔を読む　顔学への招待　顔はいかに人格をあらわすか（童顔とおとな顔）
ミシェル・トゥルニエ　イデーの鏡　地下室は生、屋根裏は死（対概念遊び）
三宅徳〇　白水社ラルース仏和辞典　かゆいところに手が届く画期的辞書
山口俊夫　フランス法辞典　文化を伝える不可欠な辞典（法律用語）
多賀敏行　シャープなリンゴとルーズなトマト　イギリス英語を学びなおす

６．名作に親しむ　古典

クセノポン　アナバシス　敵中横断６０００キロ　知られざる古典の魅力を発見　岩波文庫で再販（イタロ・カルヴィーノ「古典をどう読むべきか」掲載本　「なぜ古典を読むのか」）
プルターク　プルターク英雄伝　鶴見訳の名調子で読む（鶴見祐輔訳、潮出版）

フランソワ・ラブレー　ガルガンチュアとパンタグリュエル　読み進ませる力、みなぎる新訳（宮下志朗訳、ちくま文庫）
シャルル・ソレル　フランション滑稽物語　猥雑で下品なもう一つのフランス（ゴロワリズム）
ギョーム・ド・ロリスほか　薔薇物語　中世フランス文学の記念碑的翻訳（アレゴリー文学の頂点）
オノレ・ド・バルザック　艶笑滑稽譚　大文豪の奇書に挑んだ名訳（石井晴一訳　岩波書店）
ルベー・ドールヴィイ　悪魔のような女たち　デカダン派の高峰が描く魔性の美女（１９世紀）
エミール・ゾラ　獲物の分け前　１９世紀巴里のバブル叙事詩
ジャンリ・アンリ・ファーブル　発明家の仕事　ファーブル博物記６　科学者の意外な素顔に迫る（物理の先生にお薦め、岩波書店）
ポール・ヴァレリー　ムッシュー・テスト　贅肉を削ぎ落した明晰な訳文（小林秀雄のテスト氏との一夜の新訳）　清水徹訳　岩波文庫
マルセル・プルースト　失われた時を求めて　１３巻　明晰な訳で最後まで読める　鈴木道彦訳　集英社文庫
レオポルド・ショヴォー　年をとったワニの話　ショヴォー氏とルノー君のお話集１　よみがえった名作童話（出口、福音館文庫）
レヴィ＝ストロース　悲しき熱帯　細部においてもきらめく大古典（川田訳　中央公論新社）
ロジェ・グルニエ　シネロマン　復刊を機に読みたい隠れた名著

７．書物の文化を知る　文芸史・文芸批評

アルベルト・マングェル　読書の歴史　読書形態の変遷がもたらしたもの（ローマ時代から１９世紀までは朗読会）
出口裕弘　帝政パリと詩人たち　詩人たちの苦闘の軌跡（ボードレールほか）
宮下志朗　読書の首都パリ　消費の側から仏小説をとらえる
今橋映子　パリ・貧困と街路の詩学　孤独な彷徨が奇跡を生んだ（外国人芸術家が遺した傑作）
ミシェル・ヴィノック　知識人の時代　バレス／ジッド／サルトル　２０世紀知識人への時の審判
イタロ・カルヴィーノ　なぜ古典を読むのか　偉大な小説家＝鋭敏な批評家（狂喜半分）
阿部良雄　シャルル・ボードレール　現在性の成立　ボードレール研究の到達点（ヨーロッパでは近代と現代はmodern(e)という一語）
工藤庸子　小説というオブリガード　クンデラという補助線を置いて（クンデラを介した近代小説論の試み）
マンフレット・フリュッゲ　つむじ風「突然炎のごとく」の真実の物語　すさまじい三人の葛藤と挫折

８．各国の物語を読む　現代小説

ジャン・ヴォートラン　鏡の中のブラッディ・マリー　アクテュアリティの復権（ロマン・ノワールシリーズ）
パスカル・キニャール　アルブキウス　廃棄物処理場のような小説（三島由紀夫と澁澤龍彦を思い出す）
パスカル・キニャール　辺境の館　残酷なまでに美しい復讐譚
アメリー・ノートン　午後四時の男　コントに連なる小さな傑作
ジュリアン・バーンズ　海峡を越えて　無の上に乗った短篇の技
ソフィ・カル　本当の話　常軌を逸したアートな冒険
ユベール・ド・マクシミー　赤の文書　中世パリが蘇るハードボイルド小説
マルジャン・サトラピ　ペルセポリス　Ⅰ・Ⅱ　原理主義の国に生きる少女の青春（イラン出身の漫画家、傑作）（参考　松本清張　ペルセポリスから飛鳥へ）

９．絵画の見方を学ぶ　西洋美術

高階秀爾　バロックの光と闇　比べてわかるバロックの概念（バロックの格好の入門書）
鈴木杜幾子　フランス絵画の「近代」　シャルダンからマネまで　歴史画の約束事を読み解く
島田紀夫監修　印象派美術館　画題中心の構成で誤解が解ける
ニコラス・ペニー　額縁と名画　絵画ファンのための額縁鑑賞入門　額にも目が離せない
岩渕潤子　美術館の誕生　美術館は何のためにあるのか（鋭い問題提起を含んだ好著）
小学館編　地球紀行　世界美術館の旅　地方の小さな美術館も楽しい
ダニエル・アラス　なにも見ていない　名画をめぐる六つの冒険　新たな視点で絵画鑑賞が変わる
深井晃子　名画とファッション　絵は細部にもご注目あれ
荒俣宏　Girl Art　ピンナップの女神たち　複製アートにも図像的視点を
コンスタンツォ・コンスタンティーニ編　バルテュスとの対話　鬼才の生涯と創造の秘密
エマニュエル・ド・ルーほか　闇に消える美術品　国際的窃盗団・文化財荒らし・ブラックマーケット　美術品はなぜ盗まれるのか

この３冊

1997年
森まゆみ　鴎外の坂　傑作評伝
島尾伸三　月の家族　稀有な作品
藤本ひとみ　侯爵サド　歴史小説の王道

1998年

高沢皓司　宿命「よど号」亡命者たちの秘密耕工作
斎藤忠徳　一瞬の光、一瞬の闇　東欧1970-1998　フォト・エッセイ
タイモン・スクリーチ　春画　片手で読む江戸の絵

1999年

和田誠ほか　今日も映画日和
矢作〇　年表で読む二十世紀思想史
莫言　豊乳肥臀　中国的なアナーキー

2000年
梅田修　ヨーロッパ人名語源事典　禁帯
デボラ・シルヴァーマン　アール・ヌーヴォー　フランス世紀末と「装飾芸術」の思想
ロン・チャーナウ　タイタン　ロックフェラー帝国を創った男

2001年
ジャン＝イヴ・タディエ　評伝プルースト
ロートレアモン全集　筑摩
ジョナサン・ビーチャー　シャルル・フーリエ伝

2002年
鈴木隆　匂いのエロティシズム　集英社新書
田崎真也　『日本酒を味わう』　田崎真也の仕事　朝日選書
大崎裕史　無敵のラーメン論　講談社現代新書

2003年
クロード・ピショワほか　シャルル・ボードレール（決定版研究書）
ピエール＝ジョセフ・プルードン　革命家の告白　二月革命史のために　（アナルコ・サンジカリズムの元祖の分析）
ノエル・アルノー　アルフレッド・ジャリ「ユビュ王」から「フォーストロール博士言行録」まで　（評伝）

2004年
ロバート・O・パクストン　ヴィシー時代のフランス（フランス人が一番触れてもらいたくない過去）
丹波哲郎ほか　大俳優　丹波哲郎
岡崎京子　ぼくたちは何だかすべて忘れてしまうね（自動車事故で筆を折らざるを得なかった天

才漫画家の小説）

2005年
マルジャン・サトラピ　ペルセポリス　Ⅰ・Ⅱ　マンガ
山田昌弘　希望格差社会　研究書
玄月　異物　長編小説

2006年
シャルル・フーリエ　愛の新世界
アンリエット・ヴァルテール　西欧言語の歴史
長谷川郁夫　美酒と革嚢　第一書房・長谷川巳之吉　第一書房社主の伝記

「パリの小説」
バルザック　ゴリオ爺さん（平岡訳　新潮文庫）
フローベール　感情教育（清水訳　新潮世界文学第９巻）
ヘミングウェイ　日はまた昇る（佐伯訳　集英社文庫　大久保訳　新潮文庫）

「河盛好蔵」
フランス文壇史
人とつき合う法
巴里好日

『ちょっと本気な　千夜千冊　虎の巻　読書術免許皆伝』松岡正剛(著)の掲載書籍リスト（１）

第１巻　遠くからとどく声

１．　銀色のぬりえ

1　中勘助　銀の匙　抽斗に忘れた幼子心
2　谷内六郎　北風とぬりえ　柱時計に住んでいるホタル
3　奈街三郎ほか　電気スケート　額縁なんかほしくない
4　杉浦茂　少年児雷也　シュールへんてこりんの放埒
5　市橋芳則　キャラメルの値段　昭和の大事な忘れもの
6　奥成達　駄菓子屋図鑑　風船ガムと山吹鉄砲
7　上笙一郎ほか　日本の幼稚園　クジラや山を着るつもり
8　立川談志　童謡咄　忍び音もらす夏は来ぬ

２．少年たちの行方

9　チャールズ・ディケンズ　デイヴィッド・コパフィールド　英國の子の匂い
10　マーク・トウェイン　ハックルベリィ・フィンの冒険　負のヒーロー・友のヒーロー
11　ジュール・ヴェルヌ　『十五少年漂流記』　少年少女名作全集の刻限
12　スティーヴンスン　ジーキル博士とハイド氏　羨ましい作家の恐ろしい話
13　コナン・ドイル　緋色の研究　シャーロッキアンの事情
14　モーリス･･ブラウン　奇巌城　盗めよ、さらば与えられん！
15　岡本綺堂　半七捕物帳　江戸を倫敦にした岡っ引
16　林不忘　丹下左膳　一人三人全集の快挙
17　アガサ・クリスティ　オリエント急行殺人事件　アガサの記憶喪失事件
18　エラリイ・クイーン　Yの悲劇　いつまでも犯人を知りたくない
19　ヘルマン・ヘッセ　デミアン　アベルとカインのあいだで
20　トルーマン・カポーティ　『遠い声　遠い部屋』　空気の粒々のようなネオテニー
21　ウィリアム・ゴールディング　蝿の王　血と悪もほしかった少年王国
22　ギュンター・グラス　『ブリキの太鼓』　絶対少年のフラジリティ
23　スティーヴン・キング　スタンド・バイ・ミー　いつも君がそばにいてほしい

３．リボンの恋

24　樋口一葉　『たけくらべ』　雨に残った赤い友禅

25　佐藤春夫　晶子曼荼羅　おごりの春のうつくしきかな
26　有島武郎　小さき者へ　存在の印画紙にひそむ消息
27　室生犀星　杏っ子　落とせば割れるガラスの心
28　尾崎翠　尾崎翠全集　第七官界面影小学校出身小野町子
29　太宰治　女生徒　ダザイせつない美分方程式
30　フランソワーズ・ドルト　少女時代　精神分析おばさんの告白
31　萩尾望都　ポーの一族　バンパネラたちの反遺伝学
32　高野文子　絶対安全剃刀　少女たちの勝手な混乱
33　吉本ばなな　『TUGUMI』　一番近くのアナザーワールド
34　江國香織　『落下する夕方』　すいかの匂いみたいな恋心
35　川上弘美　『センセイの鞄』　大町ツキコを薄くしてください
36　乙一　夏と花火と私の死体　十七歳が書いた九歳の物語

４．声が出る絵本

37　シャルル・ペロー　長靴をはいた猫　カラパ侯爵の変な贈りもの
38　ノヴァーリス　青い花　まどろみのなかの逆旅
39　ハンス・C・アンデルセン　絵のない絵本　どこかに帰りたいときに読む
40　アーダルベルト・シュティフター　水晶　地表が感じる磁気の色
41　ウィーダ　フランダースの犬　「ふしあわせ」とは何か
42　カルロ・コッローディ　ピノッキオの冒険　大人に挑んだイタリア人形
43　モーリス・メーテルリンク　青い鳥　ニセモノを見分けるために
44　ヒュー・ロフティング　ドリトル先生アフリカゆき　先生はおいそがしい
45　ジャック・タチ　ぼくの伯父さんは、のんきな郵便屋さん　「伯父さん」と「そうでない人」
46　レオ・レオーニ　スイミー　小さいものこそデザイナー
47　横山真佐子ほか編　人生ではじめて出会う絵本１００　さよなら三角またきて四角
48　鳥越信編　日本の絵本史（３巻）　キンダーブックの思い出
49　石井桃子　ノンちゃん雲に乗る　ひょうたん池に落ちた女の子
50　北田耕也　近代日本少年少女感情史考　「けなげさ」の系譜

５．遠方からの返事

51　ロード・ダンセイニ　『ペガーナの神々』　薄明の国の世界未然性
52　エリザベス・M・トーマス　トナカイ月　太母やナーンの二万年前の語り
53　陶淵明　陶淵明全集　桃源郷という官能山水
54　李白　李白詩選　〇前に月光を看る

55　上田秋成　雨月物語　中国と日本をつなぐ恐怖
56　折口信夫　死者の書　山越阿弥陀に見られるままに
57　中島敦　李陵・弟子・名人伝　父を拒んで虎となる
58　メアリー・シェリー　フランケンシュタイン　追放されるものの悲哀
59　ブラム・ストーカー　吸血鬼ドラキュラ　血の伝説に流されて
60　アレクサンドル・プーシキン　『スペードの女王』　最後の一行で見が凍る
61　エミリー・・ブロンテ　『嵐が丘』　私があのヒースクリフです！
62　ヴィクトル・ユゴー　『レ・ミゼラブル』　人生全部を教えてもらった
63　アーサー・C・クラーク　地球幼年期の終わり　オーバーロードからの声
64　J・G・バラード　時の声　地球に異常がおこっている
65　ブライアン・W・オールディス　地球の長い午後　地上と月を植物がつなぐ

６．時の連環記

66　小林勇　『蝸牛庵訪問記』　時世から遠く離れて
67　幸田露伴　『連環記』　何もかもが連なっておる
68　正岡子規　墨汁一滴　明治は墨になりけり
69　夏目漱石　草枕　癪と憐憫と邪趣
70　泉鏡花　日本橋　これで出来なきゃ日本は闇だわ
71　国木田独歩　武蔵野　欺かざるものの記
72　永井荷風　断腸亭日乗　長らへてわれもこの世を冬の蠅
73　ジョルジュ・ローデンバック　死都ブリュージュ　荷風・白秋・〇之介の感服
74　小川未明　赤いろうそくと人魚　北に育てば北になる
75　梶井基次郎　檸檬　冬の蠅とレモンは理科である
76　江戸川乱歩　パノラマ島奇談　「みかけ」こそがすべてだ
77　夢野久作　ドグラ・マグラ　アンポンタン・ポカン君の脳
78　堀辰雄　『風立ちぬ』　哀泣、いざ生きめやも
79　サン＝テグジュペリ　夜間飛行　大空に消えてもかまわない
80　ジャック・プレヴェール　金色の老人と喪服の時計　変な連中ばかりいる
81　大佛次郎　『冬の紳士』　そこに燠火を残していく男
82　グレアム・グリーン　第三の男　影だけのハリー・ライム
83　イタロ・カルヴィーノ　冬の夜ひとりの旅人が　見えない騎士と真っぷたつの子爵

７．行きずりの日々

84　マルセル・プルースト　失われた時を求めて　もうコンブレーには戻れない
85　アンドレ・ブルトン　ナジャ　唇のはしで息づく女

86　ダシール・ハメット　マルタの鷹　ハンフリー・ボガードの相手
87　レイモンド・チャンドラー　さらば愛しき女よ　パルプフィクションで左様なら
88　川端康成　雪国　駒子にも葉子にも天の河
89　吉行淳之介　原色の街・驟雨　透明に取り乱したい
90　ロレンス・ダレル　アレキサンドリア四重奏　暗示が都市を滑っている
91　水上勉　五番町夕霧桜　小さな百日紅である不幸
92　倉橋由美子　聖少女　いま血を流しているところなの
93　チャールズ・ブコウスキー　『町でいちばんの美女』　君は人にも町にも収まらない
93　ポール・オースター　ムーン・パレス　「ぐる」や「なじみ」を文学にする

８．歌が降ります

94　斎藤茂吉　赤光　死に近き母に添寝のしんしんと
95　北原白秋　北原白秋詩集　紅緒の木履も緒が切れた
96　種田山頭火　山頭火句集　いつまで旅することの爪をきる
97　野口雨情　野口雨情詩集　雲の陰より日はささむ
98　堀口大學　月下の一群　シャボン玉に庭は入れない
99　若山牧水　若山牧水歌集　山ねむる山のふもとに海ねむる
100　萩原朔太郎　青猫　春は遠くからけぶって来る
101　大手拓次　大手拓次詩集　わたしの好きな五月の姉さん
102　宮沢賢治　『銀河鉄道の夜』　十秒の碧き光の去りたれば
103　蕗谷虹児　花嫁人形　泣けば鹿の子の〇が切れる
104　富永太郎　富永太郎詩集　私は夢の中で失格をした
105　中原中也　山羊の歌　美しき限りの憂鬱の情
106　吉田一穂　吉田一穂大系　ああ麗しきディスタンス
107　岡崎清一郎　春鶯〇　母上と大根おろしに泣いてます
108　斎藤史　記憶の茂み　古き密呪のさきはひは来む
109　石川桂郎　俳人風狂列伝　水枕ガバリと寒い海がある
110　石田波郷　鶴の眼　霜柱俳句は切字響きけり
111　永田耕衣　耕衣自伝　物として我を夕焼染めにけり
112　上田三四ニ　短歌一生　空ひきおろしざまに落下す
113　加藤郁〇　日本は俳句の国か　この国の言葉によりて花ぐもり
114　丸谷才一　新々百人一首　愁やくだる秋の夕ぐれ
115　寺山修司　寺山修司全歌集　ふるさとまとめて花いちもんめ
116　春日井建　春日井建歌集　白緑の藻に海雪は降る
117　俵万智　『サラダ記念日』　消印の日のそのときの愛

９．ノスタルジアの風味

118　ミルチャ・エリアーデ　聖なる空間と時間　喪失と再生をつくる場所
119　フレッド・デーヴィス　ノスタルジアの社会学　視線がたどる先のこと
120　青木正児　華国風味　彼の国の名物が語る
121　イブン・バットゥータ　三大陸周遊記　旅して綴って書き変えて
122　鈴木牧之編撰　北越雪譜　生まれる前に雪が降る
123　和辻哲郎　『古寺巡礼』　懐旧を哲学すること
124　白洲正子　かくれ里　近江十一面観音行の途次
125　石牟礼道子　はにかみの国　やりそこなって生きてきた
126　菅原千代志　アーミッシュ　そこだけにしか棲まない人々
127　遠藤ケイ　『熊を殺すと雨が降る』　マタギと山師だけが知っている
128　栗原亨　廃墟の歩き方　ピクチャレスクな海市
129　ピーター・グリーン　アンドレイ・タルコフスキー　アルバム・ゾーラシアの秘密

１０．忘れがたい町

130　堀正三　『朝倉文夫の青春』　東京一の居宅美術館の結構
131　柴田和子　銀座の米田屋洋服店　洋服ハイカラ・銀座モダン
132　上村一夫　菊坂ホテル　大杉・夢二・潤一郎　三沢市
133　袖井林二郎　夢二のアメリカ　寂しいサンフランシスコ
134　宇佐美承　『池袋モンパルナス』　すずめヶ丘と長崎アトリエ村
135　織田作之助　夫婦善哉　わが町たよりにしてまっせ
136　林忠彦　カストリ時代　焼跡と復員兵と作家
137　向井敏　開高健　青春の闇　磁石も地図もいらないが
138　須賀敦子　『コルシア書店の仲間たち』　聖と俗の垣根をはらう一郭
139　四方田犬彦　月島物語　界隈は時の記憶を食べている
140　通崎睦美　天使突抜一丁目　自転車に乗る昔キモノ

１１．方舟みちあふち

141　三浦祐之　浦島太郎の文学史　箱をあけてはいけません
142　ドナルド・キーン　百代の過客　目録のなかに浮かぶ舟
143　西行　山家集　さめても胸のさわぐなりけり）
144　良寛　良寛全集　裏をみせ表をみせて散るもみじ
145　ホルヘ・ルイス・ボルヘス　伝奇集　一冊の書物の方舟に乗る
146　牧野信一　ゼーロン・淡雪　吊籠から月光へ（全集）

147　稲垣足穂　一千一秒物語　月の人が見た薄板界
148　久生十蘭　魔都　昭和九年にうずくまるミステリー
149　フレドリック・ブラウン　宇宙をぼくの手の上に　かならずどこかにまちがいがある
150　星新一　『ボッコちゃん』　寂莫と機知と程度と振幅
151　石川淳　『紫苑物語』　負の枝と負の国の交換
152　半村良　産霊山秘録　ヒの一族からアヤの一族へ
153　澁澤龍彦　うつろ舟　シブサワな胞衣・セイゴオな数奇

第２巻　猫と量子が見ている

１．理科の黒板

154　マイケル・ファラデー　『ロウソクの科学』　全科学のためのクリスマス
155　寺田寅彦　俳句と地球物理　懐手して宇宙見物
156　中谷宇吉郎　雪　雪は天から届いた手紙だった
157　野尻抱影　日本の星　ぼくの骨はオリオン座の右端へ
158　今西錦司　自然学の提唱　科学と社会はつながっている
159　岩田慶治　草木虫魚の人類学　時間とウナギと新幹線
160　川上紳一　『縞々学』　地球が見せる変動のリズム
161　実野恒久　乾電池あそび　電気にしびれたい少年へ
162　川瀬武彦　まねる　モデリングという発想
163　田宮俊作　田宮模型の仕事　第一号戦艦武蔵・第二号パンサー戦車
164　ジョン・H・ハモンド　カメラ・オブスクラ年代記　暗箱から科学と芸術が出た
165　飯田鉄　レンズ汎神論　曲率ガラスの焦点世界
166　上西一郎　理科年表を楽しむ本　科学に仕えるデータ執事
167　セップ・リンハルト　挙の文化史　ジャンケンポンの文化と数学
168　藤沢秀行　基本手筋事典　ぼんやりした一手の魅力

２．モナドと博物学

169　アリストテレス　形而上学　古代ギリシアのシステム学
170　エピクロス　教説と手紙　アタラクシアの偏奇原子
171　ゴットフリート・W・ライプニッツ　ライプニッツ著作集　ローギッシュ・マシーネ構想
172　ジャンバッティスタ・ヴィーコ　『新しい学』　知の永久機関の可能性
173　中村雄二郎　共通感覚論　動く常識をつくるトピカ
174　D・ディドロJ・ダランベール編　百科全書　共同知の普遍的沸騰
175　宗應星撰　天工開物　五穀を貴んで金玉を賤しむ

176　フリードリヒ・マイネッケ　歴史主義の成立　十八世紀が用意した理の舞台
177　アーサー・O・ラヴィジョイ　存在の大いなる連鎖　漠然な観念が思想をつくる
178　ハンフリー・ジェニングズ　パンディモニアム　ハイパーリンクする知の先駆
179　西村三郎　文明のなかの博物学　モーラの女神に導かれて
180　荒俣宏　世界大博物図鑑　怪人アラマタ胡蝶の夢

３．数学的自由

181　ピエール・シモン・ラプラス　確率の哲学的試論　検定と推定とラプラスの魔
182　近藤洋逸　新幾何学思想史　田辺元ふう非ユークリッド思想
183　アンリ・ポアンカレ　科学と方法　乗合馬車とフックス関数
184　ヒルベルト　コーン＝フォッセン　直観幾何学　抽象化と具体化のあいだの直観
185　高木貞治　近世数学史談　見当をつける数学の大きさ
186　ウィトゲンシュタイン　論理哲学論考　カタルトシメスの大問題
187　ハオ・ワン　ゲーデル再考　超数学と不完全性定理
188　オスカー・ベッカー　数学的思考　数学にひそむフラジリティ
189　ヘルマン・ワイル　数学と自然科学の哲学　構成と志向を串刺しにする
190　A・N・ホワイトヘッド　過程と実在　ネクサスの中の点尖光
191　サイモン・シン　『フェルマーの最終定理』　モジュラー形式と谷山＝志村予想
192　岡潔　『春宵十話』　スミレと情緒と自然数
193　吉田武　『虚数の情緒』　数理的全方位学習法
194　竹田茂夫　ゲーム理論を読みとく　囚人のジレンマにひそむ罠

４．光と量子の物理学

195　ヨハネス・ケプラー　宇宙の神秘　天体に躍る勇み肌
196　エルンスト・マッハ　マッハ力学　科学推理のための思惟経済
197　エドウィン・ハッブル　銀河の世界　宇宙半径に挑んだ男
198　アルバート・アインシュタイン　わが相対性理論　物理的曲率と空間的特異性の統合
199　ヴェルナー・ハイゼンベルク　部分と全体　量子力学を創発した対話群
200　ルイ・ドゥ・ブロイ　『物質と光』　物質と波動を重ねた函数
201　ジョージ・ガモフ　不思議の国のトムキンス　時間も空間も変である
202　湯川秀樹　創造的人間　素粒子の奥でハンケチをたたむ
203　朝永振一郎　物理学とは何だろうか　科学仙人のじわじわ論理
204　リチャード・P・ファインマン　『ご冗談でしょう、ファインマンさん』　考察とは意味を作ることだ
205　デヴィッド・ボーム　全体性と内臓秩序　物質を語るための流態暗在系

５．時空をつくる紐

206　ピーター・W・アトキンス　『エントロピーと秩序』　鉄にも血にも宇宙が関与する
207　イリヤ・プリゴジン　確実性の終焉　散逸構造が生む秩序
208　リチャード・モリス　時間の矢　宇宙膨張と熱と情報の向き
209　渡辺慎介　ソリトン　非線形のふしぎ　自分の出力値を自分に入れる系
210　スティーヴン・ホーキング　ホーキング、宇宙を語る　泡宇宙から虚時間宇宙へ
211　フレッド・アラン・ウルフ　もう一つの宇宙　「ここ」でも「むこう」でもある時空
212　M・リオーダン・D・シュラム　宇宙創造とダークマター　柔らかい負の正体
213　ブライアン・グリーン　『エレガントな宇宙』　スーパーストリングとM理論

６．地上の出来事

214　森本信男　砂川一郎　途上秋穂　鉱物学　クレオパトラの鉱物アイシャドウ
215　益富寿之助　鉱物　嗚呼マストミ・コレクション
216　井尻正二　化石　石は黙っていない
217　ジェームズ・チャーチワード　失われたムー大陸　ウェゲナーに一蹴された幻想大陸
218　ジャック・ブロス　世界樹木神話　天地も恋もつなぐ巨木
219　ピーター・トーマス　樹木学　木に耳をつけたことがありますか
220　俵浩三　牧野植物図鑑の謎　牧野富太郎をめぐる草と人
221　龍〇寺雄　シャボテン幻想　マイナスの悪と肉をもつサボテン
222　有岡利幸　梅　梅は咲いたか桜はまだか
223　吉見昭一　虫をたおすキノコ　ぼくの科学を作った吉見先生
224　ウォルター・ウェストン　日本アルプス　山岳と風景の綴りかた
225　石井忠　新編　漂着物事典　海辺に寄り来る物神
226　ジェームズ・ラヴロック　ガイアの時代　地球精神を用意した大気
227　ジェレミー・リフキン　水素エコノミー　ウェブから電気をつくりたい
228　レイチェル・カーソン　センス・オブ・ワンダー　沈黙の春を打ち破る
229　リン・ホワイト　機械と神　１９６８年の警告と告発
230　佐倉統　現代思想としての環境問題　エコロジーで大丈夫？
231　デボラ・キャドバリー　メス化する自然　環境ホルモンという犯罪

７．ジーンとミーム

232　エルヴィン・シュレーディンガー　生命とは何か　静物は負のエントロピーを食べている
233　L・フォン・ベルタランフィ　一般システム理論　階層をもつ有機体

234　クリスチャン・ド・デューブ　生命の塵　何が鍵と鍵穴だったのか
235　アントワーヌ・ダンシャン　『ニワトリとタマゴ』　自己再生なのか自己言及なのか
236　木下清一郎　細胞のコミュニケーション　われらが内なる液性環境
237　加藤勝　ホメオスタシスの謎　静物の安定性と多様性のために
238　H・マトゥラーナ　F・ヴァレラ　オートポイエーシス　自律的自己創出システム
239　リチャード・ドーキンス　『利己的な遺伝子』　自己を複製する情報の歴史
240　スーザン・ブラックモア　ミーム・マシーンとしての私　指示のコピーと産物のコピー
241　L・マーグリス　D・セーガン　性の起源　プロティストとスピロヘータの秘密
242　ロビン・マランツ・ヘニッグ　ウイルスの反乱　地上最小のハイジャッカー
243　チャールズ・ペレグリーノ　ダスト　ウイルスが秘匿するシナリオ
244　竹内久美子　賭博と国家と男と女　遺伝子が計算するリスク
245　キャリー・マリス　『マリス博士の奇想天外な人生』　女が大好きなノーベル賞化学者

８．虫の耳・象の胸

246　ジャン＝パティスト・ラマルク　動物哲学　グラデーションの自然生物学
247　J・フォン・ユクスキュルほか　生物から見た世界　トーンと抜き型で見る
248　奥井一満　はみ出し者の進化論　ゴカイとミミズのさようなら
249　スティーヴン・ジェイ・グールド　パンダの親指　生きものの見方をする見方
250　石原勝敏　背に腹はかえられるか　極性が秘める誘導力
251　リチャード・フォーティ　三葉虫の謎　カンブリア紀にのそのそと
252　奥谷喬司編者　貝のミラクル　ほとんどが謎のマラコロジー
253　坂田明　クラゲの正体　ミジンコの始まる海の音
254　ジェームズ・ローレンス・パウエル　白亜紀に夜がくる　恐龍を殺した地磁気
255　トニー・D・ウィリアムズほか　ペンギン大百科　氷上の一夫一妻制
256　ハワード・E・エヴァンズ　虫の惑星　コロロギは右ききだった
257　クリス・ミード　フクロウの不思議な生活　五郎助ホーホー・フルツク亡魂
258　佐々木洋　カラスは偉い　鳥羽玉・鳥帽子・烏龍茶
259　クリス・レイヴァーズ　ゾウの耳はなぜ大きい？　代謝エンジンのための意匠
260　サーフライダー２１編著　ゴジラ生物学序説　二つの脳をもつ海中出産生物
261　子母澤寛　愛猿記　三ちゃんとうんこと作家
262　江藤淳　犬と私　二人目の妻としての犬
263　きたやまようこ　犬とことば辞典　犬にはウソもホントもない
264　日高敏高　ネコはどうしてわがままか　先生がネコを苦手にする理由

９．人間事始め

265　コンラート・ローレンツ　鏡の背面　人間が犯した八つの大罪
266　デズモンド・モリス　裸のサル　ヒトザルが失った発情期
267　アシュレイ・モンターギュ　ネオテニー　成長を遅延させるシナリオ
268　リチャード・リーキー　ヒトはいつから人間になったか　直立二足歩行がすべてを決めた
269　三木成夫　『胎児の世界』　人間はみんな一個の星である
270　久保田博南　電気システムとしての人体　電気的液体制御人間像
271　呉澤森　鍼灸の世界　望診・聞診・問診・切診
272　イヴ＝マリ・ベルセ　鍋とランセット　種痘をリレーした村々の医者
273　クロード・ベルナール　実験医学序説　科学も実験も思想である
274　杉田玄白　蘭学事始　泡立つごとくに蘇える
275　野口晴哉　整体入門　活元と愉気と全生
276　弓削孟文　『手術室の中へ』　麻酔をすると呼吸も止まる
277　平沢正夫　超薬アスピリン　心臓にも効くらしい
278　永野肇　誰も書かなかった日本医師会　武見太郎の銀座診療所
279　藤田紘一郎　『笑うカイチュウ』　寄生虫と花粉症のあやしい関係
280　多田富雄　免疫の意味論　T細胞とB細胞の記憶対話
281　畑中正一　エイズ　後天性免疫不全症候群
282　柳澤桂子　二重らせんの私　アルマ・マターのスカートの中
283　ルイス・トマス　『人間というこわれやすい種』　フラジャイルな人間史の要訣

１０．オブリックな複雑系

284　マイケル・ポラニー　暗黙知の次元　対象知から方法知へ
285　ロジャー・G・ニュートン　科学が正しい理由　コンベンションとしての科学
286　マーティン・ガードナー　自然界における左と右　物質にも知覚にもパリティ
287　ランスロット・ロウ・ホワイト　形の冒険　フォーマティブとモーフィック
288　ルネ・ユイグ　かたちと力　相似律の歌が聞こえる
289　V・フォン・ヴァイツゼッカー　ゲシュタルトクライス　アタマの中の猫と回転扉
290　エドワード・ホール　かくれた次元　知覚文化のプロクセミックス
291　ロジェ・カイヨワ　斜線　オブリックな大遊学舎
292　ルネ・デュボス　内なる神　生体と生態の奥のもの
293　アリスター・ハーディ　神の生物学　エチカル・アニマルの誕生
294　F・デイヴィッド・ピート　シンクロニシティ　創発する同期性へ
295　ライアル・ワトスン　スーパーネイチュア　二つのリアリティをもつ科学
296　R・バックミンスター・フラー　宇宙船地球号操縦マニュアル　われらの内外なるシナジェティクス
297　ジョン・L・キャスティ　複雑系とパラドックス　創造の苦悩を背負うカオス

298　スチュアート・カウフマン　『自己組織化と進化の論理』

第３巻　脳と心の編集学校

１．あいづち俳句

299　高柳蕗子　はじめちょろちょろ　なかぱっぱー七五調で詠む日本語　桔梗かるかや女郎花
300　金子兜太監修　小学生の俳句歳時記　なのはなが月の電気をつけました
301　芳賀綏　佐々木瑞枝　門倉正美　あいまい語辞典　結構と加減と按配
302　ウィルソン・ボール　あいづち・つなぎ語辞典　リンクワードで会話する
303　外山滋比古　省略の文学　句読点でも文意は動く
304　西脇順三郎　雑談の夜明け　西脇のなんちゅう色の芭蕉かな
305　芥川龍之介　侏儒の言葉　俳諧的アフォリズム
306　ジェローム・デュアメル　世界毒舌大辞典　メッセージにひそむ逆と毒
307　米原万里　魔女の１ダース　言葉が先か？概念が先か？
308　米川明彦編　集団語辞典　隠語だらけのパサージュ
309　鴨下信一　忘れられた名文たち　内藤湖南から殿山泰司まで
310　大岡玲　日本グルメ語辞典　味も言葉も立っている
311　髙橋輝次編著　誤植読本　失敗は成功の墓？
312　河野仁昭　京ことばの知恵　かまへんけど気づつない

２．文字の国の消息

313　宮城谷昌光　『沈黙の王』　文字を作ろうとした男
314　白川静　『漢字の世界』　文字は言霊と聖地を秘める
315　周興嗣　千字文　日月のひつきは〇〇とみちかく
316　馬渕和夫　五十音図の話　真言ボーカリゼーション
317　伊地知鐵男　連歌の世界　連衆・付合・付句・賦物・鎖歌
318　三浦梅園　玄語　反観合一の概念工事
319　イ・ヨンスク　「国語」という思想　近代日本語の試行錯誤
320　福田恒存　私の國語教室　迷はぬ仮名づかひ
321　リービ秀雄　日本語を書く部屋　私語が切りひらく光景
322　イアン・アーシー　怪しい日本語研究室　「ニーズ」が日本をダメにした
323　田中正明　ボドニ物語　タイポグラファーの思争
324　伊藤三郎　ザメンホフ　人口世界言語エスペラント
325　D・ネトル　S・ロメイン　消えゆく言語たち　コトバには生命も寿命もある

３．声と手のテクスト

326　アンドレ・ルロワ＝グーラン　身ぶりと言葉　編集エンジンとしての言語装置
327　ヨン＝ロアル・ビョルクヴォル　内なるミューズ　聞きおぼえのある情報
328　オリヴィエ・ルブール　レトリック　メタファーが言葉をつくった
329　岩田一男　英単語記憶術　マナー・マニュアル・マネージャー
330　マーシャル・マクルーハン　グーテンベルクの銀河系　文字から声が奪われた歴史
331　ウォルター・J・オング　声の文化と文字の文化　オラリティとリテラシーの統合
332　ポール・ヴァレリー　テスト氏　わが編集の雷鳴の夜
333　ロラン・バルト　テクストの快楽　バルト＝セイゴオ同等式
334　レーモン・クノー　文体練習　潜在文学工房ウリボ
335　ジョルジュ・ペレック　考える／分類する　カーソルとテクストの交錯
336　アニー・ディラード　本を書く　書けそうもないことを書きなさい
337　ジェイソン・ワイス　危険を冒して書く　エドモンド・ジャベスとともに
338　イヴ・ボヌフォワ　ありそうもないこと　何を装って書くべきなのか
339　大野晋　浜西正人　角川類語新辞典　自由シローラスの宝典
340　手話コミュニケーション研究会編　新・手話辞典　デフ・コミュニティの信号系
341　紀田順一郎　ペンネームの由来事典　長谷川辰之助・竹久茂次郎・平岡公威

４．脳の現象学

342　モーリス・メルロ＝ポンティ　知覚の現象学　意識のどこかの編集部
343　グレゴリー・ベイトソン　『精神の生態学』　相補的シズモジェネシス！
344　佐々木正人　アフォーダンス　知覚と行為の協応関係
345　ワイルダー・ペンフィールド　脳と心の正体　何が何と交信しているのか
346　カール・ポパー　ジョン・エクルズ　自我と脳　世界１・世界２・世界３
347　ノーバート・ウィーナー　サイバネティックス　フィードバックするシステムの誕生
348　ハーバート・A・サイモン　システムの科学　秩序と矛盾を含むデザイン
349　トマス・A・シービオクほか　シャーロック・ホームズの記号論　アブダクションという推感編集
350　ダニエル・L・シャクター　なぜ、「あれ」が思い出せなくなるのか　記憶のしくみに欠損がある
351　マーヴィン・ミンスキー　『心の社会』　知能を動かすノームとニーム
352　ロジャー・ペンローズ　皇帝の新しい心　無意識ふうアルゴリズム
353　ダニエル・C・デネット　解明される意識　知の多元的草稿モデル
354　J・ホランド　K・ホリオーク　インダクション　擬同型の可能性について
355　津田一郎　カオス的脳観　擬似アトラクターが遍歴する

356　郡司ペギオほか　内部観測　「自」と「他」と「その他」の科学
357　茂木健一郎　脳とクオリア　ニューロンの隣に佇む
358　リチャード・E・シトーウィック　共感覚者の驚くべき日常　シネスシージアの謎

５．あやしい意識の正体

359　夏樹静子　椅子がこわい　腰痛をつくっていた心
360　塩倉裕　引きこもり　社会が心因的になっている
361　ダニエル・キース　２４人のビリー・ミリガン　多重人格の中の司祭者
362　ゲオルグ・グロデックほか　エスとの対話　自分の奥で動くもの
363　カール・グスタフ・ユング　心理学と錬金術　古い塔と集合的無意識
364　小此木啓吾ほか　阿闍世コンプレックス　フロイトばかりじゃない
365　R・D・レイン　レイン　わが半生　体験と心層はつながっている
366　古俣和一郎　精神病院の起源　世阿弥に始まる物狂い
367　デイヴィッド・ホロビン　天才と分裂病の進化論　心の起源にひそむリン脂質
368　ジャック・ラカン　テレヴィジオン　鏡像過程にいる自己意識
369　スラヴォイ・ジジェク　幻想の感染　残余と編集をめぐる負な話
370　高橋巌　神秘学序説　ヨアキムの三段階
371　ルドルフ・シュタイナー　遺された黒板絵　ゲーテと人智学の光栄
372　ゲオルギー・I・グルジェフ　ベルゼバブの孫への話　三脳生物が告白する
373　セオドア・ローザク　意識の進化と神秘主義　セパレートリアルな範疇
374　ジョン・C・リリー　意識の中心　アルタード・ステーツをめぐる
375　ティモシー・リアリー　神経政治学　意脳回路のコンテリジェンス
376　カルロス・カスタネダ　呪術師と私　ドン・ファンの幻想キノコ
377　ロバート・M・パーシグ　禅とオートバイ修理技術　「自分さがし」の起爆剤
378　ティク・ナット・ハン　禅への鍵　インタービーイングな我等

６．書物と本棚の快楽

379　テレク・フラワー　知識の灯台　アレクサンドリア図書館計画
380　L・フェーヴル　A＝J・マルタン　書物の出現　写字生たちの修道院
381　ジョナサン・グリーン　辞書の世界史　レキシコグラファーの一徹
382　ヴィンフリート・レーシュブルク　ヨーロッパの歴史的図書館　書物都市をつくる
383　寺田元一　「編集知」の世紀　十八世紀の公共情報財
384　アンドルー・ラング　書斎　愛書学・書痴学・狂書学
385　小川道明　棚の思想　本なモードとフードな本と
386　シルヴィア・ビーチ　シェイクスピア・アンド・カンパニイ書店　一冊の書店がもつ香気

387　リン・ティルマン　ブックストア　ザ・ウォールとよばれた書列
388　リチャード・ブース　本の国の王様　４０キロにおよぶ本棚の町
389　梶山季之　せどり男爵数綺譚　本の背中で世界を読む
390　アルベルト・マングェル　『読書の歴史』　読書フェティシズムの極北
391　ウィスタン・ヒュー・オーデン　オーデン　わが読書　「前書き」と「後書き」のあいだ
392　朝日新聞学芸部編　『読みなおす一冊』　千人千夜千冊という迷宮
393　門谷建蔵　岩波文庫の赤帯を読む　読書の前に本を読む
394　ピート・スフリューデルス　ペーパーバック大全　体になじむポケットブック
395　植草甚一　ぼくは散歩と雑学がすき　ノーマン・メイラーに憧れて
396　ニコラス・キャロライズほか　百禁書　発禁されるほどの名作たち
397　レイ・ブラッドベリ　華氏四五一度　焚書をしてはいけない
398　ジョン・ダニング　死の蔵書　本をめぐって人が殺される
399　ローレンス・ノーフォーク　ジョン・ランプリエールの辞書　そもそも書物は事件であった

７．エディターの仕事

400　吉野孝雄　宮武外骨　頓知と滑稽と癇癪の編集王
401　寺島珠雄　南天堂　松岡虎王麿の変な店
402　松原一枝　改造社と山本実彦　高尚を大衆は待っている
403　直木三十五　南国太平記　プラトン社が開いた大阪の傘
404　内堀弘　ボン書店の幻　詩集ばかり彗星にした
405　酒井寛　『花森安治の仕事』　「暮しの手帖」の編集室
406　寺田博編　時代を創った編集者１０１　出版社は一つの大学である
407　稲垣史生　時代考証事典　映画屋さんの虎の巻
408　市古貞次ほか　日本文化総合年表　表組によるアニメーション

８．物語という秘密

409　ジョセフ・キャンベル　千の顔をもつ英雄　「スター・ウォーズ」の下敷き
410　松原秀一　中世の説話　ナラティヴ・マザーが世界を動く
411　ジェフリー・チョーサー　カンタベリー物語　母国語は物語がつくっていた
412　ジャック・ザイプス　おとぎ話が神話になるとき　原型を消毒する業界
413　ジェラルド・プリンス　物語論辞典　紛糾と解決を物語する
414　J・チルダーズ　G・ヘンツィ編　コロンビア大学現代文学・文化批評用語辞典　アブジェクシオンとくびき誤報
415　ケネス・バーク　動機の文法　場面のドラマティズム
416　ロジャー・C・シャンク　人はなぜ話すのか　理解と察知のアルゴリズム

417　フレッド・イングリス　メディアの理論　エディティング・モデルを交換する
418　ニール・D・ヒックス　ハリウッド脚本術　誘引＋期待＋満足＝ハリウッド
419　ジャネット・H・マレー　デジタル・ストーリーテリング　話したがりコンピュータ

９．情報ネットワーキング

420　新戸雅章　『バベッジのコンピュータ』　ディファレンス・エンジン〇（こう）
421　兼子次生　速記と情報社会　日本に動く十種の速記術
422　田村紀雄　電話帳の社会史　サブスクライバー・リスト問題
423　J・カッツ　M・オークス編　絶え間なき交信の時代　親指ケータイ一発主義
424　フリードリッヒ・キットラー　グラモフォン・フィルム・タイプライター　どこからがソフトウェアなのか
425　デイヴィッド・G・ストーク編　HAL伝説　人心機械の孤独な独白
426　フィリップ・K・ディック　ヴァリス　アクティブ・インテリジェンス
427　ポール・レヴィンソン　デジタル・マクルーハン　機械の花嫁の行方
428　平林久和ほか　ゲームの大學　ああ懐旧のスペース・インベーダー
429　ドン・タプスコット　デジタルチルドレン　選択機能の子供たち
430　高城剛　デジタル日本人　電装武士の時間ビジネス
431　ウィリアム・ギブスン　ニューロマンサー　サイバーパンクの風
432　マーク・デリー　エスケープ・ヴェロシティ　ターン・オンしてジャック・イン
433　エリック・S・レイモンド　伽藍とバザール　ネットワーク上の精神圏
434　マッケンジー・ワーク　ハッカー宣言　父を殺したインターネット
435　ローレンス・レッシグ　コモンズ　リミックスされる知財
436　ヤコブ・ニールセン　ウェブ・ユーザビリティ　埋めこみリンクと脇見リンク
437　ダン・ギルモア　ブログ　草の根ジャーナリズム
438　ジャック・アタリ　情報とエネルギーの人間科学　意味連関型相互交通社会像
439　ポール・ヴィリリオ　情報化爆弾　速度と事故のIT社会
440　室井尚　情報宇宙論　言語身体と自己編集
441　米山優　情報学の基礎　編集光学的フラジリティ

１０．イメージの劇場

442　山本主一郎　イメージ連想の文化誌　オシリとイシスから始まる
443　吉田光邦　文様の博物誌　触手と触発のデザイン史
444　ユルジス・バルトルシャイティス　『幻想の中世』　西方ゴシックと東方マンダラ
445　エルヴィン・パノフスキー　イコノロジー研究　インヴェンツィオーニ編集術
446　ルドルフ・ウィトカウアー　アレゴリーとシンボル　土星のもとに生まれた寓意

447　フランセス・イエイツ　世界劇場　記憶と再生の劇場構造
448　ジョルジュ・プーレ　円環の変貌　最初が円・最後に円
449　グスタフ・ルネ・ホッケ　迷宮としての世界　奇想異風のコスモロジー
450　若桑みどり　イメージの歴史　ジェンダーの目の美術
451　ヴァルター・ベンヤミン　パサージュ論　集団の夢が敷居を越える
452　杉浦康平　かたち誕生　万物イメージ・照応デザイン

第４巻　紙の戦争・仏法の鬼

１．闇と一神教

453　旧約聖書　ヨブ記　ここから世界難問が始まった
454　ジークムント・フロイト　『モーセと一神教』　ユダヤ教誕生の謎と父の謎
455　ルネ・ジラール　『世の初めから隠されていること』　神の暴力を人が模倣する
456　ジャン・ボテロ　メソポタミア　文字と言語の発生装置
458　C・W・ツェーラム　狭い谷黒い山　ヒッタイトとアッシリアの記憶
459　マリヤ・ギンブタス　古ヨーロッパの神々　神の子になるための造形
460　ジョルジュ・デュメジル　ゲルマン人の神々　オーディンとルーン文字の力
461　カルロ・ギンズブルグ　闇の歴史　ギリシア神話の「欠けた王」
462　ロバート・グレイヴズ　暗黒の女神　マモンの神の貨幣性
463　ヨハン・ヤコプ・バハオーフェン　『母権制』
464　ホメーロス　オデュッセイアー　どうしても読んでおくべき母型
465　ソポクレス　オイディプス王　ヨーロッパ悲劇の全原点
466　プラトン　国家　哲人は王になるべきか
467　ユリウス・カエサル　ガリア戦記　アーリア＝ゲルマン＝ゲルトの意味
468　パトリック・ブラントリンガー　パンとサーカス　希少価値と負の文化

２．空と浄土と千年王国

469　中村元　インド古代史　ゴータマ・ブッダの縁起観
470　木村泰資　インド六派哲学　色不異空・空不異色・五〇皆空
471　高銀　華厳経　融通無碍の海印三昧
472　保坂俊司　インド仏教はなぜ亡んだのか　ヒンドゥ＝ブッディズムの役割
473　メアリー・ボイス　ゾロアスター教　光と闇を繰る根源祭司
474　エリエット・アベカシス　クムラン　誰がキリストを騙ったか
475　マルタン・J・フェルマースレン　ミトラス教　十二月二十五日に生まれたミトラ神
476　ノルベルト・ブロックス　古代教会史　信仰共同体コイノニア

477　オリゲネス　諸原理について　ヨーロッパ思想２０００年の原点
478　アウグスティヌス　三位一体論　神の国とのソリロキア
479　バーナード・マッギン　アンチキリスト　世界に反対する魔王
480　クラウス・シュタイナー　マリア　聖母の奥のイシスたち
481　ノーマン・コーン　千年王国の追求　終末を告げた黙示録
482　空海　三教指歸性靈集　仮名乞児のレーゼドラマ
483　臨済義玄〇然　臨済録　面目を編集する禅
484　道元　正法眼蔵　一切同時に現成する
485　親鸞唯円　歎異抄　自力作善から他力本願へ
486　黒田俊雄　王法と仏法　顕密体制と神仏習合

３．神曲と方丈記

487　松谷健二　『東ゴート興亡史』　無常としての民族の消長
488　トマス・ブルフィンチ　シャルルマーニュ伝説　ロマンスの本当の意味
489　レジーヌ・ペルヌー　テンプル騎士団　十字軍の中の精神軍事団
490　ダンテ・アリギエーリ　神曲　この完全無欠な神の叙事詩
491　ジュール・ミシュレ　ジャンヌ・ダルク　ルネサンスを先行する聖少女
492　吉田兼好　徒然草　「滅び」よりも「綻び」へ
493　鴨長明　方丈記　数奇の遁世に風に吹く
494　慈円　愚管抄　冥の世と道理の世
495　夢窓疎石　夢中問答集　日本のマキアヴェリと苔の庭
496　一休宗純　狂雲集　風〇水宿のセクシャリティ
497　ニッコロ・マキアヴェリ　君主論　良き法・良き軍・良き同盟
498　フィリップ・レクリヴァン　イエズス会　僻地にこそ旅立つ使命
499　ミシェル・ド・モンテーニュ　エセー　自分を質に入れたくない
500　ジュール・ブロック　ジプシー　一千万の流浪の民ジンガロ
501　リュック・ヌフォンテーヌ　フリーメーソン　ロッジに集う８００万人
502　クリストファー・マッキントッシュ　薔薇十字団　チュービンゲン・サークルの嘘

４．啓蒙のサロン・結党のクラブ

503　ウィリアム・シェイクスピア　リア王　世界の裂け目と国王の錯乱
504　大木英夫　ピューリタン　移住する会議宗教
505　トマス・ホッブズ　リヴァイアサン　反クロムウェルの無血国家論
506　ブレーズ・パスカル　パンセ　考える葦のフラジリティ
507　バルーフ・デ・スピノザ　エチカ　異神に酔うマラーノの宿命

508　ジョナサン・スウィフト　ガリヴァ旅行記　政治に復讐する政治小説
509　小林章夫　『コーヒー・ハウス』　ジャーナルと政党のクラブ財
510　ベルント・レック　歴史のアウトサイダー　追いやられた一群たち
511　ヴォルテール　歴史哲学　フランスを変えてしまった作書術
512　ジャン＝ジャック・ルソー　孤独な散歩者の夢想　嘘をつくか、告白するか
513　ハイデン＝リンシュ　ヨーロッパのサロン　女たちによる知の演出
514　ウィリアム・ブレイク　無心の歌、有心の歌　エマネーションとアニメーション
515　白隠　夜船閑話　内観する大胆と放埒
516　ロジェ＝ポル・ドロワ　虚無の信仰　仏教を恐怖した近代西洋

５．外套・白鯨・カラマーゾフ

517　ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ　ヴィルヘルム・マイスター　ワイマールのファウスト博士
518　ヨハン・ゴットリープ・フィヒテ　ドイツ国民に告ぐ　学校が経済国家のモデルだ
519　カール・フォン・クラウゼヴィッツ　戦争論　打倒と占拠を別にせよ
520　マックス・フォン・ベーン　ビーダーマイヤー時代　１９世紀のポップ展示主義
521　ハインリッヒ・ハイネ　歌の本　ドイツを超えた革命詩人
522　ニコライ・ゴーゴリ　外套　瑕と痕の炭化文学
523　エドガア・アラン・ポオ　ポオ全集　地上とは思い出ならずや
524　スタンダール　赤と黒　ジュリアン・ソレルの情理と景理
525　ハーマン・メルヴィル　白鯨　海にのたうつ神話かな
526　シャルル＝ピエール・ボードレール　悪の華　都市と快楽の苦み
527　ロートレアモン　マルドロールの歌　人類を一人で敵にまわしたい
528　アルチュール・ランボオ　イリュミナシオン　越境する歩行者
529　フョードル・ドストエフスキー　『カラマーゾフの兄弟』　大審問官の大問題
530　ヘンリー・ジェイムズ　ねじの回転　モダンホラーの原点
531　ジョーゼフ・コンラッド　『闇の奥』　都市の想像力なんてほしくない
532　ステファヌ・マラルメ　骰子一擲　超サイコロとしての書物
533　ライナー・マリア・リルケ　マルテの手記　孤立するためのパリ
534　トリスタン・ツァラ　ダダ宣言　アンチピリン氏の冒険

６．主人のいない思想

535　カール・マルクス　経済学・哲学草稿　疎外は何者に所属するか
536　ジョン・ラスキン　近代画家論　塵と倫理とアヘン戦争
537　フリードリッヒ・ニーチェ　ツァラトゥストラかく語りき　ディオニソスの永遠回帰

538　ウォルター・Z・ラカー　ドイツ青年運動　ナチと速記とワンダーフォーゲル
539　ダニエル・ゲラン編　神もなく主人もなく　アナキズム近現代断章
540　ウラジミール・レーニン　哲学ノート　革命家のマーキング読書法
541　レフ・トロツキー　裏切られた革命　戦って綴って亡命して書いた
542　ロープシン　蒼ざめた馬　ロシア革命下のテロリスト
543　リデル・ハート　第一次世界大戦　刻々たる戦史告々たり
544　オスヴァルト・シュペングラー　西洋の没落　自己批判するヨーロッパ
545　ジークフリート・クラカウアー　カリガリからヒトラーへ　世界に冠たる演出法
546　魯迅　阿Q正伝　寂寞もヒ首も使わずに
547　エドガー・スノー　中国の赤い星　正体がつかめない毛沢東
548　マハトマ・ガンジー　ガンジー自伝　真実と歴史の一致
549　藤田正勝ほか編　清沢満之　二項同体と消極主義
550　西田幾多郎　西田幾多郎哲学論集　「無の場所」と「逆対応」
551　久松真一　東洋的無　無相の自己の発見

７．存在と方法を問う

552　フランツ・カフカ　城　伝えることが何もない傑作
553　アンドレ・ジッド　狭き門　アリサとジェロームのルカ伝
554　マルティン・ブーバー　我と汝・対話　存在の岸辺のハイマルメーネ
555　トーマス・マン　『魔の山』　ハンス・カストルプの病気と戦争
556　ハンナ・アレント　人間の条件　活動する生活の哲学
557　オットー・フリードリッヒ・ボルノウ　気分の本質　実存哲学の散歩道
558　ジャン＝ポール・サルトル　方法の問題　マロニエの根に嘔吐する男
559　アルベール・カミュ　異邦人　太陽・死ぬ・ひとり・海
560　エミール・M・シオラン　崩壊概論　無用と拒否の反哲学
561　ボリス・ヴィアン　日々の泡　偽悪する悲痛
562　アンリ・ミショー　砕け散るものの中の平和　フランス未詳倶楽部通信
563　サミュエル・ベケット　ゴドーを待ちながら　非言語な言葉と舞台

８．ゲリラと大衆
564　ヨハン・ホイジンガ　ホモ・ルーデンス　遊びの共同性とクラブ性
565　オルテガ・イ・ガセット　大衆の反逆　観念の思いつき・信念の思いこみ
566　コリン・ウィルソン　アウトサイダー　脱出した者たちの挫折
567　アンリ・ルフェーヴル　革命的ロマン主義　総和のなかの余剰
568　ウィリアム・フォークナー　『サンクチュアリ』　異質のアメリカを告げる寓話
569　J・D・サリンジャー　『ライ麦畑でつかまえて』　大人社会のフォニーな欺瞞

570　エレナ・ガーロ　未来の記憶　石が語った記憶の未来
571　オクタビオ・パス　弓と竪琴　存在の本質をなす異質性
572　ガルシア・マルケス　百年の孤独　南米全貌的時空変遷
573　フランツ・ファノン　黒い皮膚・白い仮面　黒人による黒人のための闘争宣言
574　エルネスト・チェ・ゲバラ　ゲバラ日記　ゲリラ戦略を実現した男
575　マルコムX　マルコムX自伝　黒人＋イスラム＋アメリカ＝？
576　安藤正士ほか　文化大革命と現代中国　マオイズムと紅衛兵の日々
577　老舎　駱駝祥子　中国は幽黙したほうがいいです
578　蘇培成ほか編　中国の漢字問題　簡体字と中国資本主義
579　王敏編著　＜意＞の文化と＜情＞の文化　棄道就器と村上春樹

９．脱近代・脱構築
580　シモーヌ・ヴェイユ　重力と恩寵　自重からの脱創造
581　トマス・ピンチョン　V.　熱力学を秘める情報文学
582　スーザン・ソンタグ　『反解釈』　キャンプなスタイルな意志
583　ミオドラーク・ブラトーヴィッチ　赤いおんどり　モンテネグロの内と外
584　ミラン・クンデラ　存在の耐えられない軽さ　ニーチェを文学にした異才
585　ウンベルト・エーコ　薔薇の名前　ハイパーリンク状の書的文学
586　パトリック・ジュースキント　香水　鼻を主人公とした奇作
587　残雪　突囲表演　私は囲みを突破する
588　クロード・レヴィ＝ストロース　悲しき熱帯　こんな奇っ怪な一冊はない
589　G・ドゥルーズ　F・ガタリ　アンチ・オイディプス　欲望機械と分裂症
590　ジャン＝フランソワ・リオタール　こどもたちに語るポストモダン　メテクが指南してあげる
591　ジュリア・クリステヴァ　恐怖の権力　アブジェクシオンと間テクスト性
592　中沢新一　対称性人類学　ぼくと中沢君の微妙なちがい
593　今福龍太　クレオール主義　体も言葉も音楽も境界で
594　ジャン＝リュック・ナンシー　共同・体　取り寄せる身体を見る

１０．文明の衝突？
595　アーサー・ケストラー　ユダヤ人とは誰か　アシュケナージの大問題
596　デイヴィッド・グロスマン　ユダヤ国家のパレスチナ人　プレゼント・アブ千ティーズ
597　ムハンマド・バーキルッ＝サドル　イスラーム経済論　ムスリム共同体の経済学
598　エドワード・W・サイード　戦争とプロパガンダ　イスラエルにおける他者性
599　マフディ・エルマンジュラ　第一次文明戦争　湾岸戦争とアラブ・イスラム社会
600　P・サリンジャー　E・ローラン　湾岸戦争　１００万人を殺す国
601　田中宇　タリバン　ビンラディンを豹変させた

602　ノーム・チョムスキー　アメリカの「人道的」軍事主義　国際テロ国家とコソボの出来事
603　アラン・ブルーム　『アメリカン・マインドの終焉』　コンフォーミズムの失敗
604　薬師寺泰蔵　「無意識の意思」の国アメリカ　千年王国続行中の理屈
605　船戸与一　国家と犯罪　ゴルゴ１３が暴いてみせる
606　松野明久　東ティモール独立史　脱トロピカリズムとNGO
607　アーノルド・J・トインビー　現代が受けている挑戦　散在体が動いている
608　サミュエル・ハンチントン　文明の衝突　儒教＝イスラム・コネクション？
609　ベネディクト・アンダーソン　『想像の共同体』　一矢を報いるナショナリズム
610　アントニオ・ネグリ　構成的権力　マルチテュードの自治へ
611　大澤真幸　帝国的ナショナリズム　第三者が審級する
612　ロバート・ノージック　『アナーキー・国家・ユートピア』　最小国家作用法
613　埴谷雄高　不合理ゆえに吾信ず　薔薇・屈辱・自同律…革命

『ちょっと本気な　千夜千冊　虎の巻　読書術免許皆伝』松岡正剛(著)の掲載書籍リスト（２）

第５巻　日本イデオロギーの森

１．東風の記憶

614　宮崎市定　アジア史概説　文化は交通である
615　飯塚浩二　アジアのなかの日本　アジア的複合性の秘密
616　徐朝龍　長江文明の発見　〇蜀文化が物語る
617　小南一郎　西王母と七夕伝承　七夕の夜にアジアがつながる
618　大室幹雄　正名と狂言　孔子と荘子の市場言語
619　荘子　荘子　寓言・重言・〇言・無為自然
620　墨子　墨子　兼愛的専守防衛論
621　石田幹之助　長安の春　元宵観燈の大唐の春はまだ浅い
622　陳舜臣　日本人と中国人　オモテの中華・ウラの中国
623　金両基　キムチとお新香　韓流と日本流の相違点

２．多神多変日本列島

624　岡田英弘　日本史の誕生　中国ネットワークにいる卑弥呼
625　遠山美都男　天皇誕生　崇神王朝と仁徳王朝の交代
626　千田稔　王権の海　オオクニヌシ系とアメノヒボコ集団
627　河合隼雄　中空構造日本の深層　中心が穿たれている神話
628　大江時雄　ゑびすの旅　ヒルコ伝承を推理する
629　中西進　キリストと大国主　セーマンとドーマンを結ぶ
630　大隅和雄ほか編　日本架空伝承人名事典　蝉丸と逆髪の日本史

３．和光同塵

631　上山春平　埋もれた巨像　藤原不比等という国家
632　斎部広成撰　古語拾遺　消えないフルコトの響き
633　逵日出典　神仏習合　神前読経をする神宮寺
634　佐藤弘夫　アマテラスの変貌　「命ずる神」と「応える神」
635　海津一朗　神風と悪党の世紀　本地垂迹説の裏側で
636　北畠親房　神皇正統記　皇統をつくるレジティマシー
637　高取正男　神道の成立　宗教学ではわかるまい

638　鎌田東二　神道とは何か　センス・オブ・ワンダー主義
639　大林太良　正月の来た道　若水を汲むめでたさ
640　山本ひろ子　異神　深秘に影向する中世越境神
641　合田一道　日本の奇祭　アエノコトを守りたい
642　宮田登　ヒメの民俗学　お別火と一夜官女
643　宮本常一　『忘れられた日本人』　何の因果で木〇をなさる
644　網野善彦　『日本の歴史をよみなおす』　中世職能ネットワーク

４．仮託と遊行の記

645　小西甚一　日本文学史　「筋あい」と「肌あい」で読む
646　高橋睦郎　読みなおし日本文学史　歌そのものが漂泊する
647　紀貫之　土佐日記　日本語創発起動装置
648　藤原公任選　和漢朗詠集　４８種のイメージアイコン
649　堀田善衛　定家明月私抄　ウツとウツツを〇（さんずいに歩）る方法
650　保田与重郎　後鳥羽院　日本浪漫派の心ばへ
651　尼ヶ崎彬　花鳥の使　氷ばかり艶なるはなし
652　唐木順三　中世の文學　無用・無常・数奇・而今
653　井上鋭夫　『山の民・川の民』　境界から生まれた中世
654　福田アジオ　番と衆　東の当番・西の席衆
655　松本修　全国アホ・バカ分布考　バカ・タワケ・トロイ・アホ

５．武家と忍びと俳諧師

656　今谷明　『室町の王権』　天皇になろうとした男
657　谷口克広　信長の親衛隊　蓮枝衆・母衣衆・奉行衆
658　笠谷和比古ほか　秀吉の野望と誤算　天皇を北京に移すための戦
659　村山知義　忍びの者　前衛が描いた戦国システム
660　五味康祐　『柳生武芸帳』　枝と血を分ける新陰流
661　柳生宗矩　兵法家伝書　隠れる拍子に懸ける
662　宮本武蔵　五輪書　懸の先・侍の先・躰の先
663　山本常朝　『葉隠』　江戸武士道が発見した忍ぶ恋
664　松尾芭蕉　おくのほそ道　松のことは松に習え
665　与謝蕪村　蕪村全句集　きのふの空のありどころ
666　小林一茶　一茶俳句集　これからは大日本と柳かな
667　江宮隆之　井上井月伝説　染め急ぐ小紋返しや飛ぶ小蝶
668　復本一郎　さび　なぜ花守はサビ色か　（参考　芭蕉における「さび」の構造

６．水滸伝から八犬伝へ

669　施耐庵ほか　水滸伝　時の利を得た１０８人衆
670　王陽明　伝習録　陽明学が日本に及ぶ
671　石原道博　朱舜水　日本を書き替えさせた日本乞師
672　ヘルマン・オームス　徳川イデオロギー　羅山と天海と闇斎の計画
673　熊倉功夫　後水尾院　寛永サロンと修学院
674　ベアトリス・ボダルト＝ベイリー　ケンペルと徳川綱吉　カール１１世から五代将軍へ
675　新井白石　折りたく柴の記　ワイマール徳川の宰相
676　山本七平　現人神の創作者たち　日本に中華思想を作る方法
677　頼山陽　日本外史　「勢」と「変」の歴史観
678　源了圓　義理と人情　ギリのしがらみ・ナサケの綱
679　上田利男　夜学　〇（手へんに俺の右）巻と慎独の学習法
680　滝沢馬琴　南総里見八犬伝　暗合と暗示による幻想国家論

７．「やまとごころ」の議論
681　吉川幸次郎　仁斎・徂徠・宣長　朱子学に屈していられない
682　小林秀雄　本居宣長　漢意を排して古意に学ぶ
683　吉田松陰　吉田松陰遺文集　先覚テロリストの挫折
684　J・ヴィクター・コシュマン　『水戸イデオロギー』　尊皇攘夷思想の本意
685　山本健吉　いのちとかたち　稜威なるものに寄せて
686　丸山眞男　忠誠と反逆　「なる」「つぐ」「いきほひ」論
687　長谷川三千子　『からごころ』　日本ならぬ日本の問題
688　藤田覚　幕末の天皇　光格天皇と孝明天皇

８．鹿鳴館と国民之友

689　川勝平太　日本文明と近代西洋　物産複合としての日本
690　伊部英男　開国　シーレーンに甘えすぎるんだ
691　長谷川伸　相楽総三とその同志　官軍に裏切られた男たち
692　鈴木正幸編　王と公　王民共同体の可能性
693　戸沢行夫　明六社の人びと　明治ソサエチーと森有礼
694　福澤諭吉　文明論之概略　一身独立して一国独立する
695　桑原武夫編　日本の名著　近代の思想　近代知識人の母型たち
696　長谷川昇　博徒と自由民権　官と民とヤクザのあいだ
697　磯田光一　鹿鳴館の系譜　立志立国立憲の日々

698　平川祐弘　和魂洋才の系譜　黄禍論と日本主義
699　ベンチョン・ユー　神々の猿　小泉八雲のクレオール
700　徳富蘇峰　維新への胎動　平民国家でよろしい
701　志賀重〇　日本風景論　真景山水ジャパネスク
702　小熊英二　『単一民族神話の起源』　明治に広がる多民族幻想
703　長山靖生　偽史冒険世界　とんでもない空想史学たち
704　佐治芳彦　謎の神代文字　アリバイのない歴史

９．二つのJのはざま

705　島崎藤村　夜明け前　日本の「或るおおもと」を問う
706　二葉亭四迷　浮雲　理想負けでいいじゃないか
707　内村鑑三　『代表的日本人』　ボーダーランド・ステイトの構想
708　新渡戸稲造　『武士道』　わがノーブレス・オブリージ
709　岡倉天心　茶の本　「道」と「負」の想像力
710　スタンレー・ウォシュバン　乃木大将と日本人　素行と松蔭と大帝を偲ぶ
711　森鴎外　阿部一族　殉死という究極の生き方
712　中里介山　大菩薩峠　上求菩提下化衆生のニヒリズム

１０．美は乱調にあり

713　大杉栄　大杉栄自叙伝　一犯一語の乱調哲学
714　荒畑寒村　寒村自伝　境と文楽とアナキズム
715　長谷川如是閑　倫敦！倫敦？　硬漢ジャーナリストの溜飲
716　滝沢誠　権藤成卿　鳳の国と自治学会
717　北一輝　日本改造法案大綱　天皇ハ国民ノ総代表タリ
718　松本健一　日本の失敗　満州事変とその後の判断
719　寺内大吉　化城の昭和史　昭和日蓮主義とテロリズム
720　生島治郎　乱の王女　川島芳子の上海事変
721　安彦良和　虹色のトロツキー　満州建国大学でおこった出来事
722　芳地隆之　ハルビン学院と満州国　楡のはるびん緑の都
723　前間孝則　亜細亜新幹線　プロジェクトXここに始まる
724　渡部一英　日本の飛行機王　中島知久平　ドキュメント中島飛行機
725　坂井三郎　『大空のサムライ』　ゼロ戦撃墜王から見た日本

１１．野火と黒い雨

726　吉田満　戦艦大和ノ最期　大和轟沈シテ巨体四裂ス
727　村上兵〇　国破レテ　憂国の士の戦争批判
728　柳田邦男　マリコ　ぼくが生まれた年の暗合
729　緒方竹虎　人間中野正剛　東條英機と闘って自決した
730　清沢洌　暗黒日記　誤解された男の戦中記
731　マーク・ゲイン　ニッポン日記　GHQ記者が見た敗戦者
732　升田幸三　名人に香車を引いた男　チェスには民主主義がない
733　坂口安吾　堕落論　祇園の舞妓はつまらない
734　桶屋秀和　昭和精神史（戦前編、戦後編）　戦犯を問う無責任
735　大峯顯　花月のコスモロジー　保田与重郎の救いかた
736　大岡昇平　『野火』　死者の証言は多面的である
737　武田泰淳　『ひかりごけ』　昭和１９年の人肉事件
738　深沢七郎　楢山節考　すべてはまだ戦時中
739　井伏鱒二　『黒い雨』　原爆の向こうに虹が出る
740　松本清張　砂の器　社会に報復する犯罪
741　五木寛之　風の王国　辺境を走って日本を見る
742　井上ひさし　『東京セブンローズ』　国敗れても国語は残る

１２．アンビヴァレント・モダーンズ

743　川島武宜　日本人の法意識　権利を欠いて義務を重んずる
744　中島善之助　民法風土記　地方を歩いて法を拾う
745　E・ハーバート・ノーマン　クリオの顔　自殺した親日外交官
746　林達夫　久野収　思想のドラマトゥルギー　和洋の知を遊び切りたい
747　西部〇　思想史の相貌　欧米主義の顔を脱ぐ
748　ローレンス・オルソン　アンビヴァレント・モダーンズ　竹内・鶴見・吉本・江藤を論ず
749　長田弘ほか　日本人の世界地図　ワルとアクと文化論
750　オギュスタン・ベルク　風土の日本　夕立やかみつくやうな鬼瓦
751　柄谷行人　日本精神分析　日本というアソシエーション
752　姜尚中　ナショナリズム　国益が複雑骨折している
753　金子光晴　絶望の精神史　辻褄があわない日本人
754　山口昌男　『「敗者」の精神史』　負の価値を照らす近現代史
755　野坂昭如　この国のなくしもの　アメリカひじきになるもんか
756　司馬遼太郎　この国のかたち　異胎の国から真水の国へ

第６巻　茶碗とピアノと山水屏風

１．余白の水暈墨章

757　李沢厚　中国の伝統美学　画中の詩・詩中の画
758　中田勇次郎　文房清玩　書斎を配備するものたち
759　マイケル・サリヴァン　中国山水画の誕生　身体をもって山水を浴びる
760矢　代幸雄　水墨画　破墨と溌墨の跳梁
761　周士心　八大山人　機序を出入りする〇狂
762　島尾新　瓢鮎図　新様を求めて禅画が動く
763　高田宏　和紙千年　紙に惚れずに何が美か
764　春名好重　巻菱湖伝　青蓮院で名筆に会う
765　北大路魯山人　魯山人書論　傍若無人の数奇三昧
766　井上有一　日々の絶筆　端的を知って本来無法
767　篠田桃紅　桃紅　私というひとり　心を書に滲ませる
768　坂崎担　日本画の精神　大雅と竹田に極まる
769　村松梢風　本朝画人傳　底流日本画４７画伝
770　水尾比呂志　デザイナー誕生　能阿弥の評価をめぐって
771　高階秀爾　日本近代美術史論　なぜ日本画が必要だったのか
772　岸田劉生　美の本体　私の絵を軽々しく笑うな
773　川端龍子　四国遍路　読経をよぶ淡彩画

２．棟梁たちのルネサンス

774　ウィトルーウィウス　建築書　人間の知を内包する建築構想
775　C・ノルベルグ＝シュルツ　ゲニウス・ロキ　場所という本来へ
776　アンリ・フォシヨン　ゴシック　天頂をめざす石造の森
777　ジュリオ・カルロ・アルガン　ブルネッレスキ　アルス・リベラリス建築法
778　レオナルド・ダ・ヴィンチ　レオナルド・ダ・ヴィンチの手記　最初に終わりを考慮せよ
779　ベルナール・パリシー　陶工パリシーのルネサンス博物問答　利休時代の作庭作陶家
780　ホルスト・ブレーデカンプ　古代憧憬と機械信仰　コレクションという哲学
781　磯崎新　建築における「日本的なもの」　始原を隠すための伊勢
782　むしゃこうじ・みのる　襖　鳥居障子・舞良戸・〇（くさかんむり部）戸・遺戸障子
783　伊藤ていじ　重源　知識結・大勧請・惣大工
784　立石二郎　てりむくり　箕甲がつくった曲線
785　村松貞次郎　大工道具の歴史　一キリ・ニカンナ・三チョウナ
786　伊東忠太ほか　伊東忠太動物園　ジャパネスクのルーツ
787　菅原定三　美術建築師・菅原栄蔵　半泥子を愛した男
788　井上章一　アート・キッチュ・ジャパネスク　ナショナリズムの設計図

789　平田雅哉　大工一代　なだ万と吉兆と招福楼

３．刀と器と草の庭

790　鈴木大拙　禅と日本文化　用事をつくるが無事である
791　村井康彦　武家文化と同朋衆　阿弥号をもった目利き衆
792　重森三玲　枯山水　引き算による負の山水
793　井上靖　本覚坊遺文　侘数寄常住の利休の生涯
794　南坊宗啓　南方録　不時と有時をつなぐ問題作
795　堀口捨己　草庭　数寄の心と不同の理
796　秋里〇（竹かんむり離）島　都林泉名勝図会　たとえば本法寺三巴の庭
797　中村真一郎　木村蒹葭堂のサロン　「見える知」に感応した時代
798　小川後楽　煎茶への招待　抹茶を捨てた売茶翁
799　尾崎博正編　植治の庭　七代目小川治平衛の作分
800　柳宗悦　『民藝四十年』　速刻の美と閑相の美
801　河井寛次郎　火の誓ひ　この世、このまま、大調和。
302　棟方志功　板極道　女者躍動の〇（やまいだれ？に郭）然無聖
803　青山二郎　眼の哲学・利休伝ノート　手に書ける言葉を茶碗と言ふ
804　八木一夫　オブジェ焼き　「つくりもの」より「できごと」
805　松田権六　うるしの話　漆芸は浮きか沈みか
806　澤田ふじ子　花僧　池坊専応に始まる
807　早坂暁　華日記　昭和華道史にひそむこと
808　池井望　盆栽の社会学　花に加わる第三の時間
809　佐藤寒山　新・日本名刀１００選　一工一刀を選び切る
810　海音寺潮五郎　日本の名匠　武をひそませる匠たち
811　西山松之助　ある文人歴史家の軌跡　茶杓もどきの和があります

４．秘すれば舞姫

812　清水眞澄　読経の世界　能読能声の仏門芸能史
813　世阿弥　風姿花伝　時分の花は秘すれば花なり
814　荒木繁　説経節　哀しみのための本地語り
815　林屋辰三郎　歌舞伎以前　散所と河原に集うもの
816　近松門左衛門　近松浄瑠璃集　景清・曽根崎・国性爺・網島
817　鶴屋南北　東海道四谷怪談　悪の鋳型と美の逆鋳型
818　渡辺保　『黙阿弥の明治維新』　三人吉左と髪結新三
819　千谷道雄　秀十郎夜話　初代吉右衛門の黒衣名人

820　中村雀右衛門　女形無限　芸は練りと肚と仁
821　山本東次郎　狂言のことだま　言霊が二字遅れで所作になる
822　武智鉄二　伝統演劇の発想　ウキとサワリの間づめ芸
823　戸板康二　あの人この人　みんな芝居の話が好きだった
824　安藤鶴夫　文楽芸と人　山城少〇がすべてである
825　有吉佐和子　一の糸　太夫と三味線のせめぎあい
826　吉田蓑助　頭巾かぶって五十年　カタリ・クドキとフシ・ノリ・オクリ
827　郡司正勝　おどりの美学　程と構えで振りを生む
828　武原はん　武原はん一代　行く年を扇ひとつをたよりなる
829　鈴木晶　バレエの魔力　ロシアの神秘による至芸
830　ヴァーツラフ・ニジンスキー　ニジンスキーの手記　ダンスール・ノーブルの舞踏譜
831　土方巽　病める舞姫　体が密談すると姉の髪です
832　ライムント・ホーゲ　ピナ・バウシュ　タンツテアターとともに　言葉を放ってダンシング

５．「型」と「いき」の寄席

833　小島政二郎　円朝　速記と怪談をつなげる
834　馬場孤蝶　明治の東京　寄席ばかり通っていた
835　飯島吉晴　笑いと異装　硬直を打破する異笑
836　高野正雄　喜劇の殿様　遊芸大才の益田太郎冠者
837　桂文楽　芸談あばらかべっそん　あばらかやん・えっせんらん
838　徳川夢声　話術　知を愛想で交わす術
839　太鼓持あらい　「間」の極意　兜を脱いで鎧を脱がせる
840　ウィリアム・バトラー・イエーツ　鷹の井戸　明治ケルトの能仕舞
841　九鬼周造　「いき」の構造　偶然と異質のために粋になる
842　星川清司　小村雪岱　鏡花・六代目・章太郎
843　吉井勇　吉井勇歌集　遠州が好みの石の置きどころ
844　谷崎潤一郎　陰翳礼讃　この日本美随筆はいただけない
845　安田武　型の日本文化　縞と「守破離」と新町芸者

６．津軽にパンソリ

846　小倉朗　日本の耳　二拍子と五音階を考える
847　小泉文夫　日本の音　間拍子が見せる日本節
848　中野純　日本人の鳴き声　声明ルーツの醤油声
849　樋口覚　三絃の誘惑　音曲に陶酔する文人
850　宮城道雄　『雨の念仏』　新日本音楽の蝉しぐれ

851　山本周五郎　『虚空遍歴』　端唄名人の放浪譚
852　高橋竹山　津軽三味線ひとり旅　〇（さんずい＋冥）を弾打する
853　平岡正明　『新内的』　９０歳岡本文弥の真骨頂
854　大倉正之助　鼓動　オートバイに乗る太鼓
855　拓植元一ほか　アジア音楽史　シルクロードに響く
856　申在孝　『パンソリ』　恨を慟哭するノレとソリ
857　宮塚利雄　アリランの誕生　最後の峠をいま越えていく
858　藤田正　沖縄は歌の島　琉歌と三線のうねり
859　貴地久好ほか　歌謡曲は、死なない。　１９７６年に何がおこったか
860　佐藤良明　J-POP進化論　ヨナ抜き都節のポップス
861　森達也　『放送禁止歌』　メディアが歌を殺している

７．指揮棒とロックンロール

862　ニコラウス・アーノンクール　『古楽とは何か』　音楽言語と分節感覚
863　西原稔　ピアノの誕生　ウィーン・アクション物語
864　アンドレ・コルビオ　カストラート　玉を抜いて天に届く声
865　パブロ・カルザス　鳥の歌　頑固一徹のチェロ魂
866　ウィルヘルム・フルトヴェングラー　音と言葉　大衆に迎合しない神韻〇（さんずいに眇）々
867　岩渕達治ほか　クルト・ヴァイル　マック・ザ・ナイフが聴こえる
868　K・シュトックハウゼン　シュトックハウゼン音楽論集　電子音楽時代の開場
869　グレン・グールド　グレン・グールド著作集　モーツァルトより草枕
870　武満徹　音、沈黙と測りあえるほどに　音の河に音を活ける
871　フランコ・ゼッフィレッリ　ゼッフィレッリ自伝　オピュレンスの演出法
872　M・デイビス　Q・トループ　マイルス・デイビス自叙伝　ジャズを実験室にして鬼才
873　ミュージック・ライフ編　ロックの伝導者　マーク・ボランはもういない
874　パスカル・ビュッシー　クラフトワーク　音楽発電オルガニザツィオーン！
875　間章　時代の未明から来たるべきものへ　アルトサックスの負性
876　阿木譲　イコノスタシス　ロック・マガジンの思い出

８．タブローの背景

877　ヴィクトル・I・ストイキツァ　絵画の自意識　タブローが１７世紀に自立した
878　アンソニー・ベイリー　フェルメール　光を点綴画法にした事情
879　石鍋真澄　ベルニーニ　ビザールなバロックの魔術
880　高山宏　綺想の饗宴　「露」「憑」「穿」を解読する

881　トーマス・ライト　『カリカチュアの歴史』　笑いを伝承する芸当
882　J・ヒリス・ミラー　イラストレーション　挿画が世界図を変えていく
883　ジョン・ラッセル・テイラー　英国アール・ヌーヴォー・ブック　書物の構匠と美術の意匠
884　C・ティズダル・A・ボッツォーラ　未来派　電気の月と量子都市
885　カジミール・マレーヴィッチ　無対象の世界　無のシュプレマティズム
886　フランク・ウィットフォード　エゴン・シーレ　ウィーン的即身成仏派
887　パウル・クレー　造形思考　線は有機の神である
888　ジョルジュ・デ・キリコ　エブドメロス　メタフィジック・アーティスト
889　M・デュシャン　P・カバンヌ　デュシャンは語る　創造的誤植の計画
890　ニール・ボールドウィン　マン・レイ　デュシャンとキキとリー・ミラー
891　アマンダ・リア　サルバドール・ダリが愛した二人の女　アイ・アム・ア・フォトグラフ
892　アルベルト・ジャコメッティ　エクリ　ずれる・似る・縮む・細い
893　クロード・ロワ　バルテュス　ポーランド日本な少女像
894　ローリー・ライル　ジョージア・オキーフ　花芯と骨とアメリカ山水画

９．鳥口とレンズ

895　フランク・ロイド・ライト　自伝　建物は〇（女＋阿）〇（女＋那）でありたい
896　ル・コルビュジエ　伽藍が白かったとき　ああラ・トゥーレット修道院
897　榧野八束　近代日本のデザイン文化史　図案・造家・布置の頃
898　三好一　明治大正日本のマッチラベル　たった一夜のデザインサーカス
899　堀内誠一　父の時代・私の時代　サン・スタジオとアンアン
900　バーナード・ルドフスキー　建築家なしの建築　ヴァナキュラーな構築感へ
901　ジャン・バーニー　エットーレ・ソットサス　室具はちょっとフラジャイル
902　内田繁　インテリアと日本人　方法の記憶を文脈にする
903　柏木博　モダンデザイン批判　「もの」のコミュニケーション
904　内藤廣　建築的思考のゆくえ　素形の余地と時間の余程
905　隅研吾　負ける建築　分母と分子の境界へ
906　川崎和男　デザイナーは喧嘩師であれ　ほくと川崎君の相似律
907　西村雄一郎　黒澤明と早坂文雄　風のように侍は大地を吹く
908　新藤兼人　ある映画監督の生涯　悲しくって腹だたしい
909　C・コスタンティーニ編著　フェリーニ・オン・フェリーニ　カビリアの夜に泣く
910　デイヴィッド・ヒューズ　キューブリック全書　偽父バリー・リンドン館
911　土門拳　死ぬことと生きること　鬼に手伝わせた写真
912　ロバート・キャパ　ちょっとピンぼけ　カメラをもって地雷で死んだ
913　荒木経惟　写真ノ話　アタシの自転車感情な女
914　パトリシア・モリズロー　メイプルソープ　白と黒と花とゲイ

915　藤原新也　印度放浪　「唖の写真」と「告の写真」
916　十文字美信　澄み透った闇　正体不明をそこに撮る

１０．伝統と実験のあと

917　中村義一　日本の前衛絵画　北脇昇が駆け抜けた
918　中井正一　美学入門　「きれい」の思想の探求者
919　洲之内徹　気まぐれ美術館　一人だけのキュレーション
920　秋山邦晴ほか　文化の仕掛人　世代・ユリイカ・桑沢・草月
921　トニー・ゴドフリー　コンセプチュアル・アート　信頼性崩壊前兆病と略号普遍化病
922　アンディ・ウォーホル　『ぼくの哲学』　「無」と「場違い」のパーティ
923　ナム・ジュン・パイク　バイ・バイ・キップリング　定住遊牧民になりなさい
924　菅原教夫　日本の現代美術　反芸術・反哲学・反表現？
925　椹木野衣　日本・現代・美術　日本という悪い場所
926　森村泰昌　芸術家Mのできるまで　私が見本になるべき私だ
927　秋山祐徳太子　泡沫桀人列伝　煎餅も万年筆も都知事選も
928　坂根厳夫　拡張された次元　はたしてCGは芸術か
929　竹本忠雄　マルローとの対話　日本美が誤解されている
930　高田博厚　フランスから　触知彫刻的な日々があった
931　田中一光構成　素顔のイサム・ノグチ　東西を結んだ侘びと寂び
932　岡本太郎　日本の伝統　ニッポンを見るタロー主義
933　辻井喬　伝統の創造力　きのうの日本・おとといの日本
934　アレックス・カー　美しき日本の残像　知者楽水へ・仁者楽山へ

第７巻　男と女の資本主義

１．和泉式部とボヴァリー夫人

935　清少納言　枕草子　キレイダ・キライダ・キホンダ・キソイダ
936　和泉式部　和泉式部日記　後朝を偲び返した偽装日記
937　建礼門院右京大夫　建礼門院右京大夫集　恋ひわびてかくたまづさの文字の関
938　後深草院二条　とはずがたり　男も恋も仏の結縁
939　キュスターヴ・フローベール　ボヴァリー夫人　　男も取り替えていく不幸
940　エミール・ゾラ　居酒屋　血の宿命のルーゴン＝マッカール家
941　ギイ・ド・モーパッサン　女の一生　こんなに哀しいジャンヌの告白
942　レフ・トルストイ　アンナ・カレーニナ　一点の非も打てない女の魂
943　フランソワ・モーリアック　テレーズ・デスケルウ　夫を殺せなかった恐怖

944　D・H・ロレンス　チャタレイ夫人の恋人　甚愛と反ピューリタニズム
945　ダフネ・デュ・モーリア　レベッカ　戦慄のレベッカ計画

２．美しい志操

946　田中満智子　女帝の手記　二度の天皇となった皇女
947　田中貴子　聖なる女　聖女のシンボルとしての斎宮
948　永井路子　北条政子　鎌倉三代の尼将軍
949　三浦綾子　細川ガラシャ夫人　３８歳で昇天した光秀の娘
950　野上弥生子　秀吉と利休　人間という森を書く
951　大原富枝　婉という女　澄んだ志操を負で貫きたい
952　鳥居民　横浜富貴楼　お倉　待合文化のルーツとなった女将
953　藤田美実　明治女学校の世界　巖本善治が開いた扇
954　長谷川時雨　近代美人伝　卑屈がいちばん嫌いです
955　群ようこ　あなたみたいな明治の女　鉄火肌から妖婦まで
956　クーデンホーフ光子　クーデンホーフ光子の手記　ハプスブルクと日本をつなぐ
957　林芙美子　放浪記　淋しく候。くだらなく候。金が欲しい候。
958　矢野晶子　カルメンお美　日仏ハーフのオペラ歌手
959　坂口三千代　クラクラ日記　坂口安吾にドキンとした夜
960　宮尾登美子　鬼龍院花子の生涯　だって文章も着付けでございましょ
961　中村喜春　江戸っ子芸者一代記　張りと気っ風の英語芸者

３．女の鼻息・男の溜息

962　井原西鶴　好色一代男　世之介という日本の大事件
963　尾崎紅葉　金色夜叉　西鶴が動かした貫一お宮
964　富田仁　メルメ・カション　ヨコハマ仏人とメリンスお梶
965　勝海舟　氷川清話　ニセモノを見抜いていた
966　山岡鉄舟　剣禅話　人を斬らない武士道の発見
967　中江兆民　一年有半・続一年有半　男は自由と常盤津清元
968　頭山満　幕末三舟伝　海舟の神・泥舟の気・鉄舟の力
969　黒岩涙香　小野小町論　鉄仮面・巌窟王・萬朝報
970　ハインツ・グロイル　キャバレーの文化史　スノードロップ博士の仕掛け
971　アン・チザム　ナンシー・キュナード　アラゴンと黒人とスペイン内乱になった女
972　マルセル・ヘードリッヒ　ココ・シャネルの秘密　シャネルな男を見抜きなさい
973　宇野千代　生きて行く私　尾崎・梶井・東郷青児…みんな寝た
974　舟橋聖一　悉皆屋康吉　深川納戸・花納戸・鴨川納戸・鉄納戸

975　幸田文　きもの　着物には妖精も魔物も棲んでいます
976　武内俊子　きものと心　創業２００年の呉服屋さん
977　森茉莉　父の帽子　欧羅巴美意識を想像で負ふ
978　斎藤茂太　女のはないき・男のためいき　男も女も関係妄想病です

４．佳日の市場

979　カール・ポランニー　経済の文明史　経済は威力と呪力の交換である
980　小松和彦　栗本慎一郎　経済の誕生　富と負の取引関係
981　ブライアン・リアマウント　オークションの社会史　セールとプライスの裏側
982　G・ハルダッハ　J・シリング　市場の書　フェアとメッセの誕生
983　シャルル・フーリエ　『四運動の理論』　共同体ファランジュの構想
934　ヴェルナー・ゾンバルト　恋愛と贅沢と資本主義　ロココがもたらしたプチ市場
985　三谷一馬　江戸商売図会　紅屋に紺屋に蝶々売り
986　石田梅岩　都鄙問答　商人が手前の埒をあける
987　岡崎哲二　江戸の市場経済　株仲間という工夫
988　三上隆三　円の誕生　英米に強制された銀本位制
989　橋元毅彦ほか　遅刻の誕生　不定時法を捨てた罪
990　加来耕三　日本創業者列伝　立志・立国・立身・立社
991　津金澤聽廣編著　近代日本のメディア・イベント　明治３０年に何がおこったか
992　佐野眞一　巨怪伝　メディア市場の全支配王
993　ジョン・ダワー　吉田茂とその時代　日米安保の「火の用心」
994　石橋湛山　湛山回想　「民」と「分」と小政府主義
995　城山三郎　もう、きみには頼まない　ゴルフと英語をする奴は嫌いだ
996　田中清玄ほか　田中清玄自伝　天皇と〇小平に会った男
997　本田宗一郎　俺の考え　市場調査なんて役に立たない
998　鈴木治雄　昭和という時代　雅俗をまたぐ企業人
999　福原義春　猫と小石とディアギレフ　企業も文化・読書も文化

５．過激なエロス

1000　植島啓司　男が女になる病気　性を偽装するシャーマニズム
1001　M・ボナール　M・シューマン　ペニスの文化史　それはソーセージなのか銃なのか
1002　マルキ・ド・サド　悪徳の栄え　社会は官能していない
1003　ザッヘル=マゾッホ　毛皮を着たヴィーナス　面影と契約のマゾヒズム
1004　ジョリス＝カルル・ユイスマンス　さかしま　カトリシズムにひとむ神と悪
1005　ジャン・デ・カール　狂王ルードヴィヒ　頽廃王・月王・男色王・童貞王・眷恋王

1006　河村錠一郎　コルヴォー男爵　〇（牙＋鳥）のような世紀末のプラトン
1007　ヴィリエ・ド・リラダン　未來のイヴ　義体文明を予告するエロス
1008　オスカー・ワイルド　ドリアン・グレイの肖像　ヘンリー・ウォットン卿の美と悪魔
1009　アルフレッド・ジャリ　超男性　文学的トライアスロンの官能
1010　ジャン・コクトー　白書　PとAと男とコクトー
1011　ジョルジュ・バタイユ　マダム・エドワルダ　蕩尽する性の経済学
1012　ジャン・ジュネ　『泥棒日記』　知識人を嫌った窃盗背徳者
1013　ヘンリー・ミラー　北回帰線　性の惑溺を昇華する
1014　テネシー・ウィリアムズ　回想録　世界を驚かせたカミングアウト
1015　ウィリアム・バロウズ　『裸のランチ』　カットアップなゲイ感覚
1016　ピエール・クロソウスキー　ロベルトは今夜　編集的相互変質作用の凱歌
1017　ウラジミール・ナボコフ　ロリータ　ニンフェットを標本にする数寄者
1018　マヌエル・プイグ　『蜘蛛女のキス』　超映画的ホモセクシュアリティ
1019　デレク・ジャーマン　ラスト・オブ・イングランド　優しすぎてエイズに死んだ
1020　アマール・アブダルハミード　月　イスラム社会の蜜と毒
1021　ポール・ラッセル　ゲイ文化の主役たち　ソクラテスから三島由紀夫まで
1022　柿沼瑛子ほか　耽美小説・ゲイ文学ブックガイド　この一冊で男と女を超える
1023　ハーバート・マルクーゼ　エロス的文明　エロスは社会構造の中にある

６．いちいちの修羅

1024　青地〇（日の下に辰）　反骨の系譜　修羅の渦中に生きる
1025　今和次郎　考現学入門　関東大震災とエプロン
1026　渡辺一夫　曲説フランス文学　境目に韜晦するユマニスム
1027　木山捷平　大陸の細道　私小説の畳み皺
1028　花田清輝　もう一つの修羅　愚者に隠れる晦渋の心
1029　池波正太郎　私が生まれた日　情緒と融通が欠けている
1030　安部公房　『砂の女』　人間はネコに敗けたにちがいない
1031　三島由紀夫　絹と明察　日本人といふ父を問ふ
1032　吉本隆明　藝術的抵抗と挫折　ぼくのヨシモト興業事件
1033　藤沢周平　半生の記　川蜆のような人生の音
1034　梁石日　アジア的身体　血はどのように語られるのか
1035　車谷長吉　塩壷の匙　マレビトとマレモノの吐露
1036　中上健次　枯木灘　ケダモノとしての聖と俗

７．悪所と風俗

1037　隆慶一郎　吉原御免状　松永誠一郎とは何者か
1038　小野武雄　吉原と島原　遊郭には思案橋・衣紋橋・さらば垣
1039　田中優子　江戸の想像力　ときに〇（門＋東？）ときに淫ときに〇（土＋欠）
1040　タイモン・スクリーチ　江戸の身体を開く　切腹と解剖はちがいます
1041　林美一　江戸の枕絵師　名人と達人のポルノグラフィ
1042　伊藤晴雨　伊藤晴雨　自画自伝　お葉に惚れた責め絵師
1043　明田鉄男　日本花街史　もはや昔日の花柳界
1044　猪野健治　『やくざと日本人』　博徒といっても多様でござんす
1045　朝倉喬司　走れ国定忠治　平地と秩序と籠りのトポス
1046　尾佐竹猛　下等百科辞典　ジャーゴンを愛した法学無用学
1047　金関丈夫　お月さまいくつ　長屋大学のウンチク極まれり
1048　赤松啓介　非常民の性民俗　どんなふうに風呂に入るか
1049　イアン・ビュルマ　日本のサブカルチャー　日本人の暴力性と色情性
1050　永沢光雄　風俗の人たち　テレクラ・女装・のぞき部屋
1051　井田真木子　フォーカスな人たち　たとえば太地喜和子のこと
1052　金子雅臣　セクハラ防止完全マニュアル　追いこまれた日本のオヤジたち

８．アヴァン・ポップに

1053　アレン・ギンズバーグ　ギンズバーグ詩集　聖ヒップスターの吐血
1054　J・スタイン　G・プリンプトン　『イーディ』　スノ11055　ッブでスタイリッシュであるように
1056　エリック・ホッファー　『波止場日記』　不適格者がもつ思いやり
1057　ロバート・ラドラム　暗殺者　アイデンティティがわからない恐怖
1058　ビル・ボナーノ　ゴッドファーザー伝説　マフィオーソという鞭
1059　ウェンズレー・クラークソン　ベルサーチを殺った男　ベルベット・マフィアの嫉妬
1060　大藪春彦　野獣死すべし　青春アンチヒーロー操作術
1061　竹中労　ルポライター事始　トップ屋第一号のアナキズム
1062　沢木耕太郎　イルカと墜落　９月１１日が墜ちていく
1063　甲斐大策　餃子ロード　破格を生きるアフガン人の義兄弟
1064　保坂和志　アウトブリード　体の外で風が吹く
1065　P・J・オローク　ろくでもない生活　安全ナチと共和党爬虫類派
1066　ラリイ・マキャフリイ　アヴァン・ポップ　スリップストリームな蜜蜂テレビ
1067　O・B・ハーディソン・ジュニア　消失と透明化の時代　ハイパー・レティキュレーション
1068　ハキム・ベイ　T.A.Z.　一時的自律ゾーン主義
1069　いとうせいこうほか　見仏記　カジュアルウェアとしての仏像
1070　大槻ケンヂ　ボクはこんなことを考えている　ゲーノージン文体術の秘訣

1071　町田康　『くっすん大黒』　キュートでパンクな町蔵

９．銀幕とグラウンド

1072　マレーネ・ディートリッヒ　ディートリッヒ自伝　まるでジャコメッティのような女優
1073　髙橋秀子　わたしの渡世日記　オマセな憎まれ口がいい
1074　アンソニー・サマーズ　マリリン・モンローの真実　アメリカン・エンブレムの外傷と内傷
1075　淀川長治　淀川長治自伝　置屋に育った触知芸談
1076　森繁久彌　品格と色気と哀愁と　何がなくともモリシゲ節
1077　田山力哉　伴淳三郎　道化の涙　山本周五郎で渋かった
1078　三木のり平　のり平のパーッといきましょう　何がなくとも江戸むらさき
1079　澤田隆治　上方芸能列伝　アチャコ・エンタツ・ダイマル・ラケット
1080　木村政雄　笑いの経済学　大阪スキルと吉本ウィル
1081　伊丹十三　女たちよ！　シャルル・ジョルダンの靴と大和煮
1082　美輪明宏　ああ正負の法則　負を先取ることを覚悟する
1083　村松友視　黒い花びら　落ち目になりたくない
1084　須藤晃　尾崎豊覚え書き　解けない双子のパラドックス
1085　佐々木徹雄　三分間の詐欺師　夜店のような予告篇
1086　香取俊介ほか　テレビ芸能職人　脚本の匂いと監督の色
1087　中村敏雄　オフサイドはなぜ反則か　イメージをマネージするラグビー
1088　永井良和ほか　南海ホークスがあったころ　甲子園と大阪球場の夢
1089　山際淳司　『スローカーブを、もう一球』　ぼくをテレビに引っぱり出した男
1090　ロバート・ホワイティング　和をもって日本となす　ニッポン野球の神秘主義
1091　ボブ・グリーン　マイケル・ジョーダン物語　ボブとマイケルのバスケット
1092　二宮清純　天才セッター中田久美の頭脳　ゲームメイクのためのシナリオ

１０．ジェンダー／コミック

1093　エーリッヒ・ノイマン　女性の深層　グレートマザーと魔笛
1094　リーアン・アイスラー　『聖杯と剣』　パトリズムとマトリズムからの脱出
1095　ジャン・シャロン　レスボスの女王　美女狩りをするムーンビーム
1096　リュス・イリガライ　性的差異のエチカ　ラディカル・フェミニズム
1097　上野千鶴子　女は世界を救えるか　いったい男は世界を救ったか
1098　ダナ・ハラウェイ　『猿と女とサイボーグ』　ポストジェンダーの生物学
1099　小谷真理　女性状無意識　紐帯テクノガイネーシス
1100　石井達朗　異装のセクシャリティ　トランスジェンダーの舞台

1101　矢川澄子　反少女の灰皿　みだりに告白しない少女
1102　鈴木いづみ　鈴木いづみコレクション　厚みはいらない、極微がほしい。
1103　松浦理英子　ナチュラル・ウーマン　負のア〇メと親指ペ〇ス
1104　平田俊子　平田俊子詩集　アトランティスは水くさい！
1105　榊原史保美　やおい幻論　ヤマなく・オチなく・イミもなく
1106　フレデリック・L・ショット　ニッポンマンガ論　アメリカを驚かせたマンガ家
1107　手塚治虫　火の鳥　手塚治虫は文豪である
1108　白土三平　カムイ伝　忍者と身分と村落コミューン
1109　つげ義春　ねじ式・紅い花　「はぐれた私」を「私」がたずねる
1110　本宮ひろ志　天然まんが家　男一匹決然大将の反抗
1111　大友克洋　AKIRA　名指しえない正体がある
1112　杉浦日向子　百物語　あらざらむ此の世のほかの思ひ出に
1113　堀田かつひこ　オバタリアン　ずうずうしい日本のおばさん
1114　ポケモンビジネス研究会　ポケモンの秘密　１５１匹目のミュウの勝利

１１．国家の行方

1115　ダニエル・ベル　資本主義の文化的矛盾　売れ筋だけを話題にする社会
1116　C・ハムデン＝ターナーほか　七つの資本主義　競技のアメリカ・協議のニッポン
1117　D・ヤーギン　J・スタニスロー　市場対国家　小さな政府と大きな市場
1118　イヴァン・イリイチ　シャドウ・ワーク　世話と家庭の経済学
1119　ジャン・ボードリヤール　消費社会の神話と構造　生産と消費は矛盾する
1120　金井〇宏　ニューウェーブ・マネジメント　職務の寿命と集団の寿命
1121　ウィリアム・パウンドストーン　ビル・ゲイツの面接試験　IQとパズルで社員を決める男
1122　岩井克人　会社はこれからどうなるのか　コーポレート・ガバナンス？
1123　金子郁容　ボランティア　バルネラブルな情報社会
1124　S・デイビス　C・マイヤー　インターネット資本論　ブラー時代のリスクの取引
1125　土屋大洋　ネット・ポリティックス　個人を犯すインテリジェンス
1126　溝江昌吾　数字で読む日本人2002　１９足の靴をもつOL
1127　櫻井よしこ　大人たちの失敗　誤認にふれいまわされたくない
1128　カレル・ヴァン・ウォルフレン　日本／権力構造の謎　システムという名の妖怪
1129　加藤典洋　『日本人の自画像』　西郷隆盛と柳田國男の覚悟
1130　犬塚章　『右翼の林檎』　不揃いのスジガネたち
1131　田中佳宏　百姓の一筆　経済は農事を崩している
1132　高谷好一　多文明共存時代の農業　米と畑の共同体
1133　萩原秀三郎　稲と鳥と太陽の道　苗族と日本をつなぐコメ文化
1134　柳田國男　海上の道　日本を想うということ

『本を生きる』小林章夫(編)の掲載書籍リスト

１．文筆家を作り上げた本

『木を植えた男』　ジャン・ジオノ　新井満
『思い出トランプ』　向田邦子　諸田玲子
ベル・ジャー　シルビア・プラス　青柳祐実子
シェイクスピア　浅間義隆
椋鳩十文学　風のごとく　三宮麻由子
幽霊　北杜夫　今野敏

２．学問の世界に生きる

正統とは何か　チェスタトン　ピーター・ミルワード
『夜と霧』　霜山徳爾
ギーターンジャリ　タゴール　神を待ちのぞむ　ヴェイユ　冨原眞弓
言論の自由　ミルトン　春原昭彦
金とドルの危機　トリフィン　加々美信光
尾形亀之助　永井敦子

３．いまの私になるには

不確定性原理　都筑卓司　江畑謙介
小菅信子
古寺巡礼　〇木伸明
沈黙　深い河　遠藤周作　黒澤政子
罪と罰　大木雅夫
ヴェルレエヌ詩集　鈴木信太郎訳　加藤恭子

４．創作と翻訳の世界

にんじん　岸本佐知子
キュリー夫人伝　原書と新訳　河野万里子
サハラ幻想行　森本哲朗　小梨直
ヘンリー・トリース　ヴァイキング３部作　ドミニク・チータム
台所のおと　幸田文　濱田美里
芭蕉　その鑑賞と批評　山本健吉　大輪靖宏

『本屋大賞』の掲載書籍リスト

第１０回　2013年

（大賞）海賊とよばれた男（上下）　百田尚樹
（入賞）『６４』　横山秀夫
『楽園のカンヴァス』　原田マハ
きみはいい子　中脇初枝
ふくわらい　西加奈子
晴天の迷いクジラ　窪美澄
ソロモンの偽証（３部作）　宮部みゆき
世界から猫が消えたなら　川村元気
百年法（２部）　山田宗樹
屍者の帝国　伊藤計劃、円城塔
光圀伝　冲方丁

（翻訳小説部門）
タイガーズ・ワイフ　テア・オブレヒト
湿地　インドリダソン
ルパン、最後の恋　モーリス・ルブラン
2666　ロベルト・ボラーニョ
深い疵　ネレ・ノイハウス

第９回　2012年

（大賞）舟を編む　三浦しをん
『ジェノサイド』　高野和明
ピエタ　大島真寿美
くちびるに歌を　中田永一
人質の朗読会　小川洋子
ユリゴコロ　沼田まほかる
誰かが足りない　宮下奈都
ビブリア古書堂の事件手帖一栞子さんと奇妙な客人たち　三上延
偉大なる、しゅららぼん　万城目学
プリズム　百田尚樹

第８回　2011年

（大賞）謎解きはディナーのあとで　東川篤哉
ふがいない僕は空を見た　窪美澄
ペンギン・ハイウェイ　森見登美彦
錨を上げよ（上下）　百田尚樹
シューマンの指　奥泉光
叫びと祈り　梓崎優
悪の教典　貴志祐介
神様のカルテ2　夏川草介
キケン　有川浩
ストーリー・セラー　有川浩

第７回　2010年

（大賞）天地明察　冲方丁
神様のカルテ　夏川草介
横道世之介　吉田修一
神去なあなあ日常　三浦しをん
猫を抱いて象と泳ぐ　小川洋子
ヘヴン　川上未映子
船に乗れ！　藤谷治
植物図鑑　有川浩
新参者　東野圭吾
1Q84　村上春樹

第６回　2009年

（大賞）告白　湊かなえ
のぼうの城　和田竜
『ジョーカー・ゲーム』　柳広司
テンペスト（上下）　池上永一
ボックス！　百田尚樹
新世界より（上下）　貴志祐介
出星前夜　飯嶋和一
悼む人　天童荒太
流星の絆　東野圭吾
モダンタイムス　伊坂幸太郎

第５回　2008年

（大賞）『ゴールデンスランバー』　伊坂幸太郎
サクリファイス　近藤史恵
有頂天家族　森見登美彦
悪人　吉田修一
映画篇　金城一紀
八日目の蝉　角田光代
赤朽葉家の伝説　桜庭一樹
鹿男あをによし　万城目学
私の男　桜庭一樹
カシオペアの丘で（上下）　重松清

第４回　2007年

（大賞）一瞬の風になれ　佐藤 多佳子
夜は短し歩けよ乙女　森見 登美彦
『風が強く吹いている』　三浦 しをん
終末のフール　伊坂 幸太郎
図書館戦争　有川 浩
『鴨川ホルモー』　万城目 学
ミーナの行進　小川 洋子
陰日向に咲く　劇団ひとり
『失われた町』　三崎 亜記
名もなき毒　宮部 みゆき

第３回　2006年

（大賞）『東京タワー　オカンとボクと、時々、オトン』　リリー・フランキー
サウスバウンド　奥田 英朗
死神の精度　伊坂 幸太郎
容疑者Xの献身　東野 圭吾
その日のまえに　重松 清
ナラタージュ　島本 理生
告白　町田康
ベルカ、吠えないのか？　古川日出男

県庁の星　桂望実
さくら　西加奈子
魔王　伊坂幸太郎

第２回　2005年

（大賞）『夜のピクニック』　恩田 陸
明日の記憶　荻原 浩
『家守綺譚』　梨木 香歩
袋小路の男　絲山 秋子
チルドレン　伊坂 幸太郎
対岸の彼女　角田 光代
犯人に告ぐ　雫井 脩介
黄金旅風　飯嶋 和一
私が語りはじめた彼は　三浦 しをん
そのときは彼によろしく　市川 拓司

第１回　2004年

（大賞）『博士の愛した数式』　小川 洋子
クライマーズ・ハイ　横山 秀夫
アヒルと鴨のコインロッカー　伊坂 幸太郎
永遠の出口　森 絵都
『重力ピエロ』　伊坂 幸太郎
『4TEEN』　石田 衣良
デッドエンドの思い出　よしもと ばなな
終戦のローレライ（上下）　福井 晴敏
陰摩羅鬼の瑕　京極 夏彦
ららら科學の子　矢作 俊彦

『このミステリーがすごい！』大賞の掲載書籍リスト

第１１回
生存者ゼロ（仮）　安生正
優秀賞　秘密結社にご注意を（仮）　新藤卓広
童石をめぐる奇妙な物語（仮）　深津十一

第１０回
大賞　懲戒弁護士　法坂一広
優秀賞　僕はお父さんを訴えます　友井羊
隠し玉　珈琲店タレーランの事件簿　また会えたなら、あなたの淹れた珈琲を　岡崎琢磨
保健室の先生は迷探偵　篠原昌裕
Sのための覚え書き　かごめ荘連続殺人事件　矢樹純
公開処刑人　森のくまさん　堀内公太郎

第９回
大賞　完全なる首長竜の日　乾緑郎
優秀賞　ラブ・ケミストリー　喜多喜久
ある少女にまつわる殺人の告白　佐藤青南

第８回
大賞　トギオ　太郎想史郎
　　さよならドビュッシー　中山七里
優秀賞　パチプロ・コード　伽古屋 圭市
隠し玉　もののけ本所深川事件帖　高橋由太
　死亡フラグが立ちました　七尾与史

第７回
大賞　屋上ミサイル　山下貴光（正続）
臨床真理　柚月裕子
優秀賞　毒殺魔の教室　塔山郁
霊眼　中村啓

第６回
大賞　禁断のパンダ　拓未　司
優秀賞　呪眼連鎖　桂　修司

隠し玉　林檎と蛇のゲーム　森川楓子

第５回
大賞　ブレイクスルー・トライアル　伊園　旬
優秀賞　シャトゥーンヒグマの森　増田俊成
当確への布石　高山聖史

第４回
大賞　チーム・バチスタの栄光　海堂　尊
特別奨励賞　殺人ピエロの孤島同窓会　水田美意子

第３回
大賞　果てしなき渇き　深町秋生
サウスポー・キラー　水原秀策

第２回
大賞　パーフェクト・プラン　柳原 慧
銀賞／読者賞　ビッグボーナス　ハセベバクシンオー

第１回
大賞　『四日間の奇蹟』　浅倉卓弥
銀賞／読者賞　逃亡作法―TURD ON THE RUN　東山 彰良
優秀賞　沈むさかな　式田ティエン
隠し玉　そのケータイはXX（エクスクロス）で

齋藤孝のおすすめブックリストの掲載書籍リスト

１．感動もの

『生きることの意味』　高史明
『苦海浄土』　石牟礼道子
『ドキュメント人間』　鎌田慧
『ある明治人の記録　会津人柴五郎の遺書』　石光真人編著
『開かれた小さな扉』　アクスライン
『わがいのち月明に燃ゆ』　林ただ夫
『ことばが劈かれるとき』　竹内敏晴
『時満ちくれば』　竹内敏晴
『からだとことばのレッスン』　竹内敏晴
『夜と霧』　フランクル
『看護婦の現場から』　向井承子
『葬式ごっこ　八年後の証言』　豊田充
『飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ』　井村和清

２．社会史

『文明化の過程』　エリアス
『刑吏の社会史』　阿部謹也
『フランソワ・ラブレーの作品と中世・ルネッサンスの民衆文化』　バフチーン
『楽園・味覚・理性』　シュベルブシュ

３．身体論関係

『整体法の基礎』　野口晴哉
『精神としての身体』　市川浩
『身の構造』　市川浩
『身体と感情の現象学』　シュミッツ
『胎児の世界』　三木成夫
『海・呼吸・古代形象』　三木成夫
『身体の宇宙誌』　鎌田東二
『五感』　セール
『精神のコスモロジーへ』　ミンコフスキー
『時間と自己』　木村敏
『ひき裂かれた自己』　レイン
『指圧療法』　増永静人
『フォーカシング』　ジェンドリン

『弓と禅』　ヘリゲル
『からだに貞（き）く』　野口三千三
『武道とは何か』　南郷継正
『知覚の現象学』　メルロ＝ポンティ
『眼と精神』　メルロポンティ
『世界の散文』　メルロポンティ

４．社会認識関係
『ユダヤ人問題によせて』　マルクス
『フォイエルバッハに関するテーゼ』　マルクス
『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』　ウェーバー
『日本の思想』　丸山真男
『「文明論之概略」を読む』　丸山真男
『現代政治の思想と行動』　丸山真男
『日本政治思想史研究』　丸山真男
『歴史とは何か』　カー
『戸坂潤全集第二巻』　戸坂潤
『史的システムとしての資本主義』　ウォーラーステイン
『レギュラシオン理論』　山田鋭夫
『伏（まつろ）わぬ人々アイヌ』　堀内光一
『バナナと日本人』　鶴見良行
『現代日本の思想　五つの渦』　久野収・鶴見俊輔
『人間の条件』　アーレント
『全体主義の起原』（３分冊）　アーレント
『自己のテクノロジー』　フーコー
『同性愛と生存の美学』　フーコー
『監獄の誕生ー監視と処罰』　フーコー
『性の歴史』　フーコー
『狂気の歴史』　フーコー
『言葉と物』　フーコー
『ピエール・ブルデュー超領域の人間学』
『シャドウ・ワーク』　イリイチ
『しんきらり』　やまだ紫
小田実　岩波新書のどれか
『共同幻想論』　吉本隆明
『人生のドラマトゥルギー』　栗原彬
『政治の詩学』　栗原彬

『やさしさのゆくえ＝現代青年論』　栗原彬
『都市という廃墟』　松山巌
『砦に拠る』　松下竜一
『東京漂流』　藤原新也
『印度放浪』　藤原新也
『豊かなアジア貧しい日本』　中村尚司
『明治大正史世相篇』　柳田國男
『忘れられた日本人』　宮本常一
『家郷の訓』　宮本常一
『天皇制と被差別部落』　上杉聰

５．人間学
『この人を見よ』　ニーチェ
『呪われた部分』　バタイユ
『沈黙の世界』　ピカート
『余暇と祝祭』　ピーパー
『十牛図　自己の現象学』　上田閑照
『ホモ・ルーデンス』　ホイジンガ
『かたちと力』　ルネ・ユイグ
『瞑想』　ラジニーシ
『我と汝／対話』　ブーバー
『マゾッホとサド』　ドゥルーズ
『イエスという男』　田川建三
『ソシュールの思想』　丸山圭三郎
『水と夢』　バシュラール
『空と夢』　バシュラール
『攻撃』　ローレンツ
『メビウス身体気流法』　坪井繁幸
『私の人生観』　小林秀雄
『道元の読み方』　栗田勇
『「いき」の構造』　九鬼周造
『中井正一評論集』　中井正一
『心より心に伝ふる花』　観世寿夫

６．映画関係
『友よ映画よ　わがヌーヴェルヴァーグ誌』
『映画に目が眩んで』　蓮實重彦

『監督小津安二郎』　蓮實重彦（小津では『東京物語』と『浮草』が好き）

７．教育関係

『教育の窓をあけませんか』　室田明美

『ミュンヘンの中学生』　子安美知子

『教育芸術1，2』　シュタイナー

『いかにして超感覚的世界の認識を獲得するか』　シュタイナー

『伝達か対話か』　フレイレ

『理解のおくれの本質』　村瀬学

『＜子供＞の誕生』　エリアス

『異文化としての子ども』　本田和子

『新エミール』　毛利子来

『饗宴』　プラトン

『パイドーン』　プラトン

『太陽の子』　灰谷健次郎

８．心理学関係

『精神分析入門』　フロイト

『エロスとタナトス』　ブラウン

『精神病』　ラカン

『幼児期と社会』　エリクソン

『素足の心理療法』　霜山徳爾

『人間の詩と真実』　霜山徳爾

『精神科診断面接のコツ』　神田橋條治

『自由からの逃走』　フロム

『ものぐさ精神分析』

『青年期』　笠原嘉

『失われた私』　シュライバー

９．小説

『知られざる傑作』　バルザック

『ドン・キホーテ』　セルバンテス

『デミアン』　ヘッセ

『ジャン・クリストフ』　ロマン・ロラン

『存在の耐えられない軽さ』　クンデラ

『微笑を誘う愛の物語』　クンデラ

『スタンド・バイ・ミー』　スティーブン・キング

『山の音』　川端康成
『千羽鶴』　川端康成
『掌の小説』の中の「火に行く彼女」　川端康成
『新しい人よ眼ざめよ』　大江健三郎
『人生の習慣』　大江健三郎
『枯木灘』　中上健次
『十九歳の地図』　中上健次
『千年の愉楽』　中上健次
『白痴』　ドストエフスキー
『カラマーゾフの兄弟』　ドストエフスキー
『長距離走者の孤独』　シリトー
『フラニーとゾーイー』　サリンジャー
『かもめ』　チェーホフ
『デカメロン』　ボッカチオ
『パンタグリュエル物語』　ラブレー
『江戸川乱歩集』
『紫苑物語』　石川淳
『草枕』　夏目漱石
『O.ヘンリー短編集』
『百年の孤独』　マルケス
『族長の秋』　マルケス
『悪童日記』　クリストフ
『ゲド戦記』　ル・グウィン
『プラトーノフ作品集』　プラトーノフ
『宮沢賢治詩集』　宮沢賢治
『春と修羅』　宮沢賢治
『タクシー狂躁曲』　梁石日
『タクシードライバー日誌』　梁石日（映画『月はどっちにでている』の原作）

１０．漫画関係
『カムイ伝』　白土三平
『龍（ロン）』　村上もとか
『BE FREE』　江川達也
『風呂上がりの夜空に』　小林じん子
『河よりも長くゆるやかに』　吉田秋生
『イグアナの娘』　萩尾望都
『サンクチュアリ』　史村翔・池上遼一

『遥かなる甲子園』　山本おさむ
『まんだら屋の良太』　畑中純
『行け！稲中卓球部』　古谷実
『すすめパイレーツ』　江口寿史
『マスターキートン』　浦沢直樹
『ギャンブル・レーサー』　中崎タツヤほか

１１．全体主義について
『一九八四年』　オーウェル
『「近代」の意味」』　桜井哲夫
『ある憲兵の記録』　朝日新聞社山形支局（映画『フルメタル・ジャケット』）
『白バラは散らず』　ショル（映画『無防備都市ローマ』）
『全体主義の時代経験』　藤田省三

１２．随筆他
内田百けんの随筆　旺文社文庫の旧仮名
『人間的時間の研究』　プーレ
『物語／破局論』　井口時男
『グルダの真実』　グルダ
『セザンヌ』　ペリュショ
『侯孝賢』　朝日ワンテーママガジン
『俺様の宝石さ』　浮谷東次郎
『若き数学者のアメリカ』　藤原正彦
『堕落論』　坂口安吾

『山椒魚戦争』カレル・チャペック(著)の掲載書籍リスト

＜ブックガイド＞

１．チャペックと東欧の想像力
　チャペック　『ロボット』　ロボットと魔法使いとミステリー
　ストルガツキー　『ストーカー』　未知なるものに翻弄される人間たち
　レム　『ソラリスの陽のもとに』　宇宙の賢者か悪魔の海か
　エレンブルグ　トラストDE　ヨーロッパ滅亡、請け負います
　クリストフ　悪童日記　恐るべき聖双生児の物語

２．ディストピアの悪夢
　バージェス　時計じかけのオレンジ　暴力より恐い、強制的平和主義
　ヴォネガット　プレイヤー・ピアノ　機械社会の疾患をユーモアで描きだす
　ブラッドベリ　華氏４５１度　書物が禁止された未来を描く名作SF
　エリクソン　黒い時計の旅　ポルノ作家が歴史を変える
　デフォー　『ロンドン・ペストの恐怖』　死の街で生きる人々の生命力　（地球人ライブラリー）

３．異質な知性との遭遇
　メルル　イルカの日々　身近にいる知性体に、人類はどう接するのか
　キイス　アルジャーノンに花束を　向上した知性が生むアイロニー
　シェリー　フランケンシュタイン　人間が作り出す、歪んだ知的生命の悲劇
　アシモフ　聖者の行進　ロボットを通して問う人間の本質
　河合雅雄　サルからヒトへの物語　知性発生の原点を類人猿の研究に求める

（小学館　地球人ライブラリー）
ミイラ医師シヌヘ　恐竜探検記　三国志英雄伝　ロンドン・ペストの恐怖　高安犬物語／爪王
第四次元の小説
世界最悪の旅　山椒魚戦争　外科の夜明け　緑の魔界の探検者　ロスト・ワールド　強力伝／凍傷　ハリケーン
ジャック・ロンドン放浪記　西域記ー玄奘三蔵の旅　ダブ号の冒険　アシモフの科学者伝　月と六ペンス
ボイドー星の方舟　古代への情熱　東方見聞録　科学の日本史

『賢人の読書術』成毛眞(他著)の掲載書籍リスト

１．成毛眞推薦本
『社員をサーフィンに行かせよう』　イヴォン・シュイナード　パタゴニア創業者
『コンテナ物語』　マルク・レビンソン　運輸革命
山動く　パゴニス　パゴニス中将の自伝　リーダー論
もしも宮中晩餐会に招かれたら　渡辺誠　楽しい
新版　馬車が買いたい！　鹿島茂　リッチな時間
『積みすぎた箱舟』　ジェラルド・ダレル　アフリカで
『ご冗談でしょう、ファインマンさん』　楽しめる
『あなたのために　いのちを支えるスープ』　辰巳芳子
ローマ人の物語　塩野七生　オススメは４巻、５巻（カエサル）

２．松山真之助推薦本
なぜ、あの人の周りに人が集まるのか？　志賀内泰弘
マグロ船仕事術　齊藤正明
ストーリーとしての競争戦略　楠木建
壁を越えられないときに教えてくれる一流の人のすごい考え方　西沢泰生
首長パンチ　樋渡啓祐　武雄市長
人生に悩んだら「日本史」に聞こう　ひすいこたろうほか
おいべっさんと不思議な母子　喜多川泰
未来記憶　池田貴将　感情のコントロール
選択日記　シーナ・アイエンガー　選択のコツ

３．藤井孝一推薦本
プロフェッショナルの条件　ドラッカー
ビジネススキル・イノベーション　横田尚哉
企業参謀　大前研一　ビジネス書の原点
道は開ける　カーネギー
ホワンの物語　成功するための５０の秘密　ペトロ
夢をかなえるゾウ２　ガネーシャと貧乏神　水野敬也
ハイコンセプト　ダニエル・ピンク
アイデアのちから　チップ・ハースほか
『夢を実現する発想法』　山中　川口

４．中島孝志推薦本
竹中式　イノベーション仕事術

思考力の磨き方　日下公人
新・国富論　グローバル経済の教科書　浜
なぜこんなに生きにくのか　南直哉
死の壁　養老孟司
田舎暮らしに殺されない法　丸山健二
日本人が知らない世界と日本の見方　中西輝政
長沼さん、エイリアンって地球にもいるんですか？　長沼毅
イスラム飲酒紀行　高野秀行

『ダ・ヴィンチ　2013.4号』の掲載書籍リスト

１．１００人１００様「本」を贈る

1　こびとずかん　なばたとしたか
2　からすのパンやさん
3　世界の城　アマナイイメージズ
4　ONE PIECE
5　スラムダンク完全版
6　初版　グリム童話集　白水Uブックス
7　（～ベストセレクション
8　散歩のとき何か食べたくなって　池谷正太郎
9　よりぬきサザエさん
10　山口一郎　アタゴオル玉手箱　ますむらひろし
11　桜庭一樹　おばあさんになった女の子は、エスカルゴの夜明け、マイマイとナイナイ
12　池田暁子　笑い飯　徹夫訳　般若心経
13　生駒里奈　SKET DANCE
14　犬山紙子　新編　銀河鉄道の夜
15　岩井志麻子　ももたろう　松居直
16　染谷将太　パンドラの匣
17　宇野亜喜良　ジョン・マン　山本一力
18　大橋裕之　地球　加古里子
19　押切蓮介　『原因と結果の法則』
20　河原和音　浜田廣介　童話集、ないた　あかおに
21　川上未映子　タラチネ・ドリーム・マイン　雪舟えま
22　越谷オサム　小学館の図鑑NEO+　くらべる図鑑
23　酒井駒子　ねえ、どれがいい？　バーニンガム
24　篠崎愛　ぐりとぐら
25　眞藤順〇　ギャシュリークラムのちびっ子たち
26　樋口毅宏　人間臨終図巻　山田風太郎
27　水道橋博士　非道に生きる　園子温
28　高橋みどり　往復書簡　カメオのピアスと桜えび
29　棚橋弘至　永遠の０　百田尚樹
30　東芋　山とそば　ほしよりこ
31　名久井直子　阿部完市句集
32　初野晴　秘密基地の作り方
33　平松洋子　イニュニック　星野道夫

34　pha　『暇と退屈の倫理学』　国分功一郎
35　平山夢明　ブレイブ　マクドナルド、町でいちばんの美女、平気でうそをつく人たち　ペック
36　ほしよりこ　鬼龍院花子の生涯
37　細川〇〇　ペツェッティーノじぶんをみつけたぶぶんひんのはなし　レオニ
38　雅姫　PURE STYLE Cumberbatch
39　増子直純　堕落論
40　米沢穂信　『３万冊を救ったアーリヤさんの大作戦』
41　ワカマツカオリ　プラネタリウムのふたご　いしいしんじ
42　掟ポルシェ　写真集　野村沙知代、月亭可朝の「ナニワ博打八景」、人妻人形・アイ
43　渡辺ペコ　ニートの歩き方
44　Julie Watai　AKIRA　6FYM才1-
45　若林正恭　赤めだか
46　堺雅人　映画の演技　マイケル・ケイン
47　竹山　人生に、寅さんを。名言集
48　鳥居　いちばんここに似合う人　ジュライ
49　島尾伸三　図説　死因百科　ラルゴ
50　しまおまほ　春山町サーバンツ（１）

２．ブクブク交換

1　愛と命と魂と　玄秀盛
2　人間仮免中
3　新装版　わたしが・棄てた・女
4　世界しあわせ紀行　ワイナー
5　新宿考現学　深作光貞
6　愛しのチロ　荒木
7　1001 Ways To Make Love Kupferberg
8　世界で一番美しい病気　中島らも
9　『絵と言葉の一研究』　寄藤
10　愛されるアイデアのつくり方　鹿毛
11　歌舞伎町のミッドナイト・フットボール
12　鉄道員　浅田次郎
13　虎がにじんだ夕暮れ　山田
14　閉じた本　アデア
15　『世界一の映画館と日本一のフランス料理店を山形県酒田につくった男はなぜ忘れ去られたのか』　岡田芳郎

16　漢字を覚える鉄道ドリル　新幹線編

３．本読みたちの手放したくない一冊

1　歩りえこ　何でも見てやろう
2　安藤美冬　1,000 Places to See Before You Die（３分冊）
3　石井ゆかり　阿部謹也自伝
4　石川美南　ライオンの皮をまとって
5　市川真人　こどもと絵で話そう　ミッフィーとフェルメールさん
6　一志治夫　誕生日の子どもたち　カポーティ
7　上杉隆　赤と黒
8　上野千鶴子　いのちの女たちへ　とり乱しウーマン・リブ論
9　海猫沢めろん　虚数の情緒
10　大森望　海へ出るつもりじゃなかった　アーサー・ランサム全集７
11　荻上チキ　ブエノス・ディアス、ニッポン
12　乙武洋〇　『夜と霧』
13　金原瑞人　山尾悠子作品集
14　唐沢俊一　闇に葬れ　SFホラーミステリ
15　北尾トロ　マンハッタン少年日記
16　北川悦吏子　中国行きのスロウ・ボート　村上春樹
17　木村綾子　愛がなんだ　角田光代
18　清川あさみ　死ぬ気まんまん　佐野洋子
19　蔵前仁一　ビューティフル・マインド
20　呉智英　新装版　虚無への供物　中井英夫　ミステリ
21　小松成美　金閣寺　世界一美しい小説
22　斎藤環　光車よ、まわれ！　ダークファンタジー
23　佐々木敦　懐中時計　小沼丹
24　佐藤可士和　四季・谷内六郎
25　辛酸なめ子　好き？好き？大好き？　レイン
26　DaiGo　新装版　人を動かす　カーネギー
27　武田双雲　はじめての選択理論　人間関係をしなやかにするたったひとつのルール
28　俵万智　子どもへのまなざし（正続完）　佐々木正美
29　ダ・ヴィンチ恐山　ダンシング・ヴァニティ　筒井康隆
30　津田大介　イノセント・ゲリラの祝祭　海堂尊
31　中江有里　リアル・シンデレラ　姫野カオルコ
32　中野信子　ほしのはなし　北野武
33　夏目房之介　漱石書簡集

34　速水健朗　甲賀忍法帖　山田風太郎ベストコレクション　角川文庫
35　東雅夫　こっそり　どこかに　軽部武宏
36　藤本由香里　番茶菓子　現代日本のエッセイ　幸田文
37　前田忠明　鬼の跫音　道尾秀介
38　枡野浩一　どれも特別な一日　谷郁雄
39　森健　母なる夜　カート・ヴォネガット・ジュニア
40　森永卓郎　新装版　わたしが・棄てた・女　遠藤周作
41　森本智子　アルケミスト
42　湯川れい子　高砂淳二写真集　虹の星
43　吉田豪　俺勝新太郎
44　渡辺真由子　あなた、それでも裁判官？

『刑務所なう。』堀江貴文(著)の掲載書籍リスト

書評ベスト１５０
1　蹴りたい背中　綿矢りさ
2　青春の梯　高任和夫
3　漆の実のみのる国　藤沢周平
4　とんび　重松清
5　明日香の皇子　内田康夫
6　JIN　仁　村上もとか
7　ご先祖様はどちら様　高橋秀実
8　義男の空　マンガ　エアーダイブ
9　アナーキー・イン・ザ・JP　中森明夫
10　運命の人　山崎豊子
11　江戸のお金の物語　鈴木浩三
12　たそがれ清兵衛　藤沢周平
13　告白　湊かなえ
14　鈴木先生　マンガ　武富健治
15　電波の城　細野不二彦
16　病気の日本近代史　湊郁彦
17　日輪の遺産　浅田次郎
18　天地明察　沖方丁
19　『あかね空』　山本一力
20　ゴーダ哲学堂　空気人形　マンガ　業田良家
21　ROOKIES　マンガ　森田まさのり
22　『東京タワー　オカンとボクと、時々、オトン』　リリー・フランキー
23　この国の「問題点」　続・上杉隆の４０字で答えなさい　上杉隆
24　山本耳かき店　マンガ　安倍夜郎
25　パーマネント野ばら　マンガ　西原理恵子
26　憂国のラスプーチン　マンガ　佐藤優
27　バガボンド　マンガ　井上雄彦
28　ドキュメント東京電力　田原総一朗
29　深夜食堂　マンガ　安倍夜郎
30　う　マンガ　ラズウェル細木
31　武士の家計簿　映画
32　三陸海岸大津波　吉村昭
33　累犯障害者　山本譲司
34　自殺島　マンガ　森恒二

35　漫画家失格　マンガ　市橋俊介
36　星守る犬　マンガ　村上たかし
37　ママはテンパリスト　マンガ　東村アキコ
38　最初のオトコはたたき台　林真理子
39　私の履歴書　経済人（２）
40　劇画漂流　マンガ　辰巳ヨシヒロ
41　午前３時の無法地帯　マンガ　ねむようこ
42　この世界の片隅に　マンガ　こうの史代
43　自由が丘の櫻恋　マンガ　吉野信吾
44　光と影　渡辺淳一
45　獄窓記　山本譲司
46　空港にて　村上龍
47　ゴーダ哲学堂　マンガ　業田良家
48　神様のカルテ　マンガ　夏川草介
49　ソーシャル・ネットワーク　映画
50　宇宙のしくみ　佐藤文隆
51　帰らざる季節（シーズン）　吉井妙
52　気まぐれコンセプトクロニカル　マンガ　ホイチョイ・プロダクションズ
53　アイアムヒーロー（１）～（６）　マンガ　花沢健吾
54　バクマン。　マンガ　大場つぐみ
55　東京都北区赤羽　マンガ　清野とおる
56　About a boy 映画
57　逐条解説　刑事収容施設法　林眞琴ほか
58　海猿　マンガ　佐藤秀実峰
59　うさぎドロップ　マンガ　宇仁田ゆみ
60　砂の栄冠　マンガ　三田紀房
61　悪人　吉田修一
62　レディー・ガガのすべて　モーリーン・キャラハン
63　このマンガがすごい！　２０１１
64　デスノート　マンガ　大場つぐみ
65　IS マンガ　六花チヨ
66　ムショ医　マンガ　佐藤智美
67　お前の1960年代を、死ぬ前にしゃべっとけ！　加納明弘ほか
68　きらきらひかる　マンガ　郷田マモラ
69　クロカン　マンガ　三田紀房
70　キューティ・ブロンド　映画
71　TRON　映画

72　家族力　山本一力
73　リーマン侍　江戸語の世渡り　野火迅
74　カレチ　マンガ　池田邦彦
75　トリバコハウス　マンガ　宇仁田ゆみ
76　国防論　マンガ　小林よしのり
77　マンガ家よゐよゐ　マンガ　なかはらももた
78　運命の鳥　マンガ　高橋留美子
79　商社マンは今日も踊る　小田ピンチ
80　We are 宇宙兄弟 Vol.4
81　１００年たったらみんな死ぬ　マンガ　松田奈緒子
82　僕の小規模な生活　マンガ　福満しげゆき
83　痔ろう闘病記　マンガ　嶋田健
84　エンゼルバンク　マンガ　三田紀房
85　サマヨイザクラ　マンガ　郷田マモラ
86　どげんせん　マンガ　板垣恵介
87　乙嫁語り　マンガ　森薫
88　二重らせん　ワトソン
89　さよならもいわずに　マンガ　上野顕太郎
90　進撃の巨人　マンガ　諌山創
91　オーミ先生の微熱　マンガ　河内遥
92　だからテレビに嫌われる　堀江貴文、上田隆
93　最強、最速！　オンプレーン打法　マンガ　江連忠
94　放課後ゴルフ倶楽部　上杉隆
95　ハナムラさんじゅっさい　マンガ　ハナムラ
96　極道めし　マンガ　土山しげる
97　ロッカク　マンガ　見ル野栄司
98　チュウチュウカナッコ　マンガ　あらいあきら
99　関根くんの恋　マンガ　河内遥
100　キングダム　マンガ　原泰久
101　CHPLIN　映画
102　報道災害【原発編】　上杉隆ほか
103　チャンネルはそのまま！　マンガ　佐々木倫子
104　CAとお呼びっ！　マンガ　花津ハナヨ
105　どうらく息子　マンガ　尾瀬あきら
106　大河ドラマの５０年　鈴木嘉一
107　拝金（マンガ版）２　マンガ　堀江貴文
108　HER　マンガ　ヤマシタトモコ

109　うちの妻ってどうでしょう？　マンガ　福満しげゆき
110　前略。農家、はじめました。　斎藤融
111　新・鉄子の旅　マンガ　ほあしかのこ
112　緑側ごはん　マンガ　河内遥
113　陽はまた昇る　映画
114　フォレスト・ガンプ　映画
115　阿房列車　マンガ　内田百閒
116　グラゼニ　マンガ　森高夕次
117　森山中教習所　マンガ　真造圭伍
118　日本人がグローバル資本主義を生き抜くための経済学入門　藤沢数希
119　フリー雀荘最強伝説萬ONE　マンガ　本そういち
120　彼女のひとりぐらし　マンガ　玉置勉強
121　とろける鉄工所　マンガ　野村宗弘
122　夏雪ランデブー　マンガ　河内遙
123　SPACE BATTLESHIP ヤマト　映画
124　天皇陵の謎　矢澤高太郎
125　おたんこナース　マンガ　佐々木倫子
126　僕たちは美しく生きていけるのだろうか。　茂木健一郎
127　どうやらオレたち、いずれ死ぬっつーじゃないですか　リリー・フランキーほ
128　あたしンち（１７）　マンガ　けらえいこ
129　風雲児立ち　幕末編　マンガ　みなもと太郎
130　国家の恥　一億総洗脳化の真実　上杉隆
131　宇宙は”地球”であふれている　井田茂ほか
132　みかこさん　マンガ　今日マチ子
133　ハイ・クライムズ　映画
134　『一般意志2.0』　東浩紀
135　中国嫁日記　マンガ　井上純一
136　赤い花束　マンガ　高橋留美子
137　戦場のピアニスト　映画
138　鉄道未完成路線を往く　草町義和
139　美人プロゴルファーの「危ない噂」
140　東京R不動産２　東京R不動産
141　劇的にスコアが伸びる！　打ち方、攻め方、考え方
142　PLANETS SPECIAL 2011 夏休みの終わりに　宇野常寛ほか
143　ロケットボーイズ（上下）　ホーマー・ヒッカム・ジュニア
144　惡の華　マンガ　押見修造
145　まんがで読破　三国志　マンガ

146　僕はビートルズ　マンガ　かわぐちかいじ
147　明日があるさ　映画
148　Two Weeks Notice　映画
149　塔の上のラプンツェル　映画
150　最後の忠臣蔵　映画

『私が愛する１０冊』月刊「本の窓」(2010年9・10月合併号)の掲載書籍リスト

池内了　天文物理学者
シン　ビッグバン宇宙論
グリーン　宇宙を織りなすもの　時間と空間の正体
グリック　カオス　新しい科学をつくる
ローズ　原子爆弾の誕生
藤永　ロバート・オッペンハイマー　愚者としての科学者
フォーティ　生命４０億年史
デズモンド　ダーウィンが信じた道　進化論に隠されたメッセージ
ダイアモンド　銃・病原菌・鉄
スウィフト　ガリヴァー旅行記
ブレヒト　ガリレイの生涯

石田千　エッセイスト
吉田秋生　蝉時雨のやむ頃　小学館フラワーコミックス
種村　徘徊老人の夏
種村　謎のカスパール・ハウザー
草森　子供の場所
田村　彷書月刊編集長
熊田　野の小さな花たち
マンガレリ　しずかに流れるみどりの川
水上　精進百撰
宇野　私の長生き料理
石井　双子座

小川洋子　作家
フランク　アンネの日記
ダガン　宮廷の道化師たち
藤原　流れる星は生きている
オースター　ナショナル・ストーリー・プロジェクト
グラス　ブリキの太鼓
アーヴィング　ホテル・ニューハンプシャー
ヴィアン　うたかたの日々
サリンジャー　ナイン・ストーリーズ
須賀　ミラノ　霧の風景
武田　富士日記

奥本大三郎　フランス文学者
手塚治虫　ジャングル大帝
樺島　正チャンの冒険
山川　少年ケニヤ
中国古典文学全集３２
徳富健次郎　みみずのたはこと
ホワイト　セルボーンの博物誌
ギッシング　ヘンリ・ライクロフトの私記
ルナール　博物誌
モーパッサン　モーパッサン短編集
バルザック　ゴリオ爺さん

樺山紘一　歴史学者
和辻　風土
梅棹　文明の生態史観
ブルクハルト　イタリア・ルネサンスの文化
ホイジンガ　中世の秋
松尾芭蕉　芭蕉　おくのほそ道
柳田国男　遠野物語
カント　純粋理性批判
ヘーゲル　精神現象学
網野　無縁・公界・楽
阿部謹也　中世を旅する人びと

神沢利子　児童文学作家
リルケ　若き詩人への手紙　若き女性への手紙
ロダン　ロダンの言葉
アルセーニエフ　世界探検旅行全集１０　ウスリー紀行
金関　魔法としての言葉　アメリカ・インディアンの口承詩
ハルヴァ　シャマニズム　アルタイ系諸民族の世界像
宮澤　銀河鉄道の夜
まど　まど・みちお全詩集
坂田　坂田寛夫詩集
永瀬　永瀬清子詩集
中沢新一　精霊の王

清川妙　作家
萩谷朴　枕草子解環
伊藤博　萬葉集釋注
吉田兼好　新潮日本古典集成　徒然草
吉川幸次郎　新唐詩選　岩波新書
安東次郎　日本詩人選１８　与謝野蕪村
高野公彦　北原白秋歌集
小川未明　小川未明童話集
アンデルセン　アンデルセン自伝　わが生涯の物語
モンゴメリ　赤毛のアン　赤毛のアンシリーズ１
モンゴメリ　険しい道　モンゴメリ自叙伝

黒田杏子　俳人
飯田龍太　隆太語る
鶴見俊輔　もうろく帖（いつも新しい思想家）
ガール　チボー家の人々
岩立晶子　ビンゴとボンゴ
池内紀　祭りの季節
近藤道生　不期明日　私の履歴書
川端善明　聖と俗　男と女の物語　今昔物語新修
小田実　河
マキーヌ　フランスの遺言書
一遍上人語録　岩波
斎藤環　精神科医
天沢　光車よ、まわれ！
後藤竜二　地平線の五人兄弟
長崎源之助　ゲンのいた谷
砂田弘　東京のサンタクロース
大石真　教室二〇五号
古田足日　宿題ひきうけ株式会社
山中恒　ぼくがぼくであること
神沢利子　銀のほのおの国
宮澤賢治　ポラーノの広場
ヤンソン　ムーミンパパの想い出

原武史　政治学者
武田百合子　富士日記

内田百聞　第一阿房列車
寺田寅彦随筆集
摘録　断腸亭日乗
高見順　敗戦日記
ルソー　孤独な散歩者の夢想
ミル　自由論
桐野夏生　OUT
松本清張　神々の乱心

『おかしな本棚』クラフト・エヴィング商會(著)の掲載書籍リスト

１．ある日の本棚

時間がかかる読書　宮沢章夫
本は読めないものだから心配するな　管啓次郎
山東京傳全集　第１巻　銭湯に通うような気分
パンドラの匣　太宰治　河北新報社
The Crying of Lot 49 Thomas Pynchon
阿蘭陀すてれん　鳴神五郎
阿蘭陀すてれん　都筑道夫
夷斎筆談　夷斎〇言　石川淳
The Symposium Plato
耳ラッパ　レオノーラ・キャリントン
Woman's World Graham Rawle
うつくしく、やさしく、おろかなり　杉浦日向子　何度も
The Liberty Zoran Zivkovic
神戸青春街図　有文社
僕的京都案内　松山猛
魂の形について　多田智満子
ある小さなスズメの記録　クレア・キップス
なやまない　田中小実昌
琵琶法師　兵藤裕己　岩波新書　DVDに琵琶弾きの語りが収録
七時間半　獅子文六
お家賃ですけど　能町みね子
イギリスを泳ぎまくる　ロジャー・ディーキン
デカルトの骨　ラッセル・ショート
二年間の休暇　ベルヌ　読むのがもったいない。

２．森の奥の本棚

渡辺一夫著作集１１　遇感集　中巻
石川淳集　柴沢龍彦編
温泉　池内紀
土星の環　ゼーバルト
私は街を歩いた　串田孫一
夜明けのランプ　結城信一

北八ッ彷徨　小村雪岱
山居俗情　岩本素白
スウィス日記　辻村伊助
高原と峠をゆく　田中冬ニ
鳥料理レエヌ・ペオドク亭　アナトオル・フランス長編小説全集２
本棚の前の椅子　福原麟太郎
耳たぶに吹く風　天野忠
我が感傷的アンソロジイ　天野忠
パンツの神様　藤富保男
Henri Cartier-Bresson
若い小説家に宛てた手紙　バリガス＝リョサ
渡り歩き　岩田宏
アリストス　ジョン・ファウルズ
ブタペストの古本屋　徳永康元
リヒテル　ブリューノ・モンサンジョン

３．金曜日の夜の本棚

町かどのジム　エリノア＝ファージョン
車のいろは空のいろ　あまんきみこ
金曜日の本　ジョン・バース
ぼくは散歩と雑学が好きだった。　小西康陽のコラム　1993-2008
銀幕の東京　川本三郎
焼き餃子と名画座　わたしの東京　味歩き　平松洋子
犬は吠える　トルーマン・カポーティ
琥珀捕り　キアラン・カーソン
愛についてのデッサン　野呂邦暢
猫を抱いて象と泳ぐ　小川洋子
ブンとフン　井上ひさし
スコッチと銭湯　田村隆一
名曲決定版（上下）　あらえびす
書架記　吉田健一
ゲイルズバーグの春を愛す　ジャック・フィニィ
あなたに似た人　ロアルド・ダール
お菓子と麦酒　モーム
フラニーとゾーイー　野崎孝訳
少年の行動　片岡義男

シルトの岸辺　ジュリアン・グラック
冬の夜ひとりの旅人が　イタロ・カルヴィーノ
これでおあいこ　ウディ・アレン
愛と笑いの夜　ヘンリー・ミラー
ゼロ発信　赤瀬川原平
スヌーピーおん大将　チャールズ・M・シュルツ　谷川俊太郎訳
わたしのマトカ　片桐はいり
笑う茶碗　南伸坊
三つの小さな王国　スティーヴン・ミルハウザー
ハザール事典　ミロラド・パヴィッチ

４．美しく年老いた本棚

京都史話　魚澄惣五郎
柿の種　寺田寅彦　小山書店
音楽の形式と楽器の編成　三島喜代造
雨を降らせる話　東晃　岩波新書
星の降る夜の物語　吉行淳之介
月光都市　武田泰淳
年を歴た鰐の話　レオポール・ショヴォ
野の百合・空の鳥　キェルケゴール
赤い死の舞踏會　エドガア・アラン・ポオ
珈琲記　井上誠
U新聞年代記　上司小剣
ベートーヴェンの会話帳　関清武
サザエさん　第２巻　長谷川町子
巴里の空の下オムレツのにおいは流れる　石井好子
東京の〇間　寺崎浩
夏歴　上林暁
お茶漬の味　他　小津安二郎ほか
ガルガンチュワ大年代記　フランソワ・ラブレー　渡辺一夫訳

５．年齢のある本棚

東海道四谷怪談　四世鶴屋南北　新潮日本古典集成
つむじ風　梅崎春生
むかしの仲間　久保田万太郎

青空　バタイユ　天沢退二郎訳
フローベール全集５　筑摩書房
春琴抄　谷崎潤一郎
現代落語論　立川談志
パニック　開高健
飯待つ間　正岡子規随筆選
桜の森の満開の下　坂口安吾
飛ぶ教室　ケストナー
普賢　石川淳
魔都　久生十蘭
木曜の男　チェスタトン　吉田健一訳
踊る地平線　谷譲次
小説ドラマ　フィリップ・ソレルス
外套　ゴーゴリ　児島宏子訳
遅刻抄　山室静
彼女と彼　ジョルジュ・サンド
空気頭　藤枝静男
可否道　獅子文六
吸血姫　唐十郎
ナンセンス詩人の肖像　種村季弘

６．蜂の巣のある本棚

KING HENRY VI PART III
THE TWO GENTLEMEN OF VERONA
THE MERRY WIVES OF WINDSOR
ルネッサンス巷談集　フランコ・サケッティ　杉浦明平訳
シルヴェストル・ボナールの罪　アナトール・フランス　伊吹武彦訳
李長吉歌詩集　上下
ユダヤ人のブナの木　ドロステ＝ヒュルスホフ
千家元麿詩集
青い花　ノヴァーリス
浮城物語　矢野龍渓
化学の学校　オストワルド
極楽とんぼ　里見弴
連環記　幸田露伴
エリア随筆　ラム

アンデルセン童話集（五）　大畑末吉訳
断想　ジンメル　清水幾太郎訳
がリヴァの航海　スウィフト　野上豊一郎訳
蜜蜂のつぶやき　エリセ
蜂の本質について　ヒダルイーノ
蜂蜜盗人　三嶋廣
蜂　アリストパネース
蜂変化花魁鉢之巻　花川戸六助
完訳　鉢國志　毛天仙　王蘭堂篇

７．遠ざかる本棚

ZZZ　岸本佐知子　三浦しをん
フィネガン徹夜祭　ジェイムズ・ジョイス　鈴木幸夫訳
死霊　植谷雄高
年年歳歳　安藤鶴夫
イーハトヴ童話　注文の多い料理店　宮澤賢治
幽霊　北杜夫
Finnegans Wake James Joyce
来るべき書物　モーリス・ブランショ

８．見知らぬ本棚

ナジャ　アンドレ・ブルトン　稲田三吉訳
エペペ　カリンティ・フェレンツ　池田雅之訳
テスケレ　ルーチョ・チェーヴァ
不可思議術
二十五鬼物語　泉芳〇〇
萬国不思議研究會教授書（上中下）
THE CHINESE UNICORN
窓のうちそと　清水一
私の建築事典
ヴェネツィアの宿　須賀敦子
将棋文化史　山本〇介
山城少〇聞書　茶谷半次郎
小川香料時報　第十三巻　昭和十五年小川香料店
小川香料時報（雑誌バラ）

９．波打ち際の本棚

都響新繁盛記　服部誠一
吉野大夫　後藤明生
ビートルズ海賊盤事典　松本常男
ashes and snow 手紙で綴られた小説　Gregory Colbert
無名氏の手記　長谷川四郎
華國風味　青木正兒
ロシヤ年代記　除村吉太郎訳
PARIS out of hand Karen Elizabeth Gordon
月刊ポエム　特集つげ義春
すぐそこの遠い場所　クラフト・エヴィング商會
天狗論　井上圓了
遠方で時計が遅れる　稲垣足穂
日本三大洋食考　山本嘉次郎
夢はいつだってここにある　デレク・ハートフィールド

１０．変身する本棚

変身　カフカ　川崎芳隆訳　旺文社文庫
変身　フランツ・カフカ　中井正文訳　角川文庫
変身　カフカ　山下肇訳　岩波文庫
変身　カフカ　高橋義孝訳　新潮文庫

１１．兄の本棚・弟の本棚

慶応三年生まれ七人の旋毛曲り　坪内祐三
明治文學遊學案内　坪内祐三編
文学を探せ　坪内祐三
文藝春秋八十年傑作選　坪内祐三編
後ろ向きで前へ進む　坪内祐三
饗庭〇村　明治の文学第１３巻　坪内祐三編集　筑摩書房
エドウィン・マルハウス　スティーヴン・ミルハウザー　岸本佐知子訳
灯台守の話　ジャネット・ウインターソン　岸本佐知子訳
ねにもつタイプ　岸本佐知子
話の終わり　リディア・デイヴィス　岸本佐知子訳

原稿零枚日記　小川洋子
海　小川洋子
沈黙博物館　小川洋子
浦島太郎の文学史　三浦祐之
ビロウな話で恐縮です日記　三浦しをん
木暮荘物語　三浦しをん
光　三浦しをん
天国旅行　三浦しをん

１２．頭を真っ白にするための本棚

糖尿病S氏の豊かな食卓　坂本素行
どこにもない都市・どこにもない書物　清水徹
絵本ジョン・レノンセンス　ジョン・レノン
JOHN LENNON IN HIS OWN WRITE JOHN LENNON
A SPANIARD IN THE WORKS JOHN LENNON
神戸・続神戸・俳愚伝　西東三鬼
ゼンダ城の虜　野田秀樹
色彩について　ルードウィヒ・ウィトゲンシュタイン　新書館
孤島　J・グルニエ
本を書く　アニー・ディラード
真っ白い嘘　向田邦子　私家版
青蛾館　寺山修司
日日雑記　武田百合子
一千一秒物語　イナガキ・タルホ
書物漫遊記　種村季弘
ロマネ・コンティ・一九三五年　開高健
食後の花束　開高健
酒宴　吉田健一
吉田健一随筆集　垂水書房

１３．ただひとつだけの本棚

（岩波新書）
十字軍　橋口倫介
ジンギスカン　小林高四郎
床の間　太田博太郎

李白　ウェイリー　小川環樹訳
パスカル　野田又夫
電子計算機　坂井利之
結婚　川島武宣
銀行　安原米四郎
火　熊谷清一郎
薬　宮木高明
天才　宮城音弥
柿本人麻呂　北側茂夫
月　古在由秀
山　辻村太郎
都市　羽仁五郎
ヴァイオリン　無量塔蔵六
暴風雨　大谷東平
雷　中谷宇吉郎
戒厳令　大江志乃夫
魔女狩り　森島恒雄
奈良　直木孝次郎
コンプレックス　河合隼雄
回教徒　笠間〇雄
ガリレオ・ガリレイ　青木靖三
日本語　金田一春彦
試験　清水義弘
版画　小野忠重
川釣り　井伏鱒二
チベット　多田等観
雪　中谷宇吉郎
バッハ　辻荘一
修道院　今野國雄
時計　山口隆二
人工臓器　渥美和彦
時間　滝浦静雄
夢　宮城音弥
東京　柴田徳衛
ピカソ　富永惣一
哺乳類　小原秀雄
インカ帝国　泉靖一

人工衛星　シュテルンフェルト
漢字　白川静
明治維新　羽仁五郎
自動車　奥村正二
化石　井尻正二
生活　森喜一
自由　クランストン
ベートーヴェン　長谷川千秋
伝説　柳田国男

１４．旅する本棚

迷子論　堀切直人
既視の街　金井美恵子
校外へ　堀江敏幸
新版　欧文日付印　西野茂雄
南欧北欧短編集　世界短篇傑作全集５　河出書房
佐々木マキ作品集
兵庫神戸のなんどいや　林喜芳
わいらの新開地　林喜芳
河童が覗いたヨーロッパ　妹尾河童
TO THE NORTH ELIZABETH BOWEN JONATHAN CAPE
ガリヴァー旅行記　スウィフト　中野好夫訳
続ガリヴァー旅行記　中野好夫訳
北ホテル　ウジェーヌ・ダビ
ペルシアの旅　足利〇
東京見物　野村益三
さまざまな空間　ジョルジュ・ペレック
ぼくの浅草案内　小沢昭一
硝子戸の中　夏目漱石
部屋をめぐっての随想　グザヴィエ・ド・メーストレ

１５．とっておきの本棚

ブック・カーニヴァル　高山宏
オーケストラの１０５人　カーラ・カスキン
汽船　小沼丹

黒いハンカチ　小沼丹
ぼくの伯父さん　長谷川四郎
シカゴ育ち　スチュアート・大ベック
パリ左岸のピアノ工房　カーハート
ぼくの読書法　植草甚一
植草甚一日記
ぼくの東京案内　植草甚一
去勢訓練　いとうせいこう
絵草紙うろつき夜太　柴田錬三郎
百花園にて　安藤鶴夫
名探偵オルメス　カミ
東京日記　内田百閒
桃仙人　嵐山光三郎
少年とオブジェ　赤瀬川原平
夢聲軟尖集　徳川夢声
犬狼都市　澁澤龍彦
山之口獏全集　第２巻　小説
岩本素白全集　第１巻　第２巻
みすてりい　城昌幸
Diary Peter Beard リブロポート

１６．しみじみとする本棚

東京の昔　吉田健一
久保田万太郎句集　こでまり抄
駱駝の瘤にまたがって　三好達治
軽い機敏な仔猫何匹いるか　土屋耕一回文集
東京おぼえ帳　平山〇江
観本　茶話（上中下）　薄田泣菫
ロッテルダムの灯　庄野英二
句集　村　北園克衛
小説家の休暇　三島由紀夫
ふところ手帖　子母澤〇
稲垣足穂全集５
チェーホフの思い出　池田健太郎編
物の味方　フランシス・ポンジュ
釣随筆　佐藤垢石

東京　夜の町角　安住孝史
陰翳礼賛　谷崎潤一郎
Xへの手紙・私小説論　小林秀雄
ふらんす文學〇記　渡辺一夫
SMALL TOWN TALK 松平維秋
帝塚山風物誌　庄野英二
モンマルトルだより　矢内原伊作
シャツの店　山田太一
續巴里文學散歩　村松〇津
巴里文學散歩　村松〇津

１７．いつまでも読んでいたい本棚

コミック　文体練習　マット・マドン
ワンダー植草・甚一ランド
雨降りだからミステリーでも勉強しよう　植草甚一
ビートルズ海賊盤事典　松本常男
ビートルズの軌跡　ミュージック・ライフ編
復刻版　銀座並木座ウィークリー
明治文化全集別巻　明治事物起源
明治文化研究会編
THE BEATLES FOREVER 東芝音楽工業株式会社
息がつまりそう　リング・ラードナー
微笑がいっぱい　リング・ラードナー
ビールの最初の一口とその他のささやかな愉しみ　フィリップ・ドレルム
あくびノオト　北杜夫
ドナルド・ダックの世界像　小野耕世
随筆　本が崩れる　草森紳一
たんぽぽのお酒　レイ・ブラッドベリ
アメリカの鱒釣り　リチャード・ブローティガン
ピアニストを笑え！　山下洋輔
横浜的　芸能都市創生論　平岡正明
大雪のニューヨークを歩くには　ジェイムズ・スティヴンスン
古川ロッパ昭和日記　戦中編
すず（てん）しろ日記　山口晃
チャペック兄弟とチェコ・アヴァンギャルド　水沢勉他編

１８．うるわしい本棚

青春図会　河野鷹思初期作品集
山名文夫のグラフィックデザイン　ピエ・ブックス
THE ARRIVAL SHAUN TAN ARTHER A.LEVINE BOOKS
THE BEATLES ILLUSTRATED LYRICS
静かな奇譚　長谷川〇二郎画文集
玉屋型録　昭和十二年版
玉屋目録　昭和七年版
スモカ広告作品集
BRUCE CHATWIN PHOTOGRAPHS AND NOTEBOOKS JONATHAN CAPE, LONDON
ミシェル・ビュトールと画家たち
ray gun Eugen W.Metcalf and Frank Marsesca Fotofolio
PENGUIN BY DESIGN A Cover Story 1935-2005
PHIL BAINES PENGUIN
EVERGREEN REVIEW VOL.6 No.24
暮らしの手帖５４
ミツ　バルチュスによる四十枚の江　R・M・リルケ序
Cigar 三國連太郎ほか
エピステーメー終刊号
FACTORY RECORDS THE COMPLETE GRAPHIC ALBUM MATTHEW REBERTSON
渡辺一夫装幀・画戯集成　串田孫一監修
ブラッサイ　やさしいパリ　パトリック・モディアーノ
野村昭〇　作品集　1964-1991

１９．装幀した本棚

幻想劇場　唐十郎
絶対音感　最相葉月
川筋物語　佐伯一麦
本の愉しみ、書棚の悩み　アン・ファディマン
尼僧とキューピッドの弓　多和田葉子
翻訳文学ブックカフェ　新元良一
青空の方法　宮沢章夫
そして生活はつづく　星野源
ハルムスの世界　ダニイル・ハルムス
暗号解読　サイモン・シン

新聞ジャーナリズム　ピート・ハミル
ほんじょの鉛筆日和。本上まなみ
パンプルムース！　江國香織
時代　中島みゆき
村上春樹ハイブ・リット
柴田元幸ハイブ・リット
福神町奇譚　藤原カムイ
独酌余滴　多田富雄
事物はじまりの物語　吉村昭
１４歳からの哲学　池田晶子
叙情と闘争　辻井〇
幸田文しつけ帖　幸田文
言葉の流星群　池澤夏樹
ボディ・アンド・ソウル　古川日出男
ドラママチ　角田光代
文学鶴亀　武藤康史
ツバメ記念日　季節風　春　重松清
思い出のむこうへ　小澤征良
影の外へ出る　片岡義男
武蔵野倶楽部　村松友視
風の化石　高瀬省三
茨木のり子集　言の葉　1

２０．いつの日かの本棚

Lady Chatterley's Trial Edited by C.H.Rolph
Seventeen Poisoned Englishmen Gabriel Garcia Marquez
Otherwise Pandemonium Nick Hornby
Protobiography William Boyd
Of Pageants and Picnics Elizabeth David
Letters from Four Seasons Alistair Cooke
The Mirror of Ink Jorge Luis Borges
Jeeves and the Impending Doom P.G.Wodehouse
The Secret Annexe Anne Frank
眠い文鳥　吉田篤弘
Harald, Claudia, and their son Duncan Nadine Gordimer
Two Boys and a girl Tobias Wolf

The Drowned Son David Guterson
The Qeen and I Jay Mcinerney
Change of Use Candia Mcwilliam
Maitre Mussard's Beguest Patrick Suskind
A Story for Europe Will Self
あたらしい本　クラフト・エヴィング商会
クロークルームからの報告　吉田篤弘
キネマハウスの帰り道　クラフト・エヴィング商会
ジャレ　吉田篤弘
Othello うわの空の空のした　吉田音
曇り空の音楽　吉田篤弘
きずあと　クラフト・エヴィング商会
つむじ風社員食堂の昼　吉田篤弘
シャウト兄弟と空襲少女　吉田篤弘
紙芝居探偵　クラフト・エヴィング商会
小さな考えのあつまり　吉田篤弘
い（？）　クラフト・エヴィング商会
おかしな本棚　クラフト・エヴィング商会
ゼットン　吉田篤弘
ゾフィー　吉田篤弘
百鼠　吉田篤弘

２１．読めない本棚

小村雪岱画譜
78　吉田篤弘
流浪理容師　空ばかり見ていた　吉田篤弘
罪と罰　ドストエフスキー
（中略　ドイツ語の本）
水ですが
俺はただの石ころじゃない
世界なんて、まだ終わらないというのに　トーマス・デッカー

２２．ロンリー・ハーツ読書倶楽部の本棚

バットマンになりたい　小野耕世
バットマンになる！　E・ポール・ゼーア

俺は知ってるぜ　奥田民生
おまえは世界の王様か！　原田宗典
ソビエトカメラ党宣言　中村睦雄
山中貞雄シナリオ集　上下
晩春日記　上林暁
当世人気男　ベネット　吉田健一訳
わが夢の女　ボンテムペッリ　岩崎純孝訳　世界ユーモア全集
くたびれもうけ　桜田直樹
鉛筆で書いた物語　吉田篤弘
二枚舌　朝顔文兵衛
第二東京タワー　原田節子
悲しみよ、元気よく　がりー・エヴィル
屋根裏の独白　開高健
虹をつかむ男　サーバー
ビートルズ詩集　片岡義男訳
影を売った男　シャミッソー
怪盗ルビイ・マーチンスン　ヘンリィ・スレッサー
ぼくの最後の黒い髪　ジャン＝ルイ・フルニエ
おかしな世界　全集　現代世界文学の発見１２
エッフェル塔の潜水夫　カミ　吉村正一郎訳
ビーストン傑作集　中島編
シネマロマン　ロジェ・グルニエ
萌野　大岡昇平
小さな手袋　小沼丹

２３．吉田篤弘の本棚

百鼠
パロール・ジュレと紙屑の都
という、はなし
空ばかり見ていた
小さな男　静かな男
水晶萬年筆
それからはスープのことばかり考えて暮らした
つむじ風食堂の夜
フィンガーボウルの話のつづき
針がとぶ

十字路のあるところ
圏外へ

２４．クラフト・エヴィング商会の本棚

らくだこぶ書房２１世紀古書目録
どこかにいってしまったものたち
テーブルの上のファーブル
ないもの、あります
クラウド・コレクター　雲をつかむような話
すぐそこの遠い場所
じつは、わたくしこういうものです
アナ・トレントの鞄
a piece of cake 吉田浩美
Bolero 世界でいちばん幸せな屋上　吉田音
Think　夜に猫が身をひそめるところ　吉田音
猫　クラフト・エヴィング商会プレゼンツ
犬　クラフト・エヴィング商会プレゼンツ
Clouds Note クラウド・コレクターのためのノウト
短篇集　柴田元幸編　ヴィレッジブックス

２５．買えなかった本棚

〇石本わすれなぐさ　小寺謙吉
満ち足りた死者たち　ジョイス・マンスール
日ざかり　エリザベス・ボウエン
桃色の真珠　早川桂太郎
フランスルネサンス断章　渡辺一夫　岩波新書
ピピン四世三日天下　スタインベック
ワッパ78　沢田竜治
ボン書店の幻　内堀弘
象のあくび　ありさか小象
星を撒いた街　上林暁
天体嗜好病　イナガキタルホ短篇及び論文集
西部劇通信　牧野信一
かなしき女王　フィオナ・マクラオド短篇集
Joseph Cornell The Museum of Modern Art Newyork

The Passport Steinberg Hamish Hamilton

２６．寝しなの本棚

見世物研究　朝倉無声
号外昭和史　木下宗一
京都心理学散歩　安西二郎
京都・もう一つの町名史　水谷憲司
ぼくは本屋のおやじさん　早川義夫
明治東京風俗語事典　正岡容
ふらんすノート　エレンブルグ
シャーロック・ホームズの冒険
神戸文学史夜話　宮崎修二朗
大航海時代夜話　井沢実
ホルンのテクニック　ガンサー・シュラー
キリンのまだら　平田森三
接着とはどういうことか　井本稔　岩波新書
同潤会アパート生活史
レンズ汎神論　飯田鉄
島暮らしの記録　トーベ・ヤンソン
自然魔術　ジャンバティスタ・デッラ・ポルタ
放送随筆　お休みの前に
飯田線　各駅停車　味岡伸太郎編
天文台日記　石田五郎
モダン・シティふたたび　海野弘
東京スケッチ散歩　酒井不二雄
エスの解法　倉多江美
愛すべき娘たち　よしながふみ
あたりまえのこと　倉橋由美子
ナンセンスの博物誌　バージェン・エヴァンス
夜のがすぱある　アロイジウス・ベルトラン
八畳記　里見弴
クレーの日記
大切な雰囲気　小出楢重

２７．静かな本棚

ヴェネツィア暮し　矢島〇
ミラノ　霧の風景　須賀敦子
波止場日記　ホッファー
光と風と夢　中島敦
ルーマニヤ日記　カロッサ
消されない月の話　ビリニヤーク
泥沼ウォーカー　笹野みちる
小さなものの諸形態　市村弘正
黒い招待券　北園勝衛短編集
美のはかなさと芸術家の冒険性　ベッカー
あるかなしかの町　エマニュエル・ボーヴ
コーネルの箱　チャールズ・シミック
私のびっくり箱　竹中郁
リンゲルナッツ詩集
寶石辞典　久米武夫　丸善
正＋續雪華圖説復刻版　小林禎作
艶文〇集　久野豊彦
大と小　黒田孝郎
おじいちゃんの封筒　藤井咲子
金色の網　木坂涼
月夜の町　大木実詩集
帆・ランプ・鴎　丸山薫詩集
静かな週末　矢川澄子
音のない記憶　黒岩比佐子
こどものいた街　井上孝治
思い出の街　井上孝治

２８．返しそびれた本棚

晴れた日　篠山紀信
知らない本や本屋を捜したり読んだり　植草甚一
いつも夢中になったり飽きてしまったり　植草甚一
アリス狩り　高山宏
DIANE ARBUS The Libraries Fraenkel Gallery
Little Nemo in Slumberland whinsor Mccay
昨日のように遠い日　少女少年小説選

２９．声が聞える本棚

向田邦子の青春
珠玉　開高健
寺山修司戯曲集２実験劇篇
雨の日はソファで散歩　種村季弘
作家論　三島由紀夫
ごぶ・ゆるね　安藤鶴夫
まいまいつぶろ　高峰秀子
一銭五厘の横丁　児玉隆也
あたりまえなことばかり　池田晶子
人生のほんとう　池田晶子
リマーク1997-2007　池田晶子
最後からひとりめの読者による「埴谷雄高」論　池田晶子
４時のオヤツ　杉浦日向子
物いふ小箱　森銑三
仕事！　スタッズ・ターケル
XTCソング・ストーリーズ　ネヴィル・ファーマー

『忘れられない一冊』週刊朝日編集部(編)(朝日文庫)の掲載書籍リスト

１．藍川京（官能小説家）　雪の記憶　富島健夫　読むのが早すぎた
２．青山南（翻訳家）　「怒りの葡萄」と文庫表紙の画家（ベン・シャーン）　高校生で出会った
３．阿刀田高（小説家）　グリーン家殺人事件　ヴァン・ダイン　ただひたすらおもしろい
４．安部龍太郎（小説家）　全東洋街道　藤原新也　役所をやめる決意を固めた
５．新井素子（SF作家）　忘れられない本だが忘れてしまった本
６．荒井良二（絵本作家）　お伽草子　食わず嫌いだった
７．有栖川有栖（作家）　洞爺丸はなぜ沈んだか　旅の最中のご当地本
８．生島淳（スポーツライター）　三陸海岸大津波　３・１１に上京するはずだった姉
９．井上荒野（作家）　ちゃお・つうゆえ　父の書斎から
１０．井上章一（国際日本文化研究センター教授）　少年のためのマンガ家入門　石ノ森章太郎　小学生の挫折体験
１１．内澤旬子（イラストルポライター）　一寸法師　江戸川乱歩　時間を忘れた読書
１２．冲方丁（作家）　鈴の鳴る道　星野富弘　教室に沈黙が降りた
１３．海野弘（評論家、小説家）　アール・ヌーヴォー　シュムッツラー　もの書きの世界へ
１４．大竹聡（ライター）　長距離走者の孤独（原書）　アラン・シリトー　イギリスのパブで
１５．太田治子（作家）　脂肪の塊　モーパッサン　中学生でやっと読めた
１６．大林宣彦（映画作家）　田園の憂鬱　佐藤春夫　国民学校一年生だった
１７．岡田利規（演劇作家）　かもめのジョナサン　リチャード・バック　ナイーブさというのは厄介だ
１８．奥野修司（ノンフィクション作家）　草合　夏目漱石　アマゾンの安宿で
１９．角幡唯介（作家）　影の地帯　松本清張　清張が描いた新聞記者
２０．金原瑞人（翻訳家）　ふくろかつぎの王子　妹が略奪していった本
２１．川内倫子（写真家）　NAMI　梶井照陰　突き出ていっる写真集
２２．菊地秀行（小説家）　闇の〇子　藤沢周平　父の死を前に病院の待合室で
２３．北村薫（作家）　道化役者と虫歯　父の作品（童話）
２４．桐山秀樹（作家）　デミアン　ヘルマン・ヘッセ　手許に置いて繰り返し読む本
２５．車谷長吉（小説家）　航海日誌　アルプ　結婚のきっかけ
２６．小林エリカ（作家）　シャーロック・ホームズ家の料理読本　ファニー・クラドック　ヨーロピアンな食卓
２７．最相葉月（ノンフィクションライター）　三太郎の日記　阿部次郎　二十歳の思い出
２８．島田裕巳（宗教学者）　大菩薩峠　職を失って机竜之助と歩く
２９．清水ミチコ（タレント）　大地　パール・バック　高校生の頃
３０．志茂田景樹（作家）　ベルレーヌの詩　戦死した兄の本箱
３１．辛酸なめ子（漫画家）　王妃マリー・アントワネット　遠藤周作　小学生の頃、興奮した

官能小説
３２．鈴木邦男（一水会顧問）　一年有半　中江兆民　挫折を感じたときに
３３．園子温（映画監督）　J・コクトー詩集（堀口大學訳）　日本に帰ろうと決意させた
３４．平安寿子（小説家）　砂の女　安部公房　夏休みの宿題
３５．高野秀行（辺境作家）　シドニー・シェルダンの作品　絶体絶命時に読むといい
３６．高橋順子（詩人）　私語り口樋口一葉　夫の決意に触れた一冊
３７．谷村志穂（小説家）　鴎外全集著作編３３巻　先生からもらった本
３８．旦敬介（作家）　Negro Year Book (1947)　父の書斎にあった本
３９．辻村深月（小説家）　屍鬼　小野不由美　帰省中に
４０．出久根達郎（小説家）　華麗なるギャツビー　病院のトイレで
４１．戸梶圭太（小説家）　富士見ロマン文庫（カバーがほぼ金子國義）　センスのいい出版社
４２．中島京子（小説家）　放浪記　林芙美子　通学途中でもらった本
４３．中島誠之助（古美術鑑定家）　人間の条件　五味川純平　マグロ漁船で
４４．中野京子（ドイツ文学者）　ゲーテ詩集
４５．長野まゆみ（小説家）　少年愛の美学　高校生の頃
４６．中村文則（小説家）　一粒の麦もし死なずば　アンドレ・ジッド　得体の知れぬ恐ろしさ
４７．なぎら健壱（エッセイスト）　ああ無情　かつての蔵書を古本屋で
４８．西部邁（評論家）　白痴　ドストエフスキー　学生運動へのきっかけ
４９．芳賀徹（比較文学者）　ドミニック　私のマドレーヌと結婚
５０．蓮見圭一（小説家）　グッド・バイ　年上の男性がくれた本
５１．秦建日子（作家）　娘に語る祖国　つかこうへい　初めてシナリオにおこした本
５２．幅允孝（ブックディレクター）　だるまさんが　かがくいひろし　息子が好きな本
５３．林あまり（歌人）　緑の部屋　木島始　背表紙に心魅せられて
５４．速水健朗（編集者）　甦える金狼　大藪春彦　中学時代の愛読書
５５．東直子（歌人）　星新一のショート・ショート　病院で
５６．久田恵（ノンフィクション作家）　ノルウェイの森　村上春樹　息子との思い出
５７．平松洋子（エッセイスト）　パリから　娘とわたしの時間　増井和子　高校生の頃
５８．伏見憲明（作家）　「死への準備」日記　昨日と違う今日を生きる　千葉敦子　青春時代に詠んだ本
５９．別役実（劇作家）　『鼻行類』　レオ・レオーニ　嘘の話
６０．星野博美（作家）　白痴　ドストエフスキー　「別れ」のきっかけ
６１．穂村弘（歌人）　最新ウエイトトレーニング法　山上での贅沢品
６２．前田司郎（劇作家）　二分間の冒険　小学校で
６３．万城目学（小説家）　餞金について　車屋長吉　大学生からよく読んだ
６４．松浦弥太郎（「暮らしの手帖」取締役編集長）　高村光太郎詩集　反抗的な中学生だった
６５．松田哲夫（編集者）　カムイ伝　編集者になったきっかけ
６６．松田美智子（作家）　春にして君を離れ　アガサ・クリスティ　離婚への後押し

６７．松本隆（作詞家）　少年探偵団　江戸川乱歩　父の書棚で
６８．黛まどか（俳人）　叫ぶ私　森瑤子　OL時代
６９．三浦しをん（作家）　好色　芥川龍之介　ウン〇を食べる食べる話
７０．宮下奈都（小説家）　武市の夢の庭　好きで好きでたまらないこと
７１．マイク・モラスキー（一橋大学教授）　ポケット版英和・和英辞典　日本に来たばかりの頃
７２．森達也（映画監督）　一千一秒物語　稲垣足穂　別れ
７３．森永卓郎（経済アナリスト）　転換期の宗教　笠原　３０年間も読み続けた
７４．森まゆみ（作家）　座右にある未読全集
７５．森山大道（写真家）　チボー家の人々　マルタン・デュ・ガール　母からの遺言がわりの本
７６．諸田玲子（小説家）　ベスト＆ブライテスト　ハルバースタム　夫が残していった本
７７．山折哲雄（宗教学者）　春と修羅（初版本）　大学時代、酒代に消えた本
７８．山川静夫（エッセイスト）　海軍主計大尉小泉信吉　息子が生まれる直前に
７９．山田太一（作家）　立原道造詩集　十代後半の気持ち
８０．山本譲司（作家）　鬼の〇（あしおと）　西村寿行　拘置所で読んだ脱獄の話
８１．吉田篤弘（作家）　夢の中の本屋で
８２．吉田豪（プロ書評家）　紫の履歴書　美輪明宏　初めてのタレント本

『村上式シンプル仕事術』村上憲郎(著)の掲載書籍リスト

推薦図書

１　超図解　財務３表のつながりで見えてくる会計の勘所
２　超超整理法　野口
３　人を動かす　道は開ける　カーネギー
４　誰もが聖書を読むために　新潮新書
５　阿含教典による仏教の根本聖典　大蔵出版
６　パーリ仏典　第二期
７　ブッダが考えたこと　宮本　春秋社
８　仏教かく始まりき　宮本　春秋社
９　反哲学入門　木田元
１０　カント純粋理性批判入門　黒崎　講談社選書メチエ
１１　世界の名著　第40巻
１２　憲法で読むアメリカ史　上・下　阿川　ＰＨＰ新書
１３　マンキュー　経済学（ミクロ、マクロ）
１４　ハイエク知識社会の自由主義　池田　ＰＨＰ新書
１５　ハイエクの政治思想　山中　〇草書房
１６　キーポイント　行列と変換群　岩波
１７　ニュートン力学と微分方程式の意味がかわる　大山　ベレ出版
１８　量子力学を学ぶための解析力学入門　講談社
１９　数ベクトル空間からヒルベルト空間　篠崎　現代工学社
２０　電力・通信・情報のための量子力学　堀　コロナ社
２１　量子力学が語る世界像　和田　ブルーバックス
２２　量子コンピュータの基礎数理　コロナ社
２３　初歩からの数学　岡本　放送大学教育振興会
２４　量子力学の基礎　岸野　丸善
２５　初歩からの物理　物理の考え方

『探訪　名ノンフィクション』後藤正治(著)の掲載書籍リスト

１　柳田邦男　『空白の天気図』
２　本田靖春　不当逮捕
３　澤地久枝　妻たちの二・二六事件
４　鎌田〇　逃げる民
５　ジョージ・オーウェル　カタロニア讃歌
６　立石泰則　覇者の誤算
７　沢木耕太郎　一瞬の夏
８　野村進　日本領サイパン島の一万日
９　田崎史郎　梶山静六　死に顔に笑みをたたえて
１０　小関智弘　春は鉄までが匂った
１１　佐野眞一　カリスマ
１２　デイヴィッド・ハルバースタム　ベスト＆ブライテスト
１３　柳原和子　百万回の永訣
１４　保阪正康　昭和陸軍の研究（上下）
１５　最相葉月　『星新一』
１６　大崎善生　聖の青春
１７　河原理子　『フランクル『夜と霧』への旅』
１８　立花隆　田中角栄研究全記録

『この古典が仕事に効く！』成毛眞(監修)(青春新書)の掲載書籍リスト

第１章　ブレないビジネスマンの軸となる「この１冊」

１　君主論　マキアヴェッリ　時には冷酷さが必要。
２　論語　孔子　仁：最高の道徳は愛。弁舌さわやかには仁がない。
３　国富論　アダム・スミス　フェアプレイの自由競争
４　資本論　マルクス　働きがい
５　ツァラトゥストラはかく語りき　ニーチェ　キリスト教社会への批判
６　人を動かす　デール・カーネギー　相手の立場から考える
７　ガリア戦記　カエサル　勇気を持って、ありのままの姿を見せる
８　三国志　珍寿　リーダーのタイプに合った行動が全体の生産性を上げる
９　プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神　マックス・ウェーバー　合理化が進む資本主義
１０　「原因」と「結果」の法則　ジェームズ・アレン　理想は未来を予言。成功は努力の結果。

第２章　日本人の強みを武器にする「この１冊」

１１　失敗の本質　野中郁次郎ほか　敗因は戦い方。進化する自己革新が必要
１２　論語と算盤　渋沢栄一　目先よりも本当に価値のある人生を目指したい。
１３　武士道　新渡戸稲造　損得勘定しない
１４　氷川清話　勝海舟　誠心誠意
１５　仮名手本忠臣蔵　竹田出雲ほか
１６　南総里見八犬伝　滝沢馬琴　信頼される人
１７　文明論之概略　福沢諭吉　世界の中の日本という視野

第３章　政治・経済ニュースの本質がつかめる「この１冊」

１８　断絶の時代　ピーター・ドラッカー　今日とは違う側面をみつける。
１９　社会契約論　ルソー　自由と平等の確保
２０　法の精神　モンテスキュー　人は権利を濫用するので、三権分立が必要
２１　経済学原理　アルフレッド・マーシャル　人間と経済を進化させる経済学
２２　雇用・利子および貨幣の一般理論　ケインズ　問題に対しては実践可能な手段を考える
２３　経済発展の理論　シュンペーター　企業家による新結合
２４　不確実性の時代　ガルブレイス　神話と現実のギャップ
２５　戦争論　クラウゼヴィッツ　現場での実践能力

２６　知の考古学　ミシェル・フーコー　発言の主題よりもいかなる無意識的構造に従ってなされたのかを問題にする。
２７　歴史　ヘロドトス　運命に支配
２８　世論　ウォルター・リップマン　ステレオタイプ化されてしまう
２９　資本主義と自由　フリードマン　新自由主義

第４章　人間関係のツボがわかる「この１冊」

３０　箴言集　ラ・ロシュフコー　処世訓
３１　英雄伝　プルターク　同じような先人を対比して学ぶ
３２　リヴァイアサン　ホッブズ　国家は守ってくれると同時に怪物でもある
３３　ご冗談でしょう、ファインマンさん　好奇心を十分に発揮
３４　イリアス　ホメロス　極限状態の人間は戦争という愚行もいとわない。
３５　水滸伝　羅漢中ほか　信念に従って生きる
３６　十二夜　シェイクスピア　人生は喜びと哀しみが表裏一体
３７　大衆の叛逆　オルテガ　大衆は少数者に反逆的
３８　わが闘争　ヒトラー　わかりやすく繰り返す
３９　永遠平和のために　カント　平和とは敵意が終わった状態
４０　孤独な群衆　リースマン　他人志向型の社会。

第５章　壁を乗り越える力をくれる「この１冊」

４１　菜根譚　洪自誠　簡素に生きる
４２　エセー　モンテーニュ　精神の自由人
４３　幸福論　カール・ヒルティ　迷ったらはじめる。１周間６日間は徹底的に働く
４４　パンセ　パスカル　現実をありのままに見る
４５　人生論　トルストイ　理性で動物的な自我を否定
４６　自殺論　デュルケーム　自己本位主義が自殺の発生原因
４７　死に至る病　キルケゴール　希望を持とうとしないことが絶望であり、死に至る病
４８　方法序説　デカルト　疑い、考え、検証する
４９　精神分析入門　フロイト　無意識の願望
５０　自由からの逃走　エーリッヒ・フロム　自由とは束縛からの解放であるとともに、孤独でもある

『私が目覚める、読書案内。』フィガロジャポン編集部(著)の掲載書籍リスト

１．私と読書

1-1　ペルセポリス　マルジャン・サトラピ　イラン女性のマンガ
1-2　潜水服は蝶の夢を見る　ジャン＝ドミニック・ボービー　脳溢血。瞬きで綴った。
1-3　海を見たことがなかった少年　ル・クレジオ　短編集
1-4　うたかたの日々　ボリス・ヴィアン　恋愛小説
1-5　パリの胃袋　エミール・ゾラ　圧倒的な面白さ
1-6　地下鉄のザジ　レーモン・クノー　下町のパリ
1-7　エレンディラ　ガルシア＝マルケス　短編集
1-8　ティファニーのテーブルマナー　ホービング　指南
1-9　コルシア書店の仲間たち　須賀敦子　ミラノの書店
1-10　遠い朝の本たち　須賀敦子　読書の記憶
1-11　文体練習　レーモン・クノー　文学的実験作品

２．女の生き方。

2-1　女の一生　モーパッサン
2-2　愛人　マルグリット・デュラス　サイゴン
2-3　ティファニーで朝食を　カポーティ　村上春樹訳
2-4　灯台へ　ヴァージニア・ウルフ　第1次世界大戦の頃
2-5　サラの鍵　タチアナ・ド・ロネ　ユダヤ人
2-6　宋姉妹　伊藤純ほか
2-7　貧乏サヴァラン　森茉莉
2-8　反貞女大学　三島由紀夫
2-9　愛すること、生きること　ペック　精神科医
2-10　ピアニスト　女の創造力　イェリネク　病的な母娘依存関係
2-11　才女の運命　シュテファン
2-12　女ユダたち　ドイツナチ時代の密告10の実話　シューベルト
2-13　エーリカあるいは生きることの隠れた意味　ハイデンライヒ
2-14　トゥイーの日記　チャム　亡くなった娘の日記
2-15　テヘランでロリータを読む　ナフィーシー
2-16　畏れ慄いて　ノートン　青い目のOL
2-17　バベットの晩餐会　ディーネセン　オールドミス
2-18　私は「うつ依存症」の女　ワーツェル

３．読んでおきたい、永遠の名作。

3-1　愛の妖精　サンド
3-2　青い麦　コレット
3-3　哀しみよこんにちは　サガン
3-4　かわいい女・犬を連れた奥さん　チェーホフ
3-5　カラマーゾフの兄弟　ドストエフスキー
3-6　モンテーニュ　エセー抄　みすず書房
3-7　眼球譚　バタイユ（オーシュ）　処女小説
3-8　サロメ　ワイルド
3-9　高慢と偏見　オースティン
3-10　嵐が丘　ブロンテ
3-11　ロリータ　ナボコフ
3-12　フラニーとゾーイー　サリンジャー
3-13　ライ麦畑でつかまえて　サリンジャー
3-14　存在の耐えられない軽さ　クンデラ
3-15　変身　カフカ　白水社
3-16　カフカとの対話　ヤノーホ
3-17　兵士シュヴェイクの冒険　ハシェク　風刺小説
3-18　人形の家　イプセン
3-19　デミアン　ヘッセ
3-20　若きウェルテルの悩み　ゲーテ
3-21　車輪の下で　ヘッセ　光文社古典新訳文庫
3-22　トリスタンとイゾルデ　シュトラースブルク
3-24　モモ　エンデ
3-25　夜と霧　新版　フランクル
3-26　百年の孤独　ガルシア＝マルケス
3-27　わが悲しき娼婦たちの思い出　ガルシア＝マルケス
3-28　伝奇集　ボルヘス

４．アートな暮らし。

4-1　ノアノア　ゴーギャン
4-2　Not in Fashion, Mark Borthwick
4-3　ホラー・ドラコニア　少女小説集成　澁澤龍彦
4-4　解剖学者　ドン・ペサリウス　ボレル
4-5　roses in the salad, Bruno Munairi

4-6　ペンブックス　ジャン・プルーヴェ　２０世紀デザインの巨人
4-7　パリ写真の世紀　今橋映子
4-8　トリュフォーの映画術
4-9　Pictures, Tim Walker
4-10　Crimean Snobbism, Boris Mikhailov
4-11　Revelations, Diane Arbus
4-12　HOME 空から見た地球　ヤン・アルテュス＝ベルトラン
4-13　On the Sixth Day, Sanguinetti
4-14　Yves saint Laurent, Farid chenoune
4-15　大人のパリ　イネスのおしゃれガイド　私のルールと行きつけアドレス　フレサンジュ
4-16　Face Forward, Kevyn Aucoin

５．いつも子ども心を。

5-1　ほたるっこ　カラフィアート
5-2　走れ、走って逃げろ　オルレブ
5-3　飛ぶ教室　ケストナー
5-4　Kvailos Istorijos, kasperavicius
5-5　おじさんのかさ　佐野洋子
5-6　『１００万回生きたねこ』　佐野洋子
5-7　編みものばあさん　オルレブ
5-8　父さんの手紙はぜんぶおぼえた　シェム＝トヴ
5-9　皺　パコ・ロカ
5-10　鶏のプラム煮　サトラピ
5-11　アライバル　タン
5-12　fraise et chokolat, Aurita
5-13　Josephine, Bagieu

６．この１冊がパスポート。

6-1　ぼくと１ルピーの神様　スワラップ
6-2　ものすごくうるさくて、ありえないほど近い　フォア　映画化
6-3　グレート・ギャツビー　村上春樹訳
6-4　オン・ザ・ロード　ケルアック
6-5　いちばんここに似合う人　ジュライ
6-6　観光　ラープチャルーンサップ
6-7　オスカー・ワイルドの短く凄まじい人生　ディアス

6-8　林檎の木の下で　マンロー
6-9　ソラリス　レム
6-10　わたしを離さないで　カズオ・イシグロ
6-11　香水　ある人殺しの物語　ジュースキント
6-12　アウステルリッツ　ゼーバルト
6-13　朗読者　シュリンク
6-14　ゾマーさんのこと　ジュースキント
6-15　ヒクメット詩集
6-16　イスタンブール思い出とこの町　パムク
6-17　バーデンハイム1939　アッペルフェルド
6-18　死を生きながら　グロスマン
6-19　石の女　クッツェー
6-20　恥辱　クッツェー
6-21　いつか月曜日に、きっと　ゴーディマ
6-22　ドラウパディー　デビ
6-23　グアヴァ園は大騒ぎ　デサイ
6-24　つぶらな瞳　アィン
6-25　カンボジア　花のゆくえ　ヴァンナリーレアク
6-26　ヨム河　ラーヤワー
6-27　大浴女　水浴する女たち　鉄凝
6-28　自由の樹のオオコウモリ　ウェント
6-29　おしりに口づけを　ハウオッファ
6-30　ワイルド・ミートとブリー・バーガー　ヤマナカ
6-31　生命の樹　あるカリブの家系の物語　コンデ
6-32　サルガッソーの広い海　リース
6-33　呪われた愛　フェレ
6-34　ミゲル・ストリート　ナイポール
6-35　ドラゴンは踊れない　ラヴレイス
6-36　紙の民　プラセンシア
6-37　深い川　アルゲダス
6-38　学校物語・他４編　アシス
6-39　ブタペスト　ブアルコキ

７．詩の世界を旅して。

7-1　巴里の憂鬱　ボードレール
7-2　アポリネール詩集

7-3　パリの廃墟　レダ
7-4　エリック・サティ詩集

８．人生は哲学です。

8-1　他者の苦痛へのまなざし　ソンタグ
8-2　同じ時のなかで　ソンタグ
8-3　オリエンタリズム　サイード

９．事実は小説よりも奇なり。

9-1　ヤマノミ　国分拓
9-2　嘘つきアーニャの真っ赤な真実　米原万里
9-3　不実な美女か貞淑な醜女か　米原万里
9-4　立ったまま埋めてくれ　ジプシーの旅と暮らし　フォンセーカ
9-5　シモネッタの男と女　田丸公美子

１０．歴史の世界へようこそ。

10-1　ハドリアヌス帝の回想　ユルスナール
10-2　女帝　わが名は則天武后　山〇
10-3　ラビリンス　モス
10-4　七姫幻想　森谷明子
10-5　ダ・ヴィンチの白鳥たち　エセックス
10-6　貴婦人と一角獣　シュヴァリエ
10-7　ヒヤシンス・ブルーの少女　ヴリーランド
10-8　わたしの名は紅　パムク
10-9　火山に恋して　ロマンス　ソンタグ
10-10　弥勒の月　さあのあつこ
10-11　シャルビューク夫人の肖像　フォード
10-12　悲劇週間　矢作俊彦

１１．サイエンスの世界へ。

11-1　センス・オブ・ワンダー　カーソン
11-2　ドクター・タチアナの男と女の生物学講座　ジャドソン
11-3　悲しき熱帯　レヴィ=ストロース

11-4　世界の測量　ガウスとフンボルトの物語
11-5　完訳　ファーブル昆虫記　集英社
11-6　万物の尺度を求めて　メートル法を定めた子午線大計測　オールダー
11-7　深海の女王がゆく　アール
11-8　周期律　元素追想　レーヴィ

１２．素敵な女性は食いしん坊。

12-1　ノーマ　北欧料理の時間と場所　レゼピ
12-2　わたしの献立日記　沢村貞子
12-3　Food　Mary McCartney
12-4　Figaro BOOKS　ワインに合う　フランスとっておき田舎レシピ　伊藤由佳子

わたしが選んだ本

１．マリ＝アニエス・ジロ　パリ・オペラ座エトワール

星の王子さま
椿姫　デュマ・フィス
アルケミスト　パウロ・コエーリョ
弓と禅　オイゲン・ヘリゲル
Cendrillon　Eric Reinhardt　小説

２．ゾエ・カサヴェテス　映画監督

友だち　ノールズ　友情
シェルタリング・スカイ　ボウルズ
きみの行く道　スース　現代版マザーグース
Play it as it lays, Joan Didion
ふたりの真面目な女性　ボウルズ
リプリー　ハイスミス　犯罪小説の金字塔
チベットの生と死の書　リンポチェ
Look at me, Jennfier Egan
The beautiful Fall, Alicia Drake
A fortune-teller told me, tiziano terzani

３．イサベル・コイシェ　映画監督

ボヴァリー夫人　フローベル
To the Wedding, John Berger
失われた時を求めて　プルースト
ジェイン・エア　ブロンテ
On Bullsit, Frankfurt

作家の作品

１．リュドミラ・ウリツカヤ　ロシア作家
ソーネチカ
それぞれの少女時代
通訳ダニエル・シュタイン
女が嘘をつくとき

２．エイミー・ベンダー　小説家

燃えるスカートの少女
私自身の見えない微
わがままなやつら

３．ジュンパ・ラヒリ　小説家

停電の夜に
その名にちなんで

４．パウロ・コエーリョ　小説家

ブリーダ
星の巡礼
ピエドラ川のほとりで私は泣いた
第五の山
ベロニカは死ぬことにした
悪魔とプリン嬢
１１分間
ザーヒル

５．イーユン・リー

千年の祈り

『教養脳を磨く！　３０冊』林望／茂木健一郎(著)の掲載書籍リスト

１．林望セレクション

1 潁原退蔵　俳句評釈　角川文庫
2 折口信夫　古代研究　中公クラシックス
3 紀貫之等　古今和歌集　岩波文庫
4 島津忠夫　新版百人一首　角川ソフィア文庫
5 シュリーマン　古代への情熱　新潮文庫
6 杉田玄白　蘭学事始　岩波文庫
7 薄田泣菫　茶話　全３巻
8 田中冬二　田中冬二全集　筑摩書房
9 永井荷風　断腸亭日乗　岩波文庫
10 夏目漱石　私の個人主義　講談社学術文庫
11 萩原朔太郎　萩原朔太郎詩集　岩波文庫
12 林望　往来の物語　集英社新書
13 福澤諭吉　日本婦人論　日本男子論　（著作集第１０巻）
14 森鴎外　渋江抽斎　岩波文庫
15 与謝蕪村　蕪村全句集　おうふう

２．茂木健一郎セレクション

1 内田百間　阿房列車　全３巻　新潮文庫
2 小林秀雄　考えるヒント　新潮社
3 シュレーディンガー　生命とは何か　物理的にみた生細胞　岩波文庫
4 高木貞治　解析概論　岩波書店
5 チャールズ・ダーウィン　種の起源　岩波文庫
6 ディラック　量子力学　岩波書店
7 ドストエフスキー　罪と罰　新潮文庫
8 夏目漱石　三四郎　岩波文庫
9 ニーチェ　悲劇の誕生　新潮文庫
10 リチャード・P・ファインマン　ご冗談でしょう、ファインマンさん　岩波現代文庫
11 福沢諭吉　新訂福翁自伝　岩波文庫
12 ロジャー・ペンローズ　皇帝の新しい心　コンピュータ・心・物理法則　みすず書房
13 ダグラス・R・ホフスタッター　ゲーゲル・エッシャー・バッハ　あるいは不思議の環　白楊社
14 マルクス　資本論　岩波文庫

15 クロード・レヴィ＝ストロース　野生の思考　みすず書房

『ビジネスに効く最強の「読書」　本当の教養が身につく１０８冊 』出口治明(著)の掲載書籍リスト

No.1　『アノスミア』

１．リーダーシップを磨くうえで役に立つ本

2　ローマ政治家伝１　カエサル　ゲルツァー
3　ローマ政治家伝２　ポンペイウス
4　ガリア戦記　カエサル　岩波文庫
5　ローマ人の物語　ユリウス・カエサル　ルビコン以前　塩野七生　新潮文庫
6　プルターク英雄伝　岩波
7　採用基準　伊賀泰代　全員がリーダーシップを持つべき
8　指輪物語　トールキン　評論社文庫
9　君主論　マキアヴェッリ　岩波文庫

２．人間力を高めたいと思うあなたに相応しい本

10　韓非子　岩波文庫　性悪説に基づく統治論
11　ブッデンブローク家の人びと　トーマス・マン　岩波文庫　普遍性があっておもしろい
12　夏の砦　辻邦生　11をモチーフにしたのではないか。
13　王書　フェルドウスィー　岩波文庫　ペルシャ版諸行無常
14　チェーザレ・ボルジアあるいは優雅なる冷酷　塩野七生　著者の問題意識が凝縮
15　ドン・キホーテのごとくセルバンテス自叙伝（上下）　スティーヴン・マーロウ　人生の喜怒哀楽
16　朗読者　シュリンク　優れた小説構成
17　供述によるとペレイラは　タブッキ　奥が深い
18　白い城　オルハン・パムク　初期の傑作

３．仕事上の意思決定に悩んだ時に背中を押してくれる本

19　『脳には妙なクセがある』　池谷裕二　頭を柔軟にほぐすアイスブレーキング
20　貞観政要（上下）　新釈漢文大系　原田種成　王様や家来がいかに悩んできたか
21　宋名臣言行録　梅原郁　帝王学
22　戦争論　クラウゼヴィッツ　岩波文庫
23　『自分のアタマで考えよう』　ちきりん
24　『宇宙は本当にひとつなのか』　村山

25　宇宙論と神　池内了
26　バウドリーノ（上下）　ウンベルト・エーコ
27　西遊記　岩波文庫（１０巻）
28　三國志逍遥　中村　安野　山川出版社
29　預言者　ジブンラン　心洗われる

４．自分の頭で未来を予測する時にヒントになる本

30　2050年への構想　日本経済研究センター　世界経済の方向性。楽観的
31　2052年今後40年のグローバル予測　ランダース　悲観的
32　2050年の世界　英「エコノミスト」誌は予測する　辛口。未来は悲観論と楽観論の間で一定の幅で考えると良い。
33　第五の権力　Googleには見えている未来　シュミット
34　ユートピア　トマス・モア　岩波文庫　価値観の押し付けはおぞましい。
35　『一九八四年』　オーウェル
36　すばらしい新世界　ハックスリー
37　迷宮に死者は住む　ヴンダーリヒ　クノッソス宮殿は死者のための葬祭殿
38　『地図と領土』　ウエルベック

５．複雑な現在をひもとくために不可欠な本

39　アンダルシーア風土記　永川玲二
40　『気候で読み解く日本の歴史』　田家康
41　歴史　ヘロドトス
42　史記列伝　司馬遷
43　イタリア絵画史　ロンギ
44　日本のピアノ１００年　前間
45　国宝神護寺三像とは何か　黒田日出男
46　モンゴル帝国の興亡（上下）　杉山正明
47　東方見聞録　マルコ・ポーロ
48　1940年体制　野口悠紀雄　戦後日本の成長
49　『昭和史』　半藤　なぜ戦争になったのか
50　『敗北を抱きしめて』（上下）　ジョン・ダワー
51　『民主と愛国』　小熊英二　分厚い

６．国家と政治を理解するために押さえるべき本

52　田中角栄　戦後日本の悲しき自画像　早野透　中公新書　55年体制
53　首相支配　日本政治の変貌　高中治堅　中公新書　小選挙区制の導入
54　変貌する民主主義　森政稔　ちくま新書　民主主義とは
55　職業としての政治　ヴェーバー　岩波文庫
56　人間の条件　ハンナ・アレント　「公」とは何か
57　政治思想論集　カール・シュミット　権力並びに権力者への道についての対話
58　小説フランス革命１１巻　佐藤賢一　市民社会のありかたを考える上で
59　物語フランス革命　安達正勝　中公新書　全貌がつかめる
60　フランス革命の省察　エドマンド・バーク　保守主義の父
61　アメリカのデモクラシー　トクヴィル　人工国家
62　トクヴィルが見たアメリカ　レオ・ダムロッシュ　伝記
63　世界をゆるがした十日間　ジョン・リード　ロシア革命
64　『ワイルド・スワン』　ユン・チアン　中国の文化大革命

７．グローバリゼーションに対する理解を深めてくれる本

65　ペリル提督　日本遠征記　岩波文庫　日本は中国への中継基地
66　ペリー　佐藤賢一
67　『大君の通貨』　幕末「円ドル」戦争　佐藤雅美　為替の重要性
68　近代世界システムⅠ　農業資本主義と「ヨーロッパ世界経済」の成立　ウォーラステイン　世界経済の仕組みの出発点
69　クアトロ・ラガッツィ　天正少年使節と世界帝国　若桑みどり　鎖国以前
70　モンゴル帝国が生んだ世界地図　宮紀子　１４世紀の「知」
71　『黒いアテナ』（上下）　マーティン・バナール　ギリシャへのアフリカ（エジプト）やアジアの影響
72　ベネディクト・アンダーソン　グローバリゼーションを語る　梅森直之編著　日本での講演録
73　定本　想像の共同体　近代世界システムと並ぶ歴史学徒の必読書
74　民族という虚構　小坂井敏晶　なぜ、民族が残るか
75　社会心理学講義　小坂井敏晶　名著
76　戦後世界経済史　自由と平等の視点から　猪木武徳　中公新書　経済学のベストの１冊
77　マッキンダーの地政学　ハートランドの戦略論
78　マハン海上権力史論　シーパワー
79　海洋国家日本の構想　高坂正〇
80　世界正義論　井上達夫　戦争や正義
81　ハドリアヌス帝の回想　マルグリット・ユルスナール

８．老いを実感したあなたが勇気づけられる本

82　生物学的文明論　本川達雄
83　老い（上下）　シモーヌ・ド・ボーヴォワール
84　第二の性　シモーヌ・ド・ボーヴォワール
85　おひとりさまの老後　上野千鶴子
86　ハロルド・フライの思いもよらない巡礼の旅　レイチェル・ジョイス
87　ブッダのことば　スッタニパータ　中村元訳　岩波文庫
88　生と死の接点　河合隼雄
89　５ファイブ　ダン・セドラ

９．生きることに迷った時に傍らに置く本

90　アルケミスト　夢を旅した少年　パウロ・コエーリョ
91　ラッセル幸福論　岩波文庫
92　ニコマコス倫理学　アリストテレス
93　ルバイヤート　オマル・ハイヤーム　岩波文庫
94　幸福な王子　オスカー・ワイルド
97　『男性論　ECCE HOMO』　ヤマザキマリ

１０．新たな人生に旅立つあなたに捧げる本

98　何でも見てやろう　小田実
99　深夜特急　１～６　沢木耕太郎
100　グレートジャーニー　１～５　関野吉晴
101　大唐西域記　東洋文庫（３巻）
102　イタリア紀行（上下）　ゲーテ　岩波文庫
103　三大陸周遊記抄　イブン・バットゥータ　中公文庫
104　イブン・ジュバイルの旅行記　講談社学術文庫
105　インド日記　小熊英二
106　スペイン旅行記　カレル・チャペック　ちくま文庫
107　中国奥地紀行（１，２）　イザベラ・バード　東洋文庫
108　朝鮮紀行　イザベラ・バード　講談社学術文庫

三省堂　中学生にすすめたい１００冊の本の掲載書籍リスト

＜1・2年生向け　フィクション＞

１　『あのころはフリードリヒがいた』　Ｈ・Ｐ・リヒター　　上田真而子　訳　　岩波少年文庫
２　『いもうと物語』　氷室冴子　新潮文庫
３　Ｏ・ヘンリ短編集全３巻　Ｏ・ヘンリ　新潮文庫
４　『お父さんのバックドロップ』　中島らも　集英社文庫
５　『怪談』　Ｌ・ハーン　集英社文庫
６　『煙猫と赤い花』　永田　萠　河出書房新社
７　ことばあそびうた　谷川俊太郎　福音館書店
８　『サラダ記念日』　俵　万智　河出文庫
９　潮騒　三島由紀夫　新潮文庫
10　シャーロック・ホームズの冒険　Ａ・Ｃ・ドイル　新潮文庫
11　１０月はたそがれの国　Ｒ・ブラッドベリ　創元ＳＦ文庫
12　『十五少年漂流記』　Ｊ・ヴェルヌ　新潮文庫
13　『白い手』　椎名　誠　集英社文庫
14　しろばんば　井上　靖　新潮文庫
15　『そして誰もいなくなった』　Ａ・クリスティー　ハヤカワ文庫
16　大草原の小さな家　Ｌ・Ｉ・ワイルダー　　中村凪子　訳　　角川文庫
17　竹取物語　星　新一　角川文庫
18　『つめたいよるに』　江國香織　理論社・新潮文庫
19　『遠い海から来たＣＯＯ』　景山民夫　角川文庫
20　『夏と少年の短篇』　片岡義男　ハヤカワ文庫
21　『夏帽子』　長野まゆみ　河出文庫
22　にんじん　Ｊ・ルナアル　岩波文庫
23　のはらうた　全三巻　工藤直子　童話屋
24　ハックルベリイ・フィンの冒険　Ｍ・トウェイン　新潮文庫
25　『はてしない物語』　Ｍ・エンデ　　上田真而子、佐藤真理子　訳　　岩波書店
26　火の鳥　全十三巻　手塚治虫　角川文庫
27　ビルマの竪琴　竹山道雄　新潮文庫
28　『ふたり』　赤川次郎　新潮文庫
29　『ブンとフン』　井上ひさし　新潮文庫
30　『ぼくらの七日間戦争』　宗田理　角川文庫
31　『ボッコちゃん』　星　新一　新潮文庫
32　ほらふき男爵の冒険　Ｇ・Ａ・ビュルガー　岩波文庫

33　マザー・グース　全四巻　谷川俊太郎訳　講談社文庫
34　『南の島のティオ』　　池澤夏樹　文春文庫
35　『みんなの木かげ』　内海隆一郎　ＰＨＰ研究所

＜１・２年生向け　ノンフィクション＞

36　『雨の動物園』　舟崎克彦　ちくま文庫
37　『いしぶみ』　広島テレビ放送編　ポプラ社
38　お楽しみはこれからだ　和田　誠　文藝春秋
39　『君たちはどう生きるか』　吉野源三郎　ポプラ社
40　『ギリシア神話を知っていますか』　阿刀田高　新潮文庫
41　故事と成語　大石智良　さ・え・ら書房
42　ことわざ絵本ｐａｒｔ１・２　五味太郎　岩崎書店
43　『ごみから地球を考える』　八太昭道　岩波ジュニア新書
44　『詩の楽しみ』　吉野　弘　岩波ジュニア新書
45　『ツルはなぜ一本足で眠るのか』　小原秀雄ほか　草思社
46　どくとるマンボウ航海記　北　杜夫　新潮文庫
47　『トラちゃん』　群ようこ　集英社文庫
48　『速さのちがう時計』　星野富弘　偕成社
49　『ぼくを探しに』　Ｓ・シルヴァスタイン　　倉橋由美子　訳　　講談社
50　わたしが会ったアジアの子ども　宮崎　緑　偕成社

＜２・３年生向け　フィクション＞

51　アルジャーノンに花束を　Ｄ・キイス　　小尾芙佐　訳　　早川書房
52　伊豆の踊子　川端康成　新潮文庫
53　ウォータシップ・ダウンのうさぎたち　Ｌ・Ｒ・アダムズ　　神宮輝夫　訳　　評論社
54　宇宙船ビーグル号　Ｖ・ヴオクト　ハヤカワ文庫
55　『風立ちぬ』　堀　辰雄　集英社文庫
56　『哀しい予感』　吉本ばなな　角川文庫
57　『我利馬の船出』　灰谷健次郎　新潮文庫
58　彼らの流儀　沢木耕太郎　朝日新聞社
59　『黄色いドゥカと彼女の手』　文＝原田宗典　絵＝沢田としき　角川文庫
60　機関車先生　伊集院静　講談社
61　『銀河鉄道の夜』　宮沢賢治　新潮文庫
62　『五千回の生死』　宮本　輝　新潮文庫
63　『塩狩峠』　三浦綾子　新潮文庫

64　『十五歳のボート』　安西水丸　平凡社
65　『深呼吸の必要』　長田　弘　晶文社
66　すてきな詩をどうぞ　川崎　洋　ちくま文庫
67　『スローカーブを、もう一球』　山際淳司　角川文庫
68　『青春デンデケ・デケデケ』　芦原すなお　河出文庫
69　清兵衛と瓢箪・網走まで　志賀直哉　新潮文庫
70　『大地の子エイラ』　上・中・下　Ｊ・アウル　　中村妙子　訳　　評論社
71　『沈黙』　遠藤周作　新潮文庫
72　『月の影　影の月』　小野不由美　講談社Ｘ文庫
73　『夏への扉』　Ｒ・Ａ・ハインライン　ハヤカワ文庫
74　『鍋の中』　村田喜代子　文春文庫
75　『野菊の墓』　伊藤左千夫　新潮文庫
76　はるかな町　三木　卓　集英社文庫
77　『非・バランス』　魚住直子　講談社
78　『ぼくは勉強ができない』　山田詠美　新潮文庫
79　『火垂るの墓』　野坂昭如　新潮文庫
80　モンテ・クリスト伯　Ａ・デュマ　岩波文庫
81　『レキシントンの幽霊』　村上春樹　文藝春秋

＜２・３年生向け　ノンフィクション＞

82　蒼い時　山口百恵　集英社文庫
83　生きるヒント　五木寛之　角川文庫
84　『宇宙からの帰還』　立花　隆　中公文庫
85　河童が覗いたインド　妹尾河童　新潮文庫
86　こころのチキンスープ　キャンフィールド　　吉田利子　訳　　ダイヤモンド社
87　ことばの国　清水義範　集英社文庫
88　さかさま世界史英雄伝　寺山修司　角川文庫
89　自分を好きになる本　Ｐ・バルマー　径書房
90　戦争がやってくる　藤井治夫　ちくまプリマーブックス
91　『ゾウの時間・ネズミの時間』　本川達雄　中公新書
92　『父の詫び状』　向田邦子　文春文庫
93　手塚治虫がねがったこと　斎藤次郎　岩波ジュニア新書
94　日本一短い「母」への手紙　福井県丸岡町編　角川文庫
95　日本語ってどんな言葉？　佐々木瑞枝　筑摩書房
96　『平家物語を読む』　永積安明　岩波ジュニア新書
97　僕が20世紀と暮していた頃　野田秀樹　中央公論社

98　豊かさのゆくえ　佐和隆光　岩波ジュニア新書
99　「読むクスリ」シリーズ　上前淳一郎　文春文庫
100　ワープロを使いこなそう　石田千代子　岩波ジュニア新書

光村図書が薦めるこの１００冊（中学校）の掲載書籍リスト

＜フィクション＞　物語・小説・詩など

1　『赤毛のアン』　赤毛のアンのすべて　Ｌ・Ｍ・モンゴメリ　新潮文庫
2　あしたは晴れた空の下で　ぼくたちのチェルノブイリ　中澤晶子　汐文社
3　アルジャーノンに花束を　他のアルジャーノンに花束を　ダニエル・キイス　早川書房
4　『いつでも会える』　菊田まりこ　学習研究社
5　『兎の眼』　そのほかの兎の眼　灰谷健次郎　角川文庫
6　『エイジ』　重松　清　朝日新聞社
7　『絵の中のぼくの村』　田島征三　くもん出版
8　おーい　ぽぽんた　茨木のりこ他編　福音館書店
9　『おじいさんの思い出』　トルーマン・カポーティー　文藝春秋
10　『おちくぼ姫』　田辺聖子　角川文庫
11　『弟の戦争』　ロバート・ウェストール　徳間書店
12　『鬼の橋』　伊藤　遊　福音館書店
13　『おばあちゃん』　ペーター・ヘルトリング　偕成社
14　『おれがあいつであいつがおれで』　山中恒　旺文社
15　『怪談』　　そのほかの怪談（児童書）　ラフカディオ・ハーン　集英社文庫
16　『影との戦い（ゲド戦記Ｉ）』　ゲド戦記シリーズ　Ｕ.Ｋ．ル=グウィン　岩波書店
17　『クラバート』　オトフリート・プロイスラー　偕成社文庫
18　『月神の統べる森で』　たつみや章　講談社
19　恋する伊勢物語　俵　万智　ちくま文庫
20　こころ　そのほかのこころ　夏目漱石　新潮文庫
21　ざ・ちぇんじ！（前編・後編）　氷室冴子　集英社
22　さびしいときは心のかぜです　原田大助・山元加津子　樹心社
23　『サラダ記念日』　俵　万智　河出文庫
24　シャーロック・ホームズの冒険　その他のシャーロック・ホームズの冒険
シャーロック・ホームズシリーズのすべて　Ａ・コナン・ドイル　新潮文庫
25　十五才　山田洋次　角川文庫
26　次郎物語（上・下）　次郎物語のすべて　下村湖人　新潮文庫
27　しろばんば　そのほかのしろばんば　井上　靖　新潮文庫
28　『スウィート・メモリーズ』　ナタリー・キンシー＝ワーノック　金の星社
29　『スキップ』　北村　薫　新潮文庫
30　『鈴の鳴る道』　星野富弘　偕成社
31　『スターガール』　ジェリー・スピネッリ　理論社
32　『ステップファザー・ステップ』　宮部みゆき　講談社文庫

33　『絶対泣かない』　山本文緒　角川文庫
34　『そこに僕はいた』　辻　仁成　新潮文庫
35　『そして誰もいなくなった』　アガサ・クリスティー　ハヤカワ文庫
36　『大地の子エイラ』（上・中・下）　エイラシリーズ　ジーン・Ｍ・アウル　評論社文庫
37　『ちいさなちいさな王様』　アクセル・ハッケ　講談社
38　『注文の多い料理店』　そのほかの注文の多い料理店　宮沢賢治　新潮文庫
39　『つきのふね』　森　絵都　講談社
40　『ＴＵＧＵＭＩ』　つぐみ　吉本ばなな　中公文庫
41　『つめたいよるに』　初版　文庫版　江國香織　新潮文庫
42　『ティーパーティーの謎』　Ｅ．Ｌ．カニグズバーグ　岩波少年文庫
43　『トムは真夜中の庭で』　そのほかのトムは真夜中の庭で　フィリパ・ピアス　岩波少年文庫
44　ﾄﾞリトル先生物語　改版　少年文庫版　ヒュー・ロフティング　岩波少年文庫
45　『泣けない魚たち』　阿部夏丸　ブロンズ新社
46　『悩みはイバラのようにふりそそぐ』　山田かまち　ちくま文庫
47　『西の魔女が死んだ』　梨木香歩　小学館
48　『偽原始人』　ジュニア版（上・下）　一般の偽原始人　井上ひさし　ジュニア文学館　新潮文庫
49　のはらうた（１・２・３・４）　工藤直子　童話屋
50　はだか　谷川俊太郎　筑摩書房
51　バッテリー　バッテリーシリーズ　あさのあつこ　教育画劇
52　ハッピーバースデイ　青木和雄　金の星社
53　『はてしない物語』　少年文庫版（上・下）　ミヒャエル・エンデ　岩波少年文庫
54　『ハロウィンがやってきた』　レイ・ブラッドベリ　晶文社
55　『ふたり』　赤川次郎　赤川次郎の児童書　新潮文庫
56　ブッタとシッタカブッタ　小泉吉宏　メディアファクトリー
57　『ブンナよ、木からおりてこい』　水上勉　新潮文庫
58　『ぼくはここにいる』　さなともこ　講談社
59　『ぼくらの七日間戦争』　宗田理　角川文庫
60　『星の王子さま』　そのほかの星の王子さま　サン=テグジュペリ　岩波少年文庫
61　『非・バランス』　魚住直子　講談社
62　『封神演義』（上・中・下）　許仲琳　偕成社
63　『蛍川・泥の河』　川三部作　宮本輝　角川文庫
64　『ボッコちゃん』　星　新一　新潮文庫
65　『ポビーとディンガン』　ベン・ライス　アーティストハウス
66　『ポプラの秋』　湯本香樹実　新潮文庫
67　『ムーミン谷の彗星』　ムーミン童話全集　トーベ・ヤンソン　講談社文庫

68　桃尻語訳　枕草子（上・中・下）　橋本治　河出文庫
69　『ライ麦畑でつかまえて』　初版　Ｊ.Ｄ．サリンジャー　白水社ｕブックス
70　羅生門・鼻　羅生門・杜子春　芥川龍之介　新潮文庫
71　『ら抜きの殺意』　永井愛　光文社文庫
72　『リトル・トリー』　フォレスト・カーター　めるくまーる

＜ノンフィクション＞　解説・論説・随筆など

73　『あのころ』　さくらももこ　集英社
74　『アラスカ　風のような物語』　文庫版　星野道夫　小学館文庫
75　アンネの日記　完全版　アンネの日記（新訳）　アンネ・フランク　文春文庫
76　生きてます，15歳。　500ｇで生まれた娘へ　井上美由紀　ポプラ社
77　『宇宙からの帰還』　立花隆　中公文庫
78　『おもしろくても理科』　清水義範　講談社文庫
79　『科学的とはどういうことか』　板倉聖宣　仮説社
80　『木に学べ』　西岡常一　小学館ライブラリー
81　『高校生日記』　大仁田　厚　ドリームワークス出版
82　『ご冗談でしょう，ファインマンさん（上・下）』　Ｒ．Ｐ．ファインマン　岩波現代文庫

83　子どもたちが地球を救う　５０の方法　アース・ワークス　グループ編　ブロンズ新社
84　ことわざ絵本part１　part２　五味太郎　岩崎書店
85　『サンタクロースって　いるんでしょうか？』　ニューヨーク・サン新聞「社説」　偕成社
86　『職人』　永六輔　岩波新書
87　『たけしくん，ハイ！』　ビートたけし　新潮文庫
88　地球家族　世界３０か国のふつうの暮らし　マテリアルワールドプロジェクト　ＴＯＴＯ出版
89　『父の詫び状』　向田邦子　文春文庫
90　『トットちゃんとトットちゃんたち』　黒柳徹子　講談社
91　『トラちゃん』　群　ようこ　集英社文庫
92　日本一短い「母」への手紙　福井県丸岡町編　角川文庫
93　日本語ってどんな言葉？　佐々木瑞枝　筑摩書房
94　『日本人ごっこ』　吉岡　忍　文春文庫
95　ファーブルの昆虫記（上・下）　ファーブル昆虫記のすべて　大岡　信編訳　岩波少年文庫
96　『プチ哲学』　佐藤雅彦　マガジンハウス
97　まるごと好きです　工藤直子　ちくま文庫
98　ムツゴロウの青春記　畑　正憲　文春文庫
99　『モリー先生との火曜日』　ミッチ・アルボム　日本放送出版協会

100　わたしたちを忘れないで　ドイツ平和村より　東　ちづる　ブックマン社

『今のうちに読んでおくべきだと思う本』(１４歳の世渡り術)の掲載書籍リスト

Ⅰ

1 問題があります　佐野洋子　森に分け入る（角田光代）
2 幼年期の終り　クラーク　絶望と紙一重の希望（森達也）
3 神様のみなしご　川島誠　「愛生園」。ヤバイくらい胸に迫る、リアルで残酷で優しい物語（金原瑞人）
4 博物誌　ルナール　新潮　みじかく・ぴかっ（工藤直子）
5 ウォーターシップ・ダウンのウサギたち　アダムズ　生きる、生き生きと！（野中柊）
6 フラニーとゾーイー　サリンジャー　これはもう本ではない（吉田篤弘）
7 宮本武蔵　吉川英治　波瀾万丈の痛快な小説を楽しもう（木田元）
8 東京日記　内田百閒　ひゃっけんでいこう（ホンマタカシ）
9 竜馬の手紙　宮地佐一郎　手紙の面白さ（出久根達郎）
10 刺のないサボテン　高梨菊ニ郎　私の一生をきめた本（柳澤桂子）

Ⅱ

11 肉体の悪魔　ラディゲ　恋愛はしなくてもかまわない（山崎ナオコーラ）
12 若きウェルテルの悩み　ゲーテ（高橋義孝訳　新潮文庫）　１４歳に薦める本（長沼毅）
13 あめりか物語　ふらんす物語　永井荷風　失敗は人生の障害ではない（橘木俊詔）
14 中島らもの特選明るい悩み相談室　その①～③　中島らも　こんな大人もいるんです。（中江有里）
15 COTTON 100%　AKIRA　現代書林　堂々と間違えろ！！（雨宮処凛）
16 賭博黙示録カイジ　福本伸行　嘘のない”むき出し”に触れる（小池龍之介）
17 火の鳥４・鳳凰編　手塚治虫　顔で笑って心で怒る君のために（岡ノ谷一夫）
18 本当の戦争の話をしよう　オブライエン（村上晴樹訳文春文庫）　世界にも自分にも誠実であるとは（服部文祥）
19 冒険者カストロ　佐々木譲　世界一タフな男（森絵都）
20 『おいしくできる　きちんとわかる　基本の家庭料理　和食篇』　本谷恵津子監修　これさえあれば、生きていける（新井紀子）

Ⅲ

21 『利己的な遺伝子』　ドーキンス　我々は、遺伝子の乗り物にすぎないのか？（貴志祐介）
22 虚無への供物　中井英夫　中井英夫・その人々に（恩田陸）
23 論理哲学論考　ウィトゲンシュタイン　（野矢茂樹訳　岩波文庫）　哲学が哲学に引導を渡した（村上陽一郎）
24 ゲーデルは何を証明したか　ナーゲルほか　数学書ですが、恐れることはありません。（大澤真幸）

25 タブーの正体！　マスコミが「あのこと」に触れない理由　川端幹人　ちくま新書　マスコミって何だろう（石原千秋）
26 オリエント急行の殺人　クリスティー　推理小説から考えるための方法を学ぶ（島田裕巳）
27 『珍日本紀行』　東本篇／西日本篇　都築響一　珍日本を訪ねて……（辛酸なめ子）
28 共産党宣言　マルクス　エンゲルス（岩波文庫）　常識と思われているものは、永遠には続かない（佐藤優）
29 『東京漂流』　藤原新也　痛いけど体の芯に届く言葉
30 聖書　世渡りなんぞ、やめなさい。（上野千鶴子）。他には、法句経、論語、歎異抄

『１０代の本棚　こんな本に出会いたい』あさのあつこ(編著)(岩波ジュニア新書)の掲載書籍リスト

１３人が語る１０代の本棚

言及図書リスト

１．荒木源

松本清張　けものみち
安部公房　壁　箱男　砂の女　燃えつきた地図
カフカ　変身
ドストエフスキー　罪と罰
プルースト　失われた時を求めて
バルザック　谷間の百合
トーマス・マン　魔の山
トルストイ　戦争と平和

２．アン・サリー

ロス　死ぬ瞬間
小田実　何でも見てやろう
ドストエフスキー　カラマーゾフの兄弟

３．石井睦美

寺山修司　われに五月を　寺山修司青春歌集
庄司薫　赤頭巾ちゃん気をつけて　白鳥の歌なんか聞こえない　さよなら快傑黒頭巾　ぼくの大好きな青髭
福田章二　喪失
デュマ・フィス　椿姫
サリンジャー　『ライ麦畑でつかまえて』　　ナイン・ストーリーズ　フラニーとゾーイー

４．伊藤精英

ル＝グウィン　影との戦い

５．川端裕人
ジュール・ヴェルヌ　十五少年漂流記
ダニエル・デフォー　ロビンソン・クルーソー
サリンジャー　キャッチャー・イン・ザ・ライ
フィッツジェラルド　グレート・ギャツビー
スタインベック　怒りのぶどう
ヘミングウェイ　老人と海　海流のなかの島々　誰がために鐘は鳴る
モンゴメリ　赤毛のアンシリーズ
ハインライン　夏の扉
クラーク　幼年期の終わり
小松左京　神への長い道
アシモフ　銀河帝国興亡史

６．貴戸理恵

山田詠美　蝶々の纏足・風葬の教室　ベッドタイムアイズ・指の戯れ・ジェシーの背骨　放課後の音符　ひざまずいて足をお舐め

７．佐藤多佳子

トーベ＝ヤンソン　ムーミンシリーズ
モンゴメリ　赤毛のアンシリーズ
吉川英治　新・平家物語
大佛次郎　鞍馬天狗シリーズ
司馬遼太郎　燃えよ剣　新選組血風録
アーサー・ランサム　ツバメ号とアマゾン号シリーズ
リンドグレーン　わたしたちの島で
佐藤さとる　赤んぼ大将　だれも知らない小さな国　わんぱく天国　ジュンとひみつの友だち
サリンジャー　『ライ麦畑でつかまえて』　　ナイン・ストーリーズ
村上春樹　羊をめぐる冒険　１９７３年のピンボール　風の歌を聴け

８．堤未果

エンド　はてしない物語
トラヴァース　風にのってきたメアリー・ポピンズ　帰ってきたメアリー・ポピンズ　とびらをあけるメアリー・ポピンズ　公園のメアリー・ポピンズ

９．中井貴恵

星の王子さま
もりやまみつこ　つりばしゆらゆら　ぼくだけしっている
星野道夫　旅する本

１０．畑谷史代

リンドグレーン　やかまし村、ピッピ各シリーズ
シュピーリ　ハイジ
ワイルダー　インガルス一家の物語シリーズ　ローラ物語シリーズ
バーネット　秘密の花園
三浦綾子　氷点
キュリー　キュリー夫人伝
デュマ　モンテ・クリスト伯
トールキン　指輪物語シリーズ

１１．はやみねかおる

今江祥智　山のむこうは青い海だった
クリスティ　『そして誰もいなくなった』
広瀬正　タイム・マシンのつくりｋた
平井和正　ウルフガイシリーズ
ドイル　ヴァン・ダイン　ディクスン・カー　チェスタトン　ブラッドベリ　ブラウン　眉村卓　平井和正　横溝正史ほか

１２．前田司郎

モンゴメリ　赤毛のアンシリーズ
福島章　ヒトは狩人だった

１３．あさのあつこ

ドイル　バスカヴィル家の犬

『飛ぶ読書室　この本がおもしろいよ』紀田順一郎(著)の掲載書籍リスト

〇　著作で紹介

第１部　視野を広げる本棚＜海外篇＞

１．聖書　世界のはじまり

〇バン・ルーン　聖書物語
聖書物語　山形孝夫　岩波ジュニア新書
聖書物語　山室静　偕成社文庫
聖書物語（旧約編・新約編）　香山〇子　講談社青い鳥文庫

２．ギリシア・ローマ物語　豊かな想像力
〇　ブルフィンチ　ギリシア・ローマ神話　岩波文庫
ギリシア神話　高津春繁ほか　偕成社文庫
完訳　ギリシア・ローマ神話　大久保博　角川文庫
ギリシア・ローマの神話　吉田敦彦　ちくま文庫

３．イソップ寓話集　たとえ話の元祖
〇　イソップのお話　河野与一編訳　岩波少年文庫
イソップ寓話集　中務哲郎　岩波文庫
イソップ童話　ニ宮フサ　偕成社文庫

４．西遊記　呉承恩　旅の苦難
〇　西遊記　講談社　青い鳥文庫
西遊記（１０巻）　中野美代子　岩波文庫
西遊記（３巻）　伊藤貴麿　岩波少年文庫
西遊記（上下）　村上知行　光文社文庫
西遊記（３巻）　君島久子　福音館文庫
西遊記（３巻）　吉本直志郎　ポプラポケット文庫

５．三国志　羅貫中　英雄豪傑の栄光と死
〇　三国志　講談社　青い鳥文庫
三国志（８巻）　小川環樹ほか　岩波文庫
三国志（３巻）　小川環樹ほか　岩波少年文庫
完訳　三国志（５巻）　村上知行　光文社文庫

三国志演義（７巻）　井波律子　ちくま文庫
三国志（５巻）　三田村信行　ポプラポケット文庫

６．ロミオとジュリエット　ひたむきな愛
○　ロミオとジュリエット　シェイクスピア　中野好夫訳　新潮文庫
新訳　ロミオとジュリエット　河合祥一郎　角川文庫
ロミオとジュリエット　飯島淳秀　講談社青い鳥文庫
シェイクスピア全集２　ロミオとジュリエット　松岡和子　ちくま文庫
ロミオとジュリエット　小田島雄志　白水社

７．聊斎志異　蒲松齢　書くことのなぐさめ（科挙試験に受からない。怪異小説でなぐさめる）
○　聊斎志異　岩波少年文庫
聊斎志異（２巻）　立間祥介　岩波文庫
聊斎志異の怪　志村有弘　角川ソフィア文庫

８．ロビンソン漂流記　デフォー　独りで生き抜く勇気と技術
○　ロビンソン漂流記　吉田健一訳　新潮文庫
ロビンソン・クルーソー（２巻）　平井正穂　岩波文庫
ロビンソン漂流記　中野好夫　講談社青い鳥文庫
ロビンソン・クルーソー　坂井晴彦　福音館文庫
ロビンソン漂流記　澄木袖　ポプラポケット文庫
（参考　高橋大輔　ロビンソン・クルーソーを探して）

９．鼻／外套　ゴーゴリ　苦いユーモア
○　鼻／外套／査察官　浦雅春訳　光文社古典新訳文庫
外套・鼻　平井○　岩波文庫
外套・鼻　吉川宏人　講談社文芸文庫

１０．絵のない絵本　アンデルセン　やさしく敏感な心で
○　絵のない絵本　山野辺五十鈴訳　集英社文庫
絵のない絵本　大畑末吉　岩波文庫
絵のない絵本　川崎芳隆　角川文庫
絵のない絵本　矢先源九郎　新潮文庫
絵のない絵本　山室静　フォア文庫
絵のない絵本　大塚勇三　福音館文庫

１１．黒猫／黄金虫　ポー　ミステリとホラーの開祖

○　黒猫・黄金虫　佐々木直次郎訳　新潮文庫
黒猫・モルグ街の殺人事件　中野好夫　岩波文庫
モルグ街の殺人事件　金原瑞人　岩波少年文庫
エドガー＝アラン＝ポー　怪奇・探偵小説集（２巻）谷崎精二　偕成社文庫
黒猫／モルグ街の殺人　小川隆義　光文社古典新訳文庫
黒猫　藤川義之　集英社文庫

１２．クリスマス・カロル　ディエンズ　大いなる人間愛
○　クリスマス・カロル　村岡花子訳　新潮文庫
クリスマス・キャロル　脇明子　岩波少年文庫
クリスマス・キャロル　夏目道子　フォア文庫
クリスマス・キャロル　池央○　光文社古典新訳文庫
クリスマス・キャロル　清水奈緒子　ポプラポケット文庫

１３．不思議の国のアリス　ルイス・キャロル　午後のお話から生まれた童話
○　矢川澄子訳　新潮文庫
ふしぎの国のアリス　中山知子　フォア文庫
不思議の国のアリス　脇明子　岩波少年文庫
不思議の国のアリス　福島正実　角川文庫
ふしぎの国のアリス　生野幸吉　福音館文庫
ふしぎの国のアリス　蕗沢忠枝　ポプラポケット文庫

１４．海底二万里　ヴェルヌ　自由とロマンへの憧れ
○　海底二万里　江口清訳　集英社文庫
海底二万里　岩波文庫　岩波少年文庫
海底二万里（３巻）　大友徳明　偕成社文庫

１５．昆虫記　ファーブル　化学者に学ぶ人生の価値
○　ファーブル昆虫記　大岡信編訳　岩波少年文庫
完訳　ファーブル昆虫記　岩波文庫
ファーブル昆虫記（６巻）　集英社文庫

１６．宝島　スティーヴンソン　夢と空想を育む（大人になっても読み直したい小説）
○　宝島　阿部知二訳　岩波文庫
宝島　村上博基　光文社古典新訳
宝島　佐々木直次郎　新潮文庫

１７．ハックルベリー・フィンの冒険　マーク・トウェイン　おおらかな自由への憧れ
〇　ハックルベリー・フィンの冒険　西田実訳　岩波文庫
ハックルベリ・フィンの冒険　角川文庫ほか

１８．クオレ　アミーチス　真心にふれる
〇　クオレ　矢崎源九郎訳　偕成社文庫
クオーレ　和田忠彦　平凡社ライブラリー

１９．ジーキル博士とハイド氏　スティーヴンソン　善悪のはざまで
〇　ジーキル博士とハイド氏　田中西二郎訳　新潮文庫
ジーキル博士とハイド氏　岩波少年文庫、角川文庫ほか
（参考　二重人格や分身の話：マイリンク「プラハの大学生」、ドストエーフスキー「二重人格」、谷崎潤一郎「友田と松永の話」）

２０．幸福な王子　オスカー・ワイルド　献身的な愛の強さ、美しさ
〇　幸福な王子　西村孝次訳　新潮文庫
幸福の王子　井村君江　偕成社文庫
しあわせの王子　いもとようこ　金の星社

２１．十五少年漂流記　ヴェルヌ　集団の力
〇　十五少年漂流記　波多野完治訳　新潮文庫（原作の抄訳）
十五少年漂流記　石川〇　角川文庫
二年間の休暇（上・下）　偕成社文庫、福音館文庫

２２．古代への情熱　シュリーマン　夢と想像力
〇　古代への情熱　村田数之亮訳　岩波文庫
古代への情熱　角川文庫、新潮文庫

２３．シャーロック・ホームズの冒険　コナン・ドイル　ゆったりと謎を解く
〇　シャーロック・ホームズの冒険　延原謙訳　新潮文庫（１２篇のうち、１０篇が収められている）
「名探偵ホームズ」シリーズ（１６巻）　講談社青い鳥文庫
シャーロック・ホームズの冒険　光文社文庫ほか

２４．最後の一葉　オー・ヘンリー　優しさと勇気
〇　オー・ヘンリー傑作集　大津栄一郎訳　岩波文庫
１ドルの価値／賢者の贈り物　光文社古典新訳

O・ヘンリ短編集（３巻）　新潮文庫

２５．奇跡の人　ヘレン・ケラー自伝　生きていることば
○　奇跡の人　ヘレン・ケラー自伝　小倉慶郎訳　新潮文庫

２６．野性の叫び　ジャック・ロンドン　荒野に生きる
○　野性の叫び　深町真理子訳　光文社古典新訳文庫
荒野の叫び　岩波文庫ほか

２７．ピーター・パン　ジェームズ・バリー　童心の純粋さ
○　ピーター・パン　本多顕彰訳　新潮文庫
ピーター・パン　岩波少年文庫ほか

２８．郷愁　ヘルマン・ヘッセ　人生への真摯な姿勢
○　郷愁　高橋謙二訳　新潮文庫

２９．サキ短篇集　サキ　人生の意外性
○　サキ短篇集　サキ　中村能三訳　新潮文庫
サキ傑作集　岩波文庫
サキ傑作選　ハルキ文庫

３０．奇岩城　モーリス・ルブラン　夢と冒険
○　奇岩城　ルパン傑作集Ⅲ　堀口大学訳　新潮文庫
奇巌城　逢坂剛　講談社文庫
怪盗ルパン奇巌城　集英社文庫ほか

３１．青い鳥　メーテルリンク　幸福は身近にある
○　青い鳥　堀口大学訳　新潮文庫
青い鳥　岩波少年文庫ほか

３２．あしながじさん　ウェブスター　夢をしっかり持ち続けよう
○　あしながおじさん　松本恵子訳　新潮文庫
あしながおじさん　岩波少年文庫
あしながおじさん　谷川俊太郎　フォア文庫ほか
（作者はマーク・トゥエインの姪）

３３．飛ぶ教室　エーリッヒ・ケストナー　まっすぐに見つめよう

○　飛ぶ教室　山口四郎訳　講談社　青い鳥文庫
飛ぶ教室　岩波少年文庫、光文社古典新訳ほか

３４．名犬ラッシー　エリック・ナイト　ひたむきな誠実
　○　名犬ラッシー　講談社　青い鳥文庫

３５．ジェニーの肖像　ロバート・ネイソン　永遠の愛
　○　ジェニーの肖像　山室静訳　偕成社文庫
（他の代表作　いまひとたびの春）

３６．星の王子さま　サン＝テグジュペリ　心で見る真実
　○　星の王子さま　内藤〇訳　岩波少年文庫
ちいさな王子　光文社古典新訳ほか
（著作　南方郵便機　夜間飛行　人間の土地　城砦）

３７．森は生きている　サムイル・マルシャーク　大いなるやさした、豊かな幻想
　○　森は生きている　湯浅芳子訳　岩波少年文庫
１２の月たち　評論社
（ソビエト児童劇の代表作）

３８．『木を植えた人』　ジャン・ジオノ　持続する意志
　○　木を植えた人　原みち子訳　こぐま社
木を植えた人　あすなろ書房

３９．神を見た犬　ブッツァーティ　現代の寓話
　○　神を見た犬　関口英子訳　光文社古典新訳文庫

４０．沈黙の春　レイチェル・カーソン　人類への警告
　○　沈黙の春　青樹築一訳　新潮文庫

第２部　心豊かな読書のしおり＜日本篇＞

４１．古事記　神話と伝説
　○　古事記物語　福永武彦作　岩波少年文庫
新板　古事記物語　鈴木三重吉　角川ソフィア文庫
ビギナーズ　クラッシクス　古事記　角川ソフィア文庫
現代語訳　古事記　福永武彦　河出文庫

４２．今昔物語集　心に残る説話
　○　今昔ものがたり　杉浦明平　岩波少年文庫（３９話が口語訳）
ビギナーズ・クラッシクス　今昔物語集　角川ソフィア文庫
今昔物語　福永武彦　ちくま文庫ほか

４３．徒然草　吉田兼好　豊かな人間性
　○　ビギナーズ・クラッシクス　徒然草　角川ソフィア文庫
新訂　徒然草　岩波文庫
現代語訳　徒然草　佐藤春夫　河出文庫

４４．怪談　ラフカディオ・ハーン　日本人のこころを探る
　○　怪談　平井啓一訳　岩波文庫
怪談　集英社文庫ほか

４５．坊っちゃん　夏目漱石　純粋な正義心
　○　坊っちゃん　新潮文庫

４６．野菊の墓　伊藤左千夫　至純の愛
　○　野菊の墓　新潮文庫
（夏目漱石も名品と評価）

４７．千曲川のスケッチ　島崎藤村　鋭い観察眼
　○　千曲川のスケッチ　新潮文庫

４８．山椒大夫　森鴎外　希望に向かう意志
　○　山椒大夫・高瀬舟　新潮文庫
（鴎外の歴史小説　興津弥五右衛門の遺書　阿部一族　護持院原の敵討　大塩平八郎　渋江抽斎
）

４９．科学と科学者のはなし　寺田寅彦　科学する心
　○　科学と科学者のはなし　岩波少年文庫
寺田寅彦随筆集（５冊）　岩波文庫

５０．杜子春／蜘蛛の糸　芥川龍之介　人生の深い余韻
　○　蜘蛛の糸・杜子春　新潮文庫

５１．小僧の神様／城の崎にて　志賀直哉　含蓄のある表現
　○　小僧の神様・城の崎にて　新潮文庫

５２．赤いろうそくと人魚　小川未明　深い人間愛
　○　小川未明童話集　新潮文庫

５３．伊豆の踊子　川端康成　純粋なこころ
　○　伊豆の踊子　新潮文庫

５４．日本の昔話　柳田国男　語りつぐ心
　○　日本の昔話　新潮文庫
新版　日本のむかし話（８巻）　坪田譲治　偕成社文庫
日本昔話百選　稲田浩二ほか　三省堂

５５．風の又三郎　宮澤賢治　透明な風よ吹け
　○　風の又三郎　岩波文庫

５６．心に太陽を持て　山本有三　理想を育む
　○　心に太陽を持て　新潮文庫

５７．君たちはどう生きるか　吉野源三郎　社会の見方
　○　君たちはどう生きるか　岩波文庫

５８．ジョン万次郎漂流記　井伏鱒二　勇気と向上心
　○　ジョン万次郎漂流記　偕成社文庫

５９．おらんだ正月　森鉄三　心理を追求する（江戸の科学者の伝記）
　○　新編　おらんだ正月　岩波文庫

６０．走れメロス　太宰治　まっすぐな心
　○　走れメロス　富嶽百景　岩波少年文庫

６１．山月記／名人伝　中島敦　生きることの意味
　○　李陵・山月記　新潮文庫

６２．ビルマの竪琴　竹山道雄　平和を求める精神
　○　ビルマの竪琴　新潮文庫

６３．二十四の瞳　壺井栄　平和への思い

○　二十四の瞳　偕成社文庫

『中学生のための読解力を伸ばす魔法の本棚』中島克治(著)の掲載書籍リスト

名作マンガをすすめる
手塚治虫　ブラックジャック　三つ目がとおる　火の鳥

拾い読みは科学やエッセー
エンツェンスベルガー　『数の悪魔』
ファインマン　『ご冗談でしょう、ファインマンさん』
寺田寅彦　科学と科学者のはなし

読書が苦手な中学生におすすめの本
浜田広介　泣いた赤おに　改めて中学生にすすめたい
矢部美智代　かげまる　影に注目させる
宮沢賢治　『銀河鉄道の夜』　中編作品
ピアス　『トムは真夜中の庭で』　何度読んでも面白い
関川夏央・谷口ジロー　坊っちゃんの時代　マンガ。明治の話
ハインライン　『夏への扉』　SFの名作
筒井康隆　七瀬ふたたび　エスパーもの
宮部みゆき　蒲生邸事件　推理小説。歴史的背景（昭和１１年の２．２６事件）
ウェルズ　宇宙戦争　古典的なSF
村山早紀　コンビニたそがれ堂

読解力をつける
ストーリーの変化点には〇や「」をつける。
気になったところ、などは線を引く
読み飛ばしたら、印をつける

サブノートで力をつける
＜国語＞
教科書のコピーをはる　その下　語句や漢字を書き出調べる
先生の板書を書く　その下　自分の印象や感想
最終ページ
段落がどこで分けられるか記録する。何ページの何行目から何ページの何行目
要約文を書く４００字から８００字
主題を書く　５０字から１００字
感想や疑問を書く

おすすめブックリスト２０５冊

１．物語・小説　初・中級編

１　ぼくはアフリカにすむキリンといいます　岩佐めぐみ　キリンとペンギンの手紙の温かさ
２　そいつの名前はエメラルド　竹下文子　ペットを育てる
３　白いりゅう黒いりゅう　中国のたのしいお話　雄大で読み応えがある作品
４　山の上の火　エチオピアのたのしいお話　クーランダー　イスラムの文化の香り
５　ほんとうのことをいってもいいの？　マキサック　本当のことを言えば相手を傷つける
６　たいせつなこと　ワイズブラウン　自然とものと人との関わり
７　『いつでも会える』　菊田まりこ　死んでしまった飼い犬からのメッセージ
８　きみのかわりはどこにもいない　カールソン　聖書のストレイシープを題材に
９　わたしのいもうと　松谷みよ子　妹をいじめで亡くした姉の立場
１０　リトル・ウイング　吉富多美　不器用な主人公
１１　からくり夢時計　川口雅幸　自分の知らない過去を知る
１２　永遠の夏休み　折原みと　仲間が山で死ぬ
１３　ぼくと未来屋の夏　はやみねかおる　マンガの原作。未来屋が難問解決
１４　すみ鬼にげた　巌城範枝　奇想天外なストーリー
１５　建具職人の千太郎　岩崎京子　江戸の終わりごろの話
１６　七草小屋のふしぎなわすれもの　島村木綿子　自然と人間の交流
１７　両親をしつけよう！　ジョンソン　逆転の視点
１８　ピトゥスの動物園　スリバス　物語の世界へ
１９　お父さんのラッパばなし　瀬田貞二　ほら話
２０　『鬼の橋』　伊藤遊　人間と異界の者の心の交流
２１　ぼくはだれもいない世界の果てで　アンダーソン　本当に大切なものは
２２　しあわせの子犬たち　ラバット　人間と犬の関わり
２３　ビーバー族のしるし　ジョージスピア　アメリカ開拓時代。ネイティヴ・アメリカンとの出会い
２４　アンドロメダの犬　今井恭子　宇宙からやってきた犬
２５　りゅうのたまご　佐藤さとる　展開が鮮やか
２６　はじめての文学　浅田次郎　若い読者むけの自選作品集
２７　ミカ！　伊藤たかみ　ミカの成長
２８　フラワー・ベイビー　ファイン　家出した父親のこと
２９　ぼくがぼくであること　山中亘　家出で出来事に遭遇
３０　『ちいさなちいさな王様』　ハッケ　自分なりの価値観
３１　時計坂の家　高桜方子　祖父母の時代にタイムスリップ
３２　十二歳　椰月美智子　小学校６年生の１年間

３３　ある日犬の国から手紙が来て　田中マルコ　心に響く
３４　夏を拾いに　森浩美　父親が子ども時代を語る
３５　少年の木　希望のものがたり　フォアマン　ひとすじの希望
３６　おとうさんのちず　シュルビッツ　自伝的物語。心を豊かに
３７　『名探偵カッレくん』　リンドグレーン　痛快な物語
３８　ギリシア神話　遠藤寛子ほか訳　講談社青い鳥文庫　教養的な知へ
３９　『泣けない魚たち』　阿部夏丸　川遊びで成長
４０　鼻　芥川龍之介　コンプレック　6FYBｱｸ
４１　風　伊藤整　（（母六夜・おじさんの話）所収　少年少女日本文学館 19）少年たちの心理
４２　リリース　草野たき　自分は何のために我慢しているのか
４３　ボーイズ・ビー　桂望実　がまんはしなくていい
４４　なまくら　吉橋通夫　幕末の少年
４５　おちくぼ姫　田辺聖子　継母にいじめられている女の子
４６　四十一番の少年　井上ひさし　施設に預けられている子どもの成長を描いた自伝的作品集
。
４７　自転車少年記　あの風の中へ　竹内真　自転車ラリーで成長
４８　『マイマイ新子』　高樹のぶ子　昭和３０年代の様子
４９　フクロウはだれの名を呼ぶ　ジョージ　人間と自然の関係
５０　ヨハネスブルクへの旅　ナイドゥー　母を訪ねて
５１　あたしの中の…　新井素子　デビュー作。自分はだれ？
５２　算法少女　遠藤寛子　算数ができる喜びを追体験
５３　どろぼうの神さま　フンケ　息もつかせぬ展開
５４　不思議を売る男　マコーリアン　小道具の由来。
５５　幽霊の恋人たち　ローレンス　３姉妹と幽霊
５６　マルコヴァルドさんの四季　イタロ・カルヴィーノ　自然に目を向ける。思春期向け
５７　『南の島のティオ』　池澤夏樹　島の自然や奥行き
５８　オレンジ党と黒い釜　天沢退二郎　子どもと大人の対立
５９　ぼくたちはきっとすごい大人になる　有吉玉青　日常がリアルに
６０　すいかの匂い　江國香織　１１人の少女のナ付きの記憶
６１　卵と小麦粉それからマドレーヌ　石井睦美　人間関係の深まり
６２　『約束』　石田衣良　池田小学校事件で衝撃を受けた作者によるメッセージ
６３　太陽の戦士　サトクリフ　青銅器時代の少年成長物語
６４　ぼくたちの砦　レアード　パレスチナが舞台
６５　サナギの見る夢　如月かずさ　小学校最後の思い出に映画を
６６　タイムマシン　ウェルズ　岩波少年文庫　SF小説の古典的作品
６７　ぼくの羊をさがして　ハブズ　子犬の成長
６８　夜の朝顔　富島ミホ　小６少女の日々

６９　友情　武者小路実篤　青春小説
７０　僕の行く道　新堂冬樹　母親に会いにいく
７１　この素晴らしき世界に生まれて　福田隆浩　おばあさんとの交流
７２　春さんのスケッチブック　依田逸夫　おばあさんとの交流
７３　風をおいかけて、海へ！　高森千穂　自転車旅行
７４　百年の家　ルイス　百年の歴史
７５　ブルーバック　ウィントン　人間らしさとは
７６　ベルおばさんが消えた朝　ホワイト　感動的
７７　あたしが部屋から出ないわけ　クーチュール　寂しさ
７８　マリアンヌの夢　ストー　闘病記
７９　『つめたいよるに』　江國香織　幻想的で切ない
８０　耳をすませば　柊あおい　アニメ化された
８１　いもうと物語　氷室冴子　昭和４０年代の北海道が舞台
８２　たんぽぽのまもり人　海嶋怜　守護天使となった男の子との交流
８３　エミリーへの手紙　ライト　感動物語
８４　時間をまきもどせ！　エチメンディ　トラブルがつぎつぎに
８５　穴　HOLES　サッカー　不思議な物語
８６　ミラクルズボーイズ　ウッドソン　兄弟たちの心のやりとり
８７　アライバル　タン　言葉なしの絵本

２．物語・小説　上級編

１　狐笛のかなた　上橋菜穂子　奇想天外な幻想小説
２　花まんま　朱川湊人　2005年度の直木賞ほか。死や異界の神秘性
３　ぼくと１ルピーの神様　スワラップ　2009年アカデミー「スラムドッグ＄ミリオネア」の原作
４　海に住む少女　ジュペルヴィエル　光文社古典新訳　フランス版宮沢賢治。
５　猫とともに去りぬ　ロダーリ　光文社古典新訳　２０世紀を代表するイタリアの童話作家（「チポリーノの冒険」
６　浦上の旅人たち　今西祐行　岩波少年文庫　明治政府によるキリシタン迫害
７　ニコルの塔　小森香折　記憶を消されていたニコル
８　『楽隊のうさぎ』　中沢けい　成長物語
９　翔太と猫のインサイトの夏休み　哲学的諸問題へのいざない　永井均　ちくま学芸文庫　生死や自由など
１０　図書館の神様　瀬尾まいこ　日常の面白さ
１１　桐島、部活やめるってよ　朝井リョウ　現代高校生のリアルな感情や生活
１２　アーモンド入りチョコレートのワルツ　森絵都　ピアノ曲がテーマ

１３　『風が強く吹いている』　三浦しをん　青春小説
１４　高瀬舟　森鴎外　自殺未遂の弟を助けるための殺人
１５　河童　芥川龍之介　人間の尊厳が破壊
１６　『山椒魚』　井伏鱒二　共感できる部分があるかも
１７　父のようにはなりたくない　阿部夏丸　自らの体験を踏まえた
１８　『父と暮せば』　井上ひさし　なくなった父との対話
１９　夢十夜　夏目漱石　耽美的、神秘的。同時収録の「文鳥」も
２０　風の靴　朽木祥　友だちとヨット
２１　明日につづくリズム　八束澄子　島のふたり
２２　シールド（盾）　村上龍　自分を守るものとは
２３　思い出のマーニー　ロビンソン　希望が持てる
２４　プールサイド小景　庄野潤三　重厚な作品
２５　だれが君を殺したのか　コルシュノウ　親友は事故死か自殺か
２６　茶色の朝　パヴロフ　大月書店　反ファシズムの寓話
２７　盗まれた記憶の博物館　イーザウ　歴史ファンタジー
２８　包帯クラブ　天童荒太　悲しみと痛み
２９　嗤う伊右衛門　京極夏彦　四谷怪談の現代版
３０　愛の妖精　サンド　古典的な作品。少し難しい
３１　子供の領分　吉行淳之介　格調の高い
３２　バージャック　メソポタミアンブルーの影　サイード　幻想文学的要素
３３　さよなら、アルマ　水野宗徳　第二次世界大戦の日本では軍犬が
３４　私の中のあなた　ピコー　映画化。家族の絆
３５　オリーブの海　ヘンクス　成長物語
３６　名前探しの放課後　辻村深月　青春ミステリー
３７　ギヴァー　記憶を注ぐ者　ローリー　近未来小説
３８　『非・バランス』　魚住奈緒子　心の交流と癒し
３９　一万年の旅路　ネイティヴ・アメリカンの口承史　アンダーウッド　ネイティヴ・アメリカンの口承の記録
４０　文字禍　中島敦　活字中毒者
４１　アンドロイドは電気羊の夢を見るか？　ディック　映画ブレードランナーの原作。人間とは何か
４２　パウドリーノ　ウンベルト・エーコ　冒険活劇。読み応えがある
４３　『ブリキの太鼓』　グラス　３歳から成長が止まったオスカルの半生

３．哲学・社会学

１　はじめて考えるときのように　「わかる」ための哲学的道案内　野矢茂樹　「考える」こと

について
２　哲学の冒険　生きることの意味を探して　内山節（毎日1985の再版）　自由・生きる・幸せ
３　中学生からの哲学「超」入門　自分の意志を持つということ　竹田青嗣　ちくまプリマー新書　なぜ哲学が大事なのか
４　友だち幻想　人と人の”つながり”を考える　菅野仁　友人関係を気づくための指南書
５　カイン　自分の「弱さ」に悩む君へ　中島義道　自分の弱さは自分らしさ
６　君たちの生きる社会　伊東光晴　経済学の立場から解説。大人にもおすすめ
７　永遠の空間　描かれた世界遺産　青山邦彦　世界遺産の建築物を精密に描く
８　そうだったのか！現代史　池上彰　第二次世界大戦後の世界の歴史など
９　＜いい子＞じゃなきゃいけないの？　香山リカ　ちくまプリマー新書　いい子の仮面をかぶらなくても
１０　人間の土地　サン＝テグジュペリ　堀口大学訳　格言のようなフレーズ。格調高い日本語。
１１　みんなのなやみ　重松清　小中学生から寄せられた悩み

４．詩集・言語
１　まるごと好きです　工藤直子　自分との付き合い方を提唱
２　ふしぎなことば　ことばのふしぎ　池上〇彦　ちくまプリマーブックス　生きた言葉
３　コミュニケーションの日本語　森山卓郎　岩波ジュニア新書　日本語のニュアンスや特徴
４　詩に誘われて　柴田翔　ちくまプリマー新書　詩の味わい方
５　おもしろ古典教室　上野誠　ちくまプリマー新書　古典の楽しみ方
６　くじけないで　柴田トヨ　９８歳の詩人の作品集
７　ある子どもの詩の庭で　スティーブンソン　瑞雲舎　子ども時代の憧れや夢を新訳で
８　子どもたちの遺言　谷川俊太郎ほか　子供時代へのオマージュ
９　汚れちまった悲しみに…　中原中也詩集　集英社文庫　共感できる
１０　『詩のこころを読む』　茨木のり子　岩波ジュニア新書　命の大切さ
１１　オトナ語の謎。　糸井重里ほか　辞書には載っていない意味

５．科学・生物学・数学

１　世界を、こんなふうに見てごらん　日高敏隆　自然環境を見直す
２　春の数えかた　日高敏隆　自然の不思議
３　科学と科学者のはなし　寺田寅彦エッセイ集　池内了編　ものを見る視線、捉え方
４　動物はすべてを知っている　ブーン　98年「人はイヌとハエにきけ」の文庫　ハエとの友情
５　動物の死はかなしい？　あべ弘士　旭山動物園元飼育係の絵本作家
６　クマにあったらどうするか　アイヌ民族最後の狩人姉崎等　インタヴュー本。クマに人生を学んだ

７　マタギに育てられたクマ　白神山地のいのちを守って　金治直美　マタギの生活の記録
８　海は生きている　自然と人間　富山和子　自然と人間の関わり
９　おはようからおやすみまでの科学　佐倉統ほか　テレビや携帯などの科学
１０　世界で一番美しい元素図鑑　グレイ　元素の写真集
１１　眠れなくなる宇宙のはなし　佐藤勝彦　宇宙観
１２　人類が生まれるための１２の偶然　眞淳平　岩波ジュニア新書　なぜ自分がここにいるのか
１３　『なぜ、めい王星は惑星じゃないの？』　布施哲治　惑星から準惑星への格下げを説明
１４　地球のかたちを哲学する　デュプラ　古来からの地球感
１５　『ロウソクの科学』　ファラデー　角川文庫　科学の世界へ
１６　鏡の中の物理学　朝永振一郎　講談社学術文庫　科学入門。量子力学も
１７　目に見えないもの　湯川秀樹　講談社学術文庫　名著。物理学についてわかりやすく
１８　アインシュタインが考えたこと　佐藤文隆　岩波ジュニア新書　相対性理論を中高生向けに
１９　マクスウェルの悪魔　都筑卓司　ブルーバックス　エントロピーをわかりやすく
２０　算数がメチャとくいになれる本　秋山仁のおもしろ授業　秋山仁　算数が苦手な中学生へ
２１　数学ひとり旅　中学１年～３年　榊忠男　数学の解説本。保護者も
２２　森へ　星野道夫　写真
２３　科学の扉をノックする　小川洋子　科学のスペシャリストとの対話

６．エッセー・随筆

１　ガラスの地球を救え　二十一世紀の君たちへ　手塚治虫　手塚の最後のエッセー集
２　ぼくはこう生きている　君はどうか　鶴見俊輔ほか　幼年期のころ
３　読書からはじまる　長田弘　読書の価値
４　いまこの国で大人になるということ　苅谷剛彦編著　１６人からのメッセージ
５　オンリーワン　ずっと宇宙に行きたかった　野口聡一　宇宙飛行士の体験記
６　『旅人』　ある物理学者の回想　湯川秀樹　自伝。読書経験の深さ
７　「自分の木」の下で　大江健三郎　子ども向け
８　わたくしが旅から学んだこと　兼高かおる　写真も豊富
９　若き日の友情　辻邦生・北杜夫往復書簡　旧制高校時代からの手紙
１０　未来形の読書術　石原千秋　ちくまプリマー新書　「自分がストーリーを感じる読み方」を提唱
１１　少年とアフリカ　音楽と物語、いのちと暴力をめぐる対話　坂本龍一・天童荒太　対話
１２　旅に溺れる　佐々木幹郎　旅行記
１３　風の帰る場所　ナウシカから千尋までの軌跡　宮崎駿　５本のインタヴュー。映画誕生の秘密

１４　バン・マリーへの手紙　堀江敏幸　ものごとに対する大切な感じ方、考え方
１５　海からの贈物　リンドバーグ　吉田健一訳　新潮文庫　島に滞在していたときのエッセー

７．ノンフィクション

１　がんばれば、幸せになれるよ　小児がんと闘った９歳の息子が遺した言葉　山崎敏子　病床での言葉
２　電池が切れるまで　子ども病院からのメッセージ　すずらんの会編　生きる力を感じる
３　ダギーへの手紙　死と孤独、小児ガンに立ち向かった子どもへ　キューブラー・ロス　医師である著書との交流
４　そんな軽い命なら私にください　余命ゼロ　いのちのメッセージ　渡部成俊
５　深夜特急　６巻　沢木耕太郎　列車ストーリー
６　横浜少年物語　歳月と読書　紀田順一郎　昭和２０年頃の回想
７　青春漂流　立花隆　若者たちが語り合った記録
８　どん底の人びと　ロンドン1902　ジャック・ロンドン　近代社会の「影」のルポ
９　冬のデナリ　西前四郎　マッキンリー登頂記
１０　『流れる星は生きている』　藤原てい　満州からの引きあげ
１１　なぜ戦争はおわらないのか　ぼくがアフガニスタンでみたこと　小林豊　内戦の背景
１２　ぼくは１３歳　職業、兵士。　あなたが戦争のある村で生まれたら　鬼丸昌也ほか　少年兵へのインタヴュー
１３　戦場から生きのびて　ぼくは少年兵士だった　ベア　著者の体験
１４　ガラスのうさぎ　高木敏子　東京大空襲の体験記
１５　月のえくぼ（クレーター）を見た男　麻田剛立　鹿毛俊雄　江戸時代の科学者

『１２歳からの読書案内』金原瑞人(監修)の掲載書籍リスト

第１章　希望がわいてくる本

（１）やりたいことを究める

調理場という戦場　斉須政雄
無限の網　草間彌生自伝　草間彌
「シャキッと炒める」を英語で言うと　加藤裕子

（２）夢が糧になる

１２歳たちの伝説　後藤竜二
ジョナさん　片山優子
グローリー・デイズ　佐藤ゆみ
バッテリー　あさのあつこ

第２章　勇気があふれてくる本

（１）自分と向き合う

１４歳からの哲学　池田晶子
テレビの自画像　櫻井均　ちくまプリマーブックス
海　ひとつの朝　八束澄子
ステゴサウルス　岩瀬成子
かめくん　北野勇作
こころのほつれ、なおし屋さん。　村中李衣

（２）困難を乗り越える

ナシスの塔の物語　みおちづる
なまくら　吉橋道夫
乱世山城国伝　後藤竜二

第３章　コミュニケーションの大切さに気づく本

（１）相手も自分も大事にする

きみにしか聞こえない　乙一
イリヤの空、UFOの夏　秋山瑞人
世界は密室でできている。　舞城王太郎
リアルワールド　桐野夏生
学校の青空　角田光代

（２）心が通い合う喜び

黄色い目の魚　佐藤多佳子
毎日晴天！　菅野彰
下妻物語　嶽本野ばら
吉永さん家のガーゴイル　田口仙年堂
しゃべれどもしゃべれども　佐藤多佳子

第４章　情感が豊かになる本

（１）悩んだり、憧れたり

永遠の出口　森絵都
銀のうさぎ　最上一平
月夜のバス　高橋秀雄
蹴りたい背中　綿矢りさ
『つきのふね』　森絵都
蛇にピアス　金原ひとみ
秘密の花園　三浦しをん
だれかのいとしいひと　角田光代

（２）いりいろな心の風景

遊覧日記　武田百合子
カンバセイション・ピース　保坂和志
こうちゃん　須賀敦子
おめでとう　川上弘美

（３）美しい絵本の世界へ

義経千本桜　橋本治、岡田嘉夫・絵
踊りたいけど踊れない　寺山修司
桃子　江國香織
ジャリおじさん　大竹伸朗
もういちどそのことを、　五味太郎
はっぴぃさん　荒井良二
金曜日の砂糖ちゃん　酒井駒子
あかいはなとしろいはな　長新太
しばわんこの和のこころ　川浦良枝

第５章　いのちの重みに気づく本

（１）ひとりじゃない

いのちの食べかた　森達也
ムシの方舟　マオアキラ
鳥の巣研究ノート　part1 part2　鈴木まもる
『１００万回生きたねこ』　佐野洋子
サイレント・ガーデン　武満徹
モモ　MY DEAR DOG　おーなり由子
たのしいふゆごもり　片山令子

第６章　冒険の楽しさを味わう本

（１）不思議な世界へ旅立とう

キノの旅　時雨沢恵一
ネガティブハッピー・チェーンソーエッヂ　滝本竜彦
レヴォリューションNo.3　金城一紀
彩雲国物語　雪乃紗衣
空ノ鐘の響く惑星で　渡瀬章一郎
霧の日にはラノンが視える　縞田理理
西の善き魔女　萩原規子

（２）かっこいい勇者になる！

竜太と灰の女王　松原秀行

神を喰らう狼　榎田尤利
新本格魔法少女りすか　西尾維新
ブルー・ハイドレード　海原雫
銃姫　高殿円
ムシウタ　岩井恭平
復活の地　小川一水

第７章　想像力がふくらむ本

（１）すぐ隣にある異世界へ

『家守綺譚』　梨木香歩
河童　原田宗典
ファンタジー・ブックガイド　石堂藍
ルート２２５　藤野千夜
ダブル・ハート　令丈ヒロ子
Missing　甲田学人

（２）極上のナンセンス

きれぎれ　町田康
六枚のとんかつ　〇部健一
セカンド・ショット　川島誠
夏と花火と私の死体　乙一
母を逃がす　松尾スズキ
ふくすけ　松尾スズキ
私小説　水村美苗

第８章　好奇心を刺激する本

（１）スリリングな知の世界

日記をつける　荒川洋治
常識の世界地図　２１世紀研究会編
？読む。書く。譲る。　大塚英志編著
鉄道ひとつばなし　原武史
歌う生物学必修編　本川達雄

『プチ哲学』　佐藤雅彦
既にそこにあるもの　大竹伸朗
かんたん短歌の作り方　枡野浩一

第９章　豊かな言葉に出会える本

（１）世界が違って見えてくる！

ラインマーカーズ　穂村弘ほか
フラジャイル　佐藤りえ
イチゴフェア　伴風花
そこにある光と傷と忘れもの　千葉聰
世界が海におおわれるまで　佐藤弓生
O脚の膝　今橋愛
砂の降る教室　石川美南
くらげそっくり　大下さなえ
モー将軍　田口犬男

『１４歳の世渡り術　勝てる読書』豊崎由美(著)の掲載書籍リスト

第１章　ガイド座

1　柄谷行人他　必読書１５０
2　イタロ・カルヴィーノ　『なぜ古典を読むのか』
3　高山宏　ブック・カーニヴァル
4　高橋源一郎　文学なんかこわくない
5　池澤夏樹　読書癖１～４

第２章　キモメン座

1　本田透　電波男
2　ロバート・クーヴァー　ユニヴァーサル野球協会
3　アントニイ・バージェス　エンダビー氏の内側
4　ジャン・ヴォートラン　グルーム　傑作暗黒小説
5　村上龍　共生虫　ひきこもり系キモメン
6　ロスタン　シラノ・ド・ベルジュラック
7　シャーロット・ブロンテ　『ジェイン・エア』
8　マルキ・ド・サド　悪徳の栄え　おぞましい面相のロシア人
9　大塚ひかり　美男の立身、ブ男の逆襲
10　武者小路実篤　友情
11　梶井基次郎　檸檬
12　太宰治　斜陽
13　シオドア・スタージョン　輝く断片

第３章　ケンカ上等！座

1　ゴードン・スティーヴンズ　カーラのゲーム
2　笙野頼子　『徹底抗戦！文士の森』
3　イヴ・エンスラー　ヴァギナ・モノローグ
4　ジョン・ウェイン　急いで下りろ
5　キングズリー・エイミス　ラッキー・ジム
6　アイリス・マードック　網のなか
7　ジョン・オズボーン　怒りをこめてふりかえれ
8　アラン・シリトー　土曜の夜と日曜の朝　長距離走者の孤独
9　ジョイス・キャロル・オーツ　フォックスファイア

10　メイ・サートン　今かくあれども　戦う老人
11　ジャック・ケッチャム　老人と犬
12　古川日出男　サウンドトラック　近未来SF
13　村上龍　コインロッカー・ベイビーズ
14　松本大洋　鉄コン筋クリート

第４章　江頭2:50座

1　種村季弘　アナクロニズム
2　ロミ　突飛なるものの歴史
3　リプレーの奇人不思議館
4　英国畸人伝
5　万国奇人博覧館
6　天才博士の奇妙な日常
7　ジョン・ミッチェル　奇天烈紳士録
8　ローレンス・ウェシュラー　ウィルソン氏の驚異の陳列室
9　都築響一　ROADS DE JAPAN『珍日本紀行』
10　同　珍世界紀行　ヨーロッパ編
11　T・コラゲッサン・ボイル　ケロッグ博士
12　チャールズ・シミック　コーネルの箱
13　ウラジーミル・ナボコフ　ディフェンス
14　スティーヴン・ミルハウザー　マーティン・ドレスラーの夢
15　エドワード・ケアリー　望楼館追想
16　ギュンター・グラス　『ブリキの太鼓』
17　バリー・ハナ　地獄のコウモリ軍団
18　エリック・マコーマック　隠し部屋を査察して
19　メルヴィル　代書人バートルビー

第５章　ご先祖供養座

1　エーゴン・フリーデル　近代文化史
2　ボルヘス　アル・ムターシムを求めて（伝奇集　収録）
3　スタニスワフ・レム　完全な真空
4　ロラン・バルト　テクスト／その理論
5　矢作俊彦　ららら科學の子
6　ジョン・バース　酔いどれ草の仲買人
7　同　キマイラ

8　サミュエル・リチャードソン　クラリッサ
9　同　レターズ
10　バース　船乗りサムボディ最後の船旅
11　ロバート・アーウィン　アラビアン・ナイトメア
12　古川日出男　アラビアの夜の種族
13　ジェイムズ・ジョイス　ユリシーズ（３巻）
14　デイヴィッド・ロッジ　大英博物館が倒れる
15　アレッサンドロ・バリッコ　イリアス
16　マーガレット・アトウッド　ペネロピアド
17　中島京子　FUTON
18　ジョン・アップダイク　ガートルードとクローディアス

第６章　呪怨座

1　ラヴクラフト　クトゥルー神話体系
2　グリム童話
3　鈴木光司　リング
4　ギルガメッシュ叙事詩
5　オデュッセイア
6　ベーオウルフ
7　ダンテ　神曲
8　西遊記
9　シェイクスピア　マクベス　テンペスト
10　ミルトン　失楽園
11　聊斎志異
12　ホレス・ウォルポール　オトラントの城

恐怖小説アンソロジー--

13　西崎憲他編　淑やかな悪夢
14　同編　怪奇小説の世紀
15　怪奇小説傑作集
16　南條竹則編　イギリス恐怖小説傑作選
17　同編　怪談の悦び
18　猫は跳ぶ　イギリス怪奇傑作集
19　中野善夫ほか編　怪奇礼賛
20　由良君美編　イギリス怪談集

21　沼野充義編　ロシア怪談集
22　同編　東欧怪談集
23　荒俣宏編　アメリカ怪談集
24　種村季弘編　ドイツ怪談集
25　同編　日本怪談集
26　日影丈吉編　フランス怪談集
27　〇直編　ラテンアメリカ怪談集
28　中野美代子編　中国怪談集
29　紀田順一郎ほか編　日本怪奇小説傑作集

30　怪奇クラブ
31　夢の丘
32　ブラックウッド傑作集
33　M・R・ジェイムズ傑作集
34　幽霊船
35　赤い館
36　奥の部屋
37　ポオ小説全集
38　ラヴクラフト全集
39　真ク・リトル・リトル神話体系　１０巻
40　荒俣宏編　ラヴクラフト　恐怖の宇宙史
41　アイラ・レヴィン　ローズマリーの赤ちゃん
42　ピーター・ストラウブ　ゴースト・ストーリー　扉のない家　ブルー・ローズ
43　キング　ゴールデン・ボーイ
44　ロバート・R・マキャモン　アッシャー家の弔鐘
45　同　針　ブルー・ワールド
46　ライヴ・バーカー　血の本　６巻

傑作アンソロジー　３冊

47カッティング・エッジ
48ナイト・フライヤー
49ナイト・ソウルズ
50　リチャード・マシスン　地獄の家
51　F・ポール・ウィルソン　城塞（ザ・キープ）
52　ジョー・R・ランズデール　罪深き誘惑のマンボ
53　デイヴィッド・マレル　オレンジは苦悩、ブルーは狂気

54　マーク・Z・ダニエルレブスキー　紙葉の家
55　ポー　アッシャー家の崩壊
56　シャーリー・ジャクソン　たたり

第７章　新訳座

1　星の王子さま
2　光文社　ちいさな王子　野崎歓訳
3　シャーロット・ブロンテ　ジェイン・エア　小尾芙佐
4　ディケンズ　クリスマス・キャロル　池央耿
5　ポー　黒猫／モルグ街の殺人　小川高義
6　トゥルゲーネフ　初恋　沼野恭子
7　バタイユ　マダム・エドワルダ／目玉の話　中条省平
8　ケストナー　飛ぶ教室　丘沢静也
9　ドストエフスキー　『カラマーゾフの兄弟』　亀山郁夫
10　レイモンド・チャンドラー　長いお別れ　→　ロング・グッドバイ　村上春樹訳
11　サリンジャー　ライ麦畑でつかまえて　→　キャッチャー・イン・ザ・ライ　村上春樹訳
12　フィッツジェラルド　グレート・ギャツビー　村上春樹訳
13　百年の誤読　海外文学編
14　池内紀　カフカ小説全集（６巻）
15　鴻巣友季子　エミリー・ブロンテ　嵐が丘　新潮文庫
16　若島正　ナボコフ　ロリータ
17　佐々田雅子　カポーティ　『冷血』
18　武藤浩史　Ｄ・Ｈ・ロレンス　チャタレー夫人の恋人
19　牛島信明　セルバンテス　ドン・キホーテ
20　千石英世　メルヴィル　白鯨
21　行方昭夫　モーム　月と六ペンス
22　渡辺邦彦　ボードレール　ボードレール　パリの憂鬱
23　土屋政雄　スタインベック　エデンの東
24　ディドロ　運命論者ジャックとその主人
25　ロレンス・ダレル　アレクサンドリア四重奏　全面改訳
26　ジェラルド（ダレルの弟）　虫とけものと家族たち　池澤夏樹訳

第８章　処女作座

1　金子美恵子　愛の生活　講談社文芸文庫
2　ジョン・アーヴィング　熊を放つ

3　ギュンター・グラス　『ブリキの太鼓』
4　ミシェル・トゥルニエ　フライデーあるいは太平洋の冥界
5　同　フライデーあるいは野生の生活
6　スティーヴン・ミルハウザー　エドウィン・マルハウス
7　ガルシア＝マルケス　落葉
8　マヌエル・プイグ　リタ・ヘイワースの背信
9　イアン・マキューアン　最初の恋、最後の儀式
10　同　アムステルダム　贖罪
11　ジョン・バース　フローティング・オペラ　旅路の果て
12　同　酔いどれ草の仲買人　キマイラ　やぎ少年ジャイルズ
13　イタロ・カルヴィーノ　くもの巣の小道
14　同　カルヴィーノの文学講義
15　同　冬の夜ひとりの旅人が　木のぼり男爵
16　マイケル・オンダーチェ　ビリー・ザ・キッド全仕事
17　同　イギリス人の患者
18　笙野頼子　極楽

第９章　デス座

1　佐藤亜紀　ミノタウロス
2　フィリップ・ゴーレイヴィッチ　ジェノサイドの丘
3　ジム・クレイス　死んでいる　死について論理と情緒か
4　ハイナー・ミュラー　ハムレットマシーン
5　ダニロ・キシュ　死者の百科事典
6　川崎徹　彼女は長い間猫に話しかけた
7　ラッセル・バンクス　この世を離れて
8　フリオ・リャマサーレス　黄色い雨
9　フアン・ルルフォ　ペドロ・パラモ
10　ジョン・ホークス　死、眠り、そして旅人
11　コニー・ウィリス　航路
12　デイヴィッド・プリル　葬儀よ、永久につづけ

第１０章　ケモノ　バカー代座

1　松浦理英子　ナチュラル・ウーマン　親指Pの修業時代　犬身
2　ポール・オースター　ティンブクトゥ　語り手は犬
3　ダン・ローズ　ティモレオン　犬好きが怒るラスト

4　ダニロ・キシュ　少年と犬
5　コニー・ウィリス　最後のウィネベーゴ
6　ロジェ・グルニエ　ユリシーズの涙
7　ディーン・R・クーンツ　ウォッチャーズ
8　ジョナサン・キャロル　犬博物館の外で
9　古川日出男　ベルカ、吠えないのか？
10　アーサー・ブラッドフォード　世界の涯まで犬たちと
11　（アンソロジー）ドッグ・ストーリーズ　幻想の犬たち
12　保坂和志　猫に時間の流れる　生きる歓び
13　平出隆　猫の客
14　沼田まほかる　猫鳴り
15　内田百閒　ノラや
16　金井美恵子　タマや
17　谷崎潤一郎　猫と庄造と二人のおんな
18　アキフ・ピリンチ　猫たちの聖夜
19　赤川次郎　猫たちの森
20　マンディアルグ　猫のムトンさま
21　大理石　オートバイ
22　メイ・サートン　猫の紳士の物語
23　（アンソロジー）猫文学大全　猫好きに捧げるショート・ストーリーズ
24　森登美彦　有頂天家族
25　コーマック・マッカーシー　すべての美しい馬
26　コーネリアス・メドヴェイ　ミスタ・サンダーマグ
27　アンドレイ・クルコフ　ペンギンの憂鬱
28　ポール・ギャリコ　マチルダ
29　ジャスパー・フォード　文学刑事サーズデイ・ネクスト
30　スティーヴン・キング　グリーン・マイル

第１１章　中２病座

1　川上未映子　乳と卵
2　山田詠美　放課後の音符　『ぼくは勉強ができない』　PAY　DAY!!!
3　島田雅彦　君が壊れてしまう前に
4　森鴎外　ヰタ・セクスアリス
5　大岡昇平　『野火』
6　新田次郎　孤高の人
7　舞城王太郎　世界は密室でできている。

8　佐藤友哉　子供たち怒る怒る怒る
9　エリザベス・テイラー　エンジェル
10　よしもとばなな　『TUGUMI』1
11　倉橋由美子　聖少女
12　桜庭一樹　私の男
13　暗い旅　倉橋由美子

第１２章　前を向いて歩こう座

1　スティーヴン・キング　刑務所のリタ・ヘイワース
2　羽田圭介　走ル
3　ピエール　ヴァーノン・ゴッド・リトル
4　伊坂幸太郎　『ゴールデンスランバー』　首相暗殺の濡れ衣
5　ロイス・アン・ヤマナカ　ワイルド・ミートとブリー・バーガー
6　重松清　きみの友だち
7　ドリス・メイ・レッシング　老首長の国
8　石田衣良　『4TEEN』

『短編小説を読もう』阿刀田高(著)(岩波ジュニア新書)の掲載書籍リスト

第２章　芥川龍之介

蜘蛛の糸、杜子春、魔術
歴史物…羅生門、地獄変、藪の中
作文のお手本…蜜柑、トロッコ、沼地
ウイット…煙草と悪魔、首が落ちた話、戯作三昧、鼠小僧次郎吉、尾生（びせい）の信
艶っぽい…お富の貞操、葱、好色、世之介の話、糸女覚え書、秋
理屈…侏儒の言葉、河童、或阿呆の一生
キリスト教…西方の人
雑記…澄江堂雑記

第３章　ミステリー

ドイル『シャーロック・ホームズの冒険』
ドイル『シャーロック・ホームズの思い出』
ドイル『シャーロック・ホームズの帰還』
ドイル『ドイル傑作集Ⅰ～Ⅳ』
牧逸馬『世界怪奇実話Ⅰ～Ⅳ』

第４章　アラン・ポー

ポオ『黒猫・黄金虫』
ポー「赤き死の仮面」（全集第２、春秋社）
ヴァン・ダイン『グリーン家殺人事件』
世界ミステリ全集（第１８巻）　早川書房

第５章　志賀直哉

志賀直哉「網走まで」『清兵衛と瓢箪・網走まで』
「城の崎にて」「小僧の神様」「赤西蠣太」
中勘助　銀のさじ

第６章　ユニークな短編

中島敦　山月記、文字禍、狐憑

夏目漱石　夢十夜
江戸川乱歩　『押絵と旅する男』
大江健三郎　死者の奢り、飼育

第７章　松本清張

天城越え、秀頼走路、地方紙を買う女、種族同盟、駅路、菊枕、或る小倉日記伝、黒地の絵、張込み、潜在風景

第９章　ショートショート

川端康成　掌の小説
星新一　おーい　でてこーい　ショートショート傑作編　岩波文庫

第１０章　乱れうち

太宰治　きりぎりす　『富岳百景・　』岩波
ヘミングウェイ　殺し屋　ヘミングウェイ全短編Ｉ　新潮社
井上靖　桜蘭
ストックトン　女か虎か　世界ミステリ全集１９
ラヒリ　『停電の夜に』
井伏鱒二　『山椒魚』
山本周五郎　その木戸を通って　山本周五郎小説全集３１　新潮社
ダール　牧師のたのしみ　キス・キス　異色作家短編集１　早川書房
カポーティ　夜の樹
結城昌治　替玉計画　推理作家になりたくて第１巻　匠　（文藝春秋）
五味康祐　自日没　刺客（文春）
里見とん　ひえもんとり　日本現代文学全集５０　講談社
半村良　箪笥　戦後短編小説再発見１０　表現の冒険　講談社現代文庫
日影丈吉　猫の泉　怪奇探偵小説名作編８　ちくま文庫

岩波ジュニア新書スタートライン１５ステップアップ１５の掲載書籍リスト

スタートライン１５

１　茨木のり子　『詩のこころを読む』
２　田代三良　高校生になったらー学力・体力・生活力
３　香山リカ　１０代のうちに考えておくこと
４　市川伸一　『勉強法が変わる本ー心理学からのアドバイス』
５　山下正男　論理的に考えること
６　森清　働くって何だ３０のアドバイス
７　行方昭夫　『英語の発想がよくわかる表現５０』
８　田中貴子　『古典がもっと好きになる』
９　片山孝次　数学がおもしろくなる１２話
10　山口幸夫　理科がおもしろくなる１２話
11　池内了　科学の考え方・学び方
12　川北稔　『砂糖の世界史』
13　奥平卓・和田武司　四字熟語集
14　水野敬三郎　奈良・京都の古寺めぐりー仏像の見方
15　伊波園子　ひめゆりの沖縄戦ー少女は嵐のなかを生きた

ステップアップ１５

１　岩田靖夫　ヨーロッパ思想史入門
２　遅塚忠躬　フランス革命ー歴史における劇薬
３　左近司祥子編著　西洋哲学の１０冊
４　山形孝夫　聖書物語
５　一海知義　漢詩入門
６　松尾剛次　仏教入門
７　井波律子　故事成句でたどる楽しい中国史
８　鹿野政直　近代国家を構想した思想家たち
９　嶺重 慎・有本淳一 編著　カラー版　天文学入門ー星・銀河とわたしたち
10　長谷川眞理子　進化とはなんだろう
11　岸本重陳　新版　経済のしくみ１００話
12　神野直彦　財政のしくみがわかる本
13　進藤宗幸　新版　行政ってなんだろう
14　古川孝順　福祉ってなんだ
15　小泉武夫　いのちをはぐくむ農と食

岩波ジュニア新書読書ガイドブックの掲載書籍リスト

ベストセラーランキング

１　10 田代三良　高校生になったらー学力・体力・生活力
２　156 伊東壮　新版　1945年8月6日
３　9 茨木のり子　『詩のこころを読む』
４　19 池宮城秀意　戦争と沖縄
５　471 杉原泰雄　憲法読本第３版
６　17 宮田光雄　きみたちと現代ー生きる意味をもとめて
７　5 早乙女勝元　東京が燃えた日ー戦争と中学生
８　260 長崎総合科学大学平和文化研究所編　新版
９　239 岸本重陳　新版　経済のしくみ１００話
１０　38 隅谷三喜男　大学で何を学ぶか

科目・ジャンル別ジュニア新書のススメ

国語

33 川崎洋　ことばの力ーしゃべる・聞く・伝える
382 村上慎一　『なぜ国語を学ぶのか』
490 森山卓郎　コミュニケーションの日本語
21 猪野謙二編　小説のみかたー日本の近代小説から
418 瀬戸賢一　日本語のレトリックー文章表現の技法
421 阿辻哲次　漢字のはなし
423 田中共子　図書館へ行こう
494 原和久　創作力トレーニング

古文・漢文

16 永積安明　平家物語を読むー古典文学の世界
76 藤井貞和　古文の読みかた
147 奥平卓　漢文の読かた
135 奥平卓・和田武司　四字熟語集
325 岩波書店編集部編　日本古典のすすめ
473 田中貴子　『古典がもっと好きになる』
304 一海知義　漢詩入門

414 鈴木日出男　万葉集入門

数学・理科(1)

272 池内了　『科学の考え方・学び方』
456 池内了編　これだけは読んでおきたい科学の１０冊
438 木村龍治　自然をつかむ７話
113 片山孝次　数学がおもしろくなる１２話
379 山口幸夫　理科がおもしろくなる１２話
582 牛木辰男・甲賀大輔　ミクロにひそむ不思議ー電子顕微鏡で身近な世界を見る
457 春木良且　情報って何だろう
595 大崎茂芳　クモの糸の秘密

数学・理科(2)

31 佐藤文隆　アインシュタインが考えたこと
92 深尾良夫　地震・プレート・陸と海ー地学入門
99 山下正男　論理的に考えること
323 長谷川眞理子　進化とはなんだろう
477 嶺重慎・小久保英一郎編著　宇宙と生命の起源ービッグバンから人類誕生まで
442 盛口襄　実験大好き！化学はおもしろい
526 小長谷正明　脳のはたらきがわかる本
512 嶺重 慎・有本淳一 編著　カラー版　天文学入門ー星・銀河とわたしたち

外国語

69 外山滋比古　英語辞書の使いかた
343 ピーター・フランクル　ピーター流外国語習得術
502 行方昭夫　英語の発想がよくわかる表現５０
185 河野一郎　英語の歌
606 大津幸一　話してみよう旅行の英語
598 ロジャー・パルバース　英語で読み解く賢治の世界
259 林信孝　英単語に強くなる
196 土屋宏之　レッツ英会話

歴史(1)

「日本の歴史」シリーズ全９巻
276 川北稔　『砂糖の世界史』
478 井波律子　故事成句でたどる楽しい中国史
488 青柳正規　ローマ帝国
51 村井康彦　京都史跡見学
204 近藤二郎　ものの始まり５０話ー文明の源をさぐる
295 遅塚忠躬　フランス革命ー歴史における劇薬

歴史(2)

207 井波園子　ひめゆりの沖縄戦ー少女は嵐のなかを生きた
256 近藤康子　コルチャック先生
222 石川逸子　「従軍慰安婦」にされた少女たち
305 色川大吉　近代日本の戦争ー20世紀の歴史を知るために
510 [記憶と表現]研究会　訪ねてみよう戦争を学ぶミュージアム／メモリアル
300 松元寛　新版広島長崎　修学旅行案内ー原爆の跡をたずねる
198 江口圭一　1941年12月8月ーアジア太平洋戦争はなぜ起こったか
599 早乙女愛　海に沈んだ対馬丸ー子どもたちの沖縄戦

地理

484 竹内圭一　データブック　世界各国地理第３版
554 アグネス・チャン　みんな地球に生きるひとpart3ー愛、平和、そして自由
289 小沼廣幸　めぜせ、世界のフィールドをー国際公務員の仕事
264 渡部淳　国際感覚ってなんだろう
329 原康　国際関係がわかる本
588 山田肖子　アフリカのいまを知ろう
570 原康　新版国際機関ってどんなところ
460 森英樹　国際協力と平和を考える５０話

誠治経済

547 後藤昭　新版わたしたちと裁判
566 神野直彦　財政のしくみがわかる本
200 岸本重陳　新聞の読みかた
586 後藤宗幸　新版行政ってなんだろう
542 首藤信彦　政治参加で未来をまもろう

361 鎌田慧　現代社会１００面相第３版
173 佐和隆光　豊かさのゆくえ－21世紀の日本
596 小泉武夫　いのちをはぐくむ農と食

現代社会

179 土田〇編著　地球をこわさない行き方の本
549 八太昭道　新版ごみから地球を考える
501 新版環境とつきあう５０話
238 村田稔　車イスから見た街
583 古川孝順　福祉ってなんだ
514 光野有次　みんなでつくるバリアフリー
601 眞淳平　海はゴミ箱じゃない！
594 嘉田由紀子　語り　生活環境主義でいこう！－琵琶湖に恋した知事

倫理

14 村上重良　世界の宗教－世界史・日本史の理解に
56 山形孝夫　聖書物語
613 佐近司洋子　編著　西洋哲学の１０冊
415 竹田青〇　哲学ってなんだ－自分と社会を知る
430 清水芳見　イスラームを知ろう
322 松尾剛次　仏教入門
508 鹿野政直　近代国家を構想した思想家たち
441 岩田靖夫　ヨーロッパ思想入門

生き方(1)

271 なだいなだ　いじめを考える
505 香山リカ　１０代のうちに考えておくこと
350 市川伸一　勉強法が変わる本－心理学からのアドバイス
597 金子由美子　思春期ってなんだろう
614 東海林明　高校生活１００のアドバイス
293 ピーター・フランクル　ピーター流らくらく学習術
486 串崎真志　悩みとつきあおう
163 斎藤次郎　手塚治虫がねがったこと

生き方(2)

509 岩波書店編集部編　いま、この研究がおもしろい
580 岩波書店編集部編　いま、この研究がおもしろいPart2
380 岩波書店編集部編　なぜ私はこの仕事を選んだのカ
533 森清　働くって何だー３０のアドバイス
357 岩波書店編集部編　大学活用法
615 笹山尚人　労働法はぼくらの味方！
611 鮫島敦　職人を生きる
450 花園誠編著　動物とふれあう仕事がしたい
411 岩波書店編集部編　世界のステージ！国を越えて仕事するということ

『図書館で出会える１００冊』田中共子(著)(岩波ジュニア新書)の掲載書籍リスト

（１）　まだ読んでいない選りすぐりの文学

１．甲田天　『時の扉をくぐり』
２．横田進　塩の道
３．ますむら・ひろし　カリン島見聞記　上・下
４．大島真寿美　香港の甘い豆腐
５．リチャード・ペック　ホーミニ・リッジ学校の奇跡！
６．グロリア・ウィーラン　『家なき鳥』
７．ジェフリー・トリーズ　この湖にボート禁止
８．スザンネ・ステープルズ　シャバヌ　砂漠の風の娘
９．アニカ・トール　海の島　ステフィとネッリの物語
１０．アリスン・アトリー　時の旅人
１１．レイ・ブラッドベリ　さよなら僕の夏
１２．ロバート・ウェストール　禁じられた約束
１３．ヒネル・サレーヌ　父さんの銃
１４．スターリング・ノース　『はるかなるわがラスカル』
１５．エリザベス・ジョージア・スピア　ビーバー族のしるし
１６．スティーブン・キング　トム・ゴードンに恋した少女
モニカ・ディケンズ　なんとかしなくちゃ
１７．ドロシー・ギルマン　『一人で生きる勇気』
１９．しょうゆ情報センター　しょうゆ讃歌　第１巻　エッセイ集
２０．土橋とし子　よいこの玉手箱

（２）　まだ読んでいない選りすぐりのノンフィクション

２１．伝記（リンドグレーン）　シャスティーン・ユンググレーン　遊んで、遊んで、遊びました
２２．伝記　ナンシー・ウィンターズ　空飛ぶ男　サントスーヂュモン
２３．伝記　ランス・アームストロング　ただマイヨ・ジョーヌのためでなく
２４．科学　レイチェル・カーソン　『沈黙の春』　（ポール・ブルックス『レイチェル・カーソン』　杉山薫里『自然と共に　レイチェル』
２５．科学　長谷川眞理子　ダーウィンの足跡を訪ねて
２６．歴史・社会　池澤夏樹　イラクの小さな橋を渡って
２８．旅行　ジョン・スタインベック　チャーリーとの旅
２９．旅行　中川一政　モンマルトルの空の月

３０．旅行　村上春樹　雨天炎天　ギリシャ・トルコ辺境紀行
３１．旅行　相原恭子　ヨーロッパお菓子紀行
３２．旅行　エリザベス・コーディー・キメル　エンデュアランス号大漂流

（３）　読み直したい古典

３３．ヒュー・ロフティング　ドリトル先生アフリカ行き
３４．ローラ・インガルス・ワイルダー　長い冬
３５．ヨハンナ・シュピーリ　ハイジ
３６．ジョナサン・スウィフト　ガリヴァー旅行記上・下
３７．ネムツォヴァ　おばあさん
３８．星新一訳　竹取物語　角川文庫
３９．Ｈ・Ｇ・ウェルズ　タイム・マシン　岩波文庫
４０．ラム　シェイクスピア物語　上・下　偕成社
４１．ファーブル　ファーブルの昆虫記　上・下　岩波少年文庫
４２．セルバンテス　ドン・キホーテ物語　沖積舎

（４）　とっておきの絵本

４３．ジャネット・ウィンター　バスラの図書館員
４４．ヤーンベリ　バニラソースの家　年をとるってどんなこと？
４５．フジ子・ヘミング　紙のピアノの物語
いせ　ひでこ　ルリユールおじさん
４６．レイモンド・ブリッグズ　エセルとアーネスト
４７．ゴフスタイン　おばあちゃんの魚つり
４８．ラット　カンポンのガキ大将
４９．赤羽末吉　私の絵本ろん　中・高校生のための絵本入門

（５）　教室で役に立つ本

(1)　朝の１０分間読書

５０．カレル・チャペック　ダーシェンカ
５１．クリス・プリーストリー　モンタギューおじさんの怖い話
５２．仕事ってなんだろう（子どもだって哲学五）佼成出版社
５３．星新一　星新一ショートショートセレクション（全１５巻）　理論社
５４．長田弘　本を愛しなさい　地域サービス

(2)　朗読

５５．徐正五　再話　韓国昔ばなし　上・下
５６．サマーリン　シベリアの釣
５７．ステルン　リゴーニ・ステルンの動物記
５８．ヤンソン　トーベ・ヤンソン短篇集
５９．プロイスラー　プロイスラーの昔話（３巻）
６０．ディケンズ　ディケンズ朗読短篇選集
６１．コッポラ　海にまつわる物語

(3)　ブックトーク

○　テーマを決めて本を選ぶ（３０分なら６～８冊）
○　構成を考え台本を作る

『世界史読書案内』津野田興一(著)(岩波ジュニア新書)の掲載書籍リスト

はじめに

小田中直樹　歴史学って何だ？　PHP新書
竹田青嗣　『哲学ってなんだ』　岩波ジュニア新書

第Ｉ章　国民国家が生まれ、広がる

田中克彦　『ことばと国家』　岩波新書
遅塚忠躬　『フランス革命』　岩波ジュニア新書
谷川稔　国民国家とナショナリズム　山川出版社
波多野裕造　物語アイルランドの歴史　中公新書
藤沢道郎　物語イタリアの歴史　中公新書
猿谷要　物語アメリカの歴史　中公新書
加藤博　イスラーム世界の危機と改革　山川出版社
矢口祐人　ハワイの歴史と文化　中公新書
陳瞬臣　実録アヘン戦争　中公文庫
パール・バック　大地
佐藤雅美　『大君の通貨　幕末「円ドル」戦争』　文春文庫
三谷博ほか　大人のための近現代史　１９世紀編　東京大学出版会
陸奥宗光　蹇蹇録　日清戦争外交秘録　岩波文庫
山室信一　日露戦争の世紀　岩波新書

第２章　２０世紀という時代

池上彰　そうだったのか！現代史　集英社
レマルク　西部戦線異状なし　新潮文庫
松田道雄　ロシアの革命　河出書房新社
牟田口義郎　アラビアのロレンスを求めて　中公新書
魯迅　阿Ｑ正伝・狂人日記　岩波文庫
横山宏章　中華民国　賢人支配の善政主義　中公新書
石橋湛山評論集　岩波文庫
クラベル　２３分間の奇跡　集英社文庫
フランクル　『夜と霧』　みすず書房
堀田善衛　インドで考えたこと　岩波新書
高橋和夫　アラブとイスラエル　講談社現代新書

酒井啓子　イラクとアメリカ　岩波新書
諸星清佳　中国革命の夢が潰えたとき　毛沢東に裏切られた人々　中公新書
山崎豊子　『大地の子』　文藝春秋
金城一紀　GO　講談社
アンドレアス　戦争中毒　アメリカが軍国主義を抜け出せない本当の理由　合同出版
猿谷要編　アメリカ大統領物語　新書館
本田創造　アメリカ黒人の歴史（新版）　岩波新書
本田創造　私は黒人奴隷だった　岩波ジュニア新書
ドルーシュ総合編集　ヨーロッパの歴史　欧州共通教科書　東京書籍
和田春樹　歴史としての社会主義　岩波新書
ソルジェニーツィン　イワン・デニーソヴィッチの一日　岩波文庫
坂口尚　石の花　講談社漫画文庫　ユーゴスラヴィアの歴史
柴宜弘　ユーゴスラヴィア現代史　岩波新書
アル・ゴア　『不都合な真実』　ランダムハウス講談社
福岡伸一　『生物と無生物のあいだ』　講談社現代新書
視覚デザイン研究所編集室編　巨匠に教わる絵画の見かた　視覚デザイン研究所

第３章　世界各地の「個性」がつくられた！

エルナンデスほか　バルミ　地中海沿岸の都市　東京書籍　架空の都市　姉妹編あり
河合信和　ネアンデルタール人と現代人　ヒトの５００万年史　文春新書
中尾佐助　栽培植物と農耕の起源　岩波新書
小林登志子　シュメル　人類最古の文明　中公新書
シュリーマン　古代への情熱　岩波文庫
森谷公俊　アレクサンドロス大王　講談社選書メチエ
ソポクレス　オイディプス王　岩波文庫　続編　コロノスのオイディプス
吉村忠典　古代ローマ帝国　岩波新書
弓削達　ローマ帝国とキリスト教　河出書房新社
弓削達　アグリッピーナ物語　河出書房新社
妹尾河童　河童が覗いたインド　新潮社
小倉貞男　『物語　ヴェトナムの歴史』　中公新書
孫武　孫子　岩波文庫
陳舜臣　小説十八史略　講談社文庫
平〇隆郎　「史記」二二〇〇年の虚実　年代矛盾の謎と隠された正統観　講談社
中島敦　李陵・山月記　新潮文庫
宮崎市定　大唐帝国（世界の歴史７）　河出書房新社
井上靖　敦煌　新潮文庫

杉山正明　クビライの挑戦　モンゴル海上帝国への道　朝日選書　大モンゴルの世界（角川選書）　モンゴル帝国の興亡（講談社現代新書）　遊牧民から見た世界史（日本経済新聞）
後藤明　ビジュアル版　イスラーム歴史物語　講談社
井筒俊彦訳　コーラン　岩波文庫
佐藤ほか　都市の文明イスラーム　講談社現代新書
鈴木薫編　パクス・イスラミカの世紀　講談社現代新書
坂本ほか　イスラーム復興はなるか　講談社現代新書
堀米庸三　中世の光と影　講談社学術文庫
鯖田豊之　肉食の思想　ヨーロッパ精神の再発見　中公新書
高山博　中世シチリア王国　講談社現代新書
阿部謹也　『ハーメルンの笛吹き男』　ちくま文庫
ウンベルト・エーコ　薔薇の名前　東京創元社
今野國雄　修道院　岩波新書
山内進　十字軍の思想　ちくま新書
佐藤賢一　英仏百年戦争　集英社新書
マコーレイ　カテドラル　最も美しい大聖堂ができあがるまで　岩波書店　姉妹編　ピラミッド　キャッスル　都市

第４章　世界がひとつにつながった！

岸本美緒　東アジアの「近世」　山川出版社
ラス・カサス　インディアスの破壊についての簡潔な報告　岩波文庫
山本紀夫　『ジャガイモのきた道』　岩波新書
伊藤昌治　ジャガイモの世界史　中公新書
鈴木薫　　イスラム世界の「柔らかい専制」　講談社現代新書
鈴木薫　オスマン帝国の解体　ちくま新書
宮崎市定　科挙　中公新書
寺田隆信　永楽帝　中公文庫
上垣外憲一　雨森芳洲　元禄享保の国際人　中公新書
網野善彦　『日本社会の歴史』（３巻）　岩波新書
ノエル・ペリン　鉄砲をすてた日本人　日本史に学ぶ軍縮　紀伊國屋書店
マキアヴェッリ　君主論　岩波文庫
マックス・ヴェーバー　職業としての政治　岩波文庫
長谷川輝夫　聖なる王権ブルボン家　講談社選書メチエ
川北稔　『砂糖の世界史』　岩波ジュニア新書
大塚久雄　社会科学の方法　ヴェーバーとマルクス　岩波新書
マックス・ヴェーバー　プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神　岩波文庫

大塚久雄　社会科学における人間　岩波新書
坂井榮八郎　ドイツ史１０講　岩波新書

終章　歴史の中で生きてゆく

ノーマン　クリオの顔　歴史随想集　岩波文庫
荒れ野の４０年　ヴァイツゼッカー大統領演説全文　岩波ブックレット

東京大学、京都大学、北海道大学、広島大学の教師が新入生にオススメするベスト１００の掲載書籍リスト

●　ランキング第 1 位～第 10 位

1　「銃・病原菌・鉄」（ジャレッド・ダイアモンド、草思社）
2　「オリエンタリズム」（エドワード・W．サイード、平凡社）
3　「利己的な遺伝子」（リチャード・ドーキンス、紀伊国屋書店）
4　「カラマーゾフの兄弟」（ドストエフスキー、岩波書店）
5　「日本人の英語」（マーク・ピーターセン、岩波書店）
6　「解析概論」（高木貞治、岩波書店）
7　「沈黙の春」（レーチェル・ルイス・カーソン、新潮社）
8　「理科系の作文技術」（木下是雄、中央公論新社）
9　「ワンダフル・ライフ」」（スティーヴン・ジェー・グールド、早川書房）
10　「夜と霧」（ヴィクトル・エミール・フランクル、みすず書房）

●ランキング第 11 位～第 75 位

11　「人間を幸福にしない日本というシステム」（ウォルフレン、新潮社）
12　「ご冗談でしょう、ファインマンさん」（ファインマン、岩波書店）
13　「ヘラクレイトスの火」（エルヴィン・シャルガフ、岩波書店）
14　「ワイルド・スワン」（ユン・チアン、講談社）
15　「栽培植物と農耕の起源」（中尾佐助、岩波書店）
16　「種の起源」（チャールズ・ロバート・ダーウィン、岩波書店）
17　「進化と人間行動」（長谷川寿一、東京大学出版会）
18　「知的複眼思考法」（苅谷剛彦、講談社）
19　「中島敦全集」（中島敦、筑摩書房）
20　「方法序説」（ルネ・デカルト、岩波書店）
21　「理解とは何か」（佐伯胖、東京大学出版会）
22　「南方熊楠」（鶴見和子、講談社）
23　「それから」（夏目漱石、新潮社）
24　「三四郎」（夏目漱石、新潮社）
25　「失われた時を求めて」（マルセル・プルースト、筑摩書房）
26　「信頼の構造」（山岸俊男、東京大学出版会）
27　「脳のなかの幽霊」（Ｖ　Ｓ　ラマチャンドラン、角川書店）
28　「量子力学物理学大系」（朝永振一郎、みすず書房）
29　「線型代数入門」（斎藤正彦、東京大学出版会）

30　「邪宗門」（高橋和巳、朝日新聞社）
31　「TheUniverse of English」（東京大学出版会）
32　「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」（ヴェーバー、岩波書店）
33　「物と心」（大森荘蔵、東京大学出版会）
34　「コンピュータのパターン認識」（長尾真、東京大学出版会）
35　「ホーキング、宇宙を語る」（スティーヴン・ウィリアム・ホーキング、早川書房）
36　「仮面の解釈学」（坂部恵、東京大学出版会）
37　「危機の二十年」（エドワード・ハレット・カー、岩波書店）
38　「罪と罰」（ドストエフスキー、岩波書店）
39　「視点」（宮崎清孝、東京大学出版会）
40　「世界の名著」（中央公論新社）
41　「読むということ」（御領謙、東京大学出版会）
42　「日常言語の推論」（坂原茂、東京大学出版会）
43　「ことばと文化」（鈴木孝夫、岩波書店）
44　「ドン・キホーテ」（ミゲル・デ・セルバンテス・サアベドラ、岩波書店）
45　「磁力と重力の発見」（山本義隆、みすず書房）
46　「生命の多様性」（エドワード・オズボーン・ウィルソン、岩波書店）
47　「認知心理学」（-、東京大学出版会）
48　「碧巌録」（克勤、岩波書店）
49　「夢判断」（ジークムント・フロイト、新潮社）
50　「エントロピーと秩序」（ピーター　W　アトキンス、日経サイエンス社）
51　「会社法人格否認の法理」（江頭憲治郎、東京大学出版会）
52　「日本語学と言語教育」（上田博人、東京大学出版会）
53　「ベンヤミン・コレクション」（ヴァルター・ベンヤミン、筑摩書房）
54　「ユング心理学入門」（河合隼雄、培風館）
55　「基礎物理学」（-、東京大学出版会）
56　「君たちはどう生きるか」（吉野源三郎、岩波書店）
57　「吾輩は猫である」（夏目漱石、新潮社）
58　「国家」（プラトン、岩波書店）
59　「職業としての学問」（マックス・ヴェーバー、岩波書店）
60　「生命の誕生と進化」（大野乾、東京大学出版会）
61　「精神の生態学」（グレゴリ・ベートソン、新思索社）
62　「地下室の手記」（ドストエフスキー、新潮社）
63　「物理学とは何だろうか」（朝永振一郎、岩波書店）
64　「二重らせん」（ジェームズ・デューイ・ワトソン、講談社）
65　「敗北を抱きしめて」（ジョン　W　ダワー、岩波書店）
66　「白鯨」（ハーマン・メルヴィル、講談社）

67　「福翁自伝」（福沢諭吉、岩波文庫）
68　「魔の山」（トーマス・マン、新潮社）
69　「歴史とは何か」（エドワード・ハレット・カー、岩波書店）
70　「ゲーデル、エッシャー、バッハ」（ダグラス　Ｒ　ホフスタッター、白揚社）
71　「解析入門」（杉浦光夫、東京大学出版会）
72　「自由からの逃走」（エーリッヒ・フロム、東京創元社）
73　「魂のライフサイクル」（西平直、東京大学出版会）
74　「職業としての政治」（マックス・ヴェーバー、岩波書店）
75　「明治憲法体制の確立」（坂野潤治、東京大学出版会）

●ランキング第 76 位～第 100 位

76　「チベット旅行記」（河口慧海、白水社）
77　「ファインマン物理学」（リチャード・ファインマン、岩波書店）
78　「人間機械論」（ノーバート・ウィーナー、みすず書房）
79　「日本国憲法」（森達也、太田出版）
80　「何でも見てやろう」（小田実、講談社文庫）
81　「蘭学事始」（杉田玄白、岩波書店）
82　「旅人」（湯川秀樹、角川書店）
83　「コスモス・オデッセイ」（ローレンス・Ｍ．クラウス、紀伊国屋書店）
84　「知の技法」（小林康夫、東京大学出版会）
85　「ガリヴァー旅行記」（ジョナサン・スウィフト、岩波書店）
86　「世論」（ウォルター・リップマン、岩波書店）
87　「自然界における左と右」（マーチン・ガードナー、紀伊国屋書店）
88　「シルトの岸辺」（ジュリアン・グラック、筑摩書房）
89　「春宵十話」（岡潔、光文社文庫）
90　「偶然と必然」（ジャック・リュイシアン・モノー、みすず書房）
91　「ヨーロッパ文明批判序説」（工藤庸子、東京大学出版会）
92　「実戦・日本語の作文技術」（本多勝一、朝日新聞社）
93　「緊急時の情報処理」（池田謙一、東京大学出版会）
94　「現代政治の思想と行動」（丸山真男、未来社）
95　「論理トレーニング１０１題」（野矢茂樹、産業図書）
96　「物理学はいかに創られたか」（アインシュタイン、岩波新書）
97　「フェルマーの最終定理」（サイモンシン、新潮文庫）
98　「根拠よりの挑戦」（井上忠、東京大学出版会）
99　「心の科学は可能か」（土屋俊、東京大学出版会）
100　「想像の共同体」（ベネディクト・アンダーソン、ＮＴＴ出版）

『大学新入生に薦める１０１冊の本』広島大学総合科学部１０１冊の本プロジェクト(編)の掲載書籍リスト

1　吉野源三郎　『君たちはどう生きるか』　岩波文庫
2　辻邦生　『安土往還記』　新潮文庫
3　夏目漱石　『私の個人主義』　講談社学術文庫
4　ウォルフレン　『人間を幸福にしない日本というシステム』　新潮OH!文庫
5　ミル　『自由論』　岩波文庫
6　阿部謹也　『自分のなかに歴史を読む』　ちくまプリマーブックス
7　デューラント　『誰が文明を創ったか：ブッダからシェークスピアまで』　PHP研究所
8　マンキェヴィチ　『図説　世界の数学の歴史』　東洋書林
9　小西甚一　『日本文学史』　講談社学術文庫
10　梶田昭　『医学の歴史』　講談社学術文庫
11　大岡昇平　『野火』　新潮文庫
12　原民喜　『夏の花』　岩波文庫
13　山田風太郎　『同日同刻』　文春文庫
14　柳田邦男　『空白の天気図』　新潮文庫
15　ケインズ　『雇用・利子および貨幣の一般理論』　東洋経済新報社
16　ガモフ　『トムキンスの冒険』　白楊社
17　ラマチャンドランほか　『脳のなかの幽霊』　角川書店
18　アインシュタイン　『物理学はいかに創られたか』　岩波新書
19　養老孟司　『唯脳論』　ちくま学芸文庫
20　ダーウィン　『種の起原』　岩波文庫
21　スウィフト　『ガリヴァー旅行記』　岩波文庫
22　キャロル　『鏡の国のアリス』　角川文庫
23　ロバーツ　『セレンディピティー：思いがけない発見・発明のドラマ』　化学同人
24　ライシャワー　『ライシャワーの日本史』　講談社学術文庫
25　サイード　『オリエンタリズム』（上・下）　平凡社ライブラリー
26　野坂昭如　『アメリカひじき・火垂の墓』　新潮文庫
27　フランク　『アンネの日記：完全版』　文春文庫
28　日本戦没学生記念会　『きけわだつみの声』　光文社文庫、岩波文庫
29　フランクル　『夜と霧　新版』　みすず書房
30　山本七平　『一下級将校の見た帝国陸軍』　文春文庫
31　サン・テクジュペリ　『人間の土地』　新潮文庫
32　チャップリン　『チャップリン自伝』　新潮文庫
33　渡辺淳一　『遠き落日』　角川文庫
34　服部正也　『ルワンダ中央銀行総裁日記』　中公新書

35　高橋団吉　『新幹線をつくった男』　小学館
36　高木仁三郎　『市民科学者として生きる』　岩波新書
37　藤沢周平　『三屋清左衛門残日録』　文春文庫
38　宮本常一　『忘れられた日本人』　岩波文庫
39　遠藤周作　『沈黙』　新潮文庫
40　キュブラー=ロス　『死ぬ瞬間』　中公文庫
41　ベック　『仏教』　岩波文庫
42　小沢征爾　『ボクの音楽武者修行』　新潮文庫
43　フランクリン　『フランクリン自伝』　岩波文庫
44　福沢諭吉　『新訂　福翁自伝』　岩波文庫
45　カーネギー　『カーネギー自伝』　中公文庫
46　高橋是清　『高橋是清自伝』　中公文庫
47　牧野富太郎　『牧野富太郎自叙伝』　講談社学術文庫
48　鶴見和子　『南方熊楠』　講談社学術文庫
49　シャルガフ　『ヘラクレイトスの火』　岩波同時代ライブラリー
50　ハイゼンベルグ　『部分と全体：私の生涯の偉大な出会いと対話』　みすず書房
51　ポパー　『果てしなき探求　知的自伝』　岩波現代新書
52　苅谷剛彦　『知的複眼思考法』　講談社＋α文庫
53　ベスト　『統計はこうしてウソをつく』　白揚社
54　三浦俊彦　『論理学入門』　NHKブックス
55　ホフスタッター　『ゲーデル・エッシャー・バッハ：あるいは不思議の環』　白揚社
56　チョムスキー　『生成文法の企て』　岩波書店
57　モリソンほか　『パワーズ オブ テン一宇宙・人間・素粒子をめぐる大きさの旅　Powers of Ten』　日経サイエンス社
58　梅棹忠夫　『文明の生態史観』　中公文庫
59　河合信和　『ネアンデルタールと現代人　ヒトの５００万年史』　文春新書
60　ダイアモンド　『銃・病原菌・鉄：1万3000年にわたる人類史の謎』　草思社
61　大野乾　『生命の誕生と進化』　東大出版会
62　ファインマン　『ご冗談でしょう、ファインマンさん』　岩波現代文庫
63　トフラー　『第三の波』　中公文庫
64　マクルーハンほか　『マクルーハン理論：電子メディアの可能性』　平凡社ライブラリー
65　レンフルー　『ことばの考古学』　青土社
66　ウィルソン　『知の挑戦』　角川書店
67　エンデ　『モモ：時間どろぼうと　ぬすまれた時間を人間にとりかえしてくれた女の子のふしぎな物語』　岩波書店
68　ゴルデル　『ソフィーの世界』　NHK出版
69　本川達雄　『ゾウの時間　ネズミの時間』　中公新書

70　ワールドロップ　『複雑系：科学革命の震源地・サンタフェ研究所の天才たち』　新潮文庫
71　モノー　『偶然と必然』　みすず書房
72　カフカ　『変身』　角川文庫
73　ノーレットランダーシュ　『ユーザーイリュージョン：意識という幻想』　紀伊国屋書店
74　ウィーナー　『人間機械論』　みすず書房
75　ドーキンス　『利己的な遺伝子』　紀伊国屋書店
76　ガードナー　『認知革命　知の科学の誕生と展開』　産業図書
77　村上龍　『コインロッカー・ベイビーズ』　講談社文庫
78　オーウェル　『1984年』　早川文庫
79　フクヤマ　『「大崩壊」の時代』　早川書房
80　丸山工作　『ノーベル賞ゲーム』　岩波書店
81　ブルーム　『アメリカン・マインドの終焉』　みすず書房
82　ラッセル　『幸福論』　岩波文庫
83　ミランスキー　『あなたの病気は遺伝かもしれない』　朝日新聞社
84　立花隆　『脳死』　中公文庫
85　下條信輔　『サブリミナル・マインド』　中公新書
86　ピンカー　『人間の本性を考える』（上・中・下）　NHKブックス
87　ドラッカー　『断絶の時代：いま起こっていることの本質』　ダイヤモンド社
88　バーンスタイン　『リスク　神々への反逆』　日経ビジネス人文庫
89　チアン　『ワイルド・スワン』　講談社文庫
90　鈴木孝夫　『ことばと文化』　岩波新書
91　板垣雄三　『石の叫びに耳を澄ます』　平凡社
92　セーガン　『コスモス』　朝日新聞社
93　カーソン　『沈黙の春』　新潮文庫
94　丸山茂徳、磯崎行雄　『生命と地球の歴史』　岩波新書
95　佐和隆光　『地球温暖化を防ぐ　20世紀型経済システムの転換』　岩波新書
96　ウォーカー　『スノーボール・アース』　早川書房
97　大野晋　『日本語練習帳』　岩波新書
98　ピーターセン　『日本人の英語』　岩波新書
99　藤田紘一郎　『笑うカイチュウ』　講談社文庫
100　マコーマック　『空虚な楽園　戦後日本の再検討』　みすず書房
101　岸康彦　『食と農の戦後史』　日本経済新聞社

『大学新入生に薦める１０１冊の本　新版』広島大学101冊の本委員会(編)の掲載書籍リスト

1　長田弘　『読書からはじまる』　ＮＨＫライブラリー
2 (2)　吉野源三郎　『君たちはどう生きるか』　岩波文庫
3 (3)　阿部謹也　『自分のなかに歴史を読む』　ちくまプリマーブックス
4 (67)　エンデ　『モモ：時間どろぼうと　ぬすまれた時間を人間にとりかえしてくれた女の子のふしぎな物語』　岩波書店
5　カミュ　『シーシュポスの神話』
6 (5)　ミル　『自由論』　岩波文庫
7 (82)　ラッセル　『幸福論』　岩波文庫
8　大岡信　『日本の詩歌　その骨組みと素肌』
9 山折哲雄　『近代日本人の宗教意識』
10　司馬遼太郎　『この国のかたち』
11　田中克彦　『ことばと国家』　岩波新書
12　青木保　『多文化世界』　岩波新書
13　梅棹忠夫　『世界史とわたし　文明を旅する』
14 (52)　苅谷剛彦　『知的複眼思考法』）　講談社＋α文庫
15　酒井邦嘉　『科学者という仕事　独創性はどのように生まれるか』　中公新書
16 (2)　辻邦生　『安土往還記』　新潮文庫
17　藤沢周平　『蝉しぐれ』
18 (33)　渡辺淳一　『遠き落日』　角川文庫
19　大庭みな子　『津田梅子』
20　キューブラー・ロス　『人生は廻る輪のように』
21　ドラッカー　『傍観者の時代』　ダイヤモンド社
22　小山内美智子　『あなたは私の手になれますか　心地よいケアを受けるために』　中央法規出版
23 (43)　フランクリン　『フランクリン自伝』　岩波文庫
24 (45)　カーネギー　『カーネギー自伝』　中公文庫
25 (32)　チャップリン　『チャップリン自伝』　新潮文庫
26　マハトマ・ガンジー　『ガンジー自伝』
27 (44)　福沢諭吉　『新訂　福翁自伝』　岩波文庫
28 (46)　高橋是清　『高橋是清自伝』　中公文庫
29　宮崎学　『突破者　戦後史の陰を駆け抜けた50年』　南風社
30　穐吉（秋吉）久美子　『ジャズと生きる』　岩波新書
31 (39)　遠藤周作　『沈黙』　新潮文庫
32 (38)　宮本常一　『忘れられた日本人』　岩波文庫

33　新渡戸稲造　『武士道』
34　柳田邦男　『犠牲（サクリファイス）　わが息子・脳死の11日』　文藝春秋
35 (48)　鶴見和子　『南方熊楠』　講談社学術文庫
36　北岡伸一　『清沢洌　外交評論の運命』　中公新書
37　湯川秀樹　『旅人　湯川秀樹自伝』
38 (51)　ポパー　『果てしなき探求　知的自伝』　岩波現代新書
39 (36)　高木仁三郎　『市民科学者として生きる』　岩波新書
40　マサリク　『マサリクの講義録　チェコ・スロバキア小史』　恒文社
41 (73)　ノーレットランダーシュ　『ユーザーイリュージョン：意識という幻想』　紀伊国屋書店
42 (17)　ラマチャンドランほか　『脳のなかの幽霊』　角川書店
43 (55)　ホフスタッター　『ゲーデル・エッシャー・バッハ：あるいは不思議の環』　白揚社
44　キーナンほか　『うぬぼれる脳』　ＮＨＫブックス
45 (23)　ロバーツ　『セレンディピティー：思いがけない発見・発明のドラマ』　化学同人
46　アインシュタイン　『物理学はいかに創られたか』（旧版No.18）　岩波新書
47 (62)　ファインマン　『ご冗談でしょう、ファインマンさん』　岩波現代文庫
48 (50)　ハイゼンベルグ　『部分と全体：私の生涯の偉大な出会いと対話』　みすず書房
49　ワトソン　『ＤＮＡ』　講談社
50　ドナル・オシア　『ポアンカレ予想を解いた数学者』　日経ＢＰ
51 (80)　丸山工作　『ノーベル賞ゲーム』　岩波書店
52 (65)　レンフルー　『ことばの考古学』　青土社
53 (60)　ダイアモンド　『銃・病原菌・鉄：1万3000年にわたる人類史の謎』　草思社
54　木村資生　『生物進化を考える』　岩波新書
55 (94)　丸山茂徳、磯崎行雄　『生命と地球の歴史』　岩波新書
56　クーン　『科学革命の構造』　みすず書房
57 (25)　サイード　『オリエンタリズム』　平凡社ライブラリー
58　フーコー　『監獄の誕生』　新潮社
59 (56)　チョムスキー　『生成文法の企て』　岩波書店
60　青木昌彦　『人生越境ゲーム』　日本経済新聞出版社
61　サイモン・シン　『フェルマーの最終定理』　新潮社
62 (28)　日本戦没学生記念会　『きけわだつみの声』　光文社文庫、岩波文庫
63 (11)　大岡昇平　『野火』　新潮文庫
64 (12)　原民喜　『夏の花』　岩波文庫
65 (26)　野坂昭如　『アメリカひじき・火垂の墓』　新潮文庫
66 (89)　チアン　『ワイルド・スワン』　講談社文庫
67 (29)　フランクル　『夜と霧　新版』　みすず書房
68　ギュンター・グラス　『玉ねぎの皮をむきながら』　集英社

69　ヴァイツゼッカー　『荒れ野の４０年　ヴァイツゼッカー大統領演説全文1985年5月8日』
70　ジョン・ダワー　『増補版　敗北を抱きしめて』　岩波書店
71　加藤典洋　『敗戦後論』　講談社
72　青来有一　『爆心』　文藝春秋
73　米山リサ　『広島　記憶のポリティクス』　岩波書店
74　ウォーカー　『カウントダウン・ヒロシマ』　早川書房
75　平岡敬　『希望のヒロシマ　市長はうったえる』　岩波新書
76　今中哲二・原子力資料情報室　『「チェルノブイリ」を見つめなおす　20年後のメッセージ』　原子力資料情報室
77　バレンボイム／サイード　『音楽と社会』　みすず書房
78　ユヌス　『ムハマド・ユヌス自伝　貧困なき世界を目指す銀行家』　早川書房
79　黒柳徹子　『トットちゃんとトットちゃんたち』　講談社
80　中村哲　『医者、用水路を拓く』　石風社
81　国連ボランティア計画編　『平和のつくり方』　清流出版
82 (78)　オーウェル　『1984年』　早川文庫
83(91)　板垣雄三　『石の叫びに耳を澄ます』　平凡社
84　ゲスト　『アフリカ　苦悩する大地』　東洋経済新報社
85　ジョンソン　『アメリカ帝国への報復』　集英社
86 (81)　ブルーム　『アメリカン・マインドの終焉』　みすず書房
87　ネグリ＆ハート　『マルチチュード』　ＮＨＫブックス（上・下）
88 (93)　カーソン　『沈黙の春』　新潮文庫
89　セーガン　『百億の星と千億の生命』　新潮文庫
90 (95)　佐和隆光　『地球温暖化を防ぐ　20世紀型経済システムの転換』　岩波新書
91　アル・ゴア　『不都合な真実』　ランダムハウス講談社
92　村井吉敬　『エビと日本人Ⅱ　暮らしのなかのグローバル化』　岩波新書
93　スティグリッツ　『世界に格差をバラ撒いたグローバリズムを正す』　徳間書店
94　北沢洋子　『利潤か人間か　グローバル化の実態と新しい社会運動』　コモンズ
95　スピヴァック　『サバルタンは語ることができるか』　みすず書房
96 (3)　夏目漱石　『私の個人主義』　講談社学術文庫
97 (4)　ウォルフレン　『人間を幸福にしない日本というシステム』　新潮OH!文庫
98 (100)　マコーマック　『空虚な楽園　戦後日本の再検討』　みすず書房
99 (101)　岸康彦　『食と農の戦後史』　日本経済新聞社
100 〇尚中　『愛国の作法』　朝日新書
101　高坂正堯　『現代史の中で考える』　新潮選書

『新版　大学新入生に薦める１０１冊の本　参考図書』広島大学101冊の本委員会(編)の掲載書籍リスト

（教養についての参考文献）

唐木順三　新版現代史への試み　筑摩書房　1963
オルテガ　大学の使命　桂書房　1968
ドラッカー　ポスト資本主義社会　ダイヤモンド出版　1993
筒井清忠　日本型「教養」の運命　岩波書店　1995
阿部謹也　教養とは何か　講談社現代新書　1997
竹内洋　『教養主義の没落』　中公新書　2003
佐伯啓思　学問の力　ＮＴＴデータ出版　2006
苅部直　移りゆく「教養」　ＮＴＴ出版　2007

（関連図書）

１　長田弘　『読書からはじまる』
　　私の二十世紀書店　1982
３　阿部謹也　『自分のなかに歴史を読む』
　（アナール学派）ブローデル　地中海
　　『ハーメルンの笛吹き男』
　　『学問と「世間」』　岩波新書　2001
　　『日本人の歴史意識』　岩波新書　2004

（歴史を学ぶ視点）

　網野善彦　『日本の歴史をよみなおす』
　　同　　「日本」とは何か
４　エンデ　『モモ』
　　ものがたりの余白　岩波書店　2000
５　カミュ　『シーシュポスの神話』
　　異邦人
６　ミル　『自由論』
　（自伝）　ミル自伝　みすず書房　2008
　　（評伝）小泉仰　『J.S.ミル』　研究者　1997
　　アイザイア・バーリン　自由論　みすず書房　2000
７　ラッセル　『幸福論』

（主著）数学原理　西洋哲学史
（自伝）私の哲学の発展　みすず書房
（評伝）ウッド　『バートランド・ラッセル』　木鐸社
８　大岡信　『日本の詩歌』
９　山折哲雄　『近代日本人の宗教意識』
（日本の宗教）
末木文美士　日本宗教史　岩波新書　2006
浅見定雄　新宗教と日本人　晩声社　1994
同　　なぜカルト宗教は生まれるのか　日本基督教団出版局　1997
井上順孝ほか　宗教学を学ぶ　有斐閣選書　学問としての宗教学
（主著）
日本人の霊魂感　河出書房　1976
日本宗教文化の構造と祖型　東大出版会　1980
死の民俗学　岩波現代文庫　2002
１０司馬遼太郎　この国のかたち
『日本人と日本文化』『世界のなかの日本』ドナルド・キーンとの対談
『十六の話』（中公文庫）中の「２１世紀に生きる君へ」「洪庵のたいまつ」
１１田中克彦　『ことばと国家』
言語からみた民族と国家　岩波同時代ライブラリー　1991
法廷にたつ言語　岩波現代文庫　2002
１２青木保　『多文化世界』
文化の翻訳　東京大学出版会　1978
儀礼の象徴性　岩波書店　1984
文化の否定性　中央公論社　1988
１３梅棹忠夫　『世界史とわたし』
文明の生態史観
知的生産の技術　岩波新書
情報の文明学　中央公論新社
１４苅谷剛彦　『知的複眼思考法』
『大衆教育社会のゆくえ』　中公新書　1995
教育の社会学　常識の問い方、見直し方　有斐閣アルマ　2000
変わるニッポンの大学　玉川大学出版部　1998
学校ってなんだろう　ちくま文庫
階層化日本と教育危機　有信堂高文社　2001
教育の世紀　弘文堂　2004
学力と階層　朝日新聞社　2008
１５酒井邦嘉　『科学者という仕事』

言語の脳科学　中公新書　2008
遺伝子・脳・言語　中公新書　2007
（科学研究の解説書）
メダワー　若き科学者へ　みすず書房　1981
グリンネルの研究成功マニュアル　共立出版　1992
池内了　『科学者心得帳』　みすず書房　2007
ロージ、ジョンストン　科学者として生き残る方法　日経BP　2008
１６辻邦生　『安土往還記』
廻廊にて　1963
安土往還記　1972
背教者ユリアヌス　1974
西行花伝　1999
辻左保子　「たえず書く人」辻邦生と暮らして　中央公論新社　2008
１７藤沢周平　『蝉しぐれ』
『一茶』　小林一茶の評伝小説
白き瓶　長塚節の評伝小説
（自伝）　半生の記
松本清張の自伝　『半生の記』も参照
（評伝）　左高信　『司馬遼太郎と藤沢周平』　光文社文庫　1999
１８渡辺淳一　『遠き落日』
白い宴　和田心臓移植をテーマにした小説
光と影　直木賞
遠き落日　吉川英治文学賞
（野口英世の評伝）　北篤『正伝　野口英世』　毎日新聞社　2004
１９大庭みな子　『津田梅子』
（山川捨松の評伝）津田梅子と同時に渡米・留学
久野明子　『鹿鳴館の貴婦人　大山捨松』　中公文庫
星亮一　『山川健次郎の生涯』　筑摩書房
（大庭みな子）
三匹の蟹　1968
がらくた博物館　文藝春秋　1975
寂〇〇〇（かたちもなく）　河出書房新書　1982
海にゆらぐ糸　講談社　1989
赤い満月　文藝春秋　1996
津田梅子　読売文学賞
（津田梅子の評伝）
吉川利一　津田梅子伝　津田塾同窓会　1930

山崎孝子　津田梅子　吉川弘文館　1962
２０キューブラー・ロス　『人生は廻る輪のように』
『死ぬ瞬間』　1969
死ぬ瞬間の対話　読売新聞社
エイズ死ぬ瞬間　読売新聞社
（伝記）　デレク・ギル　「死ぬ瞬間」の誕生　読売新聞社　1982
２１ドラッカー　『傍観者の時代』
（主著）　経済人の終わり　断絶の時代　非営利組織の経営
（回想）すでに起こった未来（ダイヤモンド社、1993）の終章「社会生態学者の回想」
（自伝）　『ドラッカー　２０世紀を生きて』　日本経済新聞社　2001
（案内）イーダスハイム『P.F.ドラッカー』　ダイヤモンド社　2007
コーン　『ドラッカー先生の授業』　ランダムハウス講談社　2008
２２小山内美智子　『あなたは私の手になれますか』
足指でつづったスウェーデン日記　朝日新聞社　1981
車椅子からウィンク　文藝春秋　1988
痛みの中からみつけた幸せ　ぶどう社　1994
２３『フランクリン自伝』
貧しきリチャードの歴　総合法規出版　自作のことわざ
フランクリンの手紙　岩波文庫　1951/31
２４『カーネギー自伝』
（アメリカ自伝の代表）
『フランクリン自伝』
カーネギー自伝
『ロックフェラー回顧録』　新潮社　2007
２５『チャップリン自伝』
２６ガンジー自伝
（インドの独立）　中島岳志　『中村屋のボース』　白水社　2005
２７福翁自伝
学問のすすめ
文明論之概略
２８『高橋是清自伝』
（伝記）大島清　高橋是清　中公新書
藤村欣市朗　高橋是清と国際金融（上・下）
２９宮崎学　『突破者』
地上げ屋　幻冬舎　2000
不逞者　幻冬舎　1999
近代ヤクザ肯定論　筑摩書房　2007

３０秋吉敏子　『ジャズと生きる』
　私のジャズ物語　日本放送出版協会　2004
　孤軍：穐吉久美子　全音楽譜出版社　2004
３１遠藤周作　『沈黙』
　白い人　1955　芥川賞
　『海と毒草』　『イエスの生涯』　深い河
３２宮本常一　『忘れられた日本人』
（評伝）　佐田尾信作　宮本常一という世界　2004　風の人宮本常一　2008
　　佐野眞一　旅する巨人　文藝春秋　1996
（自伝）　民俗学の旅　日本図書センター
（著書）家郷の訓　：地域社会が子どもの教育を行っていた
３３新渡戸稲造　『武士道』
（武士道について）
吉田公平　日本における陽明学　ペリカン社　1999
小島毅　近代日本の陽明学　講談社　2006
菅野覚明　武士道の逆襲　講談社　2004
（評伝）星新一　明治の人物誌　新潮文庫
３４柳田邦男　『犠牲』
　マッハの恐怖　1972
　ガン回廊の朝　1979
　撃墜　1985
　犠牲（サクリファイス）　1995
　犠牲（サクリファイス）への手紙
３５鶴見和子　『南方熊楠』
（熊楠評伝）
平野威馬雄　くまぐす外伝　濤書房　1972
　津本陽　巨人伝　文藝春秋　1989
　荒俣ほか編　南方熊楠の図譜　青弓社　1991
　松居竜五ほか　南方熊楠を知る事典　講談社現代新書　1993
３６北岡紳一　『清沢洌』
（著書）　日本陸軍と大陸政策：1906-1918年　東大出版会　1978
　『後藤新平』　中公新書　1988
　自民党：政権党の３８年　読売新聞社　1995
（清沢の著書）暗黒日記　ちくま学芸文庫　2002
３７湯川秀樹　『旅人』
　（後半生の伝記）　牟田泰三　『語り継ぎたい湯川秀樹のことば』　丸善　2008
　（著作）湯川秀樹著作集　岩波書店　１１巻　1989

３８ポパー　『果てしなき探求』
（著作）　歴史主義の貧困
『開かれた社会とその敵』
『科学的発見の論理』（探求の論理の和訳）
（類書）佐々木毅　プラトンの呪縛　講談社学術文庫　2000
西脇与作　科学の哲学　慶応大学出版会　2004
４０マサリク　『マサリクの講義録』
（著作）
ロシアとヨーロッパ　成文社　2005
チャペック　『マサリクとの対話』　成文社　1993
４１ノーレットランダーシュ　『ユーザーイリュージョン』
（自由意思論）ウィリアム・ジェームズ　プラグマティズム　心理学　純粋経験の哲学
日垣隆　『そして殺人者は野に放たれる』　新潮社　2003
４２ラマンチャンドラほか　『脳のなかの幽霊』
リタ・カーター　脳と心の地形図　原書房　1999
茂木健一郎　『脳とコンピュータはどう違うか』　講談社ブルーバックス　2003
４３ホフスタッター　『ゲーデル、エッシャー、バッハ』
（著作）メタマジック・ゲーム：科学と芸術のジグソーパズル　白揚社　1985
マインズ・アイ：コンピュータ時代の「心」と「私」　ＴＢＳブリタニカ　1982
（ＧＥＢ３人の評伝）
カスティ、デパウリ　ゲーデルの世界　青土社　2003
エルンスト　エッシャーの宇宙　朝日新聞社　1976
フェーリクス　バッハ：生涯と作品　講談社学術文庫　1984
４４キーナンほか　うぬぼれる脳
プレマック　心の発生と進化　新曜社　2005
４５ロバーツ『セレンディピティー』
ホッジス　セレンディップの三人の王子　バベルプレス
４６アインシュタイン＆インフェルト　物理学はいかに創られたか
（参考）小山慶太　『漱石が見た物理学』　中公新書　1991
（著作）相対性理論　岩波文庫　特殊相対性理論の翻訳
わが相対性理論　白揚社　一般相対性理論の翻訳
インフェルト　アインシュタインと共に　世界ノンフィクション全集１２　筑摩書房
（参考）パイス　物理学者たちの２０世紀　朝日新聞社　1997
（評伝）　ジェームズ・グリック　『ファインマンさんの愉快な人生』　岩波書店
４８ハイゼンベルク　部分と全体
（評伝）　パワーズ　なぜナチスは原爆製造に失敗したか（上・下）　福武書店　1993

４９ワトソン　『ＤＮＡ』　2003
（著作）二重らせん
『ぼくとガモフと遺伝情報』　白揚社　2001　二重らせんの続編
５０ドナル・オシア　『ポアンカレ予想を解いた数学者』
（関連）　サイモン・シン　『フェルマーの最終定理』
長野正　曲面の数学：現代数学入門　培風館　1968
数学セミナー　増刊　日本評論社　2007.1
５１丸山工作　『ノーベル賞ゲーム』
（ノーベル賞関連）　馬場錬成　『ノーベル賞の１００年』　中公新書　2002
（日本人科学者）　『日本の科学者最前線』　中公新書クラレ　2001
中村桂子編者　『生命研究のパイオニアたち』　科学同人　2007
（丸山の著作）
筋肉の謎　岩波新書　1980
筋肉はなぜ動く岩波ジュニア新書　2001
５２レンフルー　『ことばの考古学』
（著作）　『先史時代と心の進化』　ランダムハウス講談社　2007
（旧石器遺跡捏造事件）　奥野正男　『神々の汚れた手』　梓書房　2004
５３ダイアモンド　『鉄・病原菌・鉄』
（著作）『人間はどこまでチンパンジーか』　新曜社　1991
セックスはなぜ楽しいか　草思社　1997
『文明崩壊』（上・下）　草思社　2005
５４木村資生　『生物進化を考える』
『分子進化の中立説』　紀伊国屋書店　1986
５５丸山茂徳　『生命と地球の歴史』
（最近の地球科学）
熊澤峰夫ほか　『プルームテクトニクスと全地球史解読』　岩波書店　2002
川上伸一　『生命と地球の共進化』　ＮＨＫ出版　2000
（スノーボールアース仮説）
ウォーカー　『スノーボールアース』　早川書房　2003
（地球科学の革命）都城秋穂　『科学革命とは何か』　岩波書店　1998
泊次郎　『プレートテクトニクスの拒絶と受容』　東京大学出版会　2008
（丸山らの近著）　『火星の生命と大地４６億年』　講談社　2008
５６クーン　科学革命の構造
（著作）コペルニクス革命　講談社学術文庫　1957
科学革命における本質的緊張　みすず書房　1977
（評伝）　野家啓一　パラダイムとは何か：クーンの科学的革命　講談社学術文庫　2008
５７サイード　『オリエンタリズム』

（自伝）遠い場所の記憶：自伝　みすず書房　1999
５８フーコー　『監獄の誕生』
狂気の歴史　みすず書房
知への意志（性の歴史第１巻）
５９チョムスキー　『生成文法の企て』
（著作）文法の構造　統率・束縛理論（研究社）　ミニマリスト・プログラム（翔泳社）　言語と知識（産業図書）
（解説）福井直樹　自然科学としての言語学：生成文法とは何か　大修館　2001
ムーナン　二十世紀の言語学　白水社　1972
青木昌彦　『人生越境ゲーム』
（本書関連の著作）　移り行くこの１０年動かぬ視点　日経ビジネス人文庫　2002
比較制度分析序説（講談社学術文庫　2008）
（著作）比較制度分析に向けて　ＮＴＴデータ出版　2001
６１サイモン・シン　『フェルマーの最終定理』
（著作）暗号解読（上・下）
宇宙創成（上・下）
（フェルマーの定理）足立恒雄　フェルマーの大定理　ちくま学芸文庫　1984
加藤和也　解決！フェルマーの最終定理　日本評論社　1995
斎藤毅　フェルマー予想　岩波書店　2009　本格的解説で相当の準備を要する
志村五郎　『記憶の切繪図』　筑摩書房　2008　志村の自伝
６２きけわだつみのこえ
岩波文庫版と光文社文庫版とがあり、内容は異なる
（関連）
ヴィトコップ　ドイツ戦没学生の手紙　岩波新書 1928
（第２次世界大戦版）　新潮社　1953
６３大岡昇平　『野火』
俘虜記　レイテ戦記　戦争
６４原民喜　『夏の花』
（原爆体験記）
小倉豊文　絶後の記録　中央公論社　1948
蜂谷道彦　ヒロシマ日記　法政大学出版局
永井隆　長崎の鐘
長田新編　原爆の子　岩波文庫
ハーシー　ヒロシマ　法政大学出版局
（米国サイド）
ローレンス　ゼロの暁　創元社
（作家）太田洋子　屍の街　講談社　峠三吉　原爆詩集　青木書店　井伏鱒二　『黒い雨』

大江健三郎　ヒロシマ・ノート　岩波新書
６５野坂　ほたるの墓
（自伝的背景）わが桎梏の碑　光文社　1992
（著作）　忘れてはイケナイ物語　光文社　2000
（他の作家）五味川純平　人間の条件　全５巻
きけわだつみのこえ　戦没学徒兵の手記
林〇夫　わがいのち月明に燃ゆ　同上
大貫恵美子　ねじ曲げられた桜　岩波書店　2993
半藤一利　昭和史1926-1945　平凡社　2004
６７フランクル　『夜と霧』
（著作）フランクル回想録　春秋社　1995
（関連）ドフトエフスキー　死の家の記録　極限における人間性
死ぬ瞬間　この本の影響を受けている。
６８ギュンター・グラス　『玉ねぎの皮をむきながら』
（代表作）　『ブリキの太鼓』　鼠と猫　犬の年
６９ヴァイツゼッカー　『荒れ野の４０年』
ヴァイツゼッカー大統領演説集　岩波書店　1995
７０ダワー　『敗北を抱きしめて』
吉田茂とその時代　ＴＢＳブリタニカ
７１加藤　敗戦後論
（著作）戦後的思考　講談社　1999
（関連）高橋哲哉　戦後責任論　講談社学術文庫　2005
７２青来有一　爆心
７３米山リサ　広島
７４ウォーカー　カウントダウン・ヒロシマ
７５平岡敬　希望のヒロシマ
（関連）拒絶された原爆展　みすず書房　1997
葬られた原爆展　五月書房　1995
直野章子　ヒロシマ・アメリカ　渓水社　1997
７６今中
７７『音楽と社会』
（バレンボイム）ダニエル・バレンボイム自伝　音楽之友社　2003
７８ムハマド・ユヌス　『ムハマド・ユヌス自伝』
（近著）『貧困のない世界を創る』　早川書房　2007
７９黒柳徹子　『トットちゃんとトットちゃんたち』
（自伝）窓ぎわのトットちゃん　講談社
田沼武能　難民キャンプの子どもたち　岩波新書　2005

８０中村哲　『医者、用水路を拓く』
（著作）ペシャワールにて　石風社　1989
医は国境を越えて　1999
医者井戸を掘る　2001
ほんとうのアフガニスタン　2002
（アフガニスタン関係）
尾崎三雄　日本人が見た'30年代のアフガン　石風社　2003
山本敏晴　アフガニスタンに住む彼女からあなたへ　白水社　2004
８１国連ボランティア計画編　『平和のつくり方』
横山和子　国連ボランティアをめざす人へ　岩波新書　1993
中田武仁　息子への手紙　朝日新聞社　1995
私は国連ボランティア　中央公論新社　2001
リンダ・ポルマン　だから、国連はなにもできない　アーティストハウス　2003
緒方貞子　私の仕事　草思社　2002
ゲスト　アフリカ
難民からみる世界と日本人　現代人文社　1998
８２オーウェル　『1984年』
カタロニア讃歌
（ユートピア文学）
トマス・モア　ユートピア
カンパネルラ　太陽の都
ベーコン　ニュー・アトランティス　世界の名著２０
ウィリアム・モリス　ユートピアだより
（反ユートピア文学）　ザミャーチン　われら
ハックスリー　すばらしい新界　講談社文庫
（解説）川端香男里　ユートピアの幻想　講談社文庫　1993
８３板垣雄三　『石の叫びに耳を澄ます』
（著作）『イスラーム誤認』　岩波書店　2003
『「対テロ戦争」とイスラム世界』　岩波新書　2002
８４ゲスト　アフリカ
北川勝彦ほか　アフリカ経済論　ミネルヴァ書房　2004
８５ジョンソン　『アメリカ帝国への報復』
（関連本）シリーズ歴史学の現在　２０世紀のアメリカ体験　青木書店　2001
（著作）アメリカ帝国の悲劇　文藝春秋　2004
帝国アメリカと日本武力依存の構造　集英社新書　2004
８６ブルーム　『アメリカン・マインドの終焉』
（類似）　竹内洋　『教養主義の没落』　中公新書　2003

川成洋　『大学崩壊！』　宝島新書　2000
筒井康隆　文学部唯野教授　岩波現代文庫
高田理恵子　文学部をめぐる病　松〇社　2001
（科学戦争関係）金森修　サイエンス・ウォーズ　東京大学出版会　2000
ソーカル、ブリクモン　「知」の欺瞞　岩波書店　1998
サルダー、ルーン　カルチュラル・スタディーズ　作品社　マンガ
８７ネグリ＆ハート　『マルチチュード』
『帝国』　ディオニュソスの労働　人文書院　2008
８８カーソン　『沈黙の春』
（評伝）ブルックス　レイチェル・カーソン　新潮文庫　2007
（著作）われれをめぐる海　海辺　センス・オブ・ワンダー　潮風の下に
８９セーガン　『百億の星と千億の生命』
（著作）エデンの恐竜：知性の源流をたずねて　秀潤社　1977
コスモス　コンタクト
９０佐和隆光　『地球温暖化を防ぐ』
（地球生態系の持続可能性）
レヴィン　持続不可能性　文一総合出版　1999
メドウズ　成長の限界　ダイヤモンド社　2005
吉田文和　循環型社会　中公新書　2004
三橋規宏　環境再生と日本経済　岩波新書　2004
（温暖化の歴史学的考察）フェイガン　『古代文明と気候変動』　河出文庫
大温暖化　河出書房新社　2008
９１アル・ゴア　『不都合な真実』
（著作）地球の掟　ダイヤモンド社　1992
理性の奪還　ランダムハウス講談社　2007
９２村井吉敬　『エビと日本人Ⅱ』
コーテン　グローバル経済という怪物　シュプリンガー東京　1995
９３スティグリッツ　『世界に格差をバラ撒いたグローバリズムを正す』
（著作）　『世界を不幸にしたグローバリズムの正体』　徳間書店　1992
人間が幸福になる経済とは何か　徳間書店　2003
（世界金融恐慌）
シュレーズ　アメリカ大恐慌（上・下）　ＮＴＴ出版　2008
ガルブレイス　大暴落1929　日経ＢＰ　1955
なぜ、アメリカ経済は崩壊に向かうのか　日本経済新聞社　2008
９４北沢洋子　『利潤か人間か』
（著作）顔のない国際機関：ＩＭＦ世界銀行　学陽書房　1995
黒いアフリカ（増補版）　聖文社　1988

自由貿易はなぜ間違っているのか　アジア太平洋資料センター　2003
９５スピヴァック　『サバルタンは語ることができるか』
（著作）ポストコロニアル理性批判　月曜社　1999
（解説）　スティーブン・モートン　スピヴァック　青土社　2005
インタビュー　スピヴァックみずからを語る　岩波書店　2008
９６夏目漱石　『私の個人主義』
文学論
思い出す事など　岩波文庫
９７ウォルフレン　『人間を幸福にしない日本というシステム』
（著作）日本／権力構造の謎　ハヤカワ文庫
怒れ日本の中産階級　毎日新聞社 1999
（類書）カー　犬と鬼　講談社　2002
ヴォーゲル　ジャパン・アズ・ナンバーワン　ＴＢＳブリタニカ　1979
（日本論の古典）
志賀重昂　日本風景論　岩波文庫
和辻哲郎　風土
青木保　「日本文化」の変容　中公文庫　1990
加藤周一　日本文学史序説　ちくま文庫
日本文化における時間と空間　岩波書店　2007
９８マコーマック　『空虚な楽園　戦後日本の再検討』
９９岸康彦　『食と農の戦後史』
（著作）　ベーシック農業問題入門　日本経済新聞社編　日経文庫
（関連）立花隆　農協
神門善久　日本の食と農　ＮＴＴ出版　2006
１００愛国の作法
（著作）　在日　講談社　2004
マックス・ウェーバーと近代　御茶の水書房　1986
（日本の愛国心）
五味川純平　戦争と人間　9F（１６分冊）　人間の条件
木下順二　オットーと呼ばれる日本人　岩波書店　尾崎秀実をモデルにした戯曲
大沢眞幸編　ナショナリズム論の名著５０　平凡社　2002
小熊英二　民主と愛国　新曜社　2002
佐伯啓思　日本の愛国心　ＮＴＴ出版　2008
１０１高坂正堯　『現代史の中で考える』
世界史の中から考える　新潮社　1996
文明が衰亡するとき　新潮社　1981
高坂〇〇著作集　都市出版　1999

五百旗頭真　日米戦争と戦後日本　講談社学術文庫　2005
（マサリク関連）
マサリクに関するもの
マサリク　『チェックスロワキヤ国　建国と理想』　日東出版社　1931
マサリク　『ロシヤ思想史　Ⅰ・Ⅱ』　みすず書房　1956,62
チェペック　『マサリクとの対話』　成文社　1993
林忠行　中欧の分裂と統合　中公新書　1993
チェコ・スロヴァキア史に関するもの
ボヌール　チェコ・スロヴァキア史　白水社　1969
矢田俊隆　ハンガリー・チェコスロヴァキア現代史　山川出版社　1977
同　　編　東欧史　　同　1977

京都大学新入生推薦本の掲載書籍リスト

1　ダイアモンド　『銃・病原菌・鉄』　草思社
2　杉山幸丸　『進化しすぎた日本人』　中公新書ラクレ
3　片山一道　『古人骨は生きている』　角川書店
4　シュレーディンガー　『生命とは何か』　岩波新書
5　小田実　『何でも見てやろう』　講談社文庫
6　朝永振一郎　『量子力学（１）』　みすず書房
7　シン　『フェルマーの最終定理』　新潮社
8　デカルト　『方法序説』　岩波書店　ワイド版
9　林春男　『いのちを守る地震防災学』　岩波書店
10　林春男　『12歳からの被災者学』　日本放送出版協会
11　林春男　『災害のあと始末』　株式会社エクスナレッジ
12　伊谷純一郎　『原野と森の思考』　岩波書店
13　グドール　『心の窓』　どうぶつ社
14　山極寿一　『ヒトはどのようにしてつくられたか』　岩波書店
15　田村喜子　『京都インクライン物語』　山海堂
16　土木学会編　『人は何を築いてきたか』　山海堂
17　-　『日経サイエンス』　日経サイエンス社
18　池田巧　『中国語のしくみ』　白水社
19　青木薫他　『この数学書がおもしろい』　数学書房
20　数学セミナー編集部　『数学ガイダンス hyper』　日本評論社
21　志賀浩二　『無限のなかの数学』　岩波書店
22　ダーウィン　『ビーグル号航海記』３巻　岩波書店
23　ヴェーバー　『職業としての学問』　岩波書店
24　李登輝　『武士道解題』　小学館
25　鈴木大拙　『禅』　筑摩書房
26　Allen　『「原因」と「結果」の法則』　サンマーク出版
27　中山茂　『大学生になるきみへー知的空間入門』　岩波書店
28　ロールズ　『正義論』　紀伊國屋書店
29　宇沢弘文　『社会的共通資本』　岩波新書
30　広井良典　『定常型社会』　岩波新書
31　米澤貞次郎　『ノーベル賞の周辺』　化学同人
32　逢沢明　『ゲーム理論トレーニング』　かんき出版
33　武谷三男　『弁証法の諸問題』　勁草書房
34　マルクス　『資本論全三巻』　新日本出版社
35　竹内淳　『高校数学でわかるマクスウェル方程式』　講談社

36　長沼 伸一郎　『物理数学の直観的方法　第2版』　通商産業研究社
37　Hey　『目で楽しむ量子力学の本』　丸善
38　中尾佐助　『栽培植物と農耕の起源』　岩波新書
39　城 繁幸　『若者はなぜ3年で辞めるのか?　年功序列が奪う日本の未来』　光文社新書
40　ピーターセン　『日本人の英語』　岩波書店
41　本多勝一　『日本語の作文技術』　朝日新聞社
42　本多勝一　『実戦・日本語の作文技術』　朝日新聞社
43　二井一禎　『“マツ枯れ”は森の感染症』　文一総合出版
44　ダイソン　『宇宙をかき乱すべきか、ダイソン自伝（上）』　ちくま学芸文庫
45　笠原晧司　『対話微分積分学』　現代数学社
46　米沢富美子　『人物で語る物理入門　上・下』　岩波新書
47　嶺重慎　『宇宙と生命の起源　ビッグバンから人類誕生まで』　岩波ジュニア新書
48　湯川秀樹　『旅人』　角川書店
49　岡潔　『春宵十話』　光文社
50　鎌田浩毅　『成功術 時間の戦略』　文春新書
51　中江兆民　『三酔人経論問答』　岩波書店
52　古関彰一　『憲法九条はなぜ制定されたか』　岩波書店
53　今中忠行　『微生物と共生しよう』　化学同人
54　内田樹　『先生はえらい』　筑摩書房
55　西村三郎　『リンネとその使徒たち』　朝日新聞社
56　井上章一　『パンツが見える』　朝日新聞社

千葉大学教員の選んだ１００冊の掲載書籍リスト

書名 / 著(編)者 (推薦者)

1　赤と黒　/　スタンダール　(林田　遼右)
2　アメニティ・デザイン　/　進士五十八　(古谷　勝則)
3　アメリカ50州を読む地図　/　浅井信雄　(杉森みど里)
4　アメリカの数学者たち　/　D.　アルバース他　(越谷重夫)
5　医学史と数学史の対話　/　川喜田愛郎　他　(清水文七)
6　イギリス憲政論　/　W.　バジョット　(前田康博)
7　苺畑よ永遠に：前“安保世代”の甘ずっぱい青春　/　加藤幸子　(中川昌子)
8　インダストリアルデザイン　/　森　典彦　(工学部工業意匠学科)
9　印旛沼・手賀沼：水環境への提言　/　山田安彦他　(田口英昭)
10　The　Economist　(池田嘉男)
11　大江戸神仙伝　/　石川英輔　(小口敏夫)
12　ガウディの設計態度　/　松倉保夫　(柏崎隆志)
13　科学者とは何か　/　村上陽一郎　(杉森みど里)
14　科学的発見の論理　/　K.　ポッパー　(前田康博)
15　科学・倫理・政治　/　A.　セント・ジェルジ　(栗田啓幸)
16　隠された十字架　/　梅原　猛　(津村幸治)
17　形の発見　/　内田義彦　(安孫子誠男)
18　菊と刀　/　ルース・ベネディクト　(倉智恒夫)
19　教師修業十年　/　向山洋一　(宇佐美寛)
20　恐怖の権力　/　ジュリア・クリステヴァ　(若桑みどり)
21　菌と人と自然と　/　寺川博典　(平野和彌)
22　国定忠治の時代　/　高橋　敏　(永江弘康)
23　組ひもの数理　/　河野俊丈　(越谷重夫)
24　心に残るとっておきの話　/　潮文社編集部　(廣瀬聖雄)
25　『ご冗談でしょう、ファインマンさん』　/　ファインマン　(大豆生田利章)
26　個人空間の誕生　/　イーフー・トゥアン　(渡辺秀俊)
27　細胞の世界を旅する（上・下）　/　Christian　de　Duve　(野田公俊)
28　サル学の現在　/　立花　隆　(前田康博)
29　ジェンダーと科学　/　エヴリン・フォックス・ケラー　(斎藤　憲)
30　時間の発見　/　コリン・ウィルソン　(渡辺和夫)
31　史記　/　司馬遷　(前田康博)
32　自然界における左と右　/　マーティン・ガードナー　(中島祥夫)
33　実験以前のこと　/　小野　小三郎　(平野和彌)

34　資本主義・社会主義・民主主義　/　J.　A.　シュンペーター　(前田康博)
35　ジャン・クリストフ　/　ロマンローラン　(中野雅行)
36　「従軍慰安婦」問題と性暴力　/　鈴木裕子　(若桑みどり)
37　自由論　/　J.　S.　ミル　(前田康博)
38　常温核融合スキャンダル　/　ガリー・トーブク　(能川浩二)
39　常温核融合の真実　/　J.　R.　ホイジンガ　(山本恵司)
40　小説の経験　/　大江健三郎　(杉森みど里)
41　白い航跡（上・下）　/　吉村　昭　(橘正道)
42　身体教育を哲学する　/　佐藤　臣彦　(杉山英人)
43　神秘の生命物質ーポリアミン　/　五十嵐　一衛　(柿沼喜己)
44　随想：ハイトマルスベル　/　本間　正義　(安達恵美子)
45　数学ーその形式と機能　/　S.　マックレーン　(越谷重夫)
46　スミルノフ高等数学教程　/　スミルノフ　(大高一雄)
47　生活文化論への招待　(寺田　浩司)
48　生物から見た世界　/　ヤーコプ・フォン・ユクスキュル他　(実森正子)
49　生命にとって糖とは何か　/　大西　正健　(宇野潤)
50　生理学の夜明け　/　P.　Astrup　他　(福田康一郎)
51　セレンディピティー　/　R.　M.　Roberts　(島津省吾)
52　戦争の記憶　/　イアン・ブルマ　(若桑みどり)
53　全体主義の時代経験　/　藤田　省三　(古茂田宏)
54　葬式ごっこ　/　豊田　充　(教育学部教育心理学)
55　ゾウの時間ネズミの時間　/　本川　達雄　(実森正子)
56　大学生が書いた現代日本社会論　/　河西宏祐　(河西宏祐)
57　第二の産業分水嶺　/　M.　J.　ピオリ　他　(安孫子誠男)
58　楽しむということ　/　M.　チクセントミハイ　(三浦弓杖)
59　タバコやめますか　人間やめますか　/　広島県医師会　(大和田英美)
60　地球への求愛　/　ルネ・デュボス　(鶴岡義彦)
61　知の技法　/　小林康夫　他　(秋元英一)
62　デザイン　/　小池　新二　(工学部工業意匠学科)
63　哲学の変貌　/　ガーダマー他　(佐藤甫夫)
64　寺田寅彦随筆集　/　小宮豊隆　(大賀　宣彦)
65　天皇のページェント　/　T.　フジタニ　(若桑みどり)
66　遠き落日（上・下）　/　渡辺　淳一　(三上　襄)
67　ナイロンの発見　/　井本　稔　(福島　和貴)
68　流れる星は生きている　/　藤原　てい　(長島和子)
69　南極越冬記　/　西掘　栄三郎　(小野寺淑行)
70　24人のビリー・ミリガン（上・下）　/　ダニエル・キイス　(田中玲子)

71　二十世紀モード　/　能澤慧子　(杉森みど里)
72　日本人は「日本的」か　/　杉本良夫　他　(河西宏祐)
73　日本人は「日本的」か　/　杉本良夫　他　(中窪裕也)
74　人間を幸福にしない日本というシステム　/　カレル・ヴァン・ウォルフレン　(杉森みど里)
75　人間の絆（I～IV）　/　サマセット・モーム　(笈川節子)
76　人間の由来（上・下）　/　河合雅雄　(栗田子郎)
77　ノーマル　チャイルド　/　R.　S.　イリングワース　(新美仁男)
78　パリ随想　/　湯浅年子　(東郷秀雄)
79　晩年に想う　/　アインシュタイン　(草刈英榮)
80　ビーグル号航海記　/　チャールス・ダービン　(寺尾清)
81　ヒポクラテスの午睡　/　児玉　昌彦　(赤尾三太郎)
82　風土　/　和辻哲郎　(大賀宣彦)
83　風土　/　和辻哲郎　(横山耕治)
84　福翁自伝　/　福沢諭吉　(舟橋弥益男)
85　不思議の国の相対性理論　/　ルイス・キャロル・イプシュタイン　(上田裕子)
86　ふたつの鏡　/　吉永良正　(越谷重夫)
87　物理学はいかに創られたか（上・下）　/　アインシュタイン　他　(草刈英榮)
88　プルトニウム人体実験　/　アルバカーキー・トリビューン　(杉森みど里)
89　プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神　/　M.　ウェーバー　(前田康博)
90　文明が衰亡するとき　/　高坂　正堯　(廣橋　亮)
91　平静の心　/　日野原重明他　(千葉　胤道)
92　ペシャワールにて　/　中村　哲　(千葉　胤道)
93　ベルグソン全集４・創造的進化　/　アンリ・ベルグソン　(小野清之)
94ボク学校きらいだもん　/　筒井やよひ　(教育学部教育心理学)
95　ホット・ゾーン（上・下）　/　リチャード・プレストン　(清水文七)
96　ホット・ゾーン（上・下）　/　リチャード・プレストン　(桝渕泰宏)
97　ホール・ランゲージ　/　桑原　隆　(寺井正憲)
98　緑と環境のはなし　/　「緑と環境のはなし」編集委員会　(平野　和彌)
99　メタセコイア　/　斉藤　清明　(平野　和彌)
100　もの食う人びと　/　辺見　庸　(長島和子)
101　モノづくり解体新書（一の巻～六の巻）　(工学部機械工学科)
102　ライナス　ポーリング　/　アンソニー・セラフィニ　(丸山工作)
103　楽園の涙　/　ノーマン・カタコフ　(伊藤恵美子)
104　ルールと秩序　/　F.　A.　ハイエク　(前田　康博)
105　隷属への道　/　F.　A.　ハイエク　(嶋津　格)
106　老子　/　老子　(前田　康博)
107　論語　(前田　康博)

108　『若き数学者のアメリカ』　/　藤原　正彦　(島田　和昭)

109　わが数学者アーベル　/　C.　A.　ビエルクネス　(越谷　重夫)

110　わかり方の根源　/　佐伯　胖　(鶴岡　義彦)

静岡県立大学１００冊の掲載書籍リスト

1 学問のすすめ : 自分の道を自分で切りひらくために 福沢諭吉著 岬龍一郎訳・解説
2 カラサワ堂怪書目録 唐沢俊一
3 「聴く」ことの力 : 臨床哲学試論 鷲田清一
4 文化と両義性 山口昌男
5 論語（新版） 金谷治 訳
6 荘子 内篇／外篇／外篇・雑篇／雑篇 （全４巻） 金谷治訳注
7 パンセ １・２ パスカル著 前田陽一, 由木康訳
8 知的複眼思考法 : 誰でも持っている創造力のスイッチ 苅谷剛彦
9 二宮金次郎 和田傳
10 人を動かす D.カーネギー著 山口博訳
11 7つの習慣 : 成功には原則があった! スティーブン･R･コビー 川西茂訳
12 寂聴般若心経 : 生きるとは 瀬戸内寂聴
13 般若心経講義 高神覚昇
14 生きて死ぬ智慧 柳澤桂子
15 キリスト者の自由・聖書への序言 マルティン・ルター著 石原謙訳
16 歴史の進歩とはなにか 市井 三郎
17 歴史学ってなんだ？ 小田中直樹
18 チーズとうじ虫 : 16世紀の一粉挽屋の世界像 カルロ・ギンズブルグ著 ; 杉山光信訳
19　『ドン・キホーテ』 セルバンテス
20 「日本」とは何か 網野善彦
21　環境先進国・江戸　鬼頭宏
22　『昭和史:1926-1945』　半藤一利
23　あの戦争は何だったのか　：　大人のための歴史教科書　保阪正康
24　暗黒日記１縲怩R　清沢洌
25　国民国家とナショナリズム　谷川稔
26　パリ　歴史の風景　饗庭孝男
27　記念碑の語るアメリカ　：　暴力と追悼の風景　ケネス・E.・フット　和田光弘ほか訳
28　福翁自伝　福沢諭吉著・富田正文校訂
29　エレガンスに魅せられて　：　シドニー・ブレナー自伝　：　ルイス・ウオルパートに語る　丸田浩，丸山一郎，丸山美紗(共訳）
30　部分と全体　W．ハイゼンベルク
31　滿蒙幻影傳説　：　「聖戦」灰滅史を旅する　森川方達
32　「教養」とは何か　阿部謹也
33　日本人の洗濯を考えるエッセンス　黒川清、板垣雄三、猪口孝、田辺功
34　ホモ・サケル　：　主権権力と剥き出しの生　ジョルジョ・アガンベン著　高桑和巳訳

35　君主論　マキアヴェリ著　池田廉訳
36　日本の地方自治　その歴史と未来　宮本憲一
37　国際関係論　：　同時代史への羅針盤　中嶋嶺雄
38　プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神　マックス・ヴェーバー著　大塚久雄訳
39　経済発展の理論　上・下　シュムペーター著　塩野谷祐一[ほか]訳
40　グローバリゼーションとは何か?　：　まんがで学ぶ世界の経済　：　多国籍露天商で成りあがれ!　エル・フィスゴン著　後藤政子訳
41　日本経済　：　その成長と構造　（第３版）　中村隆英
42　虚妄の成果主義　：　日本型年功制復活のススメ　高橋伸夫
43　気流の鳴る音　真木悠介
44　肉食の思想　：　ヨーロッパ精神の再発見　鯖田豊之
45　ボディ・サイレント　：　病いと障害の人類学　ロバート・F・マーフィー
46　教師のためのからだとことば考　竹内敏晴
47　心理学者が語る心の教育　：　未来を託す子どもたちへ、58のメッセージ　行吉哉女,　田中敏隆編著
48　思春期にがんばってる子　明橋大二
49　所沢高校の730日　所沢高校卒業生有志
50　キャリアを磨く学生のための生活百科　：　入学から就職まで　村井雄　為田英一郎　神田秀一　河野裕
51　電池が切れるまで　：　子ども病院からのメッセージ　すずらんの会
52　『忘れられた日本人』　宮本常一
53　アフリカでケチを考えた　：　エチオピア・コンソの人びとと暮らし　篠原徹
54　ビーグル号航海記　上・中・下　チャールズ・ダーウィン著　島地威雄訳
55　『Powers　of　ten　：　宇宙・人間・素粒子をめぐる大きさの旅』　フィリップ・モリソン[ほか]共編著　村上陽一郎,　村上公子訳
56　理科系の作文技術　木下是雄
57　理系の女の生き方ガイド　：　女性研究者に学ぶ自己実現法　宇野賀津子、坂東昌子
58　オイラーの贈物　：　人類の至宝e[iπ]=-1を学ぶ　吉田武
59　数学力をどうつけるか　戸瀬信之
60　タイムマシンの話　：　超光速粒子とメタ相対論　都筑卓司
61　不確定性原理　：　運命への挑戦　都筑卓司
62　マックスウェルの悪魔　：　確率から物理学へ　都筑卓司
63　磁力と重力の発見　１・２・３　山本義隆
64　化学者の倫理　：　こんなときどうする?研究生活のルール　J･コヴァック著　井上祥平訳
65　天文対話　上・下　ガリレオ・ガリレイ著　青木靖三訳
66　海と湖の化学　：　微量元素で探る　宗林由樹　一色健司
67　おもしろい生物学　ヤコフ著　山崎紀美子訳

68　細胞の分子生物学，第４版　Bruce　Alberts　他　著；中村桂子，松原謙一監訳
69　不死を売る人びと　：　「夢の医療」とアメリカの挑戦　スティーヴン・S.ホール著　松浦俊輔訳
70　『DNA』　ジェームス　D．ワトソン　著　アンドリュー・ベリー　著　青木薫訳
71　種の起原　上・下　ダーウィン著　八杉龍一訳
72　共生の生態学　栗原康
73　やさしい日本の淡水プランクトン　：　図解ハンドブック　滋賀の理科教材研究委員会
74　絶滅のゆくえ　：　生物の多様性と人類の危機　ポール・エーリック，アン・エーリック著　戸田清，青木玲，原子和恵訳
75　生命倫理をみつめて　：　医療社会学者の半世紀　レネー・C・フォックス
76　生命操作は人を幸せにするのか　：　蝕まれる人間の未来　レオン・R・カス
77　細胞紳士録　：　カラー版　藤田恒夫、牛木辰男
78　薬学生・薬剤師のための知っておきたい病気100　日本薬学会編
79　人はなぜ病気になるのか　：　進化医学の視点　井村裕夫
80　あなたの知らない「家族」　：　遺された者の口からこぼれ落ちる13の物語　柳原清子
81　障害をもつ子を産むということ　：　19人の体験　野辺明子，加部一彦，横尾京子編
82　ほんとうのアフガニスタン　中村哲
83　身土不二を考える　：　ヒトと人間の食と健康　島田彰夫
84　人間と土の栄養学　鷹觜テル
85　マリファナは怖い　：　乱用薬物　山本郁男
86　『沈黙の春』　レイチェル・カーソン
87　スペイン建築の特質　F・チュエッカ著　鳥居徳敏訳
88　美味礼賛　ブリア・サヴァラン著　関根秀雄訳
89　YOSAKOIソーラン祭り　：　街づくりNPOの経営学　坪井善明　，長谷川岳
90　アイデアのつくり方　ジェームス・W・ヤング著　今井茂雄訳
91　まなざしのレッスン〈1〉西洋伝統絵画　三浦篤
92　内なる画家の眼　：　創造性の活性化は可能か　内なる画家の眼　：　創造性の活性化は可能か
93　ねじ式　つげ義春
94　世界最高のクラシック　許光俊
95　ドキュメンタリーは嘘をつく　森達也
96　菊とバット〔完全版〕　ロバート・ホワイティング著　松井みどり訳
97　生涯現役　國分文夫
98　言語学のたのしみ　千野栄一
99　論文の書き方　澤田昭夫
100　田辺聖子の小倉百人一首　田辺聖子
101　人はなぜ山を詠うのか　正津勉
102　通小町　竹本幹夫[訳]著（唱導法師の原作で、観阿弥の改作、世阿弥の改訂増補）

103　源氏物語　：　全訳　（上・中・下）　紫式部著　与謝野晶子訳
104　李朝残影　：　梶山季之朝鮮小説集　梶山季之
105　『アメリカひじき　；　火垂るの墓』　野坂昭如
106　坂の上の雲　新装版（全６巻）　司馬遼太郎
107　白い航跡　上・下　吉村昭
108　『若き数学者のアメリカ』　藤原正彦
109　漱石文明論集　夏目漱石
110　「いい人」をやめると楽になる　：　敬友録　曾野綾子
111　『深夜特急』　沢木耕太郎
112　古事記　山口佳紀　，　神野志隆光　校注・訳
113　ケンブリッジ・クインテット　ジョン・L・キャスティ著　藤原正彦,藤原美子訳
114　『老人と海』　ヘミングウェイ著　福田恆存訳
115　座右のゲーテ　：　壁に突き当たったとき開く本　齋藤孝
116　アレゴリーの織物　川村二郎
117　『夜と霧』　ヴィクトール・Ｅ．フランクル
118　スペイン中世・黄金世紀文学選集６　ピカレスク小説名作選　フランシスコ・デ・ケベード[ほか著]　牛島信明，　竹村文彦訳
119　罪と罰　上・中・下　ドストエフスキー
120　『カラマーゾフの兄弟』（上・中・下）　ドストエフスキー著　原卓也訳

敬和学園大学「敬和１００冊の本」ブックリストの掲載書籍リスト

■大学で学ぶ

1　麻柄啓一　じょうずな勉強法
2　大学活用法　岩波ジュニア新書
3　市川伸一　『勉強法が変わる本』　岩波ジュニア新書
4　齋藤孝　『新聞で学力を伸ばす』　朝日新書

■生きることと考えること

5　ウェストール　『弟の戦争』
6　朴美景　『走れ、ヒョンジン！』
7　夏目漱石　私の個人主義
8　灰谷健次郎　『兎の眼』
9　水上勉　『ブンナよ、木からおりてこい』
10　小林茂　ぼくたちは生きているのだ　岩波ジュニア新書
11　カント　永遠平和のために
12　宮田光雄　きみたちと現代　岩波ジュニア新書
13　大平光代　だから、あなたも生きぬいて
14　水木しげる　『ねぼけ人生』
15　内村鑑三　『後世への最大遺物』
16　大江健三郎　「自分の木」の下で
17　ペルザー　"It"（それ）と呼ばれた子　幼年期
18　トランボ　ジョニーは戦場へ行った
19　宮田光雄　『メルヘンの知恵』　岩波新書
20　米原万里　『打ちのめされるようなすごい本』
21　小堂敏郎　「社会に役立つ」を仕事にする人々
22　井上ひさし　『父と暮せば』
23　姜尚中　『ニッポン・サバイバル』　集英社新書
24　茂木健一郎　『生きて死ぬ私』
25　養老孟司　超バカの壁

■伝記・自伝・旅行記

26　遠藤周作　『イエスの生涯』
27　ミシュレ　ジャンヌ・ダルク

28　内村鑑三　『代表的日本人』
29　北康利　『白洲次郎　占領を背負った男』

■歴史と社会史

30　遅塚忠躬　『フランス革命』　岩波ジュニア新書
31　渡辺正清　『ヤマト魂』
32　宮本常一　『忘れられた日本人』
33　入江昭　『歴史を学ぶということ』　講談社現代新書
34　フランクル　『夜と霧　新版』
35　橋爪大三郎　『世界がわかる宗教社会学入門』
36　山折哲　『仏教とは何か』　中公新書
37　山内昌之　『嫉妬の世界史』　新潮新書

■現代社会の諸相

38　司馬遼太郎　『アメリカ素描』
39　樋口陽一　『個人と国家』
40　辺見庸　『もの食う人びと』
41　つかこうへい　『娘に語る祖国』
42　大平健　『やさしさの精神病理』　岩波新書
43　原康　国際機関ってどんなところ　岩波ジュニア新書
44　梅田望夫　『ウェブ進化論』
45　大向一輝　ウェブがわかる本　岩波ジュニア新書
46　若桑みどり　お姫様とジェンダー　ちくま新書
47　東野真　緒方貞子　集英社新書
48　『「戦地」に生きる人々』　集英社新書
49　佐々木俊尚　『2011年新聞・テレビ消滅』　文春新書
50　津田大介　Twitter社会論　洋泉社
51　中村哲　アフガニスタンの診療所から
52　菅正広　『マイクロファイナンス』　中公新書
53　柳田邦男　壊れる日本人
54　大野晋・上野健爾　『学力があぶない』　岩波新書
55　佐藤学　『学力を問い直す』　岩波ブックレット
56　福田誠治　競争やめたら学力世界一　朝日選書
57　クリック　現代政治学入門
58　むのたけじ、黒岩比佐子　戦争絶滅へ、人間復活へ　岩波新書

59　池上彰　知らないと恥をかく世界の大問題　角川SSC新書
60　星野博美　『転がる香港に苔は生えない』
61　佐々木俊尚　『電子書籍の衝撃』
62　池上彰　池上彰の宗教がわかれば世界が見える
63　橋爪大三郎・大澤真幸　『ふしぎなキリスト教』　講談社現代新書
64　佐藤学　『「学び」から逃走する子どもたち』　岩波ブックレット

■福祉・共生

65　広井良典　ケアを問いなおす　ちくま新書
66　中西正司、上野千鶴子　『当事者主権』　岩波新書
67　山下英三郎　シリーズ福祉のこころ　きみの心のサポーター
68　デーケン　死とどう向き合うか
69　一番ヶ瀬康　シリーズ福祉のこころ　福祉のこころ
70　柳田邦男　『犠牲』

■環境・生命・地球

71　池田清彦　環境問題のウソ　ちくまプリマー新書

■言葉・文章・論理

72　三浦つとむ　日本語はどういう言語か
73　井上ひさし　私家版　日本語文法
74　田中克彦　『ことばと国家』　岩波新書
75　白井恭弘　外国語学習の科学　岩波新書
76　田中克彦　言語学とは何か　岩波新書
77　鈴木孝夫　日本語と外国語　岩波新書
78　瀬戸賢一　日本語のレトリック　岩波ジュニア新書
79　キャンベル　読むことの力

■演劇・口承・文学

80　阿刀田高　『ギリシア神話を知っていますか』
81　平野敬一　マザー・グースの唄　中公新書
82　ブロンテ　ジェーン・エア
83　ルナアル　にんじん

84　カミュ　異邦人
85　サン・テグジュペリ　夜間飛行
86　トゥルニエ　聖女ジャンヌと悪魔ジル
87　ジオノ　『木を植えた人』
88　ゲーテ　若きウェルテルの悩み
89　三浦綾子　『塩狩峠』
90　宮田光雄　大切なものは目に見えない　岩波ブックレット
91　フィッツジェラルド（村上春樹訳）　グレート・ギャッツビー
92　エンデ　『はてしない物語』
93　エンド　『モモ』
94　ウェルズ　モロー博士の島
95　サリンジャー　『ライ麦畑でつかまえて』
96　ヘミングウェイ　日はまた昇る
97　スピリ　アルプスの少女ハイジ
98　トウェイン　トムソーヤの冒険
99　ル＝グゥイン　『影との戦い　ゲド戦記』
100　宮澤賢治　『注文の多い料理店』

『日本語力をつける文章読本　知的探検の新書３０冊』ニ通信子ほか(編)の掲載書籍リスト

高校生・大学生向け

第１部　読むことの楽しみ

１．『百歳日記』　まど・みちお
（さらに読んでみよう）
１－１　１００歳詩集　逃げの一手　まど・みちお
１－２　いわずにおれない　まど・みちお
１－３　ぼくらの言葉塾　ねじめ正一　岩波新書
２．世にも美しい日本語入門　安野光雅ほか　ちくまプリマー新書
２－１　日本語教室　井上ひさし
２－２　ホンモノの日本語を話していますか？　金田一春彦
２－３　翻訳語成立事情　柳父章　岩波新書
３．『数に強くなる』　畑村洋太郎　岩波新書
３－１　『失敗学のすすめ』　畑村洋太郎
３－２　『ゾウの時間　ネズミの時間』　本川達雄　中公新書
３－３　「大発見」の思考法　山中伸弥、益川敏英　文春新書
４．江戸のセンス　職人の遊びと洒落心　新井ほか　集英社新書
４－１　江戸を歩く　田中優子
４－２　商人道「江戸しぐさ」の知恵袋　越川禮子
４－３　杉浦日向子の江戸塾　笑いと遊びの巻　杉浦日向子
５．『理性の限界』　高橋昌一郎　講談社現代新書
５－１　『知性の限界』　高橋昌一郎　講談社現代新書
５－２　『無限論の教室』　野矢茂樹　講談社現代新書
５－３　数学ガール　ゲーデルの不完全性定理１，２　〇崎ミユキ
６．『ニッポンの書評』　豊崎由美　光文社新書
６－１　どれだけ読めば、気がすむの？　豊崎由美
６－２　『大好きな本』　川上弘美
６－３　『打ちのめされるようなすごい本』　米原万里

第２部　日常生活を振り返る

７．『千年、働いてきました』　野村進
７－１　道具にヒミツあり　小関智弘　岩波ジュニア新書

７－２　ニッポンの心意気　吉岡忍　ちくまプリマー新書
７－３　日用品の文化誌　柏木博　岩波新書
８．『都市と日本人』　「カミサマ」を旅する　上田篤　岩波新書
８－１　『ふしぎなキリスト教』　橋爪大三郎ほか　講談社現代新書
８－２　世界の教科書で読む「宗教」　藤原聖子　ちくまプリマー新書
８－３　東京の美学　混沌と秩序　芦原義信　岩波新書
９．『悪あがきのすすめ』　辛淑玉　岩波新書
９－１　怒りの方法　辛淑玉　岩波新書
９－２　「生きづらさ」について　貧困、アイデンティティ、ナショナリズム　雨宮処凛ほか　光文社新書
９－３　夕凪の街　桜の国　こうの史代
１０．手話の世界を訪ねよう　亀井信孝　岩波ジュニア新書
１０－１　手話あいうえお　丸山浩路
１０－２　手話ということば　米川明彦
１０－３　声が生まれる　聞く力・話す力　竹内敏晴　中公新書
１１．『物語の役割』　小川洋子　ちくまプリマー新書
１１－１　『博士の愛した数式』　小川洋子
１１－２　『村上春樹、河合隼雄に会いにいく』
１１－３　『となりのカフカ』　池内紀　光文社新書
１２．『俳句脳』　茂木健一郎ほか
１２－１　知っておきたいこの一句　黛まどか
１２－２　考える短歌　俵万智　新潮新書
１２－２　日めくり　四季のうた　長谷川櫂　中公新書

第３部　日本社会の問題をさぐる

１３．新版　原発を考える５０話　西尾漠　岩波ジュニア新書
１３－１　原発はいらない　小出裕章
１３－２　原発列島を行く　鎌田慧　集英社新書
１３－３　原発推進者の無念　北村敏郎　平凡社新書
１４．『下流同盟』　格差社会とファスト風土　三浦展　朝日新書
１４－１　下流社会　新たな階層集団の出現　三浦展　光文社新書
１４－２　自然と労働　哲学の旅から　内山節
１４－３　大型店とまちづくり　規制進むアメリカ、模索する日本　矢作弘　岩波新書
１５．『日本の基本問題を考えてみよう』　中馬清福　岩波ジュニア新書
１５－１　２７人のすごい議論　文春新書
１５－２　『日本の難点』　宮台真司

１５－３　『「朝日ジャーナル」現代を撃つ』　村上義雄　朝日新書
１６．『希望のつくり方』　玄田有史　岩波新書
１６－１　希望学　玄田有史
１６－２　地元学をはじめよう　吉本哲郎　岩波ジュニア新書
１６－３　新平等社会　「希望格差」を超えて　山田昌弘
１７．『農は過去と未来をつなぐ』　宇根豊　岩波ジュニア新書
１７－１　食べ方で地球が変わる　山下惣一ほか
１７－２　地球を救う新世紀農業　吉田太郎　ちくまプリマー新書
１７－３　水と緑と土　伝統を捨てた社会の行方　富山和子　中公新書
１８．あいまいな日本の私　大江健三郎　岩波新書
１８－１　翻訳と日本の近代　丸山真男ほか　岩波新書
１８－２　『増補改訂　日本という国』　小熊英二
１８－３　いかそう日本国憲法　第九条を中心に　奥平康弘　岩波ジュニア新書

第４部　学問の世界にふれる

１９．『科学の考え方・学び方』　池内了　岩波ジュニア新書
１９－１　科学を読む愉しみ　現代科学を知るためのブックガイド　池内了　岩波ジュニア新書
１９－２　科学と科学者のはなし　寺田寅彦エッセイ集　池内了編　岩波少年文庫
１９－３　科学コミュニケーション　理科の＜考え方＞をひらく　岸田一隆　平凡社新書
２０．『「あたりまえ」を疑う社会学』　質的調査のセンス　好井裕明　光文社新書
２０－１　差別原論　”わたし”のなかの権力とつきあう　好井裕明　平凡社新書
２０－２　『差別と日本人』　野中広務、辛淑玉
２０－３　フーコー入門　中山元　ちくま新書
２１．『生物と無生物のあいだ』　福岡伸一　講談社現代新書
２１－１　ロハスの思想　福岡伸一
２１－２　生命観を問いなおす　エコロジーから脳死まで　森岡正博　ちくま新書
２１－３　生命を捉えなおす　生きている状態とは何か　清水博　中公新書
２２．『宇宙は何でできているのか』　村上斉
２２－１　『宇宙は本当にひとつなのか』　村上斉　ブルーバックス
２２－２　眠れなくなる宇宙のはなし　佐藤勝彦
２２－３　アインシュタインが考えたこと　佐藤文隆　岩波ジュニア新書
２３．『美人は得をするか』　「顔」学入門　山口真実　集英社新書
２３－１　読顔力　一瞬の表情で心を見抜く技術　佐藤綾子
２３－２　読顔力　コミュニケーション・プロファイルの作り方　佐藤親次ほか
２３－３　顔の現象学　鷲田清一　講談社学術文庫
２４．『わかりやすいはわかりにくい？　臨床哲学講座』　鷲田清一　ちくま新書

２４－１　＜子ども＞のための哲学　永井均　講談社現代新書
２４－２　高校生のための哲学入門　長谷川宏　ちくま新書
２４－３　「時間」を哲学する　過去はどこへ行ったのか　中島義道　講談社現代新書
２４－４　新・環境倫理学のすすめ　加藤尚武
２４－５　日本の思想　丸山真男
２４－６　『ことばと国家』　田中克彦
２４－７　無縁・苦界・楽　網野善彦
２４－８　民俗学への招待　宮田登　ちくま新書
２４－９　『「カラマーゾフの兄弟」続編を空想する』　亀山郁夫　光文社新書
２４－１０　数学の学び方・教え方　遠山啓　岩波新書
２４－１１　『人物で語る化学入門』　岩波新書
２４－１２　地学のツボ　地球と宇宙の不思議をさぐる　鎌田浩毅　ちくまプリマー新書
２４－１３　現代建築に関する１６章　五十嵐太郎　講談社現代新書
２４－１４　「複雑系」とは何か　吉永良正　講談社現代新書

第５部　クリティカルに読む

２５．『ことばと思考』　今井むつみ　岩波新書
２５－１　『ことばと文化』　鈴木孝夫　岩波新書
２５－２　朝鮮語のすすめ　日本語からの視点　渡辺ほか　講談社現代新書
２５－３　心と脳　認知科学入門　安西祐一郎　岩波新書
２６．『知的思考力の本質』　鈴木光司ほか
２６－１　クリティカル進化論　「OL進化論」で学ぶ思考の技法　道田泰司ほか
２６－２　「科学的思考」のレッスン　学校で教えてくれないサイエンス　戸田山和久
２６－３　哲学思考トレーニング　伊勢田哲治　ちくま新書
２７．ダメな議論　論理思考で見抜く　飯田泰之　ちくま新書
２７－１　論理トレーニング　野矢茂樹
２７－２　『知的複眼思考法』　誰でも持っている創造力のスイッチ　苅谷剛彦
２７－３　議論のレッスン　福沢一吉
２８．統計数字を疑う　なぜ実感とズレるのか？　門倉貴史　光文社新書
２８－１　『統計でウソをつく法』　ダレル・ハフ　ブルーバックス
２８－２　本当は嘘つきな統計数字　門倉貴史
２８－３　『データはウソをつく』　科学的な社会調査の方法　谷岡一郎　ちくまプリマー新書
２９．『街場のメディア論』　内田樹　光文社新書
２９－１　『メディア・リテラシー』　世界の現場から　菅谷明子　岩波新書
２９－２　社会の真実の見つけかた　堤未果　岩波ジュニア新書
２９－３　ジャーナリズムの思想　原寿雄　岩波新書

３０．ダメ情報の見分けかた　メディアと幸福につきあうために　荻上チキほか
３０－１　ウェブ炎上　ネット群衆の暴走と可能性　荻上チキ　ちくま新書
３０－２　グーグル・アマゾン化する社会　森健　光文社新書
３０－３　キュレーションの時代　「つながり」の情報革命が始まる　佐々木俊尚　ちくま新書

（その他）
『新書３６５冊』　宮崎哲弥
『新書がベスト』　小飼弾
使える新書　斎藤哲也　『教養インストール編』

『東大式現代科学用語ナビ』の掲載書籍リスト

（ブックガイド）

１．物理学編

理科年表
ものの大きさ 自然の階層・宇宙の階層 須藤 東大出版会
２１世紀学問のすすめ８ 物理学のすすめ 塚田 筑摩書房
物質科学への招待 福山 岩波講座・物理の世界

〇宇宙物理への道 佐藤 岩波ジュニア新書
宇宙核物理学入門 谷畑 ブルーバックス
『ワープする宇宙』 ランドール 日本放送出版協会
はじめての＜超ひも理論＞ 川井 講談社現代新書
『エレガントな宇宙』 グリーン 草思社
『クォーク』 南部 ブルーバックス
ようこそ量子 根本 丸善ライブラリー
朝永振一郎著作集８ 量子力学的世界像 みすず書房
ボース 日本物理学会 日本評論社

超電導 中嶋 岩波新書
相転移・臨界現象 宮下 岩波講座・物理の世界
有限温度の物理学 宮下 丸善
トコトンやさしい核融合エネルギーの話 井上 日刊工業新聞社
『プラズマエネルギーのすべて』 日本実業出版社

２．化学編

Quizでわかる化学 碧山 ベレ出版
『元素１１１の新知識』 桜井 ブルーバックス
『研究者』 研究力 有馬 東京書籍
世界で最も美しい１０の化学実験 クリース 日経BP社

電気化学測定マニュアル 丸善
これならわかるマススペクトロメトリー 志田 化学同人
実験医学増刊 生命現象の動的理解を目指すライブイメージング 宮脇 羊土社

二重らせん ワトソン
『自己組織化とは何か』 ブルーバックス
アミノ酸ハンドブック 工業調査会

有機化学美術館へようこそ 佐藤 技術評論社
『ナノカーボン の科学』 篠原 ブルーバックス

『新しい物性物理』 伊達 ブルーバックス
『じしゃく忍法帳』 吉岡 日刊工業新聞社
石ノ森章太郎の超電導講座 講談社

３．生物学編

科学の最前線４ ゲノム研究が開く未来 日経新聞社
機能性 Non-coding RNA 河合 クバプロ

iPS細胞 Newton別冊
酵母 柳田 共立出版
『バイオサイエンス』 オーム社
東京大学バイオインフォマティクス集中講義 高木 羊土社

『植物のこころ』 塚谷 岩波新書
シリーズ２１世紀の動物科学９ 動物の感覚とリズム 七田 培風館
『植物の生存戦略』 朝日選書
植物まるかじり叢書 全５巻 化学同人

『人類進化大全』 悠書館

４．地球惑星科学・天文学編

『気象の遠近法』 廣田 成山堂書店
地球大循環とエルニーニョ 丸善
『チェンジング・ブルー』 大河内 岩波書店
南極・北極の気象と気候 山内 成山堂書店
『オーロラ』 赤祖父 岩波新書
『スロー地震とは何か』 川崎 NHKブックス

『地球史が語る近未来の環境』 東京大学出版会
『凍った地球』 田近 新潮選書
『惑星気象学』 松田 東京大学出版会
『惑星地質学』 宮元 東京大学出版会
『シリーズ現代の天文学１ 人類の住む宇宙』 岡村 日本評論社
見えない宇宙を観る 岡村訳 丸善
宇宙と星 畑中 岩波新書
よくわかる宇宙の基本と仕組み 半田 秀和システム
はじめての天文学 半田 誠文堂新光社
元素はいかにつくられたか 野本 岩波講座・物理の世界
『宇宙創成はじめの３分間』 ワインバーグ ちくま学芸文庫
銀河進化の謎 嶋作 東京大学出版会
『バイオミネラリゼーション 生物が鉱物をつくることの不思議』 渡部 東海大学出版会

５．数学編

『１００年の難問はなぜ解けたのか』 春日 日本放送出版協会
幾何学をみる 松本 遊星社

暗号理論と楕円曲線 有田 森北出版
シンメトリーとモンスター ロナン 岩波書店
モンスター 原田 岩波書店
数論Ｉ Fermatの夢と類体論 加藤 岩波書店
数論講義　セール 岩波書店
曲面の数学 長野 培風館

フーリエの冒険 ヒッポファミリークラブ
『フォン・ノイマンの生涯』 朝日選書
ソリトン、カオス、フラクタル 戸田 岩波書店

『人口学への招待』 河野 中公新書
現代人口学の射程 稲葉 ミネルヴァ書房

はじめての逆問題 グロエッチェ サイエンス社
逆問題入門 山本 岩波講座・物理の世界

不完全性定理 ゲーデル 岩波文庫

６．情報科学

『ウェブ進化論』 梅田 ちくま新書
レトリックと人生 大修館書店
『ロボットの心』 柴田 講談社現代新書
すべてがFになる 森 講談社文庫
電子立国 日本の自叙伝 ８ミリ角の半導体をめぐる男たちのドラマ 相田 NHKライブラリー

『大学生になったら洋書を読もう』水野邦太郎(監修)アルク企画開発部(編)の掲載書籍リスト

知花くらら
海外では自分の意見を持っていること、英語でそれを伝えられることが大事
村上春樹などを英訳、仏訳で読み比べ、会話やメールの文章表現に役立てている

第１部　Part１　洋書が読めれば世界が変わる

水野邦太郎

やさしい英文ならgraded readers ：英ピアソン・ロングマン社のPenguin Readersシリーズ
IRC Interactive Reading Community（ネット）
志村史夫
Sherlock Homes Short Stories Oxford U.P.　(graded readers)
できるだけ分厚い英英辞典を徹底的に読む
理科系の英語読本　丸善
映画はおすすめ

福岡伸一

理科系の学生は４年生になると科学記事のレジュメを発表（Nature Scienceなどのホットな話題）
Unweaving the Rainbow, Richard Dawkins　骨太の科学エッセイ　「虹の解体」
Deadly Feasts, Simon&Schuster　狂牛病の謎を解き明かす　「死の病原体プリオン」
An Introduction of the Study of Experimental Medicine, Claude Bernard　科学を志すならぜひ読みたい　「実験医学序説」
Never Let Me Go, Kazuo Ishiguro　人生って、何だろう　『わたしを離さないで』
Natural Obsessions, Natalie Angier　若きポスドクの熱い日々　「がん遺伝子に挑む（上下）」
おすすめの作家
マイクル・クライトン　Jurassic Park　ER
スティーブン・キング　Misery The Body ,The Green Mile, Rita Hayworth and Shawshank Redemption
トマス・ハリス The Silence of the Lambs, Hannibal

柴田元幸

Moon Palace, Paul Auster「ムーン・パレス」

The Remains of the Day, Kazuo Ishiguro『日の名残り』
The Elephant Vanishes, Haruki Murakami「象の消滅」
The Artist of the Missing, Paul LaFarge
The Known World, Edward P. Jones「地図になかった世界」
The Adventure of Huckleberry Finn, Mark Twain「ハックルベリー・フィンの冒険」

Part２アドバイス
１週間に８０００語、年間４０万語

Part３ おすすめ１００冊
★　英検３級
★★　２級
★★★　準１級
★★★★　１級以上

Nodame Cantabile ★★　「のだめカンタービレ」
Fullmetal Alchemist 1048　★★　「鋼の錬金術師」
One Piece 663　★★　「ワンピース」
★☆Black Jack 1814　★★　「ブラック・ジャック」
☆Slam Dunk 846 ★★　「スラムダンク」
Usagi Yojimbo 1505 ★★　「兎用心棒」
The Adventures of Tintin 1679 ★★　「タンタンの冒険」
☆Don't Let the Pigeon Drive the Bus! 1249 ★　「ハトにうんてんさせないで」
☆The Dot, Peter H. Reynolds 1166　★　「てん」レイノルズ
Fletcher and Falling Leaves,Julia Rawlinson 1592　★
★☆The Fall of Freddie and the Leaf, Leo Buscaglica 1247　★★「葉っぱのフレディ」
The Giving Tree, Shel Silverstein 1418 ★
When I Wished I Was Alone, Dave Cutler 3181 ★
The Polar Expess,Chris Van Allsburg 885　★
Isabelle and the Angel,Thierry Magnier 8088 ★
★☆The Story of Doctor Dolittle,Hugh Lofting 1138　★★　「ドリトル先生アフリカゆき」
★☆Matilda,Roald Dahl 874　★★「マチルダはちいさな大天才」
★☆The Witches, Roald Dahl 583 ★★「魔女がいっぱい」
The Happy Prince and Other Stories, Oscar Wilde 840 ★★
★☆The Little Prince, Antoine de Saint-Exupery 834 ★★★「星の王子さま」
☆The Earthsea Quartet, Ursula Le Guin 1440 ★★★　「ゲド戦記」
Alice's Adventure in Wonderland,Lewis Carroll 693 ★★

★☆Little House on the Prairie,Laura Ingals Wilder 734 ★★★　「大草原の小さな家」
★☆The Wizard of Oz,Baum 674 ★★　「オズの魔法使い」
★☆The Princess Diaries, Meg Cabot 1366 ★★ 「プリンセス・ダイアリー」
★☆Harry Potter and the Philosopher's Stone,1032 ★★★★「ハリー・ポッターと賢者の石」
★☆The Secret Garden,Burnett 583 ★★　「秘密の花園」
★☆A Christmas Carol,Dickens 1260　★★　「クリスマス・キャロル」
★☆Notting Hill,Curtis 688 ★★　「ノッティングヒルの恋人」
The Love of a King,Dainty 674 ★★
A Walk to Remeber,Sparks 667 ★★★
★☆Daddy-Long-Legs,Webster 534 ★★★　「あしながおじさん」
All I Want,Johnson 984 ★★
★☆Frankenstein,Shelley 1046 ★★「フランケンシュタイン」
★The Mummy,Levithan 747 ★★
★Ghost in the Guitar,Shipton 772　★★
Misery, King 666 ★★★★　「ミザリー」
★☆The Day of the Jackal,Forsyth 916 ★★★　「ジャッカルの日」
★Psycho,Bloch 684 ★★
★☆Not a Penny More, Not a Penny Less ;Jeffrey Archer 681 ★★★★「百万ドルをとり返せ!」
The Monkey's Paw,Jacobs 674 ★★
★The Canterville Ghost, Oscar Wilde 674 ★★
★☆Murder on the Orient Express, Agatha Christie 596 ★★★　「オリエント急行殺人事件」
The Boscombe Valley Mystery,Doyle 1260 ★★
Sherlock Holmes and the Duke's Son, Doyle 660 ★★
Isnpector Logan, MacAndrew 632 ★★
The University Murders,MacAndrew 775 ★★
☆The Hideki Matsui Story,Hirooka 1153 ★★　「松井秀喜あきらめない心」「松井秀喜メジャー物語」
☆Frindle, Clements 500 ★★★　「合言葉はフリンドル！
★Martin Luther King, Degnan-Veness 684 ★★
My Humorous World, Powle 999 ★★
Love Letters at Sixty,Elwood 788　★★
☆Born on a Blue Day,Tammet 1162 ★★★★　「ぼくには数字が風景に見える」
★Burned Alive, Souad 898 ★★★★
How to Take a Japanese Bath, Koren 830 ★★
★Grey Owl, Shipton 859 ★
★☆A Year in Provence,Mayle 1085　★★★★　「南仏プロヴァンスの１２か月」
★☆The Old Man and the Sea,Hemingway 785 ★★★　「老人と海」

Never Let Me Go,Kazuo Ishiguro 1011 ★★★★　「わたしを離さないで」
Forrest Gump,Groom 683 ★★　「フォレスト・ガンプ」
★☆Jane Eyre, Bronte 1646 ★★　大学　「ジェーン・エア」
☆The Boy in the Striped Pajamas, Boyne 734 ★★★　「縞模様のパジャマの少年 」
★☆The Adventure of Tom Sawyer, Twain 674 ★　大学　「トム・ソーヤーの冒険」
★？☆Apollo 13,Anastasio 704 ★★　8F海外W93PGR　大学　「アポロ13 」
★☆The Kite Runner,Trade 1251 ★★★★　「カイト・ランナー」
★☆Memoirs of a Geisha,Golden 785 ★★★　「さゆり」
★☆？To Kill a Mockingbird,Lee 666 ★★★　「アラバマ物語」
★Slumdog Millionaire,Swarup 1011 ★★★　映画「スラムドグ＄ミリオネア」の原作
★☆Rain Man, Felscher 683 ★★「レインマン」
Forged by Fire,Draper 729 ★★★
★☆Les Miserables, Hugo 801 ★★★　「レ・ミゼラブル」
The Gift of the Magi,Henry 579 ★★　「賢者のおくもの」
★☆A Little Princess, Burnett 674 ★★　「小公女」
The Piano, Border 674 ★★
★☆Norwegian Wood,Haruki Murakami 1055 ★★★★　「ノルウェイの森」
The Night of the Milky Way Train, Kenji Mlyazawa 840 ★
★☆The Capricious Robot, Shiichi Hoshi 651 ★★　きまぐれロボット
Takasebune, Ogai Mori 735 ★★
Rakugo,Yukio Nakayama 840 ★★
★☆How to Win Friends & Influence People,Dale Carnegie 666 ★★★　「人を動かす」
☆Don't Sweat the Small Stuff ... and It's All Small Stuff,Richard Carlson 1310 ★★★　訳本「小さいことにくよくよするな! 」
The Precious Present, Helen Exley 729 ★★★
A Compass to Fulfillment,Kazuo Inamori 1889 ★★★生き方
Signposts for Balance in Love and Work,Bennett 945 ★★　恋と仕事にスグ効く英語１００
★☆Who Moved My Cheese? ,Spencer Johnson 775 ★★★　訳本「チーズはどこに消えた」
☆Problem Solving 101, Ken Watanabe 1915 ★★★世界一やさしい問題解決の授業
★☆Elements of Style, William Strunk Jr, Smk Books 1107 ★★
Oxford Collocations Dictionary for Students of English,4438 ★★★表
★Oxford Picture Dictionary 2427 ★★
★Sociolinguistics,Bernard Spolsky, Oxford U.P. 2069 ★★★
☆The Essential 55, Ron Clark 1908 ★★★　邦訳「あたりまえだけど、とても大切なこと」
☆Literary Theory- A Very Short Introduction, Culler 998 ★★★ Oxford入門書シリーズ。文芸批評　邦訳「文学理論」
Modern Japan - A Very Short Introduction, Goto-Jones 998　★★★　現代日本の謎

☆Economics 同上,Dasgupta　★★★　主にマクロ経済、邦訳「経済学」

The Japanese Economy,Kayo Kobayashi 735 ★★

★An Inconvenient Truth, Albert Gore 2063 ★★★★　映画「不都合な真実」の書籍版

☆George's Secret Key to the Universe, Hawking 1653 ★★★娘Lucyとの共著　邦訳「宇宙への秘密の鍵」

Alternative Energy, Rob Waring 525 ★★★

How's the Weather?, Rob Waring 525 ★★

☆Philosophy of Science - A Very Short Introduction, Samir Okasha 998 ★★★

『社会学をつかむ』の掲載書籍リスト

推薦図書リスト

unit 1 言葉

石原千秋　『大学生の論文執筆法』ちくま新書　2006
石原千秋　『学生と読む「三四郎」』　新潮社　2006
永井朗　『「不良」のための文章術』　ＮＨＫブックス　2004
永井朗　『不良のための読書術』　ちくま文庫

unit 2 社会

作田啓一　『一語の辞典　個人』　三省堂　1996
鶴見俊輔　『ひとが生まれる　五人の日本人の肖像』　ちくま文庫　1994

unit 3 社会学

高根正昭　『創造の方法学』　講談社現代新書　1979
盛山和夫　『社会調査法入門』　有斐閣　2004

unit 4 社会学の論理

中西正司・上野千鶴子　『当事者主権』　岩波新書　2003
柄谷行人　『序説　ネーションと美学』（定本　柄谷行人集４）岩波書店　2004
ウェーバー　『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』　岩波文庫　1989

unit 5 私

浜田寿美男　『「私」とは何か』　講談社　1999
井上俊也　『自己と他者の社会学』　有斐閣　2005

unit 6 集団・組織

高木仁三郎　『原発事故はなぜくりかえすのか』　岩波新書
桜井哲夫　『自己責任とは何か』　講談社新書　1998
犬塚先　『新しい産業社会学』　有斐閣　2003

unit 7 群れ

阿部真大　『搾取される若者たち』　集英社新書　2006
松田素二他　『エスノグラフィー・ガイドブック』　嵯峨野書院　2002

unit 8 ネットワーク

金子郁容　『ボランティア』　岩波新書　1992
だめ連編　『だめ連宣言！』　作品社　1999
天野正子　『つきあいの戦後史』　古川弘文館　2005
現代思想　『戦後民衆精神史』　青土社　2007

unit 9 身体

鷲田清一　『悲鳴をあげる身体』　ＰＨＰ新書　1998
後藤吉彦　『身体の社会学のブレークスルー』　生活書院　2007

unit 10 感情

エーレンライク　『捨てられるホワイトカラー』　東洋経済新報社　2007
岡野正幸他　『感情の社会学』　世界思想社　1997

unit 11 無意識

フロイト　『精神分析入門』　新潮文庫　1989
フロム　『自由からの逃走』　東京創元社　1965

unit 12 意識

小沢牧子　『心の専門家はいらない』　洋泉社新書　2002
東浩紀　『動物化するポストモダン』　講談社新書　2001

unit 13 物語

大塚英志　『物語消滅論』　角川oneテーマ21 2004
浅野智彦　『自己への物語論的接近』　勁草書房　2001

unit 14 文化

上野俊哉ほか　『カルチュラル・スタディーズ入門』　ちくま新書　2000
吉野俊哉編　『カルチュラル・スタディーズ』　講談社　2001
佐藤健二他　『文化の社会学』　有斐閣　2007

unit 15 人生

原武史　『滝山コミューン一九七四』　講談社　2007
蘭由紀子　『病いの経験を聞き取る』　皓星社　2004

unit 16 夫婦

海老坂武　『新・シングルライフ』　集英社新書　2000
落合恵美子　『２１世紀家族へ』　有斐閣　2004

unit 17 親子

和泉広恵　『里親とは何か』　勁草書房　2006
藤崎宏子　『親と子』　ミネルヴァ書房　2000

unit 18 恋愛

小倉千加子　『結婚の条件』　朝日文庫　2007
加藤秀一　『恋愛結婚は何をもたらしたか』　ちくま新書　2004

unit 19 友人

菅野仁　『ジンメル・つながりの哲学』　ＮＨＫブックス　2003
アラン　『友情の社会学』　世界思想社　1993

unit 20 学校

桜井哲夫　『近代の意味　制度としての学校・工場』　ＮＨＫブックス　1984
苅谷剛彦　『学校って何だろう』　ちくま文庫　2005

unit 21 工場・企業

熊沢誠　『日本的経営の明暗』　ちくま学芸文庫　1998
斎藤貴男　『カルト資本主義』　文春文庫　2000
リッツァ　『マクドナルド化した社会』 早稲田大学出版　2008
　　『マクドナルド化する社会』　1999

unit 22 収容所

藤井誠二　『暴力の学校』　朝日文庫　2002
石原吉郎　『望郷と海』　ちくま学芸文庫　1997
相田克利　『苦悩の社会学』　世界思想社　1993

unit 23 戦争

野田正彰　『戦争と罪責』　岩波書店　1998
酒井隆史　『暴力の哲学』　河出書房新社　2004

unit 24 地域

守田志郎　『日本の村』　農山漁村文化協会　2003
鳥越皓之　『家と村の社会学』　世界思想社　1993

unit 25 都市

東浩紀ほか　『東京から考える』　ＮＨＫブックス　2007
町村敬志　『都市の社会学』　有斐閣　2000

unit 26 メディア環境

森達也　『放送禁止歌』　智恵の森文庫　2003
伊藤守　『テレビニューズの社会学』　世界思想社　2006
原宏之　『言語態分析』　慶應義塾大学出版　2007

unit 27 旅

辺見庸　『もの食う人びと』　角川文庫　1997

山下晋司　『観光人類学』　新曜社　1996

unit 28 生活

天野正子　『生活者とはだれか』　中公新書　1996
岩田正美　『現代の貧困』　ちくま新書　2007

unit 29 政治

雨宮処凛　『右翼と左翼はどうちがう？』　河出書房新社　2007
大畑裕嗣ほか　『社会運動の社会学』　有斐閣　2004

unit 30 福祉社会

額田勲　『孤独死　被災地神戸で考える人間の復興』　岩波書店　1999
伊藤周平　『福祉国家と市民権』　法政大学出版局　1996
エスピン　『福祉資本主義の三つの世界』　ミネルヴァ書房　2001

unit 31 老い

香山リカ　『老後がこわい』　講談社新書　2006
山田富秋　『老いと障害の質的社会学』　世界思想社　2004

unit 32 消費社会

大塚英志　『彼女たちの連合赤軍』　角川文庫　2001
大塚英志　『おたくの精神史』　朝日文庫　2007
クライン　『ブランドなんか、いらない』　はまの出版　2001

unit 33 情報社会

宮台真司　『ネット社会の未来像』　春秋社　2006
鈴木謙介　『カーニヴァル化する社会』　講談社現代新書　2005
ライアン　『9.11以降の監視』　明石出版　2004

unit 34 格差社会

本田由紀ほか　『「ニート」って言うな』　光文社新書　2006
佐藤俊樹　『不平等社会日本』　中公新書　2006
橋本健二　『階級社会』　講談社　2006

『環境と倫理　自然と人間の共生を求めて』加藤尚武(編)の掲載書籍リスト

参考文献

第１章　環境問題を倫理学で解決できるだろうか　未来にかかわる地球規模の正義（加藤尚武）

メドウズほか　『成長の限界』　ダイヤモンド社　1972
加藤尚武　『環境倫理学のすすめ』　丸善ライブラリー　1991
プリングル　『動物に権利はあるか』　ＮＨＫ出版　1995

第２章　文明と人間の原存在の意味への問い　水俣病の教訓（丸山徳次）

石牟田道子　『苦海浄土　わが水俣病』　講談社文庫　1972
原田正純　『水俣病』　岩波新書　1972
原田正純　『水俣が映す世界』　日本評論社　1989
後藤孝典　『沈黙と爆発　ドキュメント「水俣病事件」』　集英社　1995
富樫貞夫　『水俣病事件と法』　石風社　1995
緒方正人・語り　『常世の舟を漕ぎて　水俣病私史』　世織書房　1996
斎藤恒　『新潟水俣病』　毎日新聞社　1996
宮澤信雄　『水俣病事件四十年』　葦書房　1997

第３章　化石燃料の枯渇と環境破壊とどちらが先にくるか　廃棄の限界と資源の限界（河宮信郎）

レーゲン　『経済学の神話』　東洋経済新報社　1981
ラブロック　『ガイアの時代　地球生命圏の進化』　工作舎　1989
河宮信郎　『必然の選択　地球環境と工業社会』　海鳴社　1995
ブラウン　『地球白書 1996/97』　ダイヤモンド社　1996
コルボーンほか　『奪われし未来』　翔泳社　1997
堂元暁子ほか　『温暖化に追われる生き物たち』　築地書館　1997

第４章　アマミノクロウサギに代わって訴訟　自然物も権利をもつか(山村恒年・関根孝道）

ナッシュ　『自然の権利　環境倫理の文明史』　ＴＢＳブリタニカ　1993
山村恒年　『自然保護の法と戦略』第２版　有斐閣　1994
山村恒年　『環境保護の法と政策』　信山社　1996
山村恒年ほか編　『自然の権利』　信山社　1996

関根孝道　『米国　種の保存法概説』　信山社　1997
山村恒年　『検証しながら学ぶ環境法入門』　昭和堂　1997

第５章　「未来世代に対する倫理」は成立するか　世代間の公正の問題（蔵田伸雄）

ロールズ　『正義論』　紀伊國屋書店　1979
野田又男責任編集　『世界の名著　カント』　中央公論社　1979
ファインバーグ　「動物と生まれざる世代のさまざまな権利」『現代思想』1990年１１月号
加藤尚武　『環境倫理学のすすめ』　丸善ライブラリー　1991
フレチェット　「テクノロジー・環境・世代間の公平」同編　『環境の倫理』上　晃洋書房　1993
ワグナー　「未来に対する道徳性」　フレチェット編『環境の倫理』　晃洋書房　1993
谷本光男　「環境問題と世代間倫理」　加茂直樹ほか編『環境思想を学ぶ人のために』世界思想社　1996
Narveson 1967 "Utilitarianism and New Generation," Mind, 76(301)
Golding 1972 "Obligations to Future Generations," The Monist,56(Jan)
Hubin 1976 "Justice and Future Generations," Philosophy and Public Affairs,6-1(Fall)
Wenz 1983 "Ethics, Energy Policy, and Future Generations," Environmental Ethics,5-3(Fall)
Parfit 1984 Reasons and Persons, Oxford University Press
Goodin 1995 Utilitarianism as a Public Philosophy, Cambridge University Press
Des Jardins 1997 Environmental Ethics,2nd ed,. Wadsworth

第６章　環境正義の思想　環境保全の社会的平等の同時達成（戸田清）

庄司光・宮本憲一　『日本の公害』　岩波新書　1975
シンガー編　『動物の権利』　技術と人間　1986
アースデイ日本編　『豊かさの裏側』　学陽書房　1992
グループＫＩＫＩ　『どうして郵貯がいけないの　金融と地球環境』　北斗出版　1993
メラー　『境界線を破る　エコ・フェミ社会主義に向かって』　新評論　1993
植田和弘監修　『地球環境キーワード』　有斐閣　1994
戸田清　『環境的公正を求めて』　新曜社　1994
宮嶋信夫　『大量消費社会』増補版　技術と人間　1994
山田國廣　『環境革命　Ｉ』　藤原書店　1994
スネル　『クルマが鉄道を滅ぼした』　緑風出版　1995
芦野由利子・戸田清　『人口危機のゆくえ』　岩波書店　1996
上野千鶴子・綿貫礼子編　『リプロダクティブ・ヘルスと環境』　工作舎　1996
諏訪雄三　『アメリカは環境に優しいのか』　新評論　1996

中村正子　『地球の未来はリサイクルできるの？』　拓植書房　1996
見田宗介　『現代社会の理論』　岩波新書　1996
山村恒年・関根孝道編　『自然の権利』　信山社　1996
五十嵐敬喜・小川明雄　『公共事業をどうするか』　岩波新書　1997
シヴァ　『生物多様性の危機』　三一書房　1997
ダウィ　『草の根環境主義』　日本経済評論社　1998

第７章　生物多様性保護の倫理　「土地倫理」再考（谷本光男）

レオポルド　『野性のうたが聞こえる』　森林書房　1986
加藤尚武　『環境倫理学のすすめ』　丸善ライブラリー　1991
エーリック　『絶滅のゆくえ　生物の多様性と人類の危機』　新曜社　1992
ナッシュ　『自然の権利　環境倫理の文明史』　ＴＢＳブリタニカ　1993
加茂直樹ほか編　『環境思想を学ぶ人のために』　世界思想社　1994
ウィルソン　『生命の多様性』　岩波書店　1995
尾関周二　『環境哲学の探究』　大月書店　1996
鬼頭秀一　『自然保護を問いなおす』　ちくま新書　1996
『科学』1997.10号
Regan 1983 The Case for Animal Rights ,University of California Press
Callicott 1984 "Non-Anthropocentric Value Theory and Environmental Ethics",
American Philosophical Quarterly ,Vol.21,No.4
Taylor 1986 Respect for Nature:A Theory of Environmental Ethics, Princeton University Press
Olen 1992 Applying Ethics, 4th ed., Wadsworth
Des Jardinsw 1993 Environmental Ethics: An Introduction to Environmental Phililophy,Wadsworth
Williams 1995 "Must a Concern for the Environmental Be Centred on Human Beings?" in his "Making Sense of Humanity", Cambridge University Press

第８章　自然保護は何をめざすのか　保全／保存論争(須藤自由児）

戸田清　『環境的公正を求めて』　新曜社　1994
小原秀雄監　『環境思想の出現』（『環境思想の系譜』１）、東海大学出版会　1995
小原秀雄監　『環境思想と社会』（『環境思想の系譜』２）、東海大学出版会　1995
小原秀雄監　『環境思想の多様な展開』（『環境思想の系譜』３）、東海大学出版会　1995
宮本憲一　『環境政策の国際化』　実教出版　1995
ブクチン　『エコロジーと社会』　白水社　1996
鳥越皓之編　『環境とライフスタイル』　有斐閣　1996

天野明弘　『環境との共生をめざす総合政策・入門』　有斐閣　1997
須藤自由児　「自然保護、エコファシズム、社会進化論　キャリコットの環境倫理思想の検討」　川本隆史編『応用倫理学の転換』　ナカニシヤ出版

第９章　環境問題に宗教　人間中心から生命中心への＜認識の枠組み＞の変換(間瀬啓允）

カミングズ　『エコロジーと霊性』　聖母文庫　1993
小原秀雄監　『環境思想の多様な展開』（『環境思想の系譜』３）、東海大学出版会　1995
山折哲雄・中西進編　『宗教と文明』（『文明と環境』１３）　朝倉書店　1996
間瀬啓允　『エコロジーと宗教』（『現代の宗教』１０）　岩波書店　1996
パスモア　『自然に対する人間の責任』　新装復刻版　岩波書店　1998

第１０章　消費者の自由と責任　対環境的に健全な社会を築くために（本田裕志）

ブラウン編　『ワールドウォッチ地球白書　1990-91』　ダイヤモンド社
メドウズほか　『限界を超えて』　ダイヤモンド社　1992
フレチェット編　『環境の倫理』上・下　晃洋書房　1993
宇沢弘文　『地球温暖化を考える』　岩波新書　1995
ダーニング　『どれだけ消費すれば満足なのか』　ダイヤモンド社
鳥越皓之編　『環境とライフスタイル』　有斐閣　1996

『ぼくらの頭脳の鍛え方』立花隆選・文庫＆新書百冊の掲載書籍リスト

立花隆選１００冊

○　あの戦争

１　トーランド　『大日本帝国の興亡①～⑤』　ハヤカワ文庫ＮＦ
２　大佛次郎　『終戦日記』　文春文庫
３　秦郁彦　『南京事件　増補版』　中公新書
４　青木冨貴子　『７３１　石井四郎と細菌戦部隊の闇を暴く』　新潮文庫
５　角田房子　『責任　ラバウルの将軍今村均』　ちくま文庫
６　栗原俊雄　『戦艦大和　生還者たちの証言から』　岩波新書
７　保坂正康　『『きけわだつみのこえ』の戦後史』　文春文庫
８　冨士信夫　『私の見た東京裁判』（上・下）　講談社学術文庫
９　石井政紀　『石油技術者たちの太平洋戦争　戦争は石油に始まり石油に終わった』　光人社ＮＦ文庫
10　石井政紀　『陸軍燃料廠　太平洋戦争を支えたは石油技術者たちの戦い』　光人社ＮＦ文庫
11　坂本慎一　『ラジオの戦争責任』　ＰＨＰ新書
12　江戸雄介　『激闘マリアナ沖海戦　日米戦争・最後の大海空戦』　光人社ＮＦ文庫
13　エンライト、ライアン　『「信濃！」　日本秘密空母の沈没』　光人社ＮＦ文庫
14　保坂正康　『検証・昭和史の焦点』　文春文庫
15　小堀桂一郎編　『東京裁判　日本の弁明　「却下未提出弁護側資料」抜粋』　講談社学術文庫

○　近代日本

16　福沢諭吉　『明治十年丁丑公論・痩我慢の説』　講談社学術文庫
17　鶴見俊輔編著　『日本の百年１０　新しい開国　１９５２～１９６０』　ちくま学芸文庫
18　橋川文三編著　『日本の百年７　アジア解放の夢　１９３１～１９３７』　ちくま学芸文庫

○　現代史

19　ハル　『ハル回顧録』　中公文庫ＢＩＢＬＩＯ２０世紀
20　『文化大革命十年史』（上・中・下）　岩波現代文庫
21　加藤常昭　『ヴァイツゼッカー』　清水書院
22　寺崎英成、ミラー　『昭和天皇独白録』　文春文庫
22-2　『徹底検証　昭和天皇「独白録」』　大月書店

23　増田弘　『マッカーサー　フィリピン統治から日本占領へ』　中公新書
24　ケネディ　『１３日間　キューバ危機回顧録』　中公文庫ＢＩＢＬＩＯ２０世紀
25　川下勝　『コルベ』　清水書院
26　トロツキー　『レーニン』　光文社古典新訳文庫
27　ハリス　『ぼくたちは水爆実験に使われた』　文春文庫

○　憲法

28　小西豊治　『憲法「押しつけ」論の幻』　講談社現代新書

○　アメリカ

29　志〇晃佑　『ウィルソン　新世界秩序をかかげて』　清水新書
30　砂田一郎　『アメリカ大統領の権力　変質するリーダーシップ』　中公新書
31　油井大三郎　『好戦の共和国アメリカ　戦争の記憶をたどる』　岩波新書
32　阿川尚之　『憲法で読むアメリカ史』（上・下）　ＰＨＰ新書
33　アレン　『オンリー・イエスタデイ　１９２０年代・アメリカ』　ちくま文庫
34　江畑謙介　『アメリカの軍事戦略』　講談社現代新書
35　軽部謙介　『ドキュメント　アメリカの金権政治』　岩波新書

○　軍事

36　山田克哉　『日本は原子爆弾をつくれるのか』　ＰＨＰ新書
37　クレフェルト　『補給戦　何が勝利を決定するのか』　中公文庫ＢＩＢＬＩＯ
38　ボウデン　『ブラックホーク・ダウン　アメリカ最強特殊部隊の戦闘記録』（上・下）　ハヤカワ文庫ＮＦ
39　エリス　『機関銃の社会史』　平凡社ライブラリー
40　戸部良一ほか　『失敗の本質　日本軍の組織論的研究』　中公文庫

○　経済

41　浜矩子　『グローバル恐慌　金融暴走時代の果てに』　岩波新書
42　久保厳　『世界財閥マップ　グローバル経済を動かすパワー総覧』　平凡社新書

○　戦後日本

43　保坂正康　『新編　後藤田正晴　異色官僚政治家の軌跡』　中公文庫

44　冨森叡児　『戦後保守党史』　岩波現代文庫
45　伊藤昌哉　『自民党戦後史』（上・下）　ちくま文庫

○　全共闘

46　島泰三　『安田講堂　１９６８－１９６９』　中公新書
47　佐々淳行　『東大落城　安田講堂攻防七十二時間』　文春文庫
48　鈴木英生　『新左翼とロスジェネ』　集英社新書

○　ユニークな視点で読み解く世界史

49　トクヴィル　『旧体制と大革命』　ちくま学芸文庫
50　伊東俊太郎　『十二世紀ルネサンス』　講談社学術文庫
51　マアルーフ　『アラブが見た十字軍』　ちくま文芸文庫
52　マルモンテル　『インカ帝国の滅亡』　岩波文庫
53　木村元彦　『終わらぬ「民族浄化」　セルビア・モンテネグロ』　集英社新書
54　松谷健二　『ヴァンダル興亡史　地中海制覇の夢』　中公文庫ＢＩＢＬＩＯ
55　松谷健二　『東ゴート興亡史　東西ローマのはざまにて』　中公文庫ＢＩＢＬＩＯ

○　ファシズム

56　グラーザー　『ドイツ第三帝国』　中公文庫
57　木村裕主　『ムッソリーニ　ファシズム序説』　清水書院
58　林健太郎　『ワイマル共和国　ヒトラーを出現させたもの』　中公新書

○　マルクス

59　良知力　『マルクスと批判者群像』　平凡社ライブラリー
60　マルクス　『ルイ・ボナパルトのブリュメール１８日　初版』　平凡社ライブラリー

○　芸術

61　辻惟雄　『奇想の図譜』　ちくま学芸文庫
62　デュシャン　『デュシャンは語る』　ちくま学芸文庫

○　サイエンス

63　中川鶴太郎　『ラヴォアジエ』　清水書院
64　シャーマー　『なぜ人はニセ科学を信じるのか』（Ⅰ、Ⅱ）　ハヤカワ文庫ＮＦ
65　日本生物物理学会編　『新・生物物理の最前線　生命のしくみはどこまで解けたか』　講談社ブルーバックス
66　池内了　『物理学と神』　集英社新書
67　竹内薫　『超ひも理論とはなにか』　講談社ブルーバックス
68　ワインバーグ　『宇宙創生はじめの３分間』　ちくま学芸文庫
69　ブルース　『量子力学の解釈問題　実験が示唆する「多世界」の実存』　講談社ブルーバックス
70　ニュー・サイエンティスト編集部編　『また、つかぬことをうかがいます　科学者も居留守を使う９８の質問』　ハヤカワ文庫ＮＦ
71　ヴァーマ　『ゆかいな理科年表』　ちくま学芸文庫
72　トレフィル　『科学１０１の未解決問題　まだ誰も答えを知らない』　講談社ブルーバックス
73　竹内薫　『理系バカと文系バカ』　ＰＨＰ新書
74　カミンズ　『宇宙１００の大誤解』　講談社ブルーバックス
75　三中信宏　『系統樹思考の世界』　講談社現代新書
76　江崎秀ほか　『自己組織化とは何か　第２版』　講談社ブルーバックス
77　青木皐　『人体常在菌のはなし　美人は菌でつくられる』　集英社新書
78　清水博　『生命を捉えなおす　生きている状態とは何か』　中公新書
79　後藤憲一　『ファラデーとマクスウェル』　清水書院

○　哲学・思想

80　フロイト　『人はなぜ戦争をするのか　エロスとタナトス』　光文社古典新訳文庫
81　マクガイアー、ザウアーレンダー　『フロイト＝ユンク往復書簡』（上・下）　講談社学術文庫
82　岡田雅勝　『パース』　清水書院
83　エマヌエーレ　『この哲学者を見よ　名言でたどる西洋哲学史』　中公文庫

○　死

84　柳原和子　『百万回の永訣　がん再発日記』　中公文庫
85　ロス　『「死ぬ瞬間」をめぐる質疑応答』　中公文庫

○　仏教

86　宮元啓一　『日本奇僧伝』　ちくま学芸文庫
87　紀野一義　『名僧列伝』（１～４）　講談社学術文庫
88　松長有慶　『理趣経』　中公文庫ＢＩＢＬＩＯ

○　趣味の本

89　谷川俊太郎　『詩を読む　詩人のコスモロジー』　詩の森文庫
90　寺山修司　『詩的自叙伝　行為としての詩学』　詩の森文庫
91　アポリネール　『異端教祖株式会社』　白水Ｕブックス
92　宮澤賢治　『宮澤賢治全集（７，８巻）』　ちくま文庫
93　天沢退二郎　『謎解き・風の又三郎』　丸善ライブラリー
94　北野圭介　『ハリウッド１００年史講義　夢の工場から夢の王国へ』　平凡社新書
95　ガレッティ　『象は世界最大の昆虫である　ガレッティ先生失言録』　白水Ｕブックス
96　紀田順一郎　『二十世紀を騒がせた本』　平凡社ライブラリー

○　マンガ

97　切通理作　『宮崎駿の＜世界＞』　ちくま文庫
98　手塚治虫　『ぜんぶ手塚治虫！』　朝日文庫
99　夏目房之介　『マンガの深読み、大人読み』　知恵の森文庫
100　つげ義春　『つげ義春コレクション』（全９巻）　ちくま文庫

佐藤優選１００冊

○　思想・哲学・宗教

１　シェリング　『学問論』　岩波文庫
２　熊野純彦　『西洋哲学史　古代から中世へ』『西洋哲学史　近代から現代へ』　岩波新書
３　スピノザ　『エチカ　倫理学』（上・下）　岩波文庫
４　カント　『永遠平和のために』　岩波文庫
５　カント　『プロレゴメナ』　岩波文庫
６　フォイエルバッハ　『将来の哲学の根本命題』　岩波文庫
７　シュヴェーグラー　『西洋哲学史』（上・下）　岩波文庫
８　『新約聖書　福音書』　岩波文庫
９　シュライエルマッハー　『独白』　岩波文庫
10　城塚登　『ヘーゲル』　講談社学術文庫
11　ニーチェ　『善悪の彼岸』　岩波文庫

12　Ｗ・ジェイムズ　『プラグマティズム』　岩波文庫
13　ベルグソン　『笑い』　岩波文庫
14　ハイデガー　『存在と時間』（上・中・下）　岩波書店
15　ブーバー　『我と汝・対話』　岩波書店
16　アドルノ、ホルクハイマー　『啓蒙の弁証法　哲学的断想』　岩波文庫
17　木田元　『反哲学史』　講談社学術文庫
18　藤本隆志　『ウィトゲンシュタイン』　講談社学術文庫
19　フロイト　『精神分析入門』（上・下）　新潮文庫
20　本居宣長　『玉勝間』（上・下）　岩波文庫
21　中江兆民　『三酔人経綸問答』　岩波文庫
22　宮崎市定　『現代語訳　論語』　岩波現代文庫
23　玄侑宗久　『現代語訳　般若心経』　ちくま新書
24　西田幾多郎　『善の研究』　岩波文庫
25　井筒俊彦　『イスラーム文化　その根底にあるもの』　岩波文庫
26　加藤尚武　『環境倫理学のすすめ』　丸善ライブラリー
27　アインシュタイン　『相対性理論』　岩波文庫
28　ゲーデル　『不完全性定理』　岩波文庫
29　養老孟司　『バカの壁』　新潮新書

○　戦争・歴史・天皇

30　横手慎二　『日露戦争史　２０世紀最初の大国間戦争』　中公新書
31　半藤一利　『ノモンハンの夏』　文春文庫
32　藤井忠俊　『国防婦人会　日の丸とカッポウ着』　岩波新書
33　渡辺洋二　『双発戦闘機「屠龍」　一撃必殺の重爆キラー』　文春文庫
34　東郷和彦　『歴史と外交　靖国・アジア・東京裁判』　講談社現代新書
35　田原総一朗　『日本の戦争』　小学館文庫
36　柄谷行人　『＜戦前＞の思考』　講談社学術文庫
37　『日本書紀』（上・下）　講談社学術文庫
38　水谷千秋　『謎の大王　継体天皇』　文春新書
39　原武史、保坂正康　『対論　昭和天皇』　文春新書
40　磯田道史　『武士の家計簿　「加賀藩御算用者」の幕末維新』　新潮新書
41　ニコライ　『ニコライの見た幕末日本』　講談社学術文庫
42　大橋武夫　『兵法孫子　戦わずして勝つ』　ＰＨＰ文庫
43　落合浩太郎　『ＣＩＡ　失敗の研究』　文春新書
44　保坂正康　『日本解体　「真相箱」に見えるアメリカ（ＧＨＱ）の洗脳工作』　扶養社文庫
45　外間守善　『沖縄学への道』　岩波現代文庫

46　山内昌之　『嫉妬の政治史』　新潮新書

○　国家・政治・社会

47　藤原正彦　『国家の品格』　新潮新書
48　モンテスキュー　『法の精神』（上・中・下）　岩波文庫
49　マルクス　『フランスの内乱』　岩波文庫
50　山口二郎　『政権交代論』　岩波新書
51　筆坂秀世　『日本共産党』　新潮新書
52　マルクス　『ユダヤ人問題によせて　ヘーゲル法哲学批判序説』　岩波文庫
53　山内昌之　『スルタンガリエフの夢　イスラム世界とロシア革命』　岩波現代文庫
54　ディミトロフ　『反ファシズム統一戦線　新訳』　国民文庫
55　小林章夫　『コーヒー・ハウス　１８世紀ロンドン、都市の生活史』　講談社学術文庫
56　高崎宗司　『検証　日朝交渉』　平凡社新書
57　萩原遼　『北朝鮮に消えた友と私の物語』　文春文庫
58　石丸原章　『平壌ハイ』　文春文庫
59　志摩園子　『物語バルト三国の歴史　エストニア・ラトヴィア・リトアニア』　中公新書
60　竹下節子　『不死語の国サウジアラビア　パラドクス・パラダイス』　文春新書
61　久江雅彦　『米軍再編　日米「秘密交渉」は何であったか』　講談社現代新書
62　関岡英之　『拒否できない日本　アメリカの日本改造が進んでいる』　文春新書
63　高橋貞樹　『被差別部落一千年史』　岩波文庫
64　沢木耕太郎　『テロルの決算』　文春文庫
65　河上肇　『貧乏物語』　岩波文庫
66　湯浅誠　『反貧困　「すべり台社会」からの脱出』　岩波新書
67　鈴木英生　『新左翼とロスジェネ』　集英社新書
68　井上薫　『つぶせ！裁判員制度』　新潮新書
69　本郷美則　『新聞があぶない』　文春新書
70　竹内洋　『教養主義の没落　変わりゆくエリート学生文化』　中公新書

○　文学の力・物語の力

71　三浦佑之　『口語訳　古事記[神代篇]』『口語訳　古事記[人代篇]』
　『古事記講義』　文春文庫
72　今泉忠義　『新装版　源氏物語（１～７）』　講談社学術文庫
73　『今昔物語集（１～９）』　講談社学術文庫
74　『御伽草子』（上・下）　岩波文庫
75　『雨月物語』（上・下）　講談社学術文庫

76　廣末保　『四谷怪談　悪意と笑い』　岩波新書
77　夏目漱石　『倫敦塔・幻想の楯』　新潮文庫
78　亀山郁夫　『ドストエフスキー　謎とちから』　文春新書

○　マルクスと資本主義

79　マルクス　『経済学・哲学草稿』　岩波文庫
80　マルクス　『賃銀・価格および利潤』　岩波文庫
81　マルクス、エンゲルス　『ドイツ・イデオロギー　新編輯版』　岩波文庫
82　廣松渉　『世界の共同主観的存在構造』　講談社学術文庫
83　伊藤誠　『「資本論」を読む』　講談社学術文庫
84　エンゲルス　『フォイエルバッハ論　新訳』　国民文庫
85　中村うさぎ　『愛と資本主義』　角川文庫
86　野呂栄太郎　『日本資本主義発達史』（上・下）　岩波文庫
87　杉本栄一　『近代経済学の解明』　岩波文庫

○　ビジネスパーソン仕事術

88　野矢茂樹　『入門！　論理学』　中公新書
89　勝間和代　『断る力』　文春新書
90　いかりや長介　『だめだこりゃ』　新潮文庫
91　ショウペンハウエル　『読書について』　岩波文庫
92　佐藤勝彦　『「相対性理論」を楽しむ本　よくわかるアインシュタインの不思議な世界』ＰＨＰ文庫
93　芳沢光雄　『ビジネス数学入門』　日経文庫
94　遠山啓　『無限と連続』　岩波新書
95　佐久間賢　『交渉力入門』　日経文庫
96　千野栄一　『外国語上達法』　岩波新書
97　黒田龍之助　『世界の言語入門』　講談社現代新書
98　酒井順子　『たのしい・わるくち』　文春文庫
99　米原万里　『打ちのめされるようなすごい本』　文春文庫
100　宇都宮直子　『ペットと日本人』　文春新書

『はじめての宗教論　右巻』佐藤優(著)の掲載書籍リスト

推薦図書

A　近代とはどのような時代だったのか

１　トレルチ　『トレルチ著作集１０　近代精神の本質』　ヨルダン社　1981
２　コックス　『世俗化時代の人間』　新教出版社　1969
３　スモリック　『第四の人間と福音』　日本YMCA同盟出版部　1973
４　ピーパー　『余暇と祝祭』　講談社学術文庫　1988

B　宗教と政治・国家の結びつきについて考える

５　『バクーニン著作集４』　白水社　1973
６　森孝一　『宗教からよむ「アメリカ」』　講談社選書メティエ　1996
７　ソルジェニーツィン　『イワン・でニーソヴィっチの一日』　新潮文庫　1963

C　キリスト教の基本やさまざまな宗派についてさらに理解を深める

８　トレルチ　『トレルチ著作集２　神学の方法』　ヨルダン社　1986
９　キュンク　『ゆるぎない権威？　無謬性を問う』　新教出版社　1973
10　メール　『プロテスタント神学』　文庫クセジュ　1968
11　『正教要理』　日本ハリストス正教会教団　1980
12　高尾利数　『キリスト教を知る事典』　東京堂出版　1996
13　フロイト　『改訳　精神分析入門』　角川文庫　1970

D　霊魂や死について考える

14　ユンゲル　『死　その謎と秘義』　新教出版社　1972
15　著者不詳　『不可知の雲』　現代思潮社　1969
16　ハイデガー　『存在と時間』　ちくま学芸文庫　1994
17　ド・ラ・メトリ　『人間機械論』　岩波文庫　1932

E　キリスト教の歴史をきちんと押さえておくために
18〜21　ウォーカー　『キリスト教史１〜４』　ヨルダン社　1983〜1987
22〜25　『宗教改革著作集第1巻　第3巻　第5巻　第9巻』　教文館　1983〜2001
26　マッギファート　『近代基督教思想史』　新生堂　1930

27　ルター　『現世の主権について　他二篇』　岩波文庫　1954

F　哲学と宗教（キリスト教）の関連について理解を深める

28　『マルクス・エンゲルス選集第1巻　ヘーゲル批判』　新潮社　1957
29　フォイエルバッハ　『唯心論と唯物論』　角川文庫　1962
30　リッケルト　『認識の対象』　岩波文庫　1927
31　ハーバーマス　『認識と関心』　未來社　1981

G　現代社会において宗教（キリスト教）はどのような意味をもつのか

32　キュンクほか　『教会に未来はあるのか　現代の課題をみぐる対話』　新教出版社　1980
33　ブーバー　『我と汝・対話』　岩波文庫　1979
34　徐南同　『民衆神学の探求』　新教出版社　1989
35　滝沢克己　『「現代」への哲学的思惟』　三一書房　1969
36　ハーバーマス、ラッツィンガー　『ポスト世俗化時代の哲学と宗教』　岩波書店　2007
37　ベラー　『宗教と社会科学のあいだ』　未來社　1974
38　トルストイ　『復活』　新潮文庫　1980

H　宗教と類型、および日本類型のキリスト教についての理解を深める

39　トレルチ　『トレルチ著作集４～６　歴史主義とその諸問題（上中下）』　ヨルダン社　1980～1988
40　内村鑑三　『余はいかにしてキリスト信徒となりしか』　講談社文庫　1971
41　『赤岩栄著作集　第5巻　キリスト教と共産主義・ほか』　教文館　1971
42　高山岩男　『世界史の哲学』　こぶし文庫　2001
43　家田荘子　『極道が神を信じる時』　幻冬舎アウトロー文庫　1998

I　世俗化された時代の倫理について考える

44　ニーバー　『道徳的人間と非道徳的社会』　白水社　1998
45　ニーバー　『光の子と闇の子』　新教新書　1964
46　ニーバー　『アメリカ史の皮肉』　社会思想選書　1954
47　ハーバーマス　『他者の受容　多文化社会の政治理論に関する研究』　法政大学出版局　2004
48　アーレント　『イェルサレムのアイヒマン　悪の陳腐さについての報告』　みすず書房　1969

49　ドストエフスキー　『罪と罰　1～３』　光文社古典新訳文庫　2008、2009
50　三浦綾子　『塩狩峠』　新潮文庫　1973

『空気を読むな、本を読め。』小飼弾(著)の掲載書籍リスト

小飼弾が選ぶ最強の１００冊＋１

（フィクション）

1　ハインライン　『異星の客』
2　アシモフ　銀河帝国興亡史シリーズ
3　クラーク　『遥かなる地球の歌』
4　フォワード　竜の卵
5　ティプトリー・ジュニア　『たったひとつの冴えたやりかた』
6　筒井康隆　家族八景　七瀬ふたたび　エディプスの恋人
7　星新一　『声の網』
8　小松左京　果しなき流れの果に
9　新井素子　『グリーン・レクイエム』／緑幻想
10　神林長平　あなたの魂に安らぎあれ
11　水樹和佳子　イティハーサ（１～６）
12　永井豪　デビルマン
13　玉置勉強　となりのお姉さん
14　山本弘　アイの物語　地域サービス
15　シモンズ　「ハイペリオン」４部作
16　田中芳樹　銀河英雄伝説
17　アーヴィング　ガープの世界
18　平野啓一郎　『決壊』
19　鳥山明　ドラゴンボール
20　田中圭一　神罰
21　海堂尊　『チーム・バチスタの栄光』
22　Sagan Contact
23　榎本俊二　えの素
24　竹宮恵子　地球（テラ）へ
25　こうの史代　この世界の片隅に
26　宮部みゆき　『クロスファイア』
27　手塚治　火の鳥
28　ホールドマン　終りなき戦い
29　小林泰三　『AΩー超空想科学怪奇譚』
30　野尻抱介　『太陽の簒奪者』
31　久坂部羊　破裂

32　貴志祐介　『新世界より』（上・下）
33　伊藤計劃　『ハーモニー』
34　小川一水　導きの星
35　ニーヴン　『リングワールド』
36　アダムズ　銀河ヒッチハイクガイド
37　岩明均　寄生獣
38　古谷兎丸　Palepoli
39　楳図かずお　漂流教室
40　Charles Stross Accelerando
41　ベア　ブラッド・ミュージック
42　イーガン　ディアスポラ
43　広瀬正　マイナス・ゼロ
44　ホーガン　未来の二つの顔
45　岡崎二郎　アフター０
46　久米田康治　かってに改蔵
47　沼正三　家畜人ヤプー
48　夢野久作　ドグラ・マグラ
49　聖書

（ノンフィクション）

50　野崎昭弘　『不完全性定理ー数学的体系のあゆみ』
51　清水浩　『脱「ひとり勝ち」文明論』
52　岩谷誠治　『国語算数理科しごとー子どもと話そう「働くことの意味と価値」』
53　加藤陽子　『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』
54　タレブ　『ブラック・スワン』
55　日垣隆　『ラクをしないと成果は出ない』
56　ラインズ　『物理と数学の不思議な関係』
57　スマナサーラ　仏教は心の科学
58　キーオ　ビジネスで失敗する人の１０の法則
59　松岡正剛　『日本という方法ーおもかげ・うつろいの文化』
60　日垣隆　『そして殺人者は野に放たれる』
61　森達也　『死刑』
62　まつもとひろゆき　コードの世界ースーパー・プログラマになる１４の思考法
63　池谷裕二　『単純な脳、複雑な「私」』
64　Hofstadter Godel,Escher,Bach
65　佐々木俊尚　『仕事するのにオフィスはいらない』

66　酒井穣　はじめての課長の教科書　小飼弾 Blog
67　神永正博　『不透明な時代を見抜く「統計思考力」』
68　駒崎弘樹　『「社会を変える」を仕事にするー社会起業家という生き方』
69　国立天文台　理科年表
70　Longman Dictionary of Contemporary English
71　アリエリー　『予想どおりに不合理ー行動経済学が明かす「あたながそれを選ぶわけ」』
72　高安秀樹　『経済物理学の発見』　光文社新書
73　遠山啓　数学入門　岩波新書
74　梅田卓夫ほか　高校生のための文章読本
75　岡嶋裕史　『ウチのシステムはなぜ使えない』
76　岩田宗之　議論のルールブック
77　小林和之　「おろかもの」の正義論
78　水村美苗　『日本語が亡びるとき』
79　ファインマン　『ご冗談でしょう、ファインマンさん』
80　相原コージほか　サルまん２１世紀愛蔵版
81　青木雄二　ナニワ金融道
82　西原理恵子　『この世でいちばん大事な「カネ」の話』
83　村井純　『インターネット』　岩波新書
84　ダイアモンド　『銃・病原菌・鉄』
85　シン　『宇宙創成』
86　ユヌス　『貧困のない世界を創る』
87　養老猛　唯脳論
88　グロスマン　『「人殺し」の心理学』
89　グラッドウェル　『天才！成功する人々の法則』
90　ロンボルグ　『地球と一緒に頭も冷やせ！温暖化問題を問い直す』
91　江守正多　『地球温暖化の予測は「正しい」か？』
92　レーガンほか　『宇宙旅行はエレベーターで』
93　桑村哲生　『性転換する魚たち』　岩波新書
94　南部陽一郎　『クォークー素粒子物理はどこまで進んできたか』
95　池内了　『疑似科学入門』　岩波新書
96　ディクソン　『アフターマン』
97　佐藤克文　『ペンギンもクジラも秒速２メートルで泳ぐ』
98　福岡伸一　『生物と無生物のあいだ』
99　竹内薫　『９９．９％は仮説』　光文社新書
100　小飼弾ほか　『弾言　成功する人生とバランスシートの使い方』

『新書がベスト　１０冊で思考が、１００冊で生き方が変わる』小飼弾(著)(ベスト新書)の掲載書籍リスト

ジャンル別逆引きINDEX

１．自然科学

『iPS細胞』　平凡社新書
『大槻教授の最終抗議』　集英社新書
『核融合への挑戦』　ブルーバックス
カラー図解でわかるブラックホール宇宙　サイエンス・アイ新書
『"環境問題のウソ"のウソ』　楽工社
『感性の起源』　中公新書
『９９．９％は仮説』　光文社新書
クォーク　ブルーバックス
『クモの糸のミステリー』　中公新書
『ゲーム脳の恐怖』　生活人新書
『元素１１１の新知識』　ブルーバックス
『昆虫の誕生』　中公新書
『手術室の中へ』　集英社新書
『新・核融合への挑戦』　ブルーバックス
『生物と無生物のあいだ』　講談社現代新書
『ゾウの時間　ネズミの時間』　中公新書
『他人を許せないサル』　ブルーバックス
『だまされる視覚　錯視の楽しみ方』　DOJIN選書
『地球温暖化の予測は「正しい」か？』　DOJIN選書
『なぜ宇宙人は地球に来ない？』　PHP新書
『ニセ科学を１０倍楽しむ本』　楽工社
『ファースト・コンタクト』　文春新書
『プリンに醤油でウニになる』　サイエンス・アイ新書
『ペンギンもクジラも秒速２メートルで泳ぐ』　光文社新書
マグネシウム文明論　PHP新書
「負けるが勝ち」の生き残り戦略　ベスト新書
『ミジンコはすごい！』　岩波ジュニア新書
見てわかるDNAのしくみ　ブルーバックス
『ミラーニューロンの発見』　ハヤカワ新書juice
唯脳論　ちくま文芸文庫

『私のロマンと科学』　中公新書

２．現代社会

『悪霊にさいなまれる世界』　ハヤカワ・ノンフィクション文庫
『ウェブ進化論』　ちくま新書
『「お客様」がやかましい』　ちくまプリマー新書
解体されるニッポン　青春新書インテリジェンス
学者のウソ　ソフトバンク新書
『学力があぶない』　岩波新書
『カラシニコフ自伝』　朝日新書
『偽善エコロジー』　幻冬舎新書
『希望格差社会』　筑摩書房
現代語訳　学問のすすめ　ちくま新書
国家の品格　新潮新書
『「弱者」とはだれか』　PHP新書
『世界の環境都市を行く』　岩波ジュニア新書
「対話」のない社会　PHP新書
チョムスキー、民意と人権を語る　集英社新書
Twitter社会論　新書ｙ
『ドキュメント　高校中退』　ちくま新書
ノストラダムスの大予言　祥伝社
『派遣のリアル』　宝島新書
パラダイス鎖国　アスキー新書
『反貧困』　岩波新書
『貧困大国アメリカ』　『同Ⅱ』　岩波新書

３．情報・ビジネス

アップルの法則　青春新書インテリジェンス
『インターネット』　『インターネットⅡ』　岩波新書
『インターネット的』　PHP新書
『インターネットを使いこなそう』　岩波ジュニア新書
疑う技術　PHP新書
『会社のアカスリで利益１０倍』　朝日新書
☆『かけひきの科学』　PHP新書
『数に強くなる』　岩波新書

『グーグル　既存のビジネスを破壊する』　文春新書
グーグルに依存し、アマゾンを真似るバカ企業　幻冬舎新書
Googleの正体　マイコミ新書
『計算しない数字』　青春新書インテリジェンス
『効率が１０倍アップする新・知的生産術』　ダイヤモンド社
『３時間で「専門家」になる私の方法』　PHP研究所
『時間とムダの科学』　プレジデント社
社員を働かせてはいけない　べすと新書
数学入門　岩波新書
『スーパーコンピューターを２０万円で創る』　集英社新書
『「捨てる！」技術』　宝島新書
『説得の法則』　PHP新書
『ちょいデキ』　文春新書
「超」整理法　中公新書
『ネットがあれば履歴書はいらない』　宝島新書
『農！黄金のスモールビジネス』　築地書館
ボナンザVS勝負脳　角川oneテーマ２１
満員電車のなくなる日　角川SSC新書
理解する技術　PHP新書

４．経済

『イスラム金融入門』　幻冬舎新書
おもてなしの経営学　アスキー新書
会計のルールはこの３つしかない　新書ｙ
『食い逃げされてもバイトは雇うな』　光文社新書
☆『経済物理学の発見』　光文社新書
『行動経済学』　依田高典　中公新書
『行動経済学』　友野典男　光文社新書
『さおだけ屋はなぜ潰れないのか？』　光文社新書
『なぜこの店で買ってしまうのか』　ハヤカワ新書juice
日本の地下経済　講談社+α新書
『人は意外に合理的』　武田ランダムハウスジャパン
『予想どおりに不合理』　早川書房

５．歴史・地理

『貝と羊の中国人』　新潮新書
『金（ゴールド）が語る２０世紀』　中公新書
『物語　ヴェトナムの歴史』　中公新書
ローマ人の物語　新潮文庫

６．哲学・思想・生き方

あいまいな日本の私　岩波新書
アホの壁　新潮新書
『いつまでもデブと思うなよ』　新潮新書
生命あるすべてのものに　講談社現代新書
親の品格　PHP新書
『会社人生で必要な知恵はすべてマグロ船で学んだ』　マイコミ新書
『決断力』　角川oneテーマ21
後手という生き方　角川oneテーマ21
集中力　角川oneテーマ21
『先生はえらい』　ちくまプリマー新書
女性の品格　PHP新書
『知性の限界』　講談社現代新書
バカの壁　新潮新書
『人は見た目が９割』　新潮新書
『理性の限界』　講談社現代新書
我は求め訴えたり　デーモン小暮

７．文化・ことば

『魚々食紀』　平凡社新書
３語で９割通じる英会話　青春新書インテリジェンス
死体とご遺体　平凡社新書
『似顔絵』　岩波新書
『日本人はカレーライスがなぜ好きなのか』　平凡社新書
『物語の役割』　ちくまプリマー新書
やっぱり楽しいオーディオ生活　アスキー新書

『実践！多読術　本は「組み合わせ」で読みこなせ』成毛眞(著)(角川oneテーマ21)の掲載書籍リスト

１．文化・人生編

宮脇檀　『宮脇檀の住宅設計テキスト』
辰巳芳子　『あなたのために　いのちを支えるスープ』
渡辺怜子　『フィレンツェの台所から』
早瀬圭一　『銀座の達人たち』
山口晃　『すゞしろ日記』
奥津国道　水彩画プロの裏ワザ
鹿島茂　新版　『馬車が買いたい』
これで読める　茶席の禅語くずし字辞典
必携　茶席の禅語ハンドブック
『美食のギャラリー』　絵画で綴る食の文化史
松下幸子　『錦絵が語る江戸の食』
本城直季　『small planet』

２．社会派ノンフィクション編

図説　科学で読むイスラム文化
キャロル・オフ　『チョコレートの真実』
ハインゾーン　『自爆する若者たち』
樋泉克夫　『「死体」が語る中国文化』
ウイルキンソン　『バチカン・エクソシスト』
青木冨貴子　『７３１』
マーフィー　『僕は人生を巻き戻す』
スジック　『巨大建築という欲望』

３．歴史読み物編

塩野七生　ローマ人の物語Ⅳ、Ⅴ
『最後の宦官秘聞　ラストエンペラー溥儀に仕えて』
加藤聖文　『満鉄全史　「国策会社」の全貌』
今尾恵介監修　日本鉄道旅行地図帳　歴史編成　満州・樺太　朝鮮・台湾
大野芳　『特務艦「宗谷」の昭和史』
舩橋洋一　『ザ・ペニンシュラ・クエスチョン』　朝鮮半島第二次核危機

４．ミステリーのようなノンフィクション編

フィリップス　『消されたファラオ』
川村湊　『牛頭天王と蘇民将来伝説』
☆　スティネット　『真珠湾の真実　ルーズベルト欺瞞の日々』
ハー　『消えたカラヴァッジョ』
ウイン　『私はフェルメール』
ガーディナー　『タイタニックは沈められた』
瀬地山澪子　『利休　茶室の謎』
ブローデル　『歴史入門』

５．人物伝編

神坂次郎　『縛られた巨人』　南方熊楠の生涯
津本陽　巨人伝
佐野眞一　『甘粕正彦　乱心の曠野』
山口淑子　『「李香蘭」を生きて』
北康利　『白洲次郎　占領を背負った男』
塩沼　『大峯千日回峰行　修験道の荒行』
フェイバー　『ストラディヴァリウス　５挺のヴァイオリンと１挺のチェロと天才の物語』
国末憲人　『サルコジ　マーケティングで政治を変えた大統領』

６．経済・経営編

ドラッカー　マネジメント
ルイス　『マネー・ボール　奇跡のチームをつくった男』
アルベール　資本市議対資本主義
日本経済新聞社編　『経済学　名著と現代』
レビンソン　『コンテナ物語』　世界を変えたのは「箱」の発明だった
パゴニス　山・動く　湾岸戦争に学ぶ経営戦略
松村　ナポレオン戦争全史
野中郁次郎　『失敗の本質　日本軍の組織論的研究』

７．科学読み物編

マーチャント　『アンティキテラ　古代ギリシャのコンピュータ』

大河内直彦　『チェンジング・ブルー　気候変動の謎に迫る』
ライアン　『ノアの洪水』
田辺英一　『凍った地球　スノーボールアースと生命進化の物語』
吉村仁　『素数ゼミの謎』
ウォード　『恐竜はなぜ鳥に進化したのか　絶滅も進化も酸素濃度が決めた』
マックス　『眠れない一族　食人の痕跡と殺人タンパクの謎』
マリス　『マリス博士の奇想天外な人生』
ファインマン　『ご冗談でしょう、ファインマンさん』
ガッセン　『完全なる証明』

８．写真集
中筋純　廃墟チェルノブイリ
ファース　レクイエム
Sebastiao Salgado, Workers: An Archaeology of the Industrial Age
米国特派員が撮った日露戦争

９．その他
佐藤快和　海と船と人の博物史百科
ロレンツァ　『ダ・ヴィンチ　天才の仕事』
太田博　落語と歌舞伎

『ノンフィクションはこれを読め！』成毛眞(編著)の掲載書籍リスト

年間ベスト

第１位　『理系の子』
第２位　『木村政彦はなぜ力道山を殺さなかったのか』　増田俊也
第３位　『ナチスのキッチン』　藤原辰史

ブックガイド

１．日本史

1　江戸歌舞伎役者の＜食乱＞日記　赤坂治績　底本は中村仲蔵「手前味噌」（成毛式幕末蕎麦レート。かけそば１杯１６文。現代のそばを３２０円とする。１文＝２０円、１朱＝７５００円、１分＝３万円、１両＝１２万円）
2　『阿蘭陀が通る』　人間交流の江戸美術史　タイモン・スクリーチ
3　武士マニュアル　氏家幹人　武士が読んだであろう本の紹介
4　謎とき平清盛　本郷和人　中世の歴史の入門書
5　「歴史」を動かす　東アジアのなかの日本史　小島毅
6　『地図から消えた島々』　幻の日本領と南洋探検家たち　長谷川亮一
7　青年・渋沢栄一の欧州体験　泉三郎　著者はNPO法人「米欧亜回覧の会」を主宰し、「現代語訳　特命全権大使　米欧回覧実記」
8　鉄道と国家　「我田引鉄」の近現代史　小牟田哲彦　鉄道を政治という切り口から

２．世界史

9　『白い死神』　ペトリ・サルヤネン　ソ連との冬戦争で活躍したフィンランド軍のヘイヘ
10　『毛沢東の大飢饉』　史上最も悲惨で破壊的な人災 1958-1962　フランク・ディケーター
11　『毛沢東大躍進秘録』　楊継縄　元新華社通信の記者が毛沢東の大躍進政策にっついて書いたもの
12　『スエズ運河を消せ』　トリックで戦った男たち　デヴィッド・フィッシャー　マジックで勝つ
13　『からのゆりかご』　大英帝国の迷い子たち　マーガレット・ハンフリーズ　児童移民
14　交路からみる古代ローマ繁栄史　陸の道・河の道・海の道が古代ローマの繁栄をつくった　中川良隆　財政危機をすくったローマ帝国初代行程アウグストゥスの政策
15　中世ヨーロッパの武術　長田龍太　武器甲冑の必読書
16　物語　近現代ギリシャの歴史　独立戦争からユーロ危機まで　村田菜々子　中公新書

17　英国メディア史　小林恭子　１５世紀からの歴史
18　『牡蠣と紐育』　カーランスキー　美食と欲望と汚染
19　『スパイス、爆薬、医薬品』　世界史を変えた１７の化学物質　ジェイ・バーレサンほか　有機化学の面白さ
20　ビジュアル　１００１の出来事でわかる世界史　ダン・オトゥール他

３．民俗・風俗

21　『さいごの色街　飛田』　井上理津子
22　ポルノ雑誌の昭和史　川本耕次　自販機エロ本　ちくま新書
23　なぜ人妻はそそるのか？　「よろめき」の現代史　本橋信宏
24　本当のモテ期は４０歳から　青木一郎
25　『ひとり家飲み通い呑み』　久住昌之　酒と飯の組合せ
26　『居酒屋の世界史』　下田淳
27　『図説　尻叩きの文化史』　ジャン・フェクサス　懲罰か医療行為か
28　昆虫食入門　内山昭一　平凡社新書
29　オオカミの護符　小倉美恵子　川崎市宮前区土橋では太占がいまでも
30　東方女人国の教育　モソ人の母系社会における伝統文化の行方　金龍哲　「結婚のない国を歩く」とセット
31　『ピダハン』　「言語本能」を超える文化と世界観　ダニエル・L・エヴェレット
32　『日本全国津々うりゃうりゃ』　宮田珠己　旅エッセー
33　『東京スカイツリーと東京タワー』　[鬼門の塔]と[裏鬼門の塔]　細野透
34　妖怪手品の時代　横山泰子　文化文政期を中心に

４．事件・事故

35　『呪の思想』　神と人との間　白川静、梅原猛
36　河北新報のいちばん長い日　震災下の地元紙　河北新報社
37　暗い夜、星を数えて　３・１１被災鉄道からの脱出　彩瀬まる　新人女性作家の体験記
38　『IT時代の震災と核被害』　宮台真司ほか　GoogleのパーソンファインダーなどIT業界の対応
39　ヤクザと原発　福島第一潜入記　鈴木智彦
40　『仮設のトリセツ』　もし、仮設住宅で暮らすことになったら　岩佐明彦　新潟大学岩佐研究室
41　ケセン語訳新約聖書（１）マタイによる福音書　山浦玄〇
42　悲しんでいい　大災害とグリーフケア　高木慶子　悲しみ（グリーフ）のケア
43　『未解決事件』　死者の声を甦らせる者たち　マイケル・カプーゾ　フィラデルフィアにあ

る犯罪捜査専門家クラブ
44　別海から来た女　木嶋佳苗　悪魔祓いの百日裁判　佐野眞一
45　毒婦。　木嶋佳苗１００日裁判傍聴記　北原みのり

５．ビジネス・テクノロジー

46　探求　エネルギーの世紀（上下）　ダニエル・ヤーギン
47　エネルギー論争の盲点　天然ガスと分散化が日本を救う　石井彰　人類とエネルギーの歴史
48　アダプト思考　予測不能社会で成功に導くアプローチ　ティム・ハーフォード　成毛の主張と一致（朝令暮改で好きなことやって失敗した逃げろ）
49　『大停滞』　タイラー・コーエン　２０１１年最大の話題書
50　アップル、グーグル、マイクロソフトはなぜ、イスラエル企業を欲しがるのか？　イノベーションが次々に生まれる秘密　ダン・セノールほか
51　『ニンテンドー・イン・アメリカ』　世界を制した驚異の創造力　ジェフ・ライアン　小説のようなケーススタディ
52　ゲームの流儀　ゲームクリエイター・ロングインタビュー集　岩谷徹ほか
53　遠藤雅伸のゲームデザイン講義実況中継
53　『閉じこもるインターネット』　グーグル・パーソナライズ・民主主義　イーライ・パリサー　最適化による情報遮断が起きている
54　つながらない生活　「ネット世間」との距離のとり方　ウィリアム・パワーズ　週休２日制のススメ
55　『銀輪の巨人』　ジャイアント　野嶋剛　日本企業の原点を台湾企業から学ぶ
56　『だまされて。』　涙のメイド・イン・チャイナ　ポール・ミドラー　中国製造業との交渉
57　『FabLife』　デジタルファブリケーションから生まれる「つくりかたの未来」　田中浩也
58　野生のエンジニアリング　タイ中小工業における人とモノの人類学　森田敦郎
59　世界一のトイレ　ウォシュレット開発物語　林良祐
60　『摩擦との闘い』　家電の中の厳しい世界　日本トライボロジー学会　家電・機械を「摩擦」という切り口で解明
61　『俺たちに不可能はない！』　日本のすんごい技術　ドリームファクトリー研究会　前田建設ファンタジー営業部
62　『世界を変えた素人発明家』　志村幸雄
63　宙へ挑む　リチャード・ブランソン　ヴァージン・グループ創設者によるチャレンジャーの歴史
64　スティーブ・ジョブズⅠ　ウォルター・アイザックソン　自分の行動は自分で責任を持つ

６．社会

65　『ローマ法王に米を食べさせた男』　過疎の村を救ったスーパー公務員は何をしたか？　高野誠鮮
66　『クリーニング革命』　すべては喜ばれるために　古田武　麻布のレジュイールのオーナー
67　『エリア５１』　世界でもっとも有名な秘密基地の真実　アニー・ジェイコブセン　NYタイムズ・ベストセラー・リストに１１周連続
68　５０とよばれたトキ　飼育員たちとの日々　小野智美　主役は「５０」というメスのトキ
69　「当事者」の時代　佐々木俊尚
70　商店街はなぜ滅びるのか　社会・政治・経済史から探る再生の道　新雅史
71　ルポ　子どもの無縁社会　石川結貴　年間１０００人以上の居所不明児童　中公新書ラクレ
72　「上から目線」の構造　榎本博明
73　『精神病棟４０年』　時東一郎　入院歴４０年以上の患者の告白
74　『ポイズン・ママ』　母・小川真由美との４０年戦争　小川雅代
75　『刑務所なう。』？　ホリエモンの獄中日記１９５日　堀江貴文　実録マンガ付き。巻末には本のベスト１５０
76　私が弁護士になるまで　菊間千乃　女子アナから弁護士へ
77　複雑さと共に暮らす　デザインの挑戦　ドナルド・ノーマン
78　見て見ぬふりをする社会　マーガレット・ヘファーナン
79　セクハラの誕生　日本上陸から現在まで　原山擁平
80　『創造的福祉社会』　「成長」後の社会構想と人間・地域・価値　広井良典　ちくま新書
81　漁業という日本の問題　勝川俊雄
82　昆虫標本商万国数奇譚　川村俊一　「虫屋」の生態

７．アート・スポーツ

83　名画の言い分　木村泰司　美術は見るものではなく読むもの
84　股間若衆　男の裸は芸術家　木下直之
85　江戸時代に描かれた鳥たち　輸入された鳥、身近な鳥　細川博昭
86　『日本のデザイン』　美意識がつくる未来　原研哉　簡素を旨とする美意識は世界的にも珍しい　岩波新書
87　アートを生きる　南條史生　現代美術におけるキュレーター
88　個人美術館の愉しみ　赤瀬川原平
89　『小澤征爾さんと、音楽について話をする』　小澤征爾　村上春樹
90　チェリスト、青木十良　大原哲夫　伝記
91　ちあきなおみに会いたい。　石田伸也
92　偶然完全　勝新太郎伝　田崎健太　最後の「弟子」による著作
93　僕はずっと裸だった　田中泯　舞踊は日本発祥の半裸で踊るスタイル
94　『アイ・ウェイウェイは語る』　アイ・ウェイウェイ

95　情熱の階段　日本人闘牛士、たった一人の挑戦　濃野平
96　日本レスリングの物語　柳澤健　八田一朗伝
97　争うは本意ならねど　ドーピング冤罪を晴らした我那覇和樹と彼を支えた人々の美らゴール　木村元彦
98　セイバーメトリクス・リポート１　プロ野球を統計学と客観分析で考える　岡田友輔ほか
99　サッカー非公式世界王者の歴史　UFWC　ポール・ブラウン

８．教養・雑学

100　『未来国家ブータン』　高野秀行　御手洗瑞子「ブータン、これでいいのだ」と並ぶ出色
101　中国でお尻を手術。　遊牧夫婦、アジアを行く　近藤雄生
102　饗宴外交　ワインと料理で世界はまわる　西川恵
103　『文明はなぜ崩壊するのか』　レベッカ・コスタ　問題を先送り
104　ヒタメン　三島由紀夫が女に逢う時　岩下尚史
105　『街場の読書論』　内田樹
106　『小田嶋隆のコラム道』　小田嶋隆
107　『とは知らなんだ』　鹿島茂　鹿島流考えるレッスン
108　『考えの整頓』　佐藤雅彦
109　『暇と退屈の倫理学』　国分功一郎
110　ダムマニア　宮島咲
111　ビジュアルディクショナリー英和大事典　日東書院

９．生物・自然

112　『パンドラの種』　農耕文明が開け放った災いの箱　スペンサー・ウェルズ　１万年のビッグデータから分析
113　『ウイルスと地球生命』　山内一也
114　『ハチはなぜ大量死したのか』　ローワン・ジェイコブセン　科学サスペンス
115　『ぞわぞわした生きものたち』　古生代の巨大節足動物　金子隆一
116　寄生虫のはなし　わたしたちの近くにいる驚異の生き物たち　ユージン・H・カプラン
117　身近な雑草の愉快な生きかた　稲垣栄洋
118　なぜ男は女より多く産まれるのか　絶命回避の進化論　吉村仁
119　『動物が幸せを感じるとき』　新しい動物行動学でわかるアニマル・マインド　テンプル・グランディンほか　著者は動物の気持ちがわかる高機能自閉症の動物学者
120　『生物のなかの時間』　時間遺伝子から進化まで　西川伸一ほか　３人の対談本
121　『なかのとおるの生命科学者の伝記を読む』　仲野徹
122　[[『砂　文明と自然』>>http://takatakos.blogspot.jp/2014/02/20118.html]　マイケル・ウェラ

ンド

１０．医学・心理学

123　『大村智　２億人を病魔から守った化学者』　馬場錬成
124　＜癒し＞のダンス　「変容した意識」のフィールドワーク　リチャード・カッツ　アフリカの狩猟民族クンのはなし　日常的に超越体験する
125　オーバーフローする脳　ワーキングメモリの限界への挑戦　ターケル・クリングバーグ　訓練で改善可能だが、ストレスにも注意
126　『なぜ本番でしくじるのか』　プレッシャーに強い人と弱い人　シアン・バイロック
127　夫婦ゲンカで男はなぜ黙るのか　タラ・パーカー＝ポープ
128　『意識は傍観者である』　脳の知られざる営み　デイヴィッド・イーグルマン
129　喜びはどれほど深い？　心の根源にあるもの　ポール・ブルーム
130　快感回路　なぜ気持ちいいのか　なぜやめられないのか　デイヴィッド・J・リンデン
131　なぜ意志の力はあてにならないのか　自己コントロールの文化史　ダニエル・アクスト
132　『ホーダー』　捨てられない・片づけられない病　ランディ・O・フロストほか
133　死のテレビ実験　人はそこまで服従するのか　クリストフ・ニックほか
134　医者は現場でどう考えるか　ジェローム・グループマン　医師の思考法に迫る
135　幻聴妄想かるた　ハーモニー　医学書院
136　神は数学者か？　万能な数について　マリオ・リヴィオ
137　『建築には数学がいっぱい』　竹内薫ほか
138　『パラドクスの教室』　日本一わかりやすい図説講義　富永裕久
139　偶然の科学　ダンカン・ワッツ
140　『友達の数は何人？』　ダンバー数とつながりの進化心理学　ロビン・ダンバー　ダンバー数（気のおけないつながりは１５０人まで）
141　わたしを宇宙に連れてって　無重力生活への挑戦　メアリー・ローチ
142　『スノーボール・アース』　生命大進化をもたらした全地球凍結　ガブリエル・ウォーカー
143　『地球全史』　写真が語る４６億年の奇跡　白尾元理　写真ほか
144　専門家の予測はサルにも劣る　ダン・ガードナー
145　『２０５０年の世界地図』　迫りくるニュー・ノースの時代　ローレンス・C・スミス　北緯４５度以上の地域の重要性が増す

著者インタビュー
『ダチョウ力』　塚本康浩

『ノンフィクションはこれを読め！　２０１３』成毛眞(編著)の掲載書籍リスト

PAGE　VIEW

１．『弱くても勝てます』　高橋秀美　超進学校の異常なセオリー
２．　出ない順　試験に出ない英単語　中山　愛すべき「役に立たない」本
３．　『なぜ、世界はルワンダを救えなかったのか』　ロメオ・ダレール　地獄を見た司令官
４．　『新幹線お掃除の天使たち』　遠藤功　世界に誇る現場力
５．　世界でもっとも強力な９のアルゴリズム　ジョン・マコー　問題解決レシピで頭を鍛える
６．　『北朝鮮１４号管理所からの脱出』　ブレイン・ハーデン　収容所で生まれ、収容所で育った
７．　ランドセル俳人の五・七・五　小林凛　いじめと才能
８．　お父さん、フランス外人部隊に入隊します。　駒村吉重　父と息子の葛藤
９．　これが物理学だ！　マサチューセッツ工科大学「感動授業」　ウォルター・ルーウィン
１０．　本当は怖い昭和３０年代　ALWAYS地獄の三丁目

著者インタビュー

１．『弱くても勝てます』　高橋秀美
２．選択の科学　シーナ・アイエンガー
３．『父と息子のフィルム・クラブ』　デヴィッド・ギルモア
４．『ゼロからトースターを作ってみた』　トーマス・トウェイツ
５．『オタクの息子に悩んでます』　岡田斗司夫

１．　日本史

1　『三種の神器』　戸矢学　今上陛下より大切な日本の宝
2　古代道路の謎　奈良時代の巨大国家プロジェクト　近江俊秀　祥伝社新書
3　一揆の原理　日本中世の一揆から現代のSNSまで　呉座勇一
4　【現代語訳】精神病者私宅監置の実況　呉秀三・樫田五郎　百年前の精神病者の実態
5　『太平洋の試練』　イアン・トール
6　『妻と飛んだ特攻兵』　８・１９満洲、最後の特攻　豊田正義

２．　世界史

7　文明と戦争（上下）　アザー・ガット　宿命としての戦争
8　『古代ローマ帝国１万５０００キロの旅』　アルベルト・アンジェラ　２０００年前の世界旅

行
9　『物語ユダヤ人の歴史』　レイモンド・P・シェインドリン　「ユダヤ」を知るならこの１冊
10　『ニュートンと贋金づくり』　天才科学者が追った世紀の大犯罪　トマス・レヴェンソン
11　『チャーチル』　ポール・ジョンソン　有事といえる日本に送るリーダー論
12　『誰も知らなかったココ・シャネル』　ハル・ヴォーン　官女はナチスの協力者だった
13　『台湾海峡　一九四九』　龍應台
14　『モサド・ファイル』　マイケル・バー＝ゾウハ　ニシム・ミシャル　　中東は対岸の火事なのか
15　世界の特殊部隊作戦史　1970-2011　ナイジェル・カウソーン　エリート兵と非対称戦争

３．　民俗・風俗

16　『亡びゆく言語を話す最後の人々』　デイヴィッド・ハリソン　言語の戦士たち
17　欲望の植物誌　マイケル・ポーラン　あやつられたのは人間？
18　トルコ絨毯が織りなす社会生活ーグローバルに流通するモノをめぐる民族誌　田村うらら
19　『昆布と日本人』　奥井隆　コンブって、地味だけどすごいんです。
20　消えた琉球競馬　幻の名馬「ヒコーキ」を追いかけて　梅崎晴光
21　旅を生きる人びと　バックパッカーの人類学　大野哲也
22　『モダンガール大図鑑』　生田誠　セクシーでちょっとキッチュ！

４．　事件・事故

23　『チャイナ・ジャッジ』　遠藤誉　薄一族の野望と挫折
24　『粉飾』　特捜に狙われた元銀行員の告白　佐藤真言　正義の意味を問う
25　死刑でいいです　モンスターと呼ばれて
26　「空き巣」なう　田岡大介
27　『トムラウシ山遭難はなぜ起きたのか』　低体温症と事故の教訓　羽根田治ほか

５．　ビジネス・テクノロジー

28　なぜ、勉強しても出世できないのか？　いま求められる「脱スキル」の仕事術　佐藤留美
29　未来の働き方を考えよう　人生は二回、生きられる　ちきりん
30　『世界の経営学者はいま何を考えているのか』　入山章栄
31　イノベーション・オブ・ライフ　ハーバード・ビジネススクールを巣立つ君たちへ　クレイトン・M・クリステンセンほか
32　スタンフォードの自分を変える教室　ケリー・マクゴニガル　自己コントロールする１０週間プログラム

33　すべては「先送り」でうまくいく　意思決定とタイミングの科学　フランク・パートノイ
34　『世界はひとつの教室』　「学び×テクノロジー」が起こすイノベーション　　サルマン・カーン
35　『ビジョナリーであるということ』　パヴィスラ・K・メータ　「ドクターV」の伝説
36　OUT　OF　AFRICA　アフリカの奇跡　世界に誇れる日本人ビジネスマンの物語　佐藤芳之
37　レイヤー化する世界　テクノロジーとの共犯関係が始まる　佐々木俊尚
38　機械との競争　　ブリニョルフソン他　テクノロジー失業の時代が迫っている
39　インフォメーション:　情報技術の人類史　すべては情報から生まれる
40　第三次産業革命　原発後の次代へ経済・政治・教育をどう変えていくか　ジェレミー・リフキン

６．　社会

41　『謎の独立国家ソマリランド』　高野秀行
42　『アグルーカの行方』　角幡唯介
43　女性のいない世界　性比不均衡がもたらす恐怖のシナリオ　マーラ・ヴステンドール
44　『北欧モデル』　何が政策イノベーションを生み出すのか　翁百合
45　和僑　農民、やくざ、風俗嬢。中国の夕闇に住む日本人　安田峰俊
46　「ゼロリスク社会」の罠　「怖い」が判断を狂わせる　佐藤健太郎
47　なめらかな社会とその敵　鈴木建太郎　生命の起源から、300年後の未来を構想する
48　伝え方が９割　佐々木圭一
49　『ハーバード流宴会術』　児玉教仁
50　ロジカルな田んぼ　松下明弘
51　『エンジェルフライト』　国際霊柩送還士　佐々涼子
52　『金持ちになる方法はあるけれど、金持ちになって君はどうするの？』　堀江貴文　ホリエモンはホントに面白い。
53　『督促OL修行日記』　榎本まみ
54　ぜんぜん酔ってません　酒呑みおじさんは今日も行く　大竹聡

７．　アート・スポーツ
55　『父と息子のフィルム・クラブ』　デヴィッド・ギルモア　大人と子供の境界線
56　ヒップホップの詩人たち　都築響一　地方からのリアルな言葉
57　IDOL　DANCE!!!　竹中夏海
58　『モネ、ゴッホ、ピカソも治療した絵のお医者さん』　修復家・岩井希久子の仕事　岩井希久子
59　平山郁夫の真実　大宮知信　文化を牛耳る美術界のモンスター
60　『ヘンな日本美術史』　山口晃　脱力系講義

61　『中国と茶碗と日本と』　彭丹　文化系的センス・オブ・ワンダー
62　『赦す人』　大崎善生　”ただ遊べ　帰らぬ道は誰も同じ”　団鬼六を知っていますか？
63　非道に生きる　園子温　刹那を生きる
64　シークレット・レース　ツール・ド・フランスの知られざる内幕　タイラー・ハミルトン　暴かれた“沈黙の掟”
65　OPEN　アンドレ・アガシの自叙伝
66　『完全なるチェス』　天ボビー・フィッシャーの生涯　フランク・ブレイディー

８．　教養・雑学

67　『ゼロからトースターを作ってみた』　トーマス・トウェイツ　青銅器次代からの文明をめぐる旅
68　エキストラバージンの嘘と真実　トム・ミューラー
69　なぜ豊かな国と貧しい国が生まれたのか　産業革命と国の「仕事力」
70　ダムの科学　ダム工学会
71　『統計学が最強の学問である』　西内啓
72　『統計データはためになる！』　本川裕　素朴な棒グラフの意外な底力
73　なぜ本屋に行くとアイデアが生まれるのか　嶋浩一郎　世界と繋がる場所
74　書店員あるある
75　成功している男の服選びの秘訣４０　宮崎俊一　カッコよさにセンスは不要
76　寄り添う　銀座「クラブ麻衣子」四十年の証　雨宮由未子　八百比丘尼は存在する。
77　土屋耕一のことばの遊び場。　土屋耕一　過去によく似た未来の本
78　身の下相談にお答えします　上野千鶴子　知らないことは熟女に頼め！
79　『オタクの息子に悩んでます』　岡田斗司夫

９．　生物・自然
80　『鳥類学者　無謀にも恐竜を語る』　川上和人
81　『チンパンジーはなぜヒトにならなかったのか』　ジョン・コーエン
82　『ひとの目、驚異の進化』　4つの凄い視覚能力があるわけ　マーク・チャンギージー
83　『孤独なバッタが群れるとき』　前野ウルド浩太郎　「黒い悪魔」の謎に迫る
84　『アリの巣の生きもの図鑑』　丸山宗利ほか　好蟻性生物に萌える！

１０．　医学・心理学

85　『サルファ剤、忘れられた奇跡』　トーマス・ヘイガー　歴史を変えた魔法の弾丸
86　『世にも奇妙な人体実験の歴史』　トレヴァー・ノートン　愚行か？それとも偉業か？
87　リカと３つのルール　自閉症の少女がことばを話すまで　東条健一

88　『サイコパス　秘められた能力』　ケヴィン・ダットン
89　『言語の社会心理学』　岡本真一郎　言語の力は７％か？　中公新書
90　ヒトはなぜ神を信じるのか　信仰する本能　ジェシー・ベリング
91　『ファスト＆スロー』（上下）　あなたの意思はどのように決まるか？　ダニエル・カーネマン
92　『バースト！　人間行動を支配するパターン』　アルバート＝ラズロ・バラバシ　パラダイムを超えた、人間行動の法則

１１．　サイエンス
93　『量子革命』　マンジット・クマール　アインシュタインとボーア、偉大なる頭脳の激突
94　『チューリングの大聖堂』　ジョージ・ダイソン　核兵器もコンピュータも、ここから生まれた
95　『オープンサイエンス革命』　マイケル・ニールセン
96　『脳には妙なクセがある』　池谷裕二　サイエンス本の世界にどっぷり浸かる
97　言語が違えば、世界も違って見れるわけ　ガイ・ドイッチャー　ワインの海は牛の色
98　『重金属のはなし』　鉄、水銀、レアメタル　　渡邉泉　中公新書
99　オリオン座はすでに消えている？　懸秀彦　超新星爆発を待つ喜び
100　　『１３７億年の物語』　クリストファー・ロイド

『面白い本』成毛眞(著)(岩波新書)の掲載書籍リスト

第１章　ピンポイント歴史学

（１）真面目にオーパーツ

1　『ワンダフル・ライフ』　バージェス頁岩と生物進化の物語　スティーブン・ジェイ・グールド
2　『イヴの七人の娘たち』　ブライアン・サイクス　ミトコンドリアDNA
3　『死海文書のすべて』（新装版）　2005　ジェームス・C・ヴァンダーカム　学術的アプローチ
4　『ロゼッタストーン解読』　レスリー・アドキンズほか　シャンポリオン伝
5　『トンパ文字』　王超鷹
6　『ヴォイニッチ写本の謎』　ゲリー・ケネディ　天界の風景か落書きか

（２）現在日本民俗学

7　全国アホ・バカ分布考　松本修　探偵！ナイトスクープ視聴者アンケートの結果
8　TOKYO STYLE　都築響一　大都市の素顔
9　『マタギ』　矛盾なき労働と食文化　田中康弘
10　サルたちの遺言　宮崎幸島・サルと私の六十五年　三戸サツヱ
11　オオカミの護符　小倉美恵子　2008年の記録映画「オオカミの護符」をもとに刊行
12　『さいごの色街　飛田』　井上理津子

（３）国家という悪魔
13　『毛沢東の大飢饉』　史上最も悲惨で破壊的な人災 1958-1962　フランク・ディケーター　中国の大躍進政策の全貌。2011年BBCサミュエル・ジョンソン賞　4500万人が死亡
14　『ポル・ポト』　ある悪魔の歴史　フィリップ・ショート　毛沢東の大躍進運動のカンボジアへの飛び火。人口700万人のうち150万人が犠牲。旧クメール・ルージュ幹部へのインタビューなど
15　悲しみの収穫　ウクライナ大飢饉　2007　ロバート・コンクエスト　スターリンはウクライナの人口２０％を餓死させた
16　『７３１』　石井四郎と細菌戦部隊の闇を暴く　青木富貴子

第２章　学べない生き方

（１）破天荒すぎて学べない

17　ザ・ビッグイヤー　世界最大のバードウォッチング競技会に挑む男と鳥の狂詩曲　マーク・オブマシック
18　『解剖医ジョン・ハンターの数奇な生涯』　ウェンディ・ムーア　医学界のオーパーツ
19　『「李香蘭」を生きて』　山口淑子
20　『マリス博士の奇想天外な人生』　キャリー・マリス　不良ノーベル賞学者
21　死にたい老人　木谷恭介　断食安楽死の顛末

（２）脱力しすぎて学べない

22　ブッシュ妄言録　フガフガ・ラボ編
23　『演歌よ今夜も有難う』　知られざるインディーズ演歌の世界　都築響一　ルポ
24　なぜ人妻はそそるのか？　「よろめき」の現代史　本橋信宏
25　武士マニュアル　氏家幹人

（３）天才すぎて学べない

26　『なかのとおるの生命科学者の伝記を読む』　仲野徹　著者は大阪大学幹細胞病理学教授
27　『大村智　２億人を病魔から守った化学者』　馬場錬成
28　『ミドリさんとカラクリ屋敷』　鈴木遥

第３章　ヘビーなサイエンス

（１）不都合なヒトと合理的な生き物

29　『ヒトは食べられて進化した』　ドナ・ハート
30　『笑うカイチュウ』　寄生虫博士奮闘記　藤田紘一郎
31　『ハダカデバネズミ』　女王・兵隊・ふとん係　吉田重人ほか

（２）地球の真実

32　『チェンジング・ブルー』　気候変動の謎に迫る　大河内直彦　素晴らしい
33　『凍った地球』　スノーボールアースと生命進化の物語　田近英一
34　破局噴火　秒読みに入った人類壊滅の日　高橋正樹　「死都日本」というSF小説を検証
35　『ノアの洪水』Ｉ　ウォルター・ピットマンほか　科学的に検証
36　『恐竜はなぜ鳥に進化したのか』　絶滅も進化も酸素濃度が決めた　ピーター・ウォード

（３）読ませる医学

37　『医学探偵ジョン・スノウ』　コレラとブロード・ストリートの井戸の謎　サンドラ・ヘンペル
38　ペニシリンはクシャミが生んだ大発見　医学おもしろ物語２５話　百島祐貴
39　『不死細胞ヒーラ』　ヘンリエッタ・ラックスの永遠なる人生　レベッカ・スクルート

（４）数学と工学のドラマ

40　『アンティキテラ』　古代ギリシアのコンピュータ　ジョー・マーチャント
41　『フェルマーの最終定理』　サイモン・シン
42　暗号解読　ロゼッタストーンから量子暗号まで　サイモン・シン
43　『完全なる証明』　１００万ドルを拒否した天才数学者　マーシャ・ガッセン

第４章　シチュエーション別読書法

（１）トイレット・ライブラリーのススメ

44　鑑賞のためのキリスト教美術事典　早坂優子
45　死にカタログ　寄藤文平　死の哲学書
46　ゲームシナリオのためのSF事典　知っておきたい科学技術・宇宙・お約束１１０　クロノスケープ
46-2　ゲームシナリオのためのファンタジー事典　知っておきたい歴史・文化・お約束１１０
46-3　ゲームシナリオのためのミリタリー事典　知っておきたい軍隊・兵器・お約束１１０
46-4　ゲームシナリオのためのミステリ事典　知っておきたいトリック・セオリー・お約束１１０
47　原色金魚図鑑　かわいい金魚のあたらしい見方と提案　岡本信明ほか

（２）電車の中で読んではいけない

48　『はい、泳げません』　高橋秀実　爆笑
49　『日本全国津々うりゃうりゃ』　宮田珠己
50　『エロティック・ジャポン』　アニエス・ジアール
51　セバスティアン・サルガード写真集　人間の大地　労働　サルガード
52　ピュリッツァー賞　受賞写真　全記録　ハル・ビュエル

（３）子どもといっしょに読む絵本

53　BONES　動物の骨格と機能美　湯沢英治　東野晃典
54　『新装版　道具と機械の本』　てこからコンピュータまで　デビッド・マコーレイ
55　絵本　夢の江戸歌舞伎　服部幸雄
56　東海道五十三次　将軍家茂公御上洛図　E・キヨソーネ東洋美術館蔵　福田和彦

第５章　嘘のノンフィクション

（１）ウソか？マコトか？

57　『鼻行類』　新しく発見された哺乳類の構造と生活　ハラルト・シュテュンプケ　話題騒然の偽書
58　『バチカン・エクソシスト』　トレイシー・ウイルキンソン　イタリアは怪しすぎ
59　『ご冗談でしょう、ファインマンさん』
60　二重らせん　DNAの構造を発見した科学者の記録　ジェームス・D・ワトソン
61　ロザリンド・フランクリンとDNA　ぬすまれた栄光　アン・セイヤー　著者はフランクリンの友人

（２）ウソとマコトの実話

62　『ヒトラー・マネー』　ローレンス・マルキン　映画「ヒトラーの贋札」でも有名なベルンハルト作戦
63　ジーニアス・ファクトリー　「ノーベル賞受賞者精子バンク」の奇妙な物語　デイヴィッド・プロッツ
64　『私はフェルメール』　２０世紀最大の贋作事件　フランク・ウイン
65　偽りの来歴　２０世紀最大の絵画詐欺事件　レニー・ソールズベリーほか
66　FBI美術捜査官　奪われた名画を追え　ロバート・K・ウィットマン　著者は美術犯罪の潜入捜査官
67　『スエズ運河を消せ』　トリックで戦った男たち　デヴィッド・フィッシャー　イギリスのトリック部隊
68　発掘捏造　毎日新聞旧石器遺跡取材班　2001

第６章　タイヘンな本たち

（１）手に負えない人たち

69　ビューティ・ジャンキー　美と若さを求めて暴走する整形中毒者たち　アレックス・クチン

スキー
70　『僕は人生を巻き戻す』　テリー・マーフィー　強迫神経障害
71　音楽嗜好症　脳神経科医と音楽に憑かれた人々　オリヴァー・サックス　著者は映画「レナードの朝」の原作者
72　『縛られた巨人』　南方熊楠の生涯　神坂次郎
73　『白い死神』　ペトリ・サルヤネン　実録版フィンランド軍のゴルゴ１３
74　『木村政彦はなぜ力道山を殺さなかったのか』　増田俊也
（２）突き抜けた人生
75　情熱の階段　日本人闘牛士、たった一人の挑戦　濃野平　闘牛バカ自伝
76　女盗賊プーラン（上下）　プーラン・デヴィ
77　くう・ねる・のぐそ　自然に「愛」のお返しを　伊沢正名　（企画本）
78　ヤクザと原発　福島第一潜入記　鈴木智彦
79　『ダチョウ力』　愛する鳥を「救世主」に変えた博士の愉快な研究生活　塚本康浩

第７章　金と仕事とものづくり

（１）さまざまな仕事

80　『鵤工舎の仕事』　長泉寺建立記　塩野米松
81　君は一流の刑事になれ　久保正行　元警視庁捜査一課長
82　『チョコレートの真実』　キャロル・オフ
83　プラダを着た悪魔　ローレン・ワイズバーガー　フィクション

（２）経済学というアート

84　『マネー・ボール』　奇跡のチームをつくった男　マイケル・ルイス
85　『コンテナ物語』　世界を変えたのは「箱」の発明だった　マルク・レビンソン
86　資本主義対資本主義　改訂新版　2011　ミシェル・アルベール　アメリカ・イギリス対ドイツ・日本
87　『経済学　名著と現代』　日本経済新聞社
88　『イノベーションのジレンマ』　クレイトン・クリステンセン　ビジネスの失敗

第８章　事実は小説より奇なり

（１）運命に翻弄される人たち

89　『未解決事件』　死者の声を甦らせる者たち　マイケル・カプーゾ　フィラデルフィアにあ

るアドバイザー集団
90　『ぼくの脳を返して』　ロボトミー手術に翻弄されたある少年の物語　ハワード・ダリーほか
91　『からのゆりかご』　大英帝国の迷い子たち　マーガレット・ハンフリーズ
92　『父さんのからだを返して』　父親を骨格標本にされたエスキモーの少年
93　『眠れない一族』　食人の痕跡と殺人タンパクの謎　ダニエル・T・マックス

（２）命からがら

94　命からがら　誰も行けない温泉　大原利雄
95　『パーフェクト・ストーム』　史上最悪の暴風に消えた漁船の運命　セバスチャン・ユンガー　2000年映画化
96　アポロ１３号　奇跡の生還　ヘンリー・クーパーJr.　映画はトム・ハンクス主演
97　ベトナムの少女　世界で最も有名な戦争写真が導いた運命　デニス・チョン
98　エンデュアランス号漂流　アルフレッド・ランシング
99　『脱出記』　シベリアからインドまで歩いた男たち　スラヴォミール・ラウイッツ
100　『無人島に生きる十六人』　須川邦彦　明治３１年の龍睡丸の遭難

第９章　鉄板すぎて紹介するのも恥ずかしい本（付録）

101　『冷血』　トルーマン・カポーティ　佐々田雅子訳をすすめる
102　『ワイルド・スワン』　ユン・チアン　現代中国を知るための１冊
103　『もの食う人びと』　辺見庸
104　『ヤノマミ』　国分拓　アマゾンの民族
105　『銃・病原菌・鉄』　１万３０００年にわたる人類史の謎　ジャレド・ダイアモンド
106　不実な美女か　貞淑な醜女か　米原万里　当時通訳者の頭の中
107　『利己的な遺伝子』　増補新装版　リチャード・ドーキンス　2006
108　『誘拐』　本田靖春　吉展ちゃん誘拐殺人事件を題材にしたノンフィクション・ノベル

『もっと面白い本』成毛眞(著)(岩波新書)の掲載書籍リスト

１．まずは人間から

（１）素朴な疑問「人体とはなんですか？」

1　クローズアップ　人体のしくみ図鑑　ジョン・クランシー　現代の解体新書　顕微鏡写真
2　トリセツ・カラダ　海堂尊　からだにいい読み物
3　『人体探求の歴史』　笹山雄一　止まらない蘊蓄　研究者の文章
4　『世にも奇妙な人体実験の歴史』　トレヴァー・ノートン　純粋すぎる猛者たち

（２）端倪すべからざる女性たち

5　『ローズ・ベルタン』　マリー＝アントワネットのモード大臣　ミシェル・サポリ　美才の成り上がり
6　『誰も知らなかったココ・シャネル』　ハル・ヴォーン　エレガントなスパイ
7　『クレオパトラ』　ステイシー・シフ　美の虚像との決別

（３）もの作る人びと

8　京職人ブルース　米原有二　気取らず聞かせて
9　『測って描く旅』　浦一也　手で考える　インテリアプランナー
10　『ニューヨークのヴァイオリン職人』　現代の名器をつくる　ジョン・マーケーゼイ　謎を奏でる魔法の箱
11　パリ左岸のピアノ工房　カーハート　裏通りのおとぎ話
12　ランドセル俳人の五・七・五　小林凛　積極的な不登校

２．世界を俯瞰する

（１）新書で読む宇宙

14　宇宙は無数にあるのか　佐藤勝彦　ユニバースは死語？
13　『宇宙はなぜこのような宇宙なのか』　人間原理と宇宙論　青木薫　宇宙は人間のため？
15　強い力と弱い力　ヒッグス粒子が宇宙にかけた魔法を解く　大栗博司　説明巧者の入門書
16　オリオン座はすでに消えている？　縣秀彦　人類滅亡、誤差２０°
17　『太陽に何が起きているか』　常田佐久　雄弁な黒点

（２）先輩たちの生き方

18　『フジツボ　魅惑の足まねき』　倉谷うらら　愛しきＦの世界
19　『クマムシ?!　小さな怪物』　鈴木忠　もはや宇宙船
20　『鳥類学者　無謀にも恐竜を語る』　川上和人　爆笑必至の思考実験
21　『子犬に脳を盗まれた！』　不思議な共生関係の謎　ジョン・フランクリン　話さぬ犬で語る共生
（３）想像力という旅行法
22　ローマ・ミステリーガイド　市口桂子　謎はローマに通ず
23　フィレンツェ・ミステリーガイド　市口桂子　花の都の戦慄
24　『ヴェネツィア・ミステリーガイド』　市口桂子　妖しき水の都
25　『謎の独立国家ソマリランド』　高野秀行　戦国乱世の平和国家
26　『消滅した国々』　第二次世界大戦以後崩壊した１８３ヶ国　吉田一郎　消滅で見える世界

３．歴史という迷宮

（１）鳥瞰世界史

27　『１３７億年の物語』　宇宙が始まってから今日までの全歴史　クリストファー・ロイド　型破りな歴史書
27-1　姉妹編　ビジュアル大年表　１３７億年の物語
28　『スパイス、爆薬、医薬品』　世界史を変えた１７の化学物質　ジェイ・バーレサン　化学式が語る世界史
29　『食糧の帝国』　食物が決定づけた文明の勃興と崩壊　エヴァン・Ｄ・Ｇ・フレイザー　胃袋が歴史を動かす
30　『失敗の本質』　日本軍の組織論的研究　戸部良一　日本の敗北文化
31　『太平洋の試練』　真珠湾からミッドウェイまで　イアン・トール　半年天下

（２）覗き見る民族の歴史

32　逝きし世の面影　渡辺京二　古き日本人への追想　日本民族誌の金字塔
33　『物語ユダヤ人の歴史』　レイモンド・Ｐ・シェインドリン　ビジネスマンの教養
34　世界史劇場　イスラーム世界の起源　神野正史　オタク専科の世界史
35　世界史劇場　日清・日露戦争はこうして起こった　神野正史　オタク専科の世界史

（３）日本史のなかの日本文化

36　『中国と茶碗と日本と』　彭丹　日本にある古代中国
37　『阿蘭陀が通る』　人間交流の江戸美術史　タイモン・スクリーチ　鎖国の横顔
38　江戸衣装図鑑　菊地ひと地　歌舞伎好き必携
39　新版　オペラと歌舞伎　永竹由幸　目の快楽

４．アートな読書

（１）美術館へ向かう電車のなかで読む本

40　『画家の食卓』　林綾野　グウの音も美しく
41　アイテムで読み解く西洋名画　佐藤晃子　頭で美術鑑賞
42　色で読み解く名画の歴史　城一夫　色のロジック
43　巨匠に教わる　絵画の技法　視覚デザイン研究所編　「神の手」の分析
44　巨匠に学ぶ風景画　傑作の法則　名画の謎を解く２０のメソッド　内田広由紀　巨匠の目を拝借
45　『ヘンな日本美術史』　山口晃　先達へのオマージュ

（２）本の本

46　『一四一七年、その一冊がすべてを変えた』　スティーヴン・グリーンブラット　解かれた封印
47　『そのとき、本が生まれた』　アレッサンドロ・マルツォ・マーニョ　水の都の出版革命
48　『解読！アルキメデス写本』　羊皮紙から甦った天才数学者　ウィリアム・ノエルほか　羊皮紙に眠る遺産
49　『読んでいない本について堂々と語る方法』　ピエール・バイヤール　背徳の読書論
（３）アートで読む本

50　『石頭コンピューター』　安野光雅　人と機械の解体新書
51　『船の歴史文化図鑑』　ブライアン・レイヴァリ　海と人の５０００年
52　ビジュアルディクショナリー英和大事典　見える英語

５．サイエンスとは謎解きだ

（１）謎解きの系譜

53　『量子革命』　アインシュタインとボーア、偉大なる頭脳の激突　マンジット・クマール　黄金の１世紀

54　『大いなる探求』　シルヴィア・ナサー　近代経済学史決定版
55　『サルファ剤　忘れられた奇跡』　トーマス・ヘイガー　薬を変えたスイッチ
56　『病の皇帝「がん」に挑む』　シッダールタ・ムカジー　言葉はいらない

（２）謎解きをサイエンティフィックに

57　『最初の刑事』　ウィッチャー警部とロード・ヒル・ハウス殺人事件　ケイト・サマースケイル　探偵小説の元ネタ
58　『モーツァルトのむくみ』　歴史人物１２人を検死する　フィリップ・Ａ・マコウィアク　カルテで見る偉人伝
59　『理系の子　高校生科学オリンピックの青春』　ジュディ・ダットン　世界を動かす少年少女
60　『ピダハン』　「言語本能」を超える文化と世界観　ダニエルＬ・エヴェレット　言語学を変える民族

６．揃えておきたい本

（１）本棚にあるｔチョー便利

61　図説　世界史を変えた５０の動物　エリック・シャリーン　チェンジ・ザ・ワールド
62　『図説世界史を変えた５０の鉱物』
63　図説　世界史を変えた５０の植物　ビル・ローズ
64　図説　世界史を変えた５０の機械　エリック・シャリーン
65　常用字解　第二版　白川静　熱い漢字辞典
66　世界名言大辞典　梶山健編著　リアルな名言集
67　イラスト・図説でよくわかる　江戸の用語辞典　時代小説のお供に　江戸人文研究会編　若旦那気分で
68　たべもの起源事典　日本編　岡田哲　読んでもおいしい
69　科学史年表　増補版　小山慶太　手の中に４００年

（２）無理して揃えて、本に埋もれて死す
70　日本の歴史　中公文庫　全２６巻＋別巻　日本史データベース
71　現代語訳　特命全権大使　米欧回覧実記　久米邦武編著　慶應義塾大学出版会　日記なのに百科事典　岩波文庫と違って現代語訳
72　興亡の世界史　講談社　全２１巻　繁栄と破滅の物語
73　地中海　ブローデル　藤原書店　難攻不落の金字塔
74　日本美術全集　小学館　全２０巻

『Associe 読書ノート　「今、読むべき本」必読２７６冊ガイド』(日経ビジネスアソシエ　２０１０年９月７日号　別冊付録)の掲載書籍リスト

１　ビジネススキル編

1-1 思考・発想

シュワルツ　『発明家たちの思考回路』
矢部　プロ弁護士の思考術　php新書
サター　図解主義
牧田　フレームワークを使いこなすための５０問
ゴールドラット　ザ・チョイス
岸良　全体最適の問題解決入門
上田　実践するドラッカー思考編
オスボーン　創造力を生かす
ハースほか　アイデアのちから
村上　絶妙な「数字で考える」技術
ローム　描いて売り込め
永田　頭がよくなる「図解思考」の技術
ヘレーン　アイデア・ブック　スウェーデン式
シルヴァスタイン　新装　『ぼくを探しに』
佐野洋子　『１００万回生きたねこ』

1-2 自己啓発

ヒル　携帯版　思考は現実化する
坂本　日本でいちばん大切にしたい会社
大塚　２５歳からの社会人力
コヴィー　７つの習慣
はづき　運命の波にのる魔法のクセ
山崎　沈まぬ太陽
木村　誇り　ドラガン・ストイコビッチの軌跡
水野　誰もが無理なく夢を引き寄せる３６５の法則
栗城　一歩を越える勇気

1-3 コミュニケーション

伊藤　コミュニケーション１００の法則
西垣　こころの情報学
ウィットワース　コーチング・バイブル　第２版
平本　五感で磨くコミュニケーション
本間　やる気のない職場にスイッチを入れる魔法のほめ言葉
髙原　カウンセラーが書いた上司のための心理学
堀　ファシリテーション入門
久美　新人賞の獲り方おしえます
宮城　子産

1-4 交渉・説得

ドラッカー　経営の哲学　ドラッカー名言集
高杉　実践・交渉のセオリー
立川　赤めだか
アンダース　私はあきらめない
ユーリー　ハーバード流"NO"と言わせない交渉術
大串　仕事がうまくいく「質問」の仕掛け
デキる人は「喋り」が凄い
西村　論理的な話し方が身につく本
関根　となりのクレーマー　中公新書ラクレ

1-5 マナー

高橋　さすが！と言われる図解ビジネスマナー
日本経団連出版編　社会人の常識
高野　絆が生まれる瞬間
鶴野　ビジネスマンの外見力のコミュニケーション
日本マナー・プロトコル　「さすが！」といわれる大人のマナー講座
金井　これが正しい敬語です
尾形　恥をかかない！すぐに身につく！場面別　敬語の正しい使い方
住友　デキる！男のマナー事典
川田　『かばんはハンカチの上に置きなさい』

1-6 時間管理

ラーキン　時間の波に乗る１９の法則

シュレベール　時間術
ドラッカー　ドラッカー名著集１　経営者の条件
ブランチャード　１分間マネージャーの時間管理
水口　たったこれだけのことで！仕事力が３倍アップする時間活用法
野口悠紀雄　続「超」整理法・時間編
グリースマン　成功する人の時間術
レクトシャッフェン　タイムシフティング
エンデ　モモ

1-7 リーダーシップ

クーゼス　リーダーシップ・チャレンジ
カーネギー　人を動かす　新装版
コリンズ　ビジョナリーカンパニー
コッター　企業変革力
ドラッカー　チェンジ・リーダーの条件
ドーテン　仕事は楽しいかね？
安岡　論語に学ぶ
大山　働く幸せ
小倉　３３歳からのリーダーのルール

２　仕事の知識編

2-1 マーケティング

三枝　戦略プロフェショナル
コッチ　人生を成功させるための「８０対２０」革命！
ベトガー　私はどうして販売外交に成功したか
青島　競争戦略論
山本　３０歳からの成長戦略
佐藤　ドリルを売るには穴を売れ
アリエリー　『予想どおりに不合理』
ブーフフォルツ　あのブランドばかり、なぜ選んでしまうのか
アンダーソン　トレードとセックスと死
中西　本質を見抜く「考え方」
小沢　プロフェショナルアイディア
ドーテン　仕事は楽しいかね？

ムーア　キャズム
アンダーソン　フリー
シュルツ　スターバックス成功物語

2-2 経済

千種義人　新版　経済学入門
吉川　いまこそ、ケインズとシュンペーターに学べ
メドウズ　成長の限界　人類の選択
サムエルソン　サムエルソン　経済学
シュンペーター　経済発展の理論
ケインズ　雇用、利子および貨幣の一般理論
都留　市場には心がない
ライシュ　『暴走する資本主義』
弘兼　知識ゼロからの経済学入門

2-3 金融

池尾　現代の金融入門　新版　ちくま新書
投資家のための金融マーケティング予測ハンドブック
野間　コーポレートファイナンス入門　企業価値向上の仕組み
脇田　ナビゲート！日本経済　ちくま新書
池尾、池田　『なぜ世界は不況に陥ったのか』
白川　『現代の金融政策』
大橋　証券化の知識　第２版　日経文庫
小川　国際金融入門　日経文庫
幸田　日本国債

2-4 新興国

門倉　世界不況を生き抜く新・企業戦略
関　チャイナ・アズ・ナンバーワン
ヴィクトル　地図で読む世界情勢　衝撃の近未来　第１部
アジア＆ワールド　BRICｓとNEXT１１のすべて
モハマド　立ち上げれ日本人
徐　中国人に売る時代！
恩田　ドバイ・ベトナム・インド　経済・経営の視点から確かなことがわかる本

和田　逆さまの地球儀
浅田　中原の虹（４巻）

2-5 英語

ヤグェーロ　間違いだらけの言語論
安西　英文翻訳術
関山　辞書からはじめる英語学習
Mr.Evineの中学英文法を修了するドリル
生活英単語ワークブック
手島　英語の発音・ルールブック
英語便利辞典　小学館
鳥飼　TOEFL・TOEICと日本人の英語力　講談社現代新書
相原　ひねもすのたり中国語

2-6 会計

稲盛　稲盛和夫の実学
ジョンソン　レレバンス・ロスト
スライウォツキー　ザ・プロフィット
広瀬　IFRS財務会計入門
ゴールドラット　ザ・ゴール
ドラッカー　創造する経営者
田中　原点復帰の会計学　第２版
稲垣　TOC革命
林　餃子屋と高級フレンチでは、どちらが儲かるか

2-7法律

プレジデント編集部　「得する法律」Q&A６０
郷原　「法令遵守」が日本を滅ぼす　新潮新書
小林　『こんな日弁連に誰がした？』　平凡社新書
長嶺　裁判官の爆笑お言葉集　幻冬舎新書
神田　会社法入門　岩波新書
元榮太一郎　刑事と民事　幻冬舎新書
坂和　名作映画から学ぶ裁判員制度
弘兼　知識ゼロからのビジネス法務

荘司　荘司雅彦の法律力養成講座

３　教養編

3-1 日本史

吉田　日本の誕生　岩波新書
五味　もういちど読む山川日本史
加藤　『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』
斎藤　英語襲来と日本人
本郷　天皇はなぜ生き残ったのか
石井　日本人と多文化主義
松田　南蛮のバテレン
海野　韓国併合　岩波新書
萱野　アイヌの昔話

3-2 世界史

フランクル　『夜と霧』
中村　人は愛するに足り、真心は信じるに足る
モンタネッリ　ルネサンスの歴史
久米　米欧回覧実記　５巻
猿谷　検証　アメリカの５００年の歴史
内村　『後世への最大遺物　デンマルク国の話』
渡辺　逝きし世の面影
明石　国際連合　軌跡と展望　岩波新書
青木　サクサクわかる現代史

3-3 アート

高階　名画を見る眼　岩波新書
エルキンズ　偽りの名画
若桑　絵画を読む　イコノロジー入門
中野　怖い絵
朝日新聞社編　名画の見どころ読みどころ
新美　日本人は世界一間抜けな美術品コレクター
山本　週末はギャラリーめぐり

青野　美術空間散歩
藤田　現代アート、超入門！

４　マネー編

4-1 節約

スタンリー　なぜ、この人たちは金持ちになったのか
ベルスキー　『賢いはずのあなたが、なぜお金で失敗するのか』
学研パブリッシング　おはよう奥さん
和田　年間５０万円は貯まる　チリ積も節約術
デバイン　お金がなくても幸せになれるイギリス節約術
泉　「仕組み」節約術
モッテルリーニ　経済は感情で動く
今井　今井森男の家庭株式会社のすすめ
プレジデント別冊　お金が貯まる生き方
横山　年収２００万円からの貯金生活宣言
中村　２０代のいま、やっておくべきお金のこと
西原　この世でいちばん大事な「カネ」の話
ソンヒ　１２歳で１００万円ためました！
山崎　マイホームは「貸せる物件」を買いなさい！
後田　『生命保険の「罠」』

4-2 投資

マルキール　『ウォール街のランダム・ウォーカー』
ガルブレイス　バブルの物語
トレイン　マネーマスター列伝
ボディ　証券投資
ブックステーバー　市場リスク　暴落は必然か
アカロフ　『アニマルスピリット』
シュレイファー　金融バブルの経済学

4-3 住まい

宮脇　住まいとほどよくつきあう
長谷川　お金を生み出す家を買いたい！

土地のグランプリ　シリーズ
夏目　吾輩は猫である
影山　名作マンガの間取り
藤木　マンションにいつまで住めるのか
古庄　沢田マンション物語
井形　『老朽マンションの奇跡』
延藤　集まって住むことは楽しいナ

4-4 年金・保険

菅野　ねんきん定期便がよくわかる本
後田　生命保険のウラ側
林　帰宅の時代
出口　『生命保険はだれのものか』
ボーグル　波瀾の時代の幸福論
金谷　大学・中庸
週間ダイヤモンド　2010年3月20日号
伊藤　自分の年金は自分でつくる！
鈴木　だまされないための年金・医療・介護入門

５　生活編

5-1 食ーグルメ・クッキング

石毛　石毛直道　食の文化を語る
サントリー　いま「食べること」を問う
岸　食の地図
吉川　日本料理の歴史
原田　江戸の料理と食生活
川島　日本の食料戦略と商社
三浦　鯨とイルカの文化政治学
幕内　変な給食
宇田川　フレンチの達人たち
オカザワ　文豪の味を食べる
ワードスプリング編　大使館御用達レストラン
飯島　LIFE　なんでもない日、おめでとう！のごはん
今すぐ食べたい自衛隊ごはん

岩下　誰も教えない食事のマナー
クレッシング　料理人

5-2 インテリア

プットマン　アンドレ・プットマン　パリのインテリア
島崎　美しい椅子　北欧４人の名匠のデザイン
増田　住まいの解剖図鑑
石井　新・陰翳礼讃
宮脇　男と女の家
北欧スタイル　NO.11 （2006 summer)
マクラウド　インテリア／カラーバイブル
町田　あなたもなれる！インテリアコーディネーター
エル・デコ　隔月刊

5-3 旅行

大前　旅の極意、人生の極意
名作写真館　３０巻　小学館
司馬　街道をゆく　４３巻
高城　サバイバル時代の海外旅行術　光文社新書
名建築に逢う　首都圏
栗原　新幹線の車窓から　東海道新幹線編
清水　夫婦で行くイスラムの国々
高萩　バリアフリーの旅を創る
Travel Community Magazin 4Travel

5-4 健康

川田　HEALTH HACKS!
板木利　からだにおいしい野菜の便利帳
中川　はらすまダイエット
タニタ　体脂肪計タニタの社員食堂
時間栄養学
三浦　下流は太る！こんな暮らしがデブの素
大野　自宅入院ダイエット
小林　眠りを変えれば仕事はうまくいく

田中　驚異のウォーキング革命　新版

5-5 酒

麻井　ワインづくりの思想　中公新書
増田　うまい日本酒はどこにある？
茂木　プロフェショナル仕事の流儀１１
阿部　どぶろくと女
岸　スタア・バーへようこそ
渡辺　ヨーロッパワイン美食道中
ビールと日本人
西川　ワインと外交　新潮新書
山同　こどものためのお酒入門

5-6 ガーデニング

須磨　心に花を咲かせて
竹間　「家庭菜園」この素晴らしい世界
板木　家庭菜園大百科
宇根　本来農業宣言
講談社　旬の食材　春・夏の野菜
藤田　捨てるな、うまいタネ
自分流で楽しむ手づくりガーデン
ブラッドレイ　キッズのための５０のガーデニング
藤田　キュウリのトゲはなぜ消えたのか　学研新書

６　読書の達人１１人のオススメ本

レバレッジ読書術の本田直之
佐々木　『仕事するのにオフィスはいらない』
吉越　英語をやっていて、本当によかった
レイテイ　脳を鍛えるには運動しかない！

ノート式読書術の奥野宣之
トルストイ民話集　人はなんで生きるか　他　岩波文庫
今　毒舌身の上相談
山内　ぎりぎり合格への論文マニュアル

図解で読書の板橋悟
黒川　恋愛脳
色川　うらおもて人生録
エドワーズ　脳の右側で描け

難解本読解の高田明典
経済学の名著３０
ルーマン　信頼　社会的な複雑性の縮減メカニズム
ガセット　大衆の反逆

もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーのマネジメントを読んだらの加藤貞顕
西原　この世でいちばん大事な「カネ」の話
小山　宇宙兄弟
ケイニー　スティーブ・ジョブズの流儀

超訳ニーチェの言葉の編集者の藤田浩芳
渡辺　日本政治思想史十七～十九世紀
白波瀬　生き方の不平等　お互いさまの社会に向けて　岩波新書
田川　イエスという男

これから正義の話をしようの編集者の富川直泰
タックマン　八月の砲声
ヤマザキマリ　テルマエ・ロマエ
山形　新教養としてのパソコン入門　コンピュータのきもち

電子書籍活用の達人の小山龍介
フリード　小さなチーム、大きな仕事　ハヤカワ新書juice
清水　生命知としての場の論理　中公新書
ブナキャン　複雑な世界、単純な法則

キャノン電子社長の酒巻久
松浦　宮大工　千年の知恵
デラマーター　ビッグブルー
フィリップス　部下と現場に出よ、生死を共にせよ

『新書大賞ベスト５』の掲載書籍リスト

２０１３年

１　社会を変えるには　小熊英二　講談社現代新書
２　田中角栄　早野透　中公新書
３　日本近代史　板野潤治　ちくま新書
４　わかりあえないことから　平田オリザ　講談社現代新書
５　聞く力　阿川佐和子　文春新書

２０１２年

１　『ふしぎなキリスト教』　橋爪大三郎・大澤真幸　講談社現代新書
２　昭和天皇　古川隆久　中公新書
３　ＴＰＰ亡国論　中野剛志　集英社新書
４　武器としての決断思考　瀧本哲史　星海社新書
５　女子校育ち　辛酸なめ子　ちくまプリマー新書

２０１１年

１　『宇宙は何でできているのか』　村山 斉　幻冬舎新書
２　デフレの正体　藻谷 浩介　角川oneテーマ21
３　『街場のメディア論』　内田 樹　光文社新書
４　競争と公平感　大竹 文雄　中公新書
５　伊藤博文　瀧井 一博　中公新書

２０１０年

１　『日本辺境論』　内田 樹　新潮新書
２　『差別と日本人』　野中広務、辛淑玉　角川oneテーマ21
３　『音楽の聴き方』　岡田暁生　中公新書
４　『戦後世界経済史』　猪木武徳　中公新書
５　『ノモンハン戦争』　田中克彦　岩波新書

２００９年

１　『ルポ 貧困大国アメリカ』　堤 未果　岩波新書

２　強欲資本主義 ウォール街の自爆　神谷秀樹　文春新書
３　できそこないの男たち　福岡伸一　光文社新書
４　電車の運転　宇田賢吉　中公新書

２００８年

１　『生物と無生物のあいだ』　福岡伸一　講談社現代新書
２　となりのクレーマー　関根眞一　中公新書ラクレ
３　1997年ー世界を変えた金融危機　竹森俊平　朝日新書

『頭をよくする「使える１００冊」』和田秀樹(著)(PHP新書)の掲載書籍リスト

１　頭を鍛える

川島隆太　現代人のための脳鍛錬　文春新書
武田克彦　脳のリハビリ　Q&A　講談社健康ライブラリー
武田克彦　ベッドサイドの神経心理学　中外医学社
伊藤乾　「笑う脳」の秘密　祥伝社　イメージ記憶法
ウィンドほか　インポッシブル・シンキング　日経BP社
竹内薫　『99.9%は仮説』　光文社新書
加藤良平　数字のホント？ウソ！　ベスト新書
畑村洋太郎　『数に強くなる』　岩波新書
小泉十三　頭がいい人の習慣術　『実践版　～』　KAWADE夢新書
和田秀樹　頭をよくする　ちょっとした「習慣術」　祥伝社

２　人間関係の達人になる

梶原しげる　聞き管理　徳間書店
勝間和代　断る力　文春新書
本橋信宏　心を開かせる技術　幻冬舎新書
鎌田浩毅　ブリッジマンの技術　講談社現代新書
梶原しげる　すべらない敬語　新潮新書
柴田武　ホンモノの敬語　角川oneテーマ21
荘司雅彦　嘘を見破る質問力　日本実業出版社

３　知的体力をアップさせる

渡辺淳一　鈍感力　集英社
竹内一郎　『人は見た目が９割』　新潮新書
鎌田浩毅　ラクして成果が上がる理系的仕事術　PHP新書
和田秀樹　文系のための使える理系思考術　PHP新書
スティーブ・モリヤマ　英語の会議にみるみる強くなる本　中経出版
和田秀樹　「英語脳」のつくり方　中公新書ラクレ
澤井繁男　英文読解完全マニュアル　ちくま新書
みずほ総合研究所　２２歳からの日本経済入門　毎日新聞社
樋口裕一　大人のための文章道場　角川文庫
中川美紀　「女性職」の時代　角川oneテーマ21

荘司雅彦　荘司雅彦の法律力養成講座　日本実業出版社　弁護士による

４　子共が学ぶ現場で起きていること

市川伸一　学ぶ意欲の心理学　PHP新書　東京大学大学院教育学研究科
川島隆太　子どもを賢くする脳の鍛え方　小学館　やさしいことの繰り返し
陰山英男　娘が東大に合谷した本当の理由　小学館１０１新書
森口朗　戦後教育で失われたもの　新潮新書
宮台真司ほか　学校が自由になる日　雲母書房　階層社会の拡大は公立のエリート校をつぶした罰
諏訪哲二　学校のモンスター　中公新書ラクレ
三浦展　下流大学が日本を滅ぼす！　ベスト新書
石渡嶺司　最高学府はバカだらけ　光文社新書
福田ますみ　『でっちあげ』　新潮社　教師によるいじめ事件は冤罪だった
庄井良信　『フィンランドに学ぶ教育と学力』　明石書店

５　若者たちはいま何を考えているのか

本田由紀ほか　『「ニート」って言うな！』　光文社新書　メディアリトラシーを身につけるための名著
門倉貴史　『派遣のリアル』　宝島新書
香山リカ　若者の法則　岩波新書
奥田祥子　男はつらいらしい　新潮新書
岡田斗司夫　オタクはすでに死んでいる　新潮新書
ポール・クルーグマン　格差はつくられた　早川書房

６　自分の健康は自分で守る

柴田博　病気にならない体はプラス１０ｋｇ　ベスト新書
名郷直樹　治療をためらうあなたは案外正しい　日経BP社
南淵明宏　僕が医者を辞めない理由　羊土社　プロは臆病である
大和田潔　副作用　祥伝社新書　神経内科医
別府宏○　医者が薬を疑うとき　亜紀書房　横浜ソーワクリニック院長
福田実　私は薬に殺される　幻冬舎　手記
別府宏○　あなたの命にかかわる薬のいちばん大事な話　KAWADE夢新書
中川恵一　がんのひみつ　朝日出版社　東大病院　がんの解説書
小松秀樹　医療の限界　新潮新書　虎の門病院

７　壊れやすい現代人のこころ

中島聡　「心の傷」は言ったもん勝ち　新潮新書
畑村洋太郎　『回復力』　講談社現代新書
高橋祥友　自殺予防　岩波新書　防衛医大
雨宮処○　自殺のコスト　太田出版
小此木啓吾　フロイト思想のキーワード　講談社現代新書
森山公夫　統合失調症　ちくま新書
林直樹　人格障害の臨床評価と治療　金剛出版
岩波明　狂気という隣人　新潮文庫　精神科医療の未整備の部分を指摘
藤井誠二　少年犯罪被害者遺族　中公新書ラクレ
山田昌弘　家族ペット　サンマーク出版、文春文庫

８　体の調子が気になる世代へ

柴田博　『中高年健康常識を疑う』　講談社選書メチエ
奥村康　「不良」長寿のすすめ　宝島新書
安保徹　『免疫革命』　講談社インターナショナル
鎌田實　病院なんか嫌いだ　集英社新書　長野での実践
小澤勲　『痴呆を生きるということ』　岩波新書
長沼行太郎　嫌老社会　ソフトバンク新書
佐藤琢磨　ポックリ死ぬためのコツ　アスペクト
黒川清　大学病院革命　日経BP社
中川二基子　「老いじたく」成年後見制度と遺言　文春新書
荘司雅彦　妻が得する熟年離婚　朝日新書

９　日本経済が強くあり続けるために

ゴールマンほか　EQリーダーシップ　日本経済新聞社
岡本浩一　組織健全化のための社会心理学　新曜社
岡本　無責任の構造　PHP新書
ロナルド・ドーア　誰のための会社にするか　岩波新書
岡本浩一　ナンバー２が会社をダメにする　PHP新書
鈴木敏文　商売の原点　商売の創造　講談社
勝見明　鈴木敏文の「統計心理学」　プレジデント社
榊原英資　『為替がわかれば世界がわかる』　文春文庫

小幡績　『すべての経済はバブルに通じる』　光文社新書
門倉貴史　人にいえない仕事はなぜ儲かるのか？　角川oneテーマ21
シドニー・フィンケルシュタイン　名経営者が、なぜ失敗するのか？　日経BP社
和田秀樹　失敗を絶対、成功に変える技術　アスキー
磯山友幸　『ブランド王国　スイスの秘密』　日経BP社
緒方知行　鈴木敏文　考える原則　日経ビジネス人文庫

１０　日本のとるべき道を考える

藤原正彦　国家の品格　新潮新書
ビル・トッテン　日本は略奪国家アメリカを棄てよ　ビジネス社
竹下節子　アメリカに「NO」と言える国　文春新書
デュラン・れい子　一度も植民地になったことがない日本　講談社＋α新書
佐藤優ほか　国家情報戦略　講談社＋α新書
清水美和　「中国問題」の内幕　ちくま新書
石澤靖治　『日本はどう報じられているか』　新潮新書
田中宇　アメリカ以後　取り残される日本　光文社新書

１１　幅広い知識こそ教養の王道

養老孟司　超バカの壁　新潮新書
福沢諭吉著　檜谷昭彦訳・解説　学問のすゝめ　三笠書房
池田清彦、養老孟司　ほんとうの環境問題　新潮社
吉川元忠ほか　国富消尽　PHP研究所
山岸俊男　『日本の「安心」はなぜ、消えたのか』　集英社シンターナショナル
宮崎学　『ヤクザと日本』　ちくま新書
池澤夏樹　叡智の断片　集英社インターナショナル　芥川賞作家による名句
前野晴男　相場の法則　日経BP社
渡部昇一　ローマ人の知恵　集英社インターナショナル
筆坂秀世　『日本共産党』　新潮新書　元共産党の最高幹部
島田裕巳　日本の１０大新宗教　幻冬舎新書　宗教学者
玉岡かおる　自分道　角川SEC新書
橘木俊詔　家計からみる日本経済　岩波新書
波頭亮　『プロフェッショナル原論』　ちくま新書

『第２回教養新書合同フェア』(著)の掲載書籍リスト

新書で読む「日本の課題」

１．政治を変えるには

＜私＞時代のデモクラシー　宇野重規　岩波新書
国会議員の仕事　林芳正ほか　中公新書
社会を変えるには　小熊英二　講談社現代新書

２．誰のための経済か

成熟社会の経済学　長期不況をどう克服するか　小野善康　岩波新書
金融が乗っ取る世界経済　ドーア　中公新書
経済学の犯罪　佐伯啓思　講談社現代新書

３．高齢社会の中で

認知症とは何か　小澤勲　岩波新書
認知症　池田学　中公新書
超高齢社会の基礎知識　鈴木隆雄　講談社現代新書

４．この社会を生きる

生き方の不平等　お互いさまの社会に向けて　白波瀬佐和子　岩波新書
ルポ生活保護　本田良一　中公新書　実態と自立支援への動き
独立国家のつくりかた　坂口恭平　講談社現代新書

５．外交とは何か

集団的自衛権とは何か　豊下楢彦　岩波新書
文化と外交　渡辺靖　中公新書
不愉快な現実　孫崎享　講談社現代新書

６．中国と向き合う

現代中国の政治　「開発独裁」とそのゆくえ　唐亨　岩波新書

中国は東アジアをどう変えるか　白石隆　中公新書
中国社会の見えない掟　加藤隆則　講談社現代新書

７．近現代史の焦点

日本の近現代史をどう見るか　シリーズ日本現代史　岩波新書
近現代日本史と歴史学　成田龍一　中公新書
『戦争の日本近現代史』　加藤陽子　講談社現代新書

８．環境とエネルギー

グリーン経済最前線　井田徹治ほか　岩波新書
グリーン・エコノミー　吉田文和　中公新書
原発社会からの離脱　宮台真司ほか　講談社現代新書

９．教育のゆくえ
子どもが育つ条件　家族心理学から考える　柏木恵子　岩波新書
いじめとは何か　森田洋司　中公新書
いじめの構造　内藤朝雄　講談社現代新書

１０．ヒトはどこまでわかったか
心と脳　認知科学入門　安西祐一郎　岩波新書
言語の脳科学　酒井邦嘉　中公新書
＜意識＞とは何だろうか　下條信輔　講談社現代新書

『子どもの本の森へ』河合隼雄・長田弘(著)の掲載書籍リスト

紹介図書リスト

フィリッパ・ピアス Ann Philippa Pearce 1920/1/23 - 2006/12/21
『ハヤ号セイ川をいく』
『トムは真夜中の庭で』
幽霊を見た１０の話
まぼろしの小さい犬

バウム　オズの魔法使い

石井桃子　ノンちゃん雲に乗る
スティーブンソン　宝島
おだんごぱん
井伏鱒二　『しびれ池のカモ』
ロフティング　ドリトル先生物語全集全１２巻
スティーブンソン　自殺クラブ
カウフマン　赤い月と暑い時（１，２）

デフォー　ロビンソン・クルーソー　（大人の物語）
スウィフト　ガリヴァー旅行記　（大人の物語）
マルタン・デュ・ガール　チボー家の人々　チボー家のジャック
ル＝グウィン　『ゲド戦記全４巻』
クローバー　（ル＝グウィンの母の作）
『イシ　北米最後の野生インディアン』
イシ　二つの世界に生きたインディアンの物語
エンデ　モモ　はてしない物語

モンゴメリー　『赤毛のアン』
オールコット　若草物語
ケストナー
エミールと探偵たち　飛ぶ教室　『点子ちゃんとアントン』
リンドグレーン　『名探偵カッレくん』

コルチャック　子どものための美しい国
バリー　ピーター・パンとウェンディ

ローリングズ　子鹿物語全３巻
ザルテン　バンビ

宮澤賢治　風の又三郎
『銀河鉄道の夜』

アンネ・フランク　アンネの日記（完全版）
トルストイ　人はなんで生きるか
カルヴォーノ　みどりの小鳥
河合隼雄　「明恵　夢を生きる」

カニグズバーグ　Elaine Lobl Konigsburg 1930.2.10 -
カニグズバーグ著作集1-9
クローディの秘密　1967 From the Mixed-up Files of Mrs. Basil E. Frankweler
『魔女ジェニファとわたし』 1967 Jennifer, Hecate, Macbeth, William McKinely, and Me, Elizabeth
ロールパン・チームの作戦 1969 About the B'nai Bagels
『ぼくと＜ジョージ＞』 1970 George
ドランゴンをさがせ 1974 The Dragon in the Ghetto Caper

マーヒー　足音がやってくる
ホワイト　シャーロットのおくりもの
ノース　はるかなるわがラスカル
河合隼雄　少年動物誌

グレーアム　『たのしい川べ』
ファージョン　ムギと王子さま
トールキン　指輪物語全９巻

（絵本）

レオーニ　あおくんときいろちゃん
ミルン　クマのプーさん
リンゴグレーン　長くつ下のピッピ
カール　はらぺこあおむし
バンサン　アンジュール：ある犬の物語

アンゲラ?　すてきな三にんぐみ
シュルヴィッツ　よあけ
ウィリアムズ　しろいうさぎとくりうさぎ
シルヴァスタイン Shel Silverstein
ぼくを探しに
センダック　『かいじゅうたちのいるところ』
バートン　ちいさいおうち
グリーン　二十一の短篇
センダック　まどのそとのそのまたむこう
クーニー　にぐるまひいて
センダック　ちいさなちいさな　えほんばこ　全４巻
ウェルズ　ローアン・オーク邸のゆうれい
大図解　九龍城　岩波書店
谷川俊太郎　ことばあそびうた
「絵本　平家物語」　講談社　（安野光雅絵）
北原白秋訳　まざあ・ぐうず
原民喜のガリヴァー旅行記　9F
長田弘　感受性の領分
漫画吾輩は猫である

コールズ　子どもの神秘生活：生と死、神・宇宙をめぐる証言
三遊亭円朝作　怪談　牡丹灯籠
柳田国男　「明治大正史　世相編」

チェコフスキー　２歳から５歳まで
マルシャーク　森は生きている
初版グリム童話集全４巻　白水社
アーサー・ランサム全集全１２巻
ルイス　ナルニア国物語全７巻
星の王子さま

『打ちのめされるようなすごい本』米原万里(著)の掲載書籍リスト

１．ゴルバチョフ　ゴルバチョフ回想録　新潮社　上・下
２．池谷裕二　『記憶力を強くする』　ブルーバックス
３．上杉〇　よみがえる部落史　社会思想社
４．マルクス・ジョルジュ　異星人伝説：２０世紀を創ったハンガリー人　日本評論社
５．佐々木雅幸　創造都市への挑戦　岩波書店
６．佐原真　『騎馬民族は来なかった』　ＮＨＫブックス
７．佐原眞　魏志倭人伝の考古学　岩波現代文庫
８．森達也　『下山事件』　新潮社
９．斎藤美奈子　文学的商品学　紀伊國屋書店
１０．チェチェンで何が起こっているのか　高文研
１１．『チェチェン　やめられない戦争』　ＮＨＫ出版
１２．従軍のポリティクス　青弓社編集部編
１３．巨大メディアの逆説：娯楽も報道もつまらなくなっている理由　リベルタ出版
１４．今野勉　テレビの嘘を見破る　新潮新書
１５．鈴木満　昔話の東と西：比較口承文芸論考　国書刊行会
１６．佐藤優　『国家の罠』　新潮社
１７．吉岡忍　奇跡を起こした村のはなし　ある漂流者のはなし
１８．藤森照信　『人類と建築の歴史』　ちくまプリマー新書
１９．芝田哲考　『下山事件　最後の証言』　祥伝社
２０．加藤哲郎　象徴天皇性の起源　平凡社新書
２１．石川達夫　『マサリクとチェコの精神』　成文社
２２．チャペック　『マサリクとの対話』　成文社
２３．マサリク　ロシアとヨーロッパ　成文社
２４．佐藤優　国家の自縛
２５．亀山郁夫　「悪霊」神になりたかった男
２６．張平　凶犯　7FB923ｼ　新風舎　十面埋伏
２７．エドワード・ラジンスキー　赤いツァーリ　上・下　ＮＨＫ出版
２８．袴田茂樹　『沈みゆく大国』　新潮選書
２９．中村万子　『ミミズのいる地球』　中公新書
３０．ロナルド・ケスラー　汝の父の罪：呪われたケネディ王朝　文藝春秋
３１．亀山郁夫　『ロシア・アヴァンギャルド』　岩波新書
３２．金平　ロシアより愛をこめて　筑摩書房
３３．岩上安身　あらかじめ裏切られた革命　講談社
３４．ロバート・ワイマント　『ゾルゲ　引き裂かれたスパイ』　新潮社
３５．田村志津枝　台湾人と日本人　晶文社

３６．ヴェネディクト・エロフェーエフ　酔いどれ列車、モスクワ発ペトゥシキ行　国書刊行会
３７．ザハリク・スタンク　ジプシーの幌馬車　恒文社
３８．テランス・ディックス　とびきり陽気なヨーロッパ史　筑摩書房
３９．姫野カオルコ　受難　文藝春秋
４０．星野博美　謝々!!チャイニーズ　情報センター出版局
４１．山城新伍　現代・河原乞食考　解放出版社
４２．中島由美　バルカンをフィールドワークする　大修館書店
４３．デーヴィド・ホロウェイ　スターリンと原爆　上・下　大月書店
４４．大石俊一　英語帝国主義論　近代文芸社
４５．辺見庸　不安の世紀から　角川文庫
４６．藤原正彦　心は孤独な数学者　新潮社
４７．柴〇弘　ユーゴスラヴィア現代史　岩波新書
４８．フセヴォロド・オフチンニコフ　桜の枝　サイマル出版会
４９．西江雅之　ヒトかサルかと問われても　読売新聞社
５０．姫野カオルコ　整形美女　新潮社
５１．秋野豊　偽りの同盟：チャーチルとスターリンの間　〇草書房
５２．鹿島茂　解説屋稼業　晶文社
５３．福田和成　ひと月百冊読み、三百枚書く私の方法　ＰＨＰ文庫
５４．アンドレ・サハロフ　サハロフ回想録　上・下　中公文庫
５５．星野博美　銭湯の女神　文藝春秋
５６．永井愛　中年まっさかり　光文社
５７．高木徹　戦争広告代理店　講談社
５８．司馬遼太郎　ロシアについて　文藝春秋
５９．ギルガメッシュ叙事詩　ちくま学芸文庫
６０．戦争が遺したもの　新曜社
６１．石郷岡健　ユーラシアの地政学　岩波書店
６２．ダン・ブリオディ　戦争で儲ける人たち　幻冬舎
６３．奥田英朗　『空中ブランコ』
６４．慶應義塾大学佐藤雅彦研究室　日本のスイッチ　毎日新聞社
６５．大塚ひかり　源氏の男はみんなサイテー　マガジンハウス
６６．山下惣一　食べものはみんな生きていた　講談社
６７．ハーシェル・シャンクスほか　イエスの弟　松柏社
６８．亀山郁夫　ドストエフスキー　父殺しの文学　上・下　ＮＨＫブックス
６９．筒井功　『漂泊の民サンカを追って』　現代書館
７０．佐藤優　『国家の罠』
７１．ヒュー・マイルズ　『アルジャジーラ　報道の戦争』
７２．日垣隆　『そして殺人者は野に放たれる』

７３．アンドレイ・クルコフ　ペンギンの憂鬱

『心の扉を開く』河合隼雄(著)の掲載書籍リスト

１．私とそれ

○　まず読んで欲しい本

山田太一　『遠くの声を捜して』　新潮文庫　：精神病の発病過程が描かれている（『異人たちとの夏』）

ドストエフスキー　『二重身（二重人格）』

（ホフマン　『黄金の壺』　牡猫ムルの人生観）

カフカ　『変身』（変身・断食芸人）：ひきこもり、家庭内暴力と同じ

フィリパ・ピアス　『トムは真夜中の庭で』：　児童文学の傑作　それの世界　心の庭の体験

（砂漠でみつけた一冊の絵本）

ヘリゲル　『日本の弓術』

○　もっと読んでみたいひとのために

桑原知子　『もう一人の私』　創元社

シュライバー　シビルー私のなかの１６人　早川書房

岩宮恵子　『生きにくい子どもたち』（シリーズ　今ここに生きる子ども）

バーネット　『秘密の花園』（上下）　岩波少年文庫

ゾロトウ　『あたらしいぼく』　童話屋

２．心の深み

○　まず読んでほしい本

村上春樹　『アフターダーク』　講談社　：　無意識の世界（『村上春樹、河合隼雄に会いにいく』）：井戸を掘っていって、つながるはずのないコミットメントのありように惹かれる

遠藤周作　『スキャンダル』　新潮文庫　：文庫に解説を書いた。たましいへの通路としてのスキャンダル（侍）

山口昌男　『道化の民俗学』　ちくま文芸文庫（コンプレックスという本に書いた）

吉本ばなな　『ハゴロモ』　新潮社　：無意識の世界のプラスの面　（アムリタ）

リヒター　『あのころはフリードリヒがいた』　岩波少年文庫

○　もっと読んでみたい人のために

センダック　『かいじゅうたちのいるところ』　冨山房

吉本ばなな　『アムリタ』（上下)　新潮文庫（『なるほどの対話』：吉本さんとの対話）

ヴィーゼル　『夜』　みすず書房　９Ｆ
井筒俊彦　『イスラーム哲学の原像』　岩波新書：イスラームの考え方で心の階層が分けて書いてある。仏教の唯識論
カニグズバーグ　『ジョコンダ夫人の肖像』　岩波少年少女の本　：トリックスター

３．内なる異性
○　まず読んでほしい本
ギャリコ　『七つの人形の恋物語』　王国社
ゴッデン　『ねずみ女房』　福音館書店（人形の家）
夏目漱石　それから（武者小路の友情）（『門』）
シェイクスピア　ロミオとジュリエット　ちくま文庫
桑原博史　とりかへばや物語全訳注（１～４）　講談社学術文庫
（映画：　ほたるの星　深呼吸の必要）

○　もっと読んでみたい人のために
ユング　『内なる異性』　海鳴社
ガーネット　狐になった夫人　新潮文庫
ヘッセ　『荒野の狼』　（デミアン）
村上春樹　ねじまき鳥クロニカル（１部～３部）　新潮文庫　：魂が失われた
安部公房　『砂の女』

４．心ーおのれを超えるもの
○　まず読んでほしい本
ホワイト　『シャーロットのおくりもの』　あすなろ書房（宮沢賢治　フランドル農学校の豚）
ユング　『ユング自伝』　みすず書房：フロイトと別れたあと、統合失調症と同じ症状が出ている（１９２９年に「曼荼羅図形について」を発表）
大江健三郎　『人生の親戚』　（道草）
オットー　聖なるもの　創元社（岩波もあるが、これは索引、注もつけている）
上田・柳田　十牛図ー自己の現象学　ちくま学芸文庫：ユングも図形を使って自己実現の過程を表現（参考までに本書p.190に）
（リンドグレーンの『はるかな国の兄弟』）
○　もっと読んでみたい人のために
司修　『紅水仙』　講談社文庫
白洲正子　『明恵上人』　講談社文芸文庫
ジュニア編　『俺の心は大地とひとつだ』　めるくまーる
中沢新一　『対称性人類学』　講談社選書メチエ

茂木健一郎　『脳と仮想』　新潮社

『深層意識への道』河合隼雄(著)（グーテンベルグの森）の掲載書籍リスト

１．本を読むのは悪い子

２．西洋の香り

ケストナー　『点子ちゃんとアントン』
ロフティング　ドリトル先生航海記
デュマ　モンテ・クリスト泊：「待て、しかして希望せよ」がテーマ
ユーゴー　レ・ミゼラブル
シエンキーヴィッチ　『クオ・ヴァディス』（クオ・ワディス）：「神に至る道としての悪」（遠藤周作　スキャンダル）
ドイル　シャーロック・ホームズの冒険
夏目漱石　坊ちゃん、吾輩は猫である、草枕

３．ロマン主義

マイヤー=フェルスター　アルト=ハイデルベルク
ホフマン　黄金宝壺　（『黄金の壺』）：「青春の夢と遊び」にとりあげている。
ホフマン　牝猫ムルの人生観（上・下）：「猫だましい」にとりあげている
ヘッセ　デミアン：ユングの書いた「七つの語らい」が基礎になっている
ジイド　狭き門　法王庁の抜け穴
スティヴンスン　ジーキル博士とハイド氏：「コンプレックス」にとりあげている
ロスタン　『シラノ・ド・ベルジュラック』
夏目漱石　門　道草
小宮豊隆編　寺田寅彦随筆集
フロイド　精神分析入門
フロイド　夢判断
宮崎賢治　宮崎賢治詩集　『銀河鉄道の夜』　風の又三郎

４．教師から臨床家へ

パニョル　笑いについて
桑原武夫　文学入門
吉田洋一　零の発見
遠山啓　無限と連続
メリメ　マテオ・ファルコネ（エトルリヤの壺）
スタニスラフスキイ　俳優修行（６分冊）

ボオマルシェエ　フィガロの結婚
最初の就職した高校で週に１回、先生が集まって、勉強会。最初はフランス語。次に、順番にあたった人が推薦する本を読む。そのときのリスト。

５．ユング心理学

Frieda Fordham, An Introduction to Jung's Psychology, Penguin Books Ltd., 1953　フリーダ・フォーダム　ユング心理学入門
Ira Progoff, Jung's psychology and Its Social Meaning, Julian Press Inc., 1953.
C.G.Jung, Two Essays on Analytical Psychology, Pantheon Books, 1953 ユング　無意識の心理（自我と無意識の関係）：「ユング心理学入門」の下敷きにした本
Carl Alfred Meier, Jung and Analytical Psychology, Department of Psychology, Andover Newton Theological School, 1959.：薄い本。大学の講義録。
Rudolf Otto, The Idea of the Holly, Penguin Books Pty Ltd., 1959. ルドルフ・オットー　聖なるもの

６．異文化理解

Erich Neumann, The Great Mother: an analysis of the archetype, tr. fr. Ger. by Ralph Manheim, Routledge & Kegan Paul, 1955. エリッヒ・ノイマン　グレート・マザー　：欧米と日本は原理が違う
土井健郎　甘えの構造：土井さんはフロイト派の分析を受けている。
Daisetus Suzuki, Zen Buddhisim, Doubleday, 1956.
Mannual of Zen Boddhism, Rider and Company, 1950.
オイゲン・ヘリゲル述　日本の弓術
Marvin Spiegelman ＆　Mokusen　Miyuki, Buddhisum and Jungian Psychology, Falcon Press, 1985. マーヴィン・スピーゲルマン、目幸　仏教とユング心理学

７．チューリッヒのユング研究所

C.G. Jung, Collected Works of C. G. Jung, Pantheon Books. ユング著作集　日本教文集
Marie-Louise von Franz, An Introduction to the Psychology of Fairy Tales, Spring Publications, 1970. フォン・フランツ　おとぎ話の心理学
Laurence van der Post, A Bar of Shadow, The Hogarth Press, 1954. ヴァン・デル・ポスト　『影の獄にて』（ヴァン・デル・ポスト選集１）：「戦場のメリークリスマス」のもとになった本。作者はユングの友人で実際の話。
Paul Radin, Karl Kerenyi, C.G. Jung, The Trickster, Routldege & Kegan Paul, 1956. ポール・ラディン、カール・ケレーニイ、グスタフ　ユング　トリックスター

Romola Nijinsky, Nijinnsky, Penguin Books Pty Ltd. 1960. ロモラ・ニジンスキー　神との結婚
Emma Jung, Animas and Anima, The Analytical Psychology Club of New York, 1957.　ユング　『内なる異性』

８．意識と無意識

Erich Neumann, The Origins and History of Consciousness, Pantheon Books, 1954. エーリッヒ・ノイマン　意識の起源史（上・下）：西欧の自我は近代にできた。自我確立のプロセスは神話によるイメージで考えるとわかる。
C.G.Jung, Memories, Dreams, Reflections, Pantheon Books, 1961. C.G.ユング　『ユング自伝（１・２）』
C.G.Jung & Pauli, The interpretation of Nature and the Psyche, Pantheon Books, 1955. C.G.ユング、W.パウリ　『自然現象と心の構造ー非因果的連関の原理』：非常に不思議な偶然の一致。

９．箱庭と昔話

マックス・リューティ　昔話の本質
小澤俊夫編　日本人と民話
小澤俊夫　世界の民話ーひとと動物の結婚譚（参考　グリム童話完訳　7F児・昔話JS94ｸ1-2
谷川俊太郎、河合隼雄　魂にメスはいらない
河合　昔話の深層

１０．児童文学

ル＝グウィン　『ゲド戦記』：ユングの影や自己実現がうまく書いてある。
今江祥智　『ぼんぼん』
上野瞭　現代の児童文学
阪田寛夫　『桃次郎』
工藤直子　のはらうた（１～４）
長新太　ブタヤマさんたらブタヤマさん
佐野洋子　『わたしが妹だったとき』
灰谷健次郎　砂場の少年
いぬいとみこ　『木かげの家の小人たち』

１１．臨床の知
岩波の肝入りで「都市の会」で哲学者や文化人類学者が集まってイマージの話しをした。月１回集まって順番に話しをしてディスカッション。

中村雄二郎　哲学の現在　『魔女ランダ考』
山口昌男　『道化の民俗学』
市川浩　身の構造
多木浩二　目の隠喩
中村雄二郎　『臨床の知とは何か』
　：共著で「トポスの知」
村上陽一郎　近代科学を超えて
ヴィクター・ターナー　儀礼の過程
グッゲンヴュール＝クレイグ　心理療法の光と影

１２．東洋の知、西洋の知

遠藤周作　沈黙　：西洋の神を知りながら、日本人としてどう生きるか考えたひと。
「天地始之事」『キリシタン書』　日本思想大系２５　岩波：旧約聖書の創世記が隠れキリシタンの間で日本化してくる。
井筒俊彦　意識と本質ー精神的東洋を索めて：何度も読んだ。訳書「コーラン」
ダライ・ラマ　ダライ・ラマ、イエスを語る

１３．エラノス会議

ジルベール・デュラン　象徴の想像力
ミルチャ・エリアーデ　イメージとシンボル　生と再生ーイニシエーションの宗教的意義
ジェームズ・ヒルマン　自殺と魂　：soul makingが大事。
ジェームズ・ヒルマン　元型的心理学　：分ける考え方に反対するのが魂。
ヴォルフガング・ギーゲリッヒ　魂と歴史性：　魂の方から見た論理を考えぬいた人
デイヴィッド・ミラー　甦る神々　：プロテスタントの神学者による多神教の本。ヨーロッパでも個人は最近。commitなんて悪い意味が多い。
ロバート・ボスナック　クリストファーの夢ー生と死をみつめたHIV者の夢分析

１４．明恵の導き
白洲正子　『明恵上人』：上人は鎌倉時代の僧で夢のこと「夢の記」を書いた人。湯川秀樹の推薦。
白洲正子、河合隼雄　縁は異なもの
桑原博史　とりかへばや物語　全訳注
上田閑照　禅仏教ー根源的人間
井筒俊彦　コスモスとアンチコスモスー東洋哲学のために：華厳経を読む上で役立った。
井筒俊彦　意識の形而上学ー大乗起信論の哲学

１５．物語の意味

中村真一郎　『王朝物語』
坂部恵　『かたり』
トリシャ・グリーンハルほか　ナラティブ・ベイスト・メディスンー臨床における物語りと対話
村上春樹　ねじまき鳥クロニカル　：現代の物語だと思う。深層意識に降りていく。
「村上春樹、河合隼雄に会いにいく」

１６．日本神話の構造

読むときはノートを作らない。ほとんど忘れ、少しだけ覚えている。それを本に書く。
カール・ケレーニイ、C.G.ユング　神話学入門：　神話を現代に生きる物語として捉えている。
吉田敦彦　ギリシャ神話と日本神話ー比較神話学の試みⅠ
大林太良　神話の系譜ー日本神話の源流をさぐる
大林太良、吉田敦彦　世界の神話をどう読むか
ジョーゼフ・キャンベル、ビル・モイヤーズ　神話の力
N、クォールズ＝コルベット　聖娼
シルヴィア・ペレラ　神話にみる女性のイニシエーション
『神話と日本人の心』を書いた

『子どもに読んでほしい８４冊』東京新聞出版局(著)の掲載書籍リスト

Ⅰ．絵のちから、言葉のまほう

１．谷川俊太郎さんが選んだ３冊

人間家族　洲体験
ＡＢＣの本　安野光雄
よあけ　シュルヴィッツ

２．今江祥智

しろいくまとくすのき　川島誠
ちへいせんのみえるところ　長新太
草之丞の話　江國香織

３．ねじめ正一

１００まんびきのねこ　ガアグ
ことばあそびうた　谷川俊太郎
そらとぶカカシ　スズキコージ

４．長田弘

エマおばあちゃん　ケッセルマン
おもいでのクリスマスツリー　ヒューストン
満月をまって　レイ

５．横尾忠則

桃太郎　千葉幹夫
石童丸　五雨みな子
青銅の魔人　江戸川乱歩

６．工藤直子

詩ってなんだろう　谷川俊太郎

詩のこころを読む　茨木のり子
いろはかるた噺　森田誠吾

７．小野明

ちへいせんのみえるところ　長新太
ももたろう　川崎洋
おこちゃん　山本容子

Ⅱ．自然のふしぎ、地球のすてき

８．椎名誠

海のおばけオーリー　エッツ
もりのなか　エッツ
はなのすきなうし　リーフ

９．黒田杏子

ちきゅうのうた地球歳時記　日航財団
おにいちゃんがいてよかった　細谷亮太
里山を歩こう　今森光彦　岩波ジュニア新書

１０．石原良純

北風と太陽　立原えりか
空の名前　高橋健司
ＮＨＫ気象ハンドブック　NHK

１１．渡部潤一

『銀河鉄道の夜』　宮沢賢治
大望遠鏡「すばる」誕生物語　小平桂一
ほしがうたっている　寮美千子

１２．米村でんじろう

雪の写真家ベントレー　マーティン
燈火の歴史　イリン
物理学はなにをめざしているのか　有馬朗人

Ⅲ．子どものこころ、大人のおもい

１３．長新太

海の夏　伊藤秀男
かあさんのいす　ウィリアムズ
がちゃがちゃどんどん　元永定正

１４．岸田今日子

まど・みちお全詩集
年をとったワニの話　ショヴォー
ムギと王さま　ファージョン

１５．五味太郎

ふたりはともだち　ローベル
すてきな三にんぐみ　アンゲラー
キャベツくん　長新太

１６．大日向雅美

てぶくろをかいに　新美南吉
おおきな本　シルヴァスタ
花さき山　斎藤隆介

１７．高田真由子

サラダとまほうのおみせ　ストーン
はじめてのおつかい　筒井頼子
ぼくの見た戦争　高橋邦典

Ⅳ．命のおもみ、世界のみかた

１８．石川逸子

ガラスのうさぎ　高木敏子
空と風と星と詩　伊吹郷
おーいぽぽんた

１９．梨木香歩

ハテルマシキナ　桜井照間
あらしの前　ヨング
幽霊を見た１０の話　ピアス

２０．後藤健治

『１００万回生きたねこ』　佐野洋子
モモ　エンデ
ルドルフとイッパイアッテナ　斎藤洋

２１．沢野ひとし

桃源郷ものがたり　松居直
きつねのホイティ　ウエッタシンハ
あかねぬぐいのおくさんと７にんのなかま　ヨンギョン

２２．中村幸代

かたあしだちょうのエルフ　おのきがく
旅の絵本　安野光雄
さよならエルマおばあさん　大塚敦子

Ｖ．心のくすり、夢のちから

２３．赤木かん子

ぴちぴちカイサとクリスマスのひみつ　リンドグレーン
サンタ・クロースからの手紙　トールキン

なるほどクリスマス降誕劇　ロビンソン

２４．西村由紀江

スーホの白い馬　大塚勇三
『木を植えた男』　ジオノ
美しの里　葉祥明

２５．柳澤桂子

ドリトル先生航海記　ロフティング
あしながおじさん　ウェブスター
しろいうさぎとくろいうさぎ　ウイリアムズ

２６．桂歌助

『サンタクロースって　いるんでしょうか？』
じごくのそうべえ　たじまゆきひこ
びっくり仰天記

２７．谷山浩子

小川未明童話集　桑原三郎編　岩波文庫
むくどりのゆめ　浜田広介
いろおばいえる　たなかすみこ

２８．小谷美可子

いやだいやだの絵本　せなけいこ
ずーっとずっとだいすきだよ　ウィルヘル
サンタクロースのくるひ　西巻〇子

２９．日比野克彦

DREAMS AND CONFLICTS ベネチア・ビエンナーレのカタログ
デザインの解剖④　明治乳業・おいしい牛乳　佐藤卓
強く生きる言葉　岡本太郎

『子どもの本を読む』河合隼雄(著)の掲載書籍リスト

１．エーリヒ・ケストナー　飛ぶ教室
　新任教師が読むのにうってつけ。
　当時、ヒットラーが政権をとり、ケストナーの著作は出版禁止になり、これが最後となった。
（参考　高橋健二　ケストナーの生涯）

２．フィリパ・ピアス　まぼろしの小さい犬
　まばろし（ファンタジー）がいかに大切かを極めてリアリスティックに描き出した稀有の作品

３．J・ロビンソン　思い出のマーニー　岩波少年文庫
　やる気のない子の癒しの道

４．今江祥智　『ぼんぼん』　兄貴　おれたちのおふくろ（３部作）

５．ペーター・ヘルトリング　ヒルベルという子がいた
　ドイツ語で、ヒルンは脳とか知能、ヴィルベルは渦とか混乱。だから、ヒルベル少年の脳には渦が巻いている。

６．A・リンドグレーン　長くつ下のピッピ　ピッピ船にのる　ピッピ南の島へ（３部作）
　恵まれた子。「あしながおじさん」がきっかけ

７．ルーマー・ゴッデン　『ねずみ女房』

８．長新太　つみつみニャー、ごろごろ　にゃーん、おなら、ぼくのくれよん
　非日常空間を描くことにかけては稀有の才能

９．佐野洋子　『わたしが妹だったとき』
　女の子にとっての兄の存在

『弾言　成功する人生とバランスシートの使い方』小飼弾、山路達也(著)の掲載書籍リスト

ブックガイド

第１章　ヒト　part1

吉越浩一郎　『「残業ゼロ」の人生力』　日本能率協会
大竹文雄　『格差と希望　誰が損をしているのか？』　筑摩書房
畑村洋太郎　『数に強くなる』　岩波書店
岡野雅行　『学校の勉強だけではメシは食えない！』　こう書房
日垣隆　『ラクをしないと成果は出ない』　大和書房

第２章　カネ

岩谷誠治　『国語　算数　理科』　日本経済新聞社
石川淳一、松本武洋　会計のルールはこの３つしかない　洋泉社
門倉貴史　統計数字を疑う　なぜ実感とズレるのか？　光文社
宮崎勇、本庄真　日本経済図説第三版　岩波書店

第３章　ヒト　part2

勝間和代　『勝間式「利益の方程式」』　東洋経済新報社
増田直紀、今野紀雄　『「複雑ネットワーク」とは何か』　講談社
藤沢晃治　頭のいい段取りの技術　日本実業出版社
青野慶久　『ちょいデキ！』　文藝春秋

第４章　モノ

本川達雄　『ゾウの時間　ネズミの時間』　中央公論社
青木秀和　『「お金」崩壊』　集英社
ダイアモンド　『文明崩壊』（上・下）　草思社
ロンボルグ　『地球と一緒に頭も冷やせ！温暖化問題を問い直す』　ソフトバンククリエイティブ

『多読術』松岡正剛(著)(ちくまプリマー新書)の掲載書籍リスト

読むための準備（コース）

ヘルマン・ワイル『数学と自然科学の哲学』
→　ティマイオス　→　国家

読書の方法
　本はノート（マーキングする）
　著者のモデルを見極める
　マッピングで本を整理する（年表をつくる。項目ごとの引用のノートをつくる。）

参考にした読書法
　書物を少し読んだら内容を頭の中でトレースする
　読んだ内容を他人に提供する

キーブック
　薦められた本を読む（『時の声』、『結晶世界』、火星年代記、漢字、空海、三浦梅園、ライプニッツ）
　キーブック（『忘れられた日本人』、デミアン、知の考古学、『塩の道』）
　（日本社会・日本文化：『忘れられた日本人』、古代研究、『日本の歴史をよみなおす』）
（魔笛が聞こえる系譜：デミアン、）
（知の考古学、言葉と物）
（全宇宙誌では、キーブックは２００冊、情報の歴史では、１０００冊くらい）
　（イスラム世界：餃子ロード、神・泥・人）
　ブックガイド（千夜千冊、『読みなおす一冊』、岩波文庫の赤帯を読む、耽美小説・ゲイ文学ブックガイド、『新書365冊』、自由国民社の名著シリーズ、岩波の海外文学案内シリーズ、幻想文学１５００ブックガイド、打ちのめされるようなすごい小説、百禁書

ツール
　読むとき：字統、日本語を考えるとき：字訓、漢字を調べるとき：字通
　シソーラス：ロジエ
　年表と地図
　本の図解地図をコピペする（問題別の図解集をつくる）
　歳時記、理科年表、図鑑、三省堂コンサイス外国人名事典、コンサイス日本人名事典
　用語集（術語集）

アドラーとドーレンの『本を読む本』

『読まずに死ねない厳選１００冊の本』日垣隆(著)の掲載書籍リスト

１．大崎善生　聖の青春
２．山崎朋子　サンダカン八番娼館
３．森崎和江　からゆきさん
４．ヘミングウェイ　福田訳　老人と海　新潮文庫（解説が必読）
５．デフォー　ロビンソン・クルーソー　岩波少年文庫
６．湯本香樹実　『夏の庭』
７．村上春樹　走ることについて語るときに僕の語ること（体を鍛える）
８．リリー・フランキー　ボロボロになった人へ
９．筒井康隆　『農協月に行く』
１０．小池真理子　恋
１１．山田詠美　『ぼくは勉強ができない』
１２．リチャード・ドーキンス　『利己的な遺伝子』
１３．アレックス・ヘイリー　ルーツ
１４．灰谷健次郎　『兎の眼』
１５．エーリッヒ・ショイルマン　『パパラギ』
１６．藤子不二雄　まんが道（１４巻）
１７．西加奈子　『さくら』
１８．小池田マヤ　聖☆高校生（１１巻）　少年画報社
１９．黒沼克史　少年にわが子を殺された親たち
２０．吉岡忍　『日本人ごっこ』
２１．重信メイ　『秘密』
２２．井上靖　あすなろ物語
２３．速水栄　うれしなつかし修学旅行
２４．椎名誠　『岳物語』（正・続）
２５．清水義範　『国語入試問題必勝法』
２６．宮崎市定　科挙　中公新書
２７．和田秀樹　受験は要領
２８。加藤秀俊　独学のすすめ
２９．梨元勝　噂を学ぶ
３０．中村うさぎ　芸のためなら亭主も泣かす
３１．中島義道　うるさい日本の私
３２．松浦元男　先着順採用、会議自由参加で世界一の小企業をつくった
３３．岡野雅行　俺が、つくる！
３４．堀江貴文　１００億稼ぐ仕事術
３５．カーネギー　人を動かす

３６．プラハラード　ネクスト・マーケット
３７．安田桂生　千円札は拾うな。
３８．藤原章生　『絵はがきにされた少年』
３９．二宮清純　スポーツを「視る」技術　講談社現代新書
４０．吾妻ひでお　失踪日記
４１．西沢潤一　独創は闘いにあり
４２．谷川浩司　集中力
４３．羽生善治　決断力
４４．小関智弘　働くことは生きること　講談社現代新書
４５．竹川英幸　帰り道は遠かった
４６．宮崎俊輔　北朝鮮大脱出地獄からの生還
４７．藤原てい　『流れる星は生きている』
４８．高橋幸春　カリブ海の「楽園」
４０．重松一義　死刑制度必要論
５０．唐津一　ビジネス難問の解き方　ＰＨＰ新書
５１．岡田哲　とんかつの誕生
５２．福原直樹　黒いスイス　新潮新書
５３．ギロビッチ　人間　この信じやすきもの　新曜社認知科学選書
５４．梅崎義人　動物保護運動の虚像
５５．ブロックマン　『２０００年間で最大の発明は何か』
５６．池谷裕二　記憶力を強くする　講談社ブルーバックス
５７．竹内均　科学的思考とは何か
５８．キンブレル　すばらしい人間部品産業
５９．岡田節人　生命科学の現場から
６０．松本元　愛は脳を活性化する
６１．ビショップ　遺伝子の狩人
６２．本川達雄　『ゾウの時間　ネズミの時間』
６３．鈴木忠　『クマムシ?!　小さな怪物』　岩波科学ライブラリー
６４．浅田次郎　蒼穹の昴
６５．張伸〇　最後の宦官　小徳張
６６．斎藤惇夫　冒険者たち　ガンバとカワウソの冒険　グリックの冒険
６７．太宰治　走れメロス
６８．プラトン　饗宴（ロジカルシンキングを鍛えるために）　岩波文庫
６９．内田樹　『先生はえらい』
７０．ウェブスター　あしながおじさん　福音館文庫
７１．藤森栄一　心の灯
７２．山際淳司　『スローカーブを、もう一球』

７３．辺見庸　『もの食う人びと』
７４．宮本輝　錦繍
７５．藤沢周平　用心棒日月抄
７６．立花隆　『宇宙からの帰還』
７７．佐藤忠男　論文をどう書くか　講談社現代新書
７８．司馬遼太郎全講演（５巻　朝日文庫）
７９．ツルゲーネフ　神西清訳　はつ恋　新潮文庫
８０．シュトルム　高橋義孝訳　みずうみ　新潮文庫
８１．森博嗣　封印再度
８２．カッスラー　タイタニックを引き揚げろ
８３．フォーサイス　ジャッカルの日
８４．クランシー　レッド・オクトーバーを追え
８５．セイント　高見浩訳　透明人間の告白
８６．カッツ　恐怖の誕生パーティ
８７．ネイハム　シャドー８１　新潮文庫
８８．アーチャー　百万ドルをとり返せ！
８９．ライアル　深夜プラス１　ハヤカワ・ミステリ文庫
９０．栗本薫　ぼくらの時代
９１．チャンドラー　さらば愛しき女よ
９２．宮崎駿　風の谷のナウシカ（７巻）　徳間書店
９３．島田洋七　佐賀のがばいばあちゃん
９４．宮部みゆき　火車
９５．野村潤一郎　ソロモンと奇妙な患者たち
９６．千石正一　最後のゾウガメを探しに
９７．キイス　小尾芙佐訳　アルジャーノンに花束を　早川書房
９８．東野圭吾　容疑者ｘの献身
９９．夢をつかむイチロー２６２のメッセージ
１００．ショウペンハウエル　読書について　岩波文庫

『経済学　名著と現代』日本経済新聞社(編)の掲載書籍リスト

第１部　文明論の視点

第１章　福沢諭吉　文明論之概略　北岡伸一

（ブックガイド）

北岡伸一　独立自尊　福沢諭吉の挑戦
飯田鼎　福沢諭吉　中公新書
丸山真男　文明論之概略を読む（３巻）　岩波新書
中島岑夫　幕臣福沢諭吉
坂本多加雄　市場・道徳・秩序

第２章　F・ブローデル　地中海　川勝平太

アンリ・ピレンヌ（「マホメットとシャルルマーニュ」）とともに、２０世紀最高の歴史家

（ブックガイド）

ウォーラーステイン他　地中海を読む
同　海から見た歴史
川勝平太　文明の海洋史観
浜下武志ほか　海と資本主義
同　アジア交易圏と日本工業化 1500-1900

第３章　ヒックス　経済史の理論　宮本又郎

（ブックガイド）

ヒックス　経済学の思考法
井上義明　「後期」ヒックス研究
ポラニー　大転換

第４章　ガルブレイス　ゆたかな社会　佐和隆光

（ブックガイド）

ガルブレイス　ゆたかな社会　（決定版）　岩波現代文庫
同　新しい産業国家
同　悪意なき欺瞞
同　ガルブレイスわが人生を語る

第２部　思想の広がり

第５章　ハイエク　自由の条件　竹森俊平

（ブックガイド）
ハイエク　自由の条件　ー　自由の価値
同　自由の条件　ー　自由と法
クレスゲほか　ハイエク、ハイエクを語る

第６章　トクヴィル　アメリカのデモクラシー　猪木武徳

（ブックガイド）

ネン＝ウッター　トクヴィル　文庫クセジュ
トクヴィル　アメリカにおけるデモクラシー
同　旧体制と大革命

第７章　ウェーバー　プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神　岡崎哲二

ウェーバー　宗教社会学論選
大塚久雄　社会科学における人間　岩波新書
岡崎哲二　コア・テキスト経済史

第８章　ヒューム　人性論　松井彰彦

（ブックガイド）

ドゥルーズほか　ヒューム　ちくま学芸文庫
ヒューム　人性論　岩波文庫
同　ヒューム政治経済論集
同　宗教の自然史

松井彰彦　人間の科学としての経済学　（「学問の扉」所収）

第９章　マルサス　人口論　斎藤修

（ブックガイド）

マルサス　人間論（初版）　中公文庫
同　人間の原理（第六版）　中央大学
河野稠果　世界の人口（第二版）　東京大学出版会

第１０章　ミル　自由論　杉原薫

（ブックガイド）

ミル　自由論　光文社古典新訳
バーリン　自由論
グレイほか　ミル「自由論」再読
杉原四郎　杉原四郎著作集Ⅱ　自由と進歩　Ｊ・Ｓ・ミル研究
ロールズ　万民の法

第３部　経済理論の発展

第１１章　アダム・スミス　国富論　堂目卓生

（ブックガイド）

アダム・スミス　道徳感情論
同　国富論　日本経済新聞社
ロス　アダム・スミス伝
水田洋　アダム・スミス
田中秀夫　原点探訪　アダム・スミスの足跡

第１２章　マーシャル　経済学原理　林敏彦

（ブックガイド）

伊藤宣広　現代経済学の誕生　ケンブリッジ学派の系譜

ケインズ　人物評伝　ケインズ全集（１０巻）
林敏彦ほか　市民と社会を知るために　名著に触れよう　放送大学
Peter Groenewegenほか　Alfred Marshall 1842-1924, Edward Elgar, 1995

第１３章　ケインズ　雇用・利子および貨幣の一般理論　小野善康

（ブックガイド）

カーン　ケインズ「一般理論」の形成
斎藤誠　新しいマクロ経済学　［新版］
小野善康　不況のメカニズム　中公新書
伊東光晴　現代に生きるケインズ　岩波新書
平井俊顕　ケインズ１００の名言

第１４章　シュンペーター　経済発展の理論　今井賢一

（ブックガイド）

シュムペーター　経済発展の理論（２冊）　岩波
シュンペーター　経済分析の歴史（３冊）　岩波
シュムペーター　新装版　資本主義・社会主義・民主主義（３冊）　岩波
伊東光晴ほか　シュンペーター　岩波
都留重人　近代経済学の群像　岩波

第１５章　ブナキャン、タロック　公共選択の理論　土居丈朗

（ブックガイド）

加藤寛編　入門公共選択
ミューラー　公共選択
同　ハンドブック　公共選択の展望（３巻）
井堀利宏ほか　日本政治の経済分析
ディキシット　経済政策の政治経済学

第１６章　ゲイリー・ベッカー　人的資本　清家篤

（ブックガイド）

ベッカー　人的資本
同ほか　ベッカー教授の経済学ではこう考える
清家篤　労働経済

第４部　経営学への進展

第１７章　ドラッカー　断絶の時代　伊藤邦雄

（ブックガイド）

ドラッカー　現代の経営、イノベーションと起業家精神、ポスト資本主義社会、断絶の時代

第１８章　Ｈ・サイモン　経営行動　野中郁次郎

（ブックガイド）

サイモン　システムの科学
同　学者人生のモデル

北海道を知る１００冊の掲載書籍リスト

001 佐江衆一 著『北海道人』
002 武光誠 著『県民性の日本地図』
003 写真集『北海道的原風景』
004 増田彰久 著『近代化遺産を歩く』
005 串田孫一 著『北海道の旅』
006 日本経済新聞社 編『北海道IT革命』
007 ドウス昌代 著『イサムノグチ』
008 司馬遼太郎 著『菜の花の沖』
009 S.ヘレロ 著『ベア・アタックス　クマはなぜ人を襲うか』
010 札幌市教育委員会 編『札幌人気質』
011 毛利衛・林公代 著『果てしない宇宙のなかで思う未来のこと』
012 北海道近代建築研究会 編『旭川と道北の建築探訪』
013 一原有徳著『メビウスの丘』
014 花房葉子 著『カムイブロートの食卓』
015 野呂希一 撮影『北国の桜』
016 石井進 著『日本の中世1　中世のかたち』
017 はた万次郎 著『ウッシーとの日々』１～７
018 関口和一 著『パソコン革命の旗手たち』
019 姉崎　等 著『クマにあったらどうするか』
020 松浦誠 著『スズメバチを食べる―昆虫食文化を訪ねて』
021 編集委員会 編『聞き書　北海道の食事』
022 北海道新聞社 編『アルテピアッツァ美唄―安田侃の芸術広場』
023 高村　薫 著『晴子情歌』上・下
024 坪井義明・長谷川岳 著『YOSAKOIソーラン祭り』
025 北海道新聞社 編『北へ―異色人物伝』
026 知里真志保 編・訳『アイヌ民譚集』
027 松田忠徳 著『温泉教授の日本全国温泉ガイド』
028 深田久弥 著『日本百名山』
029 編集委員会 編『サッポロバレースピリット』
030 北海道新聞社 編『発信　北の食材』
031 辻　仁成 著『クラウディ』
032 オキ 演奏『ノーワンズ・ランド』
033 東　直己 著『探偵はバーにいる』
034 秋月俊幸 著『日本北辺の探検と地図の歴史』
035 伊藤和明 著『地震と噴火の日本史』

036 蜂谷　涼 著『ちぎり屋』
037 冨田きよむ 著『農家のインターネット産直』
038 新渡戸稲造 著『武士道』
039 『北海道いい旅研究室Remix2』
040 ＳＴＶラジオ 編『ほっかいどう百年物語』正・続
041 アイヌ民族博物館 監修『アイヌ文化の基礎知識』
042 渡辺保史 著『情報デザイン入門』
043 佐々木譲 著『冒険者カストロ』
044 藤本英夫 著『知里幸恵　十七歳のウエペケレ』
045 大沼盛男 編著『北海道産業史』
046 有島武郎 著『小さき者へ・生まれいずる悩み』
047 海保嶺夫 著『エゾの歴史』
048 『大野一雄　石狩の鼻曲り』
049 貫田桂一 著『北の料理人２』
050 安彦良和 著『王道の狗』全６巻
051 宮脇　淳 著『北海道経済の戦略と戦術』
052 萱野　茂 著『アイヌ歳時記　二風谷のくらしと心』
053 永井　徹 著写真集『ヌウ』
054 イザベラ・バード 著『日本奥地紀行』
055 竹田津実 著『野生からの伝言』
056 斉藤道雄 著『悩む力　べてるの家の人びと』
057 谷　譲次 著『踊る地平線』上・下
058 金本太中 著『脱　私の経営　私の人生』
059 渡辺一史 著『こんな夜更けにバナナかよ』
060 江原光太 著『北極の一角獣』
061 札幌LRTの会　編『札幌市電が走った街　今昔』
062 榎森　進　編『アイヌの歴史と文化１』
063 下山光雄　著『さくら貝の歌　八洲秀章の生涯』
064 河井大輔　写真・文『北海道の森と湿原をあるく』
065 開高　健　著『私の釣魚大全』
066 たかはしみき　著『こげぱん　北海道ぶらり旅日記』
067 赤池　学　著『ローテクの最先端は実はハイテクよりずっとスゴイんです』
068 馳　星周　著『雪月夜』
069 『イーストサイド』
070 今福龍太　著『クレオール主義』
071 藤澤和雄　著『競走馬私論』
072 小河修子　著『フォトジャーナリスト　吉田ルイ子』

073 樋口雅山房　著『書楽　雅山房の書作』
074 吉村　昭　著『羆嵐』
075 佐藤亮一　監修『方言の地図帳』
076 堀　達也　語り『北海道知事という仕事』
077 『北の発言』
078 子母澤　寛　著『新選組始末記』
079 釧路市地域史料室　編『写真絵葉書で見る　遠い日のくしろ』
080 立松和平　著『半島』
081 沢木耕太郎　著『沢木耕太郎ノンフィクション4 オン・ザ・ボーダー』
082 松原　仁　著『鉄腕アトムは実現できるか？』
083 『女性史研究ほっかいどう』
084 大崎善生　著『聖の青春』
085 小檜山博　著『出刃』
086 池澤夏樹　著『静かな大地』
087 『北海道かるた　方言編』
088 司馬遼太郎　著『街道をゆく38　オホーツク街道』
089 新穂栄蔵　著『ストーブ博物館』
090 『faura』
091 村上春樹　著『羊をめぐる冒険』上・下
092 井内佳津恵　著『田上義也と札幌モダニズム』
093 きらん出版会　編・刊『きらん　魅惑の室蘭・胆振ガイド』
094 斉藤征義　著『宇宙船売却』
095 三國清三　著『料理の哲学』
096 小林英樹　著『色彩浴』
097 石川啄木　著『啄木歌集』
098 村上　龍　著『希望の国のエクソダス』
099 永倉新八　著『新撰組顛末記』
100 佐藤正午　著『象を洗う』

日本を知る１００冊の掲載書籍リスト

古代篇

1. 日本人はどこからきたか―新・日本人起源論の試み　植原和郎　小学館
2. ＤＮＡ人類進化学　宝来聰　岩波書店
3. ＤＮＡから見た日本人　斉藤成也　ちくま新書
4. 縄文論争　藤尾慎一郎　講談社選書メチエ
5. 日本の伝統　岡本太郎　知恵の森文庫
6. 弥生時代はどう変わるか　炭素14年代と新しい古代像を求めて　広瀬和雄　学生社
7. 稲の日本史　佐藤洋一郎　角川選書
8. 騎馬民族国家―日本古代史へのアプローチ　江上波夫　中公新書
9. 騎馬民族は来なかった　佐藤真　ＮＨＫブックス
10. 古墳とヤマト政権―古代国家はいかに形成されたか　白石太一郎　文春新書
11. 王権誕生(日本の歴史02)　寺沢薫　講談社
12. 古代日本の「地域王国」と「ヤマト王国」　上下　門脇禎二　学生社
13. 東アジアの動乱と倭国(戦争の日本史1)　森公章　吉川弘文館
14. 口語訳古事記　三浦裕之　文春文庫
15. 日本の歴史(1)　井上光貞　中公文庫
16. 日本の誕生　吉田孝　岩波新書
17. 歴史のなかの天皇　吉田孝　岩波新書
18. 列島創世記　松本武彦　小学館
19. 美貌の女帝　永井路子　文春文庫
20. 壬申の乱　直樹孝次郎　塙選書
21. 木簡の社会史―天平人の日常生活　鬼頭清明　講談社学術文庫
22. 古代史の基礎知識　吉村武彦　角川選書
23. 平安朝の母と子―貴族と庶民の家族生活史　服藤早苗　中公新書
24. 天平の時代(日本の歴史4)　栄原永遠男　集英社
25. 地獄篇・偸盗　芥川龍之介　新潮文庫

中世篇

26. 院政―もうひとつの天皇制　美川圭　中公新書
27. 鎌倉幕府(日本の歴史7)　石井進　中公文庫
28. (日本の歴史12)中世武士団　石井進　小学館
29. 日本の歴史をよみなおす(全)　網野善彦　ちくま学芸文庫
30. 東と西の語る日本の歴史　網野善彦　講談社学術文庫

31. 無縁・公界・楽ー日本中世の自由と平和　網野善彦　平凡社ライブラリー
32. 姿としぐさの中世史ー絵図と絵巻の風景から　黒田日出男　平凡社ライブラリー
33. 生活感覚と社会(日本の社会史8)　黒田日出男ほか　岩波書店
34. 法と言葉の中世史　笠松宏至　平凡社ライブラリー
35. 南北朝の動乱(日本の歴史9)　佐藤進一　中公文庫
36. 太平記(新編日本古典文学全集54-57　小学館
37. 一揆　勝俣鎮夫　岩波新書
38. 武家と天皇ー王権をめぐる相克　今谷明　岩波新書
39. 戦国期の室町幕府　今谷明　講談社学術文庫
40. 北条政子　永井路子　文春文庫
41. 西行花伝　辻邦生　新潮文庫
42. 完訳フロイス日本史(1)-(12)　ルイス・フロイス　中公文庫
43. ヨーロッパ文化と日本文化　ルイス・フロイス　岩波文庫
44. 刀狩りー武器を封印した民衆　藤木久志　岩波新書
45. 戦国の村を行く　藤木久志　朝日選書
46. 天と地と　上中下　海音寺潮五郎　文春文庫
47. 一夢庵風流記　隆慶一郎　集英社文庫

近世篇

48. 武士道と日本型能力主義　笠谷和比古　新潮選書
49. 生きることの近代史　人命環境の歴史から　塚本学　平凡社選書
50. 生類をめぐる政治ー元禄のフォークロア　塚本学　平凡社ライブラリー
51. 日本近世の起源ー戦国乱世から独川の平和へ　渡辺京二　弓立社
52. 逝きし世の面影　渡辺京二　平凡社ライブラリー
53. 江戸お留守居役の日記ー寛永期の萩藩邸　山本博文　講談社学術文庫
54. 元禄御畳奉行の日記ー尾張藩士の見た浮世　坂上次郎　中公新書
55. 殿様の通信簿　磯田道史　朝日新聞社
56. 武士の家計簿ー「加賀藩御算用者」の幕末維新　磯田道史　新潮新書
57. 帳箱の中の江戸時代史　上下　田中圭一　　刀水書房
58. 歴史人口学の世界　速水融　岩波セミナーブックス
59. 江戸時代とはなにかー日本史上の近世と近代　尾籐正英　岩波現代文庫
60. かたき討ちー復讐の作法　氏家幹人　中公新書
61. 江戸の想像力　田中優子　ちくま学芸文庫
62. 江戸の刑罰　石井良助　中公新書
63. 武士道　新渡戸稲造　岩波文庫
64. 山岡鉄舟の武士道　勝部真長　角川ソフィア文庫

65. 新編・オランダ正月　森銑三　岩波文庫
66. 鉄砲を捨てた日本人ー日本史に学ぶ軍縮　ノエル・ペリン　中公文庫
67. 近世日本と東アジア　荒野泰典　東京大学出版会
68. 阿部一族　森鴎外　新潮文庫
69. 忠直卿行状記　菊池寛　岩波文庫
70. 月宮の人　上下　杉本苑子　朝日文庫
71. 名君の碑ー保坂正之の生涯　中村彰彦　文春文庫
72. 大名廃絶録　南條範夫　文春文庫
73. 漆の実のみのる国　上下　藤沢周平　文春文庫
74. 悪党芭蕉　嵐山光三郎　新潮社
75. おろしや国粋夢譚　井上靖　文春文庫
76. 桜田門外の変　上下　吉村昭　新潮文庫
77. 龍馬の手紙　宮地佐一郎　講談社学術文庫
78. 新撰組始末記　子母沢寛　中公文庫
79. 新撰組顛末記　永倉新八　新人物往来社

近代篇

80. 明治維新　遠山茂樹　岩波現代文庫
81. 近世日本国民史　徳富蘇峰　講談社学術文庫
82. 防長回天史(1)-(13) 末松謙澄　マツノ書店
83. 昔夢会筆記ー徳川慶喜公回想談　渋沢栄一　東洋文庫
84. 新訂・富翁自伝　福沢諭吉　岩波文庫
85. 大隈伯借日譚(1)(2)　東京大学出版会
86. 花神　上中下　司馬遼太郎　新潮文庫
87. 西郷隆盛　(1)-(9) 海音寺朝五郎　朝日新聞社
88. 勝海舟(1)-(6)　子母沢寛　新潮文庫
89. アメリカにおける秋山真之　上下　島田謹二　朝日選書
90. 秋山真之戦術論集　戸高一成　中央公論新社
91. 坂の上の雲(1)-(8)　司馬遼太郎　文春文庫
92. 戦艦武蔵　吉村昭　新潮文庫
93. 私の手が語る　本田宗一郎　グラフ社

日本人論

94. 冠婚葬祭　宮田登　岩波新書
95. 忘れられた日本人　宮本常一　岩波文庫

96. 代表的日本人　内村鑑三　岩波文庫
97. 茶の本　岡倉天心　講談社学術文庫
98. 「世間」とは何か　阿部謹也　講談社現代新書
99. 「日本人論」再考　船曳建夫　ＮＨＫ出版
100. 手堀り日本史　司馬遼太郎　集英社文庫

美術館を考える１００冊プラスの掲載書籍リスト

このブックリストは美術館の機能・運営・歴史を考えるうえで参考になる書物100冊を初版刊行年順に掲げてある。

今後も新たに書物を追加していきたいと考え、タイトルを「美術館を考える100冊プラス」とした。

ニコラス・ペヴスナー『モダン・デザインの展開――モリスからグロピウスまで』（白石博三訳、みすず書房、1957）
美術史的アプローチを確立したデザイン史の古典。
後のデザイン展にも大きな影響。

アンドレ・マルロー『空想の美術館』（小松清訳、新潮社、1957）
写真が可能にする全世界芸術の伝統！
複製芸術の時代に必然的に問われた美術館論の名著中の名著。

土方定一『画家と画商と蒐集家』（岩波新書、1963）
日本初のモダンアート・ミュージアム館長による一冊。
以後多くの美術館運営に影響を与えた「カマキン方式」とは？

クレメント・グリーンバーグ『近代芸術と文化』（瀬木慎一訳、紀伊國屋書店、1965）
フォーマリスム批評の基本文献。
特に「アヴァンギャルドとキッチュ」が重要。

ル・コルビュジエ『今日の装飾芸術』（前川國男訳、SD選書、1966）
無限発展の美術館「ムンダネウム」とは？――
美術館史にも多大な足跡を残した、20世紀最大の建築家の代表作。

磯崎新『空間へ――根源へと遡行する思考』（美術出版社、1971／復刻版＝鹿島出版会、1997）▼『造物主義論（デミウルゴモルフィズム）』（1996）参照

ミシェル・フーコー『言葉と物――人文科学の考古学』（渡辺一民＋佐々木明訳、新潮社、1974）▼『これはパイプではない』（1986）参照

磯崎新『建築の解体――1968年の建築情況』（美術出版社、1975／復刻版＝鹿島出版会、1997）▼『造物主義論（デミウルゴモルフィズム）』（1996）参照

レイナー・バンハム『第一機械時代の理論とデザイン』
（石原達二訳、鹿島出版会、1976）
「未来派」や「デ・ステイル」の機械美の解釈は、後の「マシーン・エイジ」の再解釈にも大きな影響。

ロバート・ヴェンチューリほか『ラスベガス』（石井和紘＋伊藤公文訳、SD選書、1978）▼『建築の多様性と対立性』（1982）参照

針生一郎『戦後美術盛衰史』（東京書籍、1979）
長年戦後美術の第一線に関わってきた批評家による通史の試み。
美術館がほとんど存在しなかった終戦直後の記述は現在とは隔世の感。

マリオ・プラーツ『記憶の女神ムネモシュネ――文学と美術の相関関係』（前川祐一訳、美術出版社、1979／新版）

『ムネモシュネ――文学と視覚芸術との間の平行現象』高山宏訳、ありな書房、1999）
記憶論の古典。
絶版久しかった名著が、新訳によって待望の復刊。

梅棹忠夫編『博物館と美術館――館長対談』（中公新書、1981）
独自の分類思考によって知られる著者の美術館論。
IT時代の分類収集思想を先取りした書。

長谷川栄『これからの美術館』（鹿島出版会、1982）▼『新しいソフト・ミュージアム』（1997）参照

ロバート・ヴェンチューリ『建築の多様性と対立性』（伊藤公文訳、SD選書、1982）
ポストモダン都市論の先駆。
パブリックアートの成立という観点からも重要な一冊。

ポール・ヴァレリー「博物館の問題」『ヴァレリー全集』第10巻（渡辺一夫＋佐々木明訳、筑摩書房、1983）
美術館嫌悪とは何か？――戦後世界美術の問題をはるかに先取りした画期的論考。

エル・リシツキー『革命と建築』（阿部公正訳、彰国社、1983）
ロシア革命は美術館史にとっても重要な出来事だった――トロツキーの『文学と革命』とあわせ

読まれるべき一冊。

赤瀬川原平『東京ミキサー計画――ハイレッド・センター直接行動の記録』（PARCO出版局、1984／ちくま文庫、1994）
▼『超芸術トマソン』（1985）参照

トム・ウルフ『現代美術コテンパン』（高島平吾訳、晶文社、1984）
アートシーンに精通した辛口ジャーナリストの毒舌が冴える一冊。
裏返しの愛情から、今日の美術の問題を感じ取れ！

赤瀬川原平『超芸術トマソン』（白夜書房、1985／ちくま文庫、1987）
60年代のハイレッドセンターの軌跡。
都市と美術の関係とはいかに？

テオドール・W・アドルノ『美の理論』（大久保健治訳、河出書房新社、1985／第3版＝1989）▼『プリズメン』（1996）参照

マンフレッド・タフーリ『建築のテオリア――あるいは史的空間の回復』（八束はじめ訳、PARCO出版、1985）
「建築」というイデオロギーをモダニズムの立場から説いた意欲作。
美術館論にとっても多大な示唆がある。

シャルル・ボードレール「1846年のサロン」『ボードレール全集』第5巻（阿部良雄訳、筑摩書房、1985）
美術批評は詩人の印象批評から始まった――19世紀パリの「サロン」論は美術館論の先駆でもある！

岡倉天心『東洋の理想』（講談社学術文庫、1986）
「美術」とは何か？――イデオロギーとしての「美術」を概説した古典中の古典。

千葉成夫『現代美術逸脱史――1945～1985』（晶文社、1986）
「逸脱史」をうたいつつも、戦後日本美術の重要な動向を、展覧会との並行関係で網羅した好著。

ミシェル・フーコー『これはパイプではない』（豊崎光一＋清水正訳、哲学書房、1986）
分類と収集――美術館の基本思想を準備した啓蒙思想の核は、
この著者の議論抜きに語れない。

ハル・フォスター編『反美学――ポストモダンの諸相』（室井尚＋吉岡洋訳、勁草書房、1987／新装版＝1998）
80年代を代表するポストモダニズム宣言書。
特にダグラス・クリンプの「美術館の廃墟に」が必読。

マーシャル・マクルーハン『メディア論――人間の拡張の諸相』（栗原裕＋河本仲聖訳、みすず書房、1987）
言わずと知れたメディア論の古典。
美術館もまた、身体を拡張させる装置のひとつだ。

北澤憲昭『眼の神殿――「美術」受容史ノート』（美術出版社、1989）▼『境界の美術史』（2000）参照

『季刊都市――ポスト・ポストモダン都市』（浅田彰ほか編、都市デザイン研究所、1989）

ピエール・ブルデュー『ディスタンクシオン――社会的判断力批判』I・II（石井洋二郎訳、藤原書店、1990）▼『美術愛好』（1994）参照

Rosalind Kraus,"Cultural Logic ofLate Capitalism Museum",October No.54,1990
あのロザリンド・クラウスのポストモダニズム美術館論。
このタイトルは、フレドリック・ジェイムソンの名著
Cultural Logic of Late Capitalism のパロディか？

Stephen Weil,Rethinking the Museum and Other Mediations,Smithonian Institute Press, 1990
美術館とほかの媒体を比較検討したメディアとしての美術館論。

伊藤俊治『機械美術論――もうひとつの20世紀美術史』（岩波書店、1991）▼『トランス・シティ・ファイル』（1993）参照

椹木野衣『シミュレーショニズム――ハウス・ミュージックと盗用芸術』（洋泉社、1991／河出文庫、1994）▼『日本・現代・美術』（1998）参照

港千尋『群衆論――20世紀ピクチャー・セオリー』（リブロポート、1991）▼『記憶』（1996）参照

マーク・ポスター『情報様式論――ポスト構造主義の社会理論』（室井尚＋吉岡洋訳、岩波

書店、1991）
優れたポストモダン情報論。
サイバースペースとしての美術館に対処するヒントが満載。

山口勝弘『メディア時代の天神祭』（美術出版社、1992）
著者は草分け的なメディア・アーティスト。
ややオールド・ファッションだが、その発言には一聴の余地あり。

吉見俊哉『博覧会の政治学――まなざしの近代』（中公新書、1992）
博覧会の歴史は、消費の展示の歴史でもある――
美術館論にも多大な示唆を孕んだ、出色の博覧会論。

伊藤俊治『トランス・シティ・ファイル』（INAX出版、1993）
20世紀はイメージの世紀である――アーカイヴとしての美術館に着目した旺盛な批評家の意欲作。

井出洋一郎『美術館学入門』（明星大学出版部、1993）
キュレーターとしての経験に裏打ちされた堅実な入門書。

諸岡博熊『ミュージアムマネージメント――産業文化施設の運営』（創元社、1993）
企業経営とミュージアムマネジメントを論じる視点は、まだまだ類書に乏しく貴重。

フランセス・A・イエイツ『記憶術』（玉泉八洲男監訳、水声社、1993）
記憶論の古典。
記憶装置としての美術館を探る原理がここにある。

ダニエル・ジロディ＋アンリ・ブイレ『美術館とは何か――ミュージアム＆ミュゼオロジー』（高階秀爾監修、松岡智子訳、鹿島出版会、1993）
数少ないミュゼオロジー入門の翻訳書。
平明な筆致は導入にうってつけ。

ヴァルター・ベンヤミン『パサージュ論』全5巻（今村仁司ほか訳、岩波書店、1993－95）
美術館出生の地・パリを隅々まで踏破した散策者の軌跡。
豊かな思考が詰まった断章の数々。

Denis Bayart,Pierre Jean Benghoni,Le tournant commercial des musee en France et a l'etranger,La documentation Francaise, 1993

フランスにおけるミュージアムショップの詳細なリポート。
日本でも類書の刊行が望まれる。

Douglas Crimp,On the Museum's Ruins,MIT Press, 1993
ポストモダニズムの立場からなされた画期的な美術館廃墟論。
メイプルソープの写真論、場所論、スターリングの建築論などさまざまな角度から奥行きのある議論を展開。

Evelyne Lachelle etLucien Mironeur,Musees et visiteurs,DMF, 1993
統計調査に基づいて美術館と来館者の関係を分析。
観客論という視点からの美術館論は類例少なく重要。

ロザリンド・クラウス『オリジナリティと反復――ロザリンド・クラウス美術評論集』（小西信之訳、リブロポート、1994）
「オクトーバー」の論客による代表作。
モダニズムとの緊張関係から生まれた思考は、いまや展覧会の編成にも世界的な影響を及ぼしている。

ピエール・ブルデューほか『美術愛好――ヨーロッパの美術館と観衆』（山下雅之ほか訳、木鐸社、1994）
統計調査の手法を導入した社会学的美術館論。
その明晰な見取り図は『判断力批判』と『資本論』に多くを負っている。

マイケル・ベネディクト編『サイバースペース』（NTTヒューマンインターフェイス研究会ほか訳、NTT出版、1994）
ヴァーチャル・ミュージアムは21世紀の美術館だ――優れたサイバースペース論のアンソロジー。

佐々木晃彦監修、土屋良雄編『芸術経営学講座1　美術編』（東海大学出版会、1994）
アートマネジメント全般にわたる講座のシリーズはほかに類書なく貴重。
ほかの『音楽編』『演劇編』などとあわせて読みたい。

富山県立近代美術館問題を考える会編『公立美術館と天皇表現』（桂書房、1994）
表現の自由が問われた事件の報告書。
美術館運営にとって、避けて通れない問題を知る一冊。

岩渕潤子『美術館の誕生――美は誰のものか』（中公新書、1995）

アメリカ流アートマネジメントを学ぶ格好の一冊。
美術館史への言及に教科書的配慮も。

勅使河原純『美術館からの逃走――現代「美術」は風景にからみつき』（現代企画室、1995）
現役キュレーターが脱美術館を目指した作家を論じた批評集。
特に川俣正論に一読の価値あり。

西岡文彦『マルチメディア美術館――ハイビジョンCGが探る名画の秘密』（NTT出版、1995）
メディアアート美術館の可能性を展望した平易な入門書。

原田平作ほか編『［芸術学フォーラム2］芸術学の射程』（勁草書房、1995）
いわゆる芸術学のアンソロジーの中でも、ミュゼオロジーを扱った文献は少数派。
中でも本書は、美術の社会受容や美術館効果を扱った貴重な一冊。

ミシェル・サヌイエ編、マルセル・デュシャン著『マルセル・デュシャン全著作』（北山研二編訳、未知谷、1995）
美術館に持ち込まれた便器はなぜ「泉」になったのか――美術館論に多大な影響を与えた、20世紀最重要作家の全著作がこの一冊に凝集。

『建築文化』1995年7月号（特集＝ミュージアムが多様化する、彰国社）

浅田彰＋岡崎乾二郎＋松浦寿夫編『モダニズムのハード・コア――現代美術批評の地平』（『批評空間』臨時増刊号、太田出版、1995）

Victor Burgin,In/Different Space,Univ of California Press, 1995
アーティストでもある著者が縦横無尽に展開する芸術論としての空間論。
なかでも「西武リアリズム」という概念には要注目。

磯崎新『造物主義論（デミウルゴモルフィズム）』（鹿島出版会、1996）

第三世代の美術館とは何か？――多くの美術館建築で知られる著者は、卓越した美術館論の持ち主でもある。

大島清次『美術館とは何か』（青英舎、1996）
独自の運営で知られる現役美術館長の発言集。
その批判精神には素直に耳を傾けるべき。

佐谷和彦『アート・マネージメント――画廊経営実感論』（平凡社、1996）
現役の画商による経験的マネージメント論。
経営という面から美術館を考えるのに好適。

西野嘉章『大学博物館――理念と実践と将来と』（東京大学出版会、1996）
大学の財産としての美術品をいかに有効に活用するか――ミュゼオロジーと大学の関係を多角的に考察。

港千尋『記憶――「創造」と「想起」の力』（講談社選書メチエ、1996）
「群集」と「記憶」――鋭利な批評家の思考は、美術館の本質とも関わる問題を鋭く見据えている。

テオドール・W・アドルノ『プリズメン』（渡辺祐邦＋三原弟平訳、ちくま学芸文庫、1996）
フランクフルト学派の重鎮による芸術論。
「文化産業」は美術館の本質的な問題だ！

ビアトリス・コロミーナ『マスメディアとしての近代建築――アドルフ・ロースとル・コルビュジエ』（松畑強訳、鹿島出版会、1996）
「美術館を時代遅れとしているのはマスメディアだ」――ジェンダー建築論の名著は美術館にも寸鉄を刺す。

リカルド・ボフィール『空間を生きる』（太田泰人訳、SDライブラリー、1996）
スペインの建築家による優れた空間論。

浅田彰ほか監修『ネットワークの中のミュージアム』（NTT出版、1996）
新時代のミュージアムを展望したアンソロジー。
個別のエッセイにも重要な論点あり。

『InterCommunication』No.15（特集＝スーパーミュージアム、NTT出版、1996）

『InterCommunication』No.18（特集＝ハイパーライブラリー、NTT出版、1996）

『美術手帖』1996年5月号（特集＝生きている美術館、美術出版社）

Reesa Greenberg,Bruce W. Ferguson, andSandy Narin (eds.),Thinking about Exhibitions,Routledge, 1996
ローレンス・アロウェイやロザリンド・クラウスらの寄稿を含むアンソロジー。

マルチカルチュラリズム的なアプローチはいかにも現代的。

海野弘『美術館感傷旅行――45通の手紙』（マガジンハウス、1997）
該博な著者のアートエッセイ。
軽妙な筆致の中にも、美術館について考えるヒントあり。

岡部あおみ『ポンピドゥー・センター物語』（紀伊國屋書店、1997）
ポンピドゥー・センターに精通した著者が説く
フランス流ミュゼオロジーの体験的レポート。

奥平耕造編『美術館建築案内――建築デザインを読む』（彰国社、1997）
美術館建築のガイドブック。
豊富な写真とデータは資料としても貴重。

高階秀爾『芸術のパトロンたち』（岩波新書、1997）
美術界の重鎮による格好の入門書。
美術館史という観点からも一読の価値あり。

南條史生『美術から都市へ――インディペンデント・キュレーター15年の軌跡』（鹿島出版会、1997）
先駆的なインディペンデント・キュレーターによる展覧会現場の記録集。
学芸員＝キュレーターではないことを知る格好の一冊。

長谷川栄『新しいソフト・ミュージアム――美術館運営の実践』（三交社、1997）
ミュゼオロジーの第一人者による美術館論。
ミュゼオロジーを学ぶには、まずこの著者の著作から入るべし。

エミール・ディ・アントニオ＋ミッチ・タックマン『現代美術は語る――ニューヨーク・1940－1970』（林道郎訳、青土社、1997）
ニューヨークのアートシーンの記録集。
世界美術の発信拠点の動きから見えてくるものは少なくない。

カトリーヌ・グルー『都市空間の芸術――パブリックアートの現在』（藤原えりみ訳、鹿島出版会、1997）
豊富な作品写真・解説を交えたパブリックアートの記録集。
都市と美術の関係から、美術館への示唆を学べ！

スチュアート・A・ホルム『博物館ドキュメンテーション入門』（田窪直規監訳・監修、勁草書房、1997）
新しい記録術・ドキュメンテーションは今後の美術館にも必須のテクノロジーだ！

浅田彰監修『マルチメディア社会と変容する文化』（NTT出版、1997）
ICC開館にあわせて刊行された講演記録集。

伊藤俊治監修、美術館メディア研究会編『美術館革命』（大日本印刷株式会社ICC本部、1997）
メディア、情報、アーカイヴなど今後の美術館を
多角的に展望した美術館論集。

『InterCommunication』No.20（特集＝20世紀スペクタクル空間、NTT出版、1997）
Arthur C. Danto,After the End of Art,Princeton Univ Press, 1997
高名な批評家の代表作。
そのヘーゲル的な？歴史観は、美術館論の観点からも一読の価値あり。

椹木野衣『日本・現代・美術』（新潮社、1998）
今最も注目されている批評家の代表作二編。
ホットな現代美術のダイナミズムを読み解け！

並木誠士ほか編『現代美術館学』（昭和堂、1998）
ミュゼオロジーに関する本格的論文のアンソロジー。
今日の研究水準が投影された一冊。

根木昭ほか『美術館政策論』（晃洋書房、1998）
文化行政やアートマネジメントを考察した論文集。
地味だが必要な研究書。

『美術手帖』1998年5月号（特集＝美術館の建築、美術出版社）

日比野秀男編著『美術館と語る』（ぺりかん社、1999）
美術館学芸員のインタビューを多数収録。
展示、コレクション、研究など、多岐にわたる学芸員の仕事を知るのに便利な一冊。

文化庁監修『新しい文化立国の創造をめざして――文化庁30年史』（ぎょうせい、1999）
美術館行政に対する国家の公式見解がこの一冊に。
豊富な統計資料は現状認識に役立つ。

Emma Baker (eds.),Contemporary Culture ofDisplay, Yale Univ Press, 1999
文化と展覧会のあり方の社会学的な分析。
カルチュラル・スタディーズによるミュゼオロジー？

Didier Maleuvre,Museum Memories-history,Technology, Art,Stanford Univ Press, 1999
「記憶」をキーワードに、文学も織り交ぜて近代フランス美術を再構成した美術館論。
もともとが博士論文だけに論及は本格的。

青木茂＋酒井忠康校注、加藤周一ほか編『日本近代思想体系17　美術』（岩波書店、2000）
明治前期の重要な美術論を編纂したアンソロジー。
「美術」というイデオロギーを知る必携の一冊。

北澤憲昭『境界の美術史――「美術」形成史ノート』（ブリュッケ、2000）
「美術」と国民国家の関連を問う著者の論点は、
「美術」の形成装置としての美術館についても一考を促す。

李禹煥『出会いを求めて――新しい芸術のはじまりに』（田畑書店、1971／新版＝『出会いを求めて――現代美術の始源』美術出版社、2000）
もの派の代表的作家による理論的マニフェスト。
その脱美術館志向は、裏返しの美術館論としても読める。

坂村健編『デジタルミュージアム2000』（東京大学総合研究博物館、2000）
最先端の研究成果が投影されたデジタルミュージアムの
多角的ガイドブック。

Tate Modern the Handbook,TATE, 2000
今春開館したばかりの現代美術館のオフィシャル・ガイドブック。
いま最もホットな美術館を知るための便利な一冊。

小飼弾選「最強の百冊＋１」の掲載書籍リスト

「異星の客」(創元SF文庫)

R.A.ハインライン, 井上一夫
異星の客 (創元SF文庫)

アイザック・アシモフ, 岡部宏之
ファウンデーション 一銀河帝国興亡史〈1〉 (ハヤカワ文庫SF)

アーサー・C.クラーク, Arthur C. Clarke, 山高昭
遙かなる地球の歌 (ハヤカワ文庫SF)

ロバート L.フォワード, 山高昭
竜の卵 (ハヤカワ文庫 SF 468)

ジェイムズ,ジュニアティプトリー, 浅倉久志, ジェイムズ・ティプトリー・ジュニア
たったひとつの冴えたやりかた (ハヤカワ文庫SF)

筒井康隆
家族八景 (新潮文庫)

筒井康隆
七瀬ふたたび (新潮文庫)

筒井康隆
エディプスの恋人 (新潮文庫)

星新一
声の網 (角川文庫)

小松左京
果しなき流れの果に (ハルキ文庫)

新井素子
グリーン・レクイエム/緑幻想 (創元SF文庫)

神林長平
あなたの魂に安らぎあれ (ハヤカワ文庫JA)

神林長平
敵は海賊・短篇版 (ハヤカワ文庫JA)

水樹和佳子
イティハーサ (1) (ハヤカワ文庫 JA (639))

永井豪, ダイナミック・プロ
愛蔵版 デビルマン (KCデラックス)

山本弘
アイの物語 (角川文庫)

ダンシモンズ, Dan Simmons, 酒井昭伸
ハイペリオン〈上〉 (ハヤカワ文庫SF)

田中芳樹
銀河英雄伝説 1 黎明編 (創元SF文庫)

ジョンアーヴィング, 筒井正明
ガープの世界〈上〉 (新潮文庫)

平野啓一郎
決壊 上巻

鳥山明
ドラゴンボール (巻1) (ジャンプ・コミックス)

田中圭一
神罰ー田中圭一最低漫画全集 (Cue comics)

海堂尊
チーム・バチスタの栄光

Carl Sagan

Contact

榎本俊二
えの素 [完全版] 上 (KCデラックス モーニング)

竹宮惠子
地球へ… 1 (Gファンタジーコミックススーパー)

こうの史代
この世界の片隅に 上 (アクションコミックス)

宮部みゆき
クロスファイア(上) (光文社文庫)

手塚治虫
火の鳥 1・黎明編

ジョー・ホールドマン, 風見潤

小林泰三
AΩ(アルファ・オメガ)―超空想科学怪奇譚 (角川ホラー文庫)

野尻抱介
太陽の簒奪者 (ハヤカワJA)

久坂部羊
破裂

貴志祐介
新世界より (講談社ノベルス キJ-)

伊藤計劃
ハーモニー (ハヤカワSFシリーズ Jコレクション)

小川一水
導きの星〈1〉目覚めの大地 (ハルキ文庫―ヌーヴェルSFシリーズ)

ラリイ・ニーヴン, 小隅黎
リングワールド (ハヤカワ文庫 SF (616))

ダグラス・アダムス, 安原和見
銀河ヒッチハイク・ガイド (河出文庫)

岩明均
寄生獣(完全版)(1) (KCデラックス アフタヌーン)

古屋兎丸
Palepoli

楳図かずお
漂流教室 (1) (小学館文庫)

Charles Stross
Accelerando (Singularity)

A
グレッグ・ベア, 小川隆
ブラッド・ミュージック (ハヤカワ文庫SF)

グレッグ・イーガン, 山岸真
ディアスポラ (ハヤカワ文庫 SF)

広瀬正
マイナス・ゼロ (集英社文庫)

J.P.ホーガン, 星野之宣
未来の二つの顔 (講談社漫画文庫)

岡崎二郎
アフター0 neo 1 (ビッグコミックス)

久米田康治
かってに改蔵 (1) (少年サンデーコミックス)

沼正三
家畜人ヤプー〈第1巻〉 (幻冬舎アウトロー文庫)

夢野久作
ドグラ・マグラ (上) (角川文庫)

日本聖書協会
小型聖書 - 新共同訳

静岡県立こども病院の掲載書籍リスト

1 医者からもらった薬がわかる本　第28版 木村 繁／共著 法研
2 イラストでみる放射線って大丈夫？ 日本放射線公衆安全学会 文光堂
3 災害時のこころのケア　原書第2版 アメリカ国立子どもトラウマティックストレスネットワーク、アメリカ国立PTSDセンター 医学書院
4 進化する現代漢方　臨床と日常の現代漢方入門 大田黒 義郎 看護の科学社
5 救急蘇生法の指針〈2010〉市民用・解説編 改訂4版 日本救急医療財団心肺蘇生法委員会／監 へるす出版
6 救急蘇生法の指針〈2010〉市民用 改訂4版 日本救急医療財団心肺蘇生法委員会／監 へるす出版
7 覚えておこう応急手当　加藤 啓一 少年写真新聞社
8 改訂版　症状からみる病態生理の基本 改訂２版 齋藤 宣彦 照林社
9 根拠がわかる症状別看護過程　こころとからだの６１症状・事例展開と関連図 改訂２版 関口 恵子 南江堂
10 プロメテウス解剖学コアアトラス Anne M.Gilroy／ほか著 医学書院
11 トートラ人体解剖生理学 原書8版 Gerard J.Tortora／ほか著 丸善出版
12 病態生理ビジュアルマップ１　呼吸器疾患　循環器疾患 佐藤 千史、 井上 智子 医学書院
13 病態生理ビジュアルマップ２　消化器疾患 佐藤 千史、井上 智子 医学書院
14 病態生理ビジュアルマップ３　代謝疾患・内分泌疾患・血液・造血器疾患　腎・泌尿器疾患 佐藤 千史、井上 智子 医学書院
15 病態生理ビジュアルマップ４　膠原病・自己免疫疾患　感染症　神経・筋疾患　精神疾患 佐藤 千史、井上 智子 医学書院
16 病態生理ビジュアルマップ５　運動器疾患　皮膚疾患女性生殖器疾患　眼疾患　耳鼻咽疾患 佐藤 千史、井上 智子 医学書院
17 検査のしくみと進め方 大塚 喜人、速水 昭雄、 亀田 信介 総合医学社
18 ミッフィーのよくわかる病院の検査と数値のみかた X-Knowledge
19 技師＆ナースのための消化器内視鏡ガイド 田村 君英 学研メディカル秀潤社
20 循環器疾患ビジュアルブック 落合 慈之／監修 学研メディカル秀潤社
21 脳神経疾患ビジュアルブック 落合 慈之／監修 学研メディカル秀潤社
22 消化器疾患ビジュアルブック 落合 慈之／監修 学研メディカル秀潤社
23 糖尿病・代謝・栄養疾患ビジュアルブック 落合 慈之／監修 学研メディカル秀潤社
24 腎・泌尿器疾患ビジュアルブック 落合 慈之／監修 学研メディカル秀潤社
25 呼吸器疾患ビジュアルブック 落合 慈之／監修 学研メディカル秀潤社
26 脳・神経・脊髄イラストレイテッド 窪田 誠、安部 正敏／監修 学研メディカル秀潤社
27 呼吸・循環イラストレイテッド 稲田 英一／監修 学研メディカル秀潤社
28 患者必携　がんになったら手にとるガイド 国立がん研究センター　がん対策情報センター 学研メディカル秀潤社

29 患者必携　もしも、がんが再発したら 国立がん研究センター　がん対策情報センター 英治出版
30 がんと一緒に働こう！ CSRプロジェクト／編 合同出版
31 知って欲しい障害年金のはなし 佐々木久美子著 日本法令
32 がん患者、お金との闘い 札幌テレビ放送取材班 岩波書店
33 診療科別　患者さんにそのまま見せる！医療福祉相談の本 年度版 黒木 信之／編 日総研
34 がんに負けない心理学 臨床心理士が教える心の応急手当てとケアの方法 和田 のりあき PHP
35 患者・家族のためのがん緩和マニュアル 米国国立癌研究所発行のPDQの日本語版のがん情報サイト 日経メディカル開発
36 抗がん剤・放射線治療と食事のくふう一症状で選ぶ! がん患者さんと家族のための 静岡県立静岡がんセンター　女子栄養大学出版部
37 がん専任栄養士が患者さんの声を聞いてつくった73の食事レシピ 川口美貴子、青山広美 医学書院
38 上手に“痛い”が言える本 田中 祐次 小学館
39 糖尿病の患者さんによく聞かれる質問120 金子美恵ほか／監修 日本看護協会出版会
40 お母さんに伝えたい子どものくすり安心ガイド 第２版 日本外来小児科学会
41 イラストでわかる子どもの病気ナビゲーター メディカルレビュー
42 ホップ・ステップ！食物アレルギー教室 柴田 瑠美子、 伊藤 和枝／編 南江堂
43 保護者と学校の先生に伝えたい食物アレルギーの基礎知識 改訂２版 小林 陽之助／監修 診断と治療社
44 特別支援学校の学習指導要領を踏まえた病気の子どものガイドブック ジアース出版
45 介護食ハンドブック 第２版 手嶋 登志子／編 医歯薬出版
46 新しい介護食・嚥下食レシピ集西尾 正輝／監修 インテルナ出版
47 今日の治療薬　解説と便覧 34版 浦部 晶夫／編 南江堂
48 今日のジェネリック医薬品 2012-2013 増原 慶壮／編 南江堂
49 思いもしなかった健康食品と薬の相互作用 藤村昭夫 永井書店
50 メディクイックブック　患者さんによくわかる薬の説明　2012 金原出版
51 薬の事典 ピルブック〈2013年版〉 改訂23版 ソシム
52 今日のＯＴＣ薬 改訂２版 南江堂
53 介護のための薬の図鑑 エクスナレッジ
54 医学書院医学大辞典 第2版 伊藤正男ほか／総編集 医学書院
55 病気がみえる　vol.１　消化器 第４版 医療情報科学研究所／編 メディックメディア
56 病気がみえる　vol.２　循環器 第３版 医療情報科学研究所／編 メディックメディア
57 病気がみえる　vol.３　糖尿病・代謝・内分泌 第3版 医療情報科学研究所／編 メディックメディア
58 病気がみえる　vol.４　呼吸器 医療情報科学研究所／編 メディックメディア
59 病気がみえる　vol.５　血液 医療情報科学研究所／編 メディックメディア
60 病気がみえる　vol.６　免疫・膠原病・感染症 医療情報科学研究所／編 メディックメディア

61 病気がみえる　vol.7 脳・神経 医療情報科学研究所／編 メディックメディア
62 病気がみえる　vol.8 腎・泌尿器 医療情報科学研究所／編 メディックメディア
63 病気がみえる　vol.9　婦人科・乳腺外科 第２版 医療情報科学研究所／編 メディックメディア
64 病気がみえる　vol.10　産科 第２版 医療情報科学研究所／編 メディックメディア
65 大腸癌治療ガイドラインの解説　大腸癌について知りたい人のために　大腸癌の治療を受ける人のために 第２版 大腸癌研究会 金原出版
66 きょうも、おいしく 一大腸がん術後の体験談＆レシピ Rico 女子栄養大学出版部
67 大腸がん手術後の生活読本 高橋 慶一 主婦と生活社
68 大腸がん手術後の100日レシピ一退院後の食事プラン 森谷 宣皓、桑原 節子、 重野 佐和子 女子栄養大学出版部
69 胃手術後の100日レシピ一退院後の食事プラン 青木照明、加藤 チイ、斉藤 君江 女子栄養大学出版部
70 やさしい大腸がん外来化学療法の自己管理 改訂版 朴 成和／編 医薬ジャーナル
71 よくわかる脳卒中患者さんの退院時必携書 片山 泰朗 ヴァンメディカル
72 患者さんのための乳がん診療ガイドライン〈2012年版〉 第3版 日本乳癌学会／編 金原出版
73 最新の知見から　乳がんインフォームドコンセントガイド 森本 忠興／編 日本医事新報社
74 女性なら知っておきたい骨盤臓器脱 島田 誠／著 メディカルトリビューン
75 患者さんとご家族のための子宮頚がん・子宮体がん・卵巣がん治療ガイドラインの解説 日本婦人科腫瘍学会／編 金原出版
76 患者さんと家族のためのクローン病ガイドブック 日本消化器病学会／編 南江堂
77 標準脳神経外科学 第12版 児玉 南海雄／監修 医学書院
78 標準整形外科学 第11版 内田 淳正／監修 医学書院
79 標準産科婦人科学 第４版 岡井　崇、綾部　琢哉／編 医学書院
80 「育てにくさ」に寄り添う支援マニュアル 小枝 達也／監修 診断と治療社
81 発達障害の人の就活ノート 石井京子 弘文堂
82 発達障害の人のビジネススキル講座 石井京子 弘文堂
83 作業療法士が行うIT活用支援 宮永 敬市、 田中 勇次郎／編 医歯薬出版
84 ADHD及びその周辺の子どもたち 尾崎 洋一郎／他著 同成社
85 学習障害（LD)及びその周辺の子どもたち 尾崎洋一郎／他著 同成社
86 発達障害とその周辺の子どもたち 尾崎洋一郎／他著 同成社
87 ふたたび楽しく生きていくためのメッセージ 改訂増補版 栗原 まな、アトムの会／編 クリエイツかもがわ
88 スマッジがいるから ナン・グレゴリー／作、ロン・ライトバーン／絵 あかね書房
89 21番目のやさしさに　ダウン症のわたしから 岩元　綾 かもがわ出版
90 ある日、ワタルさんはエイズになった。 岩田 健太郎／作、土井 由紀子／絵 中外医学社
91 変形性股関節症の運動・生活ガイド　第４版 日本医事新報社
92 心肺蘇生教本　ＪＲＣガイドライン２０１０準拠 日本ライフセービング協会 編 大修館書店

93 カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術 医歯薬出版
94 高校で学ぶ発達障害のある生徒のための 明日からの支援に向けて ジアース教育新社
95 身体障害者の性活動 三輪書店
96 がん研がつくったがんがわかる本 ロハスメディア
97 過労死Ｑ＆Ａ　その予防と労災補償　改訂版 労働調査会出版局 編 労働調査会
98 こころの治療薬ハンドブック 第８版 星和書店
99 がん治療中の食事 産調出版
100 新版　クローン病ってこんな病気　食生活から見直す 診断と治療社

アマゾン編集者が投票で選んだ「世界の名著２０選」

今回TABI LABOでは英・米の両アマゾンが選出した2つのリストに共通している20冊の名著をピックアップして紹介。

これこそ世界共通で読むべき最高のチョイスかも？

■01『チョコレート工場の秘密』by ロアルド・ダール
■02『クマのプーさん』by A.A.ミルン
■03『ハリー・ポッターと賢者の石』by J.K.ローリング
■04『アンネの日記』by アンネ・フランク
■05『アラバマ物語』by ハーパー・リー
■06『キャッチ=22』by ジョーゼフ・ヘラー
■07『グレート・ギャツビー』by スコット・フィッツジェラルド
■08『高慢と偏見』by ジェイン・オースティン
■09『妻を帽子とまちがえた男』by オリヴァー・サックス
■10『真夜中の子供たち』by サルマン・ラシュディ
■11『大いなる遺産』by チャールズ・ディケンズ
■12『侍女の物語』by マーガレット・アトウッド
■13『本泥棒』by マークース・ズーサック
■14『ポイズンウッド・バイブル』by バーバラ・キングソルヴァー
■15『シークレット・ヒストリー』by ドナ・タート
■16『ラスベガス★71』by ハンター・S. トンプソン
■17『一九八四年』by ジョージ・オーウェル
■18『冷血』by トルーマン・カポーティ
■19『ロリータ』by ウラジーミル・ナボコフ
■20『ホーキング、宇宙を語る―ビッグバンからブラックホールまで』by スティーヴン・W. ホーキング

思わずワクワク！旅に出たくなる１０冊の**TABI LABO**オススメ本！

本は、新しい知恵を与えてくれる。新しい一歩を踏み出す勇気をくれる。

そして、旅に出るきっかけになり得ることだってある。

今回紹介するのは、読んだら思わず旅に出たくなってしまうような10作品だ。

①アルケミスト一夢を旅した少年
②12万円で世界を歩く
③流学日記
④旅する哲学
⑤深夜特急
⑥ブラを捨てて旅に出よう
⑦ガンジス河でバタフライ
⑧モノを捨てよ世界へ出よう
⑨未来を変える80人一僕らが出会った社会起業家
⑩LIFE PACKING

アルケミスト一夢を旅した少年

自分に素直に生きたい、という簡単な願いを叶えることすら難しい今の世の中。

この作品の中にはそんな現代を生きていくための教訓となるような言葉が散りばめられている。

12万円で世界を歩く

貧乏旅行だからこそ、見える世界がある。出会える人々がいる。

旅はお金を掛ければ良いというものではないのだ。

移動での苦労話がメインの1冊だが、垣間見える現地でのこぼれ話には思わず吹き出してしまう。

流学日記

大学を休学し、世界一周に出た1人の男子学生。

現地での出来事が赤裸々に綴られた、ダイレクトに著者の思いが伝わってくる1冊となっている。

今まさに「若者世代」に当たる人は是非1度目を通していただきたい1冊となっている。

旅する哲学

作家・芸術家・哲学者の作品を通じて世界の素晴らしさを発見するという、新しい形のガイドブック。

なぜ、人は旅に出るのか？という疑問を抱えている方におススメの1冊である。

深夜特急

本作品は「麻薬」と言われる事がしばしばある。

それはこの作品に感化されて旅に出る読者が多いからだ。

ある日、26歳の若者は全てを投げ捨て、放浪の旅に出た。

インド・デリーからイギリス・ロンドンまでの旅の様子が物語としてでは無く、経験談として描かれている。

そんなリアリティ溢れる描写が多くの人を虜にするのだろう。

ブラを捨てて旅に出よう

空腹と不潔は当たり前、150万で超貧乏世界一周旅行を達成した女性の2年間を描いた物語。

とにかく無謀で大胆な彼女の旅にはハラハラドキドキさせられるが、現地での出来事が赤裸々に描かれており、臨場感溢れる一作となっている。

ガンジス河でバタフライ

ひょんなことからインドを旅することになった主人公てるこ。

大胆で人懐っこく、現地にすぐに馴染んでいくが、その性格故何度も危険に巻き込まれることも。

そんなこんなありながら逞しく成長していく、てるこの様子がリズムよく綴られた、さくっと読める面白い1冊になっている。

モノを捨てよ世界へ出よう

海外に行ってまず買うべきモノは携帯電話。

ロンドンでは夏でも厚手のコートが必要になる時がある。

観光ビザによる就労行為は原則厳禁。最悪の場合再入国に制限が付く。

など、知っていそうで知らない海外の情報が沢山記されている。

世界に出る前に必ず一読しておきたい1冊だ。

未来を変える80人ー僕らが出会った社会起業家

フランスの2人の若者が世界を旅してインタビューした社会起業家80人を紹介した1冊。

魅力的な起業家達から紡ぎだされる言葉に、世界の可能性を感じずにはいられないだろう。

新たな一歩を踏み出す勇気を与えてくれる1冊となっている。

LIFE PACKING

これからを生きるための知恵が詰まったLIFE PACKING。

21世紀を断捨離することから始めた著者により厳選されたモノの数々は、旅に出る準備の参考にぴったりだ。

『国際政治とは何か』中西寛(著)(中公新書)の掲載書籍リスト

（文献案内）
（古典的著作）
カー　危機の二十年　岩波文庫
ケナン　アメリカ外交五〇年　岩波現代文庫
中江兆民　三酔人経綸問答　岩波文庫
高坂正堯　国際政治ー恐怖と希望　中公新書
（体系的叙述）
シューマン　国際政治　２巻　東京大学出版会
モーゲンソー　国際政治ー権力と平和　３巻　福村出版
（安全保障の歴史と理論の概観）
ケネディ　大国の興亡　２巻
クレイグほか　軍事力と現代外交　有斐閣
ナイ　国際紛争ー理論と歴史　有斐閣
（安全保障に関する個別テーマ）
防衛大学校安全保障学研究会編著　安全保障学入門　亜紀書房
黒澤満　軍縮問題入門　東信堂
（政治経済分野）
ギルピン　世界システムの政治経済学ー国際関係の新段階　東洋経済新報社
ギルピン　グローバル資本主義　東洋経済新報社
ケネディ　二一世紀の難問に備えて　２巻　草思社
ヤーギンほか　市場対国家　世界を作り変える歴史的攻防　２巻　日本経済新聞社
（科学技術と国際政治の関係）
スコルニコフ　国際政治と科学技術　NTT出版
（発展途上国の政治問題）
ルルーシュ　新世界無秩序　NHK出版
（国際政治の倫理の位置づけ）
ホフマン　国境を超える義務　三省堂
ベイツ　国際秩序と正義　岩波書店
（国際関係理論の変遷）
パーキンソン　国際関係の思想　岩波書店
浦野起央　国際関係理論史　〇草書房
（国際関係の数理的分析）
岡義武　国際政治史　岩波書店
高坂正堯　古典外交の成熟と崩壊　中央公論社
キッシンジャー　外交　２巻　日本経済新聞社

（２０世紀の国際関係）
入江昭　二十世紀の戦争と平和　東京大学出版会
高坂正堯　現代の国際政治　講談社学術文庫
（国際法上の論点）
ニュースボーム　国際法の歴史　こぶし社
国際法学会編　日本と国際法の１００年　１０巻　三省堂
（国際政治の文化的、社会的側面）
ウィーナー　移民と難民の国際政治　明石書店
梶田孝道　国際社会学のパースペクティブ　東京大学出版会
（便利な事典）
国際政治経済の基礎知識　有斐閣
国際政治経済辞典　東京書籍
（アエラムック）
国際関係学がわかる。
新国際関係学がわかる。
平和学がわかる。
（文献案内）
花井等等　名著に学ぶ国際関係論　有斐閣
磐田一政他編　国政関係研究入門　東京大学出版会

『アメリカ外交』村田晃嗣(著)(講談社現代新書)の掲載書籍リスト

(文献案内）
（憲法）
阿川尚之 憲法で読むアメリカ史 憲法をめぐるアメリカ民主主義の紆余曲折
（古典）
ハミルトンほか ザ・フェデラリスト 岩波文庫 アメリカ政治や民主主義の根本問題が凝縮
トクヴィル アメリカの民主政治 講談社学術文庫
河合秀和 トックヴィルを読む
ラインホールド・ニーバー アメリカ史のアイロニー アイロニーをキーワードにアメリカ史を分析した名著
アラン･ブルーム アメリカン・マインドの終焉 「ネオコン」にも強い影響を与えた
斎藤眞 アメリカとは何か
本間長世 思想としてのアメリカ 中公新書
（通史）
ポール･ジョンソン アメリカ人の歴史 大著
世界の歴史２１ ２３ 中央公論社
有賀夏紀 アメリカの２０世紀 中公新書
（２０世紀前半のアメリカ外交）
ジョージ･F・ケナン アメリカ外交５０年
ヘンリー･A・キッシンジャー 外交
（戦後のアメリカ外交）
佐々木卓也編 戦後アメリカ外交史
村田晃嗣 米国初代国防長官フォレスタル 中公新書
（冷戦史）
ハレー 歴史としての冷戦
メイ 歴史の教訓
ラフィーバー アメリカの時代
ギャディス 歴史としての冷戦
（冷戦後のアメリカ外交）
ベーカー シャトル外交
ナイ アメリカへの警告 ソフト・パワー
ハルバースタム 静かなる戦争
ウッドワード ブッシュの戦争 攻撃計画
マン ウルカヌスの群像
ハルバースタム ベスト＆ブライテスト
（内政）

五十嵐武士ほか アメリカの社会と政治
佐々木毅 アメリカの保守とリベラル
（宗教と人種）
森孝一 宗教からよむ「アメリカ」 講談社選書メチエ
ハンチントン 分断されるアメリカ

『ハイデガーの思想』木田元(著)(岩波新書)の掲載書籍リスト

（著書が推薦する比較的読みやすい邦訳）

『存在と時間』　細谷貞雄ほか訳　理想社
『形而上学』　大江訳　理想社
『形而上入門』　川原訳　理想社
『ニーチェ』　細野訳　理想社
『ヒューマニズムについて』　佐々木訳　理想社
『〇（木偏に山）道』　　創文社
『詩と言葉』　三木訳　理想社
『哲学とは何か』　原訳　理想社
「ドイツ大学の自己主張」『三〇年代の危機と哲学』　イザヤ書房
「ハイデガーの弁明」『理想』　1976.9号
「アリストテレスの現象学的解釈」『理想』　1992.3

（その他：プラトン、アリストテレス、カント、ニーチェなどは除く）
『パウル・ツェラン全詩集』　青土社
ギュンター・グラス　『犬の年』　中野訳　新潮社
ウィトゲンシュタイン　『論理哲学論考』　奥野訳　大修館
同　「ハイデガーについて」　黒崎訳　「倫理学講話」　杖下訳　『ウィトゲンシュタイン全集』　大修館　第５巻
ユクスキュル　『動物から見た世界』　日高訳　思索社
シェーラー　『宇宙における人間の地位』　亀井訳　白水社
サルトル　『実存主義とは何か』　伊吹訳　人文書院
メルロ＝ポンティ　『行動の構造』　滝浦訳　みすず書房
同　『見えるものと見えないもの』　同　同

（その他：プラトン、アリストテレス、カント、ニーチェなどは除く）
『パウル・ツェラン全詩集』　青土社
ギュンター・グラス　『犬の年』　中野訳　新潮社
ウィトゲンシュタイン　『論理哲学論考』　奥野訳　大修館
同　「ハイデガーについて」　黒崎訳　「倫理学講話」　杖下訳　『ウィトゲンシュタイン全集』　大修館　第５巻
ユクスキュル　『動物から見た世界』　日高訳　思索社
シェーラー　『宇宙における人間の地位』　亀井訳　白水社
サルトル　『実存主義とは何か』　伊吹訳　人文書院

メルロ＝ポンティ　『行動の構造』　滝浦訳　みすず書房
同　『見えるものと見えないもの』　同　同
デリダ　『精神について』　港道　人文書院
ファリアス　『ハイデガーとナチズム』　山本訳　名古屋大学出版会
リオタール　『ハイデガーと「ユダヤ人」』　本間訳　藤原書店
ガーダマー　『哲学修業時代』　中村訳　未来社
レーヴィット　『ハイデガー・乏しき時代の思索者』　杉田訳　未来社
同　『ナチズムと私の生活』　秋間訳　法政大学出版局
スタイナー　『ハイデガー』　生松訳　岩波同時代ライブラリー
丸山真男　「歴史意識の「古層」」『忠誠と反逆』　筑摩書房
木田元　『現象学』　岩波新書
同　『ハイデガー』　岩波新書
同　『メルロ=ポンティの思想』　岩波書店
同　『哲学と反哲学』　岩波書店

『理性の限界　不可能性・不確実性・不確実性』高橋昌一郎(著)(講談社現代新書)の掲載書籍リスト

（参考文献）

１　人間はどこまで耐えられるのか　河出書房新社
２
３　アロウ　社会的選択と個人的評価
４　アロウ　組織の限界
５　アクセルロッド　つきあい方の科学
６　アクセルロッド　複雑系組織
７　バラシュ　ゲーム理論の愉しみ方
８　デービス　ゲームの理論入門
９　ディキシット　戦略的思考とは何か
１０　Gibbard Wise Choises
１１　ヒープ　ゲーム理論
１２　ホフスター　メタマジック・ゲーム
１３　Lucas Game Theory and Its Applications
１４　ナサー　ビューティフルマインド
１５　大谷和　アロウの一般不可能性定理の分析と批判
１６　パウロス　数学するヒント
１７　パウンドストーン　囚人のジレンマ
１８　Rapport and Chammah Prisoner's Dilemma
１９　佐伯○　きめ方の論理
２０　セン　合理的な愚か者
２１　ノイマン　ゲームの理論と経済行動
２２　アシモフ　アシモフの科学の発見と年表
２３　バロウズ　科学にわからないことがある理由
２４　バロウ　宇宙に法則はあるのか
２５　キャジディ　不確実性
２６　キャスティ　パラダイムの迷宮
２７　クリース　世界で最も美しい１０の科学実験
２８　ファイヤアーベント　方法への挑戦
２９　ファイヤアーベント　哲学、女、唄、そして
３０　ファインマン　科学は不確かだ
３１　ギビンズ　量子論理の限界
３２　グリビン　シュレーディンガーの子猫たち

３３　ハイゼンベルク　部分と全体
３４　ハイゼンベルク　自然科学的世界像
３５　ホーガン　『科学の終焉』
３６　石井茂　ハイゼンベルクの顕微鏡
３７　クーン　科学革命の構造
３８　松田卓也　正負のユートピア
３９　ミンスキー　心の社会
４０　ムーア　　シュレーディンガー
４１　森田正人　文系にもわかる量子論
４２　パイス　物理学者たちの２０世紀
４３　ペンローズ　皇帝の新しい心
４４　ポパー　科学的発見の論理
４５　レッドヘッド　不完全性・非局所性・実存主義
４６　佐藤勝彦　相対性理論と量子論
４７　高橋昌一郎　科学哲学のすすめ
４８　Chaitin Alogorithmic Information Theory
４９　チャイティン　セクシーな数学
５０　チャイティン　メタマス
５１　ドーソン　ロジカル・ディレンマ
５２　ゲーデル　不完全性定理
５３　ゲーデル　現代思想：特集ゲーデル　2007 青土社
５４　Grim the Incomplete universe
５５　ゲーデル、エッシャー、バッハ
５６　ホフスタッター　マインズ・アイ
５７　飯田隆編　数学の哲学
５８　飯田隆編　論理の哲学
５９　三浦俊彦　論理学がわかる事典
６０　三浦俊彦　論理パラドクス
６１　スマリヤン　哲学ファンタジー
６２　スマリヤン　決定不能の論理パズル
６３　スマリヤン　ゲーデルの不完全性定理
６４　スマリヤン　天才スマリヤンのパラドックス人生
６５　高橋昌一郎　ゲーデルの哲学
６６　高橋昌一郎　（林編　パラドックス　日本評論社）
６７　竹内外史　ゲーデル
６８　竹内外史　数学的世界観
６９　田中一之編　ゲーデルと２０世紀の論理学　４巻

『知性の限界　不可測性・不確実性・不可知性』高橋昌一郎(著)(講談社現代新書)の掲載書籍リスト

（参考文献）

１　言語の限界

藤本隆志　ウィトゲンシュタイン　講談社学術文庫
グリースン　記述言語学　大修館
ハッキング　言語はなぜ哲学の問題になるのか　勁草書房
エドワード・ホール　かくれた次元　みすず書房
エドワード・ホール　沈黙の言葉　南雲堂
ハンソン　科学的発見のパターン　講談社学術文庫
飯田隆　ウィトゲンシュタイン　講談社
金森修　サイエンス・ウォーズ　東京大学出版会
クラーフト　ウィーン学団　勁草書房
クリブキ　名指しと必然性　産業図書
クリブキ　ウィトゲンシュタインのパラドックス　産業図書
黒田亘編　ウィトゲンシュタイン　平凡社
マルコム　回想のヴィトゲンシュタイン　法政大学出版局
野家啓一編　ウィトゲンシュタインの知８８　新書館
野矢茂樹　ウィトゲンシュタイン「論理哲学論考」を読む　哲学書房
ペン　言語の相対性について　大修館
クワイン　論理的観点から　勁草書房
クワイン　ことばと対象　勁草書房
坂本百大　言語起源論の新展開　大修館
サピア　言語・文化・パーソナリティ　北星堂
スマリヤン　天才スマリヤンのパラドックス人生　講談社
スノー　二つの文化と科学革命　みすず書房
ソーカル、ブリクモン　「知」の欺瞞　岩波書店
高橋昌一郎　科学哲学のすすめ　丸善
丹波信春　クワイン　講談社
ウォーフ　言語・思考・現実　講談社現代新書
ウィトゲンシュタイン　論理哲学論考　法政大学出版局
ウィトゲンシュタイン全集　大修館

２　予測の限界

バロウ　単純な法則に支配される宇宙が複雑な姿を見せるわけ　青土社
バロウ　宇宙の定数　青土社
ブキャナン　歴史の方程式　早川書房
キャスティ　複雑性とパラドックス　白揚社
ダメット　心理という謎　勁草書房
エドモンズ、エーディナウ　ポパーとウィトゲンシュタインとのあいだで交わされた世上名高い一〇分間の大激論の謎　筑摩書房
ホーガン　『科学の終焉』　徳間書店
カプラン　確率の科学史　朝日新聞社
カウフマン　自己組織化と進化の論理　日本経済新聞社
カウフマン　カウフマン、生命と宇宙を語る　日本経済新聞社
フランク・ナイト　危険・不確実性および利潤　文雅堂銀行研究所
小河原誠　ポパー　講談社
ポパー　推論と反〇　法政大学出版局
ポパー　客観的知識　木鐸社
ポパー　科学的発見の論理　恒星社厚生閣
ポパー　自由社会の哲学とその論敵　世界思想社
ポパー　開かれた宇宙　岩波書店
ポパー　歴史主義の貧困　中央公論社
ポパー　果てしなき探求　岩波書店
セインズブリー　パラドックスの哲学　勁草書房

３　思考の限界

ブロード、ウェード　『背信の科学者たち』　化学同人
デイヴィス　幸運な宇宙　日経BP社
ドーキンス　悪魔に仕える牧師　早川書房
ドーキンス　盲目の時計職人　早川書房
ドーキンス　神は妄想である　早川書房
ドイッチュ　世界の究極理論は存在するか　朝日新聞社
ファイヤアーベント　方法への挑戦　新曜社
ファイヤアーベント　理性よ、さらば　法政大学出版局
ファイヤアーベント　哲学、女、唄、そして……　産業図書
ファイヤアーベント　自由人のための知　新曜社
ファイヤアーベント　知についての三つの対話　ちくま学芸文庫
ファインマン　科学は不確かだ！　岩波書店

グールド　神と科学は共存できるか？　日経BP社
ホーガン　科学を捨て、神秘へと向かう理性　徳間書簡
リンデン　つぎはぎだらけの脳と心　インターシフト
ロイド　宇宙をプログラムする宇宙　早川書房
松田卓也　人間原理の宇宙論　培風館
三浦俊彦　ゼロからの論証　青土社
パウロス　数学者の無神論　青土社
ポーキングホーン　科学者は神を信じられるか　ブルーバックス
リース　宇宙を支配する６つの数　草思社
リース　今世紀で人類は終わる？　草思社
スモーリン　宇宙は自ら進化した　日本放送出版協会
スマリヤン　哲学ファンタジー　丸善
高橋昌一郎　ゲーデルの哲学　講談社現代新書
高橋昌一郎　哲学ディベート　NHKブックス
上田光雄　ハルトマンの無意識の哲学　光の書房

『ラッセルのパラドクス』三浦俊彦(著)(岩波新書)の掲載書籍リスト

（読書案内）

■アンソロジー

坂本百大編　現代哲学基本論文集　ⅠⅡ　Ⅰには、ラッセルの記述理論である「指示について」、Ⅱには記述理論に異論を永かけたストーロソン「指示について」を収録
飯田隆編　リーディングス　数学の哲学　ゲーデル以後
ハンス・ヨハン・ブロック編　分析哲学の生成　レイ・モンク「ラッセルは分析哲学者か」。分析哲学は言語の哲学というより論証の哲学とすべきではないか、といった疑問が、各論文の通奏低音

■古典的論考、専門書

クワイン　論理的観点から　論理と哲学をめぐる九章　「経験主義とふたつのドグマ」は、ラッセル的な連続主義的論理観を復興
ソール・クリプキ　名指しと必然性　日常言語論としては反ラッセル的ながら、論理言語の理解としてはラッセルの直知の理論をなぞっている
メラー編　ラムジー哲学論文集　プリンキピア・マテマティカへの批判を知るのに最適
ファイグル　こころともの　ラッセルの中後期の哲学

■一般向け解説書、教養書

飯田隆　言語哲学大全Ⅰ　分析哲学入門　「私的言語」は曲解もしくは不注意
エドモンズ、エーディナウ　ポパーとウィトゲンシュタインとのあいだで交わされた世上名高い一〇分間の大激論の謎　物語として面白い

『科学の終焉』ジョン・ホーガン(著)の掲載書籍リスト

（関連図書）竹内薫

■デイビッド・ボーム
全体性と内臓秩序
断片と全体
■ジョン・キャスティ
複雑系による科学革命
パラダイムの迷宮
複雑性とパラドックス
■ノーム・チョムスキー
言語と知識
言語と精神
ことばと認識
■ピーター・コヴニー、ロジャー・ハイフィールド
時間の矢、生命の矢
■フランシス・クリック
DNAに魂はあるか
生命
■ポール・デイビス
宇宙を創る四つの力
量子と混沌
宇宙はなぜあるのか
■リチャード・ドーキンス
利己的な遺伝子
ブラインド・ウォッチメイカー
遺伝子の川
■ダニエル・デネット
「志向姿勢」の哲学
■フリーマン・ダイソン
多様化世界
ダイソン　生命の起源
■ジェラルド・エーデルマン
脳から心へ
トポバイオロジー
■ポール・ファイヤアーベント

哲学、女、唄、そして
方法への挑戦
自由人のための知
■ノースロップ・フライ
批評の解剖
■フランシス・フクヤマ
歴史の終わり
「信」無くば立たず
■クリフォード・ギアツ他
バリの親族体系
■マレイ・ゲルマン
クォークとジャガー
■ジェイムズ・クリック
カオス
■スティーヴン・ジェイ・グールド
がんばれカミナリ
ワンダフル・ライフ
パンダの親指
■スティーブン・ホーキングほか
ホーキング、宇宙を語る
ホーキングとペンローズが語る時空の本質
ホーキングの最新宇宙論
■フレッド・ホイル他
生命はどこからきたか
宇宙物理学の最前線
宇宙からの生命
コスモス・ブックス
■ジェイムズ・ジョイス
ユリシーズ
フィネガンズ・ウェイク
■トーマス・クーン
コペルニクス革命
本質的緊張
科学革命の構造
■スティーブン・レビー
人工生命
■ロジャー・リューイン

コンプレクシティへの招待
■ベノワ・マンデルブロ
フラクタル幾何学
■リン・マーグリス他
性の起源
不思議なダンス
ミクロコスモス
■コリン・マッギン
ウィトゲンシュタインの言語論
■マービン・ミンスキー
心の社会
■ハンス・モラヴェック
電脳生物たち
■フリードリッヒ・ニーチェ
ニーチェ全集
■ロジャー・ペンローズ
皇帝の新しい心
ペンローズの量子脳理論
■カール・ポパー他
果てしなき探求
自我と脳
■イリヤ・プリゴジン
存在から発展へ
混沌からの秩序
■ニコラス・レッシャー
対話の論理
■ダビッド・ルエル
偶然とカオス
■ギュンター（ガンザー）ステント
進歩の終焉
＜真理＞と悟り
■ルネ・トム
構造安定性と形態形成
■筒井康隆
短編小説講義
文学部唯野教授
■スティーブン・ワインバーグ

究極理論への夢
宇宙創成はじめの三分間
■ジョン・アーチボルト・ウィーラー
時間・空間・重力
■ノーバート・ウィーナー
サイバネティックス
■エドワード・ウィルソン
人間の本性について
社会生物学
ナチュラリスト
■ルードヴィッヒ・ヴィトゲンシュタイン
哲学的探求　野崎宏訳　産業図書
■ロバート・ライト
モラル・アニマルジョン・ホーガン　『科学の終焉』　徳間書店

（関連図書）竹内薫

■デイビッド・ボーム
全体性と内臓秩序
断片と全体
■ジョン・キャスティ
複雑系による科学革命
パラダイムの迷宮
複雑性とパラドックス
■ノーム・チョムスキー
言語と知識
言語と精神
ことばと認識
■ピーター・コヴニー、ロジャー・ハイフィールド
時間の矢、生命の矢
■フランシス・クリック
DNAに魂はあるか
生命
■ポール・デイビス
宇宙を創る四つの力
量子と混沌
宇宙はなぜあるのか

■リチャード・ドーキンス
『利己的な遺伝子』
ブラインド・ウォッチメイカー
遺伝子の川
■ダニエル・デネット
「志向姿勢」の哲学
■フリーマン・ダイソン
多様化世界
ダイソン　生命の起源
■ジェラルド・エーデルマン
脳から心へ
トポバイオロジー
■ポール・ファイヤアーベント
哲学、女、唄、そして
方法への挑戦
自由人のための知
■ノースロップ・フライ
批評の解剖
■フランシス・フクヤマ
歴史の終わり
「信」無くば立たず
■クリフォード・ギアツ他
バリの親族体系
■マレイ・ゲルマン
クォークとジャガー
■ジェイムズ・クリック
カオス
■スティーヴン・ジェイ・グールド
がんばれカミナリ
『ワンダフル・ライフ』
パンダの親指
■スティーブン・ホーキングほか
ホーキング、宇宙を語る
ホーキングとペンローズが語る時空の本質
ホーキングの最新宇宙論
■フレッド・ホイル他
生命はどこからきたか

宇宙物理学の最前線
宇宙からの生命
コスモス・ブックス
■ジェイムズ・ジョイス
ユリシーズ
フィネガンズ・ウェイク
■トーマス・クーン
コペルニクス革命
本質的緊張
科学革命の構造
■スティーブン・レビー
人工生命
■ロジャー・リューイン
コンプレクシティへの招待
■ベノワ・マンデルブロ
フラクタル幾何学
■リン・マーグリス他
性の起源
不思議なダンス
ミクロコスモス
■コリン・マッギン
ウィトゲンシュタインの言語論
■マービン・ミンスキー
心の社会
■ハンス・モラヴェック
電脳生物たち
■フリードリッヒ・ニーチェ
ニーチェ全集
■ロジャー・ペンローズ
皇帝の新しい心
ペンローズの量子脳理論
■カール・ポパー他
『果てしなき探求』
自我と脳
■イリヤ・プリゴジン
存在から発展へ
混沌からの秩序

■ニコラス・レッシャー
対話の論理
■ダビッド・ルエル
偶然とカオス
■ギュンター（ガンザー）ステント
進歩の終焉
＜真理＞と悟り
■ルネ・トム
構造安定性と形態形成
■筒井康隆
短編小説講義
文学部唯野教授
■スティーブン・ワインバーグ
究極理論への夢
『宇宙創成はじめの三分間』
■ジョン・アーチボルト・ウィーラー
時間・空間・重力
■ノーバート・ウィーナー
サイバネティックス
■エドワード・ウィルソン
人間の本性について
社会生物学
ナチュラリスト
■ルードヴィッヒ・ヴィトゲンシュタイン
哲学的探求　野崎宏訳　産業図書
■ロバート・ライト
モラル・アニマル
三人の「科学者」と「神」

『「本の定番」ガイドブック』鷲田小彌太(著)の掲載書籍リスト

専門編

１　哲学

木田元　『反哲学史』

加藤尚武　『応用倫理学のすすめ』

ヘーゲル　『哲学史講義』

アルチュセール　『資本論を読む』

２　文学

小西甚一　『日本文藝史』

折口信夫　『国文学概論』

谷沢永一　『紙つぶて』

３　歴史

岡田英弘　『世界史の誕生』

網野善彦　『日本社会の歴史』（上・中・下）

カー　『カール・マルクス』

宮崎市定　『自跋集　東洋史学七十年』

司馬遼太郎

４　政治

小室直樹　『痛快！　憲法学』

丸山真男　『現代政治の思想と行動』

ハイエク　『隷属への道』

レーニン　『何をなすべきか』

石橋湛山　『大日本主義の幻想』『更正日本の門出』

５　社会と人類

山崎正和　『柔らかい個人主義の誕生』

レヴィ＝ストロース　『悲しき熱帯』

梅棹忠夫　『モゴール族探検記』

６　経済

高橋亀吉　『私の実践経済学』

ドラッカー　『未来への決断』

内田義彦　『経済学の誕生』
長谷川慶太郎　『日本はこう変わる』

７　心理
妙木浩之　『心理経済学のすすめ』
フロイト　『自我論集』
アイゼンク　『精神分析に別れを告げよう』
吉本隆明　『心とは何か』

８　情報
梅棹忠夫　『情報の文明学』
ダニエル・ベル　『知識社会の衝撃』
黒崎政男　『哲学者クロサキのＭＳ－ＤＯＳは思考の道具だ』
日垣隆　『情報の技術』

９　生命
多田富雄　『生命の意味論』
ファーブル　『昆虫記』
古川俊之　『機械仕掛けのホモ・サピエンス』
今西錦司　『変わるべくして変わる』

１０　環境と福祉
長谷川慶太郎　『環境先進国　日本』
『成長の限界』
『限界を超えて』
古川俊之　『高齢化社会の設計』
軽部征夫　『クローンは悪魔の科学か』

雑学編

１１　成功のすすめ
幸田露伴　『努力論』
本多静六　『自分を生かす人生』
渡部昇一　『知的生活を求めて』

１２　学問のすすめ
反町茂雄　『天理図書館の善本稀書』

西堀栄三郎　『石橋を叩けば渡れない』
大村喜吉　『斎藤秀三郎伝』

１３　新書で武装

（１）　岩波新書・岩波ジュニア新書

山内昌之　『イスラームと国際政治』
米本昌平　『地球環境問題とは何か』
三國一朗　『戦中用語集』
木田元　『現象学』『ハイデガーの思想』『偶然性と運命』
今村仁司　『近代の労働観』
三島憲一　『ニーチェ』
柳父章　『翻訳語成立事情』
松田道雄　『私は赤ちゃん』『母親のための人生論』
山内昌之　『民族と国家　イスラム史の視角から』
Ｅ・Ｈ・カー　『歴史とは何か』
大岡信　『新　折々のうた』
斎藤茂吉　『万葉秀歌』
梅棹忠夫　『知的生産の技術』
清水幾太郎　『論文の書き方』
アインシュタイン、インフェルト　『物理学はいかに創られたか』（上・下）
吉田洋一　『零の発見』
西垣渡　『ＩＴ革命』
モーム　『読書案内』『世界の十大小説』（上・下）
ゴルドマン　『人間の科学と哲学』
梅棹忠夫　『モゴール族探検記』
泉靖一　『インカ帝国』
西堀栄三郎　『南極越冬記』
ティンベルヘン　『新しい経済』

（２）中公新書

桑原武夫編　『日本の名著　近代の思想』
河野健二編　『世界の名著　マキアヴェリからサルトルまで』
佐伯彰一・芳賀徹編　『外国人による日本論の名著』
岩本裕　『仏教入門』
加地伸行　『肉食の思想』『水道の思想』
竹内靖雄　『経済倫理学のすすめ』

今西錦司　『ダーウィン論』
三木成夫　『胎児の世界』
谷沢永一　『百言百話』
野口悠紀雄　『「超」整理法』『「超」文章法』
中山正和　『発想の論理』
岡田英弘　『倭国』
大石慎三郎　『江戸時代』
石井良助　『江戸の刑罰』
阿部謹也ほか　『中世の風景』（上・下）
宮崎市定　『科挙』
角山栄　『茶の世界史』
木村尚三郎　『歴史の発見』
山内昌之　『ラディカル・ヒストリー』
『物語世界史』シリーズ　既刊１７冊
北岡伸一　『清沢洌』
林健太郎　『ワイマル共和国』
佐和隆光　『現代経済学の名著』
野口悠紀雄　『日本経済再生の戦略』
佐々木毅　『現代政治学の名著』
杉山光信　『現代社会学の名著』
木村汎　『日露国境交渉史』
岡崎久彦　『戦略的思考とは何か』
北岡伸一　『後藤新平』
会田雄次　『アーロン収容所』
篠沢秀夫　『フランス歳時記』
斎藤兆史　『英語達人列伝』
中野三敏　『江戸文化評判記』
高橋哲雄　『ミステリーの社会学』
古川俊之　『高齢化社会の設計』

（３）　講談社現代新書
清水幾太郎　『現代思想事典』
山崎正一、市川浩　『現代哲学事典』
今村仁司　『現代思想を読む事典』
松居竜五他編　『南方熊楠を知る事典』
常盤新平他編　『アメリカ情報コレクション』
渡部昇一　『日本語のこころ』『知的生活の方法』（正・続）『英語の起源』『ドイツ留学記

』（上・下）
　林雄二郎　『情報化社会』『高齢選択社会』

（４）カッパブックス
　伊藤整　『文学入門』
　小室直樹　『ソビエト帝国の崩壊』『新戦争論　「平和主義」が戦争を起こす』『偏差値が日本を滅ぼす』『親と教師は何をすればいいか』『韓国の悲劇』『国民のための経済原論』（１，２）
　長谷川慶太郎　『８０年代経済の読み方』
　日下公人　『８０年代　日本の読み方』
　小室直樹　『超常識の方法』
　山本七平　『論語の読み方』

１４
　学問の仕事場
　大学の事情
　大学の醜聞
　林望　『書藪巡歴』
　別冊宝島　『知的トレーニングの技術』

１５　小説
　伊藤整　『氾濫』
　司馬遼太郎　『花神』
　ウンベルト・エーコ　『薔薇の名前』
　開高健　『輝ける闇』

『いつも目標達成している人の読書術』丸山純孝(著)の掲載書籍リスト

推薦図書

１．快であり続けること
　西田文郎『面白いほど成功するツキの大原則』現代書林　2001
　西田文郎『No.1理論　ビジネスで、スポーツで、受験で、成功してしまう脳をつくる「ブレイントレーニング』現代書林　1997

２．とりあえずできることはすべてやる
　ダン・ケネディ『大金持ちをランチに誘え！世界的グルが教える「大量行動の原則」』東洋経済新報社　2007
　（筆者はアメリカの伝説的なマーケッター：待ちの姿勢ではなく行動せよ。他人を動かすことも含めて）

３．自分の箱に閉じこもっていないか。
　Ａ．インスティチュート『自分の小さな「箱」から脱出する方法』　大和書房　2006

４．自動化されてしまっていないか
　Ｒ．Ｂ．チャルディーニ『影響力の武器（第２版）』誠信書房　2007

５．一発屋で終わるな
　Ｊ．エイブラハム『ハイパワー・マーケティング』インデックス・コミュニケーションズ　2005
　（全米有力企業のマーケティング・コンサルタント）

６．なかなか効率よく仕事ができない人へ
　鮒谷周史『仕事は、かけ算。～２０倍で自分を成長させる』　かんき出版　2006
　（先達のまねを徹底的にする）
　大橋悦夫ほか『スピードハックス　仕事のスピードをいきなり３倍にする技術』　日本実業出版社　2007
　（後回ししない。さぼらない）
　箱田忠昭『「できる人」の時間の使い方～なぜか、「時間と心に余裕のある人」の技術と習慣～』　フォレスト出版　2005
　（細切れ時間にやることは決めておく）
　平野敦士カール『１の力を１０倍にする　アライアンス仕事術』　ゴマブックス　2008
　（みんなで仕事）

ケリー・グリーン『なぜか、「仕事がうまくいく人」の習慣』ＰＨＰ研究所　2003
（すぐにやる）

７．リーダーシップ
森田英一『デキる人は皆やっている　一流のリーダー術』　明日香出版社　2008
（みんながいる「場」を活性化する）
小笹芳央『モチベーション・リーダーシップ　組織を率いるための３０の原則』　ＰＨＰ研究所　2006
（意図の伝達法）
石田淳『リーダーのためのとっておきスキル』フォレスト出版　2005
（やる気を高めるために、「根源」を解き明かす）
後藤芳徳『オンナを味方にして仕事をする本』　成甲書房　2004
（男女は異星人）
マックス・ランズバーグ『駆け出しマネジャー　アレックス　リーダーシップを学ぶ』　ダイヤモンド社　2004
（リーダーシップを訓練で）

８．マーケティング
高橋朗『マーケティングは愛　銀座ママ麗子の成功の教えシリーズ』ナナ・コーポレート・コミュニケーション　2005
（マーケティングの入門書）
ジャック・ワース他『売り込まなくても売れる！　説得いらずの高確率セールス』　フォレスト出版　2002
（売り込みせず、満足条件を満たす）
高田靖久『お客様は「えこひいきしない」しなさい！』　中経出版　2008
（新規顧客より既存顧客を）
モリコウスケ『デリヘルの経済学　すべてのビジネスに応用できる究極のマーケティングノウハウ極秘公開！』こう書房　2007
（最も公にマーケティングしづらいものから学ぶ）
ウジトモコ『視覚マーケティングのススメ』　明日香出版社　2008
（ターゲットをデザインで示す）

９．経営者
勝間和代『勝間式「利益の方程式」　商売は粉もの屋に学べ！』　東洋経済新報社　2008
浜口孝則『戦わない経営』　かんき出版　2007
（責任は自分に。新分野にチャレンジ）
増水寛之編著『プレジデントビジョン　起業への情熱』　アーク出版　2005

荒濱一ほか『結局「仕組み」を作った人が勝っている』　光文社　2007
（安定収入のための仕組み）
小山昇『儲かる会社の社長の条件』　アスコム　2007
（経営者は選択肢を準備して判断する）

１０．会計
林總『餃子屋と高級フレンチでは、どちらが儲かるか？』　ダイヤモンド社　2006
（物語。儲かっているのに赤字）
望月実『会計を使って経済ニュースの謎を解く』　日本実業出版社　2007
山田真哉『さおだけ屋はなぜ潰れないのか』　身近な疑問からはじまる会計学　光文社　2005
（超有名なベストセラー）
岡本史郎『お金の現実』　ダイヤモンド社　2005
（お金の本質：保存性と循環性　を活かせるかどうか）
山田真哉『食い逃げされてもバイトは雇うな』（上・下）　光文社　2007

『人生後半に読むべき本』 谷沢永一・渡部昇一(著)の掲載書籍リスト

推薦図書

渡部推薦

【Ｑ＆Ａ】近現代史の必須知識　ＰＨＰ研究所
ミッドウェイの刺客
本多静六　私の財産告白
ハマトン　知的生活、知的人間関係
三宅雪嶺　宇宙
幸田露伴　露伴翁座談
アレキシス・カレル　人間　この未知なるもの
ヒルティ　幸福論
伊藤整　氾濫
川端康成　山の音
半七捕物帖
藤沢周平　『蝉しぐれ』　三屋清左衛門残日録
唐詩選
十八史略
清水正光　評釈伝記　小倉百人一首
萩原朔太郎　恋愛名歌集
徒然草
マコーレー　英国史
伊藤正徳　軍閥興亡史、大海軍を想う
日本共産党の研究
朝日新聞　東京裁判記録
林房雄　大東亜戦争肯定論（正続）
北康利　『白洲次郎　占領を背負った男』
松下幸之助　２１世紀の日本

谷沢推薦

瀧川政次郎　東京裁判を裁く
薄田泣菫　茶話
笠原勝朗　昭和を彩った英文学者たち
河盛好蔵　フランスのモラリスト（岩波講座世界文学　昭和８年）

　同上　　人とつき合う法
幸田露伴　『努力論』
山崎樹一郎　（短編は読ませる）
平岩弓枝　御宿かわせみ　３１巻
山本周五郎　樅ノ木は残った
筑摩書房　日本短編文学全集　４７冊
小松英雄　やまとうた、みそひと文字の抒情詩
丸谷才一　後鳥羽院
三好達治　諷詠十二月
安東次男　完本風狂始末
小西甚一　日本文藝史
徒然草
沼波瓊音　徒然草講話
暁烏敏　歎異抄講話
プルターク　プルターク英雄伝
司馬遷　史記
ヴァザーリ　ルネサンス画人伝（正続）
有竹修二　昭和大蔵省外史、昭和経済側面史
山本夏彦　『誰か「戦前」を知らないか』
瀧川政次郎　日本歴史解禁、日本人の歴史
三宅雪嶺　同時代史　全６巻
ウォルター・リップマン　世論
ル・ボン　群集心理
ブローデル　地中海
ゲーテ　イタリア紀行
ゾンバルト　恋愛と贅沢と資本主義
朝倉孝吉　明治前期日本金融構造史
マンデヴィル　蜂の寓話（上田辰ノ助　訳）
高橋亀吉　日本近代経済史三部作全９冊
リカードゥ　経済学及び課税の原理
シュンペーター　経済発展の理論、経済分析の歴史
大内力　日本資本主義の農業問題

『楽しい読書生活』渡部昇一(著)の掲載書籍リスト

推薦図書

第１章　読書のすすめ

　恩師　ドイツ　カール・シュナイダー

　ノーマン・ルイス　Word Power Made Easy

　アガサクリスティ

　チェスタトン　Father Bown

　ハーマン・ウォーク　Marjorie Morningstar

　カズオ・イシグロ　Never Let Me Go

第２章　読書のコツ

　横山光輝　三国志　（まんが）

　ハーン　文学論

　（座右の書）

　幸田露伴　『努力論』　岩波書店

　ヒルティ　幸福論　岩波文庫

　渋沢栄一　実験論語　（論語講義　講談社学術文庫）

　アレキシス・カレル　人間　この未知なるもの　三笠書房

　パスカル　パンセ

第３章　読書の技術

　ハイデガー　存在と時間

　ハイデガー　存在と時間の構築　岩波現代文庫

第４章　読書の周辺

　昭和史に関連した本

　昭和史　松本清張と私

　ジョンストン　紫禁城の黄昏

　東条英機

　全文　リットン報告書

　ハマトン　The intellectual Life（知的生活　講談社）

　スマイルズ　自助論

　吉川幸次郎　論語　朝日選書

　伊勢物語　　藤井高尚、田辺聖子

　谷沢永一　日本人の論語　ｐＨＰ出版

小学館　国語辞典　第２版

第５章　読書各論

ラテン語　ゲルマーニア、ガリア戦記（岩波文庫）

ジェーン・オースティン　Sense and Sesibiltiy　分別と多感　ちくま文庫

アーノルド・ベネット　The Old Wives' Tale 二人の女の物語　岩波文庫　Literary Taste (文学趣味　岩波文庫）How to Live 24 Hours a Day 、How to Make the Best of Life (自分を最高に生きる三笠書房）

愛読小説

松本清張、司馬遼太郎、藤沢周平、吉村昭

シェイクスピア　Sonets ソネット集岩波文庫

ミルトン　Paradice Regained（復楽園）

萩原朔太郎　恋愛名歌集　新潮文庫

朔太郎　郷愁の詩人与謝蕪村　岩波文庫

エーリッヒ・ベッヘル　哲学入門

付録　無人島へ持って行く１０冊

本居宣長　古事記伝　岩波文庫

契沖　万葉代匠記　契沖全集所収　岩波文庫

幸田露伴　評釈芭蕉七部集　露伴全集所収　岩波書店

ウォーレス　Darwinism Is mars habitable?

アレキシス・カレル　Tagebush eines Lebens

三宅雪嶺　宇宙　実業ノ世界社

エーリッヒ・ベッヘル　形而上学　創元社

岩下壮一　カトリックの信仰　講談社学術文庫

イギリスの詩集　Golden Treasury

唐詩選　岩波文庫

蕪村全集　新潮文庫

幸田露伴　幽秘記　露伴全集　岩波書店

新約聖書

孟子　岩波書店

岡野繁実　名将言行録　ニュートンプレス

セネカのラテン語の注釈本

マコーレー　History of England

パスカル　パンセ

シェイクスピア　Sonetts 岩波文庫

ハーバード・スペンサー　（世界の名著　コント・スペンサー参照）

『ぼくの血となり肉となった５００冊そして血にも肉にもならなかった１００冊』立花隆(著)の掲載書籍リスト

血肉５００冊

推薦図書（抜粋）
ヴィーコ　『新しい学』（デカルトへの批判者）
清水幾太郎　倫理学ノート（ヴィーコ）
　同　　ヴィーコ（中央公論の世界の名著）
　同　現代思想、オーギュスト・コント、コント・スペンサー（名著）
ヴィーコ自叙伝

ベルジャーエフ　現代における人間の運命、ドストエフスキーの世界観

ウィットゲンシュタイン　論理哲学論考
ストラーザン　９０分でわかるヴィトゲンシュタイン
山本信ほか　ウィトゲンシュタイン小事典
粟田賢三ほか　岩波小辞典　哲学
エイヤー　ウィトゲンシュタイン、言語・真理・論理
エーディナウ　ポパーとウィットゲンシュタインとのあいだで交わされた世上名高い１０分間の大激論の謎
ルクール　ポパーとウィトゲンシュタイン
コリン・ウィルソン　宗教とアウトサイダー、宗教と反抗人、発端への旅、賢者の石、至高体験
ドッサー　コリン・ウィルソン

ラッセル　西洋哲学史（第３巻）、神秘主義と論理、私の哲学の発展
シュヴェーグラー　西洋哲学史

ホイジンガ　ホモ・ルーデンス、中世の秋
（知のソフトウェア）

オダム　生態学
八木誠ほか　生態学汎論
半谷高久ほか　社会地球化学
大木幸介　人間の分子像、公害の人間学

デュボス　人間と適応

フラー　宇宙船地球号、バックミンスター・フラーの世界
ラヴロック　ガイアの科学、ガイアの時代
マーギュリス　生命とは何か、性とは何か、共生生命体の３０億年、細胞の共生進化、５つの王国ー図説・生物界ガイド

リンデン　チンパンジーは語る、「ココ、お話しよう」
アモン　チンパンジーの言語学習
ランボー　カンジ、言葉を持った天才ザル

ジョハンソン　ルーシー、ルーシーの子供たち
コパン　るーしーの膝
ランバード　図説　人類の進化
岩城正夫　原子技術史入門

カサス　インディアス史
ヴァレリー　全集　カイエ篇
荒井献　ヘルメス文書
ヘルメス叢書
ファインマンの手紙
ダイソン　宇宙をかき乱すべきか、多様化世界、ガイアの素顔

日本基督教団出版部　口語旧約聖書略解、新約聖書略解
聖書外典偽典　日本聖書学研究所編

マイヤー　イエスが愛した聖女
ナグ・ハマディ文書
ペイゲルス　ナグ・ハマディ写本、禁じられてた福音書
ヴァンダーカム　『死海文書のすべて』
田川健三　書物としての新約聖書
マック　誰が新約聖書を書いたのか、キリスト教という神話
アーマン　捏造された聖書
ライリー　『神の河　キリスト教起源史』

荒井献　新約聖書とグノーシス
ヨナス　グノーシスの宗教
ルドルフ　グノーシス　古代末期の一宗教の本質と歴史
大貫　グノーシス　陰の精神史

荘子集解内篇補正　古籍出版社
老子（中公文庫）
荘子（岩波文庫）
明治書院の新釈漢文体系シリーズ　老子、荘子
鈴木喜一　馬王堆老子

白川静　字統、字訓、字通、常用字解（平凡社、最近の簡易版）

コーラン（岩波文庫）
井筒俊彦　コーランを読む、イスラーム思想史、
井筒俊彦著作集　第１巻（神秘哲学）
中央公論社　プロティノス全集
ルーミー語録
ホワイトヘッド　過程と実存
講談社　現代数学の世界　シリーズ　全６巻
マックレーン　数学　その形式と機能

阿部謹也　西洋中世の罪と罰、中世賤民の宇宙

ローウェンスタイン　天才たちの誤算
刈屋武昭　金融工学とは何か

マンガ　ナウシカ　全７巻
高倉洋彰　交流する弥生人

Lao-tzu 慶応義塾大学出版会
石井進　中世の形
フェザー　死海文書の謎を解く
ホッファー　エリック・ホッファー自伝　構想された事実
藤田　脳の履歴書
ブルトン　魔術的芸術
尾本編　人類の自己家畜化の現代

芳賀日出男　『ヨーロッパ古層の異人たち』
ニューバーグ　脳はいかにして神を見るか

田中弘　時価会計不況　新潮新書
内田樹　私の身体は頭がいい

☆　鳥越憲三郎　中国正史　倭人・倭国伝全釈

林正人　量子情報理論入門
リンドリー　量子力学の奇妙なところが思ったほど奇妙ではないわけ

◎　梅原猛　長江文明の探求
黒田　イスラームの構造
ボアズ　北京原人物語
安本美典　大和朝廷の起源
倉西裕子　国宝・百済観音は誰なのか
☆　中尾政之　失敗百選

クロスニー　『ユダの福音書を追え』
生命科学（羊土社）東大
☆　『原典ユダの福音書』

ワトソン　遺伝子の分子生物学　東京電気大
essential 細胞生物学（南江堂）

テイバー　イエスの王朝

鹿島　ハイデガー　「哲学への寄与」解読
西成　渋滞学
平川　天ハ自ラ助クルモノヲ助ク　名古屋大
ノイマン　意識の起源史

『書評のおしごと』橋爪大三郎(著)の掲載書籍リスト

加藤典洋　日本の無思想
竹田青嗣　言語的思想へ（重量級）
姜尚中ほか　挑発する知
鎌田東二　老いと死のフォークロア
内田隆三　ミシェル・フーコー
レヴィ＝ストロース　やきもち焼きの土器つくり
カレル・ウォルフレン　日本／権力構造の謎
レヴィ＝ストロース　遠近の回想
丸山眞男　忠誠と反逆
今谷明　信長と天皇（結論は少々飛躍）
小熊英二　民主と愛国　（重量級）
池田清彦　科学はどこまでいくのか
吉永良正　複雑系とは何か
保阪俊司　シク教の教えと文化　大乗仏教の興亡との比較
ポール・ジョンソン　ユダヤ人の歴史
産経新聞　毛沢東秘録
青木雄二監修　ナニワ金融道　カネと非情の法律講座
佐々淳行　平時の指揮官　有事の指揮官
河合隼雄　子どもと悪
中谷巌　痛快！経済学
副島隆彦　日本の秘密
石原慎太郎ほか　勝つ日本
高橋秀美　からくり民主主義
隅研吾　新・建築入門
浦出善文　英語屋さん　ソニー創業者・井深大に仕えた４年半
大澤真幸　行為の代数学
加藤典洋　敗戦後論
前間孝則　戦艦大和誕生
宮部みゆき　理由
副島隆彦　日本の危機の本質
大澤真幸　戦後の思想空間
初版グリム童話集　ベスト・セレクション　白水社

【　関連書籍　】

ニチジョウサハンジ１～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/3285/read

ニチジョウサハンジ２～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/4119/read

ニチジョウサハンジ３～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/4120/read

ニチジョウサハンジ４～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/13007/read

ニチジョウサハンジ５～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/13307/read

ニチジョウサハンジ６～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/13327/read

ニチジョウサハンジ７～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/14330/read

ニチジョウサハンジ８～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/20345/read

ニチジョウサハンジ９～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/15613/read

ニチジョウサハンジ１０～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/17226/read

ニチジョウサハンジ１１～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/17666/read

ニチジョウサハンジ１２～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/17700/read

ニチジョウサハンジ１３～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/17701/read

ニチジョウサハンジ１４～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/91968/read

ニチジョウサハンジ１５～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/92689/read

ニチジョウサハンジ１７～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/93031/read

ニチジョウサハンジ１８～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/93090/read

ニチジョウサハンジ１９～日常のあれこれを徒然なるままに～
http://p.booklog.jp/book/96907/read

ニチジョウサハンジ１６～日常のあれこれを徒然なるままに～

http://p.booklog.jp/book/93027

著者 : bax
著者プロフィール：http://p.booklog.jp/users/trafalgar/profile

感想はこちらのコメントへ
http://p.booklog.jp/book/93027

ブクログ本棚へ入れる
http://booklog.jp/item/3/93027

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社ブクログ